

東五十子・川原町

児玉郡市広域市町村圏組合

小山川クリーンセンター・湯かっこ建設工事関係発掘調査報告

〈第1分冊〉

2002

東五十子遺跡調査会

序

本庄市は、かつて中山道の流通拠点として大きく繁栄したことは、つとに知られているところですが、その歴史はきわめて古く、埋蔵文化財も本庄台地を中心に非常に濃密な分布を見せています。

なかでも、本庄市の東五十子地区は、とくに重要な遺跡が存在する地域で、古墳時代の鉄器を多量に出土した東五十子城跡遺跡、同じく古墳時代の埴輪生産遺跡である赤坂埴輪窯跡などが分布しています。また、東五十子地区は、15世紀の中頃、関東管令上杉顕房が、古河公方足利持氏との戦いに際して陣を構えた地で、15世紀の関東の争乱史のなかでも有名な「五十子陣の戦い」のまさに中心舞台となったところなのです。

このたびの児玉郡市広域市町村圏組合による「小山川クリーンセンター」ならびに余熱利用施設「湯かっこ」建設事業地もそうした遺跡の範囲内にあることが知られておりましたが、関係機関により慎重に重ねられた協議の結果、発掘調査による記録保存の措置を講ずることとなり、東五十子遺跡調査会が調査を実施することになりました。

今回の調査では、五十子陣に関連すると考えられる遺構が検出され、それとともに多数の遺物が出土し、文献の記録上の年代と考古資料の示す年代とが見事に一致しています。また、東五十子田端屋敷遺跡では、多数の文字が刻まれた平安時代の石製紡錘車が発見され、数少ない古代の文字資料として注目されています。さらに、これまで実態が全く判明していなかった東五十子古墳群は、5世紀の終わりから、100年余りにわたって築かれた非常に規模の大きな群集墳であることがわかり、多くの埴輪も検出されました。

今後は、これらの成果をまとめた本書が、学術研究、教育・普及の資料として幅広く活用されることを望む次第です。

最後になりましたが、本書の刊行にあたり、日ごろ御指導を賜っている埼玉県教育局生涯学習部文化財保護課、調査に際し格別の御理解と御協力をいただいた児玉郡市広域市町村圏組合、炎涼多年にわたり直接調査の労に当たられた現場関係者各位に、心より御礼申し上げます。

平成14年3月

東五十子遺跡調査会

会長 福島 巖

例 言

1. 本書は、埼玉県本庄市大字東五十子字田端屋敷、字南町中ならびに字川原町に所在する東五十子田端屋敷遺跡、東五十子古墳群、五十子陣跡および川原町遺跡の発掘調査報告書である。

なお、東五十子田端屋敷遺跡、東五十子古墳群、五十子陣跡の三遺跡は、相互に重複することから、これらの遺跡の範囲を一括し、東五十子遺跡と呼称する。

2. 発掘調査は、児玉郡市広域市町村圏組合のゴミ焼却施設及び関連施設の建設工事に伴い、東五十子遺跡調査会が、児玉郡市広域市町村圏組合の委託を受けて実施したものである。

3. 発掘調査、整理調査および報告書作成に要した経費は児玉郡市広域市町村圏組合の負担による。

4. 発掘調査は、開発予定面積のうち遺跡の所在する約25,000㎡を対象として実施した。

5. 発掘調査は、平成7年10月2日から平成10年7月31日までの期間で実施した。

6. 発掘調査は、東五十子遺跡調査会調査団調査主任太田博之が担当した。

7. 整理調査ならびに報告書作成は、平成10年8月31日から平成13年3月29日までの期間で実施した。

8. 発掘調査、整理調査ならびに報告書刊行にかかる東五十子遺跡調査会の組織は以下のとおりである。

会 長 (本庄市教育委員会 教育長)

塩 原 暁 (平成7～11年度)

福 島 巖 (平成12・13年度)

会 長 代 理 (本庄市教育委員会事務局 事務局長)

荒 井 正 夫 (平成7・8年度)

中 村 勝 (平成9年度)

渡 辺 正 彦 (平成10・11年度)

倉 林 進 (平成12・13年度)

理 事 (児玉郡市広域市町村圏組合事務局長)

内 田 敏 雄 (平成7年度)

高 木 久 雄 (平成8・9年度)

木 村 剛 (平成10・11年度)

川 田 博 亨 (平成12・13年度)

(本庄市文化財保護審議委員)

塩 原 恭 平 (平成7年度)

後 藤 秀 雄 (平成8～11年度)

監 事 (児玉郡市広域市町村圏組合出納室長補佐)

斉 藤 定 一 (平成7・8年度)

松 本 公 三 (平成9・10年度)

斉 藤 広 (平成11～13年度)

(本庄市会計課長)

杉 山 則 子 (平成7・8年度)

清 水 俊 (平成9～11年度)

井田英征（平成12・13年度）

〈事務局〉

事務局長（本庄市教育委員会事務局社会教育課 課長）

中島和正（平成7～9年度）

恩田高治（平成10年度）

阿部均（平成11～12年度）

田中靖夫（平成13年度）

事務局長補佐（本庄市教育委員会事務局社会教育課 課長補佐）

小暮浩一（平成7・8年度）

中村文男（平成9～11年度）

福島保雄（平成12・13年度）

事務員（本庄市教育委員会事務局社会教育課）

塩原浩（平成7・8年度）

関根君江（平成9・10年度）

我妻浩子（平成11～13年度）

〈調査団〉

調査主任（本庄市教育委員会事務局社会教育課）

太田博之（平成7～13年度）

9. 整理調査、調査記録・出土遺物の整理、図版の作製は太田が担当した。
10. 資料の自然科学分析のうち、埴輪の蛍光X線分析については、大谷女子大学の三辻利一先生にお世話になった。合わせて分析結果についての玉稿を賜った。
また、火山灰の分析については株式会社パレオ・ラボに委託し、同社の古橋美智子・藤根久氏に報告をお願いした。
11. 本書の編集は、太田が担当した。
12. 本書の執筆は、自然科学分析の報告を除き、「IV 調査の成果、2 縄文時代の遺物」の項を本庄市教育委員会松本完が、「V 分析と考察 1 文字線刻紡錘車の分析」の項を本庄市教育委員会増田一裕が、その他を太田が担当した。
13. 本書に掲載した遺物写真の撮影は本庄市教育委員会町田奈緒子が担当した。
14. 本書に掲載した出土遺物、遺構および遺物の実測図ならびに写真は、本庄市教育委員会において保管している。
15. 発掘調査から整理・報告書刊行に至るまでに、以下の方々から貴重なご指導、ご助言、ご協力を賜りました。ご芳名を記し、深甚の謝意を表する次第です。（敬称略）

足立佳代 新井 端 荒川正夫 江原昌俊 大熊季広 大澤伸啓 大谷 徹 賀来孝代
金子彰男 加部二生 工藤元男 車崎正彦 恋河内昭彦 小林 修 昆 彭生 坂井 隆
坂本和俊 坂本征男 佐々木幹雄 島田孝雄 島村範久 志村 哲 杉山晋作 鈴木徳雄
外尾常人 田中 信 田村 誠 徳山寿樹 鳥羽政之 中里正憲 中沢 悟 長瀧歳康
日高 慎 平川 南 松澤浩一 丸山 修 三辻利一 森田 悌 矢内 勲 山崎 武

凡 例

1. 本書所収の遺跡全体図におけるX・Y座標値は国土標準座標第IX系に基づく。各遺構における方位針は座標北を示す。
2. 東五十子遺跡、川原町遺跡におけるグリッドラインの呼称は、北東隅杭が基準となり、東から西へ向かいA～X、北から南へ向かい0～19となる。
3. グリッドは、1辺10mの正方形に設定し、各グリッド北東隅杭の呼称を当該グリッドの呼称としている。
4. 本調査における各種遺構名称は下記の記号で示し、本書掲載の本文、挿図、写真図版中の遺構名称も同一の記号で記述した。

SD…溝	SB…掘立柱建物
SW…井戸	SS…集石遺構
SF…方形竪穴状遺構	ST…古墳
SK…土壇	SI…竪穴住居
SV…火葬土壇	SX…性格不明遺構

5. 本書掲載の遺構図ならびに遺物実測図の縮尺は、原則的に以下のとおりである。

[遺構図]

[遺物実測図]

SD…1/600	SS…1/80	中世陶磁器…1/4	埴輪…1/4
SW…1/60	ST…1/160	硯・砥石…1/2	鉄鏃…1/4
SF…1/60	SI…1/60	石臼・板碑…1/4	土師器、須恵器…1/4
SK…1/80	SIカマド…1/30	宝篋印塔・五輪塔…1/4	土・石製紡錘車…1/4
SV…1/60	SI貯蔵穴…1/30	銅製品…1/4	
SB…1/80	SX…1/80		

その他のものについては、個別にスケールを示した。

6. 遺構断面図の水準数値は海拔を示す。単位はmである。
7. 遺構図・遺物実測図中のトーンの示す内容は以下のとおりである。
 - a. 遺構図中のアミトーンは石を示す。
 - b. かわらけ実測図の黒ベタは黒色を呈するタール状煤の付着範囲を、トーンは黒灰色を呈する通常の煤の付着範囲を示す。
 - c. るつば転用かわらけ、フイゴ羽口実測図のトーンは被熱溶解、金属滓付着の範囲を示す。
 - d. 石製品実測図のトーンは破断面を示す。
8. 観察表中の単位は、法量はcm、重さはgである。()内の数値は推定値を示す。
9. 本書掲載の地形図は、国土交通省国土地理院発行1/25,000「本庄」、位置図は本庄市都市計画図1/2,500「19」に加筆したものをを用いた。
10. 本書の引用・参考文献は巻末に一括して記載した。

目 次

序
例言
凡例
目次

東五十子遺跡調査会会長 福島 巖

〈第1分冊〉		〈第2分冊〉	
I	調査に至る経過 …………… 1	4	東五十子遺跡の集落
II	遺跡の環境	(1)	竪穴住居 ……………489
1	地理的環境 …………… 2	(2)	グリッド ……………648
2	歴史的環境 …………… 4	5	川原町遺跡の集落
III	調査の方法と経過	(1)	竪穴住居 ……………654
1	調査の方法 …………… 5	(2)	土壇 ……………691
2	調査の経過 …………… 5	(3)	グリッド ……………694
IV	調査の成果	6	縄文土器
1	遺跡の概要 …………… 6	(1)	東五十子遺跡 ……………696
2	中・近世の遺構と遺物	(2)	川原町遺跡 ……………699
(1)	溝 …………… 8	V	分析と考察
(2)	井戸 …………… 52	1	東五十子遺跡古墳周堀内のテフラ ……………700
(3)	方形竪穴状遺構 ……………114	2	東五十子遺跡出土埴輪の蛍光X線分析 ……704
(4)	土壇 ……………145	3	文字線刻紡錘車の分析 ……………710
(5)	火葬土壇 ……………225	VI	まとめ ……………715
(6)	建物 ……………227		写真図版
(7)	集石遺構 ……………229		
(8)	性格不明遺構 ……………231		
(9)	グリッド ……………234		
(10)	試掘調査時出土遺物 ……………254		
(11)	表面採集遺物 ……………259		
3	古墳群		
(1)	古墳 ……………260		
(2)	グリッドその他の出土遺物 ……………475		

挿図目次

図1 埼玉県地形図 2	図36 SW-56~57 68
図2 周辺の遺跡 3	図37 SW-58~59 69
図3 遺跡位置図 7	図38 SW-60~61 70
図4 SD平面図(1) 9	図39 SW-62~63 71
図5 SD土層断面図(1) 9	図40 SW出土遺物(1) 73
図6 SD平面図(2) 10	図41 SW出土遺物(2) 74
図7 SD土層断面図(2) 11	図42 SW出土遺物(3) 75
図8 SD平面図(3) 13	図43 SW出土遺物(4) 76
図9 SD土層断面図(3) 14	図44 SW出土遺物(5) 77
図10 SD平面図(4) 15	図45 SW出土遺物(6) 78
図11 SD土層断面図(4) 16	図46 SW出土遺物(7) 79
図12 SD土層断面図(5) 18	図47 SW出土遺物(8) 81
図13 SD出土遺物(1) 22	図48 SW出土遺物(9) 82
図14 SD出土遺物(2) 23	図49 SW出土遺物(10) 83
図15 SD出土遺物(3) 24	図50 SW出土遺物(11) 84
図16 SD出土遺物(4) 25	図51 SW出土遺物(12) 85
図17 SD出土遺物(5) 26	図52 SW出土遺物(13) 86
図18 SD出土遺物(6) 27	図53 SW出土遺物(14) 87
図19 SD出土遺物(7) 28	図54 SW出土遺物(15) 88
図20 SD出土遺物(8) 29	図55 SW出土遺物(16) 89
図21 SD出土遺物(9) 30	図56 SW出土遺物(17) 90
図22 SD出土遺物(10) 31	図57 SF-01~04 115
図23 SD出土遺物(11) 32	図58 SF-05~07 116
図24 SW-01~06 53	図59 SF-08~10 117
図25 SW-07~09 54	図60 SF-11~14 118
図26 SW-10 55	図61 SF-15~17 119
図27 SW-11~17 57	図62 SF-18~21 120
図28 SW-18~23 58	図63 SF-22~24 122
図29 SW-24~26 59	図64 SF-25~27 123
図30 SW-27~32 61	図65 SF-28~31 124
図31 SW-33~35 62	図66 SF-32~37 126
図32 SW-36~43 64	図67 SF-38~41 127
図33 SW-44~49 65	図68 SF-42~45 128
図34 SW-50~52 66	図69 SF-46・47・50 129
図35 SW-53~55 67	図70 SF-48・49・51 132

図71	S F-52~53	133	図109	S K出土遺物(6)	189
図72	S F-54~55	134	図110	S K出土遺物(7)	190
図73	S F出土遺物(1)	135	図111	S K出土遺物(8)	191
図74	S F出土遺物(2)	136	図112	S K出土遺物(9)	192
図75	S F出土遺物(3)	137	図113	S K出土遺物(10)	193
図76	S K(1)	146	図114	S K出土遺物(11)	194
図77	S K(2)	147	図115	S V-01	225
図78	S K(3)	148	図116	S B-01	226
図79	S K(4)	149	図117	S B-02~03	227
図80	S K(5)	150	図118	S B-04	228
図81	S K(6)	151	図119	S B-05	228
図82	S K(7)	154	図120	S S-01	229
図83	S K(8)	155	図121	S S出土遺物	230
図84	S K(9)	156	図122	S X-01~02	232
図85	S K(10)	158	図123	S X-03~04	233
図86	S K(11)	159	図124	S X出土遺物	234
図87	S K(12)	160	図125	グリッドA-4~E-3出土遺物	235
図88	S K(13)	162	図126	グリッドE-11~G-16出土遺物	236
図89	S K(14)	163	図127	グリッドH-2~I-15出土遺物	237
図90	S K(15)	164	図128	グリッドJ-1~L-15出土遺物	238
図91	S K(16)	165	図129	グリッドM-4~Q-11出土遺物	239
図92	S K(17)	168	図130	グリッドQ-13~T-4出土遺物	240
図93	S K(18)	169	図131	グリッドT-9~V-8出土遺物	241
図94	S K(19)	170	図132	試掘1~36出土遺物	254
図95	S K(20)	171	図133	表採1~4出土遺物	257
図96	S K(21)	173	図134	表採5~6出土遺物	258
図97	S K(22)	174	図135	表採7出土遺物	259
図98	S K(23)	176	図136	S T-00	261
図99	S K(24)	177	図137	S T-00 土器実測図	262
図100	S K(25)	178	図138	S T-00 円筒埴輪実測図	262
図101	S K(26)	179	図139	S T-00 円筒埴輪拓影図(1)	263
図102	S K(27)	180	図140	S T-00 円筒埴輪拓影図(2)	264
図103	S K(28)	181	図141	S T-00 円筒埴輪拓影図(3)	265
図104	S K出土遺物(1)	184	図142	S T-00 形象埴輪実測図	266
図105	S K出土遺物(2)	185	図143	S T-01	267
図106	S K出土遺物(3)	186	図144	S T-01 円筒・朝顔形埴輪実測図	268
図107	S K出土遺物(4)	187	図145	S T-01 円筒・朝顔形埴輪拓影図(1)	270
図108	S K出土遺物(5)	188	図146	S T-01 円筒・朝顔形埴輪拓影図(2)	271

図147	S T-01	円筒・朝顔形埴輪拓影図(3)	…272	図185	S T-10	円筒埴輪実測図	…314
図148	S T-01	円筒・朝顔形埴輪拓影図(4)	…273	図186	S T-10	円筒・朝顔形埴輪拓影図(1)	…315
図149	S T-01	形象埴輪実測図(1)	…276	図187	S T-10	円筒・朝顔形埴輪拓影図(2)	…316
図150	S T-01	形象埴輪実測図(2)	…277	図188	S T-10	形象埴輪実測図	…317
図151	S T-02		…279	図189	S T-11		…319
図152	S T-02	円筒埴輪実測図	…280	図190	S T-11	土器実測図	…320
図153	S T-02	円筒・朝顔形埴輪拓影図(1)	…281	図191	S T-11	円筒・朝顔形埴輪実測図(1)	…321
図154	S T-02	円筒・朝顔形埴輪拓影図(2)	…282	図192	S T-11	円筒・朝顔形埴輪実測図(2)	…322
図155	S T-02	形象埴輪実測図(1)	…283	図193	S T-11	円筒・朝顔形埴輪拓影図(1)	…323
図156	S T-02	形象埴輪実測図(2)	…284	図194	S T-11	円筒・朝顔形埴輪拓影図(2)	…324
図157	S T-03		…286	図195	S T-11	円筒・朝顔形埴輪拓影図(3)	…325
図158	S T-03	土器実測図	…287	図196	S T-11	円筒・朝顔形埴輪拓影図(4)	…326
図159	S T-03	円筒埴輪実測図	…287	図197	S T-11	形象埴輪実測図(1)	…329
図160	S T-03	円筒・朝顔形埴輪拓影図	…288	図198	S T-11	形象埴輪実測図(2)	…330
図161	S T-03	形象埴輪実測図	…289	図199	S T-12		…331
図162	S T-04		…290	図200	S T-12	土器実測図	…332
図163	S T-05		…290	図201	S T-12	円筒・朝顔形埴輪実測図(1)	…333
図164	S T-05	土器実測図	…291	図202	S T-12	円筒・朝顔形埴輪実測図(2)	…334
図165	S T-06		…292	図203	S T-12	円筒・朝顔形埴輪拓影図(1)	…335
図166	S T-06	土器実測図	…293	図204	S T-12	円筒・朝顔形埴輪拓影図(2)	…336
図167	S T-06	円筒埴輪実測図	…294	図205	S T-12	形象埴輪実測図(1)	…338
図168	S T-06	円筒・朝顔形埴輪拓影図(1)	…295	図206	S T-12	形象埴輪実測図(2)	…339
図169	S T-06	円筒・朝顔形埴輪拓影図(2)	…296	図207	S T-12	形象埴輪実測図(3)	…340
図170	S T-06	円筒・朝顔形埴輪拓影図(3)	…297	図208	S T-12	形象埴輪実測図(4)	…341
図171	S T-06	形象埴輪実測図	…299	図209	S T-13		…342
図172	S T-07		…300	図210	S T-14		…343
図173	S T-07	円筒埴輪実測図(1)	…301	図211	S T-15		…344
図174	S T-07	円筒埴輪実測図(2)	…302	図212	S T-16		…345
図175	S T-07	円筒・朝顔形埴輪拓影図(1)	…303	図213	S T-17		…346
図176	S T-07	円筒・朝顔形埴輪拓影図(2)	…304	図214	S T-17	円筒埴輪実測図(1)	…347
図177	S T-07	円筒・朝顔形埴輪拓影図(3)	…305	図215	S T-17	円筒埴輪実測図(2)	…348
図178	S T-07	形象埴輪実測図(1)	…309	図216	S T-17	円筒埴輪実測図(3)	…349
図179	S T-07	形象埴輪実測図(2)	…310	図217	S T-17	円筒・朝顔形埴輪拓影図(1)	…350
図180	S T-08		…311	図218	S T-17	円筒・朝顔形埴輪拓影図(2)	…351
図181	S T-08	円筒埴輪実測図	…312	図219	S T-17	円筒・朝顔形埴輪拓影図(3)	…352
図182	S T-08	円筒埴輪拓影図	…312	図220	S T-17	円筒・朝顔形埴輪拓影図(4)	…353
図183	S T-09		…313	図221	S T-17	形象埴輪実測図	…356
図184	S T-10		…314	図222	S T-18		…358

図223	S T-18	土器実測図	358	図261	S T-22	形象埴輪拓影図(1)	406
図224	S T-18	円筒埴輪実測図	360	図262	S T-22	形象埴輪拓影図(2)	407
図225	S T-18	円筒埴輪拓影図(1)	361	図263	S T-23		413
図226	S T-18	円筒埴輪拓影図(2)	362	図264	S T-23	土器実測図	414
図227	S T-18	形象埴輪実測図(1)	363	図265	S T-23	鉄器実測図	414
図228	S T-18	形象埴輪実測図(2)	364	図266	S T-23	円筒埴輪実測図	415
図229	S T-18	形象埴輪実測図(3)	365	図267	S T-23	円筒・朝顔形埴輪拓影図(1)	416
図230	S T-18	形象埴輪実測図(4)	367	図268	S T-23	円筒・朝顔形埴輪拓影図(2)	417
図231	S T-19		369	図269	S T-23	円筒・朝顔形埴輪拓影図(3)	418
図232	S T-19	円筒埴輪実測図	371	図270	S T-23	円筒・朝顔形埴輪拓影図(4)	419
図233	S T-19	形象埴輪実測図(1)	372	図271	S T-23	円筒・朝顔形埴輪拓影図(5)	420
図234	S T-19	形象埴輪実測図(2)	373	図272	S T-23	形象埴輪実測図(1)	423
図235	S T-19	形象埴輪実測図(3)	374	図273	S T-23	形象埴輪実測図(2)	425
図236	S T-19	形象埴輪実測図(4)	375	図274	S T-23	形象埴輪実測図(3)	427
図237	S T-19	形象埴輪実測図(5)	376	図275	S T-23	形象埴輪実測図(4)	428
図238	S T-19	形象埴輪実測図(6)	377	図276	S T-24	管玉実測図	429
図239	S T-20	円筒埴輪実測図	380	図277	S T-24		430
図240	S T-20		381	図278	S T-25		431
図241	S T-20	円筒埴輪拓影図	383	図279	S T-26	土器実測図	432
図242	S T-20	形象埴輪実測図(1)	385	図280	S T-26		433
図243	S T-20	形象埴輪実測図(2)	386	図281	S T-26	円筒埴輪実測図(1)	434
図244	S T-20	形象埴輪実測図(3)	387	図282	S T-26	円筒埴輪実測図(2)	435
図245	S T-21		388	図283	S T-26	形象埴輪拓影図(1)	436
図246	S T-21	土器実測図	389	図284	S T-26	円筒埴輪拓影図(2)	437
図247	S T-21	円筒埴輪拓影図	390	図285	S T-26	円筒埴輪拓影図(3)	438
図248	S T-22		391	図286	S T-27		439
図249	S T-22	土層断面図	392	図287	S T-27	円筒埴輪実測図	439
図250	S T-22	円筒・朝顔形埴輪拓影図(1)	393	図288	S T-27	円筒埴輪拓影図	439
図251	S T-22	円筒・朝顔形埴輪拓影図(2)	394	図289	S T-28	鉄器実測図	440
図252	S T-22	円筒・朝顔形埴輪拓影図(3)	395	図290	S T-28		441
図253	S T-22	円筒・朝顔形埴輪拓影図(4)	396	図291	S T-28	円筒埴輪実測図	442
図254	S T-22	形象埴輪実測図(1)	399	図292	S T-28	円筒埴輪拓影図	443
図255	S T-22	形象埴輪実測図(2)	400	図293	S T-28	形象埴輪実測図(1)	444
図256	S T-22	形象埴輪実測図(3)	401	図294	S T-28	形象埴輪実測図(2)	445
図257	S T-22	形象埴輪実測図(4)	402	図295	S T-28	形象埴輪実測図(3)	447
図258	S T-22	形象埴輪実測図(5)	403	図296	S T-28	形象埴輪実測図(4)	448
図259	S T-22	形象埴輪実測図(6)	404	図297	S T-29	鉄器実測図	449
図260	S T-22	形象埴輪実測図(7)	405	図298	S T-29		450

図299	S T-29	円筒埴輪実測図	451	図337	S I-10	出土遺物	502
図300	S T-29	円筒・朝顔形埴輪拓影図(1)	452	図338	S I-11		502
図301	S T-29	円筒・朝顔形埴輪拓影図(2)	453	図339	S I-11	出土遺物	503
図302	S T-29	円筒・朝顔形埴輪拓影図(3)	454	図340	S I-12		503
図303	S T-29	円筒・朝顔形埴輪拓影図(4)	455	図341	S I-13	出土遺物	504
図304	S T-29	円筒・朝顔形埴輪拓影図(5)	456	図342	S I-13		505
図305	S T-29	形象埴輪実測図(1)	459	図343	S I-14		506
図306	S T-29	形象埴輪実測図(2)	461	図344	S I-14	カマド	507
図307	S T-29	形象埴輪実測図(3)	462	図345	S I-14	出土遺物	508
図308	S T-29	形象埴輪実測図(4)	463	図346	S I-15		509
図309	S T-29	形象埴輪実測図(5)	464	図347	S I-15	出土遺物	510
図310	S T-29	形象埴輪実測図(6)	465	図348	S I-16	出土遺物	510
図311	S T-29	形象埴輪実測図(7)	466	図349	S I-16		511
図312	S T-29	形象埴輪実測図(8)	467	図350	S I-17		512
図313	S T-29	形象埴輪実測図(9)	469	図351	S I-18		513
図314	S T-30		473	図352	S I-18	出土遺物	513
図315	S T-31		474	図353	S I-19		514
図316	S T-31	円筒埴輪拓影図	474	図354	S I-19	出土遺物	515
図317	H-9	グリッド埴輪集中	475	図355	S I-20	貯蔵穴	516
図318	H-9 G	円筒埴輪実測図	475	図356	S I-20		517
図319	S D-11	形象埴輪実測図	476	図357	S I-20	出土遺物	519
図320	S F-40	耳環実測図	477	図358	S I-21		520
図321	S I-01		489	図359	S I-21	出土遺物	521
図322	S I-01	出土遺物	490	図360	S I-22		522
図323	S I-02		492	図361	S I-23		523
図324	S I-03		492	図362	S I-23	カマド	524
図325	S I-04		493	図363	S I-23	カマド遺物出土状況図	524
図326	S I-04	貯蔵穴	494	図364	S I-23	貯蔵穴	524
図327	S I-04	出土遺物	494	図365	S I-23	出土遺物(1)	525
図328	S I-05		496	図366	S I-23	出土遺物(2)	526
図329	S I-05	出土遺物	496	図367	S I-24	出土遺物	528
図330	S I-06		497	図368	S I-24		529
図331	S I-07		498	図369	S I-24	掘り方	531
図332	S I-07	出土遺物	499	図370	S I-25		532
図333	S I-08・09		500	図371	S I-25	出土遺物	532
図334	S I-08	出土遺物	500	図372	S I-26		533
図335	S I-09	出土遺物	500	図373	S I-27		534
図336	S I-10		501	図374	S I-27	出土遺物	535

図375	S I -28・29	537	図413	S I -50 出土遺物	576
図376	S I -28 出土遺物	538	図414	S I -51・52	578
図377	S I -30	539	図415	S I -51 出土遺物	579
図378	S I -30 貯蔵穴	540	図416	S I -53 出土遺物	580
図379	S I -30 出土遺物	540	図417	S I -53・54・55・56	581
図380	S I -31	541	図418	S I -54 出土遺物	583
図381	S I -31 出土遺物	542	図419	S I -55 出土遺物	584
図382	S I -32	543	図420	S I -57・58	585
図383	S I -32 出土遺物	544	図421	S I -57 出土遺物	587
図384	S I -33	545	図422	S I -58 出土遺物	589
図385	S I -34・35・36	546	図423	S I -59	592
図386	S I -34 出土遺物	547	図424	S I -59 出土遺物	593
図387	S I -35 出土遺物	547	図425	S I -60	595
図388	S I -37	548	図426	S I -60 出土遺物(1)	596
図389	S I -38	549	図427	S I -60 出土遺物(2)	597
図390	S I -38 出土遺物	549	図428	S I -61	599
図391	S I -39	550	図429	S I -62	599
図392	S I -39 出土遺物	550	図430	S I -63	600
図393	S I -40	551	図431	S I -63 カマド	601
図394	S I -40 出土遺物	552	図432	S I -63 出土遺物(1)	602
図395	S I -41	553	図433	S I -63 出土遺物(2)	603
図396	S I -42	555	図434	S I -64 出土遺物	605
図397	S I -42 出土遺物(1)	556	図435	S I -64・65	606
図398	S I -42 出土遺物(2)	557	図436	S I -65 出土遺物	608
図399	S I -43	559	図437	S I -66	609
図400	S I -43 出土遺物(1)	560	図438	S I -66 出土遺物	610
図401	S I -43 出土遺物(2)	561	図439	S I -67	611
図402	S I -44	563	図440	S I -67 出土遺物	612
図403	S I -44 出土遺物(1)	564	図441	S I -68・69	614
図404	S I -44 出土遺物(2)	565	図442	S I -68 出土遺物	615
図405	S I -45	568	図443	S I -69 出土遺物(1)	616
図406	S I -45 出土遺物(1)	569	図444	S I -69 出土遺物(2)	617
図407	S I -45 出土遺物(2)	570	図445	S I -70	619
図408	S I -46	571	図446	S I -70 出土遺物	620
図409	S I -46 出土遺物	572	図447	S I -71	621
図410	S I -47	574	図448	S I -71 出土遺物(1)	622
図411	S I -48・49・50	575	図449	S I -71 出土遺物(2)	623
図412	S I -48 出土遺物	576	図450	S I -72	625

図451	S I -72 出土遺物	625	図485	S I -06 出土遺物	669
図452	S I -73	626	図486	S I -06	670
図453	S I -73 カマド	627	図487	S I -07	671
図454	S I -73 出土遺物(1)	628	図488	S I -07 カマド	673
図455	S I -73 出土遺物(2)	629	図489	S I -07 掘り方	674
図456	S I -74	631	図490	S I -07 出土遺物	675
図457	S I -74 出土遺物	632	図491	S I -08	676
図458	S I -75	633	図492	S I -08 出土遺物	676
図459	S I -75 出土遺物	634	図493	S I -09 出土遺物	677
図460	S I -76	635	図494	S I -09・10・12・13・14	678
図461	S I -76 出土遺物(1)	636	図495	S I -10 出土遺物	679
図462	S I -76 出土遺物(2)	637	図496	S I -11	680
図463	S I -77	640	図497	S I -11 カマド	681
図464	S I -77 出土遺物(1)	641	図498	S I -11 出土遺物	681
図465	S I -77 出土遺物(2)	642	図499	S I -12 カマド	682
図466	S I -78	644	図500	S I -12 出土遺物	683
図467	S I -78 出土遺物(1)	645	図501	S I -13 カマド	683
図468	S I -78 出土遺物(2)	646	図502	S I -13 出土遺物	683
図469	グリッド出土遺物(1)	649	図503	S I -14 カマド	684
図470	グリッド出土遺物(2)	650	図504	S I -15	685
図471	グリッド出土遺物(3)	651	図505	S I -15 出土遺物	686
図472	川原町遺跡全測図	655	図506	S I -16 出土遺物	686
図473	S I -01	657	図507	S I -16	687
図474	S I -01 出土遺物	658	図508	S I -17~18	688
図475	S I -02	659	図509	S I -17 カマド	689
図476	S I -02 出土遺物	660	図510	S I -17 出土遺物	689
図477	S I -03	661	図511	S I -18 出土遺物	690
図478	S I -03 出土遺物	662	図512	S I -19	691
図479	S I -04	663	図513	S I -19 出土遺物	691
図480	S I -04 出土遺物	664	図514	S K - 1 ~11	692
図481	S I -05	665	図515	グリッド出土遺物	694
図482	S I -05 出土遺物(1)	666	図516	東五十子遺跡の縄文土器(1)	697
図483	S I -05 出土遺物(2)	667	図517	東五十子遺跡の縄文土器(2)	698
図484	S I -05 出土遺物(3)	668	図518	川原町遺跡の縄文土器	699

図版目次

図版 1	S D-44 遺物検出状況	図版36	中世出土遺物(8)
図版 2	S W(1)	図版37	中世出土遺物(9)
図版 3	S W(2)	図版38	中世出土遺物(10)
図版 4	S W(3)	図版39	中世出土遺物(11)
図版 5	S F(1)	図版40	中世出土遺物(12)
図版 6	S F(2)	図版41	中世出土遺物(13)
図版 7	S F(3)	図版42上	S T-02
図版 8	S F(4)	下	S T-03
図版 9	S F(5)	図版43上	S T-04
図版10	S F(6)	下	S T-05
図版11	S F(7)	図版44上	S T-06
図版12	S F(8)	下	S T-07
図版13	S F(9)	図版45上	S T-08
図版14	S K(1)	下	S T-09
図版15	S K(2)	図版46上	S T-10
図版16	S K(3)	下	S T-11
図版17	S K(4)	図版47上	S T-12
図版18	S K(5)	下	S T-15
図版19	S K(6)	図版48上	S T-17
図版20	S K(7)	下	S T-23
図版21	S K(8)	図版49上	S T-24
図版22	S K(9)	下	S T-26
図版23	S K(10)	図版50上	S T-27
図版24	S K(11)	下	S T-28
図版25	S K(12)	図版51上	S T-29
図版26	S K(13)	下	S T-30
図版27	S K(14)	図版52	S T出土土器
図版28	S V・S B	図版53	円筒埴輪実測資料(1)
図版29	中世出土遺物(1)	図版54	円筒埴輪実測資料(2)
図版30	中世出土遺物(2)	図版55	円筒埴輪実測資料(3)
図版31	中世出土遺物(3)	図版56	円筒埴輪拓影資料(1)
図版32	中世出土遺物(4)	図版57	円筒埴輪拓影資料(2)
図版33	中世出土遺物(5)	図版58	円筒埴輪拓影資料(3)
図版34	中世出土遺物(6)	図版59	円筒埴輪拓影資料(4)
図版35	中世出土遺物(7)	図版60	円筒埴輪拓影資料(5)

- | | | | |
|------|--------------|-------|----------------|
| 図版61 | 円筒埴輪拓影資料(6) | 図版99 | 円筒埴輪拓影資料(44) |
| 図版62 | 円筒埴輪拓影資料(7) | 図版100 | 円筒埴輪拓影資料(45) |
| 図版63 | 円筒埴輪拓影資料(8) | 図版101 | 円筒埴輪拓影資料(46) |
| 図版64 | 円筒埴輪拓影資料(9) | 図版102 | 円筒埴輪拓影資料(47) |
| 図版65 | 円筒埴輪拓影資料(10) | 図版103 | 円筒埴輪拓影資料(48) |
| 図版66 | 円筒埴輪拓影資料(11) | 図版104 | 円筒埴輪拓影資料(49) |
| 図版67 | 円筒埴輪拓影資料(12) | 図版105 | 円筒埴輪拓影資料(50) |
| 図版68 | 円筒埴輪拓影資料(13) | 図版106 | 円筒埴輪拓影資料(51) |
| 図版69 | 円筒埴輪拓影資料(14) | 図版107 | 円筒埴輪拓影資料(52) |
| 図版70 | 円筒埴輪拓影資料(15) | 図版108 | 円筒埴輪拓影資料(53) |
| 図版71 | 円筒埴輪拓影資料(16) | 図版109 | 円筒埴輪拓影資料(54) |
| 図版72 | 円筒埴輪拓影資料(17) | 図版110 | 円筒埴輪拓影資料(55) |
| 図版73 | 円筒埴輪拓影資料(18) | 図版111 | 円筒埴輪拓影資料(56) |
| 図版74 | 円筒埴輪拓影資料(19) | 図版112 | 円筒埴輪拓影資料(57) |
| 図版75 | 円筒埴輪拓影資料(20) | 図版113 | 円筒埴輪拓影資料(58) |
| 図版76 | 円筒埴輪拓影資料(21) | 図版114 | 円筒埴輪拓影資料(59) |
| 図版77 | 円筒埴輪拓影資料(22) | 図版115 | 円筒埴輪拓影資料(60) |
| 図版78 | 円筒埴輪拓影資料(23) | 図版116 | 形象埴輪(1) |
| 図版79 | 円筒埴輪拓影資料(24) | 図版117 | 形象埴輪(2) |
| 図版80 | 円筒埴輪拓影資料(25) | 図版118 | 形象埴輪(3) |
| 図版81 | 円筒埴輪拓影資料(26) | 図版119 | 形象埴輪(4) |
| 図版82 | 円筒埴輪拓影資料(27) | 図版120 | 形象埴輪(5) |
| 図版83 | 円筒埴輪拓影資料(28) | 図版121 | 形象埴輪(6) |
| 図版84 | 円筒埴輪拓影資料(29) | 図版122 | 形象埴輪(7) |
| 図版85 | 円筒埴輪拓影資料(30) | 図版123 | 形象埴輪(8) |
| 図版86 | 円筒埴輪拓影資料(31) | 図版124 | 形象埴輪(9) |
| 図版87 | 円筒埴輪拓影資料(32) | 図版125 | 形象埴輪(10) |
| 図版88 | 円筒埴輪拓影資料(33) | 図版126 | 形象埴輪(11) |
| 図版89 | 円筒埴輪拓影資料(34) | 図版127 | 形象埴輪(12) |
| 図版90 | 円筒埴輪拓影資料(35) | 図版128 | 形象埴輪(13) |
| 図版91 | 円筒埴輪拓影資料(36) | 図版129 | 形象埴輪(14) |
| 図版92 | 円筒埴輪拓影資料(37) | 図版130 | 形象埴輪(15) |
| 図版93 | 円筒埴輪拓影資料(38) | 図版131 | 東五十子遺跡 S I (1) |
| 図版94 | 円筒埴輪拓影資料(39) | 図版132 | 東五十子遺跡 S I (2) |
| 図版95 | 円筒埴輪拓影資料(40) | 図版133 | 東五十子遺跡 S I (3) |
| 図版96 | 円筒埴輪拓影資料(41) | 図版134 | 東五十子遺跡 S I (4) |
| 図版97 | 円筒埴輪拓影資料(42) | 図版135 | 東五十子遺跡 S I (5) |
| 図版98 | 円筒埴輪拓影資料(43) | 図版136 | 東五十子遺跡 S I (6) |

図版137 東五十子遺跡 S I (7)
図版138 東五十子遺跡 S I (8)
図版139 東五十子遺跡 S I (9)
図版140 東五十子遺跡 S I (10)
図版141 東五十子遺跡 S I (11)
図版142 東五十子遺跡 S I (12)
図版143 東五十子遺跡 S I (13)
図版144 東五十子遺跡 S I (14)
図版145 東五十子遺跡 S I (15)
図版146 東五十子遺跡 S I (16)
図版147 東五十子遺跡 S I (17)
図版148 東五十子遺跡 S I (18)
図版149 東五十子遺跡 S I (19)
図版150 東五十子遺跡 S I (20)
図版151 東五十子遺跡 S I (21)

図版152 東五十子遺跡 S I 出土土器(1)
図版153 東五十子遺跡 S I 出土土器(2)
図版154 東五十子遺跡 S I 出土土器(3)
図版155 東五十子遺跡 S I 出土土器(4)
図版156 東五十子遺跡 S I 出土土器(5)
図版157 東五十子遺跡 S I 出土土器(6)
図版158 東五十子遺跡 S I 出土土器(7)
図版159 東五十子遺跡 S I 出土土器(8)
図版160 文字線刻紡錘車
図版161 川原町遺跡 S I 出土土器(1)
図版162 川原町遺跡 S I 出土土器(2)
図版163 川原町遺跡 S I 出土土器(3)
図版164 川原町遺跡 S I 出土土器(4)
図版165 川原町遺跡 S I 出土土器(5)

I 調査に至る経過

平成6年8月10日付け児広組業第50号で、児玉郡市広域市町村圏組合管理者茂木稔氏から、本庄市大字東五十子田端屋敷149-1番地ほか約55,531㎡の土地に、ごみ焼却施設ならびに余熱利用施設その他の建設に伴う開発計画があり、この土地にかかる『埋蔵文化財の取扱いについて』の協議書が本庄市教育委員会あて提出された。本庄市教育委員会において埼玉県教育委員会発行の『本庄市遺跡分布地図』をもとに同地の埋蔵文化財の有無を調査したところ、当該計画予定地には、周知の埋蔵文化財包蔵地の東五十子田端屋敷遺跡（53-139）、五十子陣跡（53-151）、東五十子古墳群（53-179）が所在することが判明された。とくに、五十子陣跡は、15世紀後半、関東管領山内上杉房顕が古河公方足利成氏との対戦に際し構築した陣の跡とされ、文献上の年代が明らかな重要な遺跡と考えられていた。

本庄市教育委員会では以上の状況を踏まえ、事業予定地約55,531㎡のうち土地買収の完了した範囲について、平成7年1月23日から平成7年3月29日までの間に、埋蔵文化財の範囲確認調査を実施した。その結果、東五十子田端屋敷遺跡以下周知の埋蔵文化財包蔵地の所在する範囲において、古墳から奈良・平安時代にかけての集落跡、古墳時代の群集墳、溝、井戸、土壌などを中心とする中・近世の遺構群の存在を確認した。遺物は土師器・須恵器片、形象埴輪を含む埴輪片のほか、かわらけ、青磁、白磁など中世の資料を多数検出した。なかでも、中世の遺物は多くが15世紀後半に編年される資料で、文献による五十子陣の年代と符合することから当該遺跡の重要性が再認識されることとなった。また、事業予定地東南辺の小山川沿いの微高地において、古墳から奈良・平安時代にかけての集落、川原町遺跡（53-182）の存在があらたに明らかとなった。

本庄市教育委員会ではこの結果を受け、平成7年3月31日付け本教社発第396号にて児玉郡市広域市町村圏組合管理者茂木稔氏あて『埋蔵文化財の所在について』の回答を送付し、1、協議のあった土地については東五十子田端屋敷遺跡（53-139）ほかの埋蔵文化財包蔵地が所在することから現状保存が望ましいこと。2、やむを得ず現状変更を実施する場合は事前に記録保存のための発掘調査を実施すること。3、本回答後は関係機関との協議を徹底することの旨を伝達した。しかしながら、その後の協議の結果、他にごみ焼却施設等の建設の適地がなく、やむをえず記録保存のための発掘調査を実施することとなった。

記録保存のための手続きについては、まず、平成7年3月31日付けで本庄市教育委員会と児玉郡市広域市町村圏組合の間で『本庄市東五十子総合開発事業にかかる埋蔵文化財に関する協定書』を締結し、当該埋蔵文化財の記録保存のための発掘調査は、あらたに東五十子遺跡調査会を発足させてこれにあたること、発掘調査の実施にあたっては、本庄市教育委員会がその業務を東五十子遺跡調査会に移管し、児玉郡市広域市町村圏組合は東五十子遺跡調査会と委託契約を締結することとする等の内容が合意された。

これにより、平成7年10月2日付けで児広組業第50号で、児玉郡市広域市町村圏組合管理者茂木稔氏から文化財保護法第57条の3第1項の規定による埋蔵文化財発掘の通知が提出され、本庄市教育委員会ではこれを受けて、同通知を埼玉県教育委員会あて進達した。これとともに、東五十子遺跡調査会より『本庄市東五十子総合開発事業にかかる埋蔵文化財に関する協定書』に基づく開発計画に伴って、文化財保護法第57条の3第1項の規定による埋蔵文化財発掘調査の届出が逐次、提出され、本庄市教育委員会ではこれを受けて、同届出を埼玉県教育委員会あて進達した。

現地における記録保存のための発掘調査は東五十子遺跡調査会が調査主体となり平成7年10月2日から平成10年7月31日までの期間に実施した。
(本庄市教育委員会)

II 遺跡の環境

1 地理的環境

東五十子遺跡は本庄台地の東北端に位置し、東側から南側にかけて、小山川と志戸川の合流点と、両河川の開析する沖積平野を望み、北側は台地直下に女堀川が東流し、その先方には利根川の氾濫原が広がる。付近の台地状は緩やかな起伏の存在する畑地帯が続き、地表面の標高は48～49mを測る。

本庄市の地形は利根川右岸に広がる低地と、市街地を乗せる台地とに区分される。低地部には利根川の氾濫による自然堤防が発達し、同川沿いに妻沼低地、加須低地へと連続している。これに対し、台地部は身馴川扇状地と神流川扇状地との複合地形から成り、本庄台地と呼称され、立川期に対応するものとされる。

身馴川扇状地は西側を第三系の残丘である生野山、大久保山などの児玉丘陵に、東側を松久丘陵と櫛引台地によって画され、身馴川、志戸川などが北東方向へ流れている。河川の周辺は沖積化が進行し、自然堤防状の微高地が発達しており、遺跡の多くはこの上に立地している。

いっぽう、神流川扇状地は群馬県鬼石町浄方寺付近を扇頂部とし、扇端部は上里町金久保から本庄市万年寺、同市鶴森にかけて比高差6～10mの段丘崖を形成して、一部にはなお伏流水の湧出が観察される。この扇状地を開析して流れる中小河川には女堀川、男堀川などがあり、これら河川の周辺もまた沖積化が顕著である。また、段丘崖下の低地には元小山川が東流している。さらに近年、微地形の観察によって、現状では一見平坦に映る台地面下にも幾筋かの埋没谷の存在が想定されて来っており、これらの地形が一般に「久城水^{ぐじょうみず}」と呼称される野水と密接に関係するものであることも指摘されている。

このように、河川の浸食による沖積化が進行するいっぽうで、堆積作用による谷地形の埋没現象が見られるなど、現在の地形から過去の地理的環境の想定する場合には慎重な態度が必要とされる。

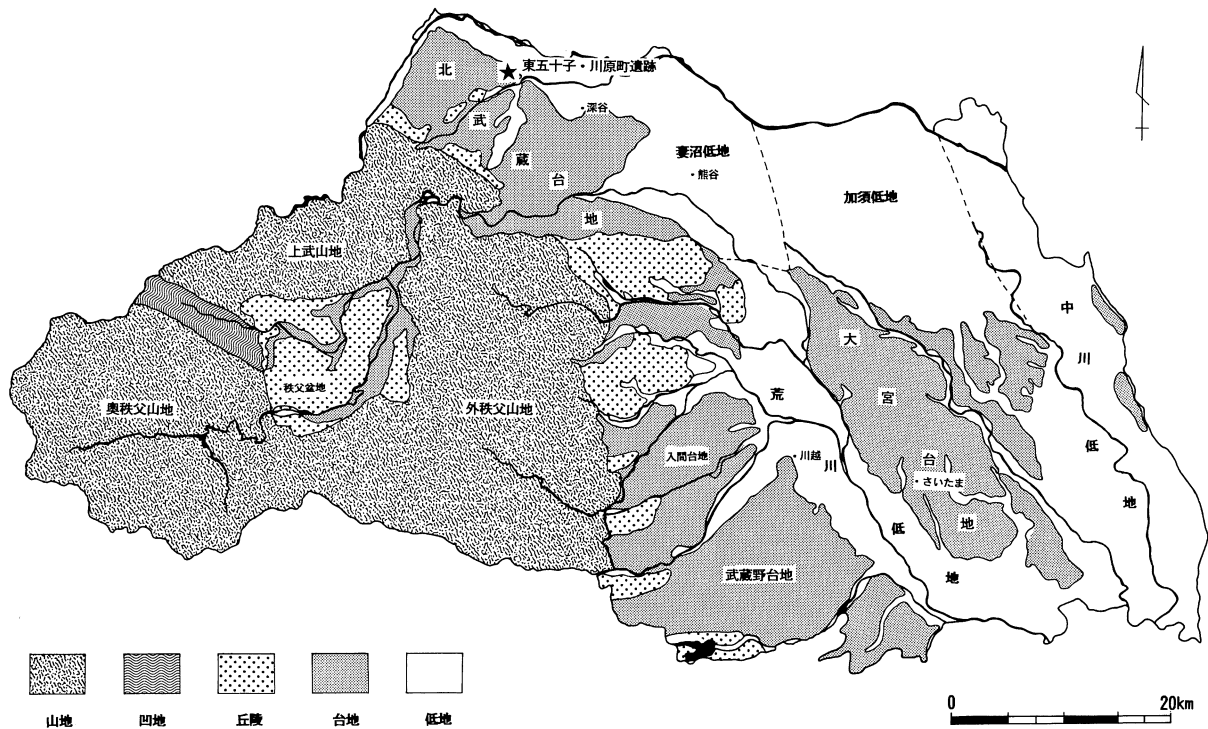
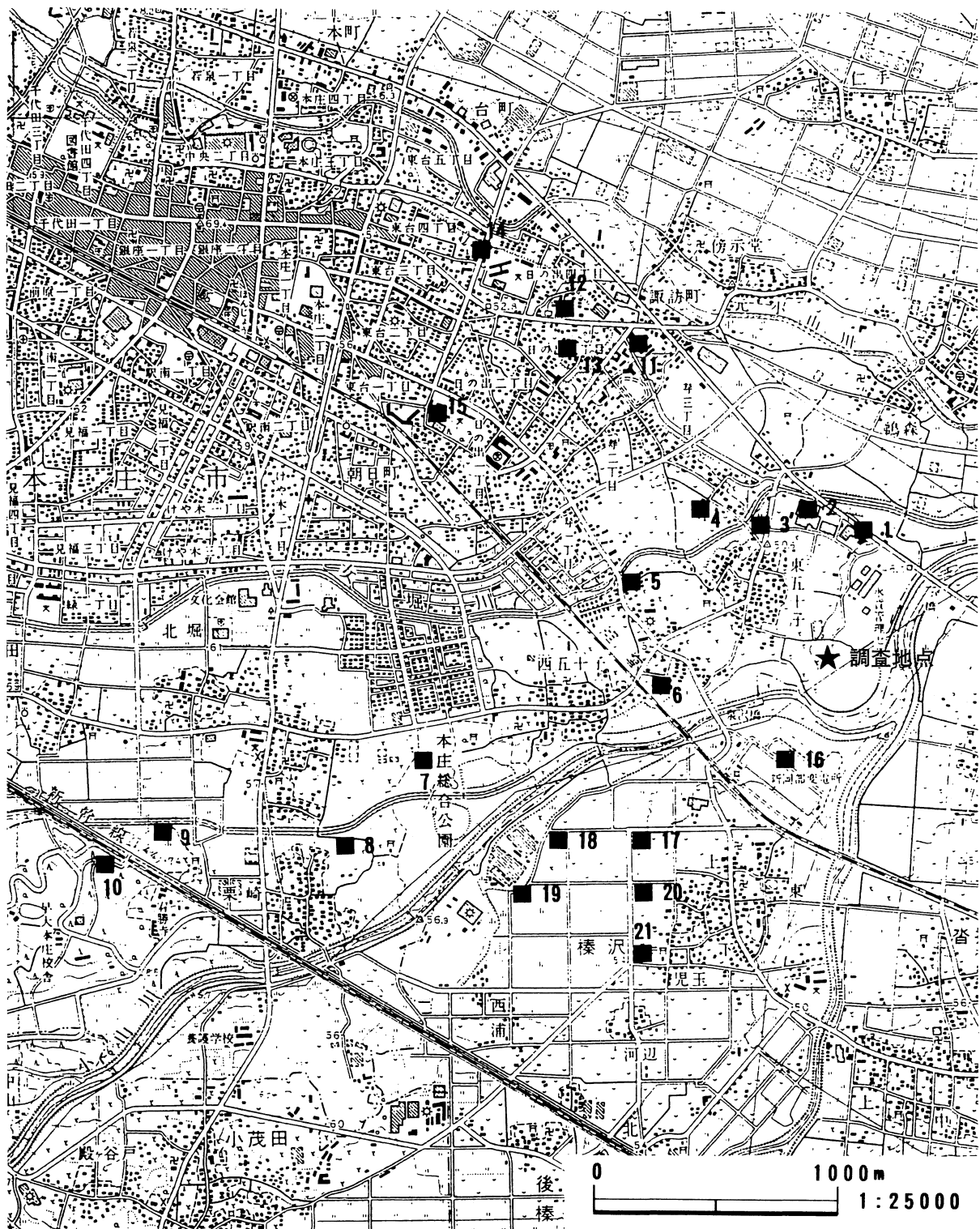


図1 埼玉県地形図



- 1. 東五十子城跡遺跡 2. 赤坂埴輪窯跡 3. 東五十子赤坂遺跡 4. 鶴森古墳群 5. 西五十子大塚遺跡
- 6. 西五十子台遺跡 7. 西五十子古墳群 8. 東本庄遺跡 9. 宥勝寺北裏異埴輪窯跡 10. 前山1・2号墳
- 11. 諏訪新田遺跡 12. 御堂坂遺跡 13. 御堂坂古墳群 14. 薬師堂遺跡 15. 塚合古墳群 16. 六反田遺跡
- 17. 稻荷前遺跡 18. 大寄A遺跡 19. 大寄B遺跡 20. 西浦北遺跡 21. 宮西遺跡

図2 周辺の遺跡

2 歴史的環境

東五十子遺跡ならびに川原町遺跡において確認された遺構は、古墳～奈良・平安時代の集落、5世紀末から6世紀にかけての古墳群、15世紀代を中心とする中世の遺構群に大別される。以下では、付近の集落遺跡、古墳、中世遺跡を概観し、歴史的環境の理解としたい。

a 中世の遺跡

15世紀代の遺物を出土する遺跡は小山川に沿う本庄台地の縁辺部を中心に点在している。東五十子城跡遺跡は、五十子陣の中核部をなす位置にあり、かつて土塁が存在したと伝えられ、また、工事などに伴い数次にわたって該期の遺物が出土している。西五十子台遺跡では、板碑と宝篋印塔で囲われた遺構の中から焼土、灰とともに多量のかかわりが検出され、西五十子古墳群では、台地直下に堆積する黒色土中から多量の大型かわりが出土している。男堀川右岸の自然堤防上に立地する東本庄遺跡でもこの時期の区画溝の一部と、多量のかかわりが投棄された土壌が検出されている。いっぽう、女堀川右岸の台地上には東五十子赤坂遺跡、西五十子大塚遺跡が存在する。東五十子赤坂遺跡では土壌が検出され、かわらけとともに、細片ながら、青磁椀、火鉢、瓦灯が出土している。西五十子大塚遺跡でも、明確な遺構には伴わないものの、かわらけの出土が認められる。また、岡部町六反田遺跡では溝、井戸、土壌などから火鉢、かわらけ、硯、石臼、板碑などが出土し、遺構・遺物の組成において東五十子遺跡と類似する内容を見せる。これらの遺跡は、多量のかかわりを伴う例が多く、五十子陣に関係する一連の遺跡と考えられる。

b 古墳

周辺には、確実に前期に遡る古墳は認められないものの、大久保山丘陵に立地する前山1号墳は、中期前半を遡る前方後円墳となる可能性が指摘されている。近接の前山2号墳は中期前半の方墳で、粘土槨状の埋葬施設が確認されている。やや年代の降る公卿塚古墳は格子タタキ技法による埴輪を出土する直径60mの大型円墳である。5世紀後半段階では岡部町四十古墳が短甲、銅製鈴付鏡板付轡、鉄製楕円形鏡板付轡などを副葬する首長墳である。古式群集墳の形成も、この時期に開始され、塚合古墳群、美里町塚本山古墳群では、B種ヨコハケ調整、窯焼成による円筒埴輪の樹立が確認できる。男堀川左岸の台地上に位置する西五十子古墳群は、これにやや遅れる大規模群集墳で総計50基以上を数え、群構成は東五十子古墳群に近似する。新式群集墳としては、本庄台地北縁の御堂坂古墳群、女堀川左岸の台地上に鶴森古墳群が所在する。また、塚合古墳群、西五十子古墳群でも6世紀末葉から7世紀前半にかけて古墳の築造が継続している。終末期の首長墳は、近隣に認めないものの、東方にやや離れた岡部町前原愛宕山古墳は有力な候補である。なお、埴輪窯跡としては、赤坂埴輪窯跡、宥勝寺北裏埴輪窯跡が知られ、うち宥勝寺北裏埴輪窯跡では5基以上の埴輪窯跡の存在が確認されている。

c 集落遺跡

本遺跡の北方に近接する東五十子城跡遺跡では多量の鉄製農具を保有する5世紀後半の竪穴住居が検出され注目される。本庄台地北縁の段丘崖沿いには薬師堂遺跡、御堂坂遺跡、諏訪新田遺跡など古墳時代中期から平安時代にかけての集落が分布している。西五十子古墳群では男堀川左岸の台地縁辺に4・5世紀の集落が存在している。本庄市域では数少ない五領期の集落である。いっぽう、小山川を隔てて東五十子遺跡と対峙する位置には岡部町六反田遺跡があり、東五十子・川原町遺跡との有機的な関連が考えられる。さらに、小山川と志渡川に挟まれた低地帯には、岡部町稻荷前遺跡、大寄A遺跡、大寄B遺跡、西浦北遺跡、宮西遺跡など古墳時代から平安時代にかけての集落が連続する。

Ⅲ 調査の方法と経過

1 調査の方法

現地における発掘調査の方法は、東五十子、川原町両遺跡とも基本的に同様である。先行の試掘調査の結果から、遺構確認面は1面のみで、台地ならびに自然堤防上にあつてはローム層上面、埋没谷上にあつては堆積する黒色土の上面であることが判明していた。このため、表土は遺構確認面の直上までを重機を用いて掘削し、そののちに人力で遺構を確認した。現地実測の基準としては、調査区全面に方眼基準杭を設定したのち、要所にベンチマークを配して基準点ならびに水準点の原点を取り付け、これを基準とした各種実測作業をおこなった。

遺構調査は、要所に土層観察用のベルトを残し、覆土の堆積状況を確認しながら進め、竪穴住居のカマドその他プラン確認の困難な遺構については、適宜断ち割りをおこなって記録をとった。

遺構平面図は航空写真測量により、1/40で作成した。竪穴住居カマド、貯蔵穴などの微細図については、手実測により1/10ないし1/20で作成した。土層断面図は、すべて手実測により1/20で作成した。

遺物の出土状況は、単点記録についてはトータルステーションの観測により、微細図については手実測により1/10ないし1/20で作成した。

また、古墳周堀内にテフラの堆積を認めたことから、適宜必要と思われるサンプルを採取し、起源同定のための自然科学分析を委託した。

2 調査の経過

発掘調査は平成7年10月2日から平成10年7月31日にかけて実施した。東五十子遺跡の調査は、発掘区を大きく東西に二分し、まず東半側を先行した。調査開始前に、調査区の全周に防護柵設置工事を行った。表土除去は、遺構確認作業と並行しつつ、平成7年10月から開始し、11月に終了した。遺構確認作業も表土除去と並行しつつ実施した。遺構調査は、10月後半に開始し、調査区北東側から進めた。平成8年3月までに東半調査区の北側1/3を終了した。平成8年4月からは東半調査区の南側の遺構調査を開始し、平成9年3月までに、航空写真測量を含めた東半調査区のすべて遺構調査を終了し、事業者側へ引き渡しをおこなった。

西半側は、平成9年2月から3月にかけて、表土除去と遺構確認作業を並行して実施し、3月中旬までに終了した。遺構調査は、平成9年4月から開始し、平成10年3月までに、航空写真測量を含めた西半側調査区のすべての遺構調査を終了し、事業者側へ引き渡しをおこない東五十子遺跡の調査を完了した。

川原町遺跡の調査は、平成9年4月から開始し、4月中旬までに表土除去、遺構確認を終了した。遺構調査は4月下旬から入り、7月までに、航空写真測量を含めたすべての調査を終了し、事業者側へ引き渡しをおこない川原町遺跡の調査を完了した。

整理調査ならびに報告書刊行は平成10年8月3日から平成14年3月29日にかけて実施した。

平成10年8月から平成11年3月にかけて遺構図面の整理、第二原図作成と遺物注記の作業を行った。平成11年1月からは、遺物の復原作業を開始し、平成12年12月までに終了した。実測・採拓は、復原作業の終了したのちから順次取り掛かり、平成13年7月までに終了した。平成13年3月から遺構・遺物図のトレース作業を、9月からレイアウト作業をおこない平成14年1月までに終了するとともに、これと並行して遺物写真の撮影を平成13年12月から平成14年1月にかけておこなった。報告書印刷作業は平成14年2月から3月にかけておこない、平成14年3月29日付けで報告書を発行した。

IV 調査の成果

1 遺跡の概要

東五十子ならびに川原町遺跡は、これまで五十子陣関係の遺構と遺物を中心に断片的な成果がえられていたが、今回の調査により、五十子陣に加え、あらたに古墳群と集落の様相が明らかとなった。以下、遺構の性格別に、調査成果の概要について述べる。

東五十子遺跡は台地東側の縁辺部にあつて、調査区中央には黒色土の堆積する東西方向の埋没谷が存在する。遺構は多くが台地上に一部が台地直下の低地部に存在している。遺構の確認面は、台地上はローム層上面、埋没谷状は黒色土層上面、台地下の低地部は表土直下のシルト層上面である。

調査の結果、東五十子遺跡では中・近世遺構、古墳群、古墳から平安時代の竪穴住居、および縄文時代の遺物を検出した。

中・近世の遺構は溝49条、井戸63基、方形竪穴状遺構55基、土壇793基などで、調査区内全体に分布する。遺物は多量のかかわりのほか、青磁、白磁、内耳土器、播鉢、三足手焙、三足香炉、かわらけ転用つぼ、硯、石臼、石鉢、板碑、宝篋印塔、五輪塔など多種におよぶ。とくに、かわらけは溝、井戸、土壇に一括投棄された状態で出土したものが多く、また、青磁、白磁など輸入磁器の検出も目立つ。これらの遺物の所属時期は、ほとんどが15世紀代に属し、文献に見る五十子陣の年代に一致する。調査地点は五十子陣中心部からはやや離れるが、検出した遺構も陣の一部として機能していた可能性が高い。

古墳は32基を検出した。このほか埴輪集中1基に加え、中・近世の遺構からも遺物を検出している。古墳は調査区中央の埋没谷を避け、大きく南北に分れて分布している。判明の範囲でいずれも墳丘規模20m以下の小型円墳である。墳丘盛土、墳丘下旧表土、埋葬施設は完全に削平を受けており消滅している。周堀は掘り方が明瞭で整円を呈し全周するものと、掘り方が浅く不整形で断続的にめぐるものと二分される。遺物は土師器、須恵器、埴輪、耳環、石製管玉を検出した。原位置を保つ遺物はなく、すべて周堀や転落した状態で出土している。とくに形象埴輪は細片が多く、また配列復原の可能な有意の出土状況を示すものはなかった。器種には弾琴男子、壺を頭上運搬する女子、弓など貴重なものが含まれる。年代は5世末葉と、6世紀後半から7世紀初頭の二時期に分れる。前者はとくに典型的な古式群集墳として認識しうるものである。なお、一部の周堀覆土中に Hr-FA の堆積を認めた。

竪穴住居は78基を検出した。分布は調査区南側に集中し、古墳とはほとんど重複しない。奈良・平安時代古代の竪穴住居群は、小山川をへだてて隣接する六反田遺跡などとともに地域の拠点集落を形成していたものと考えられる。遺物では2点の文字線刻紡錘車を検出したことが特筆される。

縄文時代は、明瞭な遺構を認めず、遺物のみを検出した。ほとんどの遺物は縄文土器の細片で、すべて古墳周堀、中世の溝、井戸、など後代の遺構の覆土から出土している。所属時期は断続的ながら前期から晩期におよぶ。遺構は長期の風化作用による地表面の浸食に伴い、ことごとく消滅しているものと推測される。

川原町遺跡は事前の試掘調査によりあらたに発見された集落遺跡である。小山川の堤防沿いに広がる自然堤防上に立地する。現在、東五十子遺跡の集落とは連続しないが、土取りによる現地形の改変を考えると、一連の遺跡であった可能性も考えうる。古墳時代から平安時代の竪穴住居19軒、土壇11基と若干の縄文土器片を検出した。古墳から平安時代の遺物は、すべて竪穴住居からの出土で、一般的な器種組成である。縄文時代は、東五十子遺跡と同じく明瞭な遺構を認めず、竪穴住居の覆土などから遺物のみを検出した。

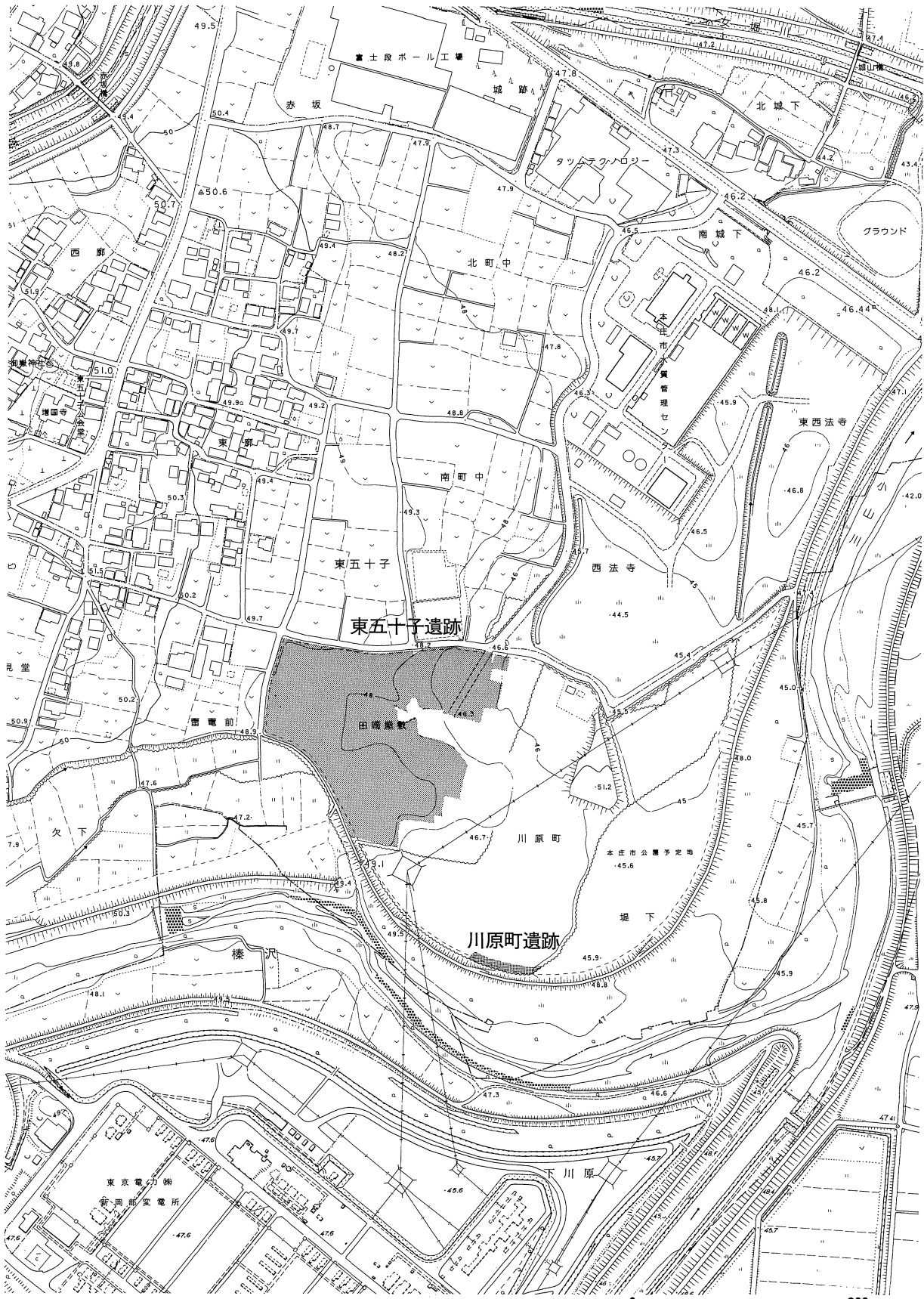


図3 遺跡位置図

2 中・近世の遺構と遺物

(1) 溝

溝は総計49条を確認した。調査区のうちで特定の箇所集中する傾向はない。東西、南北の方向に直線的に延びる溝が多く、地形に規制されることなく、中央の埋没谷を横切って南北のローム台地に及んでいるものもある。所属時期は、中世の15世紀後半代の溝に切られるSD-42・43が最も古く、遺物を伴わないため詳細な時期は不明ながら、少なくとも15世紀前半以前に遡る。東西、南北方向の直線的な溝は、直角方向に屈曲したり、あるいは「T」字状に交差するものも見られる。これらの溝の多くが、出土遺物の型式から、中世の区画溝であったと考えられる。このうちSD-10・11・44などの幅広の溝は、断面V字状を呈し、深度もあることから防御的機能を兼ねていたと考えられる。SD-44では橋脚の痕跡と推定されるピットを検出している。またSD-25は東西80、南北55mほどの方形区画を形成する。これらに対し、蛇行しつつ不定方向に走る溝は、出土遺物を伴わないことから、所属年代の不明のものが多いが、覆土中に浅間Aパミスを含むものが目立ち、多くは近世以降に降下すると推定される。

SD-01 (図4・5)

C-2からE-3グリッドにかけて位置する。台地末端部の地形に沿って蛇行している。断面は台形を呈し、覆土は白灰色シルトブロックを含む黒色土の堆積を認める。遺物は、皆無であった。所属時期の詳細については不明であるが、現地形の形成後の掘削と考えられることから、近世以降と推測される。

SD-02 (図4・5)

D-1からD-3グリッドにかけて位置し、南北に直線的に延びる。断面は台形を呈し、覆土は黒褐色土および暗褐色土の堆積を認める。遺物は、かわらけを検出した。所属時期は、出土遺物の型式から15世紀後半代と判断される。

SD-03 (図4・5)

D-1グリッドから南に延び、D-2グリッドで西へ屈曲してSD-04と重複している。断面は台形を呈し、覆土は黒褐色土および黒色土の堆積を認める。遺物は、皆無であった。所属時期は、不明である。

SD-04 (図4・5)

E-1・2グリッドに位置し、南北に直線的に延びる。断面は台形を呈し、覆土は黒褐色土の堆積を認める。遺物は、覆土上層でかわらけを検出した。かわらけは、SD-02のものと同型式であるが、覆土上層からの出土であり、出土量の少ないことから、所属時期の詳細は不明である。

SD-05 (図4・5)

E-1からE-3グリッドにかけて位置し、南北に直線的に延びる。断面は台形を呈し、覆土は黒褐色土および黒色土の堆積を認める。遺物は、かわらけ、板碑片を検出した。所属時期は、出土遺物の型式から15世紀後半代と判断される。

SD-06 (図6・7)

G-5、H-5グリッドに位置し、東西に直線的に延び、SD-07と直交する。断面は台形を呈し、覆土は黒褐色土の堆積を認める。遺物は、かわらけの細片若干を検出した。所属時期は、直交するSD-07とほぼ同様の覆土の堆積を認め、同溝との有機的な関連が想定されること、かわらけの細片若干を出土していることから15世紀後半代と推測される。

SD-07 (図6・7)

E-1からE-3グリッドにかけて位置し、南北に直線的に延びる。断面は船底形を呈し、覆土は黒褐色土の堆積を認める。遺物は、羽口片、かわらけの細片を検出した。所属時期は、出土遺物の型式から15世紀後半代と判断される。

SD-08 (図6・7)

G-1からH-3グリッドにかけて位置し、南北に直線的に延びる。覆土は黒褐色土の堆積を認める。遺物は、古瀬戸小皿を検出した。所属時期は、出土遺物の型式から15世紀後半代と判断される。

SD-09 (図6・7)

E-1からE-3グリッドにかけて位置し、南北に直線的に延びる。断面は船底形を呈し、覆土は暗褐色土の堆積を認める。遺物は、皆無であったが、SD-08・10・11と並行しており、これらの溝との有機的関連を認めることから、所属時期は15世紀後半代と推測される。

SD-10 (図6・7)

H-1・2グリッドに位置し、南北に直線的に延びる。断面はV字状を呈し、覆土は黒褐色土の堆積を認める。

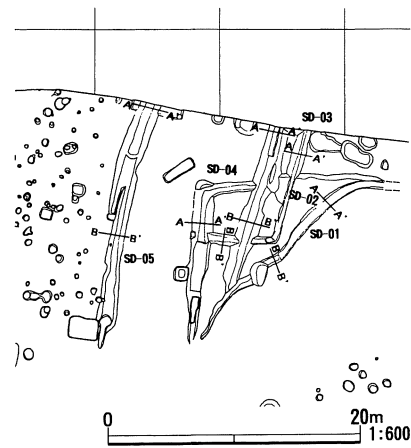
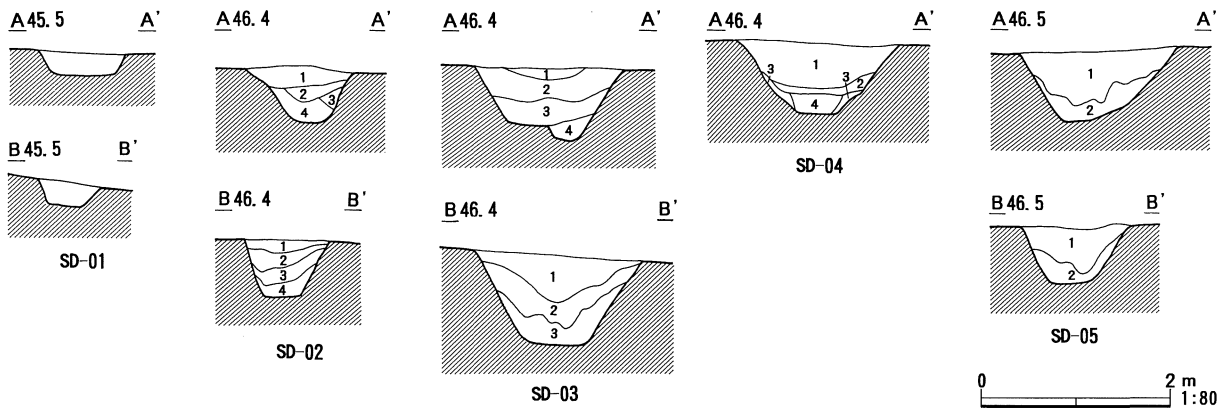


図4 SD平面図 (1)



SD-01 土層説明 (単層)

黒色土 白灰色シルトブロック (径1~5mm) を少量含む。

SD-02 土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)、白色パミス(1mm±)を少量含む。
- 2 暗褐色土 ロームブロック(径1~5mm)、白色パミス(1mm±)を少量含む。
- 3 暗褐色土 ロームブロック(径1~10mm)、礫(径10~30mm)を少量含む。
- 4 暗褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。

SD-03 土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック(径1~30mm)を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 4 黒色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。

SD-04 土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。
- 3 地山風化層
- 4 黒褐色土 ロームブロック(径1~30mm)を少量含む。

SD-05 土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。
- 2 黒色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。

図5 SD土層断面図 (1)



図6 SD平面図 (2)

遺物は、皆無であったが、所属時期は、SD-11との連続を認めることから15世紀後半代と判断される。

SD-11 (図6・7)

K-1グリッドから東に直線的に延び、H-1グリッドで屈曲して南へ直線的に延長し、J-11グリッドまで至っている。調査区中央の埋没谷にかかるI-6・7グリッド周辺では、土取りにより地山ともども失われてい

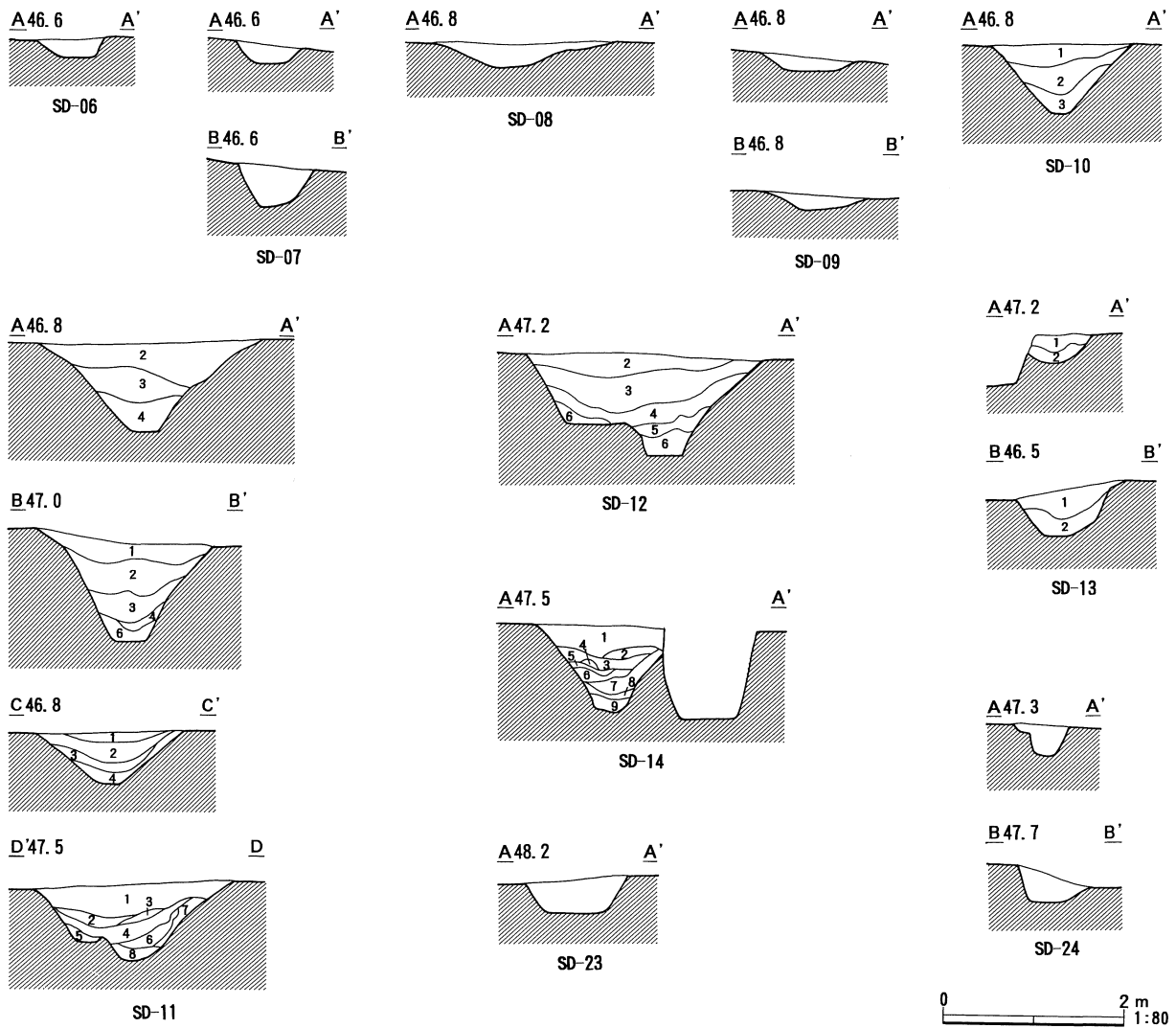


図7 SD土層断面図 (2)

るが、原状は埋没谷を挟んで南北のローム台地を跨ぐ溝であったと考えられる。なお、I-1グリッドではSD-12が、J-10グリッドではSD-14が派生している。断面はV字状を呈し、覆土は黒褐色土および黒色土の堆積を認める。遺物は、かわらけ、砥石、板碑を検出したほか形象埴輪片が出土した。所属時期は、出土遺物の型式から15世紀後半代と判断される。

SD-12 (図6・7)

I-1グリッドで、SD-11から派生して西へ延び、J-1グリッドに延びる。断面は台形を呈し、覆土はSD-11と一連の堆積を認める。遺物は、かわらけを検出した。所属時期は、SD-11との位置的關係、覆土の堆積状況、出土遺物の型式などから15世紀後半代と判断される。

SD-13 (図6・7)

F-1からK-11グリッドにかけて位置し、北東から南西に緩やかに蛇行しつつ延びる。断面は船底形を呈し、覆土は白色パミスを多量に含む黒褐色土の堆積を認める。遺物は、皆無であったが、覆土中に浅間Aパミスを多量に含むことから、所属時期は、近世に降下するものと判断される。

SD-14 (図6・7)

J-10グリッドで、SD-11から派生して南へ延び、すぐに西へ屈曲してK-10グリッドに延びる。断面はV字状

SD-06 土層説明 (単層)

黒褐色土 白色パミス(径1mm±)、ロームブロック(径1~10mm)を含む。

SD-07 土層説明 (単層)

黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。

SD-08 土層説明 (単層)

黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。

SD-09 土層説明 (単層)

暗褐色土 白色パミス(径1mm±)ロームブロック(径1~10mm)を含む。

SD-10 土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を少量含む。

SD-11・12 土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を少量含む。
- 4 黒色土 ロームブロック(径1~40mm)を含む。
- 5 灰黒色土 ロームブロック(径1mm±)を少量含む。
- 6 黒色土 ロームブロック(径1~20mm)を多量に含み、斑状に堆積する。
- 7 地山風化層
- 8 黒色土 ロームブロック(径1~10mm)、礫(径10~30mm)を少量含む。

SD-13 土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック(径1~2mm)、白色パミス(径1mm±)を多量に含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に含む。

SD-14 土層説明

- 1 黒褐色土 白色パミス(径1mm±)、ロームブロック(径1~10mm)、焼土ブロック(径1mm±)、炭化物とブロック(径1mm±)を含む。
- 2 黒色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に含む。
- 3 黒色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。
- 4 黒褐色土 ロームブロック(径1~50mm)を少量含む。
- 5 黒褐色土 ロームブロック(径1~50mm)を含む。
- 6 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。
- 7 黒色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。
- 8 黒色土 ロームブロック(径1~5mm)礫(径5mm±)を多量に含む。
- 9 黒色土 ロームブロック(径1~5mm)、礫(径5~10mm)、炭化物(径1~10mm)を多量に含む。

SD-23 土層説明 (単層)

黒褐色土 ロームブロック(径1mm±)を少量含む。

SD-24 土層説明 (単層)

黒褐色土 白色パミス(径1mm±)、ロームブロック(径1mm±)を少量含む。

を呈し、覆土はSD-11 D-D'の断面観察からSD-11との一連の堆積を認める。遺物は、皆無であったが、SD-11との位置的關係、覆土の堆積状況などからSD-11と一連の遺構であり、所属時期は、15世紀後半代と判断される。

SD-15 (図8・9)

K-16からM-15グリッドにかけて位置し、東西に直線的に延びる。断面は船底形を呈し、覆土は暗褐色土の堆積を認める。遺物は、内耳土器、かわらけ、硯片を検出した。所属時期は、出土遺物の型式から15世紀後半代と判断される。

SD-16 (図8・9)

K-13からM-13グリッドにかけて位置し、東西に直線的に延びる。断面は台形を呈し、覆土は白色パミスが多量に含む黒褐色土の堆積を認める。遺物は、皆無であったが、覆土中に浅間Aパミスが多量に含むことから、所属時期は、近世に降下するものと判断される。

SD-17 (図8・9)

K-18からN-18グリッドにかけて位置し、東西に直線的に延びる。断面は船底形を呈し、覆土は黒灰褐色土の堆積を認める。遺物は、かわらけの細片若干を検出した。所属時期は、かわらけの出土を認めることから15世紀後半代と推測される。



図8 SD平面図 (3)

SD-18 (図8・9)

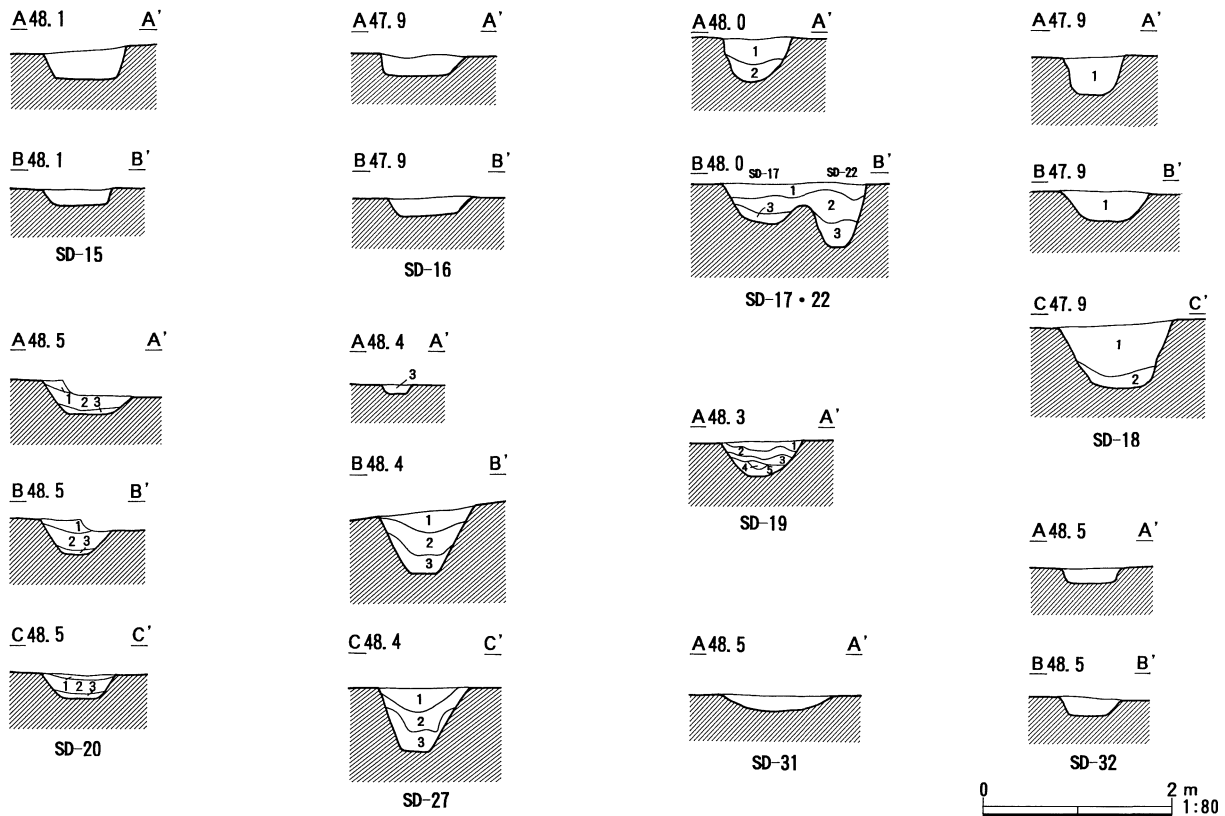
M-12グリッドから西に延び、N-12グリッドで屈曲して南へ延び、N-14グリッドで再び東へ屈曲してM-13グリッドに至る。断面は台形を呈し、覆土は黒褐色土および黒色土の堆積を認める。遺物は、かわらけを検出した。所属時期は、出土遺物の型式から15世紀後半代と判断される。

SD-19 (図8・9)

O-13からQ-13グリッドにかけて位置し、東西に直線的に延びる。断面は台形を呈し、覆土は黒褐色土および黒色土の堆積を認める。遺物は、かわらけの細片若干を検出した。所属時期は、かわらけの出土を認めることから15世紀後半代と推測される。

SD-20 (図8・9)

P-14グリッドから緩やかに蛇行しつつ北へ延び、P-11グリッドで西に大きく彎曲してR-11グリッドに至



SD-15 土層説明 (単層)

黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)、礫(径5~10mm)、炭化物(径10~15mm)を少量含む。

SD-16 土層説明 (単層)

暗褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。

SD-17・22 土層説明

- 1 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~2mm)を多量に含む。
- 2 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に含む。
- 3 黒褐色土 赤色粒子(径1mm±)を含む。

SD-18 土層説明

- 1 黒色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~50mm)を少量含む。

SD-19 土層説明

- 1 黒色土 ロームブロック(径1mm~20mm)、焼土ブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 2 黒色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 4 黄褐色土
- 5 黒褐色土 ロームブロック(径1~50mm)を多量に含む。

SD-20 土層説明

- 1 黒褐色土 白色パミス(径1mm±)、ロームブロック(径1mm±)を多量に含む。
- 2 黒褐色土 白色パミス(径1mm±)を少量、ロームブロック(径1mm±)を多量に含む。
- 3 暗色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。

SD-27 土層説明

- 1 暗褐色土 白色パミス(径1mm±)、ロームブロック(径1mm±)を少量含む。
- 2 褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に含む。
- 3 褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。

SD-31 土層説明 (単層)

黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。

SD-32 土層説明 (単層)

黒褐色土 白色パミス(径1mm±)、ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。

図9 SD土層断面図(3)



図10 SD平面図 (4)

る。断面は船底形を呈し、覆土は白色パミスを多量に含む黒褐色土の堆積を認める。遺物は、皆無であったが、覆土中に浅間Aパミスを多量に含むことから、所属時期は、近世に降下するものと判断される。

SD-21 (図8)

Q-13グリッドに位置し、SD-19に直交して南北に延びる。覆土はSD-19と一連の堆積を認める。所属時期は、SD-19との位置関係や覆土の状況から15世紀後半代と判断される。

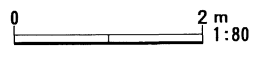
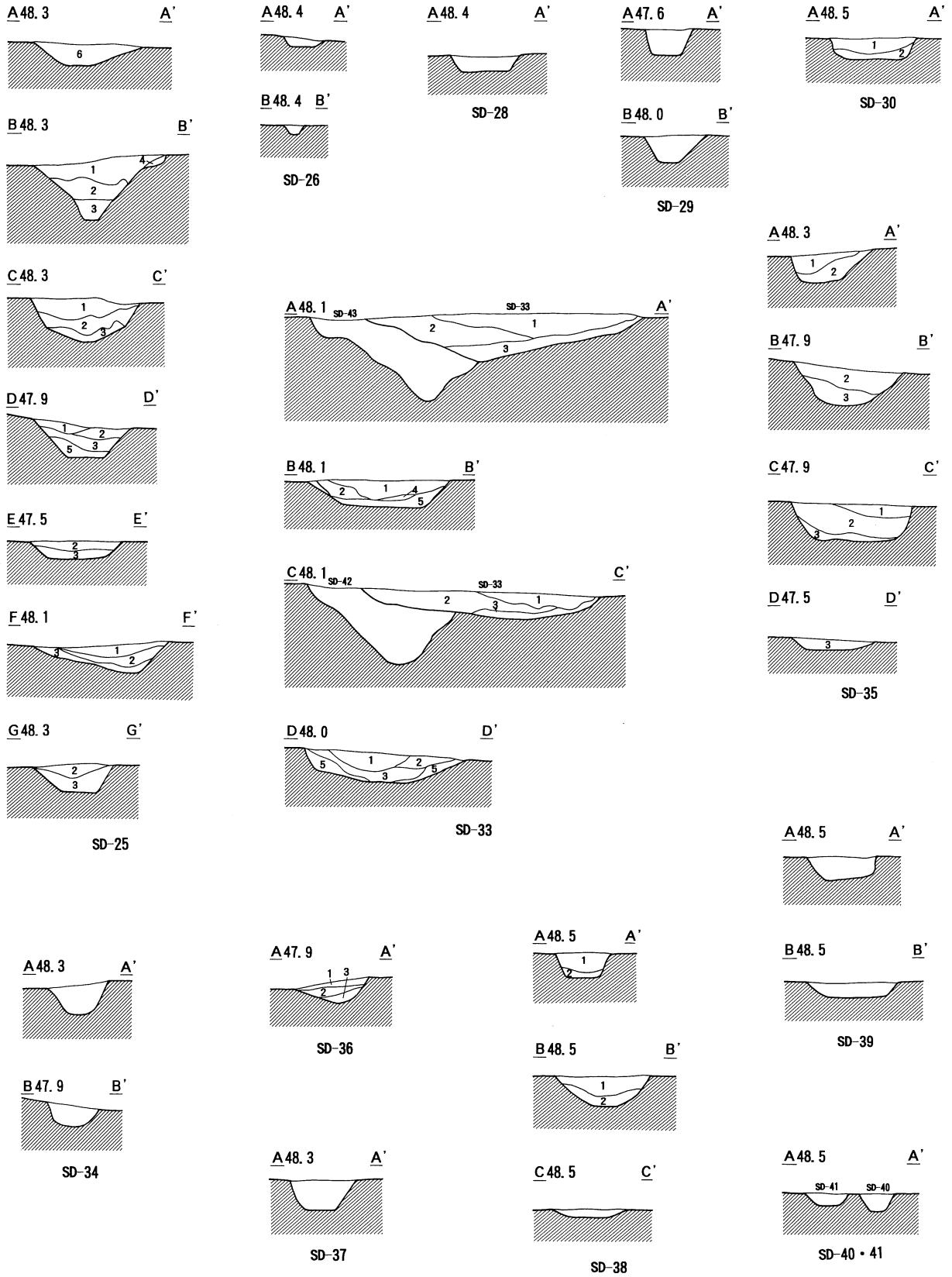


图11 SD 土层断面图 (4)

SD-25 土層説明

- 1 暗灰褐色土 ロームブロック (径1～5mm) を少量含む。
- 2 暗灰褐色土 ロームブロック (径1～5mm) を少量含む、暗灰黄色砂質土ブロック (径30～60mm) を多量に含む。
- 3 暗黄灰色土 ロームブロック (径1～5mm) を少量含む。
- 4 黒色土
- 5 黒色土 ロームブロック (径1～5mm) を少量含む。
- 6 黒灰色土

SD-26 土層説明 (単層)

暗褐色土 ロームブロック (径1～10mm) を少量含む。

SD-28 土層説明 (単層)

暗褐色土 ロームブロック (径1～5mm) を多量に含む。

SD-29 土層説明 (単層)

暗褐色土 白色パミス (径1mm±)、ロームブロック (径1mm±) を少量含む。

SD-30 土層説明

- 1 暗灰褐色土 白色パミス (径1mm±)、ロームブロック (径1～5mm) を少量含む。
- 2 暗褐色土 ロームブロック (径1～5mm) を少量含む。

SD-33 土層説明

- 1 黒色土
- 2 黒灰褐色土 ロームブロック (径1～5mm)、灰褐色土ブロック (径1～5mm) を少量含む。
- 3 黒色土 灰褐色土ブロック (径1～5mm) を少量含む。
- 4 黒色土 ロームブロック (径1～2mm) を少量含む。
- 5 黒色土 ロームブロック (径1～5mm) を多量に含む。

SD-22 (図8・9)

L-18からM-22グリッドにかけて位置する。断面は台形を呈し、18グリッドでSD-19に直交して南北に延びるとともに、M-22でSD-19から派生して西に延びる。断面は台形を呈し、覆土はSD-19と一連の堆積を認める。遺物は、かわらけの細片若干を検出した。所属時期は、かわらけの出土を認めることから15世紀後半代と推測される。

SD-23 (図6・7)

L-10からN-10グリッドにかけて位置する。断面は台形を呈し、覆土は黒褐色土の堆積を認める。遺物は、内耳土器、かわらけの細片若干を検出した。所属時期は、出土遺物の型式は明らかではないが、かわらけの出土を認めることから15世紀後半代と推測される。

SD-24 (図6・7)

N-7からN-10グリッドにかけて位置する。N-7からN-10へ南北に延び、N-10グリッドでは東へ屈曲してSD-23に近接している。SD-23・24は一連の遺構として機能していた可能性が高い。断面は台形を呈し、覆土は

SD-34 土層説明 (単層)

黒褐色土 白色パミス (径1mm±)、ロームブロック (径1～5mm) を少量含む。

SD-35 土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック (径1～5mm) を多量に、白色パミス (径1mm±)、焼土ブロック (径1～5mm) を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック (径1～5mm) を少量含む。
- 3 暗褐色土 ロームブロック (径1～5mm) を少量含む。

SD-36 土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック (径1～5mm) を少量含む。
- 2 暗褐色土 ロームブロック (径1～5mm) を少量含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック (径1～10mm) を多量に含む。

SD-37 土層説明 (単層)

黒褐色土 ロームブロック (径1～20mm) を少量含む。

SD-38 土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック (径1～20mm) を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック (径1～10mm) を多量に含む。

SD-39 土層説明 (単層)

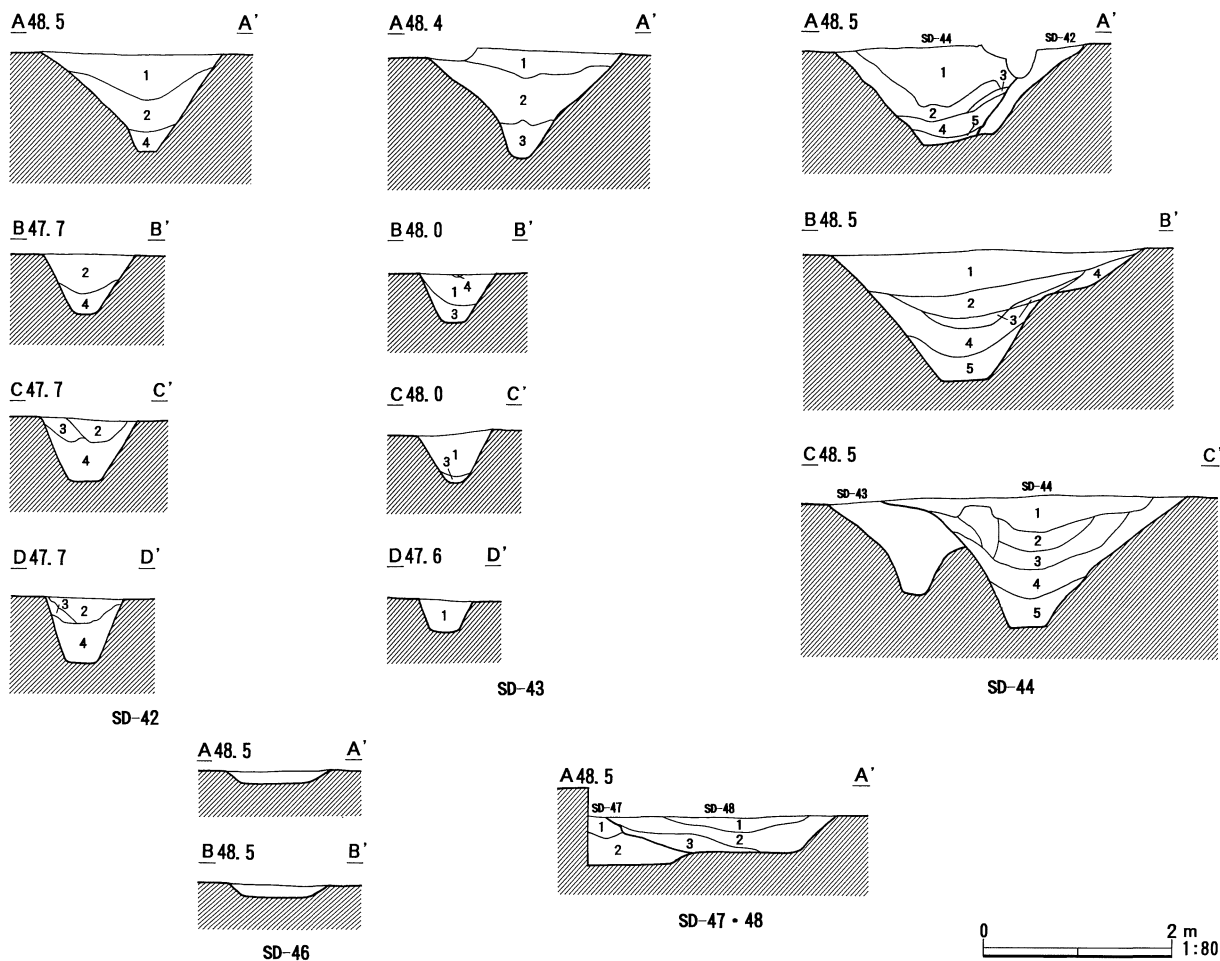
黒褐色土 ロームブロック (径1～20mm) を少量含む。

SD-40 土層説明 (単層)

黒褐色土 ロームブロック (径1～5mm) を少量含む。

SD-41 土層説明 (単層)

黒褐色土 ロームブロック (径1～15mm) を少量含む。



SD-42 土層説明

- 1 暗褐色土 ロームブロック（径1～35mm）を多量に含み、斑状に呈する。
- 2 黒褐色土 ロームブロック（径1～5mm）を少量含む。
- 3 暗褐色土 ロームブロック（径1～5mm）を少量含む。
- 4 黒褐色土 ロームブロック（径1～10mm）を多量に含む。

SD-43 土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック（径1～10mm）を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック（径1～5mm）を少量含み、1層に比べてやや黒味を帯びる。
- 3 黒色土 ロームブロック（径1～5mm）を少量含む。

SD-44 土層説明

- 1 灰褐色土
- 2 暗灰褐色土
- 3 暗灰褐色土 ロームブロック（径1～2mm）を少量含む。
- 4 黒褐色土 ロームブロック（径1～5mm）を少量含む。
- 5 黒褐色土 ロームブロック（径1～15mm）、灰白色粘質土ロームブロック（径1～5mm）を少量含む。

SD-46 土層説明（単層）

- 黒褐色土 ロームブロック（径1mm±）を少量含む。

SD-47 土層説明

- 1 黒色土
- 2 黒褐色土 ロームブロック（径1～5mm）、炭化物ブロック（径1mm±）を少量含む。

SD-48 土層説明

- 1 黒灰褐色土
- 2 黒灰褐色土 ロームブロック（径1mm±）を少量含み、灰褐色土ブロック（径1～5mm）を多量に含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック（径1～5mm）を多量に含む。

図12 SD土層断面図 (5)

黒褐色土の堆積を認める。遺物は、かわらけの細片若干を検出した。所属時期は、かわらけの出土を認めることから15世紀後半代と推測される。

SD-25 (図10・11)

SD-25は発掘区中央の埋没谷奥部に位置する方形区画溝である。V-6グリッドから北に延び、V-4グリッドで東へ屈曲し、N-5グリッドで再び南へ屈曲し、さらにO-10で西へ屈曲してP-10グリッドに至る。発掘区中央の埋没谷にかかるO-7～9グリッドでは現状で部分的途切れる箇所があり、南側は、P-10グリッド以西では確認できない。東西80m、南北55mを測る方形区画を形成する。北側台地上ではSD-36、SD-38、SD-44などがSD-25から派生して北方へ延びており、これらの溝と有機的に関連しつつ機能していたものと考えられる。なお、T-4グリッドでSD-42と、U-4グリッドでSD-43と重複するが、SD-25はともにこれらの覆土を切って掘削されている。覆土は暗灰黄色土および黒色土の堆積を認める。遺物は、青磁碗、内耳土器、火鉢、かわらけ、切羽を検出した。所属時期は、SD-36、SD-38、SD-44などとの関係や出土遺物の型式から15世紀後半代と判断される。

SD-26 (図10・11)

O-10に位置する。断面は台形を呈し、覆土は暗褐色土の堆積を認める。遺物は、皆無であり、所属時期は、不明である。

SD-27 (図8・9)

O-10からS-11グリッドにかけて位置する。断面は台形を呈し、覆土は暗褐色土および褐色土の堆積を認める。遺物は、皆無であった。所属時期の詳細については不明であるが、褐色形の覆土の堆積を認めることから近世以降の溝と推測される。

SD-28 (図10・11)

O-10に位置する。SD-25から東に派生し、SD-23と軸線を同じくしている。断面は台形を呈し、覆土は暗褐色土の堆積を認める。遺物は、皆無であった。所属時期は、SD-25と一連の遺構と考えられること、SD-23と有意な位置関係にあることなどから15世紀後半代と判断される。

SD-29 (図10・11)

O-9からO-10グリッドにかけて位置する。断面は台形を呈し、覆土は暗褐色土の堆積を認める。遺物は、皆無であり、所属時期は、不明である。

SD-30 (図10・11)

P-9からO-9グリッドにかけて位置する。断面は台形を呈し、覆土は暗灰褐色土および暗褐色土の堆積を認める。遺物は皆無であった。所属時期は、不明であるが、SD-23と一連の溝と推測される。

SD-31 (図8・9)

P-10からP-11グリッドにかけて位置する。SD-25とは直接に連続しないが有意な関係を想定しうる。断面は船底形を呈し、覆土は黒褐色土の堆積を認める。遺物は、かわらけの細片若干を検出した。所属時期は、かわらけの出土を認めることから15世紀後半代と推測される。

SD-32 (図8・9)

N-10からN-12グリッドにかけて位置し、南北に蛇行している。断面は台形を呈し、覆土は黒褐色土の堆積を認める。遺物は、皆無であり、所属時期は、不明である。

SD-33 (図10・11)

SD-25の南側に並行し、O-5からU-4グリッドにかけて位置する。掘り込みが浅く、S-5グリッドで一旦途切れている。断面は台形ないし船底形を呈する。T-4・5グリッドでSD-42と、U-4グリッドでSD-43と重複するが、SD-33はともにこれらの覆土を切って掘削されている。覆土は黒灰褐色土および黒色土の堆積を認める。遺物は白磁小皿、かわらけ、不明銅製品を検出した。所属時期は、SD-25に並行する位置関係や、出土遺物の型式から15世紀後半代と判断される。

SD-34 (図10・11)

O-1からO-4グリッドにかけて位置する。緩やかに蛇行しつつ、南北に延びる。溝幅の変移が大きい。断面は船底形を呈し、覆土は黒褐色土の堆積を認める。遺物は皆無であった。所属時期の詳細については不明であるが、近世以降の溝と推測される。

SD-35 (図10・11)

Q-1からP-11グリッドにかけて位置する。緩やかに蛇行しつつ、発掘区中央の埋没谷を跨ぎ、南北のローム台地に及んでいる。断面は台形ないし船底形を呈し、覆土は黒褐色土及び暗褐色土の堆積を認める。遺物は、かわらけ、鉄釘を検出した。SD-25・33・36・38・39、SF-54などの中世の溝、方形竪穴をことごとく切っていることから、所属時期は、近世に降下するものと判断される。

SD-36 (図10・11)

P-3・4グリッドに位置する。SD-25から派生し、北へ延びる。断面は船底形を呈し、覆土は黒褐色土及び暗褐色土の堆積を認める。遺物は、かわらけを検出した。所属時期は、SD-25との位置関係や、出土遺物の型式から15世紀後半代と判断される。

SD-37 (図10・11)

O-2グリッドに位置する。断面は台形を呈し、覆土は黒褐色土の堆積を認める。遺物は、かわらけを検出した。所属時期の詳細については不明であるが、関係に近いかわらけを検出した点や、覆土の状況から、15世紀後半代に該当する可能性も考えられる。

SD-38 (図10・11)

P-1でSD-25から派生し、Q-4グリッドまで北へ延び、さらに調査区外に延長している。断面は台形ないし船底形を呈し、覆土は黒褐色の堆積を認める。遺物は、かわらけを検出した。所属時期は、SD-25との位置関係や、出土遺物の型式から15世紀後半代と判断される。

SD-39 (図10・11)

Q-4でSD-38から派生し、O-3グリッドまで東へ延びる。断面は台形を呈し、覆土は黒灰褐色土および黒色土の堆積を認める。遺物はかわらけを検出した。SD-38との連続性やSD-25に並行する位置関係から、所属時期は、これらの遺構と同じく15世紀後半代に該当するものと推定される。

SD-40 (図10・11)

O-2グリッドに位置する。断面は台形を呈し、覆土は黒褐色土の堆積を認める。遺物は、耳皿片のほか、かわらけの細片若干を検出した。中世の遺物を出土しているものの、確実に本遺構に伴う資料ではないと考えられ、所属時期の詳細については不明である。

SD-41 (図10・11)

O-2グリッドに位置する。断面は台形を呈し、覆土は黒褐色土の堆積を認める。遺物は、皆無であり、所属時期は、不明である。

SD-42 (図10・12)

T-0 からT-10グリッドにかけて位置する。V字状の断面形を呈し、北から南に向かって幅を減じながら直線的に伸びている。覆土は、黒褐色土ないし暗褐色土の堆積を認める。T-0・1グリッドでSD-44とT-4・5グリッドでSD-25・33と重複するが、土層観察ではいずれもこれらの溝の掘削によって覆土が切られている。遺物は、皆無であったため所属時期の詳細については不明であるが、15世紀前半以前に遡る年代が考えられる。

SD-43 (図10・12)

U-0 からT-7グリッドにかけて位置する。V字状の断面形を呈し、SD-42と同様に北から南に向かって幅を減じながら直線的に伸びているが、完全には並行せず両溝の間隔は北から南に向かって狭くなっている。覆土は、黒褐色土ないし暗褐色土の堆積を認める。U-3・4グリッドでSD-25・33・44と重複するが、土層観察ではいずれもこれらの溝の掘削によって覆土が切られている。遺物は、皆無であったため所属時期の詳細については不明であるが、SD-42と同様、15世紀前半以前に遡る年代が考えられる。

SD-44 (図10・12)

U-3グリッドでSD-25から派生し、T-0グリッドまで伸び、さらに調査区外に延長している。T-2、U-2グリッドで幅の拡大する箇所があり、橋脚の痕跡と考えられるピットが両側斜面部と溝底に遺存している。V字状の断面形を呈し、最大幅3.5m、最大深度1.4mを測る。覆土は灰褐色土および黒褐色土の堆積を認める。遺物は、青磁碗、古瀬戸播鉢、在土器播鉢、内耳土器、三足香炉、大型品を含む多量のかわらけ、硯、板碑、銅製刀装具、鉄製刀子、鉄釘を検出した。所属時期は、出土遺物の型式から15世紀後半代と判断される。

SD-45 (図10)

調査区の西縁に沿って、U-1グリッドに位置する。掘り込みが浅く、南側は漸次消滅している。遺物は、皆無であった。所属時期の詳細については不明であるが、近世に降下すると推測される。

SD-46 (図10・12)

S-1からS-3グリッドにかけて所在する。掘り込みは浅く、断面は台形を呈する。覆土は、焼土ブロックを含む黒色土の堆積を認める。遺物は、焼土ブロックとともにかわらけの細片を検出した。所属時期は、かわらけの細片を一定量出土することから15世紀後半代と判断される。

SD-47 (図10・12)

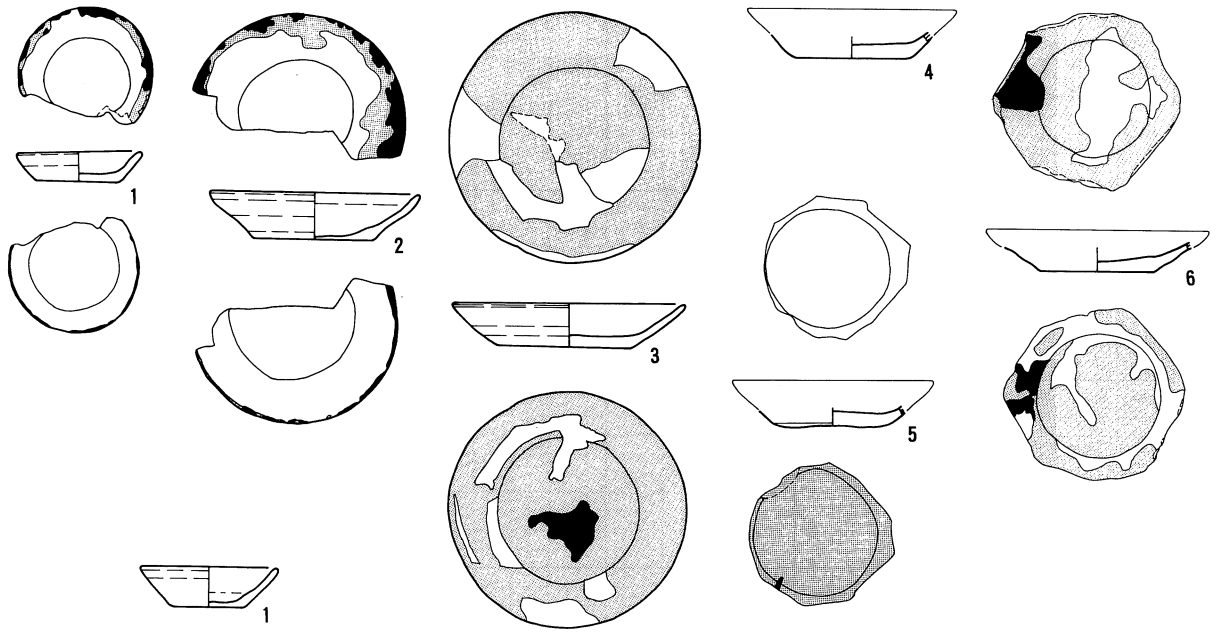
調査区の北縁に沿って、R-1からT-0グリッドにかけて位置する。北側が調査区外にあり、さらに重複するSD-48により切られているため規模は明らかではないが、SD-44から東方へ向かって派生する溝らしい。遺物は、SD-44と同型式のかわらけを検出した。所属時期は、出土遺物の型式から15世紀後半代と判断される。

SD-48 (図10・12)

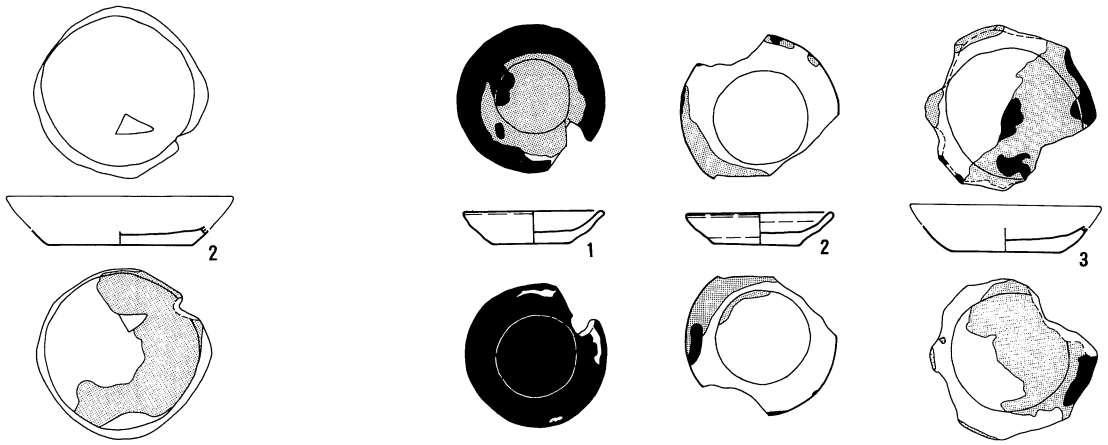
調査区の北縁に沿って、R-1からS-0グリッドにかけて位置する。SD-47の覆土を切って掘削されている。遺物は、皆無であった。所属時期の詳細については不明であるが、SD-47との関係から近世に降下すると推測される。

SD-49 (図10)

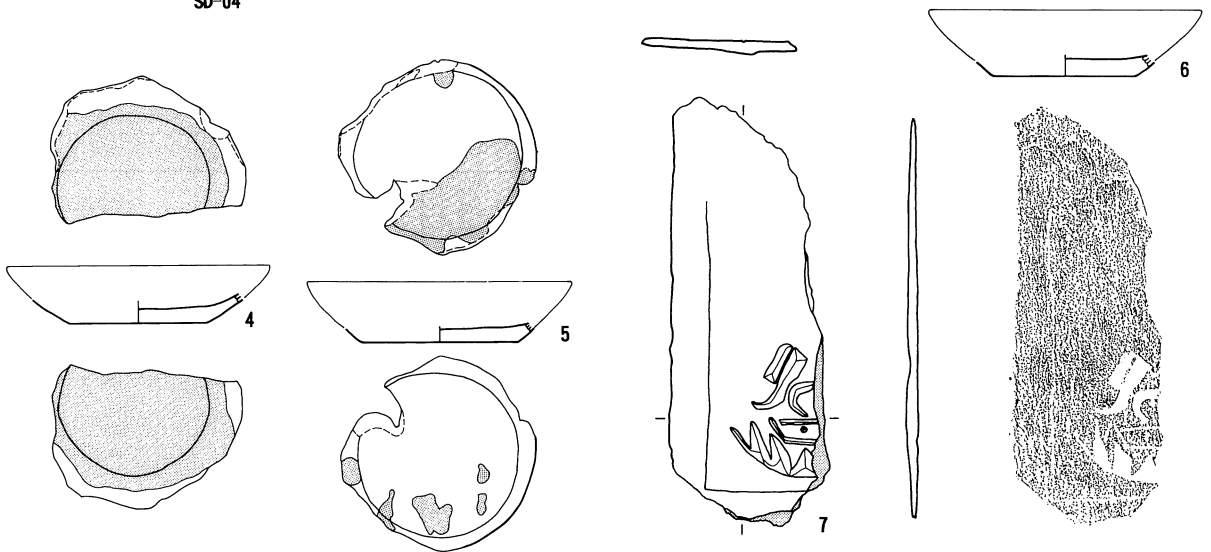
T-2・3グリッドに位置する。南北に直線的に延び、T-3グリッドで、東へ屈曲する。断面は台形を呈し、覆土は暗灰褐色土の堆積を認める。遺物は皆無であった。所属時期の詳細については不明であるが、近世以降の溝と推測される。



SD-02



SD-04



SD-05

图13 SD 出土遺物 (1)

0 10cm 1:4

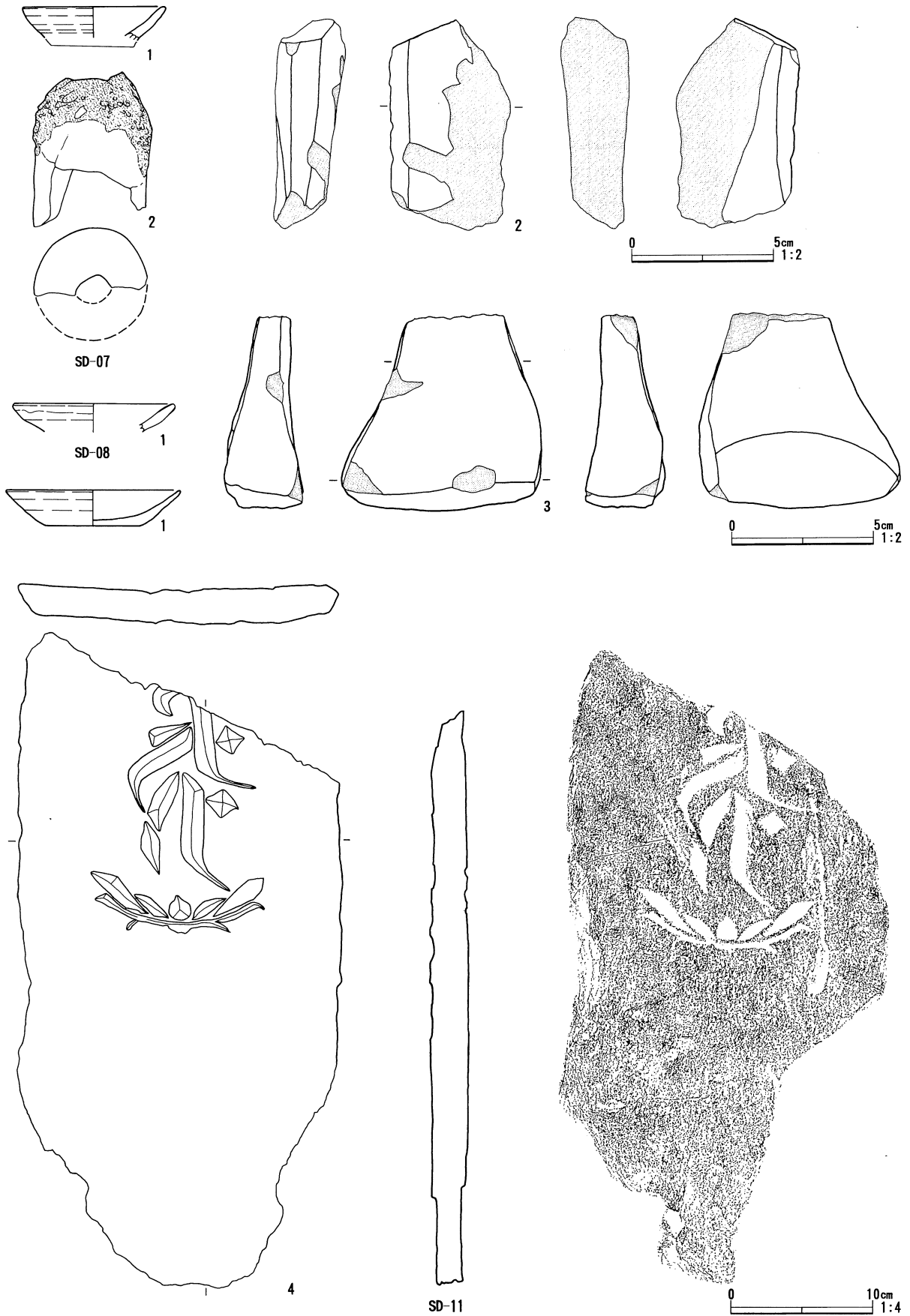
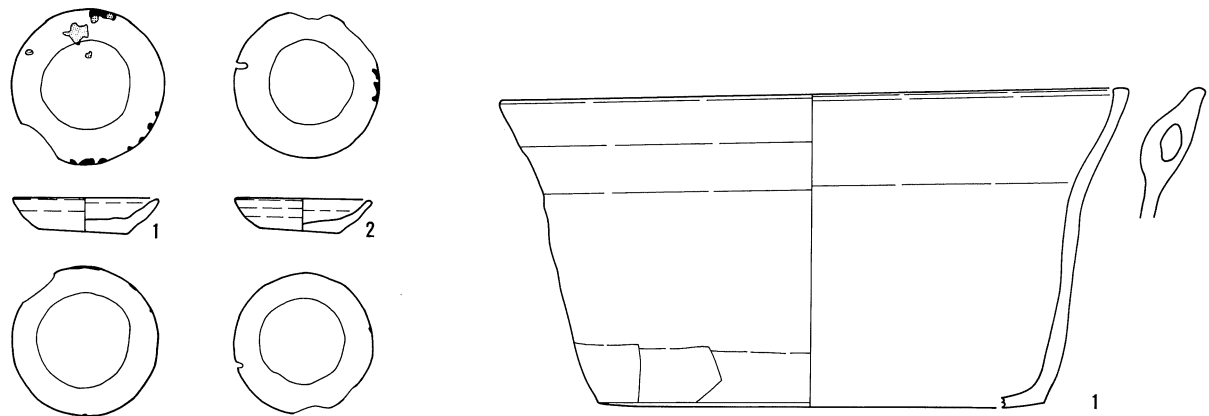
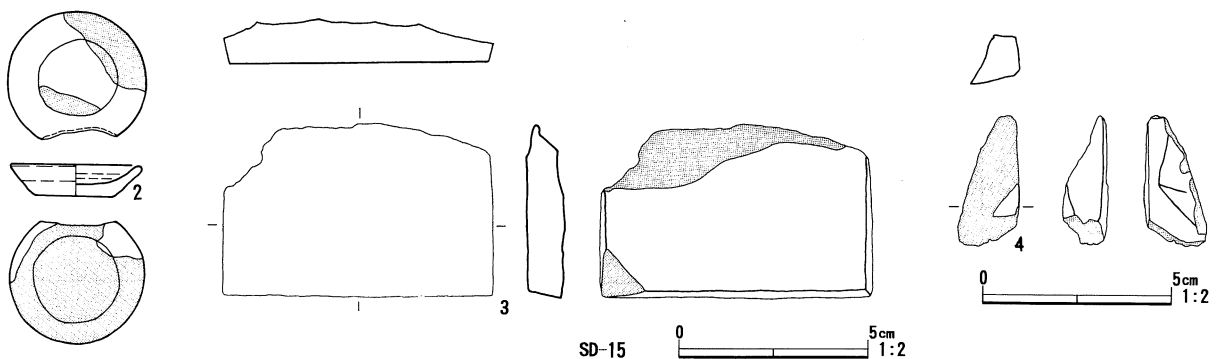


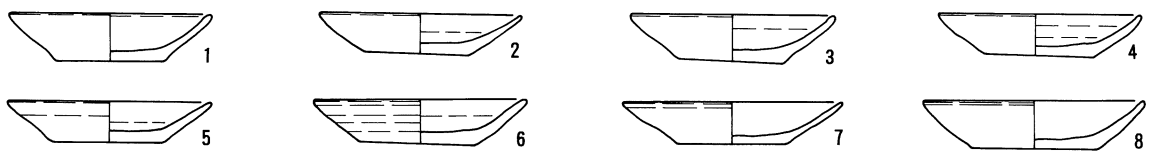
图14 SD 出土遺物 (2)



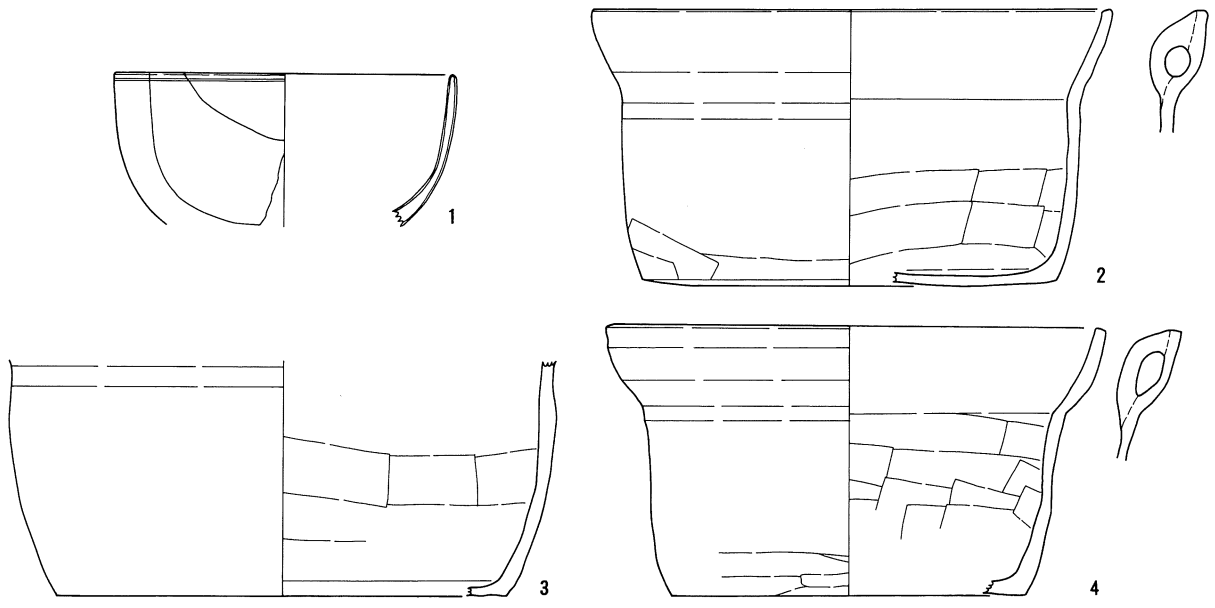
SD-12



SD-15



SD-18



SD-25

图15 SD 出土遺物 (3)

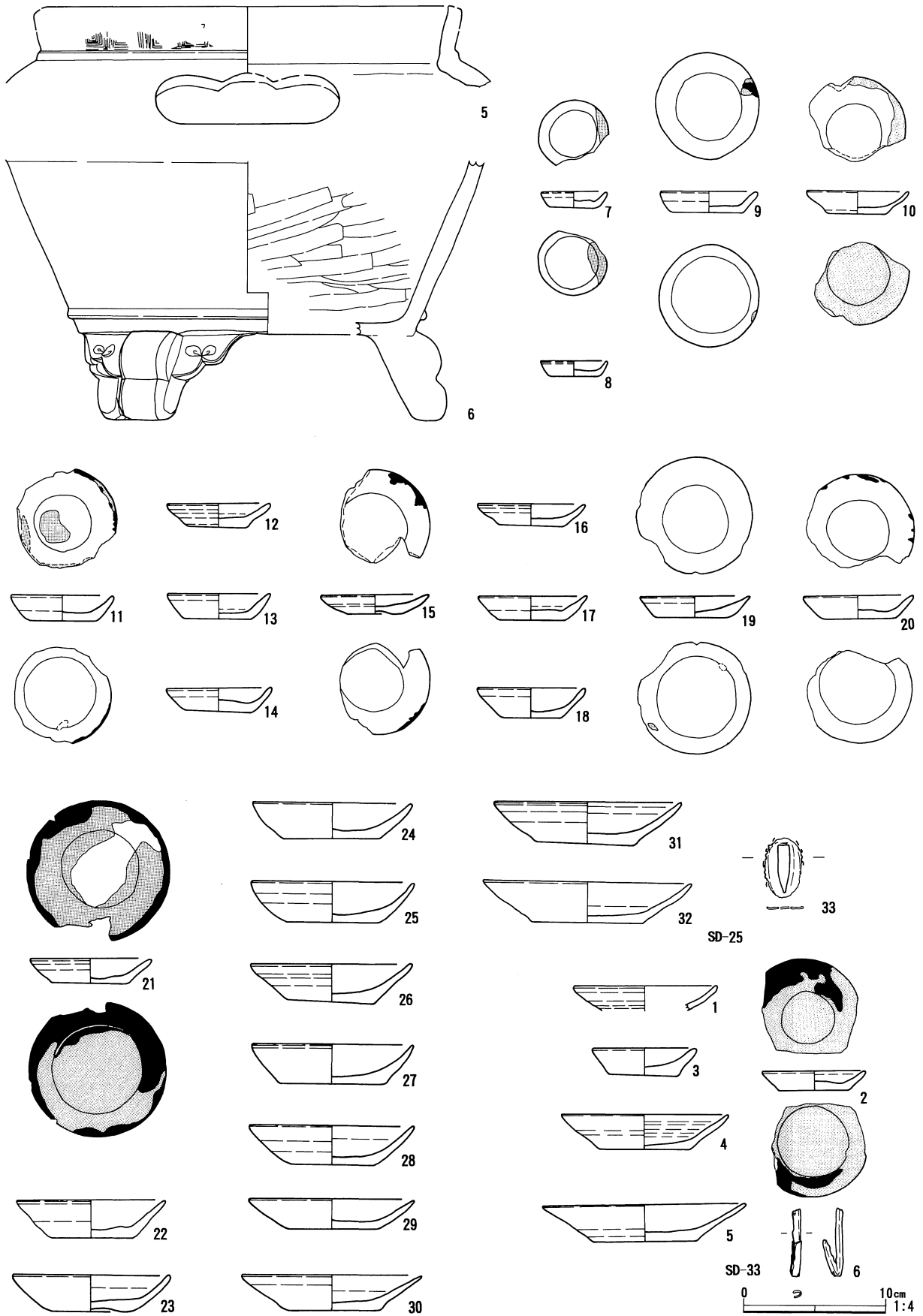


图16 SD 出土遺物 (4)

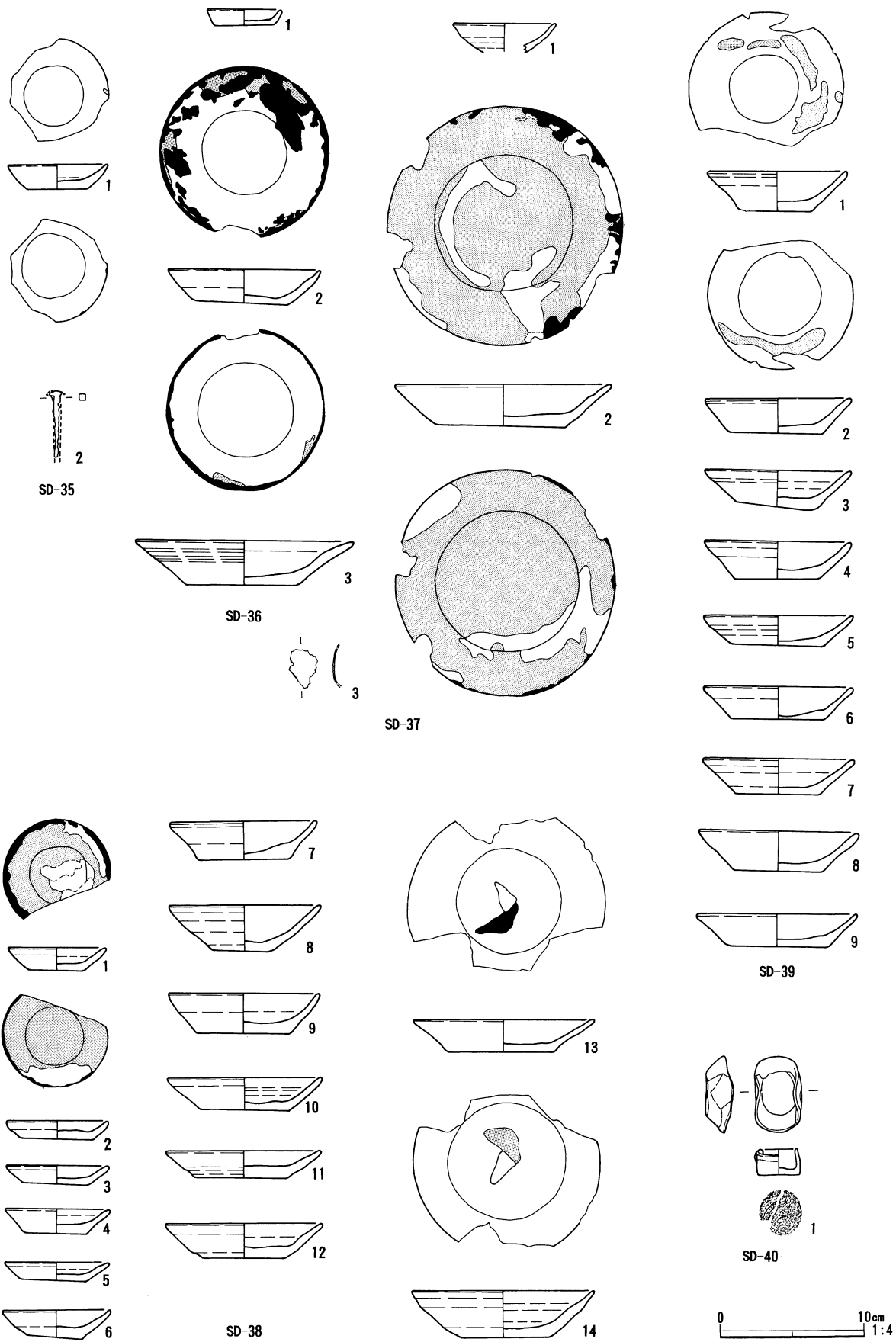
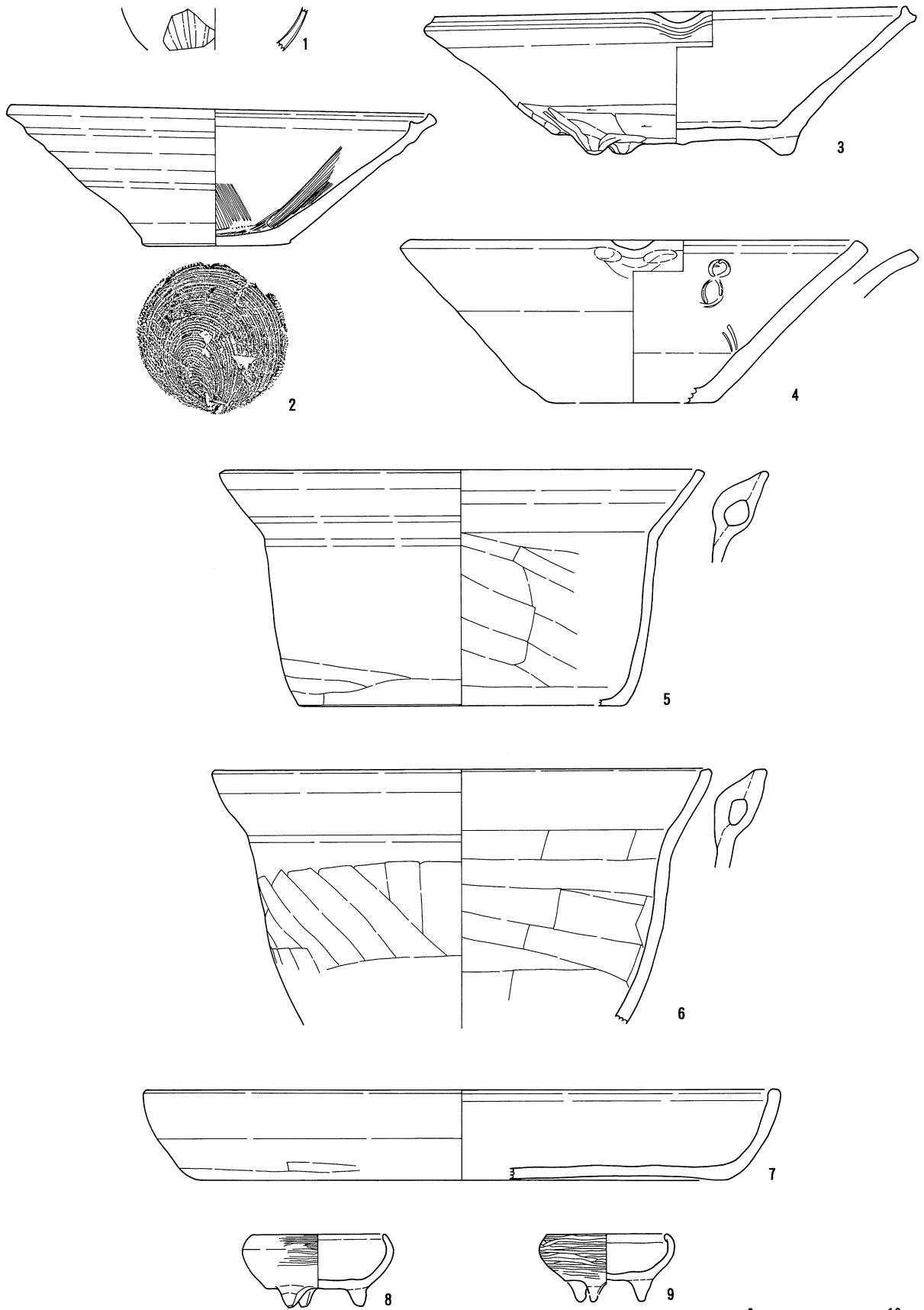


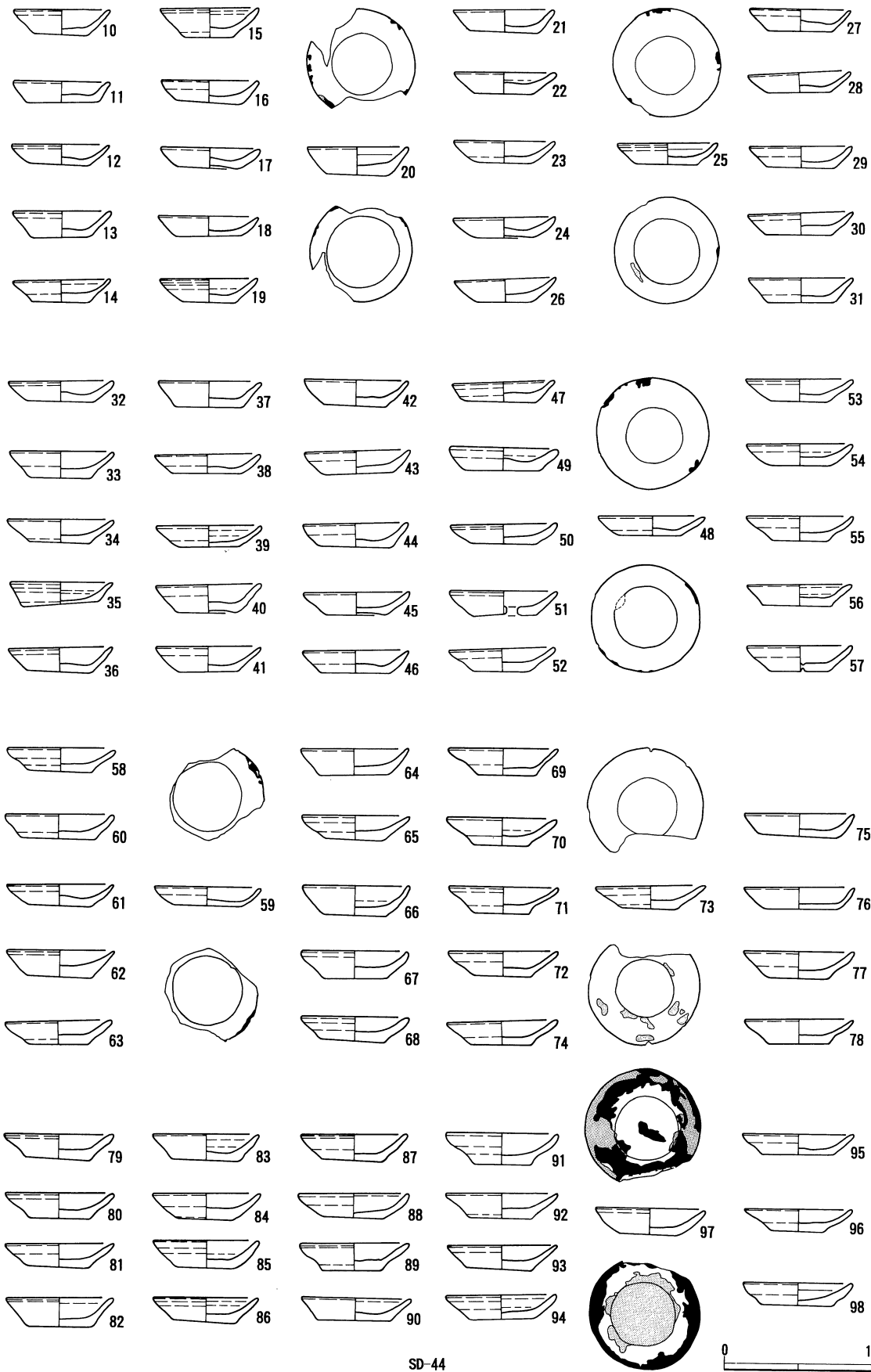
图17 SD 出土遺物 (5)



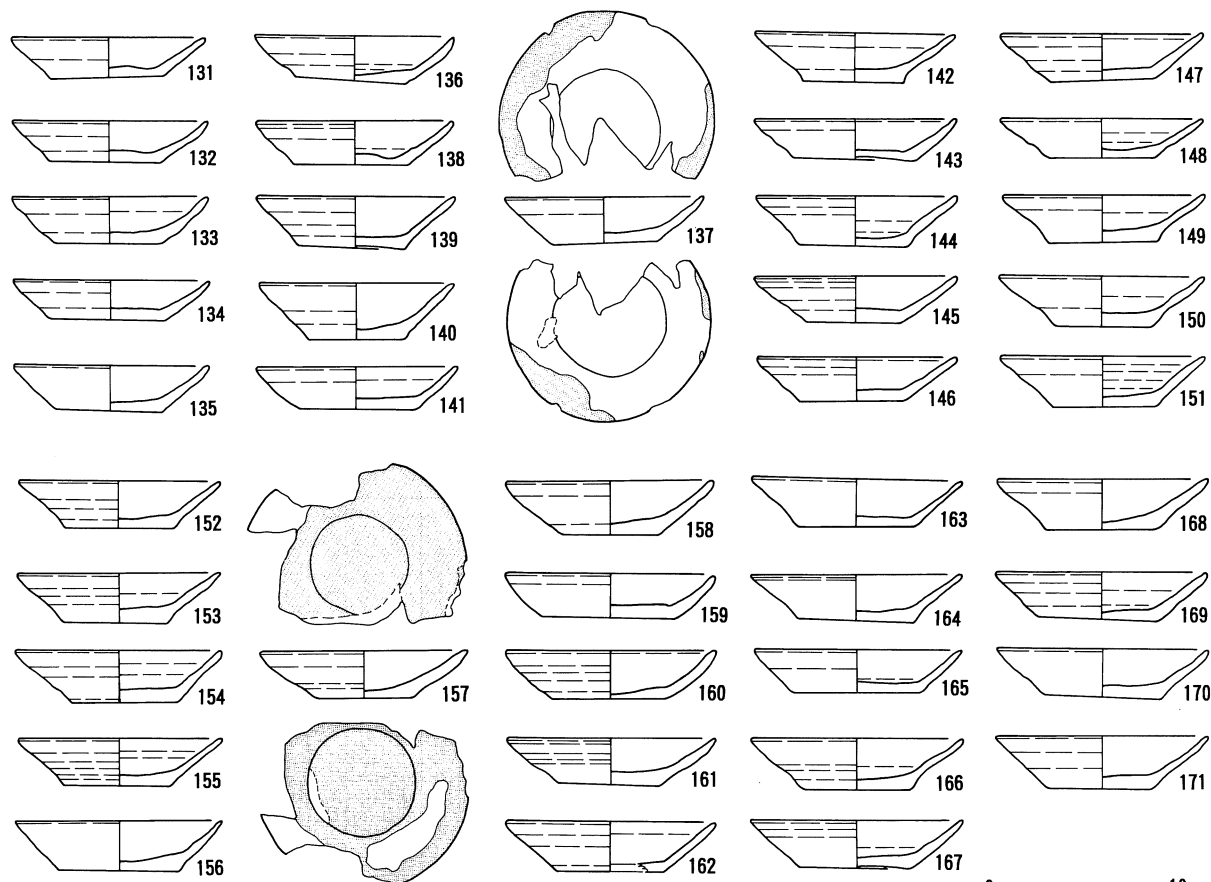
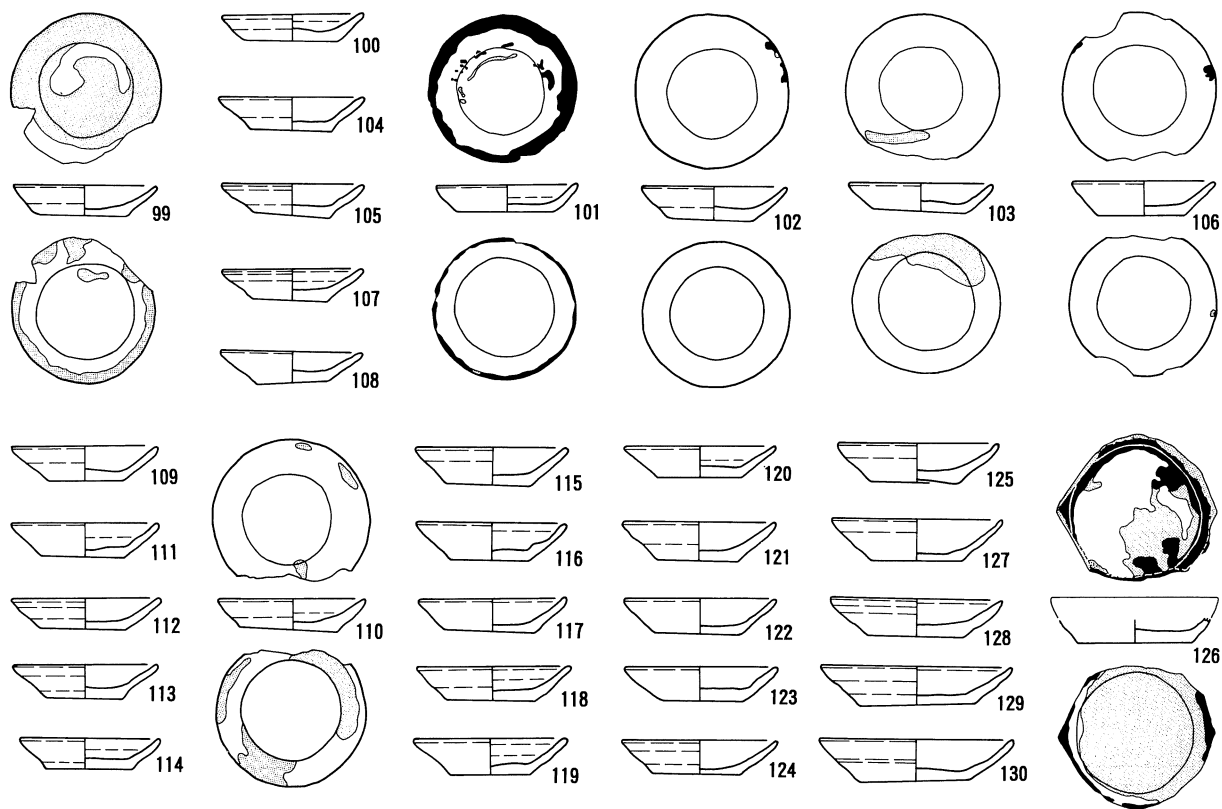
SD-44

图18 SD 出土遺物 (6)

0 10cm 1:4



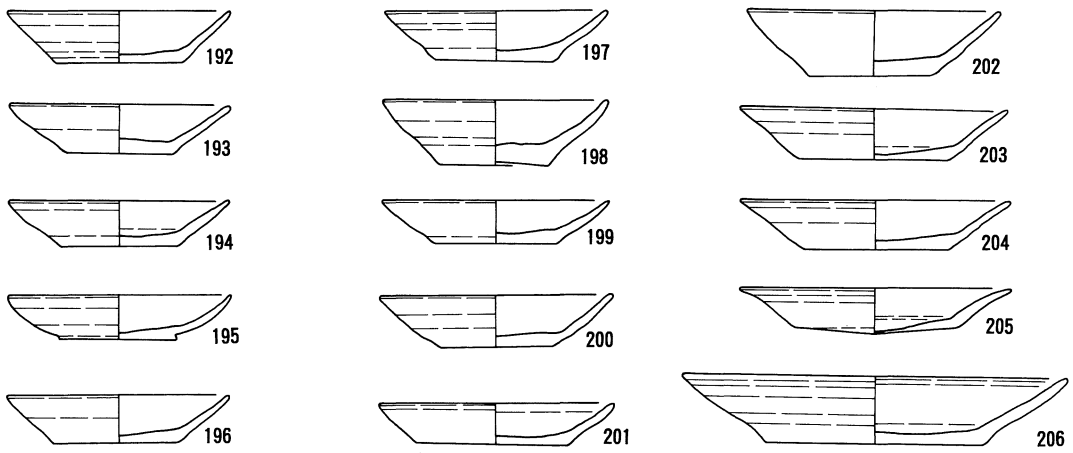
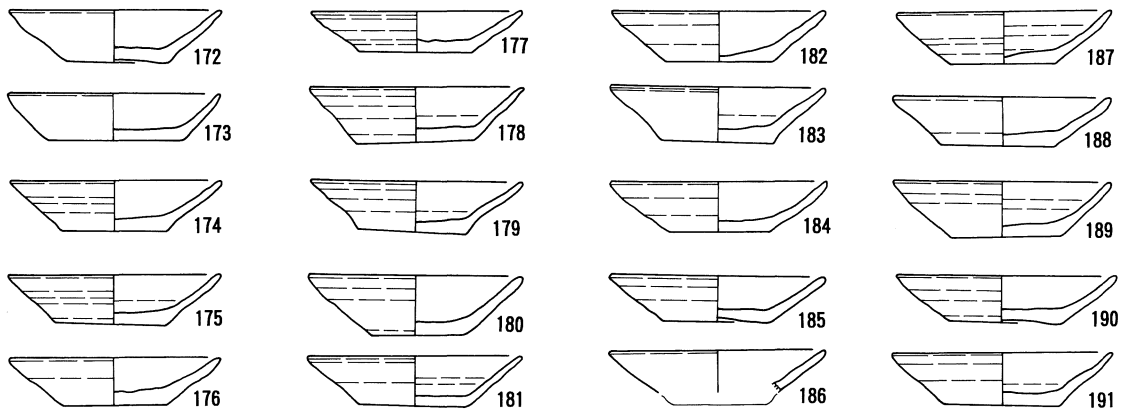
SD-44
图19 SD出土遺物 (7)



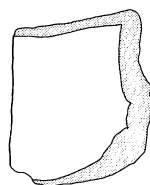
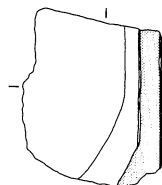
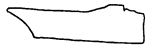
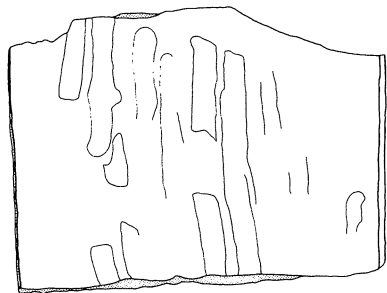
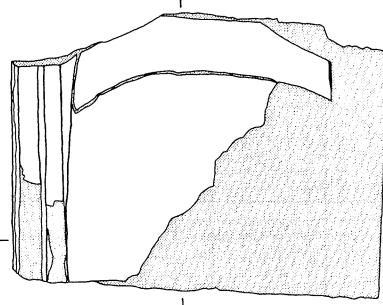
SD-44



图20 SD 出土遺物 (8)



0 10cm 1:4

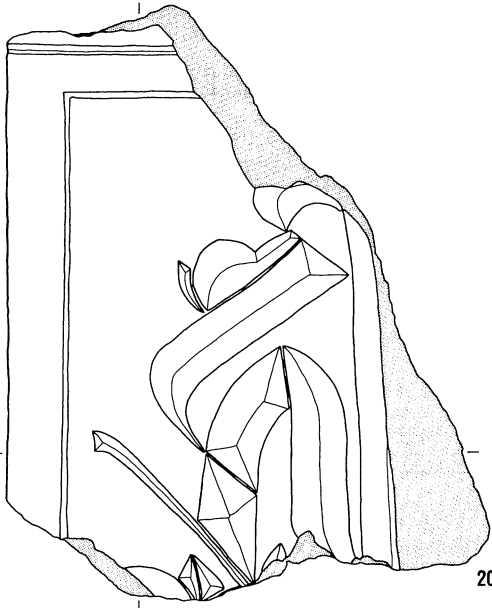
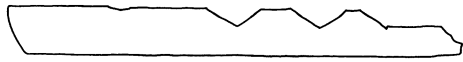


208

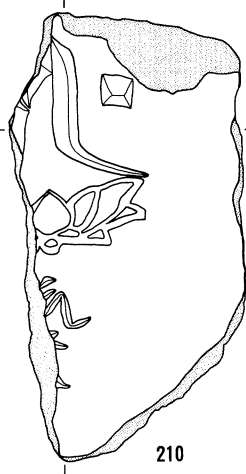
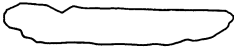
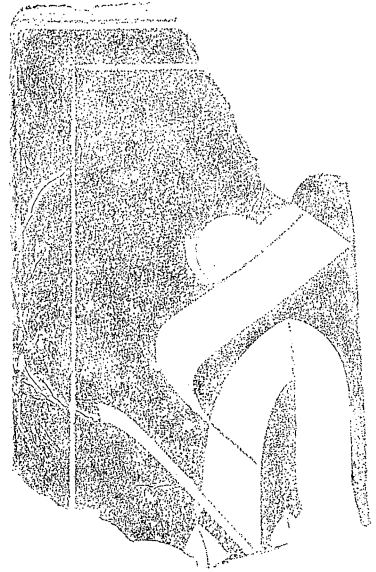
SD-44

0 5cm 1:2

图21 SD 出土遺物 (9)



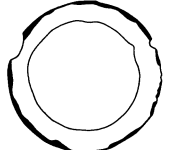
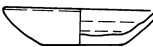
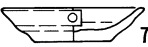
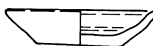
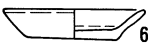
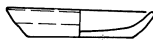
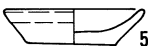
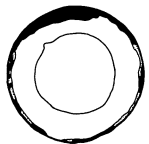
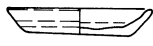
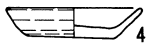
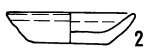
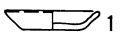
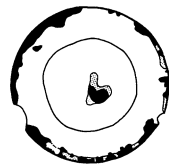
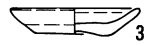
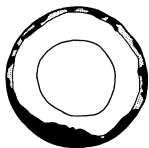
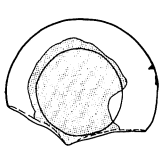
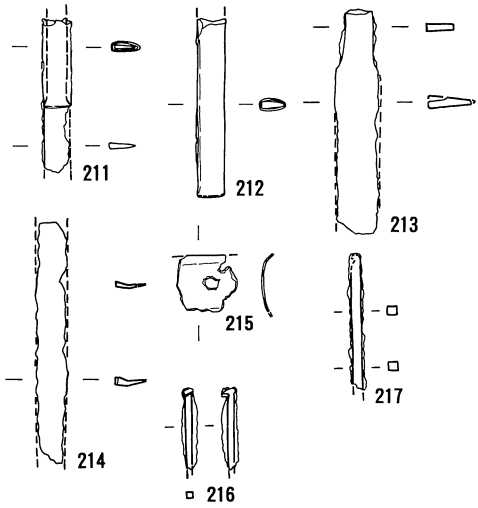
209



210



SD-44



SD-47

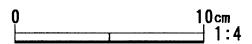


图22 SD 出土遺物 (10)

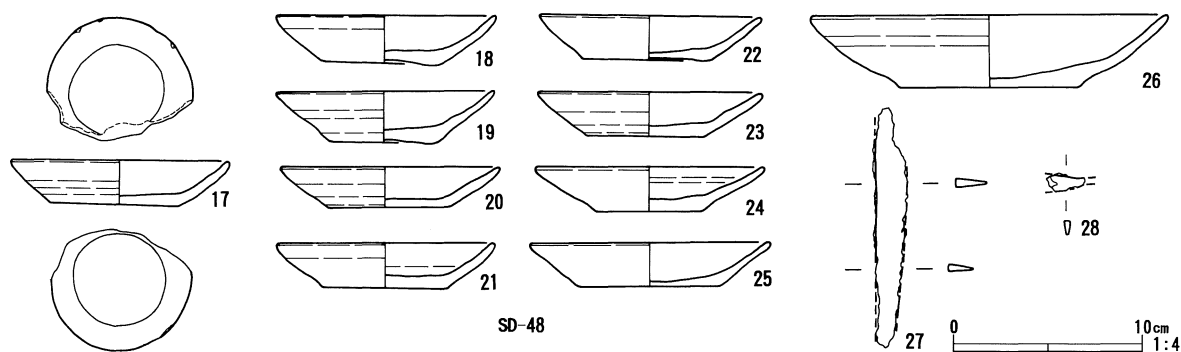


図23 SD 出土遺物 (11)

SD-02

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 6.7 底径 4.4 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/5 欠損。煤付着。
2	中世土器 かわらけ	口径 — 底径 6.4 器高 —		体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	灰褐色	口縁部欠損。煤付着。
3	中世土器 かわらけ	口径 (11.2) 底径 6.3 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部回転糸切り。底部内面横ナデ。	橙色	1/2。底部外面木目圧痕。煤付着。
4	中世土器 かわらけ	口径 — 底径 6.1 器高 —		体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい黄橙色	口縁部欠損。
5	中世土器 かわらけ	口径 — 底径 6.1 器高 —		体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部欠損。煤付着。
6	中世土器 かわらけ	口径 12.4 底径 7.1 器高 2.3	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	橙色	ほぼ完形。煤付着。

SD-04

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 (7.3) 底径 3.8 器高 2.1	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部右回転糸切り。	浅黄橙色	口縁部 2/5 欠損。
2	中世土器 かわらけ	口径 — 底径 7.7 器高 —		体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部欠損。煤付着。

SD-05

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 7.5 底径 4.1 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部一部欠損。煤付着。
2	中世土器 かわらけ	口径 7.8 底径 4.6 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。煤付着。
3	中世土器 かわらけ	口径 — 底径 5.8 器高 —		体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部欠損。煤付着。

4	中世土器 かわらけ	口径 — 底径 7.3 器高 —		体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	にぶい黄橙色	口縁部欠損。底部1/3欠損。煤付着。
5	中世土器 かわらけ	口径 — 底径 8.2 器高 —		体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい黄橙色	口縁部欠損。煤付着。
6	中世土器 かわらけ	口径 — 底径 7.6 器高 —		体部ロクロ整形。底部回転糸切り。	橙色	口縁部欠損。
No.	種類	器種	法 量 (cm・g)			備考
7	石製品	板 碑	長さ(22.6) 幅(8.5) 厚さ(0.7)			緑泥片岩。

SD-07

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 10.1 底径 — 器高 —	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部1/6欠損。底部欠損。
2	羽 口	直径 8.0 孔径 2.5				

SD-08

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	古瀬戸 小皿	口径(11.4) 底径 — 器高 —	緩やかに立ち上がる口縁部。	体部ロクロ整形。	内外一鈍い黄橙色、釉はオリープ灰色	口縁部～体部中位1/4。内外面灰釉。

SD-11

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径(12.4) 底径 6.6 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部9/10欠損。
No.	種類	器種	法 量 (cm・g)			備考
2	石製品	砥 石	長さ(6.2) 幅 6.7 厚さ2.5			凝灰岩。
3	石製品	砥 石	長さ(7.4) 幅(4.2) 厚さ1.7			凝灰岩。
4	石製品	板 碑	長さ(46.0) 幅22.5 厚さ2.7			緑泥片岩。

SD-12

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 7.3 底径 4.1 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部1/2欠損。煤付着。
2	中世土器 かわらけ	口径 7.7 底径 4.7 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で肥厚する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部一部欠損。煤付着。

SD-15

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 内耳鍋	口径 33.5 底径 23.7 器高 17.0	直線的に開く口縁部。	外面一ロクロ整形、胴部上・中位ナデ、下位横位ヘラナデ。内面一ロクロ整形、胴部ヘラナデ。	黒色粒・雲母 内外一黒褐色	底部欠損。
2	中世土器 かわらけ	口径 7.0 底径 4.2 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部1/5欠損。煤付着。
No.	種類	器種	法 量 (cm・g)			備考
3	石製品	硯	長さ(4.5) 幅 7.0 厚さ(1.2)			粘板岩。
4	石製品	硯	長さ(3.5) 幅(1.2) 厚さ 1.2			粘板岩。

SD-18

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 (10.8) 底径 5.7 器高 2.6	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/5 欠損。
2	中世土器 かわらけ	口径 10.9 底径 5.6 器高 2.1	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/4 欠損。
3	中世土器 かわらけ	口径 10.9 底径 5.7 器高 2.5	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 2/5 欠損。
4	中世土器 かわらけ	口径 10.9 底径 5.9 器高 2.2	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 2/5 欠損。
5	中世土器 かわらけ	口径 10.9 底径 5.8 器高 2.2	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/6 欠損。
6	中世土器 かわらけ	口径 11.4 底径 6.3 器高 2.3	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/5 欠損。
7	中世土器 かわらけ	口径 (11.8) 底径 5.9 器高 2.2	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/4 欠損。
8	中世土器 かわらけ	口径 11.8 底径 6.8 器高 2.5	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/4 欠損。

SD-25

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	青磁 碗	口径 (18.0) 底径 — 器高 —		体部ロクロ整形。	夾雑物なし 灰オリーブ色	口縁～体部破片。
2	中世土器 内耳鍋	口径 27.4 底径 22.0 器高 14.6	彎曲気味に開く口縁部。	外面—ロクロ整形、胴部ナデ、 底部ヘラナデ。内面—ロクロ整形、 胴部横位ヘラナデ。	白色粒 内外—黒色	2/3。
3	中世土器 内耳鍋	口径 — 底径 (24.0) 器高 —	膨らみのない胴部。	外面—ロクロ整形、胴部上半ナデ、 下半ヘラナデ。内面—ロクロ整形、 胴部横位ヘラナデ。	白色粒 内外—黒～鈍い 橙色	胴部上位～底部 1/8。
4	中世土器 内耳鍋	口径 25.0 底径 18.8 器高 14.3	彎曲して開く口縁部。	外面—ロクロ整形、胴部上・中位 ナデ、下位～底部ヘラナデ。内 面—ロクロ整形、胴部横位ヘラ ナデ。	白色粒・黒色粒 内外—黒褐～鈍 い黄橙色	2/3。
5	中世土器 火鉢	口径 (28.6) 底径 — 器高 —		外面—口縁部ヨコナデ、胴部ヘ ラケンマ。内面—口縁部ヨコナ デ、胴部ヘラナデ。	白色粒・黒色粒 内外—黒色	口縁部～頸部破 片。
6	中世土器 火鉢	口径 — 底径 (23.6) 器高 —	直線的な胴部。	外面—ヘラケンマ。内面—胴部・ 脚部ヘラナデ。	白色粒・褐色粒 雲母 内外—黒色	胴部上位～脚部 破片。
7	中世土器 かわらけ	口径 4.7 底径 3.5 器高 1.1	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/3 欠 損。煤付着。
8	中世土器 かわらけ	口径 4.8 底径 3.7 器高 1.1	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/4 欠 損。
9	中世土器 かわらけ	口径 7.0 底径 5.0 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	完形。煤付着。

10	中世土器 かわらけ	口径 (7.4) 底径 4.1 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で肥厚する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 3/5 欠 損。煤付着。
11	中世土器 かわらけ	口径 (7.4) 底径 4.8 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい黄橙色	口縁部 2/3 欠 損。煤付着。
12	中世土器 かわらけ	口径 7.4 底径 4.2 器高 1.7	口縁部は外反しつち立ち上がり 中位で肥厚する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい黄橙色	口縁部 3/5 欠 損。
13	中世土器 かわらけ	口径 7.4 底径 4.7 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/4 欠 損。
14	中世土器 かわらけ	口径 7.5 底径 4.7 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/5 欠 損。
15	中世土器 かわらけ	口径 (7.7) 底径 4.1 器高 1.3	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部回転糸切 り。口縁部内面一部横ナデ。	橙色	口縁部 2/3 欠 損。煤付着。
16	中世土器 かわらけ	口径 7.7 底径 4.6 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で肥厚する。	体部ロクロ整形。底部回転糸切 り。	橙色	口縁部 2/5 欠 損。
17	中世土器 かわらけ	口径 7.7 底径 4.7 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で肥厚する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/4 欠 損。
18	中世土器 かわらけ	口径 (7.7) 底径 4.3 器高 2.1	口縁部はゆるやかに外反しつち 立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 3/5 欠 損。
19	中世土器 かわらけ	口径 7.8 底径 5.2 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部一部欠 損。煤付着。
20	中世土器 かわらけ	口径 7.9 底径 5.0 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	灰黄褐色	口縁部 3/5 欠 損。煤付着。
21	中世土器 かわらけ	口径 8.7 底径 5.4 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	灰黄色	口縁部一部欠 損。煤付着。
22	中世土器 かわらけ	口径 (10.5) 底径 5.9 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がり、 口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 9/10欠 損。
23	中世土器 かわらけ	口径 11.1 底径 5.6 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で肥厚し、口唇部はゆるや かに内彎する。	体部ロクロ整形。底部右回転糸 切り。	橙色	口縁部 3/5 欠 損。
24	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 6.8 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 3/5 欠 損。
25	中世土器 かわらけ	口径 (11.5) 底径 6.6 器高 2.9	口縁部はゆるやかに外反しつち 立ち上がり、口唇部は内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 2/3 欠 損。
26	中世土器 かわらけ	口径 11.5 底径 6.2 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がり、 口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 2/5 欠 損。
27	中世土器 かわらけ	口径 (11.5) 底径 7.3 器高 2.8	口縁部はゆるやかに内彎しつち 立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。底部内面横ナデ。	橙色	口縁部 7/8 欠 損。
28	中世土器 かわらけ	口径 (11.7) 底径 6.1 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 3/5 欠 損。

29	中世土器 かわらけ	口径 (11.8) 底径 6.6 器高 2.1	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/5 欠損。
30	中世土器 かわらけ	口径 (12.8) 底径 6.5 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。底部内面一部横ナデ。	橙色	口縁部 2/3 欠損。
31	中世土器 かわらけ	口径 13.3 底径 7.1 器高 3.0	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
32	中世土器 かわらけ	口径 (14.7) 底径 7.7 器高 2.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/5 欠損。
No.	種類	器種	法 量 (cm・g)			備考
33	銅製品	切羽	残存長4.2 幅2.6 厚さ0.1 重さ3.4。			

SD-33

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	白磁小皿	口径 (10.0) 底径 — 器高 —	浅い体部。	体部ロクロ整形。	夾雑物なし 内外一灰白色	口縁～体部破片。
2	中世土器 かわらけ	口径 7.3 底径 5.0 器高 1.3	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	黒褐色	口縁部 2/3 欠損。還元化。煤付着。
3	中世土器 かわらけ	口径 7.4 底径 4.9 器高 1.3	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	橙色	口縁部 1/6 欠損。
4	中世土器 かわらけ	口径 (11.9) 底径 6.4 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。底部内面一部横ナデ。	にぶい橙色	口縁部 5/6 欠損。
5	中世土器 かわらけ	口径 (14.4) 底径 7.3 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 9/10欠損。
No.	種類	器種	法 量 (cm・g)			備考
6	銅製品		残存長4.8 幅0.5 重さ3.8。			

SD-35

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 7.0 底径 4.1 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で肥厚する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/4 欠損。煤付着。
No.	種類	器種	法 量 (cm・g)			備考
2	鉄製品	釘	残存長4.6 幅0.5 厚さ0.4 重さ2.2。			

SD-36

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 5.2 底径 4.1 器高 1.1	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部回転糸切り。	橙色	口縁部 2/5 欠損。
2	中世土器 かわらけ	口径 10.6 底径 6.3 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部一部欠損。煤付着。
3	中世土器 かわらけ	口径 15.2 底径 7.7 器高 3.1	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で外反する。	体部ロクロ整形。底部右回転糸切り。	橙色	口縁部 3/4 欠損。

SD-37

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	白磁皿 小	口径 (7.0) 底径 — 器高 —	僅かな膨らみをもつ体部。	体部ロクロ整形。	夾雑物なし 内外一灰白色	口縁～体部破片。
2	中世土器 かわらけ	口径 15.0 底径 9.0 器高 2.9	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で外反する。	体部ロクロ整形。底部右回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部一部欠損。底部外面木目圧痕。煤付着。
No.	種類	器種	法 量 (cm・g)			備考
3	銅製品		残存長2.7 幅1.8 厚さ0.1 重さ1.4。			

SD-38

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 6.9 底径 3.9 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がり、 口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	明褐灰色	口縁部 1/3 欠損。煤付着。
2	中世土器 かわらけ	口径 7.1 底径 5.0 器高 1.3	口縁部はゆるやかに外反しつつ 立ち上がり、口唇部は外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部一部欠損。
3	中世土器 かわらけ	口径 7.2 底径 4.6 器高 1.3	口縁部はゆるやかに外反しつつ 立ち上がり、口唇部はゆるやかに 内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	ほぼ完形。
4	中世土器 かわらけ	口径 7.4 底径 4.4 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	ほぼ完形。
5	中世土器 かわらけ	口径 7.4 底径 4.6 器高 1.2	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	ほぼ完形。
6	中世土器 かわらけ	口径 7.6 底径 3.9 器高 1.9	口縁部はゆるやかに内彎しつつ 立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 3/5 欠損。
7	中世土器 かわらけ	口径 10.4 底径 6.6 器高 2.6	口縁部は外反しつつ立ち上がり、 口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。底部内面一部横ナデ。	橙色	口縁部 3/4 欠損。底部外面木目圧痕。
8	中世土器 かわらけ	口径 10.6 底径 4.3 器高 3.2	口縁部はゆるやかに内彎しつつ 立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部右回転糸 切り。底部内面横ナデ。	浅黄橙色	口縁部 1/4 欠損。底部外面木目圧痕。
9	中世土器 かわらけ	口径 (10.6) 底径 6.5 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 5/6 欠損。
10	中世土器 かわらけ	口径 10.9 底径 6.2 器高 2.3	口縁部はゆるやかに外反しつつ 立ち上がり、中位でゆるやかに 内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	完形。
11	中世土器 かわらけ	口径 11.0 底径 6.5 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠損。
12	中世土器 かわらけ	口径 (11.1) 底径 5.8 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で外反する。	体部ロクロ整形。底部右回転糸 切り。	橙色	口縁部 3/4 欠損。底部外面木目圧痕。
13	中世土器 かわらけ	口径 12.7 底径 7.6 器高 2.3	口縁部はゆるやかに外反しつつ 立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。煤付着。
14	中世土器 かわらけ	口径 12.8 底径 4.1 器高 3.2	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で外反し、口唇部は内彎す る。	体部ロクロ整形。底部右回転糸 切り。	黄橙色	口縁部一部欠損。

SD-39

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 9.9 底径 5.3 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい黄橙色	口縁部 2/5 欠損。煤付着。
2	中世土器 かわらけ	口径 10.2 底径 6.5 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい黄橙色	口縁部 1/2 欠損。底部外面木目圧痕。
3	中世土器 かわらけ	口径 10.2 底径 5.7 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい黄橙色	口縁部 2/5 欠損。
4	中世土器 かわらけ	口径 10.3 底径 5.9 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい黄橙色	口縁部 1/5 欠損。底部外面木目圧痕。
5	中世土器 かわらけ	口径 10.5 底径 6.4 器高 2.1	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/3 欠損。
6	中世土器 かわらけ	口径 10.5 底径 6.4 器高 2.3	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で外反する。	体部ロクロ整形。底部回転糸切り。底部内面横ナデ。	にぶい橙色	口縁部 2/3 欠損。
7	中世土器 かわらけ	口径 (10.6) 底径 5.8 器高 2.5	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい黄橙色	口縁部 3/4 欠損。
8	中世土器 かわらけ	口径 (11.1) 底径 6.1 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で肥厚する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 3/5 欠損。底部外面木目圧痕。
9	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 7.0 器高 2.2	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 2/5 欠損。底部外面木目圧痕。

SD-40

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 耳皿	口径 — 底径 2.8 器高 1.8	弱い内彎度。底部は平底。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	白色粒・黒色粒・褐色粒・雲母 内外—鈍い黄橙色	2/3。

SD-44

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	青磁 碗	口径 — 底径 — 器高 —	蓮弁文。	体部ロクロ整形。	夾雑物なし 内外—灰オリープ色	体部破片。
2	古瀬戸 播鉢	口径 29.2 底径 10.4 器高 9.9	直線的に開く体部で、口縁部内面に突帯を付す。	体部ロクロ整形。底部右回転糸切り。内面櫛目。	礫 内外—淡黄色 釉—鈍い赤褐色(鉄釉)	口縁部 1/4 欠損。
3	中世土器 播鉢	口径 32.7 底径 8.6 器高 10.1	直線的に開く体部。	外面—ロクロ整形、体部下半横位ヘラケズリ、底部ヘラナデ。 内面—ロクロ整形。	白色粒・黒色粒・角閃石・石英 内外—明赤褐～鈍い橙色	ほぼ完形。
4	中世土器 播鉢	口径 31.0 底径 11.8 器高 11.3	直線的に開く体部。	体部ロクロ整形。	白色粒 内外—灰色	1/3。
5	中世土器 内耳鍋	口径 (33.0) 底径 (23.0) 器高 16.4	直線的に開く口縁部。	外面—ロクロ整形、胴部上・中位ナデ、下位ヘラナデ。内面—ロクロ整形、胴部斜横位ヘラナデ。	白色粒 内外—黒褐～灰黄色	1/3。

6	中世土器 内耳鍋	口径 34.4 底径 — 器高 —	彎曲して開く口縁部。	外面一口縁部ヨコナデ、胴部上半斜縦位ヘラナデ、下半斜縦位ヘラケズリ。内面一口縁部ヨコナデ、胴部横位ヘラナデ。	角閃石・礫・石英 内外—黒褐色	口縁部～胴部下位残存。
7	中世土器 内耳鍋	口径 (44.0) 底径 (32.0) 器高 6.3	浅い彎曲気味の体部。	外面—ロクロ整形、底部ヘラナデ。内面—ロクロ整形。	白色粒・黒色粒 内外—鈍い褐～黒色	1/3。
8	中世土器 香炉	口径 9.2 底径 — 器高 5.0	接地面が平坦な台形状の脚部。	外面—体部ヘラケンマ、脚部ヘラナデ、底部回転糸切り。内面—口縁部ヨコナデ、体部不明瞭。	白色粒・黒色粒・褐色粒・角閃石 内外—褐灰～灰褐色	ほぼ完形。
9	中世土器 香炉	口径 8.4 底径 — 器高 4.7	接地面が平坦な長い台形状の脚部。	外面—体部ヘラケンマ、脚部ヘラナデ、底部回転糸切り。内面—口縁部ヨコナデ、体部ヘラナデ。	白色粒・黒色粒・褐色粒・雲母 内外—鈍い橙～灰褐色	脚部一部欠損。
10	中世土器 かわらけ	口径 6.3 底径 3.7 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/5 欠損。
11	中世土器 かわらけ	口径 6.4 底径 4.7 器高 1.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	完形。
12	中世土器 かわらけ	口径 6.4 底径 4.0 器高 1.3	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	完形。
13	中世土器 かわらけ	口径 6.5 底径 3.9 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	完形。
14	中世土器 かわらけ	口径 6.5 底径 4.0 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい橙色	完形。
15	中世土器 かわらけ	口径 6.6 底径 3.4 器高 2.0	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で肥厚し、口唇部は内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部一部欠損。
16	中世土器 かわらけ	口径 6.6 底径 4.4 器高 1.5	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部右回転糸切り。	橙色	完形。
17	中世土器 かわらけ	口径 6.6 底径 4.3 器高 1.4	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で肥厚する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部一部欠損。
18	中世土器 かわらけ	口径 6.7 底径 4.4 器高 1.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部一部欠損。
19	中世土器 かわらけ	口径 6.7 底径 3.6 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	ほぼ完形。
20	中世土器 かわらけ	口径 6.7 底径 4.3 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/5 欠損。煤付着。
21	中世土器 かわらけ	口径 6.7 底径 4.6 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部一部欠損。
22	中世土器 かわらけ	口径 6.7 底径 3.9 器高 1.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	完形。

23	中世土器 かわらけ	口径 6.8 底径 3.6 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部一部欠損。
24	中世土器 かわらけ	口径 6.8 底径 4.0 器高 1.3	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で肥厚する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	ほぼ完形。
25	中世土器 かわらけ	口径 6.8 底径 4.1 器高 1.4	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で肥厚する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	ほぼ完形。煤付着。
26	中世土器 かわらけ	口径 6.8 底径 3.7 器高 1.6	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部一部欠損。
27	中世土器 かわらけ	口径 6.8 底径 4.4 器高 1.5	口縁部は内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/5 欠損。
28	中世土器 かわらけ	口径 6.8 底径 4.2 器高 1.3	口縁部は内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい橙色	完形。
29	中世土器 かわらけ	口径 6.9 底径 4.5 器高 1.4	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部一部欠損。
30	中世土器 かわらけ	口径 6.9 底径 4.4 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部一部欠損。
31	中世土器 かわらけ	口径 6.9 底径 4.5 器高 1.7	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部回転糸切り。	橙色	口縁部 2/3 欠損。
32	中世土器 かわらけ	口径 6.9 底径 4.4 器高 1.4	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい橙色	完形。
33	中世土器 かわらけ	口径 6.9 底径 4.3 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	ほぼ完形。
34	中世土器 かわらけ	口径 6.9 底径 4.0 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部一部欠損。底部外面木目圧痕。
35	中世土器 かわらけ	口径 6.9 底径 5.3 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	完形。
36	中世土器 かわらけ	口径 6.9 底径 4.3 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい橙色	完形。
37	中世土器 かわらけ	口径 6.9 底径 4.1 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部一部欠損。
38	中世土器 かわらけ	口径 7.0 底径 4.2 器高 1.3	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部は内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部一部欠損。
39	中世土器 かわらけ	口径 7.0 底径 4.1 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	ほぼ完形。
40	中世土器 かわらけ	口径 7.0 底径 4.0 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 2/5 欠損。

41	中世土器 かわらけ	口径 7.0 底径 4.1 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/5 欠 損。
42	中世土器 かわらけ	口径 7.0 底径 4.1 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がり、 口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部右回転糸 切り。	橙色	口縁部一部欠 損。
43	中世土器 かわらけ	口径 7.0 底径 4.6 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がり、 口唇部は内彎する。	体部ロクロ整形。底部右回転糸 切り。	橙色	口縁部一部欠 損。
44	中世土器 かわらけ	口径 7.0 底径 4.9 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部一部欠 損。
45	中世土器 かわらけ	口径 7.0 底径 4.0 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で肥厚する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部一部欠 損。
46	中世土器 かわらけ	口径 7.0 底径 4.1 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がり、 口唇部は内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	完形。
47	中世土器 かわらけ	口径 7.0 底径 4.8 器高 1.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	完形。
48	中世土器 かわらけ	口径 7.1 底径 4.0 器高 1.3	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で肥厚する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	完形。煤付着。
49	中世土器 かわらけ	口径 7.1 底径 4.9 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がり、 口唇部は外面が直立する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/4 欠 損。
50	中世土器 かわらけ	口径 7.1 底径 4.2 器高 1.3	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で肥厚する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 2/5 欠 損。
51	中世土器 かわらけ	口径 7.1 底径 4.2 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部回転糸切 り。	橙色	ほぼ完形。底部 中央に穿孔。
52	中世土器 かわらけ	口径 7.1 底径 3.7 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	完形。
53	中世土器 かわらけ	口径 7.1 底径 3.8 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反し、口唇 部は内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	完形。
54	中世土器 かわらけ	口径 7.1 底径 4.0 器高 1.4	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反し、口唇 部は内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	完形。
55	中世土器 かわらけ	口径 7.1 底径 3.8 器高 1.6	口縁部はゆるやかに外反しつつ 立ち上がり、中位でゆるやかに 内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	完形。
56	中世土器 かわらけ	口径 7.1 底径 4.7 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がり、 口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	完形。
57	中世土器 かわらけ	口径 (7.2) 底径 3.8 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 3/5 欠 損。
58	中世土器 かわらけ	口径 7.2 底径 4.3 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 1/5 欠 損。

59	中世土器 かわらけ	口径 (7.2) 底径 4.5 器高 1.3	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 4/5 欠 損。煤付着。
60	中世土器 かわらけ	口径 7.2 底径 5.0 器高 1.6	口縁部はゆるやかに外反しつつ 立ち上がり、中位でゆるやかに 内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 2/5 欠 損。
61	中世土器 かわらけ	口径 7.2 底径 4.3 器高 1.4	口縁部は直線的に立ち上がり、 口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	完形。
62	中世土器 かわらけ	口径 7.2 底径 4.3 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	完形。
63	中世土器 かわらけ	口径 7.2 底径 3.9 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	完形。
64	中世土器 かわらけ	口径 7.2 底径 4.7 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で肥厚する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/4 欠 損。
65	中世土器 かわらけ	口径 7.2 底径 3.8 器高 1.6	口縁部はゆるやかに外反しつつ 立ち上がり、口唇部はゆるやか に内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 2/5 欠 損。
66	中世土器 かわらけ	口径 7.2 底径 4.3 器高 2.0	口縁部はゆるやかに内彎しつつ 立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 2/5 欠 損。
67	中世土器 かわらけ	口径 7.2 底径 4.3 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がり、 口唇部は内彎する。	体部ロクロ整形。底部右回転糸 切り。底部内面一部横ナデ。	にぶい橙色	ほぼ完形。
68	中世土器 かわらけ	口径 7.2 底径 4.3 器高 1.6	口縁部はゆるやかに内彎しつつ 立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/5 欠 損。
69	中世土器 かわらけ	口径 7.2 底径 3.9 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で外反する。	体部ロクロ整形。底部回転糸切 り。	橙色	口縁部 1/5 欠 損。
70	中世土器 かわらけ	口径 7.3 底径 3.6 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	ほぼ完形。
71	中世土器 かわらけ	口径 7.3 底径 3.7 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で肥厚する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部一部欠 損。
72	中世土器 かわらけ	口径 7.3 底径 3.9 器高 1.7	口縁部はゆるやかに外反しつつ 立ち上がり、口唇部は内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部一部欠 損。
73	中世土器 かわらけ	口径 7.3 底径 3.7 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 1/4 欠 損。煤付着。
74	中世土器 かわらけ	口径 7.3 底径 3.9 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部一部欠 損。
75	中世土器 かわらけ	口径 7.3 底径 5.2 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/4 欠 損。
76	中世土器 かわらけ	口径 7.3 底径 4.8 器高 1.5	口縁部はゆるやかに外反しつつ 立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。底部内面横ナデ。	黄橙色	完形。底部外面 木目瓦痕。

77	中世土器 かわらけ	口径 7.3 底径 4.1 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がり、 口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	完形。
78	中世土器 かわらけ	口径 7.3 底径 4.1 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部一部欠 損。
79	中世土器 かわらけ	口径 7.3 底径 4.3 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で肥厚する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部一部欠 損。
80	中世土器 かわらけ	口径 7.3 底径 4.1 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	ほぼ完形。
81	中世土器 かわらけ	口径 7.3 底径 4.1 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で肥厚する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	ほぼ完形。
82	中世土器 かわらけ	口径 7.3 底径 4.5 器高 2.0	口縁部は直線的に立ち上がり、 口唇部はゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	ほぼ完形。
83	中世土器 かわらけ	口径 7.3 底径 4.6 器高 1.8	口縁部はゆるやかに外反しつつ 立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	完形。
84	中世土器 かわらけ	口径 7.3 底径 3.8 器高 1.7	口縁部はゆるやかに内彎しつつ 立ち上がり、中位でゆるやかに 外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	完形。
85	中世土器 かわらけ	口径 7.3 底径 4.1 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で内彎し、口唇部は外反す る。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部一部欠 損。
86	中世土器 かわらけ	口径 7.3 底径 4.3 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部一部欠 損。
87	中世土器 かわらけ	口径 7.3 底径 4.2 器高 1.8	口縁部はゆるやかに内彎しつつ 立ち上がり、中位で肥厚する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部一部欠 損。
88	中世土器 かわらけ	口径 7.4 底径 4.1 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がり、 口唇部は内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。底部内面横ナデ。	橙色	完形。
89	中世土器 かわらけ	口径 7.4 底径 4.0 器高 1.8	口縁部はゆるやかに内彎しつつ 立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 3/5 欠 損。
90	中世土器 かわらけ	口径 7.4 底径 4.9 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。底部内面一部横ナデ。	橙色	口縁部 1/5 欠 損。
91	中世土器 かわらけ	口径 (7.4) 底径 3.9 器高 2.1	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠 損。
92	中世土器 かわらけ	口径 7.4 底径 4.3 器高 1.2	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部一部欠 損。
93	中世土器 かわらけ	口径 7.4 底径 4.4 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	完形。
94	中世土器 かわらけ	口径 7.4 底径 4.2 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がり、 口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/2 欠 損。

95	中世土器 かわらけ	口径 7.4 底径 4.8 器高 1.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	ほぼ完形。
96	中世土器 かわらけ	口径 7.4 底径 3.6 器高 1.5	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい橙色	完形。
97	中世土器 かわらけ	口径 7.4 底径 4.0 器高 1.8	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部右回転糸切り。	にぶい黄橙色	口縁部 1/5 欠損。煤付着。
98	中世土器 かわらけ	口径 7.4 底径 4.9 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で肥厚する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	ほぼ完形。
99	中世土器 かわらけ	口径 7.5 底径 4.5 器高 1.6	口縁部は内彎しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/3 欠損。煤付着。
100	中世土器 かわらけ	口径 7.5 底径 5.0 器高 1.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	完形。
101	中世土器 かわらけ	口径 7.5 底径 5.2 器高 1.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	ほぼ完形。煤付着。
102	中世土器 かわらけ	口径 7.6 底径 4.5 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	完形。煤付着。
103	中世土器 かわらけ	口径 7.6 底径 4.8 器高 1.5	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/5 欠損。煤付着。
104	中世土器 かわらけ	口径 7.6 底径 4.2 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
105	中世土器 かわらけ	口径 7.6 底径 4.0 器高 1.7	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
106	中世土器 かわらけ	口径 7.6 底径 4.4 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/4 欠損。煤付着。
107	中世土器 かわらけ	口径 7.6 底径 3.9 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	完形。
108	中世土器 かわらけ	口径 7.6 底径 3.8 器高 1.7	口縁部は外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/5 欠損。
109	中世土器 かわらけ	口径 7.7 底径 3.8 器高 1.8	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部一部欠損。
110	中世土器 かわらけ	口径 7.7 底径 5.0 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/4 欠損。煤付着。
111	中世土器 かわらけ	口径 7.8 底径 4.2 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
112	中世土器 かわらけ	口径 7.8 底径 4.2 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。

113	中世土器 かわらけ	口径 7.8 底径 4.1 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部一部欠 損。
114	中世土器 かわらけ	口径 7.9 底径 4.5 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で肥厚する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部一部欠 損。
115	中世土器 かわらけ	口径 7.9 底径 4.4 器高 2.0	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で肥厚する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部一部欠 損。
116	中世土器 かわらけ	口径 7.9 底径 4.1 器高 2.0	口縁部はゆるやかに外反しつつ 立ち上がり、中位でゆるやかに 内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/3 欠 損。
117	中世土器 かわらけ	口径 7.9 底径 4.8 器高 1.8	口縁部はゆるやかに外反しつつ 立ち上がり、口唇部はゆるやかに 内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。底部内面横ナデ。	橙色	口縁部一部欠 損。
118	中世土器 かわらけ	口径 8.0 底径 4.6 器高 1.8	口縁部はゆるやかに外反しつつ 立ち上がり、口唇部は内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 2/5 欠 損。
119	中世土器 かわらけ	口径 8.0 底径 4.1 器高 1.9	口縁部はゆるやかに外反しつつ 立ち上がり、中位でゆるやかに 内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 2/5 欠 損。
120	中世土器 かわらけ	口径 (8.0) 底径 4.4 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 3/5 欠 損。
121	中世土器 かわらけ	口径 8.0 底径 4.2 器高 2.0	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形。底部回転糸切 り。	橙色	口縁部 2/5 欠 損。
122	中世土器 かわらけ	口径 8.1 底径 4.5 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。底部内面一部横ナデ。	橙色	口縁部 2/5 欠 損。
123	中世土器 かわらけ	口径 8.1 底径 4.3 器高 1.8	口縁部はゆるやかに内彎しつつ 立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 1/5 欠 損。
124	中世土器 かわらけ	口径 8.2 底径 4.6 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で肥厚し、口唇部は内彎す る。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。底部内面横ナデ。	橙色	口縁部 2/5 欠 損。底部外面木 目圧痕。
125	中世土器 かわらけ	口径 8.5 底径 4.5 器高 2.0	口縁部は直線的に立ち上がり、 口唇部は内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部一部欠 損。
126	中世土器 かわらけ	口径 — 底径 6.1 器高 —	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい黄橙色	口縁部欠損。煤 付着。
127	中世土器 かわらけ	口径 (9.1) 底径 4.9 器高 2.2	口縁部はゆるやかに内彎しつつ 立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部回転糸切 り。	橙色	口縁部 3/5 欠 損。
128	中世土器 かわらけ	口径 (9.2) 底径 5.0 器高 2.0	口縁部はゆるやかに内彎しつつ 立ち上がり、中位で肥厚する。	体部ロクロ整形。底部右回転糸 切り。	橙色	口縁部 3/4 欠 損。
129	中世土器 かわらけ	口径 10.2 底径 6.1 器高 2.1	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部一部欠 損。
130	中世土器 かわらけ	口径 10.4 底径 5.8 器高 2.2	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	ほぼ完形。

131	中世土器 かわらけ	口径 10.4 底径 6.0 器高 2.1	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部一部欠損。
132	中世土器 かわらけ	口径 10.4 底径 6.0 器高 2.2	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
133	中世土器 かわらけ	口径 10.5 底径 5.8 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい褐色	口縁部 1/3 欠損。
134	中世土器 かわらけ	口径 10.5 底径 6.2 器高 2.1	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部一部欠損。
135	中世土器 かわらけ	口径 10.5 底径 5.7 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部回転糸切り。	橙色	口縁部 7/8 欠損。
136	中世土器 かわらけ	口径 10.6 底径 5.8 器高 2.4	口縁部は内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部回転糸切り。	橙色	ほぼ完形。
137	中世土器 かわらけ	口径 10.6 底径 5.6 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。煤付着。
138	中世土器 かわらけ	口径 10.6 底径 6.0 器高 2.3	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	ほぼ完形。
139	中世土器 かわらけ	口径 10.6 底径 5.6 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/4 欠損。
140	中世土器 かわらけ	口径 (10.6) 底径 5.0 器高 3.0	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がり、中位で外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/5 欠損。
141	中世土器 かわらけ	口径 10.7 底径 6.2 器高 2.3	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部回転糸切り。底部内面横ナデ。	橙色	口縁部一部欠損。
142	中世土器 かわらけ	口径 10.7 底径 5.4 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部一部欠損。
143	中世土器 かわらけ	口径 10.7 底径 6.4 器高 2.2	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/4 欠損。
144	中世土器 かわらけ	口径 10.8 底径 5.7 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/5 欠損。
145	中世土器 かわらけ	口径 10.8 底径 5.0 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	完形。
146	中世土器 かわらけ	口径 10.8 底径 5.4 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部一部欠損。
147	中世土器 かわらけ	口径 10.8 底径 5.3 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 2/5 欠損。
148	中世土器 かわらけ	口径 (10.8) 底径 5.6 器高 2.1	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/5 欠損。

149	中世土器 かわらけ	口径 10.9 底径 5.7 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 1/5 欠 損。
150	中世土器 かわらけ	口径 10.9 底径 5.1 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部一部欠 損。底部外面木 目圧痕。
151	中世土器 かわらけ	口径 10.9 底径 5.5 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。底部内面横ナデ。	橙色	口縁部一部欠 損。
152	中世土器 かわらけ	口径 10.9 底径 5.7 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/4 欠 損。
153	中世土器 かわらけ	口径 10.8 底径 5.5 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部一部欠 損。底部外面木 目圧痕。
154	中世土器 かわらけ	口径 11.0 底径 5.6 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 1/3 欠 損。
155	中世土器 かわらけ	口径 11.0 底径 5.6 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。底部内面横ナデ。	にぶい橙色	ほぼ完形。
156	中世土器 かわらけ	口径 11.0 底径 6.4 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/2 欠 損。
157	中世土器 かわらけ	口径 (11.1) 底径 5.2 器高 2.5	口縁部はゆるやかに内彎しつつ 立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部右回転糸 切り。底部内面横ナデ。	にぶい橙色	口縁部 2/3 欠 損。底部外面木 目圧痕。煤附着。
158	中世土器 かわらけ	口径 11.1 底径 5.2 器高 2.9	口縁部はゆるやかに内彎しつつ 立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/4 欠 損。
159	中世土器 かわらけ	口径 11.2 底径 7.1 器高 2.3	口縁部は内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/4 欠 損。
160	中世土器 かわらけ	口径 11.2 底径 6.1 器高 2.6	口縁部はゆるやかに内彎しつつ 立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。底部内面横ナデ。	橙色	完形。底部外面 木目圧痕。
161	中世土器 かわらけ	口径 11.2 底径 5.5 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	完形。
162	中世土器 かわらけ	口径 (11.2) 底径 5.7 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部回転糸切 り。	橙色	1/3。
163	中世土器 かわらけ	口径 11.2 底径 6.2 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 3/5 欠 損。
164	中世土器 かわらけ	口径 11.2 底径 6.2 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 1/4 欠 損。
165	中世土器 かわらけ	口径 (11.2) 底径 6.8 器高 2.3	口縁部は直線的に立ち上がり、 口唇部は外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 2/3 欠 損。
166	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 5.8 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部一部欠 損。

167	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 5.8 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、 口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 1/6 欠 損。
168	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 5.9 器高 2.7	口縁部は外反しつつ立ち上がり、 口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠 損。
169	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 6.4 器高 2.5	口縁部はゆるやかに内彎しつつ 立ち上がり、中位でゆるやかに 外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	完形。
170	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 6.1 器高 2.6	口縁部はゆるやかに外反しつつ 立ち上がり、中位でゆるやかに 内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	ほぼ完形。底部 外面木目圧痕。
171	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 5.4 器高 2.9	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 1/4 欠 損。
172	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 5.3 器高 2.8	口縁部はゆるやかに外反しつつ 立ち上がり、中位でゆるやかに 内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部一部欠 損。
173	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 7.0 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 1/3 欠 損。
174	中世土器 かわらけ	口径 (11.3) 底径 5.6 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がり、 口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 3/5 欠 損。
175	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 5.8 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 3/5 欠 損。
176	中世土器 かわらけ	口径 (11.3) 底径 5.6 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 1/4 欠 損。
177	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 5.7 器高 2.2	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	灰褐色	口縁部 1/2 欠 損。
178	中世土器 かわらけ	口径 11.4 底径 6.3 器高 2.9	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 2/5 欠 損。
179	中世土器 かわらけ	口径 11.4 底径 5.6 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。底部内面横ナデ。	にぶい橙色	口縁部一部欠 損。底部外面木 目圧痕。
180	中世土器 かわらけ	口径 11.4 底径 4.9 器高 3.2	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	完形。
181	中世土器 かわらけ	口径 11.4 底径 5.7 器高 2.7	口縁部はゆるやかに外反しつつ 立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠 損。
182	中世土器 かわらけ	口径 11.8 底径 6.2 器高 2.4	口縁部は外反しつつ立ち上がり、 中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部一部欠 損。
183	中世土器 かわらけ	口径 11.5 底径 5.9 器高 3.0	口縁部は外反しつつ立ち上がり、 口唇部は内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部一部欠 損。
184	中世土器 かわらけ	口径 11.5 底径 5.4 器高 2.6	口縁部はゆるやかに内彎しつつ 立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/5 欠 損。

185	中世土器 かわらけ	口径 (11.5) 底径 5.7 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/5 欠損。
186	中世土器 かわらけ	口径 11.5 底径 — 器高 —	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。	にぶい橙色	口縁部一部欠損。底部欠損。
187	中世土器 かわらけ	口径 11.5 底径 5.6 器高 2.8	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部一部欠損。
188	中世土器 かわらけ	口径 11.6 底径 6.0 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反し、口唇部は内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい黄橙色	口縁部 1/2 欠損。
189	中世土器 かわらけ	口径 11.7 底径 5.8 器高 3.0	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部一部欠損。
190	中世土器 かわらけ	口径 11.7 底径 5.9 器高 2.5	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部一部欠損。
191	中世土器 かわらけ	口径 11.8 底径 6.1 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で外反し、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/4 欠損。
192	中世土器 かわらけ	口径 (11.8) 底径 (6.6) 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部回転糸切り。	にぶい橙色	1/4。
193	中世土器 かわらけ	口径 11.8 底径 5.6 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部一部欠損。
194	中世土器 かわらけ	口径 11.8 底径 6.2 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部回転糸切り。	橙色	口縁部 2/3 欠損。
195	中世土器 かわらけ	口径 11.9 底径 6.3 器高 2.4	口縁部は内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部回転糸切り。底部内面一部横ナデ。	橙色	口縁部 1/5 欠損。
196	中世土器 かわらけ	口径 11.9 底径 6.7 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/5 欠損。
197	中世土器 かわらけ	口径 11.9 底径 6.4 器高 2.7	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
198	中世土器 かわらけ	口径 12.0 底径 5.8 器高 3.5	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部一部欠損。
199	中世土器 かわらけ	口径 (12.2) 底径 6.6 器高 2.3	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
200	中世土器 かわらけ	口径 (12.4) 底径 (6.0) 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	1/3。
201	中世土器 かわらけ	口径 12.5 底径 8.0 器高 2.2	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	橙色	完形。底部外面木目圧痕。
202	中世土器 かわらけ	口径 13.5 底径 6.5 器高 3.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	にぶい橙色	口縁部 1/3 欠損。

203	中世土器 かわらけ	口径 14.2 底径 8.0 器高 2.7	口縁部はゆるやかに内彎しつ つ立ち上がり、中位で外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。底部内面横ナデ。	にぶい橙色	ほぼ完形。底部 外面木目圧痕。
204	中世土器 かわらけ	口径 (14.4) 底径 7.6 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 2/3 欠 損。
205	中世土器 かわらけ	口径 (14.4) 底径 8.7 器高 2.4	口縁部は外反しつ立ち上 がる。	体部ロクロ整形。底部回転糸切 り。底部内面横ナデ。	にぶい橙色	口縁部 2/3 欠 損。底部外面木 目圧痕。
206	中世土器 かわらけ	口径 (20.5) 底径 11.6 器高 3.6	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに内彎し、口唇 部はゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形。底部回転糸切 り。底部内面横ナデ。	橙色	口縁部 1/2 欠 損。底部外面木 目圧痕。
No.	種類	器種	法 量 (cm・g)			備 考
207	石製品	硯	長さ(7.1) 幅 9.6 厚さ2.2			粘板岩。
208	石製品	硯	長さ(4.7) 幅 (3.2) 厚さ1.0			粘板岩。
209	石製品	板 碑	長さ(31.4) 幅(25.5) 厚さ2.7			緑泥片岩。
210	石製品	板 碑	長さ(23.7) 幅(12.2) 厚さ2.1			緑泥片岩。
211	鉄製品	刀 子	残存長 8.2 刀身部残存長3.5 幅1.9 厚さ0.35 重さ13.4。柄は銅製品。			
212	鉄製品	刀 子	残存長 9.5 幅 1.4 厚さ0.6 重さ25.9。鞘部は銅製品。			
213	鉄製品	刀 子	残存長11.9 刀身部長さ8.8 幅2.4 厚さ0.7 柄部幅1.5 厚さ0.35 重さ40.2。			
214	鉄製品	刀 子	残存長12.8 幅 1.5 厚さ0.4 重さ17.2。			
215	銅製品	刀 装 具	残存長 3.2 幅 3.0 厚さ1.0 重さ 3.6。			
216	鉄製品	釘	残存長 4.3 幅 0.3 厚さ0.3 重さ 6.0。			
217	鉄製品	釘	残存長 7.2 幅 0.5 厚さ0.5 重さ 7.1。			

SD-47

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備 考
1	中世土器 かわらけ	口径 (5.1) 底径 3.3 器高 1.0	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	—	口縁部 5/6 欠 損。煤付着。
2	中世土器 かわらけ	口径 6.9 底径 4.1 器高 1.6	口縁部はゆるやかに内彎しつ つ立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部一部欠 損。煤付着。
3	中世土器 かわらけ	口径 7.0 底径 4.0 器高 1.4	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で肥厚する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	完形。煤付着。
4	中世土器 かわらけ	口径 7.3 底径 4.6 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。底部内面一部横ナデ。	にぶい黄橙色	口縁部 1/2 欠 損。
5	中世土器 かわらけ	口径 7.5 底径 4.8 器高 1.8	口縁部はゆるやかに内彎しつ つ立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 2/5 欠 損。
6	中世土器 かわらけ	口径 7.6 底径 4.8 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	灰黄褐色	口縁部 2/5 欠 損。煤付着。
7	中世土器 かわらけ	口径 (7.6) 底径 4.2 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 5/6 欠 損、上位に穿孔。 煤付着。
8	中世土器 かわらけ	口径 7.7 底径 4.1 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部一部欠 損。
9	中世土器 かわらけ	口径 7.8 底径 5.5 器高 1.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	1/2。

10	中世土器 かわらけ	口径 7.9 底径 5.7 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	ほぼ完形。煤付着。
11	中世土器 かわらけ	口径 8.1 底径 4.6 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	完形。
12	中世土器 かわらけ	口径 8.3 底径 4.4 器高 1.9	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	完形。
13	中世土器 かわらけ	口径 (8.4) 底径 4.6 器高 1.8	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
14	中世土器 かわらけ	口径 10.5 底径 5.2 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠損。煤付着。
15	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 6.0 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 2/5 欠損。
16	中世土器 かわらけ	口径 (11.4) 底径 5.5 器高 2.6	口縁部は外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 3/5 欠損。
17	中世土器 かわらけ	口径 11.6 底径 6.7 器高 2.3	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 3/5 欠損。煤付着。
18	中世土器 かわらけ	口径 11.7 底径 6.4 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/4 欠損。
19	中世土器 かわらけ	口径 11.7 底径 5.6 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 2/5 欠損。
20	中世土器 かわらけ	口径 11.7 底径 6.5 器高 2.2	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	完形。
21	中世土器 かわらけ	口径 11.7 底径 6.7 器高 2.4	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	完形。
22	中世土器 かわらけ	口径 11.8 底径 6.8 器高 2.3	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/5 欠損。
23	中世土器 かわらけ	口径 11.9 底径 6.2 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部一部欠損。
24	中世土器 かわらけ	口径 (12.2) 底径 5.6 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠損。
25	中世土器 かわらけ	口径 (12.8) 底径 7.5 器高 2.3	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部回転糸切り。	橙色	口縁部 3/5 欠損。
26	中世土器 かわらけ	口径 19.0 底径 9.5 器高 3.8	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 7/8 欠損。
No.	種類	器種	法 量 (cm・g)			備考
27	鉄製品	刀 子	残存長12.7 幅1.7 厚さ0.5 重さ18.7。			
28	鉄製品	刀 子	残存長 2.1 幅0.8 厚さ0.3 重さ 1.1。			

(2) 井戸

井戸は総計63基を検出した。分布は調査区内の各所に及び、特定の範囲に集中する傾向は認めない。確認面での規模は、直径0.8m程度のものから直径4.0mを超えるものまで大小に差があるが、直径1～2mのものが多数を占める。覆土は他の遺構に比べ、暗灰色～黒灰色などにぶい色調を示し、また、礫、砂粒を多量に含むものが多い。深さは、多くが2.0mを超え、井戸底までの調査がおよばなかったものが多い。確認の範囲ではあるが、井戸内に木枠や石組みの痕跡が認められないことから、多くは素掘りの井戸であったと推測される。所属時期は、覆土から埴輪や土師器の小片を出土するものもあるが、かわらけ、青磁、白磁などの出土遺物から、ほとんどが中世に属するものと考えられる。

SW-01 (図24)

C-3、C-4グリッドに位置する。直径0.85m前後を測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、礫を多量に含む黒灰褐色土の堆積を認め、深さ1.54mを測る。遺物は、皆無であった。

SW-02 (図24)

D-3・4グリッドに位置する。直径1.55～1.70mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、礫を多量に含む暗灰褐色土の堆積を認め、深さ2.40m以上を測る。遺物は、かわらけの細片若干を検出した。

SW-03 (図24)

E-5・6グリッドに位置する。短径2.00m、長径2.28mを測り、楕円形を呈する。覆土は、礫を多量に含む暗灰褐色土の堆積を認め、深さ2.40m以上を測る。遺物は、かわらけの細片若干を検出した。

SW-04 (図24)

F-6グリッドに位置する。短径2.50m、長径2.78mを測り、楕円形を呈する。覆土は、黒褐色土ブロック、礫を多量に含む黒灰褐色土の堆積を認め、深さ2.40m以上を測る。遺物は、播鉢のほか、かわらけの細片若干を検出した。

SW-05 (図24)

F-1グリッドに位置する。直径1.04～1.13mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、礫を多量に含む灰褐色土の堆積を認め、深さ2.40m以上を測る。遺物は皆無であった。

SW-06 (図24)

F-3グリッドに位置する。直径1.35～1.42mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、黒褐色土ブロック、礫を多量に含む黒灰褐色土の堆積を認め、深さ2.40m以上を測る。遺物は、かわらけ、埴輪の細片若干を検出した。

SW-07 (図25)

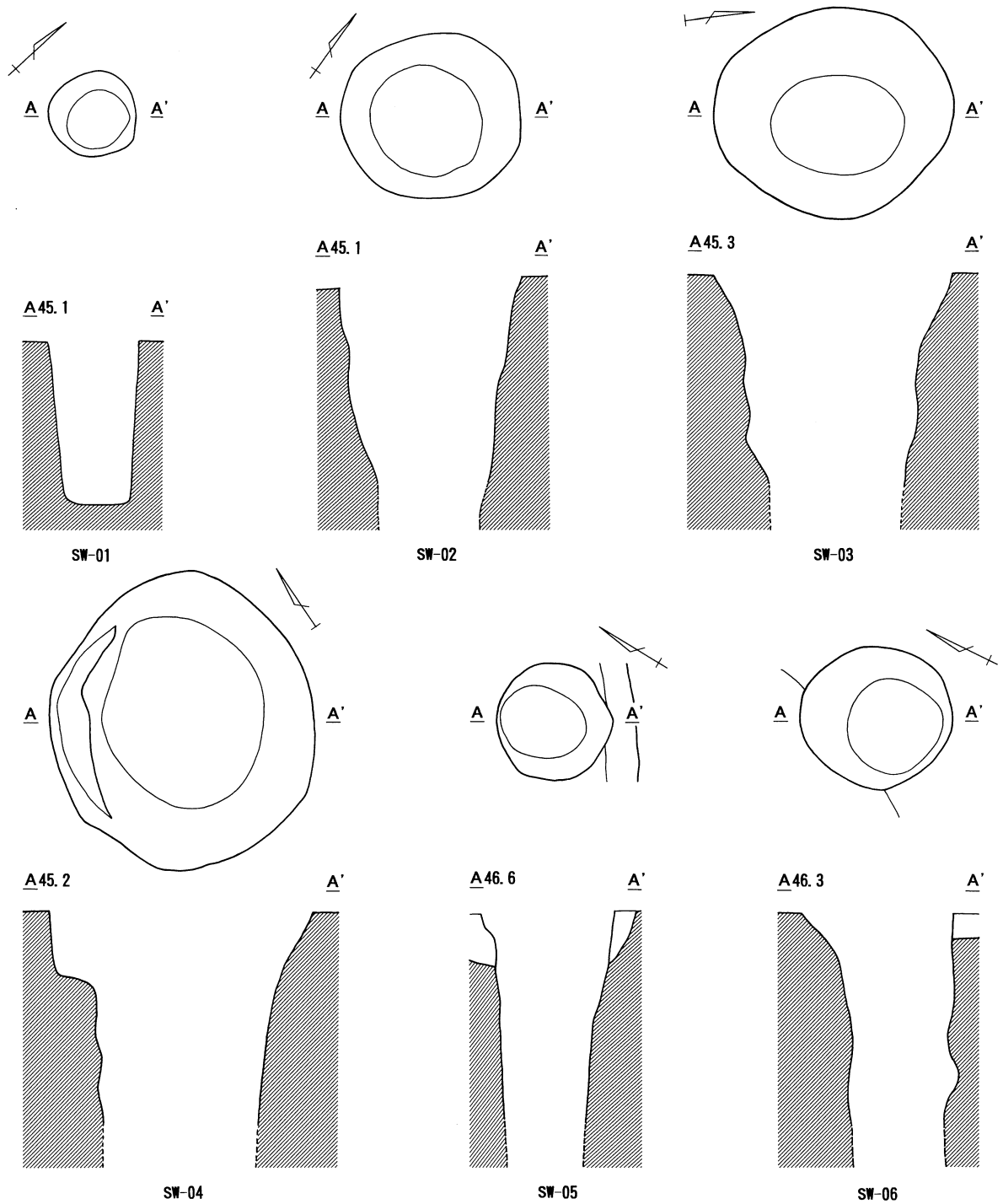
F-3グリッドに位置する。短径2.19m、長径2.65mを測り、楕円形を呈する。覆土は深さ2.40m以上を測る。遺物は、埴輪の細片若干を検出した。

SW-08 (図25)

G-4グリッドに位置する。直径1.88～2.15mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、黒褐色土ブロック、礫を含む灰黄色土の堆積を認め、深さ2.35m以上を測る。遺物は、かわらけの細片若干を検出した。

SW-09 (図25)

F-6グリッドに位置する。短径1.60m、長径1.82mを測り、不整な円形を呈する。覆土は、礫を多量に含む黒褐色土の堆積を認め、深さ2.40m以上を測る。遺物は、白磁小皿、かわらけを検出した。



SW-01 土層説明 (単層)

黒灰色土 ロームブロック (径10~40mm) を少量含み、
礫 (径10~15mm) を多量に含む。

SW-02 土層説明 (単層)

暗灰褐色土 ロームブロック (径10~70mm)、礫 (径10~30
mm) を多量に含む。

SW-03 土層説明 (単層)

暗灰褐色土 礫 (径10~40mm) を多量に含む。

SW-04 土層説明 (単層)

黒灰褐色土 ロームブロック (径10~40mm)、礫 (径10~70
mm)、黒褐色土ブロック (径10~80mm) を多
量に含む。

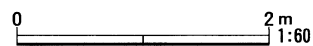
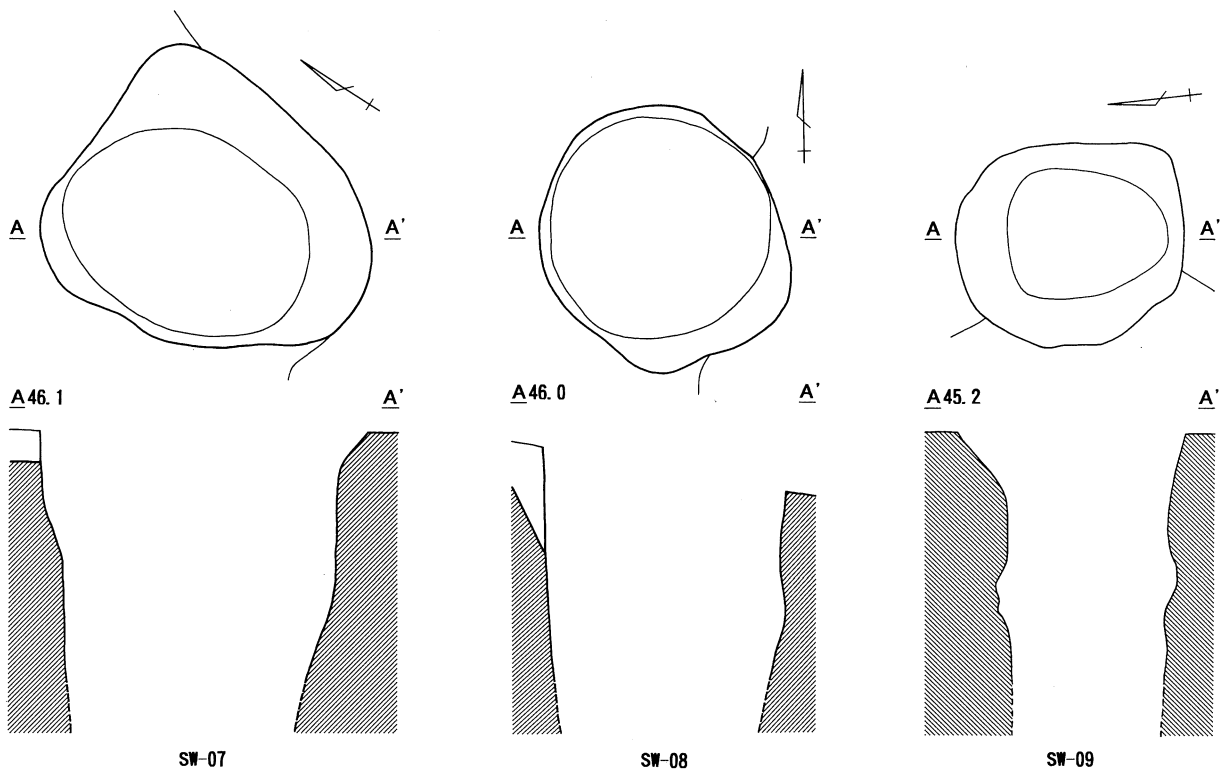


図24 SW-01~06



SW-05 土層説明 (単層)

暗灰褐色土 礫 (径10~40mm) を多量に含む。

SW-06 土層説明 (単層)

黒灰褐色土 礫 (径10~20mm)、黒褐色土ブロック (径1~80mm) を多量に含む。

SW-07 土層説明 (単層)

灰褐色土 ロームブロック (径1~30mm)、礫 (径10~20mm) を多量に含む。

SW-08 土層説明 (単層)

灰黄色土 黒褐色土ブロック (径1~5mm) を少量含み、礫 (径10~20mm) を多量に含む。

SW-09 土層説明 (単層)

黒褐色土 ロームブロック (径1~10mm) を少量含み、礫 (径10~30mm) を多量に含む。

図25 SW-07~09

SW-10 (図26)

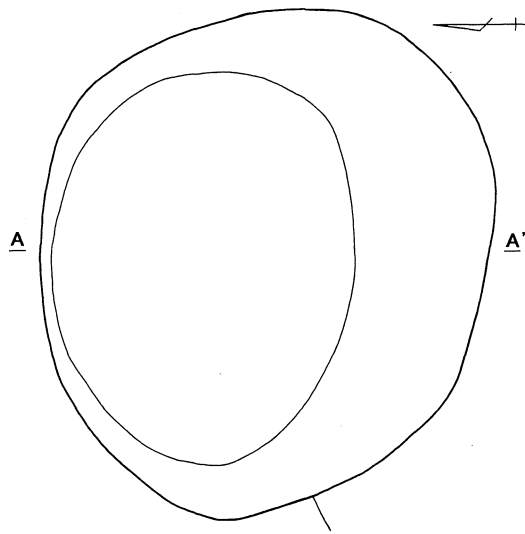
O-4グリッドに位置する。直径3.60~4.02mを測る大型の井戸で、平面形はほぼ円形を呈する。覆土は、おおよそ4層に大別され、上層から第1層の、白色パミス、焼土ブロック、礫を多量に含む灰黄色土、第2層から17層までの黄灰白色~暗黄灰色系の鈍い色調を示す土層、第18層から35層までの暗灰褐色~黒色系の暗い色調を示す土層、第36層の黒褐色土の堆積を認め、深さ3.40m以上を測る。遺物は、第2層から35層までの間で、多量のかかわらけのほか白磁小皿、内耳土器、耳皿、温石、石製紡錘車を検出した。とくにかかわらけは、8~10層で、井戸の南側から投棄された状態で集中的に出土している。

SW-11 (図27)

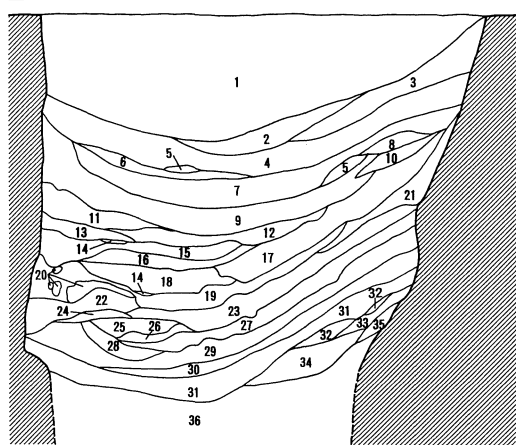
G-6グリッドに位置する。直径1.26~1.30mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、礫を含む灰褐色土の堆積を認め、深さ2.40m以上を測る。遺物は皆無であった。

SW-12 (図27)

G-1グリッドに位置する。直径1.08~1.30mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、黒灰褐色土の堆積を認め、



A47.6



SW-10

SW-10 土層説明

- 1 黄灰色土 白色パミス (径1mm±)、焼土ブロック (径1~20mm)、礫 (径5~30mm) を多量に含む。
- 2 暗黄灰色土 土師質土器片を少量含む。
- 3 暗黄灰色土 白色パミス (径1mm±)、礫 (径5~50mm) を少量を含む。
- 4 暗黄灰色土 ロームブロック (径1mm±)、炭化物ブロック (径1~15mm) を少量含む。
- 5 黄白灰色土 灰を多量に含む。
- 6 黄灰色土 ロームブロック (径1mm±)、炭化物ブロック (径1~10mm) を少量含む。
- 7 暗黄灰色土 ロームブロック (径1~20mm)、礫 (径5~10mm) を含む。
- 8 暗黄灰色土 礫 (径5~15mm)、土師質土器片を含む。

- 9 暗黄灰色土 ロームブロック (径1~10mm)、炭化物ブロック (径1~10mm) を含む。
- 10 暗黄灰色土 礫 (径5~20mm)、土師質土器片を多量に含む。
- 11 暗黄灰色土 ロームブロック (径1~15mm) を多量に含む。
- 12 黄灰色土 ロームブロック (径1~5mm) を少量含む。
- 13 暗黄灰色土 ロームブロック (径1~5mm) を少量含む。
- 14 明黄灰色土
- 15 灰褐色土 ロームブロック (径1~5mm)、炭化物ブロック (径5~50mm)、焼土ブロック (径5~10mm) を多量に含む。
- 16 明黄灰色土
- 17 暗黄灰色土 ロームブロック (径1~5mm)、礫 (径10~70mm) を少量含む。
- 18 黒褐色土 ロームブロック (径1~50mm) を多量に含む、斑状に堆積。
- 19 黒褐色土 ロームブロック (径1~20mm)、黒色土ブロック (径10~30mm) を少量含む。
- 20 黒色土 微細な炭化物ブロックの堆積層。
- 21 黒灰褐色土 ロームブロック (径1~5mm) を多量に含む。
- 22 黒褐色土 ロームブロック (径1~50mm) を多量に含む、斑状に堆積。
- 23 暗黄灰色土 ロームブロック (径1~20mm)、礫 (径5~20mm) を多量に含む。
- 24 黄黒灰色土
- 25 黒褐色土 ロームブロック (径1~5mm)、黒色土ブロック (径10~30mm) を多量に含む。
- 26 黒褐色土 ロームブロック (径1~50mm) を多量に含む、斑状に堆積。
- 27 黒褐色土 黒色土ブロック (径10~30mm) を含む。
- 28 黒褐色土 ロームブロック (径1~20mm) を含む。
- 29 黒褐色土 ロームブロック (径1~50mm) を多量に含む、斑状に堆積。
- 30 暗黄灰色土 礫 (径5~30mm) を多量に含む。
- 31 黒褐色土 ロームブロック (径5mm±)、黒色土ブロック (径10~30mm) を少量含む。
- 32 暗黄灰色土 礫 (径5~30mm) を多量に含む。
- 33 黒褐色土 黒色土ブロック (径10~30mm) を多量に含む。
- 34 暗褐色土 礫 (径5~80mm) を多量に含む。
- 35 暗褐色土 ロームブロック (径1~10mm)、炭化物ブロック (径5~40mm)、礫 (径1~3mm) を少量含む。
- 36 黒褐色土 礫 (径5~20mm) を少量含む。

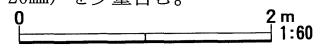


図26 SW-10

深さ2.60m以上を測る。遺物は、覆土最深部で板碑を検出した。

SW-13 (図27)

G-6、H-6グリッドに位置する。直径1.98~2.20mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、黒褐色土ブロッ

ク、礫を含む黒灰褐色土の堆積を認め、深さ2.35m以上を測る。遺物は、埴輪の細片若干を検出したものの確実に本遺構に伴う遺物は皆無であった。

SW-14 (図27)

H-2グリッドに位置する。直径1.40mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、黒褐色土ブロック、礫を含む暗灰黄色土の堆積を認め、深さ2.35m以上を測る。遺物は、埴輪の細片若干を検出したものの確実に本遺構に伴う遺物は皆無であった。

SW-15 (図27)

J-6グリッドに位置する。直径1.00～1.12mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、礫を多量に含む暗灰黄色土の堆積を認め、深さ2.40m以上を測る。遺物は覆土中層で石臼を、覆土最深部で板碑を検出した。

SW-16 (図27)

J-6、K-6グリッドに位置する。直径2.60～2.86mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、礫を多量に含む黒褐色土の堆積を認め、深さ2.40m以上を測る。遺物は、覆土中層で石臼の上臼の破片を、覆土最深部で板碑を検出した。

SW-17 (図27)

J-23、K-23グリッドに位置する。直径1.75～2.15mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、炭化物ブロック、礫を含む暗灰黄色土の堆積を認め、深さ2.40m以上を測る。遺物は、多量のかわらけを検出した。

SW-18 (図28)

K-4グリッドに位置する。短径1.60m、長径2.02mを測り、楕円形を呈する。覆土は、礫を多量に含む黒褐色土の堆積を認め、深さ2.40m以上を測る。遺物は青磁碗、在地土器の小型香炉を検出した。

SW-19 (図28)

K-5グリッドに位置する。直径1.65～1.82mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、礫を多量に含む暗灰褐色土の堆積を認め、深さ2.30m以上を測る。遺物は、覆土最深部で板碑を検出した。

SW-20 (図28)

L-5グリッドに位置する。直径1.95～2.30mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、礫を含む暗灰褐色土の堆積を認め、深さ2.40m以上を測る。遺物は、覆土最深部で大型石臼の下臼、板碑を検出した。

SW-21 (図28)

N-3グリッドに位置する。直径1.12～1.20mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、礫を多量に含む黒灰褐色土の堆積を認め、深さ2.20m以上を測る。遺物は、白磁小皿、火鉢、かわらけを検出した。

SW-22 (図28)

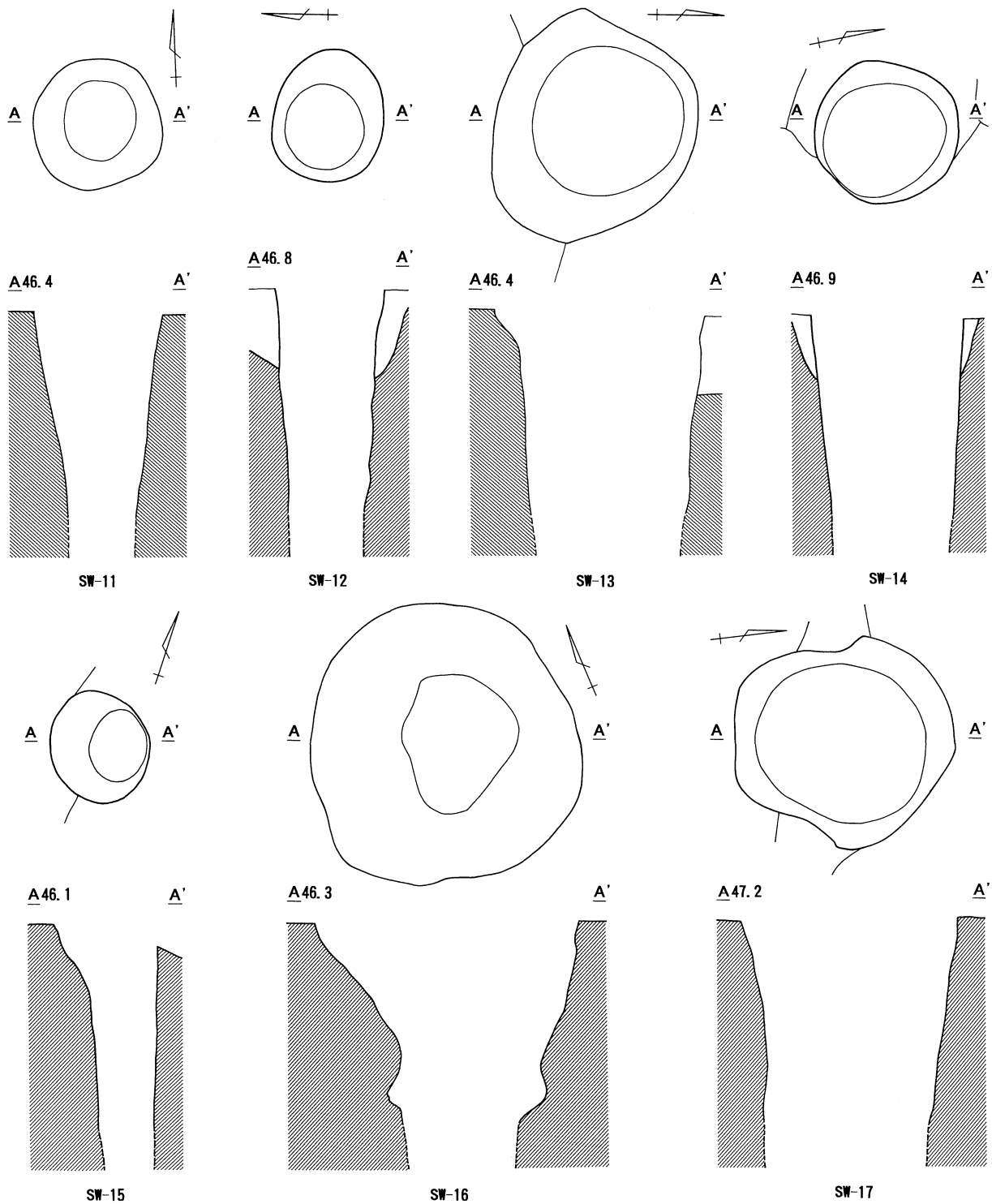
N-5グリッドに位置する。直径0.76～0.88mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、礫、砂粒を多量に含む黒褐色土の堆積を認め、深さ1.54mを測る。遺物は、かわらけの細片若干を検出した。

SW-23 (図28)

N-23、O-23グリッドに位置する。短径2.30m、長径2.94mを測り、不整な円形を呈する。覆土は、3層に大別され、上層に炭化物ブロック、礫を含む暗灰褐色土、中層に褐色および暗褐色土、下層に礫を含む黒灰褐色土および黒褐色土の堆積を認め、深さ2.20m以上を測る。遺物は、かわらけの細片若干を検出した。

SW-24 (図29)

O-3グリッドに位置する。直径1.34～1.60mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、礫を多量に含む暗灰褐色土の堆積を認め、深さ1.80mを測る。遺物は、かわらけの細片若干を検出した。



SW-11 土層説明 (単層)

灰褐色土 ロームブロック(径1~15mm)、礫(径10~20mm)を少量含む。

SW-12 土層説明 (単層)

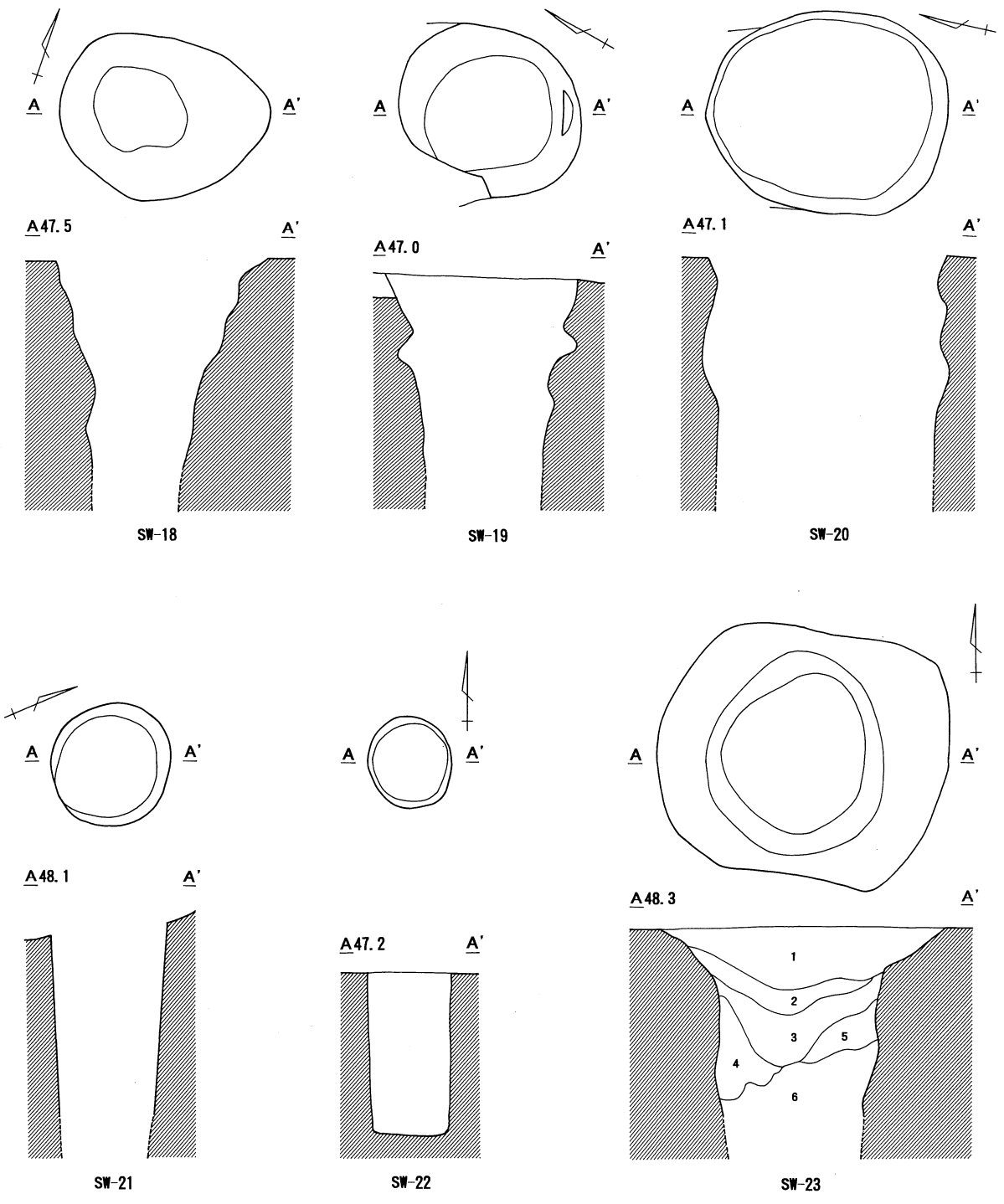
黒灰褐色土 ロームブロック(径1~15mm)、礫(径10~30mm)を少量含む。

SW-13 土層説明 (単層)

黒灰褐色土 黒褐色土ブロック(径1~5mm)を少量含み、ロームブロック(径1~15mm)、礫(径10~20mm)を多量に含む。



図27 SW-11~17



SW-14 土層説明 (単層)

暗灰黄色土 ロームブロック(径1~10mm)、黒褐色土ブロック(径1~5mm)を少量含み、礫(径10~30mm)を多量に含む。

SW-15 土層説明 (単層)

暗灰黄色土 ロームブロック(径1~15mm)、礫(径5~30mm)を多量に含む。

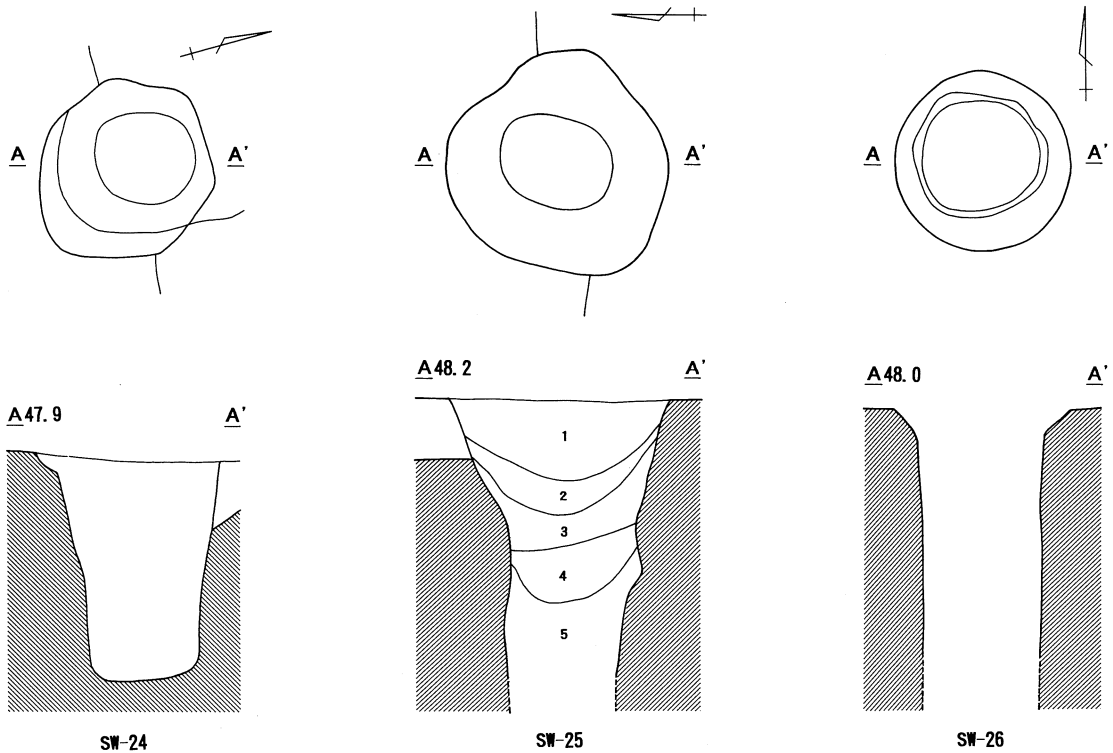
SW-16 土層説明 (単層)

黒褐色土 ロームブロック(径1~15mm)、礫(径10~40mm)を多量に含む。

SW-17 土層説明 (単層)

暗灰黄色土 ロームブロック(径1~5mm)、炭化物ブロック(径1~5mm)を少量含み、礫(径10~20mm)を多量に含む。

図28 SW-18~23



SW-18 土層説明 (単層)

黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)、礫(径5~30mm)を多量に含む。

SW-19 土層説明 (単層)

暗灰褐色土 ロームブロック(径1~15mm)、礫(径10~20mm)を多量に含む。

SW-20 土層説明 (単層)

暗灰褐色土 ロームブロック(径1~10mm)、礫(径10mm±)を少量含む。

SW-21 土層説明 (単層)

黒灰褐色土 ロームブロック(径1~50mm)を少量含み、礫(径5~30mm)を多量に含む。

SW-22 土層説明 (単層)

黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)、礫(径10mm±)、砂粒(径1mm±)を多量に含む。

SW-23 土層説明

- 1 暗灰褐色土 ロームブロック(径1~10mm)、礫(径10mm±)を少量含む。
- 2 暗灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)、炭化物ブロック(径1~5mm)を少量含み、礫(径10~20mm)を多量に含む。

3 暗褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。

4 褐色土 ロームブロック(径1~25mm)を多量に含む。

5 黒灰色土 ロームブロック(径1~5mm)、礫(径10mm±)を少量含む。

6 黒褐色土 礫(径10~20mm)を多量に含む。

SW-24 土層説明 (単層)

暗灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含み、礫(径5~30mm)を多量に含む。

SW-25 土層説明

- 1 暗灰褐色土 礫(径10~50mm)を多量に含む。
- 2 暗灰褐色土 ロームブロック(径1~20mm)、礫(径10~50mm)を多量に含む。
- 3 暗褐色土 ロームブロック(径1~20mm)を多量に含み、礫(径10~25mm)を少量含む。
- 4 暗褐色土 礫(径10~300mm)を少量含む。
- 5 黒褐色土 礫(径20~350mm)を少量含む。

SW-26 土層説明 (単層)

黒灰色土 ロームブロック(径1~10mm)、焼土ブロック(径1~5mm)を少量含み、礫(径10~30mm)を多量に含む。

図29 SW-24~26

SW-25 (図29)

P-2グリッドに位置する。直径1.65～1.78mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、3層に大別され、上層に礫を多量に含む暗灰褐色土、中層に礫を多量に含む暗褐色土、下層に黒褐色土の堆積を認め、深さ2.46m以上を測る。遺物は、青磁椀底部の小片のほか、かわらけ、埴輪の細片若干を検出した。

SW-26 (図29)

P-4、Q-4グリッドに位置する。直径1.40～1.42mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、礫を多量に含む黒灰色土の堆積を認め、深さ2.36m以上を測る。遺物は、白磁小皿のほか、かわらけの細片若干を検出した。

SW-27 (図30)

R-3グリッドに位置する。直径2.42～2.64mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、2層に大別され、上層に礫を少量含む暗灰褐色土および暗褐色土、下層に礫を多量に含む暗褐色土および暗灰褐色土の堆積を認め、深さ1.95m以上を測る。遺物は、白磁小皿を検出したほか、かわらけ、埴輪の細片若干が出土した。

SW-28 (図30)

R-2、S-2グリッドに位置する。直径2.10～2.25mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、礫を含む暗黄灰色土の堆積を認め、深さ2.55m以上を測る。遺物は、皆無であった。

SW-29 (図30)

U-0グリッドに位置する。直径1.02～1.23mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、黒色土ブロック、礫を含む黒褐色土の堆積を認め、深さ1.56m以上を測る。遺物は、鉄釘、宝篋印塔、板碑を検出した。

SW-30 (図30)

V-23、W-23グリッドに位置する。直径2.67～2.96mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、黒色土ブロック、礫を含む暗灰褐色土および黒灰褐色土の堆積を認め、深さ2.28m以上を測る。遺物は、かわらけ、埴輪の細片若干を検出した。

SW-31 (図30)

E-11・12グリッドに位置する。直径1.75～1.80mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、礫を多量に含む黒灰褐色土の堆積を認め、深さ1.55m以上を測る。遺物は、かわらけの細片若干を検出した。

SW-32 (図30)

E-12グリッドに位置する。直径1.82～1.88mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、礫を多量に含む暗灰褐色土の堆積を認め、深さ1.58m以上を測る。遺物は、かわらけの細片若干を検出した。

SW-33 (図31)

F-11グリッドに位置する。直径1.80～1.85mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、礫を多量に含む黒灰褐色土の堆積を認め、深さ1.58m以上を測る。遺物は、かわらけ、砥石の小片を検出した。

SW-34 (図31)

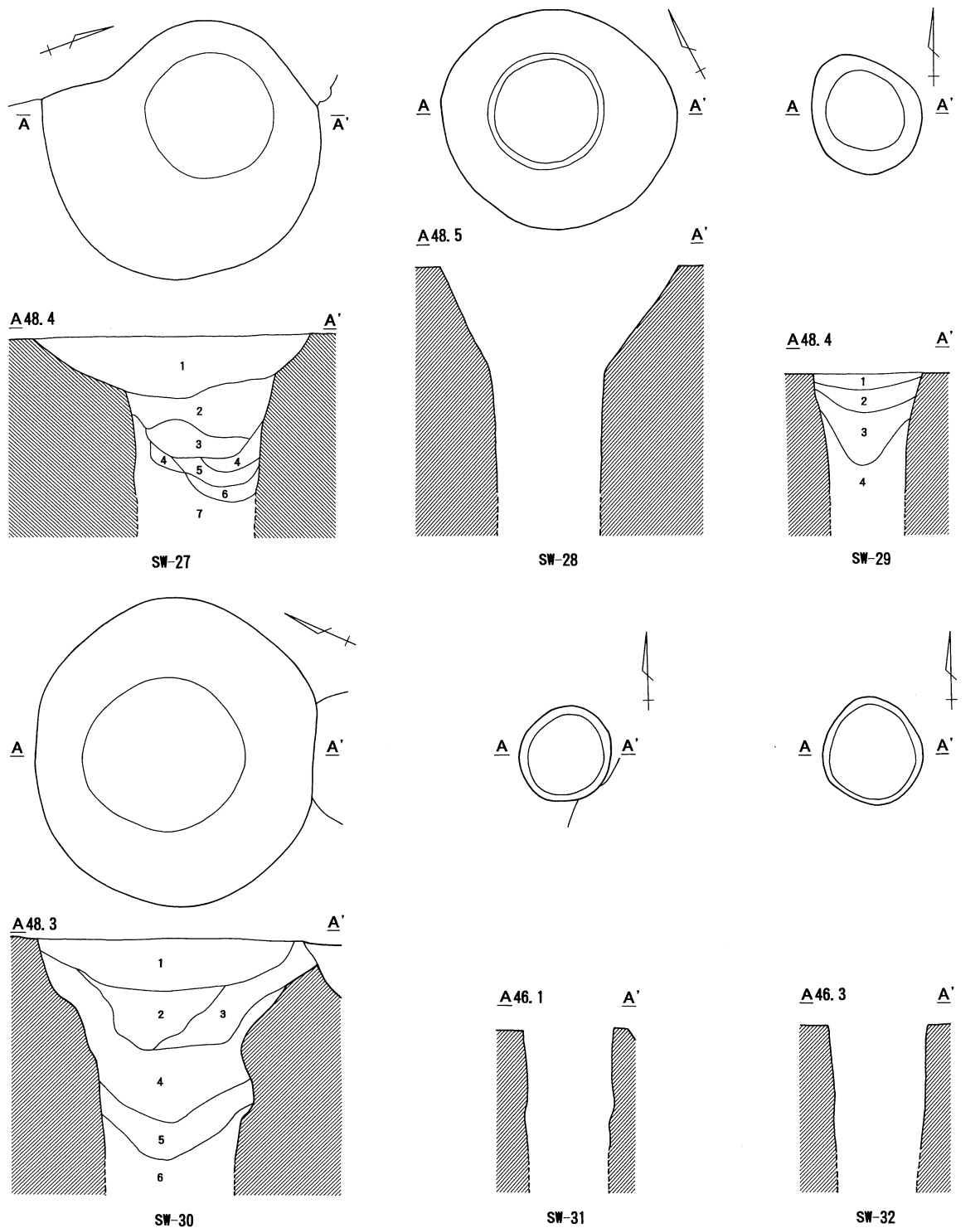
F-12グリッドに位置する。直径1.48～1.78mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、礫を多量に含む黒褐色土の堆積を認め、深さ1.80m以上を測る。遺物は、かわらけ、埴輪の細片若干を検出した。

SW-35 (図31)

G-9・10グリッドに位置する。直径2.18～2.38mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、焼土ブロック、礫を含む黒灰色土の堆積を認め、深さ2.55m以上を測る。遺物は、在地系土器、かわらけの細片若干を検出した。

SW-36 (図32)

I-14グリッドに位置する。直径1.20～1.22mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、黒色土ブロックを含む黒



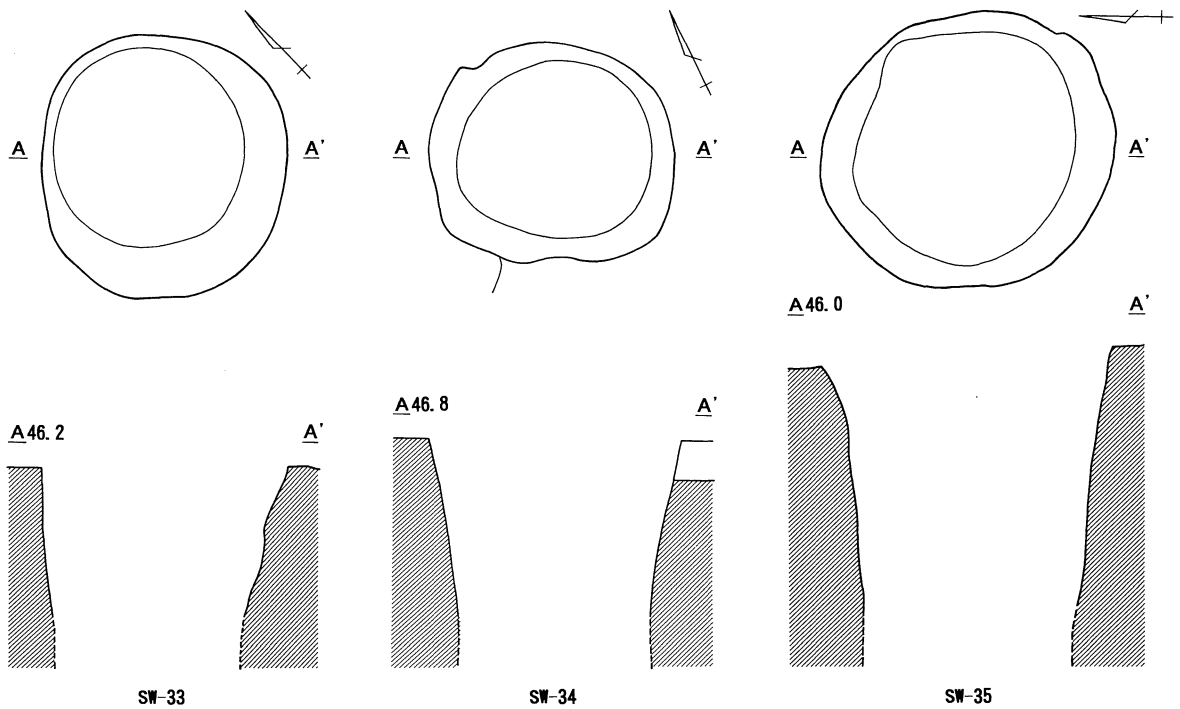
SW-27 土層説明

- 1 暗灰褐色土 ロームブロック(径1~10mm)、礫(径10~30mm)を少量含む。
- 2 暗褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 3 暗褐色土 ロームブロック(径1~10mm)、礫(径10~250mm)を多量に含む。
- 4 暗灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。

- 5 暗灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)、礫(径10~200mm)を多量に含む。
- 6 暗灰褐色土 ロームブロック(径1~80mm)を多量に含む。
- 7 暗褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に含む。

0 2m 1:60

図30 SW-27~32



SW-28 土層説明 (単層)

暗黄灰色土 ロームブロック (径1~5mm)、礫 (径10~70mm) を少量含む。

SW-29 土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック (径1~10mm)、礫 (径5~30mm) を多量に含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック (径1~5mm)、黒色土ブロック (径10~30mm)、礫 (径5~30mm) を多量に含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック (径1~20mm) を含む。
- 4 黒褐色土 ロームブロック (径1~50mm) を多量に含む、斑状に堆積。

SW-30 土層説明

- 1 黒灰褐色土 ロームブロック (径1~10mm)、礫 (径10~30mm) を少量含む。
- 2 暗灰褐色土 ロームブロック (径1~5mm) を少量含む。
- 3 黒暗褐色土 ロームブロック (径1~10mm)、黒色土ブロック (径10~30mm)、礫 (径10~250mm) を多量に含む。
- 4 暗灰褐色土 ロームブロック (径1~5mm) を少量含む。
- 5 黒灰褐色土 ロームブロック (径1~5mm)、礫 (径10~250mm) を多量に含む。
- 6 暗灰褐色土 ロームブロック (径1~80mm)、礫 (径10~500mm) を多量に含む。

SW-31 土層説明 (単層)

黒灰褐色土 ロームブロック (径1~5mm)、礫 (径5~20mm) を多量に含む。

SW-32 土層説明 (単層)

暗灰褐色土 ロームブロック (径1~5mm)、礫 (径10~200mm) を多量に含む。

SW-33 土層説明 (単層)

黒灰褐色土 ロームブロック (径1~10mm)、黒色土ブロック (径1~30mm)、礫 (径10~250mm) を多量に含む。

SW-34 土層説明 (単層)

黒褐色土 ロームブロック (径1~10mm)、礫 (径5~30mm) を多量に含む。

SW-35 土層説明 (単層)

黒灰色土 ロームブロック (径1~10mm)、焼土ブロック (径1~15mm) を少量含む、礫 (径10~30mm) を多量に含む。

SW-36 土層説明 (単層)

黒褐色土 ロームブロック (径1~5mm)、黒色土ブロック (径10~30mm) を多量に含む。

SW-37 土層説明 (単層)

暗灰褐色土 礫 (径5~80mm) を多量に含む。

SW-38 土層説明 (単層)

灰褐色土 ロームブロック (径1~5mm)、炭化物ブロック (径1~50mm)、焼土ブロック (径5~10mm) を多量に含む。

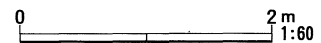


図31 SW-33~35

褐色土の堆積を認め、深さ1.65m以上を測る。遺物は、皆無であった。

SW-37 (図32)

I-14・15グリッドに位置する。直径1.21～1.30mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、礫を多量に含む暗灰褐色土の堆積を認め、深さ1.31mを測る。遺物は、皆無であった。

SW-38 (図32)

I-12グリッドに位置する。直径1.04～1.12mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、炭化物ブロック、焼土ブロックを含む灰褐色土の堆積を認め、深さ1.61m以上を測る。遺物は、かわらけを検出した。

SW-39 (図32)

I-12グリッドに位置する。短径0.90m、長径1.08mを測り、不整な円形を呈する。覆土は、黒色土ブロックを多量に含む黒褐色土の堆積を認め、深さ1.65m以上を測る。遺物は、皆無であった。

SW-40 (図32)

J-14グリッドに位置する。直径1.00～1.03mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、礫を多量に含む暗黄灰色土の堆積を認め、深さ1.24mを測る。遺物はかわらけのほか、覆土最深部で大型の板碑2点を検出した。

SW-41 (図32)

J-10グリッドに位置する。直径1.10～1.20mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、黒色土ブロック、礫を含む黒褐色土の堆積を認め、深さ1.05mを測る。遺物は、皆無であった。

SW-42 (図32)

J-16グリッドに位置する。短径1.19m、長径1.35mを測り、不整な円形を呈する。覆土は、黒色土ブロック、礫を含む黒褐色土の堆積を認め、深さ1.69mを測る。遺物は、青磁椀底部の破片のほか、かわらけ、板碑の細片若干を検出した。

SW-43 (図32)

K-9グリッドに位置する。直径1.65～1.78mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、3層に大別され、上層に礫を含まない黒褐色土、中層に炭化物ブロック、焼土ブロックを多量に含む暗灰褐色土、下層に礫を多量に含む黒褐色土の堆積を認め、深さ1.73m以上を測る。遺物は、かわらけ、板碑、埴輪の細片若干を検出した。

SW-44 (図33)

J-11グリッドに位置する。直径1.03～1.14mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、炭化物ブロック、礫を含む黒灰褐色土の堆積を認め、深さ1.65m以上を測る。遺物は、かわらけ、板碑の細片若干を検出した。

SW-45 (図33)

L-7グリッドに位置する。短径1.10m、長径1.65mを測り、楕円形を呈する。覆土は、礫を多量に含む黒褐色土の堆積を認め、深さ2.10m以上を測る。遺物は、皆無であった。

SW-46 (図33)

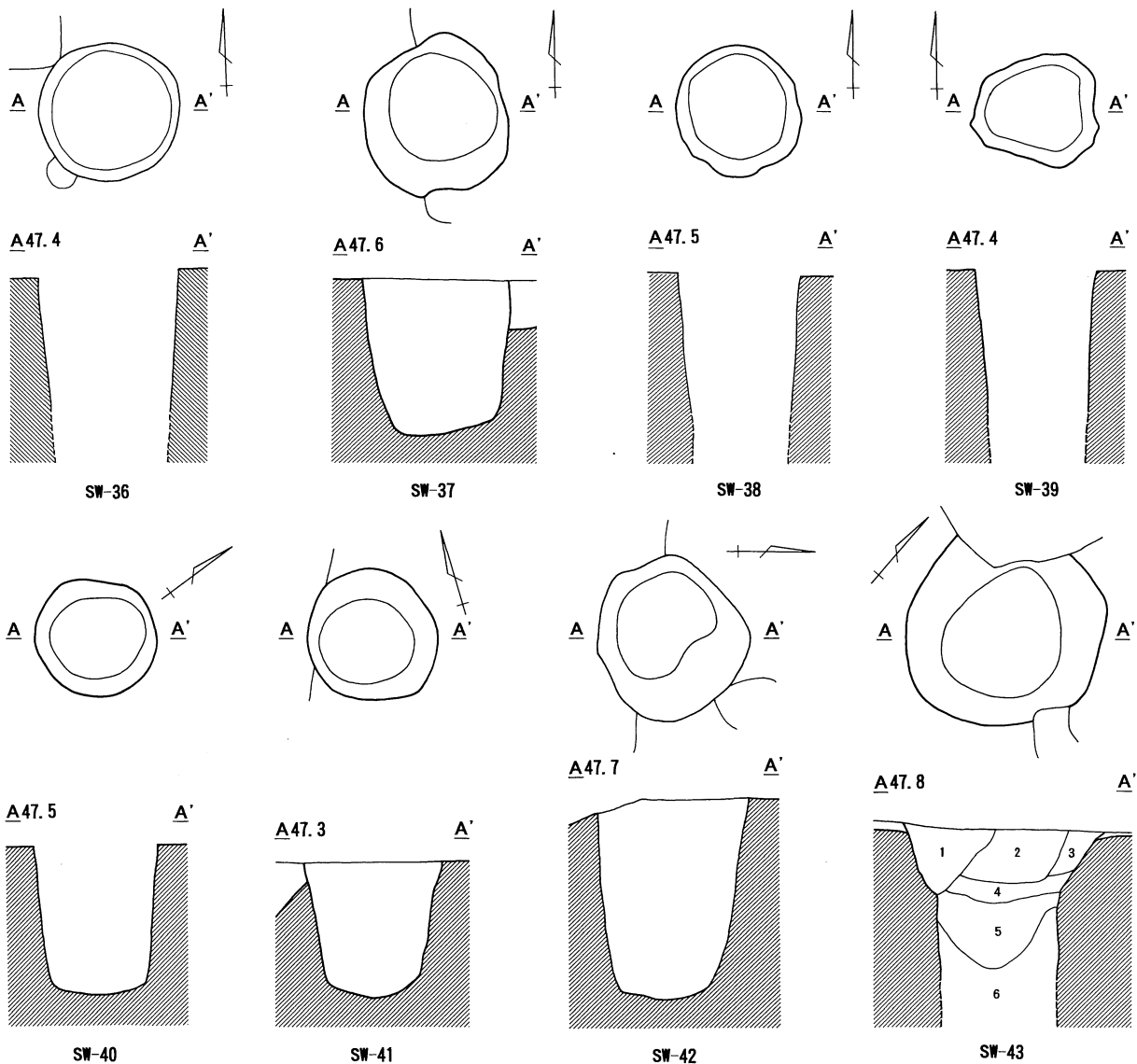
L-7グリッドに位置する。直径1.10～1.20mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、礫、砂粒を多量に含む暗黄灰褐色土の堆積を認め、深さ1.40mを測る。遺物は、皆無であった。

SW-47 (図33)

L-12グリッドに位置する。短径2.28m、長径2.55mを測り、不整な円形を呈する。覆土は、礫を多量に含む黒褐色土の堆積を認め、深さ2.57m以上を測る。遺物は、かわらけの細片若干を検出した。

SW-48 (図33)

L-13グリッドに位置する。直径1.65～1.83mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、礫を多量に含む黒褐色土



SW-39 土層説明 (単層)

黒褐色土 ロームブロック (径1~5mm)、黒色土ブロック (径10~30mm) を多量に含む。

SW-40 土層説明 (単層)

暗黄灰色土 ロームブロック (径1~20mm)、礫 (径5~30mm) を多量に含む。

SW-41 土層説明 (単層)

黒褐色土 ロームブロック (径1~20mm)、黒色土ブロック (径1~30mm) を少量含み、礫 (径5~30mm) を多量に含む。

SW-42 土層説明 (単層)

黒褐色土 黒色土ブロック (径10~30mm) を少量含み、ロームブロック (径1~50mm)、礫 (径5~45mm) を多量に含む。

SW-43 土層説明

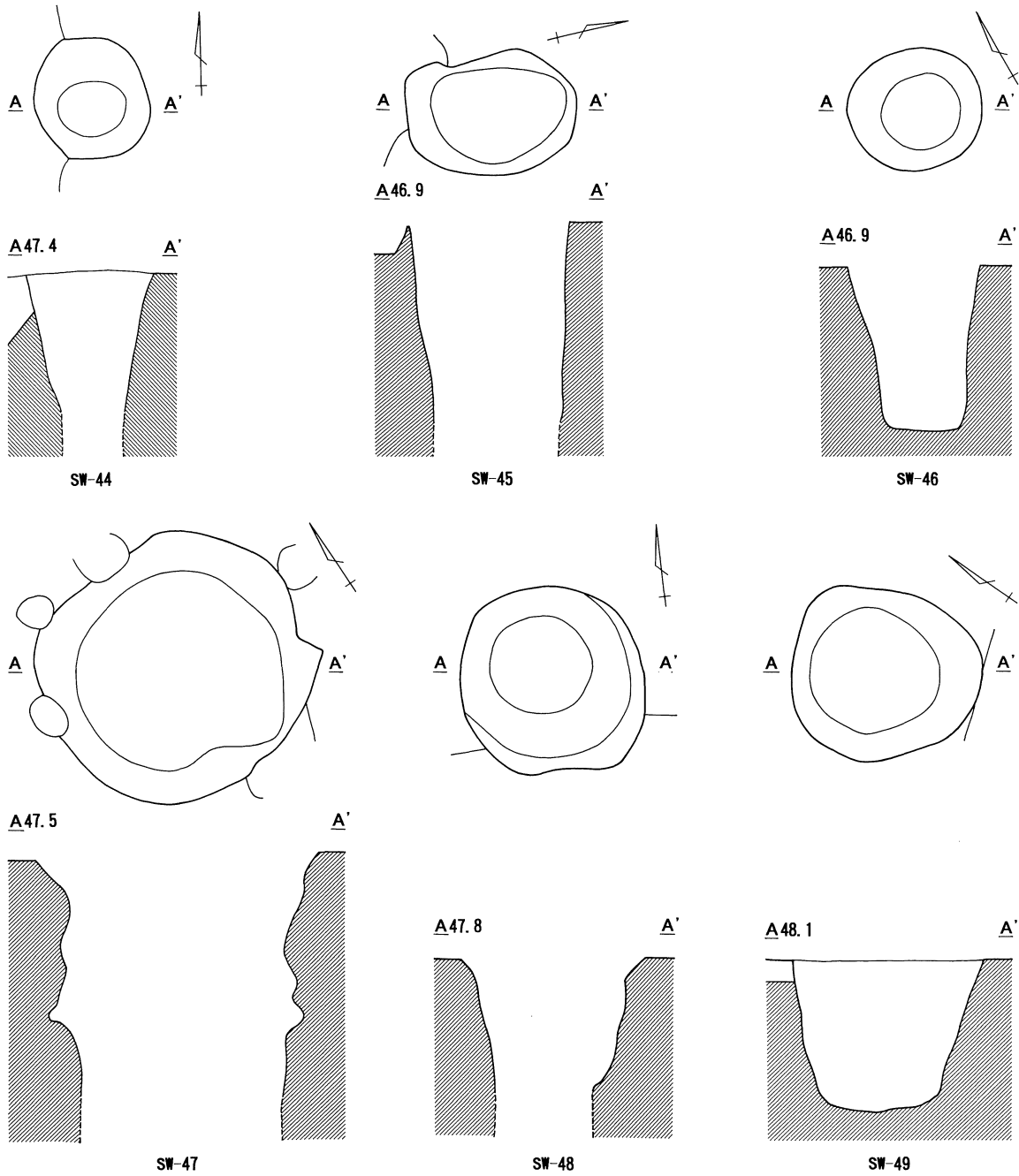
- 1 暗黄灰色土
- 2 黒褐色土 ロームブロック (径1~5mm) を少量含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック (径1~50mm) を少量含む。
- 4 暗灰褐色土 ロームブロック (径1~5mm)、炭化物ブロック (径1~50mm)、焼土ブロック (径5~10mm) を多量に含む。
- 5 黒褐色土 ロームブロック (径1~5mm)、炭化物ブロック、(径1~5mm) を少量含み、礫 (径5~50mm) を多量に含む。
- 6 黒褐色土 礫 (径5~20mm) を少量含む。

SW-44 土層説明 (単層)

黒灰褐色土 ロームブロック (径1~10mm)、炭化物ブロック (径1~15mm) を少量含み、礫 (径10~30mm) を多量に含む。



図32 SW-36~43



SW-45 土層説明 (単層)

黒褐色土 ロームブロック (径 1~5 mm)、礫 (径 10~150mm) を多量に含む。

SW-48 土層説明 (単層)

黒褐色土 ロームブロック (径 1~5 mm)、礫 (径 10~150mm) を多量に含む。

SW-46 土層説明 (単層)

暗黄灰色土 黒色土ブロック (径 10~30mm)、礫 (径 5~30 mm)、砂粒 (径 1~2 mm) を多量に含む。

SW-49 土層説明 (単層)

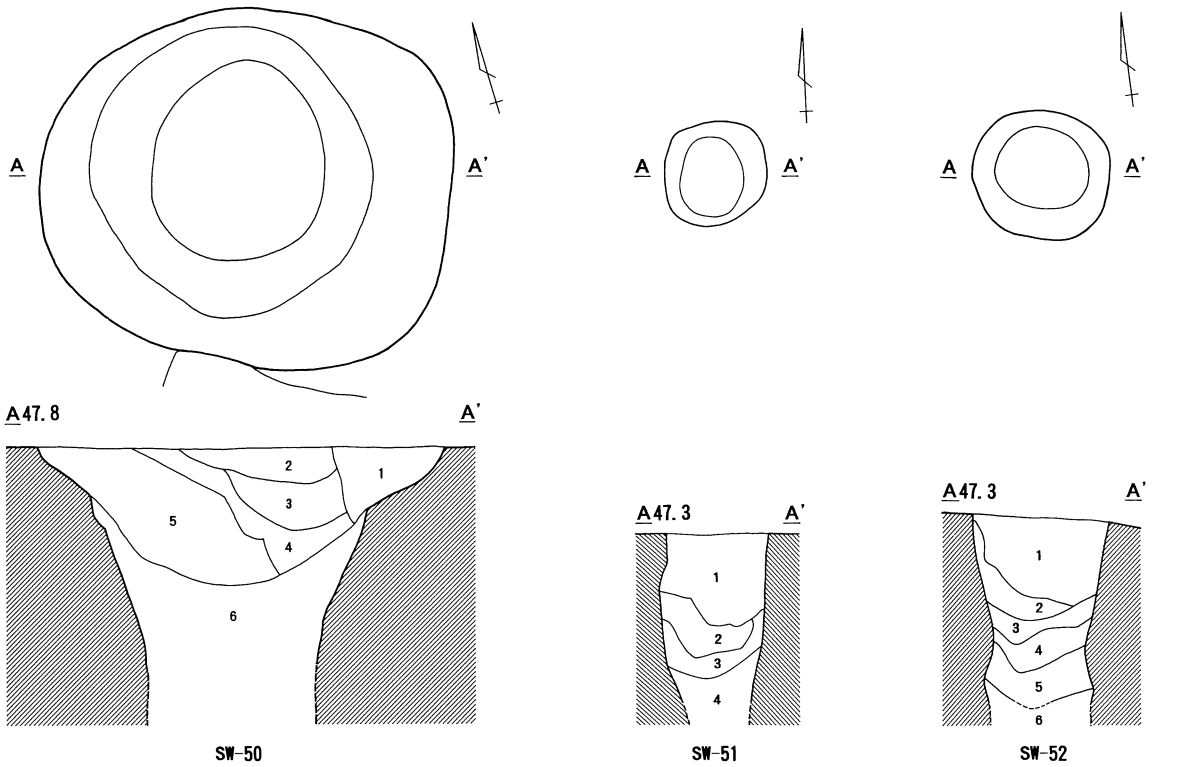
黒褐色土 ロームブロック (径 1~50mm)、礫 (径 5~20 mm) を多量に含む。

SW-47 土層説明 (単層)

黒褐色土 ロームブロック (径 1~20mm)、礫 (径 5~20 mm) を多量に含む。



図33 SW-44~49



SW-50 土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック(径1~2mm)、礫(径5~20mm)を多量に含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~2mm)を少量含む、礫(径5~20mm)を多量に含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック(径1~2mm)、白色パミス(径1~2mm)を多量に含む。
- 4 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)、礫(径5~15mm)を少量含む、白色パミス(径1~2mm)を多量に含む。
- 5 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む、礫(径10~80mm)を多量に含む。
- 6 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)、礫(径5~15mm)を多量に含む。

SW-51 土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック(径1~2mm)、白色パミス(径1~2mm)を少量含む。
- 2 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~2mm)を多量に含む、焼土ブロック(径1~2mm)を少量含む。

- 3 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~2mm)を多量に含む。
- 4 黒色土 ロームブロック(径1~5mm)、焼土ブロック(径1~2mm)を少量含む。

SW-52 土層説明

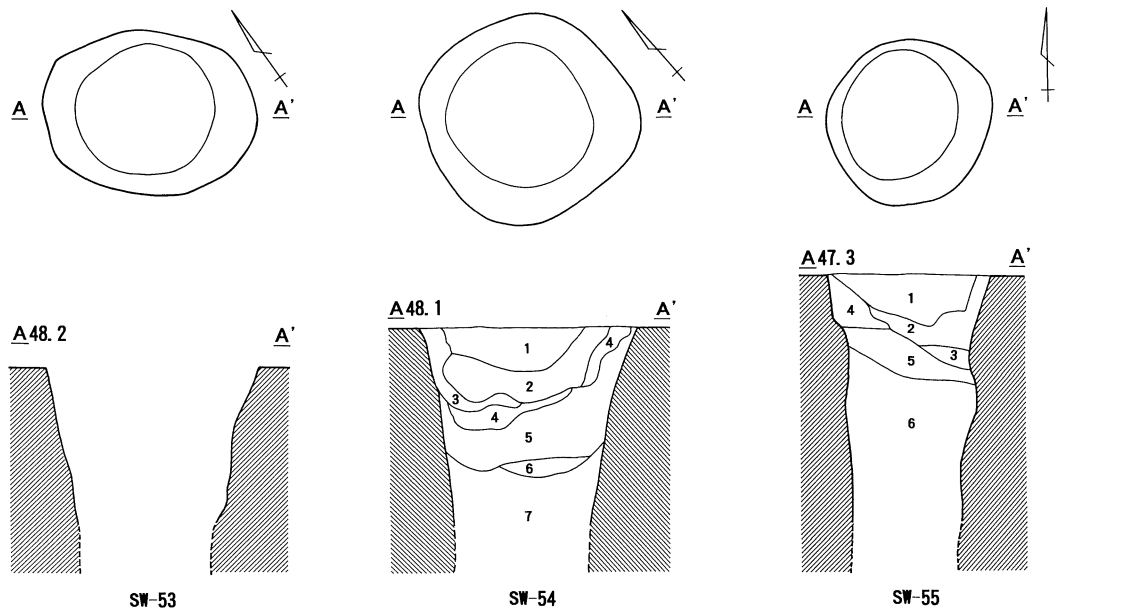
- 1 黒褐色土 ロームブロック(径1~2mm)を多量に含む、白色パミス(径1~2mm)を多量に含む。
- 2 黒褐色土 灰白色粘質土ブロック(径1~5mm)を多量に含む。
- 3 黒色土 ロームブロック(径1~2mm)を少量含む。
- 4 黒色土 砂質土ブロック(径5~10mm)、礫(径10~15mm)を少量含む。
- 5 黒色土 砂質土ブロック(径5~10mm)を多量に含む、ロームブロック(径1~2mm)、礫(径5~20mm)を少量含む。
- 6 黒灰色土 灰白色粘質土ブロック(径1~20mm)、炭化物ブロック(径1~5mm)を多量に含む。

図34 SW-50~52

の堆積を認め、深さ1.61m以上を測る。遺物は、かわらけの細片若干を検出した。

SW-49 (図33)

L-15グリッドに位置する。直径1.52~1.70mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、礫を多量に含む黒褐色土の堆積を認め、深さ0.98mを測る。遺物は、土師器、須恵器の細片が多量に出土したほか板碑の細片若干を検出した。



SW-53 土層説明 (単層)

黒灰褐色土 ロームブロック (径1~5mm)、炭化物ブロック (径1~10mm) を少量含み、礫 (径10~40mm) を多量に含む。

SW-54 土層説明

- 1 暗黄灰色土 灰黄色土ブロック (径10~30mm)、礫 (径10~100mm) を多量に含む。
- 2 暗黄灰色土 黄褐色土ブロック (径10~20mm)、礫 (径10~15mm) を多量に含む。
- 3 暗灰褐色土 ロームブロック (径1~10mm) を少量含む。
- 4 黒色土 ロームブロック (径1~5mm) を多量に含む。
- 5 黒色土 ロームブロック (径1~15mm) を多量に含む。
- 6 黒色土
- 7 黒色土 ロームブロック (径1~30mm) を多量に含む。

SW-55 土層説明

- 1 黒褐色土 礫 (径5~10mm) を多量に含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック (径1~2mm)、炭化物ブロック (径1~2mm) を少量、白色パミス (径1~2mm)、礫 (径10mm±) を多量に含む。
- 3 礫層
- 4 黒灰褐色土 ロームブロック (径1~2mm)、炭化物ブロック (径1~2mm) を少量、白色パミス (径1~2mm) を多く、礫 (径10mm±) を多量に含む。
- 5 黒褐色土 ロームブロック (径1~5mm)、礫 (径5~10mm) を少量含む。
- 6 黒褐色土 礫 (径5~20mm) を多量に含む。

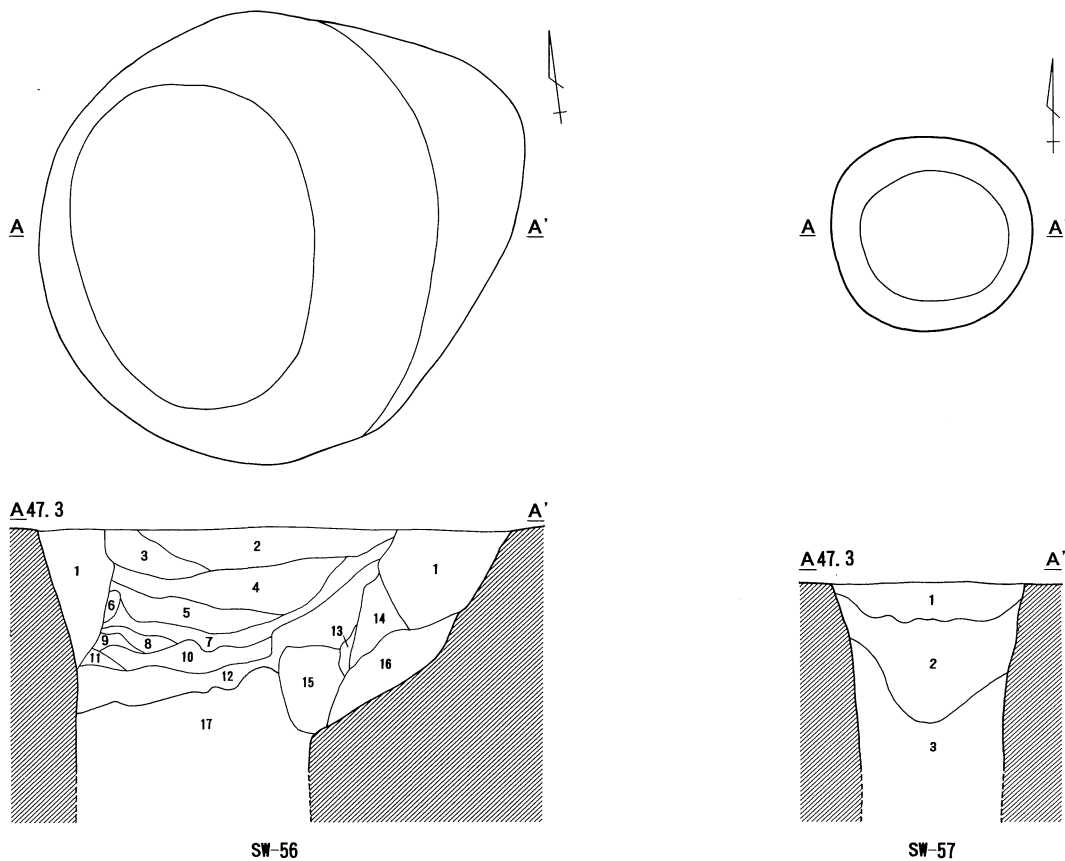
図35 SW-53~55

SW-50 (図34)

M-9グリッドに位置する。直径2.80~3.38mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、白色パミス、礫を含む黒褐色土の堆積を認め、深さ2.21m以上を測る。遺物は、青磁椀、白磁小皿、鉄釘のほか、かわらけの細片若干を検出した。

SW-51 (図34)

M-8グリッドに位置する。直径0.82~0.90mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、3層に大別され、上層に白色パミスを含む黒褐色土、中層に焼土ブロックなどを含む黒灰褐色土、下層に焼土ブロックを含む黒色土の堆積を認め、深さ1.50m以上を測る。遺物は、皆無であった。



SW-56 土層説明

- 1 黒色土 ロームブロック (径1~10mm) を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック (径1~5mm)、炭化物ブロック (径1~5mm) を少量含む、礫 (径5~50mm) を多量に含む。
- 3 暗褐色土 ロームブロック (径1~10mm)、白色パミス (径1~2mm)、礫 (径10mm±) を多量に含む。
- 4 褐色土 ロームブロック (径1~10mm)、白色パミス (径1~2mm)、炭化物ブロック (径1~20mm) を少量含む、礫 (径10mm±) を多量に含む。
- 5 礫層
- 6 暗褐色土 ロームブロック (径1~2mm)、白色パミス (径1~2mm) を少量含む。
- 7 暗褐色土 ロームブロック (径1~15mm)、炭化物ブロック (径5mm±)、礫 (径10mm±) を少量含む。
- 8 暗褐色土 ロームブロック (径1~2mm) を少量含む、炭化物ブロック (径1~5mm) を多量に含む。
- 9 暗褐色土 ロームブロック (径1~10mm) を多量に含む。

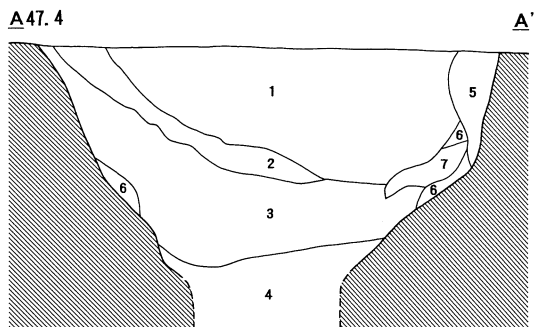
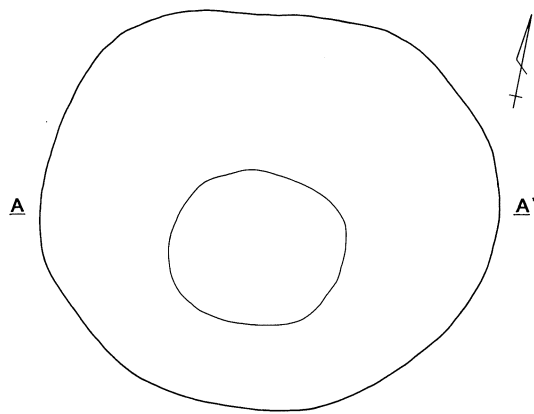
- 10 暗褐色土 ロームブロック (径1~20mm) を少量含む、礫 (径1~80mm) を多量に含む。
- 11 褐色土 ロームブロック (径1~5mm) を多量に含む。
- 12 黒褐色土 ロームブロック (径1~2mm)、礫 (径10mm±) を少量含む。
- 13 黒褐色土 ロームブロック (径1~2mm) を多量に含む。
- 14 黒褐色土 ロームブロック (径1~2mm)、焼土ブロック (径1~2mm)、礫 (径10mm±) を少量含む。
- 15 暗褐色土
- 16 暗褐色土 ロームブロック (径1~20mm) を少量含む、礫 (径10mm±) を多く含む。
- 17 暗褐色土 ロームブロック (径1~40mm)、礫 (径10~80mm) を多量に含む。

SW-57 土層説明

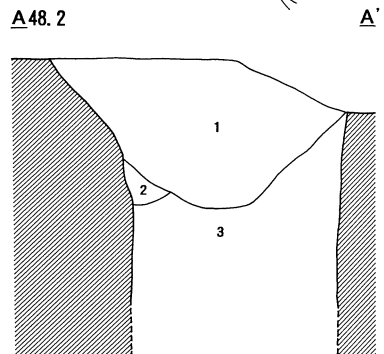
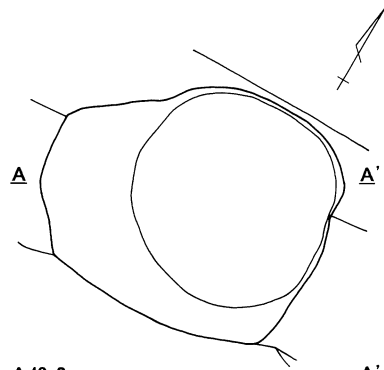
- 1 暗灰褐色土 礫 (径10~100mm) を多量に含む。
- 2 黒褐色土 礫 (径10~15mm) を多量に含む。
- 3 暗灰褐色土 ロームブロック (径1~10mm) を少量含む。



図36 SW-56~57



SW-58



SW-59

SW-58 土層説明

- 1 暗褐色土 礫 (径1~20mm) を多量に含む。
- 2 黒褐色土 焼土ブロック (径1~10mm) を多量に含む。
- 3 暗褐色土 焼土ブロック (径1~20mm) を少量含み、ロームブロック (径1~20mm)、礫 (径10~100mm) を多量に含む。
- 4 黒褐色土 礫 (径10~100mm) を多量に含む。
- 5 黒褐色土 ロームブロック (径1~20mm) を多量に含む。
- 6 灰黄色土 ローム崩落層
- 7 灰黒褐色土

SW-59 土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック (径1~5mm)、礫 (径5~15mm) を少量含み、白色パミス (径1~2mm) を多量に含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック (径1~5mm) を少量含み、礫 (径10~80mm) を多量に含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック (径1~5mm)、礫 (径5~15mm) を多量に含む。

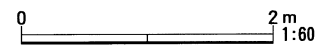


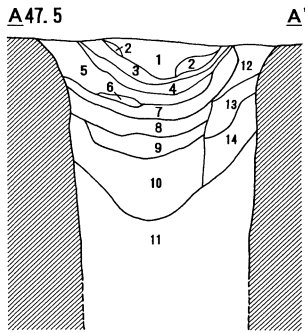
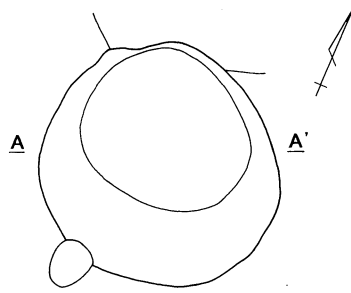
図37 SW-58~59

SW-52 (図34)

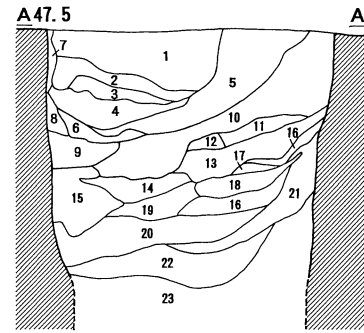
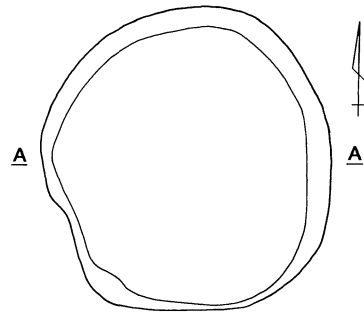
M-6グリッドに位置する。直径1.08~1.12mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、3層に大別され、上層に白色パミス、灰白色粘質土ブロックを含む黒褐色土、中層に砂質土ブロック、礫を含む黒色土、下層に灰白色粘質土ブロック、炭化物ブロックを多量に含む黒灰色土の堆積を認め、深さ1.70m以上を測る。遺物は、皆無であった。

SW-53 (図35)

N-15グリッドに位置する。短径1.30m、長径1.72mを測り、楕円形を呈する。覆土は、炭化物ブロック、礫を含む黒灰褐色土の堆積を認め、深さ1.61m以上を測る。遺物は、かわらけの細片若干を検出した。



SW-60



SW-61

SW-60 土層説明

- 1 黒褐色土 白色パミス(径1~2mm)、焼土ブロック(径1~2mm)を少量含む。
- 2 灰褐色土 焼土ブロック(径1~5mm)を多量に含み、炭化物ブロック(径1~2mm)を少量含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)、炭化物ブロック(径1~2mm)を少量含む。
- 4 黒褐色土 ロームブロック(径1~50mm)、礫(径10mm±)を多量に含む。
- 5 黒褐色土 礫(径10mm±)を多量に含む。
- 6 灰褐色土 炭化物ブロック(径1~2mm)を少量含む。
- 7 黒褐色土 焼土ブロック(径1~2mm)を少量含み、炭化物ブロック(径1~10mm)を多量に含む。
- 8 黒褐色土 炭化物ブロック(径1~10mm)を多量に含み、礫(径10~60mm)を少量含む。
- 9 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)、焼土ブロック(径1~5mm)、炭化物ブロック(径1~5mm)、礫(径5mm±)を少量含む。
- 10 黒褐色土 暗黄褐色土ブロック(径10~40mm)、礫(径5mm±)を少量含む。
- 11 黒褐色土 ロームブロック(径5mm±)、礫(径5~15mm)を多量に含む。

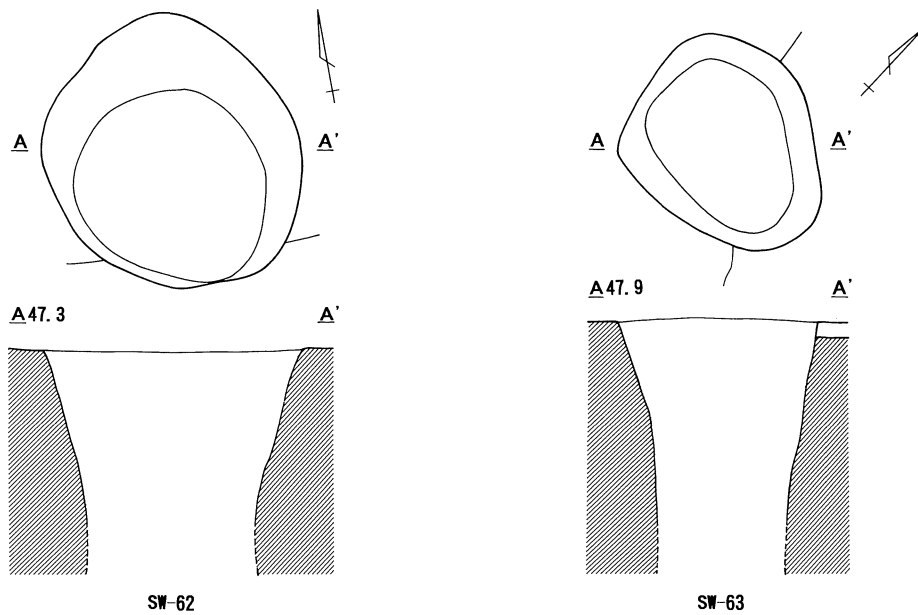
SW-61 土層説明

- 1 黒灰褐色土 白色パミス(径1~2mm)、礫(径5~10mm)を少量含む。
- 2 黒灰褐色土 白色パミス(径1~2mm)、礫(径5~50mm)を少量含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を含む。

- 4 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)、礫(径5~150mm)を少量含む。
- 5 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~2mm)を少量含む。
- 6 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~2mm)を少量含む。
- 7 灰褐色土
- 8 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。
- 9 暗灰褐色土
- 10 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~2mm)、礫(径5~50mm)を多量に含む。
- 11 黒色土
- 12 黒色土 焼土ブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 13 灰黒褐色土 礫(径5mm±)を多量に含む。
- 14 灰黒褐色土
- 15 灰褐色土 炭化物ブロック(径1~2mm)を少量含む。
- 16 灰褐色土 炭化物ブロック(径1~2mm)を少量含む。
- 17 灰黄色土 ローム崩落層。
- 18 黒褐色土 ロームブロック(径5mm±)を多量に含む。
- 19 黒褐色土 ロームブロック(径5mm±)、礫(径5~15mm)を多量に含む。
- 20 黒褐色土 炭化物ブロック(径1~2mm)を少量含み、ロームブロック(径5mm±)を多量に含む。
- 21 黒褐色土 炭化物ブロック(径1~10mm)を多量に含み、礫(径10~60mm)を少量含む。
- 22 黒褐色土 炭化物ブロック(径1~10mm)を多量に含み、礫(径10~60mm)を少量含む。
- 23 黒褐色土 焼土ブロック(径1~20mm)を少量含み、ロームブロック(径1~20mm)、礫(径10~100mm)を多量に含む。



図38 SW-60~61



SW-62 土層説明 (単層)

黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)、礫(径10~50mm)を多量に含む。

SW-63 土層説明 (単層)

黒褐色土 ロームブロック(径1~25mm)、礫(径5~20mm)を多量に含む。



図39 SW-62~63

SW-54 (図35)

N-16、O-16グリッドに位置する。短径1.58m、長径1.78mを測り、不整な円形を呈する。覆土は、2層に大別され、上層に灰黄色土ブロック、黄褐色土ブロック、礫を含む暗黄灰色土および暗灰褐色土、下層に黒色土の堆積を認め、深さ1.94m以上を測る。遺物は、かわらけの細片若干を検出した。

SW-55 (図35)

O-7、P-7グリッドに位置する。直径1.26~1.35mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、白色パミス、炭化物ブロックなどを含む黒褐色土および黒灰褐色土の堆積を認め、深さ2.35m以上を測る。遺物は、皆無であった。

SW-56 (図36)

O-7・8、P-7・8グリッドに位置する。短径3.44m、長径4.07mを測る大型の井戸で、楕円形を呈する。覆土は、白色パミス、炭化物ブロック、焼土ブロック、礫などを含む褐色土、暗褐色土、黒色土の堆積を認め、深さ2.35m以上を測る。遺物は、白磁小皿、大型品を含む多量のかわらけを検出した。

SW-57 (図36)

Q-8グリッドに位置する。直径1.58~1.62mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、3層に大別され、上層に礫を多量に含む暗灰褐色土、中層に礫を多量に含む黒褐色土、下層に礫を含まない暗灰褐色土の堆積を認め、深さ1.88m以上を測る。遺物は、皆無であった。

SW-58 (図37)

Q-8、R-8グリッドに位置する。短径3.15m、長径3.70mを測り、楕円形を呈する。覆土は、おもに焼土ブロック、礫を多量に含む暗褐色土、黒褐色土の堆積を認め、深さ2.25m以上を測る。遺物は、かわらけ少量

を検出した。

SW-59 (図37)

R-10・11グリッドに位置する。直径1.92～2.40mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、2層に大別され、上層に白色パミス、礫を含む黒褐色土、下層に礫を多量に含む黒褐色土の堆積を認め、深さ2.36m以上を測る。遺物は、かわらけ少量を検出した。

SW-60 (図38)

S-8グリッドに位置する。直径1.85～1.95mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、白色パミス、炭化物ブロック、焼土ブロック、暗黄褐色土ブロック、礫などを含む灰褐色土、黒褐色土の堆積を認め、深さ2.35m以上を測る。遺物は、かわらけの細片若干を検出した。

SW-61 (図38)

T-7グリッドに位置する。直径2.20～2.54mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、白色パミス、炭化物ブロック、焼土ブロック、礫などを含む暗灰褐色土、黒褐色土、黒色土の堆積を認め、深さ2.39m以上を測る。遺物は、かわらけの細片若干のほか、覆土最深部で板碑を検出した。

SW-62 (図39)

T-9、U-9グリッドに位置する。直径1.95～2.20mを測り、ほぼ円形を呈する。覆土は、礫を多量に含む黒褐色土の堆積を認め、深さ1.80m以上を測る。遺物は、かわらけ少量を検出した。

SW-63 (図39)

M-13グリッドに位置する。短径1.50m、長径1.80mを測り、不整な円形を呈する。覆土は、礫を多量に含む黒褐色土の堆積を認め、深さ1.64m以上を測る。遺物は、かわらけの細片若干を検出した。

SW-04

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 播鉢	口径 28.0 底径 9.2 器高 12.9	直線的に開く体部。	外面一ロクロ整形、体部上・中位ナデ、下位横位ヘラケズリ、底部右回転糸切り。内面一ロクロ整形、体部櫛目。	白色粒・黒色粒 内外一灰色	口縁部～体部 1/2欠損。

SW-09

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	白磁 小皿	口径 — 底径 3.6 器高 —	高台挟り。	体部ロクロ整形。	内外一灰白色	底部～高台部 2/3。見込目跡。全面施釉。
2	中世土器 かわらけ	口径 7.2 底径 3.9 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部一部欠損。煤付着。

SW-10

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	白磁 小皿	口径 — 底径 3.6 器高 —	緩やかに立ち上がる体部。高台挟り。	体部ロクロ整形。	内外一灰白色	体部下位～高台 2/3。見込目跡。全面施釉。
2	白磁 小皿	口径 — 底径 3.5 器高 —		体部ロクロ整形。底部外面に漆書。	内外一灰白色	高台部残存。内面全面施釉。

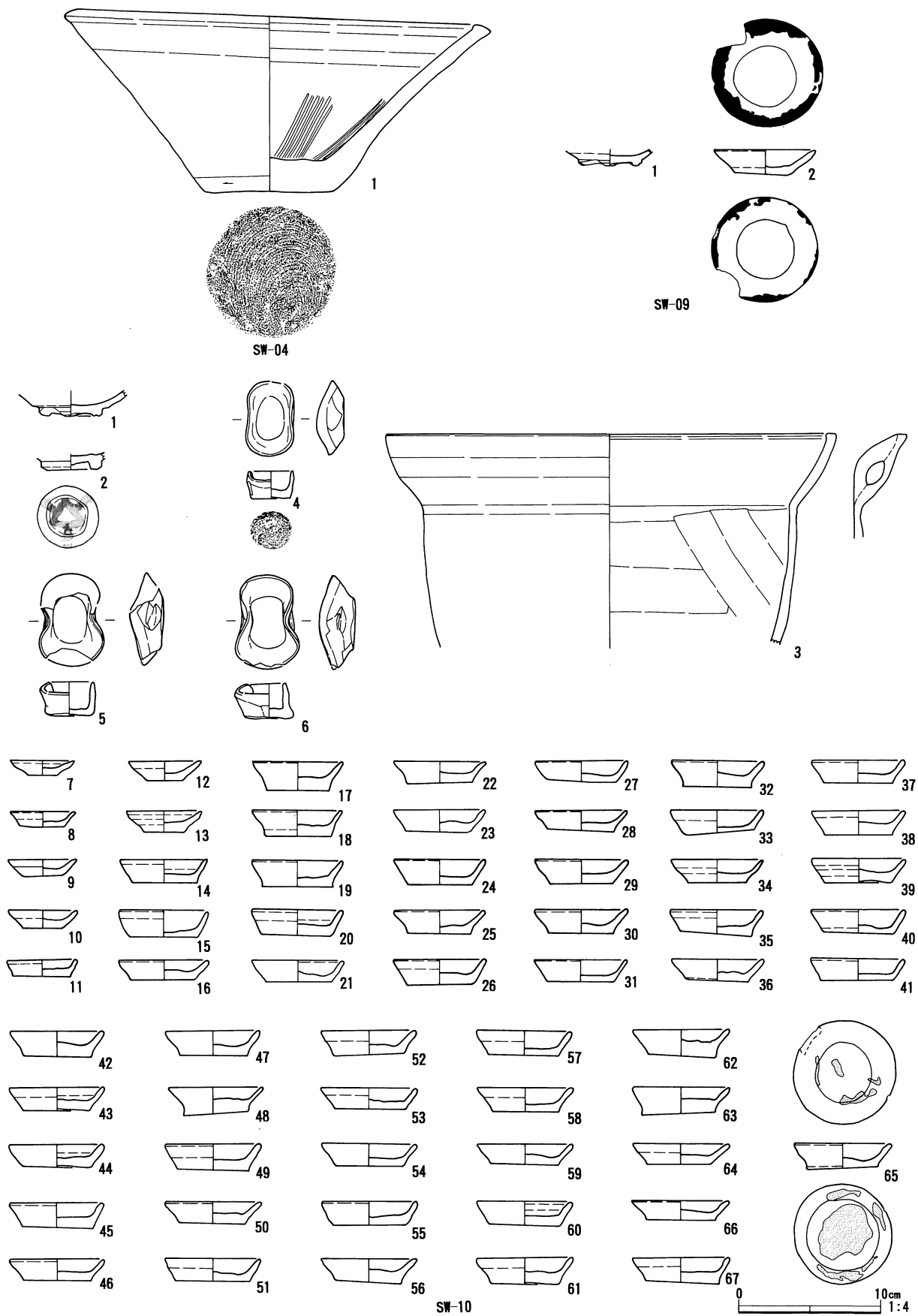


图40 SW 出土遺物 (1)

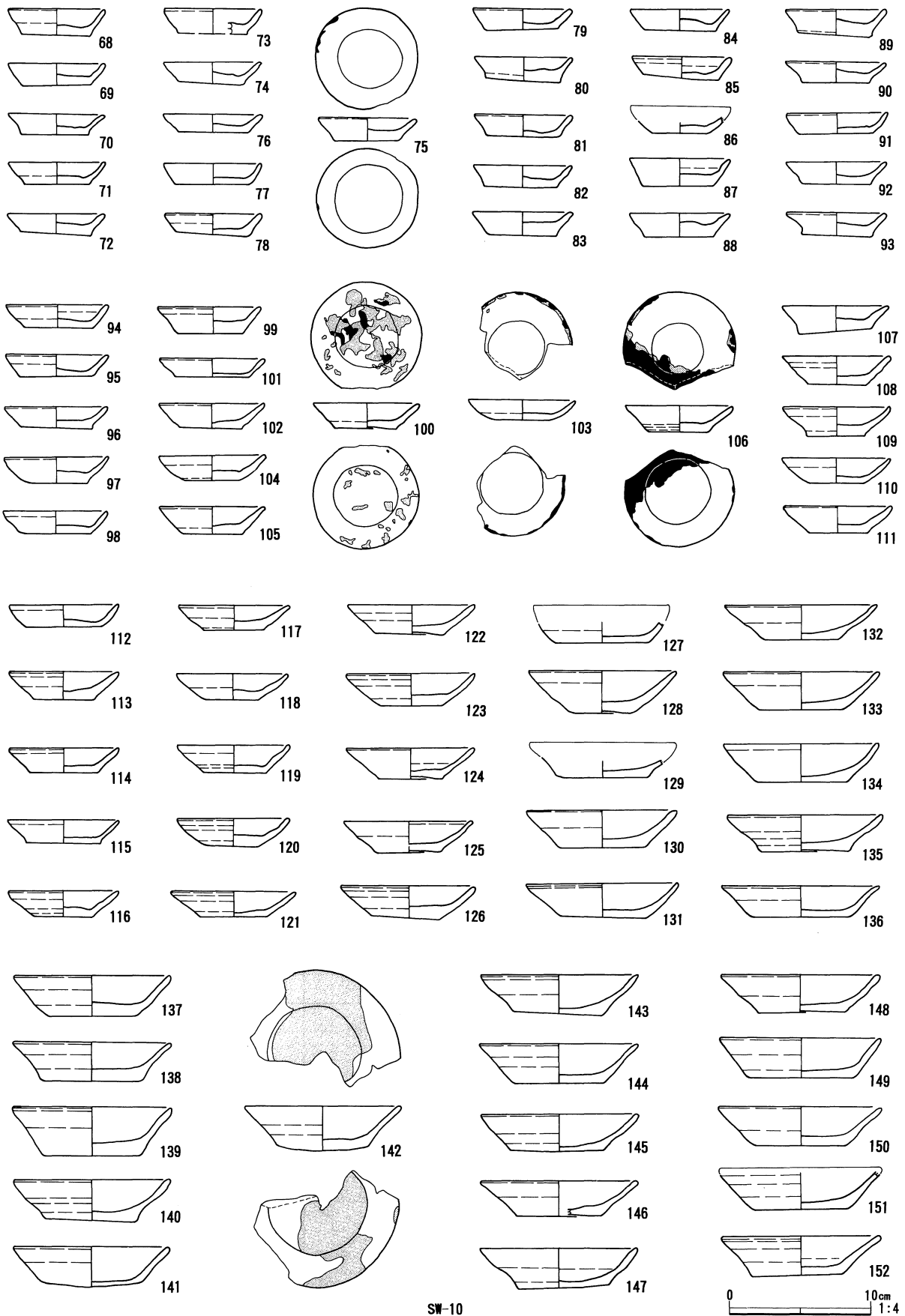
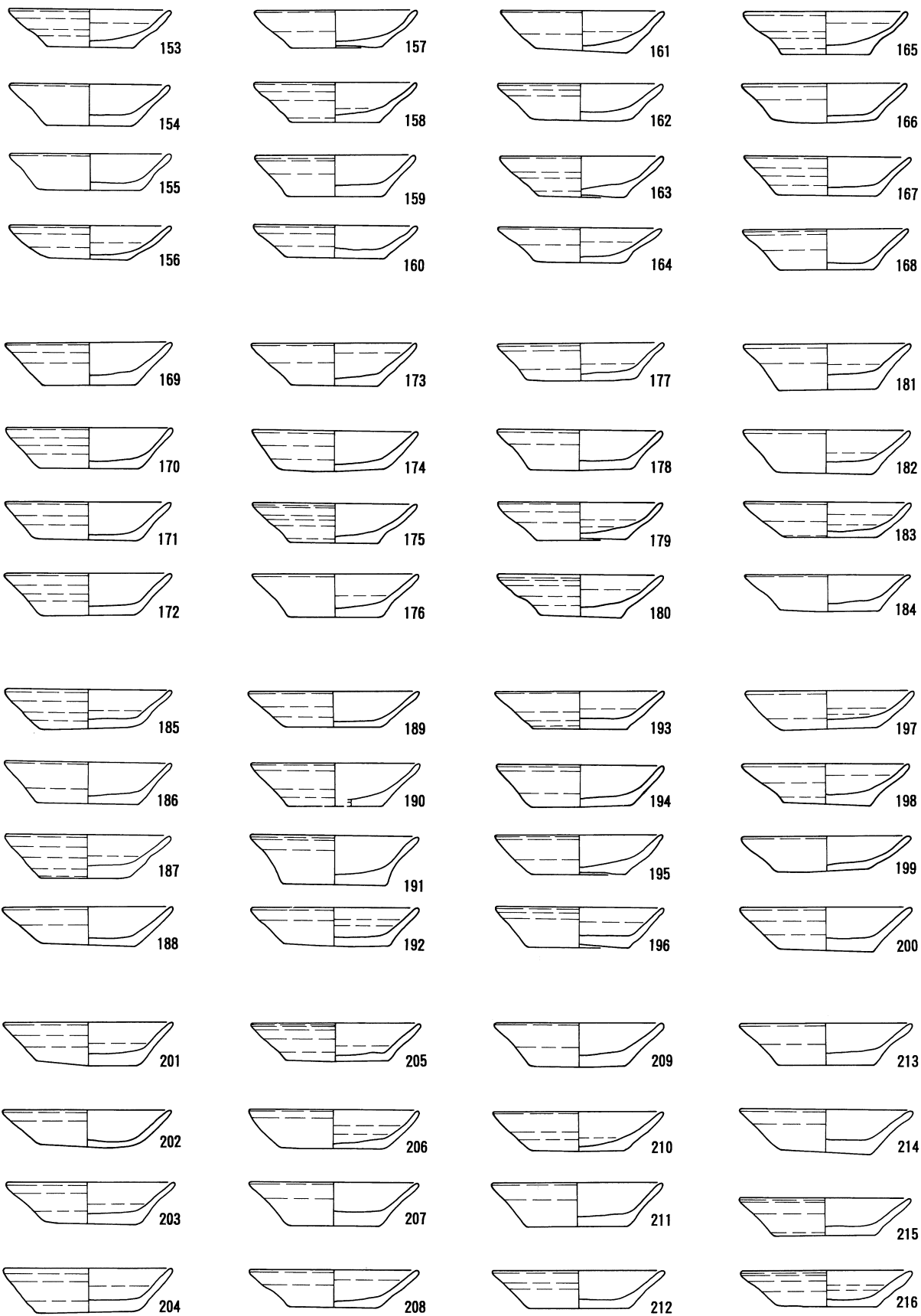
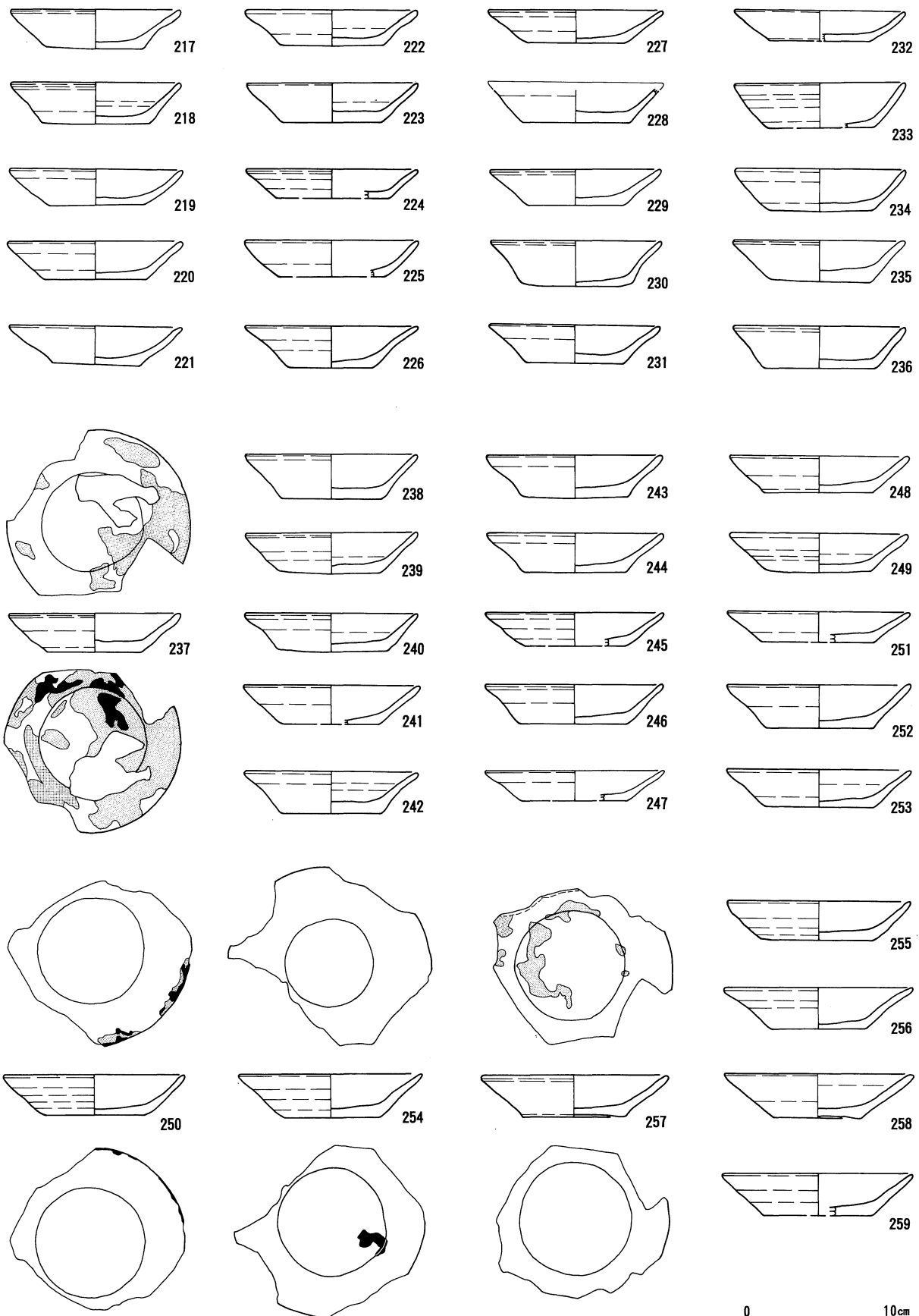


图41 SW 出土遗物 (2)



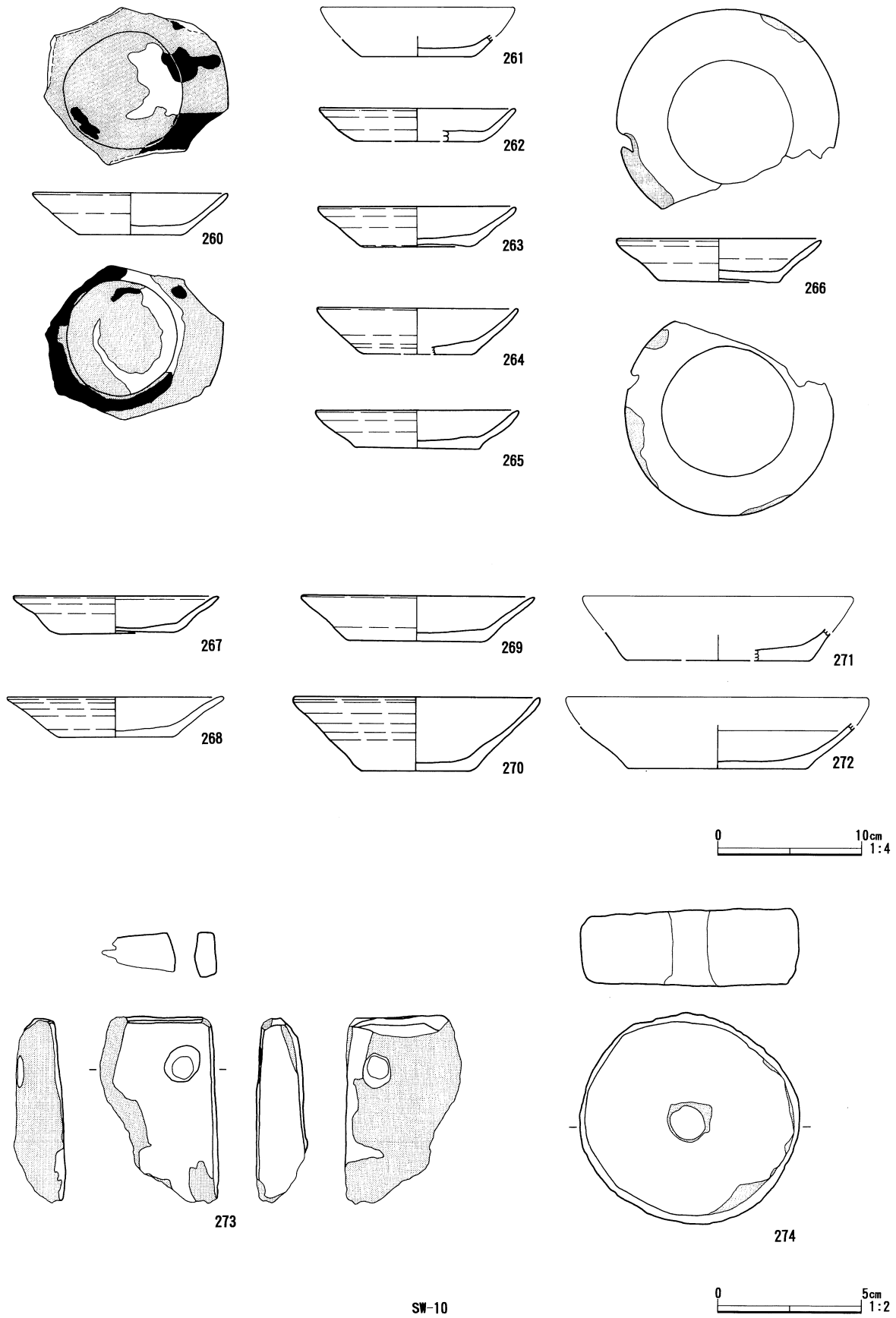
SW-10

图42 SW 出土遗物 (3)



SW-10

图43 SW 出土遺物 (4)

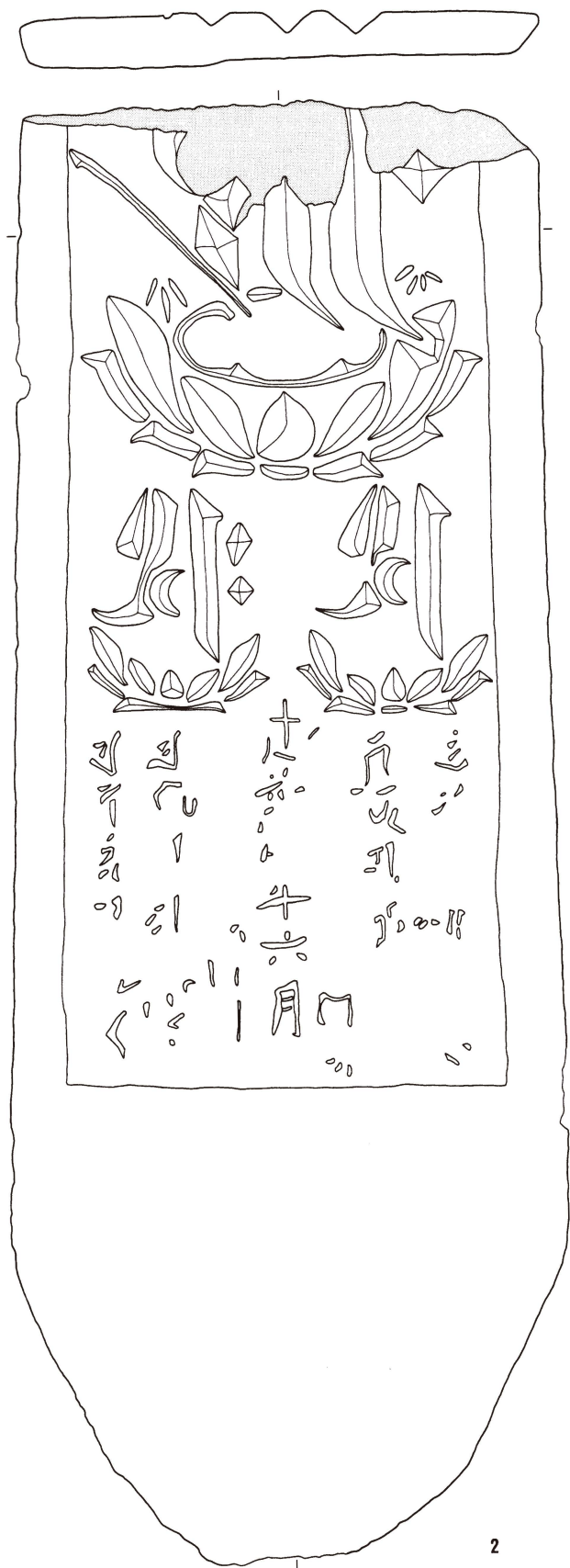


SW-10
 图44 SW 出土遺物 (5)

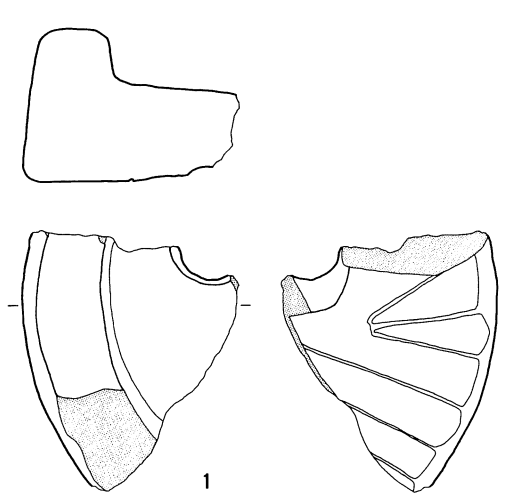


図45 SW 出土遺物 (6)

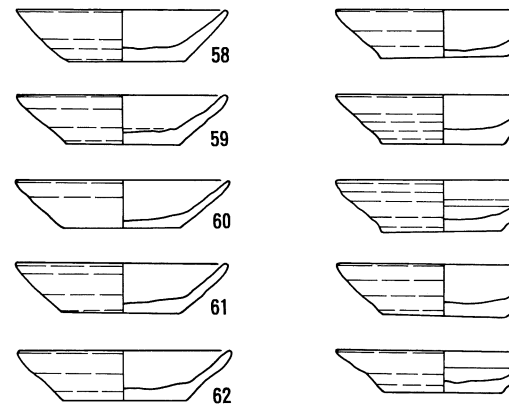
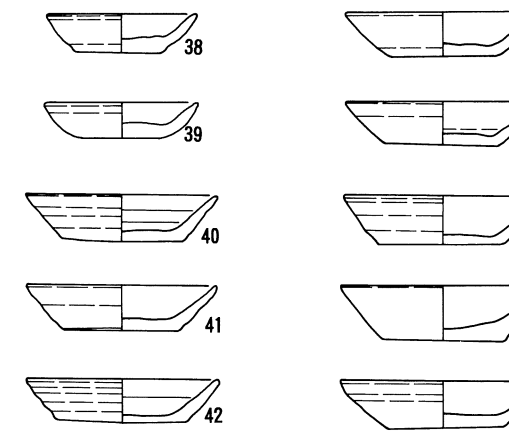
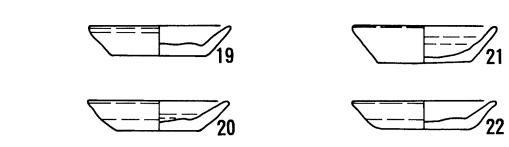
3	中世土器 内耳鍋	口径 31.8 底径 — 器高 —	彎曲気味に開く口縁部。	外面—ロクロ整形、胴部ナデ。 内面—ロクロ整形、胴部ヘラナデ。	白色粒・礫 内外—灰褐～灰色	口縁部～胴部下位 1/2。
4	中世土器 耳皿	口径3.0・5.1 底径 2.6 器高 1.9	弱い内彎度。底部は平底。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	白色粒・黒色粒・ 褐色粒・雲母 内外—橙色	完形。
5	中世土器 耳皿	口径3.0・— 底径 2.6 器高 2.4	弱い内彎度。底部は平底。	体部ロクロ整形、底部ヘラナデ。	白色粒・黒色粒・ 褐色粒・雲母 内外—鈍い橙色	2/3。
6	中世土器 耳皿	口径2.4・6.4 底径 2.4 器高 2.5	弱い内彎度。底部は平底。	体部ロクロ整形、底部ヘラナデ。	白色粒・黒色粒・ 褐色粒・雲母 内外—橙色	ほぼ完形。
7	中世土器 かわらけ	口径 (4.6) 底径 (2.0) 器高 1.1	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	1/3。



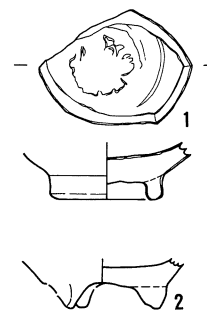
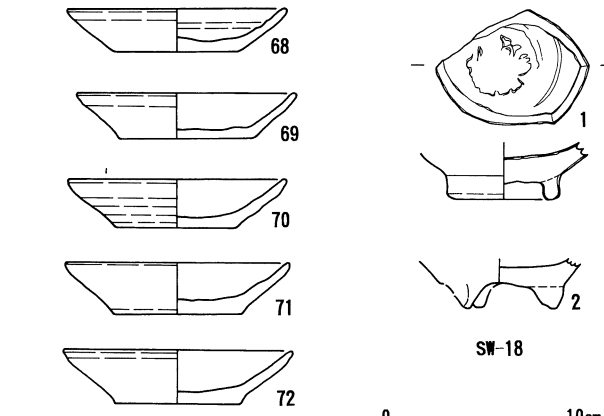
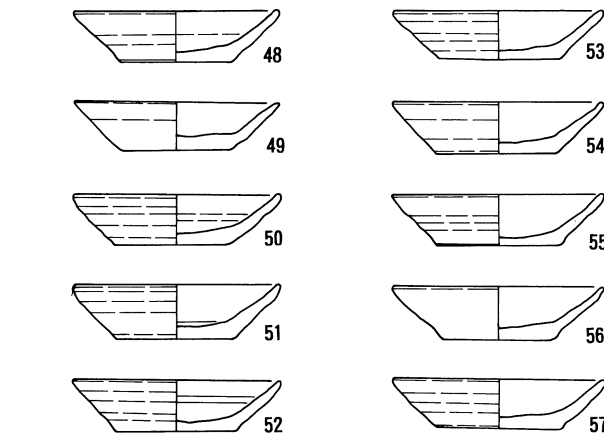
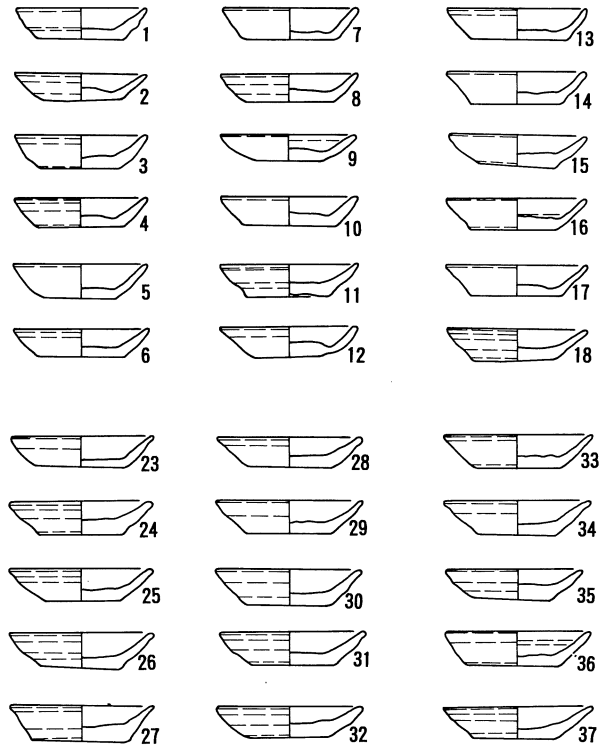
SW-16
 图46 SW 出土遺物 (7)



SW-16



SW-17



SW-18

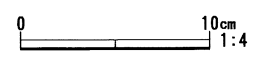
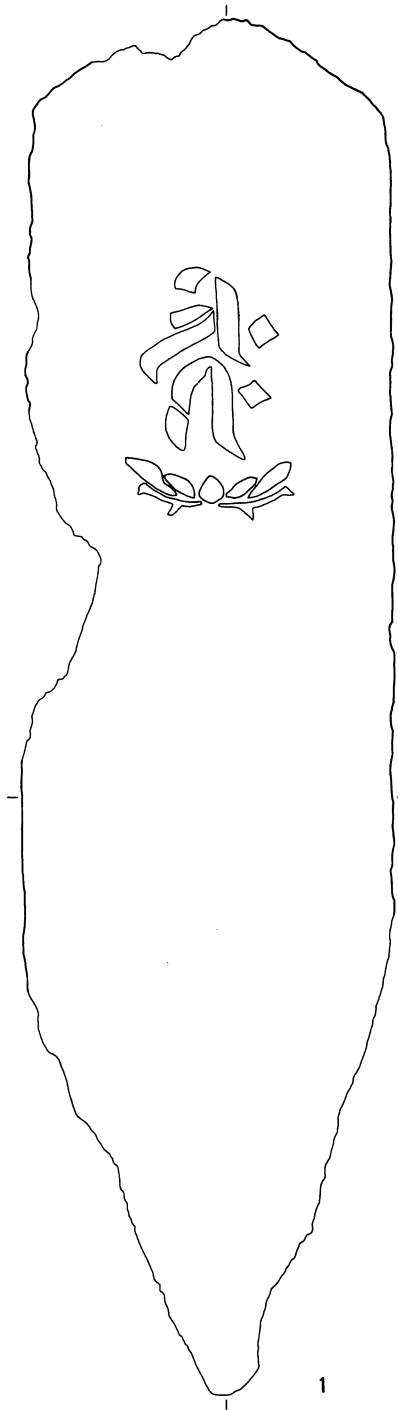
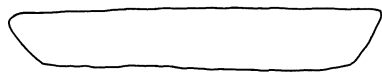
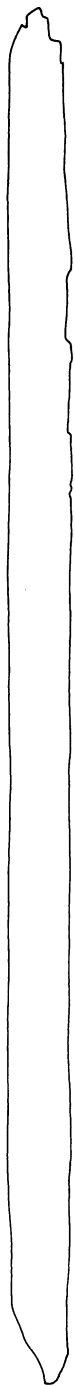


图47 SW 出土遺物 (8)



1



SW-19

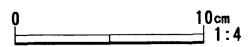
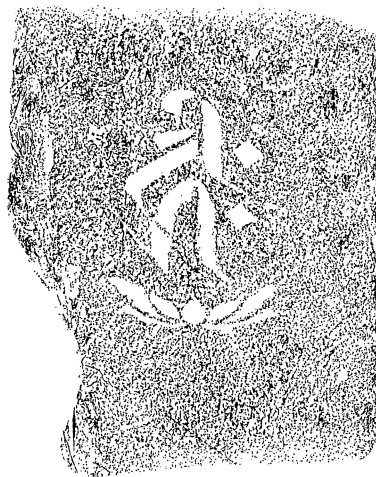


图48 SW 出土遺物 (9)

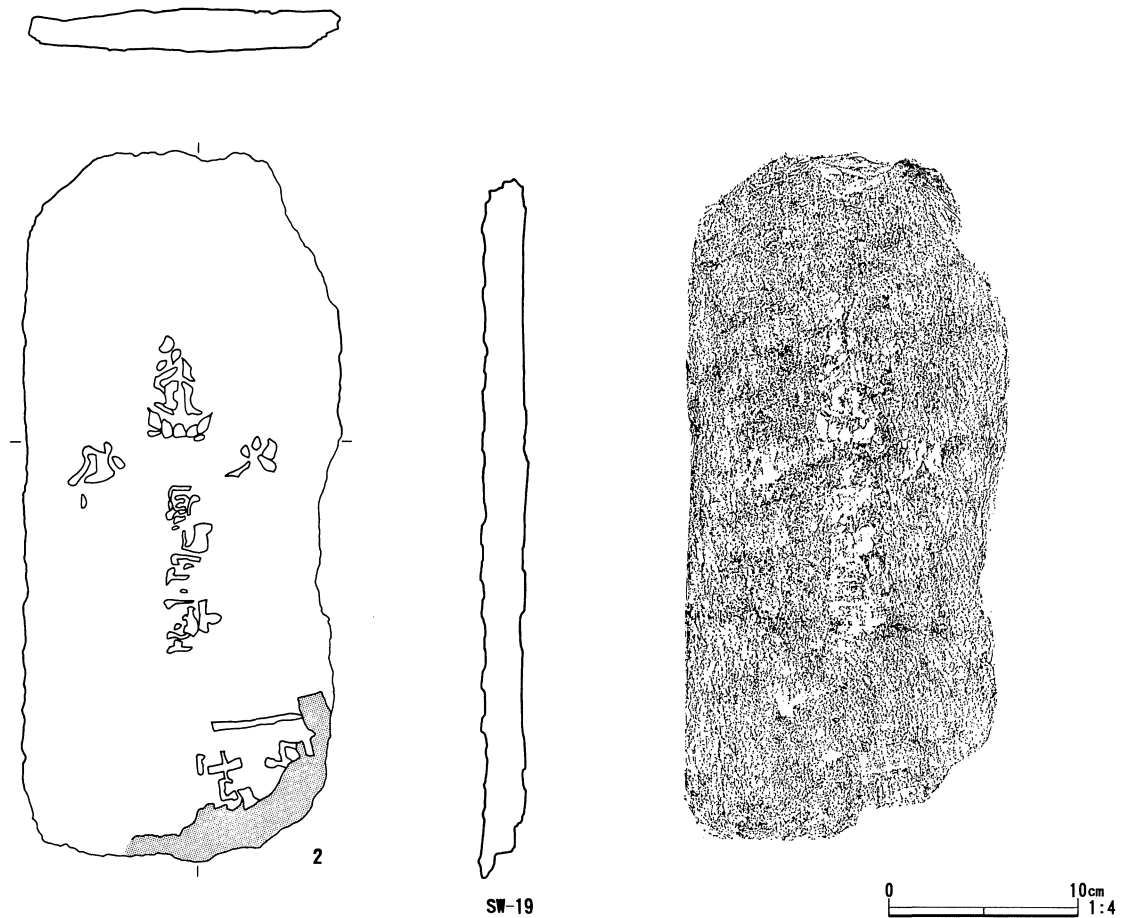
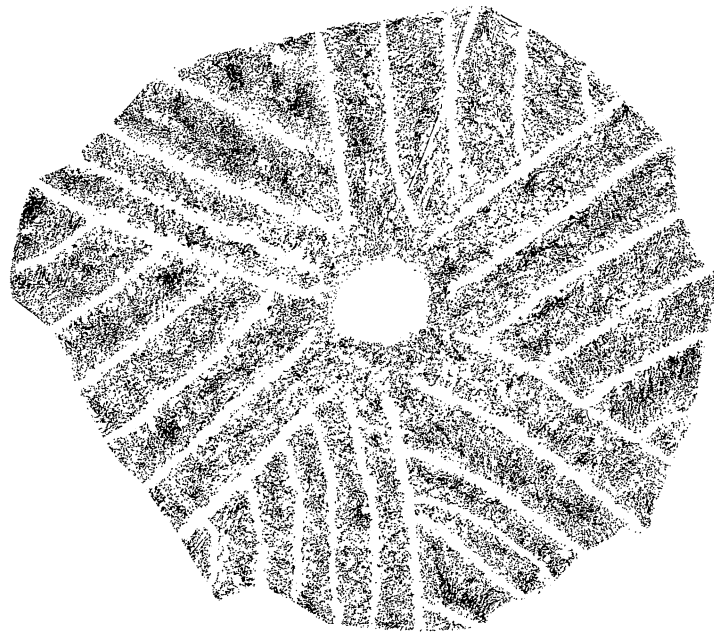
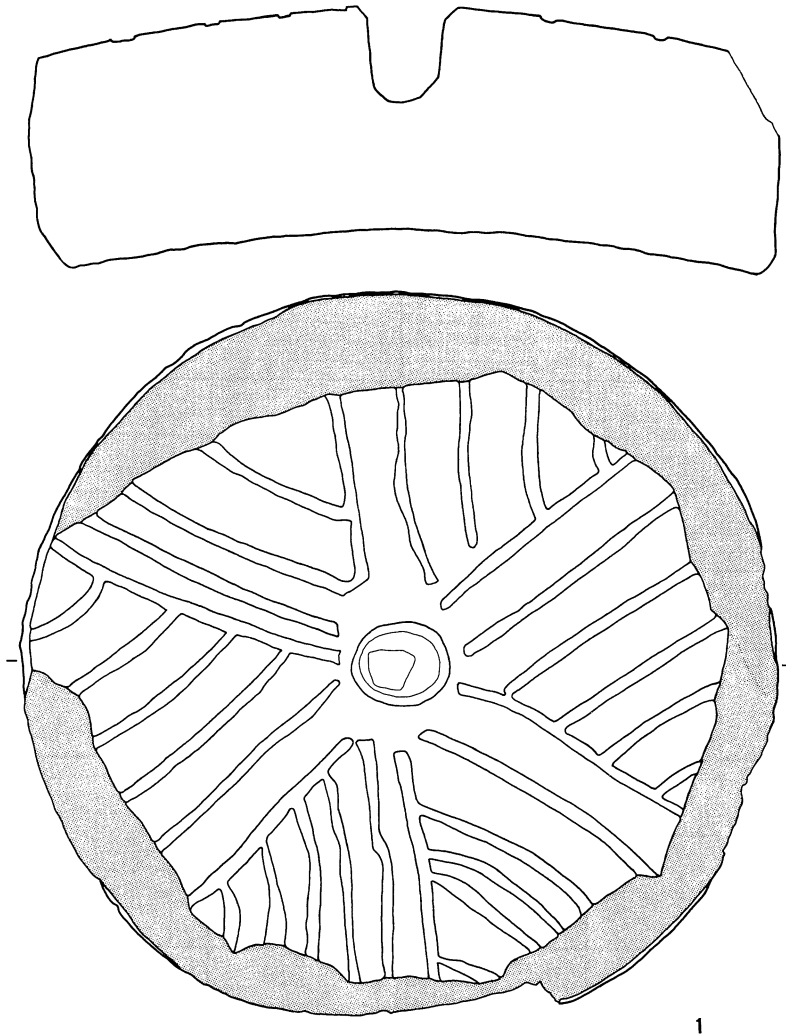


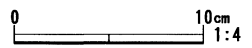
図49 SW 出土遺物 (10)

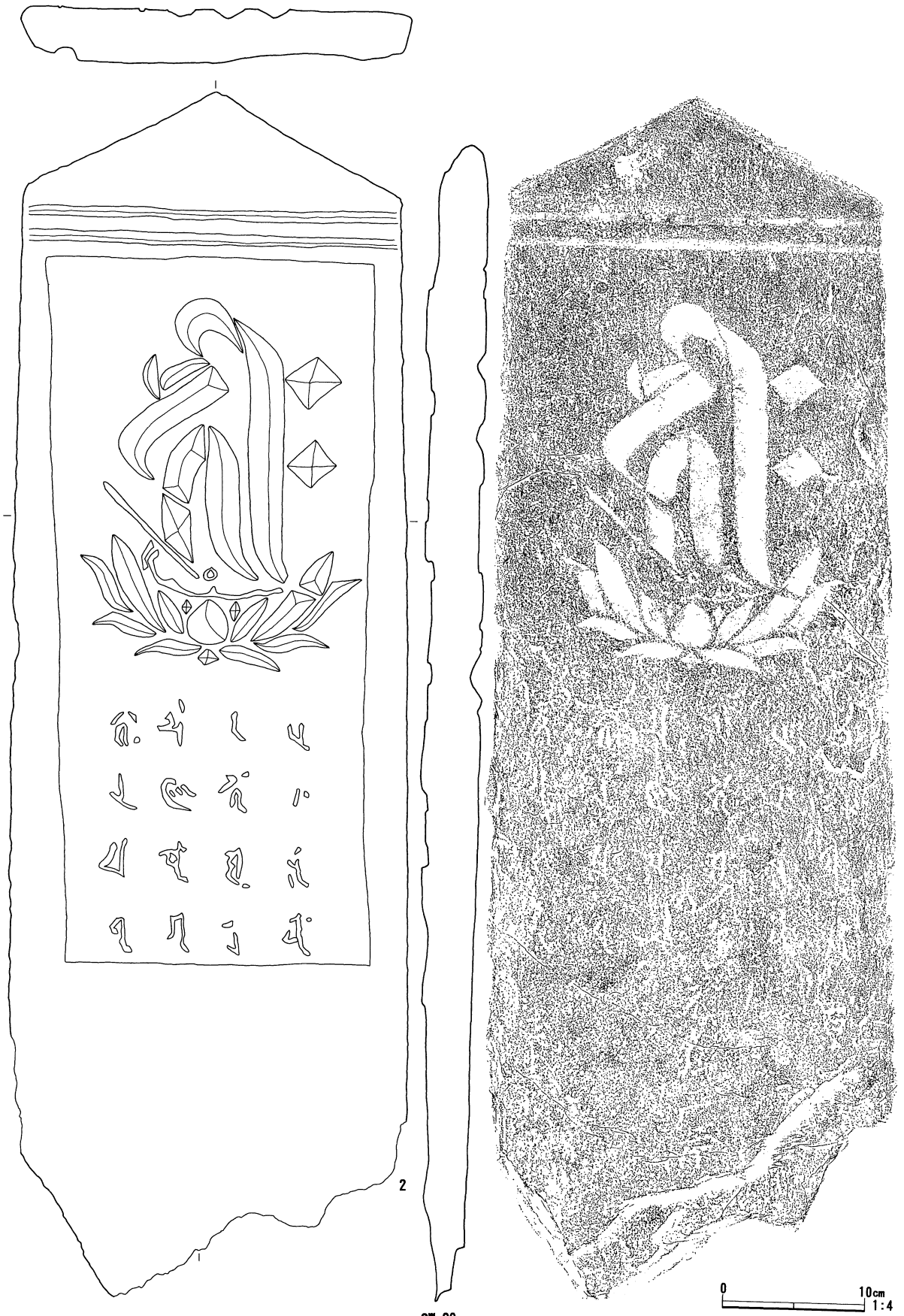
8	中世土器 かわらけ	口径 4.7 底径 3.2 器高 1.1	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
9	中世土器 かわらけ	口径 4.9 底径 2.9 器高 1.2	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	—	完形。
10	中世土器 かわらけ	口径 (5.0) 底径 2.9 器高 1.3	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	1/2。
11	中世土器 かわらけ	口径 5.0 底径 4.1 器高 1.2	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	橙色	口縁部 2/5 欠損。
12	中世土器 かわらけ	口径 (5.2) 底径 (2.6) 器高 1.4	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	1/3。
13	中世土器 かわらけ	口径 (5.3) 底径 (2.9) 器高 1.5	口縁部は外反しつつ立ち上がり、口唇部は内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	1/3。
14	中世土器 かわらけ	口径 6.2 底径 4.6 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/4 欠損。



SW-20

图50 SW 出土遺物 (1)





SW-20

图51 SW 出土遗物 (12)

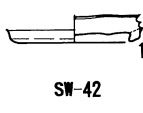
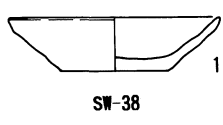
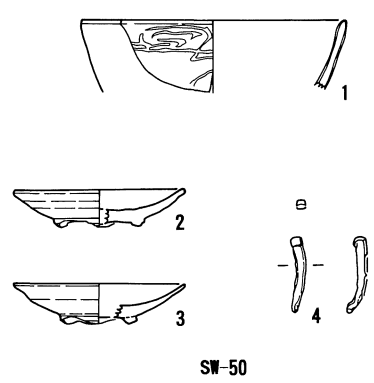
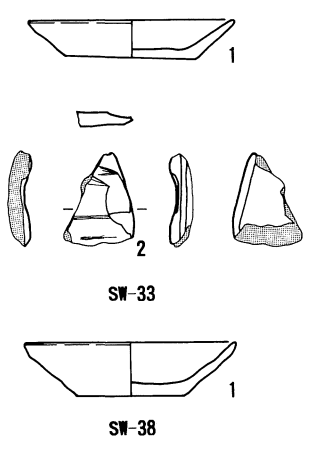
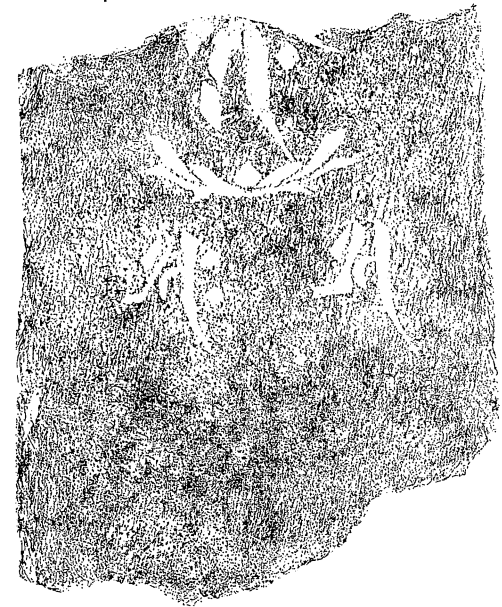
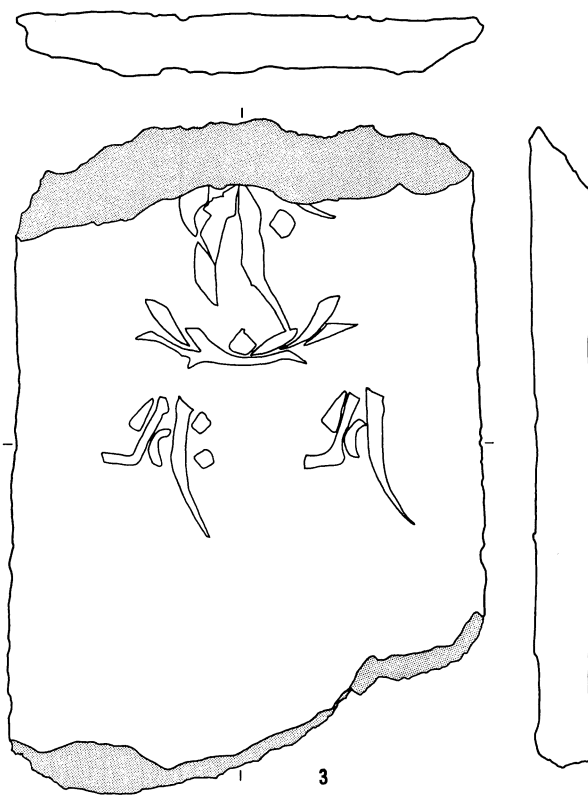
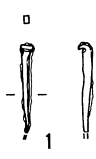
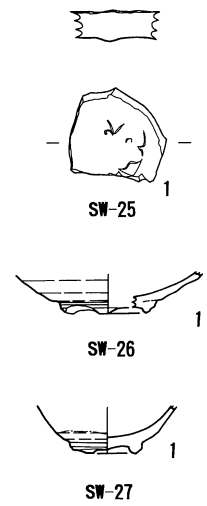
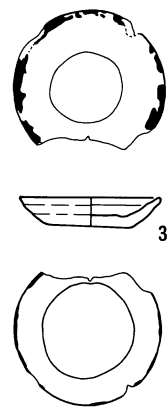
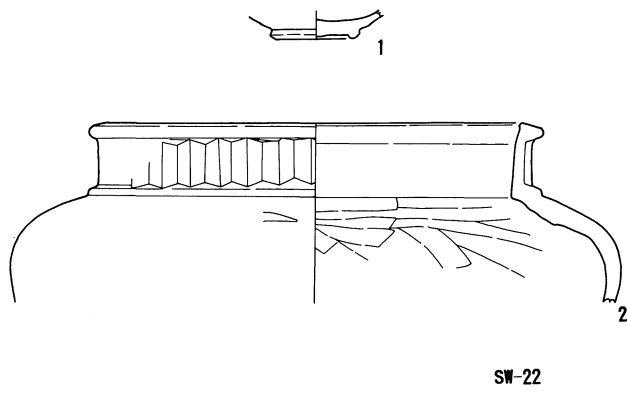
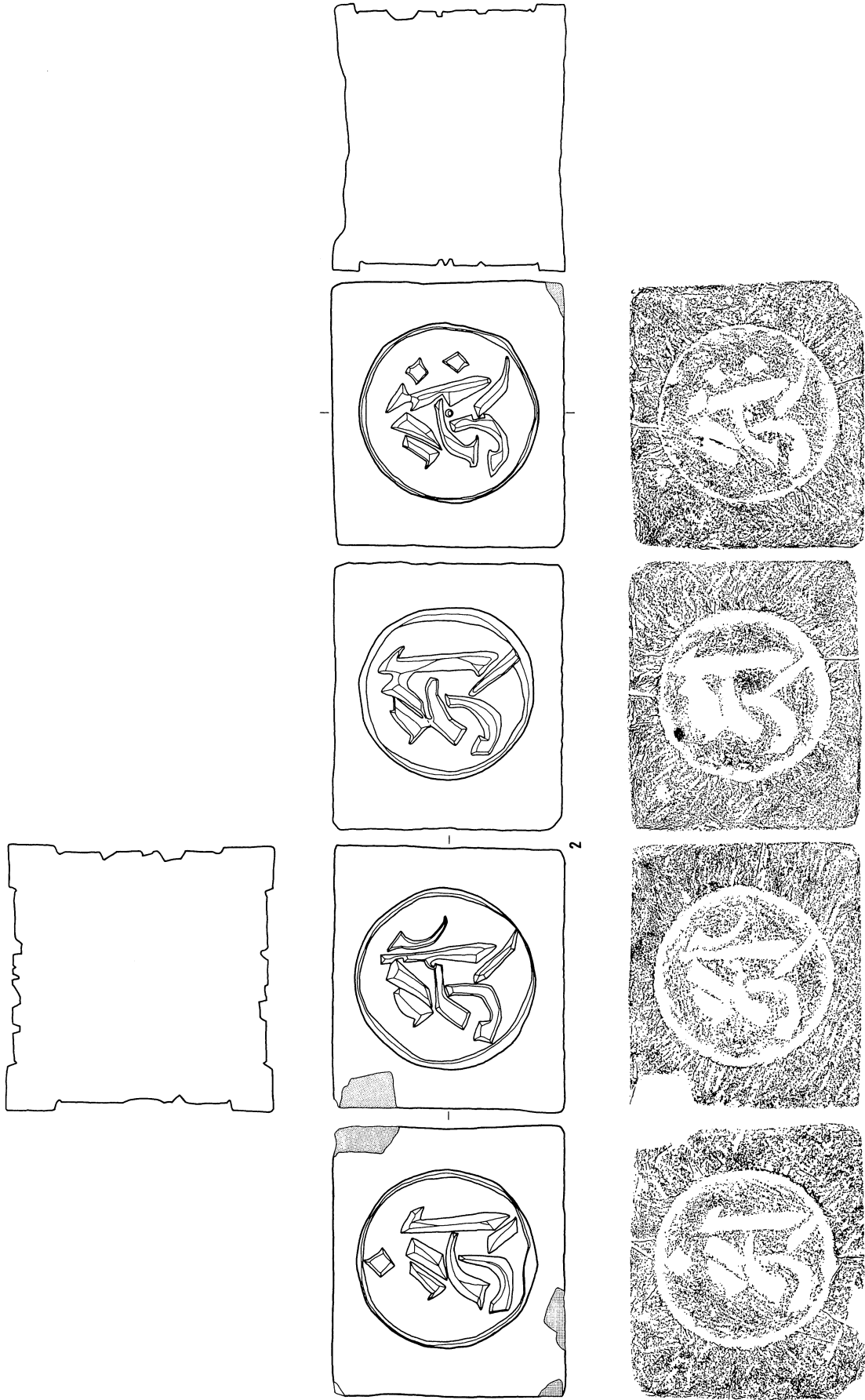
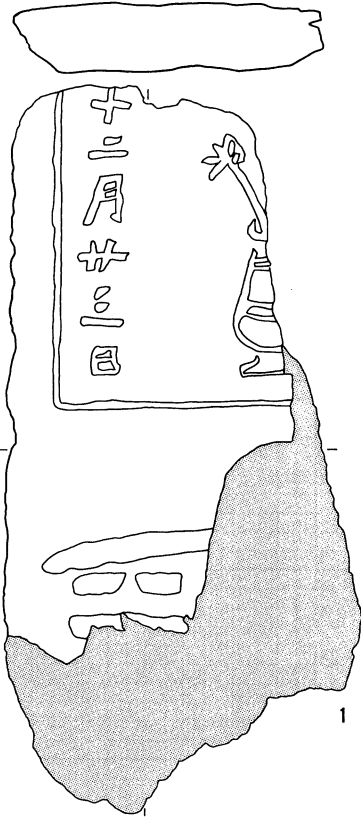


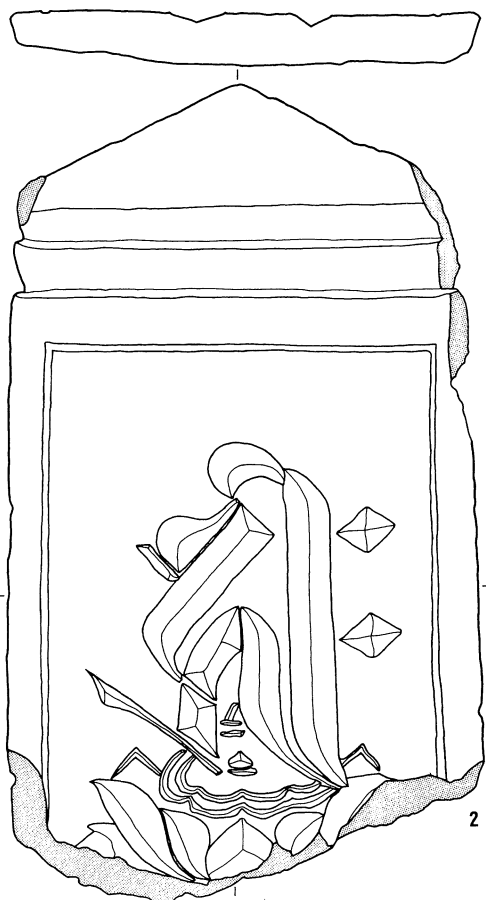
图52 SW 出土遺物 (13)



SW-29
 图53 SW 出土遺物 (14)



SW-39



SW-40

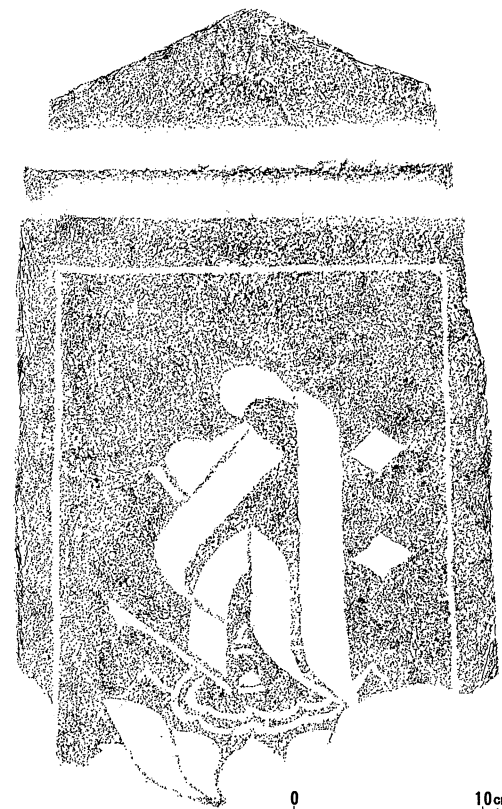


图54 SW 出土遺物 (15)

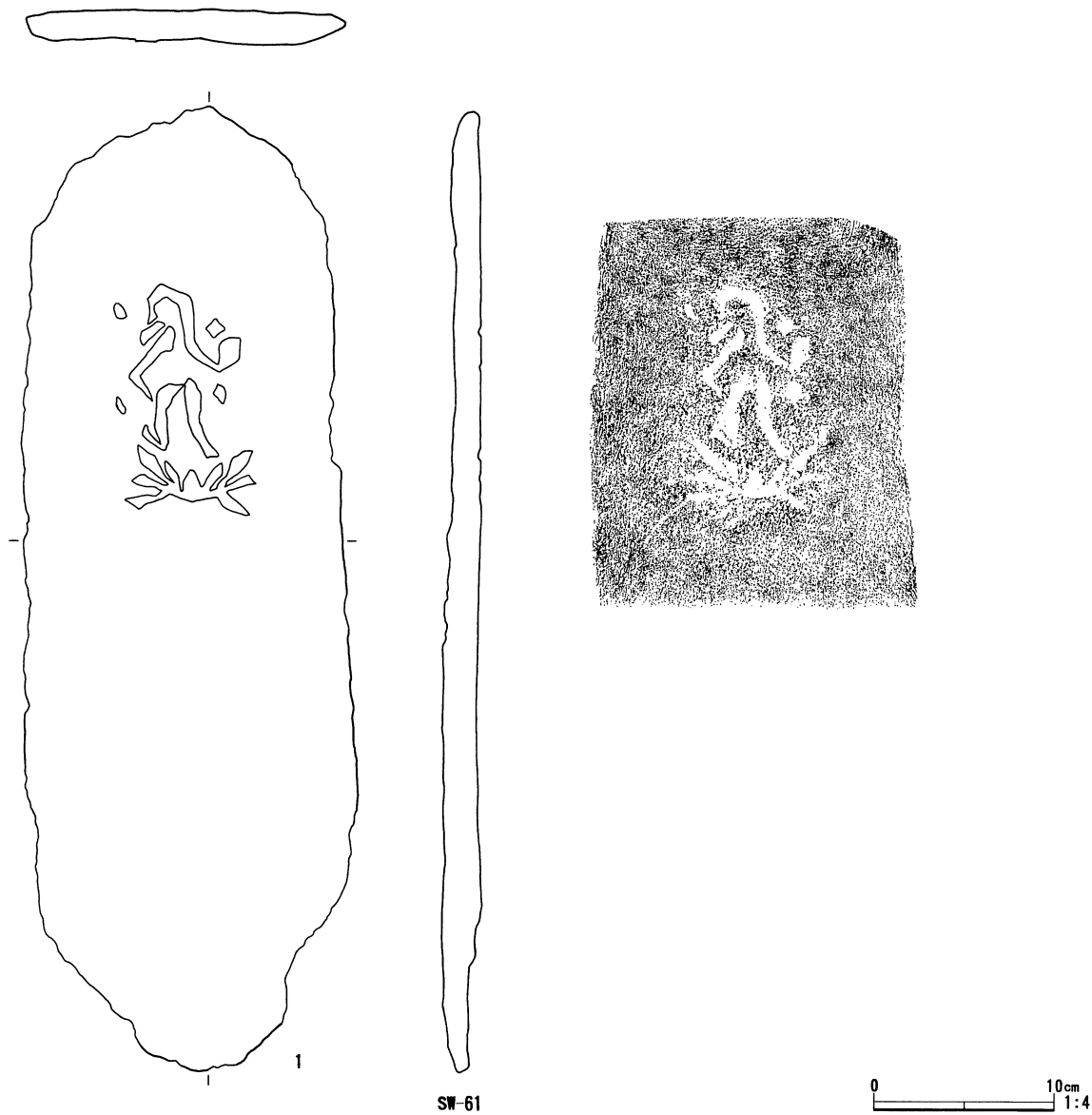


図55 SW 出土遺物 (16)

15	中世土器 かわらけ	口径 (6.7) 底径 4.9 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/3 欠損。
16	中世土器 かわらけ	口径 6.4 底径 4.6 器高 1.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	完形。
17	中世土器 かわらけ	口径 6.4 底径 4.4 器高 2.1	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠損。
18	中世土器 かわらけ	口径 6.4 底径 4.8 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	橙色	口縁部一部欠損。底部外面木目圧痕。
19	中世土器 かわらけ	口径 (6.5) 底径 5.0 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。

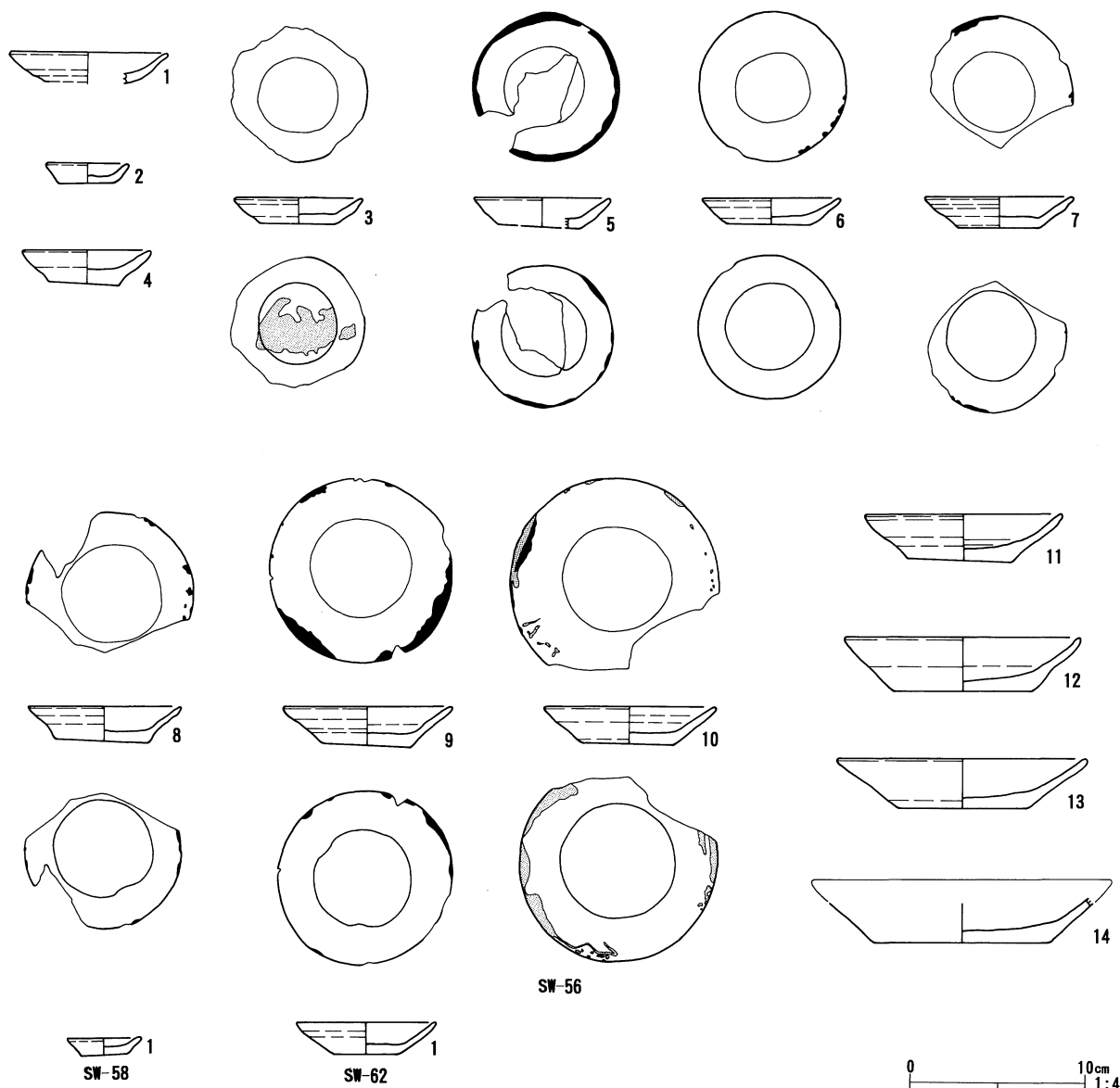


図56 SW 出土遺物 (17)

20	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	6.5 4.9 1.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	完形。
21	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	6.5 4.6 1.5	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	完形。
22	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	6.5 4.6 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
23	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	6.5 4.7 1.6	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠損。
24	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	6.5 4.6 1.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	1/2。

25	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	6.5 4.4 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
26	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	6.6 4.6 1.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	完形。
27	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	6.6 4.9 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	完形。
28	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	6.6 4.7 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
29	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	6.6 4.5 1.8	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部一部欠損。
30	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	6.6 4.5 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
31	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	(6.6) (4.7) 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	橙色	1/3。
32	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	(6.6) 4.9 1.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 2/3 欠損。
33	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	6.6 4.7 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
34	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	6.6 4.2 1.7	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠損。
35	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	6.6 5.0 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
36	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	6.6 4.4 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 2/3 欠損。
37	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	(6.2) (4.8) 1.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	橙色	1/2。
38	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	6.7 4.8 1.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	完形。
39	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	6.7 4.6 1.7	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	完形。
40	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	6.7 4.9 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	完形。
41	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	6.7 5.1 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	完形。
42	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	6.7 4.7 1.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	完形。

43	中世土器 かわらけ	口径 6.7 底径 4.7 器高 1.7	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/4 欠損。
44	中世土器 かわらけ	口径 6.7 底径 4.7 器高 1.6	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
45	中世土器 かわらけ	口径 6.7 底径 4.9 器高 1.8	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部一部欠損。
46	中世土器 かわらけ	口径 6.7 底径 4.7 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
47	中世土器 かわらけ	口径 6.7 底径 4.7 器高 1.8	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/4 欠損。
48	中世土器 かわらけ	口径 6.7 底径 4.5 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠損。
49	中世土器 かわらけ	口径 6.8 底径 5.0 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
50	中世土器 かわらけ	口径 6.8 底径 4.6 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	完形。
51	中世土器 かわらけ	口径 6.8 底径 5.1 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	ほぼ完形。
52	中世土器 かわらけ	口径 6.8 底径 5.0 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/5 欠損。
53	中世土器 かわらけ	口径 6.8 底径 5.0 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部一部欠損。
54	中世土器 かわらけ	口径 6.8 底径 4.8 器高 1.6	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/4 欠損。
55	中世土器 かわらけ	口径 (6.8) 底径 5.1 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/3 欠損。
56	中世土器 かわらけ	口径 6.8 底径 4.6 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/4 欠損。
57	中世土器 かわらけ	口径 6.8 底径 4.9 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/3 欠損。
58	中世土器 かわらけ	口径 (6.8) 底径 (4.7) 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	1/3。
59	中世土器 かわらけ	口径 6.8 底径 4.8 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
60	中世土器 かわらけ	口径 6.8 底径 4.9 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	完形。

61	中世土器 かわらけ	口径 6.9 底径 4.7 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	完形。
62	中世土器 かわらけ	口径 6.9 底径 4.8 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	完形。
63	中世土器 かわらけ	口径 6.9 底径 5.2 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	完形。
64	中世土器 かわらけ	口径 6.9 底径 4.6 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	完形。
65	中世土器 かわらけ	口径 6.9 底径 5.0 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	完形。煤付着。
66	中世土器 かわらけ	口径 6.9 底径 4.8 器高 1.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	完形。
67	中世土器 かわらけ	口径 6.9 底径 5.1 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	完形。
68	中世土器 かわらけ	口径 6.9 底径 4.8 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	ほぼ完形。
69	中世土器 かわらけ	口径 6.9 底径 4.8 器高 1.6	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	完形。
70	中世土器 かわらけ	口径 6.9 底径 4.7 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	にぶい橙色	1/2。
71	中世土器 かわらけ	口径 (6.9) 底径 4.5 器高 1.6	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/3 欠損。
72	中世土器 かわらけ	口径 6.9 底径 5.0 器高 1.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面一部横ナデ。	橙色	完形。
73	中世土器 かわらけ	口径 7.0 底径 4.9 器高 1.8	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	にぶい橙色	2/5。
74	中世土器 かわらけ	口径 7.0 底径 4.6 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	完形。
75	中世土器 かわらけ	口径 7.0 底径 4.5 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	完形。煤付着。
76	中世土器 かわらけ	口径 7.0 底径 4.9 器高 1.3	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部一部欠損。
77	中世土器 かわらけ	口径 7.0 底径 5.4 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/4 欠損。
78	中世土器 かわらけ	口径 7.0 底径 5.2 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	5/6。

79	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	7.0 5.1 1.5	口縁部はゆるやかに内彎しつつ 立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/3 欠 損。
80	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	7.0 5.2 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/3 欠 損。
81	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	(7.0) (5.3) 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	1/2。
82	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	7.0 5.2 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠 損。
83	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	7.1 4.8 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠 損。
84	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	7.1 5.0 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/6 欠 損。
85	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	7.1 5.4 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/6 欠 損。
86	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	— 4.0 —	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/3 欠 損。
87	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	7.2 4.9 2.0	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	完形。
88	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	7.2 4.8 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 2/5 欠 損。
89	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	7.2 5.2 1.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部一部欠 損。
90	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	7.2 4.7 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 2/5 欠 損。
91	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	7.2 5.2 1.5	口縁部はゆるやかに内彎しつつ 立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	完形。
92	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	7.2 4.9 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/3 欠 損。
93	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	7.2 4.9 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 2/5 欠 損。
94	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	7.3 4.9 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	完形。
95	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	7.3 5.3 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 1/4 欠 損。
96	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	7.4 5.1 1.5	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 2/5 欠 損。

97	中世土器 かわらけ	口径 7.4 底径 4.4 器高 1.9	口縁部は内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
98	中世土器 かわらけ	口径 7.4 底径 5.0 器高 1.6	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/5 欠損。
99	中世土器 かわらけ	口径 7.4 底径 4.6 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/3 欠損。
100	中世土器 かわらけ	口径 7.5 底径 4.4 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	ほぼ完形。煤付着。
101	中世土器 かわらけ	口径 (7.5) 底径 5.2 器高 1.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	1/2。
102	中世土器 かわらけ	口径 7.5 底径 4.3 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
103	中世土器 かわらけ	口径 (7.6) 底径 4.1 器高 1.4	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/3 欠損。煤付着。
104	中世土器 かわらけ	口径 7.6 底径 4.2 器高 1.8	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	ほぼ完形。
105	中世土器 かわらけ	口径 7.6 底径 4.1 器高 2.0	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/4 欠損。
106	中世土器 かわらけ	口径 7.6 底径 4.2 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。煤付着。
107	中世土器 かわらけ	口径 7.6 底径 5.2 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	ほぼ完形。
108	中世土器 かわらけ	口径 7.7 底径 4.1 器高 2.1	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
109	中世土器 かわらけ	口径 7.7 底径 4.0 器高 2.1	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
110	中世土器 かわらけ	口径 (7.7) 底径 3.9 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
111	中世土器 かわらけ	口径 (7.7) 底径 4.2 器高 1.9	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/3 欠損。
112	中世土器 かわらけ	口径 7.8 底径 5.4 器高 1.6	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	1/3。
113	中世土器 かわらけ	口径 7.8 底径 4.4 器高 2.0	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠損。
114	中世土器 かわらけ	口径 7.8 底径 4.9 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反し、口唇部は内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	3/5。

115	中世土器 かわらけ	口径 7.9 底径 5.2 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
116	中世土器 かわらけ	口径 7.9 底径 4.1 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で外反し、口唇部は内彎する。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。	橙色	口縁部 1/4 欠損。
117	中世土器 かわらけ	口径 8.0 底径 4.3 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部一部欠損。
118	中世土器 かわらけ	口径 8.0 底径 3.8 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で外反し、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。	橙色	口縁部 2/5 欠損。
119	中世土器 かわらけ	口径 8.1 底径 4.4 器高 2.0	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。	橙色	3/5。
120	中世土器 かわらけ	口径 8.1 底径 4.0 器高 2.0	口縁部は内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。	橙色	完形。
121	中世土器 かわらけ	口径 8.9 底径 4.6 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部は内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/6 欠損。
122	中世土器 かわらけ	口径 9.0 底径 4.7 器高 2.1	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	完形。
123	中世土器 かわらけ	口径 9.0 底径 4.4 器高 2.3	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部は外面が直立する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	1/4。
124	中世土器 かわらけ	口径 (9.1) 底径 4.5 器高 2.2	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 3/5 欠損。
125	中世土器 かわらけ	口径 9.2 底径 4.6 器高 2.2	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	ほぼ完形。
126	中世土器 かわらけ	口径 9.4 底径 4.6 器高 2.3	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反し、口唇部は内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/4 欠損。
127	中世土器 かわらけ	口径 — 底径 6.6 器高 —	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部欠損。底部 1/2 欠損。
128	中世土器 かわらけ	口径 10.4 底径 4.2 器高 3.0	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。底部内面横ナデ。	にぶい黄橙色	口縁部 5/6 欠損。底部外面木目圧痕。
129	中世土器 かわらけ	口径 — 底径 6.5 器高 —	口縁部は外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部欠損。底部外面木目圧痕。
130	中世土器 かわらけ	口径 (10.5) 底径 5.9 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	黒褐色	口縁部 7/8 欠損。
131	中世土器 かわらけ	口径 10.8 底径 6.0 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/5 欠損。
132	中世土器 かわらけ	口径 (10.8) 底径 (5.2) 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	2/5。底部外面木目圧痕。

133	中世土器 かわらけ	口径 10.8 底径 6.0 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 3/4 欠 損。
134	中世土器 かわらけ	口径 (11.0) 底径 6.4 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部回転糸切 り。底部内面横ナデ。	橙色	3/5。底部外面 木目圧痕。
135	中世土器 かわらけ	口径 (11.0) 底径 6.3 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 3/5 欠 損。
136	中世土器 かわらけ	口径 11.0 底径 6.8 器高 2.2	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	1/4。
137	中世土器 かわらけ	口径 11.0 底径 6.2 器高 2.9	口縁部はゆるやかに内彎しつ つ立ち上がり、中位でゆるやかに 外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 4/5 欠 損。
138	中世土器 かわらけ	口径 (11.0) 底径 6.9 器高 2.8	口縁部は外反しつち立ち上 がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 2/3 欠 損。
139	中世土器 かわらけ	口径 (11.0) 底径 6.8 器高 3.5	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 4/5 欠 損。
140	中世土器 かわらけ	口径 11.1 底径 6.4 器高 2.9	口縁部はゆるやかに内彎しつ つ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部一部欠 損。
141	中世土器 かわらけ	口径 (11.1) 底径 7.2 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部回転糸切 り。底部内面横ナデ。	にぶい橙色	2/5。
142	中世土器 かわらけ	口径 (11.1) 底径 6.4 器高 3.2	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	1/2。煤付着。
143	中世土器 かわらけ	口径 11.1 底径 6.3 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部回転糸切 り。	橙色	口縁部 1/3 欠 損。底部外面木 目圧痕。
144	中世土器 かわらけ	口径 11.1 底径 6.1 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 4/5 欠 損。
145	中世土器 かわらけ	口径 11.2 底径 6.6 器高 2.7	口縁部は外反しつち立ち上 がり、中位で内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/2 欠 損。
146	中世土器 かわらけ	口径 (11.2) 底径 6.1 器高 2.5	口縁部は外反しつち立ち上 がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 3/4 欠 損。
147	中世土器 かわらけ	口径 11.2 底径 6.4 器高 2.8	口縁部はゆるやかに外反しつ つ立ち上がり、中位で内彎する。	体部ロクロ整形、底部回転糸切 り。底部内面横ナデ。	橙色	口縁部 1/3 欠 損。底部外面木 目圧痕。
148	中世土器 かわらけ	口径 11.2 底径 6.1 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	完形。
149	中世土器 かわらけ	口径 (11.2) 底径 7.4 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	—	口縁部 4/5 欠 損。
150	中世土器 かわらけ	口径 (11.2) 底径 6.4 器高 2.8	口縁部は内彎しつち立ち上 がり、中位で外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 2/3 欠 損。

151	中世土器 かわらけ	口径 — 底径 (6.6) 器高 —	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	—	口縁部欠損。底 部1/2。
152	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 6.5 器高 2.7	口縁部は外反しつつ立ち上 がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部1/3欠 損。
153	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 6.1 器高 2.7	口縁部はゆるやかに外反しつ つ立ち上がり、中位で内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部一部欠 損。底部外面木 目圧痕。
154	中世土器 かわらけ	口径 (11.3) 底径 6.2 器高 2.8	口縁部はゆるやかに外反しつ つ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部5/6欠 損。
155	中世土器 かわらけ	口径 (11.3) 底径 7.2 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部2/3欠 損。
156	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 5.6 器高 2.9	口縁部は内彎しつつ立ち上 がる。	体部ロクロ整形、底部回転糸切 り。	にぶい橙色	1/2。
157	中世土器 かわらけ	口径 (11.3) 底径 6.4 器高 2.6	口縁部は外反しつつ立ち上 がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部3/4欠 損。
158	中世土器 かわらけ	口径 (11.3) 底径 6.2 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がり、 口唇部は内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部2/3欠 損。
159	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 6.9 器高 2.9	口縁部は直線的に立ち上 がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部5/6欠 損。
160	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 6.8 器高 2.3	口縁部は直線的に立ち上 がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部一部欠 損。
161	中世土器 かわらけ	口径 11.4 底径 6.6 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上 がり、中位で内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部1/2欠 損。
162	中世土器 かわらけ	口径 11.4 底径 7.0 器高 2.5	口縁部はゆるやかに外反しつ つ立ち上がり、中位で内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部一部欠 損。
163	中世土器 かわらけ	口径 11.4 底径 6.1 器高 2.8	口縁部は外反しつつ立ち上 がり、中位で内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部1/2欠 損。
164	中世土器 かわらけ	口径 (11.4) 底径 6.6 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上 がり、中位で内彎する。	体部ロクロ整形、底部回転糸切 り。底部内面横ナデ。	橙色	口縁部1/2欠 損。底部外面木 目圧痕。
165	中世土器 かわらけ	口径 (11.4) 底径 6.3 器高 3.0	口縁部は外反しつつ立ち上 がり、中位で内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部1/2欠 損。
166	中世土器 かわらけ	口径 11.4 底径 7.2 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上 がり、中位で内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部3/4欠 損。
167	中世土器 かわらけ	口径 11.4 底径 7.0 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上 がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部3/5欠 損。
168	中世土器 かわらけ	口径 11.4 底径 6.6 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上 がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部5/6欠 損。

169	中世土器 かわらけ	口径 11.4 底径 6.4 器高 2.9	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠 損。
170	中世土器 かわらけ	口径 11.4 底径 7.0 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 3/5 欠 損。
171	中世土器 かわらけ	口径 11.4 底径 7.0 器高 2.6	口縁部はゆるやかに外反しつつ 立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/4 欠 損。
172	中世土器 かわらけ	口径 (11.4) 底径 6.5 器高 2.9	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 3/4 欠 損。
173	中世土器 かわらけ	口径 11.5 底径 6.0 器高 3.0	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部一部欠 損。
174	中世土器 かわらけ	口径 11.5 底径 7.5 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/4 欠 損。
175	中世土器 かわらけ	口径 11.5 底径 6.2 器高 2.8	口縁部はゆるやかに外反しつつ 立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/4 欠 損。
176	中世土器 かわらけ	口径 (11.5) 底径 6.7 器高 3.0	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 3/5 欠 損。
177	中世土器 かわらけ	口径 (11.5) 底径 7.7 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、 口唇部はゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。底部内面横ナデ。	橙色	1/2。
178	中世土器 かわらけ	口径 11.5 底径 7.2 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 2/3 欠 損。
179	中世土器 かわらけ	口径 11.5 底径 6.3 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。底部内面横ナデ。	橙色	口縁部 1/4 欠 損。
180	中世土器 かわらけ	口径 11.6 底径 5.7 器高 2.9	口縁部は外反しつつ立ち上がり、 中位で内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	完形。
181	中世土器 かわらけ	口径 11.6 底径 6.8 器高 3.2	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/3 欠 損。
182	中世土器 かわらけ	口径 11.6 底径 6.8 器高 3.0	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/4 欠 損。
183	中世土器 かわらけ	口径 11.6 底径 6.5 器高 2.4	口縁部はゆるやかに外反しつつ 立ち上がり、中位で内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/4 欠 損。底部外面木 目圧痕。
184	中世土器 かわらけ	口径 11.6 底径 6.9 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 3/5 欠 損。
185	中世土器 かわらけ	口径 11.6 底径 7.2 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/3 欠 損。
186	中世土器 かわらけ	口径 (11.6) 底径 7.1 器高 2.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 3/4 欠 損。

187	中世土器 かわらけ	口径 11.6 底径 6.3 器高 3.1	口縁部は内彎しつつ立ち上がり、中位で外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	ほぼ完形。
188	中世土器 かわらけ	口径 11.6 底径 6.5 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	完形。
189	中世土器 かわらけ	口径 (11.6) 底径 (6.6) 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	1/4。
190	中世土器 かわらけ	口径 (11.6) 底径 (6.6) 器高 3.0	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部は内彎する。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	橙色	1/4。
191	中世土器 かわらけ	口径 (11.6) 底径 7.1 器高 3.4	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	橙色	口縁部 4/5 欠損。
192	中世土器 かわらけ	口径 11.7 底径 7.4 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/4 欠損。
193	中世土器 かわらけ	口径 11.7 底径 6.6 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/4 欠損。
194	中世土器 かわらけ	口径 11.7 底径 6.9 器高 3.0	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/5 欠損。
195	中世土器 かわらけ	口径 11.7 底径 6.6 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で内彎する。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
196	中世土器 かわらけ	口径 11.7 底径 7.6 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
197	中世土器 かわらけ	口径 11.7 底径 6.8 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	ほぼ完形。
198	中世土器 かわらけ	口径 11.7 底径 6.2 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で内彎する。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
199	中世土器 かわらけ	口径 11.7 底径 6.5 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で内彎する。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	橙色	2/5。
200	中世土器 かわらけ	口径 11.7 底径 6.4 器高 3.0	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	完形。
201	中世土器 かわらけ	口径 11.8 底径 7.3 器高 3.0	口縁部は外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	ほぼ完形。
202	中世土器 かわらけ	口径 11.8 底径 7.1 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	完形。
203	中世土器 かわらけ	口径 11.8 底径 6.8 器高 2.9	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
204	中世土器 かわらけ	口径 11.8 底径 7.2 器高 3.0	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部一部欠損。

205	中世土器 かわらけ	口径 11.8 底径 7.4 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で外反する。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。 底部内面横ナデ。	橙色	口縁部 2/5 欠損。 底部外面木目圧痕。
206	中世土器 かわらけ	口径 (11.8) 底径 7.2 器高 2.7	口縁部は内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。 底部内面横ナデ。	にぶい橙色	2/5。
207	中世土器 かわらけ	口径 (11.8) 底径 6.3 器高 3.0	口縁部はゆるやかに外反しつつ 立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠損。
208	中世土器 かわらけ	口径 11.8 底径 6.7 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	橙色	1/2。
209	中世土器 かわらけ	口径 11.8 底径 6.8 器高 3.1	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
210	中世土器 かわらけ	口径 11.8 底径 6.4 器高 2.8	口縁部は外反しつつ立ち上がり、 中位で内彎する。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	橙色	口縁部 2/5 欠損。
211	中世土器 かわらけ	口径 11.8 底径 7.1 器高 3.1	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/3 欠損。
212	中世土器 かわらけ	口径 11.8 底径 6.9 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/5 欠損。
213	中世土器 かわらけ	口径 11.8 底径 6.6 器高 2.9	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 3/5 欠損。
214	中世土器 かわらけ	口径 11.8 底径 6.2 器高 3.0	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 2/5 欠損。
215	中世土器 かわらけ	口径 11.9 底径 7.1 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/5 欠損。
216	中世土器 かわらけ	口径 11.9 底径 6.9 器高 2.5	口縁部は外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/4 欠損。
217	中世土器 かわらけ	口径 11.9 底径 6.8 器高 2.7	口縁部はゆるやかに外反しつつ 立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	—	口縁部一部欠損。
218	中世土器 かわらけ	口径 11.9 底径 7.5 器高 2.9	口縁部はゆるやかに外反しつつ 立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 2/3 欠損。
219	中世土器 かわらけ	口径 11.9 底径 6.7 器高 2.5	口縁部はゆるやかに内彎しつつ 立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	完形。
220	中世土器 かわらけ	口径 12.0 底径 7.1 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がり、 口唇部は外面が直立する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/5 欠損。
221	中世土器 かわらけ	口径 12.0 底径 6.2 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で内彎する。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
222	中世土器 かわらけ	口径 (12.0) 底径 6.4 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。

223	中世土器 かわらけ	口径 (12.0) 底径 7.0 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 3/4 欠 損。
224	中世土器 かわらけ	口径 (12.0) 底径 (8.0) 器高 2.1	口縁部は外反しつつ立ち上が る。	体部ロクロ整形、底部回転糸切 り。	橙色	1/5。
225	中世土器 かわらけ	口径 (12.0) 底径 (7.4) 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部回転糸切 り。	橙色	1/4。
226	中世土器 かわらけ	口径 (12.0) 底径 6.0 器高 2.9	口縁部はゆるやかに内彎しつ つ立ち上がり、中位で外反する。	体部ロクロ整形、底部回転糸切 り。	橙色	1/3。
227	中世土器 かわらけ	口径 12.0 底径 6.9 器高 2.3	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。底部内面横ナデ。	にぶい橙色	1/2。底部外面 木目圧痕。
228	中世土器 かわらけ	口径 — 底径 7.4 器高 —	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部欠損。底 部 1/6 欠損。
229	中世土器 かわらけ	口径 (12.0) 底径 6.9 器高 2.6	口縁部はゆるやかに外反しつ つ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 5/6 欠 損。
230	中世土器 かわらけ	口径 (12.0) 底径 (8.0) 器高 3.2	口縁部は外反しつつ立ち上が る。	体部ロクロ整形、底部回転糸切 り。	橙色	2/5。
231	中世土器 かわらけ	口径 (12.0) 底径 6.8 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 5/6 欠 損。
232	中世土器 かわらけ	口径 (12.0) 底径 (7.1) 器高 2.1	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	1/2。
233	中世土器 かわらけ	口径 (12.0) 底径 (7.3) 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で内彎する。	体部ロクロ整形、底部回転糸切 り。	橙色	1/3。
234	中世土器 かわらけ	口径 (12.0) 底径 8.5 器高 3.0	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 2/3 欠 損。
235	中世土器 かわらけ	口径 12.1 底径 7.2 器高 2.9	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部一部欠 損。
236	中世土器 かわらけ	口径 12.1 底径 7.8 器高 3.0	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/3 欠 損。
237	中世土器 かわらけ	口径 12.1 底径 6.8 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がり、 口唇部は内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/2 欠 損。煤付着。
238	中世土器 かわらけ	口径 12.1 底径 7.2 器高 3.2	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/3 欠 損。
239	中世土器 かわらけ	口径 12.1 底径 7.0 器高 2.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	ほぼ完形。
240	中世土器 かわらけ	口径 12.2 底径 7.8 器高 2.7	口縁部は外反しつつ立ち上が る。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠 損。

241	中世土器 かわらけ	口径 (12.2) 底径 (6.8) 器高 2.7	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	橙色	1/3。
242	中世土器 かわらけ	口径 12.3 底径 7.0 器高 2.9	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/3 欠損。
243	中世土器 かわらけ	口径 (12.3) 底径 7.6 器高 3.0	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	2/3。
244	中世土器 かわらけ	口径 (12.4) 底径 7.3 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	2/3。
245	中世土器 かわらけ	口径 (12.4) 底径 (7.0) 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反し、口唇部は内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	橙色	1/4。
246	中世土器 かわらけ	口径 12.4 底径 7.5 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
247	中世土器 かわらけ	口径 (12.4) 底径 (7.6) 器高 2.1	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で外反する。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	橙色	1/4。
248	中世土器 かわらけ	口径 12.5 底径 7.6 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	黄橙色	完形。
249	中世土器 かわらけ	口径 12.5 底径 7.4 器高 2.8	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がり、中位で外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部一部欠損。
250	中世土器 かわらけ	口径 (12.6) 底径 7.0 器高 2.8	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	橙色	口縁部 2/3 欠損。底部外面木目圧痕。
251	中世土器 かわらけ	口径 (12.6) 底径 (7.8) 器高 2.1	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	1/4。
252	中世土器 かわらけ	口径 (12.8) 底径 7.4 器高 3.0	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
253	中世土器 かわらけ	口径 12.9 底径 7.7 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/3 欠損。
254	中世土器 かわらけ	口径 (12.9) 底径 6.8 器高 3.1	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面一部横ナデ。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
255	中世土器 かわらけ	口径 12.9 底径 7.9 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
256	中世土器 かわらけ	口径 (13.0) 底径 6.6 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。	橙色	口縁部 5/6 欠損。
257	中世土器 かわらけ	口径 (13.1) 底径 7.3 器高 2.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 5/6 欠損。
258	中世土器 かわらけ	口径 13.1 底径 6.2 器高 3.1	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい黄色	ほぼ完形。

259	中世土器 かわらけ	口径 (13.2) 底径 (7.6) 器高 2.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	1/2。
260	中世土器 かわらけ	口径 (13.4) 底径 7.2 器高 3.0	口縁部は直線的に立ち上がり、ゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	黒褐色	口縁部 4/5 欠損。煤付着。
261	中世土器 かわらけ	口径 — 底径 7.7 器高 —	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	底部 1/2。
262	中世土器 かわらけ	口径 (13.6) 底径 (8.6) 器高 2.3	口縁部は内彎しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	1/5。
263	中世土器 かわらけ	口径 (13.8) 底径 7.7 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反し、口唇部は内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 3/4 欠損。
264	中世土器 かわらけ	口径 (14.0) 底径 (8.0) 器高 3.2	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	橙色	1/3。
265	中世土器 かわらけ	口径 14.2 底径 8.7 器高 2.6	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位で内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面一部横ナデ。	にぶい橙色	口縁部一部欠損。
266	中世土器 かわらけ	口径 14.4 底径 8.4 器高 3.0	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	黄橙色	ほぼ完形。
267	中世土器 かわらけ	口径 14.4 底径 8.2 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	ほぼ完形。底部外面木目圧痕。
268	中世土器 かわらけ	口径 (15.0) 底径 (8.0) 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	黄橙色	1/4。底部外面木目圧痕。
269	中世土器 かわらけ	口径 (16.4) 底径 9.5 器高 3.2	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠損。
270	中世土器 かわらけ	口径 (17.0) 底径 (7.6) 器高 5.2	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
271	中世土器 かわらけ	口径 — 底径 12.8 器高 —	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部欠損。底部 1/4 欠損。
272	中世土器 かわらけ	口径 — 底径 12.4 器高 —	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	橙色	口縁部欠損。底部 1/2 欠損。
No.	種類	器種	法 量 (cm・g)			備考
273	石製品	温石	長さ(6.2) 幅(4.0) 厚さ1.6			絹雲母片岩。
274	石製品	紡錘車	直径7.6 厚さ2.6			角閃石安山岩。

SW-12

No.	種類	器種	法 量 (cm・g)	備考
1	石製品	板碑	長さ(53.8) 幅20.7 厚さ3.5	緑泥片岩。

SW-16

No.	種類	器種	法 量 (cm・g)	備考
1	石製品	石白	直径 30.0 厚さ8.1	安山岩。
2	石製品	板碑	長さ(84.3) 幅32.2 厚さ3.2	緑泥片岩。

SW-17

No	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 7.0 底径 4.7 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/4 欠損。
2	中世土器 かわらけ	口径 7.0 底径 4.3 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/5 欠損。
3	中世土器 かわらけ	口径 7.1 底径 4.2 器高 1.8	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
4	中世土器 かわらけ	口径 7.2 底径 4.5 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
5	中世土器 かわらけ	口径 7.2 底径 3.8 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
6	中世土器 かわらけ	口径 (7.2) 底径 4.5 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/5 欠損。
7	中世土器 かわらけ	口径 (7.2) 底径 5.3 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/5 欠損。
8	中世土器 かわらけ	口径 (7.3) 底径 4.7 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/5 欠損。
9	中世土器 かわらけ	口径 7.3 底径 3.6 器高 1.4	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。	橙色	ほぼ完形。
10	中世土器 かわらけ	口径 7.3 底径 4.9 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
11	中世土器 かわらけ	口径 7.4 底径 4.4 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部一部欠損。
12	中世土器 かわらけ	口径 7.4 底径 3.6 器高 1.6	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。	橙色	口縁部 2/5 欠損。
13	中世土器 かわらけ	口径 7.5 底径 5.1 器高 1.7	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面一部横ナデ。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
14	中世土器 かわらけ	口径 7.5 底径 4.9 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/5 欠損。
15	中世土器 かわらけ	口径 7.5 底径 4.1 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。	橙色	口縁部 1/5 欠損。
16	中世土器 かわらけ	口径 7.5 底径 4.5 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
17	中世土器 かわらけ	口径 (7.6) 底径 4.8 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/3 欠損。

18	中世土器 かわらけ	口径 7.6 底径 4.4 器高 1.7	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がり、口唇部はゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。	橙色	口縁部 2/3 欠損。
19	中世土器 かわらけ	口径 7.6 底径 5.0 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面一部横ナデ。	橙色	口縁部 2/3 欠損。底部外面木目圧痕。
20	中世土器 かわらけ	口径 7.6 底径 4.4 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
21	中世土器 かわらけ	口径 7.7 底径 4.9 器高 2.0	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。底部外面木目圧痕。
22	中世土器 かわらけ	口径 7.7 底径 4.8 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	完形。底部外面木目圧痕。
23	中世土器 かわらけ	口径 7.7 底径 4.8 器高 1.7	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
24	中世土器 かわらけ	口径 7.7 底径 4.4 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
25	中世土器 かわらけ	口径 7.7 底径 3.9 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
26	中世土器 かわらけ	口径 7.7 底径 4.2 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/3 欠損。
27	中世土器 かわらけ	口径 7.7 底径 5.1 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	完形。
28	中世土器 かわらけ	口径 7.7 底径 4.5 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 4/5 欠損。
29	中世土器 かわらけ	口径 7.8 底径 4.5 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 3/4 欠損。
30	中世土器 かわらけ	口径 7.8 底径 4.4 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口唇部 1/2 欠損。
31	中世土器 かわらけ	口径 7.8 底径 4.5 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/5 欠損。
32	中世土器 かわらけ	口径 (7.8) 底径 4.2 器高 1.7	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/3 欠損。
33	中世土器 かわらけ	口径 (7.9) 底径 4.5 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面一部横ナデ。	にぶい橙色	口縁部 2/5 欠損。
34	中世土器 かわらけ	口径 7.9 底径 4.2 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口唇部一部欠損。
35	中世土器 かわらけ	口径 7.9 底径 4.2 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 4/5 欠損。

36	中世土器 かわらけ	口径 7.9 底径 5.0 器高 1.9	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/4 欠損。
37	中世土器 かわらけ	口径 8.0 底径 4.4 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
38	中世土器 かわらけ	口径 8.1 底径 4.6 器高 2.1	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。	橙色	口縁部一部欠損。
39	中世土器 かわらけ	口径 (8.3) 底径 4.3 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	橙色	口縁部 5/6 欠損。
40	中世土器 かわらけ	口径 10.2 底径 6.5 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。底部外面木目圧痕。
41	中世土器 かわらけ	口径 10.2 底径 6.1 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
42	中世土器 かわらけ	口径 10.3 底径 6.9 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/4 欠損。
43	中世土器 かわらけ	口径 (10.4) 底径 5.6 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 2/3 欠損。
44	中世土器 かわらけ	口径 10.4 底径 6.1 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部一部欠損。
45	中世土器 かわらけ	口径 10.7 底径 6.8 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
46	中世土器 かわらけ	口径 10.9 底径 6.5 器高 3.0	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/4 欠損。
47	中世土器 かわらけ	口径 11.0 底径 6.3 器高 2.6	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がり、中位で肥厚する。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。底部内面一部横ナデ。	橙色	ほぼ完形。
48	中世土器 かわらけ	口径 11.0 底径 5.9 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部一部欠損。
49	中世土器 かわらけ	口径 11.0 底径 5.8 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
50	中世土器 かわらけ	口径 11.1 底径 6.0 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
51	中世土器 かわらけ	口径 11.1 底径 6.4 器高 2.9	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反し、口唇部は内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
52	中世土器 かわらけ	口径 11.1 底径 6.5 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
53	中世土器 かわらけ	口径 11.2 底径 6.5 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部一部欠損。

54	中世土器 かわらけ	口径 11.2 底径 6.4 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/4 欠損。
55	中世土器 かわらけ	口径 (11.3) 底径 6.6 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/3 欠損。
56	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 6.0 器高 2.9	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部は内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/5 欠損。
57	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 6.6 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/3 欠損。
58	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 6.1 器高 2.8	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
59	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 6.1 器高 2.7	口縁部は外反しつつ立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
60	中世土器 かわらけ	口径 11.4 底径 6.2 器高 2.6	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。底部内面横ナデ。	橙色	口縁部 1/2 欠損。底部外面木目圧痕。
61	中世土器 かわらけ	口径 11.4 底径 6.4 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
62	中世土器 かわらけ	口径 (11.4) 底径 6.5 器高 2.7	口縁部は外反しつつ立ち上がり、中位で内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/3 欠損。
63	中世土器 かわらけ	口径 11.5 底径 6.7 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部は内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	ほぼ完形。
64	中世土器 かわらけ	口径 (11.5) 底径 6.5 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/4 欠損。
65	中世土器 かわらけ	口径 11.5 底径 6.4 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	ほぼ完形。
66	中世土器 かわらけ	口径 11.5 底径 6.6 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
67	中世土器 かわらけ	口径 11.5 底径 6.3 器高 2.3	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で外反する。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。	—	完形。
68	中世土器 かわらけ	口径 11.6 底径 6.7 器高 2.3	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部一部欠損。
69	中世土器 かわらけ	口径 11.7 底径 7.1 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部一部欠損。
70	中世土器 かわらけ	口径 11.6 底径 6.3 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/5 欠損。
71	中世土器 かわらけ	口径 (11.9) 底径 6.7 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/3 欠損。

72	中世土器 かわらけ	口径 (12.2) 底径 6.6 器高 2.9	口縁部は直線的に立ち上がり、 口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部欠損。
----	--------------	-------------------------------	----------------------------------	-----------------------	----	--------

SW-18

No	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	青磁 碗	口径 — 底径 5.1 器高 —	方形で直立する高台部。	体部ロクロ整形、底部回転篋切 り。	白色粒 内外— 灰白色 釉—灰 オリーブ色	底部～高台部 2/3。
2	中世土器 香炉	口径 — 底径 — 器高 —	接地面がやや丸い正三角形の 脚部。	底部ヘラナデ。	白色粒・黒色粒・ 褐色粒・石英 内外—橙色	底部4/5。

SW-19

No	種類	器種	法量 (cm・g)	備考
1	石製品	板 碑	長さ(72.5) 幅19.7 厚さ3.2	緑泥片岩。
2	石製品	板 碑	長さ(37.1) 幅16.7 厚さ2.7	緑泥片岩。

SW-20

No	種類	器種	法量 (cm・g)	備考
1	石製品	石 白	直径 40.0 厚さ11.8	安山岩。
2	石製品	板 碑	長さ(87.8) 幅28.1 厚さ4.0	緑泥片岩。

SW-22

No	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	白磁 小皿	口径 — 底径 4.1 器高 —		体部ロクロ整形。	内外—灰白色	体部下位～高台 部5/6。内外面 施釉。
2	中世土器 火鉢	口径 (22.0) 底径 — 器高 —		外面—口縁部ヘラナデ、体部ヘ ラケンマ。内面—口縁部～体部 ヘラナデ。	白色粒・黒色粒 内外—橙～灰黄 褐色	口縁部～体部中 位破片。
3	中世土器 かわらけ	口径 7.5 底径 4.5 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部1/3欠 損。煤付着。

SW-25

No	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	青磁 碗	口径 — 底径 — 器高 —		体部ロクロ整形。	夾雑物なし 内外—灰白色 釉—明オリーブ 灰色	底部破片。

SW-26

No	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	白磁 小皿	口径 — 底径 (4.0) 器高 —	高台挟り。	体部ロクロ整形。	夾雑物なし 内外—灰白色	底部～高台部 1/5。

SW-27

No	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	白磁 小皿	口径 — 底径 2.5 器高 —	やや深い体部。	体部ロクロ整形。	内外—灰白色	体部中位～高台 部4/5。内外面 施釉。

SW-29

No	種類	器種	法量 (cm・g)	備考
1	鉄製品	釘	長さ4.7 幅0.25 厚さ0.4 重さ2.9	
2	石製品	宝篋印塔	縦18.0 横17.7 高さ15.6	安山岩。
3	石製品	板 碑	長さ(35.0) 幅25.2 厚さ3.2	緑泥片岩。

SW-33

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 11.0 底径 6.9 器高 2.0	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/5 欠損。
No.	種類	器種	法 量 (cm・g)			備考
2	石製品	砥 石	長さ(2.5) 幅(2.0) 厚さ(0.4)			凝灰岩。

SW-38

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 (11.3) 底径 5.8 器高 2.8	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 2/3 欠損。

SW-39

No.	種類	器種	法 量 (cm・g)			備考
1	石製品	板 碑	長さ(38.4) 幅(19.0) 厚さ3.6			緑泥片岩。

SW-40

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 5.5 底径 3.2 器高 1.7	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。底部内面横ナデ。	にぶい橙色	口縁部 1/4 欠損。煤付着。
No.	種類	器種	法 量 (cm・g)			備考
2	石製品	板 碑	長さ(43.0) 幅25.0 厚さ2.7			緑泥片岩。

SW-42

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	青磁 碗	口径 — 底径 (6.0) 器高 —	高台抉り。	体部ロクロ整形。	夾雑物なし 内外—明オリ— ブ灰色	底部～高台部 1/4。

SW-50

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	青磁 碗	口径 (13.0) 底径 — 器高 —			夾雑物なし 灰白色 釉—灰 オリ—ブ色	体部 1/8。
2	白磁 小皿	口径 (9.0) 底径 (4.0) 器高 2.0	緩やかに立ち上がる体部。高台抉り。	体部ロクロ整形。	内外—灰白色	1/3。見込目跡。全面施釉。
3	白磁 小皿	口径 (9.0) 底径 (3.0) 器高 2.1	浅い体部。高台抉り。	体部ロクロ整形。	夾雑物なし 内外—灰白色	1/8。口縁部～ 体部黒色化。
No.	種類	器種	法 量 (cm・g)			備考
4	鉄製品	釘	長さ4.0 幅0.5 厚さ0.4 重さ2.7。			

SW-56

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	白磁 小皿	口径 (9.0) 底径 — 器高 —	浅い体部。	体部ロクロ整形。	夾雑物なし 内外—灰白色	口縁部～体部 1/4。
2	中世土器 かわらけ	口径 4.9 底径 3.3 器高 1.1	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	2/3。煤付着。
3	中世土器 かわらけ	口径 7.4 底径 4.4 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	黄橙色	口縁部 1/5 欠損。煤付着。

4	中世土器 かわらけ	口径 7.4 底径 4.0 器高 1.9	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
5	中世土器 かわらけ	口径 7.8 底径 4.6 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部一部欠損。煤付着。
6	中世土器 かわらけ	口径 8.0 底径 4.7 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	完形。煤付着。
7	中世土器 かわらけ	口径 (8.5) 底径 4.6 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠損。煤付着。
8	中世土器 かわらけ	口径 8.7 底径 5.3 器高 2.0	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠損。煤付着。
9	中世土器 かわらけ	口径 9.8 底径 5.2 器高 2.2	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	ほぼ完形。煤付着。
10	中世土器 かわらけ	口径 9.9 底径 5.4 器高 2.1	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/3 欠損。煤付着。
11	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 6.0 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠損。
12	中世土器 かわらけ	口径 (13.5) 底径 8.0 器高 3.1	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	にぶい橙色	1/2。
13	中世土器 かわらけ	口径 (14.3) 底径 7.4 器高 2.9	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/4 欠損。
14	中世土器 かわらけ	口径 (17.2) 底径 10.1 器高 —	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部欠損。

SW-58

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 4.3 底径 2.7 器高 1.0	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	1/2。

SW-61

No.	種類	器種	法量 (cm・g)	備考
1	石製品	板 碑	長さ53.4 幅18.5 厚さ2.1	緑泥片岩。

SW-62

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 (8.1) 底径 3.8 器高 1.9	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/3 欠損。

井戸一覧表

番号	所属グリッド	形態	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	出土遺物
1	C-3、C-4	円形	0.85	0.82	1.54	
2	D-3、D-4	円形	1.70	1.55	2.40+	
3	E-5、E-6	楕円形	2.28	2.00	2.40+	
4	F-6	楕円形	2.78	2.50	2.40+	摺鉢。
5	F-1	円形	1.13	1.04	2.40+	
6	F-3	円形	1.42	1.35	2.40+	
7	F-3	楕円形	2.65	2.10	2.40+	
8	G-4	円形	2.15	1.88	2.35+	
9	F-6	不整形円形	1.82	1.60	2.40+	白磁小皿、かわらけ。
10	O-4	円形	4.02	3.60	3.40+	白磁小皿、内耳鍋、耳皿、かわらけ、温石、紡錘車。
11	G-6	円形	1.30	1.26	2.40+	
12	G-1	円形	1.30	1.08	2.60+	板碑。
13	G-6、H-6	円形	2.20	1.98	2.35+	
14	H-2	円形	1.40	1.40	2.35+	
15	J-6	円形	1.12	1.00	2.40+	
16	J-6、K-6	円形	2.86	2.60	2.40+	石臼、板碑。
17	J-2、J-3、K-2、K-3	円形	2.15	1.75	2.40+	かわらけ。
18	K-4	楕円形	2.02	1.60	2.40	青磁碗、香炉。
19	K-5	円形	1.82	1.65	2.30+	板碑。
20	L-5	円形	2.30	1.95	2.40+	石臼、板碑。
21	N-3	円形	1.20	1.12	2.20+	
22	N-5	円形	0.88	0.76	1.54	白磁小皿、火鉢、かわらけ。
23	N-2、N-3、O-2、O-3	不整形円形	2.94	2.30	2.20+	
24	O-3	円形	1.60	1.34	1.80	
25	P-2	円形	1.78	1.65	2.46+	青磁碗。
26	P-4、Q-4	円形	1.42	1.40	2.36+	白磁小皿。
27	R-3	円形	2.64	(2.42)	1.95+	白磁小皿。
28	R-2、S-2	円形	2.25	2.10	2.55+	
29	U-0	円形	1.23	1.02	1.56+	釘、宝篋印塔、板碑。
30	V-2、V-3、W-2、W-3	円形	2.96	2.67	2.28+	
31	E-11、E-12	円形	1.80	1.75	1.55+	
32	E-12	円形	1.88	1.82	1.58+	
33	F-11	円形	1.85	1.80	1.58+	かわらけ、砥石。
34	F-12	円形	1.78	1.48	1.20+	
35	G-9、G-10	円形	2.38	2.18	2.55+	
36	I-14	円形	1.22	1.20	1.65+	
37	I-14、I-15	円形	1.30	1.22	1.31	

番号	所属グリッド	形態	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	出土遺物
38	I-12	円形	1.12	1.04	1.61+	かわらけ。
39	I-12	不整円形	1.08	0.90	1.65+	板碑。
40	J-14	円形	1.03	1.00	1.24	かわらけ、板碑。
41	J-10	円形	1.2	1.10	1.05	
42	J-16	不整円形	1.35	1.19	1.69	青磁碗。
43	K-9	円形	1.78	1.65	1.73+	
44	J-11	円形	1.14	1.03	1.65+	
45	L-7	楕円形	1.65	1.10	2.10+	
46	L-7	円形	1.20	1.10	1.40	
47	L-12	不整円形	2.55	2.28	2.57+	
48	L-13	円形	1.83	1.65	1.61+	
49	L-15	円形	1.70	1.52	0.98	
50	M-9	円形	3.38	2.80	2.21+	青磁碗、白磁小皿、釘。
51	M-8	円形	0.90	0.82	1.50+	
52	N-6	円形	1.12	1.08	1.70+	
53	N-15	楕円形	1.72	1.30	1.61+	
54	N-16、O-16	不整円形	1.78	1.58	1.94+	
55	O-7、P-7	円形	1.35	1.26	2.35+	
56	O-7、O-8、P-7、P-8	楕円形	4.07	3.44	2.35+	白磁小皿、かわらけ。
57	Q-8	円形	1.62	1.58	1.88+	
58	Q-8、R-8	楕円形	3.70	3.15	2.25+	かわらけ。
59	R-10、R-11	円形	2.40	1.92	2.36+	
60	S-8	円形	1.95	1.85	2.35+	
61	T-7	円形	2.54	2.20	2.39+	板碑。
62	T-9、U-9	円形	2.20	1.95	1.80+	かわらけ。
63	M-13	不整円形	1.80	1.50	1.64+	

(3) 方形竪穴状遺構

方形竪穴状遺構は、総計55基を検出した。ここで方形竪穴状遺構として扱った遺構は、以下のすべての要素を満たすものではないが、おおよその特徴として、

- 1) 比較的大型の方形を呈する遺構で、長楕円形を呈する一般的な土壇とは性格が異なると推定される、
- 2) 床面が平坦で一定の面積を有する、
- 3) 壁の立上がり急激で、垂直に近い角度を呈する、
- 4) 床面の四隅及び壁際に柱穴を有し、何らかの上屋構造が存在したことを想定できる、
- 5) ロームブロックを多量に含む単純な覆土の堆積を認め、しばしば分層が不可能で、人為的な埋め戻しを推測できる、

などが挙げられる。

規模は1m以下の小型のものもあるが、柱穴を認め、上屋構造の存在を想定できるものは、方形竪穴状遺構とした。隅の形状は、大型の竪穴は明瞭な直角をなすものが多く、小型のものは隅丸となる傾向を示す。床面には、SF-03・13のように敷石を伴う例がある。柱穴は四隅の4箇所にあるもの、四隅と長辺の中央一対の6箇所にあるもののほか、四壁に多数が連なるもの、短辺の中央に一対を配し、棟持柱の存在が推定できるもののほか、これらのうちの一部を欠くものも目立つ。また、柱穴を全く認めないものも多い。壁溝が部分的に残存する例も認める。

分布は調査区内の各所に及ぶが、とくにL～N-14・15グリッドには正方形の方形竪穴状遺構が集中する。これらは相互に切り合い関係にあるものもあり、覆土もロームブロックを多量に含む単純覆土の堆積を示すことから、短期間のうちに人為的な埋め戻しと新規の設営を繰り返したものと推定される。

所属時期は、覆土から埴輪や土師器の小片を出土するものもあるが、青磁、白磁、かわらけなどの出土遺物が主体を占めることから、ほとんどが中世に属するものと考えられる。

SF-01 (図57)

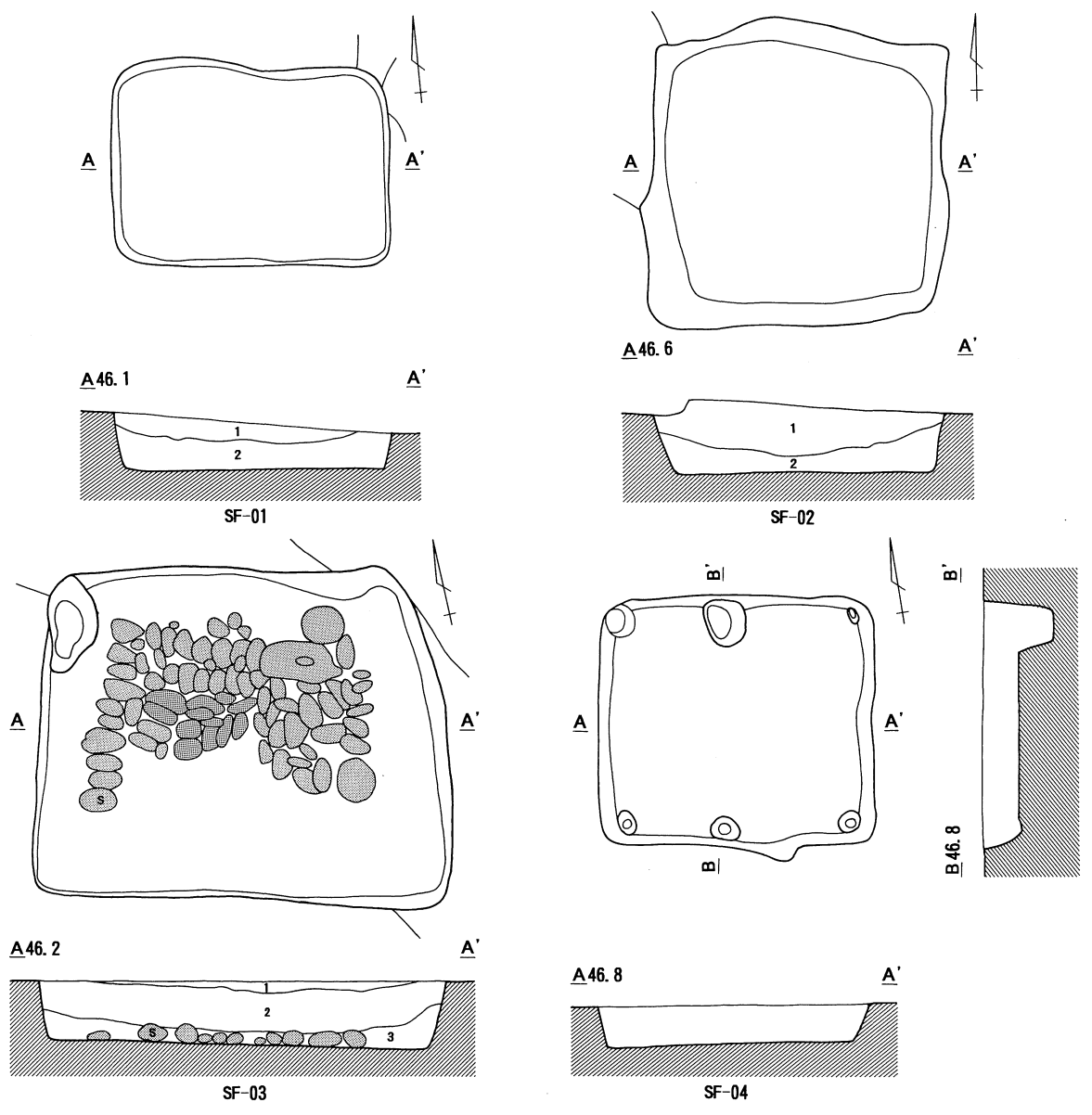
F-3グリッドに位置する。長径2.40m、短径1.78mを測り、長方形を呈する。覆土は、2層に分割され、上層に白色パミス、ロームブロック、暗黄灰色土ブロック、炭化物ブロックを多量に含む黒灰褐色土、下層にロームブロック、暗黄灰色土ブロックを多量に含む暗灰褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.50mを測る。遺物は、かわらけの細片若干を検出した。

SF-02 (図57)

G-6グリッドに位置する。長径2.68m、短径2.64mを測り、正方形を呈する。覆土は、2層に分割され、上層に白色パミス、ロームブロック、暗黄灰色土ブロック、炭化物ブロック、焼土ブロックを含む黒灰褐色土、下層にロームブロックを多量に含む暗灰褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.64mを測る。遺物は、皆無であった。

SF-03 (図57)

G-6グリッドに位置する。長径3.56m、短径2.80mを測り、不整形を呈する。床面には長楕円形の礫を敷き詰めている。覆土は、2層に分割され、上層に白色パミス、ロームブロック、木灰を多量に含む暗灰褐色土、中層に白色パミス、ロームブロック、暗黄灰色土ブロックを多量に含む黒灰褐色土、下層にロームブロックを含む黒灰褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.59mを測る。遺物は、皆無であった。



SF-01 土層説明

- 1 黒灰褐色土 白色パミス(径1mm±)、ロームブロック(径1~30mm)、暗黄灰色土ブロック(径5~25mm)、炭化物ブロック(径5~10mm)を多量に含む。
- 2 暗灰褐色土 ロームブロック(径1~50mm)、暗黄灰色土ブロック(径5~50mm)、を多量に含む。

SF-02 土層説明

- 1 黒灰褐色土 白色パミス(径1mm±)、ロームブロック(径1~30mm)、暗黄灰色土ブロック(径5~25mm)を多量に含み、焼土ブロック(径5~10mm)、炭化物ブロック(径5~15mm)を少量含む。
- 2 暗灰褐色土 ロームブロック(径1~50mm)を多量に含む。

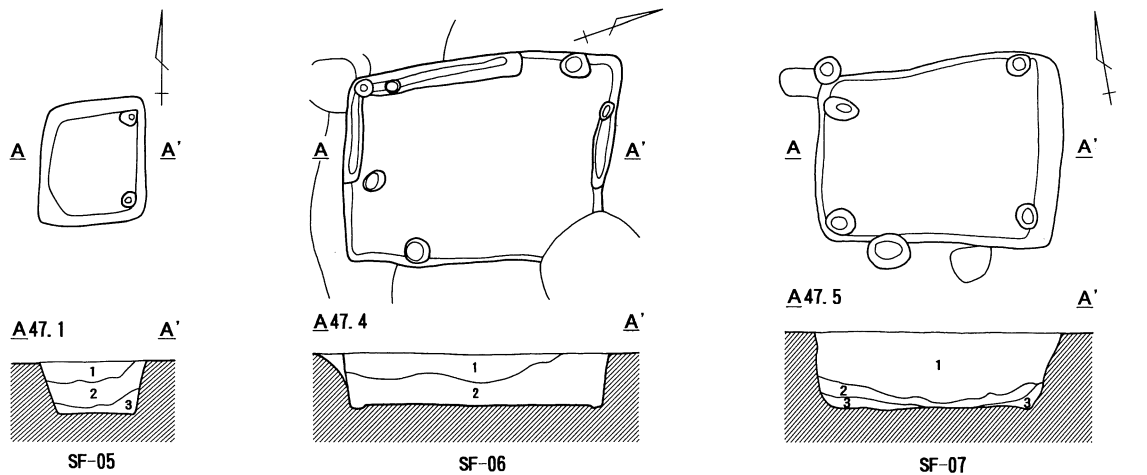
SF-03 土層説明

- 1 暗灰褐色土 白色パミス(径1mm±)、ロームブロック(径1~30mm)、木灰を多量に含む。
- 2 黒灰褐色土 白色パミス(径1mm±)、ロームブロック(径1~30mm)、暗黄灰色土ブロック(径5~25mm)を多量に含む。
- 3 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を少量含む。

SF-04 土層説明 (単層)

- 黒灰褐色土 白色パミス(径1mm±)、ロームブロック(径1~10mm)を多量に含み、礫(径5~15mm)を少量含む。

図57 SF-01~04



SF-05 土層説明

- 1 暗灰褐色土 ロームブロック(径1~10mm)、焼土ブロック(径1~5mm)、炭化物ブロック(径1~15mm)、木灰を多量に含む。
- 2 黒灰褐色土 白色粘質土ブロック(径1~10mm)を少量含み、ロームブロック(径1~20mm)、焼土ブロック(径1~5mm)、炭化物ブロック(径1~15mm)、木灰を多量に含む。
- 3 黒灰褐色土 白色粘質土ブロック(径1~10mm)、ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。

SF-06 土層説明

- 1 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~10mm)、暗黄灰色土ブロック(径5~50mm)、炭化ブロック(径

5~10mm)を多量に含む。

- 2 黒灰褐色土 白色粘質土ブロック(径1~10mm)、ロームブロック(径1~20mm)、炭化物ブロック(径5~10mm)を多量に含む。

SF-07 土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック(径1~30mm)を多量に含む。
- 2 黒灰褐色土 白色粘質土ブロック(径1~10mm)、ロームブロック(径1~20mm)、炭化物ブロック(径5~10mm)を多量に含む。
- 3 黒灰褐色土 炭化物ブロック(径5~10mm)、焼土ブロック(径1~5mm)を多量に含む。

0 2m 1:60

図58 SF-05~07

SF-04 (図57)

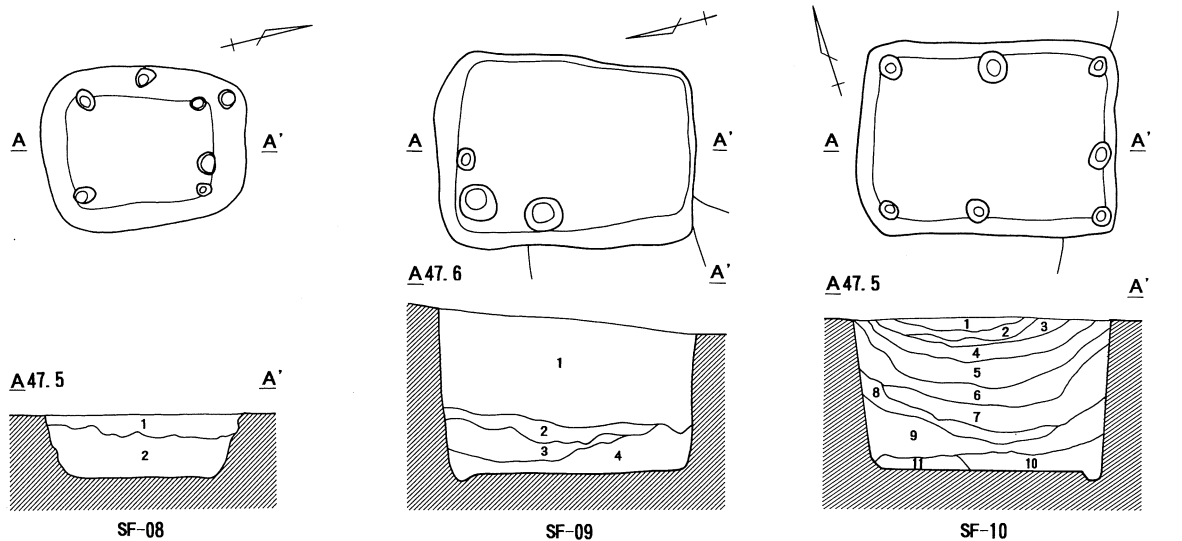
H-4グリッドに位置する。長径2.34m、短径2.28mを測り、正方形を呈する。床面には、四隅と長辺の壁際とに6箇所柱穴を認める。覆土は、単層で、白色パミス、ロームブロック、礫を含む黒灰褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.38mを測る。遺物は、皆無であった。

SF-05 (図58)

J-3グリッドに位置する。長径0.96m、短径0.82mを測り、長方形を呈する。床面には、北東及び南東隅の2箇所に柱穴を認める。覆土は、2層に大別され、上層に白色粘質土ブロック、ロームブロック、焼土ブロック、炭化物ブロック、木灰などを多量に含む暗灰褐色土及び黒灰褐色土、下層に白色粘質土ブロック、ロームブロックのみを多量に含む黒灰褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.41mを測る。遺物は、青磁碗、白磁小皿、かわらけ、不明銅製品を検出した。

SF-06 (図58)

J-3グリッドに位置する。長径2.16m、短径1.68mを測り、不整長方形を呈する。床面には、三方の壁際の一部に壁溝を認める。明らかな柱穴は南西隅の1基のみであるが、床面にはピットが散在し、壁際に存在するものは柱穴として機能した可能性がある。覆土は、白色粘質土ブロック、ロームブロック、炭化物ブロックを多量に含む黒灰褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.40mを測る。遺物は、白磁小皿、かわらけを検出



SF-08 土層説明

- 1 黒灰褐色土 ロームブロック(径1～5mm)、焼土ブロック(径1～5mm)、炭化物ブロック(径1～15mm)、木灰を多量に含む。
- 2 黒灰褐色土 白色粘質土ブロック(径1～10mm)を少量含む、ロームブロック(径1～20mm)、焼土ブロック(径1～5mm)、炭化物ブロック(径1～15mm)、木灰を多量に含む。

SF-09 土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック(径1～30mm)を多量に含む。
- 2 黒褐色土 白色粘質土ブロック(径1～10mm)を少量含む。
- 3 黒灰褐色土 ロームブロック(径1～10mm)、炭化物ブロック(径1～5mm)、焼土ブロック(径1～5mm)を多量に含む。
- 4 黒灰褐色土 ロームブロック(径1～10mm)、炭化物ブロック(径1～10mm)を多量に含む。

SF-10 土層説明

- 1 暗褐色土 白色パミス(径1mm±)、ロームブロック(径

1～10mm)を少量含む。

- 2 暗褐色土 ロームブロック(径1mm±)を少量含む。
- 3 灰褐色土
- 4 黒褐色土 ロームブロック(径1～10mm)を少量含む。
- 5 黒褐色土 ロームブロック(径1～30mm)を多量に含む。
- 6 黒褐色土 ロームブロック(径1～40mm)を多量に含む。
- 7 黒褐色土 ロームブロック(径1～60mm)を多量に含む、斑状に堆積する。
- 8 黒灰褐色土 焼土ブロック(径1～5mm)、炭化物ブロック(径1～5mm)、木灰を多量に含む。
- 9 黒灰褐色土 焼土ブロック(径1～5mm)、炭化物ブロック(径1～15mm)を多量に含む。
- 10 黒灰褐色土 白色粘質土ブロック(径1～10mm)、焼土ブロック(径1～10mm)、炭化物ブロック(径1～10mm)を少量含む。
- 11 黒灰褐色土 焼土ブロック(径1～10mm)、炭化物ブロック(径1～10mm)を少量含む。

図59 SF-08～10

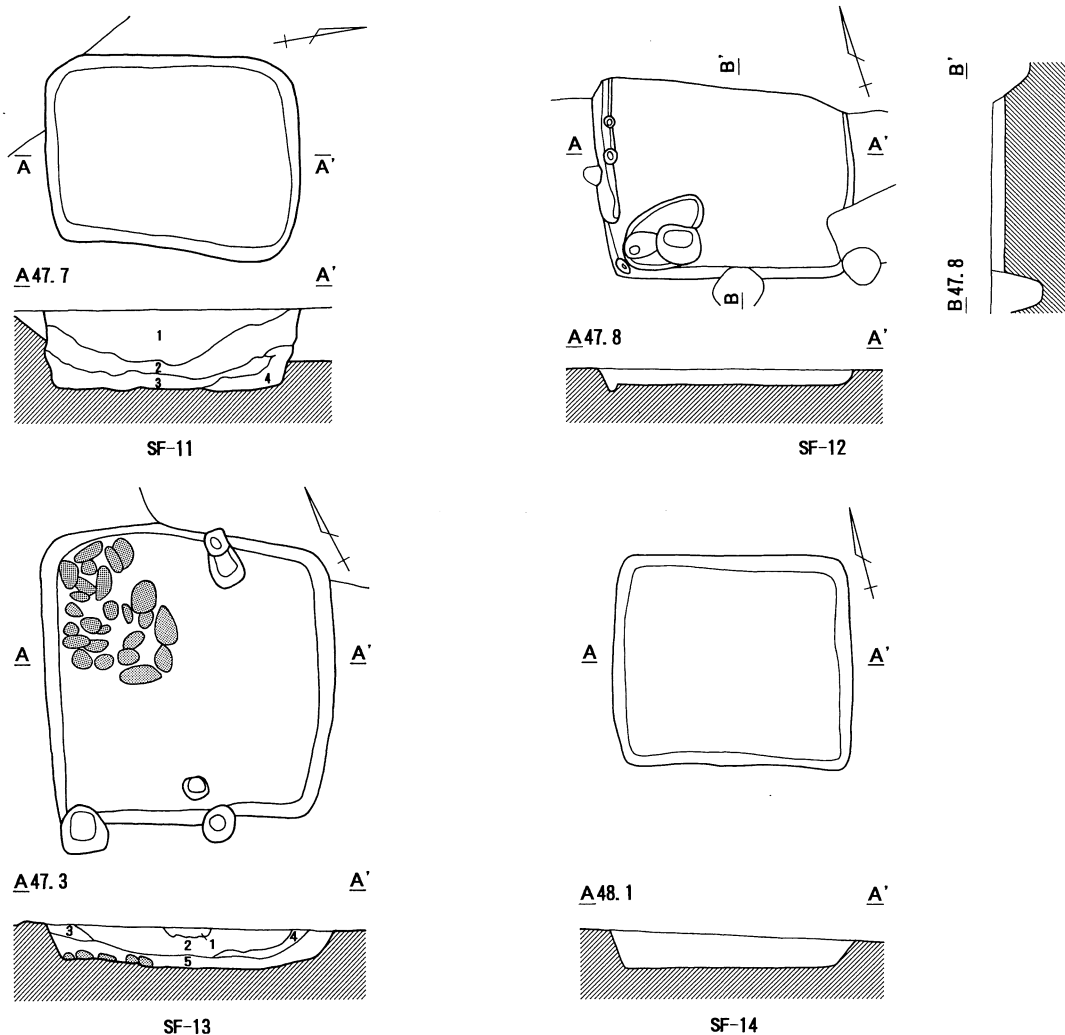
した。

SF-07 (図58)

J-4、K-4グリッドに位置する。長径1.98m、短径1.57mを測り、長方形を呈する。床面には四隅に柱穴を認める。覆土は、2層に大別され、上層にロームブロックを多量に含む黒褐色土、下層に白色粘質土ブロック、ロームブロック、焼土ブロック、炭化物ブロックを多量に含む黒灰褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.60mを測る。上層は人為的に埋め戻されている可能性が高い。遺物は、皆無であった。

SF-08 (図59)

K-3グリッドに位置する。長径1.62m、短径1.30mを測り、隅丸長方形を呈する。床面には四隅に柱穴を認める。覆土は、白色粘質土ブロック、ロームブロック、焼土ブロック、炭化物ブロック、木灰をなど多量に含む黒灰褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.51mを測る。遺物は、皆無であった。



SF-11 土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック (径1~30mm) を多量に含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック (径1~10mm) を少量含む。
- 3 黒灰褐色土 ロームブロック (径1~10mm)、炭化物ブロック (径1~15mm) を少量含む。
- 4 黒灰褐色土 焼土ブロック (径1~5mm)、炭化物ブロック (径1~15mm) を多量に含む。

SF-12 土層説明 (単層)

- 1 灰黒色土 ロームブロック (径1~10mm) を少量含む。

SF-13 土層説明

- 1 褐色土

- 2 黒灰褐色土 ロームブロック (径1~30mm) を多量に含む。
- 3 黒灰褐色土 白色粘質土ブロック (径1~10mm) を少量含む。
- 4 灰黒色土
- 5 黒灰褐色土 焼土ブロック (径1~10mm)、炭化物ブロック (径1~10mm) を少量含む。

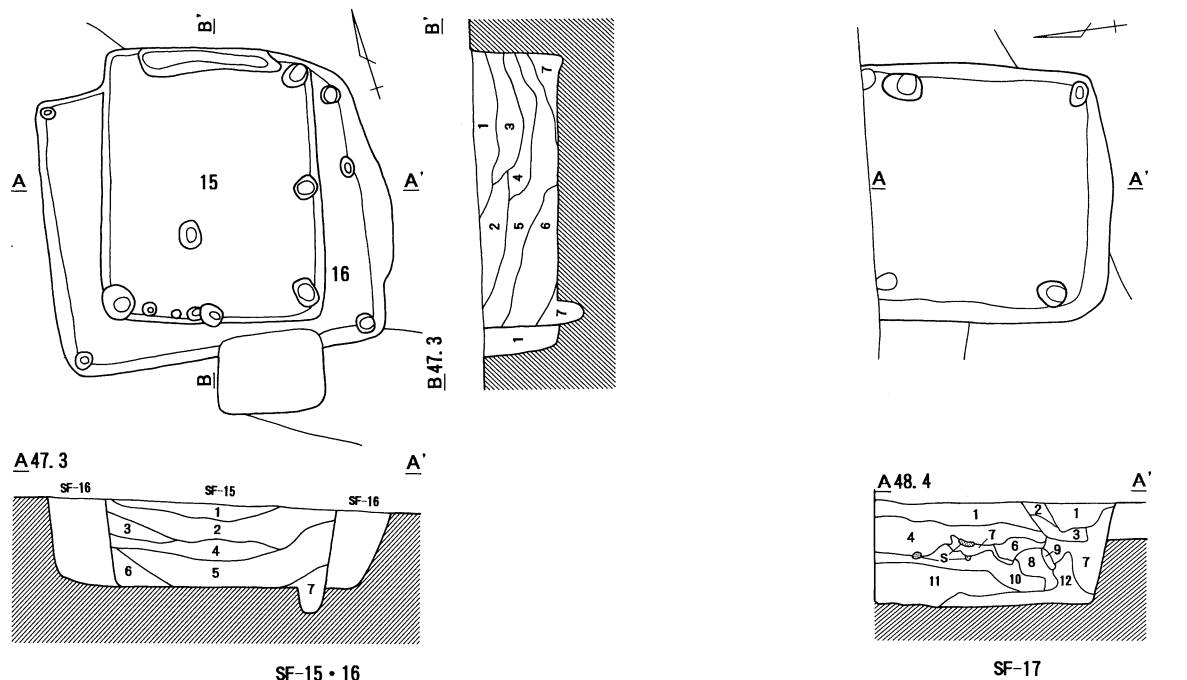
SF-14 土層説明 (単層)

- 1 暗灰褐色土 炭化ブロック (径5~20mm)、焼土ブロック (径5~10mm)、ロームブロック (径1~50mm) を多量に含む。

図60 SF-11~14

SF-09 (図59)

K-5グリッドに位置する。長径1.96m、短径1.52mを測り、長方形を呈する。性格は明らかではないが、床面には3基のピットを認める。覆土は、2層に大別され、上層にロームブロックを多量に含む黒褐色土、下層にロームブロック、焼土ブロック、炭化物ブロックを多量に含む黒灰褐色土の堆積を認める。確認面からの深



SF-15 土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック (径1~10mm) を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック (径1~30mm) を多量に含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック (径1~40mm) を少量含む。
- 4 黒褐色土 ロームブロック (径1~60mm) を多量に含む。
- 5 黒灰褐色土 ロームブロック (径1~60mm) を多量に含み、焼土ブロック (径1~5mm)、炭化物ブロック (径1~5mm)、木灰を少量含む。
- 6 黒灰褐色土
- 7 黒灰褐色土 焼土ブロック (径1~10mm)、炭化物ブロック (径1~10mm) を少量含む。

SF-16 土層説明 (単層)

- 暗灰褐色土 ロームブロック (径1~40mm) を多量に含む。

SF-17 土層説明

- 1 黄褐色土 ロームブロック (径1~10mm) を多量に含む。
- 2 黒褐色土

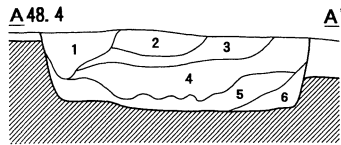
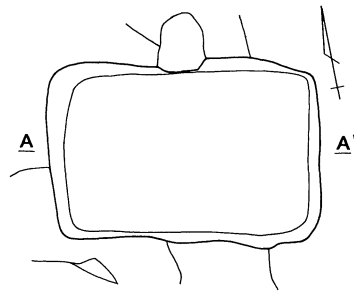
- 3 黒褐色土 ロームブロック (径1~10mm) を少量含む。
- 4 黒褐色土 ロームブロック (径1mm±)、炭化物ブロック (径1~5mm)、焼土ブロック (径1~5mm) を少量含む。
- 5 黒褐色土 ロームブロック (径1~5mm)、炭化物ブロック (径1~5mm)、焼土ブロック (径1~5mm) を少量含む。
- 6 黒褐色土 ロームブロック (径1~10mm) を多めに含む。
- 7 黄褐色土 ロームブロック (径1~20mm) を少量含む。
- 8 暗褐色土 ロームブロック (径1~20mm)、黄褐色土ブロック (径1~30mm) を多量に含む。
- 9 暗灰褐色土 ロームブロック (径5~10mm)、炭化物ブロック (径1~10mm)、焼土ブロック (径1mm±) を多量に含む。
- 10 暗灰褐色土 ロームブロック (径1mm±) を多量に含む。
- 11 暗灰褐色土 ロームブロック (径1~10mm)、炭化物ブロック (径1~10mm)、礫 (径10mm±) を少量含む。
- 12 黒灰褐色土 ロームブロック (径1mm±)、炭化物ブロック (径1~5mm) を少量含む。

図61 SF-15~17

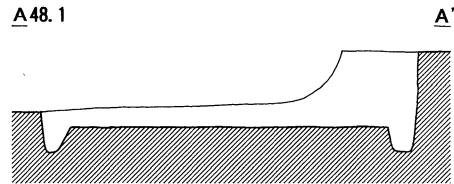
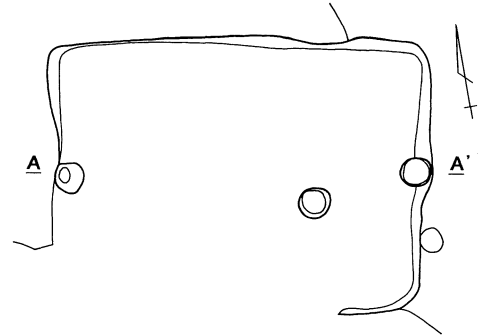
さ1.31mを測る。上層は人為的に埋め戻されている可能性が高い。遺物は、白磁小皿、白磁角坏、古瀬戸小皿、陶器小皿、かわらけ、靱尻金具、不明銅製品を検出した。

SF-10 (図59)

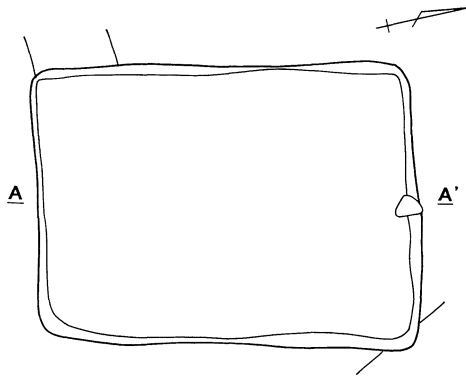
L-4、M-4グリッドに位置する。長径2.06m、短径1.58mを測り、長方形を呈する。床面には四隅に柱穴を認めるほか、東壁際の中央にも1基のピットが存在する。覆土は、2層に大別され、上層にロームブロックを含む黒褐色土、下層に白色粘質土ブロック、焼土ブロック、炭化物ブロックを多量に含む黒灰褐色土の堆積



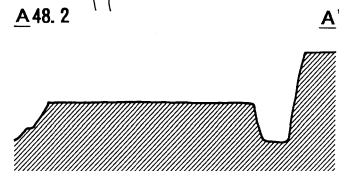
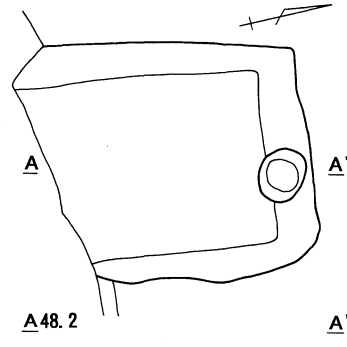
SF-18



SF-19



SF-20



SF-21

SF-18 土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック (径1~5mm) を多量に含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック (径1~20mm) を多量に含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック (径1~30mm) を多量に含む。
- 4 黒褐色土 ロームブロック (径1~120mm)、炭化物ブロック (径1mm±) を多量に含む。
- 5 黒褐色土 ロームブロック (径1~30mm)、黄褐色土ブ

ロック (径1~10mm) を多量に含む。

- 6 黒褐色土 ロームブロック (径1~30mm) を少量含む。

SF-19 土層説明 (単層)

黒灰褐色土 ロームブロック (径1~30mm) を多量に含む。

SF-20 土層説明 (単層)

黒灰褐色土 ロームブロック (径1~35mm)、黄褐色土ブロック (径1~10mm) を多量に含む。

図62 SF-18~21



を認める。確認面からの深さ1.20mを測る。遺物は、砥石を検出した。

SF-11 (図60)

K-2、L-2グリッドに位置する。長径2.02m、短径1.55mを測り、長方形を呈する。覆土は、2層に大別され、上層にロームブロックを含む黒褐色土、下層にロームブロック、焼土ブロック、炭化物ブロックを含む

黒灰褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.63mを測る。遺物は、青磁碗を検出した。

SF-12 (図60)

L-3グリッドに位置する。長径2.04m、短径1.60mを測り、長方形を呈する。床面には、西壁際に壁溝と小ピットの連続を認める。覆土は、単層で、ロームブロックを少量含む灰黒色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.12mを測る。遺物は、かわらけを検出した。

SF-13 (図60)

L-4・5グリッドに位置する。長径2.40m、短径2.30mを測り、不整形を呈する。床面には礫を敷き詰めていたと考えられ、北西隅に一部が残存している。覆土は、2層に大別され、上層に白色粘質土ブロック、ロームブロックを含む黒灰褐色土、下層に、焼土ブロック、炭化物ブロックを含む黒灰褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.32mを測る。遺物は、皆無であった。

SF-14 (図60)

L-3グリッドに位置する。長径1.90m、短径1.70mを測り、正方形を呈する。覆土は、単層で、ロームブロック、焼土ブロック、炭化物ブロックを含む暗灰褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.30mを測る。遺物は、青磁碗、青磁鉢を検出した。

SF-15 (図61)

L-4・5、M-4・5グリッドに位置する。長径2.20m、短径1.80mを測り、長方形を呈する。床面には、北壁際に壁溝を、北東、南東、南西隅に柱穴を認めるほか、北壁際の中央にもピットが存在する。覆土は、2層に大別され、上層にロームブロックを含む黒褐色土、下層にロームブロック、焼土ブロック、炭化物ブロック、木灰を含む黒灰褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.68mを測る。遺物は、かわらけ、温石を検出した。

SF-16 (図61)

L-4・5、M-4・5グリッドに位置する。長径2.84m、短径2.30mを測り、正方形を呈する。覆土は、単層で、ロームブロックを多量に含む暗褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.68mを測る。遺物は、手焙を検出した。

SF-17 (図61)

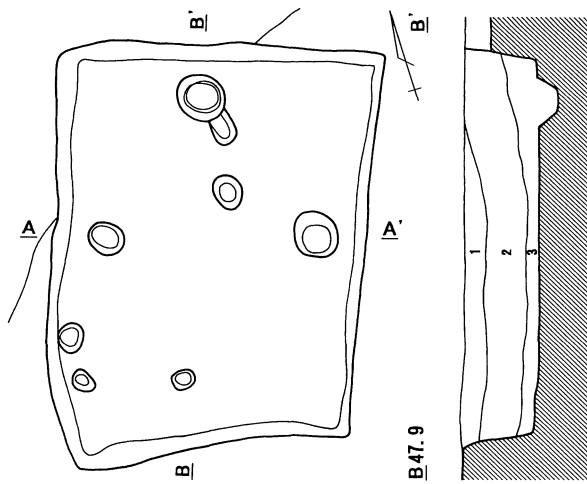
M-1・2グリッドに位置する。調査区の北端にあつて、北側の一部は調査区外にある。確認の範囲で東西2.10m、南北1.92mを測る。原形は、南北に長い長方形を呈するものと推測される。覆土は、複雑に堆積し、ロームブロック、焼土ブロック、炭化物ブロックを含む暗灰褐色土、黒褐色土などの堆積を認める。確認面からの深さ0.83mを測る。遺物は、白磁小皿を検出した。

SF-18 (図62)

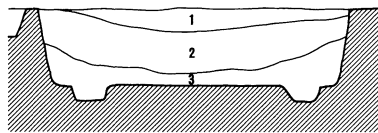
M-2、N-2グリッドに位置する。長径2.20m、短径1.50mを測り、長方形を呈する。覆土は、ロームブロック、黄褐色土ブロック、炭化物ブロックを多量に含む黒褐色土の堆積を認め、深さ0.60mを測る。遺物は、かわらけを検出した。

SF-19 (図62)

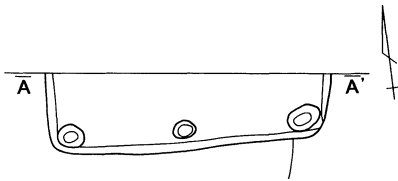
M-3、N-3グリッドに位置する。南西側はST-17と重複し、上半は攪乱により失われている。長径2.64m、短径1.88mを測り、長方形を呈する。床面には、東西の短辺の壁際中央に一对の柱穴を認めるほか、床面中央にもピットが存在する。覆土は、単層で、ロームブロックを多量に含む黒灰褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.60mを測る。覆土の堆積状況から人為的に埋め戻された可能性が高い。遺物は、かわらけを検出した。



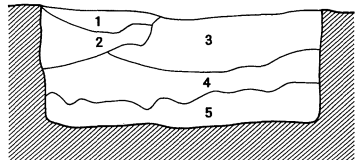
A47.9



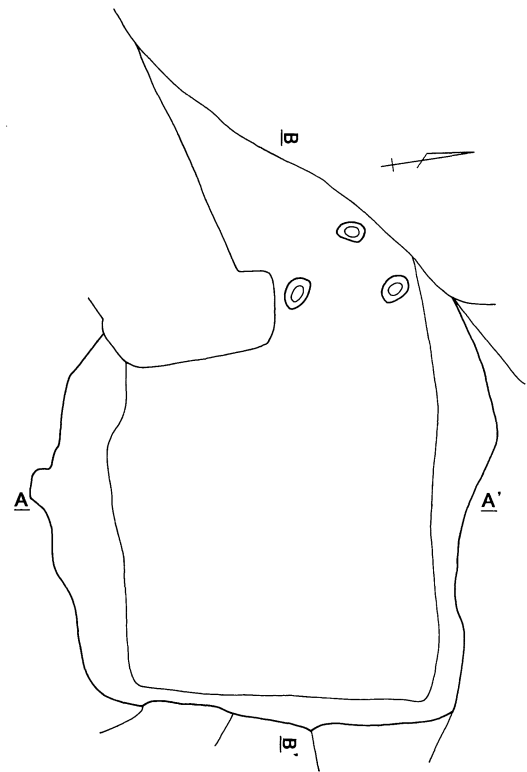
SF-22



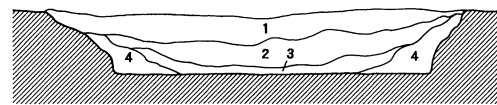
A48.5



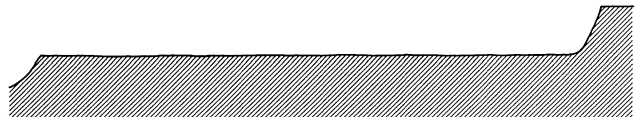
SF-24



A48.5



B48.5



SF-23

SF-22 土層説明

- 1 黒灰褐色土 ロームブロック (径1~5mm) を多量に含む。
- 2 黒灰褐色土 ロームブロック (径1~20mm) を多量に含む。
- 3 黒灰褐色土 ロームブロック (径1~120mm) を多量に含む、炭化物ブロック (径1mm±) を少量含む。

SF-23 土層説明

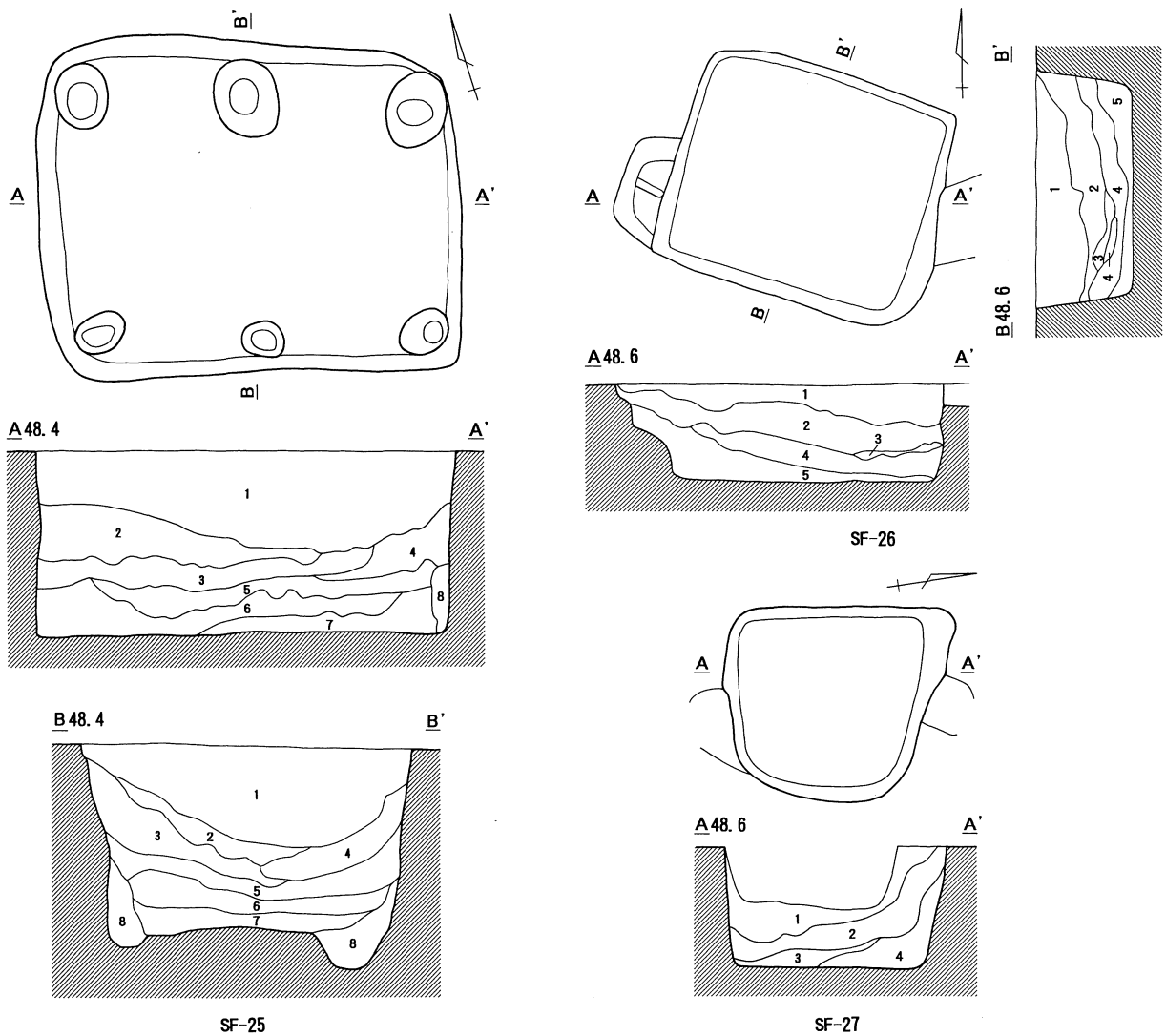
- 1 黒灰褐色土 ロームブロック (径1~10mm) を多量に含む。
- 2 黒灰褐色土 ロームブロック (径1~25mm) を多量に含む。
- 3 黒褐色土
- 4 黒灰褐色土 ロームブロック (径1~80mm) を多量に含む、黒色土ブロック (径1~20mm) を少量含む。

SF-24 土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック (径1~5mm) を多量に含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック (径1~20mm)、炭化物ブロック (径1mm±) を多量に含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック (径1~30mm) を多量に含む。
- 4 黒褐色土 ロームブロック (径1~120mm) を多量に含む。
- 5 黒灰褐色土 ロームブロック (径1~30mm)、灰白色粘質土ブロック (径1~10mm) を多量に含む。

図63 SF-22~24





SF-25 土層説明

- 1 暗灰褐色土 ロームブロック(径1~20mm)、焼土ブロック(径1~20mm)を多量に、炭化物ブロック(径1~15mm)を少量含む。
- 2 灰黄褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に、焼土ブロック(径1~5mm)、炭化物ブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 3 灰黄色土 ロームブロック(径1~80mm)を多量に含む。
- 4 黄色土 ロームを主体とし、黄灰白色ハードロームブロック(径1mm~15mm)を少量含む。
- 5 黄灰色土 ロームブロック(径1~80mm)を多量に含む。
- 6 黄灰色土 ロームブロック(径1~40mm)を多量に含む。
- 7 明灰色土 ロームブロック(径1~30mm)を多量に含む。
- 8 黄灰色土

SF-26 土層説明

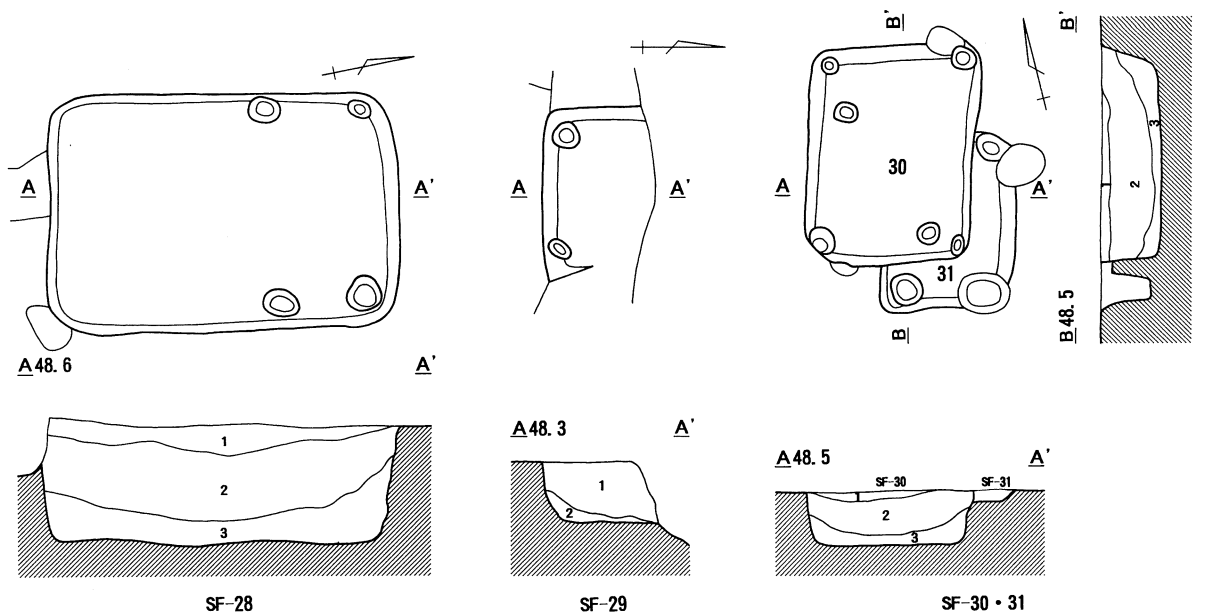
- 1 黒褐色土 ロームブロック(径1~50mm)を少量含む。
- 2 黒褐色土 灰色土ブロック(径10~30mm)を少量含む。
- 3 黒褐色土 炭化物ブロック(径1~2mm)を多量に含む。
- 4 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~80mm)を多量に含む。
- 5 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~50mm)、黒褐色土ブロック(径10~70mm)を多量に含む。

SF-27 土層説明

- 1 暗灰褐色土 ロームブロック(径1~20mm)を多量に含む。
- 2 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~25mm)を少量含む。
- 3 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~25mm)を少量含む。
- 4 暗灰褐色土 ロームブロック(径1~20mm)を少量含む。

0 2m 1:60

図64 SF-25~27



SF-28 土層説明

- 1 黒灰褐色土 ロームブロック (径1~5mm) を多量に含む。
- 2 黒灰褐色土 ロームブロック (径1~20mm) を多量に含む。
- 3 黒灰褐色土 ロームブロック (径1~120mm) を多量に含む、炭化物ブロック (径1mm±) を少量含む。

SF-29 土層説明

- 1 黒灰褐色土 ロームブロック (径1~20mm) を多量に含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック (径1~10mm) を少量含む、炭化物ブロック (径1mm±) を多量に含む。

SF-30 土層説明

- 1 黒灰褐色土 ロームブロック (径1~5mm) を多量に含む。
- 2 黒灰褐色土 ロームブロック (径1~30mm)、灰白色粘質土ブロック (径1~10mm) を多量に含む。
- 3 黒灰褐色土 灰白色粘質土ブロック (径1~5mm) を少量含む。

SF-31 土層説明 (単層)

- 黒灰褐色土 ロームブロック (径1~5mm)、炭化物ブロック (径1~10mm) 焼土ブロック (径1~5mm)、木灰を多量に含む。

図65 SF-28~31

SF-20 (図62)

N-1・2グリッドに位置する。長径3.03m、短径2.28mを測り、長方形を呈する。覆土は、単層で、ロームブロック、黄褐色土ブロックを多量に含む黒灰褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.30mを測る。遺物は、皆無であった。

SF-21 (図62)

N-3グリッドに位置する。長径2.24m以上、短径1.92mを測り、長方形を呈する。確認面からの深さ0.30mを測る。遺物は、皆無であった。

SF-22 (図63)

N-3グリッドに位置する。長径3.40m、短径2.50mを測り、不整長方形を呈する。床面には、ピットが散在するが、確実に柱穴として認識できるものはない。覆土は、ロームブロック、炭化物ブロックを含む黒灰褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.69mを測る。遺物は、皆無であった。

SF-23 (図63)

N-2、O-2グリッドに位置する。長径5.20m以上、短径3.32mを測り、長方形を呈する。立上りの上位は崩落が進み直立しない。覆土は、ロームブロック、黒色土ブロックを多量に含む黒灰褐色土及び黒褐色土の

堆積を認める。確認面からの深さ0.53mを測る。遺物は、かわらけを検出した。

SF-24 (図63)

R-1グリッドに位置する。調査区の北端にあって、北側の一部は調査区外にある。確認の範囲で東西2.28mを測り、方形を呈する。床面には、南東隅、南西隅、南壁中央の壁際に3箇所の柱穴を認める。覆土は、2層に大別され、上層にロームブロック、炭化物ブロックを多量に含む黒褐色土、下層に、白色粘質土ブロック、ロームブロックを多量に含む黒灰褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.92mを測る。遺物は、かわらけを検出した。

SF-25 (図64)

R-3・4グリッドに位置する。長径3.52m、短径2.86mを測り、長方形を呈する。床面には、四隅と長辺の壁際とに6箇所の柱穴を認める。覆土は、2層に大別され、上層にロームブロック、焼土ブロック、炭化物ブロックを含む暗灰褐色土及び灰黄褐色土、下層に、ロームブロックのみを含む灰黄色土、黄灰色土などの堆積を認める。確認面からの深さ1.60mを測る。遺物は、かわらけ、石製品を検出した。

SF-26 (図64)

R-1・2、S-1・2グリッドに位置する。長径2.32m、短径1.90mを測り、正方形を呈する。西壁の南半にステップ状の突出部が付く。覆土は、ロームブロック、炭化物ブロックなどを含む黒褐色土及び黒灰褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.81mを測る。遺物は、皆無であった。

SF-27 (図64)

R-2グリッドに位置する。覆土中の後代の土壌が重複する。長径1.90m、短径1.12mを測り、不整長方形を呈する。覆土は、ロームブロックを含む暗灰褐色土及び黒灰褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ1.00mを測る。遺物は、砥石を検出した。

SF-28 (図65)

R-2グリッドに位置する。長径2.80m、短径1.90mを測り、長方形を呈する。床面には、北東隅、北西隅、東西長辺の壁際中央に4箇所の柱穴を認める。覆土は、ロームブロック、炭化物ブロックを含む黒灰褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.95mを測る。遺物は、かわらけを検出した。

SF-29 (図65)

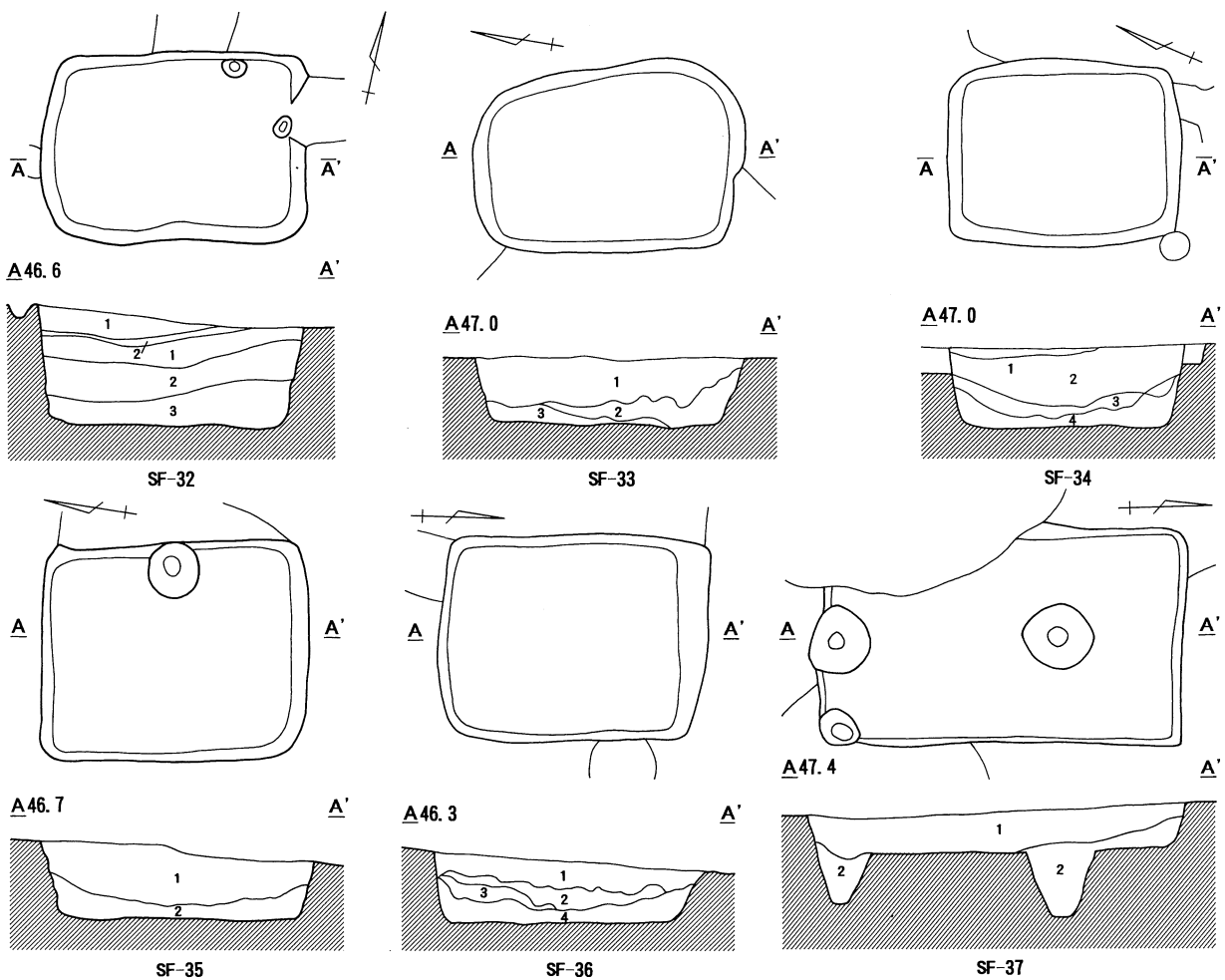
S-0・1グリッドに位置する。後代の溝と重複し、北半を失っている。東西1.40m以上、南北0.90m以上を測る。床面には、南東隅、南西隅の2箇所に柱穴を認める。2層に大別され、上層にロームブロックを多量に含む黒灰褐色土、下層に、ロームブロック、炭化物ブロックを含む黒褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.47mを測る。遺物は、皆無であった。

SF-30 (図65)

S-1グリッドに位置する。長径1.78m、短径1.36mを測り、長方形を呈する。床面には、四隅に柱穴を認める。覆土は、ロームブロック、灰白色粘質土ブロックを含む黒灰褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.44mを測る。遺物は、皆無であった。

SF-31 (図65)

S-1グリッドに位置する。北西側からSF-30に大きく切られている。長径1.45m、短径1.05mを測り、不整長方形を呈する。床面には残存する3箇所の隅に柱穴を認める。覆土は、単層で、ロームブロック、炭化物ブロック、焼土ブロックを多量に含む黒灰褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.09mを測る。遺物は、皆無であった。



SF-32 土層説明

- 1 暗灰褐色土 ロームブロック（径1～30mm）を多量に含む。
- 2 黒灰褐色土 ロームブロック（径1～3mm）を少量含む。
- 3 黒灰褐色土 ロームブロック（径1～40mm）を少量含む。

SF-33 土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック（径1～20mm）を多量に含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック（径1～20mm）、灰白色粘質土ブロック（径1～5mm）を多量に含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック（径1～40mm）、灰白色粘質土ブロック（径1～5mm）を多量に含む。

SF-34 土層説明

- 1 黒褐色土
- 2 黒褐色土 ロームブロック（径1～20mm）を多量に含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック（径1～20mm）、灰白色粘質土ブロック（径1～5mm）を多量に含む。
- 4 黒褐色土 ロームブロック（径1～40mm）、灰白色粘質土ブロック（径1～5mm）を多量に含む。

SF-35 土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック（径1～20mm）を多量に含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック（径1～40mm）、灰白色粘質土ブロック（径1～5mm）を多量に含む。

SF-36 土層説明

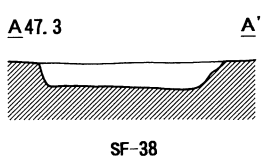
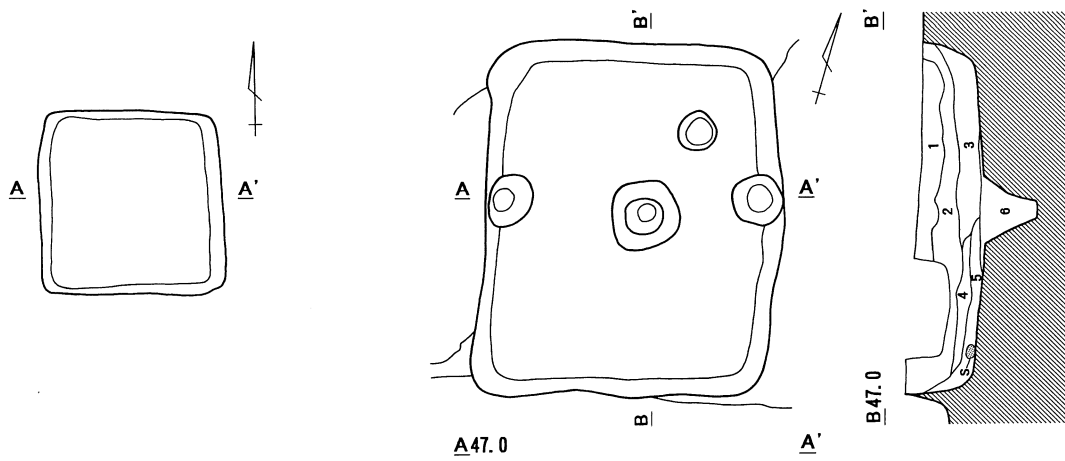
- 1 黒褐色土 ロームブロック（径1～20mm）を多量に含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック（径1～20mm）を多量に含む、礫（径10～20mm）を少量含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック（径1～10mm）を多量に含む、砂粒（径1mm±）を少量含む。
- 4 黒褐色土 ロームブロック（径1～40mm）、灰白色粘質土ブロック（径1～5mm）を多量に含む。

SF-37 土層説明

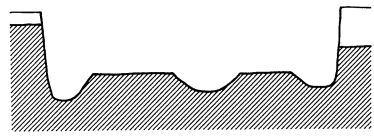
- 1 黒褐色土 ロームブロック（径1～20mm）を多量に含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック（径1～40mm）、灰白色粘質土ブロック（径1～5mm）を多量に含む。



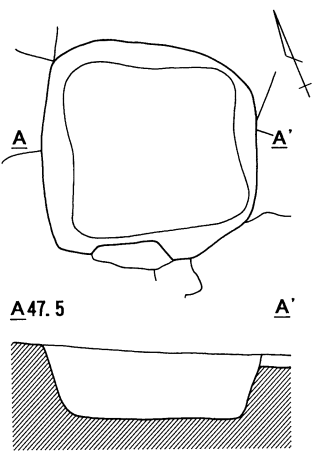
図66 SF-32～37



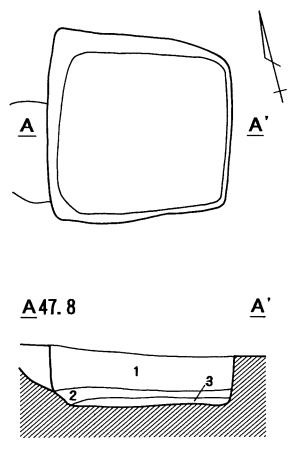
SF-38



SF-39



SF-40



SF-41

SF-38 土層説明 (単層)

黒褐色土 ロームブロック (径1~20mm) を多量に含む。

SF-39 土層説明

- 1 黒灰褐色土 ロームブロック (径1~5mm)、焼土ブロック (径1~5mm)、炭化物ブロック (径1~15mm) を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック (径1~40mm) を多量に含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック (径1~25mm) を多量に含む。
- 4 黒褐色土 ロームブロック (径1~15mm)、炭化物ブロック (径1~20mm) を少量含む。
- 5 暗黄灰色土 ロームブロック (径1~15mm) を多量に含む。

SF-41 土層説明 (単層)

6 黒褐色土 ロームブロック (径1~2mm)、灰白色粘質土ブロック (径1~5mm) を多量に含む。

SF-40 土層説明 (単層)

黒褐色土 ロームブロック (径1~20mm) を多量に含む。

SF-41 土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック (径1~30mm) を多量に含む。
- 2 黒灰褐色土 白色パミス (径1~2mm) を少量含み、ロームブロック (径1~30mm) を多量に含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック (径1~25mm) を少量含む。

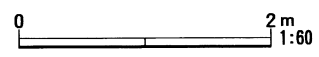
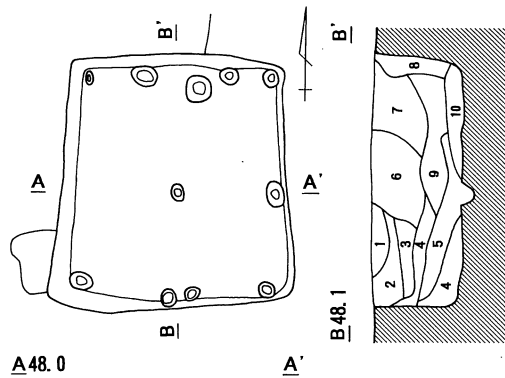
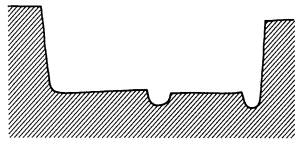


図67 SF-38~41

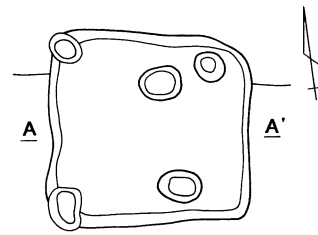


A48.0

B48.1



SF-42

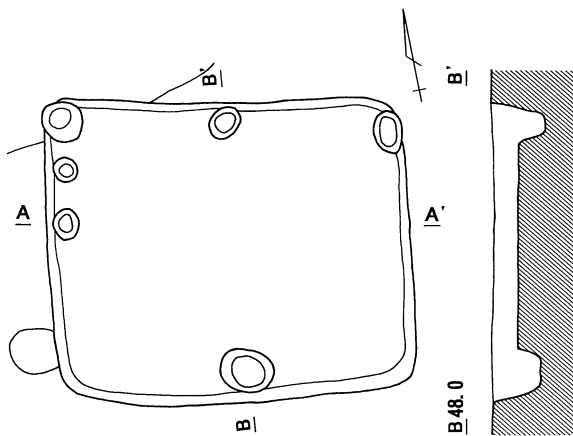


A47.9

A'



SF-43

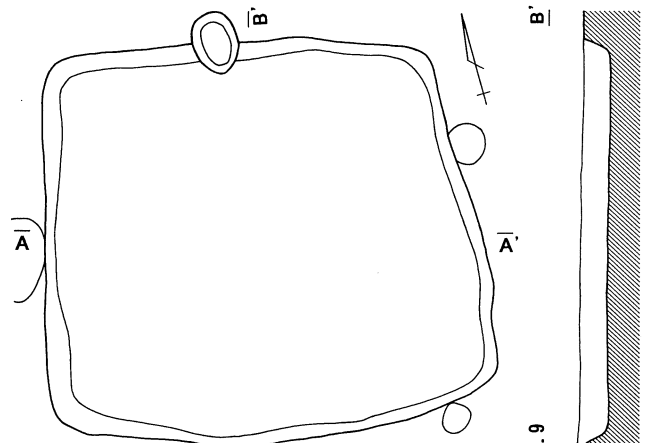


A48.0

A'



SF-44



A48.0

A'



SF-45

SF-42 土層説明

- 1 暗褐色土 ロームブロック (径1~30mm) を多量に含む。
- 2 暗褐色土 ロームブロック (径1~10mm) を多量に含む。
- 3 暗褐色土 ロームブロック (径1~20mm) を多量に含む。
- 4 暗褐色土 ロームブロック (径1~10mm) を少量含む。
- 5 暗褐色土 ロームブロック (径1~50mm) を多量に含む。
- 6 暗褐色土 ロームブロック (径1~50mm) を少量含む。
- 7 褐色土 ロームブロック (径1~15mm) を多量に含む。
- 8 明褐色土 ロームブロック (径1mm±) を多量に含む。

9 褐色土 ロームブロック (径1~50mm) を多量に含む。

10 黄色土 ローム風化土。

SF-43 土層説明 (単層)

黒灰褐色土 ロームブロック (径1~20mm) を多量に含む。

SF-44 土層説明 (単層)

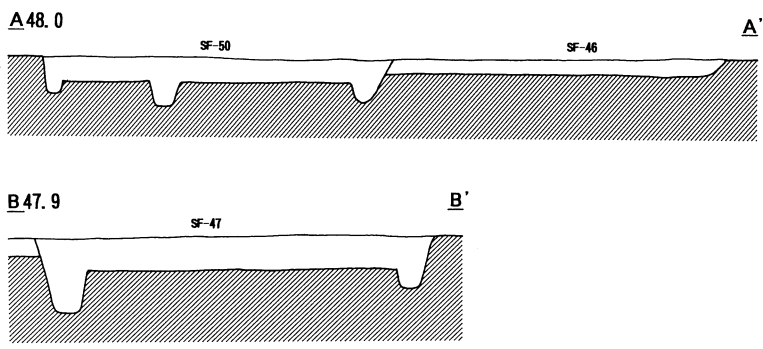
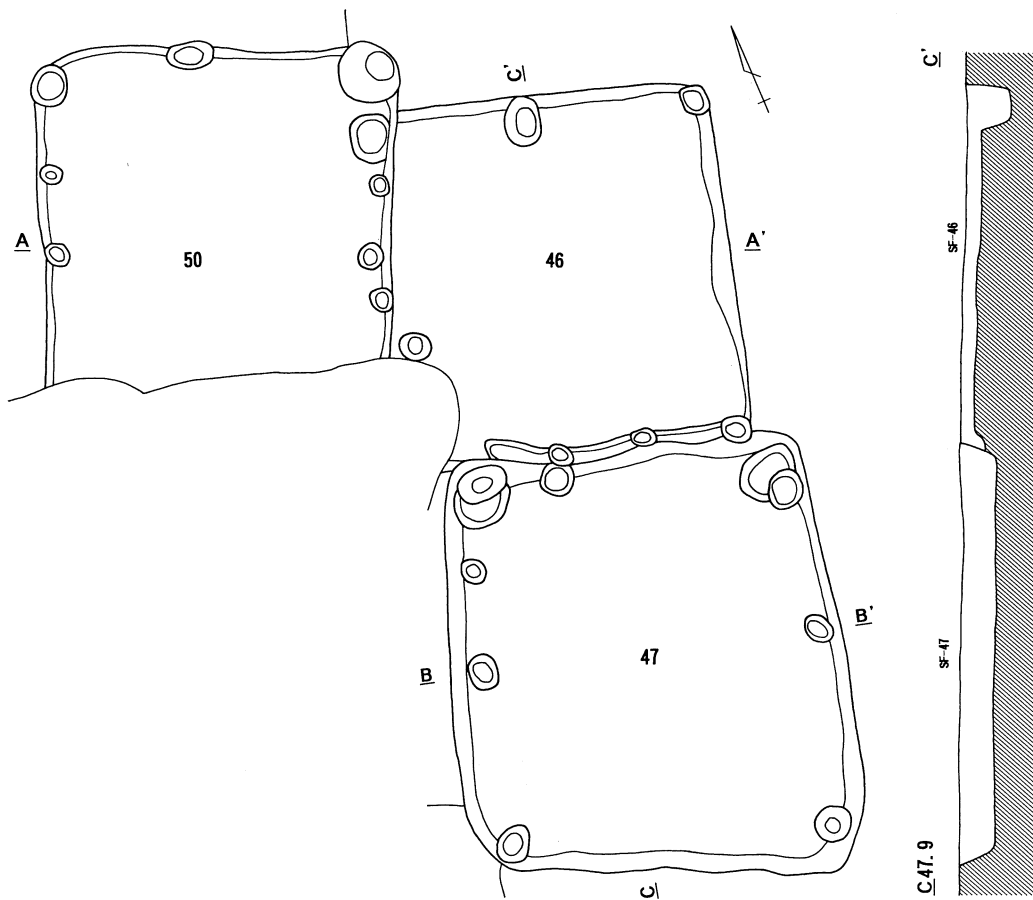
黒灰褐色土 ロームブロック (径1~20mm) を多量に含む。

SF-45 土層説明 (単層)

黒灰褐色土 ロームブロック (径1~20mm) を多量に含む。



図68 SF-42~45



SF-46・47・50

SF-46 土層説明 (単層)

黒灰褐色土 ロームブロック (径1~20mm)、灰白色粘質土
ブロック (径1~5mm) を多量に含む。

炭化物ブロック (径1~5mm) を少量含む。

SF-50 土層説明 (単層)

黒灰褐色土 ロームブロック (径1~30mm)、灰白色粘質土
ブロック (径1~5mm) を多量に含む。

SF-47 土層説明 (単層)

黒灰褐色土 ロームブロック (径1~30mm) を多量に含む、

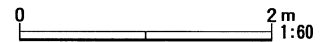


図69 SF-46・47・50

SF-32 (図66)

F-11グリッドに位置する。長径1.82m、短径1.30mを測り、長方形を呈する。覆土は、ロームブロックを含む暗灰褐色土及び黒灰褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.97mを測る。遺物は、かわらけを検出した。

SF-33 (図66)

F-12、G-12グリッドに位置する。長径1.88m、短径1.32mを測り、隅丸長方形を呈する。覆土は、2層に大別され、上層にロームブロックを多量に含む黒褐色土、下層に、ロームブロック、灰白色粘質土ブロックを多量に含む黒褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.54mを測る。遺物は、かわらけを検出した。

SF-34 (図66)

G-12・13グリッドに位置する。長径1.10m、短径1.32mを測り、長方形を呈する。覆土は、2層に大別され、上層にロームブロックを多量に含む黒褐色土、下層に、ロームブロック、灰白色粘質土ブロックを多量に含む黒褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.66mを測る。遺物は、かわらけを検出した。

SF-35 (図66)

G-10グリッドに位置する。長径1.85m、短径1.47mを測り、長方形を呈する。床面には、東壁際の中央にピットが存在する。覆土は、2層に分割され、上層にロームブロックを多量に含む黒褐色土、下層に、ロームブロック、灰白色粘質土ブロックを多量に含む黒褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.60mを測る。遺物は、かわらけ、銅製飾り金具を検出した。

SF-36 (図66)

G-10グリッドに位置する。長径1.88m、短径1.36mを測り、長方形を呈する。覆土は、3層に大別され、上層にロームブロックを多量に含む黒褐色土、中層にロームブロック、砂礫を多量に含む黒褐色土、下層に、ロームブロック、灰白色粘質土ブロックを多量に含む黒褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.56mを測る。遺物は、皆無であった。

SF-37 (図66)

I-15グリッドに位置する。長径2.90m、短径1.78mを測り、長方形を呈する。南東隅、南壁際中央、床面中央にピットが存在する。覆土は、ロームブロック、灰白色粘質土ブロックを多量に含む黒褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.36mを測る。遺物は、白磁小皿、板碑を検出した。

SF-38 (図67)

I-14グリッドに位置する。長径1.48m、短径1.47mを測り、正方形を呈する。覆土は、単層で、ロームブロックを多量に含む黒褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.21mを測る。遺物は、皆無であった。

SF-39 (図67)

I-10・11グリッドに位置する。長径2.80m、短径2.40mを測り、長方形を呈する。床面には、東西壁際の中央に一对の柱穴を認めるほか、床面中央にもピットが存在する。覆土は、2層に大別され、上層にロームブロック、炭化物ブロック、焼土ブロックを含む黒灰褐色土、下層に、ロームブロック、炭化物ブロックを含む黒褐色土及び暗黄灰色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.49mを測る。遺物は、皆無であった。

SF-40 (図67)

J-9グリッドに位置する。長径1.72m、短径1.66mを測り、不整形を呈する。覆土は、単層で、ロームブロックを多量に含む黒褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.53mを測る。遺物は、羽口、石鉢を検出した。

SF-41 (図67)

K-9グリッドに位置する。長径1.55m、短径1.45mを測り、不整形を呈する。覆土は、ロームブロックを含む黒褐色土及び白色パミス、ロームブロック黒灰褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.45mを測る。遺物は、皆無であった。

SF-42 (図68)

L-10グリッドに位置する。長径2.04m、短径1.98mを測り、正方形を呈する。床面には、四方の壁際に沿って柱穴が連なるほか、床面中央にもピットが存在する。覆土は、複雑な堆積を見せ、ロームブロックを含む暗褐色土から明褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.68mを測る。遺物は、皆無であった。

SF-43 (図68)

L-14グリッドに位置する。長径1.60m、短径1.58mを測り、正方形を呈する。床面には、北東、北西、南西隅の3箇所柱穴を認めるほか、床面中央にも2基のピットが存在する。覆土は、単層で、ロームブロックを多量に含む黒灰褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.12mを測る。遺物は、皆無であった。

SF-44 (図68)

L-14、M-14グリッドに位置する。長径2.90m、短径2.42mを測り、長方形を呈する。覆土は、ロームブロックを多量に含む黒灰褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.23mを測る。遺物は、皆無であった。

SF-45 (図68)

M-14・15グリッドに位置する。長径3.60m、短径3.25mを測り、不整形を呈する。覆土は、単層で、ロームブロックを多量に含む黒灰褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.23mを測る。遺物は、皆無であった。

SF-46 (図69)

M-14グリッドに位置する。南西隅が溝と重複し、南壁がSF-47により、西壁がSF-50によりそれぞれ切られている。南北2.95m、東西残存長2.70mを測る。原形は正方形を呈するものと推測される。床面には、南北の壁際に沿って柱穴が連なり、南壁の一部には壁溝を認める。覆土は、単層で、ロームブロック、灰白色粘質土ブロックを多量に含む黒灰褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.14mを測る。遺物は、かわらけを検出した。

SF-47 (図69)

M-14・15グリッドに位置する。長径3.57m、短径3.20mを測り、不整形長方形を呈する。床面には、四隅のほか東西壁際の中央にも一対の柱穴を認める。覆土は、単層で、ロームブロック、炭化物ブロックを含む黒灰褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.27mを測る。遺物は、かわらけの細片若干を検出した。

SF-48 (図70)

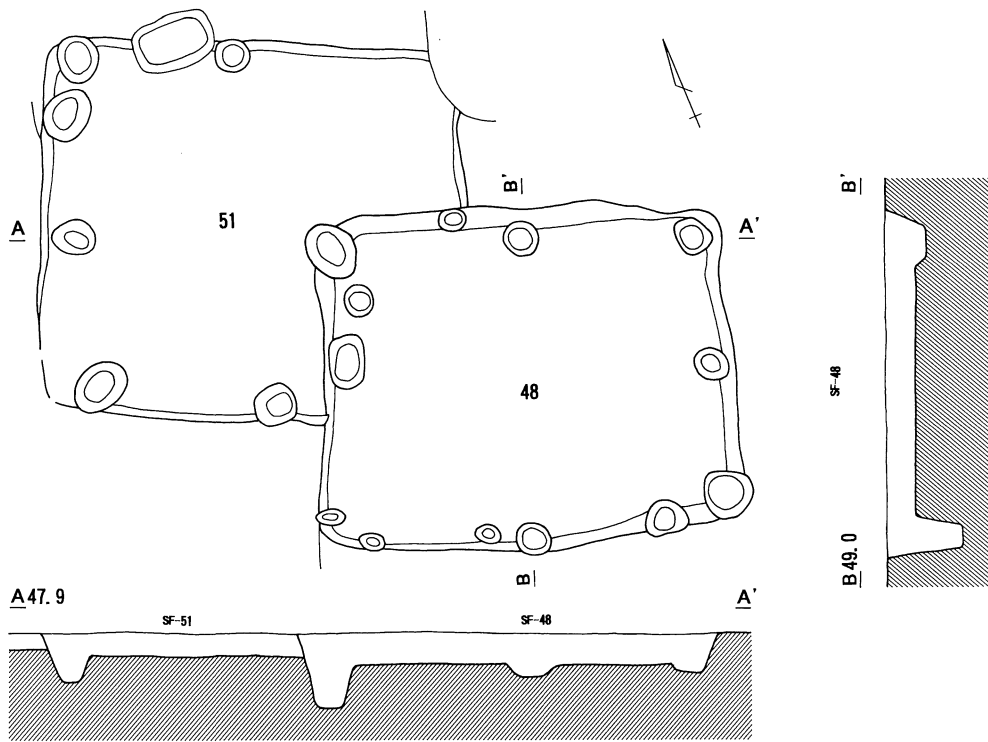
M-15、N-15グリッドに位置する。長径3.30m、短径2.68mを測り、長方形を呈する。床面には、四方の壁際に沿って柱穴が連なる。覆土は、単層で、ロームブロック、灰白色粘質土ブロックを多量に含む黒灰褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.24mを測る。遺物は、かわらけの細片若干を検出した。

SF-49 (図70)

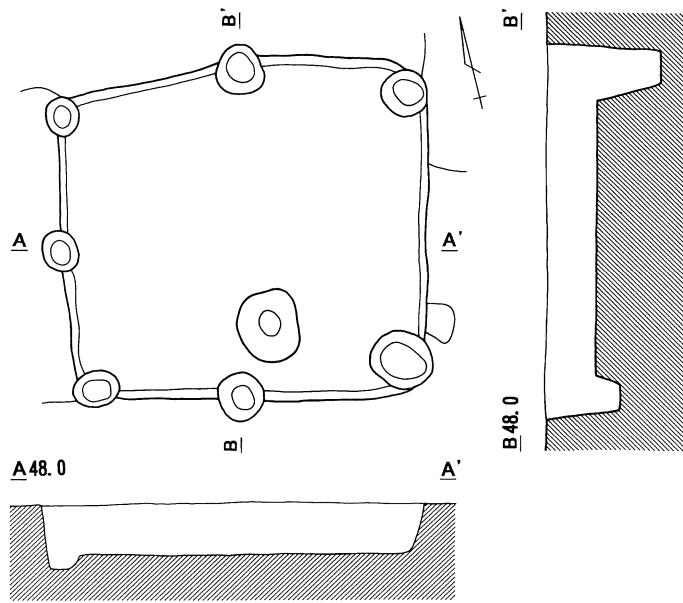
M-15、N-15グリッドに位置する。長径2.95m、短径2.74mを測り、不整形を呈する。床面には、四隅と南、北、西壁際の中央に1基ずつの柱穴を認めるほか、床面の南壁よりも1基のピットが存在する。覆土は、単層で、ロームブロック、灰白色粘質土ブロックを多量に含む黒灰褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.41mを測る。遺物は、白磁、かわらけの細片若干を検出した。

SF-50 (図69)

M-14、N-14グリッドに位置する。南壁が溝と重複している。東西2.90m、南北残存長2.75mを測る。原形は正方形を呈するものと推測される。床面には、残存する三方の壁際に沿って柱穴が連なる。覆土は、単層で、ロームブロック、灰白色粘質土ブロックを多量に含む黒灰褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.20mを測る。遺物は、かわらけの細片若干を検出した。



SF-48・51



SF-49

SF-48 土層説明 (単層)

黒灰褐色土 ロームブロック(径1~30mm)、灰白色粘質土ブロック(径1~5mm)を多量に含む。

SF-51 土層説明 (単層)

黒灰褐色土 ロームブロック(径1~30mm)、灰白色粘質土ブロック(径1~5mm)を多量に含む。

SF-49 土層説明 (単層)

黒灰褐色土 ロームブロック(径1~20mm)、灰白色粘質土ブロック(径1~5mm)を多量に含む。

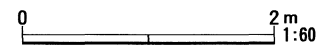
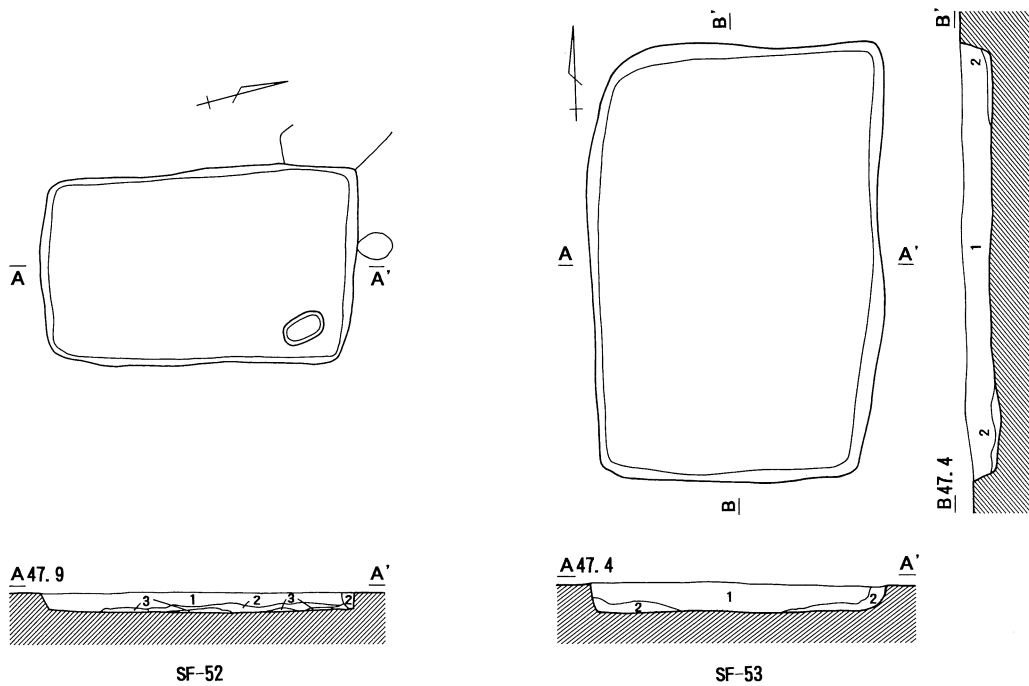


図70 SF-48・49・51



SF-52 土層説明

- 1 黒色土
- 2 黒色土 ロームブロック (径1~5mm) を少量含む。
- 3 黒色土 ロームブロック (径1~15mm) を多量に含む。

SF-53 土層説明

- 1 黒褐色土 白色パミス (径1mm±) を多量に、ロームブロック (径1mm±)、礫 (径10mm±) を少量含む。
- 2 黒褐色土 白色パミス (径1mm±)、ロームブロック (径1mm±) を少量含む。

図71 SF-52~53

SF-51 (図70)

M-15、N-15グリッドに位置する。長径3.40m、短径3.03mを測り、正方形を呈する。床面には、残存する三方の壁際に沿って柱穴が連なる。覆土は、単層で、ロームブロック、灰白色粘質土ブロックを多量に含む黒灰褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.19mを測る。遺物は、皆無であった。

SF-52 (図71)

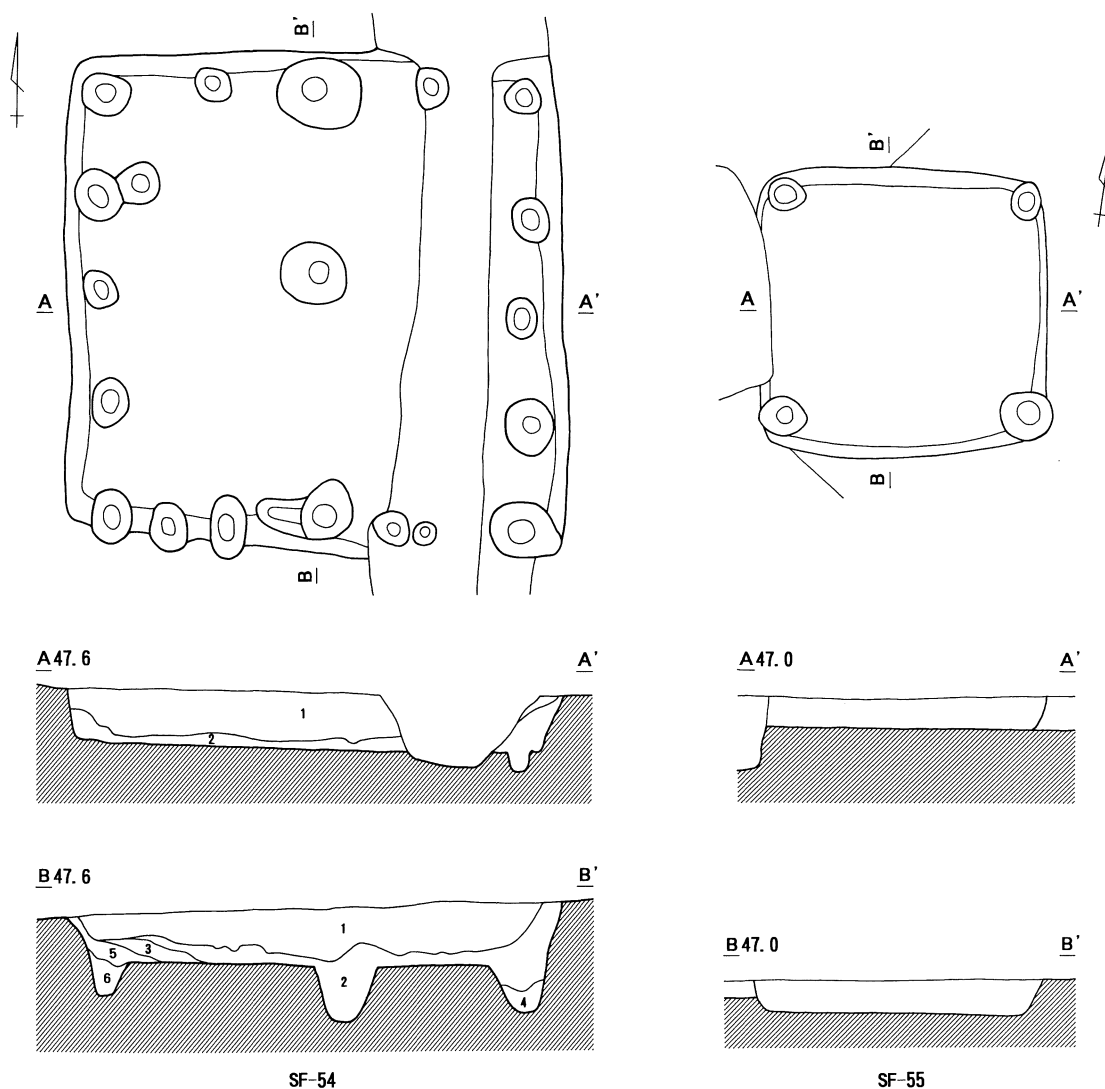
N-15、O-15グリッドに位置する。長径2.53m、短径1.60mを測り、長方形を呈する。覆土は、ロームブロックを含む黒色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.17mを測る。遺物は、かわらけの細片若干を検出した。

SF-53 (図71)

P-7グリッドに位置する。長径3.46m、短径2.34mを測り、長方形を呈する。覆土は、白色パミス、ロームブロック、礫などを含む黒褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.23mを測る。遺物は、かわらけを検出した。

SF-54 (図72)

P-7、Q-7グリッドに位置する。長径4.05m、短径2.88mを測り、長方形を呈する。床面には、四方の壁際に沿って柱穴が連なるほか、床面中央にもピットが存在する。覆土は、白色パミス、ロームブロック、焼土ブロックを含む黒褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.51mを測る。遺物は、青磁碗、かわらけを検出



SF-54 土層説明

- 1 黒褐色土 白色パミス (径1~2mm) を多量に、ロームブロック (径1~2mm) を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック (径1~40mm) を多量に含む。
- 3 黒褐色土 焼土ブロック (径1~5mm)、ロームブロック (径1~2mm) を少量含む。
- 4 黒褐色土

- 5 黒褐色土 ロームブロック (径1~15mm) を多量に含む。
- 6 黒褐色土 ロームブロック (径1~5mm) を少量含む。

SF-55 土層説明 (単層)

- 黒褐色土 ロームブロック (径1~20mm)、灰白色粘質土ブロック (径1~5mm) を多量に含む。

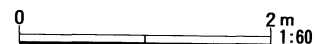


図72 SF-54~55

した。

SF-55 (図72)

G-12・13グリッドに位置する。長径2.00m、短径1.98mを測り、正方形を呈する。床面には、四隅に柱穴を認める。覆土は、単層で、ロームブロック、灰白色粘質土ブロックを多量に含む黒褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.29mを測る。遺物は、皆無であった。

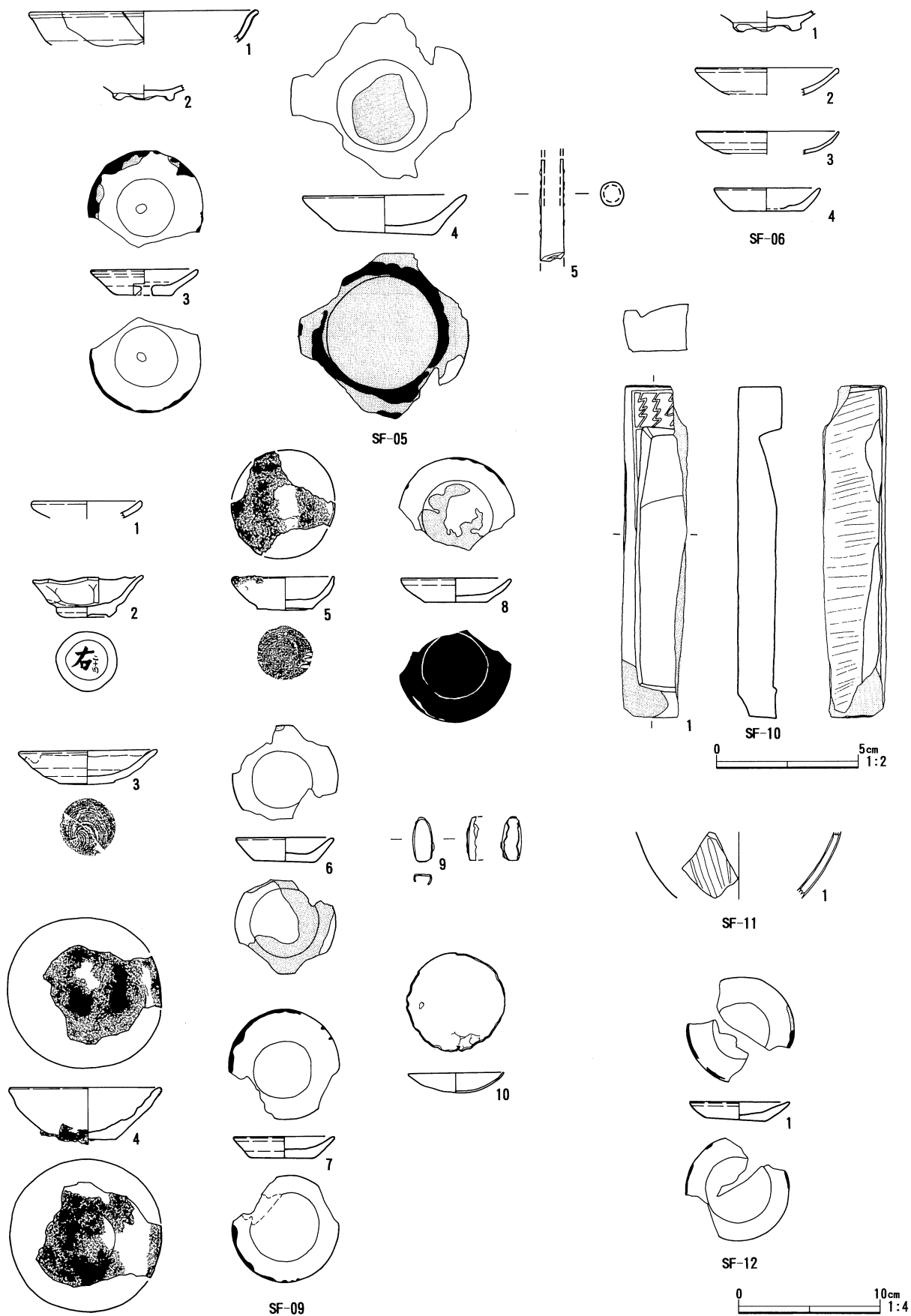


图73 SF 出土遺物 (1)

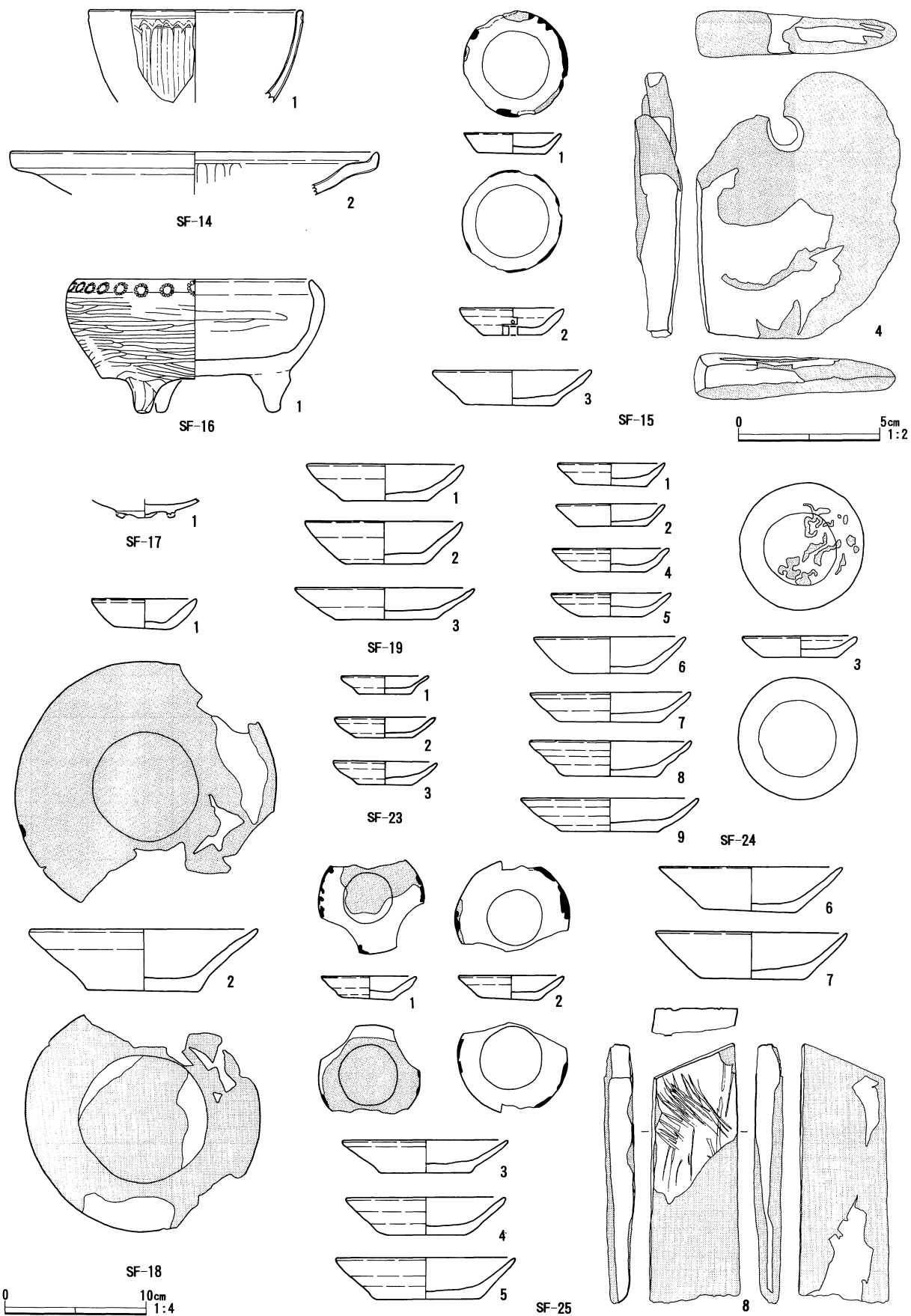


图74 SF 出土遺物 (2)

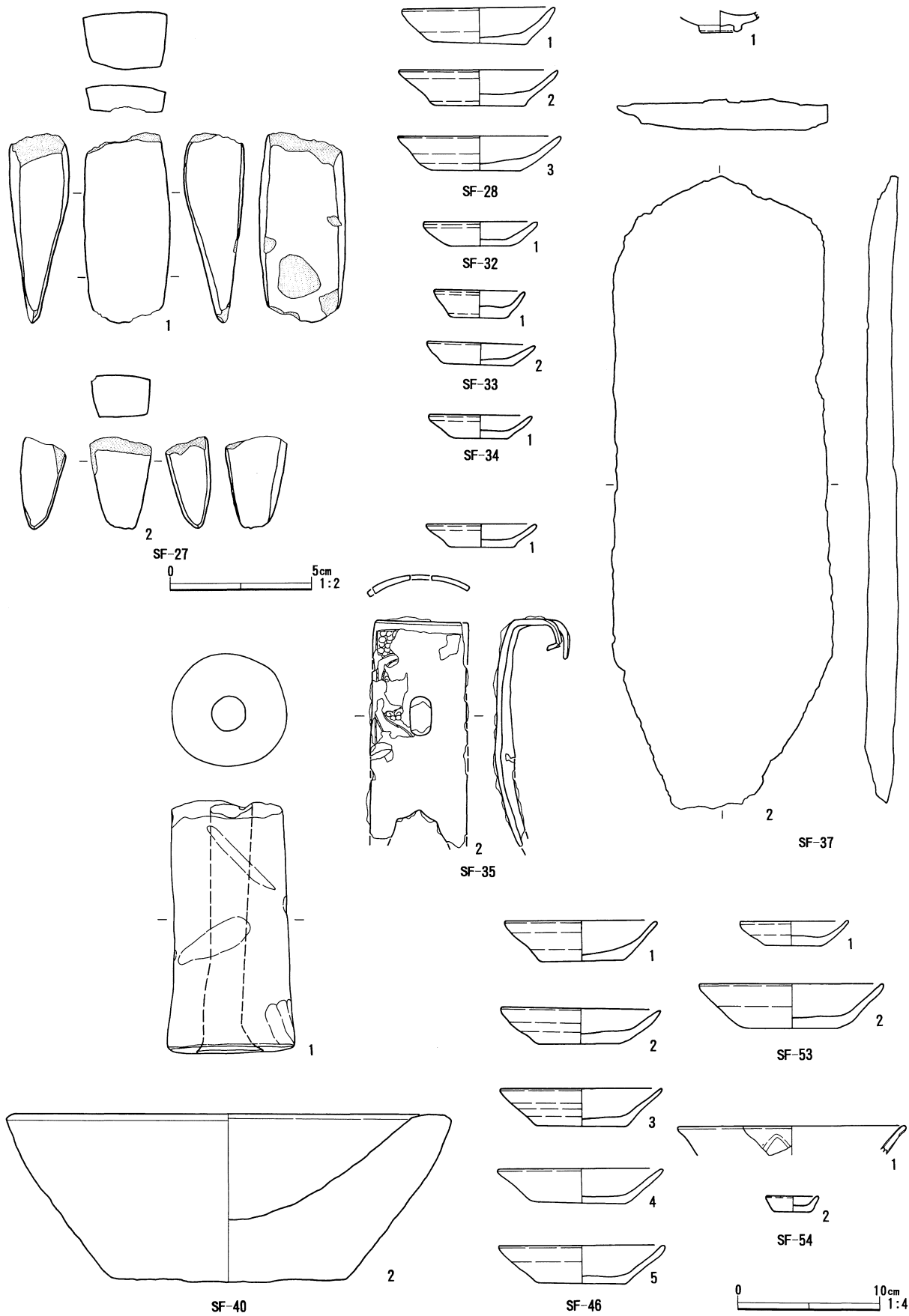


图75 SF 出土遺物 (3)

SF-05

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	青磁碗	口径 (16.0) 底径 — 器高 —		体部ロクロ整形。	夾雑物なし 灰白色	口縁部破片。
2	白磁小皿	口径 — 底径 3.6 器高 —	高台挟り。	体部ロクロ整形。	内外—灰白色	底部～高台部残存。見込目跡。全面施釉。
3	中世土器かわらけ	口径 7.7 底径 4.2 器高 1.8	口縁部は外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面一部横ナデ。	にぶい橙色	口縁部 2/5 欠損。底部中央に穿孔。煤付着。
4	中世土器かわらけ	口径 11.5 底径 7.0 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	橙色	口縁部 5/6 欠損。底部外面木目圧痕。煤付着。
No.	種類	器種	法 量 (cm・g)			備考
5	銅製品	不明	残存長7.2 直径1.6 厚さ0.2 重さ55.3。筒状を呈す。			

SF-06

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	白磁小皿	口径 — 底径 3.8 器高 —	高台挟り。	体部ロクロ整形。	内外—灰白色	底部～高台部 3/4。見込目跡。全面施釉。
2	白磁小皿	口径 (10.0) 底径 — 器高 —	浅い体部。	体部ロクロ整形。	夾雑物なし 内外—灰白色	口縁部～体部破片。
3	白磁小皿	口径 (10.0) 底径 — 器高 —	浅い体部。	体部ロクロ整形。	夾雑物なし 内外—灰白色	口縁部～体部下位 1/5。
4	中世土器かわらけ	口径 (7.4) 底径 (5.0) 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 3/5 欠損。

SF-09

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	白磁小皿	口径 (7.7) 底径 — 器高 —		体部ロクロ整形。	夾雑物なし 内外—灰白色	口縁部破片。
2	白磁角坏	口径 7.7 底径 3.0 器高 2.9	直線的に立ち上がるやや深い体部。高台は開き気味に付く。	体部ロクロ整形。	内外—灰白色	口縁部一部欠損。底部外面に墨書「右、二十四?」。
3	古瀬戸小皿	口径 9.7 底径 3.8 器高 2.5	僅かな膨らみをもつ体部中位。底部は平底。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。	内外—浅黄色、釉はオリブ灰色	3/4。内外面灰釉。
4	陶器小皿	口径 (10.5) 底径 (3.8) 器高 3.7	上位でやや屈曲する体部。底部は平底。	体部ロクロ整形、底部不明。	夾雑物なし 内外—灰赤～暗灰赤色	1/2。内外面煤付着。
5	陶器小皿	口径 7.1 底径 3.8 器高 2.4	僅かな膨らみをもつ体部。底部は平底。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	白色粒 内外—灰色	1/2。内外面煤付着。

6	中世土器 かわらけ	口径 6.9 底径 4.4 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/5 欠損。煤付着。
7	中世土器 かわらけ	口径 7.1 底径 4.6 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/5 欠損。煤付着。
8	中世土器 かわらけ	口径 (7.8) 底径 4.4 器高 1.7	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい黄橙色	口縁部 1/2 欠損。煤付着。
No.	種類	器種	法 量 (cm・g)			備考
9	銅製品	鞆尻金具	長さ3.1 幅1.3 厚さ0.1 重さ2.5。			
10	銅製品	不明	直径6.8 高さ1.4 厚さ0.1 重さ12.6。椀状を呈す。			

SF-10

No.	種類	器種	法 量 (cm・g)			備考
1	石製品	砥石	長さ11.7 幅(2.2) 厚さ1.5			凝灰岩。

SF-11

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	青磁碗	口径 — 底径 — 器高 —	蓮弁文。		夾雑物なし 灰オリーブ色	体部破片。

SF-12

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 7.0 底径 4.4 器高 1.1	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。煤付着。

SF-14

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	青磁碗	口径 (15.0) 底径 — 器高 —	蓮弁文。	体部ロクロ整形。	夾雑物なし 灰オリーブ色	体部破片。
2	青磁鉢	口径 (26.0) 底径 — 器高 —	浅い体部から、口縁部は直立気味。	体部ロクロ整形。	夾雑物なし 内外—オリーブ灰色	口縁部破片。

SF-15

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 7.0 底径 4.9 器高 1.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部一部欠損。煤付着。
2	中世土器 かわらけ	口径 (7.2) 底径 4.2 器高 1.9	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/4 欠損。底部中央に穿孔。
3	中世土器 かわらけ	口径 11.4 底径 6.4 器高 2.5	口縁部は外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい黄橙色	口縁部 1/6 欠損。
No.	種類	器種	法 量 (cm・g)			備考
4	石製品	温石	長さ(9.5) 幅(7.0) 厚さ1.6			絹雲母片岩。

SF-16

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 手焙	口径 16.6 底径 13.3 器高 9.5	彎曲する体部。三足。	外面一口縁部ヨコナデ、体部横位ヘラケンマ、底部左回転糸切り。内面一口縁部ヨコナデ、体部ヘラナデ。	黒色粒・石英 内外一鈍い橙～ 灰褐色	口縁部、脚部一部欠損。

SF-17

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	白磁 小皿	口径 — 底径 3.5 器高 —	高台挟り。	体部ロクロ整形。	内外一灰白色	底部～高台部1/2。見込目跡。全面施釉。

SF-18

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 7.3 底径 3.9 器高 2.1	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	にぶい橙色	ほぼ完形。
2	中世土器 かわらけ	口径 16.0 底径 8.0 器高 4.3	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい黄橙色	口縁部2/5欠損。煤付着。

SF-19

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 (11.0) 底径 5.9 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、上位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部2/3欠損。
2	中世土器 かわらけ	口径 (11.4) 底径 5.7 器高 2.9	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい黄橙色	口縁部3/4欠損。
3	中世土器 かわらけ	口径 (12.6) 底径 7.0 器高 2.3	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部2/3欠損。

SF-23

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 (6.3) 底径 3.8 器高 1.3	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部4/5欠損。
2	中世土器 かわらけ	口径 (7.0) 底径 4.2 器高 1.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部3/5欠損。
3	中世土器 かわらけ	口径 (7.4) 底径 4.0 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部1/2欠損。

SF-24

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 7.5 底径 5.1 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部1/2欠損。
2	中世土器 かわらけ	口径 (7.6) 底径 5.0 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい褐色	口縁部3/5欠損。
3	中世土器 かわらけ	口径 8.1 底径 5.0 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	黄橙色	完形。煤付着。

4	中世土器 かわらけ	口径 (8.3) 底径 4.9 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で肥厚する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 2/3 欠 損。
5	中世土器 かわらけ	口径 8.4 底径 4.4 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がり、 下位で肥厚する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/5 欠 損。
6	中世土器 かわらけ	口径 (10.6) 底径 5.5 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 2/3 欠 損。
7	中世土器 かわらけ	口径 11.2 底径 7.2 器高 2.1	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。底部内面一部横ナデ。	橙色	口縁部 1/3 欠 損。
8	中世土器 かわらけ	口径 (11.4) 底径 6.8 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。底部内面一部横ナデ。	にぶい橙色	2/5。
9	中世土器 かわらけ	口径 (12.6) 底径 6.9 器高 2.3	口縁部はゆるやかに内彎しつ つ立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 3/4 欠 損。

SF-25

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 6.6 底径 3.6 器高 1.5	口縁部はゆるやかに内彎しつ つ立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠 損。煤付着。
2	中世土器 かわらけ	口径 7.4 底径 4.2 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/2 欠 損。煤付着。
3	中世土器 かわらけ	口径 (10.6) 底径 6.3 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 3/4 欠 損。
4	中世土器 かわらけ	口径 (11.2) 底径 5.8 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 2/3 欠 損。
5	中世土器 かわらけ	口径 12.6 底径 7.3 器高 2.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口唇部 1/2 欠 損。
6	中世土器 かわらけ	口径 12.8 底径 6.4 器高 3.1	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。底部内面横ナデ。	橙色	口縁部 3/4 欠 損。
7	中世土器 かわらけ	口径 (13.6) 底径 7.3 器高 3.3	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 9/10欠 損。
No.	種類	器種	法 量 (cm・g)		備考	
8	石製品	不明	長さ(18.3) 幅6.2 厚さ2.0		凝灰岩。	

SF-27

No.	種類	器種	法 量 (cm・g)		備考
1	石製品	砥石	長さ(6.7) 幅3.0 厚さ2.0		凝灰岩。
2	石製品	砥石	長さ(3.3) 幅2.1 厚さ1.5		凝灰岩。

SF-28

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 10.7 底径 6.8 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	完形。

2	中世土器 かわらけ	口径 11.1 底径 6.5 器高 2.5	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。底部外面木目圧痕。
3	中世土器 かわらけ	口径 11.5 底径 6.4 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で外反する。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。底部内面横ナデ。	橙色	口縁部 1/2 欠損。底部外面木目圧痕。

SF-32

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 (7.9) 底径 4.2 器高 1.7	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい黄橙色	口縁部 3/5 欠損。

SF-33

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 (6.4) 底径 4.1 器高 2.0	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
2	中世土器 かわらけ	口径 7.7 底径 4.8 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。

SF-34

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 (7.2) 底径 4.0 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。

SF-35

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 (7.6) 底径 4.7 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。底部内面一部横ナデ。	橙色	口縁部 3/4 欠損。煤付着。
No.	種類	器種	法 量 (cm・g)			備考
2	金銅製品	飾り金具	残存長4.1 幅1.8 厚さ0.1 重さ4.9。			

SF-37

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	白磁 小皿	口径 — 底径 (3.0) 器高 —		体部ロクロ整形。	夾雑物なし 内外一灰白色	底部～高台部 1/2。
No.	種類	器種	法 量 (cm・g)			備考
2	石製品	板 碑	長さ(44.5) 幅15.5 厚さ2.2			緑泥片岩。

SF-40

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	羽口	直径8.0	孔径2.5			上端部欠損。
No.	種類	器種	法 量 (cm・g)			備考
2	石製品	石 鉢	口径31.4 底径16.5 高さ11.7			安山岩。

SF-46

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 10.8 底径 6.0 器高 2.8	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位で内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい黄橙色	完形。

2	中世土器 かわらけ	口径 11.2 底径 5.8 器高 2.5	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位で内彎する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい橙色	ほぼ完形。
3	中世土器 かわらけ	口径 11.4 底径 6.2 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	完形。
4	中世土器 かわらけ	口径 11.5 底径 6.5 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	橙色	完形。
5	中世土器 かわらけ	口径 11.6 底径 6.0 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい橙色	完形。

SF-53

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 7.5 底径 3.9 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形。底部右回転糸切り。	にぶい橙色	完形。
2	中世土器 かわらけ	口径 (13.0) 底径 6.4 器高 3.1	口縁部は内彎しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形。底部右回転糸切り。底部内面横ナデ。	橙色	口縁部 3/4 欠損。

SF-54

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	青磁碗	口径 (16.0) 底径 — 器高 —	蓮弁文。	体部ロクロ整形。	夾雑物なし オリーブ灰色	口縁部破片。
2	中世土器 かわらけ	口径 (3.8) 底径 2.7 器高 1.1	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 3/5 欠損。

方形竪穴状遺構一覧表

番号	所属グリッド	形態	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	出土遺物
1	F-3	長方形	2.40EW	1.78SN	0.50	
2	G-4	正方形	2.68EW	2.64SN	0.64	
3	G-6	不整形	3.56EW	2.80SN	0.59	
4	H-4	正方形	2.34EW	2.28SN	0.38	
5	J-3	長方形	0.96SN	0.82EW	0.41	青磁碗、白磁小皿、かわらけ、銅製品。
6	J-3	不整形	2.16SN	1.68EW	0.40	白磁小皿、かわらけ。
7	J-4、K-4	長方形	1.98EW	1.57SN	0.60	
8	K-3	隅丸長方形	1.62SN	1.30EW	0.51	
9	K-5	長方形	1.96SN	1.52EW	1.31	白磁小皿、白磁角杯、古瀬戸小皿、陶器小皿、かわらけ、靱尻金具、銅製品。
10	L-4、M-4	長方形	2.06EW	1.58SN	1.20	砥石。
11	K-2、L-2	長方形	2.02SN	1.55EW	0.63	青磁碗。
12	L-3	長方形	2.04EW	(1.6)SN	0.12	かわらけ。
13	L-4、L-5	不整形	2.40SN	2.30EW	0.32	
14	L-3	正方形	1.90EW	1.70SN	0.30	青磁碗、青磁鉢。
15	L-4、L-5、M-4、M-5	長方形	2.20SN	1.80EW	0.68	かわらけ、温石。
16	L-4、L-5、M-4、M-5	正方形	2.84EW	2.30SN	0.68	手焙。

番号	所属グリッド	形態	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	出土遺物
17	M-1、M-2	長方形	2.10EW	(1.92)SN	0.83	白磁小皿。
18	M-2、N-2	長方形	2.20EW	1.50SN	0.60	かわらけ。
19	M-3、N-3	長方形	2.64EW	1.88SN	0.60	かわらけ。
20	N-1、N-2	長方形	3.03SN	2.28EW	0.30	
21	N-3	長方形	(2.24)SN	1.92EW	0.41	
22	N-3	不整長方形	3.40SN	2.50EW	0.69	
23	N-2、O-2	長方形	(5.20)SN	3.32EW	0.53	かわらけ。
24	R-1	長方形	2.30EW	(0.50)SN	0.92	かわらけ。
25	R-3、R-4	長方形	3.52EW	2.86SN	1.60	かわらけ、石製品。
26	R-1、R-2、S-1、S-2	正方形	2.32EW	1.90SN	0.81	
27	R-2	不整長方形	1.90SN	1.65EW	1.00	砥石。
28	R-2	長方形	2.80SN	1.90EW	0.95	かわらけ。
29	S-0、S-1	不明	(1.40)EW	(0.90)SN	0.47	
30	S-1	長方形	1.78SN	1.36EW	0.44	
31	S-1	不整長方形	(1.94)SN	1.05EW	0.09	
32	F-11	長方形	2.20EW	1.55SN	0.97	かわらけ。
33	F-12、G-12	隅丸長方形	2.10SN	1.32EW	0.54	かわらけ。
34	G-12、G-13	長方形	1.90SN	1.40EW	0.66	かわらけ。
35	G-10	長方形	2.15SN	1.70EW	0.60	かわらけ。飾り金具。
36	G-10	長方形	2.10SN	1.65EW	0.56	
37	I-15	長方形	2.90SN	1.78EW	0.36	白磁小皿、板碑。
38	I-14	正方形	1.48EW	1.47SN	0.21	
39	I-10、I-11	長方形	2.80SN	2.40EW	0.49	
40	J-9	不整方形	1.72EW	1.66SN	0.53	羽口、石鉢。
41	K-9	不整方形	1.55SN	1.45EW	0.45	
42	L-10	正方形	2.04SN	1.98EW	0.68	
43	L-14	正方形	1.60EW	1.45SN	0.12	
44	L-14、M-14	長方形	2.90EW	2.42SN	0.23	
45	M-14、M-15	不整方形	3.60EW	3.10SN	0.23	
46	M-14	正方形	2.95SN	(2.70)EW	0.14	かわらけ。
47	M-14、M-15	不整長方形	3.57SN	3.20EW	0.27	
48	M-15、N-15	長方形	3.30EW	2.68SN	0.24	
49	M-15、N-15	不整方形	2.95EW	2.74SN	0.41	
50	M-14、N-14	正方形	2.90EW	(2.70)SN	0.20	
51	M-15、N-15	正方形	3.40EW	3.03SN	0.19	
52	N-15、O-15	長方形	2.53SN	1.60EW	0.17	
53	P-7	長方形	3.46SN	2.34EW	0.23	かわらけ。
54	P-7、Q-7	長方形	4.05SN	2.70EW	0.51	青磁碗、かわらけ。
55	G-12、G-13	正方形	2.30SN	2.30EW	0.29	

(4) 土壌

土壌は総計793基を確認した。調査区内の各所に分散し、特定の箇所に集中する傾向は認めない。調査区内には攪乱層が多数存在するが、覆土の色調、含有物、硬度の相違などから識別は比較的容易であった。

すべての土壌に遺物が伴うわけではなく、所属時期は不明なものが多い。溝、井戸、方形竪穴状遺構など中世の遺構を切るものがあり、検出した土壌のことがごとくが中世に属するものではない。しかし、土壌から検出した遺物は、完形品の多くが中世に属するもので、かつ16世紀以降の遺物もほとんど認めない。このことから、遺物を伴わない土壌も、中世の遺構と切り合い関係にないものは、かなりの割合で中世に所属すると考えられる。中世に属する土壌のうち、長径2m、短径1mを超えるような大形土壌には、完形品を含む遺物を検出する例が多い。とくに、SK-249やSD-25に一部が重複するSK-252～255・SK-340、SD-25の内側にあるSK-273・SK-600などにかわらけを中心とした遺物の出土が目立つ。SK-273では多数の内耳土器片と板碑片を検出した。SK-340とSK-600の2基の土壌からは、一括投棄と考えられるかわらけが多量に出土した。SK-600出土のかわらけは、口径15cm前後を測る大型品が主体を占める点で、溝、井戸を含め、他の遺構出土のかわらけと比較して特異である。さらに、SK-177ではるつぽに転用したかわらけが集中的に出土した。

中世 遺物観察表

SK-21

No	種類	器種	法 量 (cm・g)	備考
1	石製品	硯	長さ(4.7) 幅(2.9) 厚さ(1.2)。	粘板岩

SK-36

No	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 火鉢	口径 (43.2) 底径 (40.0) 器高 17.9		外面一体部ヘラケンマ、台部ヘラケズリ。内面一体部ヘラナデ、台部ヘラケズリ。	白色粒・黒色粒・褐色粒 内外一灰色	1/5。

SK-92

No	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 10.9 底径 6.6 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/5 欠損。底部外面木目圧痕。煤付着。
2	中世土器 かわらけ	口径 14.3 底径 8.8 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面一部横ナデ。	—	口縁部 1/2 欠損。

SK-132

No	種類	器種	法 量 (cm・g)	備考
1	石製品	五輪塔	空輪直径13.5 高さ(13.0)	角閃石安山岩

SK-135

No	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 6.0 底径 3.5 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	浅黄橙色	完形。底部外面木目圧痕。
2	中世土器 かわらけ	口径 6.5 底径 3.4 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	淡橙色	口縁部一部欠損。底部外面木目圧痕。
3	中世土器 かわらけ	口径 (15.1) 底径 8.2 器高 3.0	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で肥厚する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	橙色	口縁部 3/4 欠損。底部外面木目圧痕。煤付着。

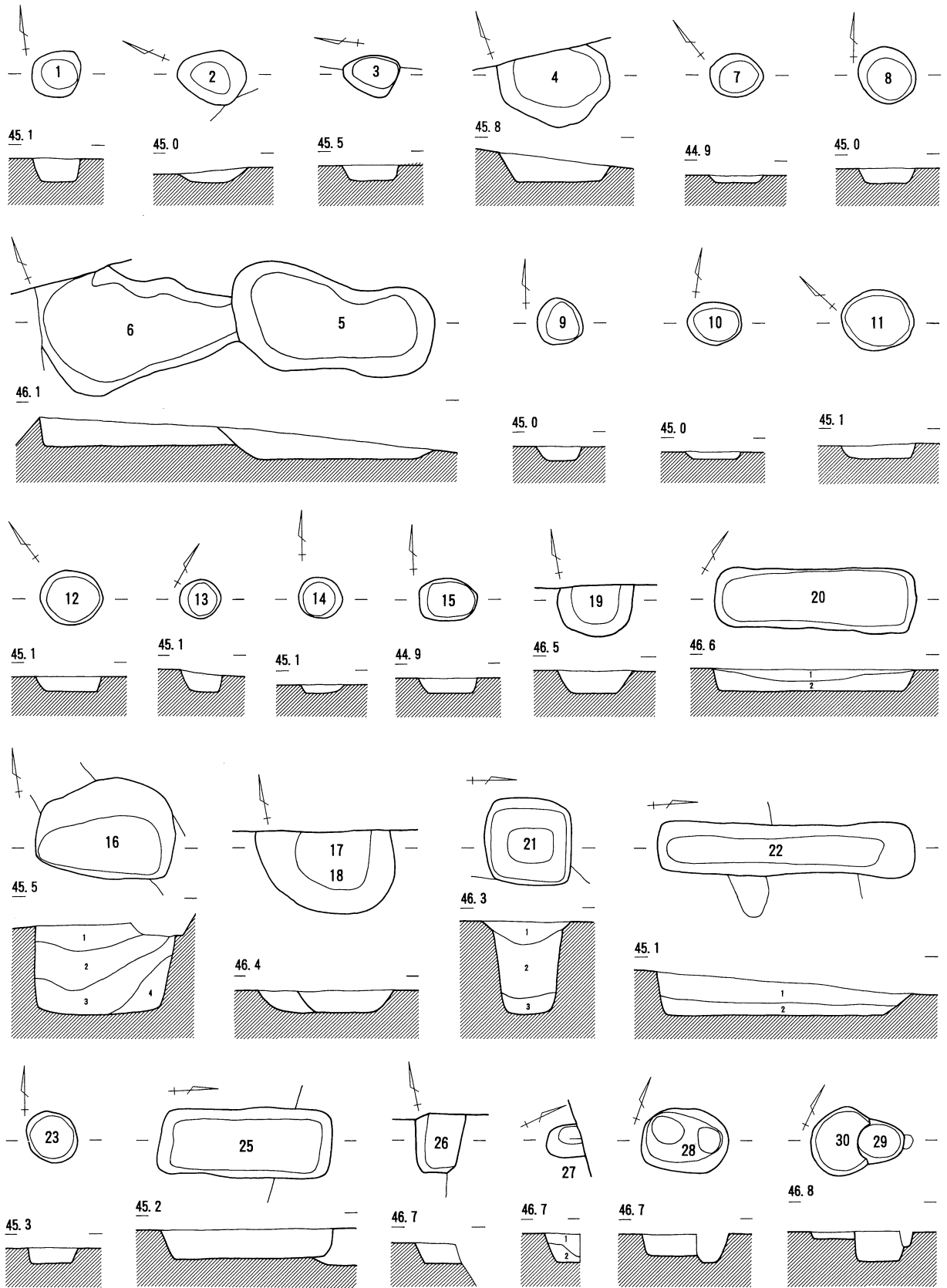


图76 SK (1)

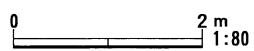
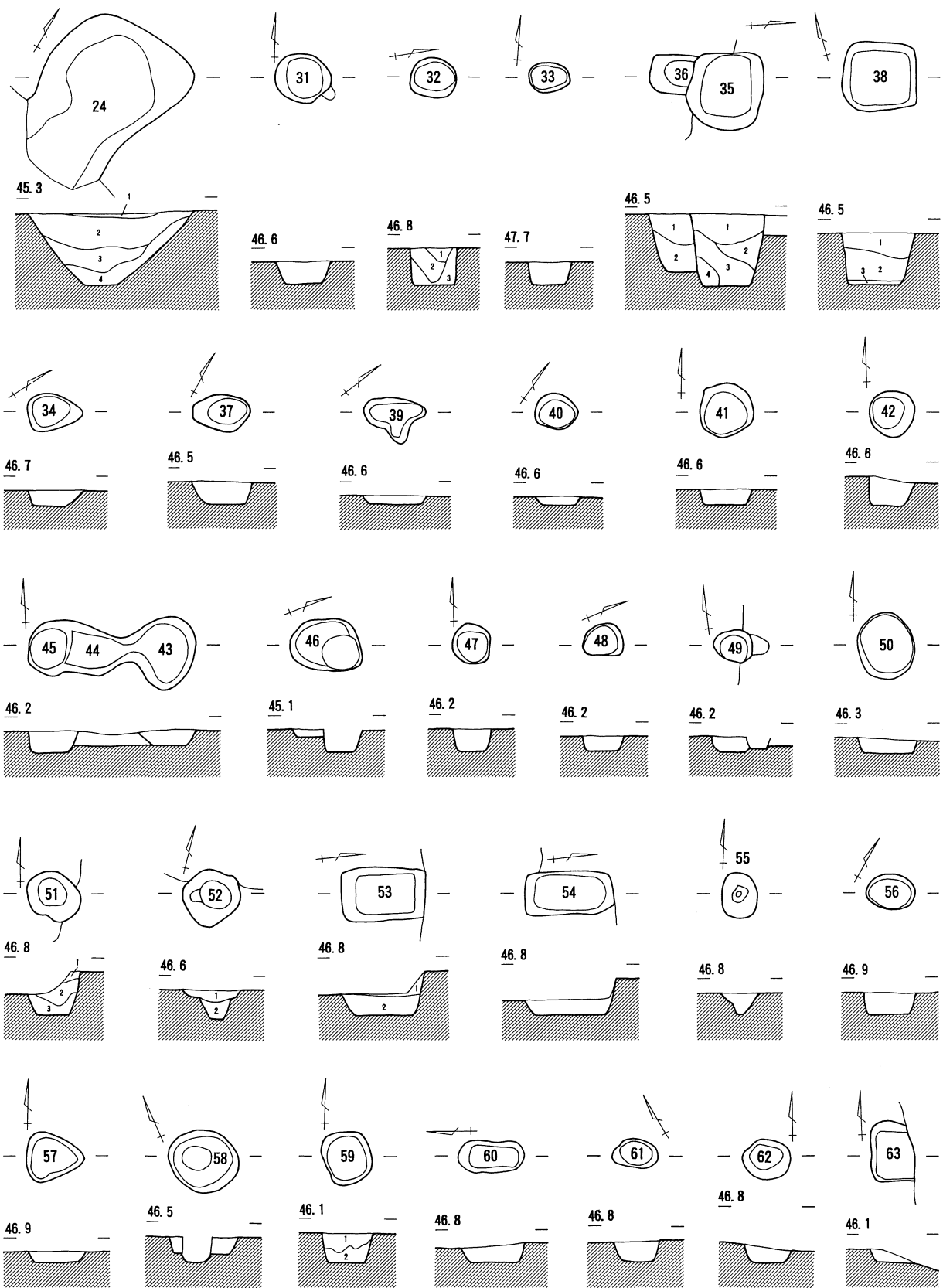


图77 SK (2)

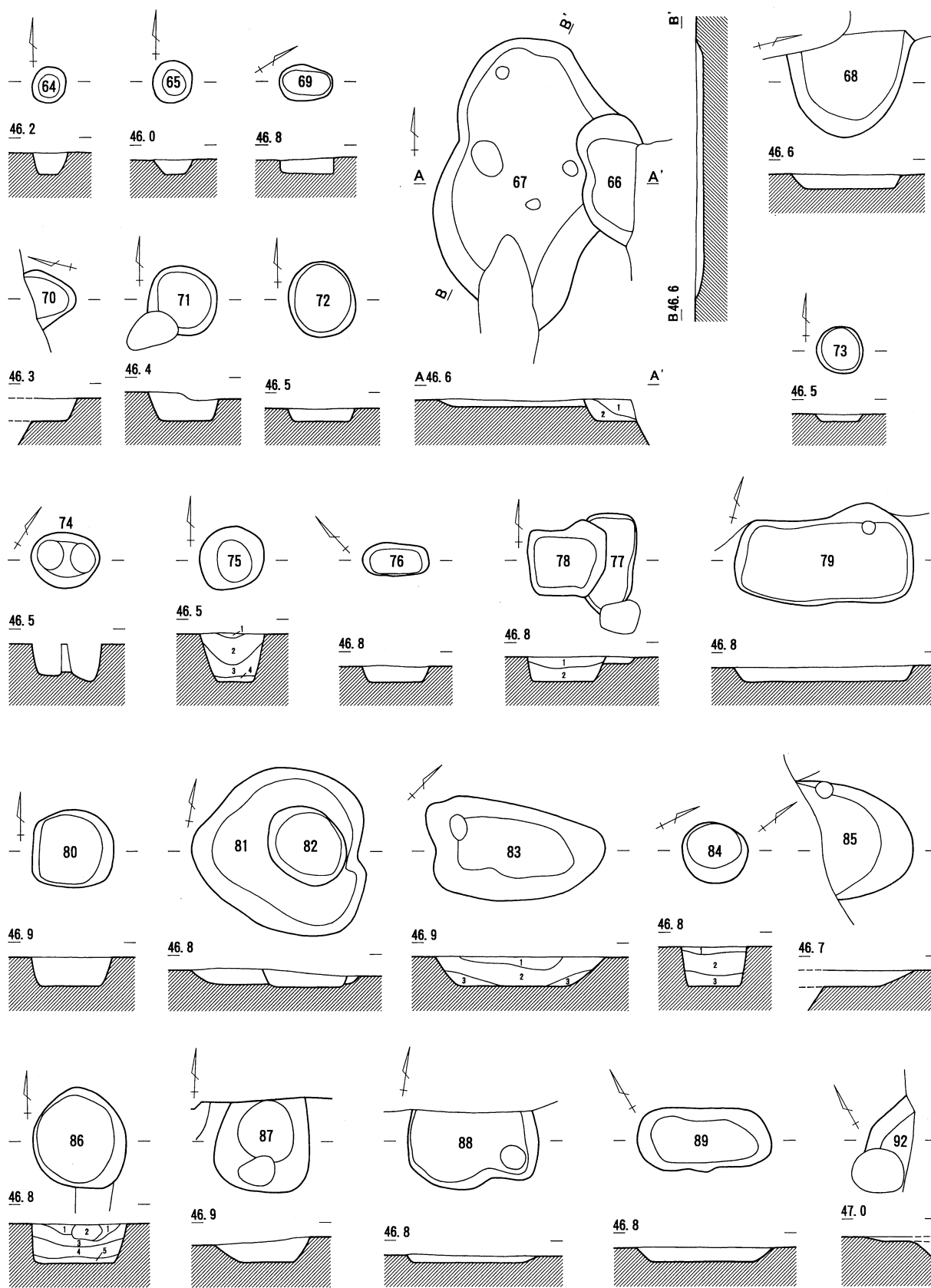


图78 SK (3)

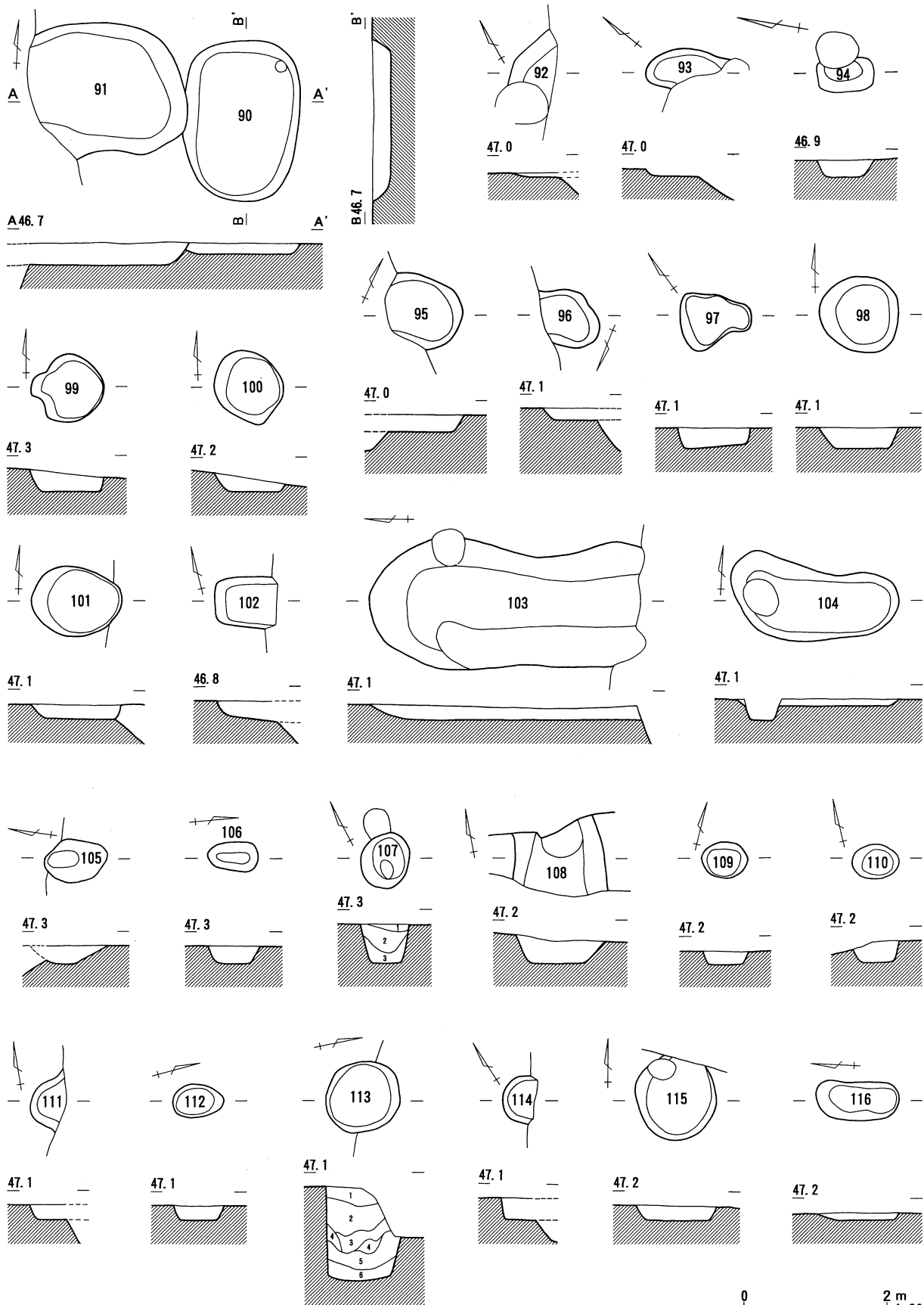


图79 SK (4)

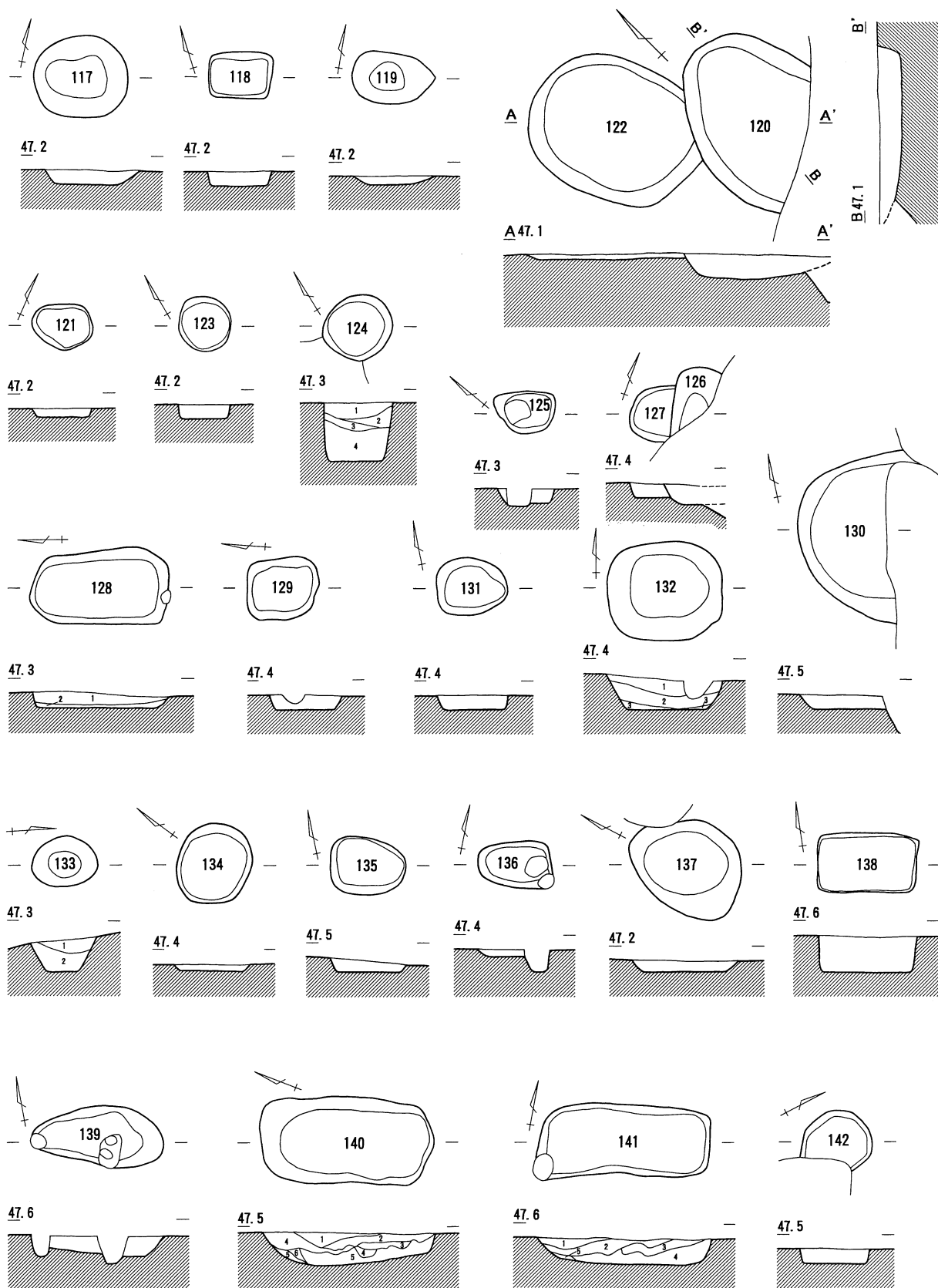


图80 SK (5)

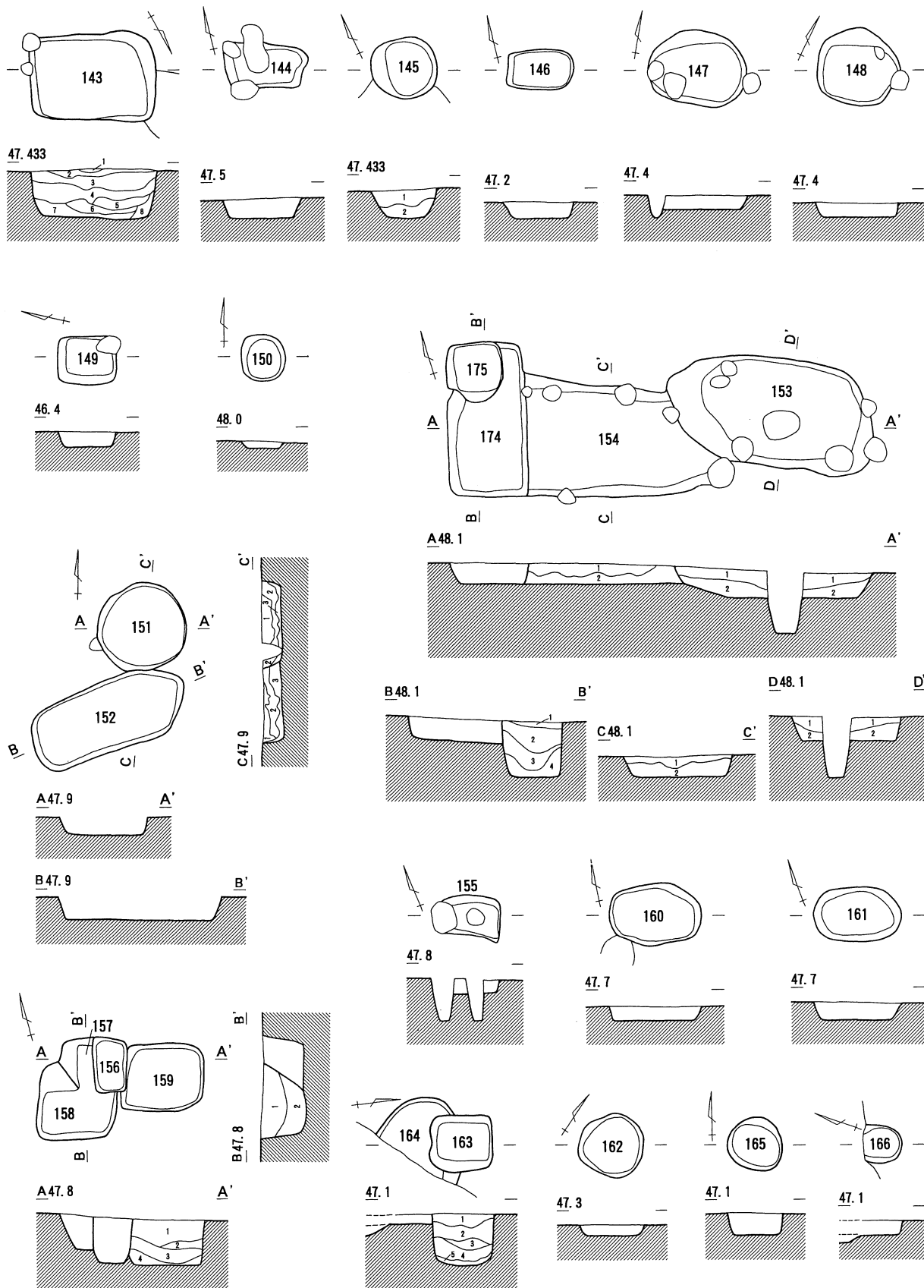


图81 SK (6)

SK-16 土層説明

- 1 黒色土 白色パミス(径1mm±)を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック(径1~30mm)を多量に含む。
- 4 暗黄灰色土

SK-20 土層説明

- 1 黒色土
- 2 黒色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。

SK-21 土層説明

- 1 黒色土
- 2 黒色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 3 暗褐色土 ロームブロック(径1~30mm)を多量に含む。

SK-22 土層説明

- 1 黒色土
- 2 黒色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。

SK-24 土層説明

- 1 黒色土 白色パミス(径1mm±)を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック(径1~30mm)を多量に含む。
- 4 暗褐色土 ロームブロック(径1~30mm)を多量に含む。

SK-27 土層説明

- 1 黒色土 白色パミス(径1mm±)を少量含む。
- 2 黒色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。

SK-32 土層説明

- 1 黒色土 白色パミス(径1mm±)を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~30mm)を少量含む。
- 3 暗褐色土 黒色土ブロック(径5~10mm)を少量含む。

SK-35 土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 2 暗褐色土 礫(径1~25mm)を多量に含む。
- 3 暗褐色土 ロームブロック(径1~30mm)を多量に含む。
- 4 黄灰色土

SK-36 土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。
- 2 黒褐色土 礫(径1~25mm)を多量に含む。

SK-38 土層説明

- 1 黒色土 白色パミス(径1mm±)を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~30mm)を少量含む。
- 3 暗褐色土

SK-51 土層説明

- 1 黒色土 白色パミス(径1mm±)を少量含む。
- 2 黒褐色土 黒色土ブロック(径1~40mm)を多量に含む。
- 3 暗褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。

SK-52 土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 2 褐灰色土 灰を多量に含む。

SK-53 土層説明

- 1 黒色土 白色パミス(径1mm±)を少量含む。
- 2 暗褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。

SK-59 土層説明

- 1 黒色土
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。

SK-66 土層説明

- 1 黒褐色

- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。

SK-75 土層説明

- 1 黒色土
- 2 黒褐色土
- 3 暗褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を少量含む。
- 4 暗褐色土

SK-78 土層説明

- 1 黒色土
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。

SK-83 土層説明

- 1 黒色土
- 2 黒褐色土
- 3 暗褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を少量含む。

SK-84 土層説明

- 1 黒色土
- 2 黒褐色土
- 3 暗褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。

SK-86 土層説明

- 1 黒色土
- 2 黒褐色土
- 3 暗褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 4 暗褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。
- 5 暗褐色土

SK-92 土層説明(単層)

- 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。

SK-107土層説明

- 1 黒色土 白色パミス(径1mm±)を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 3 暗褐色土 ロームブロック(径1~20mm)を少量含む。

SK-113土層説明

- 1 黒褐色土 黒色土ブロック(径10~40mm)を多量に含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 3 黒褐色土 黒色土ブロック(径10~40mm)を少量含む。
- 4 褐灰色土 灰を多量に含む。
- 5 暗褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 6 暗褐色土 ロームブロック(径1~20mm)を少量含む。

SK-132土層説明

- 1 黒褐色土
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 3 暗褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。

SK-135土層説明(単層)

- 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。

SK-141土層説明

- 1 暗褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。
- 2 黒褐色土 黒色土ブロック(径1~40mm)を多量に含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 4 褐灰色土 灰を多量に含む。
- 5 黒褐色土 黒色土ブロック(径10~40mm)を少量含む。

SK-145土層説明

- 1 黒褐色土
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。

SK-148土層説明(単層)

- 黒褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を少量含む。

SK-151土層説明

- 1 黒色土 白色パミス(径1mm±)を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~30mm)を多量に含む。
- 3 褐色土 黒色土ブロック(径1~5mm)を少量含む。

SK-152土層説明

- 1 黒色土 白色パミス(径1mm±)、ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を含む。
- 3 暗褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。

SK-153土層説明

- 1 黒色土 白色パミス(径1mm±)を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を含む。

SK-154土層説明

- 1 黒褐色土 白色パミス(径1mm±)を少量含む。
- 2 暗褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。

SK-158土層説明

- 1 黒灰褐色土
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。

SK-159土層説明

- 1 黒灰褐色土
- 2 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック(径1~30mm)を多量に含む。
- 4 黒褐色土

SK-161土層説明 (単層)

- 黒色土 白色パミス(径1mm±)、炭化物ブロック(径1~5mm)を少量含む。

SK-163土層説明

- 1 黒色土 白色パミス(径1mm±)、炭化物ブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック(径1~30mm)を多量に含む。
- 4 暗褐色土
- 5 褐色土 黒色土ブロック(径1~5mm)を少量含む。

SK-164土層説明 (単層)

- 黒灰褐色土 炭化物ブロック(径1~5mm)を少量含む。

SK-167土層説明 (単層)

- 黒灰褐色土 炭化物ブロック(径1~5mm)を少量含む。

SK-169土層説明

- 1 暗褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。
- 2 黒褐色土 黒色土ブロック(径1~40mm)を多量に含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 4 褐灰色土 灰を多量に含む。
- 5 褐色土 黒色土ブロック(径10~40mm)を少量含む。
- 6 褐色土

SK-174土層説明 (単層)

- 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。

SK-175土層説明

- 1 黒色土 ロームブロック(径1~50mm)を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~30mm)を少量含む。
- 3 暗褐色土 黒色土ブロック(径5~10mm)を少量含む。
- 4 褐色土

SK-176土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。

2 暗褐色土

- 3 暗褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に含む。

SK-177土層説明

- 1 黒灰色土 木灰を少量含む。
- 2 黒灰褐色土 炭化物ブロック(径1~5mm)、木灰を多量に含む。
- 3 黒灰褐色土 焼土ブロック(径1~5mm)、炭化物ブロック(径1~5mm)を多量に含む。

SK-182土層説明 (単層)

- 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。

SK-185土層説明

- 1 黒色土
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~20mm)を少量含む。
- 3 暗褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。

SK-191土層説明 (単層)

- 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。

SK-193土層説明

- 1 黒色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 2 黒色土 ロームブロック(径1~5mm)を含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック(径1~30mm)を多量に含む。
- 4 暗褐色土 ロームブロック(径1~30mm)を多量に含む。
- 5 暗褐色土 灰白色粘質土ブロック(径1~20mm)を多量に含む。

SK-195土層説明 (単層)

- 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~25mm)を多量に含む。

SK-202土層説明 (単層)

- 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。

SK-203土層説明 (単層)

- 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。

SK-204土層説明 (単層)

- 黒褐色土 ロームブロック(径1~30mm)を多量に含む。

SK-206土層説明

- 1 黒色土 白色パミス(径1mm±)、ロームブロック(径1~50mm)を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~30mm)を少量含む。
- 3 暗褐色土 黒色土ブロック(径5~10mm)、黄灰白色土(径10~40mm)を含む。

SK-212土層説明 (単層)

- 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。

SK-213土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)、灰褐色土ブロック(径1~15mm)、焼土ブロックを多量に含む。
- 2 暗褐色土 ロームブロック(径1~2mm)、炭化物ブロック(径1~2mm)を少量含む。
- 3 黄褐色土

SK-216土層説明

- 1 黒色土 ロームブロック(径1~30mm)を少量含む。
- 2 黒色土 ロームブロック(径1~5mm)、炭化物ブロック(径1~5mm)を少量含む。

SK-228土層説明 (単層)

- 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。

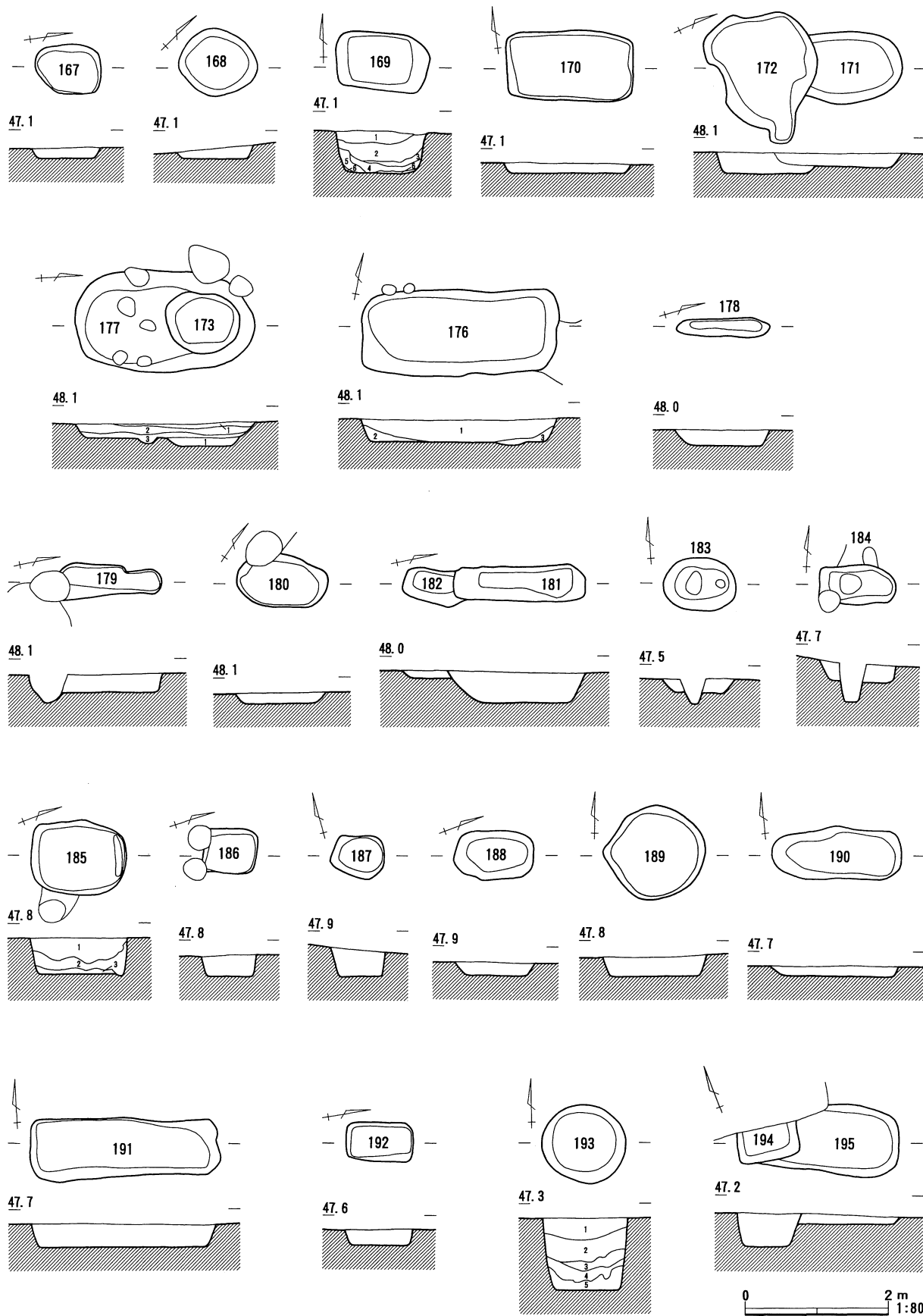
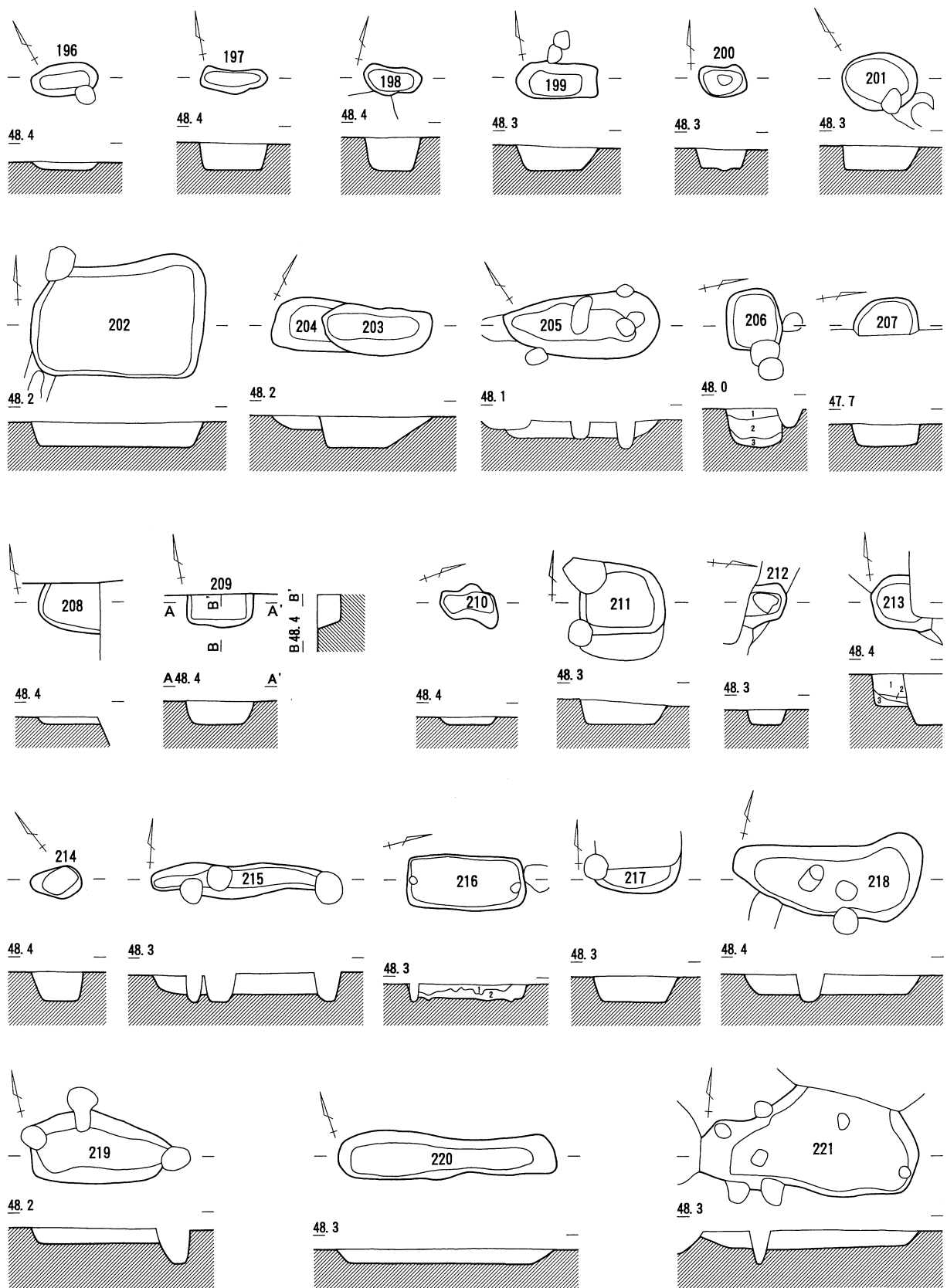


图82 SK (7)



0 2 m 1:80

图83 SK (8)

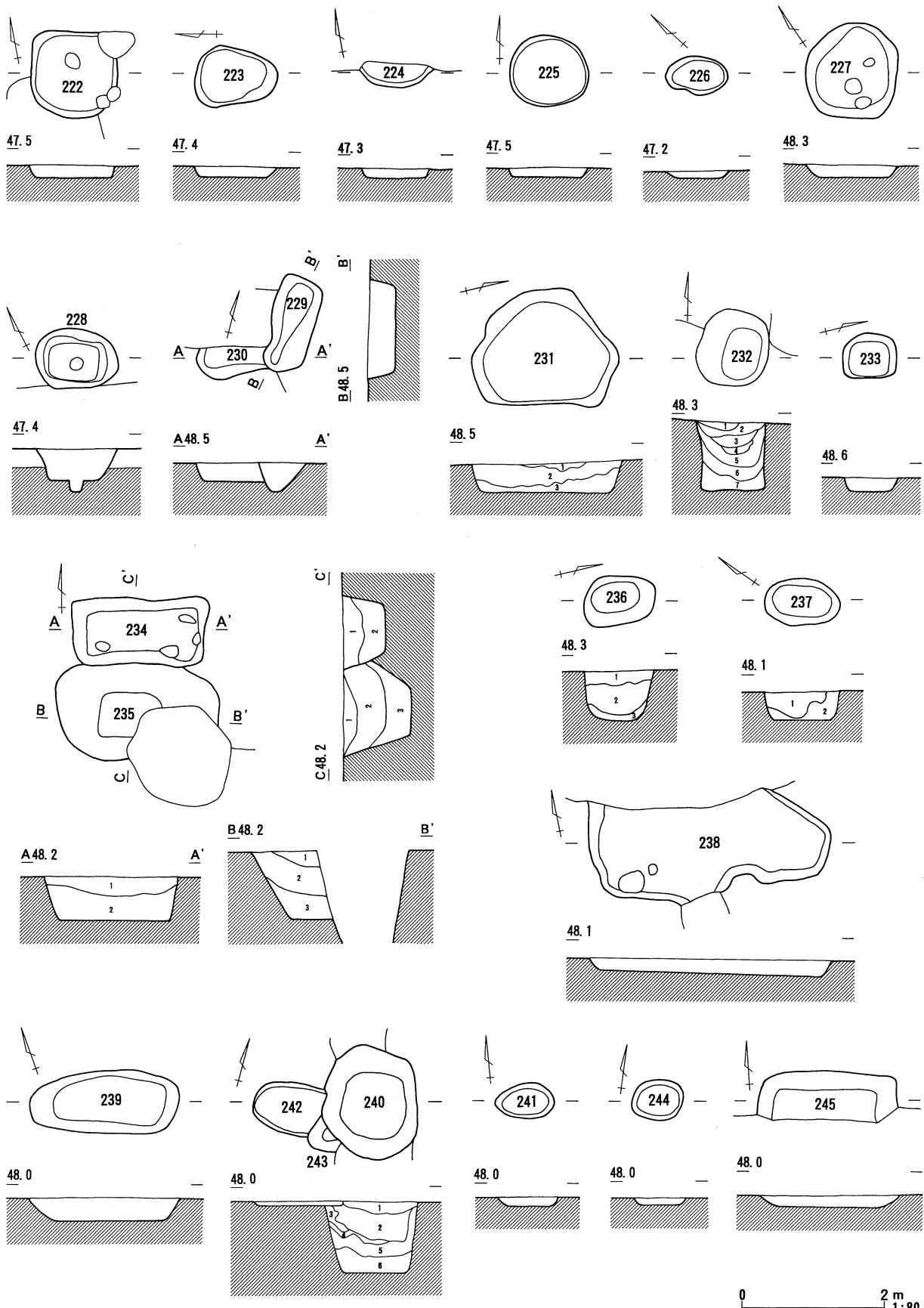


图84 SK (9)

SK-229土層説明 (単層)

黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。

SK-230土層説明 (単層)

黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に含む。

SK-231土層説明

- 1 黒褐色土
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に含む。
- 3 暗褐色土 ロームブロック(径1~20mm)を多量に含む。

SK-232土層説明

- 1 黒色土
- 2 黒色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 4 黒褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。
- 5 暗褐色土 ロームブロック(径1~50mm)を多量に含む。
- 6 暗褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 7 暗灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。

SK-234土層説明

- 1 黒色土
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に含む。

SK-235土層説明

- 1 黒灰褐色土
- 2 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)、焼土ブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 3 暗褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。

SK-236土層説明

- 1 黒色土 白色パミス(径1mm±)を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック(径1~30mm)を多量に含む。

SK-237土層説明

- 1 黒褐色土 白色パミス(径1mm±)を少量含む。
- 2 暗褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を含む。

SK-238土層説明 (単層)

黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に含む。

SK-240土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)、黒色土ブロック(径5~10mm)を多量に含む。
- 3 暗褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に、焼土ブロック(径1~10mm)を少量含む。
- 4 暗褐色土 ロームブロック(径1~5mm)、炭化物ブロック(径10mm±)を多量に含む。
- 5 褐色土 灰白色粘質土ブロック(径1~10mm)を多量に含む。

6 暗褐色土

SK-242土層説明 (単層)

黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。

SK-250土層説明

- 1 黒灰褐色土
- 2 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~20mm)、赤褐色ブロック(径1~40mm)、炭化物ブロック(径1~10mm)を多量に含む。
- 3 暗褐色土 ロームブロック(径1~10mm)、礫(径10~35

mm)、炭化物ブロック(径1~15mm)を少量含む。

4 黄褐色ブロック(径1~10mm)と赤褐色ブロック(径5~10mm)の混合層。

5 暗褐色土 ロームブロック(径1~10mm)、礫(径10~20mm)を少量含む。

SK-252土層説明

- 1 黒灰褐色土 黒色土ブロック(径1~10mm)、礫(径10~15mm)を少量含む。
- 2 黒灰褐色土 礫(径10~15mm)を少量含む。
- 3 黒褐色土
- 4 黒色土
- 5 黒色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。

SK-253土層説明

- 1 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)、礫(径10~15mm)を少量含む。
- 2 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~25mm)、礫(径10~15mm)を少量含む。
- 3 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~35mm)、礫(径10~20mm)を少量含む。
- 4 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)、炭化物ブロック(径1~15mm)を少量含む。
- 5 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 6 黒褐色土 ロームブロック(径1~30mm)を多量に含む。
- 7 暗灰褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。
- 8 暗灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 9 暗灰褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。
- 10 褐色土 ロームブロック(径1~25mm)を多量に含む。
- 11 褐色土 黒色土ブロック(径1~5mm)を少量含む。

SK-254土層説明

- 1 黒灰色土 白色パミス(径1mm±)を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック(径1~30mm)を多量に含む。
- 4 褐色土 黒色土ブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 5 褐色土

SK-255土層説明

- 1 黒灰褐色土 白色パミス(径1mm±)を少量含む。
- 2 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。
- 4 暗褐色土 ロームブロック(径1~20mm)を多量に含む。

SK-256土層説明

- 1 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。

SK-257土層説明

- 1 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~25mm)を多量に含む。

SK-258土層説明 (単層)

黒灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。

SK-259土層説明

- 1 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 2 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック(径1~20mm)を多量に含む。

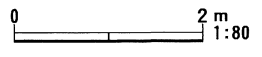
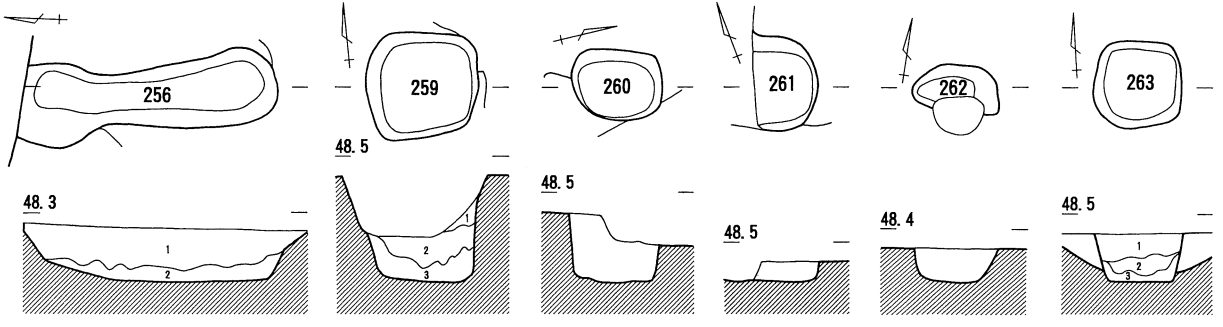
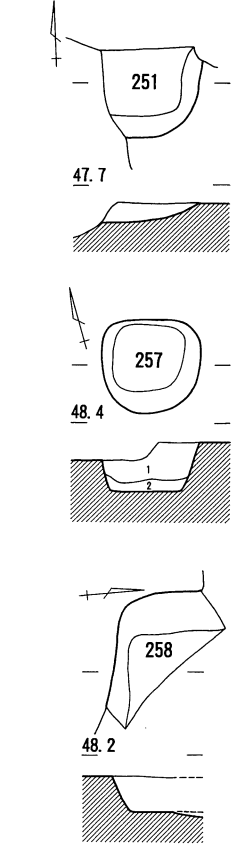
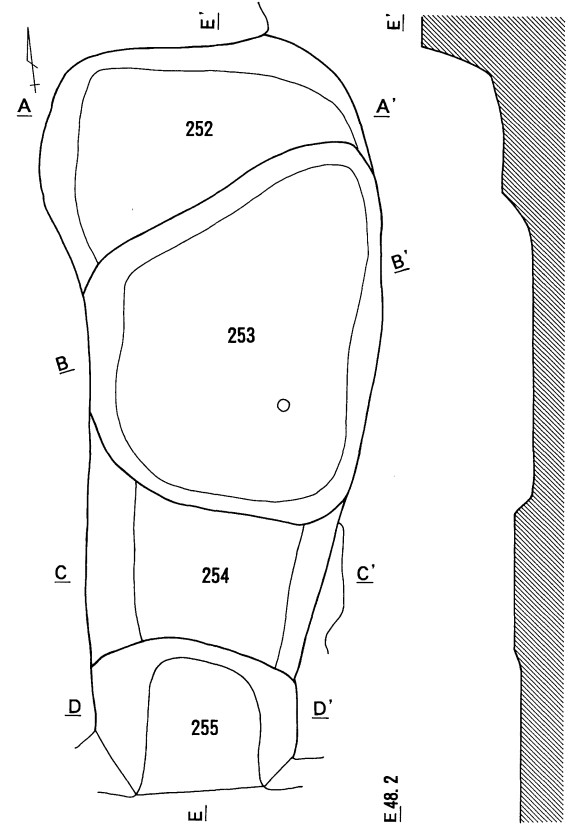
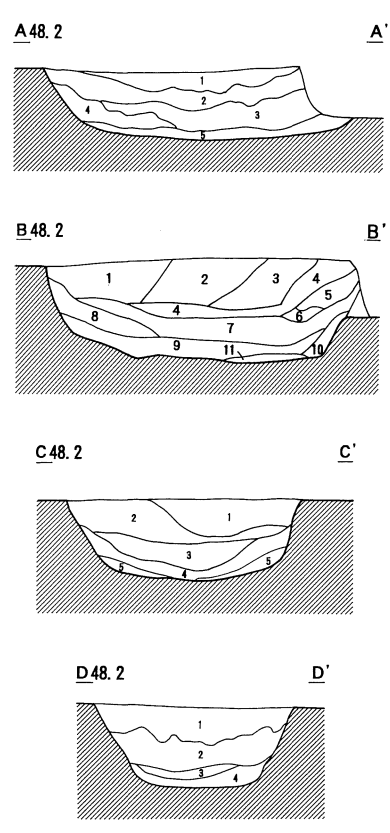
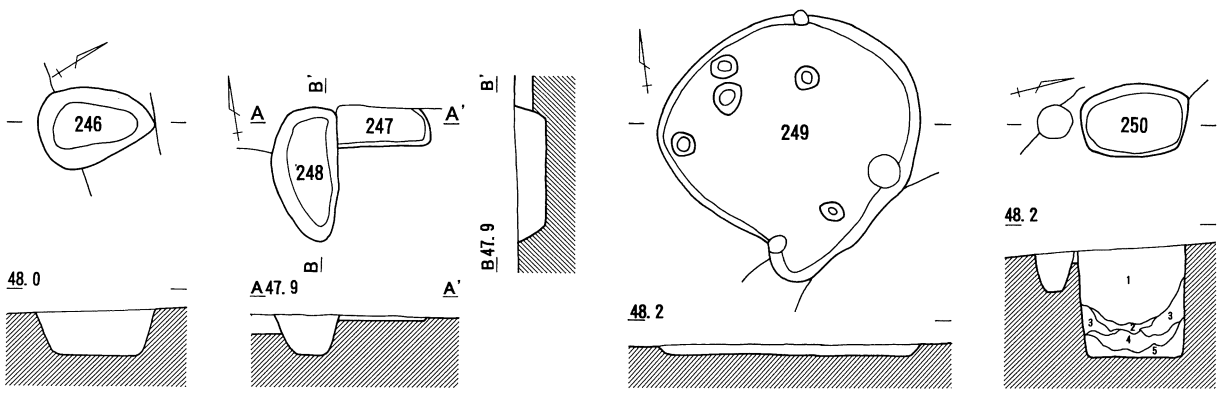


图85 SK (10)

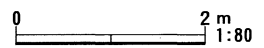
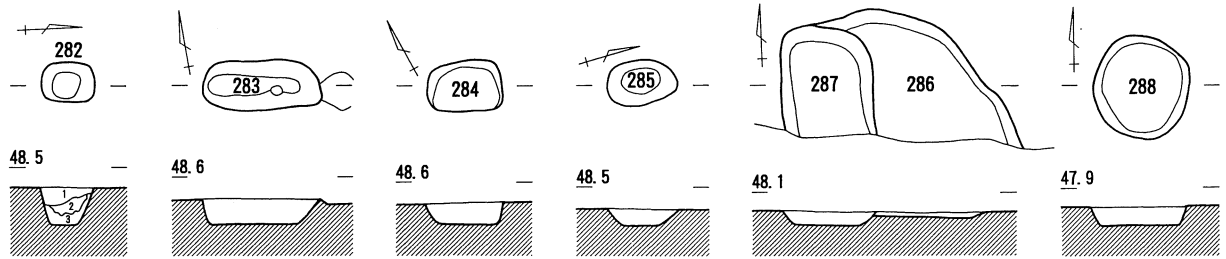
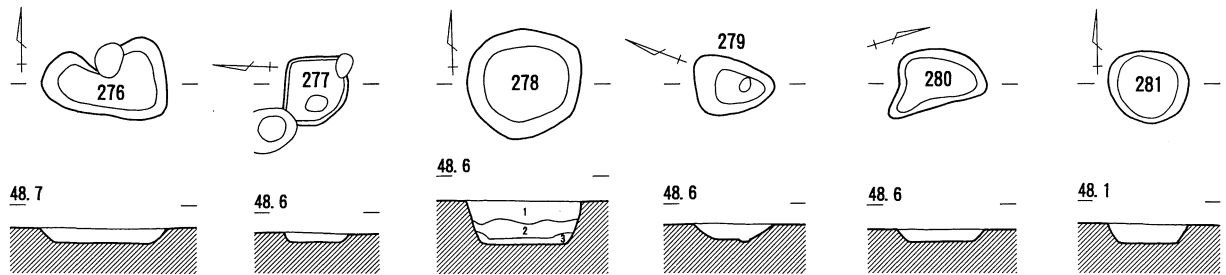
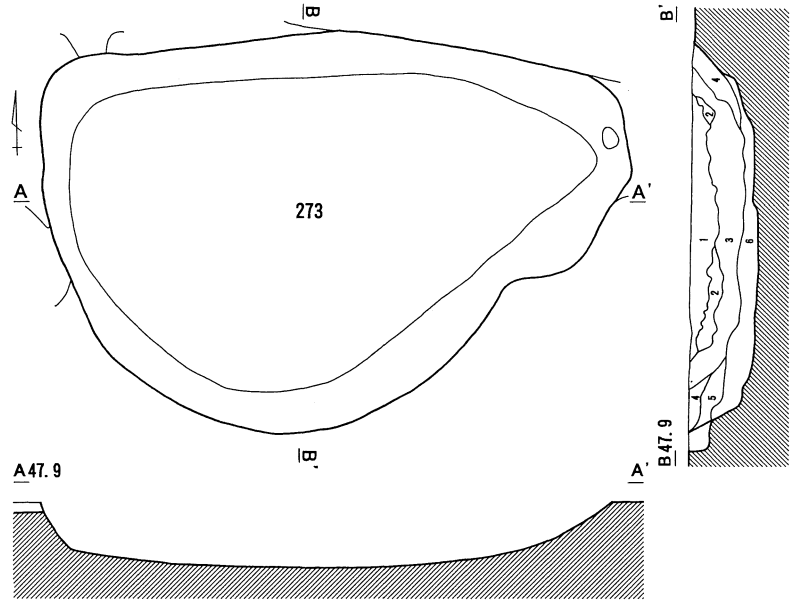
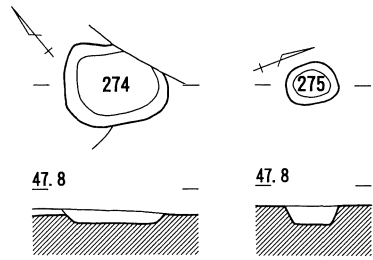
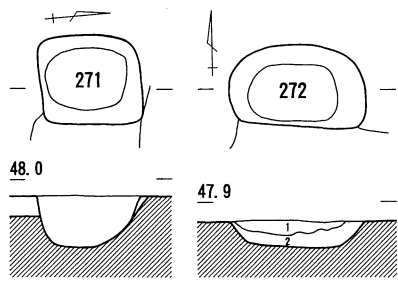
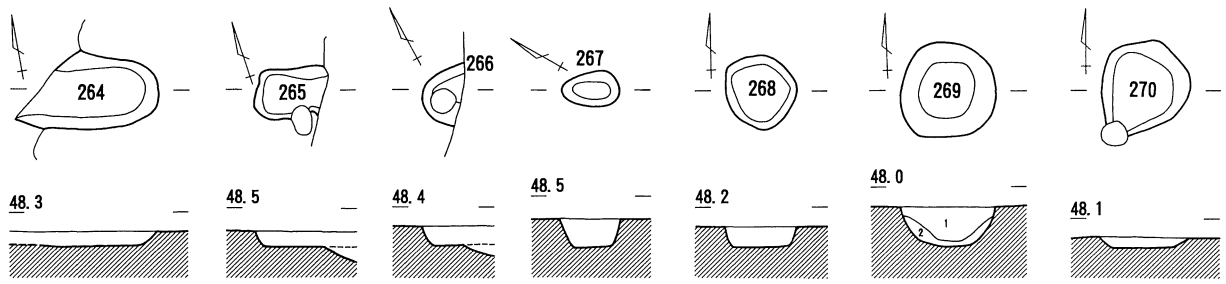


图86 SK (11)

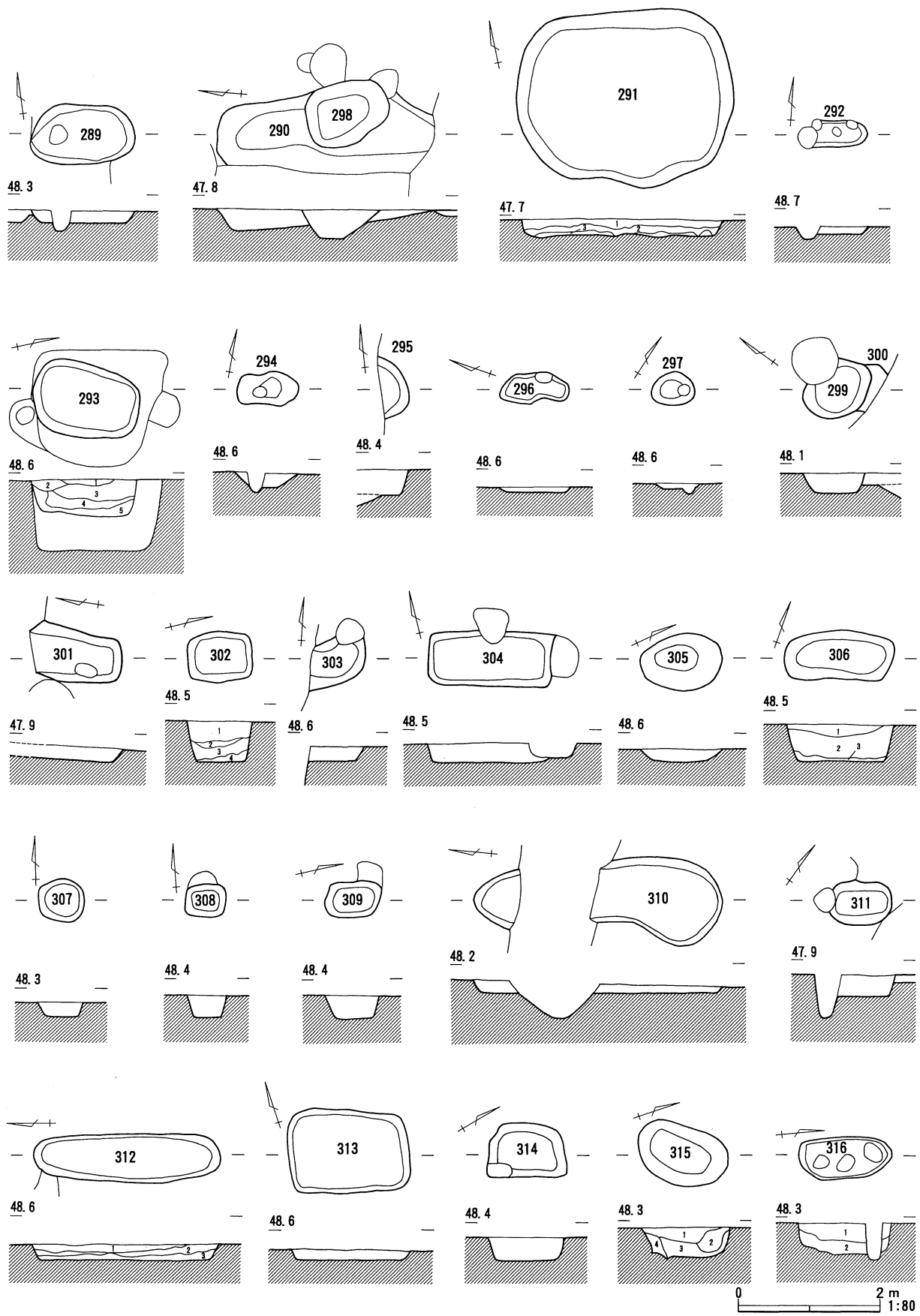


图87 SK (12)

SK-263土層説明

- 1 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を少量含む。
- 3 暗褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を含む。

SK-269土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)、黒色土ブロック(径5~15mm)を少量含む。

SK-272土層説明

- 1 暗褐色土 ロームブロック(径1~2mm)を多量に含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。

SK-273土層説明

- 1 暗褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。
- 2 黒褐色土 黒色土ブロック(径10~40mm)を多量に含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 4 褐灰色土 灰を多量に含む。
- 5 黒褐色土 黒色土ブロック(径10~40mm)を少量含む。
- 6 黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に含む。

SK-278土層説明

- 1 黒褐色土
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~20mm)を少量含む。
- 3 灰黄色土

SK-282土層説明

- 1 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 2 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック(径1~20mm)を多量に含む。

SK-286土層説明(単層)

- 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。

SK-287土層説明(単層)

- 黒褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。

SK-290土層説明(単層)

- 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。

SK-291土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。
- 2 暗褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。
- 3 黄褐色土 ロームブロック(径1mm±)を多量に含む。

SK-293土層説明

- 1 灰褐色土 ロームブロック(径1~30mm)を少量含む。
- 2 暗褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。
- 3 灰褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。
- 4 灰褐色土
- 5 暗灰褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。

SK-298土層説明(単層)

- 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。

SK-302土層説明

- 1 黒灰褐色土 白色パミス(径1mm±)、ロームブロック(径1~2mm)を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を含む。
- 4 暗褐色土

SK-306土層説明

- 1 黒灰褐色土

- 2 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 3 暗褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。

SK-312土層説明

- 1 黒灰褐色土
- 2 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。
- 3 暗褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。

SK-315土層説明

- 1 黒灰褐色土
- 2 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 3 暗褐色土
- 4 暗褐色土 黒色土ブロック(径1~5mm)を少量含む。

SK-316土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。
- 2 暗褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に含む。

SK-319土層説明

- 1 黒色土
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を少量含む。
- 4 褐色土 黒褐色土ブロック(径1~10mm)を少量含む。
- 5 灰褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を少量含む。

SK-321土層説明

- 1 黒色土
- 2 黒色土 灰色土ブロック(径1~20mm)を多量に含む。
- 3 黒色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。
- 4 暗褐色土

SK-323土層説明

- 1 黒灰褐色土 白色パミス(径1mm±)を少量含む。
- 2 黒灰褐色土 1に比べやや明るい。白色パミス(径1mm±)を少量含む。
- 3 黒褐色土 白色パミス(径1mm±)を少量含む。
- 4 暗灰褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む、焼土ブロック(径1~10mm)、礫(径10~80mm)を多量に含む。
- 5 暗灰褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を少量含む。
- 6 暗褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に含む。
- 7 暗褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。

SK-324土層説明

- 1 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~2mm)を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。
- 3 黒褐色土 焼土ブロック(径1~10mm)を少量含む。
- 4 暗褐色土
- 5 暗褐色土 焼土ブロック(径1~10mm)を少量含む。

SK-328土層説明(単層)

- 黒灰褐色土 白色パミス(径1mm±)を少量含む。

SK-329土層説明(単層)

- 黒灰褐色土 白色パミス(径1mm±)、ロームブロック(径1~2mm)を少量含む。

SK-330土層説明

- 1 黒色土
- 2 黒色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を少量含む。
- 4 暗灰褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に含む。

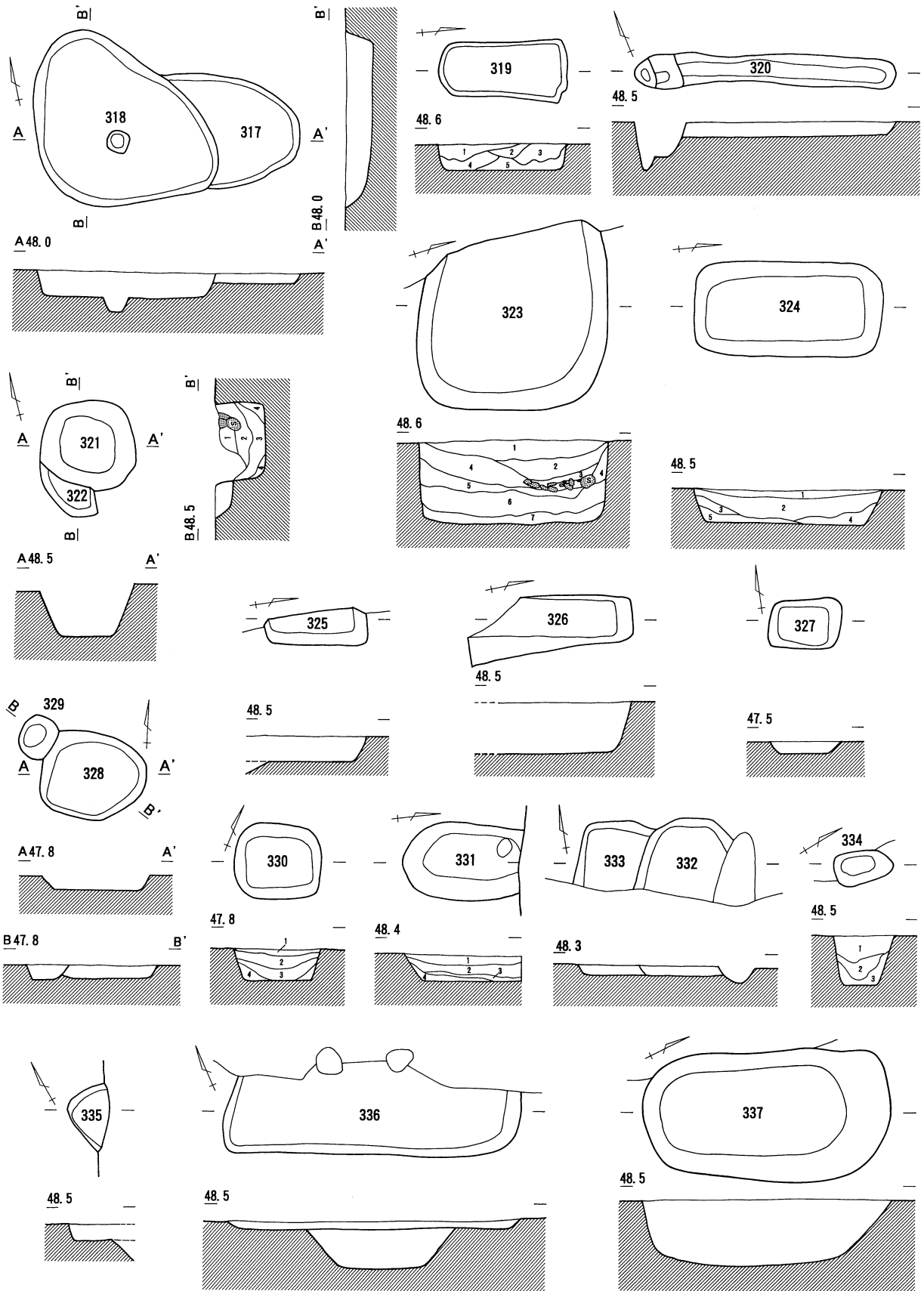


图88 SK (13)

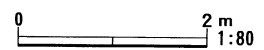
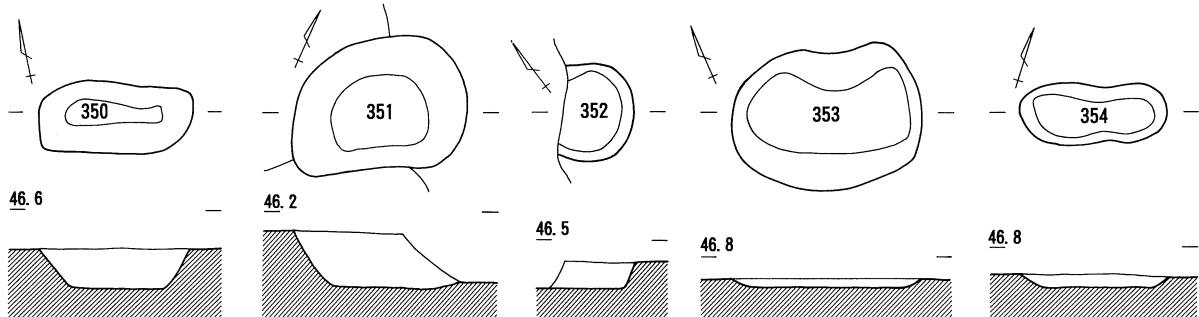
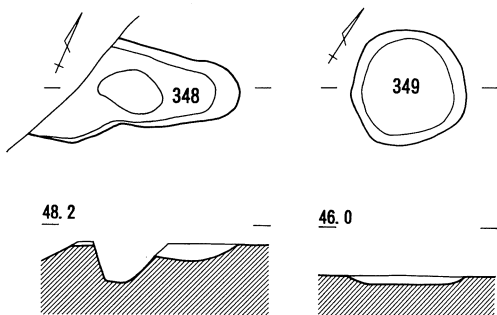
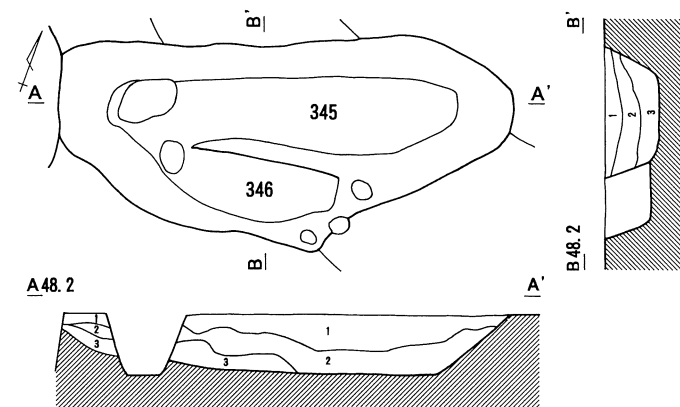
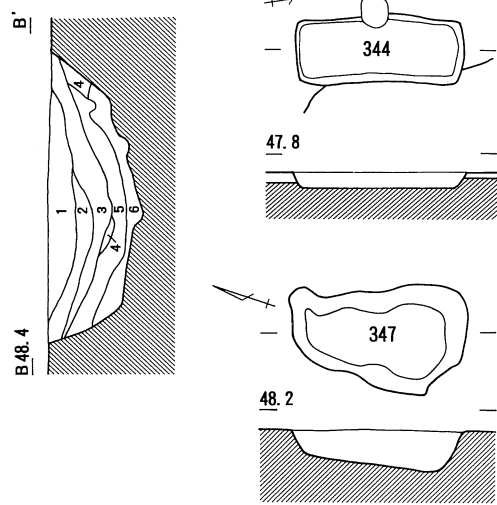
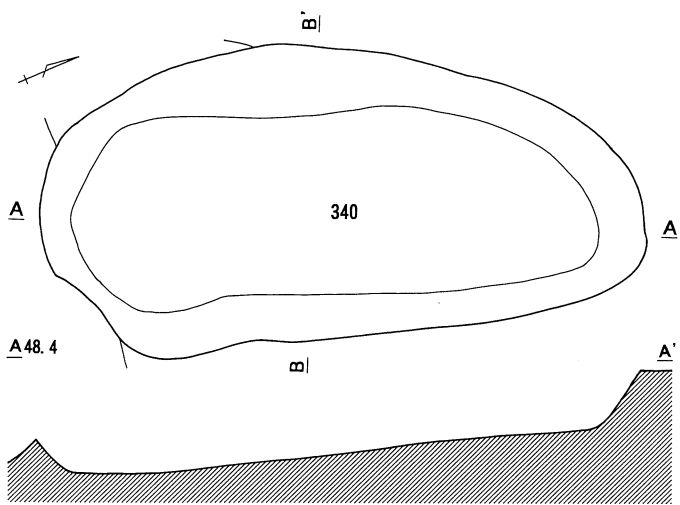
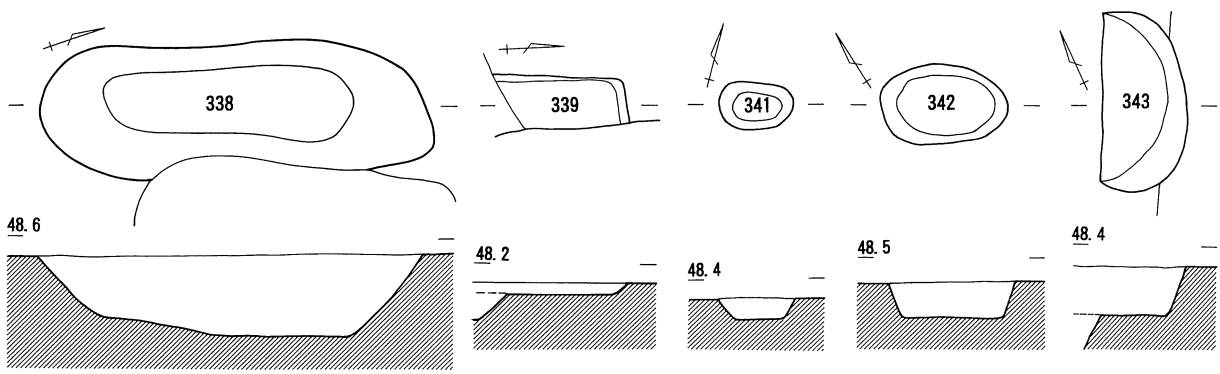


图89 SK (14)

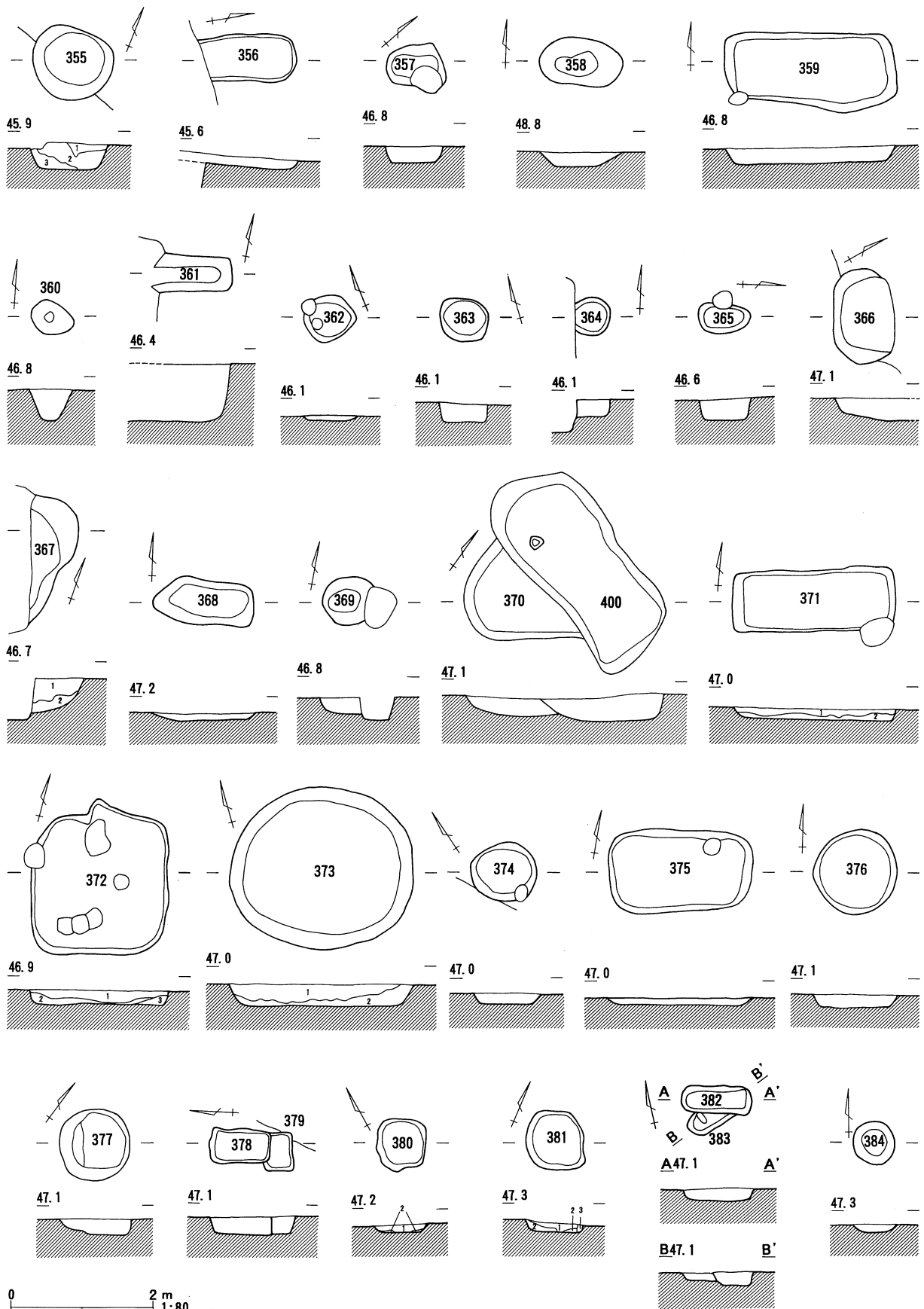


图90 SK (15)

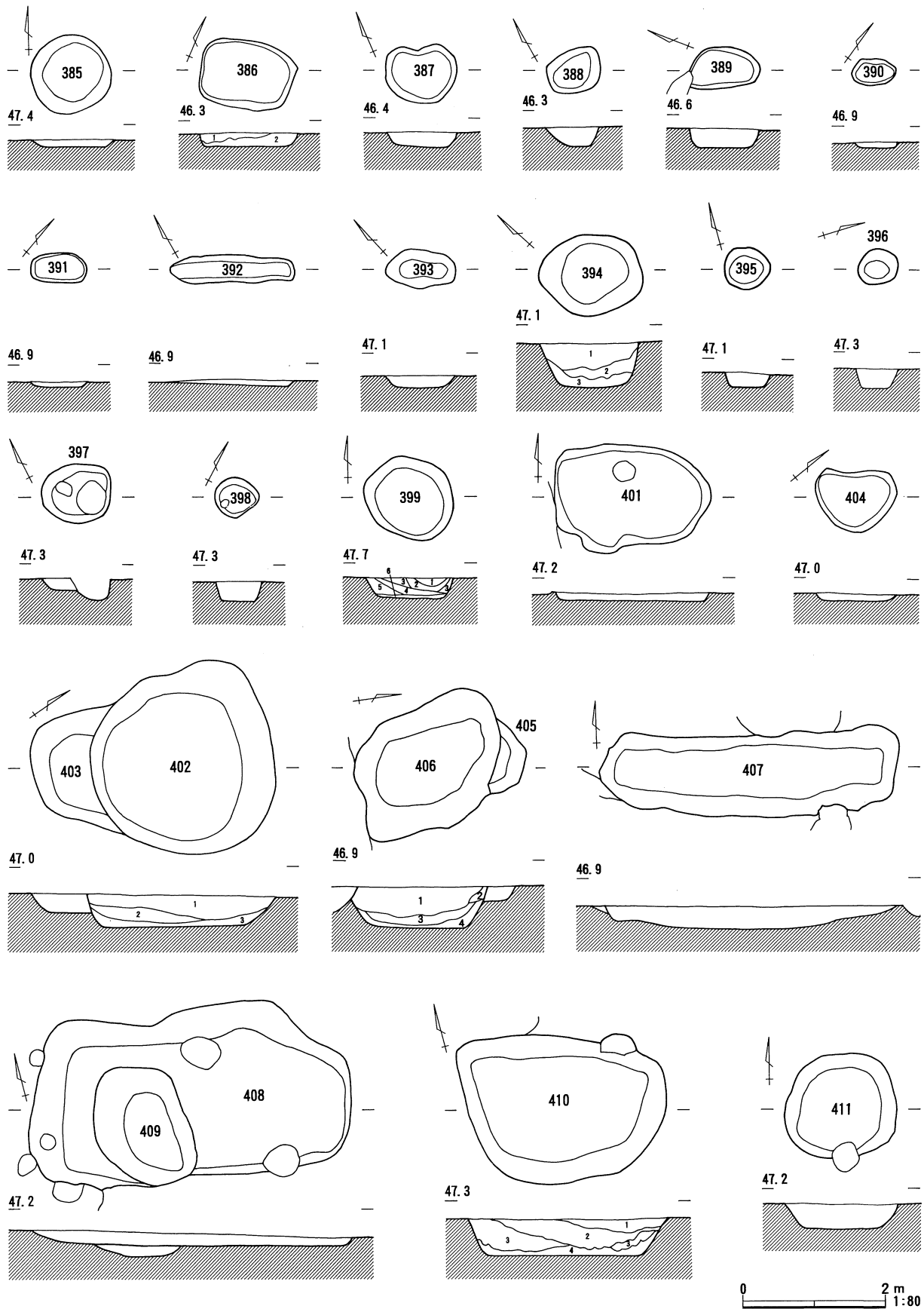


图91 SK (16)

SK-331土層説明

- 1 黒灰色土
- 2 黒灰色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。
- 4 暗褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に含む。

SK-334土層説明

- 1 黒灰褐色土
- 2 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。
- 3 暗褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。

SK-340土層説明

- 1 黒褐色土
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。
- 3 黒褐色土 礫(径10~20mm)を少量含む。
- 4 黒色土 ロームブロック(径1~15mm)を少量含む。
- 5 黒褐色土 ロームブロック(径1~2mm)を少量含む。
- 6 黒色土 ロームブロック(径1~20mm)を少量含む。

SK-345土層説明

- 1 黒色土
- 2 黒色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。
- 3 黒色土 灰白色粘質土ブロック(径1~15mm)を少量含む。

SK-355土層説明

- 1 黒灰褐色土 白色パミス(径1mm±)、ロームブロック(径1~2mm)を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に含む。

SK-367土層説明

- 1 黒灰色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 2 黒灰褐色土 灰白色粘質土ブロック(径1~25mm)を多量に含む。

SK-370土層説明 (単層)

- 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。

SK-371土層説明

- 1 黄灰色土 ロームブロック(径1~10mm)、礫(径10~20mm)を少量含む。
- 2 黄灰色土 ロームブロック(径1~24mm)、礫(径10~20mm)を少量含む。

SK-372土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック(径1~30mm)を多量に含み斑状に堆積する。
- 2 暗褐色土 ロームブロック(径1~20mm)を多量に含み斑状に堆積する。
- 3 褐色土 ロームブロックを主体とし、黒色土ブロックを少量含む。

SK-373土層説明

- 1 黒灰色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 2 黒灰褐色土 灰白色粘質土ブロック(径1~25mm)を多量に含む。

SK-380土層説明

- 1 黒色土
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を含む。

SK-381土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 2 褐色土 黒褐色土ブロック(径1~10mm)を少量含む。

- 3 灰褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を少量含む。

SK-382土層説明 (単層)

- 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。

SK-383土層説明 (単層)

- 暗褐色土 黒褐色土ブロック(径1~10mm)を少量含む。

SK-386土層説明

- 1 黒色土 ロームブロック(径1~5mm)、礫(径10mm±)を少量含む。
- 2 黒色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に含む。

SK-394土層説明

- 1 黒灰褐色土
- 2 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。
- 3 暗褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。

SK-399土層説明

- 1 黒灰褐色土
- 2 黒灰褐色土 白色パミス(径1mm±)を少量含む。
- 3 黒褐色土 白色パミス(径1mm±)を少量含む。
- 4 暗灰褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に含む。
- 5 暗灰褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。
- 6 灰褐色土 ロームブロック(径1~20mm)を多量に含む。

SK-400土層説明 (単層)

- 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を少量含む。

SK-401土層説明 (単層)

- 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を少量含む。

SK-402土層説明

- 1 黒灰褐色土
- 2 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。
- 3 暗褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。

SK-403土層説明 (単層)

- 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。

SK-406土層説明

- 1 黒灰褐色土
- 2 黒色土
- 3 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。
- 4 暗褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。

SK-408土層説明 (単層)

- 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を少量含む。

SK-409土層説明 (単層)

- 黒灰褐色土 灰白色粘質土ブロック(径1~15mm)を少量含む。

SK-410土層説明

- 1 黒色土
- 2 黒灰褐色土
- 3 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。
- 4 黒灰褐色土 灰白色粘質土ブロック(径1~15mm)を少量含む。

SK-412土層説明

- 1 黒色土
- 2 黒灰褐色土
- 3 黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。
- 4 黒褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。

SK-413土層説明

- 1 黒色土
- 2 黒灰褐色土

- 3 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。
- 4 黒褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。

SK-416土層説明

- 1 暗灰褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に含む。
- 2 暗灰褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。
- 3 褐色土

SK-421土層説明

- 1 黒灰褐色土
- 2 黒灰褐色土 白色パミス(径1mm±)を少量含む。
- 3 黒褐色土 白色パミス(径1mm±)を少量含む。
- 4 暗灰褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を含む。
- 5 暗灰褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を含む。
- 6 褐色土

SK-424土層説明

- 1 黒色土
- 2 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。

SK-425土層説明

- 1 暗褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 2 暗褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。

SK-431土層説明

- 1 暗灰褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を含む。
- 2 暗灰褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を含む。

SK-439土層説明

- 1 黒色土 白色パミス(径1mm±)を少量含む。
- 2 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。

SK-440土層説明(単層)

- 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。

SK-442土層説明

- 1 暗灰褐色土 白色パミス(径1mm±)を少量含む。
- 2 黒灰褐色土 白色パミス(径1mm±)を少量含む。
- 3 暗褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。

SK-445土層説明(単層)

- 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。

SK-446土層説明

- 1 暗褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。
- 2 灰黄色土
- 3 黄褐色土

SK-447土層説明

- 1 暗褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 2 暗褐色土 ロームブロック(径1~20mm)を少量含む。
- 3 褐色土 地山風化土

SK-448土層説明(単層)

- 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。

SK-449土層説明(単層)

- 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~2mm)を少量含む。

SK-450土層説明

- 1 黒色土
- 2 黒灰褐色土
- 3 黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。
- 4 褐色土

SK-455土層説明

- 1 黒色土

- 2 黒灰褐色土
- 3 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。
- 4 黒灰褐色土 灰白色粘質土ブロック(径1~15mm)を少量含む。

SK-457土層説明

- 1 暗褐色土 ロームブロック(径1~70mm)を多量に含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 3 褐色土

SK-461土層説明

- 1 黒灰褐色土 白色パミス(径1mm±)を少量含む。
- 2 暗褐色土 白色パミス(径1mm±)、ロームブロック(径1mm±)を少量含む。
- 3 灰黄色土 白色パミス(径1~2mm)、ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。
- 4 褐色土 白色パミス(径1~2mm)を少量含む。

SK-462土層説明

- 1 黒色土
- 2 黒灰褐色土
- 3 黒灰褐色土 灰白色粘質土ブロック(径1~15mm)を少量含む。

SK-464土層説明

- 1 黒褐色土
- 2 暗灰色土
- 3 黒色土 焼土ブロック(径1~15mm)、礫(径10~20mm)を少量含む。
- 4 暗褐色土

SK-465土層説明

- 1 黒灰褐色土
- 2 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。
- 3 黒灰褐色土 灰白色粘質土ブロック(径1~15mm)を少量含む。

SK-466土層説明(単層)

- 暗褐色土 ロームブロック(径1~2mm)を少量含む。

SK-468土層説明(単層)

- 暗褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。

SK-469土層説明(単層)

- 暗灰褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。

SK-471土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~20mm)を多量に含む。
- 3 黄褐色土 地山風化土

SK-477土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に含む。

SK-478土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。
- 3 暗褐色土 ロームブロック(径1~20mm)を多量に含む。
- 4 暗褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。
- 5 暗褐色土 ロームブロック(径1~30mm)を多量に含む。

SK-479土層説明(単層)

- 黒灰色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。

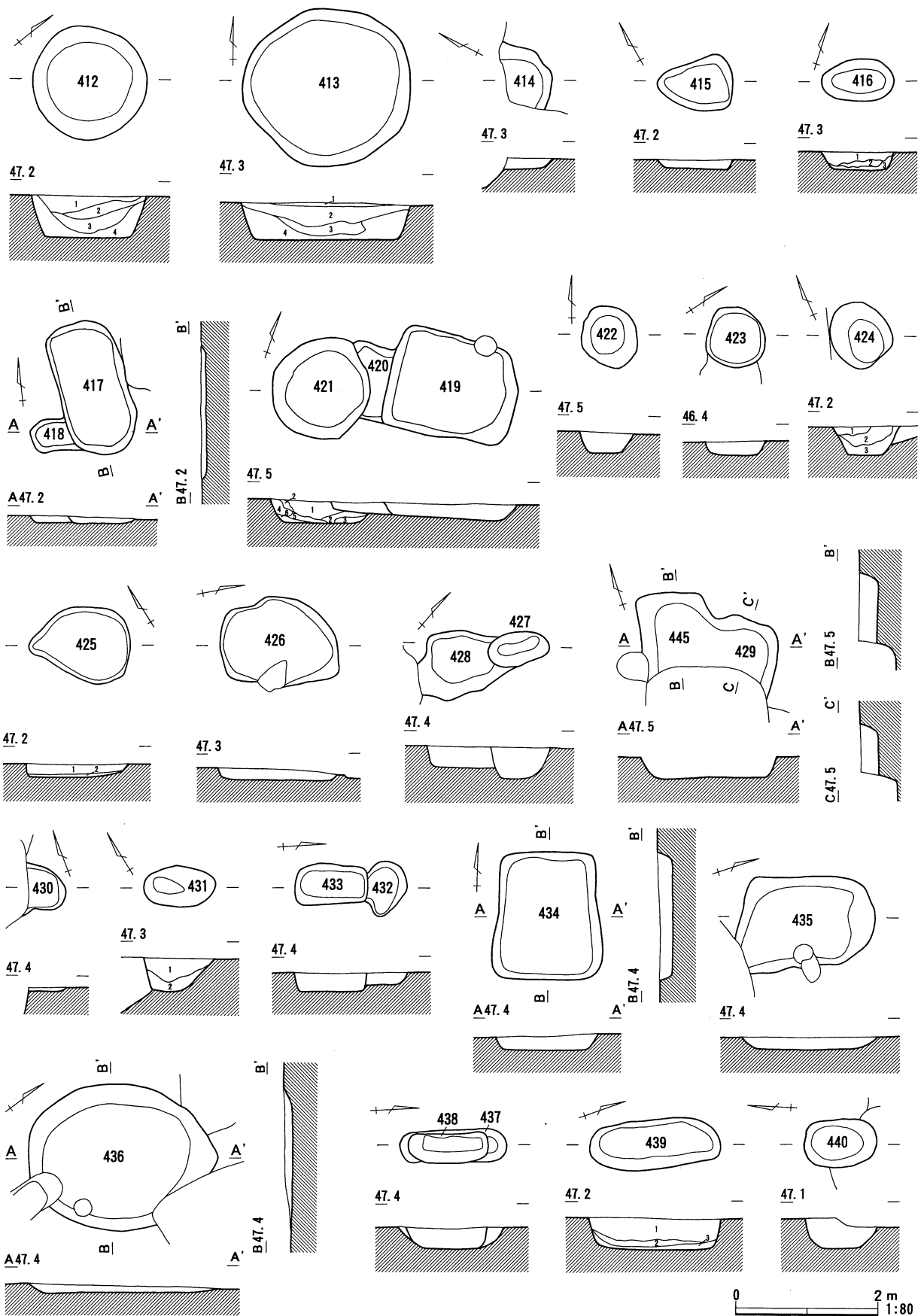


图92 SK (17)

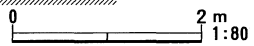
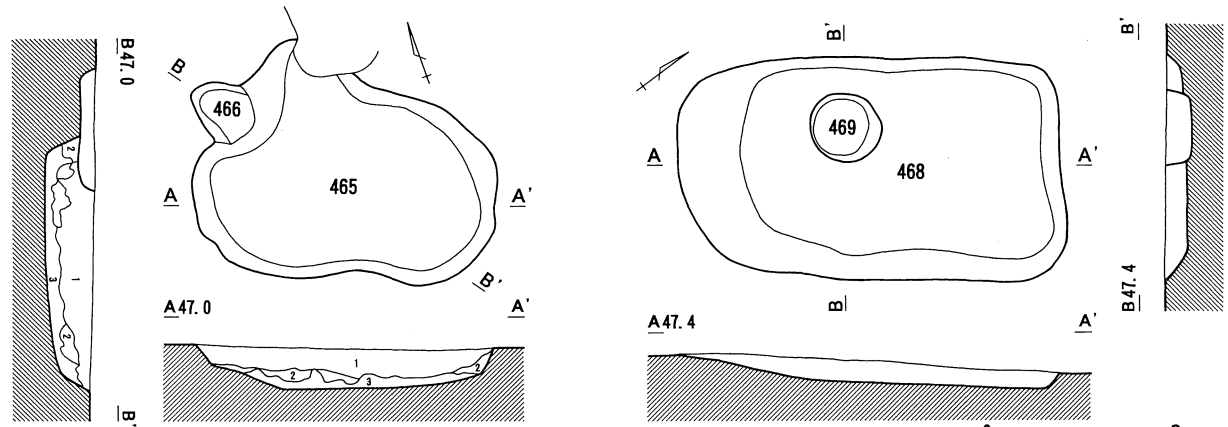
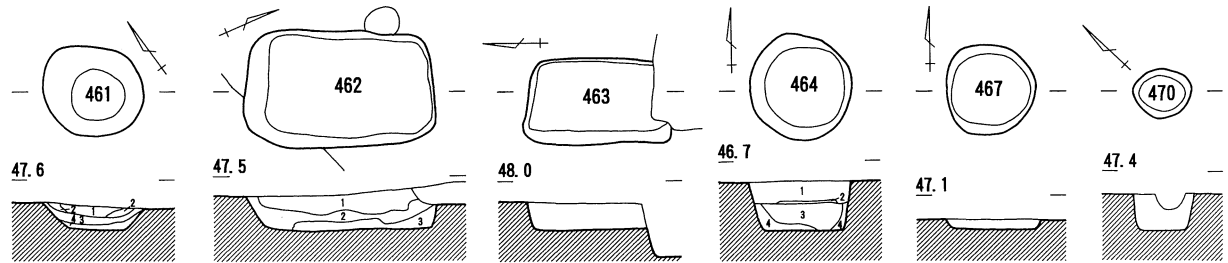
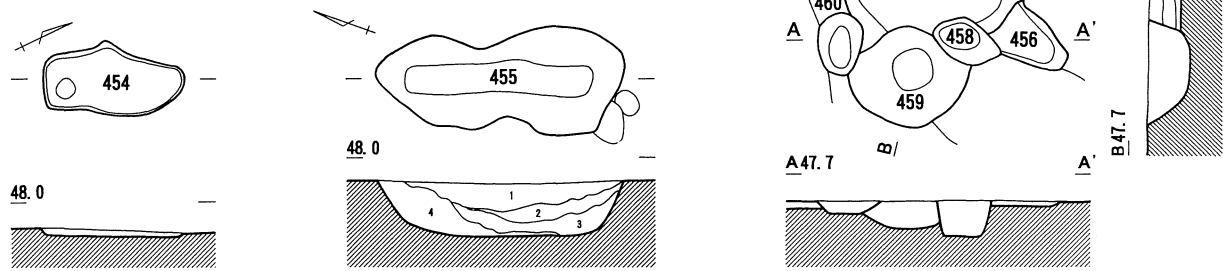
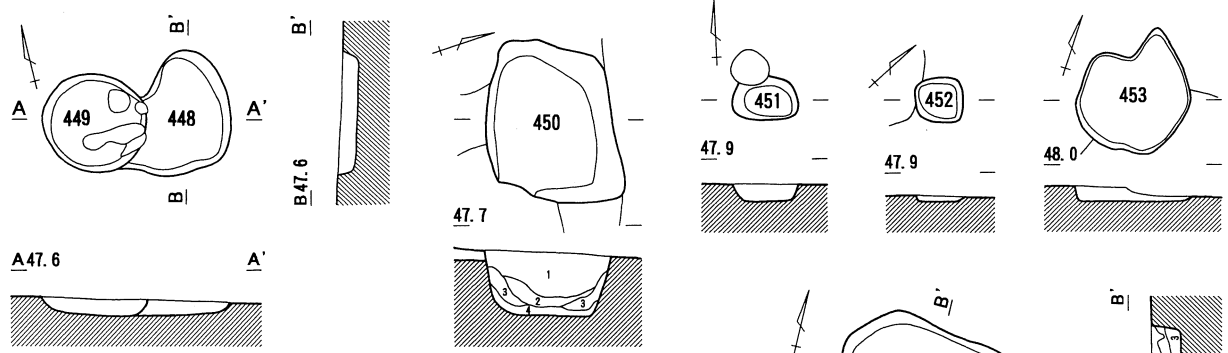
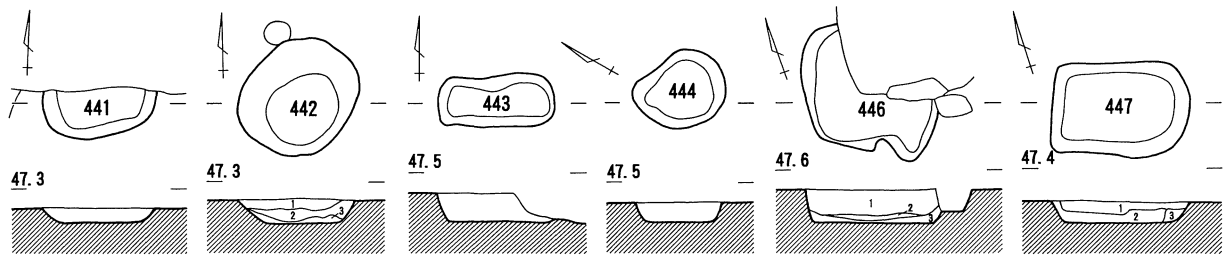


图93 SK (18)

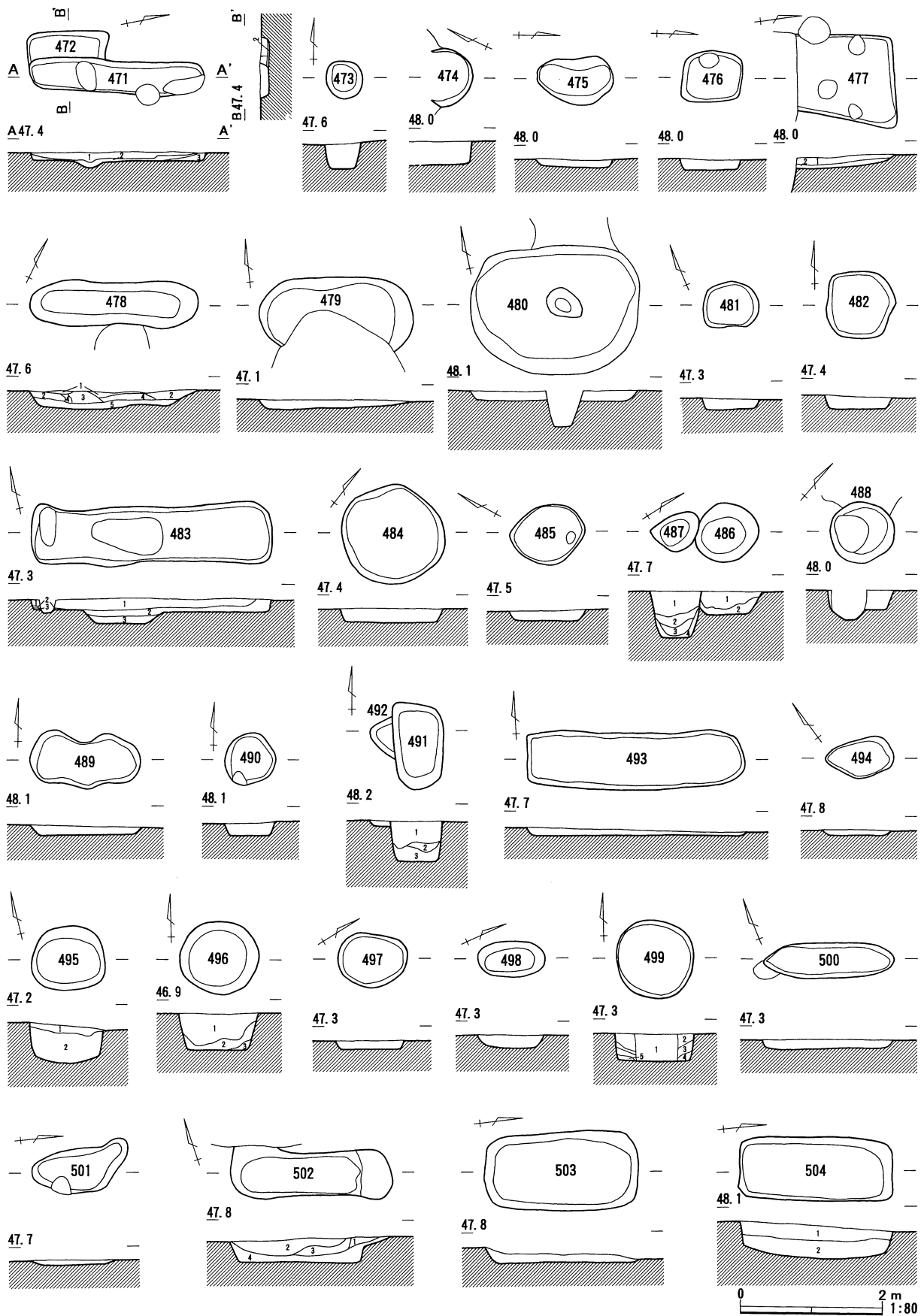


图94 SK (19)

SK-483土層説明

- 1 黒灰色土
- 2 黒灰色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)、褐色土ブロック(径5~15mm)を多量に含む。

SK-486土層説明

- 1 黒色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に含む。

SK-487土層説明

- 1 黒色土
- 2 黒色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。
- 3 黒色土 ロームブロック(径1~10mm)、褐色土ブロック(径5~15mm)を多量に含む。
- 4 褐色土 黒色土ブロック(径1~30mm)を少量含む。

SK-491土層説明

- 1 黒色土
- 2 黒色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。

SK-495土層説明

- 1 黒色土
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。

SK-496土層説明

- 1 黒褐色土
- 2 暗褐色土 ロームブロック(径1mm±)、焼土ブロック(径1~2mm)を少量含む。

- 3 暗褐色土

SK-499土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。
- 2 暗褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に含む。
- 3 暗褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。
- 4 暗褐色土 ロームブロック(径1~20mm)を多量に含む。
- 5 灰黄色土

SK-502土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 2 暗褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック(径1~4mm)を多量に含む。
- 4 暗褐色土 ロームブロック(径1~25mm)を多量に含む。

SK-504土層説明

- 1 暗褐色土 ロームブロック(径1~40mm)を多量に含む。
- 2 暗褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。

SK-505土層説明

- 1 黒色土 ロームブロック(径1~30mm)を多量に含む。
- 2 暗褐色土 ロームブロック(径1mm±)、白色パミス(径1mm±)を少量含む。
- 3 暗黄褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。

SK-506土層説明 (単層)

- 黒褐色土 ロームブロック(径1~2mm)を多量に含む。

SK-507土層説明 (単層)

- 暗褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に含む。

SK-509土層説明

- 1 黒色土 ロームブロック(径1~2mm)を少量含む。
- 2 明黄褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。

SK-516土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック(径1~2mm)を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。
- 3 暗褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に含む、炭化物ブロック(径1~5mm)を少量含む。

- 4 灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)、礫(径1~10mm)を多量に含む。

SK-526土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 2 褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。

SK-528土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に含む。
- 3 灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。

SK-535土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 2 暗褐色土 ロームブロック(径1~20mm)を多量に含む。

SK-536土層説明

- 1 黒色土 ロームブロック(径1~2mm)を少量含む。
- 2 明黄褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。

SK-540土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。
- 2 暗褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。

SK-541土層説明

- 1 黒暗褐色土 ロームブロック(径1~2mm)を少量含む。
- 2 暗褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。

SK-542土層説明

- 1 黒色土 ロームブロック(径1~2mm)を少量含む。
- 2 黒褐色土 灰白色土ブロック(径1~10mm)を多量に含む。

SK-543土層説明 (単層)

- 暗褐色土 ロームブロック(径1~2mm)を少量含む。

SK-544土層説明 (単層)

- 暗褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。

SK-550土層説明 (単層)

- 暗褐色土 ロームブロック(径1~20mm)を多量に含む。

SK-551土層説明 (単層)

- 暗褐色土 ロームブロック(径1~2mm)を少量、礫(径1~5mm)を多量に含む。

SK-553土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック(径1~2mm)を少量含む。
- 2 黒褐色土 灰白色土ブロック(径1~10mm)を多量に含む。

SK-557土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に含む。
- 3 灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。

SK-558土層説明

- 1 暗褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に、白色パミス(径1mm±)を少量含む。
- 2 暗褐色土 ロームブロック(径1~2mm)を多量に含む。
- 3 暗褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む、焼土ブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 4 暗褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 5 暗褐色土 ロームブロック(径1~20mm)を少量含む。
- 6 暗褐色土 ロームブロック(径1~20mm)を多量に含む。

SK-561土層説明

- 1 暗褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む、炭化物ブロック(径1~5mm)、焼土ブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 2 褐色土 ロームブロック(径1~2mm)、白色パミス(径1mm±)を多量に含む。

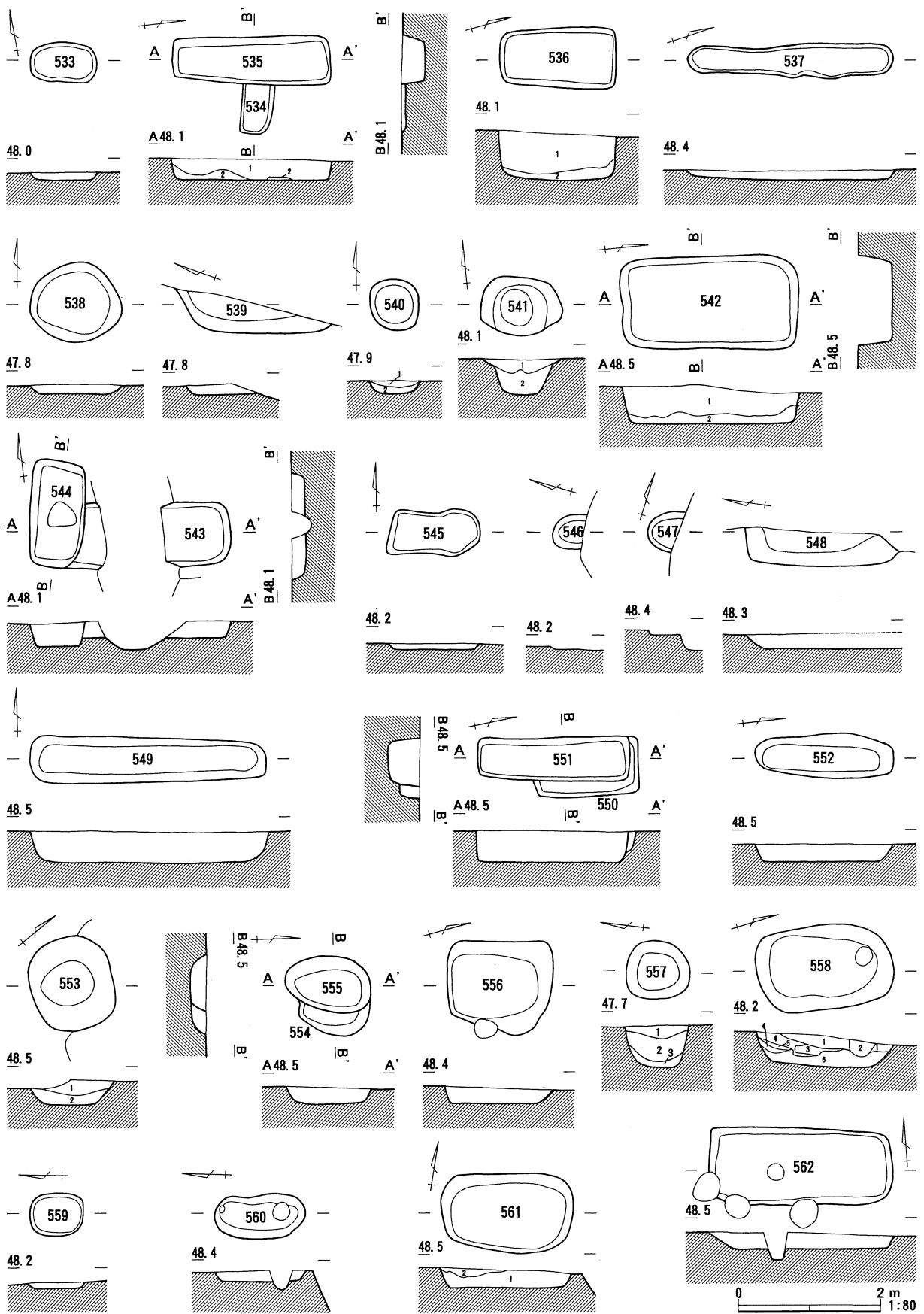


图96 SK (21)

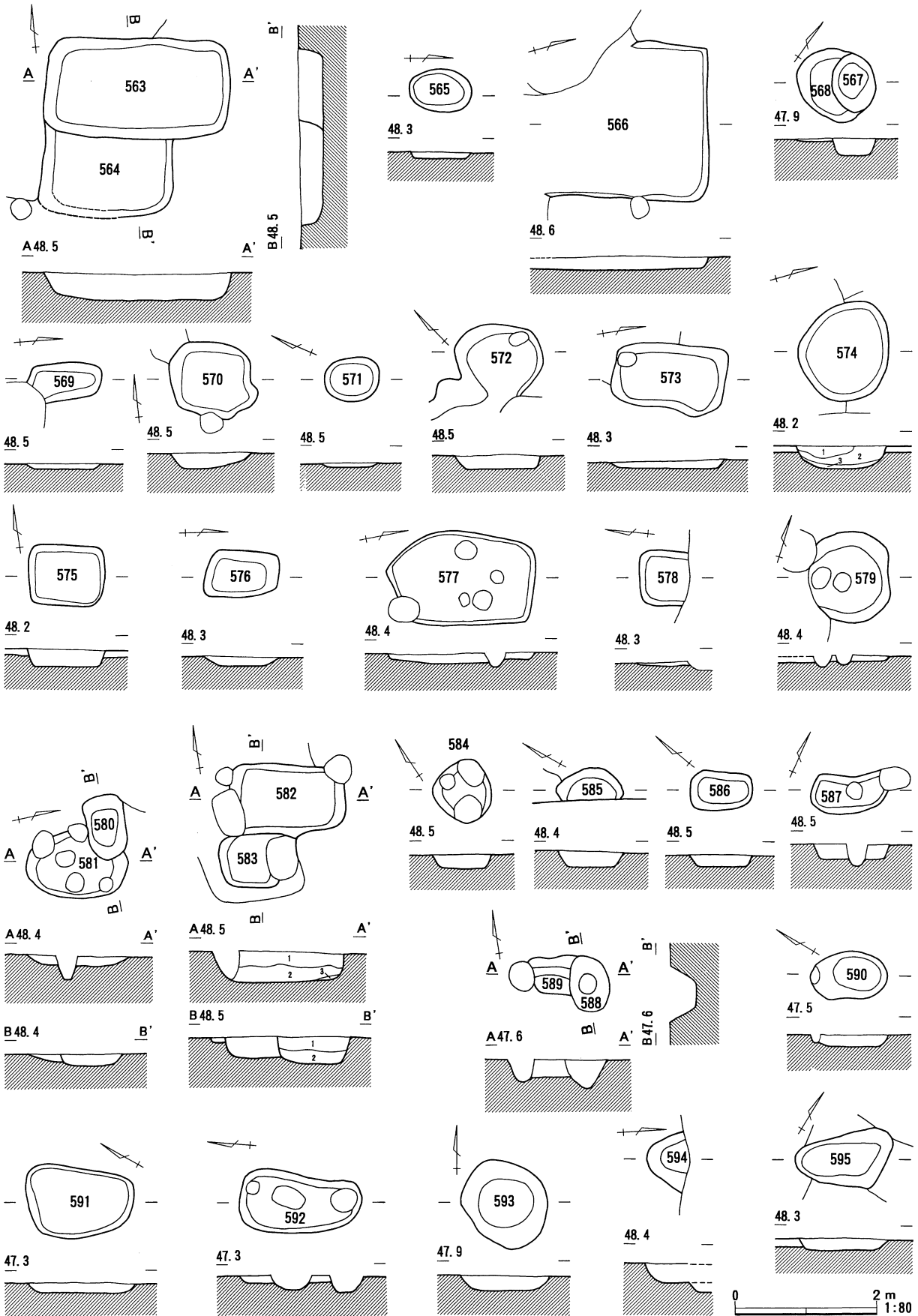


图97 SK (22)

- SK-563土層説明 (単層)
黒褐色土 ロームブロック(径1~20mm)を多量に含む。
- SK-564土層説明 (単層)
黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に含む。
- SK-574土層説明
1 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
2 黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に含む。
3 灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。
- SK-577土層説明 (単層)
黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)、礫(径1~10mm)を多量に含む。
- SK-578土層説明 (単層)
黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に含む。
- SK-580土層説明 (単層)
黒褐色土 ロームブロック(径1~2mm)を少量含む。
- SK-581土層説明 (単層)
暗褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を少量含む。
- SK-582土層説明
1 黒褐色土 ロームブロック(径1~2mm)を少量含む。
2 暗褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に含む。
3 褐色土
- SK-583土層説明 (単層)
黒褐色土 ロームブロック(径1~2mm)を少量含む。
- SK-597土層説明
1 暗褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。
2 黒褐色土 ロームブロック(径1~2mm)、礫(径10mm±)を少量含む。
3 灰褐色土 ロームブロック(径1~2mm)を少量含む。
- SK-599土層説明 (単層)
黒褐色土 黒灰色粘質土ブロック(径1~5mm)、ロームブロック(径1~20mm)を少量含む。
- SK-600土層説明 (単層)
黒色土
- SK-620土層説明
1 黒褐色土
2 暗褐色土
3 暗褐色土 ロームブロック(径1~2mm)を少量含む。
- SK-624土層説明
1 黒色土
2 黒褐色土
3 暗褐色土 ロームブロック(径1~2mm)を少量含む。
- SK-626土層説明 (単層)
黒褐色土 ロームブロック(径1~2mm)を少量含む。
- SK-627土層説明 (単層)
黒灰褐色土 白色パミス(径1mm±)、ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- SK-628土層説明 (単層)
黒褐色土 ロームブロック(径1~2mm)を少量含む。
- SK-646土層説明
1 黒色土
2 黒褐色土 ロームブロック(径1~2mm)を多量に含む。
- SK-649土層説明 (単層)
暗褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。
- SK-650土層説明 (単層)
黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- SK-652土層説明 (単層)
黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- SK-653土層説明 (単層)
黒褐色土 ロームブロック(径1~2mm)を少量含む。
- SK-662土層説明
1 黒色土
2 黒褐色土 ロームブロック(径1~2mm)を少量含む。
3 暗褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。
- SK-663土層説明
1 黒灰色土
2 黒褐色土 ロームブロック(径1~2mm)を多量に含む。
- SK-665土層説明
1 黒色土 黒灰色土ブロック(径1~10mm)を少量含む。
2 黒褐色土 黒灰色土ブロック(径1~5mm)、ロームブロック(径1~2mm)を少量含む。
- SK-670土層説明 (単層)
黒灰褐色土 ロームブロック(径1~2mm)を多量に含む。
- SK-671土層説明 (単層)
黒灰褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。
- SK-675土層説明
1 黒色土
2 黒褐色土 ロームブロック(径1~2mm)を多量に含む。
- SK-685土層説明
1 黒色土
2 黒色土 灰白色粘質土ブロック(径1~15mm)を多量に含む。
- SK-689土層説明
1 黒灰色土
2 黒褐色土 ロームブロック(径1~2mm)を多量に含む。
- SK-691土層説明
1 黒色土
2 黒灰褐色土 黒灰色土ブロック(径1~10mm)、ロームブロック(径1~2mm)を多量に含む。
- SK-692土層説明
1 黒色土
2 黒灰色土
3 黒灰褐色土 黒灰色土ブロック(径1~10mm)、ロームブロック(径1~2mm)を多量に含む。
- SK-694土層説明
1 黒色土 黒灰色土ブロック(径1~5mm)を少量含む。
2 黒灰褐色土 黒灰色土ブロック(径1~10mm)、ロームブロック(径1~2mm)を多量に含む。
- SK-695土層説明
1 黒灰色土 焼土ブロック(径1~5mm)を少量含む。
2 黒灰色土
3 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~2mm)を多量に含む。
- SK-697土層説明 (単層)
黒灰褐色土 ロームブロック(径1~2mm)を多量に含む。
- SK-703土層説明
1 黒色土
2 黒灰褐色土 黒灰色土ブロック(径1~10mm)、ロームブロック(径1~2mm)を多量に含む。

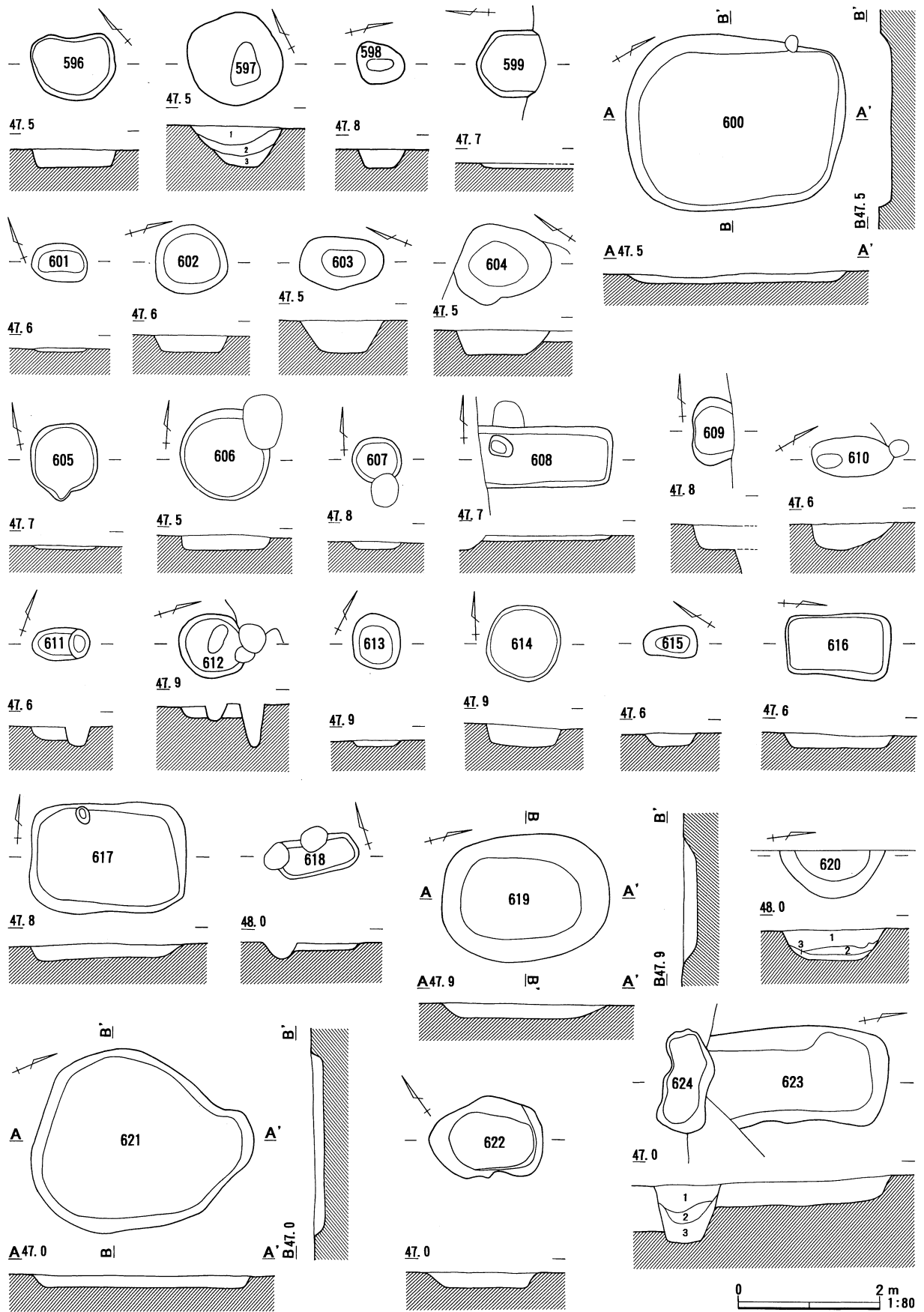


图98 SK (23)

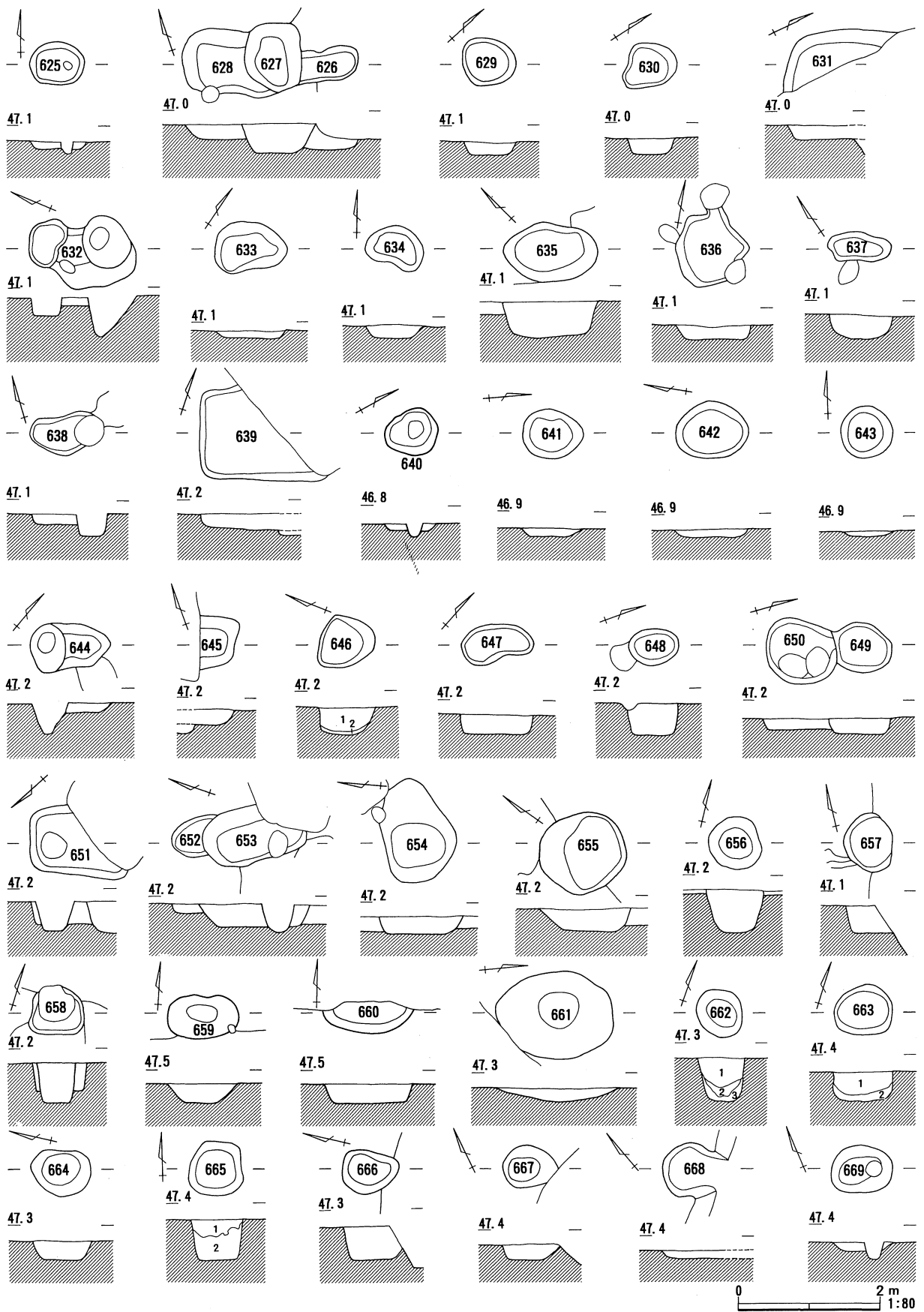


图99 SK (24)

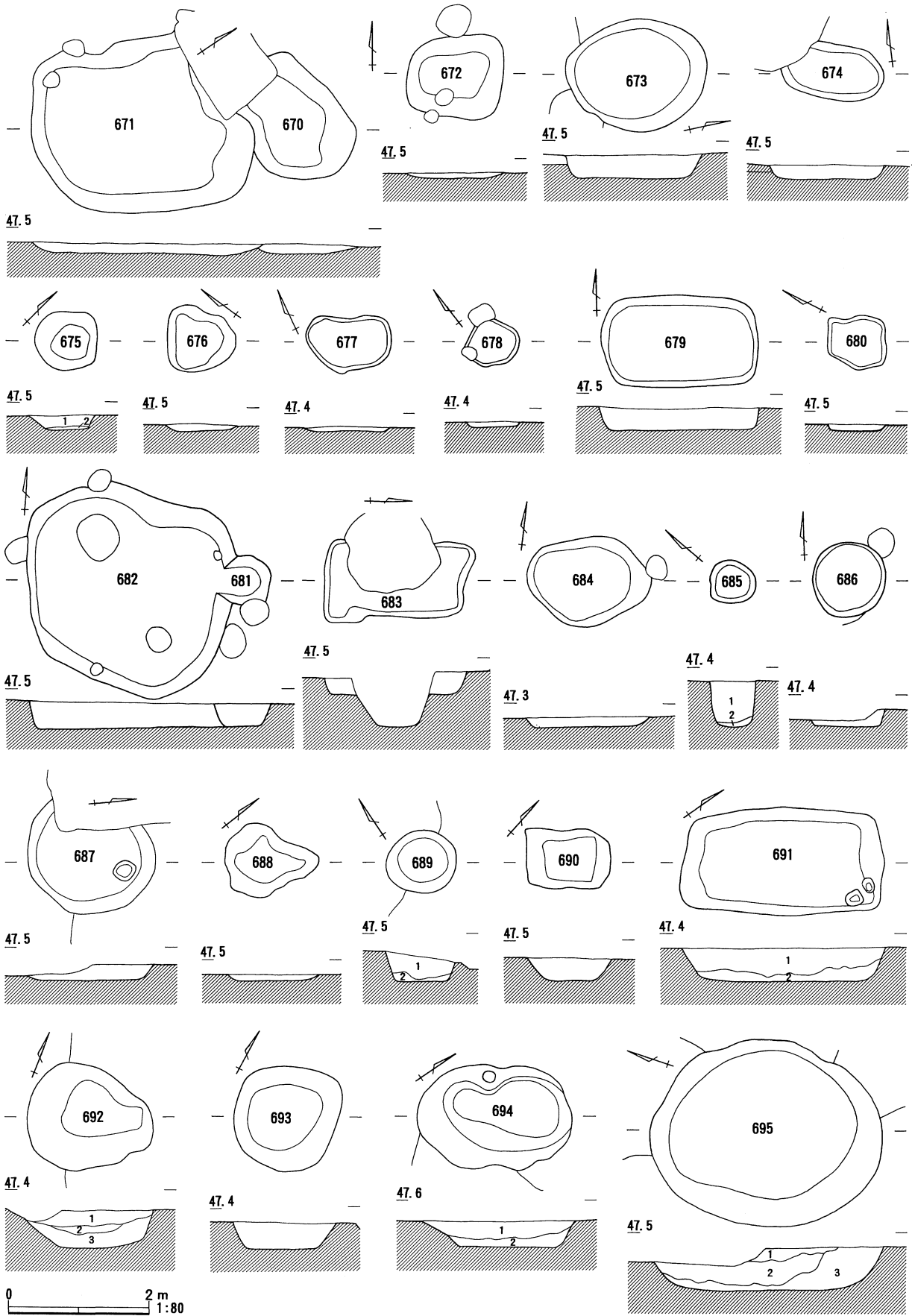


图100 SK (25)

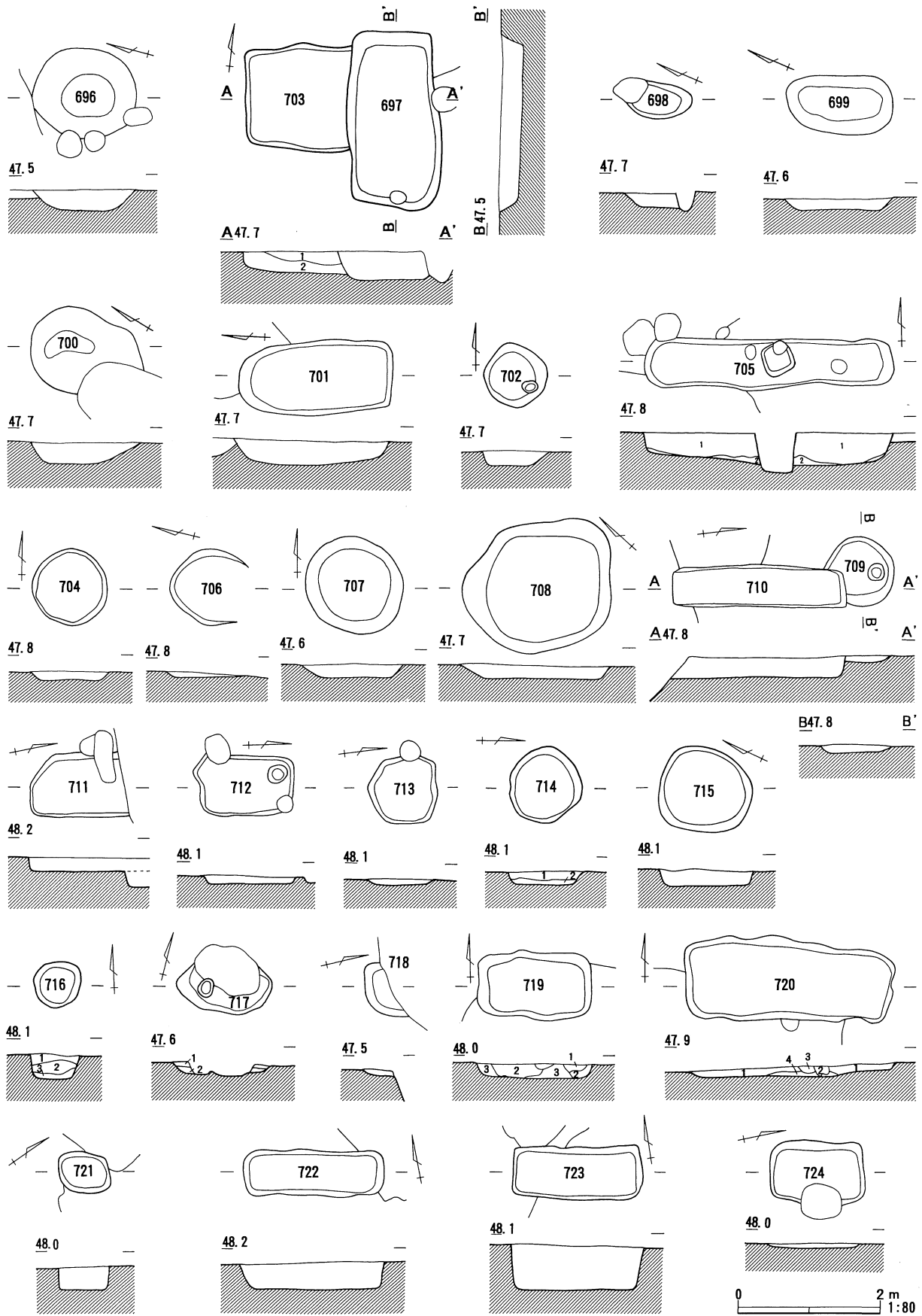


图101 SK (26)

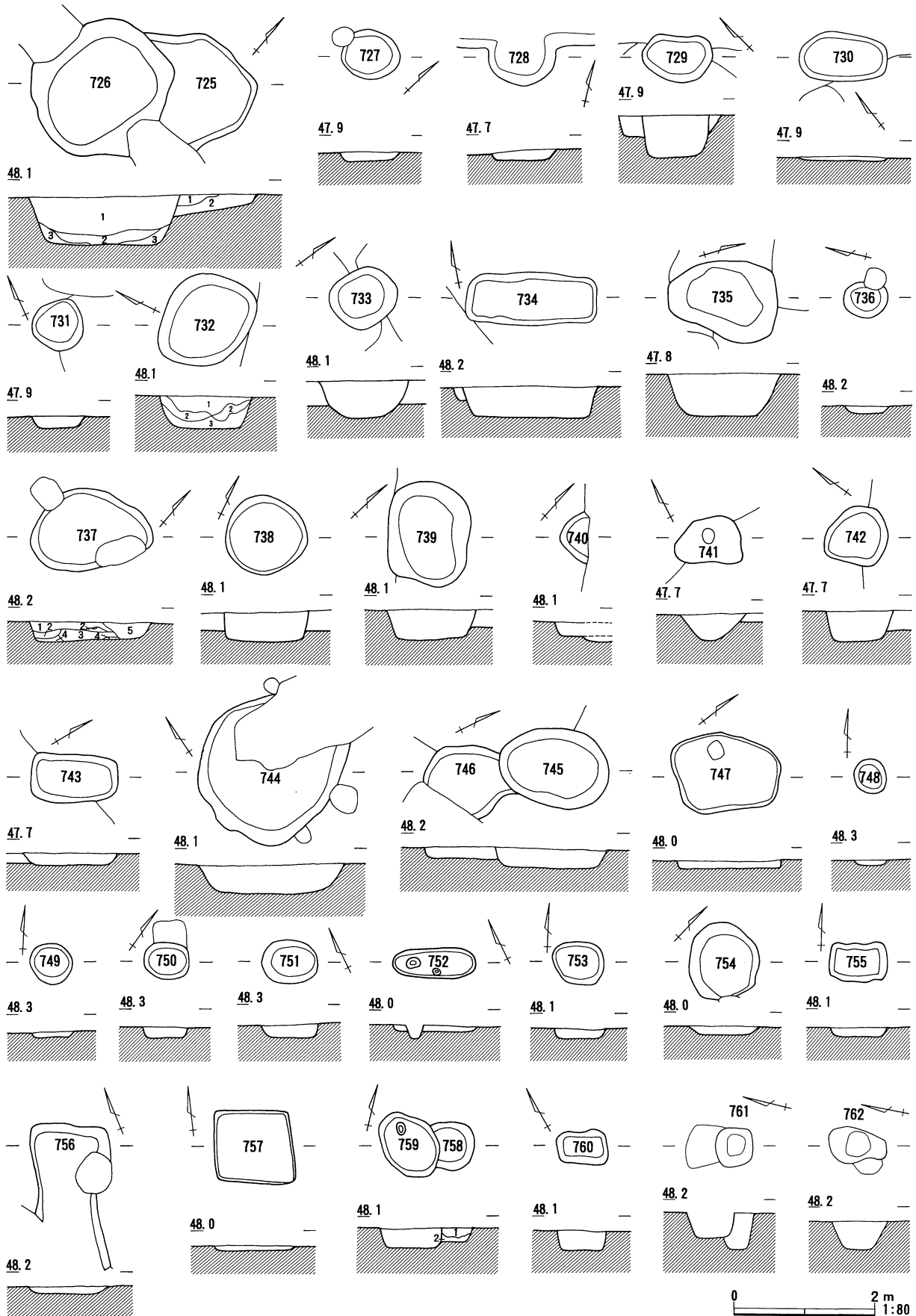
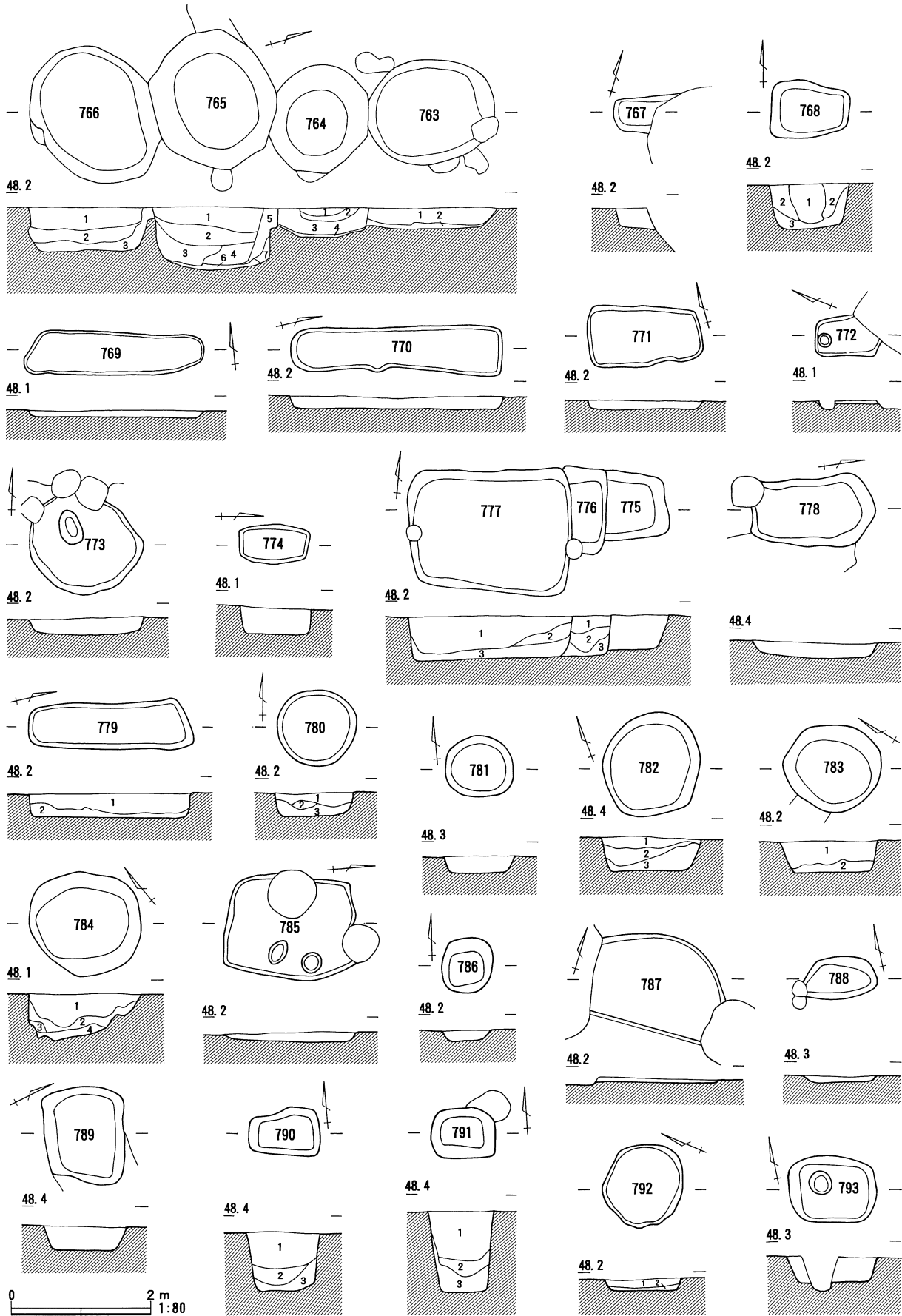


图102 SK (27)



☒103 SK (28)

SK-705土層説明

- 1 黒色土 黒灰色土ブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 2 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~2mm)を多量に含む。

SK-714土層説明

- 1 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に含む。

SK-716土層説明

- 1 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に含む。
- 3 暗褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。

SK-717土層説明

- 1 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に含む。

SK-719土層説明

- 1 褐色土 ローム風化土
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に含む。
- 3 黒色土

SK-720土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に含む。
- 2 褐色土 ローム風化土
- 3 黒色土
- 4 暗灰色土

SK-725土層説明

- 1 黒色土 ロームブロック(径1~2mm)を少量含む。
- 2 黒灰色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に含む。

SK-726土層説明

- 1 黒色土 ロームブロック(径1~2mm)を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~2mm)を少量含む。
- 3 褐灰色土

SK-732土層説明

- 1 黒色土 ロームブロック(径1~2mm)を少量含む。
- 2 黒灰色土 ロームブロック(径1~2mm)を少量含む。
- 3 黒灰色土 ロームブロック(径1~20mm)を少量含む。

SK-737土層説明

- 1 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。
- 2 褐灰色土
- 3 黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に含む。
- 4 褐色土 ローム風化土
- 5 黒色土

SK-745土層説明 (単層)

- 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。

SK-746土層説明 (単層)

- 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~25mm)を多量に含む。

SK-758土層説明

- 1 黒色土 ロームブロック(径1~20mm)を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に含む。

SK-759土層説明 (単層)

- 黒色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。

SK-763土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)、白色パミス(径1mm±)、焼土ブロック(径1mm±)を少量含む。

- 2 暗褐色土 ローム層風化土

SK-764土層説明

- 1 黒色土 白色パミス(径1mm±)、礫(径1~20mm)を少量含む。

- 2 礫層 礫(径20~30mm)から成る。

- 3 暗褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。

- 4 褐色土 ローム層風化土

SK-765土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)、白色パミス(径1mm±)を多量に、焼土ブロック(径1mm±)、礫(径1~15mm)を少量含む。

- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~2mm)を少量含む。

- 3 黒色土 ロームブロック(径1~2mm)、焼土ブロック(径1~2mm)を少量含む。

- 4 黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。

- 5 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)、白色パミス(径1mm±)を少量含む。

- 6 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。

- 7 褐色土 ローム層風化土

SK-766土層説明

- 1 黒褐色土 白色パミス(径1mm±)、焼土ブロック(径1mm±)を多量に含む。

- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を多量に、焼土ブロック(径1mm±)を少量含む。

- 3 黒褐色土 ロームブロック(径1~20mm)を多量に含む。

SK-768土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。

- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~20mm)を多量に含む。

- 3 暗褐色土 白色パミス(径1mm±)を多量に含み、ロームブロック(径1mm±)を少量含む。

SK-775土層説明 (単層)

- 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。

SK-776土層説明

- 1 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。

- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。

- 3 暗褐色土 ロームブロック(径1~25mm)を多量に含む。

SK-777土層説明

- 1 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。

- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を少量含む。

- 3 暗褐色土 ロームブロック(径1~20mm)を少量含む。

SK-779土層説明

- 1 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。

- 2 暗褐色土 ロームブロック(径1~15mm)を多量に含む。

SK-780土層説明

- 1 暗灰褐色土 白色パミス(径1mm±)を多量に含み、ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。

- 2 暗灰褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。

- 3 暗褐色土 ロームブロック(径1mm±)を少量含む。

SK-782土層説明

- 1 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。

- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~10mm)を少量含む。

- 3 暗褐色土 ロームブロック(径1~20mm)を多量に含む。

SK-783土層説明

- 1 黒灰褐色土 ロームブロック(径1～5mm)を少量含む。
- 2 暗褐色土 ロームブロック(径1～20mm)を多量に含む。

SK-784土層説明

- 1 黒色土 ロームブロック(径1～2mm)を少量含む。
- 2 黒灰色土 ロームブロック(径1～10mm)を多量に含む。
- 3 褐色土
- 4 暗褐色土 ロームブロック(径1～20mm)を多量に含む。

SK-790土層説明

- 1 黒色土 ロームブロック(径1～2mm)を少量含む。
- 2 黒灰色土 ロームブロック(径1～10mm)を多量に含む。
- 3 黒褐灰色土

SK-791土層説明

- 1 黒色土 ロームブロック(径1～2mm)を少量含む。
- 2 黒灰色土 ロームブロック(径1～10mm)を多量に含む。
- 3 黒褐灰色土

SK-792土層説明

- 1 黒灰褐色土 ロームブロック(径1～5mm)を多量に含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1～10mm)を多量に含む。

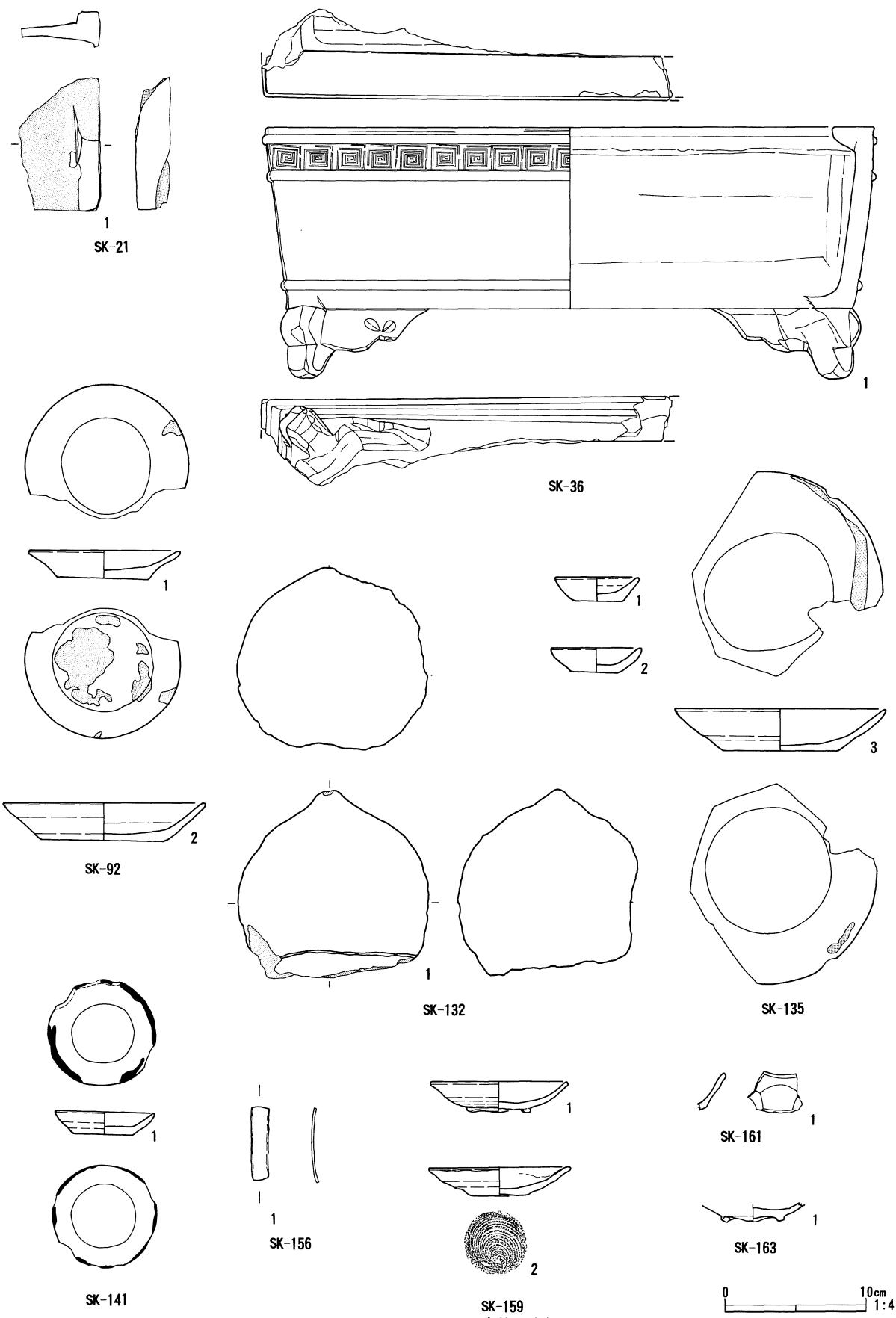


图104 SK 出土遺物 (1)

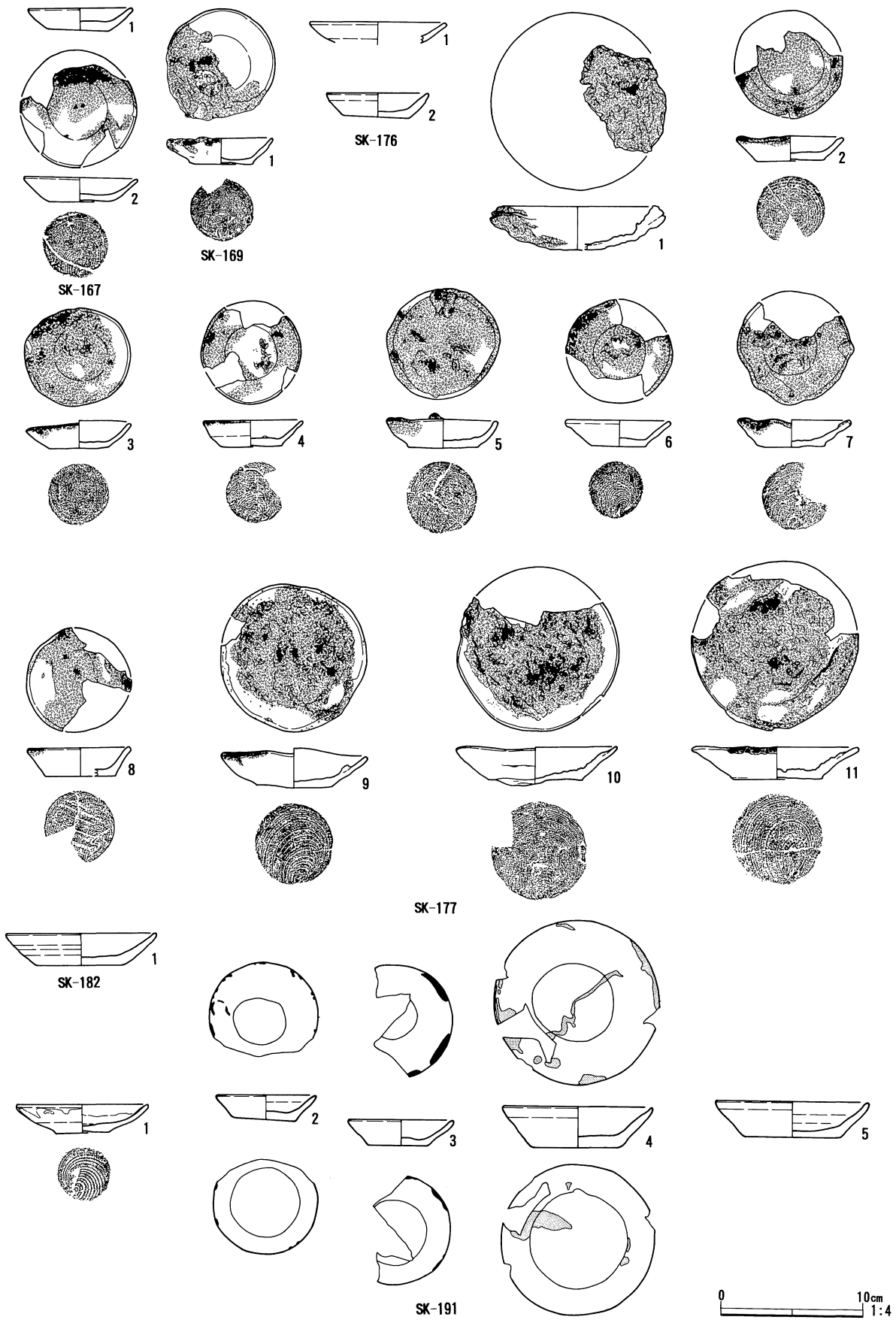


图105 SK 出土遺物 (2)

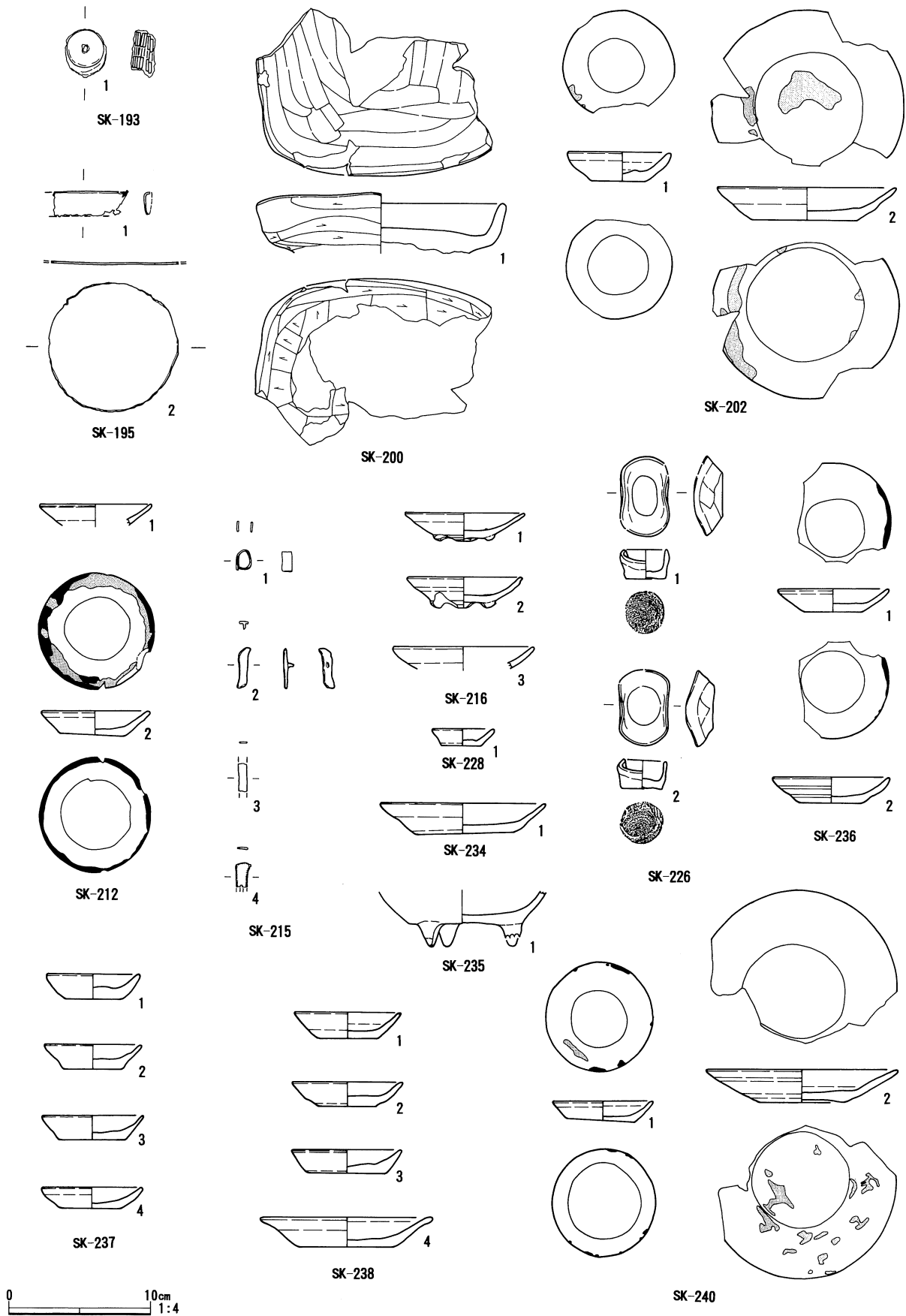
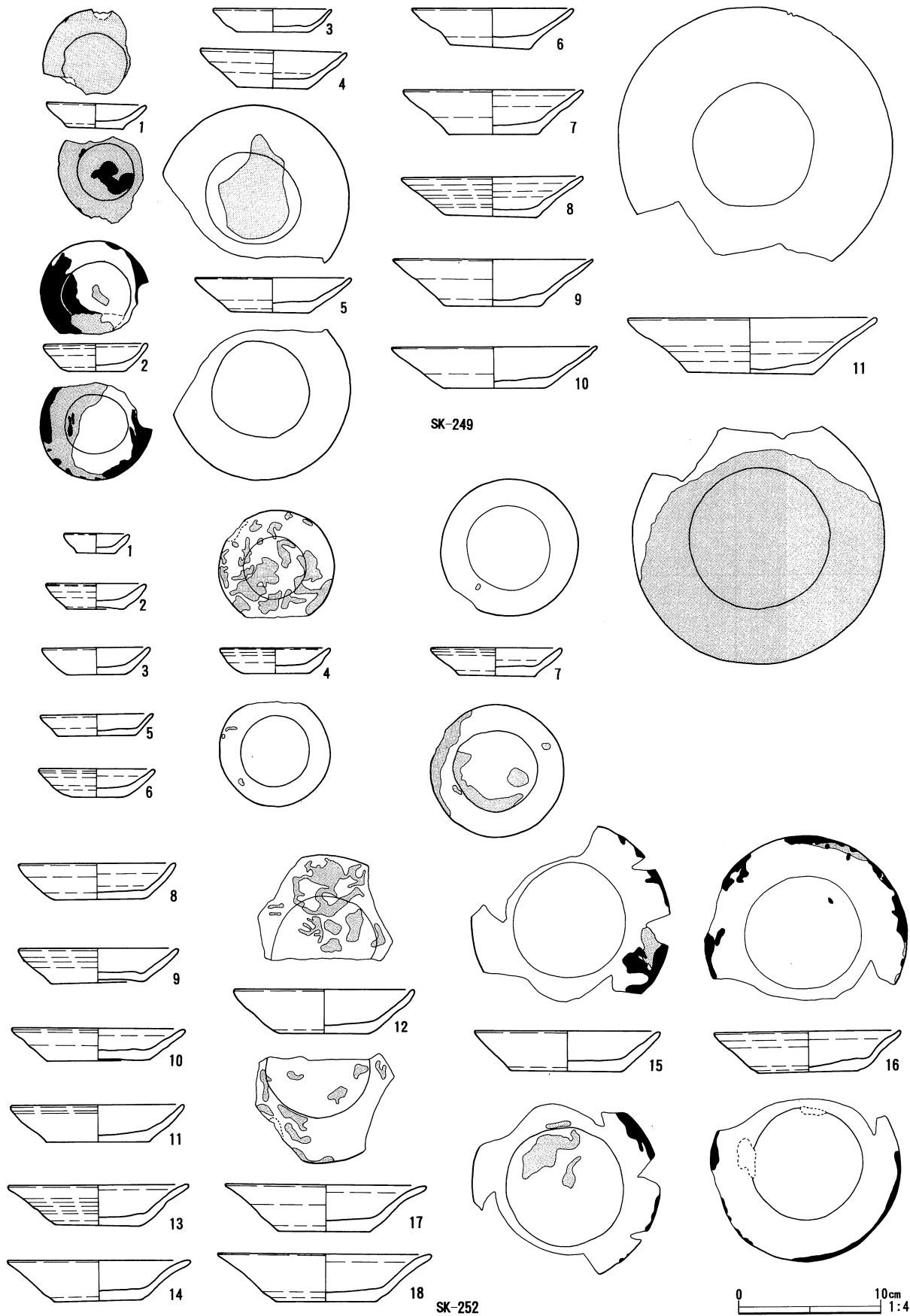


图106 SK 出土遺物 (3)



SK-249
SK-252
图107 SK 出土遺物 (4)

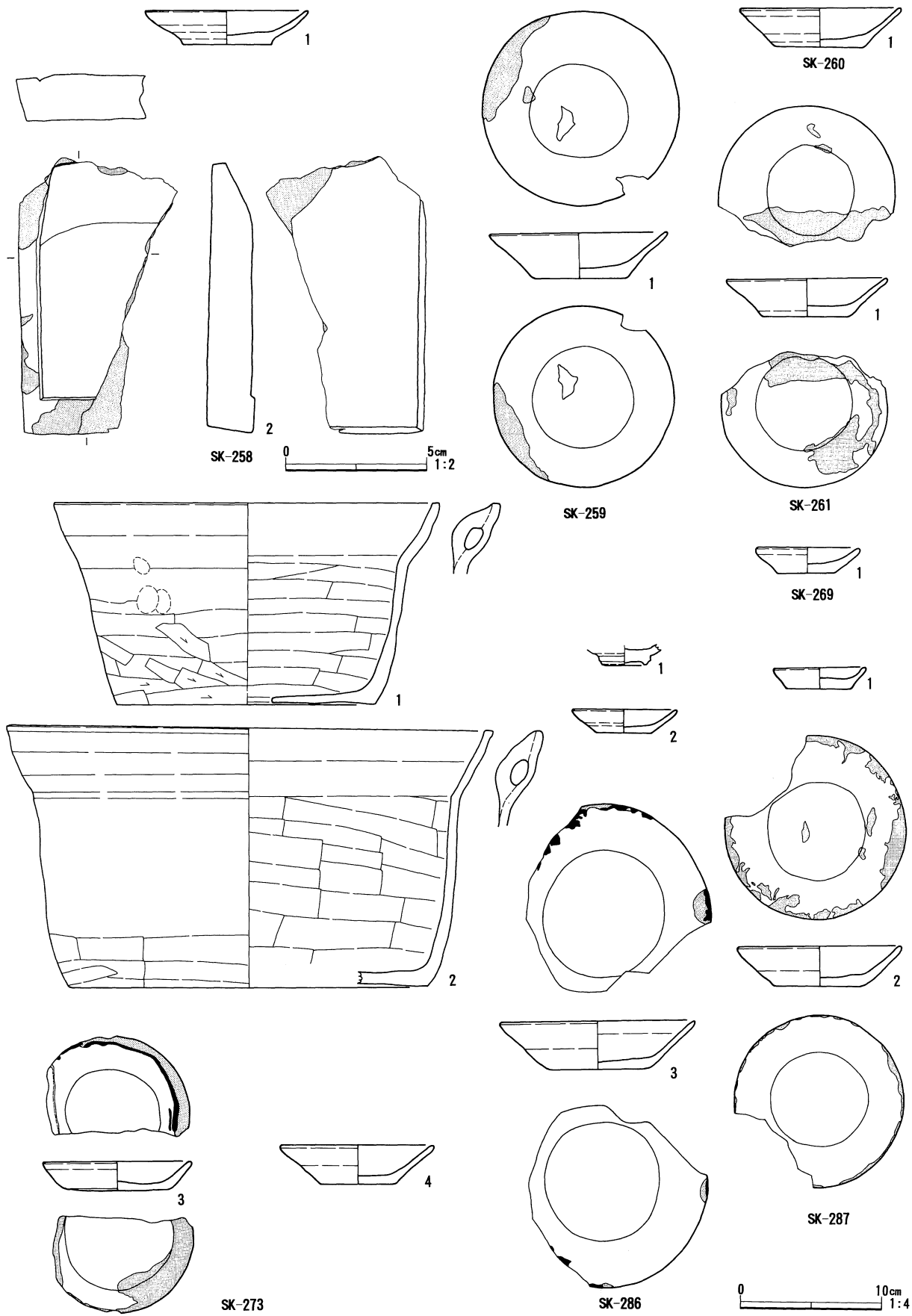
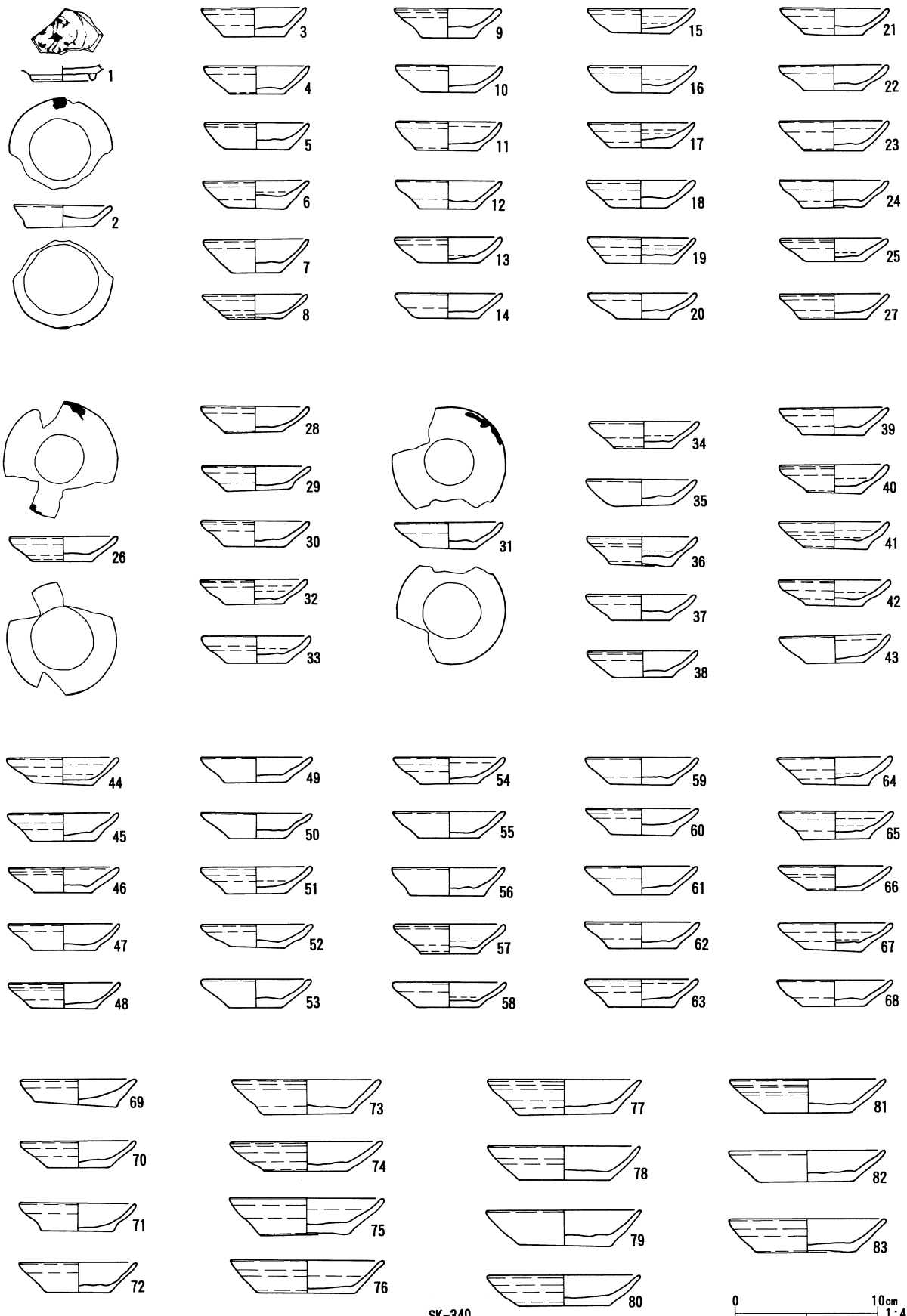
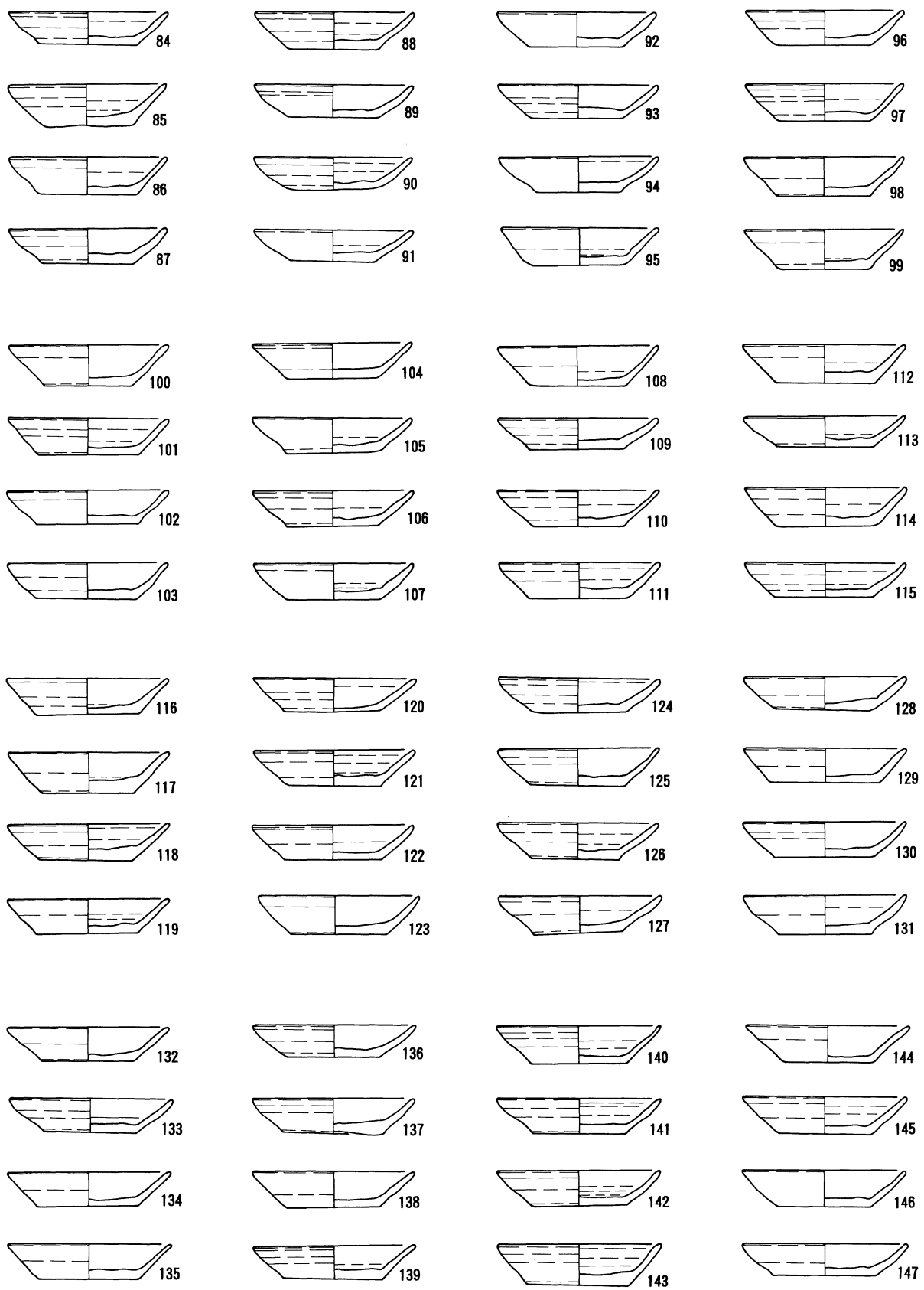


图108 SK 出土遺物 (5)



SK-340

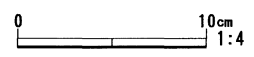
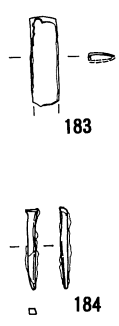
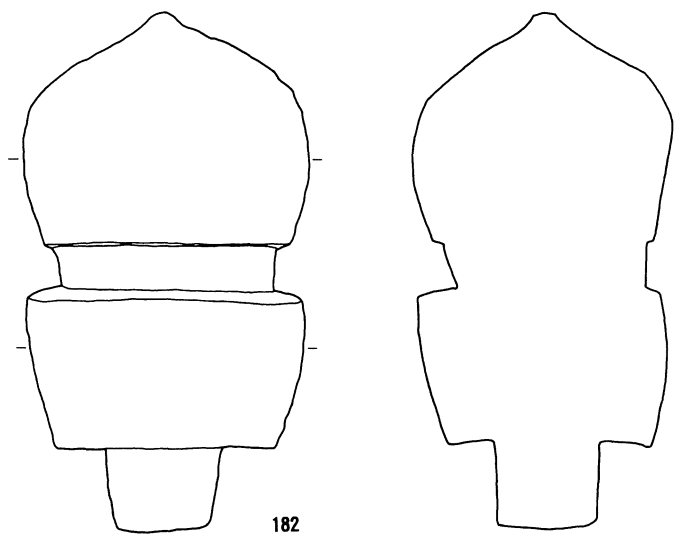
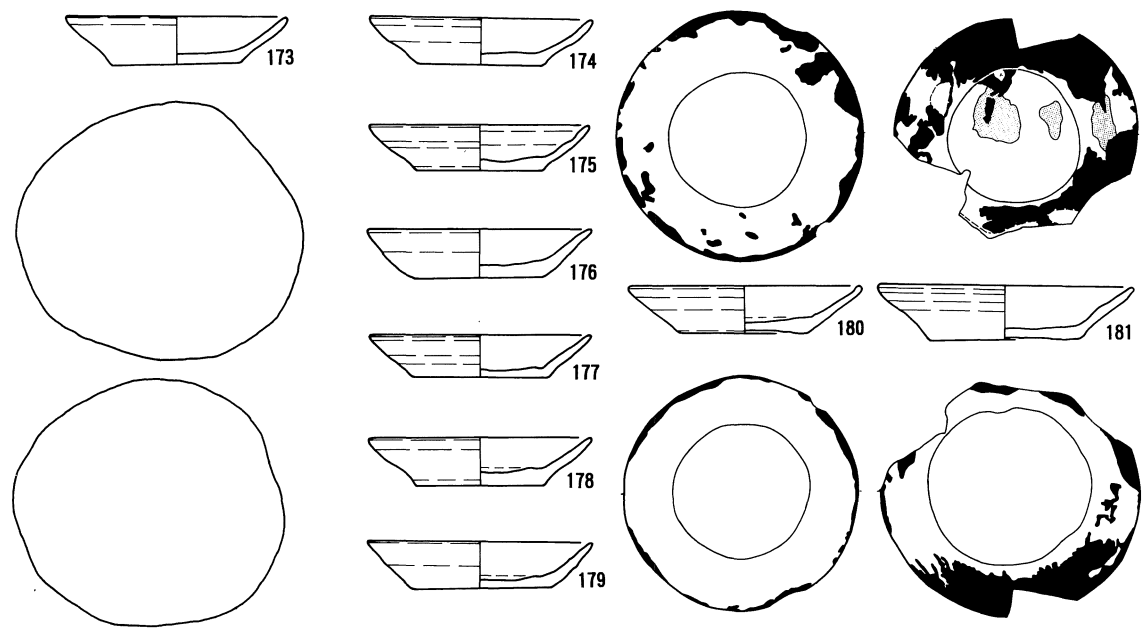
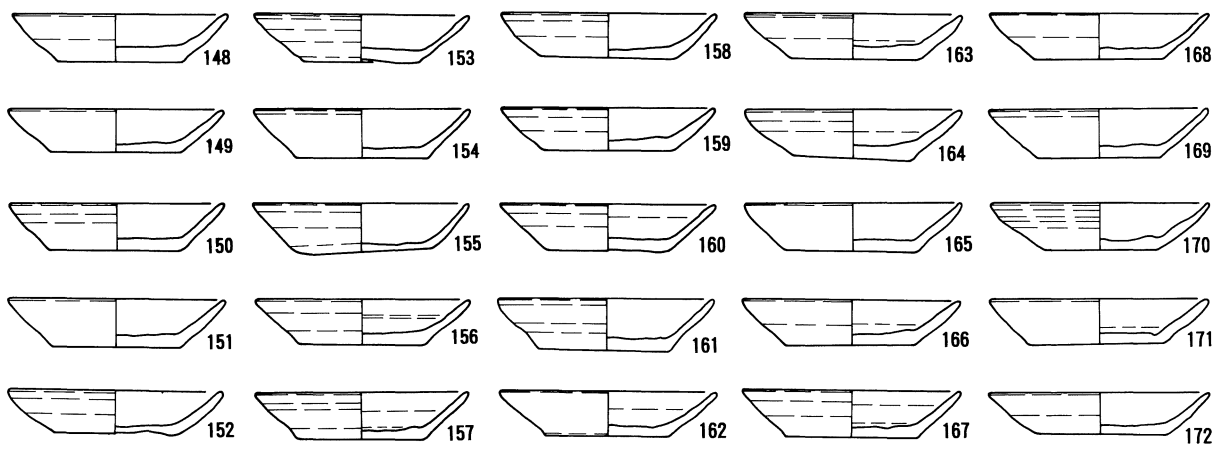
图109 SK 出土遺物 (6)



SK-340



图110 SK 出土遺物 (7)



SK-340
 图111 SK 出土遺物 (8)

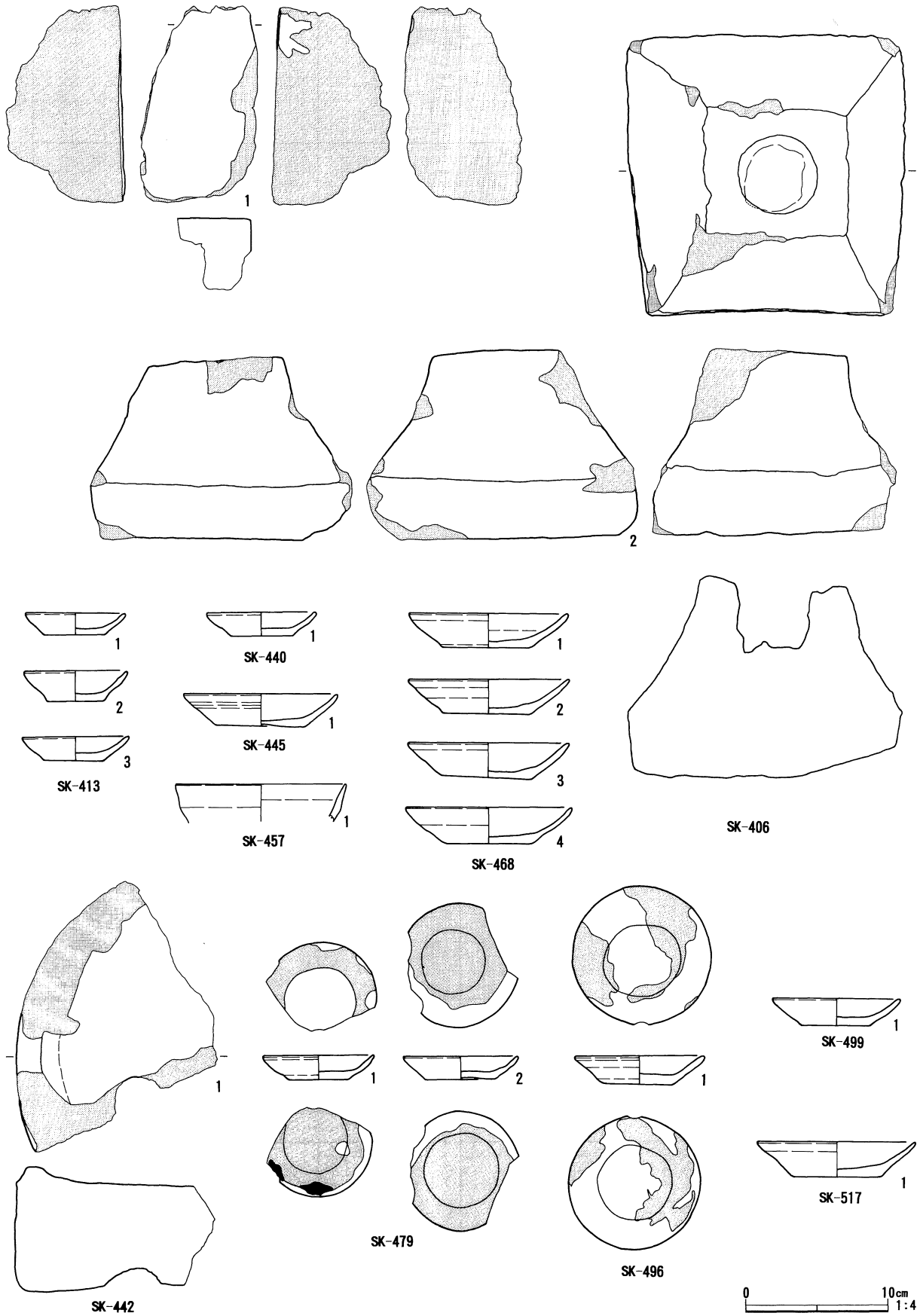
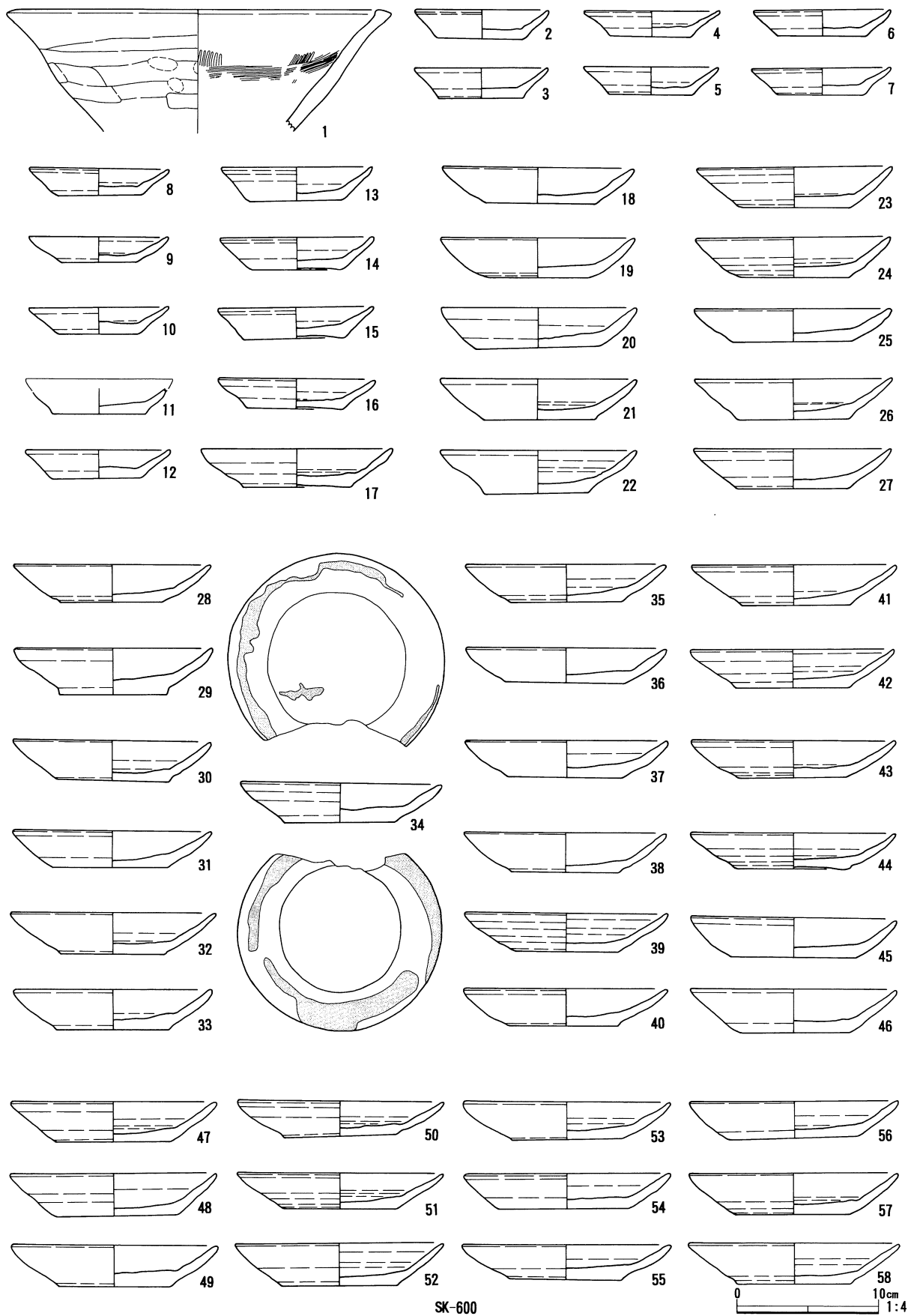
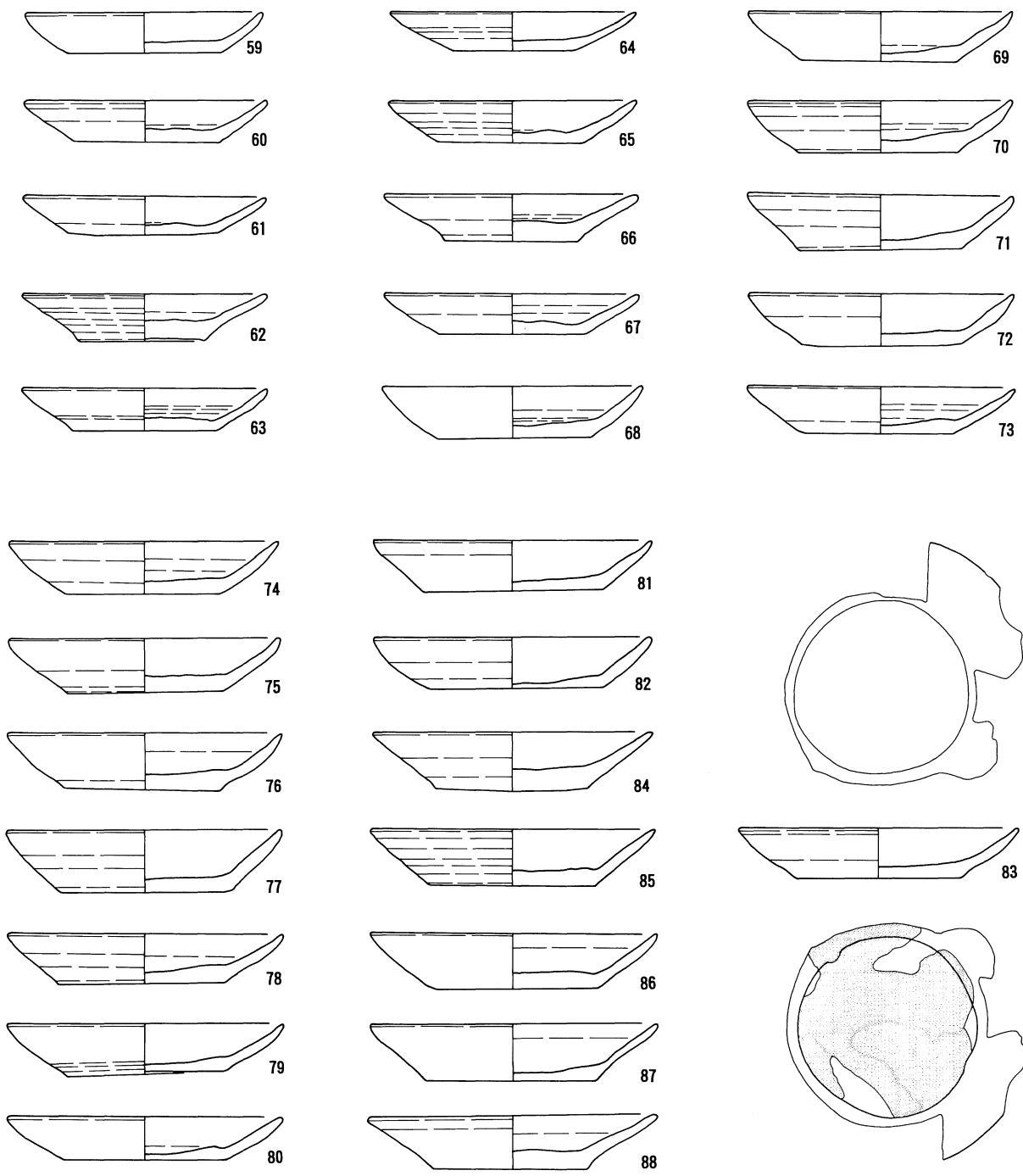


图112 SK 出土遺物 (9)



SK-600
 图113 SK 出土遺物 (10)



SK-600

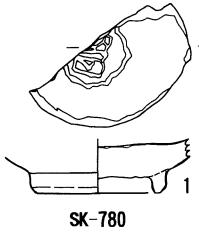
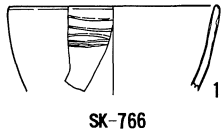
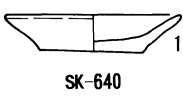


图114 SK 出土遺物 (11)

SK-141

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 7.1 底径 4.3 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部一部欠損。煤付着。

SK-156

No.	種類	器種	法量 (cm・g)	備考
1	銅製品		長さ5.2 幅1.1 厚さ0.1 重さ7.2。板状を呈す。	

SK-159

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	白磁小皿	口径 (9.6) 底径 4.1 器高 2.2	緩やかな膨らみをもつ体部中位。高台挟り。	体部ロクロ整形。	内外一灰白色	1/2。見込目跡。全面施釉。
2	古瀬戸小皿	口径 (10.0) 底径 4.0 器高 2.0	緩やかに立ち上がる体部。底部は平底。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。	内外一鈍い黄橙色、釉は灰オリーブ色	2/3。内外面灰釉。

SK-161

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	白磁角杯	口径 — 底径 — 器高 —			内外一灰白色	口縁～体部破片。

SK-163

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	白磁小皿	口径 — 底径 (3.8) 器高 —	高台挟り。	体部ロクロ整形。	内外一灰白色	底部～高台部 1/3。見込目跡。全面施釉。

SK-167

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 7.4 底径 4.4 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠損。
2	中世土器 かわらけ	口径 8.0 底径 4.4 器高 1.8	直線的に外反する体部。底部は平底。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	白色粒・褐色粒・黒色粒 内外一鈍い黄橙色	2/3。内面煤付着。

SK-169

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 7.3 底径 4.5 器高 1.9	緩やかに立ち上がる体部。底部は平底。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	白色粒・褐色粒・黒色粒 内外一灰色	ほぼ完形。内外面煤付着。

SK-176

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	白磁小皿	口径 (9.4) 底径 — 器高 —		体部ロクロ整形。	夾雑物なし 内外一灰白色	口縁～体部破片。
2	中世土器 かわらけ	口径 7.2 底径 4.7 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部一部欠損。

SK-177

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 (12.0) 底径 (6.8) 器高 (3.1)	緩やかに立ち上がる体部。底部は平底。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	夾雑物なし 内外一褐灰～灰赤色	1/5。内外面煤付着。

2	中世土器 かわらけ	口径 (7.3) 底径 4.6 器高 1.8	直線的に外反する体部。底部は平底。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	白色粒・黒色粒 内外一灰色	3/4。 内外面煤付着。
3	中世土器 かわらけ	口径 7.2 底径 4.2 器高 2.0	直線的に外反する体部。底部は平底。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	白色粒・黒色粒 内外一灰色	完形。 内外面煤付着。
4	中世土器 かわらけ	口径 6.8 底径 4.2 器高 1.9	直線的に外反する体部。底部は平底。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	白色粒・黒色粒 内外一褐色	3/4。 内外面煤付着。
5	中世土器 かわらけ	口径 7.3 底径 4.8 器高 2.1	僅かな膨らみをもつ体部。底部は平底。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	白色粒・黒色粒 内外一黄褐色	完形。 内外面煤付着。
6	中世土器 かわらけ	口径 7.2 底径 3.8 器高 1.8	直線的に外反する体部。底部は平底。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	白色粒 内外一褐色	2/3。 内面煤付着。
7	中世土器 かわらけ	口径 7.7 底径 4.8 器高 2.0	直線的に外反する体部。底部は平底。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	白色粒 内外一褐色	3/4。 内外面煤付着。
8	中世土器 かわらけ	口径 7.0 底径 5.0 器高 2.1	直線的に外反する体部。底部は平底。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り後ヘラナデ。	白色粒・褐色粒 内外一灰色	2/3。 内面煤付着。
9	中世土器 かわらけ	口径 10.0 底径 5.3 器高 2.8	緩やかに立ち上がる体部。底部は平底。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	白色粒・黒色粒 内外一褐色	ほぼ完形。 内外面煤付着。
10	中世土器 かわらけ	口径 11.2 底径 6.6 器高 2.4	直線的に外反する体部。底部は平底。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	白色粒・黒色粒 内外一灰～褐色	4/5。 内外面煤付着。
11	中世土器 かわらけ	口径 11.5 底径 6.0 器高 2.3	彎曲気味に外反する体部。底部は平底。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	白色粒 内外一黄灰色	4/5。 内外面煤付着。

SK-182

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 10.7 底径 6.2 器高 2.2	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。	橙色	口縁部 2/5 欠損。

SK-191

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	古瀬戸 小皿	口径 9.3 底径 3.7 器高 2.1	僅かな膨らみをもつ体部中位。底部は平底。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。	内外一鈍い黄橙色、釉はオリブ灰色	口縁部一部欠損。内外面灰釉。
2	中世土器 かわらけ	口径 7.1 底径 4.5 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/5 欠損。煤付着。
3	中世土器 かわらけ	口径 7.5 底径 4.2 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。煤付着。
4	中世土器 かわらけ	口径 10.6 底径 6.2 器高 2.9	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面一部横ナデ。	にぶい橙色	ほぼ完形。煤付着。
5	中世土器 かわらけ	口径 (10.9) 底径 6.8 器高 2.5	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	橙色	1/2。底部外面木目圧痕。

SK-193

No.	種類	器種	法量 (cm・g)	備考
1	銅製品	古銭	長さ3.4 幅3.0 厚さ1.6 重さ33.7。融着した塊。	

SK-195

No.	種類	器種	法 量 (cm・g)	備考
1	銅製品	刀子	残存長5.2 幅1.6 厚さ0.1 重さ4.7。	
2	銅製品	不明	残存直径9.1 厚さ0.1 重さ54.4。円盤状を呈す。	

SK-200

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 角皿	口径 17.2 底径 — 器高 —	平面形は方形を呈し、浅い体部は直線的に外反。	外面一口縁部ヨコナデ、底部ヘラケズリ。内面一口縁部ヨコナデ、底部ヘラナデ。	細砂粒 内外一明赤褐色	2/3、底部剥離。

SK-202

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 7.4 底径 3.8 器高 2.1	口縁部は直線的に立ち上がり、中で肥厚する。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。底部内面横ナデ。	浅黄橙色	口縁部 1/3 欠損。底部外面木目圧痕。煤付着。
2	中世土器 かわらけ	口径 12.7 底径 7.5 器高 2.3	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。煤付着。

SK-212

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	白磁 小皿	口径 7.8 底径 — 器高 —	浅い体部。	体部ロクロ整形。	夾雑物なし 内外一灰白色	口縁～体部破片。
2	中世土器 かわらけ	口径 7.7 底径 4.7 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	ほぼ完形。煤付着。

SK-215

No.	種類	器種	法 量 (cm・g)	備考
1	銅製品	不明	直径1.3 ×1.0 幅0.8 厚さ0.1 重さ1.4。輪状を呈す。	
2	銅製品	不明	長さ2.8 幅0.7 厚さ0.15 重さ1.7。	
3	銅製品	不明	長さ1.9 幅0.6 厚さ0.1 重さ0.4。	
4	銅製品	不明	残存長1.7 幅0.75 厚さ0.1 重さ0.6。	

SK-216

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	白磁 小皿	口径 8.4 底径 3.5 器高 2.0	緩やかに外反する体部。高台折り。	体部ロクロ整形。	内外一灰白色	完形。見込目跡。全面施釉。
2	白磁 小皿	口径 8.0 底径 3.6 器高 2.1	彎曲気味に立ち上がる体部。高台折り。	体部ロクロ整形。	内外一灰白色	口縁部一部欠損。見込目跡。全面施釉。
3	白磁 小皿	口径 (10.0) 底径 — 器高 —	浅い体部。	体部ロクロ整形。	夾雑物なし 内外一灰白色	口縁～体部破片。

SK-226

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 耳皿	口径3.0・5.4 底径 2.8 器高 2.1	弱い内彎度。底部は平底。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	黒色粒・褐色粒・雲母 内外一鈍い橙色	完形。
2	中世土器 耳皿	口径2.9・5.3 底径 2.8 器高 2.1	弱い内彎度。底部は平底。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	黒色粒・褐色粒・雲母 内外一鈍い橙色	ほぼ完形。

SK-228

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 4.4 底径 2.8 器高 1.2	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	完形。

SK-234

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 11.8 底径 6.9 器高 2.2	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/4 欠損。底部外面木目圧痕。

SK-235

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 香炉	口径 — 底径 — 器高 —	接地面がやや丸い三角形の脚部。	底部ヘラナデ。	白色粒・黒色粒 内外—鈍い黄橙色	底部 1/2。

SK-236

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 (7.9) 底径 4.1 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	灰黄褐色	口縁部 3/5 欠損。煤付着。還元化。
2	中世土器 かわらけ	口径 8.3 底径 4.4 器高 1.8	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/5 欠損。

SK-237

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 6.6 底径 4.0 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい黄橙色	完形。
2	中世土器 かわらけ	口径 (6.8) 底径 4.3 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	橙色	口縁部 2/3 欠損。
3	中世土器 かわらけ	口径 (7.2) 底径 4.8 器高 1.7	口縁部は外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/5 欠損。
4	中世土器 かわらけ	口径 7.2 底径 4.3 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。底部内面横ナデ。	橙色	完形。

SK-238

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 (7.7) 底径 4.4 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	橙色	口縁部 3/4 欠損。
2	中世土器 かわらけ	口径 7.9 底径 4.2 器高 1.8	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
3	中世土器 かわらけ	口径 7.9 底径 5.5 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/3 欠損。
4	中世土器 かわらけ	口径 (12.3) 底径 6.7 器高 2.1	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。	橙色	口縁部 5/6 欠損。

SK-240

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 7.2 底径 4.9 器高 1.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。	橙色	完形。底部外面木目圧痕。煤付着。
2	中世土器 かわらけ	口径 13.6 底径 6.1 器高 2.3	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠損。煤付着。

SK-249

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 7.1 底径 4.0 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	黒褐色	口縁部 3/4 欠損。煤付着。
2	中世土器 かわらけ	口径 7.4 底径 4.6 器高 1.9	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面不定方向ナデ。	にぶい黄橙色	口縁部 2/5 欠損。底部外面木目圧痕。煤付着。
3	中世土器 かわらけ	口径 8.4 底径 5.2 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	橙色	2/3。
4	中世土器 かわらけ	口径 (10.4) 底径 5.1 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/3 欠損。
5	中世土器 かわらけ	口径 11.0 底径 5.4 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。煤付着。
6	中世土器 かわらけ	口径 11.4 底径 5.6 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
7	中世土器 かわらけ	口径 12.7 底径 6.4 器高 3.2	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 2/3 欠損。
8	中世土器 かわらけ	口径 12.9 底径 6.5 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 7/8 欠損。
9	中世土器 かわらけ	口径 (14.2) 底径 6.7 器高 3.3	口縁部は外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	にぶい橙色	口縁部 2/3 欠損。
10	中世土器 かわらけ	口径 (14.5) 底径 7.2 器高 2.9	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	橙色	口縁部 3/4 欠損。底部外面木目圧痕。
11	中世土器 かわらけ	口径 17.6 底径 8.9 器高 3.9	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/4 欠損。煤付着。

SK-252

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 (4.7) 底径 2.8 器高 1.4	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	1/2。
2	中世土器 かわらけ	口径 7.2 底径 4.1 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で肥厚する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/4 欠損。

3	中世土器 かわらけ	口径 7.7 底径 4.2 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/5 欠損。
4	中世土器 かわらけ	口径 7.8 底径 4.8 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で肥厚する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/6 欠損。煤付着。
5	中世土器 かわらけ	口径 (8.0) 底径 (5.5) 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/4 欠損。
6	中世土器 かわらけ	口径 9.3 底径 5.5 器高 2.0	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	橙色	完形。底部外面木目圧痕。
7	中世土器 かわらけ	口径 (8.2) 底径 (3.6) 器高 2.0	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	橙色	口縁部 3/5 欠損。煤付着。
8	中世土器 かわらけ	口径 11.1 底径 6.4 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で外反し、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。底部外面木目圧痕。
9	中世土器 かわらけ	口径 11.4 底径 6.7 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	完形。
10	中世土器 かわらけ	口径 12.2 底径 7.3 器高 2.3	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/4 欠損。
11	中世土器 かわらけ	口径 (12.3) 底径 (7.4) 器高 2.6	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	1/3。
12	中世土器 かわらけ	口径 (12.8) 底径 (6.4) 器高 3.1	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	2/5。煤付着。
13	中世土器 かわらけ	口径 13.0 底径 6.2 器高 2.9	口縁部は内彎しつつ立ち上がり、中位で外反する。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。	橙色	口縁部 3/4 欠損。
14	中世土器 かわらけ	口径 12.0 底径 6.0 器高 2.9	口縁部は外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。	橙色	1/2。
15	中世土器 かわらけ	口径 13.1 底径 7.9 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 3/5 欠損。煤付着。
16	中世土器 かわらけ	口径 13.2 底径 7.0 器高 2.9	口縁部は内彎しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに外反し、口唇部は内彎する。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。	橙色	口縁部 2/5 欠損。煤付着。
17	中世土器 かわらけ	口径 14.3 底径 6.6 器高 3.3	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で外反する。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。	橙色	口縁部一部欠損。底部外面木目圧痕。
18	中世土器 かわらけ	口径 (15.2) 底径 7.2 器高 3.4	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で外反する。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。	橙色	口縁部 3/5 欠損。

SK-258

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 (11.7) 底径 6.4 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい黄橙色	口縁部 5/6 欠損。
No.	種類	器種	法 量 (cm・g)			備考
2	石製品	硯	長さ(9.4) 幅(4.7) 厚さ1.7。			粘板岩。

SK-259

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 12.7 底径 6.6 器高 3.2	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部一部欠 損。煤付着。

SK-260

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 11.6 底径 6.4 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/4 欠 損。

SK-261

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 11.5 底径 6.2 器高 2.7	口縁部はゆるやかに外反しつつ 立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい黄橙色	口縁部 2/5 欠 損。煤付着。

SK-269

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 7.5 底径 4.1 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 1/3 欠 損。

SK-273

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 内耳鍋	口径 27.4 底径 18.4 器高 13.3	彎曲して開く口縁部。	外面—ロクロ整形、胴部上半ナ デ、下半横位ヘラナデ後ヘラケ ズリ。内面—ロクロ整形、胴部 横位ヘラナデ。	白色粒 内外—黒褐～橙 色	2/3。 底部に2.5 cm角 の焼成後穿孔。
2	中世土器 内耳鍋	口径 33.7 底径 25.3 器高 18.3	彎曲気味に開く口縁部。	外面—ロクロ整形、胴部上・中 位ナデ、下位横位ヘラナデ。 内面—ロクロ整形、胴部横位ヘ ラナデ。	白色粒 内外—鈍い褐～ 黒褐色	3/4。
3	中世土器 かわらけ	口径 (10.6) 底径 7.5 器高 2.0	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	黄橙色	1/2。煤付着。
4	中世土器 かわらけ	口径 (11.0) 底径 (5.5) 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 4/5 欠 損。

SK-286

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	白磁 小皿	口径 — 底径 2.7 器高 —	釉剥ぎ取り。	体部ロクロ整形。	夾雑物なし 内外—灰白色	体部～高台部 4/5。
2	中世土器 かわらけ	口径 (7.4) 底径 3.9 器高 1.7	口縁部はゆるやかに内彎しつつ 立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部回転糸切 り。	橙色	口縁部 3/4 欠 損。
3	中世土器 かわらけ	口径 (13.9) 底径 7.4 器高 3.4	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 3/4 欠 損。底部外面木 目圧痕。

SK-287

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 6.6 底径 4.7 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/4 欠 損。
2	中世土器 かわらけ	口径 11.8 底径 6.3 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がり、 口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 1/5 欠 損。煤付着。

SK-340

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	染付碗	口径 — 底径 (4.0) 器高 —	接地面がやや尖った高台。	体部ロクロ整形。	夾雑物なし 内外一白色	底部～高台部 1/3。
2	中世土器 かわらけ	口径 7.0 底径 4.8 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。煤付着。
3	中世土器 かわらけ	口径 (7.4) 底径 4.5 器高 2.0	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がり、中位で外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
4	中世土器 かわらけ	口径 (7.4) 底径 3.9 器高 2.0	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/4 欠損。
5	中世土器 かわらけ	口径 7.4 底径 4.6 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠損。
6	中世土器 かわらけ	口径 7.5 底径 3.7 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	橙色	口縁部 2/5 欠損。
7	中世土器 かわらけ	口径 (7.5) 底径 3.6 器高 2.3	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/3 欠損。
8	中世土器 かわらけ	口径 (7.5) 底径 3.9 器高 1.8	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/4 欠損。
9	中世土器 かわらけ	口径 7.5 底径 3.6 器高 2.1	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で外反し、口唇部は内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/5 欠損。
10	中世土器 かわらけ	口径 (7.5) 底径 3.9 器高 1.9	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/5 欠損。
11	中世土器 かわらけ	口径 7.5 底径 4.3 器高 2.0	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/3 欠損。
12	中世土器 かわらけ	口径 7.5 底径 4.1 器高 2.0	口縁部は外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/3 欠損。
13	中世土器 かわらけ	口径 7.6 底径 4.3 器高 1.8	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/4 欠損。
14	中世土器 かわらけ	口径 7.6 底径 4.5 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 3/4 欠損。
15	中世土器 かわらけ	口径 7.6 底径 4.1 器高 1.7	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/5 欠損。
16	中世土器 かわらけ	口径 7.6 底径 4.2 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
17	中世土器 かわらけ	口径 (7.6) 底径 4.4 器高 1.8	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 2/3 欠損。

18	中世土器 かわらけ	口径 7.7 底径 3.8 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	完形。
19	中世土器 かわらけ	口径 7.7 底径 4.8 器高 1.8	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部一部欠損。
20	中世土器 かわらけ	口径 7.7 底径 3.8 器高 1.8	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、口唇部は外面が直立する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	完形。
21	中世土器 かわらけ	口径 7.7 底径 4.1 器高 1.9	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	完形。
22	中世土器 かわらけ	口径 7.7 底径 4.1 器高 1.8	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
23	中世土器 かわらけ	口径 7.7 底径 4.2 器高 2.1	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/3 欠損。
24	中世土器 かわらけ	口径 7.7 底径 4.2 器高 1.9	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
25	中世土器 かわらけ	口径 (7.7) 底径 4.2 器高 1.7	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、口唇部は内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠損。
26	中世土器 かわらけ	口径 7.7 底径 4.2 器高 1.7	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠損。煤付着。
27	中世土器 かわらけ	口径 7.7 底径 4.7 器高 1.8	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
28	中世土器 かわらけ	口径 7.7 底径 4.1 器高 1.8	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 2/3 欠損。
29	中世土器 かわらけ	口径 7.7 底径 4.6 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠損。
30	中世土器 かわらけ	口径 (7.7) 底径 4.1 器高 1.8	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 3/5 欠損。
31	中世土器 かわらけ	口径 7.7 底径 3.9 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/3 欠損。煤付着。
32	中世土器 かわらけ	口径 7.7 底径 4.2 器高 1.8	口縁部は外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/3 欠損。
33	中世土器 かわらけ	口径 7.8 底径 4.3 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
34	中世土器 かわらけ	口径 (7.8) 底径 4.1 器高 1.9	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がり、中位で外反し、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/5 欠損。
35	中世土器 かわらけ	口径 7.8 底径 4.5 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。底部外面木目圧痕。

36	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	7.8 4.4 2.0	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で外反し、口唇部は内彎す る。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/4 欠 損。
37	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	(7.8) 4.7 1.8	口縁部はゆるやかに外反しつ つ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 3/5 欠 損。
38	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	7.8 4.2 1.9	口縁部はゆるやかに外反しつ つ立ち上がり、中位でゆるやかに 内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 1/3 欠 損。
39	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	7.8 4.4 1.9	口縁部はゆるやかに外反しつ つ立ち上がり、口唇部はゆるやか に内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	完形。
40	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	7.8 3.9 2.0	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/3 欠 損。
41	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	7.9 4.5 1.9	口縁部はゆるやかに外反しつ つ立ち上がり、中位でゆるやかに 内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	ほぼ完形。
42	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	7.9 4.0 2.3	口縁部はゆるやかに外反しつ つ立ち上がり、中位でゆるやかに 内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	完形。
43	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	(7.9) 4.1 1.9	口縁部はゆるやかに内彎しつ つ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/2 欠 損。
44	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	7.9 4.2 1.9	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠 損。
45	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	(7.9) 4.4 2.0	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 3/5 欠 損。
46	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	7.9 4.1 1.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 一部 欠 損。
47	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	7.9 4.5 1.9	口縁部はゆるやかに外反しつ つ立ち上がり、口唇部はゆるやか に内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 2/5 欠 損。
48	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	7.9 4.5 1.8	口縁部はゆるやかに外反しつ つ立ち上がり、口唇部はゆるやか に内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/2 欠 損。
49	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	7.9 4.4 1.8	口縁部はゆるやかに外反しつ つ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 2/3 欠 損。
50	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	7.9 4.0 1.8	口縁部はゆるやかに外反しつ つ立ち上がり、口唇部はゆるやか に内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/2 欠 損。
51	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	7.9 4.2 1.9	口縁部はゆるやかに外反しつ つ立ち上がり、中位でゆるやかに 内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠 損。
52	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	7.9 3.9 1.6	口縁部はゆるやかに外反しつ つ立ち上がり、口唇部はゆるやか に内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 2/5 欠 損。
53	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	(7.9) 4.0 2.0	口縁部はゆるやかに外反しつ つ立ち上がり、中位でゆるやかに 内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 3/5 欠 損。

54	中世土器 かわらけ	口径 7.9 底径 4.1 器高 1.9	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
55	中世土器 かわらけ	口径 (7.9) 底径 4.2 器高 1.9	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
56	中世土器 かわらけ	口径 8.0 底径 5.2 器高 2.0	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/4 欠損。
57	中世土器 かわらけ	口径 (8.0) 底径 4.0 器高 2.1	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/4 欠損。
58	中世土器 かわらけ	口径 8.0 底径 4.3 器高 1.8	口縁部は外反しつつ立ち上がり、口唇部は内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/4 欠損。
59	中世土器 かわらけ	口径 8.0 底径 4.4 器高 1.9	口縁部は外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/5 欠損。
60	中世土器 かわらけ	口径 8.0 底径 4.3 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/5 欠損。
61	中世土器 かわらけ	口径 8.0 底径 4.0 器高 2.0	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 3/4 欠損。
62	中世土器 かわらけ	口径 8.1 底径 4.8 器高 1.9	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/5 欠損。
63	中世土器 かわらけ	口径 8.1 底径 4.7 器高 2.0	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	ほぼ完形。
64	中世土器 かわらけ	口径 8.1 底径 4.2 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面一部横ナデ。	橙色	口縁部 1/4 欠損。底部外面木目圧痕。
65	中世土器 かわらけ	口径 8.1 底径 4.7 器高 2.0	口縁部は外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	完形。
66	中世土器 かわらけ	口径 (8.1) 底径 3.8 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
67	中世土器 かわらけ	口径 8.1 底径 4.2 器高 2.0	口縁部は外反しつつ立ち上がり、口唇部は内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	ほぼ完形。
68	中世土器 かわらけ	口径 8.2 底径 4.4 器高 1.9	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/5 欠損。
69	中世土器 かわらけ	口径 8.2 底径 5.9 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面不定方向ナデ。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
70	中世土器 かわらけ	口径 8.2 底径 4.4 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で外反し、口唇部は内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/4 欠損。
71	中世土器 かわらけ	口径 8.3 底径 5.1 器高 2.0	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/3 欠損。

72	中世土器 かわらけ	口径 (8.3) 底径 4.5 器高 2.1	口縁部は外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面一部横ナデ。	橙色	口縁部 3/4 欠損。
73	中世土器 かわらけ	口径 10.5 底径 6.3 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
74	中世土器 かわらけ	口径 10.8 底径 6.0 器高 2.1	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
75	中世土器 かわらけ	口径 10.8 底径 6.2 器高 2.6	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/5 欠損。
76	中世土器 かわらけ	口径 10.8 底径 6.9 器高 2.3	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/5 欠損。
77	中世土器 かわらけ	口径 10.8 底径 6.6 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/5 欠損。
78	中世土器 かわらけ	口径 (10.8) 底径 6.5 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/4 欠損。
79	中世土器 かわらけ	口径 10.9 底径 6.6 器高 2.5	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/5 欠損。
80	中世土器 かわらけ	口径 10.9 底径 6.3 器高 2.2	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
81	中世土器 かわらけ	口径 (11.0) 底径 6.1 器高 2.4	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 3/4 欠損。
82	中世土器 かわらけ	口径 11.0 底径 6.7 器高 2.2	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	橙色	完形。
83	中世土器 かわらけ	口径 11.0 底径 6.9 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
84	中世土器 かわらけ	口径 11.0 底径 6.3 器高 2.3	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
85	中世土器 かわらけ	口径 11.0 底径 6.2 器高 3.0	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	橙色	口縁部 2/5 欠損。底部外面木目圧痕。
86	中世土器 かわらけ	口径 11.0 底径 6.8 器高 2.6	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	3/5。
87	中世土器 かわらけ	口径 11.0 底径 6.3 器高 2.4	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
88	中世土器 かわらけ	口径 11.1 底径 6.3 器高 2.6	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/3 欠損。
89	中世土器 かわらけ	口径 (11.1) 底径 6.3 器高 2.3	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	にぶい橙色	口縁部 1/4 欠損。

90	中世土器 かわらけ	口径 11.1 底径 6.7 器高 2.3	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/3 欠損。
91	中世土器 かわらけ	口径 11.1 底径 6.0 器高 2.2	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/4 欠損。
92	中世土器 かわらけ	口径 11.1 底径 6.5 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で肥厚する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
93	中世土器 かわらけ	口径 11.1 底径 6.4 器高 2.3	口縁部は外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	ほぼ完形。
94	中世土器 かわらけ	口径 (11.1) 底径 5.8 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 5/6 欠損。
95	中世土器 かわらけ	口径 11.1 底径 6.6 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/5 欠損。
96	中世土器 かわらけ	口径 11.1 底径 6.5 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 3/5 欠損。
97	中世土器 かわらけ	口径 (11.1) 底径 6.6 器高 2.6	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 5/6 欠損。
98	中世土器 かわらけ	口径 (11.2) 底径 6.6 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 5/6 欠損。
99	中世土器 かわらけ	口径 (11.2) 底径 6.5 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠損。
100	中世土器 かわらけ	口径 (11.2) 底径 6.1 器高 2.9	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がり、口唇部は外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 3/4 欠損。
101	中世土器 かわらけ	口径 11.2 底径 7.0 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部は外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠損。
102	中世土器 かわらけ	口径 (11.2) 底径 7.1 器高 2.3	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 4/5 欠損。
103	中世土器 かわらけ	口径 11.2 底径 7.0 器高 2.5	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がり、口唇部はゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
104	中世土器 かわらけ	口径 11.2 底径 6.3 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/4 欠損。
105	中世土器 かわらけ	口径 11.2 底径 6.7 器高 2.5	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 4/5 欠損。
106	中世土器 かわらけ	口径 11.2 底径 6.5 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠損。
107	中世土器 かわらけ	口径 (11.2) 底径 6.5 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 3/5 欠損。

108	中世土器 かわらけ	口径 11.2 底径 6.6 器高 2.8	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/5 欠損。
109	中世土器 かわらけ	口径 11.2 底径 6.7 器高 2.2	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
110	中世土器 かわらけ	口径 11.2 底径 6.4 器高 2.5	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/5 欠損。底部外面木目圧痕。
111	中世土器 かわらけ	口径 11.2 底径 6.8 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/4 欠損。
112	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 6.9 器高 2.7	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/4 欠損。
113	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 6.8 器高 2.1	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 2/5 欠損。
114	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 7.1 器高 2.8	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
115	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 6.9 器高 2.4	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	にぶい橙色	完形。
116	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 7.1 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに内彎し、口唇部はゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部一部欠損。
117	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 6.5 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/3 欠損。
118	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 6.6 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面一部横ナデ。	橙色	口縁部 1/4 欠損。
119	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 7.1 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/5 欠損。
120	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 6.7 器高 2.3	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	ほぼ完形。
121	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 6.5 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	完形。
122	中世土器 かわらけ	口径 (11.3) 底径 6.9 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
123	中世土器 かわらけ	口径 (11.3) 底径 6.8 器高 2.7	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/4 欠損。
124	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 6.6 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/5 欠損。
125	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 6.6 器高 2.6	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠損。

126	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 6.1 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
127	中世土器 かわらけ	口径 11.4 底径 6.2 器高 2.6	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位で内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
128	中世土器 かわらけ	口径 11.4 底径 6.8 器高 2.3	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/4 欠損。
129	中世土器 かわらけ	口径 (11.4) 底径 7.7 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/5 欠損。
130	中世土器 かわらけ	口径 (11.4) 底径 6.9 器高 2.4	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 4/5 欠損。
131	中世土器 かわらけ	口径 (11.4) 底径 6.6 器高 2.7	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 3/5 欠損。
132	中世土器 かわらけ	口径 (11.4) 底径 6.5 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 2/3 欠損。
133	中世土器 かわらけ	口径 11.4 底径 6.6 器高 2.3	口縁部は外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/4 欠損。
134	中世土器 かわらけ	口径 11.4 底径 7.1 器高 2.4	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がり、口唇部はゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
135	中世土器 かわらけ	口径 11.4 底径 7.0 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 2/3 欠損。
136	中世土器 かわらけ	口径 11.4 底径 6.6 器高 2.3	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。底部外面木目圧痕。
137	中世土器 かわらけ	口径 11.4 底径 7.0 器高 2.4	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/4 欠損。
138	中世土器 かわらけ	口径 11.4 底径 6.5 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	ほぼ完形。
139	中世土器 かわらけ	口径 11.4 底径 6.9 器高 2.3	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部一部欠損。
140	中世土器 かわらけ	口径 (11.4) 底径 6.6 器高 2.7	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/4 欠損。
141	中世土器 かわらけ	口径 11.5 底径 7.3 器高 2.6	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
142	中世土器 かわらけ	口径 11.4 底径 6.5 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
143	中世土器 かわらけ	口径 11.4 底径 7.1 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	ほぼ完形。

144	中世土器 かわらけ	口径 (11.4) 底径 6.4 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/2 欠 損。
145	中世土器 かわらけ	口径 11.4 底径 6.5 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 2/5 欠 損。
146	中世土器 かわらけ	口径 (11.4) 底径 6.5 器高 2.5	口縁部はゆるやかに内彎しつつ 立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 3/5 欠 損。
147	中世土器 かわらけ	口径 11.5 底径 7.2 器高 2.2	口縁部は内彎しつつ立ち上る。 がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 2/3 欠 損。
148	中世土器 かわらけ	口径 (11.5) 底径 6.7 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 2/3 欠 損。
149	中世土器 かわらけ	口径 11.5 底径 7.1 器高 2.3	口縁部はゆるやかに外反しつつ 立ち上がり、中位でゆるやかに 内彎する。	体部ロクロ整形、底部右回転糸 切り。	橙色	口縁部 3/5 欠 損。
150	中世土器 かわらけ	口径 11.5 底径 7.2 器高 2.5	口縁部はゆるやかに外反しつつ 立ち上がり、中位でゆるやかに 内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 2/5 欠 損。
151	中世土器 かわらけ	口径 (11.5) 底径 6.8 器高 2.6	口縁部はゆるやかに内彎しつつ 立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 4/5 欠 損。
152	中世土器 かわらけ	口径 11.5 底径 6.5 器高 2.3	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 2/5 欠 損。
153	中世土器 かわらけ	口径 (11.5) 底径 6.1 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠 損。
154	中世土器 かわらけ	口径 11.5 底径 7.1 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 2/3 欠 損。
155	中世土器 かわらけ	口径 11.5 底径 7.3 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部回転糸切 り。底部内面横ナデ。	にぶい橙色	1/2。底部外面 木目圧痕。
156	中世土器 かわらけ	口径 11.5 底径 6.8 器高 2.5	口縁部はゆるやかに外反しつつ 立ち上がり、中位で内彎する。	体部ロクロ整形、底部回転糸切 り。底部内面横ナデ。	にぶい橙色	完形。
157	中世土器 かわらけ	口径 11.5 底径 6.8 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。底部内面横ナデ。	橙色	口縁部 一部 欠 損。
158	中世土器 かわらけ	口径 11.5 底径 7.3 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに内彎し、口唇 部はゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 2/5 欠 損。
159	中世土器 かわらけ	口径 11.5 底径 7.0 器高 2.3	口縁部は直線的に立ち上がり、 口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 3/4 欠 損。
160	中世土器 かわらけ	口径 (11.6) 底径 6.4 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 2/3 欠 損。
161	中世土器 かわらけ	口径 11.6 底径 7.0 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	完形。

162	中世土器 かわらけ	口径 11.6 底径 6.6 器高 2.4	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/4 欠損。
163	中世土器 かわらけ	口径 11.6 底径 6.9 器高 2.4	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	橙色	口縁部一部欠損。
164	中世土器 かわらけ	口径 11.6 底径 6.3 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	にぶい橙色	口縁部 1/6 欠損。
165	中世土器 かわらけ	口径 11.6 底径 7.2 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部一部欠損。
166	中世土器 かわらけ	口径 11.6 底径 6.9 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	橙色	口縁部 1/4 欠損。底部外面木目圧痕。
167	中世土器 かわらけ	口径 (11.6) 底径 7.1 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	橙色	口縁部 2/3 欠損。底部外面木目圧痕。
168	中世土器 かわらけ	口径 11.6 底径 6.8 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/3 欠損。
169	中世土器 かわらけ	口径 (11.7) 底径 6.5 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 3/4 欠損。
170	中世土器 かわらけ	口径 (11.7) 底径 (6.0) 器高 2.5	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 2/3 欠損。
171	中世土器 かわらけ	口径 11.7 底径 7.1 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/5 欠損。
172	中世土器 かわらけ	口径 11.8 底径 6.9 器高 2.2	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 2/5 欠損。
173	中世土器 かわらけ	口径 11.8 底径 6.8 器高 2.6	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。底部内面横ナデ。	にぶい橙色	口縁部一部欠損。底部外面木目圧痕。
174	中世土器 かわらけ	口径 11.8 底径 6.7 器高 2.5	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	にぶい橙色	口縁部 1/4 欠損。底部外面木目圧痕。
175	中世土器 かわらけ	口径 (11.8) 底径 6.8 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 3/5 欠損。底部外面木目圧痕。
176	中世土器 かわらけ	口径 11.9 底径 6.9 器高 2.6	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がり、口唇部は外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 3/5 欠損。
177	中世土器 かわらけ	口径 11.9 底径 7.2 器高 2.3	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/3 欠損。
178	中世土器 かわらけ	口径 (11.9) 底径 6.8 器高 2.7	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 3/5 欠損。
179	中世土器 かわらけ	口径 12.0 底径 7.4 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	橙色	口縁部 3/4 欠損。底部外面木目圧痕。

180	中世土器 かわらけ	口径 12.4 底径 6.7 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	ほぼ完形。煤付 着。
181	中世土器 かわらけ	口径 13.6 底径 8.0 器高 2.9	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反し、口唇 部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 2/5 欠 損。煤付着。
No.	種類	器種	法 量 (cm・g)			備考
182	石製品	五輪塔	空輪直径15 風輪直径13 高さ27.4			角閃石安山岩
183	銅製品	刀子	長さ4.7 幅1.4 厚さ0.4 重さ4.6。			
184	鉄製品	釘	長さ4.2 幅0.4 厚さ0.3 重さ3.1。			

SK-406

No.	種類	器種	法 量 (cm・g)	備考
1	石製品	砥石	長さ(6.9) 幅(4.0) 厚さ2.5。	凝灰岩。
2	石製品	五輪塔	火輪縦19.5 横19.3 高さ13.2。	角閃石安山岩

SK-413

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 7.1 底径 4.3 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部回転糸切 り。	橙色	1/2。
2	中世土器 かわらけ	口径 (7.4) 底径 4.0 器高 2.1	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 3/4 欠 損。
3	中世土器 かわらけ	口径 7.6 底径 4.2 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	完形。

SK-440

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 (7.8) 底径 4.3 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 3/5 欠 損。

SK-442

No.	種類	器種	法 量 (cm・g)	備考
1	石製品	石白	直径30.0 厚さ8.6	安山岩。

SK-445

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 10.9 底径 6.3 器高 2.3	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	明黄褐色	ほぼ完形。

SK-457

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	古瀬戸 天目茶碗	口径 (12.0) 底径 — 器高 —	体部と口縁部の境に弱い稜線。	体部ロクロ整形。	内外一褐色	口縁部～体部上 位 1/4。 内外面鉄釉。

SK-468

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 6.2 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/3 欠 損。
2	中世土器 かわらけ	口径 11.4 底径 6.2 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部一部欠 損。

3	中世土器 かわらけ	口径 11.4 底径 6.5 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
4	中世土器 かわらけ	口径 11.8 底径 6.1 器高 2.6	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/3 欠損。

SK-479

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 (7.9) 底径 4.2 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。煤付着。
2	中世土器 かわらけ	口径 8.1 底径 4.7 器高 1.6	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠損。煤付着。

SK-496

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 9.1 底径 4.9 器高 2.0	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	完形。煤付着。

SK-499

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 (9.0) 底径 4.9 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	にぶい黄色	口縁部 1/4 欠損。

SK-517

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 (11.2) 底径 6.2 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反し、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 4/5 欠損。

SK-600

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 播鉢	口径 (25.4) 底径 — 器高 —	直線的に開く体部。	外面—ロクロ整形、体部横位ヘラナデ。内面—ロクロ整形、体部櫛目。	褐色粒 内外—灰黄褐色	口縁部～体部下位 1/4。
2	中世土器 かわらけ	口径 9.5 底径 6.2 器高 2.1	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
3	中世土器 かわらけ	口径 9.6 底径 6.0 器高 2.2	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/3 欠損。
4	中世土器 かわらけ	口径 9.6 底径 5.7 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
5	中世土器 かわらけ	口径 (9.6) 底径 6.0 器高 2.0	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/4 欠損。
6	中世土器 かわらけ	口径 9.7 底径 6.2 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠損。

7	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	9.9 6.2 2.0	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部一部欠損。
8	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	9.9 6.0 2.0	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部一部欠損。
9	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	9.9 5.4 1.8	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/3 欠損。
10	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	9.9 5.6 1.9	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
11	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	— 6.6 —	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部欠損。
12	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	10.4 6.2 2.1	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/4 欠損。
13	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	10.7 6.6 2.4	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/3 欠損。
14	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	10.9 6.2 2.3	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、口唇部は外面が内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/4 欠損。
15	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	11.1 7.2 2.2	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠損。
16	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	11.2 6.9 2.1	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で外反し、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部一部欠損。
17	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	13.6 7.6 2.7	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/4 欠損。
18	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	13.6 7.8 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で肥厚する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	ほぼ完形。
19	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	(13.8) (7.4) 2.8	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/3 欠損。
20	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	13.8 8.8 2.9	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部一部欠損。
21	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	13.9 7.2 3.1	口縁部は外反しつつ立ち上がり、中位で外反し、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	橙色	完形。
22	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	13.9 7.8 2.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口唇部一部欠損。
23	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	13.9 7.7 2.9	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	完形。
24	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	13.9 7.7 2.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部一部欠損。

25	中世土器 かわらけ	口径 14.0 底径 8.4 器高 2.3	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	2/5。
26	中世土器 かわらけ	口径 (14.0) 底径 (7.8) 器高 2.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	にぶい橙色	口唇部一部欠損。
27	中世土器 かわらけ	口径 14.0 底径 7.9 器高 2.8	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	にぶい橙色	口唇部一部欠損。
28	中世土器 かわらけ	口径 14.0 底径 7.3 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	ほぼ完形。
29	中世土器 かわらけ	口径 (14.1) 底径 (7.7) 器高 3.3	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で外反し、口唇部は内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	橙色	口縁部 4/5 欠損。
30	中世土器 かわらけ	口径 (14.1) 底径 (8.0) 器高 2.8	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	にぶい橙色	口縁部 2/5 欠損。
31	中世土器 かわらけ	口径 14.1 底径 8.2 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠損。底部外面木目圧痕。
32	中世土器 かわらけ	口径 (14.2) 底径 7.4 器高 3.0	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面一部横ナデ。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
33	中世土器 かわらけ	口径 (14.2) 底径 7.9 器高 2.9	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反し、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	橙色	口縁部 3/4 欠損。底部外面木目圧痕。
34	中世土器 かわらけ	口径 14.2 底径 7.8 器高 2.8	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/4 欠損。煤付着。
35	中世土器 かわらけ	口径 14.2 底径 7.9 器高 2.7	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	にぶい橙色	ほぼ完形。
36	中世土器 かわらけ	口径 14.3 底径 8.5 器高 2.5	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がり、中位で肥厚する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	ほぼ完形。
37	中世土器 かわらけ	口径 14.4 底径 8.1 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で肥厚する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	ほぼ完形。
38	中世土器 かわらけ	口径 (14.4) 底径 (7.6) 器高 2.8	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 4/5 欠損。
39	中世土器 かわらけ	口径 14.4 底径 7.3 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反し、口唇部は内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部一部欠損。
40	中世土器 かわらけ	口径 (14.5) 底径 7.8 器高 2.6	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	4/5。
41	中世土器 かわらけ	口径 14.5 底径 7.7 器高 2.9	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反し、口唇部は内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部一部欠損。
42	中世土器 かわらけ	口径 14.5 底径 8.0 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反し、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	橙色	ほぼ完形。

43	中世土器 かわらけ	口径 14.5 底径 7.7 器高 2.7	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	完形。
44	中世土器 かわらけ	口径 14.5 底径 8.1 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	完形。
45	中世土器 かわらけ	口径 14.6 底径 8.8 器高 2.8	口縁部は内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
46	中世土器 かわらけ	口径 14.6 底径 7.7 器高 3.1	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/4 欠損。
47	中世土器 かわらけ	口径 14.6 底径 8.1 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面一部横ナデ。	橙色	完形。
48	中世土器 かわらけ	口径 14.7 底径 8.7 器高 3.0	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	3/5。
49	中世土器 かわらけ	口径 (14.7) 底径 (8.1) 器高 2.9	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 3/4 欠損。
50	中世土器 かわらけ	口径 14.7 底径 7.9 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で外反し、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	ほぼ完形。
51	中世土器 かわらけ	口径 (14.7) 底径 8.0 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で外反し、口唇部は内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面一部横ナデ。	にぶい橙色	口唇部 1/2 欠損。
52	中世土器 かわらけ	口径 (14.8) 底径 (8.2) 器高 3.0	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で肥厚する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	2/5。
53	中世土器 かわらけ	口径 14.8 底径 7.9 器高 2.7	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部一部欠損。
54	中世土器 かわらけ	口径 14.8 底径 9.4 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/4 欠損。
55	中世土器 かわらけ	口径 14.8 底径 7.9 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で肥厚する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠損。
56	中世土器 かわらけ	口径 14.8 底径 9.0 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で肥厚する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	完形。
57	中世土器 かわらけ	口径 14.8 底径 8.2 器高 2.9	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	ほぼ完形。
58	中世土器 かわらけ	口径 (15.0) 底径 (8.0) 器高 2.9	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。底部内面横ナデ。	にぶい橙色	2/5。
59	中世土器 かわらけ	口径 (15.0) 底径 (9.7) 器高 2.5	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	1/3。
60	中世土器 かわらけ	口径 15.3 底径 9.2 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。	橙色	3/5。

61	中世土器 かわらけ	口径 15.3 底径 9.4 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	橙色	口縁部 2/3 欠損。底部外面木目圧痕。
62	中世土器 かわらけ	口径 15.4 底径 7.8 器高 3.0	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で外反する。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
63	中世土器 かわらけ	口径 15.4 底径 9.1 器高 2.6	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。	橙色	口縁部 2/3 欠損。
64	中世土器 かわらけ	口径 (15.5) 底径 7.6 器高 2.4	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面一部横ナデ。	橙色	口縁部 5/6 欠損。
65	中世土器 かわらけ	口径 15.6 底径 9.2 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	橙色	完形。
66	中世土器 かわらけ	口径 (16.0) 底径 8.4 器高 2.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。	橙色	口縁部一部欠損。
67	中世土器 かわらけ	口径 16.1 底径 9.4 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
68	中世土器 かわらけ	口径 16.3 底径 9.6 器高 3.3	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	ほぼ完形。
69	中世土器 かわらけ	口径 16.6 底径 9.7 器高 3.1	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、口唇部は内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	にぶい橙色	口縁部 2/3 欠損。
70	中世土器 かわらけ	口径 16.6 底径 9.9 器高 3.3	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で肥厚する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面一部横ナデ。	にぶい橙色	口縁部一部欠損。
71	中世土器 かわらけ	口径 16.7 底径 10.2 器高 3.4	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反し、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部一部欠損。
72	中世土器 かわらけ	口径 (16.8) 底径 (10.2) 器高 3.3	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で肥厚する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	にぶい橙色	口縁部 5/6 欠損。
73	中世土器 かわらけ	口径 16.9 底径 9.3 器高 3.0	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反し、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部一部欠損。
74	中世土器 かわらけ	口径 16.9 底径 9.5 器高 3.3	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	完形。
75	中世土器 かわらけ	口径 17.1 底径 9.7 器高 3.4	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
76	中世土器 かわらけ	口径 17.2 底径 9.7 器高 3.5	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	完形。
77	中世土器 かわらけ	口径 17.3 底径 10.8 器高 3.9	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面一部横ナデ。	にぶい橙色	口縁部一部欠損。
78	中世土器 かわらけ	口径 17.3 底径 10.4 器高 3.1	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反し、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面一部横ナデ。	にぶい橙色	口縁部 1/3 欠損。

79	中世土器 かわらけ	口径 17.4 底径 9.7 器高 3.2	口縁部は直線的に立ち上がり、 口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	ほぼ完形。
80	中世土器 かわらけ	口径 (17.4) 底径 (10.2) 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で肥厚する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。底部内面横ナデ。	にぶい橙色	1/2。
81	中世土器 かわらけ	口径 17.5 底径 11.1 器高 3.2	口縁部はゆるやかに外反しつつ 立ち上がり、口唇部は内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	ほぼ完形。
82	中世土器 かわらけ	口径 17.5 底径 10.9 器高 3.2	口縁部はゆるやかに内彎しつつ 立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。底部内面横ナデ。	にぶい橙色	完形。底部外面 木目圧痕。
83	中世土器 かわらけ	口径 (17.6) 底径 10.3 器高 3.1	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で肥厚する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。底部内面一部横ナデ。	にぶい橙色	口縁部 7/8 欠 損。煤付着。
84	中世土器 かわらけ	口径 (17.6) 底径 9.7 器高 3.7	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で外反する。	体部ロクロ整形、底部回転糸切 り。	橙色	口縁部 4/5 欠 損。
85	中世土器 かわらけ	口径 (17.9) 底径 10.3 器高 3.5	口縁部は直線的に立ち上がり、 口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	1/2。
86	中世土器 かわらけ	口径 18.0 底径 10.4 器高 3.5	口縁部はゆるやかに外反しつつ 立ち上がり、口唇部はゆるやかに 内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/2 欠 損。
87	中世土器 かわらけ	口径 18.2 底径 10.6 器高 3.6	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/3 欠 損。
88	中世土器 かわらけ	口径 18.2 底径 9.6 器高 3.4	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部回転糸切 り。	橙色	口縁部 3/5 欠 損。底部外面木 目圧痕。

SK-640

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 9.5 底径 5.5 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部一部欠 損。

SK-766

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	青磁 碗	口径 (11.0) 底径 — 器高 —	深い体部。	体部ロクロ整形。	夾雑物なし 内外一灰オリ ブ色	口縁部～体部破 片。

SK-780

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	青磁 碗	口径 — 底径 6.0 器高 —	直立する接地面がやや尖った高 台。	体部ロクロ整形。	夾雑物なし 内外一灰白色 釉—オリーブ灰 色	底部～高台部 1/2。

土壌一覽表

番号	位置	形 態	長径(m)	单径(m)	深さ(m)	出土遺物	番号	位置	形 態	長径(m)	单径(m)	深さ(m)	出土遺物
1	C-2	不整円形	0.75	0.63	0.3		63	G-5	不 明	(0.6)	0.84	0.2	
2	C-3	不整円形	0.95	0.72	0.2		64	G-6	円 形	0.5	0.48	0.3	
3	C-2	不整円形	0.77	0.55	0.2		65	G-6	円 形	0.6	0.54	0.2	
4	C-1	不整円形	1.6	1.1	0.4		66	G-4	不 整形	1.82	—	0.3	
5	C・D-1・2	隅丸長方形	2.83	1.45	0.6		67	G-4	不 整形	4.05	—	0.1	
6	D-1	不 整形	(2.7)	1.82	0.4		68	G-5	不 明	—	1.64	0.2	
7	C-3	不整円形	0.73	0.62	0.1		69	G-2	不整円形	0.74	0.52	0.25	
8	C-3	円 形	0.83	0.75	0.2		70	G-5	不 明	—	0.75	0.32	
9	C-3	不整円形	0.64	0.6	0.2		71	G-5	不整円形	0.94	0.94	0.4	
10	C-3	楕 円形	0.75	0.67	0.1		72	G-5	不整円形	1.03	0.92	0.2	
11	C-3	不整円形	0.98	0.8	0.2		73	G-5	円 形	0.68	0.65	0.1	
12	D-4	不整円形	0.88	0.76	0.2		74	G-5	不整円形	0.96	0.76	0.4	
13	D-3	円 形	0.58	0.54	0.3		75	G-5	不整円形	0.95	0.85	0.66	
14	D-4	円 形	0.62	0.58	0.1		76	H-1	隅丸長方形	0.94	0.55	0.23	
15	D-4	隅丸長方形	0.7	0.58	0.2		77	H-1	隅丸長方形	1.4	0.65	0.1	
16	D-2・3	不 整形	1.9	1.37	1.1		78	H-1	不整方形	1.1	0.9	0.35	
17	D-1	不 明	(1.13)	—	0.1		79	H-4	隅丸長方形	2.45	1.4	0.2	
18	D-1	不 明	—	—	0.3		80	H-4	隅丸方形	1.12	1.06	0.4	
19	D・E-1	不 明	(0.7)	1.02	0.3		81	G・H-4	不 整形	2.47	2.22	0.2	
20	E-2	隅丸長方形	2.78	0.88	0.3		82	G-4	不整円形	1.2	0.95	0.04	
21	E-2・3	隅丸方形	1.2	1.2	—	硯。	83	H-4	不 整形	2.4	1.35	0.4	
22	E-4	隅丸長方形	3.53	0.76	0.6		84	H-4	円 形	0.9	0.84	0.55	
23	E-4	不整円形	0.75	0.68	0.2		85	H-5	不 明	—	1.6	0.24	
24	E-4・5	隅丸長方形	(2.44)	1.74	1.0		86	H-5	不整円形	1.4	1.3	0.55	
25	E-5	隅丸長方形	(2.6)	0.95	0.4		87	H-1	不 明	(1.3)	1.35	0.35	
26	E-1	隅丸長方形	(0.8)	(0.68)	0.3		88	I-1・2	不 明	1.24	(1.08)	0.1	
27	E-1	不 明	(0.52)	0.47	(0.4)		89	H-4	隅丸長方形	1.84	0.88	0.2	
28	F-1	不整長方形	1.18	0.9	0.3		90	H-4・5	隅丸長方形	2.26	1.56	0.15	
29	F-1	不整円形	0.63	0.55	0.4		91	H-4・5	隅丸長方形	(2.2)	1.95	0.3	
30	F-1	不整円形	0.96	0.9	0.1		92	H-2・3	不整円形	—	—	0.05	かわらけ。
31	F-1	不整円形	0.75	0.68	0.3		93	I-3	不 明	1.2	—	0.1	
32	F-1	不整円形	0.65	0.55	0.5		94	H-2	隅丸長方形	0.8	0.46	0.26	
33	F-1	不整円形	0.55	0.42	0.3		95	I-3	不 明	(1.1)	0.96	0.25	
34	F-2	不 整形	0.78	0.52	0.2		96	I-3	不 明	(0.8)	0.8	0.18	
35	F-2	不整円形	1.08	1.0	0.8		97	I-3	不 整形	1.0	0.74	0.3	
36	F-2	隅丸長方形	(0.58)	0.55	0.8	火鉢。	98	I-3	不整円形	1.12	1.05	0.3	
37	F-2	不整円形	0.7	0.52	0.3		99	I-3	不 整形	0.95	0.86	0.3	
38	F-2	隅丸方形	1.0	0.94	0.7		100	I-3・4	不整円形	1.0	0.9	0.25	
39	F-2	不 整形	0.86	0.42	0.1		101	I-4	不整円形	1.12	1.05	0.2	
40	F-2	不整円形	0.54	0.5	0.1		102	I-5	隅丸長方形	(0.87)	0.7	0.3	
41	F-2	不整円形	0.75	0.72	0.2		103	I-2	不 整形	(3.8)	1.25	0.2	
42	F-2	円 形	0.64	0.62	0.4		104	I・J-2	不 整形	2.35	1.1	0.1	
43	F-3	不整円形	1.0	0.88	0.2		105	I-3	不 整形	0.9	0.6	0.2	
44	F-3	不整長方形	—	0.68	0.2		106	I-3	不 整形	0.7	0.42	0.25	
45	F-3	不整円形	0.75	0.73	0.3		107	I-4	不整円形	0.8	0.66	0.55	
46	F-3	不整円形	0.96	0.72	0.1		108	I-2	不 明	—	1.35	0.4	
47	F-3	不整円形	0.58	0.54	0.3		109	J-2	不整円形	0.64	0.5	0.2	
48	E・F-3	不整円形	0.56	0.42	0.2		110	J-1・2	不整円形	0.65	0.48	0.3	
49	E-3	不整円形	0.53	0.45	0.2		111	J-1	不 明	—	—	0.2	
50	F-3	不整円形	0.92	0.78	0.22		112	J-1	不 整形	0.7	0.48	0.2	
51	F-1	不整円形	0.75	0.65	0.6		113	J-2	不整円形	1.06	1.0	1.25	
52	F・G-1	不整円形	0.8	0.72	0.1		114	J-2	不 明	(0.46)	0.68	0.3	
53	F・G-2	長 方形	1.15	0.75	0.6		115	J-2	不整円形	1.2	1.1	0.25	
54	G-2	隅丸長方形	1.25	0.6	0.5		116	J-2	隅丸長方形	1.16	0.52	0.1	
55	G-2	不整円形	0.62	0.5	0.3		117	J-2	不整円形	1.3	1.1	0.2	
56	G-2	不整円形	0.68	0.47	0.3		118	J-2	長 方形	0.88	0.63	0.2	
57	G-2	不 整形	0.8	0.68	0.15		119	J-2	不 整形	1.14	0.7	0.1	
58	F-2	不整円形	0.95	0.88	0.25		120	J-2	不 明	(1.8)	2.04	0.3	
59	F-3	隅丸長方形	0.75	0.65	0.4		121	J-3	不 整形	0.86	0.65	0.1	
60	G-2	隅丸長方形	0.9	0.42	0.28		122	J・K-2	隅丸長方形	1.44	1.94	0.06	
61	G-2	不 整形	0.6	0.42	0.3		123	J-3	円 形	0.74	0.72	0.2	
62	G-2	不整円形	0.65	0.57	0.26		124	J-3	円 形	0.97	0.87	0.8	

番号	位置	形 態	長径(m)	単径(m)	深さ(m)	出土遺物	番号	位置	形 態	長径(m)	単径(m)	深さ(m)	出土遺物
125	J-3	不 整 形	0.85	0.6	0.2		188	M-3	隅丸長方形	1.1	0.7	0.2	
126	J-3	不 明	—	—	0.3		189	M-4	不 整 円 形	1.3	1.3	0.3	
127	J-3	不 明	(0.6)	0.8	0.2		190	M-4	不 整 形	1.8	0.73	0.15	
128	J-3・4	隅丸長方形	1.9	1.05	0.2		191	L・M-4	隅丸長方形	2.68	0.9	0.3	古瀬戸小皿他。
129	J-4	隅丸長方形	1.0	0.85	0.2		192	L-4	隅丸長方形	0.95	0.55	0.2	
130	J-4	不 明	(1.22)	2.34	0.2		193	L-4	円 形	1.16	1.06	1.0	古銭。
131	J-4	隅丸長方形	0.95	0.8	0.2		194	L-5	隅丸長方形	(1.9)	1.0	0.1	
132	J-4	隅丸長方形	1.58	1.34	0.5	五輪塔。	195	L-5	隅丸長方形	—	0.85	0.45	刀子、銅製品。
133	J-4	楕 円 形	1.4	1.2	0.5		196	M-1・2	不 整 形	0.95	0.45	0.1	
134	J-4	隅 丸 方 形	1.1	1.02	0.1		197	M-1・2	不 整 形	0.9	0.3	0.36	
135	J-5	不 整 形	1.05	0.78	0.2	かわらけ。	198	M-1	不 整 形	0.8	0.38	0.5	
136	J-5	隅丸長方形	1.0	0.66	0.1		199	M-2	隅丸長方形	1.1	0.5	0.35	
137	K-2	不 整 形	1.6	1.25	0.15		200	M-2	不 整 形	0.6	0.44	0.3	角皿。
138	K-3	長 方 形	1.36	0.8	0.5		201	M-2	不 整 円 形	1.02	0.8	0.3	
139	J・K-3	不 整 形	1.8	0.86	0.16		202	M-2・3	不整長方形	2.4	1.7	0.35	かわらけ。
140	K-3	隅丸長方形	2.4	1.18	0.5		203	M-3	不 整 形	1.5	0.68	0.45	
141	K-4	隅丸長方形	2.36	1.0	0.35	かわらけ。	204	M-3	隅丸長方形	(1.0)	0.72	0.1	
142	K-4	不 明	(0.74)	0.88	0.2		205	M-3	不 整 形	2.14	0.86	0.1	
143	J-4	隅丸長方形	1.74	1.28	0.7		206	M-3	隅 丸 方 形	0.82	0.76	0.38	
144	J-4	隅丸長方形	1.2	0.56	0.3		207	M-4	不 明	0.9	(0.5)	0.4	
145	J-5	不 整 円 形	0.95	0.9	0.4		208	M・N-1	不 明	—	—	0.1	
146	J-5	隅丸長方形	0.94	0.56	0.25		209	N-1	不 明	0.92	(0.47)	0.9	
147	K-5	不 整 形	1.34	1.03	0.2		210	N-2	不 整 形	0.76	0.5	0.1	
148	K-4・5	不 整 形	1.16	1.1	0.2		211	N-2	隅丸長方形	1.2	1.0	0.35	
149	J-6	長 方 形	0.83	0.65	0.2		212	N-2	隅丸長方形	(0.52)	0.6	0.2	白磁小皿他。
150	L-1・2	不 整 円 形	0.62	0.62	0.1		213	N-2	隅丸長方形	0.76	(0.52)	0.5	
151	L-2	不 整 円 形	1.26	1.24	0.4		214	N-2	不 整 形	0.7	0.45	0.4	
152	L-2	隅丸長方形	2.25	1.0	0.3		215	M・N-2	不 整 形	(2.22)	0.45	0.3	銅製品。
153	L-2・3	隅丸長方形	2.94	1.5	0.3		216	N-2	隅丸長方形	1.64	1.22	0.25	白磁小皿。
154	L-2・3	不 整 形	—	1.7	0.2		217	N-2	不 明	1.1	(0.36)	0.35	
155	K-3	不整長方形	0.95	0.56	0.4		218	N-2	不 整 形	2.5	1.22	0.26	
156	K-3	長 方 形	0.73	0.48	0.65	銅製品。	219	M・N-3	不 整 形	1.95	1.02	0.2	
157	K-3	隅丸長方形	—	—	0.55		220	N-3	不整長方形	3.0	0.68	0.2	
158	K-3	隅丸長方形	1.11	1.08	0.58		221	N・O-3	不 明	(3.0)	(1.4)	0.2	
159	K-3	隅丸長方形	1.15	0.96	0.6	白磁小皿他。	222	M-4・5	隅 丸 方 形	1.2	1.22	0.18	
160	K-3	不 整 形	1.3	0.88	0.2		223	N-5	不 整 形	1.14	0.86	0.15	
161	K-3	不 整 形	1.22	0.75	0.25	白磁角杯。	224	N-4・5	不 明	—	—	0.12	
162	K-5	不 整 円 形	0.9	0.85	0.15		225	N-4	円 形	1.1	1.0	0.1	
163	K・L-5	長 方 形	0.89	0.8	0.7	白磁小皿。	226	N-5	不 整 形	0.86	0.53	0.1	耳皿。
164	K・L-5	不 明	(0.94)	1.3	0.12		227	O-3	不 整 円 形	1.34	1.3	0.2	
165	L-5	不 整 円 形	0.75	0.7	0.3		228	O-4・5	不 整 円 形	1.18	0.84	0.45	かわらけ。
166	K-5	不 明	(0.56)	0.52	0.2		229	O-2	隅丸長方形	(0.26)	0.6	0.4	
167	L-5	不整長方形	0.94	0.7	0.2	かわらけ。	230	O-2	不 明	—	—	0.28	
168	L-5	不 整 円 形	1.12	0.96	0.2		231	O-2	不 整 形	2.06	1.12	0.46	
169	L-5	不整長方形	1.3	0.8	0.6	かわらけ。	232	O-3	不整長方形	1.06	1.01	0.98	
170	L-5	長 方 形	1.78	1.0	0.1		233	O-1・2	不整長方形	0.78	0.65	0.2	
171	L-1・2	隅丸長方形	(1.2)	1.0	0.6		234	O-2・3	隅丸長方形	1.86	1.0	0.68	かわらけ。
172	L-2	不 整 形	1.6	1.55	0.3		235	O-3	不整長方形	2.3	1.3	1.0	香炉。
173	L・M-2	不 整 円 形	1.04	0.85	0.35		236	P-3	不整長方形	0.97	0.7	0.72	かわらけ。
174	L-2・3	隅丸長方形	—	—	0.38		237	O-4	楕 円 形	1.04	0.67	0.4	かわらけ。
175	L-2	不 整 形	0.82	0.8	0.75		238	O・P-4	不 明	3.4	1.3	0.2	かわらけ。
176	L・M-2・3	隅丸長方形	2.77	1.22	0.4	白磁小皿他。	239	O-4	不整長方形	2.05	0.9	0.3	
177	L・M-2	不 整 円 形	2.5	1.42	0.15	かわらけ。	240	O・P-4	不整長方形	1.5	1.38	1.0	かわらけ。
178	M-2・3	不 整 円 形	1.3	0.3	0.2		241	P-4	楕 円 形	0.8	0.52	0.12	
179	M-3	不 整 形	1.4	0.5	0.24		242	P-4	隅丸長方形	(0.98)	0.74	0.02	
180	L・M-3	隅丸長方形	1.3	0.75	0.15		243	O・P-4	不 明	—	—	0.04	
181	M-3	隅丸長方形	1.84	0.52	0.45		244	P-4	不 整 円 形	0.7	0.6	0.1	
182	M-3	隅丸長方形	(0.9)	0.5	0.1	かわらけ。	245	P-4	隅丸長方形	1.94	—	0.25	
183	K-4	楕 円 形	1.0	0.74	0.2		246	O-4	不 整 形	1.25	0.85	0.5	
184	L-3	隅丸長方形	1.08	0.54	0.4		247	O-4	不 明	1.0	(0.4)	0.04	
185	L-3	隅丸長方形	1.33	1.05	0.5		248	O-4・5	不 整 形	1.44	0.7	0.3	
186	L-4	隅丸長方形	0.74	0.62	0.3		249	P-3	不 整 形	2.6	2.53	0.13	かわらけ。
187	L・M-3	不 整 形	0.72	0.64	0.4		250	P-3	不整長方形	1.12	0.75	1.2	

番号	位置	形 態	長径(m)	単径(m)	深さ(m)	出土遺物	番号	位置	形 態	長径(m)	単径(m)	深さ(m)	出土遺物
251	P-4	不 明	—	—	0.2		314	S-3	不整長方形	1.05	0.75	0.3	
252	P-4・5	不 明	2.52	(2.26)	0.74	耳皿。	315	S-3	不整長方形	1.3	0.83	0.43	
253	P-4	不整長方形	4.07	3.15	1.06		316	S-3	不整長方形	1.32	0.58	0.44	
254	P-4	不 明	—	2.62	0.8		317	S-4	不 明	(1.3)	1.6	0.1	
255	P-4	不 明	2.15	—	0.86		318	S-5	不 整 形	2.55	2.42	0.45	
256	P・Q-1	不 整 形	(2.7)	0.9	0.58		319	S・T-1	不整長方形	1.8	0.9	0.35	
257	P-2	不 整 形	1.06	1.0	0.5		320	S・T-2	不整長方形	(3.03)	0.46	0.2	
258	P-2	不 明	—	—	0.37	かわらけ、硯。	321	T-2	隅丸方形	1.36	1.28	0.75	
259	P・Q-2	不 整 形	1.2	1.12	0.7	かわらけ。	322	T-2	不 明	(0.5)	0.6	0.22	
260	Q-2	不整長方形	0.94	0.74	0.36	かわらけ。	323	T-2	隅丸長方形	(2.5)	2.68	1.2	
261	Q-2	不 明	(1.0)	—	0.35	かわらけ。	324	T-2・3	隅丸長方形	2.64	1.33	0.5	
262	Q-3	不 整 形	0.9	0.43	0.45		325	T-2	隅丸長方形	1.48	0.54	0.35	
263	P・Q-3	隅丸方形	0.95	0.94	0.1		326	T-3	隅丸長方形	(2.34)	0.7	0.67	
264	P-3	不 明	(1.2)	0.8	0.2		327	S・T-4	不整長方形	1.0	0.74	0.15	
265	Q-3	隅丸長方形	(0.72)	0.53	0.15		328	S-5	不 整 形	1.47	1.2	0.18	
266	Q-3	不 明	(0.42)	0.64	0.2		329	S-5	不整円形	0.6	0.5	0.2	
267	Q-3	不整円形	0.6	0.38	0.3		330	S・T-5	隅丸長方形	1.22	1.06	0.53	
268	Q-4	不整円形	0.8	0.72	0.23		331	T-0	不整円形	(1.63)	1.1	0.4	
269	Q-4	不整円形	1.0	1.0	0.3	かわらけ。	332	T-1	不 明	(1.13)	—	0.14	
270	Q-4	不 整 形	0.96	0.92	0.1		333	T・U-1	不 明	(0.98)	—	0.14	
271	Q-4	不 明	(1.0)	1.15	0.55		334	T-1・2	不 整 形	0.84	0.45	0.7	
272	Q-5	橢 円 形	1.44	0.88	0.28		335	T-1	不 明	—	—	0.25	
273	P・Q-5	不 整 形	6.22	4.2	0.7	内耳鍋他。	336	T-2・3	隅丸長方形	4.1	(1.1)	0.1	
274	Q-5	隅丸長方形	1.1	0.89	0.15		337	T-3	隅丸長方形	3.48	1.85	0.75	
275	P-5・6	不整円形	0.56	0.44	0.2		338	T-3	隅丸長方形	4.2	1.4	0.85	
276	Q・R-1	不 整 形	1.2	0.9	0.15		339	T-4	不 明	—	—	0.1	
277	Q-1	不 整 形	0.74	0.68	0.1		340	T・U-3・4	不 整 形	6.42	3.2	1.14	かわらけ。
278	Q-1	不整円形	1.2	1.17	0.45		341	U-1	不整円形	0.8	0.51	0.2	
279	Q-1・2	不 整 形	0.84	0.62	0.15		342	U-2	不整円形	1.36	0.87	0.38	
280	Q-2	不 整 形	0.96	0.62	0.1		343	U-3	不 明	1.9	(0.9)	0.5	
281	Q-2	円 形	0.86	0.75	0.2		344	U-6	長 方 形	1.8	0.7	0.16	
282	Q-2	隅丸長方形	0.56	0.43	0.38		345	U・V-3	不 整 形	(4.8)	1.9	0.62	
283	Q・R-2	不整長方形	1.22	0.52	0.25		346	U・V-3	不 明	2.26	—	0.45	
284	Q・R-2	不整長方形	0.8	0.54	0.2		347	V-3・4	不 整 形	1.83	1.2	0.4	
285	Q-3	不整円形	0.75	0.49	0.15		348	V-4	不 明	(1.6)	0.84	0.16	
286	Q-4	不 明	—	—	0.1	白磁小皿。	349	E-11	不整円形	1.22	1.2	0.4	
287	Q-4	隅丸長方形	1.18	0.98	0.15	かわらけ。	350	E-12	隅丸長方形	1.64	0.78	0.55	
288	Q・R-4	不整円形	1.08	1.0	0.2		351	E・F-11	隅丸長方形	1.84	1.4	0.6	
289	Q・R-4	不 明	1.47	0.75	0.18		352	E・F-11	不 明	(0.76)	1.0	0.3	
290	R-4・5	不 整 形	(3.04)	1.12	0.5		353	F-11	不 整 形	2.0	1.36	0.1	
291	Q-5	不整長方形	3.06	2.52	0.25		354	F-12	不 整 形	1.58	0.68	0.25	
292	R-1	隅丸長方形	(0.7)	0.38	0.1		355	F-10	不整円形	1.15	1.0	0.35	
293	R-2	不整長方形	1.9	1.63	0.8		356	F-10・11	隅丸長方形	(1.28)	0.68	0.2	
294	R-2	不 整 形	0.88	0.46	0.18		357	F・G-11	不 整 形	0.84	0.58	0.3	
295	R-3・4	不 明	—	—	0.35		358	F-11	橢 円 形	1.15	0.68	0.25	
296	R-3	不 整 形	0.92	0.44	0.06		359	F-11	隅丸長方形	2.38	1.12	0.3	
297	R-3	不整円形	0.6	0.48	0.08		360	F-11	不 整 形	0.62	0.47	0.5	
298	R-4・5	不 整 形	1.18	0.9	0.35		361	F-11	長 方 形	(1.1)	0.53	0.95	
299	R-4	不 整 形	1.03	0.8	0.2		362	G-10	不整円形	0.62	0.68	0.06	
300	R-4・5	不 明	—	—	0.04		363	G-10	不整円形	0.68	0.58	0.28	
301	R-5	隅丸長方形	1.36	0.8	0.2		364	G-10	隅丸長方形	2.11	1.6	0.25	
302	R-1	隅丸長方形	0.92	0.73	0.58		365	H-10	不 整 形	0.76	0.42	0.32	
303	R-1	隅丸長方形	2.33	1.93	0.2		366	H-11	不 明	1.32	(0.9)	0.3	
304	R・S-2	隅丸長方形	1.7	1.38	0.28		367	G-10	不 明	1.84	(0.66)	0.5	
305	R-2・3	不整円形	1.15	0.79	0.15		368	I-12	不 整 形	1.42	0.66	0.08	
306	S-3	不整長方形	1.54	0.66	0.5		369	G-11	不整円形	0.75	0.7	0.18	
307	R-3	不整長方形	0.64	0.6	0.2		370	I-11	不 明	—	—	0.28	
308	R-4	隅丸長方形	0.58	0.47	0.3		371	G-11	長 方 形	2.2	0.9	0.15	
309	R-4	不整長方形	0.73	0.5	0.3		372	G-11	隅丸長方形	1.94	1.94	0.2	
310	R・S-3	不 整 形	3.5	1.2	0.2		373	G-11	不整円形	2.6	2.27	0.3	
311	R-5	隅丸長方形	0.85	0.64	0.3		374	G-11	不整円形	0.92	0.85	0.1	
312	S-1	隅丸長方形	2.64	0.7	0.4		375	G-11・12	隅丸長方形	2.0	1.18	0.1	
313	S-2	不整長方形	1.7	1.16	0.15		376	G-12	円 形	1.2	1.15	0.16	

番号	位置	形 態	長径(m)	単径(m)	深さ(m)	出土遺物	番号	位置	形 態	長径(m)	単径(m)	深さ(m)	出土遺物
377	H-11	不整円形	1.0	0.98	0.2		440	J-11	隅丸長方形	1.03	0.68	0.42	かわらけ。
378	H-12	隅丸長方形	0.85	0.5	0.2		441	J-12	隅丸長方形	1.2	(0.54)	0.15	
379	H-12	隅丸長方形	0.52	0.43	0.24		442	J-12	不整円形	1.28	1.12	0.25	石臼。
380	H-11	不整方形	0.68	0.68	0.1		443	J-12	隅丸長方形	1.24	0.56	0.3	
381	H-11	不整長方形	0.82	0.8	0.15		444	J-12	不整形	1.0	0.8	0.2	
382	H-11	隅丸長方形	0.98	0.4	0.12		445	J-9	不整形	(1.22)	1.0	0.5	かわらけ。
383	H-11	不整形	—	—	0.12		446	J・K-9	不整形	1.42	1.25	0.36	
384	H-12	円形	0.63	0.6	0.1		447	K-9	隅丸長方形	1.45	1.0	0.2	
385	H-12	円形	1.1	1.1	0.1		448	K-9	不明	1.3	—	0.1	
386	H・I-9	隅丸長方形	1.32	0.92	0.16		449	K-9	不整円形	1.05	—	0.13	
387	I-9	不整形	1.0	0.8	0.2		450	K-9	不整長方形	1.7	1.38	0.6	
388	I-9	不整形	0.8	0.6	0.25		451	K-9	不整長方形	0.7	0.47	0.18	
389	I-9	不整形	1.0	0.58	0.25		452	K-9	不整方形	0.5	0.48	0.04	
390	I-10	不整形	0.65	0.4	0.06		453	K-9	不整形	1.36	1.15	0.16	
391	I-10	隅丸長方形	0.8	0.42	0.05		454	K-9・10	不整形	1.5	0.76	0.06	
392	I-10	隅丸長方形	1.8	0.4	0.08		455	K-10	不整形	2.6	1.15	0.58	
393	I-10	不整形	0.98	0.55	0.15		456	K-11	不明	(0.8)	—	0.04	
394	I-10	不整円形	1.5	1.15	0.65		457	K-11	不整形	1.7	1.1	0.3	古瀬戸天目茶碗。
395	I-10	円形	0.65	0.6	0.2		458	K-11	不整長方形	0.75	0.45	0.35	
396	H・I-11	円形	0.58	0.5	0.26		459	K-11	不整円形	1.05	1.04	0.45	
397	I-11	不整形	1.0	0.8	0.15		460	K-11	不整円形	0.67	0.5	0.1	
398	H・I-11	不整形	0.54	0.54	0.3		461	K-11	不整円形	1.08	0.95	0.28	
399	I-11	不整円形	1.25	1.2	0.55		462	K-11・12	隅丸長方形	2.0	1.25	0.35	
400	H・I-11	不整長方形	3.05	1.35	0.42		463	L-11	隅丸長方形	1.56	0.9	0.3	
401	I-11・12	不整形	2.2	1.4	0.02		464	L-6	円形	1.15	1.08	0.5	
402	I・J-9	不整円形	2.64	2.6	0.4		465	L-7	不整形	3.2	2.5	0.55	
403	I・J-9	不明	(0.82)	1.8	0.45		466	L-7	不明	—	—	0.18	
404	J-9	不整形	1.08	1.04	0.08		467	L-8	不整円形	0.96	0.94	0.08	
405	I-9・10	不明	—	—	0.2		468	L-8	隅丸長方形	4.07	2.36	0.3	かわらけ。
406	I-9・10	不整形	2.16	1.25	0.7	砥石、五輪塔。	469	L-8	円形	0.74	0.72	0.3	
407	I-10	不整長方形	4.18	1.08	0.48		470	L-8	不整円形	0.6	0.5	0.4	
408	J-9・10	不整長方形	4.37	2.4	0.28		471	L-8	不整長方形	2.48	0.45	0.1	
409	J-10	不整長方形	1.7	1.3	0.1		472	L-8	不整長方形	1.1	0.85	0.18	
410	I・J-10	不整長方形	2.8	2.1	0.5		473	L-9	不整円形	0.52	0.52	0.4	
411	I-10	不整円形	1.58	1.5	0.35		474	L-9	不明	—	—	0.3	
412	J-10	円形	1.6	1.6	0.6		475	L-9	不整形	1.04	0.7	0.1	
413	I-11・12	円形	2.38	2.22	0.68	かわらけ。	476	L-9	隅丸長方形	0.82	0.7	0.15	
414	I・J-11	不明	—	—	0.15		477	L-9・10	隅丸長方形	1.42	1.3	0.2	
415	I-11	不整形	1.0	0.78	0.1		478	L-12	隅丸長方形	2.48	0.67	0.24	
416	J-11	楕円形	1.03	0.6	0.22		479	L-7,M-7	楕円形	2.15	1.0	0.1	かわらけ。
417	I-11・12	隅丸長方形	1.92	0.98	0.08		480	L-9・10	不整円形	2.4	1.83	0.15	
418	I-12	隅丸長方形	(0.5)	0.46	0.1		481	L-8	隅丸長方形	0.78	0.62	0.15	
419	I-12	隅丸長方形	1.45	1.3	0.12		482	L・M-8	隅丸長方形	1.0	0.96	0.18	
420	I-12	隅丸長方形	1.04	(0.6)	—		483	M-8	隅丸長方形	3.38	0.87	0.2	
421	I-12	不整円形	0.94	0.9	0.3		484	L-8	不整円形	1.4	1.38	0.2	
422	I-12	不整円形	0.92	0.8	0.28		485	L・M-8	不整円形	1.05	0.85	0.15	
423	J-8	不整円形	0.84	0.82	0.2		486	L-9	不整円形	0.9	0.8	0.66	
424	J-9	不整円形	0.91	0.8	0.2		487	L-9	不整形	0.6	0.5	0.27	
425	J-9	不整形	1.42	1.05	0.18		488	L-9	円形	0.92	0.85	0.25	
426	J-9	不整形	1.66	1.28	0.15		489	L-9	不整形	1.58	0.74	0.15	
427	J-9	楕円形	0.86	0.48	0.25		490	L-9	不整円形	0.72	0.68	0.2	
428	J-9	不整形	—	0.94	0.3		491	L-10	隅丸長方形	1.2	0.7	0.55	
429	J-9	不明	—	—	0.2		492	L-10	不明	—	—	0.08	
430	J-9	隅丸長方形	(0.52)	0.6	0.02		493	L・M-12	隅丸長方形	3.04	0.8	0.1	
431	J-10	楕円形	1.0	0.58	0.45		494	L-12	不整形	0.9	0.54	0.06	
432	J-10	不明	0.8	0.5	0.04		495	M-6	不整長方形	1.02	0.9	0.55	
433	J-10	隅丸長方形	1.02	0.6	0.28		496	M-7	不整円形	1.1	1.04	0.5	かわらけ。
434	J-10	隅丸長方形	1.8	1.6	0.22		497	M-8	不整円形	0.96	0.76	0.1	
435	J-10	不整長方形	1.87	1.38	0.14		498	M-8	楕円形	0.95	0.5	0.4	
436	J-10	不整円形	2.66	—	0.1		499	M-8	不整円形	1.1	1.1	0.4	かわらけ。
437	J-10	隅丸長方形	1.5	0.47	0.2		500	M-8	不整形	1.8	0.5	0.2	
438	J-10	隅丸長方形	1.12	0.42	0.35		501	M-9	不整形	1.4	0.62	0.05	
439	J-10・11	隅丸長方形	1.84	0.7	0.42		502	M-9	隅丸長方形	2.2	0.7	0.26	

番号	位置	形 態	長径(m)	単径(m)	深さ(m)	出土遺物
503	M-9	隅丸長方形	2.15	1.05	0.4	
504	M-9・10	隅丸長方形	2.16	0.9	0.4	
505	M-10	隅丸長方形	1.88	0.8	0.3	
506	M-10	不 明	—	—	0.45	
507	M-10	不 明	—	—	0.34	
508	M-10・11	長 方 形	2.1	0.75	0.2	
509	M-11	長 方 形	—	1.1	0.2	
510	M-11	長 方 形	—	0.75	0.12	
511	M-11	不 整 円 形	0.7	0.56	0.14	
512	M-11	不 整 形	0.84	—	0.1	
513	M-12	不 整 形	0.82	0.44	0.2	
514	M-12	不 整 長 方 形	(1.1)	1.15	0.1	
515	M-12	不 整 長 方 形	0.8	—	0.06	
516	N-8	長 方 形	1.2	0.46	0.6	
517	N-9	不 明	(1.4)	1.0	0.3	かわらけ。
518	N-9・10	不 明	2.8	(1.5)	0.6	
519	N-10	隅 丸 方 形	1.1	1.0	0.4	
520	N-10	不 整 方 形	0.86	0.76	0.2	
521	N-11	長 方 形	1.2	0.6	0.15	
522	N-12	不 整 形	1.34	0.98	0.08	
523	N-12	不 整 円 形	0.7	0.4	0.12	
524	N-8	隅丸長方形	4.12	1.06	0.36	
525	N-9	不 整 形	0.86	0.62	0.04	
526	N-10	隅丸長方形	2.12	1.2	0.3	
527	N-10	隅丸長方形	1.65	0.78	1.05	
528	N-10	長 方 形	(1.25)	0.76	0.7	
529	N-11	隅丸長方形	1.6	0.64	0.4	
530	N・O-11	隅丸長方形	(2.6)	0.72	0.35	
531	O-10	不 明	(1.35)	1.13	0.35	
532	O-9	不 明	2.9	(1.0)	0.2	
533	O-9	隅丸長方形	0.94	0.56	0.02	
534	O-9	長 方 形	(0.7)	0.44	0.02	
535	O-9・10	長 方 形	2.23	0.7	0.3	
536	O-10	長 方 形	1.64	0.85	0.65	
537	O-10	隅丸長方形	2.88	0.46	0.1	
538	O-9	不 整 円 形	1.3	1.12	0.12	
539	O-9	不 明	—	—	0.1	
540	O-9	不 整 円 形	0.7	0.71	0.18	
541	P-10	不 整 長 方 形	1.15	0.82	0.46	
542	O-10・11	隅丸長方形	2.47	1.33	0.52	
543	P-9・10	隅丸長方形	(2.15)	0.92	0.2	
544	P-9・10	隅丸長方形	1.5	0.74	0.3	
545	P-10	隅丸長方形	1.3	0.66	0.08	
546	P-10	不 明	(0.44)	0.5	0.04	
547	P-10	不 明	(0.42)	0.6	0.08	
548	P-10・11	不 明	—	—	0.2	
549	P-11	隅丸長方形	3.34	0.7	0.45	
550	P-11	隅丸長方形	1.5	0.8	0.3	
551	P-11	長 方 形	2.15	0.64	0.45	
552	P-12	隅丸長方形	1.95	0.64	0.25	
553	P-12	不 整 円 形	1.33	1.1	0.3	
554	P-12	不 整 方 形	1.0	—	0.28	
555	P-12	不 明	1.2	—	0.3	
556	P-12	不 整 長 方 形	1.5	1.34	0.2	
557	Q-6・7	不 整 円 形	0.9	0.85	0.6	
558	P・Q-10	隅丸長方形	1.9	1.15	0.4	
559	P-10	隅丸長方形	0.84	0.58	0.06	
560	Q-11	不 整 形	1.38	0.63	0.1	
561	P・Q-12	隅丸長方形	1.88	1.08	0.28	
562	P・Q-12	長 方 形	2.6	1.1	0.2	
563	P・Q-12	隅丸長方形	2.62	1.32	0.32	
564	Q-12	隅丸長方形	1.86	—	0.32	
565	P・Q-12	楕 円 形	0.9	0.64	0.08	

番号	位置	形 態	長径(m)	単径(m)	深さ(m)	出土遺物
566	Q-12	長 方 形	(2.3)	2.22	0.2	
567	Q-10	不 整 円 形	0.84	0.6	0.25	
568	Q-10	不 整 円 形	1.1	—	0.05	
569	Q-11	不 整 長 方 形	1.04	0.55	0.06	
570	Q-11	不 整 長 方 形	1.17	1.02	0.2	
571	Q-11	不 整 円 形	0.78	0.6	0.05	
572	Q-12	不 整 円 形	1.22	—	0.2	
573	Q-12	隅丸長方形	1.6	1.0	0.12	
574	Q-12	不 整 円 形	1.46	1.24	0.3	
575	Q-12	長 方 形	1.08	0.84	0.2	
576	P-13	不 整 長 方 形	1.05	0.68	0.1	
577	P-13	不 整 長 方 形	2.1	1.32	0.13	
578	P-13	隅丸長方形	(0.7)	0.8	0.04	
579	Q-12	不 整 円 形	1.3	—	0.08	
580	Q-12	隅丸長方形	0.9	0.58	0.08	
581	P-12・13	不 整 円 形	1.44	0.95	0.12	
582	Q-13	隅丸長方形	1.64	1.0	0.3	
583	Q-13	隅丸長方形	0.77	0.7	0.3	
584	Q-13	不 整 円 形	0.9	0.8	0.2	
585	Q-13	不 明	0.94	0.45	0.22	
586	Q-12・13	不 整 長 方 形	0.87	0.58	0.14	
587	Q-12	不 整 形	1.04	0.55	0.2	
588	R-7	不 整 円 形	0.81	0.55	0.48	
589	R-7	不 整 円 形	0.42	0.35	0.4	
590	R-8	不 整 形	1.1	0.66	0.15	
591	R-8	不 整 長 方 形	1.5	1.0	0.12	
592	R-8・9	不 整 長 方 形	1.72	0.88	0.1	
593	Q・R-10	不 整 形	1.3	1.2	0.15	
594	R-11	不 明	—	—	0.3	
595	R-11	不 整 形	1.25	0.86	0.25	
596	R-8	不 整 形	1.15	0.9	0.25	
597	R・S-9	不 整 方 形	1.3	1.28	0.56	
598	S-10	不 整 形	0.65	0.6	0.26	
599	R-10	不 明	(0.85)	0.95	0.04	
600	S-6	不 整 長 方 形	3.1	2.5	0.2	搦鉢、かわらけ。
601	S-8	不 整 長 方 形	0.78	0.55	0.05	
602	S-8	不 整 円 形	1.04	1.0	0.22	
603	S-8	不 整 形	1.18	0.74	0.45	
604	R・S-7	不 整 形	1.28	1.16	0.33	
605	S-9・10	不 整 円 形	0.95	0.95	0.06	
606	T-8	不 整 円 形	1.3	1.3	0.1	
607	S-9	円 形	0.7	0.68	0.1	
608	T-9	隅丸長方形	(1.9)	0.85	0.05	
609	T-8	不 明	0.96	0.56	0.36	
610	T-8	楕 円 形	1.12	0.58	0.36	
611	T-8	楕 円 形	0.84	0.48	0.2	
612	U-6	不 整 円 形	1.02	0.98	0.15	
613	U-6・7	不 整 円 形	0.8	0.68	0.1	
614	U-7	円 形	1.08	1.02	0.3	
615	U-8	不 整 長 方 形	0.65	0.5	0.18	
616	U-8	不 整 長 方 形	1.46	0.95	0.2	
617	U-7	不 整 長 方 形	2.22	1.5	0.18	
618	V-6・7	不 整 長 方 形	1.18	0.55	0.1	
619	V-8	不 整 円 形	2.4	1.8	0.2	
620	W-6	不 明	—	—	0.4	
621	E・F-13	不 整 形	3.1	2.6	0.2	
622	F-12・13	不 整 形	1.6	1.15	0.2	
623	F-13	隅丸長方形	(2.56)	1.3	1.23	
624	F-13	不 整 形	1.4	0.7	0.15	
625	F-14	不 整 円 形	0.78	0.6	0.1	
626	F-14	不 整 長 方 形	1.62	0.5	0.2	
627	F-14	不 整 長 方 形	0.98	0.73	0.2	
628	F-14	不 整 長 方 形	(1.3)	0.9	0.2	

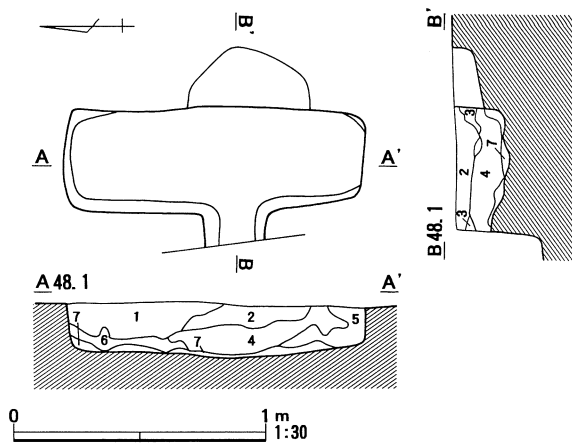
番号	位置	形 態	長径(m)	単径(m)	深さ(m)	出土遺物	番号	位置	形 態	長径(m)	単径(m)	深さ(m)	出土遺物
629	F-14	不整形円形	0.68	0.68	0.18		692	I-14	不整形	1.8	1.5	0.55	
630	F-14	不整形	0.76	0.62	0.25		693	I・J-14	不整形	1.5	1.45	0.38	
631	F-12・13	不明	—	—	0.2		694	I・J-15	不整形	2.2	1.5	0.36	
632	G-13	不整形	0.7	0.48	0.3		695	I-15	不整形円形	3.3	3.15	0.6	
633	G-13	不整形	1.04	0.7	0.1		696	I・J-15	不整形円形	1.48	1.28	0.3	
634	G-13	不整形	0.72	0.54	0.2		697	J-15	長方形	1.96	1.22	0.3	
635	F-14	不整形	1.33	0.83	0.5		698	J-14	不整形円形	(0.66)	0.52	0.25	
636	F-14	不整形	0.96	0.96	0.2		699	J-14	隅丸長方形	1.5	1.33	0.15	
637	F-14	不整形	0.82	0.38	0.3		700	J-15	不整形	1.6	1.2	0.3	
638	F・G-14	不整形	1.5	0.56	0.14		701	J-15	隅丸長方形	2.16	1.04	0.35	
639	G-13	隅丸長方形	(1.52)	1.33	0.2		702	J-15	不整形円形	0.85	0.85	0.2	
640	G-12	不整形円形	0.75	0.7	0.1	かわらけ。	703	J-15	長方形	(1.44)	1.48	0.32	
641	G-12・13	不整形円形	0.86	0.7	0.12		704	J-15	円形	1.05	1.02	0.1	
642	G-12・13	不整形円形	1.02	0.84	0.1		705	J-15	隅丸長方形	3.5	0.7	0.45	
643	G-13	円形	0.75	0.72	0.08		706	J-16	不整形円形	1.14	1.0	0.08	
644	G-13	不整形	(0.64)	0.62	0.15		707	J-14	円形	1.45	1.32	0.18	
645	G-13	不明	(0.55)	0.72	0.13		708	J-14	不整形	2.1	1.86	0.2	
646	G-13	不整形	0.78	0.76	0.4		709	K-15・16	不整形円形	1.0	0.94	0.1	
647	G-13・14	不整形	1.02	0.54	0.27		710	K-16	長方形	2.43	0.56	0.3	
648	G-13	不整形円形	0.7	0.52	0.42		711	K・L-15	不整形長方形	(1.34)	0.9	0.18	
649	G-14	不整形円形	0.72	0.7	0.22		712	K-15	不整形長方形	1.42	0.86	0.1	
650	G-14	不整形円形	1.02	0.9	0.15		713	K-15	不整形	0.98	0.92	0.05	
651	G-13	隅丸長方形	1.4	0.95	0.32		714	K-18	不整形円形	1.1	1.02	0.2	
652	G-13	楕円形	(0.5)	0.55	0.12		715	K・L-18	不整形円形	1.34	1.3	0.2	
653	G-13・14	隅丸長方形	1.45	0.8	0.32		716	K・L-18	不整形円形	0.72	0.64	0.35	
654	G-13・14	不整形	1.45	1.03	0.25		717	L-12・13	不整形	1.1	0.84	0.15	
655	G-14	不整形円形	1.25	1.08	0.3		718	L-12	不明	(0.48)	0.7	0.07	
656	G-15	不整形円形	0.74	0.7	0.6		719	L-14	隅丸長方形	1.62	0.94	0.18	
657	G-15	不整形円形	0.84	(0.7)	0.4		720	L-15	隅丸長方形	2.98	1.18	0.12	
658	G-15	不整形	0.78	0.67	0.4		721	L-15	隅丸長方形	0.7	0.58	0.1	
659	K-11	不整形	1.0	0.62	0.25		722	L-17	隅丸長方形	2.0	0.65	0.4	
660	K-11	不明	1.3	(0.45)	0.28		723	L-17	長方形	1.82	0.68	0.65	
661	H-14	不整形円形	1.67	1.26	0.16		724	L-18	隅丸長方形	1.35	0.88	0.02	
662	G・H-15	不整形円形	0.72	0.65	0.6		725	L-18	不明	(1.24)	1.54	0.3	
663	H-15	不整形円形	0.84	0.74	0.4		726	L-18	不整形長方形	2.0	(1.82)	0.65	
664	H-15	不整形円形	0.84	0.65	0.26		727	L-13	不整形円形	0.82	0.7	0.12	
665	H-15・16	不整形	0.8	0.76	0.55		728	M-13	不明	0.96	(0.7)	0.08	
666	G・H-15・16	不整形	0.76	0.62	0.45		729	M-14	不整形長方形	0.98	0.68	0.2	
667	H-16	不整形	0.76	0.6	0.2		730	L-14・15	隅丸長方形	1.26	0.7	0.03	
668	H-13	不明	(0.9)	0.8	0.1		731	L-15	不整形円形	0.74	0.7	0.06	
669	H-14	不整形円形	0.85	0.7	0.1		732	L-16	不整形	1.4	1.2	0.5	
670	H-14	不整形長方形	1.8	1.4	0.12		733	M-16	不整形円形	0.95	0.72	0.05	
671	H-14	不整形長方形	3.1	2.52	0.15		734	L-17	隅丸長方形	1.85	0.74	0.3	
672	H-14	不整形長方形	1.36	1.2	0.07		735	M-14	不整形	1.58	1.18	0.66	
673	H-15	不整形円形	2.0	1.6	0.35		736	N-17	楕円形	0.62	0.5	0.1	
674	H-15	不整形長方形	1.45	0.72	0.2		737	M-17	不整形	1.74	1.15	0.24	
675	I-13	不整形円形	0.9	0.84	0.2		738	L-17・18	円形	1.18	1.1	0.06	
676	I-13	不整形	1.0	0.9	0.08		739	L-18	隅丸長方形	1.48	1.15	0.43	
677	I-14	不整形	1.18	0.8	0.05		740	L-18	不明	—	—	0.36	
678	I-14	不整形	0.7	0.7	0.08		741	M-13	不整形	1.0	0.66	0.2	
679	I-14	隅丸長方形	2.23	1.3	0.3		742	M-14	不整形	0.94	0.85	0.15	
680	I-14	不整形	0.83	0.78	0.1		743	M-14	隅丸長方形	1.22	0.68	0.15	
681	I-15	不明	0.7	(0.7)	0.3		744	M-15・16	不整形	1.96	(1.1)	0.4	
682	I-15	不整形長方形	3.0	2.8	0.4		745	M-17	不整形円形	1.6	1.1	0.28	
683	I-14・15	不整形長方形	2.1	1.2	0.26		746	M-17	不整形	(1.1)	1.1	0.15	
684	I-15	不整形	1.68	1.26	0.23		747	N-14	不整形	1.54	1.13	0.12	
685	H-15	不整形円形	0.65	0.6	0.48		748	N-17	円形	0.5	0.48	0.08	
686	I-15	円形	1.05	1.04	0.25		749	N-17	円形	0.62	0.58	0.08	
687	I-15	不整形円形	1.88	(1.2)	0.2		750	N-17	楕円形	0.64	0.54	0.15	
688	I-13	不整形	1.2	1.02	0.1		751	N-17	楕円形	0.8	0.64	0.2	
689	I-13	不整形円形	1.0	0.9	0.4		752	N-13	不整形円形	1.16	0.42	0.1	
690	I・J-14	長方形	1.2	0.84	0.3		753	O-14	不整形	0.7	0.6	0.14	
691	J-14	隅丸長方形	2.9	1.52	0.6		754	M・N-14	不整形円形	1.04	1.04	0.15	

番号	位置	形態	長径(m)	単径(m)	深さ(m)	出土遺物	番号	位置	形態	長径(m)	単径(m)	深さ(m)	出土遺物
755	O-14	不整長方形	0.8	0.53	0.6		775	O-16	隅丸長方形	(0.94)	1.02	0.46	
756	M・N-16	隅丸長方形	(1.94)	1.12	0.1		776	O-16	隅丸長方形	1.23	(0.65)	0.58	
757	N-13	不整方形	1.14	1.04	0.06		777	O-16	隅丸長方形	1.83	2.25	0.62	
758	N-14	不整円形	0.7	(0.5)	0.12		778	P-13	不整長方形	1.78	1.03	0.25	
759	N-14	不整円形	1.03	0.8	0.2		779	O-13・14	不整長方形	2.35	0.7	0.3	
760	O-14	不整長方形	0.7	0.52	0.26		780	O-13	円形	1.1	1.1	0.32	青磁碗。
761	N-16	隅丸方形	0.54	0.52	0.5		781	P-13	円形	1.0	0.85	0.2	
762	N-16	不整円形	0.85	0.52	0.4		782	P-13	不整円形	1.45	1.43	0.5	
763	N-16	不整円形	(1.84)	1.5	0.3		783	O-13・14	不整円形	1.4	1.25	0.45	
764	N-16	不整円形	1.55	1.4	0.42		784	O-15	不整円形	1.6	1.5	0.54	
765	N-16	不整円形	1.9	1.84	0.92		785	O・P-15	不整長方形	1.82	1.5	0.12	
766	N-16	不整円形	2.0	1.85	0.62	青磁碗。	786	O-16	隅丸方形	0.77	0.72	0.15	
767	N-16	隅丸長方形	(0.8)	0.52	0.28		787	O・P-16	不明	—	—	0.04	
768	N-16・18	不整長方形	1.13	0.8	0.6		788	P-13	不整形	1.04	0.55	0.1	
769	N・O-13	不整長方形	2.52	0.7	0.1		789	P-13	長方形	1.38	1.16	0.35	
770	O-13	隅丸長方形	3.04	0.7	0.2		790	P-13	不整長方形	1.0	0.7	0.85	
771	O-14	不整長方形	1.65	0.9	0.1		791	P-13	隅丸長方形	0.93	0.7	1.15	
772	O-15	隅丸長方形	0.96	0.6	0.02		792	P-15	不整円形	1.26	1.08	0.28	
773	O-15	不整円形	1.55	1.44	0.25		793	P・Q-13	不整長方形	1.22	0.95	0.35	
774	O-15	長方形	1.0	0.56	0.4								

(5) 火葬土壌

SV-01 (図115)

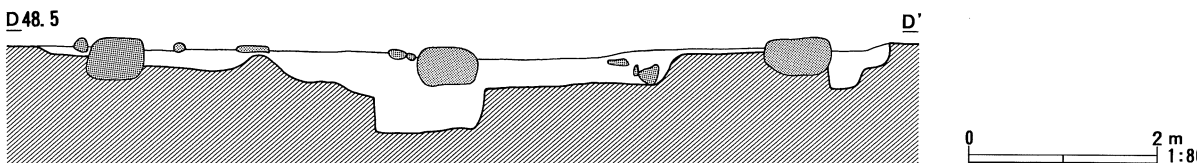
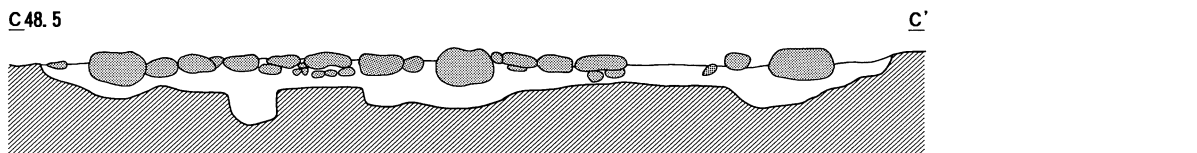
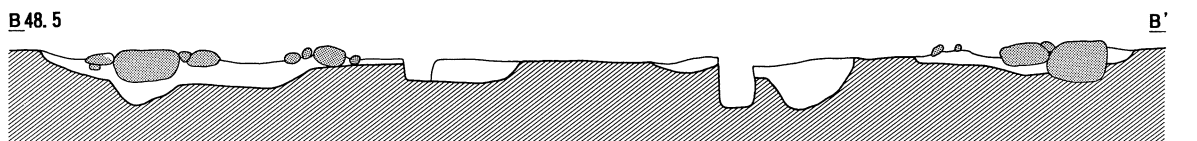
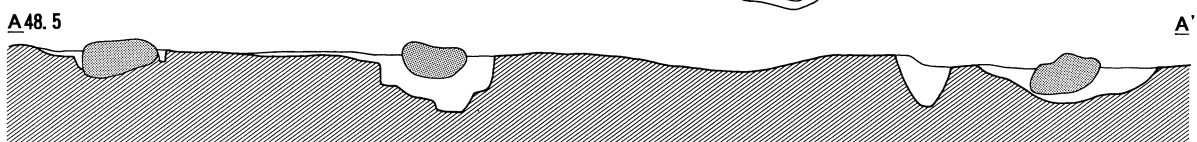
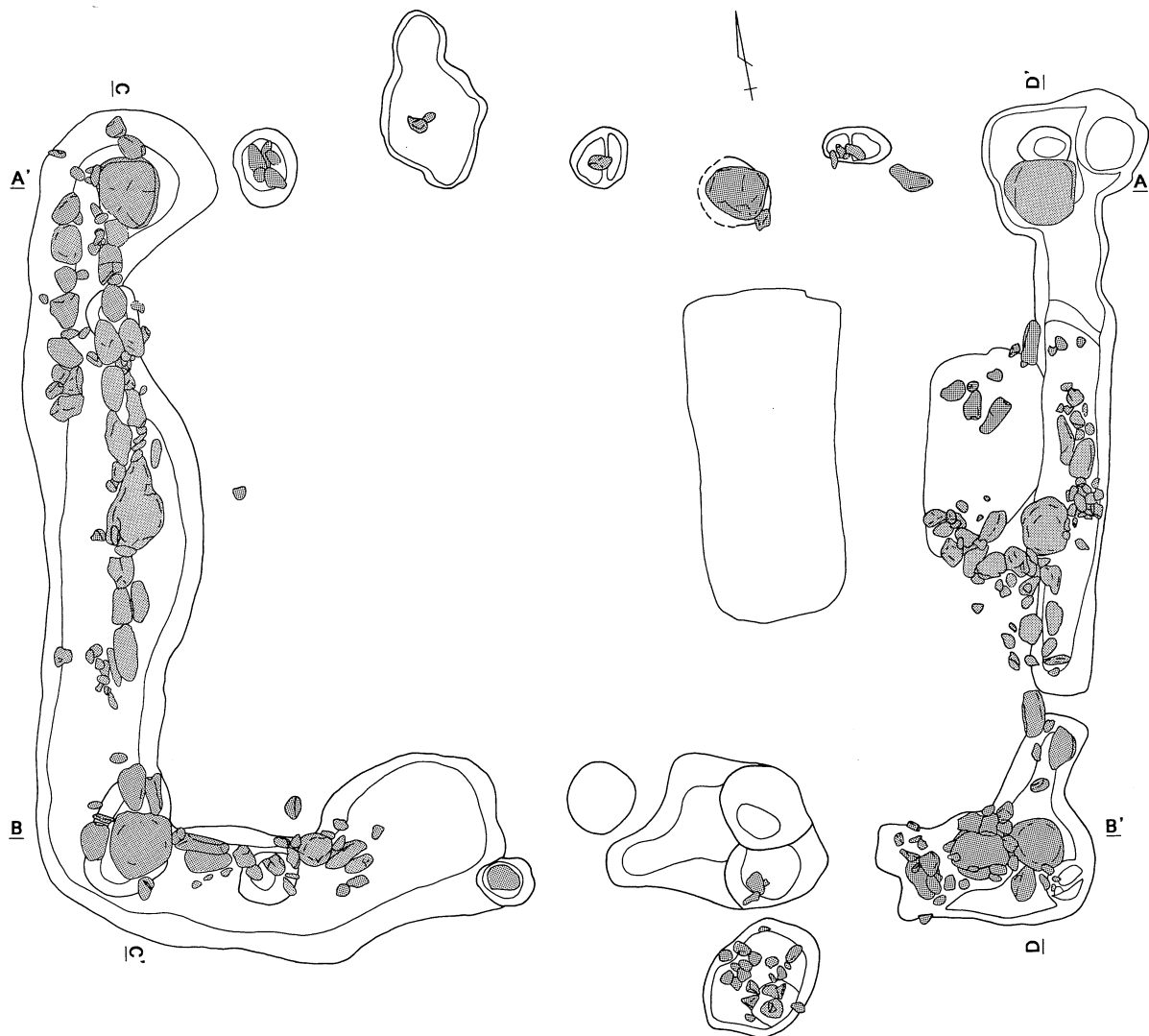
O-16グリッドに位置する。長方形の土壌本体の一方の長辺の中央に、直交して短い突出部を付設し、平面プランが「T」字形をなす、いわゆる火葬土壌である。土壌本体の長径1.20m、短径0.42m、突出部を含む長さ0.57mを測る。覆土は焼土ブロック、炭化物ブロックなど多量に含む黒褐色土及び暗褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ20cmを測る。この種の遺構に一般的に認められる骨粉の混入は、本遺構については全く認めなかった。遺物も、皆無であった。所属時期の詳細については不明であるが、通常同形の遺構は中世の特徴的な存在であることから、周辺遺構の年代と大きく隔たらないものと考えられる。



SV-01 土層説明

- 1 暗褐色土 ロームブロック(径1~5mm)、焼土ブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)、焼土ブロック(径1~5mm)を少量含む、炭化物ブロック(径1~10mm)を多量に含む。
- 3 暗褐色土 焼土ブロック(径1~2mm)を多量に含む。
- 4 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む、炭化物ブロック(径1~30mm)を多量に含む。
- 5 暗褐色土
- 6 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)、炭化物ブロック(径1~10mm)を多量に含む。
- 7 黄褐色土

図115 SV-01



SB-01
 图116 SB-01

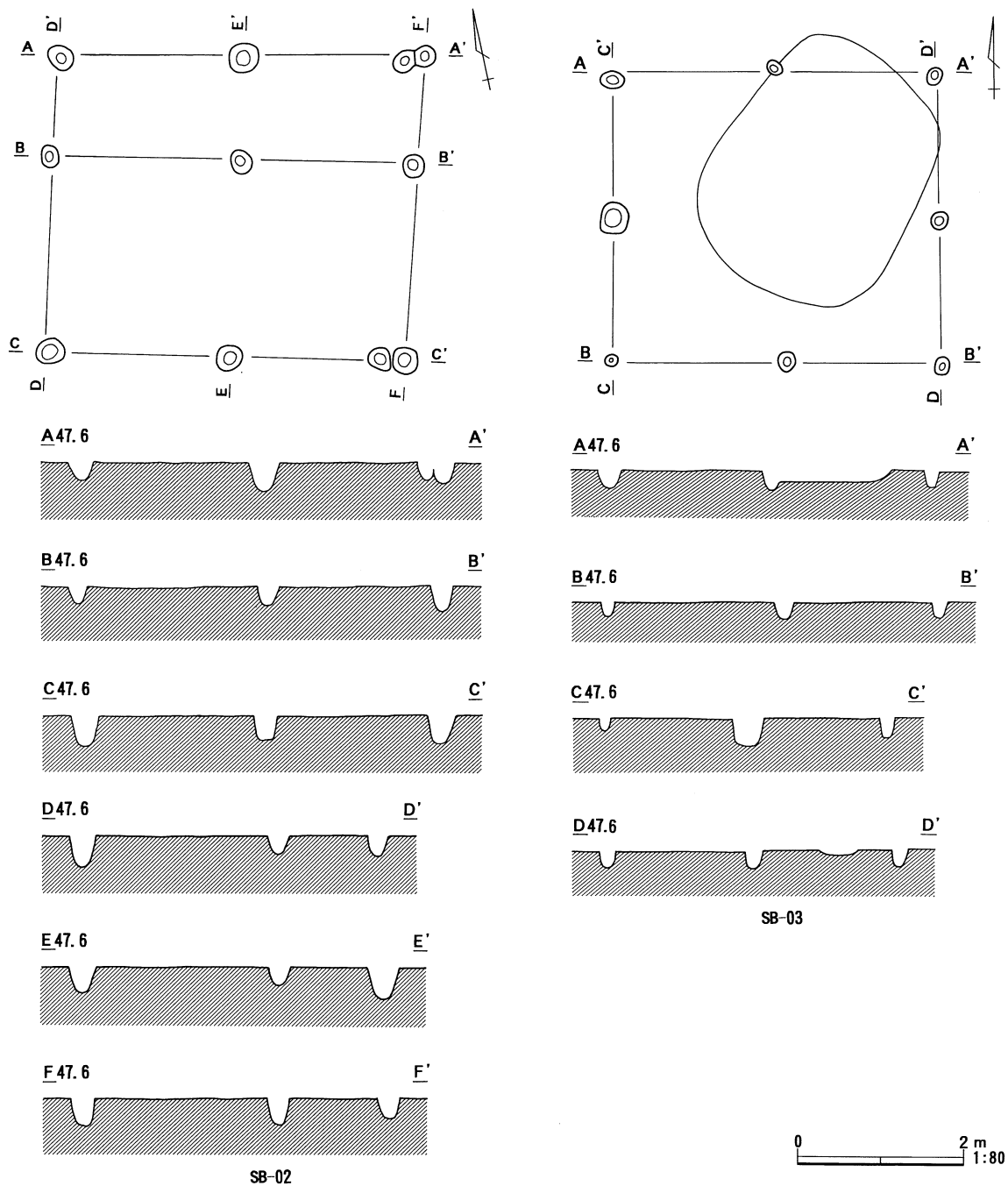


図117 SB-02~03

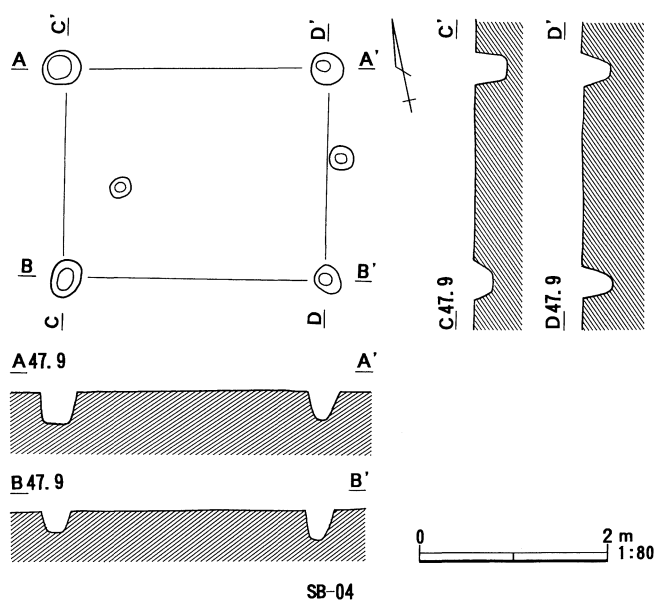
(6) 建物

SB-01 (図116)

S-1、T-1グリッドに位置する。長方形に断続する溝の内部に柱穴を設け、礎石を配している。東西3間、南北2間の側柱式である。礎は、中間部分にも充填されている。柱心間は東西1.70m、南北1.80mで、柱穴は確認面からの最深部で30cmを測る。覆土はロームブロックを含む黒灰褐色土の堆積を認める。遺物は、皆無であった。西端で、15世紀後半に属するSD-44の覆土を切っていることから、所属年代は、16世紀以後に降下するものと判断される。

SB-02 (図117)

Q-6 グリッドに位置する。東西1間、南北半間の東西方向に長い側柱式で、北側には半間に満たない幅の庇を伴う。南北辺の間には1基ずつの柱穴を加えている。柱通りは、おおむね良好である。柱心間は東西1.05m、南北1.20mで、柱穴は12~18cmの円形を呈し、確認面からの深さ12~18cmを測る。覆土はロームブロックを含む黒色土の堆積を認める。遺物は、皆無であり、所属年代も不詳である。

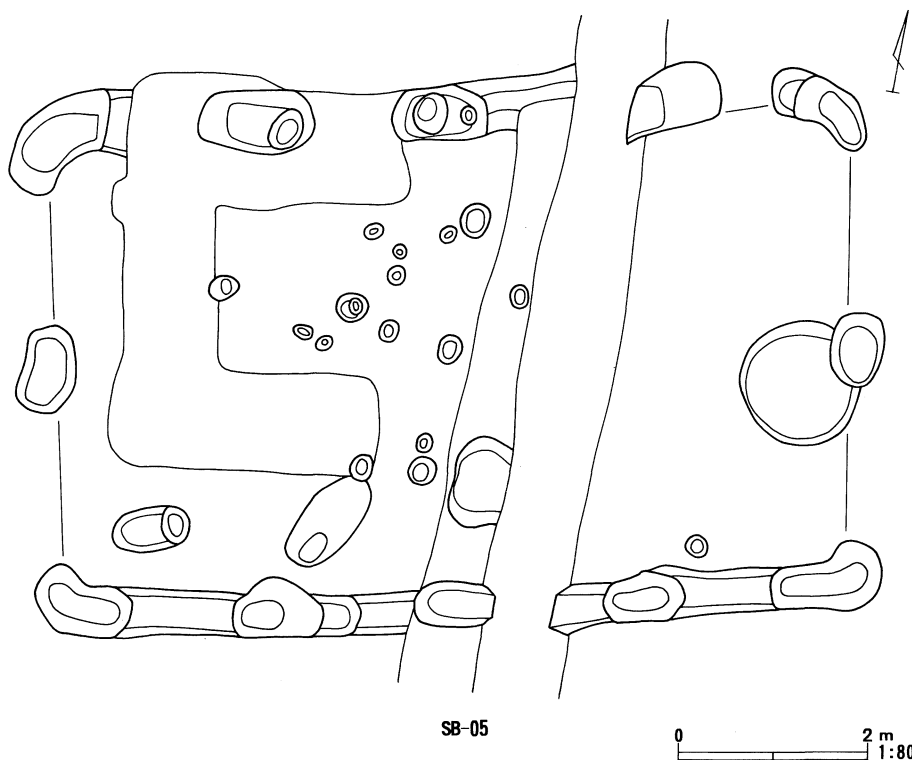


SB-04

図118 SB-04

SB-03 (図117)

S-6・7 グリッドに位置する。東西1間、南北1間の側柱式である。各辺の中間に1基ずつの柱穴を加えている。柱通りは、北辺中央の1基が若干外側へずれるが、おおむね良好である。柱心間は東西0.95m、南北0.90mで、柱穴は10~18cmの円形を呈し、確認面からの深さ8~18cmを測る。覆土はロームブロックを含む黒色土の堆積を認める。遺物は、皆無であり、所属年代も不詳である。



SB-05

図119 SB-05

SB-04 (図118)

T-5、U-5グリッドに位置する。柱心間、東西1.90m、南北1.15mの小規模な側柱式建物である。柱通りは、おおむね良好である。柱穴は15~20cmの円形を呈し、確認面からの深さ12~15cmを測る。覆土はロームブロックを含む黒色土の堆積を認める。遺物は、皆無であった。

SB-05 (図119)

T-7・8、U-8グリッドに位置する。東西2間、南北1間の東西方向に長い側柱式で、南北辺は溝を掘削したのちその内部に柱穴を配している。各辺の中間に1基ずつの柱穴を加えている。柱通りは、おおむね良好である。柱心間は東西1.00m、南北1.20mで、柱穴は不定形を呈し、確認面からの深さ25~30cmを測る。覆土はロームブロックを含む黒色土の堆積を認める。遺物は、皆無であり、所属年代も不詳である。

(7) 集石遺構

SS-01 (図120)

R-1グリッドに位置する。表土直下に、東西5.70m、南北5.00mの範囲で礫が集中していた。耕作により失われている部分が多いと思われるが、北辺と西辺は直線をなしていることから、原形は方形区画の敷石遺構であった可能性が考えられる。礫は、10~30cm程度の河原石が中心で、ローム層を掘り込まず、上面に接するか、間層を挟んで浮いたレベルを保って敷かれている。礫上面のレベルはほぼ水平で、中央東寄りに被熱によって赤色に変色している礫の一群があり、礫の隙間には焼土が認められた。その周辺には炭化物の付着した礫が広がっているが、礫周辺の炭化物はきわめて微細な粒子状となっており、炭塊は認められなかった。その外側の北東及び南西側には、長さ50~90cmを測る大形の石材が存在している。遺物は、被熱した礫の付近

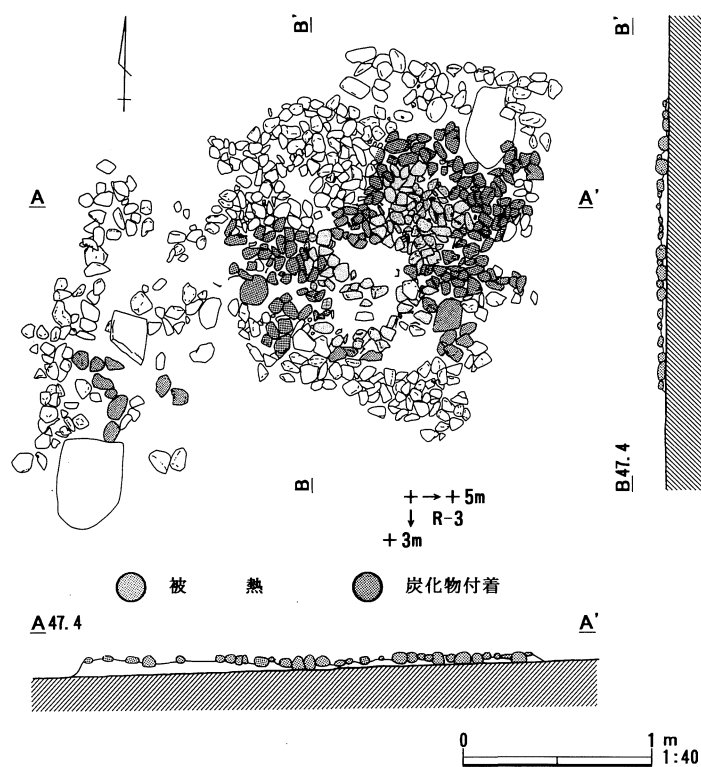


図120 SS-01

を中心に鉄釘が散在しており、炭化物の付着した礫の隙間から永楽通宝2点を検出した。以上の状況から、SS-01は小鍛冶にかかわる遺構で、所属時期は、永楽通宝の出土から、15世紀の内にあるものと判断される。

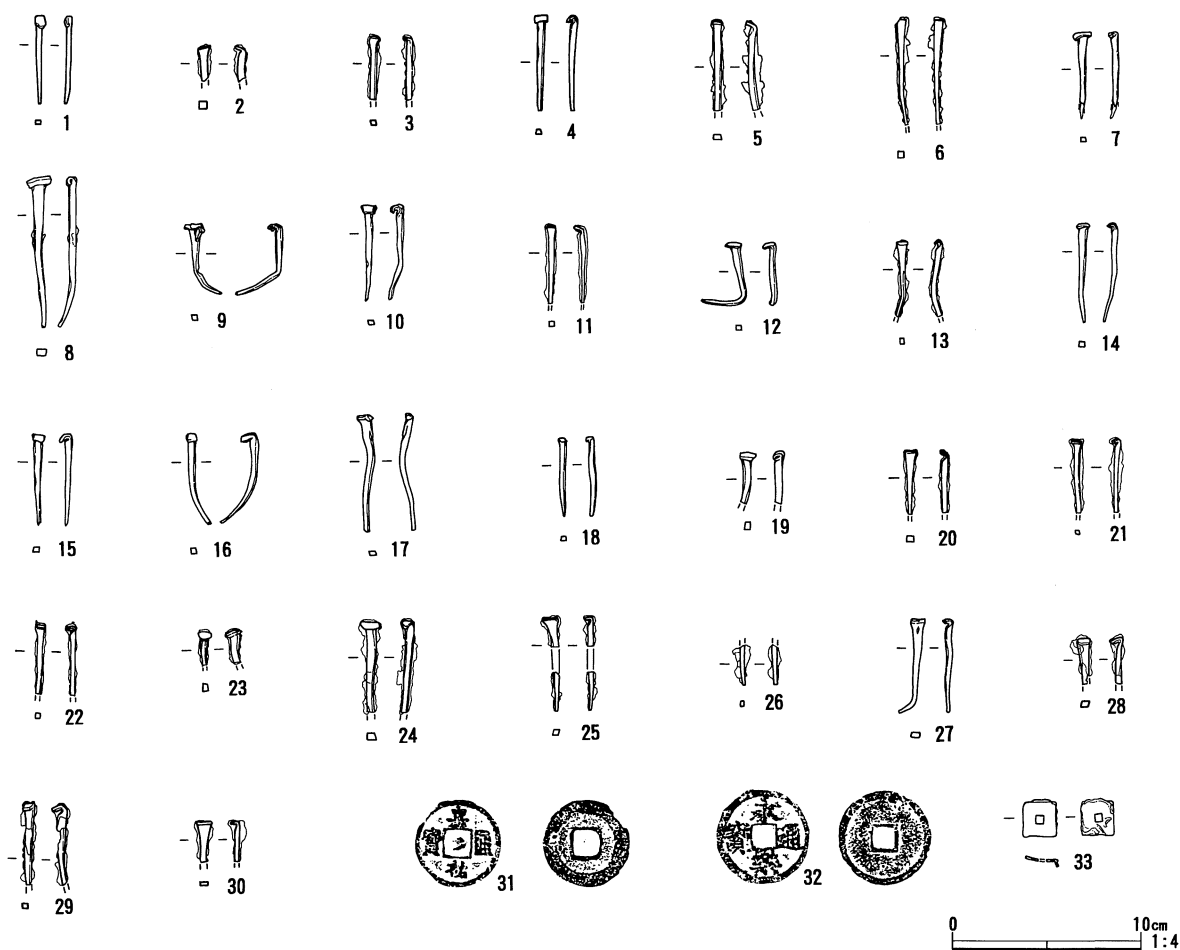


図121 SS 出土遺物実測図

SS-01

No.	種類	器種	法 量 (cm・g)	備 考
1	鉄製品	釘	長さ4.6 幅0.25 厚さ0.2 重さ1.8。	
2	鉄製品	釘	残存長1.9 幅0.4 厚さ0.4 重さ2.0。	
3	鉄製品	釘	残存長3.3 幅0.3 厚さ0.25 重さ2.2。	
4	鉄製品	釘	長さ5.0 幅0.3 厚さ0.25 重さ2.5。	
5	鉄製品	釘	残存長4.8 幅0.4 厚さ0.25 重さ1.8。	
6	鉄製品	釘	残存長5.5 幅0.35 厚さ0.30 重さ1.5。	
7	鉄製品	釘	残存長4.0 幅0.35 厚さ0.25 重さ3.1。	
8	鉄製品	釘	長さ7.8 幅0.45 厚さ0.35 重さ7.3。	
9	鉄製品	釘	長さ5.3 幅0.3 厚さ0.3 重さ2.7。	
10	鉄製品	釘	長さ5.0 幅0.3 厚さ0.25 重さ2.6。	
11	鉄製品	釘	残存長4.1 幅0.25 厚さ0.25 重さ2.2。	
12	鉄製品	釘	長さ5.3 幅0.3 厚さ0.25 重さ2.1。	
13	鉄製品	釘	残存長4.0 幅0.25 厚さ0.3 重さ2.1。	
14	鉄製品	釘	長さ5.2 幅0.35 厚さ0.3 重さ2.6。	
15	鉄製品	釘	長さ4.8 幅0.3 厚さ0.25 重さ2.6。	
16	鉄製品	釘	長さ5.3 幅0.3 厚さ0.3 重さ3.0。	
17	鉄製品	釘	残存長6.2 幅0.35 厚さ0.25 重さ4.0。	

18	鉄製品	釘	長さ4.2 幅0.25 厚さ0.25 重さ1.7。	
19	鉄製品	釘	残存長2.8 幅0.35 厚さ0.4 重さ2.1。	
20	鉄製品	釘	残存長3.3 幅0.4 厚さ0.35 重さ1.7。	
21	鉄製品	釘	残存長3.9 幅0.2 厚さ0.25 重さ2.4。	
22	鉄製品	釘	残存長3.7 幅0.3 厚さ0.25 重さ1.6。	
23	鉄製品	釘	残存長1.9 幅0.3 厚さ0.45 重さ1.1。	
24	鉄製品	釘	残存長4.8 幅0.4 厚さ0.35 重さ3.9。	
25	鉄製品	釘	残存長1.6 幅0.3 厚さ0.3 重さ1.3。	
26	鉄製品	釘	残存長2.1 幅0.2 厚さ0.25 重さ0.7。	
27	鉄製品	釘	残存長5.3 幅0.4 厚さ0.25 重さ2.9。	
28	鉄製品	釘	残存長2.4 幅0.4 厚さ0.3 重さ1.7。	
29	鉄製品	釘	残存長4.3 幅0.3 厚さ0.3 重さ2.8。	
30	鉄製品	釘	残存長2.2 幅0.4 厚さ0.2 重さ1.5。	
31	銅製品	古銭	重さ2.0。	嘉祐通寶
32	銅製品	古銭	重さ3.0。	永樂通寶
33	銅製品	不明	一辺1.8 厚さ0.1 重さ2.1。	

(8) 性格不明遺構

用途・所属時期等の不詳な遺構を性格不明遺構として一括した。不整形の落ち込みとして検出され、規模、形態も一様ではない。

SX-01 (図122)

O-5・6、P-5・6グリッドに位置する。東西1.60m、南北3.20mを測る不整形の落ち込みの中に、長軸に直交するように横長の落ち込みが5基連続する。平面上は、道路遺構の路盤構造に似るが、硬化層は認められない。覆土は、白色パミス、ロームブロック、暗黄灰色土ブロックを含む暗灰褐色土及び黒灰褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.20m前後を測る。遺物は、覆土上層で、鉄製火打金を検出したが、確実に本遺跡に伴う確証はない。

SX-02 (図122)

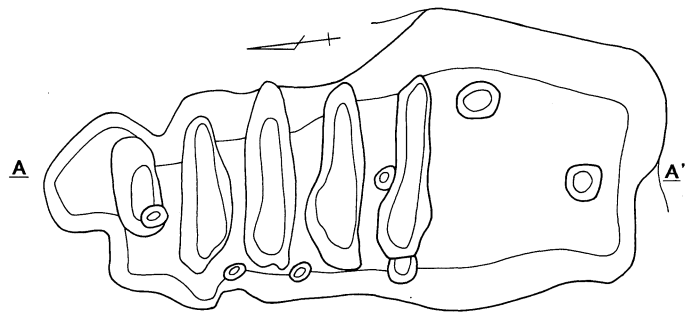
J-12・13、K-12・13グリッドに位置する。東西5.40m、南北4.20m前後を測り、立ち上がりが蛇行しつつめぐる。覆土は、白色パミス、ロームブロックを含む黒灰褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.12m前後を測る。遺物は、青磁碗の破片のほか、かわらけの細片若干を検出した。

SX-03 (図123)

V-3・4グリッドに位置する。調査区の西端にあって、遺構の一部分を検出した。確認の範囲で南北4.73m、東西1.30mを測る。覆土は、黒色土の堆積を認め、下層ではロームブロック、灰白色粘質土ブロックを含むが、上層では含有物が無い。確認面からの深さ0.32mを測る。遺物は、皆無であった。立上がりの角度や覆土の状況は、古墳の周堀に類似するが、平面プランが不整形を呈し、遺物の出土もないことから遺構の性格は判定しがたい。

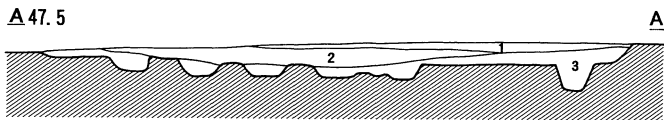
SX-04 (図123)

M-16グリッドに位置する。東西2.03m、南北2.50m前後を測り、立ち上がりが蛇行しつつめぐる。覆土は、白色パミス、ロームブロック、礫を含む黒灰褐色土の堆積を認める。確認面からの深さ0.23mを測る。遺物は土師器細片を出土したが、確実に本遺構に伴う遺物は検出されなかった。

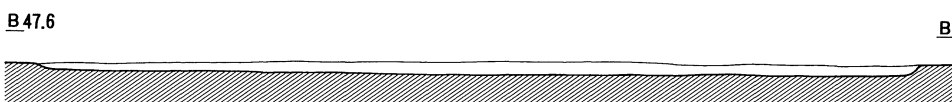
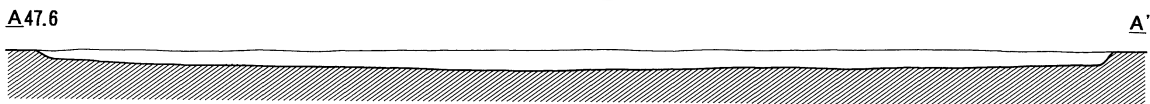
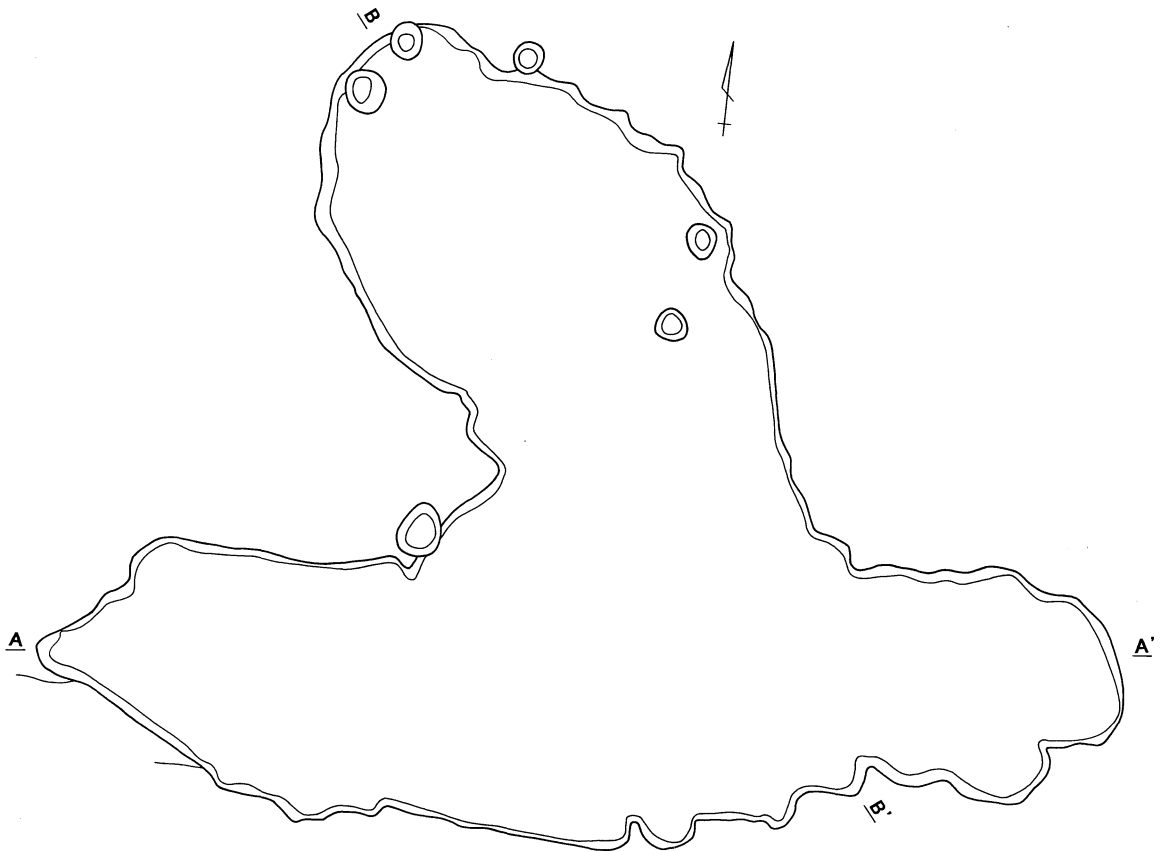


SX-01 土層説明

- 1 暗灰褐色土 白色パミス(径1mm±)、ロームブロック(径1~5mm)、暗黄灰色土ブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 2 黒灰褐色土 白色パミス(径1mm±)、ロームブロック(径1~2mm)を少量含む。
- 3 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。



SX-01



SX-02

SX-02 土層説明 (単層)

黒灰褐色土 白色パミス(径1mm±)、ロームブロック(径1~2mm)を少量含む。

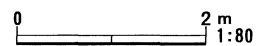
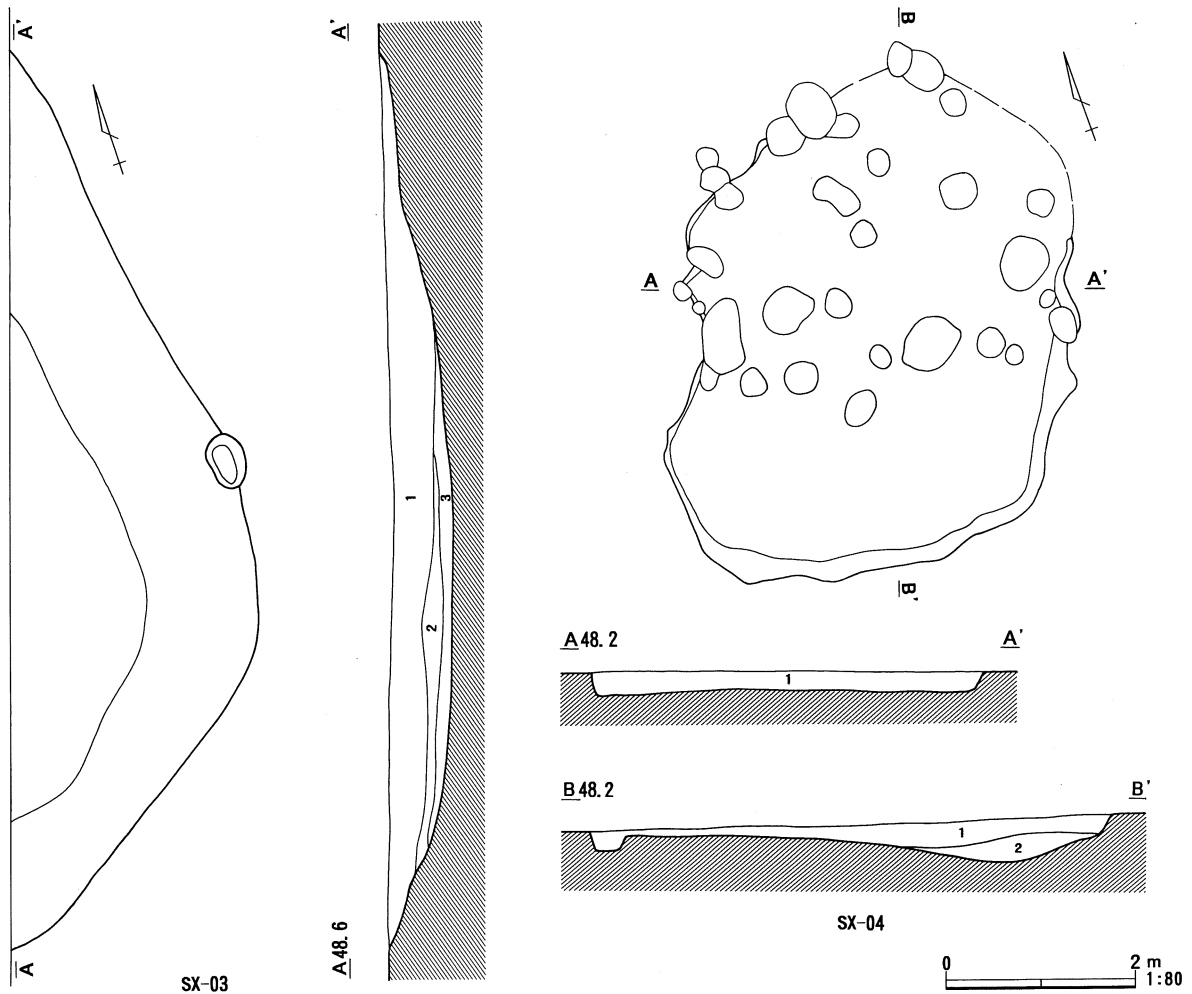


図122 SX-01~02



SX-03 土層説明

- 1 黒色土
- 2 黒色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 3 黒色土 灰白色粘質土ブロック(径1~15mm)を少量含む。

SX-04 土層説明

- 1 黒灰褐色土 白色パミス(径1mm±)、ロームブロック(径1~10mm)を多量に含み、礫(径5~15mm)を少量含む。
- 2 黒灰褐色土 ロームブロック(径1~10mm)、灰白色粘質土ブロック(径1~10mm)を多量に含む。

図123 SX-03~04

SX-01

No.	種類	器種	法	量 (cm・g)	備考
1	鉄製品	火打金		長さ8.6 幅3.5 厚さ0.35 重さ26.6。	
2	鉄製品	不明		直径5.8 幅0.6 厚さ0.5 重さ16.6。輪状を呈す。	

SX-02

No.	器種	法	量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	青磁碗	口径 底径 器高	— — —	蓮弁文。		夾雑物なし 灰白色 釉一灰 オリーブ色	体部破片。



図124 SX 出土遺物

(9) グリッド

表土下層、遺構の範囲確認面の上層、攪乱層など遺構に伴わない状態で検出されたもののほか、古墳、竪穴住居の覆土中であって明瞭に遺構を確認できなかった遺物で、本来の帰属遺構が不明な資料をグリッド出土遺物として一括した。検出地点は、調査区の各所に及んでいる。器種は、内耳土器、かわらけなど遺構出土遺物の様相と変化はない。

中世グリッドー1

A-4

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 — 底径 4.4 器高 —	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部欠損。
2	中世土器 かわらけ	口径 (11.3) 底径 5.8 器高 3.2	口縁部は内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/3 欠損。煤付着。

C-2

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 — 底径 6.4 器高 —		体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部欠損。
2	中世土器 かわらけ	口径 (11.1) 底径 6.2 器高 2.3	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/5 欠損。
3	中世土器 かわらけ	口径 (12.1) 底径 6.8 器高 2.3	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	1/2。

E-2

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 摺鉢	口径 (29.9) 底径 — 器高 11.8	直線的に大きく外反し、上位で僅かに屈曲する胴部、平坦な口唇部。底部は平底。	内外面ロクロ整形後、内面6条1単位の櫛目。底部外面に板状圧痕。	褐色粒・礫・雲母 内外—橙色	1/3。
2	中世土器 火鉢	口径 (34.6) 底径 (29.8) 器高 11.9	彎曲する胴部上位、彎曲気味に外反する平坦な口唇部。底部は平底。	外面—ロクロ整形、口縁部印刻文、胴部上・中位横位ヘラケンマ、下位印刻文。内面—ロクロ整形、底面ナデ。	白色粒・褐色粒・雲母 内外—橙色	1/6。
3	中世土器 かわらけ	口径 7.4 底径 4.2 器高 1.7	直線的に外反する体部。底部は平底。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	白色粒・褐色粒・雲母 内外—鈍い橙色	完形。

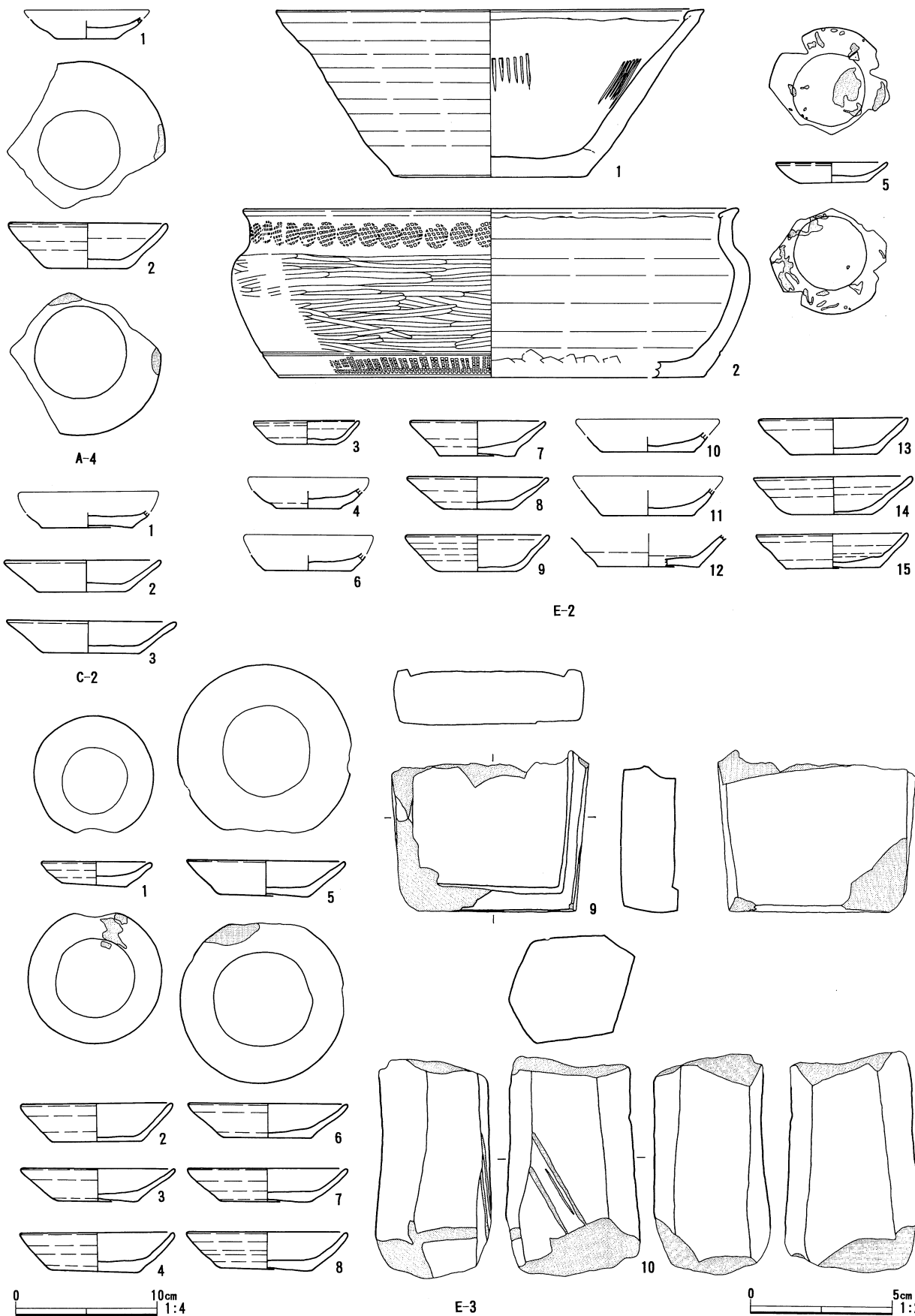


図125 グリッドA-4～E-3出土遺物

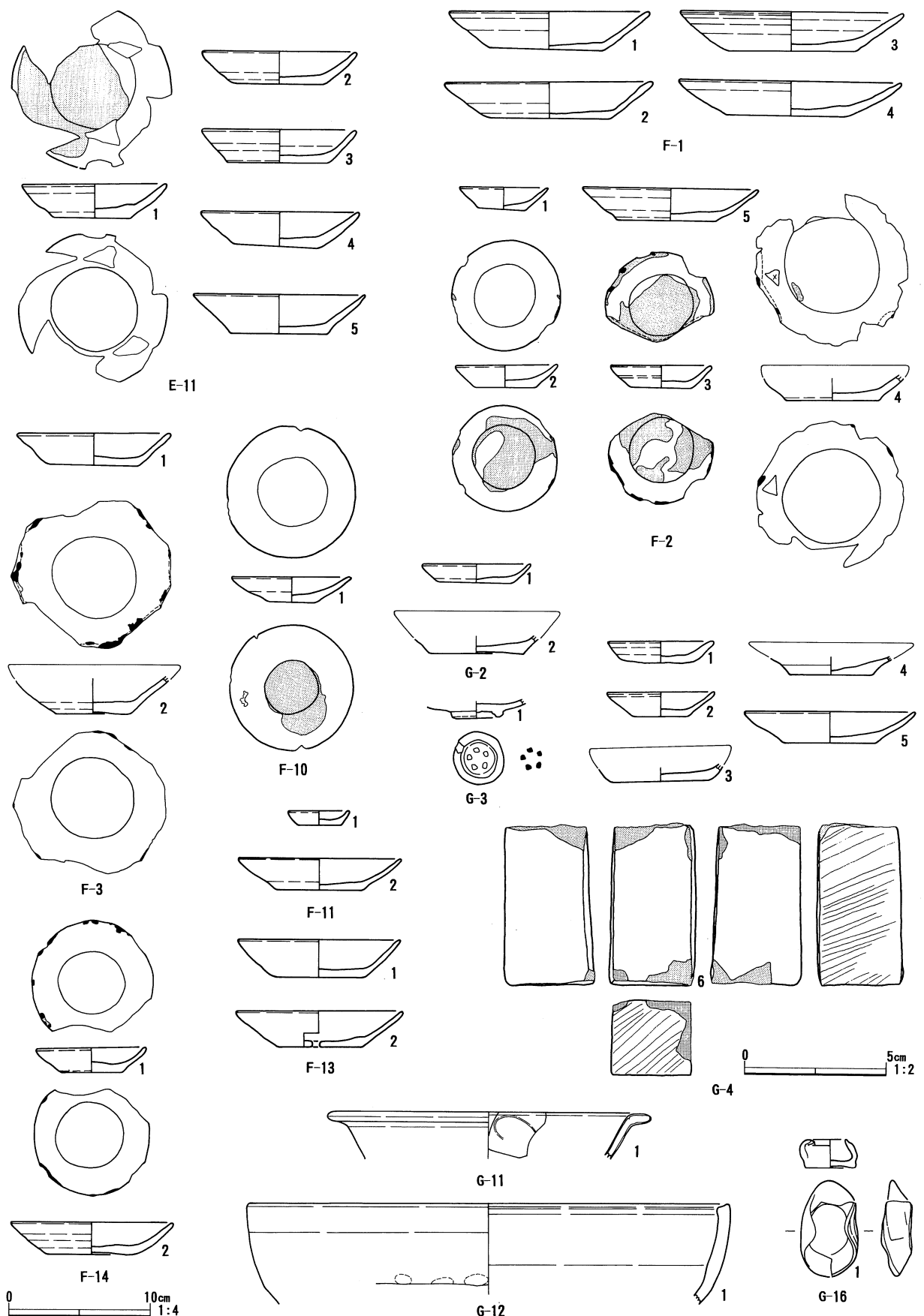


図126 グリッド E-11~G-16出土遺物

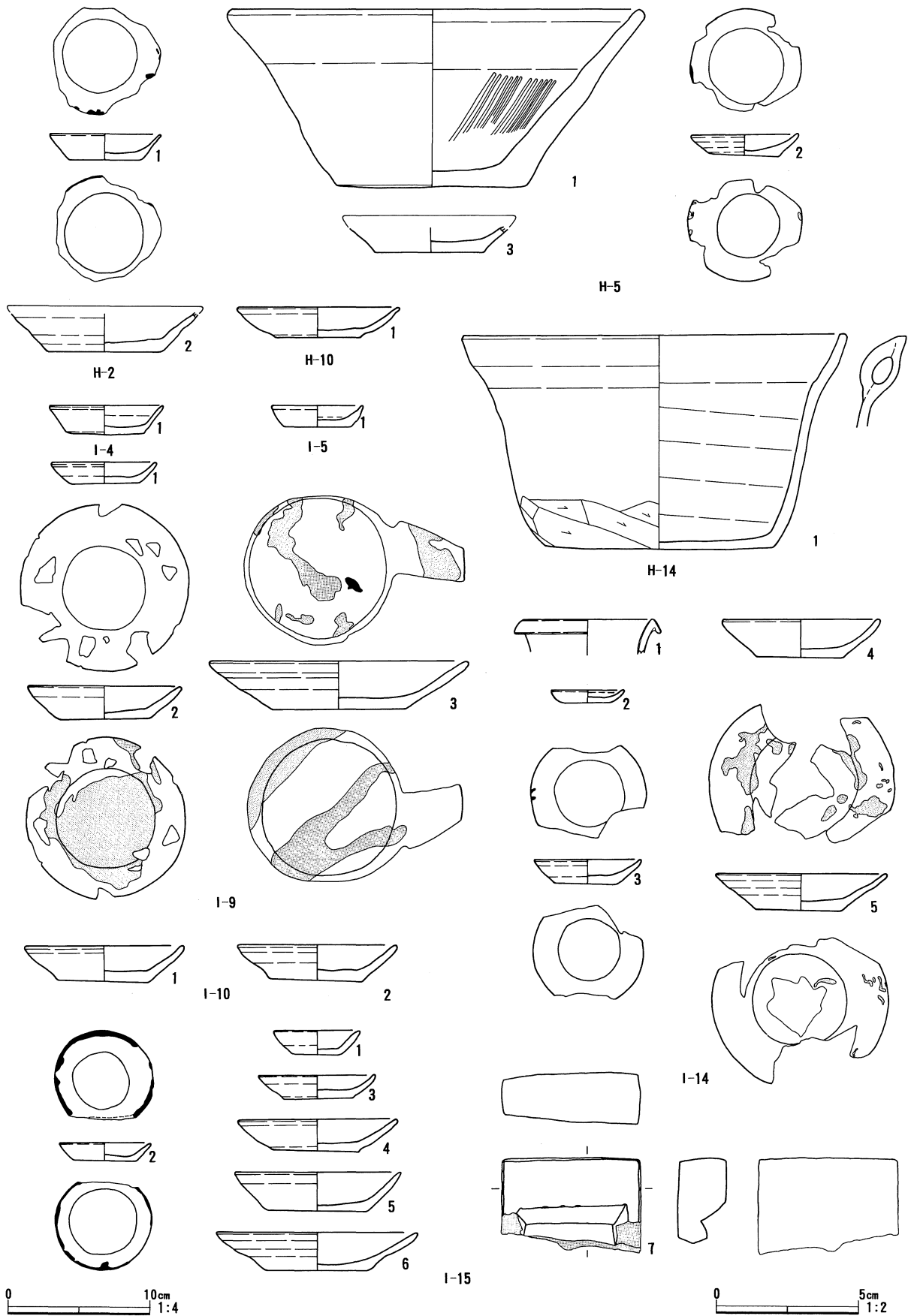


図127 グリッドH-2～I-15出土遺物

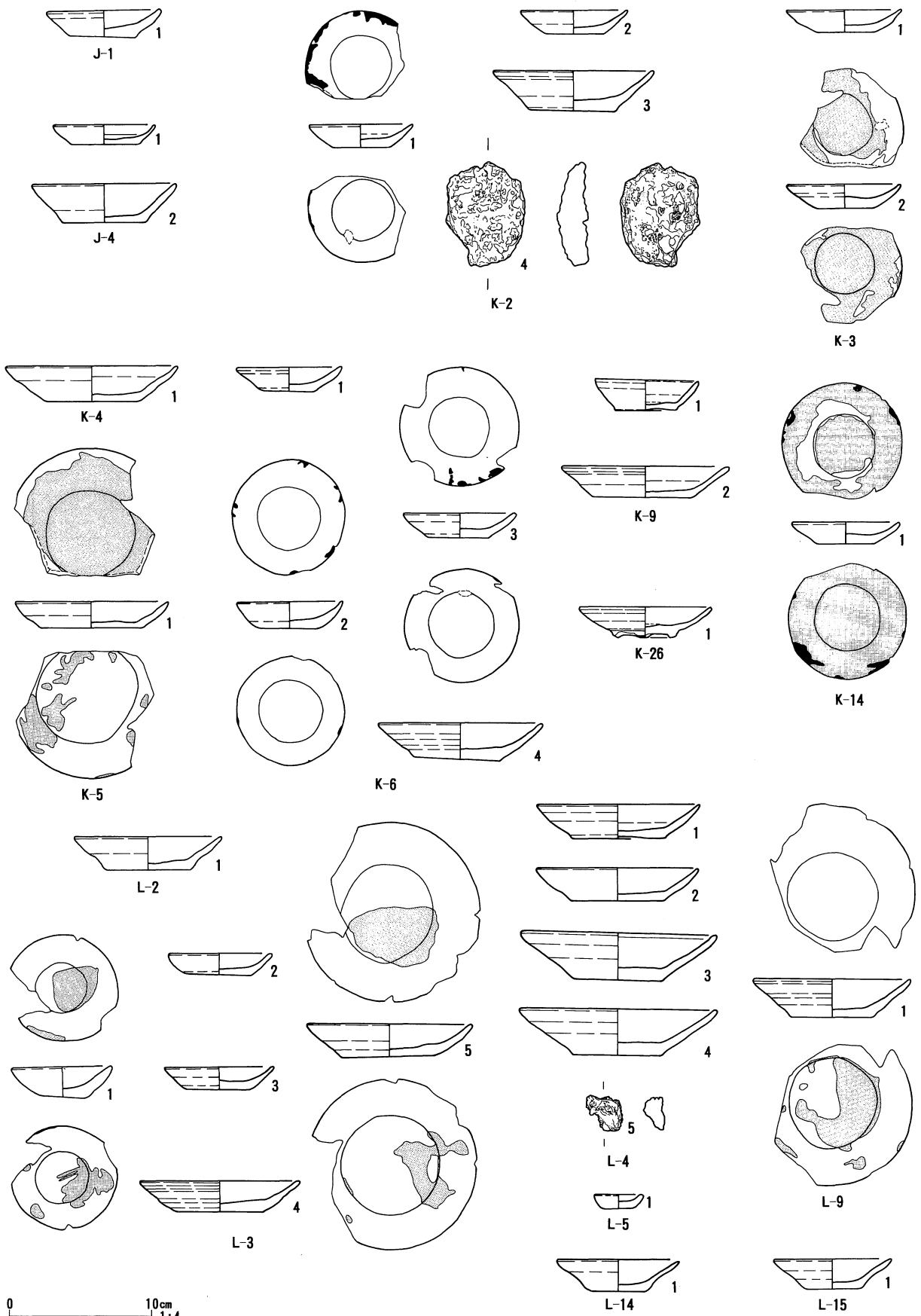


図128 グリッド J-1 ~ L-15 出土遺物

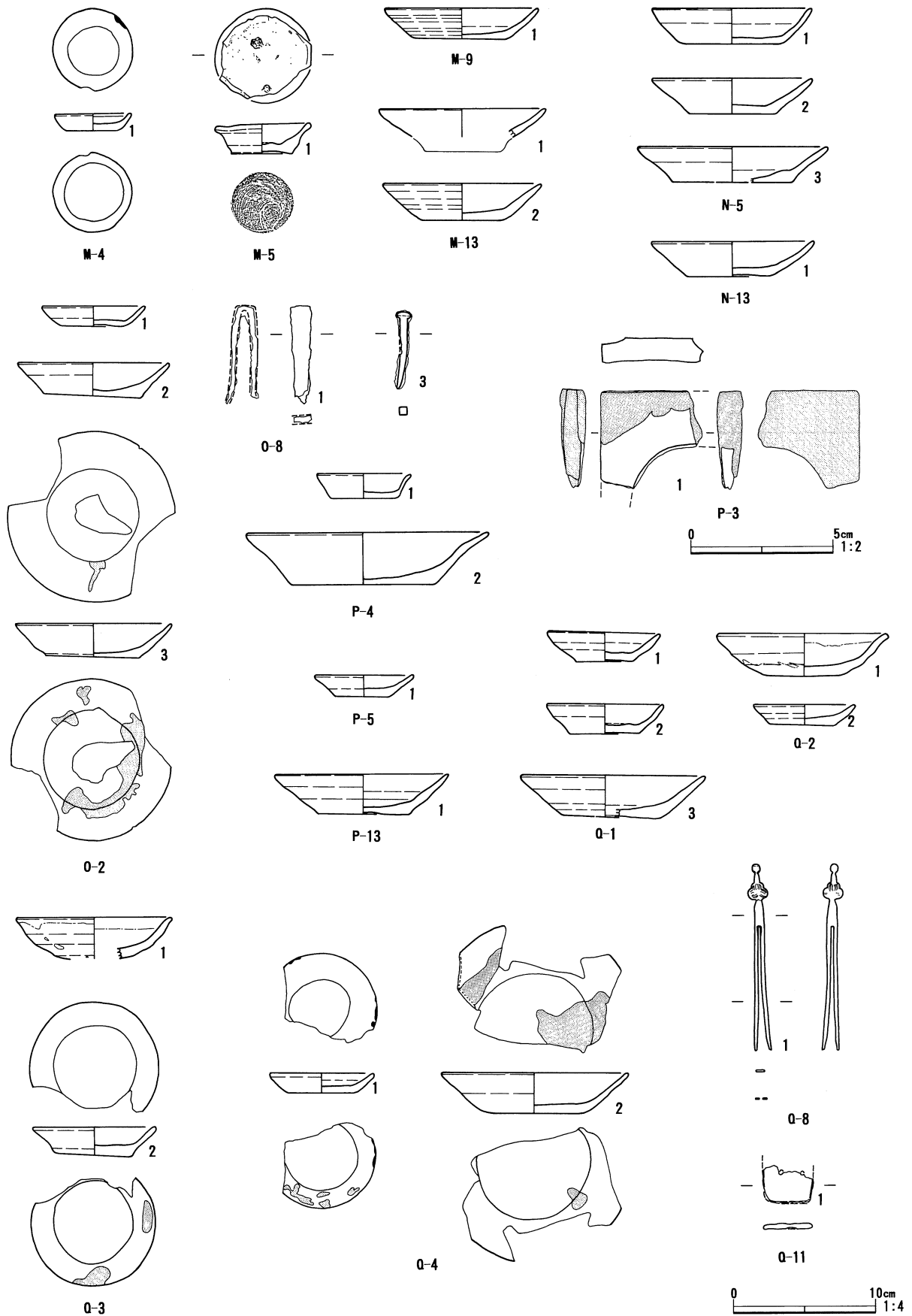


図129 グリッドM-4～Q-11出土遺物

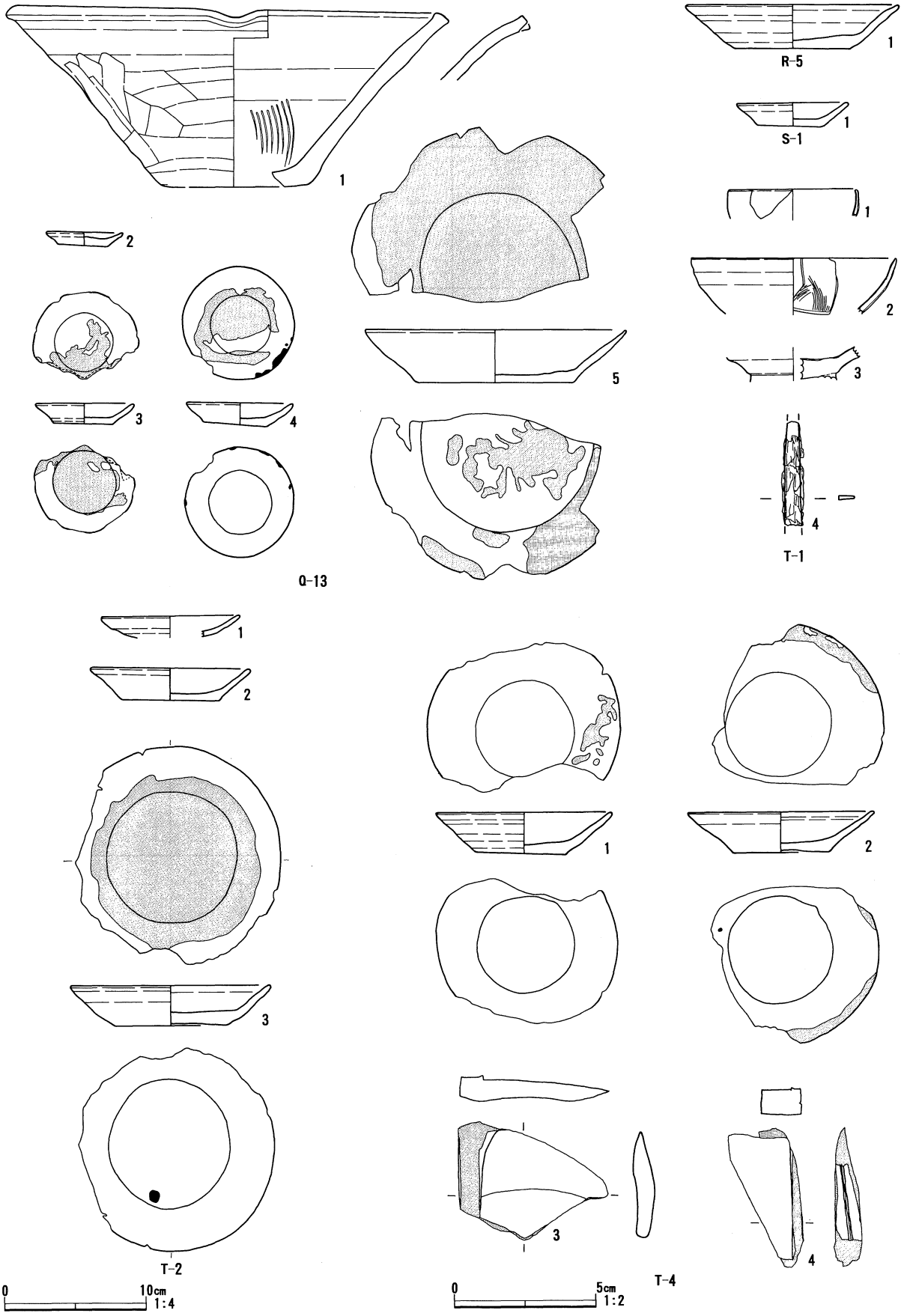


図130 グリッドQ-13～T-4 出土遺物

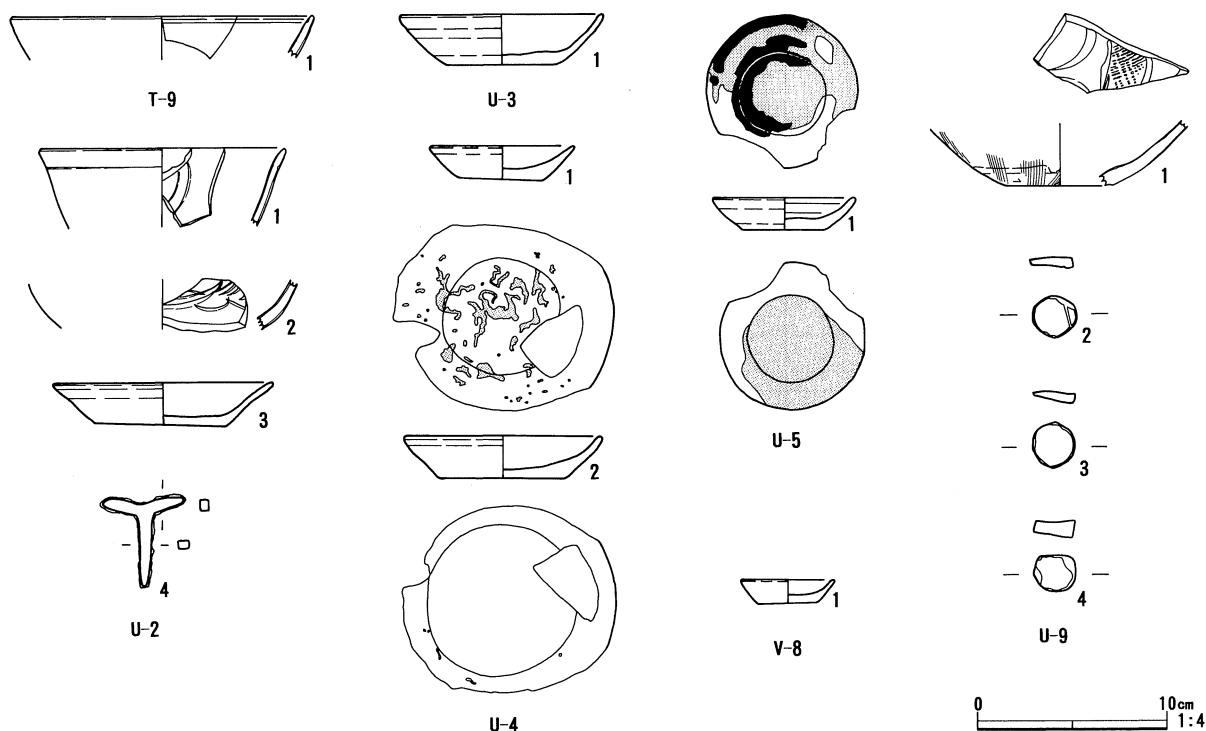


図131 グリッドT-9～V-8出土遺物

4	中世土器 かわらけ	口径 — 底径 4.5 器高 —	口縁部は内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。	橙色	口縁部欠損。
5	中世土器 かわらけ	口径 7.9 底径 4.5 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 3/5 欠損。煤付着。
6	中世土器 かわらけ	口径 (9.2) 底径 6.1 器高 —		体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部欠損。
7	中世土器 かわらけ	口径 (9.7) 底径 5.4 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 9/10欠損。
8	中世土器 かわらけ	口径 (10.1) 底径 4.8 器高 2.3	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	橙色	口縁部 3/4 欠損。底部外面木目圧痕。
9	中世土器 かわらけ	口径 10.2 底径 6.0 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい黄橙色	口縁部 3/5 欠損。
10	中世土器 かわらけ	口径 (10.2) 底径 6.6 器高 (2.3)		体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	橙色	口縁部欠損。
11	中世土器 かわらけ	口径 (10.6) 底径 6.4 器高 —	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。	橙色	口縁部欠損。
12	中世土器 かわらけ	口径 (10.6) 底径 6.6 器高 2.4	外反する体部から、やや内傾気味に立ち上がる口縁部。底部は平底。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り、板状圧痕。	白色粒・角閃石・雲母 内外一鈍い黄橙～橙色	1/3。

13	中世土器 かわらけ	口径 (10.6) 底径 6.1 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 7/8 欠 損。
14	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 5.8 器高 2.7	口縁部はゆるやかに外反しつつ 立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部回転糸切 り。	にぶい黄色	口縁部 1/2 欠 損。底部外面木 目圧痕。
15	中世土器 かわらけ	口径 — 底径 (7.0) 器高 —	大きく外反する体部。底部は平 底。	体部ロクロ整形、底部右回転糸 切り。	白色粒・褐色粒・ 黒色粒・雲母 内外—橙色	体部～底部 1/3。

E-3

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 7.9 底径 4.5 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部一部欠 損。
2	中世土器 かわらけ	口径 (10.9) 底径 6.4 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 4/5 欠 損。
3	中世土器 かわらけ	口径 11.0 底径 5.6 器高 2.3	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 1/5 欠 損。
4	中世土器 かわらけ	口径 11.1 底径 6.4 器高 2.8	口縁部はゆるやかに内彎しつつ 立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 2/5 欠 損。
5	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 6.3 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部一部欠 損。煤付着。
6	中世土器 かわらけ	口径 11.4 底径 6.3 器高 2.4	口縁部はゆるやかに外反しつつ 立ち上がり、中位でゆるやかに 内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	完形。
7	中世土器 かわらけ	口径 11.4 底径 6.5 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	完形。
8	中世土器 かわらけ	口径 11.5 底径 6.6 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 2/5 欠 損。
No.	種類	器種	法 量 (cm・g)			備考
9	石製品	硯	長さ(5.6) 幅7.0 厚さ1.9			粘板岩。
10	石製品	砥石	長さ(7.7) 幅3.7 厚さ(3.6)			凝灰岩。

E-11

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 10.3 底径 5.4 器高 2.4	口縁部は内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい黄橙色	口縁部 3/5 欠 損。底部外面木 目圧痕。煤付着。
2	中世土器 かわらけ	口径 (11.0) 底径 (6.6) 器高 2.3	口縁部はゆるやかに内彎しつつ 立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部回転糸切 り。	橙色	口縁部 4/5 欠 損。
3	中世土器 かわらけ	口径 11.1 底径 7.2 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 1/4 欠 損。
4	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 6.1 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/6 欠 損。

5	中世土器 かわらけ	口径 (12.2) 底径 6.8 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 9/10欠損。
---	--------------	-------------------------------	----------------	-------------------	----	-------------

F-1

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 14.2 底径 8.0 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部一部欠損。
2	中世土器 かわらけ	口径 14.7 底径 8.5 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	3/5。
3	中世土器 かわらけ	口径 15.8 底径 9.1 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい黄橙色	口縁部 1/3 欠損。
4	中世土器 かわらけ	口径 15.8 底径 8.4 器高 2.5	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/3 欠損。

F-2

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 6.3 底径 3.3 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。底部内面一部横ナデ。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠損。
2	中世土器 かわらけ	口径 7.1 底径 4.3 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	ほぼ完形。煤付着。
3	中世土器 かわらけ	口径 7.2 底径 4.2 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	灰黄褐色	口縁部 1/2 欠損。煤付着。
4	中世土器 かわらけ	口径 (10.4) 底径 6.6 器高 —	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部欠損。煤付着。
5	中世土器 かわらけ	口径 12.4 底径 7.0 器高 2.3	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/5 欠損。

F-3

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 10.9 底径 6.3 器高 2.2	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/4 欠損。
2	中世土器 かわらけ	口径 (12.2) 底径 5.3 器高 —	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部欠損。煤付着。

F-10

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 8.5 底径 3.5 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい黄橙色	口縁部 1/8 欠損。煤付着。

F-11

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 4.4 底径 3.2 器高 1.0	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	完形。
2	中世土器 かわらけ	口径 (11.5) 底径 6.1 器高 2.2	口縁部は外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/4 欠損。

F-13

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 (11.6) 底径 6.6 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	橙色	口縁部 4/5 欠損。
2	中世土器 かわらけ	口径 (11.9) 底径 6.0 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/3 欠損。底部中央に穿孔。

F-14

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 7.9 底径 4.4 器高 1.8	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/3 欠損。煤付着。
2	中世土器 かわらけ	口径 11.6 底径 6.2 器高 2.3	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠損。

G-2

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 7.7 底径 5.3 器高 1.3	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
2	中世土器 かわらけ	口径 (11.8) 底径 6.6 器高 —		体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部欠損。

G-3

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	白磁 小皿	口径 — 底径 3.0 器高 —		体部ロクロ整形。底部外面に梅鉢の朱文。	内外一鈍い黄橙色	体部下位～高台 2/3。内面全面施釉。

G-4

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 7.6 底径 4.3 器高 1.6	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/5 欠損。
2	中世土器 かわらけ	口径 7.7 底径 3.9 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	にぶい赤褐色	1/2。
3	中世土器 かわらけ	口径 (10.0) 底径 7.0 器高 —		体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	橙色	口縁部欠損。
4	中世土器 かわらけ	口径 (11.7) 底径 5.9 器高 —		体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部欠損。
5	中世土器 かわらけ	口径 (12.2) 底径 6.5 器高 2.2	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 9/10 欠損。
No.	種類	器種	法 量 (cm・g)			備考
6	石製品	砥石	長さ5.6 幅3.1 厚さ3.0			凝灰岩。

G-11

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	青磁 鉢	口径 (21.6) 底径 — 器高 —	水平に伸びた口縁部	体部ロクロ整形。	夾雑物なし オリーブ灰色	体部破片。

G-12

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 内耳鍋	口径 (33.6) 底径 — 器高 —	彎曲気味の胴部、平坦な口唇部。	外面—ロクロ整形、胴部下位ヘラケズリ。内面—ロクロ整形。	白色粒・角閃石・雲母 内外—黒褐色	口縁部～胴部 1/9。

G-16

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 耳皿	口径 — 底径 3.5 器高 2.0	やや強い内彎度。底部は平底。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	白色粒・黒色粒・褐色粒・雲母 内外—橙色	1/2。

H-2

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 7.9 底径 5.1 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 9/10欠損。煤付着。
2	中世土器 かわらけ	口径 (13.8) 底径 (8.0) 器高 —	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部欠損。底部 1/2 欠損。

H-5

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 播鉢	口径 (28.7) 底径 13.5 器高 12.5	直線的に開く体部。	外面—ロクロ整形、体部ヘラナデ。内面—ロクロ整形、体部櫛目。	褐色粒 内外—橙色	口縁部～体部上位 4/5 欠損。
2	中世土器 かわらけ	口径 7.6 底径 4.8 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。煤付着。
3	中世土器 かわらけ	口径 — 底径 7.7 器高 —	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部欠損。

H-10

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 (11.5) 底径 6.0 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。

H-14

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 内耳鍋	口径 27.0 底径 16.0 器高 15.2	彎曲して開く口縁部。	外面—ロクロ整形、胴部ナデ、底部ヘラケズリ。内面—ロクロ整形。	白色粒・褐色粒 内外—橙色	ほぼ完形。

I-4

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 7.9 底径 5.5 器高 2.1	直線的に外反する体部。底部は平底。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	白色粒・黒色粒・角閃石 内外—浅黄褐色	口縁部 1/3 欠損。

I-5

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 (6.4) 底径 4.6 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 7/8 欠損。

I-9

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 7.5 底径 4.8 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。

2	中世土器 かわらけ	口径 10.9 底径 6.4 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい褐色	ほぼ完形。
3	中世土器 かわらけ	口径 (18.2) 底径 9.2 器高 3.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。底部内面横ナデ。	橙色	口縁部 9/10欠 損。煤付着。

I-10

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 6.4 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	
2	中世土器 かわらけ	口径 11.4 底径 6.4 器高 2.5	口縁部はゆるやかに外反しつつ 立ち上がり、中位でゆるやかに 内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	完形。

I-14

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	白磁 長頸瓶	口径 (9.0) 底径 — 器高 —	下垂した口縁端部。	体部ロクロ整形。	夾雑物なし 内外一灰オリ ブ色	口縁部 1/4。
2	中世土器 かわらけ	口径 5.2 底径 3.4 器高 0.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部回転糸切 り。	橙色	口縁部一部欠 損。
3	中世土器 かわらけ	口径 7.6 底径 4.3 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/2 欠 損。煤付着。
4	中世土器 かわらけ	口径 11.2 底径 6.1 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 2/5 欠 損。
5	中世土器 かわらけ	口径 12.1 底径 6.0 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 1/2 欠 損。煤付着。

I-15

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 6.1 底径 3.3 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部右回転糸 切り。	にぶい橙色	完形。
2	中世土器 かわらけ	口径 6.5 底径 4.4 器高 1.3	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/4 欠 損。煤付着。
3	中世土器 かわらけ	口径 8.2 底径 4.9 器高 1.7	口縁部はゆるやかに内彎しつつ 立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部右回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部一部欠 損。
4	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 6.1 器高 2.2	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/2 欠 損。
5	中世土器 かわらけ	口径 11.8 底径 6.9 器高 2.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部一部欠 損。
6	中世土器 かわらけ	口径 (14.3) 底径 7.2 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部回転糸切 り。	橙色	口縁部 2/3 欠 損。
No.	種類	器種	法 量 (cm・g)			備考
7	石製品	硯	長さ(3.4) 幅4.9 厚さ1.7			粘板岩。

J-1

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 8.0 底径 4.7 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で肥厚する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/4 欠 損。

J-4

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 (7.1) 底径 4.9 器高 1.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 2/3 欠 損。
2	中世土器 かわらけ	口径 (10.2) 底径 5.8 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/2 欠 損。

K-2

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 (7.4) 底径 4.2 器高 1.6	口縁部はゆるやかに外反しつつ 立ち上がり、中位でゆるやかに 内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 3/5 欠 損。煤付着。
2	中世土器 かわらけ	口径 7.5 底径 4.2 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	完形。
3	中世土器 かわらけ	口径 11.3 底径 6.1 器高 2.8	口縁部はゆるやかに外反しつつ 立ち上がり、口唇部はゆるやかに 内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい黄橙色	口縁部 1/2 欠 損。
No.	種類	器種	法 量 (cm・g)			備考
4	鉄滓		長さ7.3 幅5.5 厚さ2.2 重さ123.5。			K-2G

K-3

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 (8.1) 底径 4.0 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 1/6 欠 損。
2	中世土器 かわらけ	口径 (8.1) 底径 4.1 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部右回転糸 切り。	橙色	口縁部 2/3 欠 損。煤付着。

K-4

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 (12.0) 底径 (5.9) 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部回転糸切 り。	橙色	2/5。

K-5

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 (10.8) 底径 7.1 器高 1.9	口縁部はゆるやかに内彎しつつ 立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 3/4 欠 損。煤付着。

K-6

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 7.3 底径 3.8 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位で肥厚する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 1/3 欠 損。
2	中世土器 かわらけ	口径 7.6 底径 4.3 器高 1.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	完形。煤付着。

3	中世土器 かわらけ	口径 7.9 底径 4.4 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部一部欠損。煤付着。
4	中世土器 かわらけ	口径 11.7 底径 6.2 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	橙色	口縁部 1/2 欠損。

K-9

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 7.2 底径 4.2 器高 2.2	彎曲気味に外反する口縁部。底部は平底。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	白色粒・雲母・角閃石 内外一鈍い黄橙色	ほぼ完形。
2	中世土器 かわらけ	口径 11.9 底径 6.9 器高 2.2	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/5 欠損。

K-14

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 7.6 底径 4.2 器高 1.5	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	灰黄褐色	口縁部 1/4 欠損。煤付着。

K-26

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	白磁 小皿	口径 (9.2) 底径 (3.1) 器高 2.2	緩やかに立ち上がる体部。高台挟り。	体部ロクロ整形。	内外一灰白色	1/3。見込目跡。全面施釉。

L-2

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 (10.4) 底径 6.1 器高 2.3	口縁部は外反しつつ立ち上がり、中位で肥厚する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	橙色	2/5。底部外面木目圧痕。

L-3

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 7.1 底径 3.1 器高 2.1	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部回転糸切り。底部内面横ナデ。	橙色	口縁部一部欠損。底部外面木目圧痕。煤付着。
2	中世土器 かわらけ	口径 7.3 底径 4.5 器高 1.5	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/5 欠損。
3	中世土器 かわらけ	口径 7.8 底径 4.5 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/4 欠損。
4	中世土器 かわらけ	口径 (11.3) 底径 6.1 器高 2.2	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面一部横ナデ。	褐灰色	口縁部 3/5 欠損。底部外面木目圧痕。
5	中世土器 かわらけ	口径 11.7 底径 6.5 器高 2.3	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	にぶい黄褐色	口縁部 1/4 欠損。底部外面木目圧痕。煤付着。

L-4

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 11.4 底径 6.5 器高 2.4	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	

2	中世土器 かわらけ	口径 (11.5) 底径 6.6 器高 2.3	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/3 欠損。
3	中世土器 かわらけ	口径 13.8 底径 6.1 器高 3.3	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	
4	中世土器 かわらけ	口径 (13.9) 底径 6.3 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
No.	種類	器種	法 量 (cm・g)			備考
5	銅	滓	長さ2.3 幅2.4 厚さ1.3 重さ14.6。			

L-5

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 3.4 底径 2.2 器高 1.0	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。	橙色	完形。

L-9

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 (11.2) 底径 5.6 器高 2.7	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 3/5 欠損。

L-14

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 (8.6) 底径 4.1 器高 2.2	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で外反し、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。底部内面横ナデ。	淡橙色	口縁部 3/4 欠損。底部外面木目尻痕。

L-15

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 8.4 底径 3.9 器高 2.1	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	

M-4

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 5.5 底径 4.0 器高 1.2	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	完形。煤付着。

M-5

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 (6.4) 底径 4.2 器高 2.1	直線的に外反する口縁部。底部は平底。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。内面に銅滓付着。	白色粒・雲母 内外一黄灰～灰色	口縁部 3/4 欠損。

M-9

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 10.9 底径 6.5 器高 2.1	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい黄橙色	口縁部 2/5 欠損。

M-13

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 12.2 底径 — 器高 —	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形。	橙色	口縁部 2/5 欠損。底部欠損。
2	中世土器 かわらけ	口径 — 底径 6.0 器高 3.1	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/3 欠損。

N-5

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 (11.3) 底径 7.2 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。底部内面横ナデ。	橙色	口縁部 5/6 欠 損。底部外面木 目圧痕。
2	中世土器 かわらけ	口径 (11.4) 底径 6.2 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/3 欠 損。
3	中世土器 かわらけ	口径 (13.4) 底径 (8.4) 器高 2.5	口縁部は外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。底部内面不定方向ナデ。	橙色	2/5。

N-13

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 11.6 底径 5.9 器高 2.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/2 欠 損。

O-2

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 7.4 底径 4.4 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	1/2。
2	中世土器 かわらけ	口径 10.8 底径 6.8 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。底部内面一部横ナデ。	橙色	口縁部 1/5 欠 損。底部外面木 目圧痕。
3	中世土器 かわらけ	口径 11.1 底径 6.6 器高 2.4	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。底部内面一部横ナデ。	にぶい黄橙色	口縁部 1/4 欠 損。底部外面木 目圧痕。

O-8

No.	種類	器種	法量 (cm・g)	備考
1	鉄製品	不明	残存長6.9 幅1.3 厚さ0.6 重さ25.6。	

P-3

No.	種類	器種	法量 (cm・g)	備考
1	石製品	硯	長さ(3.5) 幅(3.4) 厚さ(0.8)	粘板岩。

P-4

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 (6.7) 底径 (5.0) 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 5/6 欠 損。
2	中世土器 かわらけ	口径 (17.7) 底径 10.3 器高 3.7	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部回転糸切 り。	橙色	2/5。
No.	種類	器種	法量 (cm・g)	備考		
3	鉄製品	釘	長さ5.5 幅0.6 厚さ0.5 重さ6.2。			

P-5

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 7.1 底径 3.8 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 1/6 欠 損。

P-13

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 12.1 底径 6.4 器高 2.8	直線的に外反する体部。底部は 平底。	体部ロクロ整形、底部切り離し 不明。	白色粒・褐色粒・ 石英 内外一橙色	口縁部一部欠 損。

Q-1

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 7.7 底径 4.0 器高 2.2	彎曲気味に外反する口縁部。底部は平底。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	白色粒・雲母・角閃石 内外—鈍い黄橙色	口縁部 2/3 欠損。
2	中世土器 かわらけ	口径 8.0 底径 4.8 器高 2.1	直線的に外反する口縁部。底部は平底。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	白色粒・雲母・角閃石 内外—橙色	2/3。煤付着。
3	中世土器 かわらけ	口径 13.1 底径 6.8 器高 2.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/5 欠損。

Q-2

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	陶器 皿	口径 11.6 底径 5.1 器高 3.1	彎曲する体部。底部は平底。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。口縁部内外面に灰釉。	白色粒 胎土：浅黄橙色 釉：灰白～橙色	2/3。
2	中世土器 かわらけ	口径 7.2 底径 4.6 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。

Q-3

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	陶器 皿	口径 (10.7) 底径 — 器高 —	彎曲する体部。口縁部内外面に灰釉。	体部ロクロ整形、底部不明。	白色粒・黒色粒 胎土：浅黄橙色 釉：灰白色	口縁部～体部 1/4。
2	中世土器 かわらけ	口径 8.7 底径 5.3 器高 2.1	口縁部は外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 1/3 欠損。煤付着。

Q-4

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 (7.4) 底径 4.7 器高 1.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	3/5。煤付着。
2	中世土器 かわらけ	口径 (13.2) 底径 (6.8) 器高 2.9	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 7/8 欠損。煤付着。

Q-8

No.	種類	器種	法	量 (cm・g)	備考
1	銅製品	簪	長さ13.1	重さ6.6。	

Q-11

No.	種類	器種	法	量 (cm・g)	備考
1	鉄製品	札板	残存長2.7	幅3.4 厚さ0.4 重さ7.6。	

Q-13

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 播鉢	口径 (29.6) 底径 10.6 器高 12.8	直線的に開く体部。	外面—ロクロ整形、体部横位ヘラナデ。内面—ロクロ整形、体部櫛目。	白色粒・角閃石・礫 内外—鈍い黄橙～灰白色	1/2。
2	中世土器 かわらけ	口径 5.5 底径 3.5 器高 1.0	口縁部は外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/5 欠損。
3	中世土器 かわらけ	口径 7.0 底径 4.2 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で肥厚する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。煤付着。

4	中世土器 かわらけ	口径 7.1 底径 4.4 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部一部欠 損。煤付着。
5	中世土器 かわらけ	口径 (18.7) 底径 11.0 器高 3.8	口縁部は外反しつつ立ち上 がり、中位で肥厚する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 3/5 欠 損。煤付着。

R-5

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 (15.2) 底径 8.2 器高 3.1	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 5/6 欠 損。

S-1

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 7.9 底径 4.5 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/3 欠 損。

T-1

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	青磁 碗	口径 (9.0) 底径 — 器高 —		体部ロクロ整形。	夾雑物なし 灰オリーブ色	口縁部破片。
2	青磁 碗	口径 (14.5) 底径 — 器高 —	僅かな稜線をもって屈曲する口 縁部。	体部ロクロ整形。	夾雑物なし 内外—灰オリー ブ色	口縁～体部破 片。
3	青磁 碗	口径 — 底径 — 器高 —		体部ロクロ整形。	夾雑物なし 内 外—灰白色 釉 —オリーブ灰色	底部 1/3。
No.	種類	器種	法 量 (cm・g)			備考
4	鉄製品	刀子	残存長7.2 幅1.2 厚さ0.3 重さ8.8。柄部木質残存。			

T-2

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	白磁 小皿	口径 (9.8) 底径 — 器高 —	浅い体部。	体部ロクロ整形。	夾雑物なし 内外—灰白色	口縁部～体部下 位破片。
2	中世土器 かわらけ	口径 11.4 底径 6.9 器高 2.3	口縁部はゆるやかに外反しつ つ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部回転糸切 り。	橙色	口縁部 2/5 欠 損。
3	中世土器 かわらけ	口径 (14.2) 底径 7.8 器高 2.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	明黄褐色	口縁部 2/5 欠 損。煤付着。

T-4

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 12.5 底径 6.4 器高 2.9	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 1/2 欠 損。煤付着。
2	中世土器 かわらけ	口径 (13.2) 底径 6.8 器高 2.8	口縁部はゆるやかに外反しつ つ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 2/3 欠 損。煤付着。
No.	種類	器種	法 量 (cm・g)			備考
3	石製品	硯	長さ(3.7) 幅(4.6) 厚さ(0.9)			粘板岩。
4	石製品	硯	長さ(5.0) 幅(2.2) 厚さ(0.9)			粘板岩。

T-9

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	青磁碗	口径 (16.0) 底径 — 器高 —		体部ロクロ整形。	夾雑物なし 内外—オリーブ 灰色	口縁部破片。

U-2

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	青磁碗	口径 (13.0) 底径 — 器高 —	深い体部。	体部ロクロ整形。	夾雑物なし 内外—オリーブ 灰色	口縁部～体部破片。
2	青磁碗	口径 — 底径 — 器高 —		体部ロクロ整形。	夾雑物なし 内外—オリーブ 黄色	体部破片。
3	中世土器かわらけ	口径 11.7 底径 7.0 器高 2.2	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形。底部左回転糸 切り。	にぶい橙色	口縁部 3/5 欠 損。
No.	種類	器種	法 量 (cm・g)			備考
4	鉄製品	不明	残存長5.0 幅0.6 厚さ0.4 重さ11.9。			AE-13G

U-3

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器かわらけ	口径 (10.8) 底径 5.8 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、 中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 2/3 欠 損。

U-4

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器かわらけ	口径 7.7 底径 4.7 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	完形。
2	中世土器かわらけ	口径 (10.6) 底径 6.7 器高 2.2	口縁部はゆるやかに内彎しつつ 立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	橙色	口縁部 4/5 欠 損。煤付着。

U-5

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器かわらけ	口径 7.6 底径 4.4 器高 1.7	口縁部はゆるやかに内彎しつつ 立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸 切り。	にぶい黄橙色	口縁部 1/4 欠 損。

U-9

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	青磁鉢	口径 — 底径 — 器高 —		体部ロクロ整形。	夾雑物なし 内外—灰オリー ブ色	体部破片。
No.	種類	器種	法 量 (cm・g)			備考
2	土製品	不明	上径：2.2 下径：2.2 厚さ：0.6 白色粒・雲母 鈍い橙色 かわらけ体部の破片			完形。
3	土製品	不明	上径：2.1 下径：2.2 厚さ：0.5 白色粒・雲母 橙色 かわらけ体部の破片			完形。
4	土製品	不明	上径：2.0 下径：2.1 厚さ：0.9 白色粒・雲母 橙色 かわらけ底部の破片			完形。

V-8

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器かわらけ	口径 5.0 底径 3.2 器高 1.3	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部回転糸切 り。底部内面一部横ナデ。	橙色	ほぼ完形。

(10) 試掘調査時出土遺物

試掘調査の際の表土掘削時に出土した遺物を一括した。埴輪や土師器、須恵器、青磁・白磁、在地系中世土器、かわらけなど種類は多様である。表土上層の耕作土中で検出したものは、一部を除きほとんどが微細な破片となっている。調査区内には野菜くずの投棄やウド栽培に用いられた比較的浅い攪乱墳が各所に存在したが、これら攪乱墳に一括投棄された遺物のうちには、比較的良好な状態のかわらけが多く含まれていた。本来の帰属遺構は不明であるが、近隣に存在した遺構に伴うものであったと推定される。

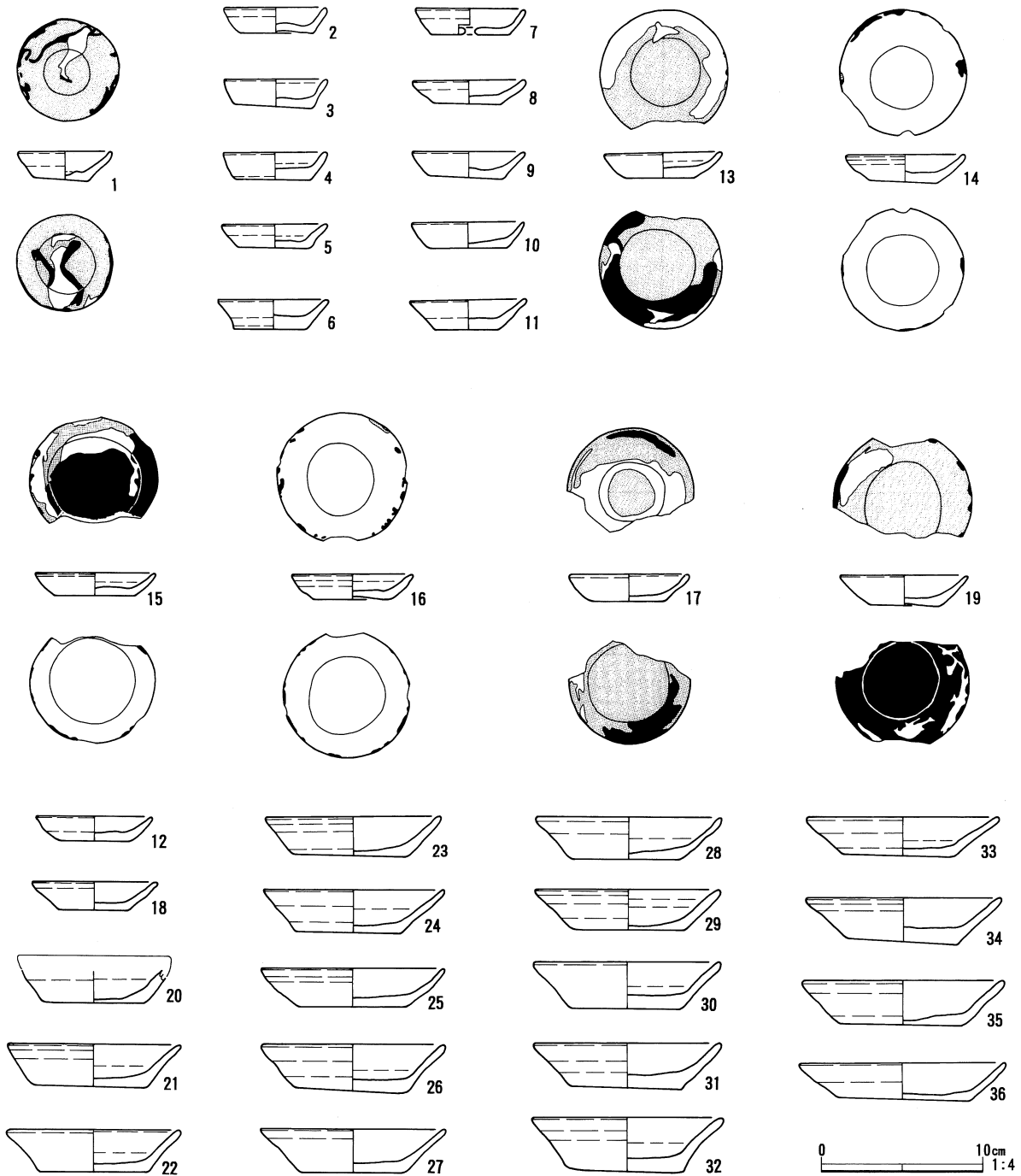


図132 試掘 1～36出土遺物

試掘調査時表土中出土遺物観察表

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 5.9 底径 3.5 器高 1.8	口縁部は外反しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部右回転糸切り。	浅黄橙色	完形。煤付着。
2	中世土器 かわらけ	口径 6.4 底径 4.6 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/5 欠損。
3	中世土器 かわらけ	口径 6.4 底径 4.9 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	2/3。
4	中世土器 かわらけ	口径 6.5 底径 4.6 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	完形。
5	中世土器 かわらけ	口径 6.6 底径 4.5 器高 1.5	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	橙色	口縁部一部欠損。底部外面木目圧痕。
6	中世土器 かわらけ	口径 6.8 底径 4.6 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部一部欠損。
7	中世土器 かわらけ	口径 (6.9) 底径 4.8 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	1/2。
8	中世土器 かわらけ	口径 7.0 底径 4.1 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面一部横ナデ。	橙色	口縁部一部欠損。
9	中世土器 かわらけ	口径 7.0 底径 4.6 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部一部欠損。
10	中世土器 かわらけ	口径 (7.0) 底径 5.0 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	2/3。
11	中世土器 かわらけ	口径 7.2 底径 3.9 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で肥厚する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	完形。
12	中世土器 かわらけ	口径 7.3 底径 4.4 器高 1.5	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい黄橙色	口縁部一部欠損。
13	中世土器 かわらけ	口径 7.3 底径 4.3 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい黄橙色	口縁部 1/8 欠損。煤付着。
14	中世土器 かわらけ	口径 7.4 底径 4.1 器高 1.7	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	ほぼ完形。煤付着。
15	中世土器 かわらけ	口径 7.5 底径 5.0 器高 1.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい黄褐色	口縁部 1/3 欠損。煤付着。
16	中世土器 かわらけ	口径 7.6 底径 4.7 器高 1.6	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で肥厚する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	ほぼ完形。煤付着。
17	中世土器 かわらけ	口径 7.5 底径 4.8 器高 1.7	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい黄褐色	口縁部 1/2 欠損。煤付着。
18	中世土器 かわらけ	口径 7.8 底径 4.3 器高 1.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/6 欠損。

19	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	7.9 4.4 1.9	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい褐色	口縁部 1/2 欠損。煤付着。
20	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	(9.6) 6.4 —	口縁部は外反しつつ立ち上がり、中位で内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	黄橙色	口唇部欠損。底部外面木目圧痕。
21	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	10.8 7.0 2.6	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
22	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	(10.9) 6.8 2.6	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/3 欠損。
23	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	11.0 7.0 2.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/3 欠損。
24	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	11.3 6.6 2.7	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	にぶい橙色	口縁部 3/5 欠損。
25	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	(11.4) 6.7 2.4	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	2/5。
26	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	11.5 7.1 2.9	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/6 欠損。
27	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	(11.6) 6.7 2.7	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 5/6 欠損。
28	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	11.6 6.6 2.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	橙色	口縁部 1/3 欠損。底部外面木目圧痕。
29	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	11.6 6.9 2.5	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/3 欠損。
30	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	11.6 6.8 2.9	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/6 欠損。
31	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	11.7 7.0 2.8	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
32	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	11.9 7.2 3.3	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/4 欠損。
33	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	12.0 6.9 2.4	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
34	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	12.2 6.8 2.7	口縁部は直線的に立ち上がり、中位で外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/2 欠損。
35	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	12.6 7.7 2.7	口縁部は直線的に立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	橙色	口縁部 3/4 欠損。
36	中世土器 かわらけ	口径 底径 器高	12.9 8.2 2.3	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面横ナデ。	橙色	口縁部 3/4 欠損。



图133 表採 1 ~ 4 出土遺物

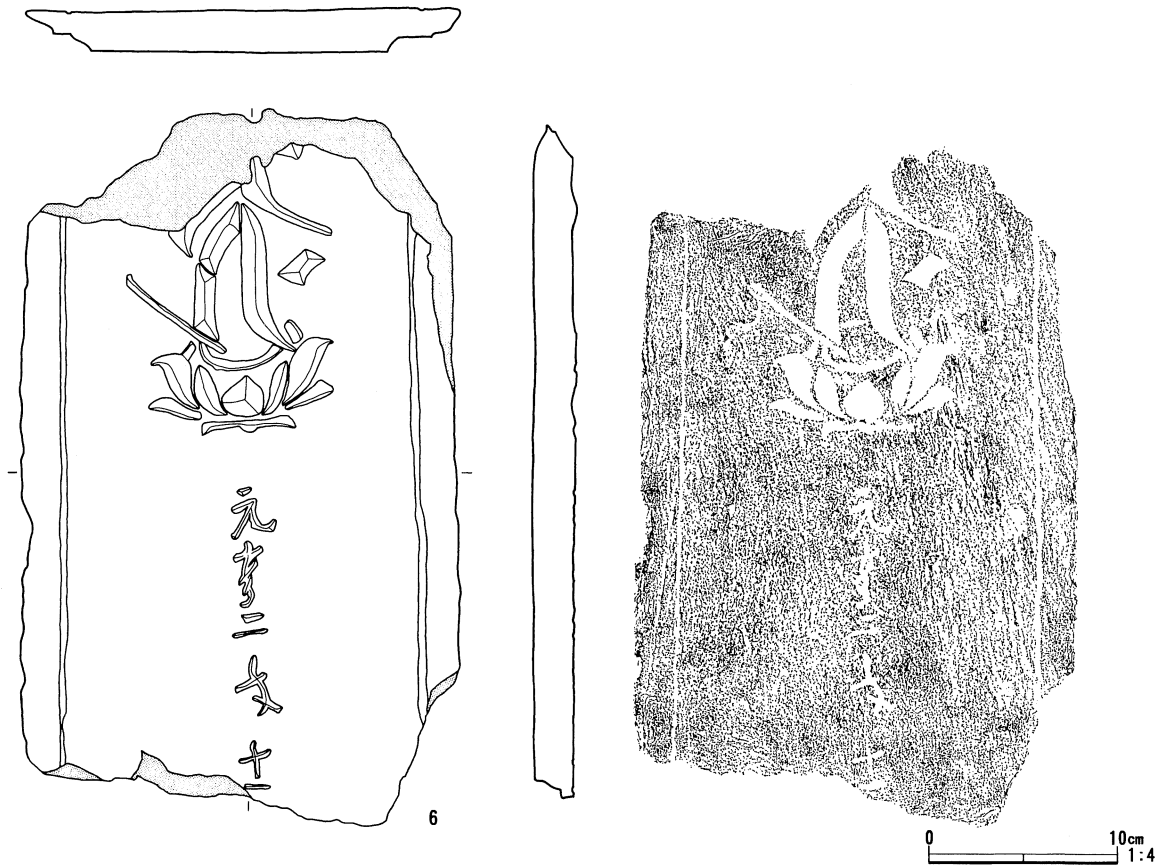
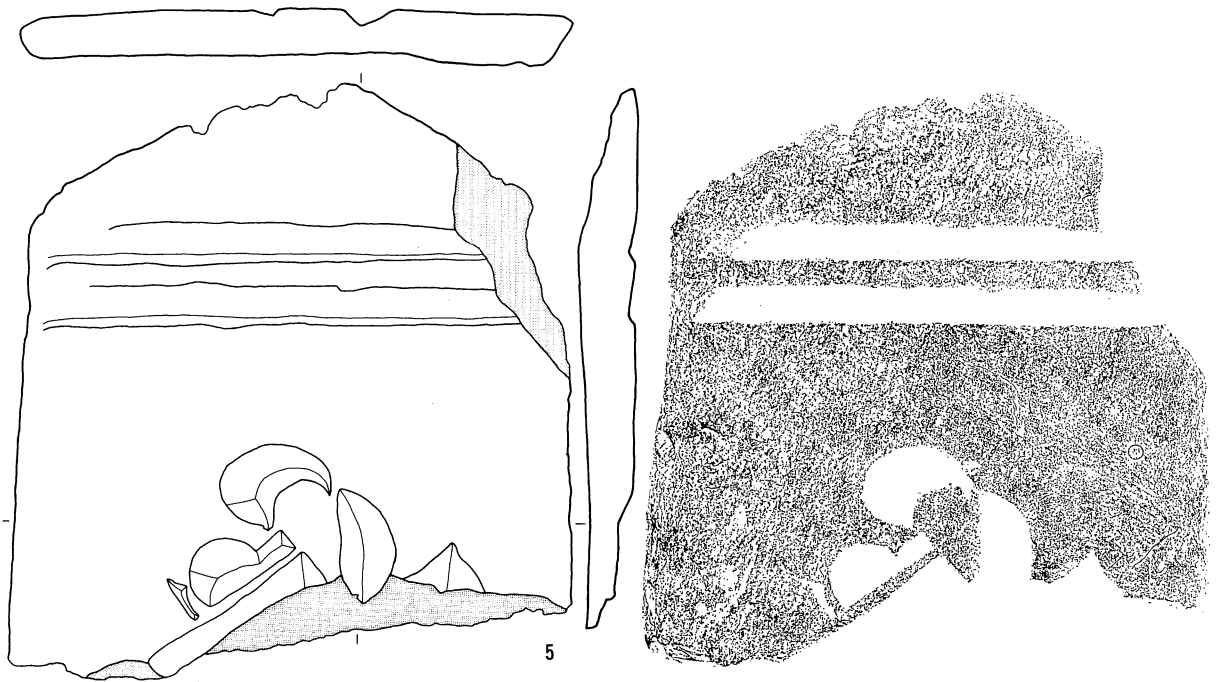


图134 表採5~6出土遺物

(11) 表面採集遺物

試掘調査前の踏査の際に、埴輪や土師器、須恵器の細片、かわらけ、板碑を採集した。土器類は主に畑地の耕作土の上面に露出していたものである。板碑は、調査区の水田の畔の水口で、閉塞用の堰に転用されていたものを採集した。本遺跡に伴う確証はないが、遠距離を搬入したものとも考えにくいので、表面採集遺物に含めた。

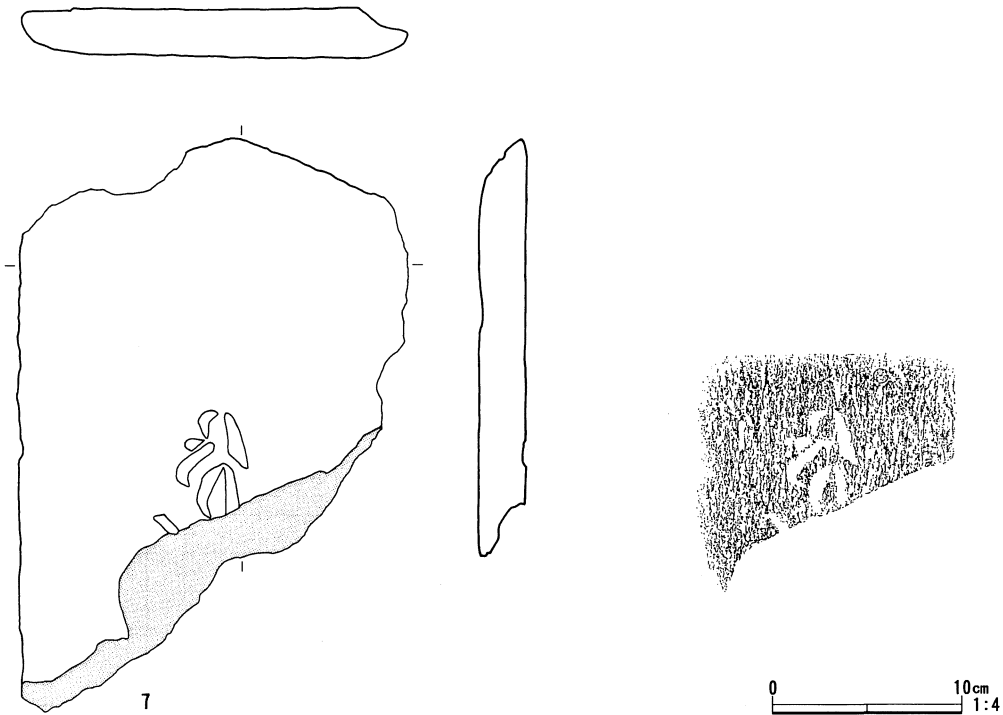


図135 表採7出土遺物

発掘調査区内表面採集遺物観察表

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	中世土器 かわらけ	口径 7.3 底径 4.4 器高 1.4	口縁部はゆるやかに外反しつつ立ち上がり、口唇部はゆるやかに内彎する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 1/6 欠損。煤附着。
2	中世土器 かわらけ	口径 (11.6) 底径 7.1 器高 2.6	口縁部は直線的に立ち上がる。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。	橙色	口縁部 2/3 欠損。
3	中世土器 かわらけ	口径 11.6 底径 5.7 器高 2.5	口縁部はゆるやかに内彎しつつ立ち上がり、中位でゆるやかに外反する。	体部ロクロ整形、底部左回転糸切り。底部内面不定方向ナデ。	橙色	口縁部 1/3 欠損。底部外面木目圧痕。煤附着。
No.	種類	器種	法 量 (cm・g)			備考
4	石製品	板 碑	長さ(53.0)	幅28.1	厚さ3.2	緑泥片岩。
5	石製品	板 碑	長さ(31.5)	幅29.7	厚さ2.9	緑泥片岩。
6	石製品	板 碑	長さ(37.6)	幅23.2	厚さ2.3	緑泥片岩。
7	石製品	板 碑	長さ(30.0)	幅20.5	厚さ2.6	緑泥片岩。

3 古墳群

(1) 古墳

古墳は総計32基を検出した。調査区内における分布は、多くが中央の埋没谷を避けるように大きく南北に分散する。埋没谷の北側にはST-00～17・23～28が分布する。うちST-00・01・03は東側の低地部に、ST-02は低地と台地の境界部に、その他の古墳は台地上に立地する。いっぽう、埋没谷の南側にはST-18～22・31が分布し、さらに、調査区西端には埋没谷奥部に堆積する黒色土上にST-29・30の2基が所在する。なお、調査区東端に位置するST-18の周辺は土取りによって崖線を呈しており、元来さらに東方へ延びていたと考えられる台地の上にも古墳が存在していた可能性がある。また、ST-31の所在する調査区南西側は、小山川の浸食により段丘崖が発達しており、ST-31がこの段丘崖形成により破壊を受けていることから、この方向にも古墳群が連続していたと考えられる。

調査区内に確認された古墳はすべて円墳である。周堀の一部が途切れるものはあるが、造り出しその他、明瞭な付帯的施設を伴う例は見られない。

墳丘規模は直径20mを超えるものはなく、今回の調査区内には中核的な古墳の存在を認めない。

すべての古墳の墳丘が完全に削平を受けており、墳丘下の旧表土も存在しない。古墳は各所で中世の区画溝と重複しているが、これらの溝は古墳の墳丘を全く回避することなく直線的に設定されている。このことから、古墳の破壊が進行した時期は古く、少なくとも区画溝の多くが掘削された15世紀後半には、ほとんどの古墳の墳丘が失われていたものと推測される。

確認面はローム層上面であるが、周堀に沿う墳丘外縁部のローム面が緩やかに傾斜しているものがあり、これらの古墳にはローム層削り出しによるテラス状の施設が存在したと考えられる。埋葬施設を確認できる例は皆無であった。中世の溝、井戸などから面取り加工を施した人頭大の角閃石安山岩が出土していることから、6世紀後葉に属する古墳の埋葬施設にこうした石材が用いられていた可能性が考えられる。

周堀の形態は、明瞭な掘り込みが整円形を描いてめぐると、掘り込みが浅く、立上がりりが蛇行して不整な平面形を呈するものと大別される。また、後者の周堀底には大型の土壙状の落ち込みが存在する場合が多い。前者は、ST-18・29を除き、すべて埋没谷の北側に分布するのに対し、後者は埋没谷南側の台地と埋没谷奥部に堆積する黒色土上に立地する。周堀底を掘り込む土壙状の落ち込みは、ローム層直下の存在する白色粘質土層を掘り抜いて礫層にまで達している例が多い。

遺物は土師器、須恵器、埴輪を検出した。原位置を保つ遺物はなく、すべて周堀に転落した状態で出土している。周堀内の遺物は、ほとんど大部分が覆土最上層から検出され、中層以下ではほとんど出土しない。周堀覆土の堆積が一定程度進行した段階で、墳丘上の遺物が周堀内部に転落したことが窺える。土師器は坏、埴、壺、須恵器は臙が出土している。埴輪は円筒、朝顔、家、人物、馬、盾、鞆、大刀を認めるほかST-29で検出した弓は全国的にも希有な例として注目される。また、ST-24の周堀から濃緑色の管玉5点を検出した。なお、中世の溝であるSD-11からは形象埴輪片が、同じく中世の方形竪穴状遺構であるSF-40からは金銅製耳環2点が出土している。

ST-11・15・23・24・26・27の覆土中に断続的な層状ないしブロック状の火山灰の堆積を認めた。これらの火山灰は、別章に報告のとおり、自然科学分析により、Hr-FAとの同定結果を得ている。

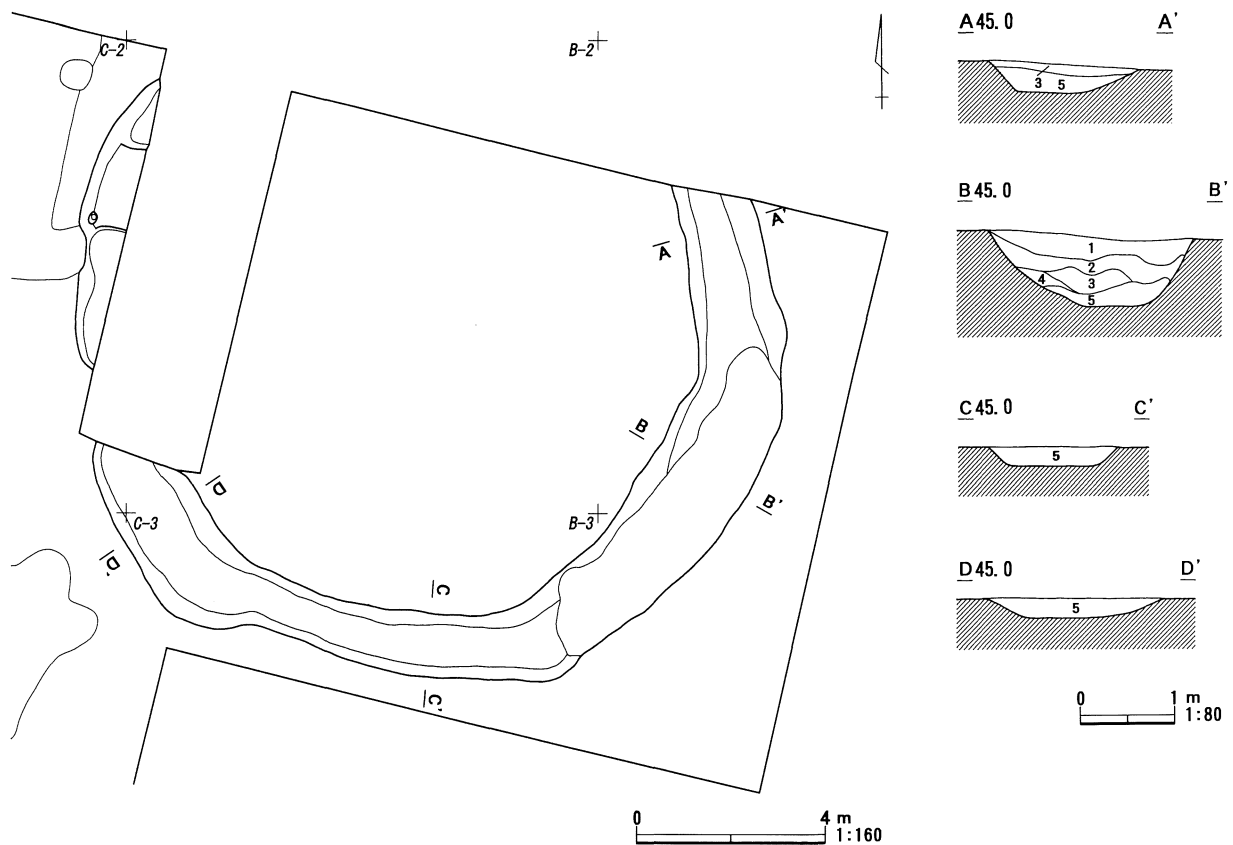
古墳の所属時期は、これら出土遺物の型式から、多くが5世紀末葉から6世紀末葉の段階と考えられるが、埴輪の出土を認めない古墳のうちには7世紀代に降下するものが含まれる可能性がある。

ST-00 (図136)

位置：A-2・3、B-2・3、C-2・3グリッドに位置する。ローム台地下の低地部に立地する。低地部の地山はシルトにより形成されているが、古墳周堀はこれを掘削して構築されている。調査区の北端にあって、北側1/5程度が調査区外にある。西側周堀上にかかる位置には、電柱とこれを支持するワイヤーが存在し、一部調査が及ばなかった部分がある。周堀東側の一部には攪乱が入っている。

形状：墳丘は、ほぼ整円形を呈する。周堀南東側は、堀底から外側立ち上がりにかけて攪乱が入る。

周堀外側の立ち上がりは、南から西側でやや蛇行し、部分的に堀幅の変化する箇所が存在する。周堀底面は、地山のシルト層を掘り抜いて礫層に達している。部分的に堀幅の広がる箇所が存在する。周堀断面は箱形を呈する。周堀底面はおおむね平坦であるが、周堀西側の2箇所にて段差を認める。周堀覆土は3層に大別され、上層に白灰色土ブロックを含む黒色土、中位に白灰色土の純層を挟み、下層に礫を多量に含む黒色土の堆積を認める。



ST-00 土層説明

- 1 黒色土
- 2 黒色土 白灰色土ブロック（径1～5mm）を少量含む。
- 3 黒色土 白灰色土ブロック（径1～10mm）を多量に含む。
- 4 白灰色土
- 5 黒褐色土 砂礫（径1～10mm）を多量に含む。

図136 ST-00

規模：周堀内径12.7m、周堀外径15.6m、幅1.1～2.2m、深さ20～75cmを測る。

遺物：周堀覆土及び確認面上層で土師器、円筒埴輪、形象埴輪を検出した。

土師器は坏1点を遺構確認面上層で検出した。周堀覆土からの出土ではないが、周堀確認直上レベルでの出土であり、本古墳に伴うものと判断される。典型的な坏蓋模倣坏で、体部をヘラ削りし、口縁部は直立する。口唇部は端面を成形し、直下の内面に稜を有する。

円筒埴輪は、二条突帯三段構成で、胎土に砂礫を多く含む個体が多い。外面調整はすべて1次タテハケによる。突帯は断面が三角形を呈するものと台形を呈するものがある。透孔は円形と半円形とが存在する。

形象埴輪は、1点のみを確認できる。突帯と線刻を認めるが器種は不明である。

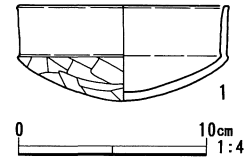


図137 ST-00 土器実測図

ST-00

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	土師器 坏	口径 11.3 底径 — 器高 5.0	体部と口縁部の境に稜線をもち、口縁部は直立。底部は丸底。	外面—口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ。内面—口縁部ヨコナデ、体部ナデ。	粗砂粒・黒色粒 内外—橙色	4/5。

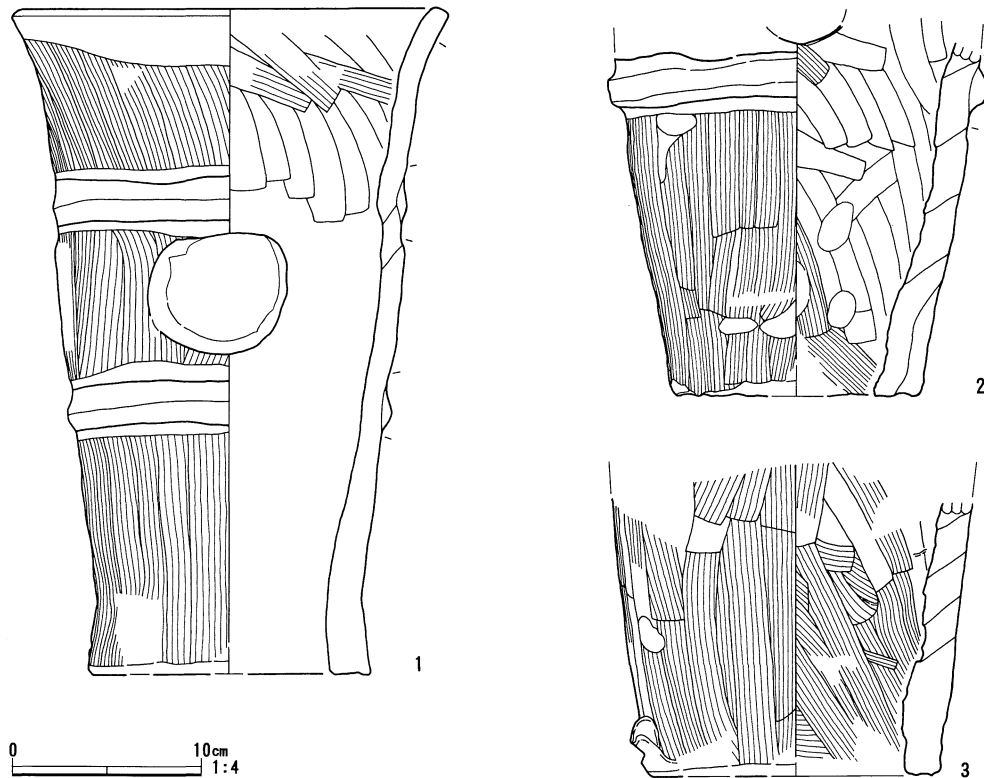


図138 ST-00 円筒埴輪実測図

ST-00 円筒埴輪拓影資料観察表

番号	器種	部位	外面調整・ハケ本数	内面調整・ハケ本数	焼成	色調	備考
1	円筒	第2・3段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm	良好	にぶい橙色	砂礫を多く含む。内面輪積痕。口唇部・突帯ヨコナデ。

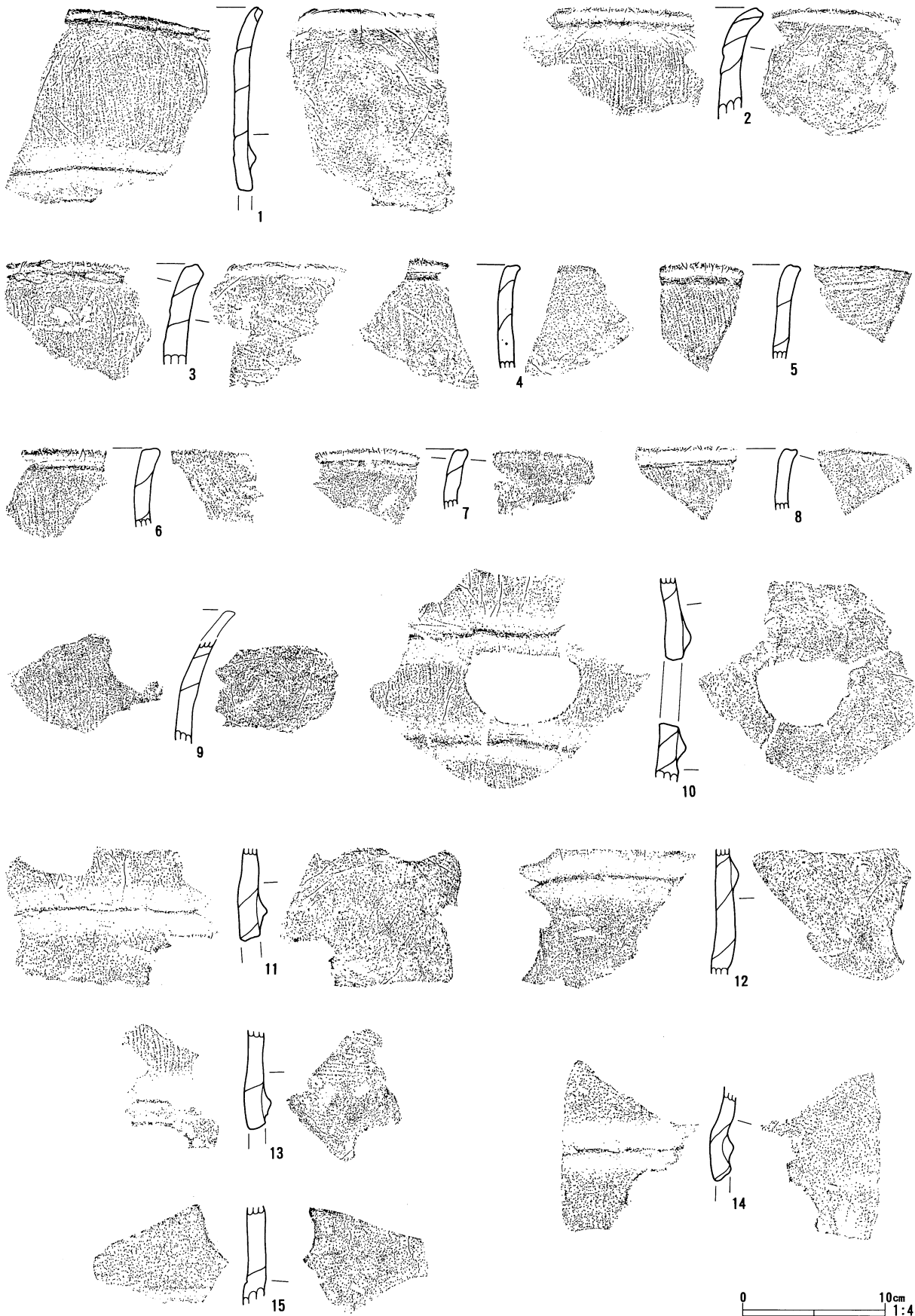


图139 ST-00 円筒埴輪拓影图 (1)

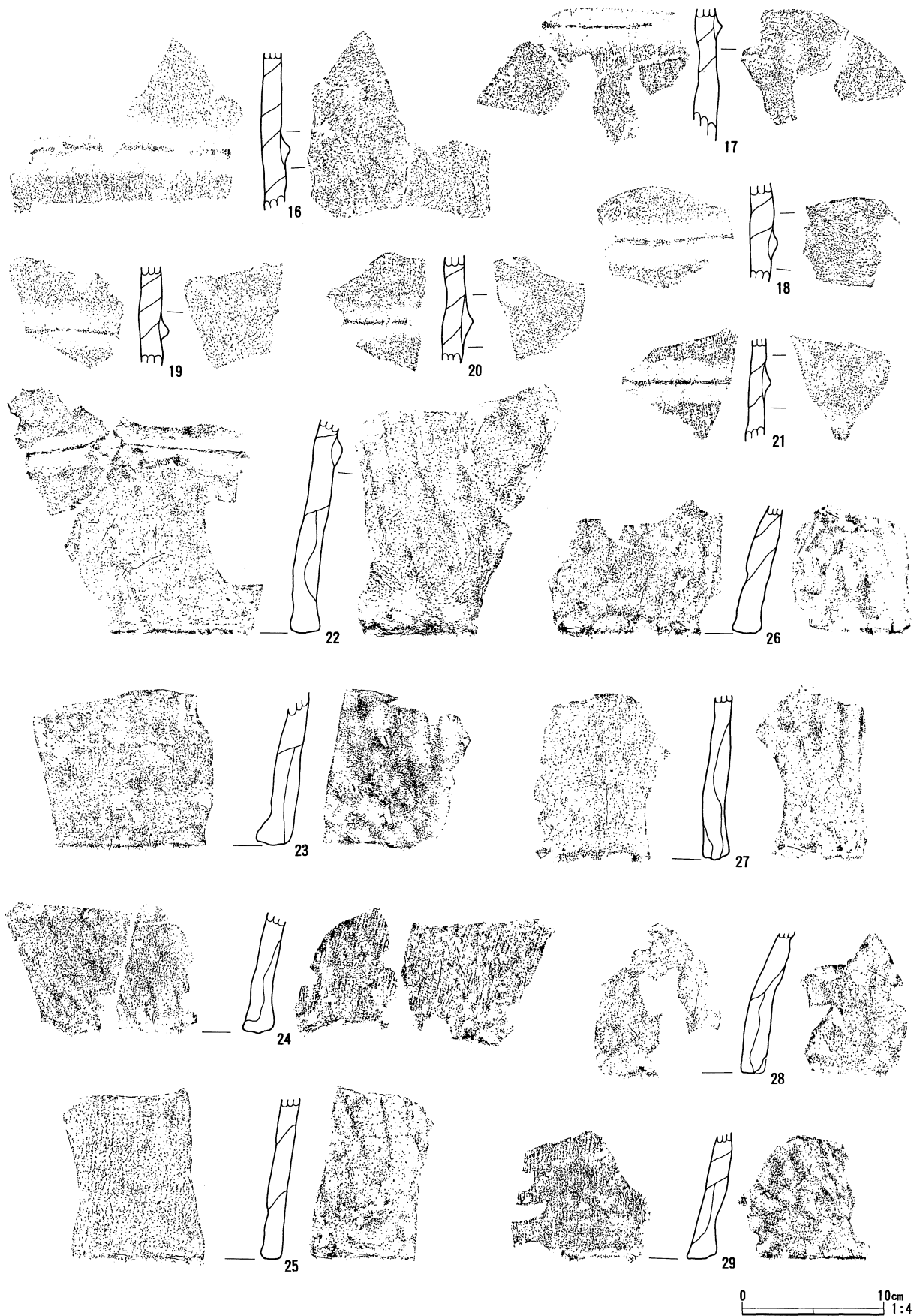


图140 ST-00 円筒埴輪拓影图 (2)

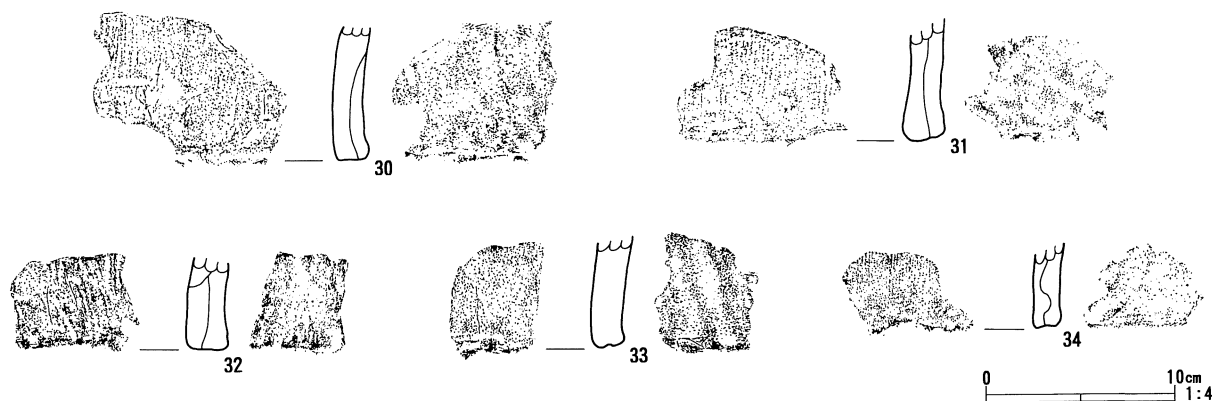


図141 ST-00 円筒埴輪拓影图 (3)

2	円筒	第 3 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・表面摩滅	良 好	橙 色	砂礫を多く含む。内面輪積痕。口唇部端面・内外面ヨコナデ。
3	円筒	第 3 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm ナナメナデ	良 好	に ぶ い 橙 色	砂礫を多く含む。内面輪積痕。口唇部端面・内外面ヨコナデ。
4	円筒	第 3 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm	良 好	に ぶ い 橙 色	砂礫を多く含む。内面輪積痕。外面線刻。口唇部ヨコナデ。
5	円筒	第 3 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm	良 好	橙 色	砂礫を多く含む。口唇部端面・内外面ヨコナデ。
6	円筒	第 3 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm	良 好	橙 色	砂礫を多く含む。口唇部端面・内外面ヨコナデ。
7	円筒	第 3 段	1次タテハケ・表面摩滅	ナナメハケ・表面摩滅	良 好	橙 色	砂礫を多く含む。口唇部端面・内外面ヨコナデ。
8	円筒	第 3 段	1次タテハケ・表面摩滅	ナナメナデ	良 好	橙 色	砂礫を多く含む。口唇部端面・内外面ヨコナデ。
9	円筒	第 3 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・6本/2cm	良 好	橙 色	砂礫を多く含む。
10	円筒	第1～3段	1次タテハケ・8本/2cm	ヨコナデ及びナナメナデ	良 好	橙 色	砂礫を多くを含む。突帯ヨコナデ。半円形透孔。
11	円筒	第2・3段	1次タテハケ・7本/2cm	ヨコナデ及びナナメナデ	良 好	橙 色	砂礫を多くを含む。突帯ヨコナデ。半円形透孔。
12	円筒	第2・3段	1次タテハケ・表面摩滅	ヨコナデ及びナナメナデ	良 好	に ぶ い 橙 色	砂礫を多く含む。突帯ヨコナデ。円形透孔。
13	円筒	第2・3段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm	良 好	に ぶ い 橙 色	砂礫を多く含む。突帯ヨコナデ。半円形透孔。
14	円筒	第2・3段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm 及びヨコナデ	良 好	に ぶ い 橙 色	砂礫を多く含む。突帯ヨコナデ。半円形透孔。
15	円筒	第 2 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメナデ	良 好	橙 色	砂礫を多く含む。円形透孔。
16	円筒	第2・3段	1次タテハケ・6本/2cm	タテナデ	良 好	に ぶ い 橙 色	砂礫を多く含む。突帯ヨコナデ。
17	円筒	第 2 段	1次タテハケ・5～7本/2cm	ナナメナデ	良 好	に ぶ い 橙 色	砂礫を多く含む。突帯ヨコナデ。
18	円筒	第1・2段	1次タテハケ・7本/2cm	ナナメナデ	良 好	橙 色	砂礫を多く含む。突帯ヨコナデ。
19	円筒	第1・2段	1次タテハケ・表面摩滅	ナナメナデ	良 好	に ぶ い 橙 色	砂礫を多く含む。突帯ヨコナデ。
20	円筒	第1・2段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメナデ及びタテナデ	良 好	に ぶ い 橙 色	砂礫を多く含む。内面指頭圧痕。突帯ヨコナデ。

21	円筒	第2・3段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメナデ	良好	橙色	砂礫を多く含む。 突帯ヨコナデ。
22	円筒	第1・2段	1次タテハケ・7本/2cm	ナナメナデ	良好	にぶい橙色	砂礫を多く含む。 内面指頭圧痕。突帯ヨコナデ。
23	円筒	第1段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメナデ	良好	橙色	砂礫を多く含む。 底部棒状圧痕。
24	円筒	第1段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメナデ	良好	にぶい橙色	砂礫を多く含む。 底部棒状圧痕。
25	円筒	第1段	1次タテハケ・8本/2cm	タテナデ	良好	橙色	砂礫を多く含む。 底部棒状圧痕。
26	円筒	第1段	1次タテハケ・表面摩滅	ナナメハケ・表面摩滅	良好	にぶい黄橙色	
27	円筒	第1段	1次タテハケ・8本/2cm	タテナデ	良好	橙色	砂礫を多く含む。 底部棒状圧痕。
28	円筒	第1段	1次タテハケ・8本/2cm	タテナデ	良好	橙色	砂礫を多く含む。
29	円筒	第1段	1次タテハケ・8本/2cm	タテナデ	良好	橙色	砂礫を多く含む。 内面指頭圧痕。底部棒状圧痕。
30	円筒	第1段	1次タテハケ・8本/2cm	タテナデ	良好	橙色	砂礫を多く含む。 内面指頭圧痕。底部棒状圧痕。
31	円筒	第1段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメナデ	良好	にぶい橙色	砂礫を多く含む。 底部棒状圧痕。
32	円筒	第1段	1次タテハケ・6本/2cm	ナナメナデ	良好	にぶい橙色	砂礫を多く含む。 底部棒状圧痕。
33	円筒	第1段	1次タテハケ・表面摩滅	タテハケ・14本/2cm 及びナナメナデ	良好	灰白色	
34	円筒	第1段	1次タテハケ・15本/2cm	ナナメナデ	良好	にぶい橙色	砂礫を多く含む。

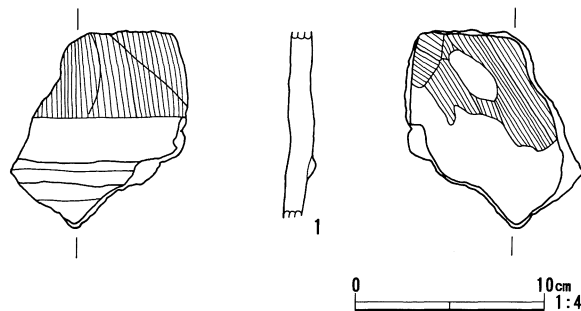


図142 ST-00 形象埴輪実測図

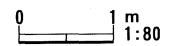
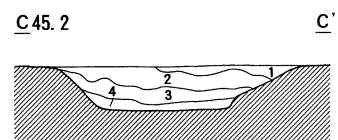
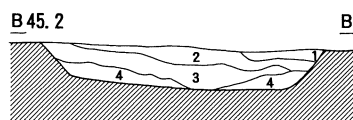
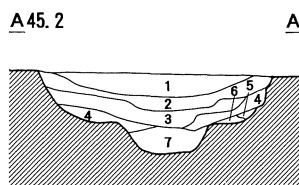
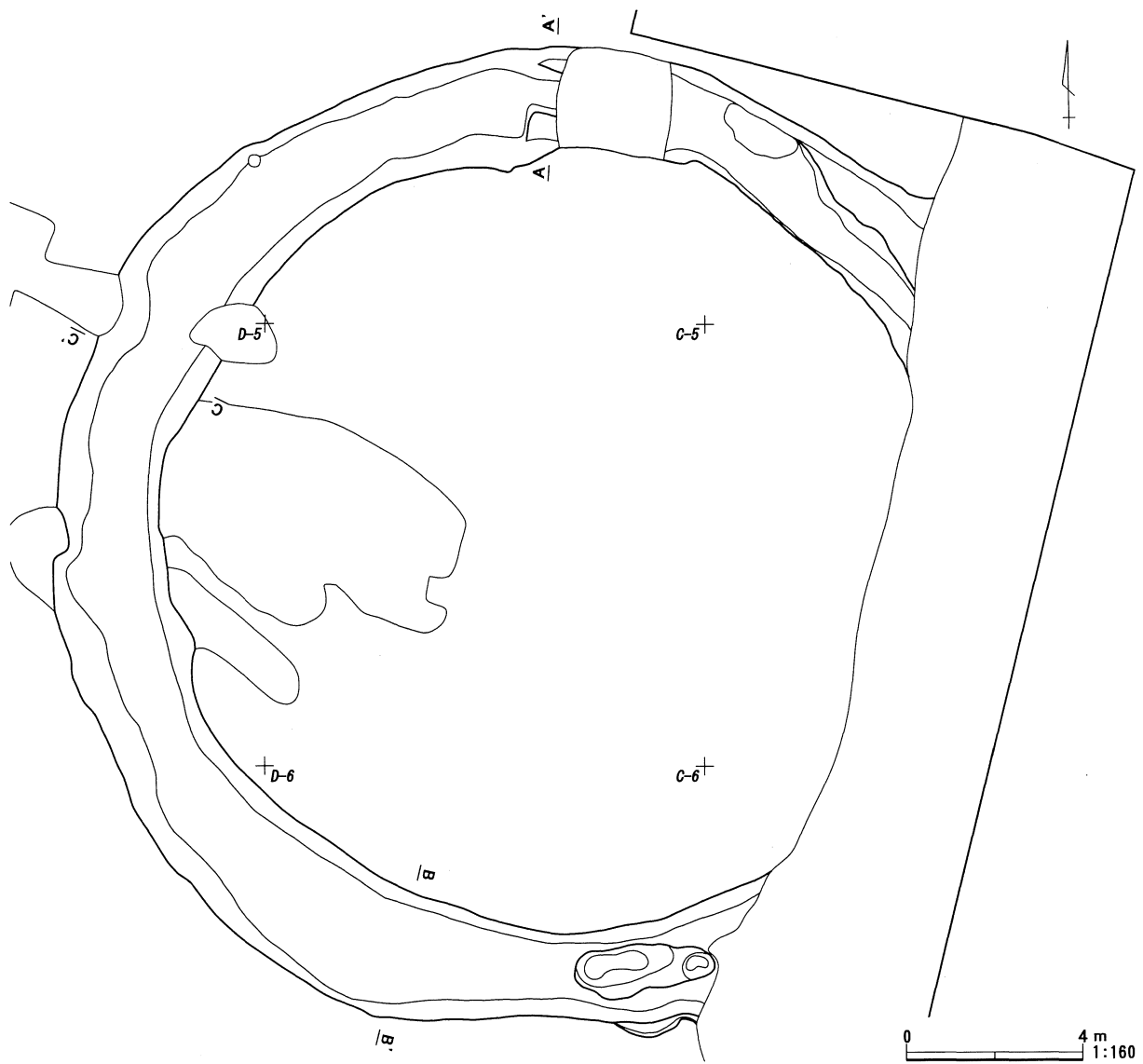
ST-00 形象埴輪観察表

No.	器種	部位・形態の特徴	成形・調整手法の特徴	焼成	色調	備考
1	不明	直線と弧状の二条の線刻。幅狭の突帯と上下に幅広のナデ。	外面一ハケ及びナデ 内面一ハケ及びナデ	良好	橙色	砂粒を多く含む。

ST-01 (図143)

位置：B-4～6、C-4～6、D-4～6グリッドに位置する。調査区東端のローム台地下の低地部に立地する。

形状：東側1/6程度が攪乱により失われているほか、北から西側にかけて各所に攪乱が入る。埴丘は整円形を呈する。周堀外側の立ち上がりは、南側でやや蛇行し、部分的に堀幅の変化する箇所が存在する。周堀断面



ST-01 土層説明

- 1 黒色土
- 2 黒色土 白灰色土ブロック（径1～2mm）を少量含む。
- 3 黒色土 白灰色土ブロック（径1～10mm）を多量に含む。
- 4 黒灰色土 砂礫（径1～10mm）を多量に含む。
- 5 黒灰色土 砂粒（径1～2mm）を多量に含む。
- 6 白灰色土
- 7 暗灰色土 砂礫（径1～15mm）を多量に含む。

図143 ST-01

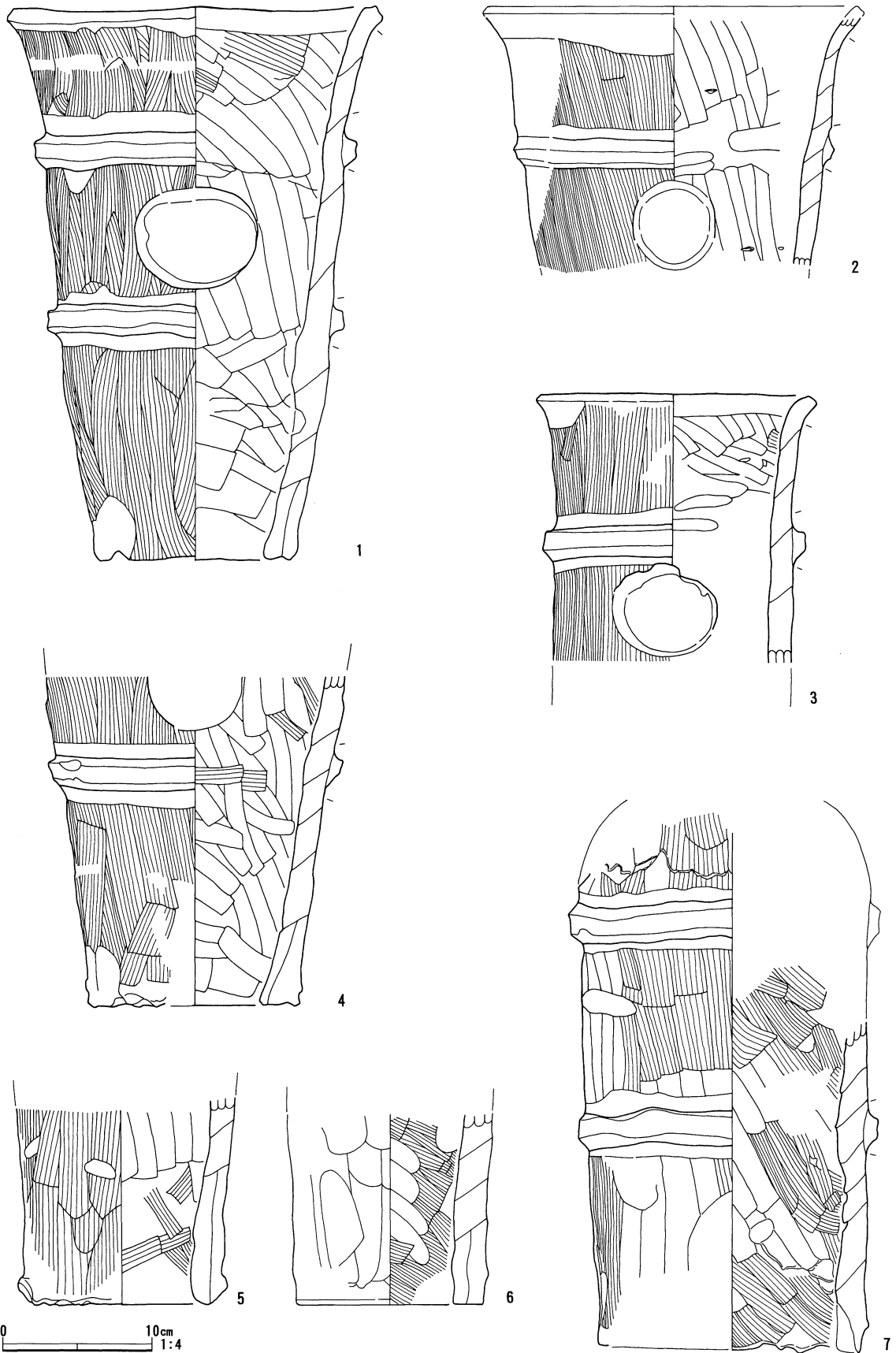


图144 ST-01 円筒・朝顔形埴輪実測図

は箱形を呈し、堀底は地山のシルト層を掘り抜いて礫層に達している。周堀底面はおおむね平坦であるが、南側周堀底に不整形の落ち込みが、北東側周堀には並行する段差が認められるほか、北側中央の内外立ち上がり部にはステップ状の掘り残しが認められる。周堀覆土は4層に大別され、上層に白灰色土ブロックを含む黒色土、中位に砂礫を多量に含む黒灰色土と白灰色土、下層に砂礫を多量に含む暗灰色土の堆積を認める。

規模：周堀内径18.5m、周堀外径22.5m、幅1.9～3.0m、深さ40～85cmを測る。

遺物：周堀覆土及び確認面上層で円筒埴輪、朝顔形埴輪、形象埴輪を検出した。

円筒埴輪は二条突帯三段構成で、胎土に砂礫を多く含む個体が多い。外面調整はすべて1次タテハケによる。突帯は断面が三角形を呈するものと台形を呈するものがある。透孔はすべて円形である。須恵質焼成の個体を少量含む。

朝顔形埴輪は胴部2段構成で、透孔が存在しない。肩部は丸く張って頸部に至る。

形象埴輪は家、人物、馬を確認できる。1～5は家である。1は家の屋根上端から棟部で、棟覆の剝離痕を認める。表面に線刻による三角文がある。他の家埴輪片と比べ胎土が異質であり、混入の可能性がある。2～5は壁体部の破片で、2・3は壁体部の角、4・5は壁体基部である。いずれも表面に突帯を貼付する。6～11は人物である。6は男子人物頭部の右側振分髪で、頭部本体から剝離している。7は頸から肩、上腕部にかけての部位である。8～11は腕で、成形はいずれも木芯中空技法による。12～19は馬である。12は轡の鏡板で、本体から剝離している。地板上に縁金と十字文ないし「X」字文を表現する。13は頭部左側の破片で面繫の頬革を表現する。14・15は鞍橋、16は障泥と輪鏡の一部である。17・18は背から尻にかけての部位で尻繫、雲珠を表現する。19は剝離した鈴で、中実成形による。20は器種不明である。平板なつくりで、表面に2条の線刻を認める。

ST-01 円筒・朝顔形埴輪拓影資料観察表

番号	器種	部位	外面調整・ハケ本数	内面調整・ハケ本数	焼成	色調	備考
1	円筒	第2・3段	1次タテハケ・9本/2cm	ナナメハケ・9本/2cm	良好	橙色	口唇部端面・内外面・突帯ヨコナデ。円形透孔。
2	円筒	第3段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm 及びナナメナデ	良好	にぶい橙色	口唇部端面・内外面・突帯ヨコナデ。
3	円筒	第3段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm	良好	にぶい黄橙色	砂礫を多く含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
4	円筒	第3段	1次タテハケ・13本/2cm	ナナメハケ・13本/2cm	須恵質	にぶい黄橙色	砂礫を多く含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
5	円筒	第3段	1次タテハケ・8本/2cm	ヨコハケ・8本/2cm 及びナナメハケ	良好	橙色	内面輪積痕。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
6	円筒	第3段	1次タテハケ・6本/2cm	ナナメハケ・表面摩滅	良好	にぶい橙色	砂礫を多く含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
7	円筒	第3段	1次タテハケ・9本/2cm	ナナメハケ・7本/2cm	良好	にぶい橙色	砂礫を多く含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ
8	円筒	第3段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm	良好	にぶい橙色	砂礫を多く含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
9	円筒	第3段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・表面摩滅	良好	にぶい橙色	砂礫を多く含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
10	円筒	第3段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・表面摩滅	良好	にぶい橙色	砂礫を多く含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
11	円筒	第3段	1次タテハケ・9本/2cm	ナナメハケ・9本/2cm	良好	にぶい橙色	砂礫を多く含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
12	円筒	第3段	1次タテハケ・6本/2cm	ナナメハケ・表面摩滅	良好	にぶい橙色	砂礫を多く含む。内面輪積痕。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。



图145 ST-01 円筒・朝顔形埴輪拓影图 (1)

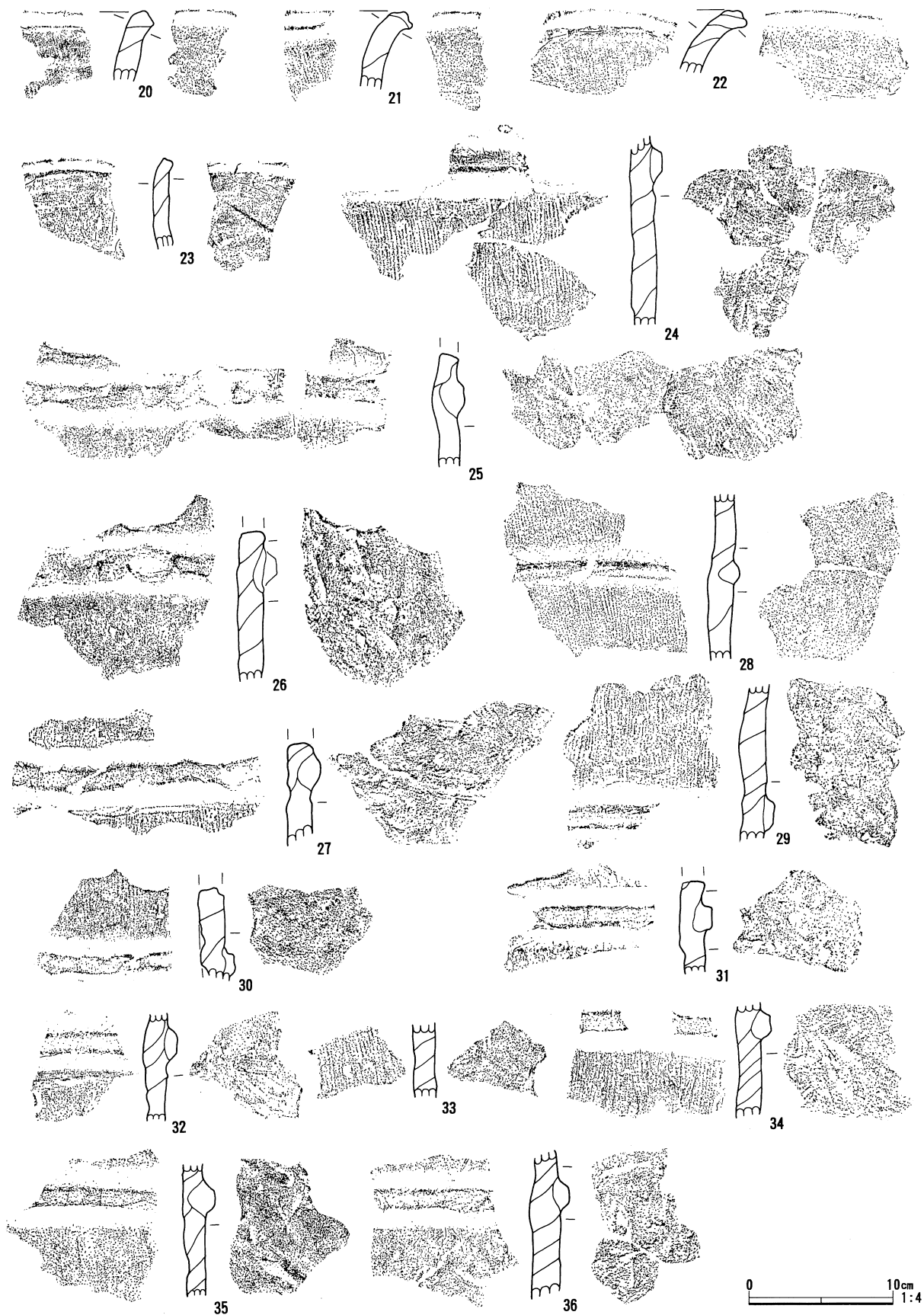


图146 ST-01 円筒・朝顔形埴輪拓影图 (2)

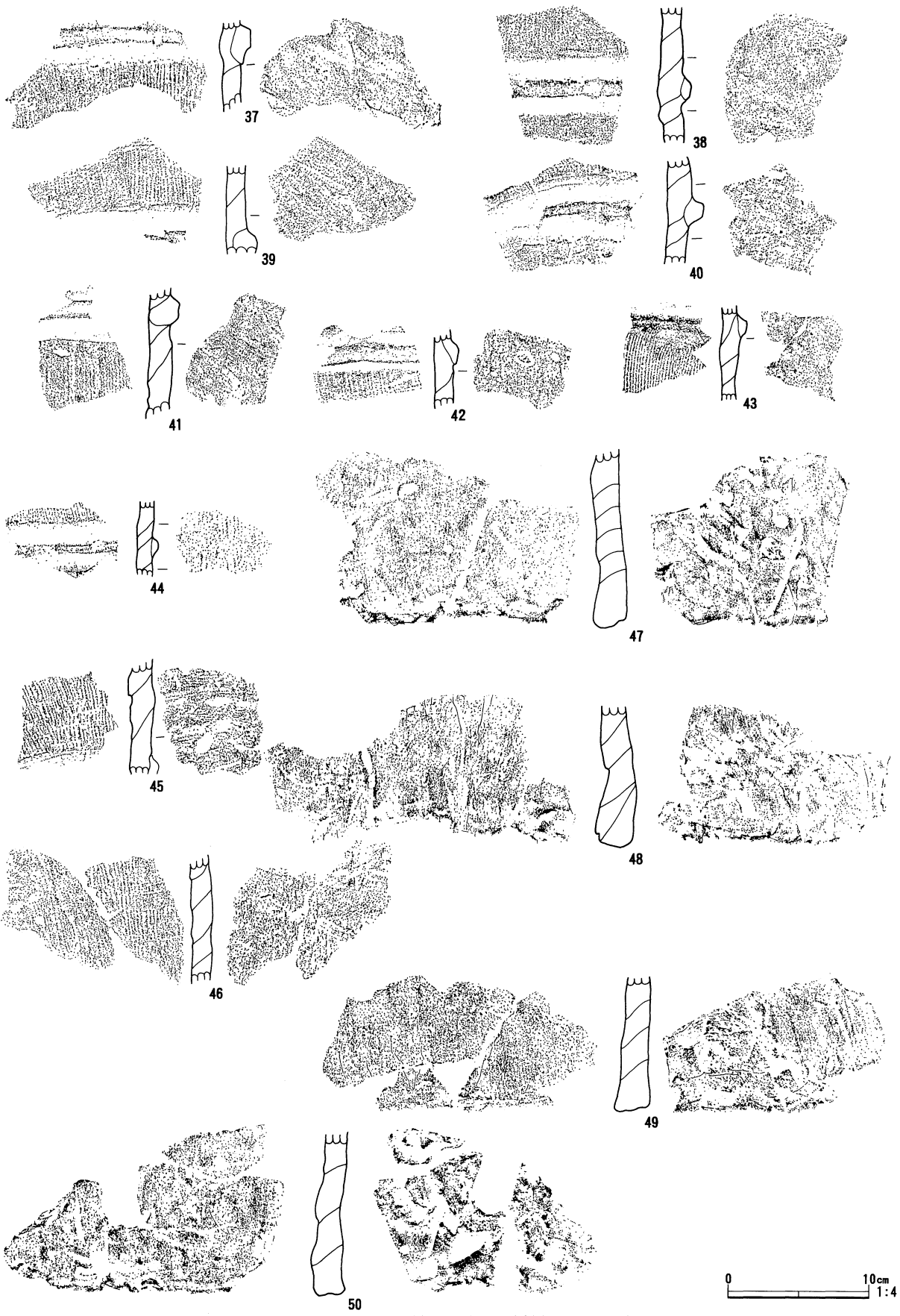


图147 ST-01 円筒・朝顔形埴輪拓影图 (3)

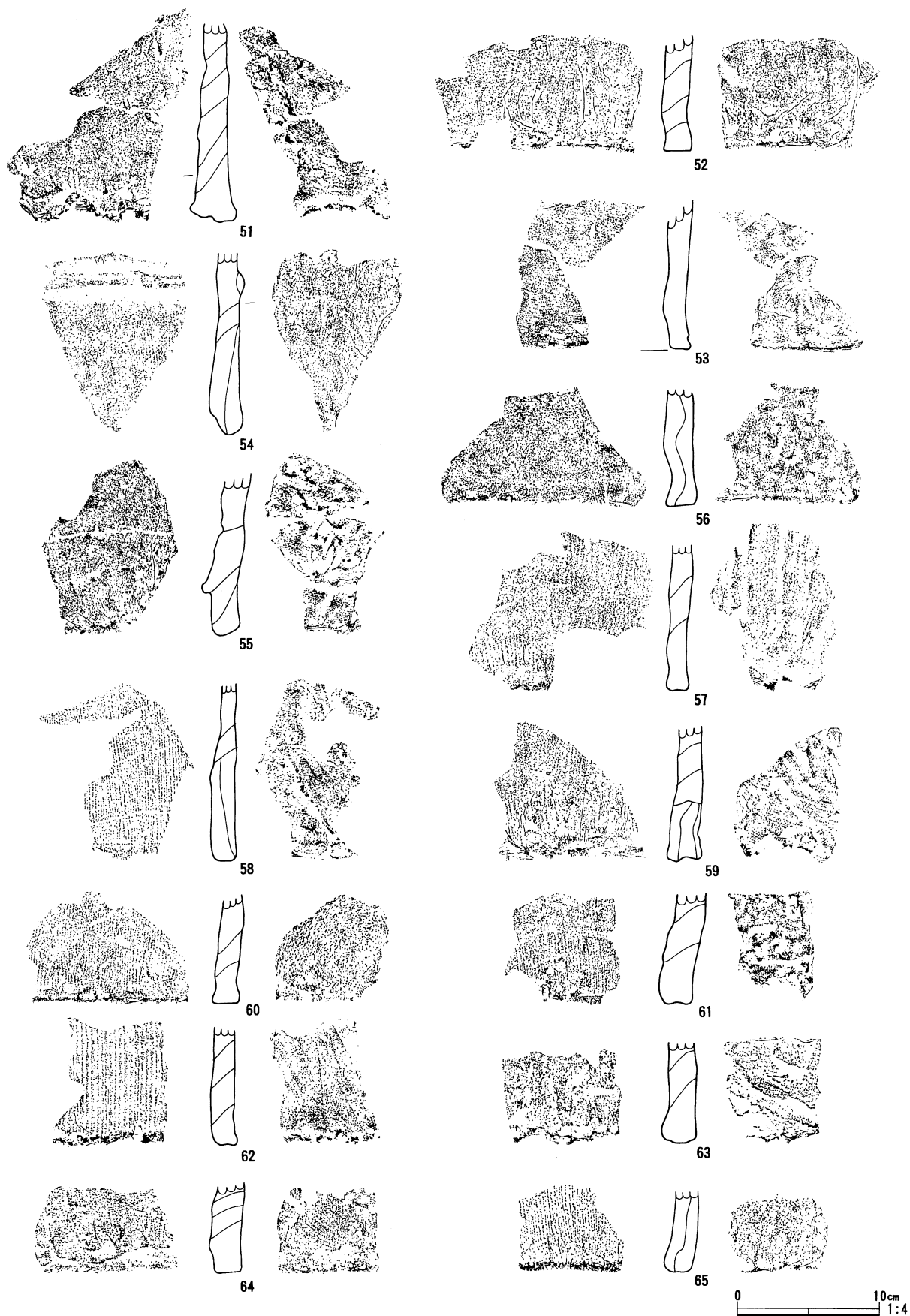


图148 ST-01 円筒・朝顔形埴輪拓影图 (4)

13	円筒	第 3 段	1次タテハケ・8本/2cm	ヨコハケ・表面摩滅 及びナナメハケ	良 好	にぶい 橙色	砂礫を多く含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
14	円筒	第 3 段	1次タテハケ・7本/2cm	ナナメハケ・7本/2cm	良 好	橙 色	砂礫を含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
15	円筒	第 3 段	1次タテハケ・6本/2cm	ナナメハケ・6本/2cm	良 好	にぶい 橙色	砂礫を多く含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
16	円筒	第 3 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・表面摩滅	良 好	にぶい 橙色	砂礫を多く含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
17	円筒	第 3 段	1次タテハケ・9本/2cm	ナナメハケ・9本/2cm	良 好	にぶい 橙色	砂礫を多く含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
18	円筒	第 3 段	1次タテハケ・9本/2cm	ヨコハケ・9本/2cm 及びナナメハケ	良 好	にぶい 橙色	砂礫を多く含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
19	円筒	第 3 段	1次タテハケ・7本/2cm	ナナメハケ・7本/2cm	良 好	にぶい 橙色	砂礫を多く含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
20	円筒	第 3 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm	良 好	にぶい 橙色	砂礫を含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
21	円筒	第 3 段	1次タテハケ・9本/2cm	ナナメハケ・9本/2cm	良 好	にぶい 橙色	砂礫を多く含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
22	朝顔	口 縁 部	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・表面摩滅	良 好	橙 色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。 内面輪積痕。円。
23	朝顔	口 縁 部	表面摩滅	ナナメハケ・24本/2cm	良 好	にぶい 橙色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
24	円筒	第 2・3 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・6本/2cm	良 好	橙 色	砂礫を多く含む。内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。円形透孔。
25	円筒	第 1・2 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm 及びナナメナデ	良 好	にぶい 橙色	砂礫を多く含む。内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。円形透孔。
26	円筒	第 1・2 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメナデ	良 好	橙 色	砂礫を多く含む。内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。円形透孔。
27	円筒	第 1・2 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm 及びナナメナデ	良 好	にぶい 橙色	砂礫を多く含む。内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。円形透孔。
28	円筒	第 1・2 段	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメナデ	良 好	にぶい 橙色	砂礫を多く含む。 突帯ヨコナデ。円形透孔。
29	円筒	第 1・2 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメナデ	良 好	にぶい 橙色	砂礫を多く含む。内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。円形透孔。
30	円筒	第 2 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメナデ	良 好	橙 色	砂礫を多く含む。 突帯ヨコナデ。円形透孔。
31	円筒	第 1・2 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・表面摩滅 及びナナメナデ	良 好	橙 色	砂礫を多く含む。内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。円形透孔。
32	円筒	第 2・3 段	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm 及びナナメナデ	良 好	橙 色	砂礫を多く含む。 突帯ヨコナデ。円形透孔。
33	円筒	第 2 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm 及びナナメナデ	良 好	橙 色	砂礫を多く含む。 突帯ヨコナデ。円形透孔。
34	円筒	第 1 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm 及びナナメナデ	良 好	にぶい 橙色	砂礫を多く含む。 突帯ヨコナデ。
35	円筒	第 2・3 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・表面摩滅 及びナナメナデ	良 好	にぶい 橙色	砂礫を多く含む。 突帯ヨコナデ。
36	円筒	第 1・2 段	1次タテハケ・表面摩滅	ナナメハケ・8本/2cm 及びナナメナデ	良 好	橙 色	砂礫を多く含む。内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
37	円筒	第 2・3 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm 及びナナメナデ	良 好	にぶい 橙色	砂礫を多く含む。 突帯ヨコナデ。円形透孔。
38	円筒	第 2・3 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・表面摩滅 及びナナメナデ	良 好	橙 色	砂礫を多く含む。 突帯ヨコナデ。
39	円筒	第 3 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm 及びナナメナデ	良 好	にぶい 橙色	砂礫を多く含む。 突帯ヨコナデ。

40	円筒	第1・2段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm 及びナナメナデ	良好	にぶい 橙色	砂礫を多く含む。内面輪積痕、 突帯ヨコナデ
41	円筒	第1・2段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm 及びナナメナデ	良好	にぶい 橙色	砂礫を多く含む。 突帯ヨコナデ。
42	円筒	第2・3段	1次タテハケ・7本/2cm	ナナメナデ	良好	橙 色	砂礫を多く含む。 突帯ヨコナデ。
43	円筒	第2・3段	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメナデ	良好	にぶい 橙色	砂礫を多く含む。 突帯ヨコナデ。
44	円筒	第2・3段	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメハケ・8～10本/2 cm及びナナメナデ	良好	にぶい 橙色	砂礫を多く含む。 突帯ヨコナデ。
45	円筒	第2段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm 及びナナメナデ	良好	にぶい 橙色	砂礫を多く含む。内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
46	円筒	第1段	1次タテハケ・8本/2cm	ヨコナデ及びナナメナデ	良好	にぶい 橙色	砂礫を多く含む。内面輪積痕
47	円筒	第1段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメナデ	良好	橙 色	外面木目圧痕。
48	円筒	第1段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm	良好	橙 色	
49	円筒	第1段	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメナデ	良好	にぶい 橙色	砂礫を多く含む
50	円筒	第1段	1次タテハケ・7本/2cm	ナナメハケ・9本/2cm	良好	橙 色	内面輪積痕。
51	円筒	第1段	1次タテハケ・表面摩滅	ナナメハケ・表面摩滅	良好	橙 色	内面木目圧痕。
52	円筒	第1段	1次タテハケ・14本/2cm	ナナメナデ	良好	橙 色	
53	円筒	第1段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・表面摩滅	良好	にぶい 橙色	
54	円筒	第1・2段	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメナデ	良好	橙 色	突帯ヨコナデ。
55	円筒	第1段	1次タテハケ・表面摩滅	ナナメハケ・表面摩滅	良好	にぶい 橙色	内面輪積痕。
56	円筒	第1段	1次タテハケ・12本/2cm	タテハケ・12本/2cm	良好	橙 色	
57	円筒	第1段	1次タテハケ・7本/2cm	タテハケ・7本/2cm 及びナナメハケ	良好	にぶい 橙色	
58	円筒	第1段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメナデ	良好	明赤褐色	
59	円筒	第1段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・9本/2cm	良好	橙 色	砂礫を多く含む。 底部棒状圧痕。
60	円筒	第1段	1次タテハケ・9本/2cm	ナナメハケ・表面摩滅	良好	にぶい黄橙色	砂礫を多く含む。
61	円筒	第1段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメナデ	良好	にぶい 橙色	
62	円筒	第1段	1次タテハケ・5本/2cm	ナナメナデ	良好	橙 色	砂礫を多く含む。 底部棒状圧痕。
63	円筒	第1段	1次タテハケ・表面摩滅	ナナメナデ	良好	にぶい 橙色	砂礫を多く含む。 底部棒状圧痕。
64	円筒	第1・2段	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメハケ・7本/2cm	良好	にぶい 橙色	砂礫を多く含む。
65	円筒	第1・2段	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメハケ・9本/2cm ヨコハケ・12本/2cm	良好	にぶい 橙色	

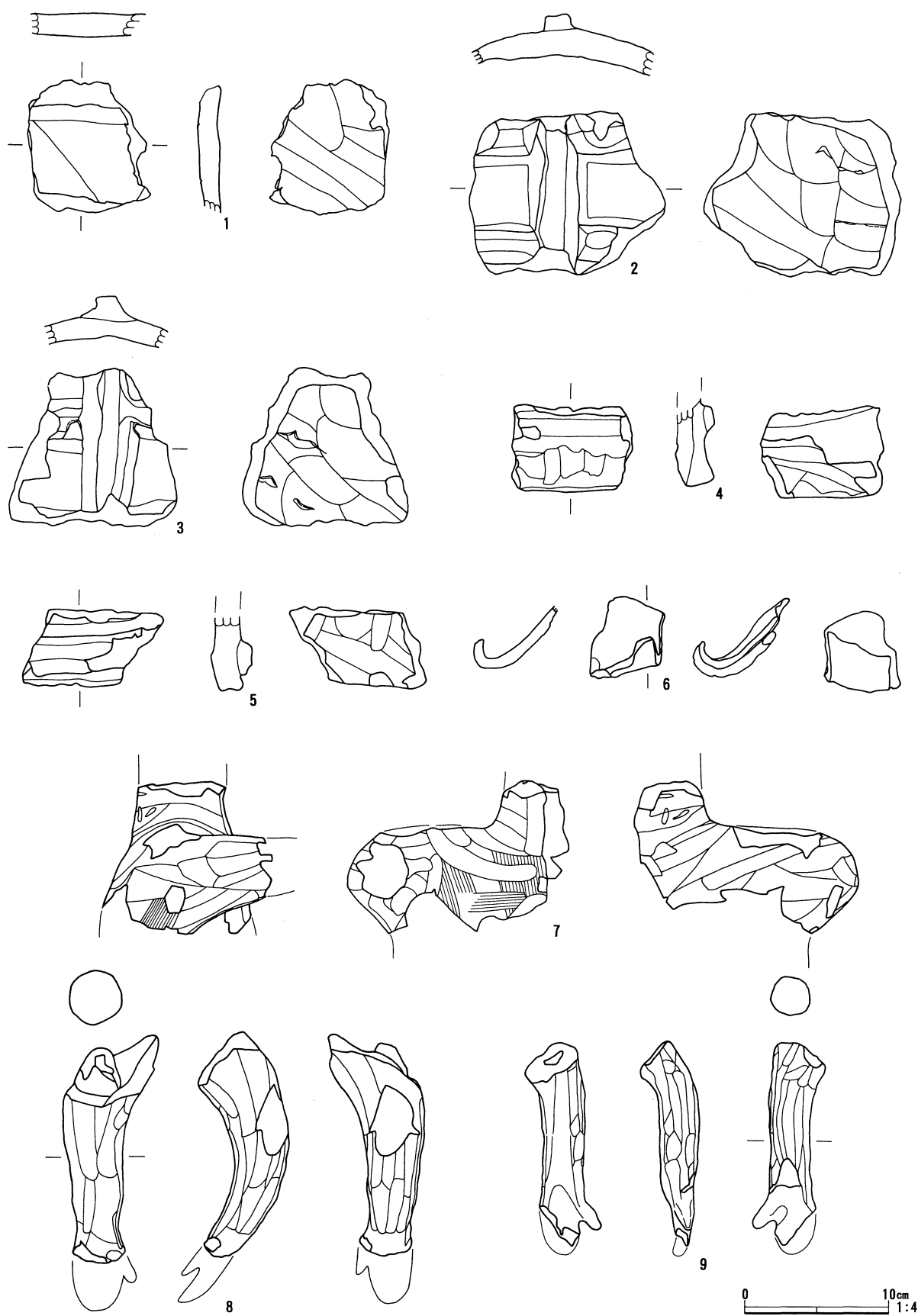


图149 ST-01 形象埴輪実測図 (1)

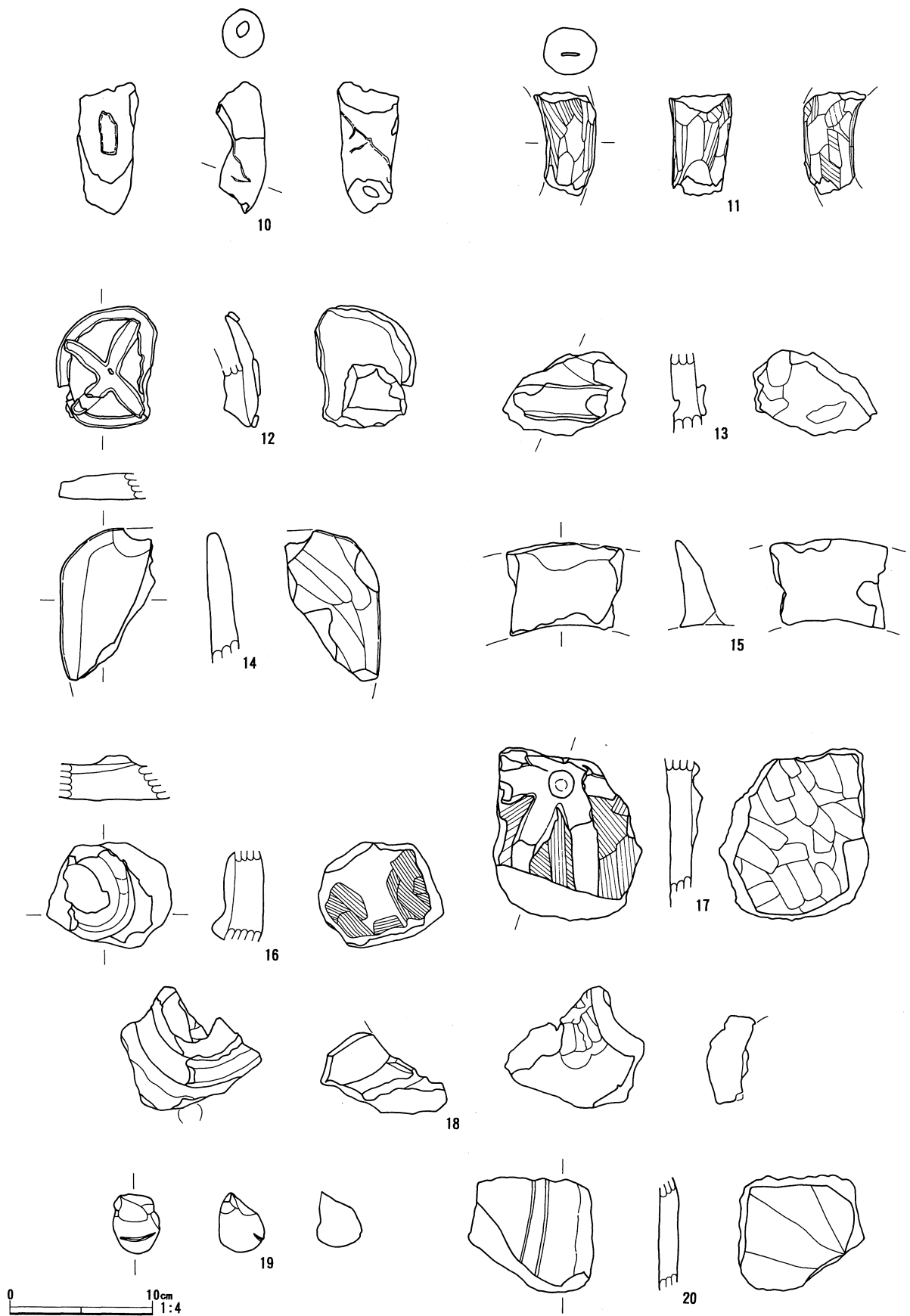


图150 ST-01 形象埴輪実測図 (2)

ST-01 形象埴輪観察表

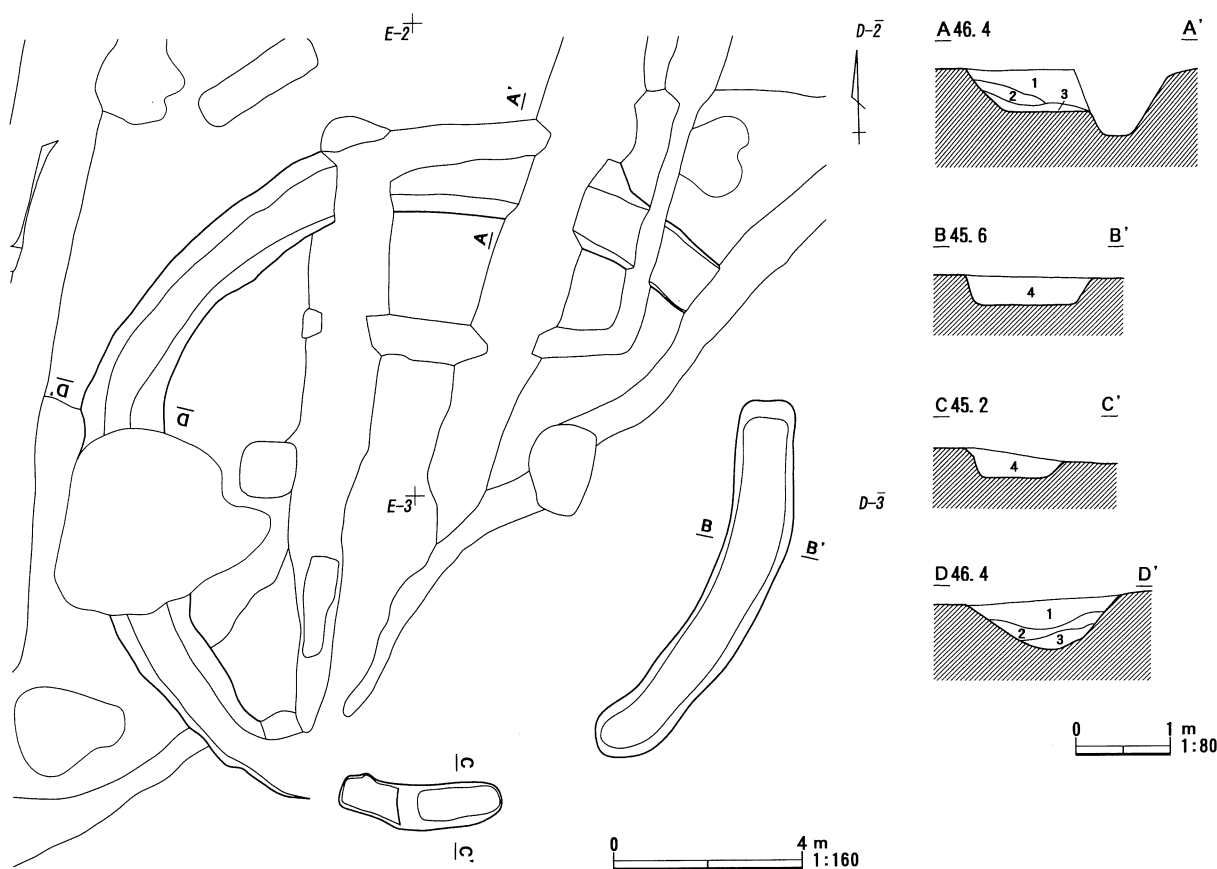
No.	器種	部位・形態の特徴	成形・調整手法の特徴	焼成	色調	備考
1	家	屋根上端から棟部。棟覆の剝離痕あり。	外面一ナデ。 内面一ナデ。	良好	橙 色	
2	家	壁体の角。壁面に突帯を表現。	外面一ナデ。 内面一ナデ。輪積痕あり。	良好	橙 色	砂礫を多く含む。
3	家	壁体の角。壁面に突帯を表現。	外面一ナデ。 内面一ナデ。輪積痕あり。	良好	橙 色	砂礫を多く含む。
4	家	壁体の基部。壁面に突帯を表現。	外面一ナデ。 内面一ナデ。	良好	にぶい 橙 色	砂礫を多く含む。
5	家	壁体の基部。壁面に突帯を表現。	外面一ナデ。 内面一ナデ。	良好	橙 色	砂礫を多く含む。
6	人物	男子頭部の振り分け髪の右側部分。頭部本体から剝離。	外面一ナデ。 内面一ナデ。	良好	橙 色	
7	人物	頸から肩、右上腕部。	腕部は木芯中空成形。外面一ハケ及びナデ。内面一ナデ。	良好	赤 褐 色	砂礫を多く含む。
8	人物	腕部。	木芯中空成形。 ハケ及びナデ。	良好	赤 褐 色	砂礫を多く含む。
9	人物	腕部。	木芯中空成形。 ナデ。	良好	赤 褐 色	砂礫を多く含む。
10	人物	腕部。	木芯中空成形。 ナデ。	良好	赤 褐 色	砂礫を多く含む。
11	人物	腕部。	木芯中空成形。 ハケ及びナデ。	良好	赤 褐 色	砂礫を多く含む。
12	馬	轡の鏡板。地板上に縁金、十字文を表現。	外面一ナデ。 内面一ナデ。	良好	橙 色	
13	馬	左側頭部。左耳の下部分。頭絡の頬革を表現。	外面一ナデ。 内面一ナデ。輪積痕あり。	良好	橙 色	
14	馬	鞍橋の一部。背部本体から剝離。繫の表現なし。	ナデ。	良好	にぶい 橙 色	
15	馬	鞍橋の一部。背部本体から剝離。繫の表現なし。	ナデ。	良好	黄 橙 色	砂礫を多く含む。
16	馬	障泥と輪鑑の一部か。	外面一ナデ。 内面一ハケ。	良好	にぶい 橙 色	
17	馬	背中の中中部。環状雲珠と連結される革紐を表現。	外面一ハケ及びナデ。 内面一ナデ。輪積痕あり。	良好	橙 色	砂礫を多く含む。
18	馬	尻から尾の付根。尾の付根に巡る尻繫を表現。	外面一ナデ。 内面一ナデ。輪積痕あり。	良好	橙 色	
19	馬	鈴。	中実成形。 ナデ。	良好	橙 色	
20	不明	二条の線刻。鞞の背負板か。	外面一ナデ。 内面一ハケ及びナデ。	良好	橙 色	

ST-02 (図151)

位置：調査区の北東部のD-2・3、E-2・3グリッドに位置する。北西から南東側に傾斜するローム台地末端部に立地する。

形状：墳丘は整円形を呈する。周堀南東側は、ローム台地の浸食とともに失われ、掘り込みの深い部分が断続的に遺存している。各所で中世以降の溝、攪乱などと重複している。

周堀外側の立ち上がりは、南側でやや蛇行し、部分的に堀幅の変化する箇所が存在する。周堀断面は箱形を呈する。周堀底面は、南東側周堀が断続的に遺存する状況からもわかるように、平坦ではなく相対的に浅く掘



ST-02 土層説明

- 1 黒色土 ロームブロック (径1mm±)、白色パミス (径1mm以下) を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック (径1~2mm) を少量含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック (径1~15mm) を多量に含む。
- 4 黒色土 粘性強。

図151 ST-02

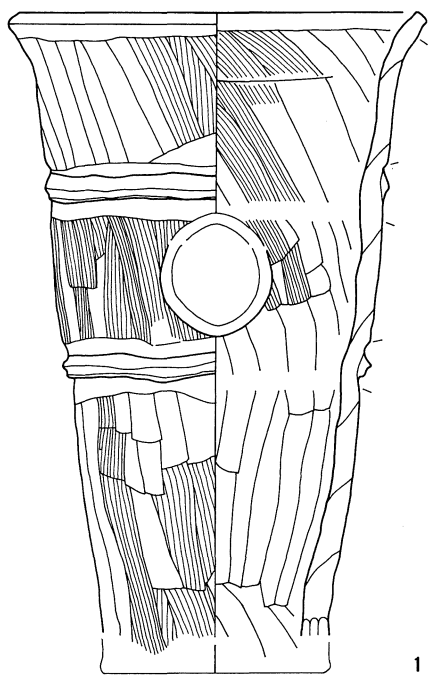
り残された箇所が存在している。また、周堀底面のレベルは、北西側に比較して、南東側が110cm余りも低く、このことから平場を造成することなく、原地形の傾斜面に築造されていることがわかる。周堀覆土は4層に大別され、ローム台地上のA-A'、B-B'では上層にロームブロック、白色パミスを含む黒色土、中層にロームブロックを少量含む黒褐色土、下層にロームブロックを多量に黒褐色土の堆積を認めるのに対し、ローム台地下の低地部にかかるC-C'、D-D'では粘性の強い黒色土の純層の堆積が観察される。

規模：周堀内径12.5m、周堀外径14.6m、幅1.3~1.8m、深さ30~55cmを測る。

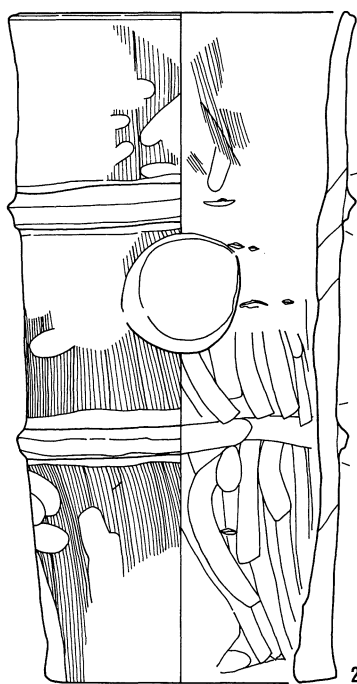
遺物：周堀覆土及び確認面上層で、円筒埴輪、朝顔形埴輪、形象埴輪を検出した。

円筒埴輪は、すべて二条突帯三段構成で、外面調整はすべて1次タテハケによる。突帯は断面が三角形を呈するものと崩れたM字形を呈するものがある。透孔は円形と半円形とが存在する。断面の中心部が黒灰色を呈し、色調も淡色系を示す個体が多い。

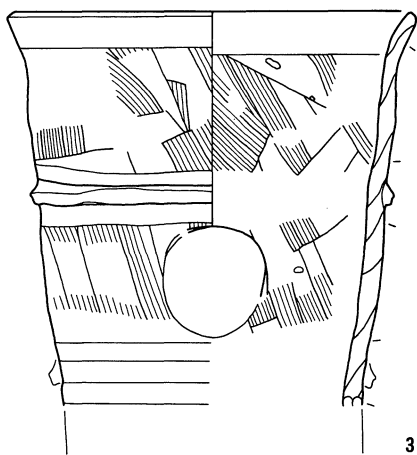
朝顔形埴輪は肩から胴部にかけての破片1片であるが存在を確認できる。



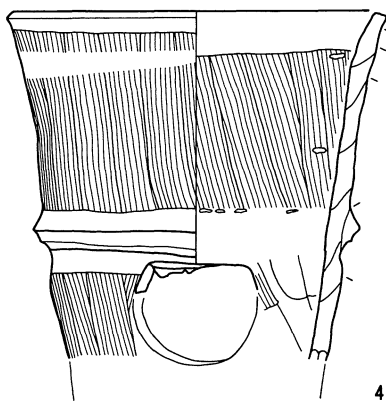
1



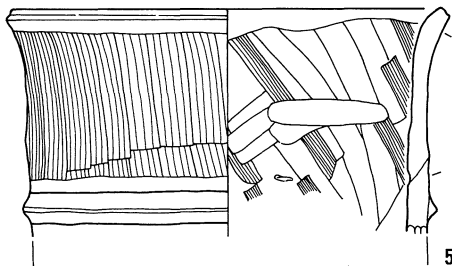
2



3



4



5

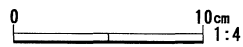


图152 ST-02 円筒埴輪実測図

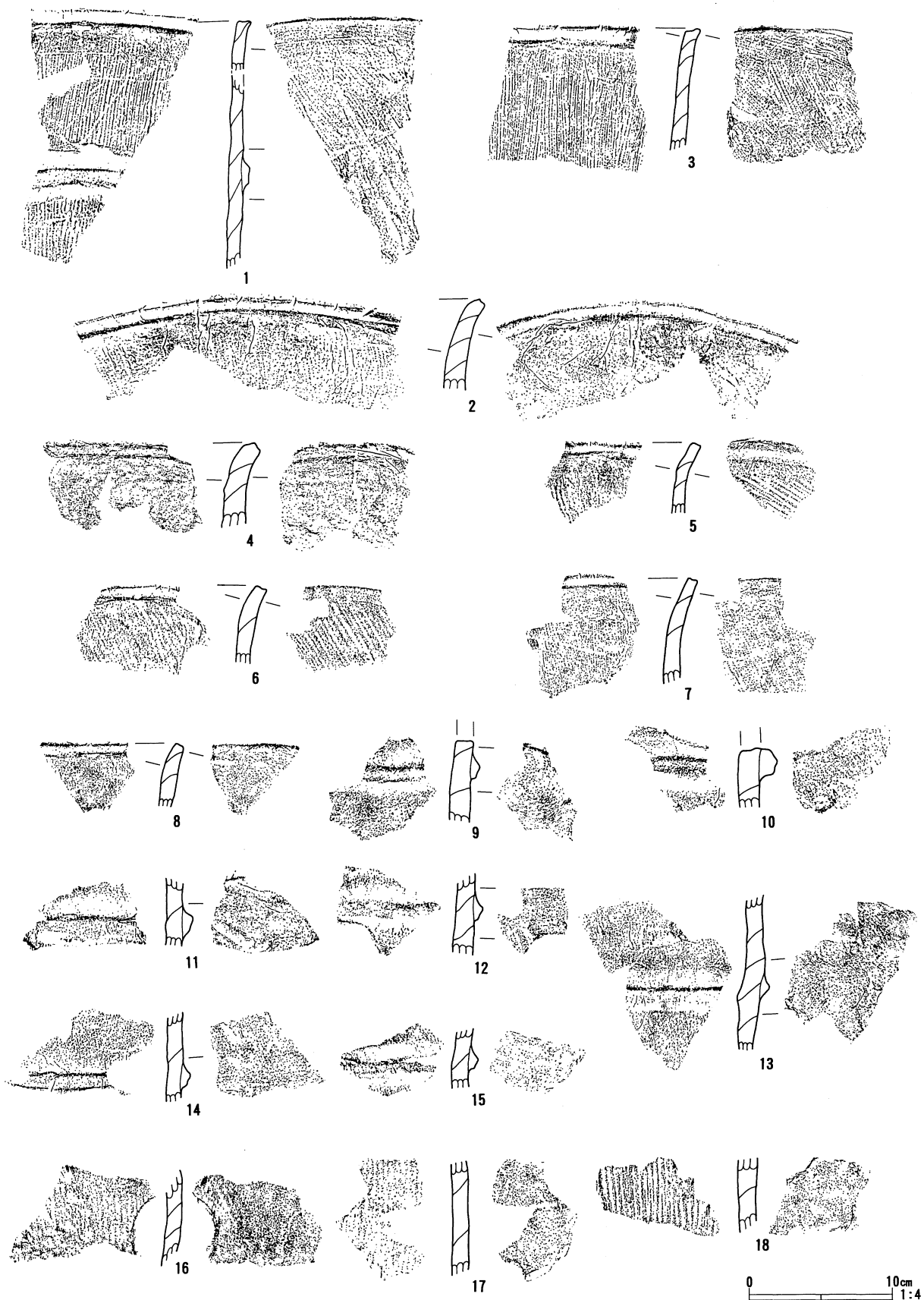


图153 ST-02 円筒・朝顔形埴輪拓影図 (1)

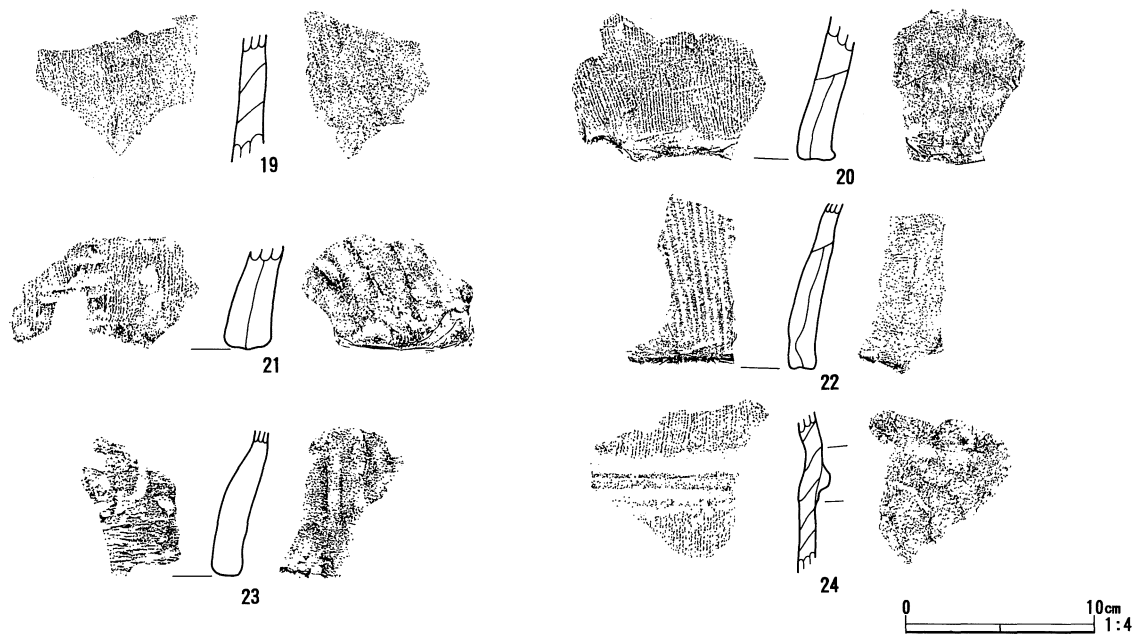


図154 ST-02 円筒・朝顔形埴輪拓影図 (2)

ST-02 円筒・朝顔形埴輪拓影資料観察表

番号	器種	部位	外面調整・ハケ本数	内面調整・ハケ本数	焼成	色調	備考
1	円筒	第2・3段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm	良好	明赤褐色	口唇部端面・内外面・突帯ヨコナデ。
2	円筒	第3段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm	良好	橙色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
3	円筒	第3段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・9~12本/2cm	良好	明赤褐色	口唇部端面・外面ヨコナデ。
4	円筒	第3段	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメナデ	良好	橙色	内面輪積痕。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
5	円筒	第3段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm	良好	浅黄橙色	内面輪積痕。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
6	円筒	第3段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・7本/2cm	良好	浅黄橙色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
7	円筒	第3段	1次タテハケ・7本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm	良好	にぶい橙色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
8	円筒	第3段	1次タテハケ・14本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm	良好	にぶい橙色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
9	円筒	第1・2段	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメハケ・表面摩滅	良好	浅黄橙色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
10	円筒	第1突帯		ナナメナデ	良好	にぶい橙色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
11	円筒	第2・3段	1次タテハケ・6本/2cm	タテナデ及びナナメナデ	良好	にぶい橙色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
12	円筒	第2・3段	1次タテハケ・12本/2cm	ヨコナデ	良好	にぶい黄橙色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
13	円筒	第2・3段	1次タテハケ・表面摩滅	ナナメナデ	良好	にぶい橙色	突帯ヨコナデ。
14	円筒	第1・2段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm 及びナナメナデ	良好	にぶい橙色	突帯ヨコナデ。

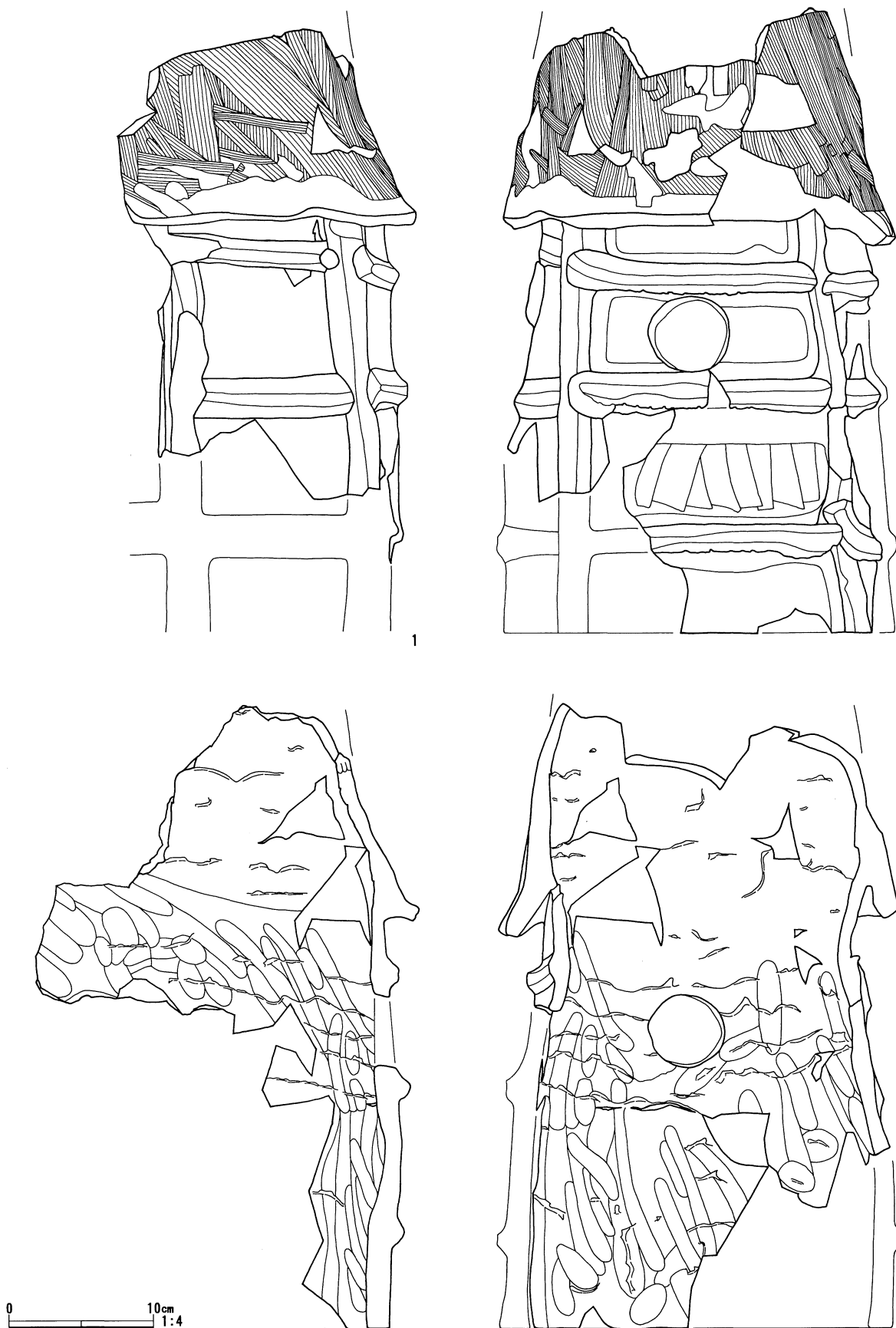


图155 ST-02 形象埴輪実測図 (1)

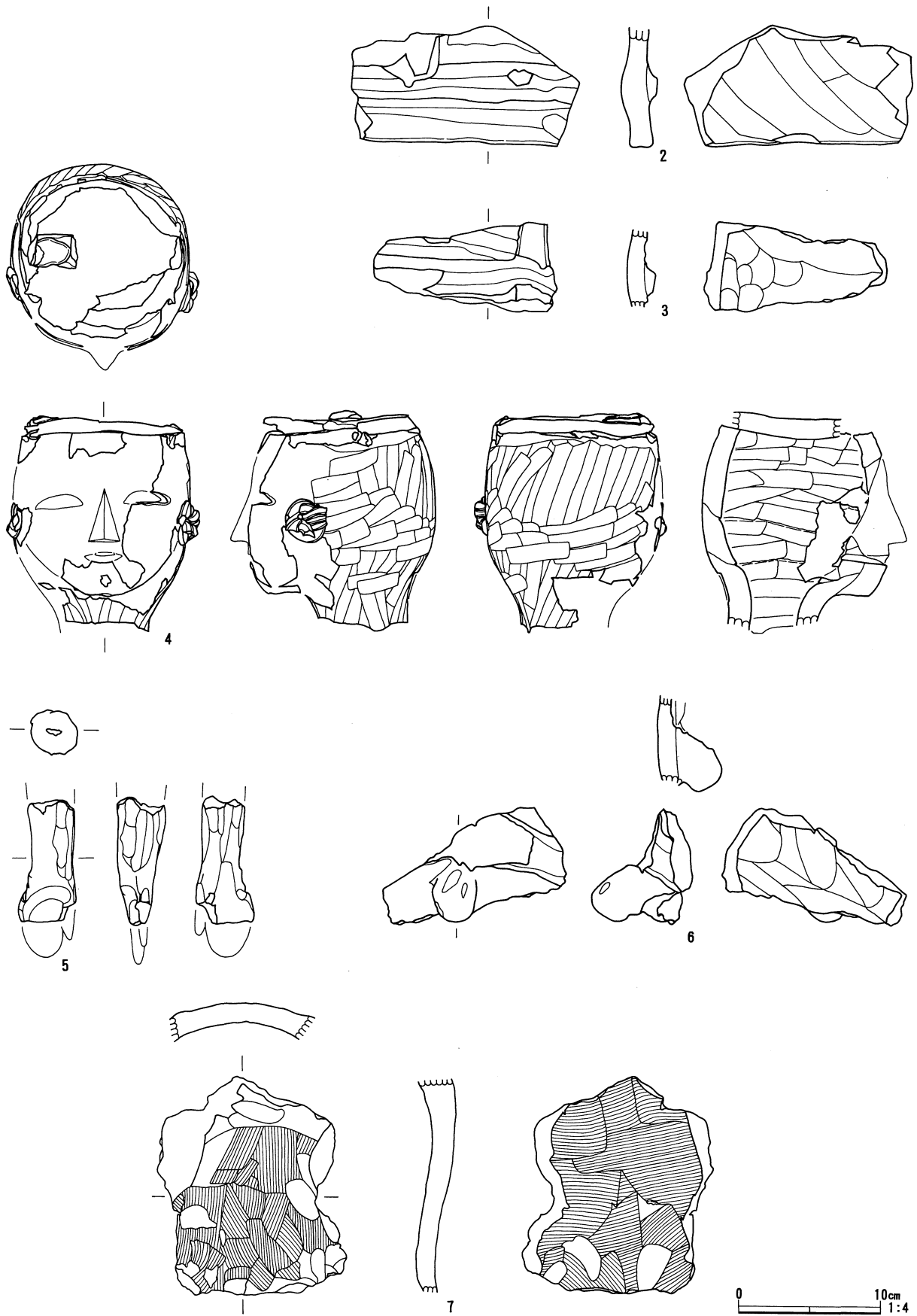


图156 ST-02 形象埴輪実測图 (2)

15	円筒	第 2 突帯		ナナメナデ	良 好	にぶい 橙色	突帯ヨコナデ。
16	円筒	第 1・2 段	1次タテハケ・5本/2cm	ナナメナデ	良 好	浅黄 橙色	内面輪積痕。 円形透孔。
17	円筒	第 2 段	1次タテハケ・6本/2cm	ナナメハケ・表面摩滅	良 好	浅黄 橙色	内面輪積痕。 円形透孔。
18	円筒	第 2 段	1次タテハケ・5本/2cm	ナナメナデ	良 好	にぶい 橙色	円形透孔。
19	円筒	第 1 段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメナデ	良 好	浅黄 橙色	
20	円筒	第 1 段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメナデ	良 好	にぶい 橙色	
21	円筒	第 1 段	1次タテハケ・13本/2cm	ナナメハケ・表面摩滅	良 好	にぶい 橙色	
22	円筒	第 1 段	1次タテハケ・5本/2cm	ナナメナデ	良 好	にぶい 橙色	
23	円筒	第 1 段	表面摩滅	ナナメナデ	良 好	にぶい 橙色	
24	朝顔	肩・胴部	1次タテハケ・13本/2cm	ナナメナデ	良 好	にぶい黄橙色	突帯ヨコナデ

形象埴輪は家、人物、馬を確認できる。1～3は寄棟式の家で、壁体部に格子状突帯が貼付される。1には長辺側の壁体に方形の窓ないし出入口が設けられる。4は女子人物の頭部で、大きく水平に開口した頭頂部を板状の鬘で塞ぐ。顔面部は頭部本体にU字状の粘土板を貼付して成形する。眼孔は上方に緩やかな弧を描くように穿たれ、耳部には耳飾りを表現する。5は腕の中間部分で左右の別は明らかではない。肉眼的な観察では、4の頭部と同一である。成形は木芯中空技法による。6・7は馬の胴部で、6は胸繫とこれに付属する鈴を表現する。鈴は中実成形である。

ST-02 形象埴輪観察表

No.	器 種	部位・形態の特徴	成形・調整手法の特徴	焼 成	色 調	備 考
1	家	寄棟式の屋根部と壁体部。壁面に格子状の突帯を表現。	外面一ナデ。 内面一ナデ。	良 好	にぶい黄橙色	中黒のサンドイッチ焼成。
2	家	壁部。壁面に格子状の突帯を表現。	外面一ナデ。 内面一ナデ。	良 好	にぶい黄橙色	中黒のサンドイッチ焼成。
3	家	壁体基部。壁面に突帯を表現。	外面一ナデ。 内面一ナデ。	良 好	にぶい黄橙色	中黒のサンドイッチ焼成。
4	人 物	女子の頭部。大きく開口した頭部本体を、板状の鬘で塞ぐ。	外面一ハケ及びナデ。 内面一ナデ。輪積痕あり。	良 好	赤 褐 色	
5	人 物	腕部。	木芯中空成形 ハケ及びナデ。	良 好	赤 褐 色	
6	馬	胸部。胸繫の革紐と鈴を表現。	鈴は中実成形。 外面一ハケ及びナデ。	良 好	橙 色	
7	馬	胴の一部。	外面一ナデ。 内面一ナデ。	良 好	にぶい 橙色	砂粒を多く含む。

ST-03 (図157)

位置：調査区の北東部のD-5～7、E-4～7、F-5～7グリッドに位置する。ローム台地下の低地部に立地する。

形状：埴丘は整円形を呈する。周堀は、北側の一部が攪乱により失われ、ローム台地に接する西側では大き

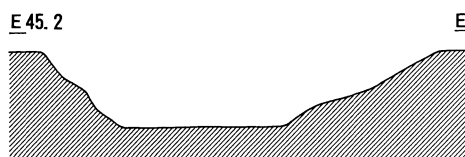
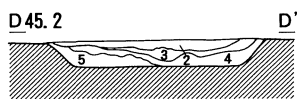
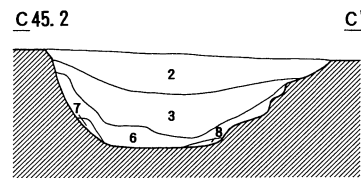
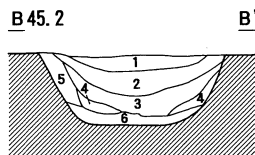
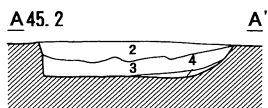
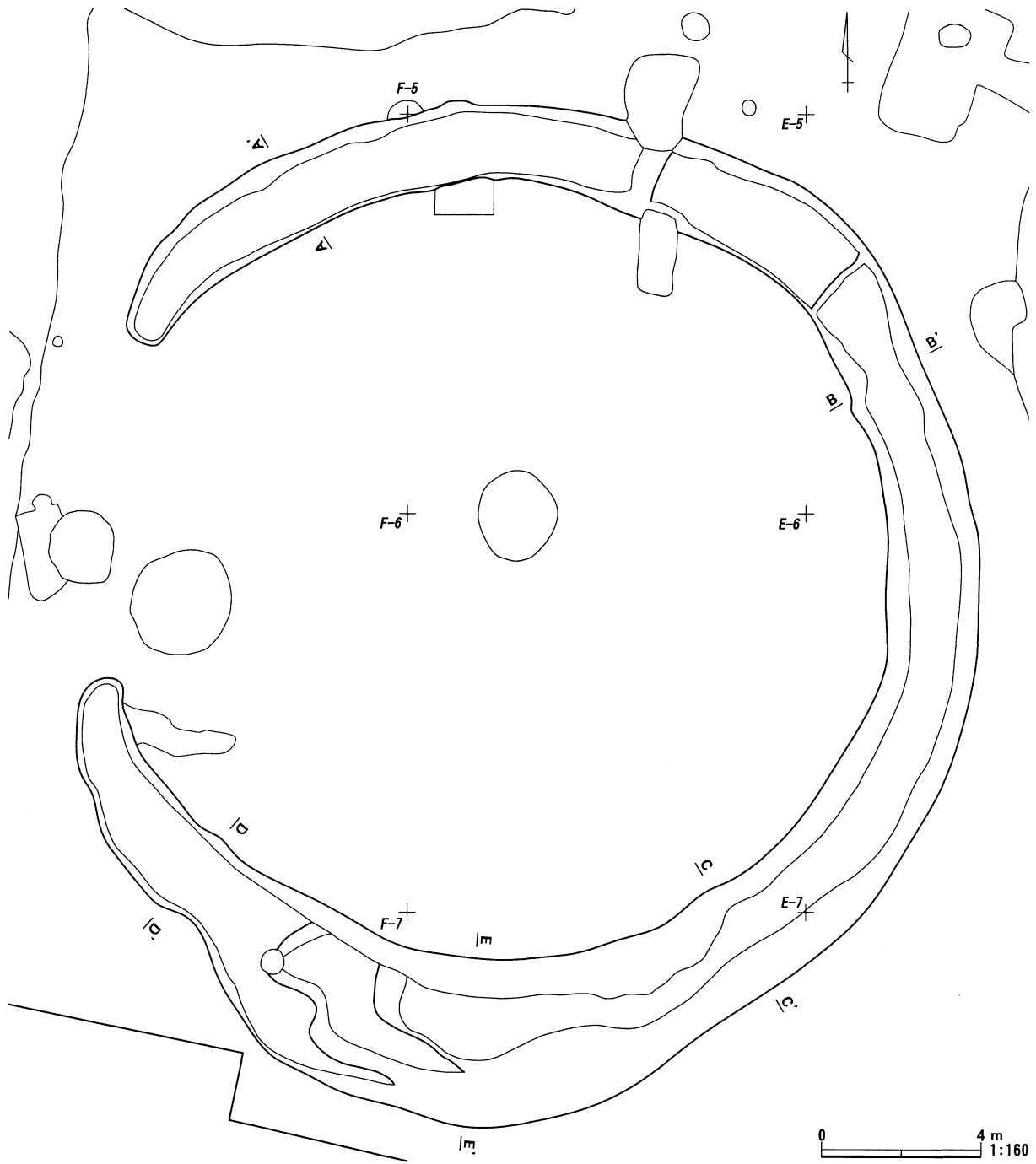


图157 ST-03

ST-03 土層説明

- 1 黒色土
- 2 黒色土 白灰色土ブロック(径1~2mm)を少量含む。
- 3 黒色土 白灰色土ブロック(径1~5mm)を多量に含む。
- 4 黒灰色土 砂礫(径1~10mm)を多量に含む。
- 5 白灰色土
- 6 黒灰色土 砂粒(径1~2mm)を多量に含む。
- 7 暗灰色土
- 8 褐色土 粘性強。

く途切れている。現在、ローム台地と低地との境界は比高差1mほどの急激な崖線となっているが、後述するST-08の周堀が、この崖線にかかる部分で途切れているところを見ると、本来のローム台地の末端部は、緩傾斜面をもって低地と連続していたと考えられ、ST-03の周堀の原形も、堀底のレベルを傾斜に沿わせつつ、このローム台地末端部の緩傾斜面を巡って全周していた可能性が考えられる。

周堀外側の立ち上がりは、南側で大きく外側に広がる。周堀断面は箱形を呈する。周堀底面は、南側に階段状の段差が存在し東側へ深さを増している。北側にも2箇所の段差が存在する。

周堀覆土は2層に大別され、上層に白灰色土ブロックを含む黒色土、下層に砂礫を多量に含む黒灰色土の堆積を認める。

規模：周堀内径20.7m、周堀外径22.5m、幅2.0~4.2m、深さ25~100cmを測る。

遺物：周堀覆土及び確認面上層で土師器、円筒埴輪、朝顔形埴輪、形象埴輪を検出した。土師器は坏1点を検出した。器壁が厚く、体部下半をヘラ削りにより成形し、口縁部はやや開き気味に立ち上がる。典型的

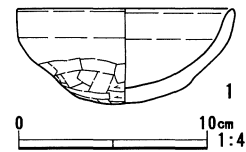


図158 ST-03 土器実測図

ST-03

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	土師器 坏	口径 11.3 底径 — 器高 5.0	深い体部、直立気味に立ち上がる口縁部。底部は緩やかな丸底。	外面一口縁部ヨコナデ、体部上半ナデ、下半ヘラナデ、底部ヘラケズリ後ヘラナデ。内面一口縁部ヨコナデ、体部~底部ナデ。	角閃石・礫 内外一にぶい橙 ~にぶい褐色	口縁部1/4欠損。

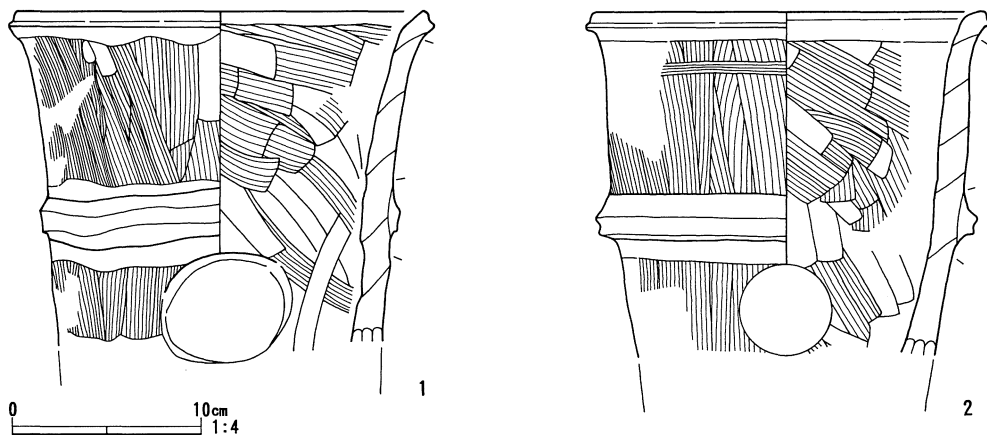


図159 ST-03 円筒埴輪実測図

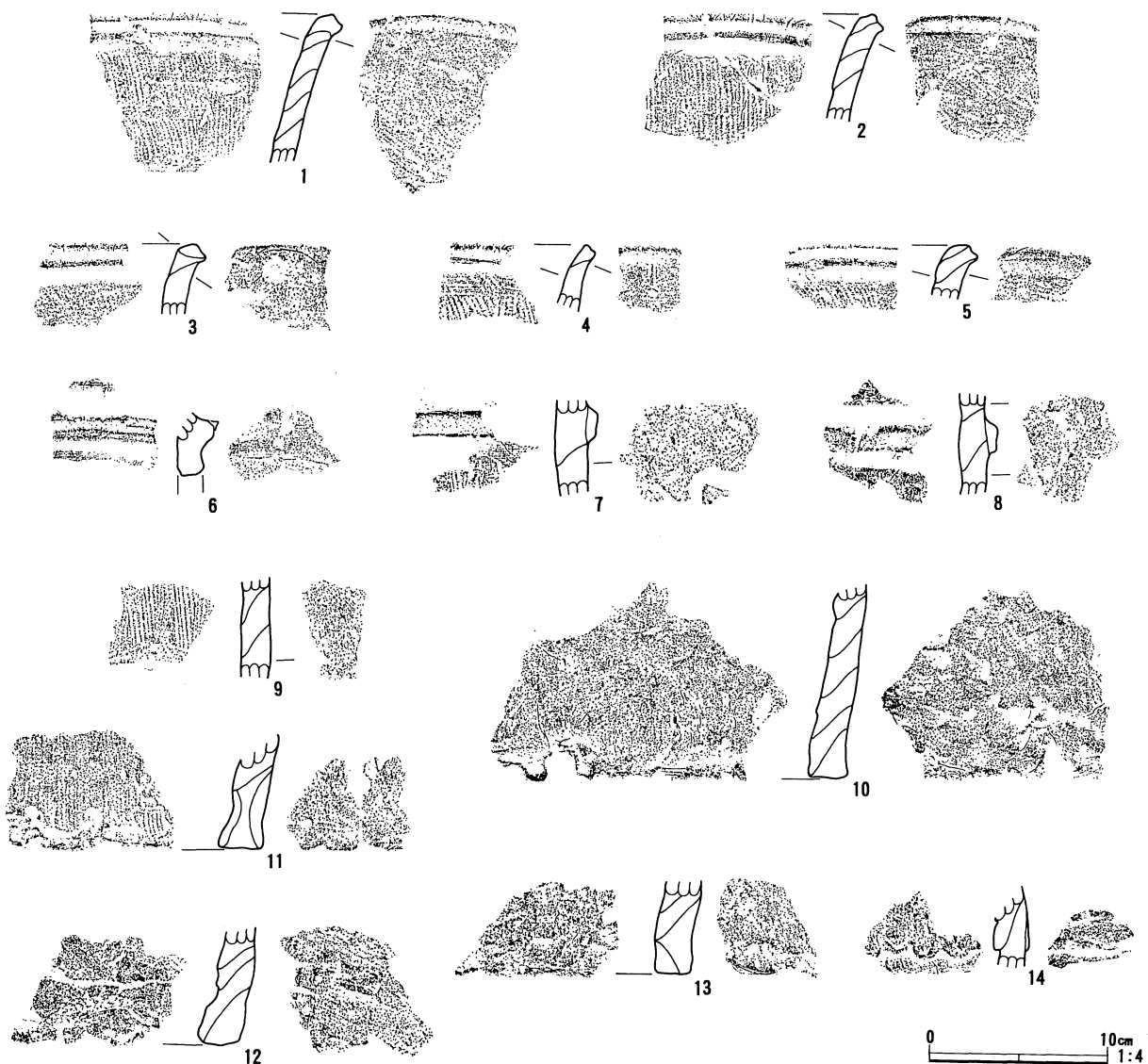


図160 ST-03 円筒・朝顔形埴輪拓影図

ST-03 円筒・朝顔形埴輪拓影資料観察表

番号	器種	部位	外面調整・ハケ本数	内面調整・ハケ本数	焼成	色調	備考
1	円筒	第3段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm	良好	橙色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
2	円筒	第3段	1次タテハケ・7本/2cm	ナナメハケ・7本/2cm	良好	にぶい橙色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
3	円筒	第3段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・表面摩滅	良好	にぶい橙色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
4	円筒	第3段	1次タテハケ・7本/2cm	ヨコハケ・26本/2cm 及びナナメハケ	良好	橙色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
5	円筒	第3段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm	良好	にぶい橙色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
6	円筒	第1突帯		ナナメハケ・19本/2cm	良好	橙色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
7	円筒	第1・2段	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメハケ・表面摩滅	良好	橙色	突帯ヨコナデ。

8	円筒	第1・2段	1次タテハケ・表面摩滅	ナナメハケ・表面摩滅	良好	橙色	突帯ヨコナデ。
9	円筒	第2段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・表面摩滅 及びナナメナデ	良好	にぶい橙色	
10	円筒	第1段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm	良好	橙色	底部棒状圧痕。
11	円筒	第1段	1次タテハケ・9本/2cm	ナナメハケ・9本/2cm	良好	橙色	
12	円筒	第1段	1次タテハケ・表面摩滅	ナナメハケ・12本/2cm	良好	橙色	内面輪積痕。
13	円筒	第1段	1次タテハケ・表面摩滅	ナナメハケ・表面摩滅	良好	橙色	
14	朝顔	肩部	1次タテハケ・7本/2cm	ナナメナデ	良好	橙色	

な坏蓋模倣坏とは異なる、須恵器模倣系土師器の在地的な一形態と考えられる。

円筒埴輪は、全形の判明する個体がないが、残存部位の形状、法量から二条突帯三段構成品と考えられる。外面調整はすべて1次タテハケによる。突帯は断面M字形を呈するもので占められる。透孔は円形の存在を確認できる。

朝顔形埴輪は肩部の破片1片のみであるが、存在を認めることができる。

形象埴輪は家のみを確認できる。壁体部の破片で、表面に突帯を貼付する。

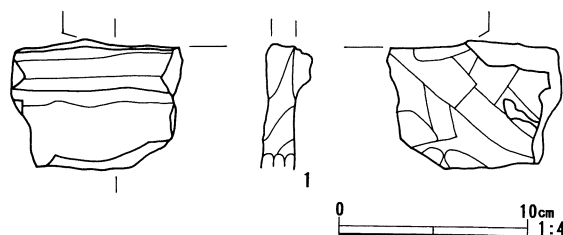


図161 ST-03 形象埴輪実測図

ST-03 形象埴輪観察表

No.	器種	部位・形態の特徴	成形・調整手法の特徴	焼成	色調	備考
1	家	壁体の一部。壁面に突帯を表現。	外面一ナデ。 内面一ナデ。	良好	赤褐色	砂礫を多く含む。

ST-04 (図162)

位置：ST-02の西側、E-2、F-2グリッドに位置する。ST-02西側のローム台地上に立地する。

形状：埴丘は整円形を呈する。周堀は、ST-02に近い東側で大きく途切れている。また南側は大規模な攪乱により失われている。

周堀外側の立ち上がりは、南側で大きく外側に広がる。周堀断面は箱形を呈する。周堀底面はおおむね平坦であるが、南側に階段状の段差が存在し東側へ深さを増している。北側にも2箇所の段差が存在する。

周堀覆土は、単層で、ロームブロック、白色パミス少量含む黒色土の堆積を認める。

規模：周堀内径7.7m、周堀外径9.0m、幅1.0～1.8m、深さ25～30cmを測る。

遺物：遺物は皆無であった。

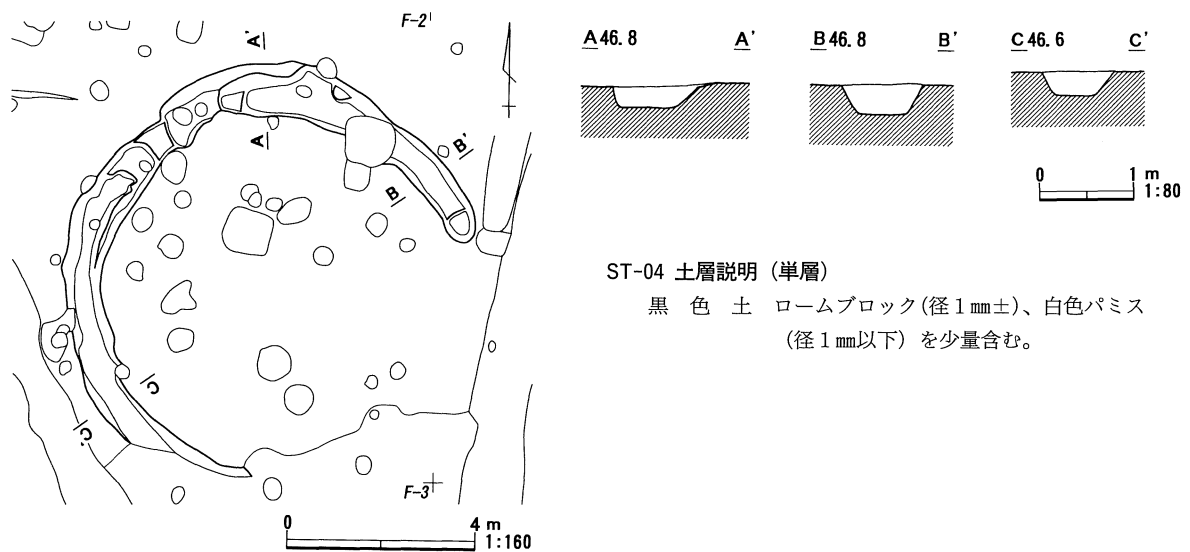


図162 ST-04

ST-05 (図163)

位置：F-1、G-1グリッドに位置する。調査区の北端にあつて、北側4/5程度が調査区外にある。

形状：墳丘は、確認の範囲で、ほぼ円形を呈するが、西端の墳丘立ち上がりラインに若干の乱れがある。中世の井戸により周堀の一部を失っているほか、南側中央部の立ち上がりに攪乱が入る。

周堀幅はほぼ一定に巡る。周堀断面は箱形を呈する。周堀底面は、おおむね平坦であるが、南側の1箇所には階段状の段差が存在し、東側へ深さを増している。周堀覆土は3層に分割され、上層にロームブロック、白色パミスを少量含む黒色土、中層にロームブロックを少量含む黒褐色土、下層にロームブロックを少量含む黒褐色土の堆積を認める。

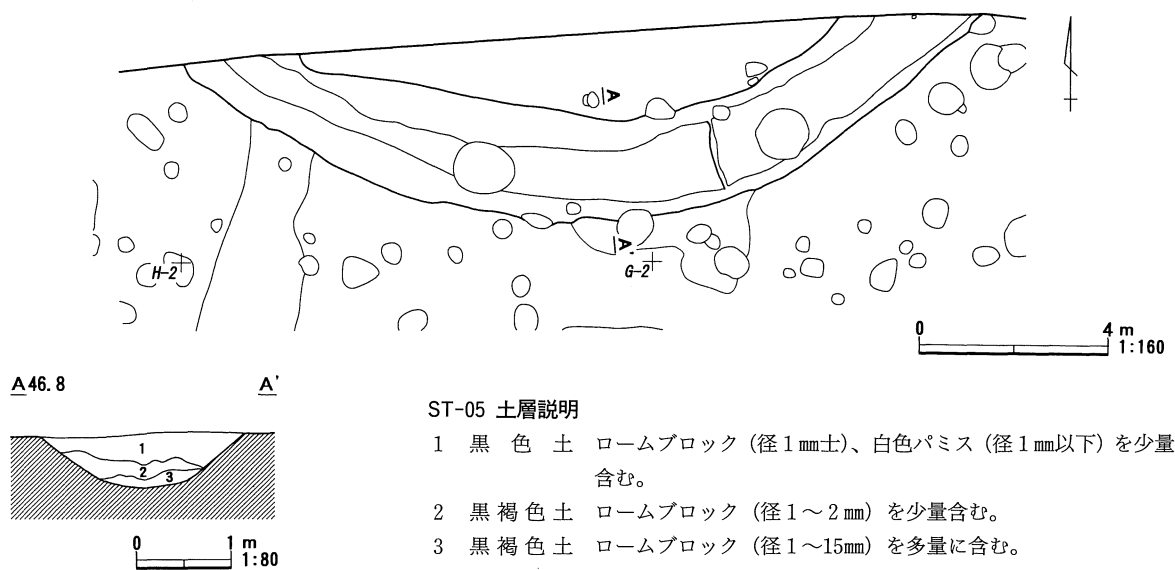


図163 ST-05

規模：大半が調査区外にあるため詳細は明らかではない。群中では規模の大きい部類に入り、周堀内径は10m後半代と推定される。確認の範囲で、周堀幅2.0～2.4m、深さ60～80cmを測る。

遺物：周堀覆土及び確認面上層で土師器、円筒埴輪、形象埴輪を検出した。

土師器は埴、壺各1点を周堀覆土上層で検出した。埴は器高15.3cmを測る大型品で、丸底の底部から偏平球状に立ち上がり、胴部下半にヘラ削りを施す。頸部はくの字状に外反し、口縁部は直線的に開くが、上位ではやや内彎する。口唇部直下の内面に稜を有する。壺は球状の胴部に有段の口縁をもつ。胴部下半を欠失している。

円筒埴輪は小片のみで形状の判明する資料は存在しない。

形象埴輪は家のみを確認できる。壁体部の破片で、表面に突帯を貼付する。

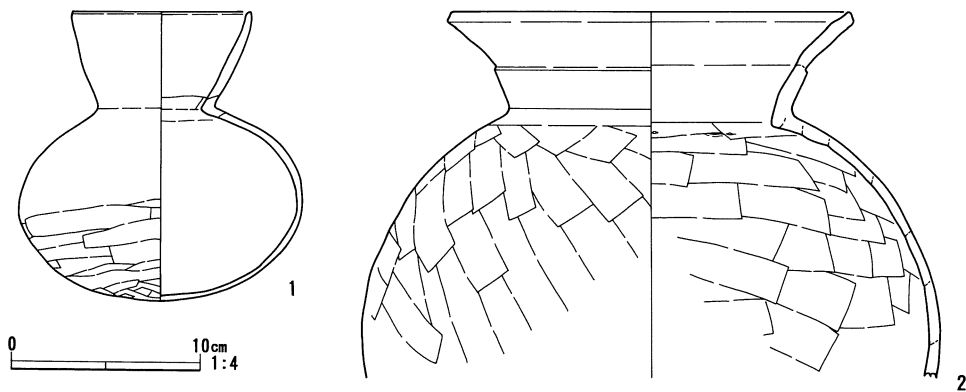


図164 ST-05 土器実測図

ST-05

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	土師器 埴	口径 9.4 底径 — 器高 15.3	大きく膨らみをもつ体部、直線的に外反する口縁部。底部は丸底。	外面—口縁部ヨコナデ、体部上半ナデ、下半横位ヘラナデ。内面—口縁部ヨコナデ、体部ナデ。	白色粒 内外—橙色	ほぼ完形。
2	土師器 壺	口径 (20.9) 底径 — 器高 —	粘土紐積み上げ成形。膨らんだ胴部、中位に段差をもって大きく外反する口縁部。	外面—口縁部ヨコナデ、胴部斜縦位ヘラナデ。内面—口縁部ヨコナデ、胴部斜横位ヘラナデ。	白色粒・石英 内外—橙色	口縁部～胴部中位 1/3。

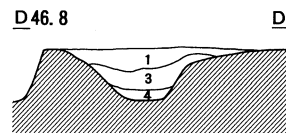
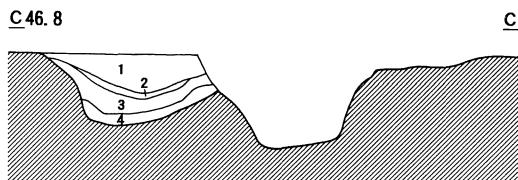
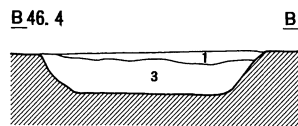
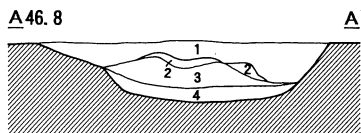
ST-06 (図165)

位置：F-1、G-1グリッドに位置する。調査区の北端にあつて、北側4/5程度が調査区外にある。

形状：南東側周堀の一部が、中世の井戸により失われているほか、墳丘部の各所に中世の遺構と攪乱が重複している。周堀は、北東側でST-04を、西側でST-10を避けるように、外側立ち上がりのラインが内側へ大きく歪んでいる。これに対して、周堀南東側および北東側では幅が一段と広くとられている。周堀北側には、外側立ち上がりのラインが鉤の手状に屈曲する箇所が存在する。南側ではST-07の周堀と一部が重複する。墳丘も北東側及び西側で、外側立ち上がりの歪みに対応するように直線的なラインを呈している。

周堀断面は箱形を呈し、堀底はローム層を掘り抜いて白灰色粘質土層に達している。周堀底面はおおむね平坦であるが、北側と西側に1箇所づつ階段状の段差が存在し、それぞれ西側と北側へ深さを増している。

周堀覆土は3層に大別され、上層の第1・2層にロームブロック、白色パミス、白灰色土を少量含む黒色土、



ST-06 土層説明

- 1 黒色土 ロームブロック (径1mm±)、白色パミス (径1mm以下) を少量含む。
- 2 黒色土 ロームブロック (径1mm±)、白色パミス (径1mm以下)、白灰色土ブロック (径1~5mm) を少量含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック (径1~5mm) を多量に含む。
- 4 暗褐色土 ロームブロック (径1~15mm)、白灰色粘質土ブロック (径1~25mm) を多量に含む。

図165 ST-06

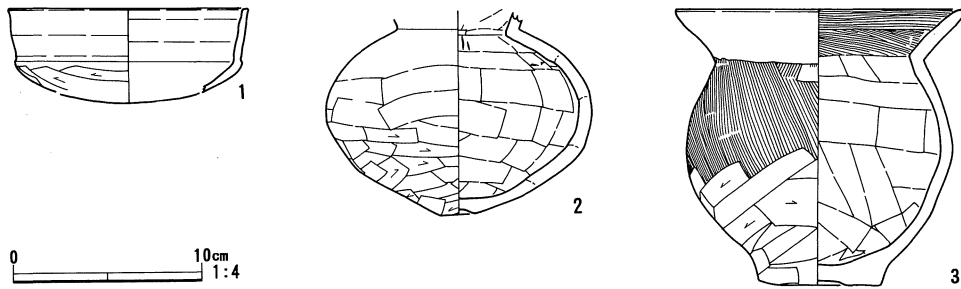


図166 ST-06 土器実測図

ST-06

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	土師器 坏	口径 12.5 底径 — 器高 —	緩やかな体部、体部と口縁部の境に弱い段差、直立気味で中位に弱い稜線をもつ口縁部。	外面一口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ。内面一口縁部ヨコナデ、体部ナデ。	白色粒・黒色粒 内外一橙色	口縁部～体部 1/3。
2	土師器 埴	口径 — 底径 1.7 器高 —	膨らみをもつ体部、上げ底の底部。	外面一体部上半横位ヘラナデ、下半斜横位ヘラケズリ。内面一体部横位ヘラナデ。	白色粒・褐色粒・ 黒色粒・雲母 内外一橙色	体部 3/4。
3	土師器 小型甕	口径 15.2 底径 6.5 器高 14.6	粘土紐積み上げ成形。胴部中位に膨らみをもち、口縁部は直線的に外反。底部は大きな平底。	外面一口縁部ハケメ後ヨコナデ、胴部上半斜縦位ハケメ、下半斜横位ヘラケズリ。内面一口縁部横位ハケメ、胴部横位ヘラナデ。	白色粒・礫 内外一橙～明黄 褐色	口縁部 1/3 欠 損。

中層にロームブロックを多量に含む黒褐色土、下層にロームブロック、白灰色粘質土ブロックを多量に含む褐色土の堆積を認める。下層の第5層は周堀掘削時の残土層と考えられ、墳丘の崩落層や風化堆積層とは明らかに異なる。第4層上面が墳丘完成時の堀底である可能性が高い。

規模：周堀内径14.2m、周堀外径15.8～17.6m、幅0.7～2.6m、深さ40～75cmを測る。

遺物：周堀覆土及び確認面上層で土師器、円筒埴輪、朝顔形埴輪、形象埴輪を検出した。

土師器は坏、埴各1点を周堀覆土上層で検出した。坏は坏蓋模倣坏で、体部をヘラ削りし、口縁部は緩やかに屈曲しつつやや開き気味に立ち上がる。口唇部端面は内傾する。埴は窪み底の底部から偏平球状に立ち上がり、胴部下半にヘラ削りを施す。頸部はくの字状に外反し、口縁部は直線的に開くが、大部分を欠失している。

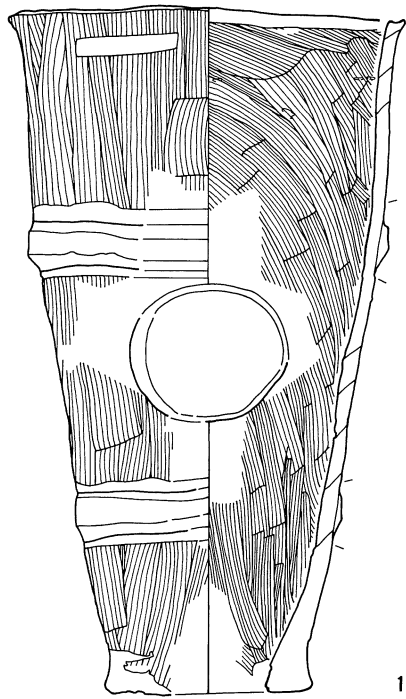
円筒埴輪は二条突帯三段構成で、器壁は薄手の個体が多い。外面調整はすべて1次タテハケによる。突帯は断面が台形ないしM字形を呈するものが多数を占め、三角形を呈するものが少量加わる。透孔はすべて円形で占められる。

朝顔形埴輪は口縁部及び肩部の破片少数を確認するにとどまった。

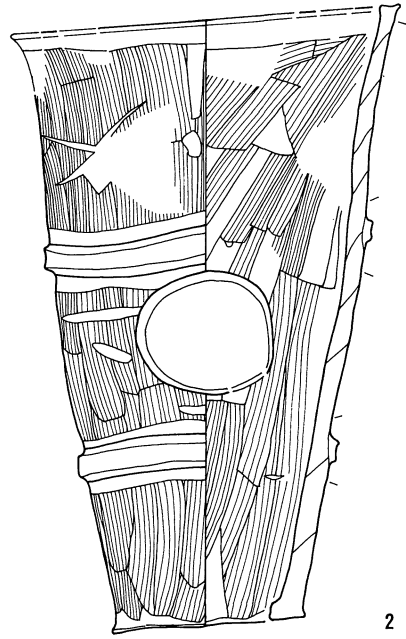
形象埴輪は馬の鈴のみを認める。中実成形による。2は形象の台部である。

ST-06 円筒・朝顔形埴輪拓影資料観察表

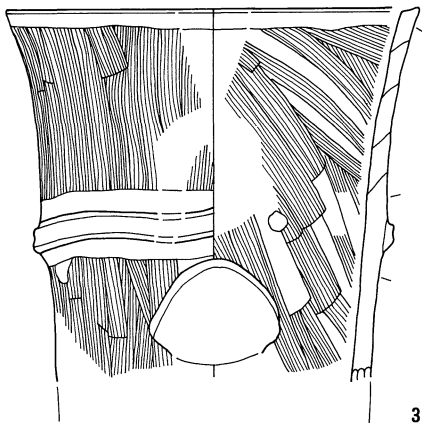
番号	器種	部位	外面調整・ハケ本数	内面調整・ハケ本数	焼成	色調	備考
1	円筒	第2・3段	1次タテハケ・表面摩滅	ナナメハケ・表面摩滅 ナナメナデ	良好	橙色	口唇部端面・内外面・突帯ヨコナデ。外面線刻あり。
2	円筒	第3段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・8～12本/2cm	良好	にぶい橙色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
3	円筒	第3段	1次タテハケ・8～ 12本/2cm	ナナメハケ・8～12本/2cm	良好	明赤褐色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。



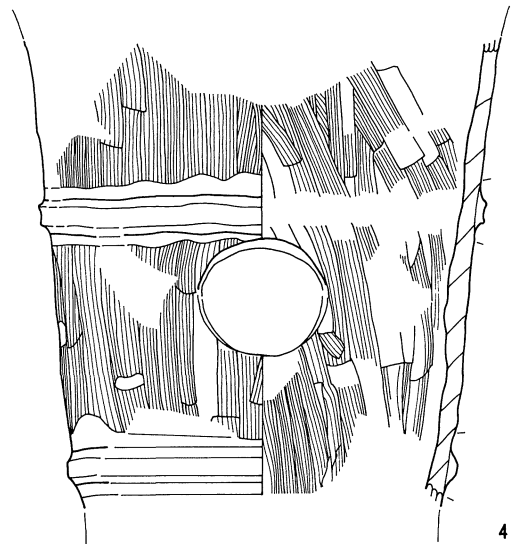
1



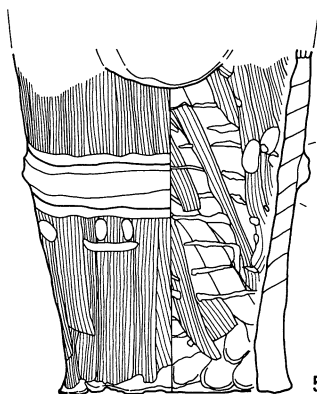
2



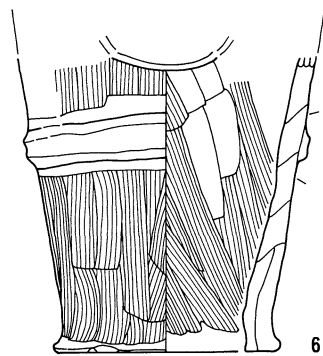
3



4



5



6

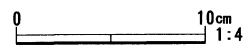


图167 ST-06 円筒埴輪実測図

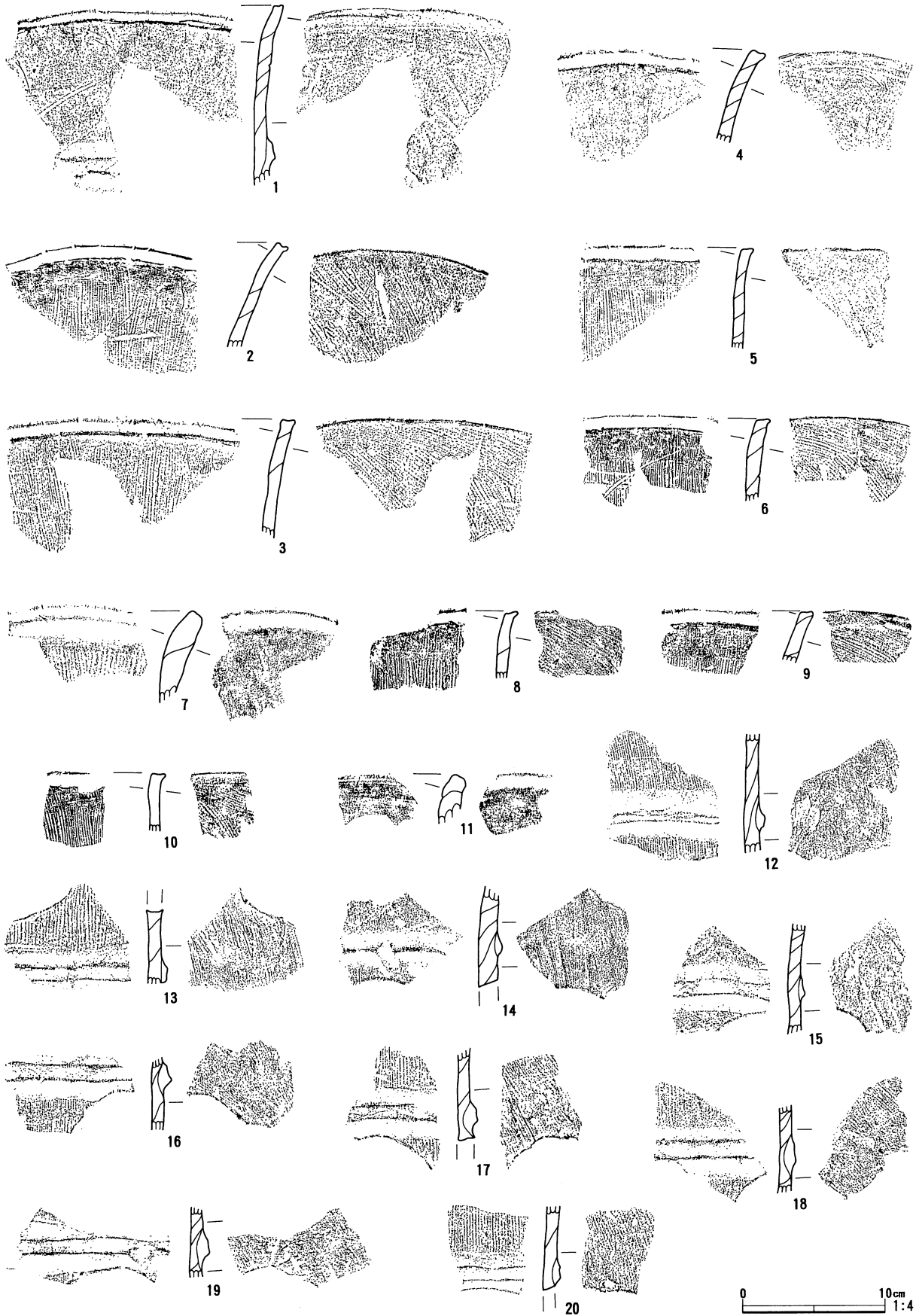


图168 ST-06 円筒・朝顔形埴輪拓影图 (1)

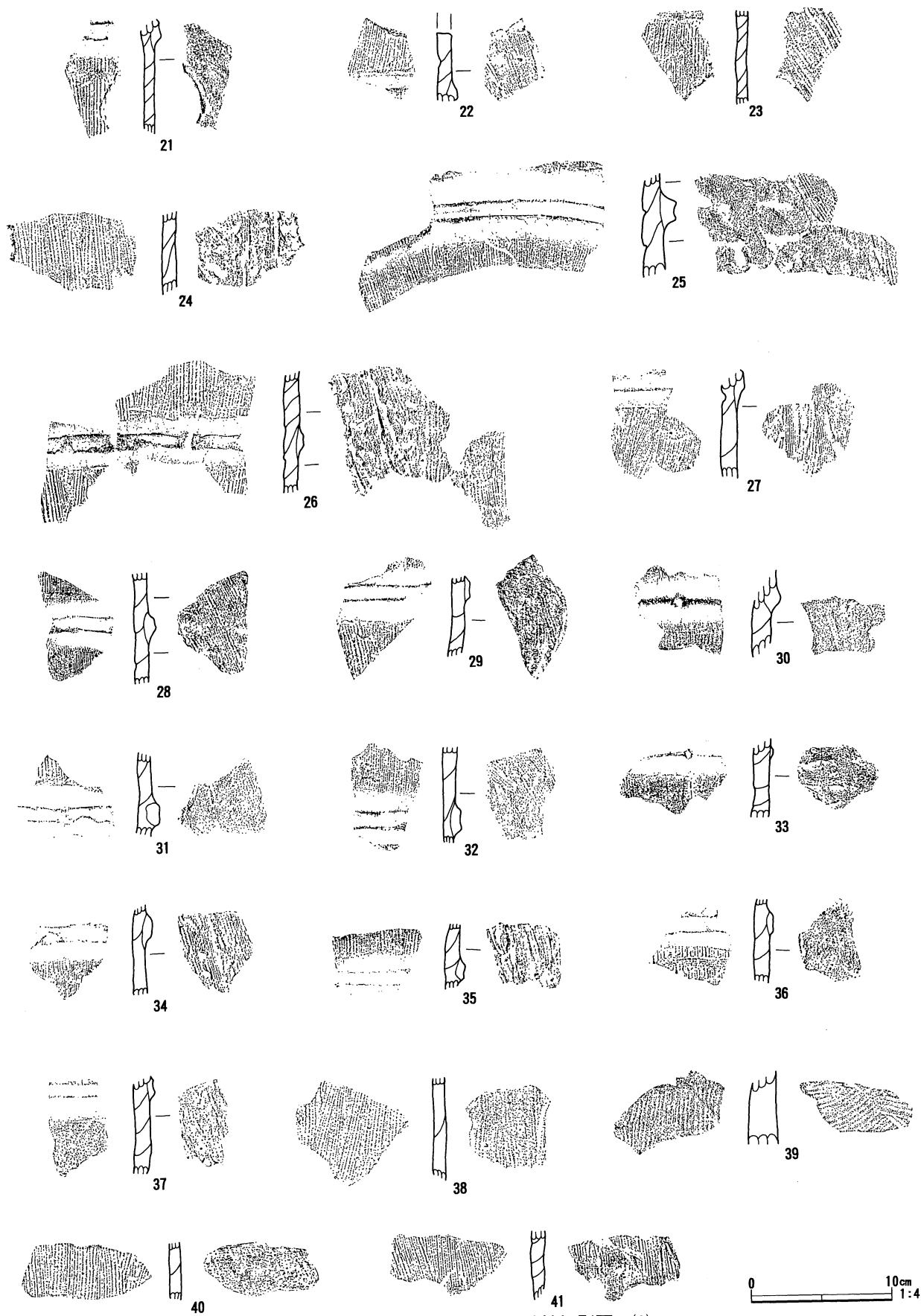


图169 ST-06 円筒・朝顔形埴輪拓影图 (2)

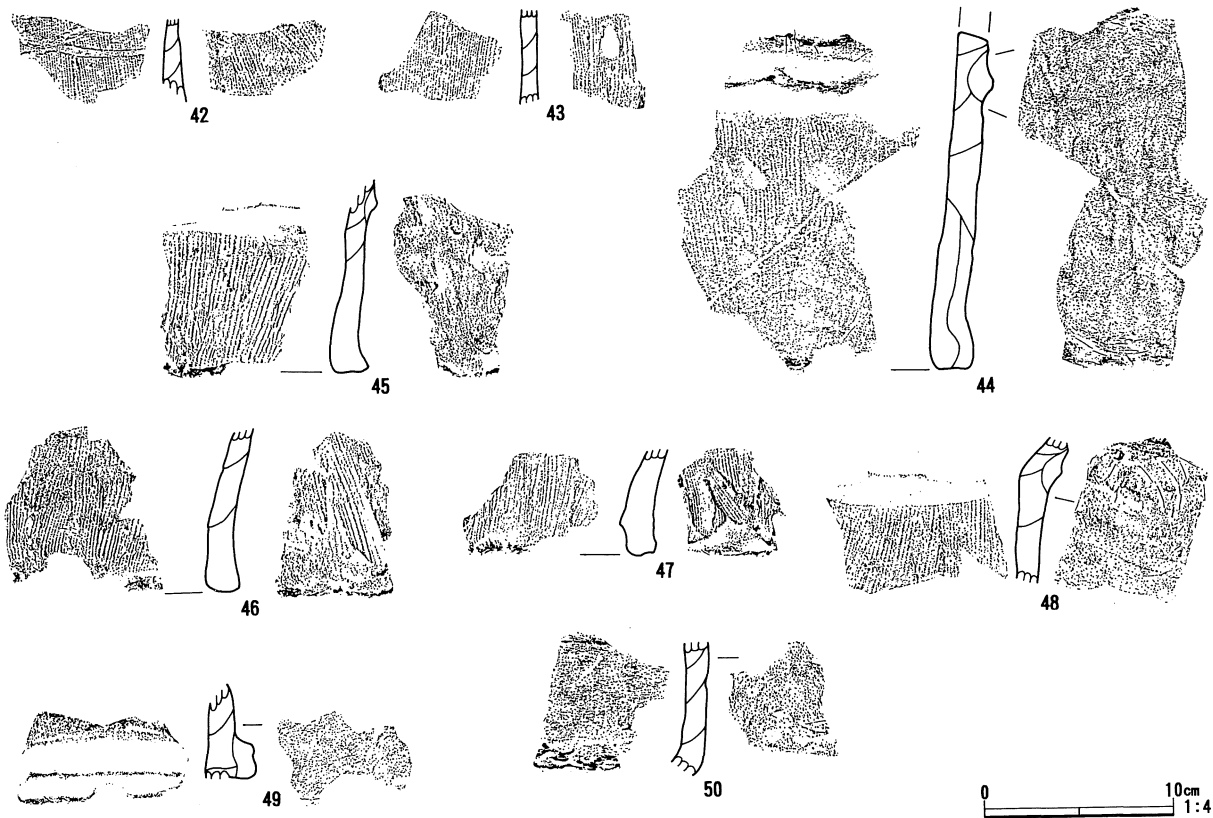


图170 ST-06 円筒・朝顔形埴輪拓影図 (3)

4	円筒	第 3 段	1次タテハケ・表面摩滅	ナナメハケ・表面摩滅 ナナメナデ	良 好	橙 色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
5	円筒	第 3 段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm	良 好	明 赤 褐 色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
6	円筒	第 3 段	1次タテハケ・10~ 14本/2cm	ナナメハケ・10~ 12本/2cm	良 好	橙 色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
7	円筒	第 3 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・表面摩滅	良 好	橙 色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
8	円筒	第 3 段	1次タテハケ・10~ 12本/2cm	ナナメハケ・10~ 12本/2cm	良 好	橙 色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
9	円筒	第 3 段	1次タテハケ・10~ 12本/2cm	ナナメハケ・10~ 12本/2cm	良 好	橙 色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
10	円筒	第 3 段	1次タテハケ・10~ 12本/2cm	ナナメハケ・10~ 12本/2cm	良 好	橙 色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
11	円筒	第 3 段	剝離	表面摩滅	良 好	橙 色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
12	円筒	第 2・3 段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm 及びナナメナデ	良 好	橙 色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
13	円筒	第 2 段	1次タテハケ・9本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm	良 好	橙 色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
14	円筒	第 2・3 段	1次タテハケ・14本/2cm	ナナメハケ・14本/2cm	良 好	橙 色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
15	円筒	第 2・3 段	1次タテハケ・表面摩滅	ナナメハケ・表面摩滅 及びナナメナデ	良 好	橙 色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
16	円筒	第 2・3 段	1次タテハケ・14本/2cm	ナナメハケ・14本/2cm タテナデ及びナナメナデ	良 好	橙 色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。

17	円筒	第 2・3 段	1 次タテハケ・11本/2 cm	ナナメハケ・11本/2 cm	良 好	橙	色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
18	円筒	第 2・3 段	1 次タテハケ・14本/2 cm	ナナメハケ・10本/2 cm	良 好	橙	色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
19	円筒	第 2・3 段	1 次タテハケ・16本/2 cm	ナナメハケ・16本/2 cm	良 好	橙	色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
20	円筒	第 2・3 段	1 次タテハケ・9 本/2 cm	ナナメハケ・9 本/2 cm	良 好	橙	色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
21	円筒	第 2 段	1 次タテハケ・11本/2 cm	ナナメハケ・表面摩滅 及びナナメナデ	良 好	橙	色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
22	円筒	第 2 段	1 次タテハケ・12本/2 cm	ナナメハケ・12本/2 cm	良 好	橙	色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
23	円筒	第 2 段	1 次タテハケ・14本/2 cm	ナナメハケ・10本/2 cm	良 好	橙	色	円形透孔。
24	円筒	第 2 段	1 次タテハケ・9 本/2 cm	タテハケ・9 本/2 cm 及びナナメハケ	良 好	明 赤 褐	色	円形透孔。
25	円筒	第 1・2 段	1 次タテハケ・11本/2 cm	ナナメハケ・10本/2 cm 及びナナメナデ	良 好	橙	色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
26	円筒	第 1・2 段	1 次タテハケ・9 本/2 cm	ナナメハケ・11本/2 cm	良 好	明 赤 褐	色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
27	円筒	第 1 段	1 次タテハケ・16本/2 cm	ナナメハケ・14本/2 cm	良 好	橙	色	突帯ヨコナデ。
28	円筒	第 2・3 段	1 次タテハケ・16本/2 cm	ナナメハケ・16本/2 cm	良 好	橙	色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
29	円筒	第 2・3 段	1 次タテハケ・8 本/2 cm	ナナメハケ・12本/2 cm 及びナナメナデ	良 好	橙	色	突帯ヨコナデ。
30	円筒	第 1・2 段	1 次タテハケ・10本/2 cm	ナナメハケ・表面摩滅	良 好	橙	色	突帯ヨコナデ。
31	円筒	第 2・3 段	1 次タテハケ・10本/2 cm	ナナメハケ・表面摩滅 及びナナメナデ	良 好	明 赤 褐	色	突帯ヨコナデ。
32	円筒	第 2 段	1 次タテハケ・16本/2 cm	ナナメハケ・14本/2 cm	良 好	橙	色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
33	円筒	第 2 段	1 次タテハケ・表面摩滅	ナナメハケ・表面摩滅	良 好	橙	色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
34	円筒	第 2・3 段	1 次タテハケ・10本/2 cm	ナナメハケ・16本/2 cm	良 好	に ぶ い 橙	色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
35	円筒	第 3 段	1 次タテハケ・12本/2 cm	ナナメハケ・14本/2 cm	良 好	橙	色	突帯ヨコナデ。
36	円筒	第 2・3 段	1 次タテハケ・10本/2 cm	ナナメハケ・表面摩滅	良 好	明 赤 褐	色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
37	円筒	第 2 段	1 次タテハケ・表面摩滅	ナナメハケ・表面摩滅	良 好	橙	色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
38	円筒	第 3 段	1 次タテハケ・10本/2 cm	ナナメハケ・12本/2 cm	良 好	橙	色	
39	円筒	第 1 段	1 次タテハケ・7 本/2 cm	ナナメハケ・7 本/2 cm	良 好	橙	色	
40	円筒	第 3 段	1 次タテハケ・8 本/2 cm	ナナメハケ・12本/2 cm 及びナナメナデ	良 好	橙	色	
41	円筒	第 3 段	1 次タテハケ・12本/2 cm	ナナメハケ・12本/2 cm	良 好	橙	色	内面輪積痕。
42	円筒	第 2 段	1 次タテハケ・18本/2 cm	ナナメハケ・12本/2 cm	良 好	橙	色	内面輪積痕。
43	円筒	第 3 段	1 次タテハケ・12本/2 cm	ナナメハケ・10本/2 cm	良 好	橙	色	内面輪積痕。

44	円筒	第1・2段	1次タテハケ・10本/2cm	タテナデ及びナナメナデ	良好	橙	色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。	
45	円筒	第1段	1次タテハケ・10本/2cm	タテナデ及びナナメナデ	良好	橙	色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。	
46	円筒	第1段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm	良好	橙	色	内面輪積痕。 底部棒状圧痕。	
47	円筒	第1段	1次タテハケ・14本/2cm	タテナデ・14本/2cm 及びナナメハケ	良好	橙	色	底部棒状圧痕。	
48	朝顔	口縁部	1次タテハケ・12本/2cm	ヨコナデ及びナナメナデ	良好	黄	橙	色	突帯ヨコナデ。
49	朝顔	肩部	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメハケ・6本/2cm タテナデ及びナナメナデ	良好	明	赤	褐色	砂礫を含む。突帯ヨコナデ。
50	朝顔	肩部	1次タテハケ・9本/2cm	ナナメナデ	良好	橙	色	砂礫を含む。内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。	

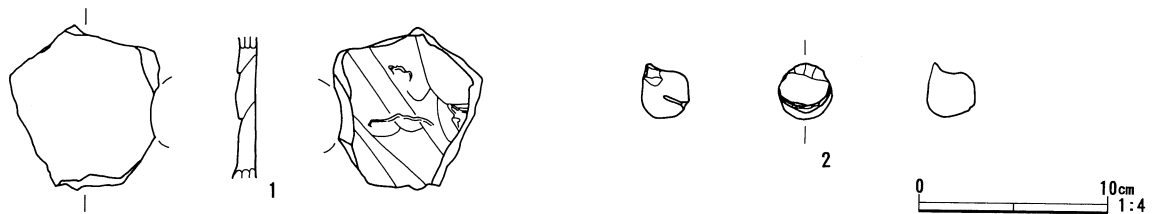


図171 ST-06 形象埴輪実測図

ST-06 形象埴輪観察表

No.	器種	部位・形態の特徴	成形・調整手法の特徴	焼成	色調	備考
1	不明	形象台部。	外面一ナデ。 内面一ナデ。輪積痕あり。	良好	橙	色
2	馬鈴。	鈴。	中実成形。 ナデ。	良好	橙	色

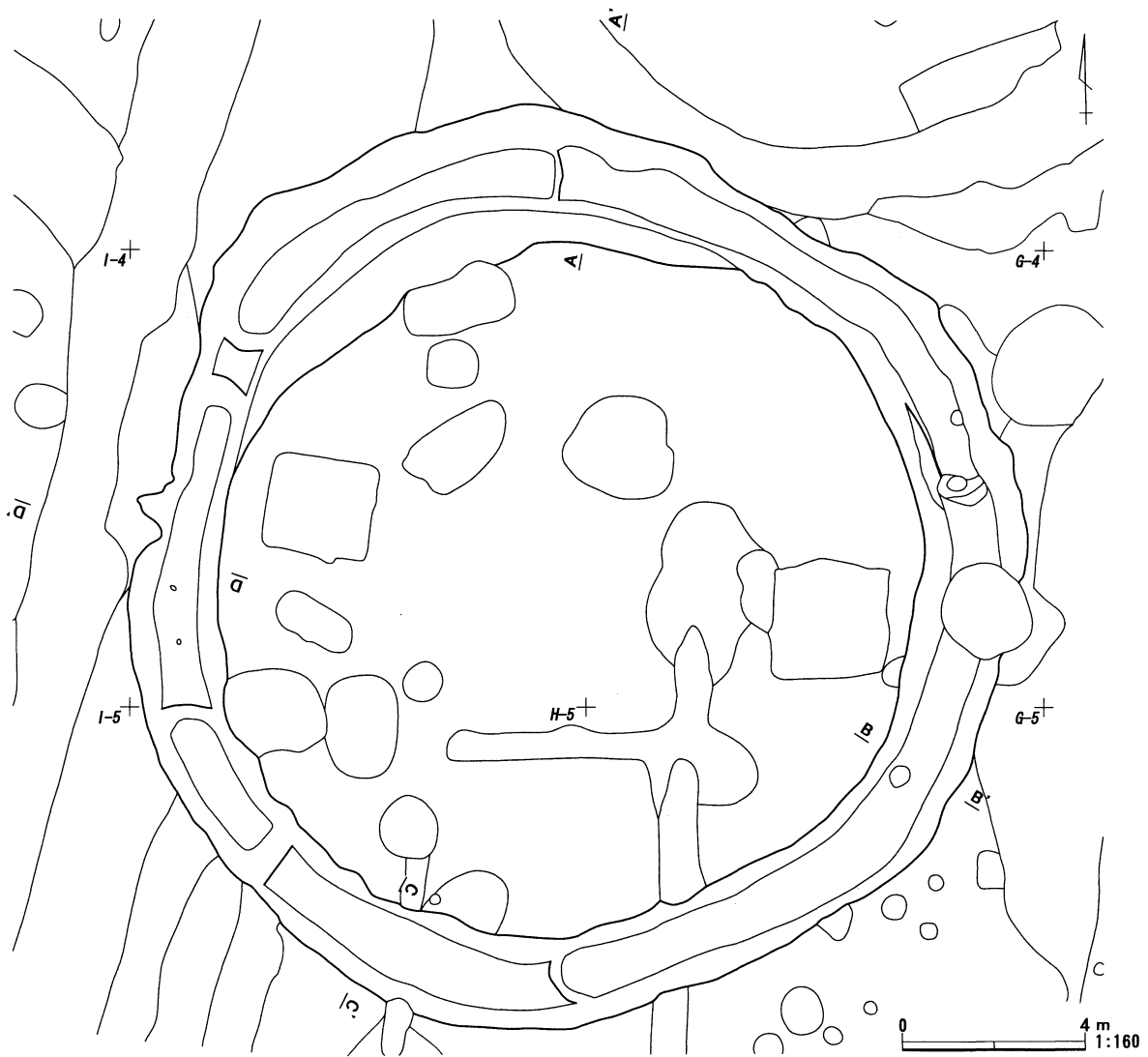
ST-07 (図172)

位置：G-3～5、H-3～5グリッドに位置する。ローム台地の東端部に立地する。周堀北側の一部がST-06と、西側の一部がST-11と重複する。

形状：東側周堀の一部が、中世の井戸により、西側周堀の立ち上がりと同じく中世の溝により失われているほか、墳丘部の各所に中世の遺構と攪乱が重複している。

墳丘は整円形を呈する。墳丘北西側では、周堀上端の内側に緩斜面が存在し、明瞭な傾斜変換線を介して墳丘中央の平坦面と連続している。この周堀沿いの緩斜面は、明らかに人為的なローム削り出しによる工作面で、墳丘裾部を巡るテラス状遺構の一部と推測される。

周堀断面は箱形を呈し、堀底はローム層を掘り抜いて白灰色粘質土層に達している。周堀底面には、北西側の一角にブリッジ状に浅くなる部分を認める。また、南西側には一段低くなる箇所が存在する。さらに、北側と南側に1箇所ずつ階段状の段差が存在し、それぞれ西側と東側へ深さを増している。周堀覆土は3層に大別され、上層の第1～3層にロームブロック、白色パミス、白灰色土を少量含む黒色土、及び混合物を含まない黒褐色土、中層の第4層に白褐色土ブロックを多量に含む黒褐色土、下層にしまりの強いロームブロックと白灰色粘質土ブロックの混合層の堆積を認める。下層の第5層は周堀掘削時の残土層と考えられ、墳丘の崩落層や風化堆積層とは明らかに異なる。第5層上面が墳丘完成時の堀底である可能性が高い。なお、土層断面の観

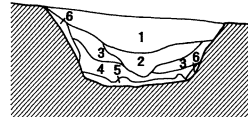
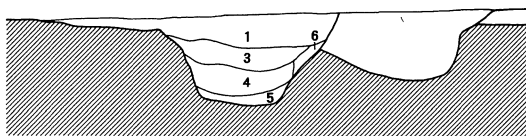


A47.0

A'

B46.6

B'

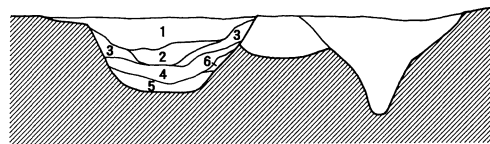
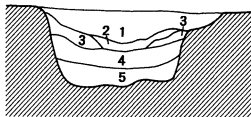


C47.0

C'

D47.0

D'

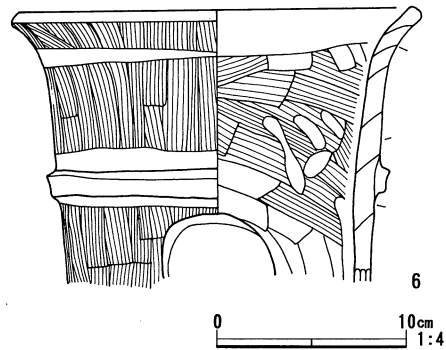
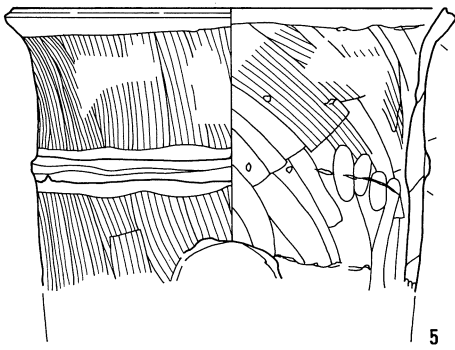
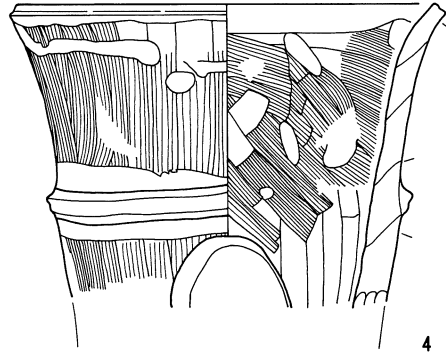
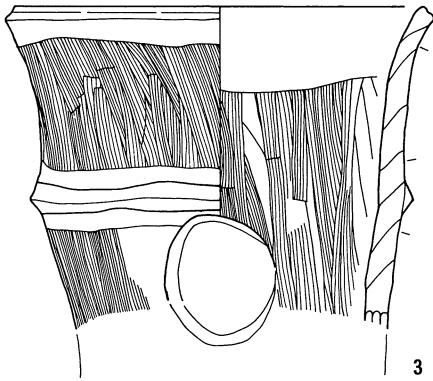
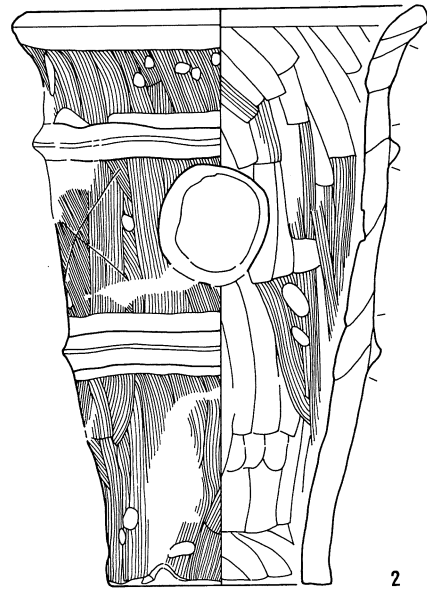
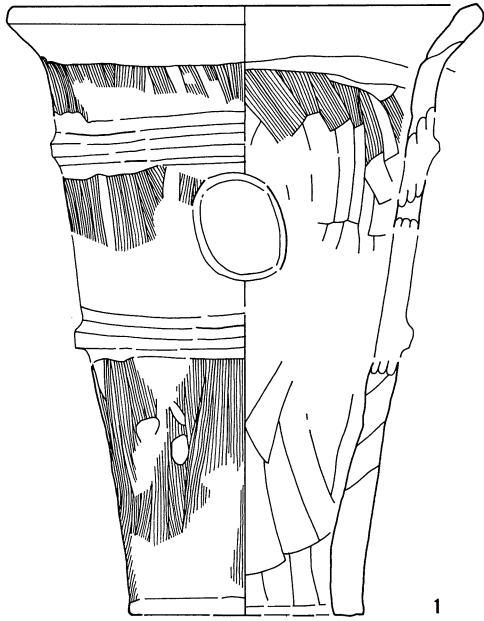


0 1 m 1:80

ST-07 土層説明

- 1 黒色土 ロームブロック (径1mm±)、白色パミス (径1mm以下) を少量含む。
- 2 黒色土 ロームブロック (径1~3mm) を少量含む。
- 3 黒褐色土
- 4 黒褐色土 白褐色土ブロック (径1~40mm) を多量に含む。
- 5 ロームブロック (径1~25mm) および白褐色粘質土ブロック (径1~40mm) の混合層。しまり強。
- 6 褐色土

図172 ST-07



0 10cm 1:4

图173 ST-07 卮筒埴輪実測图 (1)

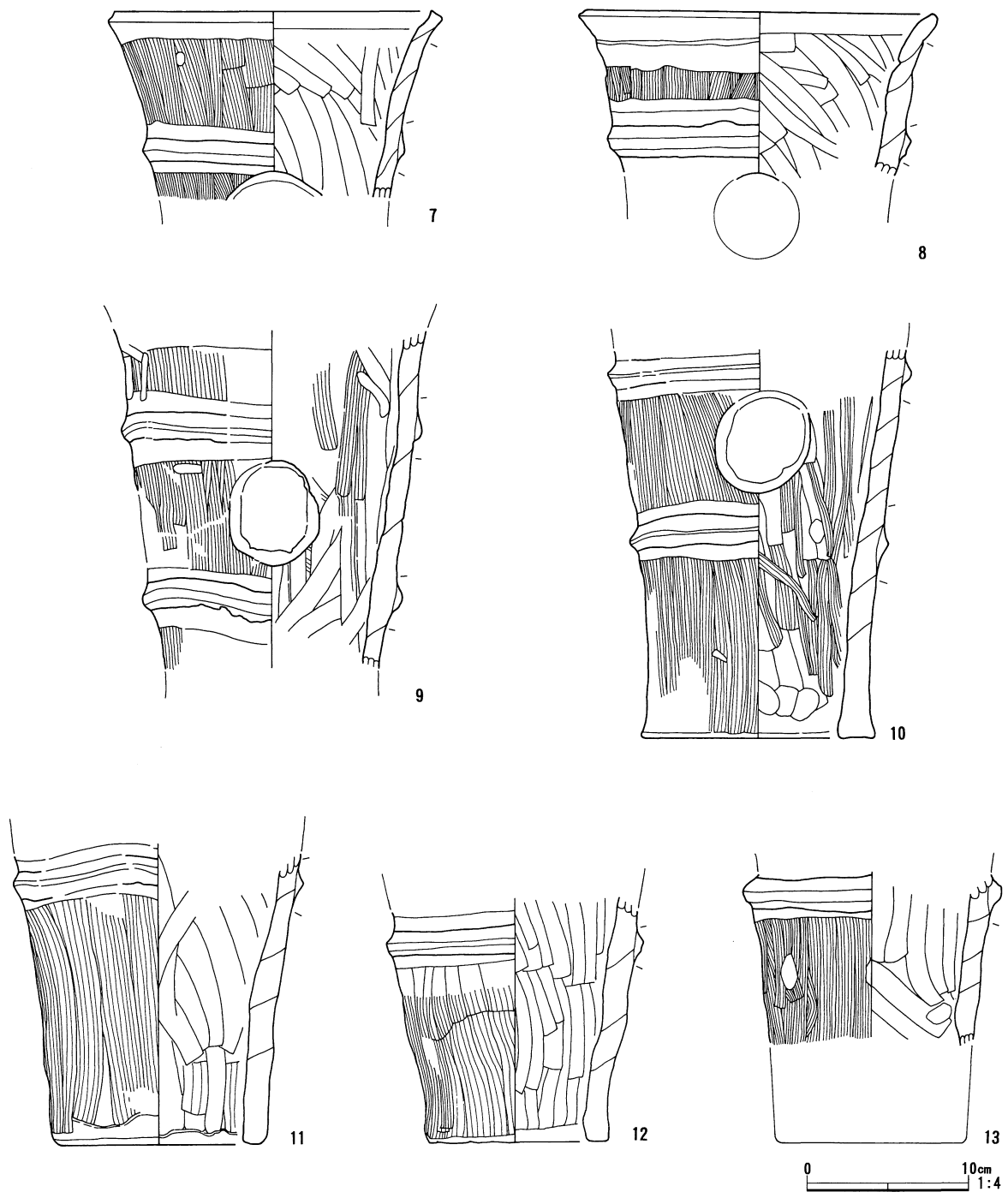


図174 ST-07 円筒埴輪実測図 (2)

察によれば、ST-07周堀は、ST-06およびST-11の周堀覆土を切って構築されており、時間的な前後関係は明らかである。

規模：周堀内径17.0m、周堀外径20.0m、幅1.9～2.6m、深さ70～95cmを測る。

遺物：周堀覆土及び確認面上層で円筒埴輪、朝顔形埴輪、形象埴輪を検出した。

円筒埴輪は二条突帯三段構成で、器壁は厚手の個体が多い。外面調整はすべて1次タテハケによる。突帯は断面が台形ないしM字形を呈するものと三角形を呈するものがある。透孔はすべて円形である。胎土に砂礫を多く含む個体が多く、礫のみを含む個体も目立つ。

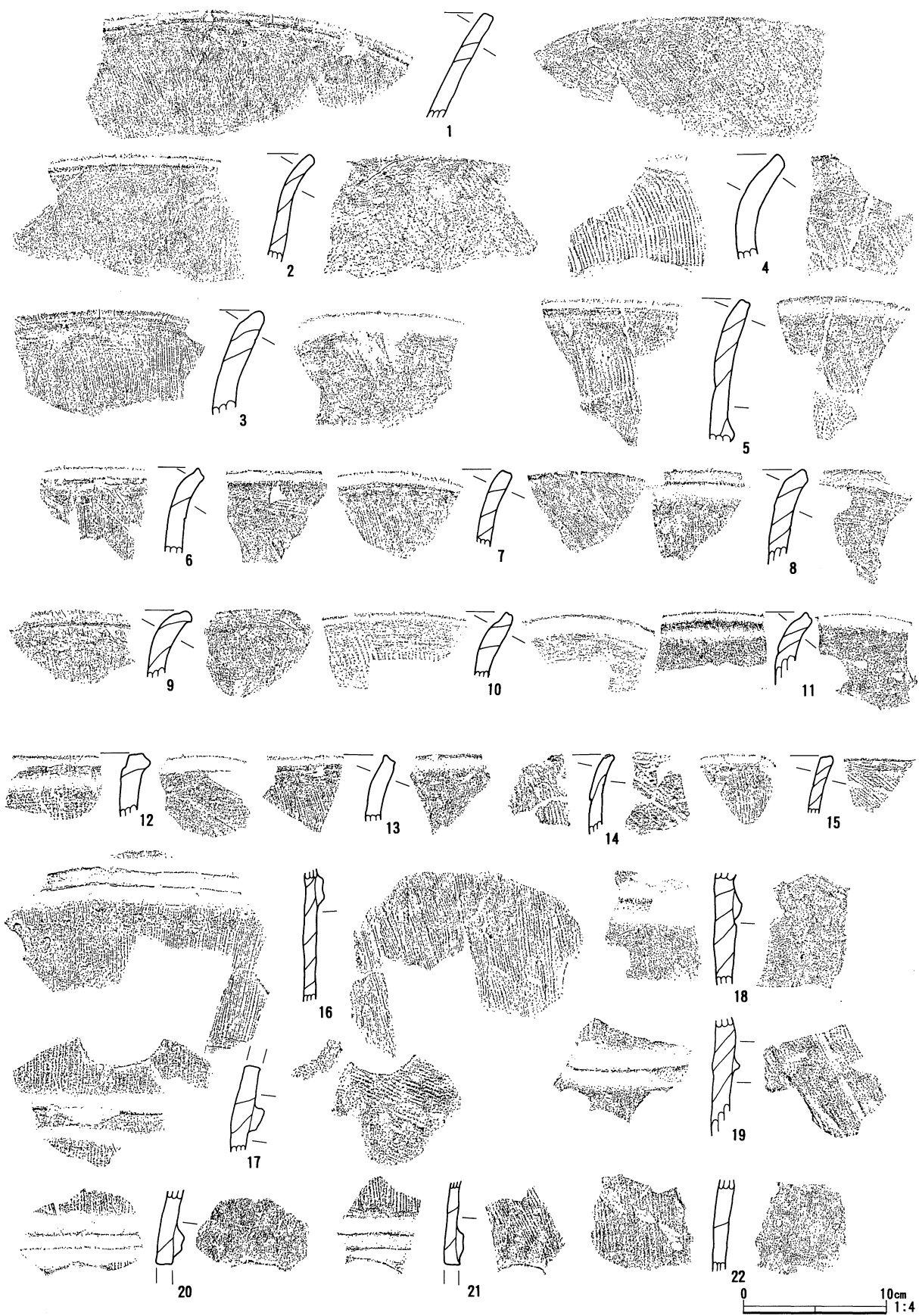


图175 ST-07 円筒・朝顔形埴輪拓影图 (1)

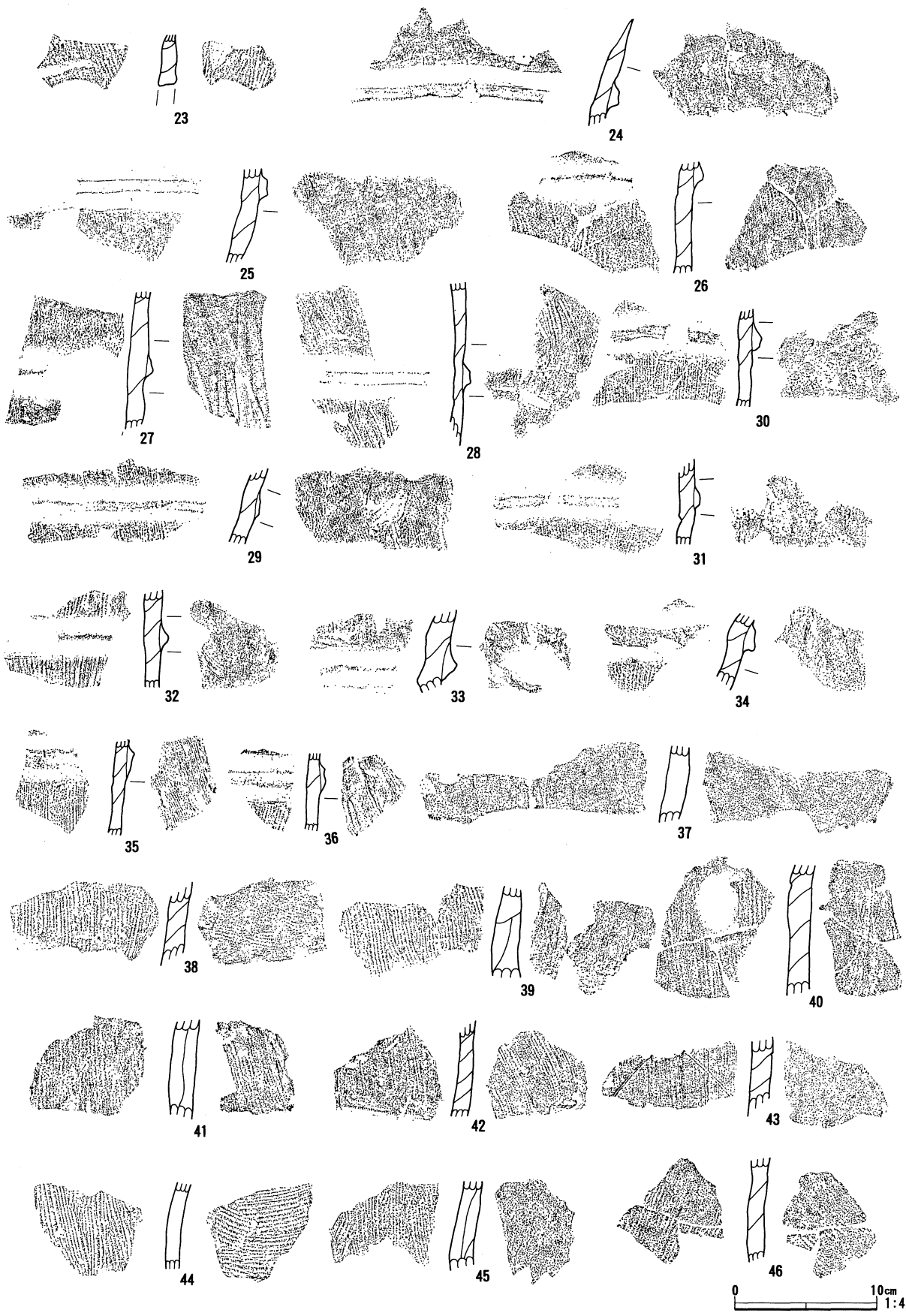


图176 ST-07 円筒・朝顔形埴輪拓影图 (2)

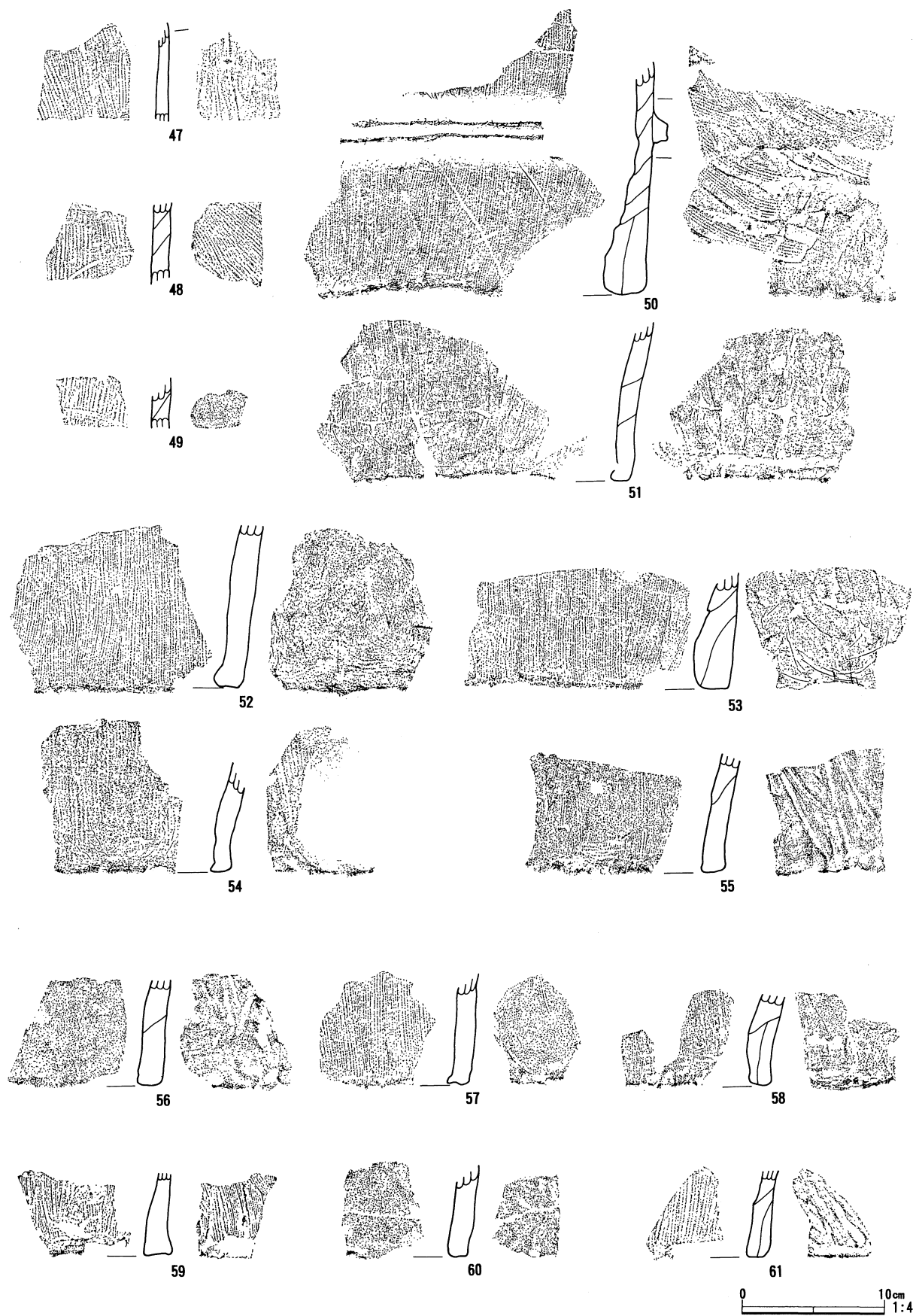


图177 ST-07 円筒・朝顔形埴輪拓影图 (3)

ST-07 円筒・朝顔形埴輪拓影資料観察表

番号	器種	部 位	外面調整・ハケ本数	内面調整・ハケ本数	焼 成	色 調	備 考
1	円筒	第 3 段	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm	良 好	明 赤 褐 色	砂礫を多く含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
2	円筒	第 3 段	1次タテハケ・6~8本/2cm	ナナメハケ・6~8本/2cm	良 好	明 赤 褐 色	砂礫を多く含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
3	円筒	第 3 段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm	良 好	橙 色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
4	円筒	第 3 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm	良 好	に ぶ い 橙 色	礫を含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
5	円筒	第 3 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm	良 好	橙 色	口唇部端面・内外面・突帯ヨコナデ。
6	円筒	第 3 段	1次タテハケ・16本/2cm	ヨコハケ・16本/2cm 及びナナメハケ	良 好	橙 色	外面線刻あり。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
7	円筒	第 3 段	1次タテハケ・14本/2cm	ナナメハケ・14本/2cm	良 好	に ぶ い 橙 色	礫を含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
8	円筒	第 3 段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm	良 好	橙 色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
9	円筒	第 3 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・16本/2cm	良 好	に ぶ い 橙 色	礫を含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
10	円筒	第 3 段	1次タテハケ・6本/2cm	表面摩滅	良 好	橙 色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
11	円筒	第 3 段	1次タテハケ・12本/2cm	表面摩滅	良 好	橙 色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
12	円筒	第 3 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm 及びナナメナデ	良 好	橙 色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
13	円筒	第 3 段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm	良 好	に ぶ い 橙 色	礫を含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
14	円筒	第 3 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm	良 好	に ぶ い 橙 色	礫を含む。外面線刻あり。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
15	円筒	第 3 段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm	良 好	橙 色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
16	円筒	第 2・3 段	1次タテハケ・12~ 16本/2cm	ナナメハケ・10~ 12本/2cm	良 好	橙 色	突帯ヨコナデ。円形透孔。
17	円筒	第 1・2 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm 及びナナメナデ	須恵質	に ぶ い 黄 褐 色	礫を含む。 突帯ヨコナデ。円形透孔。
18	円筒	第 1・2 段	1次タテハケ・表面摩滅	ナナメナデ	良 好	に ぶ い 橙 色	礫を含む。 突帯ヨコナデ。円形透孔。
19	円筒	第 2・3 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm	良 好	に ぶ い 橙 色	礫を含む。 突帯ヨコナデ。円形透孔。
20	円筒	第 2・3 段	1次タテハケ・10本/2cm	タテナデ及びナナメナデ	良 好	に ぶ い 橙 色	礫を含む。 突帯ヨコナデ。円形透孔。
21	円筒	第 2・3 段	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm	良 好	橙 色	内面指頭圧痕。 突帯ヨコナデ。円形透孔。
22	円筒	第 2 段	1次タテハケ・8本/2cm	タテナデ及びナナメナデ	良 好	に ぶ い 橙 色	礫を含む。内面輪積痕。 円形透孔。
23	円筒	第 2 段	1次タテハケ・7本/2cm	ナナメハケ・7本/2cm	良 好	橙 色	円形透孔。
24	円筒	第 2・3 段	1次タテハケ・14本/2cm	タテナデ及びナナメナデ	良 好	橙 色	砂礫を多く含む。突帯ヨコナデ。
25	円筒	第 2・3 段	1次タテハケ・10本/2cm	タテナデ及びナナメナデ	良 好	橙 色	砂礫を多く含む。内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
26	円筒	第 2・3 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm	良 好	橙 色	突帯ヨコナデ。

27	円筒	第2・3段	1次タテハケ・16本/2cm	ナナメハケ・16本/2cm	良好	橙色	突帯ヨコナデ。
28	円筒	第2・3段	1次タテハケ・12本/2cm	ヨコナデ及びナナメナデ	良好	橙色	砂礫を多く含む。
29	円筒	第2・3段	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm	良好	橙色	砂礫を多く含む。
30	円筒	第2・3段	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメナデ	良好	橙色	砂礫を多く含む。突帯ヨコナデ。内面指頭圧痕。
31	円筒	第2・3段	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメナデ	良好	橙色	砂礫を多く含む。突帯ヨコナデ。内面指頭圧痕。
32	円筒	第2・3段	1次タテハケ・10本/2cm	タテナデ及びナナメナデ	良好	にぶい橙色	砂礫を含む。内面輪積痕。突帯ヨコナデ。
33	円筒	第2・3段	1次タテハケ・10本/2cm	剝離	良好	橙色	砂礫を多く含む。突帯ヨコナデ。
34	円筒	第2・3段	1次タテハケ・10本/2cm	タテナデ及びナナメナデ	良好	明黄褐色	内面輪積痕。突帯ヨコナデ。
35	円筒	第2・3段	1次タテハケ・16本/2cm	タテハケ・16本/2cm 及びナナメハケ	良好	橙色	突帯ヨコナデ。
36	円筒	第2・3段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・16本/2cm	良好	橙色	内面輪積痕。突帯ヨコナデ。
37	円筒	第2段	1次タテハケ・16本/2cm	ナナメハケ・表面摩滅 及びナナメナデ	良好	橙色	
38	円筒	第2段	1次タテハケ・9本/2cm	ナナメハケ・9本/2cm	良好	明褐色	礫を含む。
39	円筒	第1段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメナデ	良好	にぶい橙色	礫を含む。内面木目圧痕。
40	円筒	第1段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm	良好	橙色	
41	円筒	第1段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm	良好	黄橙色	礫を含む。
42	朝顔	肩部	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm	良好	橙色	突帯ヨコナデ。
43	円筒	第2段	1次タテハケ・18本/2cm	タテハケ・表面摩滅 及びナナメハケ	良好	にぶい橙色	砂礫を含む。外面線刻あり。
44	円筒	第3段	1次タテハケ・7本/2cm	ヨコハケ・7本/2cm 及びナナメハケ	良好	橙色	
45	円筒	第1段	1次タテハケ・8本/2cm	タテナデ及びナナメナデ	須恵質	にぶい黄褐色	礫を含む。
46	円筒	第2段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm	良好	橙色	
47	円筒	第2段	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメハケ・14本/2cm	良好	橙色	
48	円筒	第1段	1次タテハケ・9本/2cm	ナナメハケ・9本/2cm	良好	にぶい橙色	礫を含む。外面線刻あり。
49	円筒	第2段	1次タテハケ・9本/2cm	ナナメナデ	良好	橙色	外面線刻あり。
50	円筒	第1・2段	1次タテハケ・11本/2cm	ナナメハケ・11本/2cm ナナメナデ	良好	橙色	内面輪積痕、底部棒状圧痕。突帯ヨコナデ。
51	円筒	第1段	1次タテハケ・20本/2cm	タテナデ	良好	にぶい橙色	礫を含む。内面木目圧痕。
52	円筒	第1段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメナデ	良好	にぶい赤褐色	礫を含む。内面木目圧痕。
53	円筒	第1段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメナデ	良好	橙色	内面輪積痕。

54	円筒	第 1 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm 及びナナメナデ	良 好	橙 色	
55	円筒	第 1 段	1次タテハケ・13本/2cm	ナナメハケ・13本/2cm 及びナナメナデ	良 好	橙 色	
56	円筒	第 1 段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm 及びナナメナデ	良 好	橙 色	
57	円筒	第 1 段	1次タテハケ・13本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm 及びナナメナデ	良 好	橙 色	底部棒状圧痕。
58	円筒	第 1 段	1次タテハケ・20本/2cm	ナナメハケ・表面摩滅 及びナナメナデ	良 好	橙 色	
59	円筒	第 1 段	1次タテハケ・14本/2cm	ナナメハケ・14本/2cm	良 好	橙 色	底部棒状圧痕。
60	円筒	第 1 段	1次タテハケ・表面摩滅	ナナメハケ・表面摩滅 及びナナメナデ	良 好	橙 色	
61	円筒	第 1 段	1次タテハケ・9本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm	良 好	橙 色	

朝顔形埴輪は肩部の破片 1 片のみであるが、存在を認めることができる。

形象埴輪は人物、馬を確認できる。1・2は人物である。1は男子の右顔面から側頭部にかけての部位で、顔面、美頭良が剥離している。眉、眼孔の一部が残る。耳孔はヘラ状工具で横方向に穿たれる。2は剥離した右側下美頭良で、先端部は前方へL字状に屈曲する。3～17は馬である。3～7は轡の鏡板である。いずれも頭部本体から剥離している。3・4は地板上に縁金と十字文を表現し、その上に鋳を表す円形付文を貼付する。5～7も同様の意匠と考えられる。8は右側頭下端部で、引手、引手壺を表現する。9は鞍の左前方部で、鞍橋、鞍褥、障泥、鐙の吊手と鉸具を表現する。鞍褥にはヘラ先刺突による列点の装飾がある。また、障泥の覆輪もヘラ先刺突による列点で表す。10～13は鞍橋の一部で、12は鞍橋上面に飾り鋳を表す円形付文を貼付する。14は右側壺鐙で、帯金と鋳を表現する。障泥から剥離している。15は尻の一部で、尻繫と円形竹管刺突で鋳を表す杏葉を貼付する。16・17は剥離した鈴で、中実成形による。18は器種不明である。端部に粘土紐を貼付する。

ST-07 形象埴輪観察表

No.	器 種	部位・形態の特徴	成形・調整手法の特徴	焼 成	色 調	備 考
1	人 物	右顔面～側頭部。顔面、美頭良剥離。眉を表現。耳の切込あり。	外面一ハケ及びナデ。 内面一ナデ。	良 好	にぶい 橙色	
2	人 物	男子の右側下げ美頭良。先端はL字状。内側に剥離痕あり。	ナデ。	良 好	橙 色	
3	馬	轡の鏡板ないし杏葉。地板上に縁金、十字文、鋳を表現。	外面一ナデ。 裏面一ナデ。全面剥離。	良 好	にぶい 橙色	胎土精良。
4	馬	轡の鏡板ないし杏葉。地板上に縁金、十字文、鋳を表現。	外面一ナデ。地板部に赤彩あり。 裏面一ナデ。全面剥離。	良 好	にぶい 橙色	胎土精良。
5	馬	轡の鏡板ないし杏葉。地板上に縁金、十字文、鋳を表現。	外面一ナデ。 裏面一ナデ。全面剥離。	良 好	にぶい 橙色	胎土精良。
6	馬	轡の鏡板ないし杏葉。地板上に縁金、十字文、鋳を表現。	外面一ナデ。地板部に赤彩あり。 裏面一ナデ。全面剥離。	良 好	にぶい 橙色	胎土精良。
7	馬	轡の鏡板ないし杏葉。地板上に縁金、十字文、鋳を表現。	外面一ナデ。地板部に赤彩あり。 裏面一ナデ。全面剥離。	良 好	にぶい 橙色	胎土精良。
8	馬	右側頭部下端部。引手、引手壺を表現。	外面一ハケ及びナデ。	良 好	橙 色	
9	馬	鞍の一部。鞍褥、障泥、鐙吊手と鉸具を表現。	外面一ナデ。 内面一ナデ。	良 好	橙 色	



图178 ST-07 形象埴輪実測図 (1)

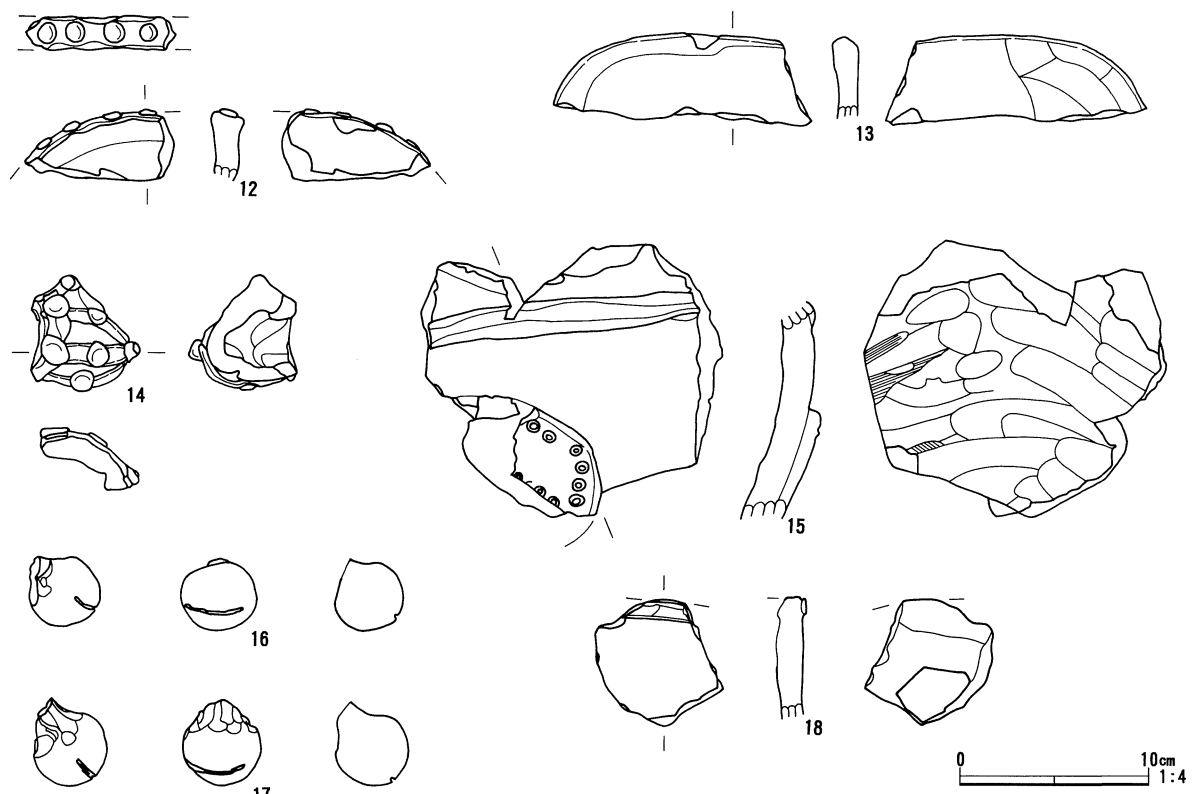


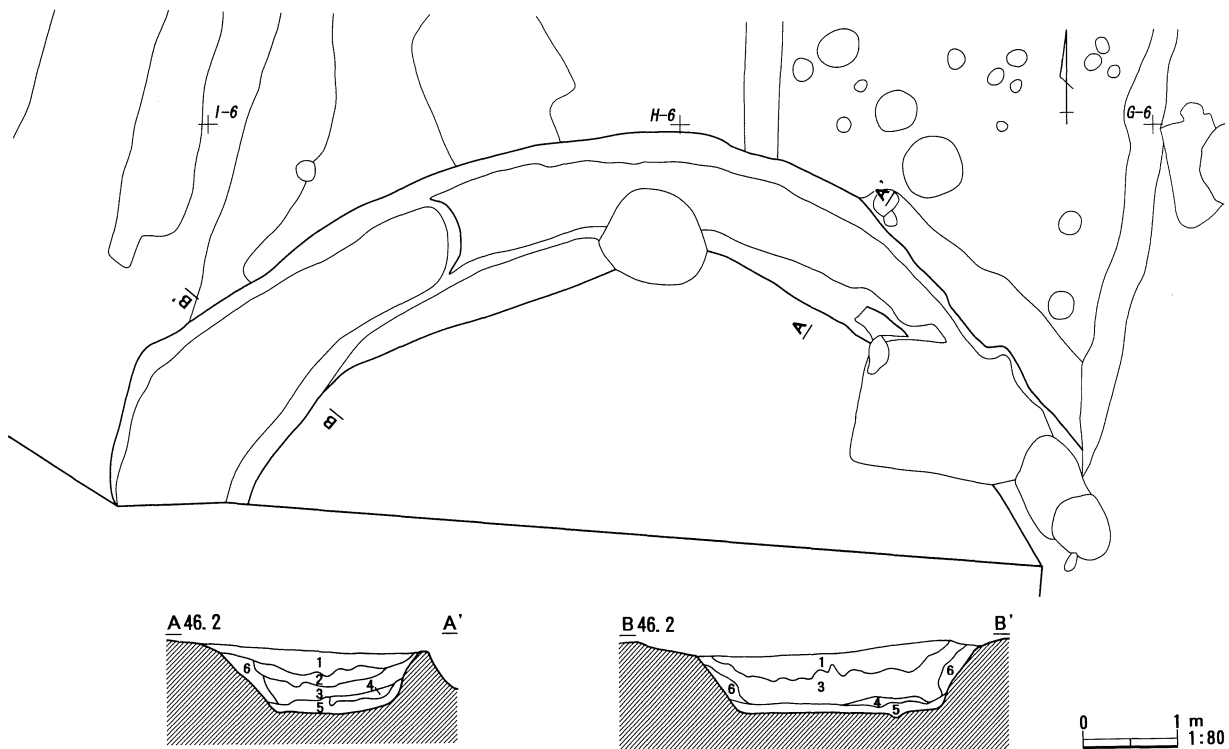
図179 ST-07 形象埴輪実測図 (2)

10	馬	胴部および鞍橋の一部。	外面—ナデ。 内面—ナデ。	良 好	橙 色	
11	馬	胴部および鞍橋の一部。	外面—ナデ。 内面—ナデ。	良 好	橙 色	
12	馬	鞍橋の一部。上端面に飾り鉾を表現。繫の表現なし。	ナデ。	良 好	橙 色	
13	馬	鞍橋の一部。繫の表現なし。	ナデ。	良 好	橙 色	
14	馬	右壺鏡。帯金と鉾を表現。障泥から剝離。	外面—ナデ。赤彩あり。 内面—ナデ。	良 好	橙 色	
15	馬	尻部。尻繫の革紐と円形竹管刺突を施した杏葉を表現。	外面—ナデ。 内面—ナデ。	良 好	橙 色	
16	馬	鈴。	中実成形。 ナデ。	良 好	橙 色	
17	馬	鈴。	中実成形。 ナデ。	良 好	橙 色	
18	不 明	端部に粘土紐を貼付。	外面—ナデ。 内面—ナデ。	良 好	橙 色	砂礫を含む

ST-08 (図180)

位置：G-6、H-6、I-6グリッドに位置する。ローム台地の東端部に立地する。

形状：南側3/5程度が、土取りにより地山とともに失われている。また、北側中央の墳丘立ち上がりと北東の周堀ならびに墳丘の一部が中世の遺構と攪乱により破壊を被っている。墳丘は残存の範囲において整円形を呈する。墳丘北側では、周堀上端の内側に緩斜面が存在し、明瞭な傾斜変換線を介して墳丘中央の平坦面と連



ST-08 土層説明

- 1 黒色土 ロームブロック（径1mm±）、白色パミス（1mm±）を少量含む。
- 2 黒色土 ロームブロック（径1～5mm）を少量含む。
- 3 黒褐色土 灰色土ブロック（径1～20mm）を少量含む。
- 4 黒褐色土 白褐色土ブロック（径1～30mm）を少量含む。
- 5 ロームブロック（径1～20mm）および白褐色粘質土ブロック（径1～30mm）の混合層。しまり強。
- 6 褐色土

図180 ST-08

続している。この周堀沿いの緩斜面は、明らかに人為的なローム削り出しによる工作面で、墳丘裾部を巡るテラス状遺構の一部と推測される。

周堀断面は箱形を呈し、堀底はローム層を掘り抜いて白灰色粘質土層に達している。周堀底面はおおむね平坦であるが、北西側に階段状の段差が存在し南西側へ深さを増している。周堀覆土は3層に大別され、上層の第1・2層にロームブロック、白色パミス、白灰色土を少量含む黒色土、中層の第3・4層に白褐色土ブロックを含む黒褐色土、下層にしまりの強いロームブロックと白灰色粘質土ブロックの混合層の堆積を認める。下層の第5層は周堀掘削時の残土層と考えられ、墳丘の崩落層や風化堆積層とは明らかに異なる。第5層上面が墳丘完成時の堀底である可能性が高い。

規模：半分以上が土取りにより失われているため詳細は明らかではない。周堀内径18m、周堀外径23m前後を測るものと推測される。確認の範囲で、周堀幅1.9～3.5m、深さ60～75cmを測る。

遺物：周堀覆土及び確認面上層で円筒埴輪を検出した。

円筒埴輪は、全形の判明する個体がないが、残存部位の形状、法量から二条突帯三段構成品と考えられる。

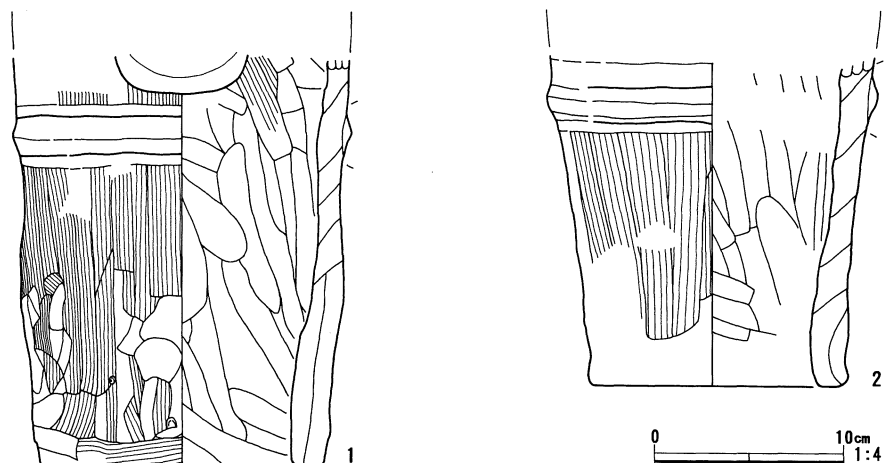


図181 ST-08 円筒埴輪実測図

胎土に礫を含む個体がある。外面調整はすべて1次タテハケによる。突帯は断面が台形ないし崩れたM字形を呈するものと三角形を呈するものがある。透孔は円形の存在を確認できる。

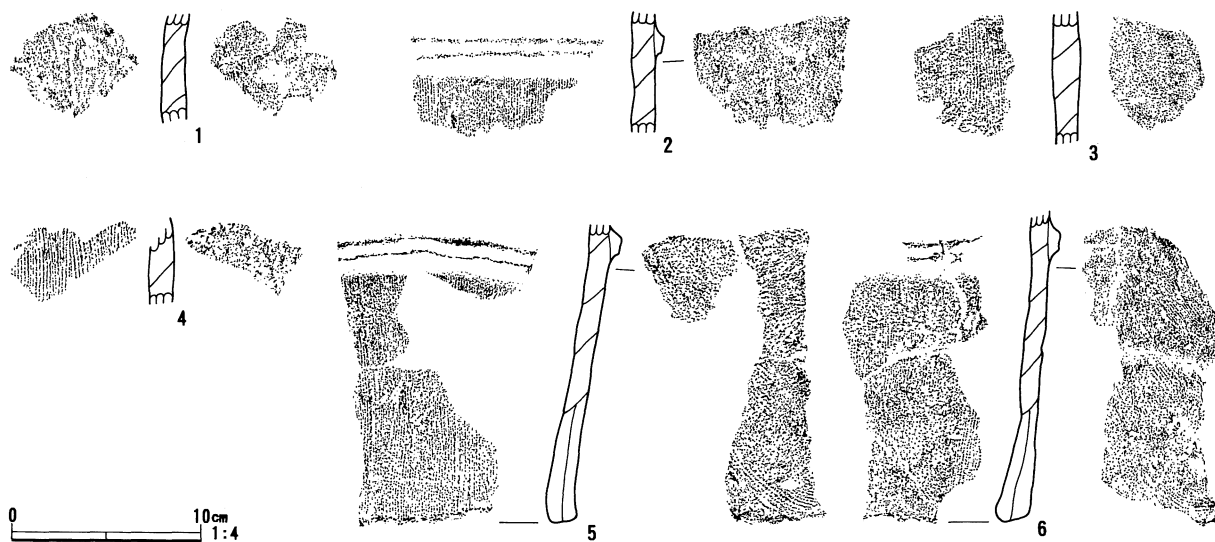


図182 ST-08 円筒埴輪拓影図

ST-08 円筒埴輪拓影資料観察表

番号	器種	部 位	外面調整・ハケ本数	内面調整・ハケ本数	焼 成	色 調	備 考
1	円筒	第 3 段	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm	良 好	橙 色	
2	円筒	第 1・2 段	1次タテハケ・14本/2cm	ナナメハケ・16本/2cm	良 好	橙 色	突帯ヨコナデ。
3	円筒	第 1 段	1次タテハケ・14本/2cm	タテハケ・10本/2cm 及びタテナデ	良 好	にぶい黄橙色	
4	円筒	第 1 段	1次タテハケ・13本/2cm	タテナデ	軟 質	にぶい赤褐色	礫を含む。
5	円筒	第 1・2 段	1次タテハケ・16本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm 及びタテナデ	軟 質	にぶい赤褐色	礫を含む。 突帯ヨコナデ。
6	円筒	第 1・2 段	1次タテハケ・14本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm 及びタテナデ	良 好	橙 色	突帯ヨコナデ。

ST-09 (図183)

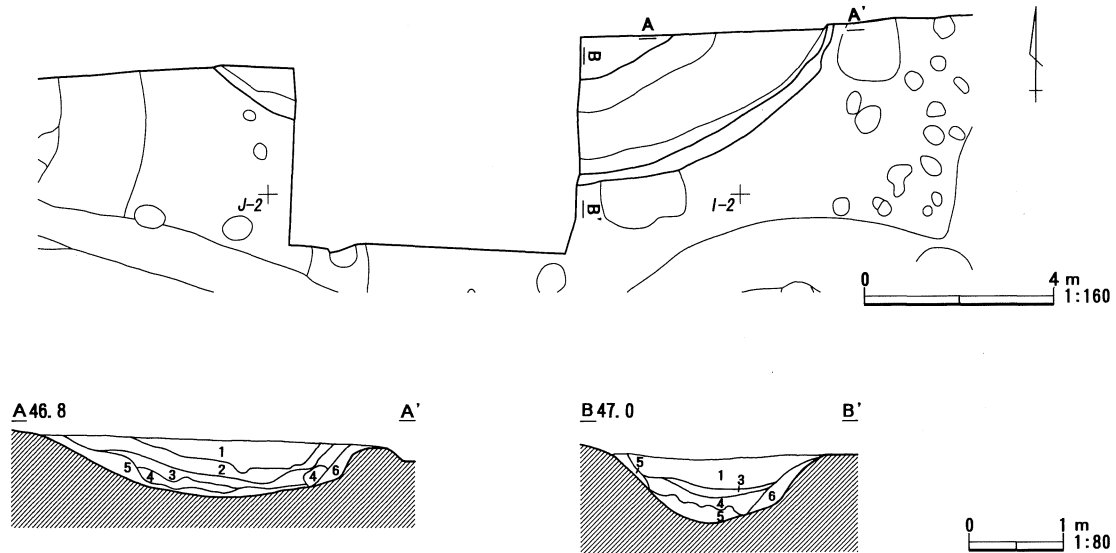
位置：H-1、I-1、J-1グリッドに位置する。

形状：墳丘は、確認の範囲で、整円形を呈する。調査区北端に位置し、北側4/5程度が調査区外にある。また、調査区内に電柱が設置されていたために、相当部分の調査が不可能であった。

周堀断面は船底形を呈し、周堀底はローム層を掘り抜いて白灰色粘質土層に達している。周堀底面はおおむね平坦である。周堀覆土は3層に大別され、上層の第1・2層にロームブロック、白色パミス、白灰色土を少量含む黒色土、中層の第3・4層に白褐色土ブロックを含む黒色土、下層にしまりの強いロームブロックと白灰色粘質土ブロックの混合層の堆積を認める。下層の第5層は周堀掘削時の残土層と考えられ、墳丘の崩落層や風化堆積層とは明らかに異なる。第5層上面が墳丘完成時の堀底である可能性が高い。

規模：大半が調査区外にあるため詳細は明らかではない。周堀内径は12m以上を測るものと推測される。確認の範囲で、周堀幅2.3~2.6m、深さ60~80cmを測る。

遺物：遺物は皆無であった。



ST-09 土層説明

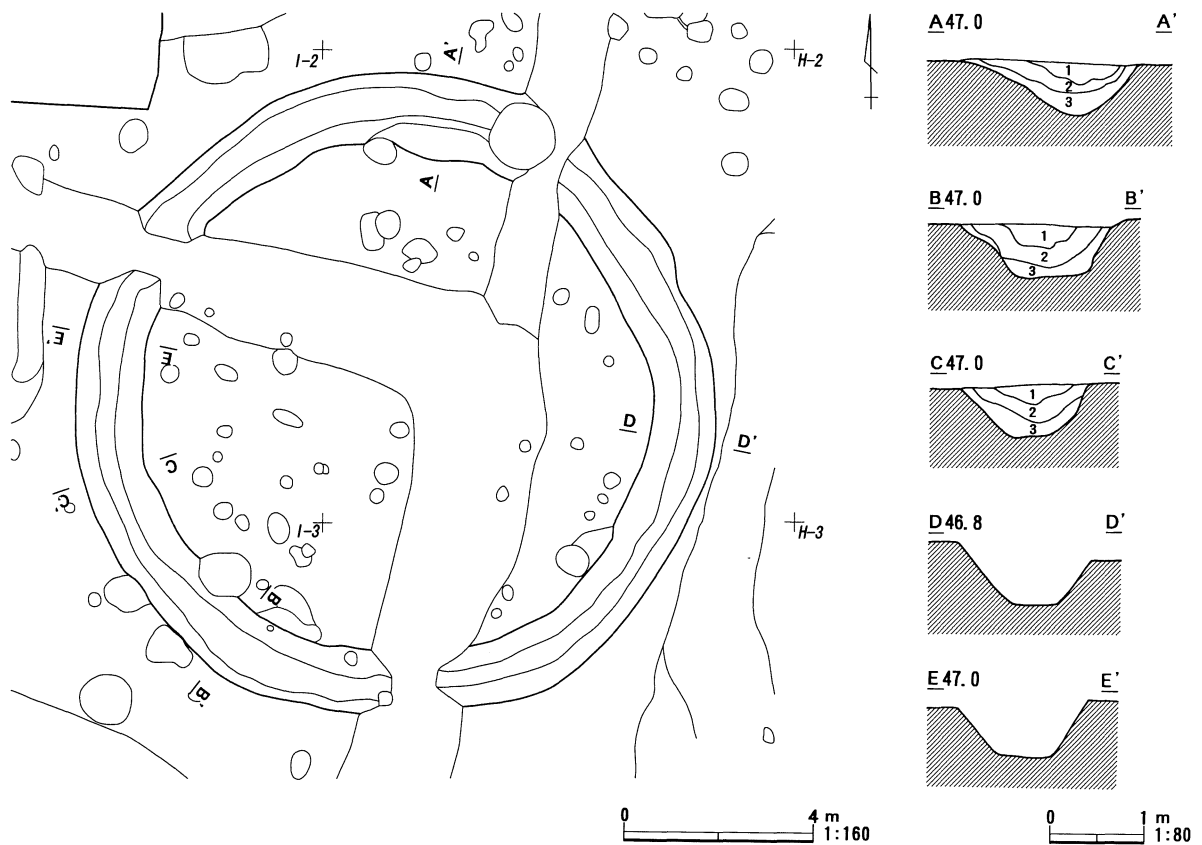
- 1 黒色土 ロームブロック (径1mm±)、白色パミス (1mm±) を少量含む。
- 2 黒色土 ロームブロック (径1~5mm) を少量含む。
- 3 黒色土 白褐色土ブロック (径1~5mm) を少量含む。
- 4 黒色土 白褐色土ブロック (径1~30mm) を多量に含む。
- 5 ロームブロック (径1~20mm) および白褐色粘質土ブロック (径1~30mm) の混合層。しまり強。
- 6 褐色土

図183 ST-09

ST-10 (図184)

位置：H-2・3、I-2・3グリッドに位置する。

形状：墳丘は整円形を呈する。東西、南北方向に走る中世の溝と井戸で大きく攪乱を被っている。



ST-10 土層説明

- 1 黒色土
- 2 黒色土 ロームブロック（径1～20mm）を少量含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック（径1～50mm）、灰黄色粘質土ブロック（径1～20mm）を少量含む。

図184 ST-10

周堀は一定の幅で全周し、大きく歪む箇所は存在しない。周堀断面は箱形を呈する箇所と船底形を呈する箇所とがある。周堀底面はおおむね平坦である。周堀覆土は3層に分割され、上層に混合物を含まない黒色土、中層にロームブロックを少量含む黒色土、下層にロームブロック、灰黄色粘質土を少量含む黒褐色土の堆積を認める。

規模：周堀内径12.0m、周堀外径13.6m、幅1.2～1.8m、深さ50～60cmを測る。

遺物：周堀覆土及び確認面上層で円筒埴輪、朝顔形埴輪、形象埴輪を検出した。

円筒埴輪は、全形の判明する個体がないが、残存部位の形状、法量からいずれも二条突帯三段構成品と考えられる。外面調整はすべて1次タテハケによる。突帯は断面が台形ない

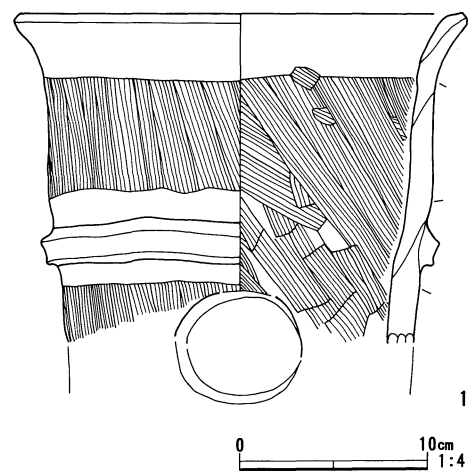


図185 ST-10 円筒埴輪実測図

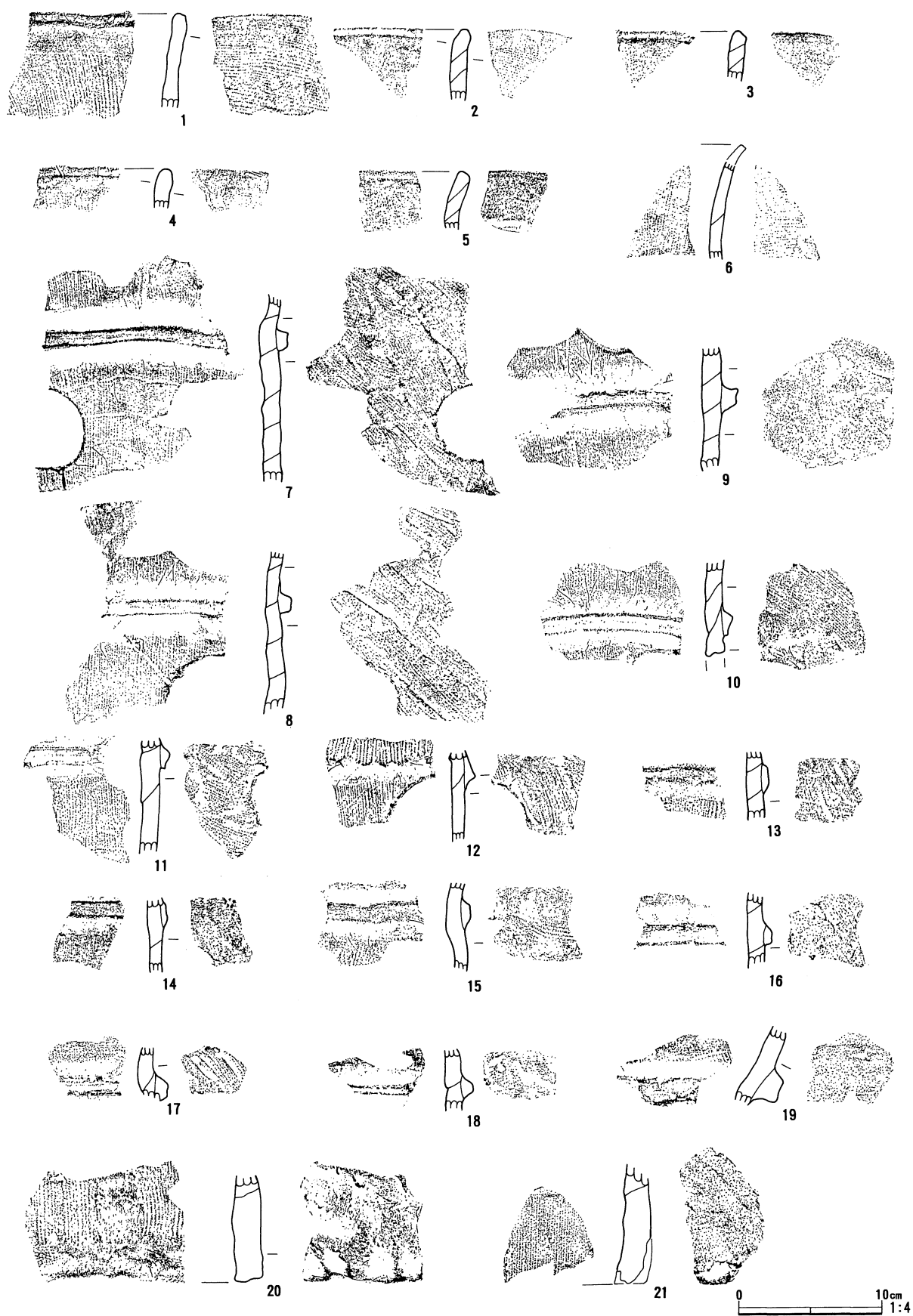


图186 ST-10 円筒・朝顔形埴輪拓影图 (1)

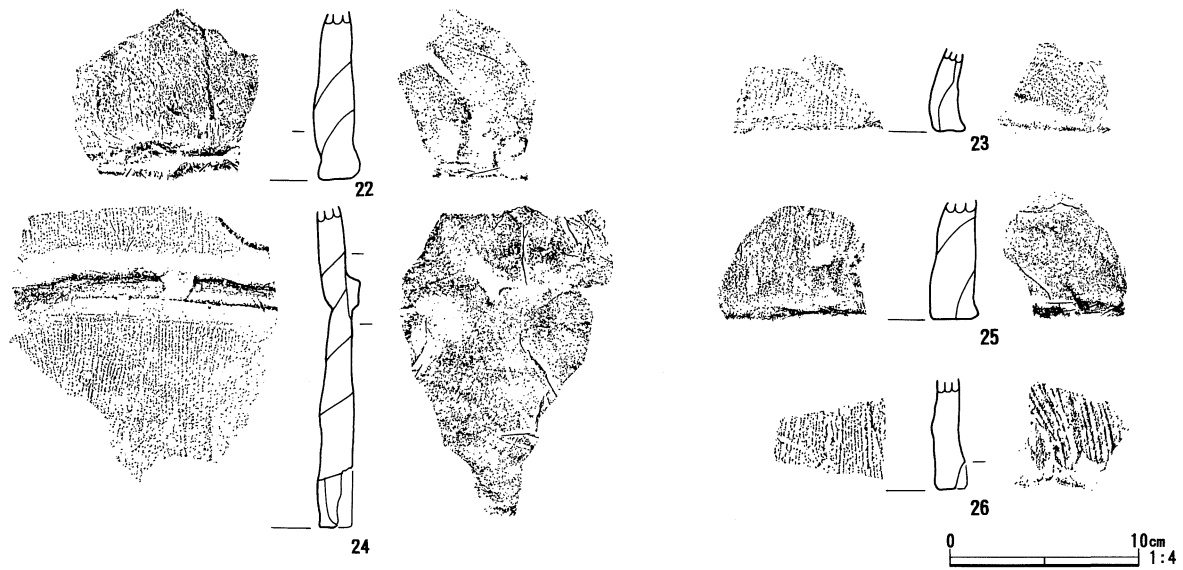


図187 ST-10 円筒・朝顔形埴輪拓影図 (2)

ST-10 円筒・朝顔形埴輪拓影資料観察表

番号	器種	部位	外面調整・ハケ本数	内面調整・ハケ本数	焼成	色調	備考
1	円筒	第3段	1次タテハケ・9本/2cm	ヨコハケ・9本/2cm 及びナナメハケ	良好	橙色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
2	円筒	第3段	1次タテハケ・表面摩滅	ナナメハケ・11本/2cm	良好	橙色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
3	円筒	第3段	1次タテハケ・10本/2cm	ヨコハケ・10本/2cm 及びナナメハケ	良好	橙色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
4	円筒	第3段	1次タテハケ・9本/2cm	ナナメハケ・14本/2cm	良好	にぶい橙色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
5	円筒	第3段	1次タテハケ・8本/2cm	ヨコハケ・10本/2cm	良好	にぶい橙色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
6	円筒	第3段	1次タテハケ・10本/2cm	ヨコハケ・12本/2cm	良好	橙色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
7	円筒	第2・3段	1次タテハケ・11本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm	良好	橙色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
8	円筒	第2・3段	1次タテハケ・11本/2cm	ナナメハケ・11本/2cm	良好	橙色	内面輪積痕。円形透孔。 突帯ヨコナデ。
9	円筒	第2・3段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm	良好	橙色	内面輪積痕。円形透孔。 突帯ヨコナデ。
10	円筒	第2・3段	1次タテハケ・11本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm	良好	橙色	円形透孔。 突帯ヨコナデ。
11	円筒	第2・3段	1次タテハケ・8～ 10本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm	良好	橙色	円形透孔。 突帯ヨコナデ。
12	円筒	第1・2段	1次タテハケ・16本/2cm	ナナメハケ・20本/2cm 及びタテナデ	良好	橙色	内面輪積痕。 外面線刻あり。突帯ヨコナデ。
13	円筒	第2・3段	1次タテハケ・5本/2cm	ナナメハケ・7本/2cm	良好	橙色	突帯ヨコナデ。
14	円筒	第2・3段	1次タテハケ・16本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm	良好	にぶい橙色	突帯ヨコナデ。
15	円筒	第2・3段	1次タテハケ・6本/2cm	ナナメハケ・6本/2cm 及びヨコナデ	良好	にぶい橙色	突帯ヨコナデ。
16	円筒	第2突帯		ナナメハケ・8本/2cm 及びヨコナデ	良好	にぶい橙色	突帯ヨコナデ。

17	円筒 第 3 段	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm	良 好	に ぶ い 橙 色	突帯ヨコナデ。
18	円筒 第 2 突帯		ナナメナデ	良 好	に ぶ い 橙 色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
19	朝顔 口 縁 部	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメナデ	良 好	に ぶ い 橙 色	突帯ヨコナデ。
20	円筒 第 1 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメナデ	良 好	橙 色	内面輪積痕。
21	円筒 第 1 段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメナデ	良 好	橙 色	
22	円筒 第 1 段	1次タテハケ・16本/2cm	ナナメナデ	良 好	橙 色	内面指頭圧痕。
23	円筒 第 1 段	1次タテハケ・8本/2cm	ヨコハケ・8本/2cm ナナメハケ及びヨコナデ	良 好	橙 色	
24	円筒 第 1・2 段	1次タテハケ・11本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm 及びナナメナデ	良 好	橙 色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
25	円筒 第 1 段	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメナデ	良 好	橙 色	
26	円筒 第 1 段	1次タテハケ・11本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm	良 好	明 黄 褐 色	

しM字形を呈するものが多数を占め、三角形を呈するものが少数加わる。透孔はすべて円形で占められる。

朝顔形埴輪は口縁部の破片1点のみであるが、存在を認めることができる。

形象埴輪は家、馬を確認できる。1・2は家である。ともに壁体部の破片で、表面に突帯を貼付する。3は右耳部分で、項革と額革に付く辻金具の脚を表現する。

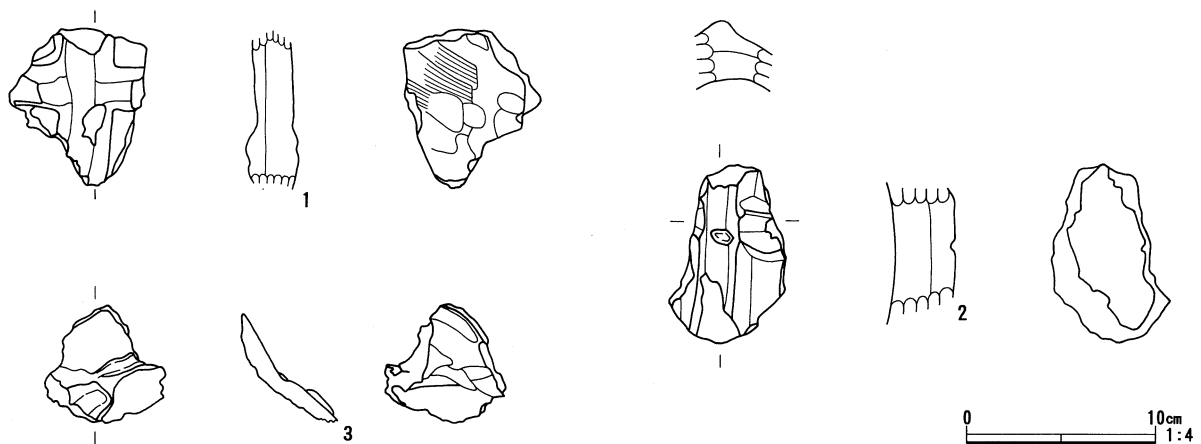


図188 ST-10 形象埴輪実測図

ST-10 形象埴輪観察表

No.	器 種	部位・形態の特徴	成形・調整手法の特徴	焼 成	色 調	備 考
1	家	壁体の一部。壁面に突帯を表現。	外面—ナデ。 内面—ハケ及びナデ。	良 好	橙 色	礫を含む。
2	家	壁体の角。壁面に突帯を表現。	外面—ナデ。 内面—ナデ。	良 好	橙 色	礫を含む。
3	馬	右耳部分。項革と額革に付く辻金具の脚を表現。	外面—ナデ。 内面—ナデ。	良 好	橙 色	

ST-11 (図189)

形状：墳丘はほぼ整円形を呈する。東端を南北方向に走る中世の溝で大きく攪乱を被っているほか、ST-07によっても一部を失っている。また、各所で中・近世の遺構と重複している。

周堀は北側がもっとも広く、内外立ち上がりの角度も緩やかであるのに対し、東及び西側へ移行するにしたがって徐々に幅を減じ、南側でもっとも狭くなっており、また立ち上がりも急になっている。周堀断面は箱形を呈する。周堀底はローム層を掘り抜いて白灰色粘質土層に達している。周堀底面はおおむね平坦であるが、西側と南側に1箇所ずつ段差が存在し、それぞれ南側、東側へ向かって深さを増している。周堀覆土は3層に大別され、上層にロームブロックを少量含む黒色土、火山灰ブロックが断続的に堆積する層を挟んで、中層にロームブロックを少量含む黒褐色土、下層にロームブロック、暗褐色土の堆積を認める。なお、第3層の火山灰は、自然科学分析の結果、Hr-FAであることが判明した。

規模：周堀内径16.2m、周堀外径19.0m、幅1.7～3.3m、深さ60～85cmを測る。

遺物：周堀覆土及び確認面上層で土師器、円筒埴輪、朝顔形埴輪、形象埴輪を検出した。

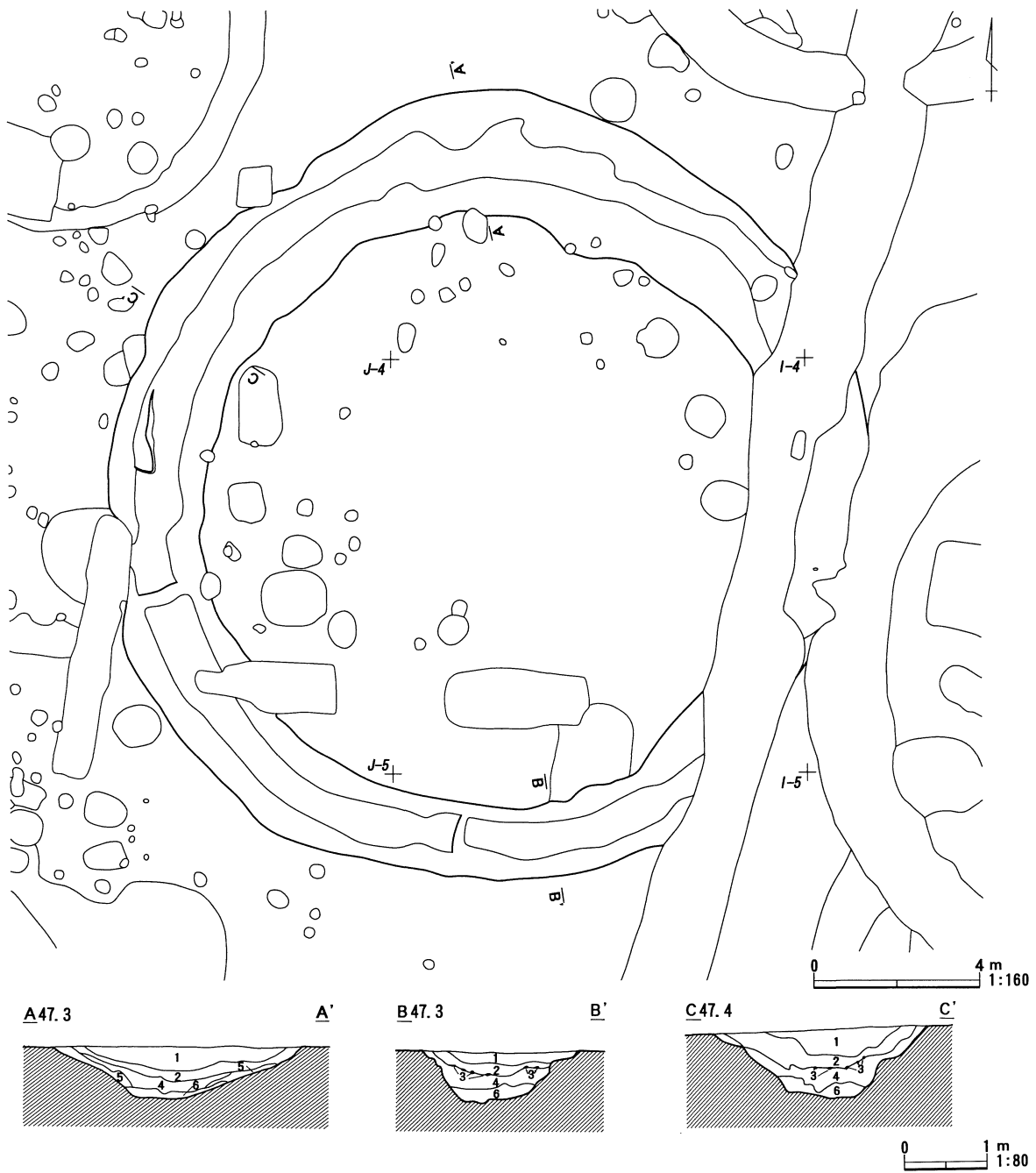
土師器は周堀覆土上層及び中層で坏3点、高坏1点、埴1点、甕1点、壺2点を検出した。坏のうち1～3は坏蓋模倣坏で、うち2・3は典型的な坏蓋模倣坏である。いずれも体部をヘラ削りする。1は体部が深く、口縁部は1・3は開き気味に、2は内傾して立ち上がる。口唇部端面はいずれも丸く収められる。高坏は緩やかな坏部と短く彎曲気味に外反する口縁部をもつ。内外面ともヘラミガキによる。埴は平底の底部と球状の胴部をもち、底部外面はヘラケズリ、胴部はナデ調整による。頸部はくの字状に外反し、口縁部は直線的に開くが、大部分を欠失している。甕は胴部が球状に膨らみ、口縁部は直立気味に立ち上がる。壺は胴部が球状に膨らみ、口縁部は有段で外反して立ち上がる。

円筒埴輪は二条突帯三段構成品で、調整はすべて1次タテハケによる。突帯は断面が台形ないしM字形を呈する。透孔はすべて円形である。

朝顔形埴輪は全形の判明する個体を見ないが、口縁部から頸部、肩部にかけての破片を確認できる。

ST-11

No	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	土師器 坏	口径 11.9 底径 — 器高 6.3	体部と口縁部の境に稜線をもち、口縁部は直立。底部は丸底。	外面—口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ。内面—口縁部ヨコナデ、体部不明瞭。	白色粒・角閃石 内外—橙色	口縁部一部欠損。
2	土師器 坏	口径 (12.5) 底径 — 器高 —	やや深い体部。体部と口縁部の境に弱い段差。内傾気味の口縁部。底部は緩やかな丸底。	外面—口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ。内面—口縁部ヨコナデ、体部ナデ。	褐色粒・黒色粒 内外—橙色	1/3。
3	土師器 坏	口径 12.6 底径 — 器高 6.1	体部と口縁部の境に稜線をもち、口縁部は直立。底部は丸底。	外面—口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ。内面—口縁部ヨコナデ、体部不明瞭。	粗砂粒・黒色粒・ 角閃石 内外—橙色	完形。
4	土師器 高坏	口径 (16.8) 底径 — 器高 —	緩やかな坏部、彎曲気味に短く外反する口縁部。	外面—口縁部～体部横位ヘラケンマ。内面—口縁部～体部斜横位ヘラケンマ。	黒色粒 内外—明赤褐色	坏部1/8。
5	土師器 埴	口径 — 底径 5.2 器高 —	粘土紐積み上げ成形。膨らみをもつ体部。底部は平底。	外面—体部上半横位ヘラナデ、下半斜横位ヘラナデ。内面—体部横位ヘラナデ。	白色粒・黒色粒・ 褐色粒 内外—明赤褐色	口縁部欠損。
6	土師器 甕	口径 20.3 底径 7.0 器高 32.4	粘土紐積み上げ成形。膨らんだ胴部。直立気味に立ち上がる口縁部。	外面—口縁部ヨコナデ、胴部上半斜縦位ヘラナデ後、粗いヘラケンマ、下半斜横位ヘラケズリ後、斜縦位ヘラナデ。	白色粒・黒色粒・ 角閃石・石英 内外—ぶい赤褐～ ぶい褐色	胴部下位一部欠損。



ST-11 土層説明

- 1 黒色土
- 2 黒色土 ロームブロック (径1~5mm) を少量含む。
- 3 FAブロック
- 4 黒褐色土 ロームブロック (径1~20mm) を少量含む。
- 5 暗褐色土
- 6 暗褐色土 ロームブロック (径1~20mm) を多量に含む。

図189 ST-11

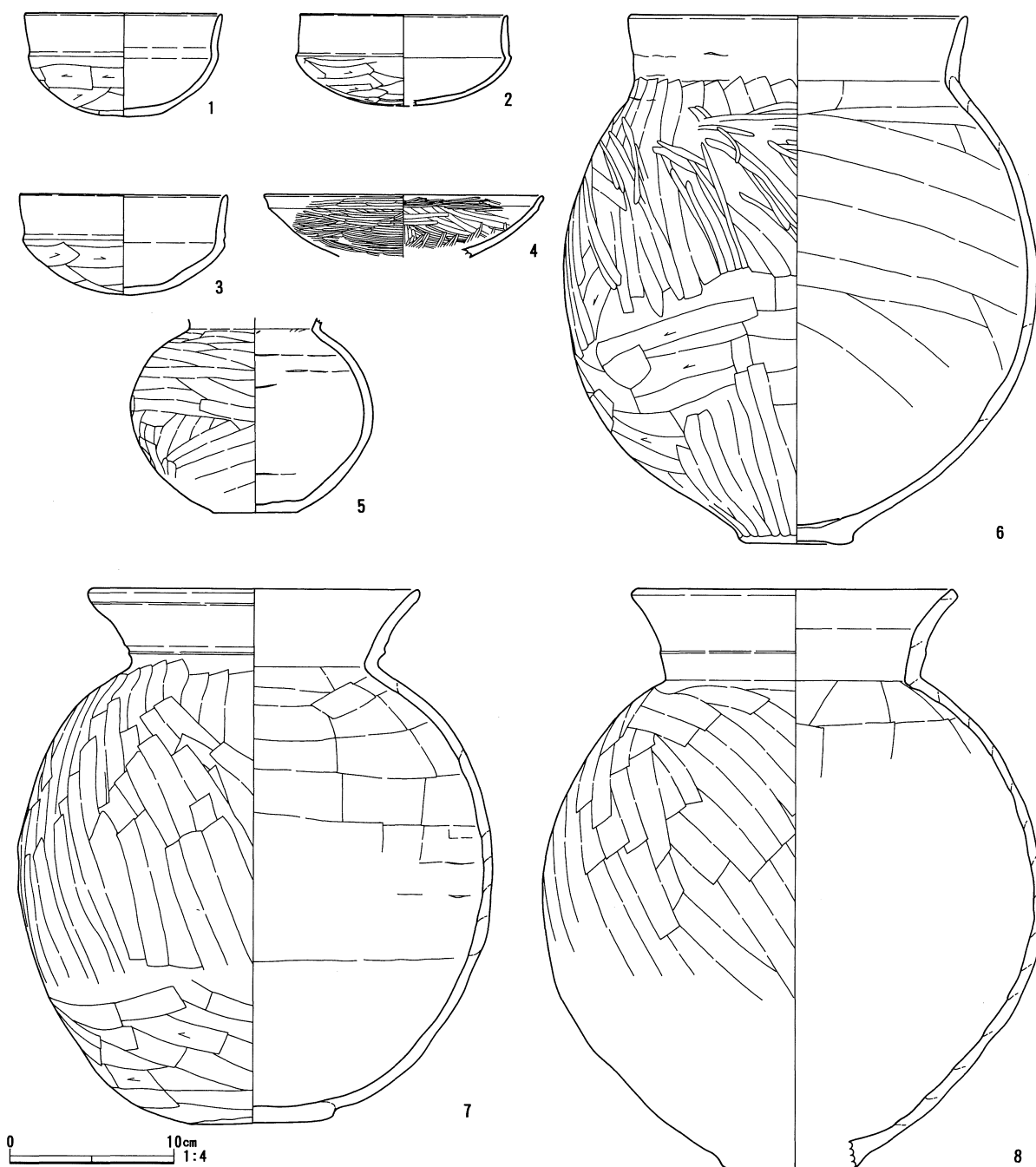


図190 ST-11 土器実測図

7	土師器 壺	口径 20.0 底径 8.7 器高 32.8	粘土紐積み上げ成形。膨らんだ胴部、下位に段差をもつ口縁部。	外面一口縁部ヨコナデ、胴部上・中位斜縦位ヘラナデ、下位斜横位ヘラケズリ。内面一口縁部ヨコナデ、胴部横位ヘラナデ。	白色粒・黒色粒・角閃石 内外一にぶい褐色	口縁部一部欠損。
8	土師器 壺	口径 19.0 底径 (7.8) 器高 35.3	粘土紐積み上げ成形。膨らんだ胴部、下位に段差をもつ口縁部。	外面一口縁部ヨコナデ、胴部上・中位斜縦位ヘラナデ。内面一口縁部ヨコナデ、胴部横位ヘラナデ。	白色粒・黒色粒・角閃石・褐色粒 内外一橙色	2/3。

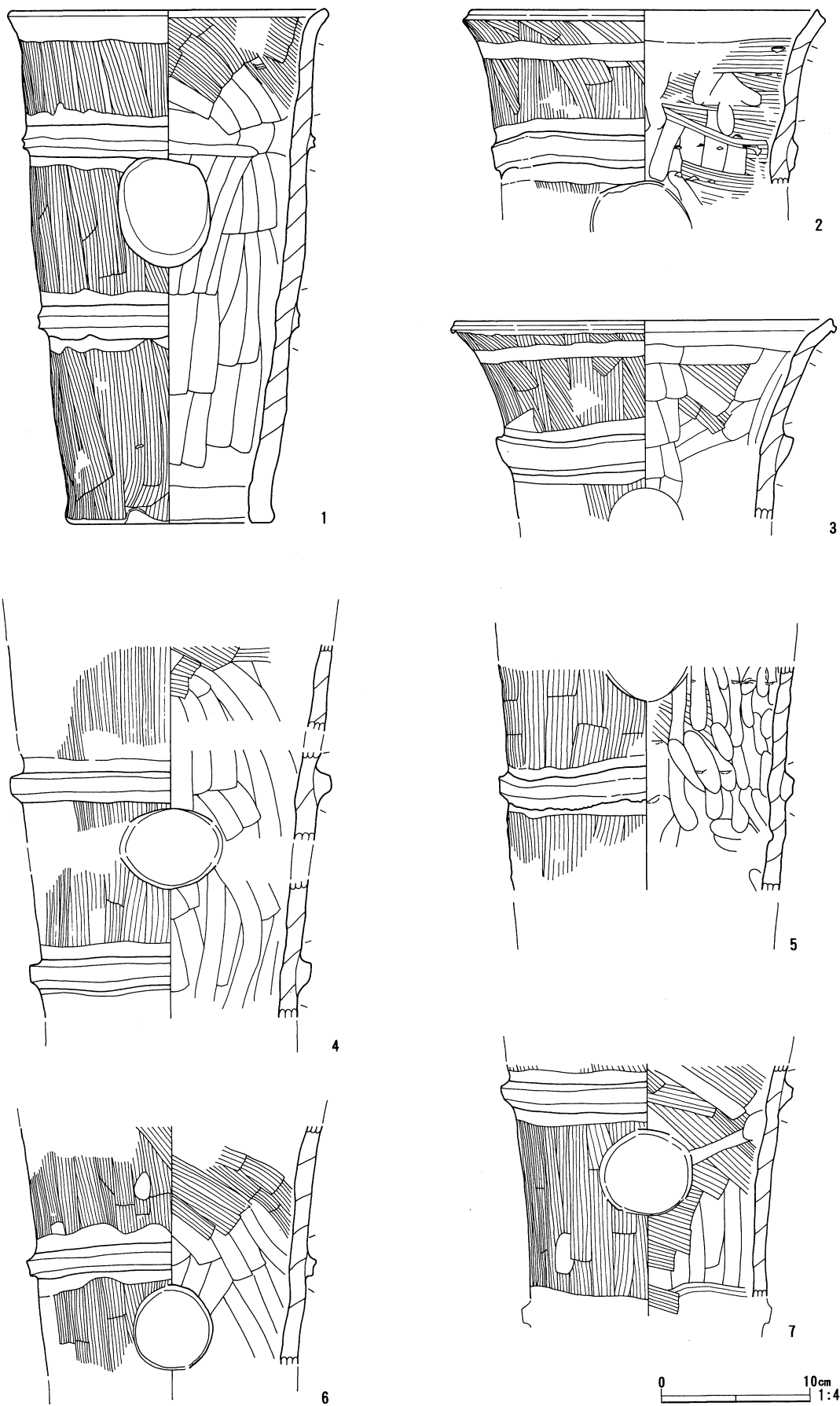


图191 ST-11 円筒・朝顔形埴輪実測図 (1)

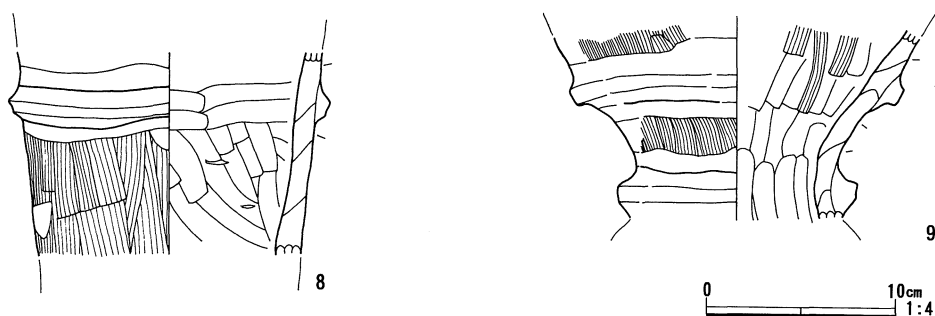


図192 ST-11 円筒・朝顔形埴輪実測図 (2)

ST-11 円筒・朝顔形埴輪拓影資料観察表

番号	器種	部 位	外面調整・ハケ本数	内面調整・ハケ本数	焼 成	色 調	備 考
1	円筒	第2・3段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm 及びナナメナデ	良 好	にぶい褐色	外面線刻あり。口唇部端面・内外面・突帯ヨコナデ。円形透孔。
2	円筒	第 3 段	1次タテハケ・8本/2cm	ヨコハケ・8~12本/2cm 及びナナメハケ	良 好	にぶい黄橙色	円形透孔
3	円筒	第 3 段	1次タテハケ・8本/2cm	ヨコハケ・8本/2cm 及びナナメハケ	良 好	にぶい橙色	口唇部端面ヨコナデ。
4	円筒	第 3 段	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm	良 好	橙 色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
5	円筒	第 3 段	1次タテハケ・6本/2cm	ナナメハケ・13本/2cm	良 好	にぶい橙色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
6	円筒	第 3 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・7本/2cm	良 好	明 赤 褐 色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
7	円筒	第 3 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm 及びタテナデ	良 好	明 赤 褐 色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
8	円筒	第 3 段	1次タテハケ・7本/2cm	ヨコハケ・7本/2cm 及びナナメハケ	良 好	橙 色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
9	円筒	第1・2段	1次タテハケ・7本/2cm	タテナデ・表面摩滅 及びナナメナデ	良 好	明 赤 褐 色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
10	円筒	第1・2段	1次タテハケ・12本/2cm	タテハケ・表面摩滅 及びナナメナデ	良 好	にぶい橙色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
11	円筒	第1・2段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメナデ	良 好	橙 色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
12	円筒	第 2 段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm	良 好	にぶい橙色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
13	円筒	第 2 段	1次タテハケ・12 / 2cm	ナナメハケ・10本/2cm	良 好	にぶい橙色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
14	円筒	第 2 段	1次タテハケ・7本/2cm	タテナデ及びナナメナデ	良 好	橙 色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
15	円筒	第2・3段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・7本/2cm 及びタテナデ	良 好	橙 色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
16	円筒	第1・2段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメナデ	良 好	橙 色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
17	円筒	第 2 段	1次タテハケ・13本/2cm	ナナメナデ	良 好	にぶい橙色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
18	円筒	第 2 段	1次タテハケ・13本/2cm	ナナメナデ及びヨコナデ	良 好	にぶい橙色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
19	円筒	第2・3段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメナデ	良 好	橙 色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。

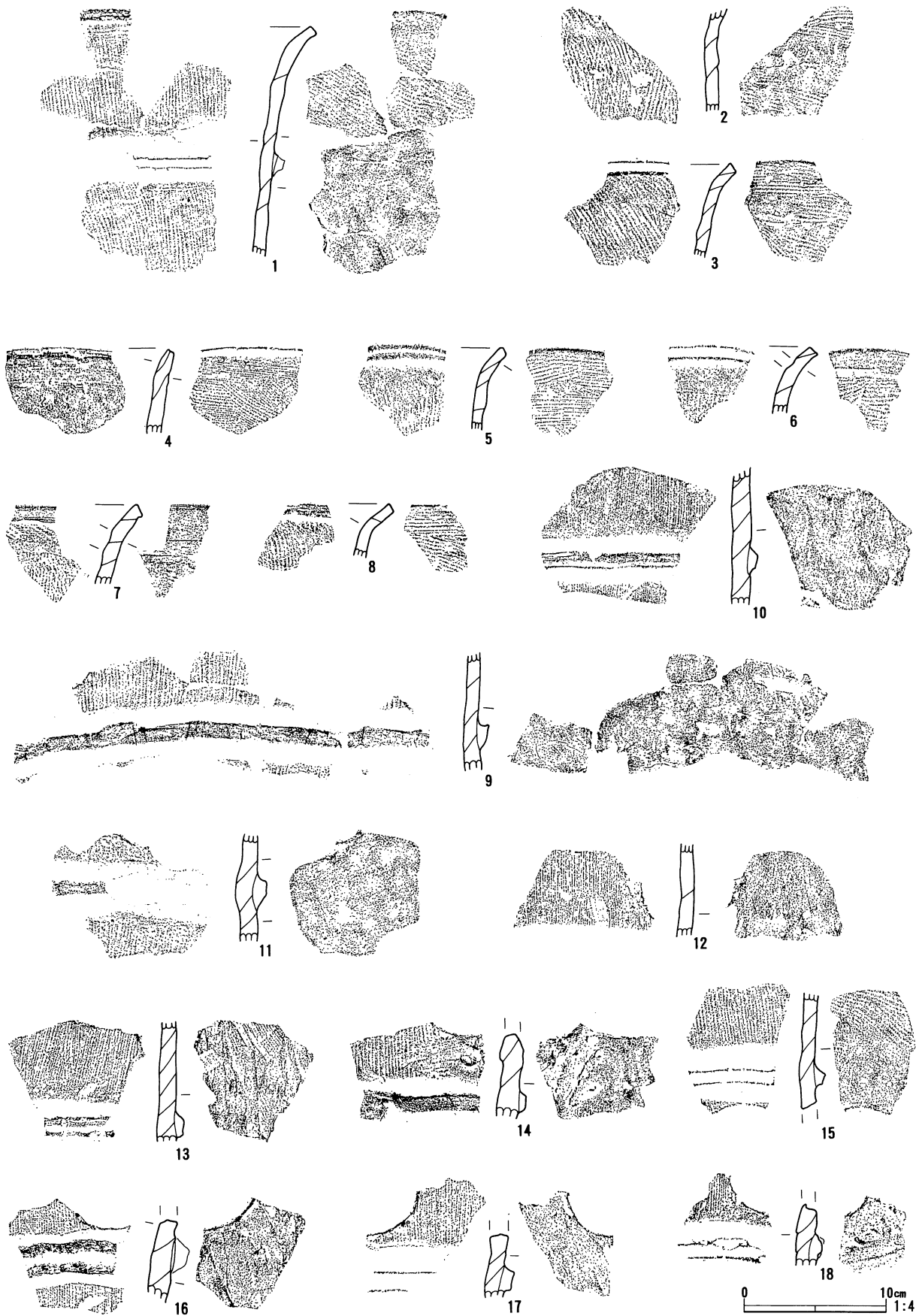


图193 ST-11 円筒・朝顔形埴輪拓影图 (1)

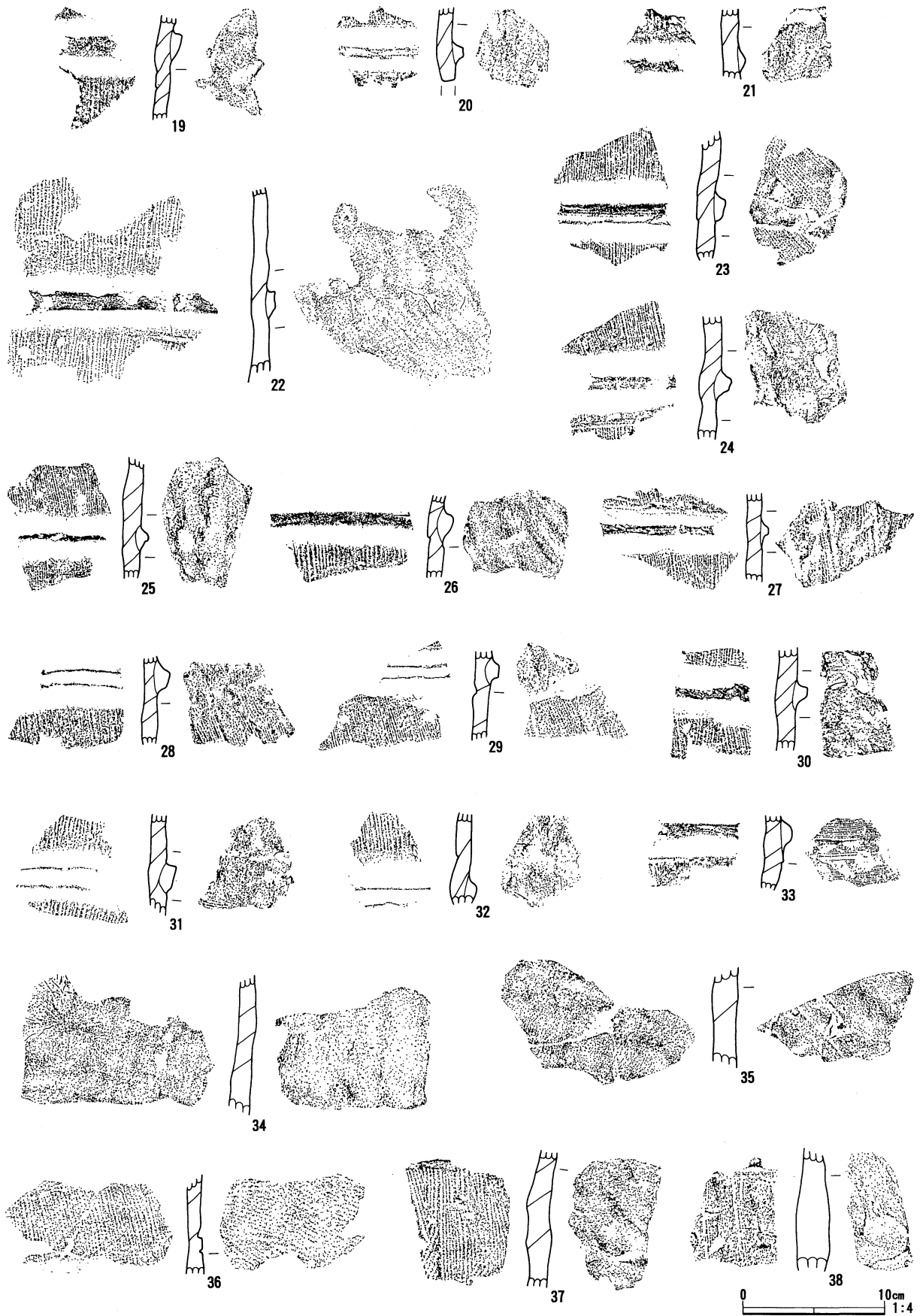


图194 ST-11 円筒・朝顔形埴輪拓影图 (2)

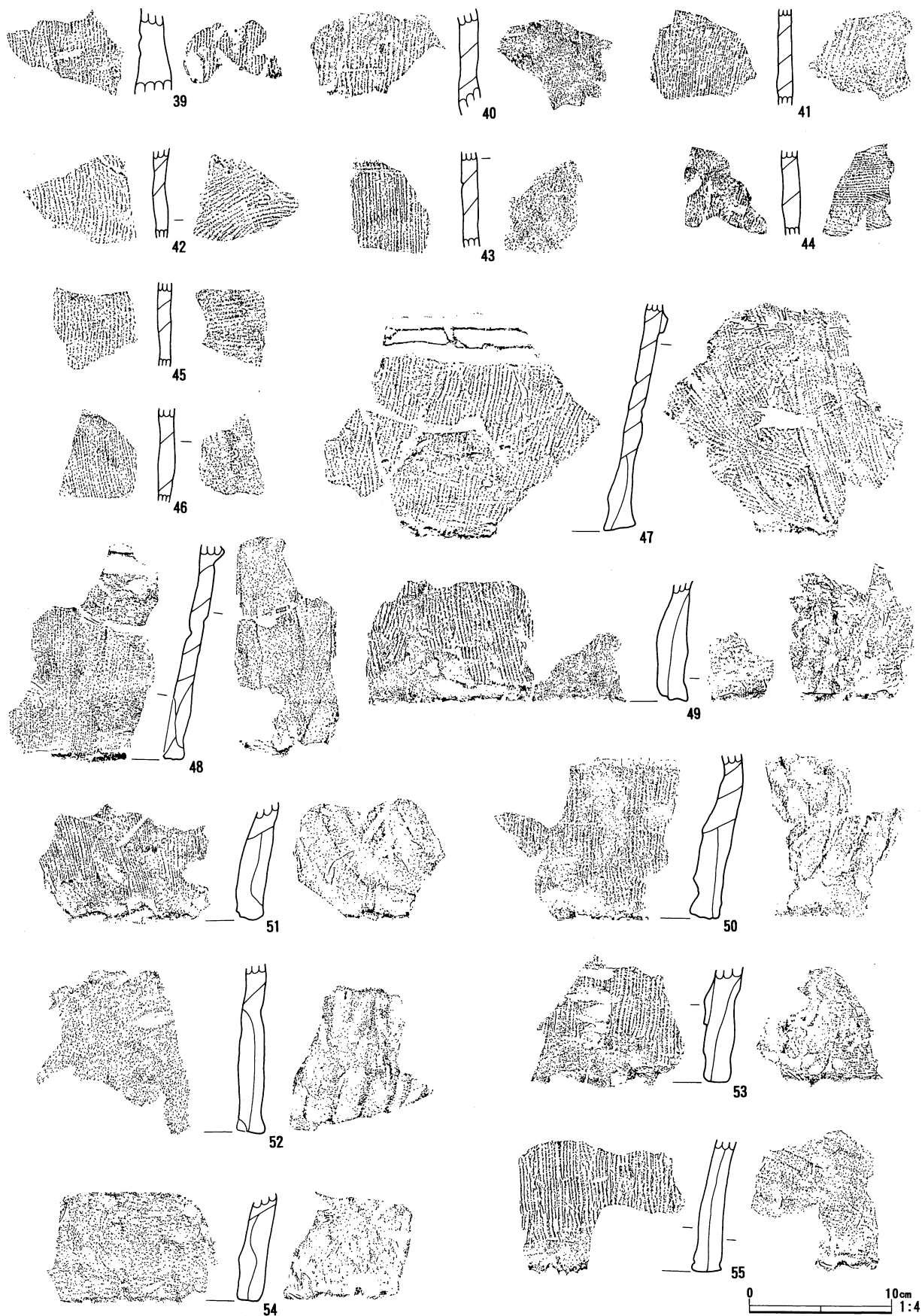


图195 ST-11 円筒・朝顔形埴輪拓影图 (3)

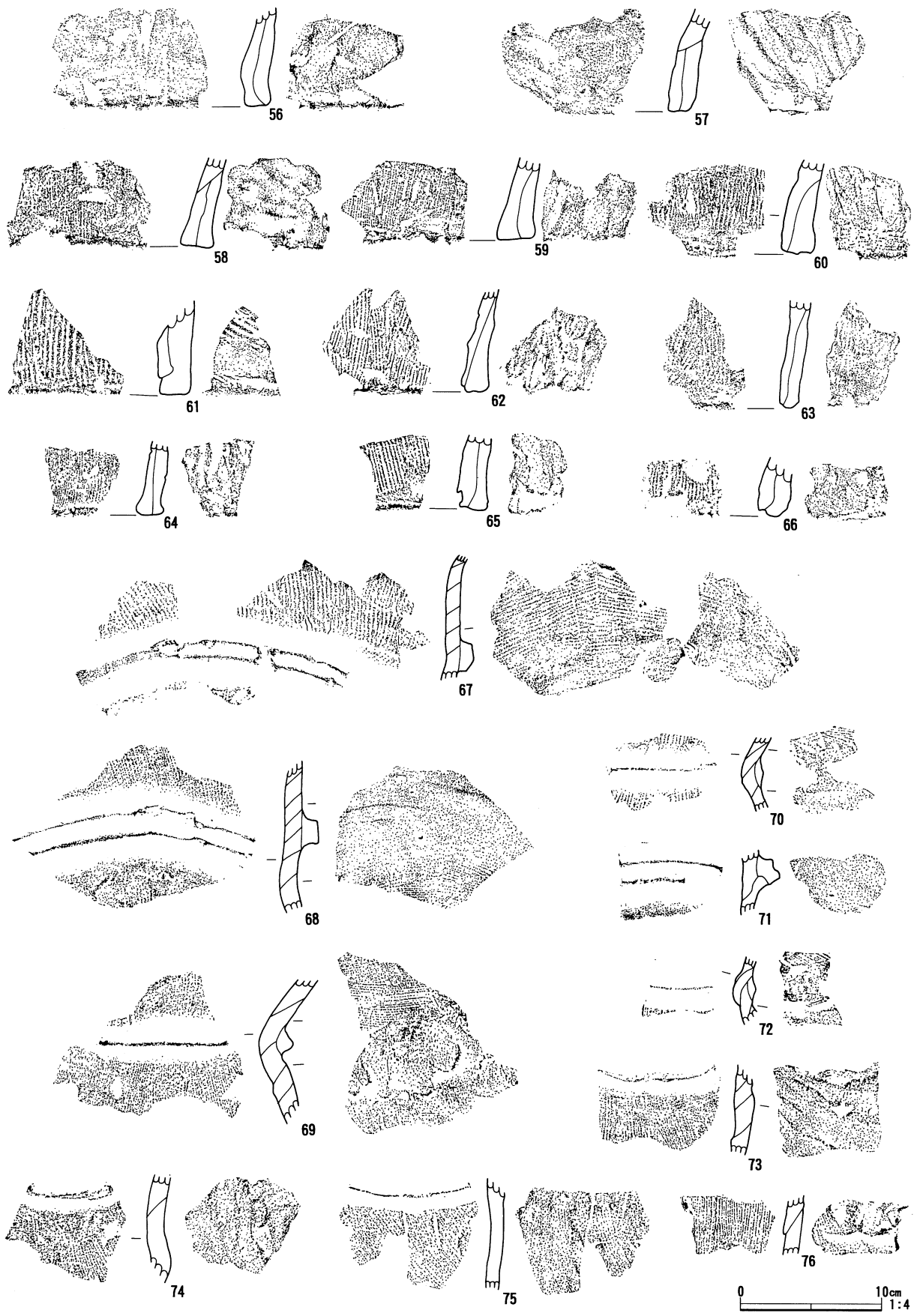


图196 ST-11 円筒・朝顔形埴輪拓影图 (4)

20	円筒	第2・3段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・表面摩滅 及びナナメナデ	良好	にぶい 橙色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
21	円筒	第2段	1次タテハケ・7本/2cm	タテナデ	良好	明赤褐色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
22	円筒	第1・2段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメナデ	良好	橙 色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
23	円筒	第2・3段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm	良好	橙 色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
24	円筒	第1・2段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメナデ	良好	にぶい 橙色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
25	円筒	第1・2段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメナデ	良好	にぶい 橙色	突帯ヨコナデ。
26	円筒	第1・2段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメナデ	良好	にぶい 橙色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
27	円筒	第2・3段	1次タテハケ・12本/2cm	タテハケ・12本/2cm 及びナナメハケ	良好	にぶい 橙色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
28	円筒	第1段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm 及びナナメナデ	良好	橙 色	突帯ヨコナデ。
29	円筒	第2段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm 及びナナメナデ	良好	橙 色	突帯ヨコナデ。
30	円筒	第1・2段	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメナデ	須恵質	にぶい 褐色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
31	円筒	第1・2段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm 及びナナメナデ	良好	にぶい 橙色	
32	円筒	第2段	1次タテハケ・8本/2cm	タテナデ	良好	明赤褐色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
33	円筒	第2段	1次タテハケ・16本/2cm	ナナメハケ・16本/2cm	良好	橙 色	突帯ヨコナデ。
34	円筒	第1段	1次タテハケ・表面摩滅	タテナデ	良好	橙 色	
35	円筒	第1段	1次タテハケ・16本/2cm	ナナメハケ・表面摩滅 及びタテナデ	良好	橙 色	突帯ヨコナデ。
36	円筒	第3段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm	良好	にぶい 橙色	突帯ヨコナデ。
37	円筒	第1段	1次タテハケ・10本/2cm	タテナデ	良好	にぶい 橙色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
38	円筒	第1段	1次タテハケ・18本/2cm	タテナデ	須恵質	灰 褐 色	内面指頭圧痕。 突帯ヨコナデ。
39	円筒	第1段	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm	良好	にぶい 橙色	内面輪積痕。
40	円筒	第2段	1次タテハケ・8本/2cm	タテナデ	良好	橙 色	
41	円筒	第2段	1次タテハケ・14本/2cm	タテナデ	良好	橙 色	
42	円筒	第3段	1次タテハケ・7本/2cm	ヨコハケ・7本/2cm	良好	明赤褐色	突帯ヨコナデ。
43	円筒	第3段	1次タテハケ・9本/2cm	ナナメナデ	良好	にぶい 橙色	突帯ヨコナデ。
44	円筒	第3段	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm	良好	にぶい 橙色	
45	円筒	第3段	1次タテハケ・8本/2cm	ヨコハケ・8本/2cm	須恵質	にぶい赤褐色	
46	円筒	第2段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメナデ	須恵質	灰黄褐色	突帯ヨコナデ。

47	円筒	第 1 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメナデ・8~14本/2cm	良 好	明 赤 褐 色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
48	円筒	第 1 段	1次タテハケ・16本/2cm	ナナメナデ・剝離	良 好	に ぶ い 橙 色	突帯ヨコナデ。
49	円筒	第 1 段	1次タテハケ・9本/2cm	タテナデ	良 好	に ぶ い 橙 色	
50	円筒	第 1 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメナデ	良 好	に ぶ い 橙 色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
51	円筒	第 1 段	1次タテハケ・14本/2cm	ナナメナデ	良 好	橙 色	
52	円筒	第 1 段	1次タテハケ・14本/2cm	タテハケ・14本/2cm 及びタテナデ	良 好	橙 色	
53	円筒	第 1 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメナデ	良 好	明 赤 褐 色	内面木目圧痕。
54	円筒	第 1 段	1次タテハケ・表面摩滅	ナナメナデ	良 好	橙 色	
55	円筒	第 1 段	1次タテハケ・8本/2cm	ヨコナデ及びナナメナデ	良 好	橙 色	底部棒状圧痕。
56	円筒	第 1 段	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメナデ	良 好	に ぶ い 橙 色	
57	円筒	第 1 段	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメナデ	良 好	浅 黄 橙 色	
58	円筒	第 1 段	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメナデ	良 好	橙 色	底部棒状圧痕。
59	円筒	第 1 段	1次タテハケ・12本/2cm	ヨコナデ及びナナメナデ	良 好	橙 色	
60	円筒	第 1 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメナデ	良 好	橙 色	内面木目圧痕。
61	円筒	第 1 段	1次タテハケ・5本/2cm	ナナメハケ・5本/2cm	良 好	橙 色	
62	円筒	第 1 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・20本/2cm	良 好	橙 色	
63	円筒	第 1 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメナデ	良 好	に ぶ い 橙 色	内面輪積痕。
64	円筒	第 1 段	1次タテハケ・14本/2cm	ナナメナデ	良 好	に ぶ い 橙 色	
65	円筒	第 1 段	1次タテハケ・8本/2cm	タテハケ・8本/2cm 及びナナメナデ	良 好	橙 色	
66	円筒	第 1 段	1次タテハケ・8本/2cm	タテナデ	良 好	に ぶ い 橙 色	
67	朝顔	口 縁 部	1次タテハケ・7本/2cm	ヨコハケ・7本/2cm 及びナナメハケ	良 好	に ぶ い 橙 色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
68	朝顔	口 縁 部	1次タテハケ・10本/2cm	ヨコハケ・11本/2cm 及びヨコナデ	良 好	橙 色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
69	朝顔	口 縁 部 ～ 肩 部	1次タテハケ・12本/2cm 及びナナメナデ	ナナメハケ・12本/2cm	良 好	橙 色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
70	朝顔	頸 部	1次タテハケ・9本/2cm	ヨコハケ・10本/2cm ナナメハケ及びタテナデ	良 好	橙 色	突帯ヨコナデ。
71	朝顔	口 縁 部		ナナメナデ	良 好	に ぶ い 橙 色	突帯ヨコナデ。
72	朝顔	頸 部	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm 及びナナメナデ	良 好	橙 色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
73	朝顔	肩 部	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメナデ	良 好	橙 色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。

74	朝顔	肩部	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメナデ	良好	橙色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
75	朝顔	肩部	1次タテハケ・12本/2cm	タテハケ・12本/2cm 及びナナメハケ	良好	橙色	突帯ヨコナデ。
76	朝顔	肩部	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm 及びタテナデ	良好	橙色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。円形透孔。

形象埴輪は家、馬を確認できる。1は家の壁体基部で、突帯その他壁体構造の表現は認めない。2～12は馬である。2は頭部から頸部にかけての部位で、眼孔、鼻孔が顔の前面に配置される。面繫、手綱を表現するが、面繫の鏡板を欠損する。3は刺突による列点表現があり、鞍褥の一部と考えられる。4・5は脚下端部で、うち4は切開再接合成形による。6～12は鈴で、いずれも中実成形による。

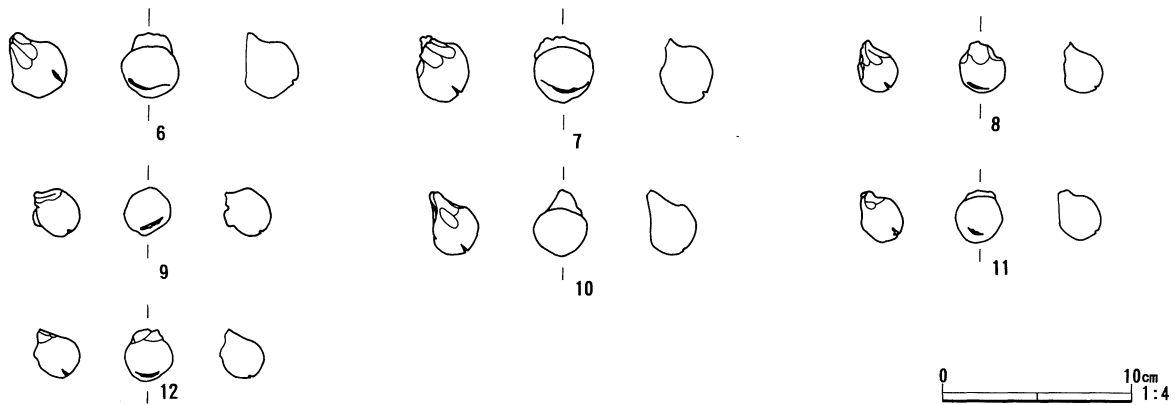


図198 ST-11 形象埴輪実測図 (2)

ST-11 形象埴輪観察表

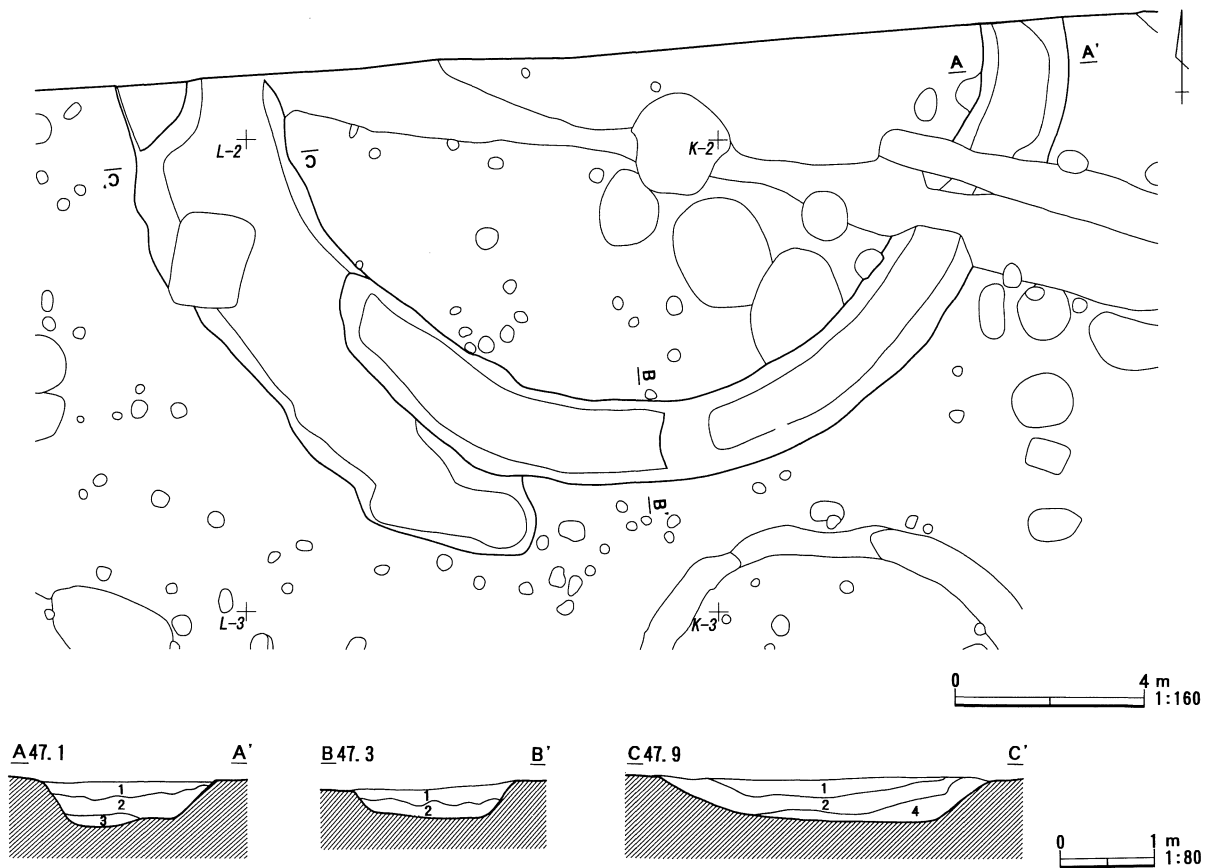
No.	器種	部位・形態の特徴	成形・調整手法の特徴	焼成	色調	備考
1	家	壁体基部。突帯その他壁体構造表現なし。	外面－ナデ。 内面－ナデ。	良好	にぶい黄橙色	砂礫を多く含む。
2	馬	頭～頸部上半。面繫、手綱を表現。口先開放。眼孔は正面。	外面－ナデ。 内面－ナデ。	良好	橙色	高温焼成により表面にひびあり。
3	馬	鞍褥の一部。刺突による列点表現あり。	外面－ナデ。赤彩あり。 内面－ナデ。	良好	にぶい橙色	高温焼成により表面にひびあり。
4	馬	脚下端部。	切開再接合成形。 外面－ハケ。内面－ナデ。	良好	にぶい橙色	礫を含む。
5	馬	脚下端部。	外面－ハケ及びナデ。 内面－ナデ。	良好	にぶい橙色	礫を含む。
6	馬	鈴。	中実成形。 ナデ。	良好	橙色	
7	馬	鈴。	中実成形。 ナデ。	良好	橙色	
8	馬	鈴。	中実成形。 ナデ。	良好	にぶい橙色	
9	馬	鈴。	中実成形。 ナデ。	良好	にぶい橙色	
10	馬	鈴。	中実成形。 ナデ。	良好	にぶい橙色	
11	馬	鈴。	中実成形。 ナデ。	良好	にぶい橙色	
12	馬	鈴	中実成形。 ナデ。	良好	にぶい橙色	

ST-12 (図199)

位置：J-1・2、K-1・2、L-1・2グリッドに位置する。調査区北端に位置し、北半が調査区外にある。

形状：墳丘は、確認の範囲で、整円形を呈する。東西方向に走る中世の溝で大きく攪乱を被っているほか、中・近世の遺構との重複により一部を失っている。

周堀は、東から南側部分が均一な幅で延長するのに対し、西側部分が広く、とくに外側立ち上がりのプランは不整形を呈し、外側へ大きく膨れており、南西部分では大きく段差を生じている。先端部には土壙状の掘り込みが形成されており、この部分の周堀外側立ち上がりラインは鉤の手状を呈する。土壙状の掘り込みの覆土は周堀覆土と同一で、連続して堆積しており、また周囲に存在する中近世遺構の覆土との差異は明瞭であることから、この土壙状の掘り込みは周堀の連続として認識した。周堀断面は箱形を呈する。南側中央部に段差が存在し、東側へ深さを増している。また、西側にも周堀外側の立ち上がりから派生する段差が存在し、立ち上がり部に付くステップ状の高まりが形成されている。周堀覆土は3層に大別され、上層に混合物を含まない黒色土、中層にロームブロックを少量含む黒色土、下層にロームブロックを多量に含む黒褐色土の堆積を認める。



ST-12 土層説明

- 1 黒色土
- 2 黒色土 ロームブロック(径1~3mm)を少量含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)を多量に含む。
- 4 黒褐色土 ロームブロック(径1~20mm)を多量に含む。

図199 ST-12

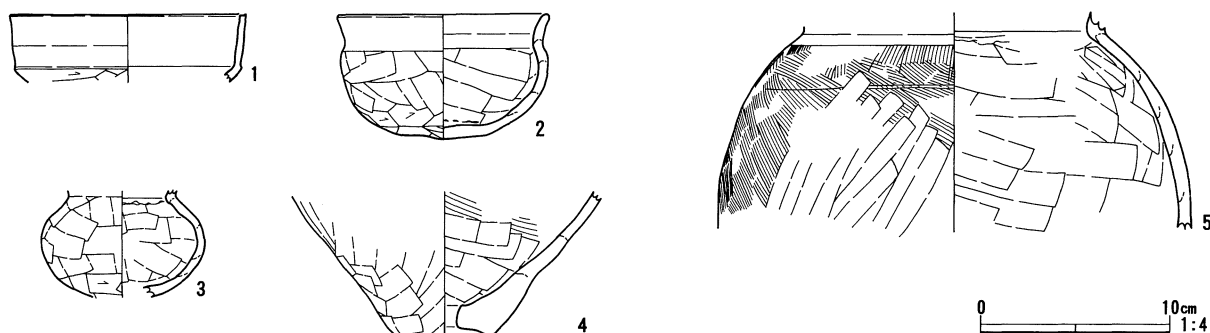


図200 ST-12 土器実測図

ST-12

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	土師器 坏	口径 (12.3) 底径 — 器高 —	体部と口縁部の境に弱い段差、直立気味で中位に弱い稜線をもつ口縁部。	外面—口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ。内面—口縁部ヨコナデ。	褐色粒 内外—橙色	口縁部～体部上位破片。
2	土師器 坏	口径 (10.9) 底径 — 器高 —	深い体部、彎曲気味に外反する口縁部。底部は平底気味。	外面—口縁部ヨコナデ、体部ヘラナデ、底部ヘラケズリ。内面—口縁部ヨコナデ、体部～底部ヘラナデ。	白色粒・黒色粒・ 角閃石・礫 内外—にぶい褐色	2/3。
3	土師器 坩	口径 — 底径 — 器高 —	膨らみをもつ体部。	外面—体部ヘラナデ、底部ヘラケズリ。内面—体部～底部ヘラナデ。	褐色粒・角閃石 内外—明赤褐～ にぶい褐色	体部 1/4。
4	土師器 甑	口径 — 底径 5.2 器高 —	直線的に立ち上がる胴部。底部は単孔。	外面—胴部斜縦位ヘラナデ。内面—胴部斜横位ハケメ後斜横位ヘラナデ。	褐色粒・礫 内外—橙色	胴部下位～底部 3/4。
5	土師器 甕	口径 — 底径 — 器高 —	粘土紐積み上げ成形。膨らんだ胴部。	外面—斜縦位ハケメ後、斜縦位ヘラナデ。内面—斜横位ヘラナデ。	黒色粒・礫 内外—橙色	胴部上半 1/4。

規模：周堀内径15.5m、周堀外径20.1m、幅1.8～3.6m、深さ30～60cmを測る。

遺物：周堀覆土及び確認面上層で土師器、円筒埴輪、形象埴輪を検出した。

土師器は周堀覆土上層で坏2点、坩1点、甑1点、甕1点を検出した。坏のうち1は坏蓋模倣坏で、体部をヘラケズリし、口縁部は緩やかに屈曲しつつやや開き気味に立ち上がる。口唇部端面は内傾する。2は鉢に近似する形状で、体部下半をヘラケズリし、口縁部は短く屈曲して外反する。坩は小型で偏平球状の胴部のみが残る。甑は底部に単孔を有し、直線的に立ち上がる。甕は球状の胴部上半が残る。

円筒埴輪は、二条突帯三段構成品で、外面調整はすべて1次タテハケによる。突帯は断面が台形ないしM字形を呈する。透孔は円形と半円形を認める。

朝顔形埴輪は全形の判明する個体を見ないが、口縁部から頸部、肩部にかけての破片を確認できる。透孔は円形と半円形を認める。

形象埴輪は家、人物、馬を確認できる。8の馬以外はすべて確認面上層で検出した。1・2は家である。1は寄棟式屋根の軒部で、軒先部が突出する。2は壁体の角の部位で、表面に突帯を貼付する。3～7は人物である。3は顔面部である。4は女子の髷から後頭部にかけての部位で、球状の頭部本体の頭頂に開口する孔を板状の髷が塞いでいる。髷の裏面には木目圧痕を認める。5は胴部で、粘土紐で帯を表現する。6は上衣の下端部で腰から垂下する帯の先端部を表す。7は右腕で、棒状の物体を握る所作を示す。8～17は馬である。8

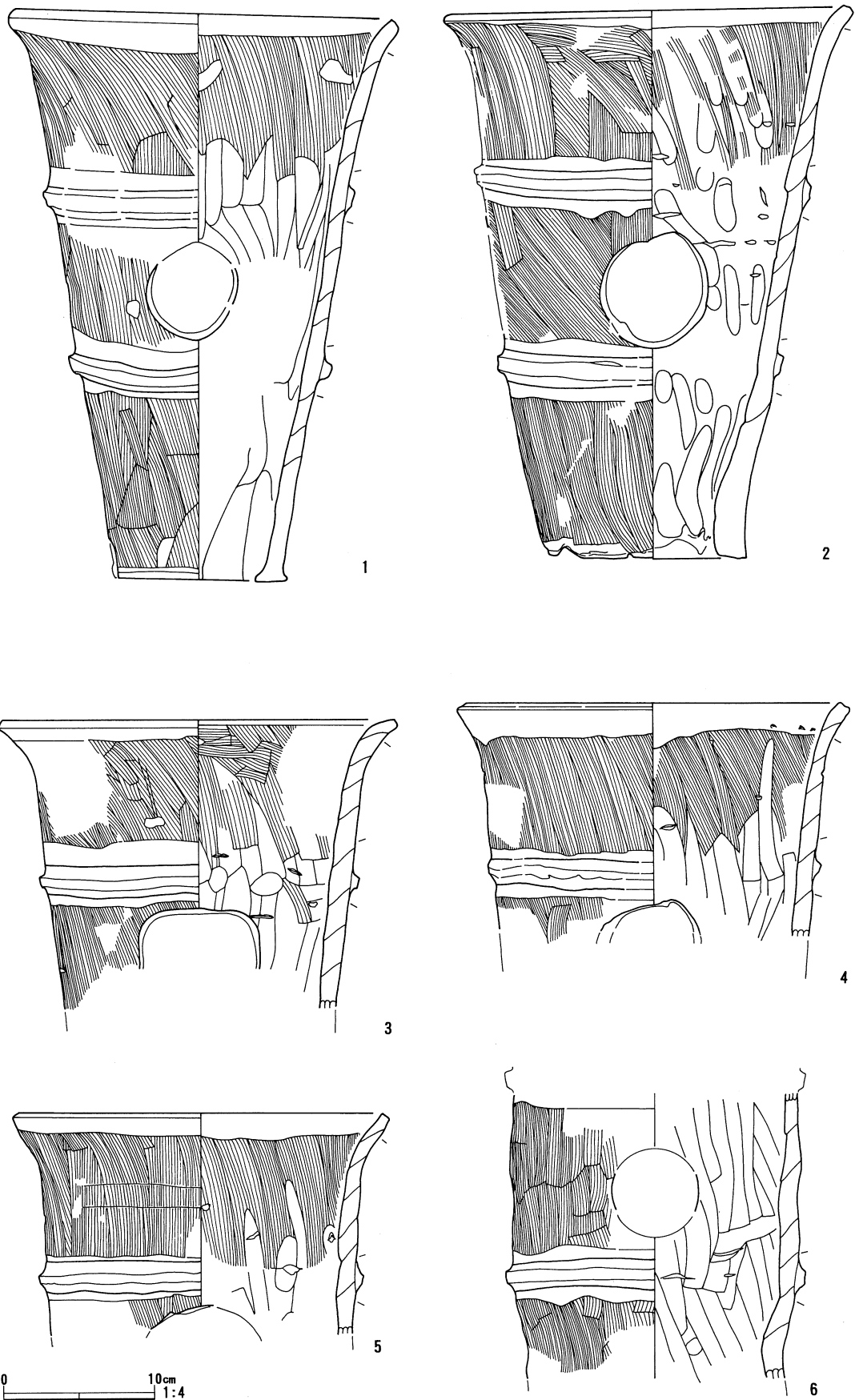


图201 ST-12 円筒・朝顔形埴輪実測図 (1)

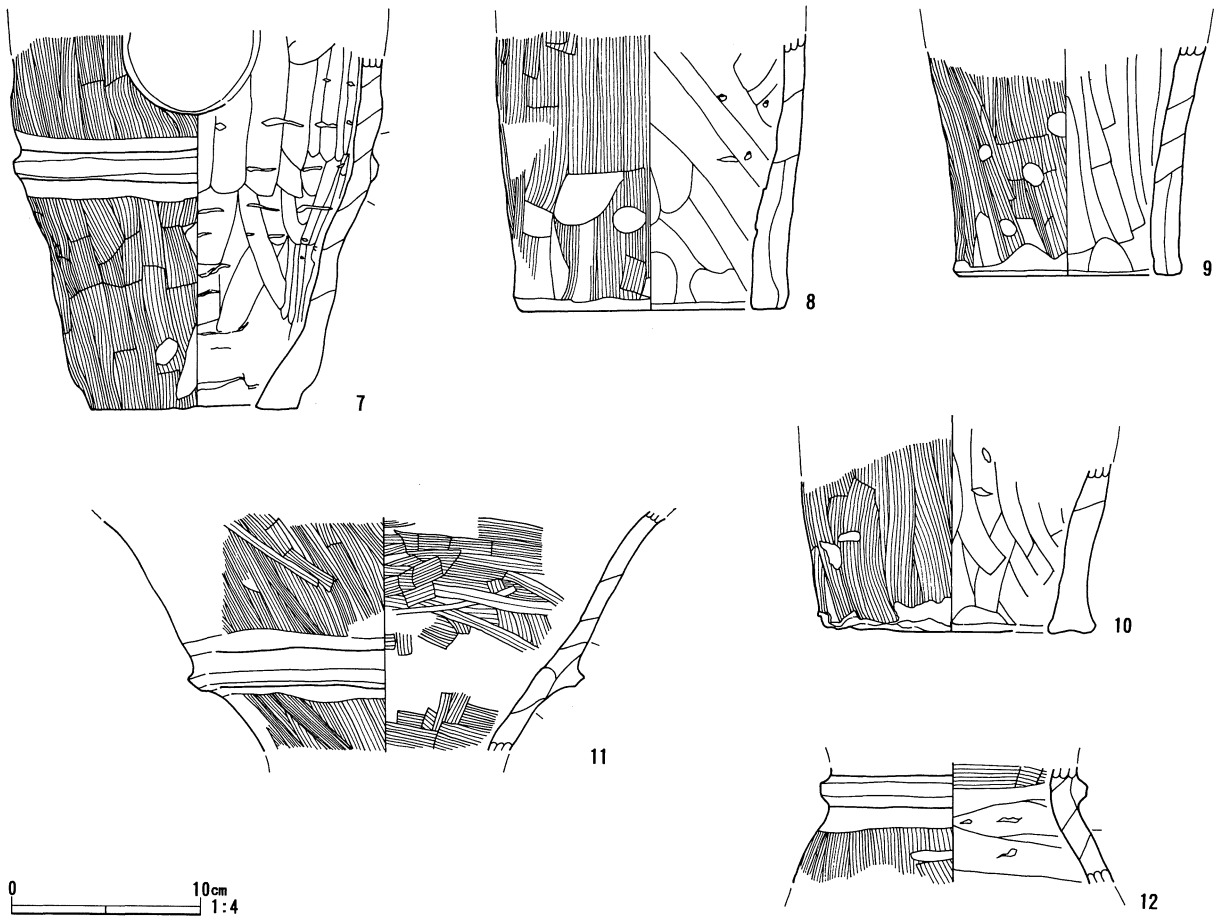


図202 ST-12 円筒・朝顔形埴輪実測図 (2)

ST-12 円筒・朝顔形埴輪拓影資料観察表

番号	器種	部位	外面調整・ハケ本数	内面調整・ハケ本数	焼成	色調	備考
1	円筒	第2・3段	1次タテハケ・13本/2cm	ナナメハケ・13本/2cm 及びナナメナデ	良好	橙色	内面輪積痕。口唇部端面・内外面・突帯ヨコナデ。円形透孔。
2	円筒	第2・3段	1次タテハケ・13本/2cm	ナナメハケ・13本/2cm 及びナナメナデ	良好	浅黄橙色	内面輪積痕・指頭圧痕。口唇部・突帯ヨコナデ。円形透孔。
3	円筒	第2・3段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・13本/2cm 及びナナメナデ	良好	橙色	内面輪積痕・指頭圧痕。口唇部・突帯ヨコナデ。円形透孔。
4	円筒	第3段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・13本/2cm	良好	にぶい橙色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
5	円筒	第3段	1次タテハケ・13本/2cm	ヨコハケ・18本/2cm 及びナナメハケ	良好	にぶい橙色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
6	円筒	第3段	1次タテハケ・12本/2cm	ヨコハケ・18本/2cm 及びナナメハケ	良好	にぶい橙色	内面輪積痕。
7	円筒	第2・3段	1次タテハケ・14本/2cm	ナナメハケ・14本/2cm 及びタテナデ	良好	にぶい橙色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
8	円筒	第1・2段	1次タテハケ・12本/2cm	タテナデ	良好	にぶい黄橙色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
9	円筒	第1・2段	1次タテハケ・12本/2cm	タテナデ	良好	にぶい橙色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
10	円筒	第2・3段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm 及びタテナデ	良好	にぶい黄橙色	内面輪積痕。突帯ヨコナデ。 円形透孔。

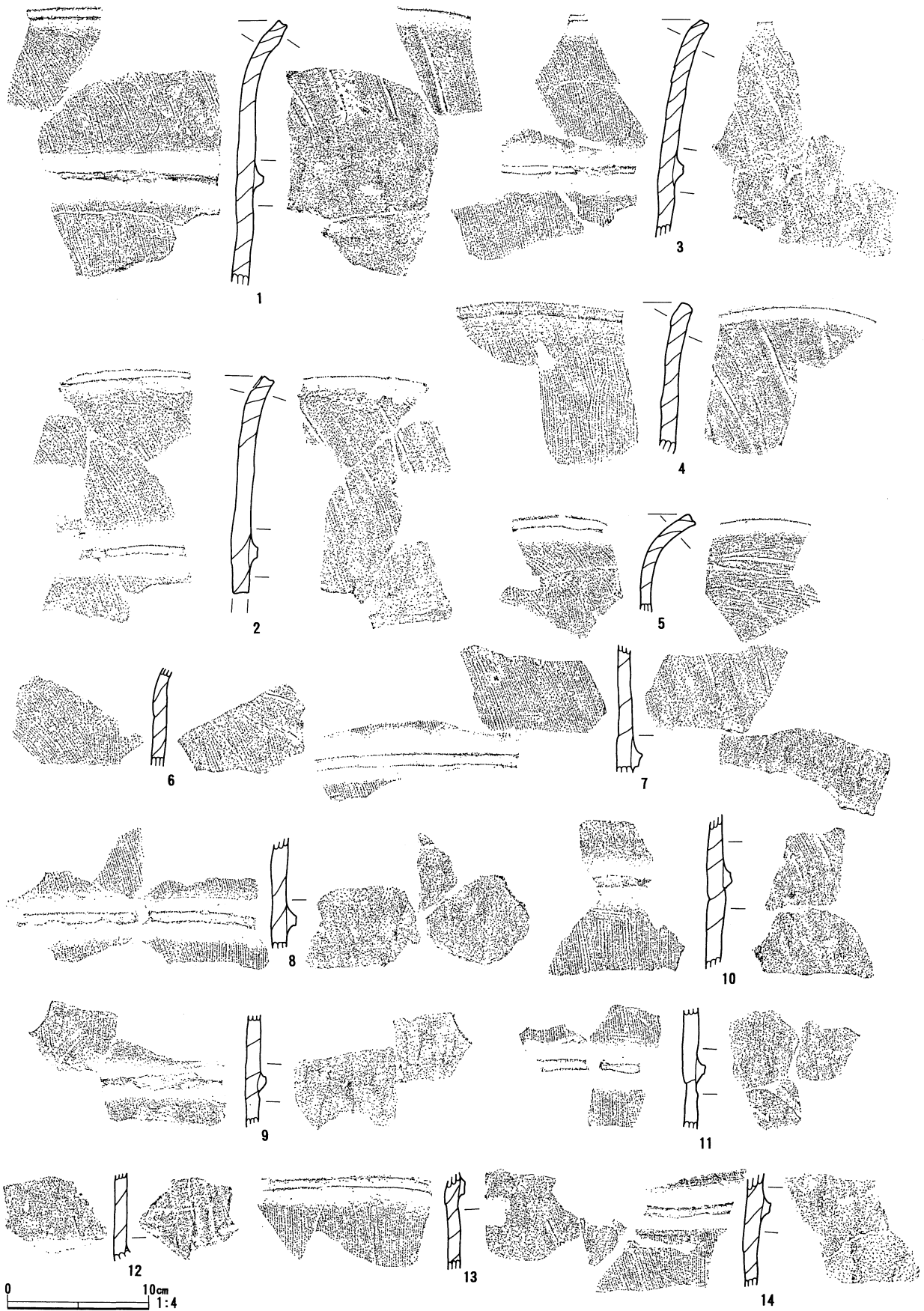


图203 ST-12 円筒・朝顔形埴輪拓影图 (1)

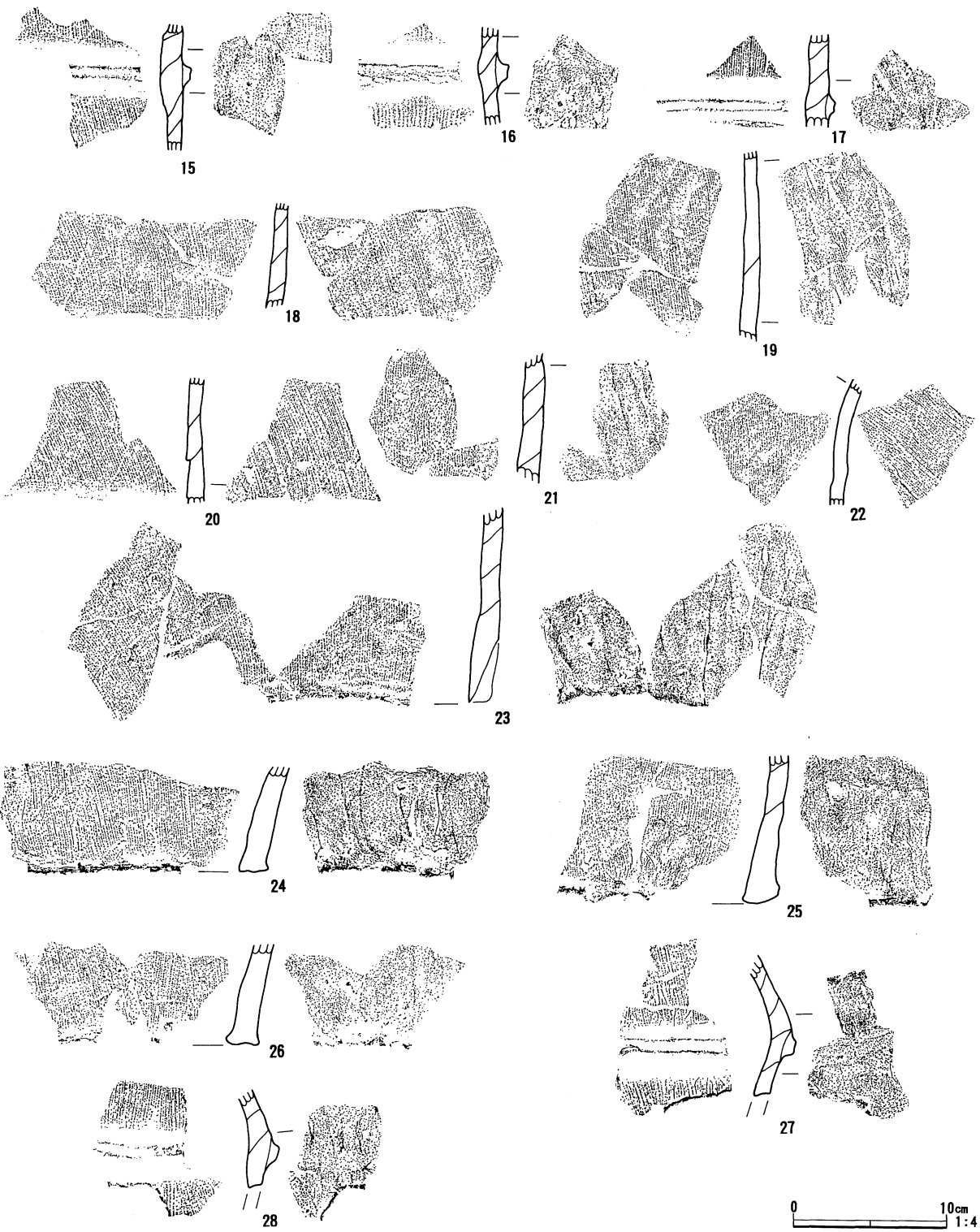


図204 ST-12 円筒・朝顔形埴輪拓影図 (2)

は頭部から頸部、前胸にかけての部位である。口先を丸く塞いだのち口の切り込みをいれる。鼻孔は顔の前面に配されるが、眼孔は側面に穿たれる。鬘の前立は短い円柱状を呈する。面繫、引手、手綱、胸繫、前輪を表現するが鏡板は剥落している。面繫には鏡板の釣金具、頬革、額革、項革を連結する辻金具を表現する。9・

11	円筒	第2・3段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm 及びタテナデ	良好	にぶい黄橙色	内面輪積痕。突帯ヨコナデ。 円形透孔。
12	円筒	第2段	1次タテハケ・表面摩滅	ナナメナデ	良好	橙色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
13	円筒	第2段	1次タテハケ・13本/2cm	ナナメハケ・13本/2cm 後ナナメナデ	良好	橙色	砂礫を含む、突帯ヨコナデ。
14	円筒	第1・2段	1次タテハケ・14本/2cm	タテナデ	須恵質	灰オリーブ色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
15	円筒	第1・2段	1次タテハケ・12本/2cm	タテハケ・12本/2cm 及びタテナデ	良好	橙色	突帯ヨコナデ。
16	円筒	第1・2段	1次タテハケ・8本/2cm	タテナデ	良好	橙色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
17	円筒	第2段	1次タテハケ・14本/2cm	ナナメハケ・14本/2cm 後ナナメナデ	良好	にぶい黄橙色	突帯ヨコナデ。
18	円筒	第3段	1次タテハケ・13本/2cm	ナナメハケ・14本/2cm	良好	にぶい橙色	内面輪積痕。
19	円筒	第1段	1次タテハケ・14本/2cm	ナナメハケ・14本/2cm 及びタテナデ	良好	にぶい橙色	
20	円筒	第3段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm	良好	にぶい橙色	突帯ヨコナデ。
21	円筒	第1段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメナデ	良好	にぶい黄橙色	突帯ヨコナデ。
22	円筒	第3段	1次タテハケ・14本/2cm	ナナメハケ・14本/2cm	良好	にぶい褐色	
23	円筒	第1段	1次タテハケ・12本/2cm	タテナデ及びナナメナデ	良好	橙色	
24	円筒	第1段	1次タテハケ・12本/2cm	タテナデ	良好	橙色	
25	円筒	第1段	1次タテハケ・12本/2cm	タテナデ	良好	にぶい橙色	
26	円筒	第1段	1次タテハケ・13本/2cm	ナナメナデ	良好	にぶい橙色	
27	朝顔	肩、胴部	1次タテハケ・13本/2cm	ヨコナデ及びナナメナデ	良好	にぶい黄橙色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
28	朝顔	肩、胴部	1次タテハケ・13本/2cm	タテナデ	良好	にぶい橙色	突帯ヨコナデ。 半円形透孔。

10は本体から剥離したf字形鏡板の一部で、9は左側の上端部、10は左側の下半部である。ともに地板の上に縁金と鋸を表現する。11・12は障泥である。11は左側障泥で、線刻とヘラ先刺突で前後の覆輪を表し、輪鏝を貼付する。12は右側障泥で、同じく線刻とヘラ先刺突で後側の覆輪と鞍褥を表現し、輪鏝を貼付する。13は背部で尻繫と環状雲珠を表し、鞍橋の剥離痕を認める。14・15は脚下端部である。16・17は鈴で、ともに中実成形による。18・19は平面楕円形の形象台部で側方に円形透孔を穿つ。

ST-12 形象埴輪観察表

No.	器種	部位・形態の特徴	成形・調整手法の特徴	焼成	色調	備考
1	家	寄棟式屋根の軒部。	外面一ハケ及びナデ。 内面一ハケ及びナデ。	良好	橙色	礫を含む。
2	家	壁体の角。	外面一ハケ及びナデ。 内面一ナデ。輪積痕あり。	良好	橙色	礫を含む。
3	人物	右顔面部。	外面一ナデ。赤彩あり。 内面一ナデ。	良好	にぶい橙色	

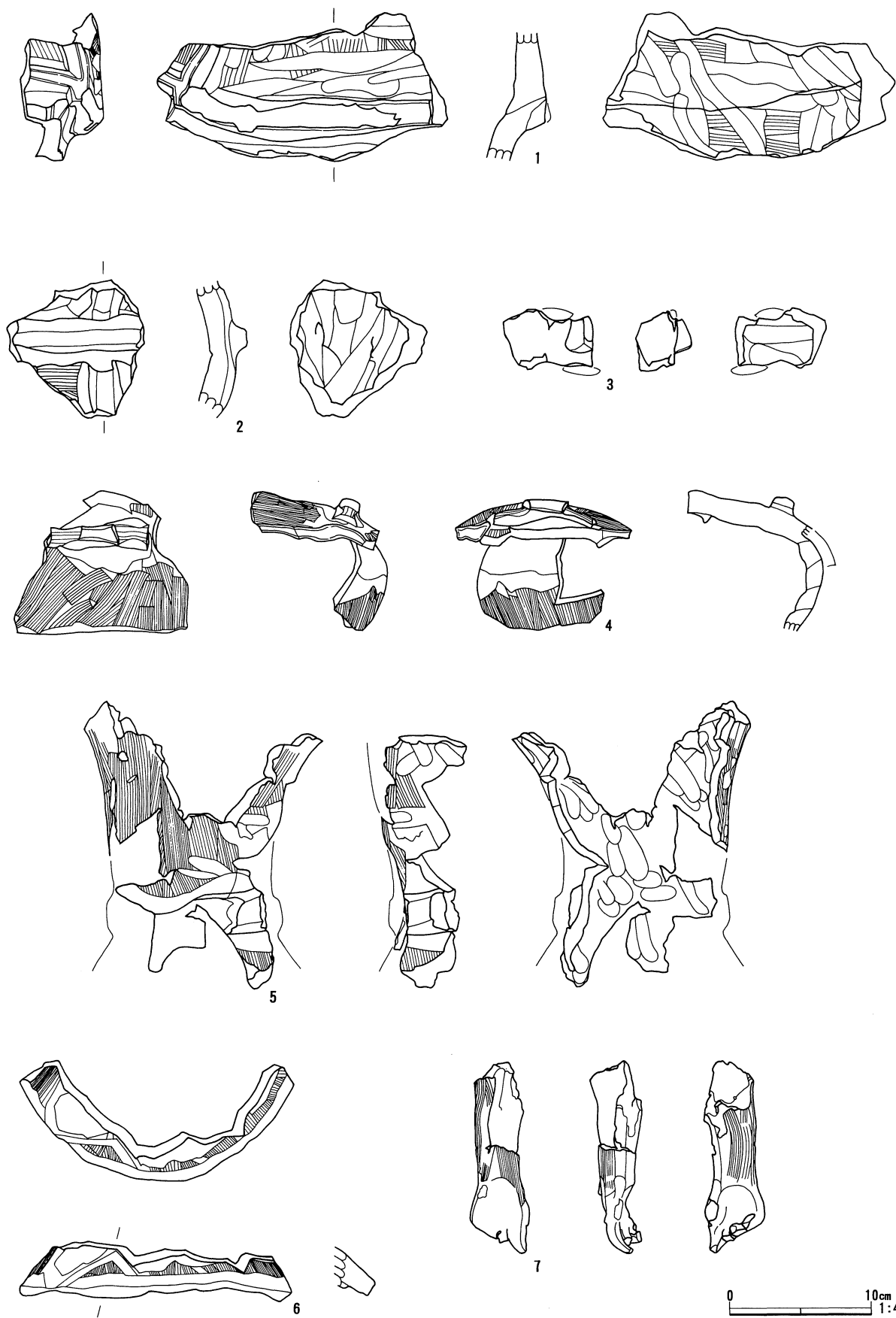


图205 ST-12 形象埴輪実測图 (1)

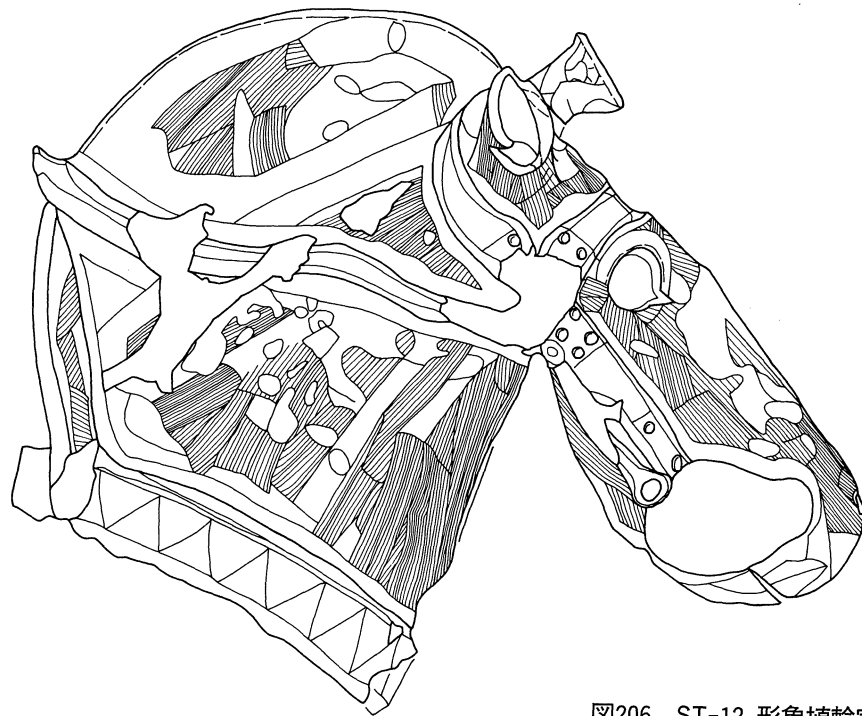
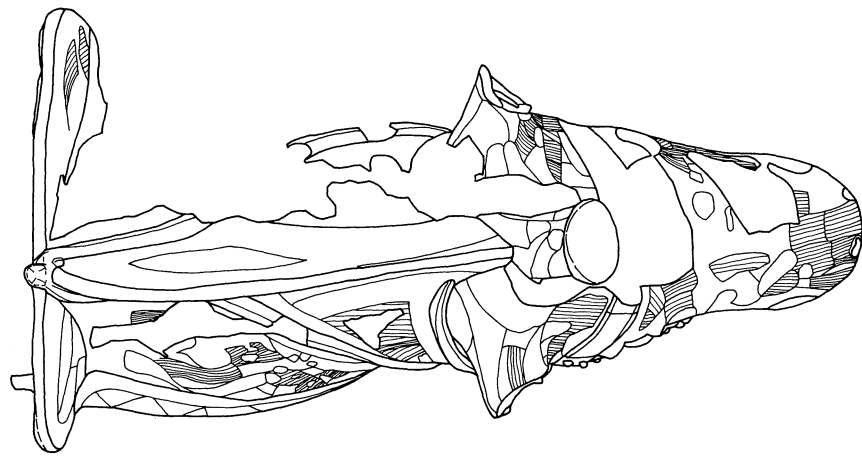


图206 ST-12 形象埴輪実測図 (2)

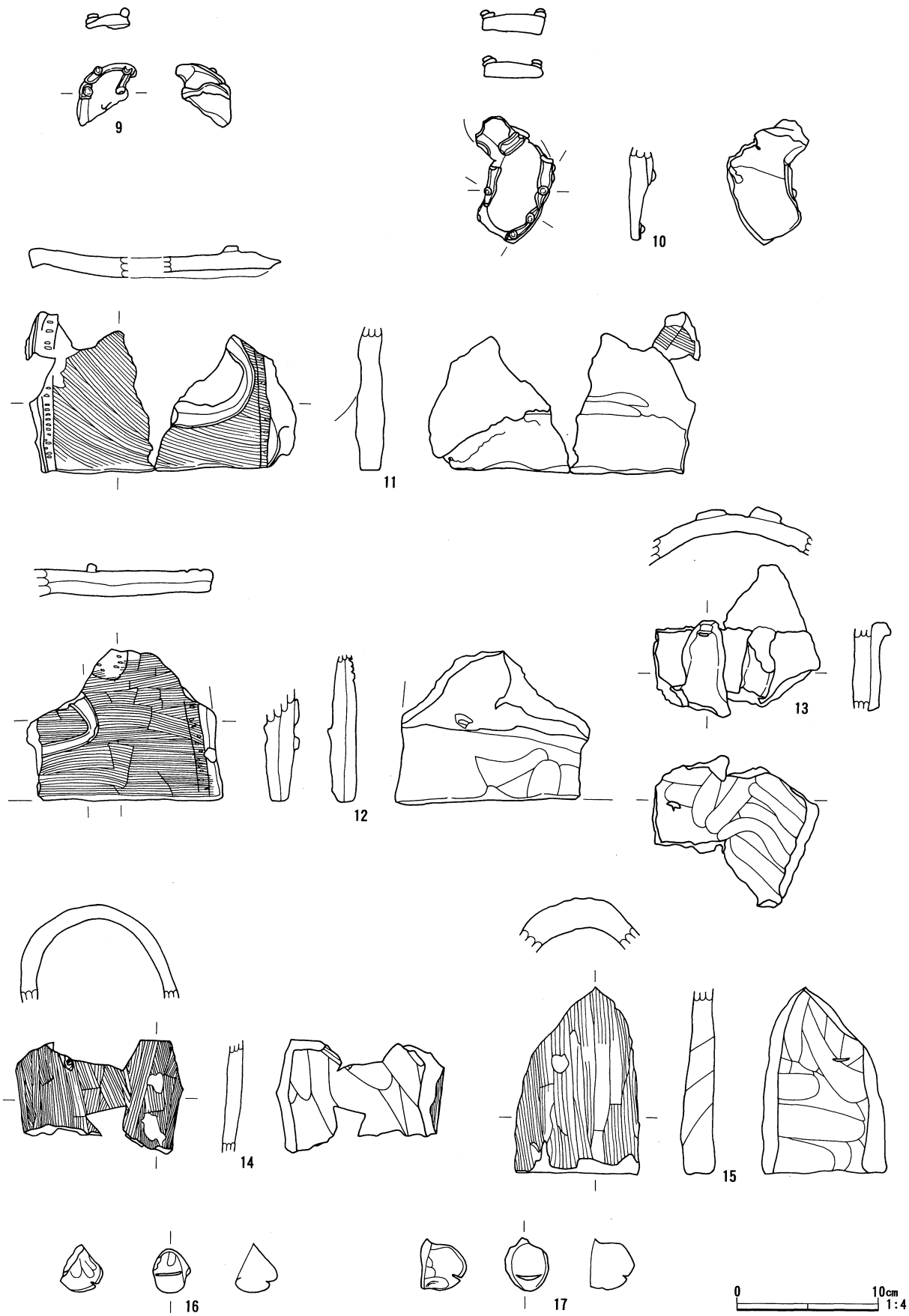


图207 ST-12 形象埴輪実測图 (3)

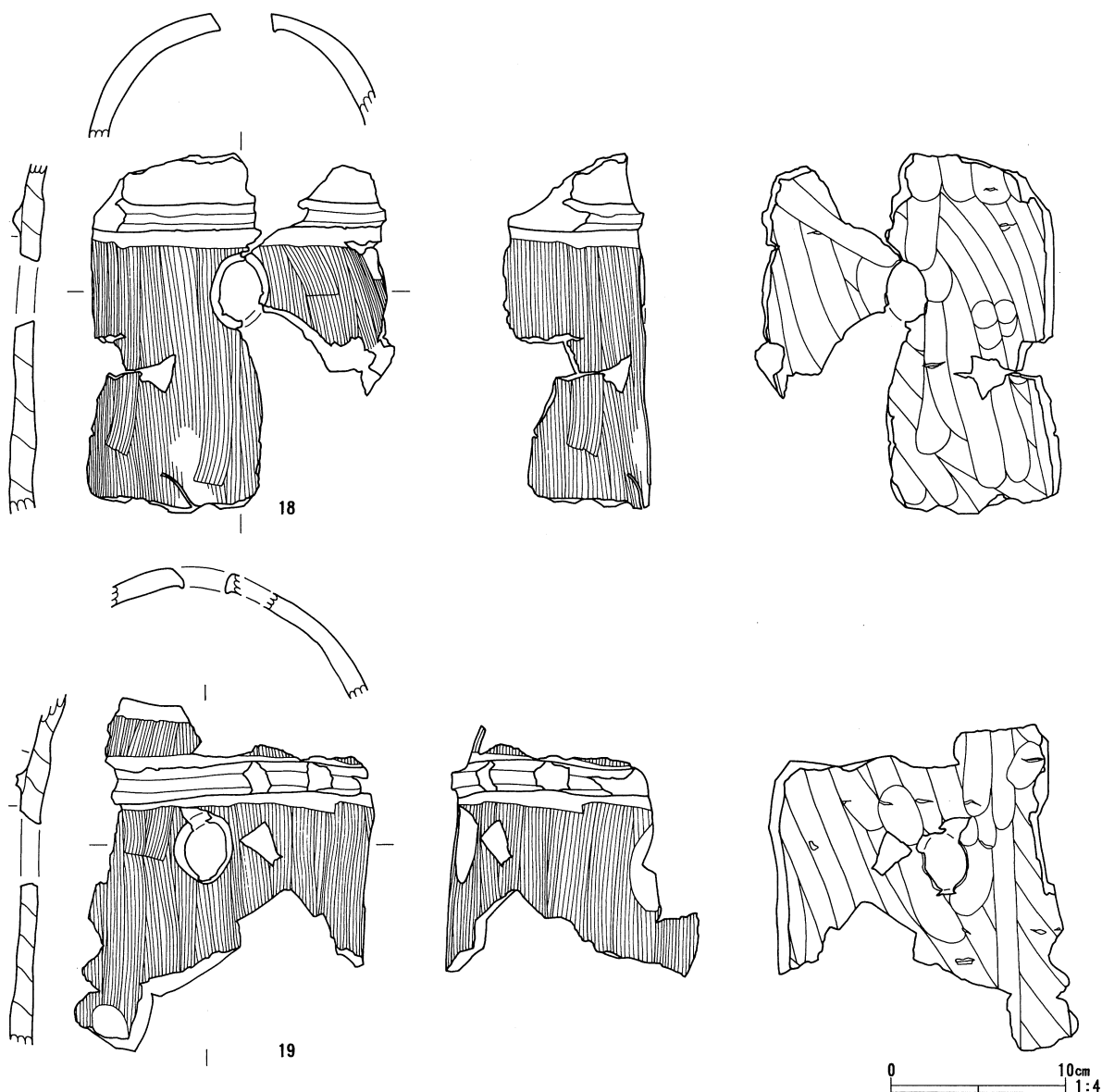


図208 ST-12 形象埴輪実測図 (4)

4	人物	女子後頭部～髻部。頭部球状。開口した頭頂を板状の髻で塞ぐ。	外面—ハケ及びナデ。赤彩あり。内面—ナデ。髻裏面に木目圧痕。	良好	橙色	
5	人物	胴部。粘土紐で帯を表現。	外面—ハケ。内面—ナデ。輪積痕あり。	良好	橙色	
6	人物	上着裾部。粘土紐で結んだ帯の先端を表現。	外面—ハケ及びナデ。内面—ナデ。	良好	にぶい橙色	
7	人物	右腕部。棒状の物を握る所作を表現。	ハケ及びナデ。	良好	にぶい橙褐色	
8	馬	頭部。	外面—ハケ及びナデ。内面—ナデ。	良好	にぶい橙褐色	
9	馬	左側f字形鏡板の上端部。地板上に縁金と銚を表現。	外面—ナデ。裏面—ナデ。剝離痕あり。	良好	にぶい橙褐色	

10	馬	左側 f 字形鏡板の下半部。地板上に縁金と紙を表現。	外面一ナデ。 裏面一ナデ。剝離痕あり。	良好	にぶい橙褐色	
11	馬	左側障泥。線刻とヘラ先刺突で前後の覆輪を表現。輪鑑。	外面一ハケ及びナデ。 内面一ナデ。	良好	にぶい橙色	
12	馬	右側障泥。線刻とヘラ先刺突で後側の覆輪と鞍褥を表現。輪鑑。	外面一ハケ及びナデ。 内面一ナデ。	良好	にぶい橙色	
13	馬	背部。粘土紐で尻繫と環状雲珠を表現。鞍橋剝離。	外面一ハケ及びナデ。 内面一ナデ。	良好	にぶい橙色	
14	馬	脚中間部。	外面一ハケ。 内面一ナデ。	良好	にぶい橙色	砂粒を多く含む。
15	馬	脚下端部。	外面一ハケ。 内面一ナデ。輪積痕あり。	良好	にぶい黄橙色	砂粒を多く含む。
16	馬	鈴。	中実成形。 ナデ。赤彩あり。	良好	にぶい橙色	
17	馬	鈴。	中実成形。 ナデ。赤彩あり。	良好	にぶい橙色	
18	不明	楕円形の形象台部。側方に円形透孔。	外面一ハケ及びナデ。 内面一ナデ。輪積痕あり。	良好	にぶい橙褐色	
19	不明	楕円形の形象台部。側方に円形透孔。	外面一ハケ及びナデ。 内面一ナデ。輪積痕あり。	良好	にぶい橙褐色	

ST-13 (図209)

位置：J-2・3、K-2・3グリッドに位置する。

形状：墳丘は整円形を呈する。周堀は、中・近世の遺構との重複により一部を失っている。

周堀は北東側が広く、南西側にはブリッジ状に周堀の途切れる箇所がある。周堀の掘り込みは浅く、周堀底面のレベルはローム層中にとどまっている。周堀断面は船底形を呈する。周堀底面はおおむね平坦であるが、北側の2箇所には段差が存在する。周堀覆土は2層に分割され、上層にロームブロックを少量含む黒色土、下層にロームブロックを多量に含む黒褐色土の堆積を認める。

規模：周堀内径7.8m、周堀外径9.0m、幅0.4~0.9m、深さ15~35cmを測る。

遺物：遺物は皆無であった。

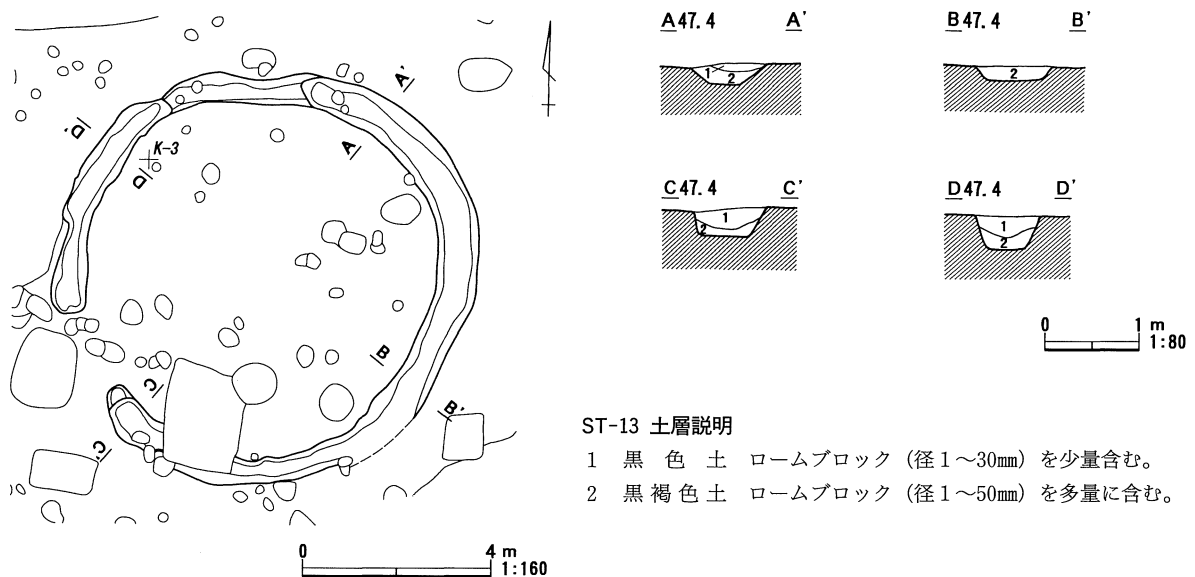


図209 ST-13

ST-14 (図210)

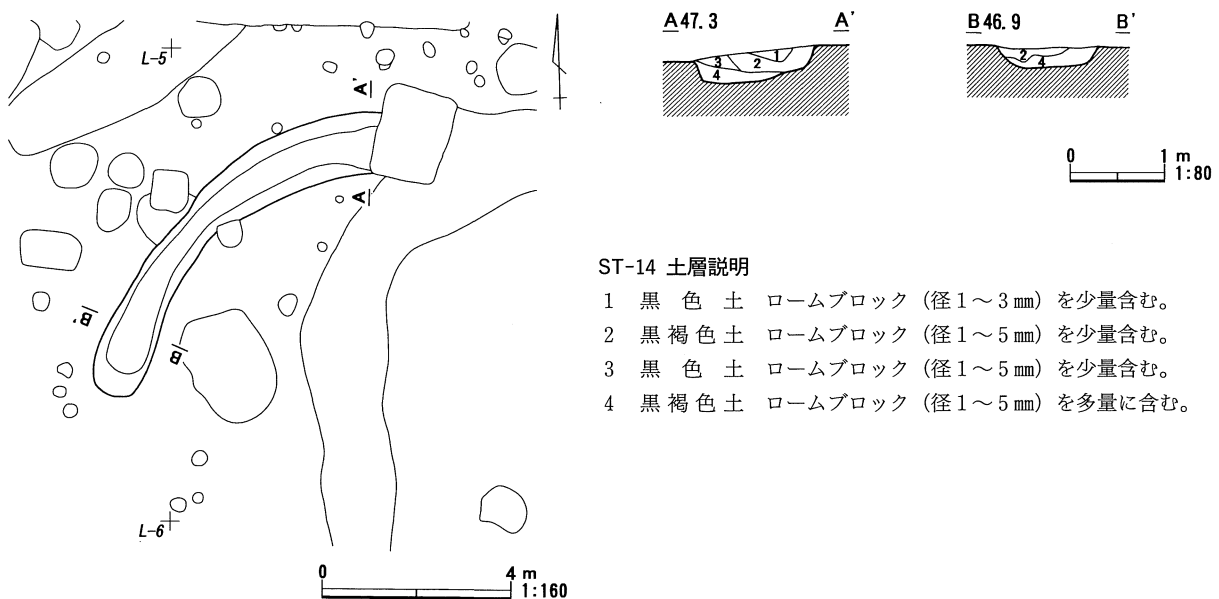
位置：K-5、L-5グリッドに位置する。調査区中央の埋没谷に面するローム台地末端の緩斜面上に立地している。

形状：東半部分は土取りにより地山とともに失われ、周堀は、北側から西側にかけての1/4程度が遺存している。南西側へは、周堀の延長を認めないが、南向きの斜面に立地することから、原形も南半には周堀を掘削しない形状であった可能性も考えられる。

周堀幅は北西側が狭く、北側及び西側はやや幅を増している。周堀断面は箱形を呈する。周堀底はローム層を掘り抜いて白灰色粘質土層に達している。周堀底面はおおむね平坦であるが、北側から西側にかけて緩やかに傾斜している。周堀覆土は2層に大別され、上層の第1～3層にロームブロックを少量含む黒色土ないし黒褐色土、下層にロームブロックを多量に含む黒褐色土の堆積を認める。

規模：大半が土取りにより失われているため詳細は明らかではない。周堀内径は10m前後を測るものと推測される。確認の範囲で、周堀幅0.8～1.3m、深さ20～30cmを測る。

遺物：遺物は皆無であった。



ST-14 土層説明

- 1 黒色土 ロームブロック (径1～3mm) を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック (径1～5mm) を少量含む。
- 3 黒色土 ロームブロック (径1～5mm) を少量含む。
- 4 黒褐色土 ロームブロック (径1～5mm) を多量に含む。

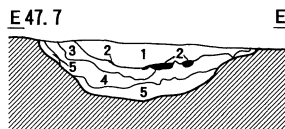
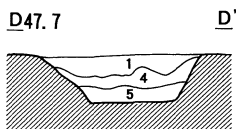
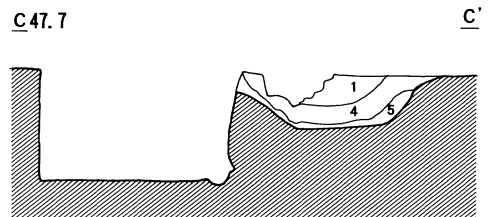
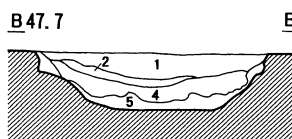
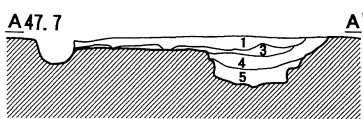
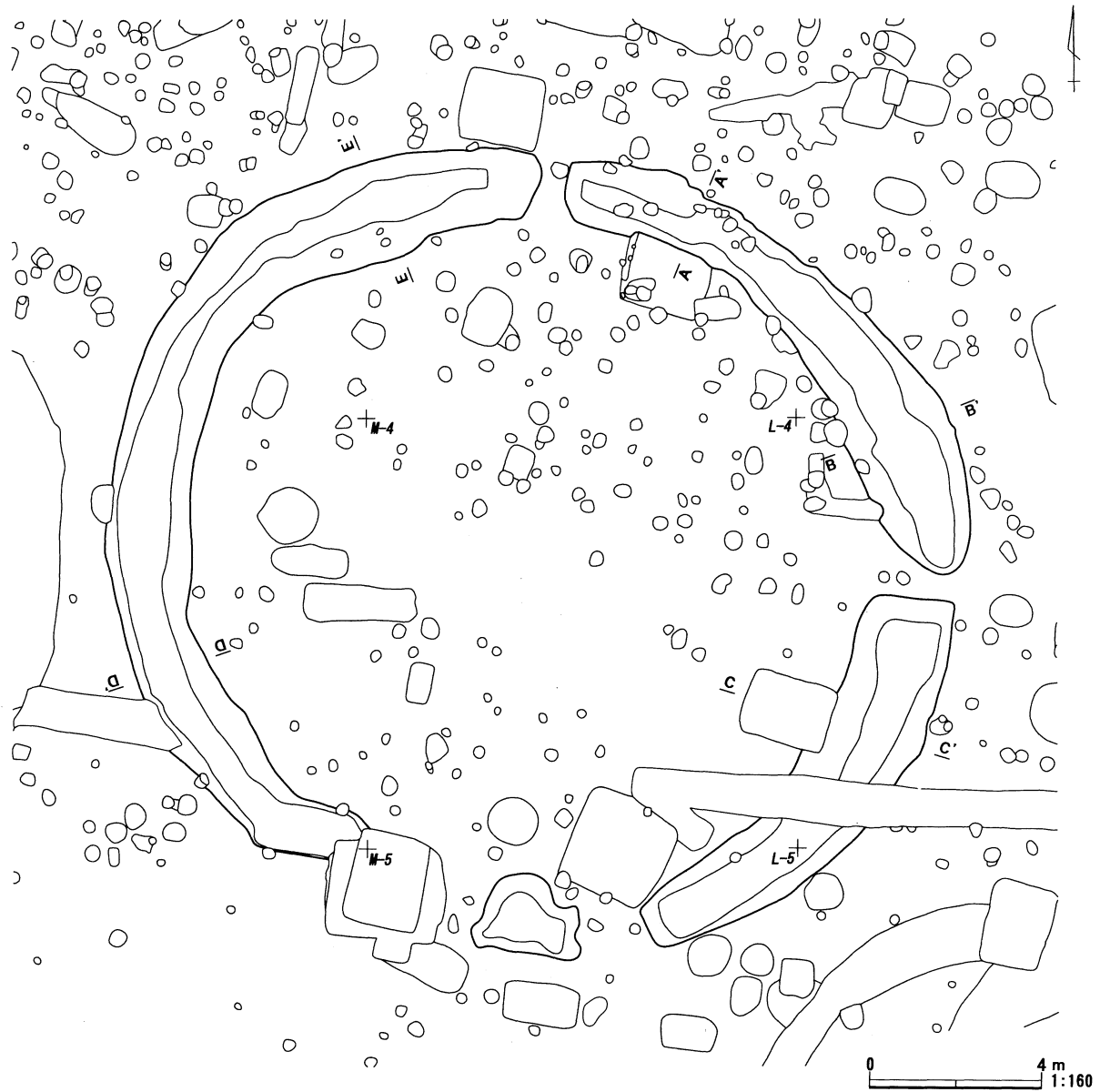
図210 ST-14

ST-15 (図211)

位置：K-3～5、L-3～5、M-3～5グリッドに位置する。

形状：墳丘はほぼ整円形を呈する。各所で中近世の遺構と重複するとともに溝状の攪乱によって、墳丘、周堀の一部が失われている。

周堀は幅が一定せず、また、北及び東側にブリッジをもつ。南側でも東西から延長する周堀が一旦途切れ、中央部に不整形の独立した掘り込みをもつ。周堀断面は箱形を呈する。周堀底面はおおむね平坦である。周堀覆土は3層に大別され、上層の第1・3層にロームブロックを少量含む黒色土、火山灰ブロックが断続的に堆積する層を挟んで、中層の第4にロームブロックを多量に含む黒褐色土、下層の第5層は周堀掘削時の残土層



ST-15 土層説明

- 1 黒色土 ロームブロック (径1mm±) を少量含む。
- 2 黒色土 FAブロック (径5~25mm) を多量に含み斑状に堆積する。
- 3 黒色土 ロームブロック (径1~3mm) を少量含む。
- 4 黒褐色土 ロームブロック (径1~5mm) を多量に含む。
- 5 黒褐色土 ロームブロック (径1~5mm)、黄灰色土ブロック (径5~25mm) を多量に含む。

図211 ST-15

と考えられ、墳丘の崩落層や風化堆積層とは明らかに異なる。第5層上面が墳丘完成時の堀底である可能性が高い。なお、第3層の火山灰は、自然科学分析の結果、Hr-FAであることが判明した。

規模：周堀内径18.2m、周堀外径20.2m、幅1.2～2.5m、深さ50～60cmを測る。

遺物：遺物は皆無であった。

ST-16 (図212)

位置：M-1・2、N-1・2グリッドに位置する。調査区の北端にあつて、北側1/2以上が調査区外にある。

形状：周堀の遺存状態が不良であるため明確ではないが、円形を呈するものと推測される。

周堀は南側中央部以西のみを確認した。表土層がきわめて薄い地点であることから、東半の周堀は耕作によりすでに失われている可能性が高い。周堀断面は浅い船底状を呈する。周堀覆土は単層で、ロームブロックを多量に含む褐色土の堆積を認める。この堆積土は、ロームブロックを多量に含む以外は、地山ローム層と比較してやや黒みを帯びる程度であり、周堀掘削時の残土層と考えられる。他の古墳に見られる黒色系の風化堆積層は認められないことから、墳丘完成時の本来の周堀底はすでに失われているものと考えられる。

規模：半分以上が調査区外にあり、調査された遺構も状態が不良であるため詳細は明らかではない。周堀内径は12m内外を測るものと推測される。確認の範囲で、周堀幅2.0m、深さ10cm前後を測る。

遺物：遺物は皆無であった。

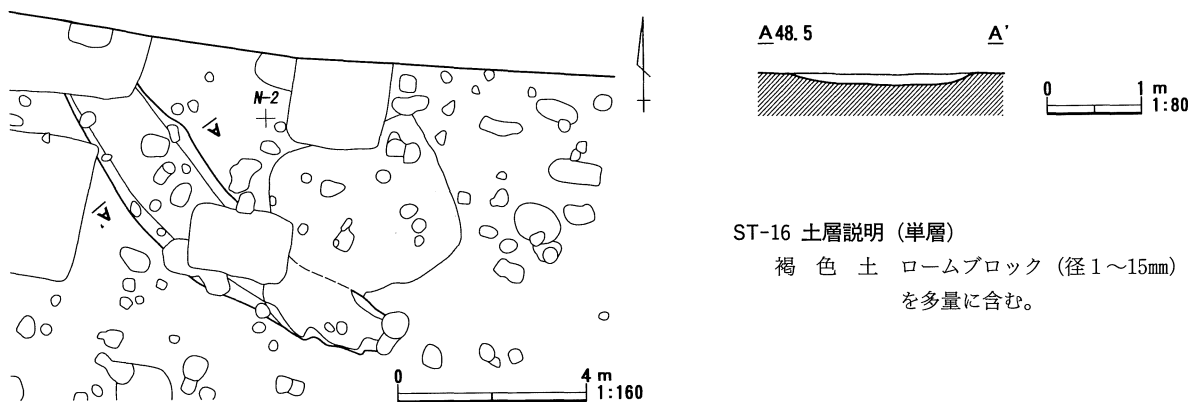


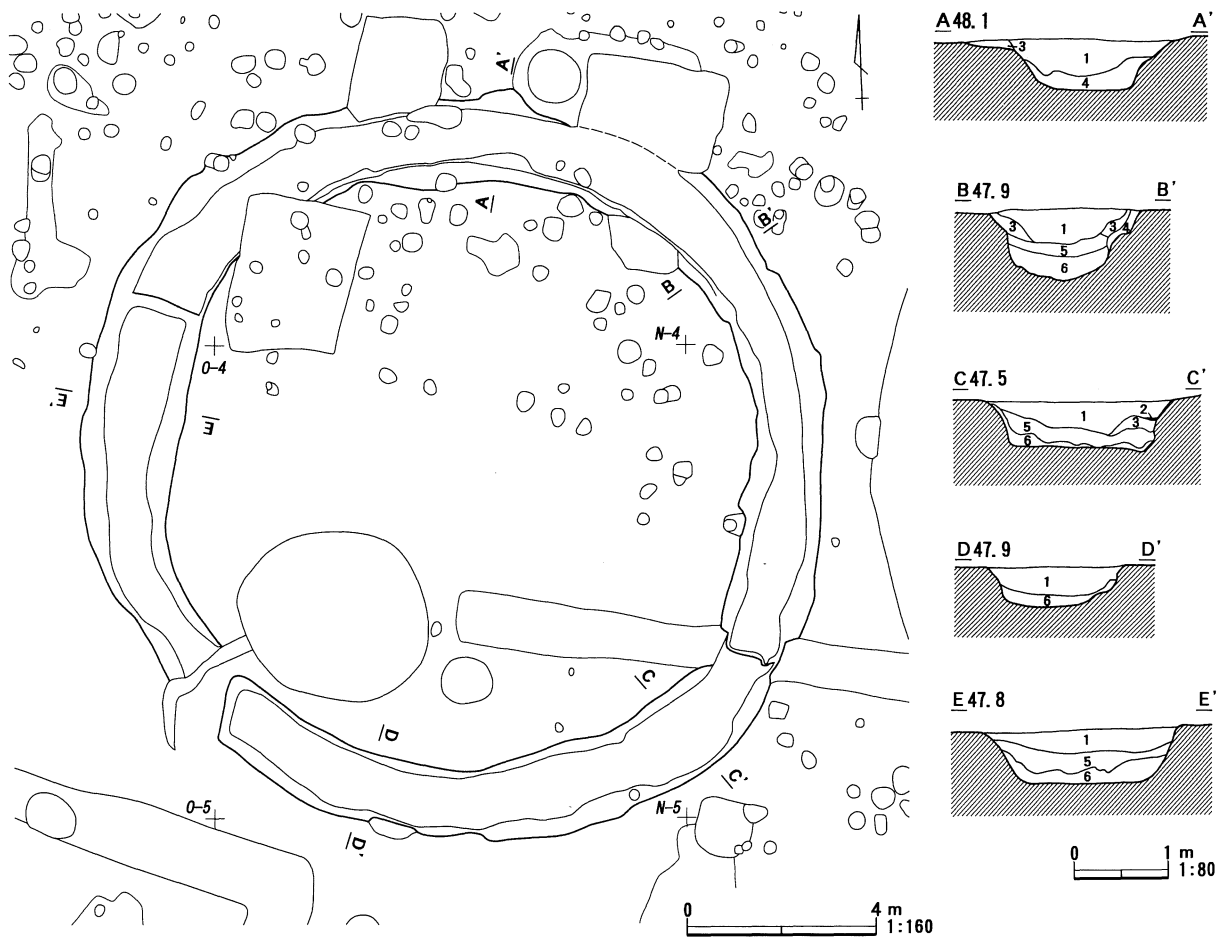
図212 ST-16

ST-17 (図213)

位置：M-3・4、N-3～5、O-3・4グリッドに位置する。調査区東端のローム台地下の低地部に立地する。

形状：墳丘はほぼ整円形を呈する。周堀北側及び墳丘南半を中世の井戸、方形竪穴状遺構などにより攪乱を被っている。

周堀はほぼ一定の幅でめぐる。南西側でブリッジ状に途切れる箇所がある。周堀断面は箱形を呈する。周堀底面はおおむね平坦であるが、北西側と南東側に1箇所ずつ段差が存在し、それぞれ南側、北側へ向かって深さを増している。周堀覆土は3層に大別され、上層にロームブロックを含む黒色土、中層にロームブロックを含む暗褐色土、下層に黒褐色土とロームブロックの混合層の堆積を認める。なお、C-C'の上層中に存在する第2層とした灰白色火山灰は、サンプリングが困難であったために自然科学的分析を経ていないが、隣接するST-15・23・24などに認められる火山灰と同一のものと観察される。このことからST-17の覆土中に堆積の観察される灰白色火山灰もHr-FAと判断して差し支えないものとする。



ST-17 土層説明

- 1 黒色土 ロームブロック（径1～2mm）を少量含む。
- 2 FAブロック
- 3 黒色土 ロームブロック（径1～10mm）を少量含む。
- 4 黒色土 ロームブロック（径1～25mm）を多量に含む。
- 5 暗褐色土 ロームブロック（径1～40mm）を多量に含む。
- 6 黒褐色土 白色粘質土ブロック（径1～25mm）とロームブロック（径1～40mm）の混合層。斑状に堆積する。

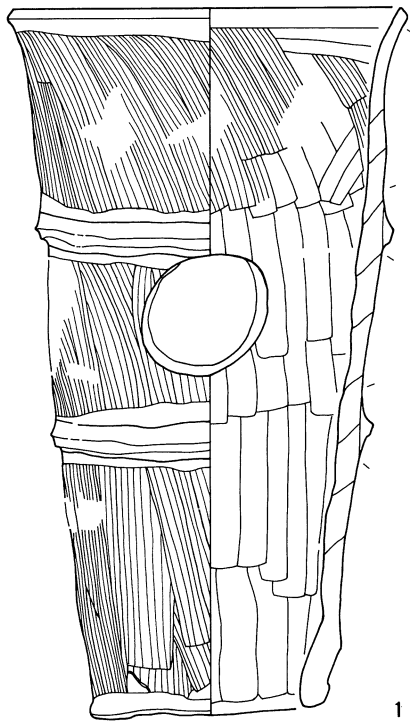
図213 ST-17

規模：周堀内径14.2m、周堀外径16.7m、幅1.6～2.1m、深さ40～80cmを測る。

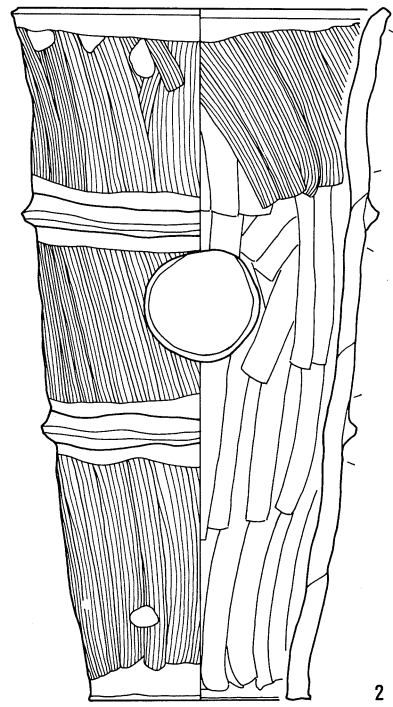
遺物：周堀覆土及び確認面上層で円筒埴輪、朝顔形埴輪、形象埴輪を検出した。

円筒埴輪は二条突帯三段構成成品で、外面調整はすべて1次タテハケによる。ハケメは粗いものが多い。突帯は断面が台形ないし崩れたM字形を呈するものと、三角形を呈するものがあり後者の比率が高い。透孔はすべて円形である。色調はにぶい橙～褐色を中心に、淡色系焼成品が多い。

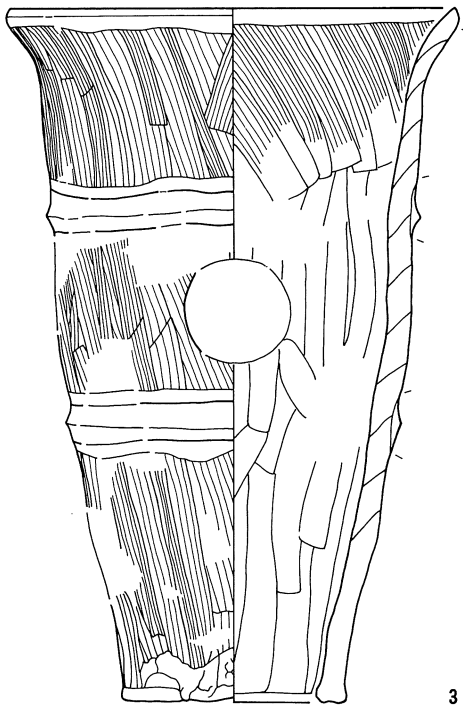
形象埴輪は家、人物を確認できる。1は家の胸部である。堅魚木は剥離している。中央部の円形小孔を有する。2・3は人物である。2は男子の下美頭良で、頭部本体より剥離し、先端を欠損している。左右の別は明らかではない。3は女子の髻で、頭部本体から剥離している。前後の別は明らかではない。4～8は器種不明である。4は平板なつくりで、片面に弧状の粘土紐を貼付する。5～8は台部の破片である。



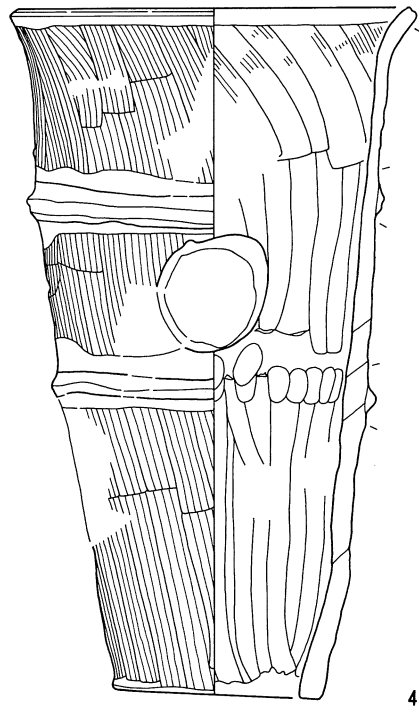
1



2



3



4

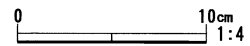
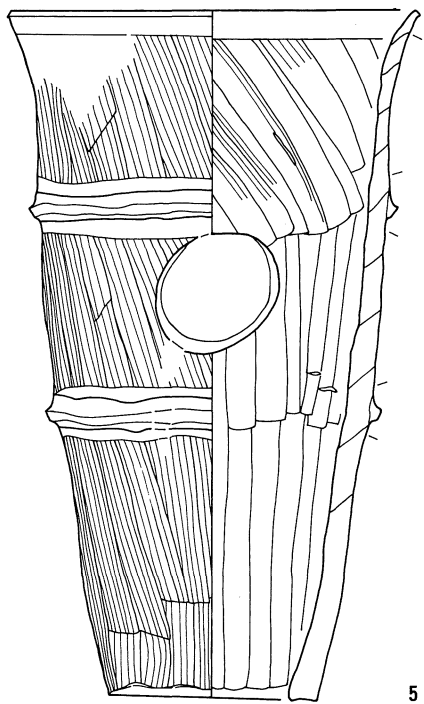
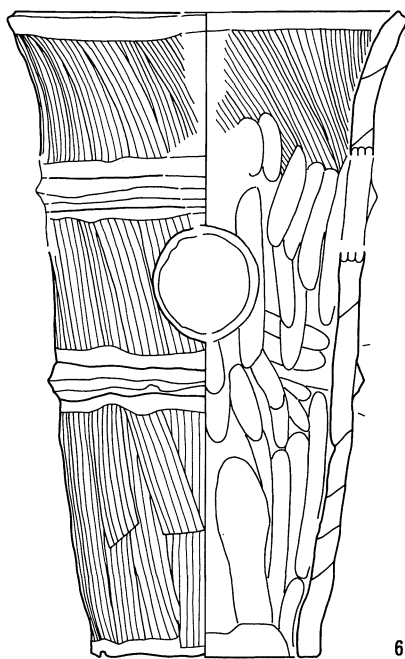


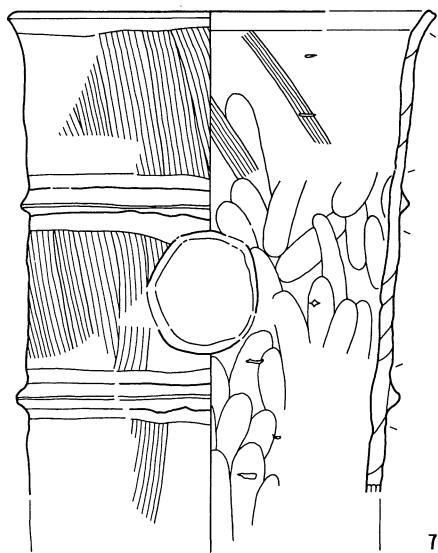
图214 ST-17 円筒埴輪実測図 (1)



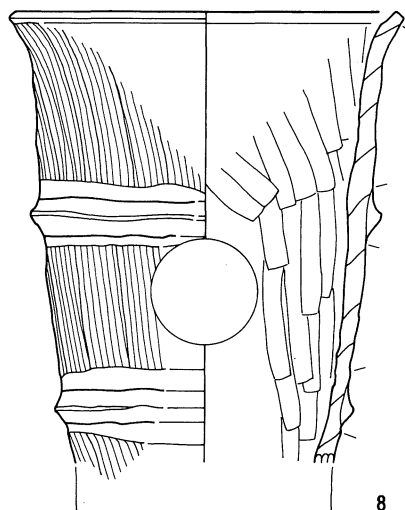
5



6



7



8

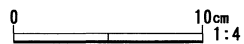
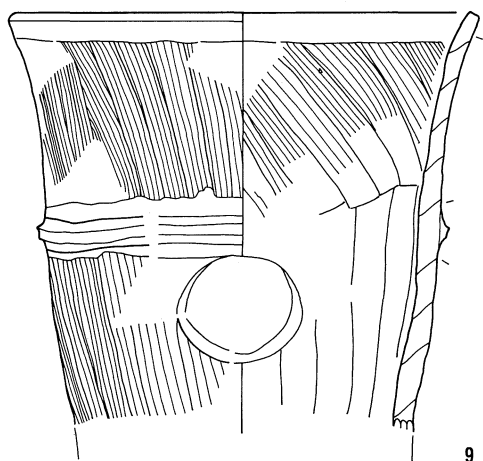
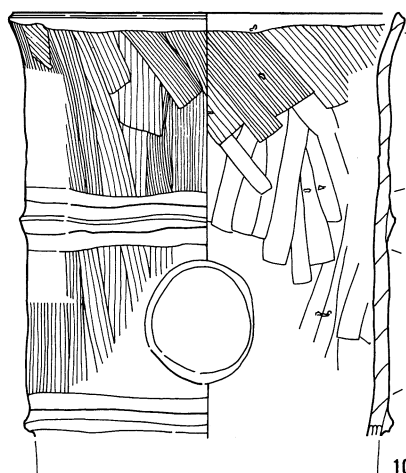


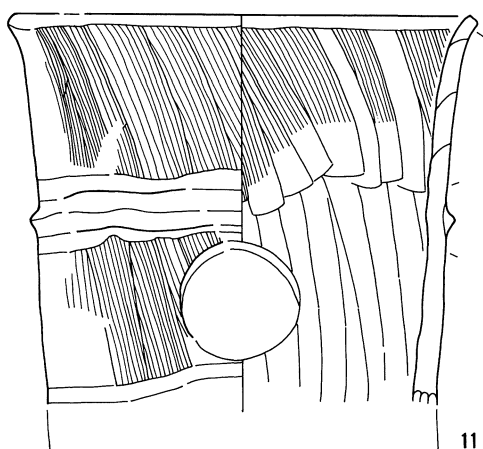
图215 ST-17 円筒埴輪実測図 (2)



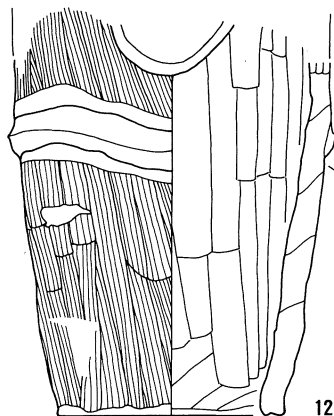
9



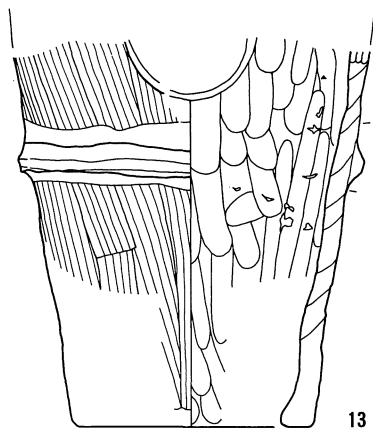
10



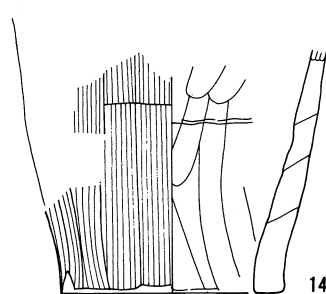
11



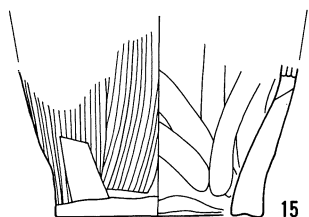
12



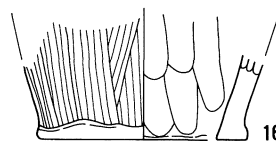
13



14



15



16

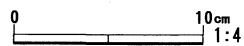


图216 ST-17 円筒埴輪実測図 (3)

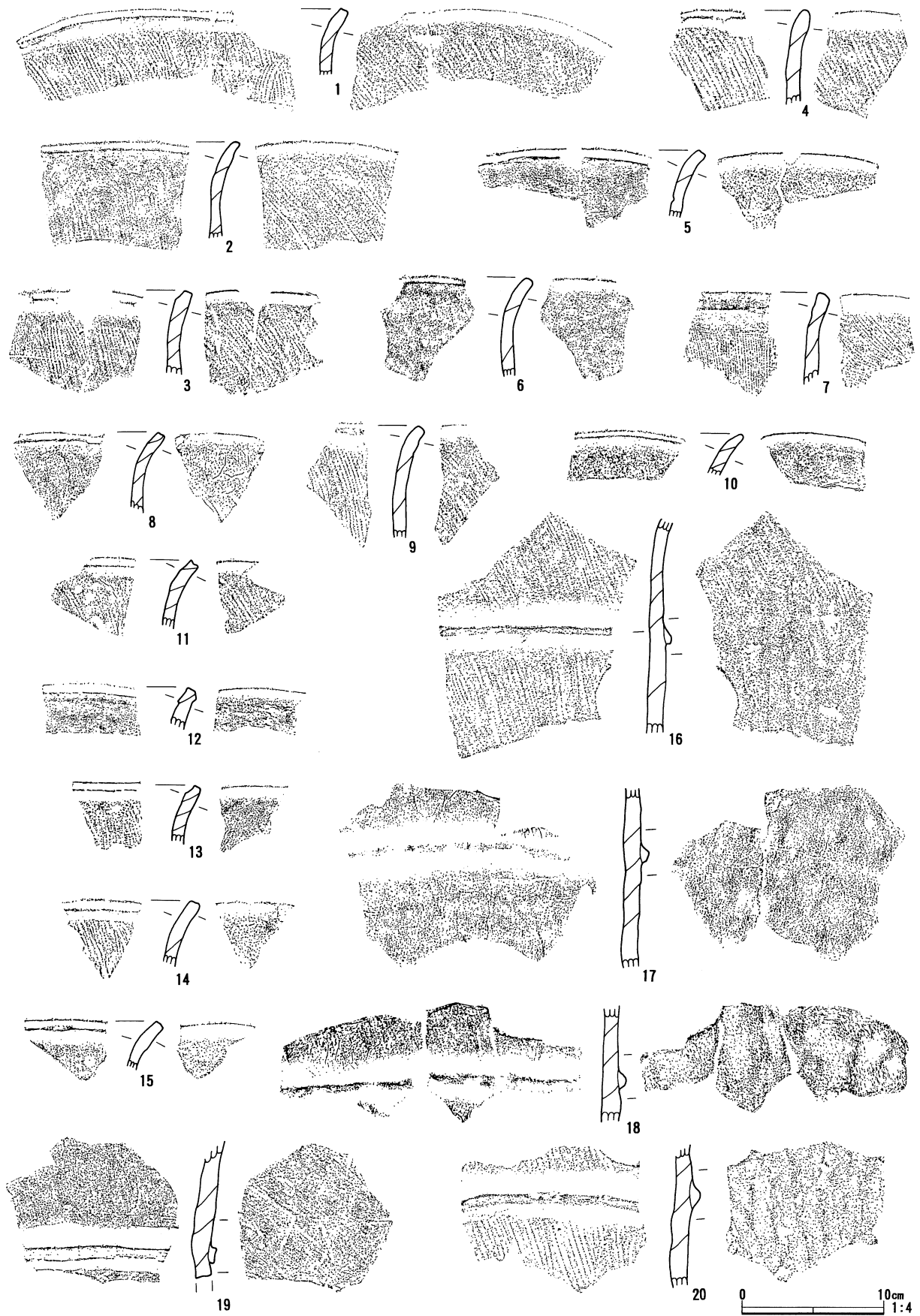


图217 ST-17 円筒・朝顔形埴輪拓影图 (1)

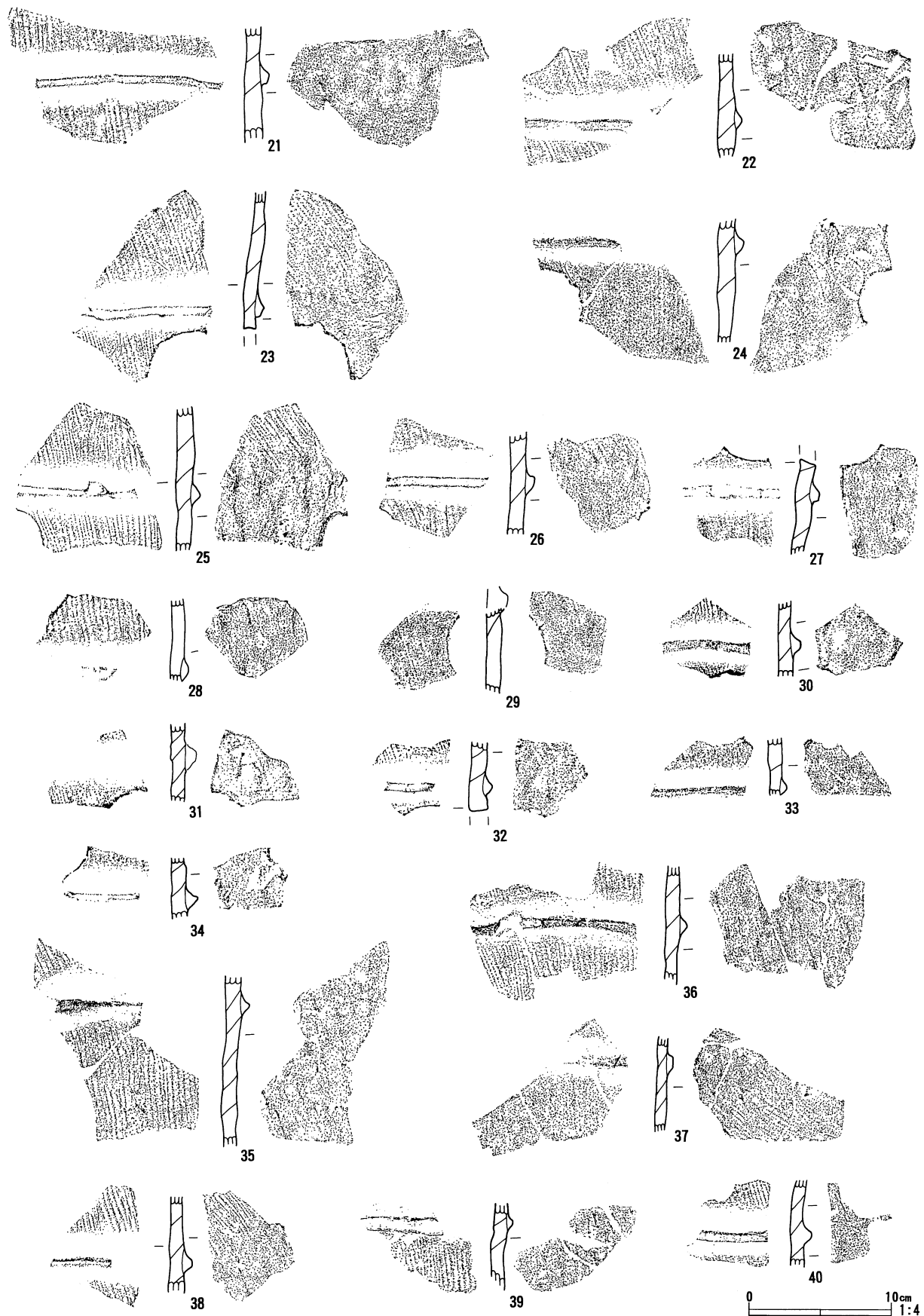


图218 ST-17 円筒・朝顔形埴輪拓影图 (2)

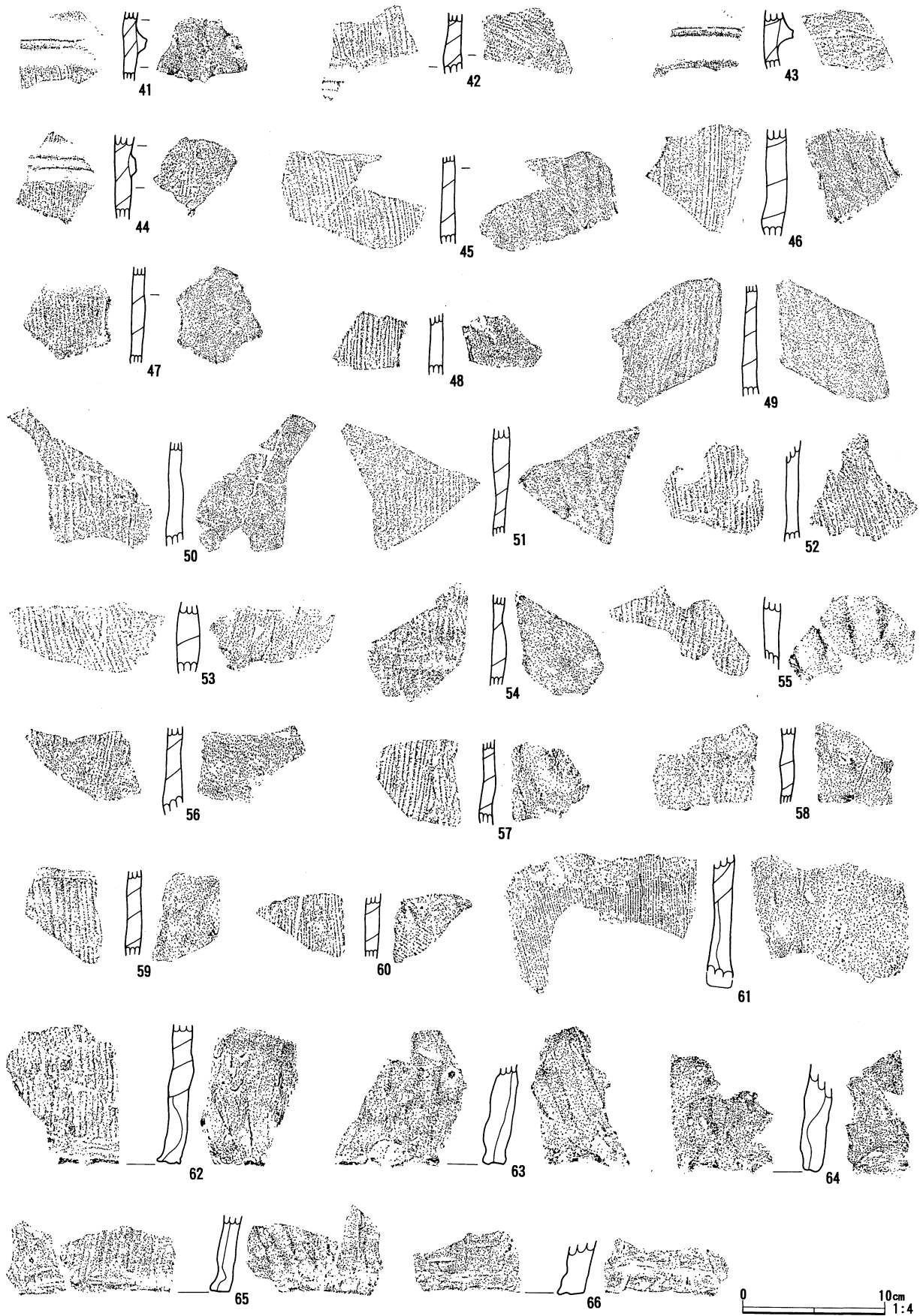


図219 ST-17 円筒・朝顔形埴輪拓影図 (3)

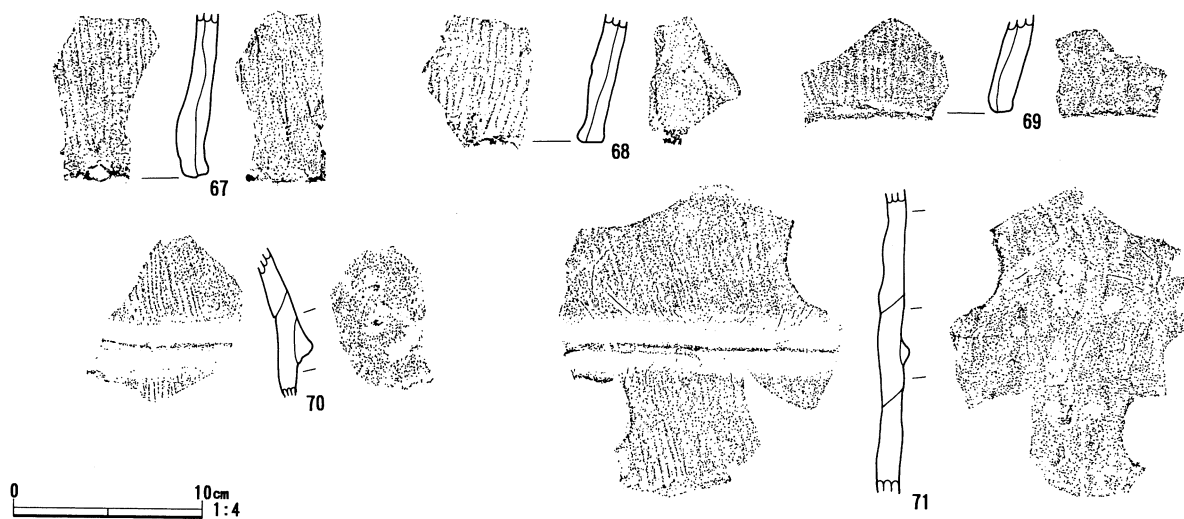


図220 ST-17 円筒・朝顔形埴輪拓影図 (4)

ST-17 円筒・朝顔形埴輪拓影資料観察表

番号	器種	部 位	外面調整・ハケ本数	内面調整・ハケ本数	焼 成	色 調	備 考
1	円筒	第 3 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm	良 好	にぶい 橙色	内面輪積痕。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
2	円筒	第 3 段	1次タテハケ・6本/2cm 12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm	良 好	にぶい 橙色	内面輪積痕。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
3	円筒	第 3 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm	良 好	にぶい 橙色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
4	円筒	第 3 段	1次タテハケ・6本/2cm	ナナメハケ・6本/2cm	良 好	にぶい 褐色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
5	円筒	第 3 段	1次タテハケ・表面摩滅	ナナメハケ・12本/2cm	良 好	にぶい 橙色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
6	円筒	第 3 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・表面摩滅	良 好	にぶい 橙色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
7	円筒	第 3 段	1次タテハケ・12本/2cm	ヨコハケ・12本/2cm 及びナナメハケ	良 好	にぶい 褐色	内面輪積痕。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
8	円筒	第 3 段	1次タテハケ・表面摩滅	ナナメハケ・表面摩滅	良 好	にぶい 橙色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
9	円筒	第 3 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・6本/2cm 及びナナメナデ	良 好	にぶい 橙色	内面輪積痕。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
10	円筒	第 3 段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・表面摩滅	良 好	にぶい 橙色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
11	円筒	第 3 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・9本/2cm	良 好	にぶい 橙色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
12	円筒	第 3 段	1次タテハケ・20本/2cm	ヨコナデ	良 好	にぶい 赤褐色	内面輪積痕。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
13	円筒	第 3 段	1次タテハケ・9本/2cm	ナナメハケ・9本/2cm	良 好	にぶい 黄褐色	内面輪積痕。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
14	円筒	第 3 段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm	良 好	にぶい 赤褐色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
15	円筒	第 3 段	1次タテハケ・表面摩滅	ナナメハケ・12本/2cm	良 好	にぶい 橙色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。

16	円筒	第2・3段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm タテナデ	良好	にぶい黄橙色	内面輪積痕・指頭圧痕。 突帯ヨコナデ。円形透孔。
17	円筒	第1・2段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメナデ	良好	にぶい橙色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
18	円筒	第1・2段	1次タテハケ・10本/2cm	タテナデ及びナナメナデ	良好	浅黄橙色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。円形透孔。
19	円筒	第2・3段	1次タテハケ・18本/2cm	ナナメハケ・20本/2cm	良好	にぶい橙色	砂礫を多く含む。内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。円形透孔。
20	円筒	第1・2段	1次タテハケ・6本/2cm	タテナデ	良好	浅黄橙色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
21	円筒	第1・2段	1次タテハケ・6本/2cm	タテナデ	良好	にぶい橙色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。円形透孔。
22	円筒	第1・2段	1次タテハケ・6本/2cm	タテナデ	良好	にぶい黄橙色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。円形透孔。
23	円筒	第2・3段	1次タテハケ・6本/2cm 10本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm タテナデ	良好	にぶい橙色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
24	円筒	第2・3段	1次タテハケ・6本/2cm	タテナデ	良好	にぶい橙色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。円形透孔。
25	円筒	第2・3段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・9本/2cm タテナデ	良好	にぶい黄橙色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
26	円筒	第2・3段	1次タテハケ・5本/2cm	ナナメナデ	良好	にぶい橙色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
27	円筒	第1・2段	1次タテハケ・表面摩滅	タテナデ	良好	にぶい橙色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。円形透孔。
28	円筒	第2段	1次タテハケ・5本/2cm	タテナデ	良好	にぶい橙色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
29	円筒	第2段	1次タテハケ・7本/2cm	ナナメナデ	良好	にぶい橙色	円形透孔
30	円筒	第2・3段	1次タテハケ・7本/2cm	ナナメハケ・表面摩滅	良好	にぶい橙色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
31	円筒	第2・3段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm ナナメナデ	良好	にぶい橙色	円形透孔。
32	円筒	第2・3段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメナデ	良好	橙色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
33	円筒	第1・2段	1次タテハケ・12本/2cm	タテナデ	良好	にぶい黄橙色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
34	円筒	第1・2段	1次タテハケ・表面摩滅	タテナデ及びナナメナデ	良好	にぶい黄橙色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
35	円筒	第1・2段	1次タテハケ・6本/2cm	タテナデ	良好	にぶい黄橙色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
36	円筒	第1・2段	1次タテハケ・6本/2cm	タテナデ	良好	にぶい黄橙色	突帯ヨコナデ。
37	円筒	第1・2段	1次タテハケ・表面摩滅	ナナメハケ・6~8本/2cm 及びタテナデ	良好	浅黄橙色	突帯ヨコナデ。
38	円筒	第2・3段	1次タテハケ・6本/2cm	タテハケ・8本/2cm 及びタテナデ	良好	浅黄橙色	突帯ヨコナデ。
39	円筒	第2段	1次タテハケ・10本/2cm	タテナデ	良好	浅黄橙色	突帯ヨコナデ。
40	円筒	第2・3段	1次タテハケ・8本/2cm	タテナデ	良好	橙色	突帯ヨコナデ。
41	円筒	第2・3段	1次タテハケ・6本/2cm	タテナデ	良好	にぶい黄橙色	突帯ヨコナデ。
42	円筒	第2段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm	良好	にぶい橙色	突帯ヨコナデ。

43	円筒	第 2 段	1次タテハケ・10本/2cm	ヨコハケ・6本/2cm 及びナナメハケ	良 好	橙 色	突帯ヨコナデ。
44	円筒	第 1・2 段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm 及びナナメナデ	良 好	橙 色	突帯ヨコナデ。
45	円筒	第 2 段	1次タテハケ・7本/2cm	タテナデ	良 好	にぶい 橙色	円形透孔。
46	円筒	第 2 段	1次タテハケ・6本/2cm	ナナメナデ	良 好	にぶい 橙色	円形透孔。
47	円筒	第 2 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメナデ	良 好	橙 色	円形透孔。
48	円筒	第 2 段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメナデ	良 好	浅黄 橙色	円形透孔。
49	円筒	第 1 段	1次タテハケ・6本/2cm	タテナデ	良 好	浅黄 橙色	
50	円筒	第 2 段	1次タテハケ・6本/2cm	タテナデ	良 好	にぶい黄橙色	
51	円筒	第 2 段	1次タテハケ・6本/2cm	タテナデ及びナナメナデ	良 好	浅黄 橙色	内面輪積痕。
52	円筒	第 3 段	1次タテハケ・7本/2cm	ヨコハケ・6本/2cm 及びナナメハケ	良 好	橙 色	
53	円筒	第 1 段	1次タテハケ・6本/2cm	タテナデ	良 好	浅黄 橙色	
54	円筒	第 2 段	1次タテハケ・6本/2cm	タテナデ	良 好	浅黄 橙色	
55	円筒	第 1 段	1次タテハケ・6本/2cm	タテナデ	良 好	浅黄 橙色	
56	円筒	第 1 段	1次タテハケ・7本/2cm	ナナメナデ	良 好	浅黄 橙色	内面輪積痕。
57	円筒	第 2 段	1次タテハケ・7本/2cm	ナナメナデ	良 好	にぶい 橙色	
58	円筒	第 2 段	1次タテハケ・表面摩滅	ナナメナデ	良 好	浅黄 橙色	
59	円筒	第 3 段	1次タテハケ・表面摩滅	タテナデ	良 好	浅黄 橙色	外面線刻あり。 内面輪積痕。
60	円筒	第 2 段	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメハケ・9本/2cm 及びタテナデ	良 好	橙 色	
61	円筒	第 1 段	1次タテハケ・12本/2cm	タテナデ	良 好	明赤 褐色	砂礫を多く含む。
62	円筒	第 1 段	1次タテハケ・5本/2cm	タテナデ及びナナメナデ	良 好	にぶい 橙色	
63	円筒	第 1 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメナデ	良 好	橙 色	砂礫を多く含む。底部棒状圧痕。
64	円筒	第 1 段	1次タテハケ・表面摩滅	タテナデ及びヨコナデ	良 好	にぶい 橙色	内面輪積痕。
65	円筒	第 1 段	1次タテハケ・4本/2cm	タテナデ	良 好	にぶい黄橙色	
66	円筒	第 1 段	1次タテハケ・20本/2cm	ヨコハケ・20本/2cm 及びナナメハケ	良 好	橙 色	
67	円筒	第 1 段	1次タテハケ・5本/2cm	タテナデ及びナナメナデ	良 好	にぶい 橙色	
68	円筒	第 1 段	1次タテハケ・5本/2cm	タテナデ	良 好	にぶい 橙色	
69	円筒	第 1 段	1次タテハケ・5本/2cm	タテナデ	良 好	にぶい 橙色	

70	朝顔	肩部	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメナデ	良好	にぶい 橙色	内面輪積痕。円形透孔。
71	朝顔	胴部	1次タテハケ・7本/2cm	タテナデ	良好	浅黄 橙色	突帯ヨコナデ。 半円形透孔。

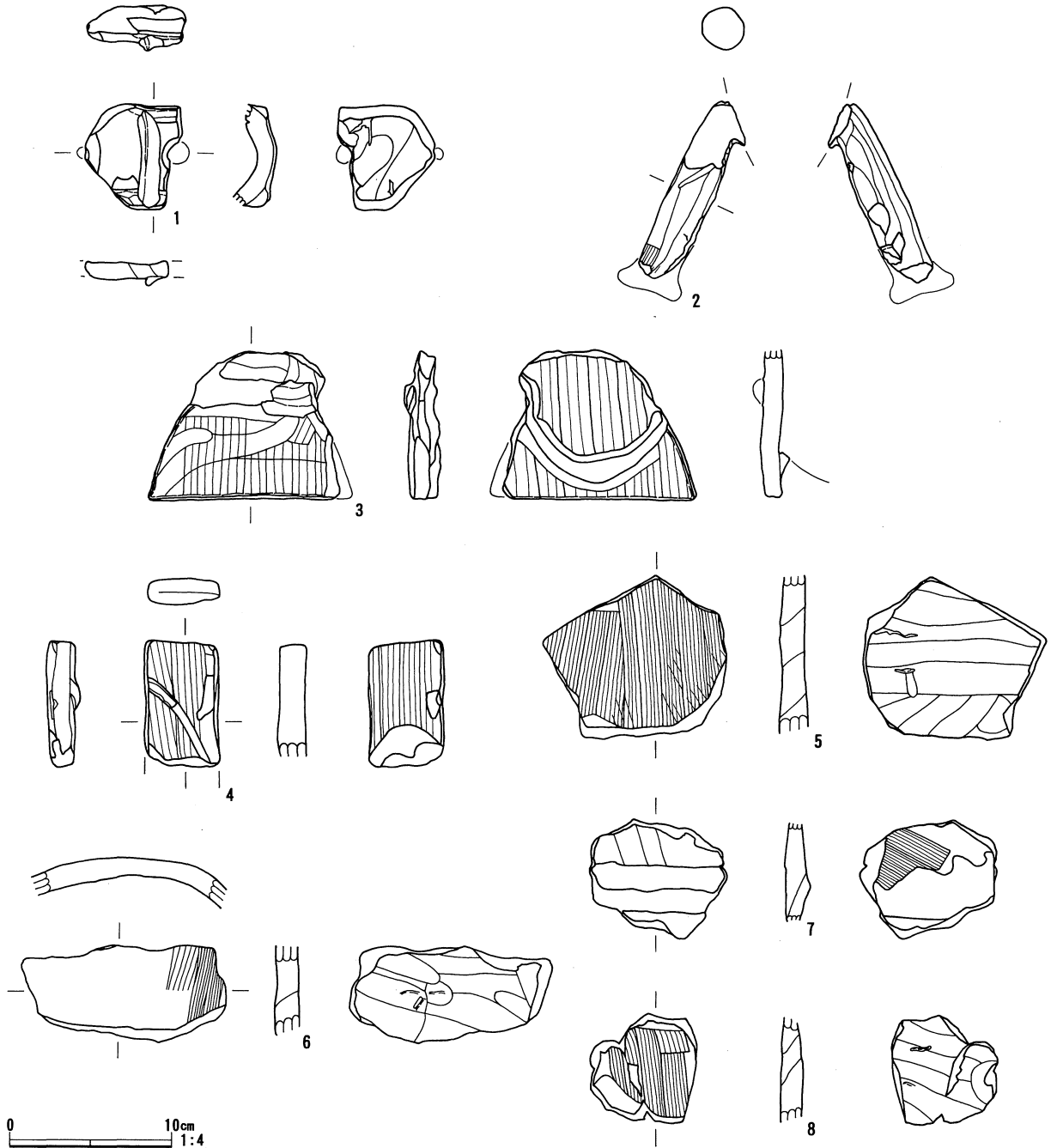


図221 ST-17 形象埴輪実測図

ST-17 形象埴輪観察表

No.	器種	部位・形態の特徴	成形・調整手法の特徴	焼成	色調	備考
1	家	棟部。中央に円形小孔あり。 堅魚木剝離。	外面一ナデ。 内面一ナデ。	良好	橙 色	

2	人物	男子の左側下げ美頭良。 先端部欠損。	ナデ。	良好	橙色	
3	人物	女子の分銅形鬘部。前後不明。 中央部に粘土紐で緒を表現。	ナデ。 裏面に木目圧痕。	良好	にぶい橙色	砂粒を多く含む。
4	不明	板状の本体にカーブする粘土紐 を貼付。	ナデ。 裏面に木目圧痕。	良好	橙色	
5	不明	板状を呈する。	外面一ハケ。 内面一ナデ。粘土接合痕あり。	良好	橙色	
6	不明	横方向に彎曲する。	外面一ハケ及びナデ。 内面一ナデ。輪積痕あり。	良好	橙色	
7	不明	突帯剝離。	外面一ナデ。 内面一ハケ及びナデ。	良好	浅黄橙色	
8	不明	板状を呈する。	外面一ハケ及びナデ。 内面一ナデ。輪積痕あり。	良好	橙色	

ST-18 (図222)

位置：E-12・13、F-12・13グリッドに位置する。調査区の東端にあつて、東側1/3程度が土取りにより失われている。

形状：墳丘はほぼ整円形を呈するが、北側で1箇所、鉤の手状に屈曲する部位が存在する。墳丘及び周堀北側を中世の遺構などにより攪乱を被っている。

周堀幅は北半で広く、南半で狭い。周堀断面形は北から西側にかけての幅の広い部分では、箱形を呈し確認面からの深さも相対的に浅いのに対し、南半では船底形を呈し、堀幅が狭いにもかかわらず深さを増している。周堀底面は北側で高く、南側へ緩やかに傾斜している。北側に1箇所階段状の段差があり東側へ深さを増している。また、南側にはブリッジ状に一段高くなる部位が存在する。周堀覆土は3層に大別され、上層にロームブロックを少量含む黒色土、中層にロームブロックを少量含む暗褐色土、下層に褐色土の堆積を認める。

規模：周堀内径12.4m、周堀外径15.2m、幅1.2～2.5m、深さ40～55cmを測る。

遺物：すべての遺物を周堀南半の覆土及びその確認面上層で検出している。土師器、円筒埴輪、形象埴輪が確認できる。

土師器は坏5点を検出した。うち4・5は口径15cmを測る大型品で、体部外面をヘラケズリし、口縁部は大きく外反する。

円筒埴輪は、全形の確認できる個体すべてが二条突帯三段構成品である。外面調整はすべて1次タテハケによる。ハケメは粗いものが多い。板押圧による底部調整を加える個体が存在する。突帯は断面が台形、崩れたM字形、三角形を呈するもの三者がある。透孔はすべて円形である。第3段に「×」字状の線刻を施す個体がある。

形象埴輪は人物、馬、器財を確認できる。1～6は人物である。1は男子の頭部から肩部にかけての部位である。頭頂部に小孔があり、鉢巻状の突帯を巡らせ、被り物の着用を表現する。先端部がL字状に屈曲する下美頭良を表す。2は頭頂部の破片である。3は右側顔面の一部で耳環を貼付する。4は先端部がL字状に屈曲する下美頭良で、蝶形の緒を表現する。5・6は腕の中間部分で、成形はともに中実である。7～16は馬である。7は頭部から頸部にかけての部位である。頭絡、環状鏡板、引手、手綱を表現する。頭絡には額革の中央と額革、頬革、項革の左右交点の3箇所に4脚の半球状辻金具を表す。鬘は差し込み式で、中間には挟りが入り、前立は板状を呈する。8は前胸から右側胴部にかけての部位である。胸繫、障泥、輪鐙を表現する。胸繫

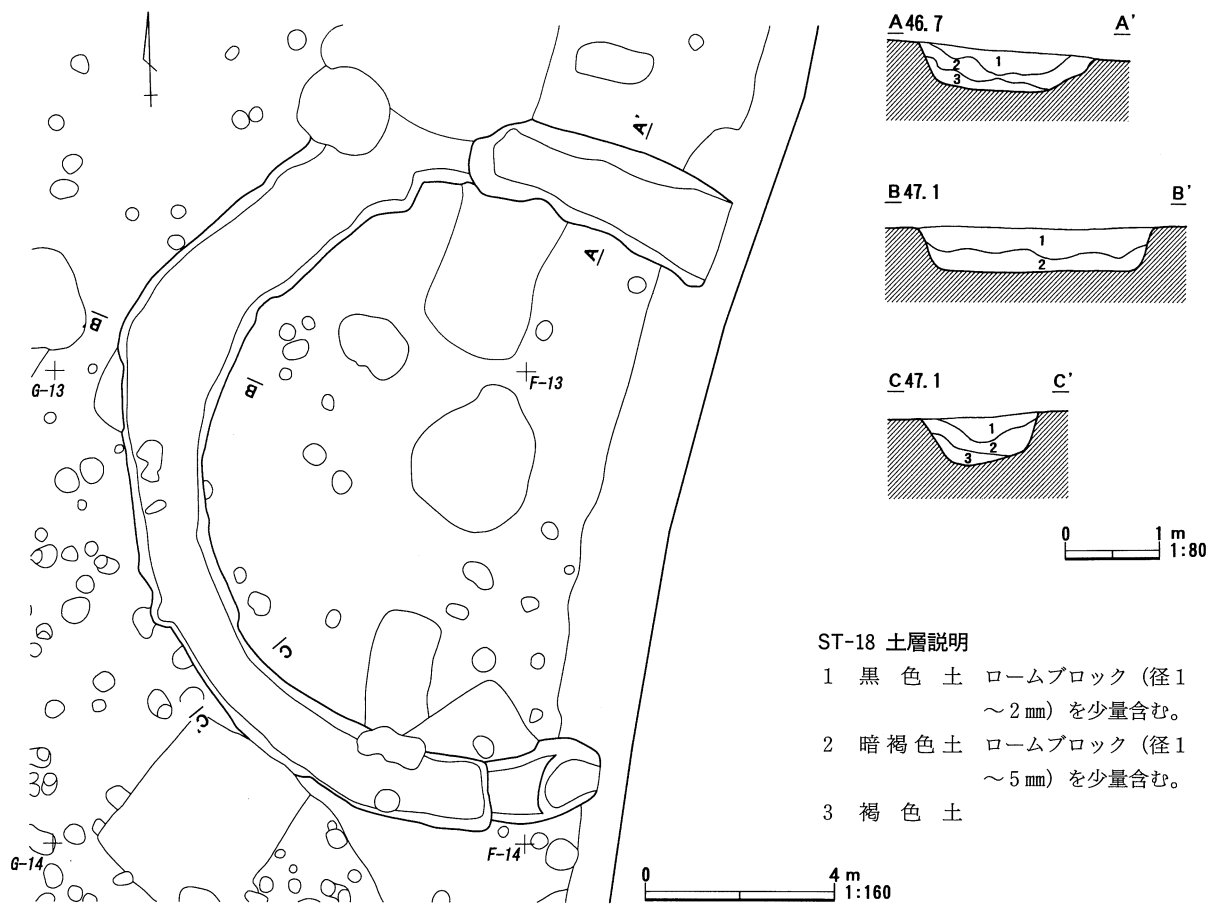


図222 ST-18

には中空成形による大型の鈴が付く。障泥には粘土紐で覆輪と輪鏝を表現する。9は尻の一部である。尻繫を巡らす。雲珠の存在する部位を欠損するが、雲珠から左右と後方の三方に大型の鈴を垂下する。鈴は中空成形による。尾は中空式で大半を欠失する。10は前胸から左足付根にかけての部位で、前胸に円形透孔を認める。11・12は胸ないし胴の一部である。11には繫の革紐の表現が残る。12は繫の革紐と鈴の剝離痕がある。13は鞍橋下端部、14は障泥の隅である。15は背の中央部と考えられ、環状雲珠を表現する。16は尻部から脱落した尾部である。成形は中実式で先端部が槌状を呈し、長い膺をもつ。17・18は鞆である。17は矢筒部上端の背面で、長方形の透孔を穿つ。18は背負板で、下端部に带状の突帯を貼付する。19は大刀の三輪玉である。護拳部から剝離している。

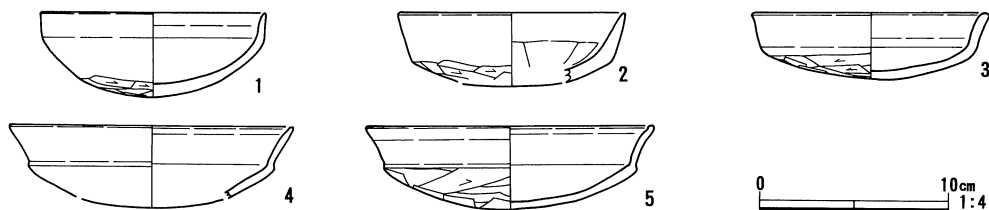


図223 ST-18 土器実測図

ST-18

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	土師器 坏	口径 11.7 底径 — 器高 4.5	深い体部、直立気味に立ち上がる口縁部。底部は丸底。	外面一口縁部ヨコナデ、体部ナデ、底部ヘラケズリ。内面一口縁部ヨコナデ、体部～底部ナデ。	白色粒・褐色粒・角閃石 内外一橙色	2/3。
2	土師器 坏	口径 (11.8) 底径 — 器高 —	体部と口縁部の境に弱い稜線、直線的に外反する口縁部。	外面一口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ。内面一口縁部ヨコナデ、体部ヘラナデ。	白色粒・褐色粒・黒色粒・角閃石 内外一にぶい黄橙色	口縁部～体部 1/4。
3	土師器 坏	口径 12.2 底径 — 器高 3.5	浅い体部、彎曲気味に外反する口縁部。底部は緩やかな丸底。	外面一口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ。内面一口縁部～体部ヨコナデ、底部ヘラナデ。	白色粒・褐色粒・黒色粒・角閃石 内外一灰黄褐色	口縁部 1/3 欠損。
4	土師器 坏	口径 (14.9) 底径 — 器高 —	体部と口縁部の境に弱い段差、彎曲気味に大きく外反する口縁部。	外面一口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ。内面一口縁部ヨコナデ、体部ナデ。	白色粒・褐色粒 内外一橙色	口縁部～体部 1/10。
5	土師器 坏	口径 (15.0) 底径 — 器高 4.3	体部と口縁部の境に弱い段差、彎曲気味に大きく外反する口縁部。底部は緩やかな丸底。	外面一口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ。内面一口縁部ヨコナデ。	白色粒・褐色粒・角閃石 内外一橙色	2/5。

ST-18 円筒・朝顔形埴輪拓影資料観察表

番号	器種	部位	外面調整・ハケ本数	内面調整・ハケ本数	焼成	色調	備考
1	円筒	第3段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm	良好	橙色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
2	円筒	第3段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm	良好	にぶい赤褐色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
3	円筒	第3段	1次タテハケ・11本/2cm	ナナメハケ・15本/2cm	良好	にぶい赤褐色	口唇部端面・内外面、突帯ヨコナデ。
4	円筒	第3段	1次タテハケ・6本/2cm	ナナメハケ・6本/2cm	良好	橙色	角閃石を含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
5	円筒	第3段	1次タテハケ・6本/2cm	タテハケ・6本/2cm	良好	橙色	角閃石を含む。
6	円筒	第2・3段	1次タテハケ・8本/2cm	タテハケ・7本/2cm 及びナナメハケ	良好	明赤褐色	角閃石を含む。内面指頭圧痕。 突帯ヨコナデ。円形透孔。
7	円筒	第2・3段	1次タテハケ・9本/2cm	ナナメハケ・9本/2cm タテナデ及びナナメナデ	良好	橙色	角閃石を含む。内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。円形透孔。
8	円筒	第1・2段	1次タテハケ・6本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm 及びナナメナデ	良好	橙色	角閃石を含む。突帯ヨコナデ。 円形透孔。
9	円筒	第2・3段	1次タテハケ・6本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm	良好	明赤褐色	角閃石を含む。突帯ヨコナデ。 円形透孔。
10	円筒	第2・3段	1次タテハケ・5本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm 及びナナメナデ	良好	橙色	角閃石を含む。内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。円形透孔。
11	円筒	第2・3段	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメハケ・14本/2cm 及びナナメナデ	良好	橙色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
12	円筒	第2段	1次タテハケ・6本/2cm	ナナメハケ・6本/2cm 及びタテナデ	良好	橙色	角閃石を含む。突帯ヨコナデ。 円形透孔。
13	円筒	第2・3段	1次タテハケ・11本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm	良好	明赤褐色	角閃石を含む。突帯ヨコナデ。 円形透孔。
14	円筒	第2・3段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm	良好	橙色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
15	円筒	第2・3段	1次タテハケ・6本/2cm	タテナデ・9本/2cm 及びナナメナデ	良好	橙色	角閃石を含む。突帯ヨコナデ。 円形透孔。

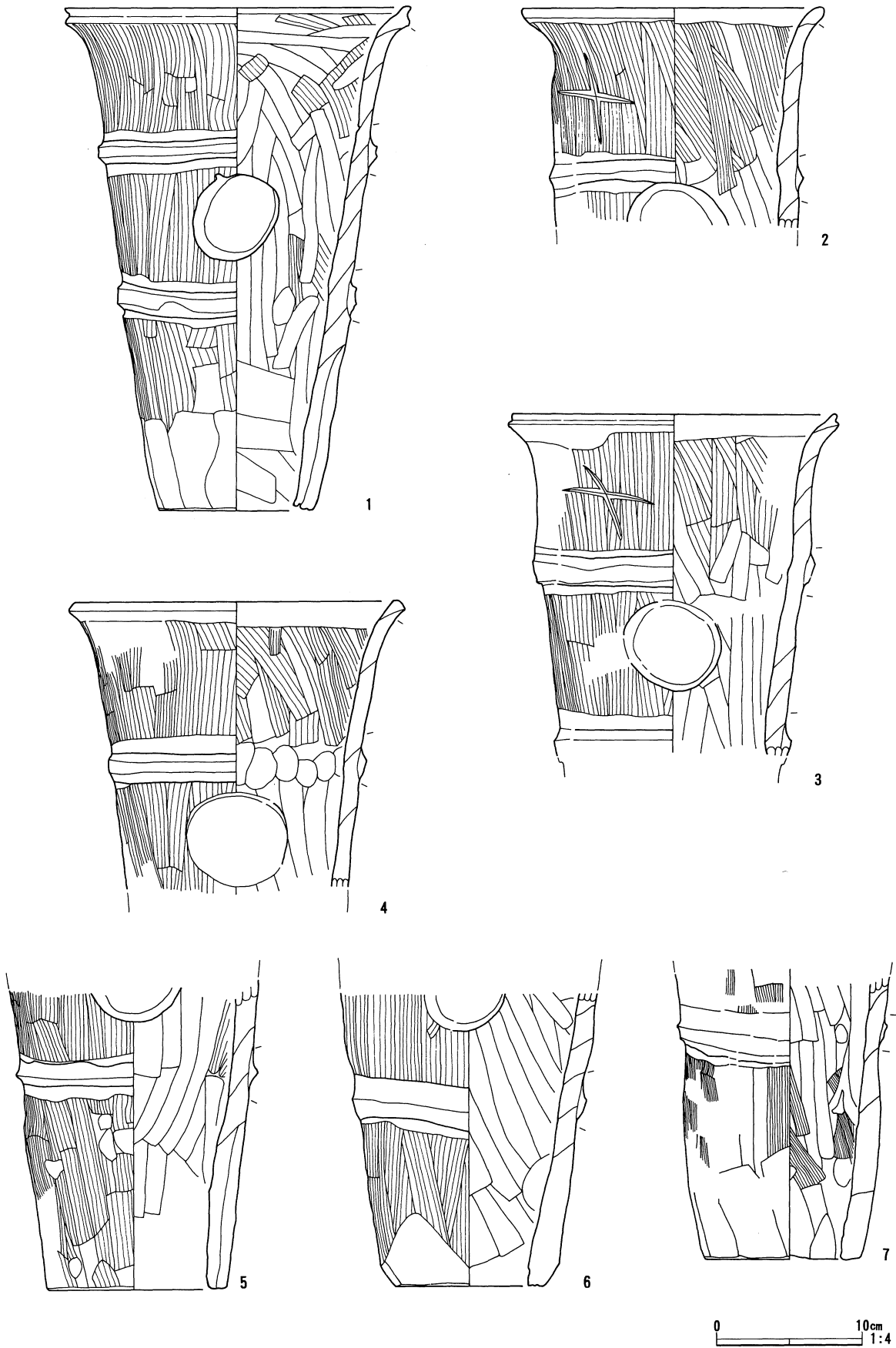


图224 ST-18 円筒埴輪実測図

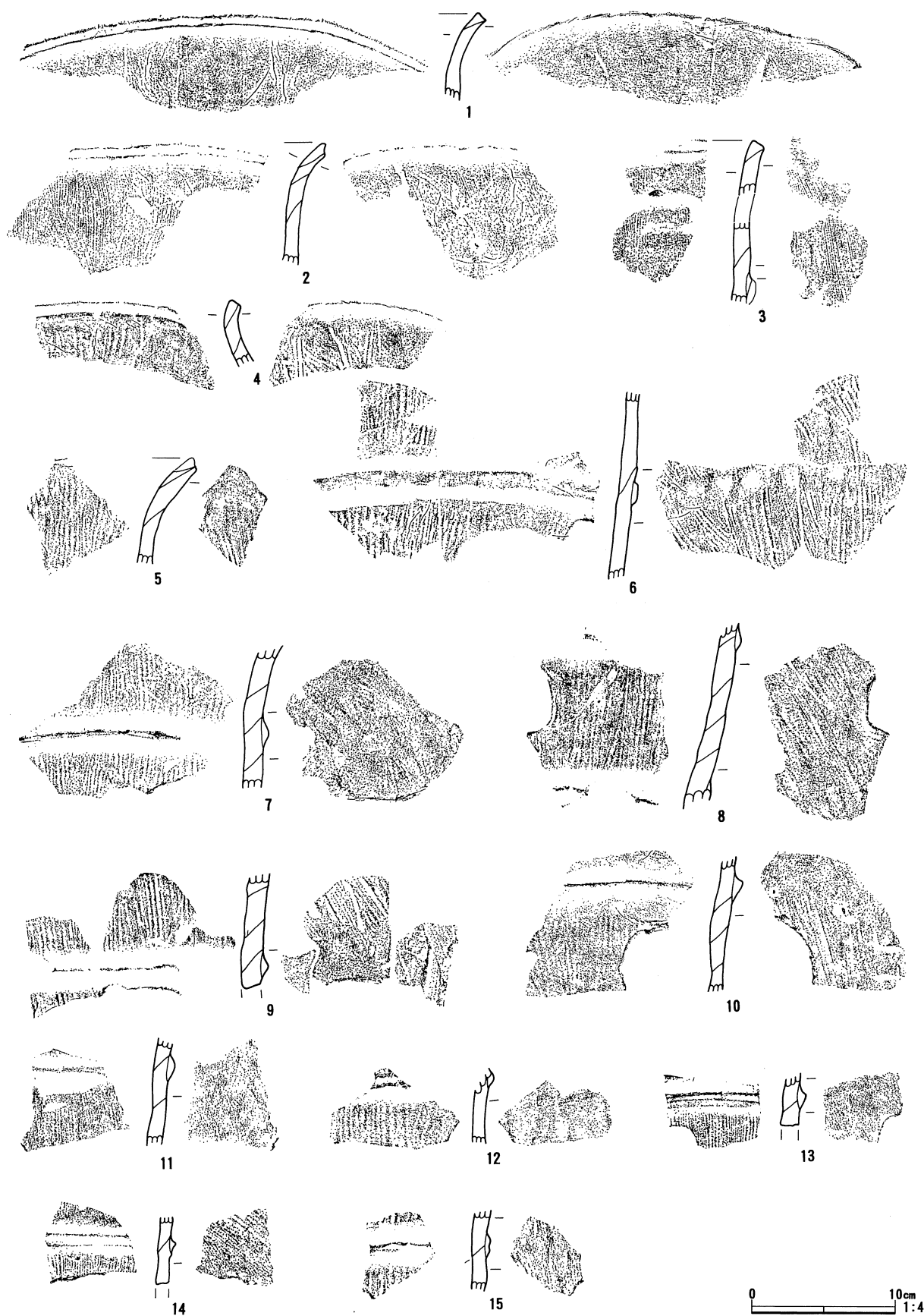


图225 ST-18 円筒埴輪拓影图 (1)

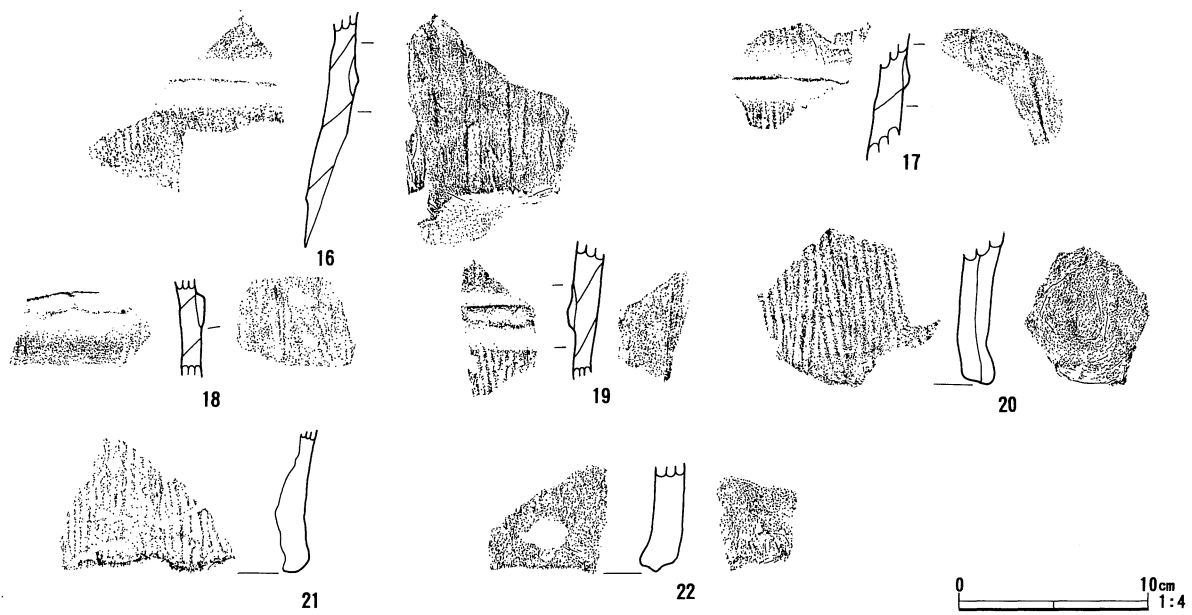


図226 ST-18 円筒埴輪拓影図 (2)

16	円筒	第1・2段	1次タテハケ・表面摩滅	タテナデ及びヨコナデ	良好	橙	色	角閃石を含む。 突帯ヨコナデ。
17	円筒	第1・2段	1次タテハケ・5本/2cm	タテナデ	良好	橙	色	角閃石を含む。 突帯ヨコナデ。
18	円筒	第1・2段	1次タテハケ・6本/2cm	タテナデ・6本/2cm 及びナメハケ	良好	橙	色	角閃石を含む。 突帯ヨコナデ。
19	円筒	第1・2段	1次タテハケ・6本/2cm	ナメナデ	良好	橙	色	角閃石を含む。 突帯ヨコナデ。
20	円筒	第1段	1次タテハケ・4本/2cm	タテナデ及びナメナデ	良好	橙	色	角閃石を含む。
21	円筒	第1段	1次タテハケ・5本/2cm	剥離	良好	橙	色	角閃石を含む。
22	円筒	第1段	1次タテハケ・表面摩滅	タテナデ及びナメナデ	良好	明赤	褐色	底部木目圧痕。

ST-18 形象埴輪観察表

No.	器種	部位・形態の特徴	成形・調整手法の特徴	焼成	色調	備考	
1	人物	男子頭部～肩部。頭頂に孔。 鉢巻状の突帯を巡らす。	頭部は輪積成形。外面一ハケ及 びナデ。内面一ナデ。	良好	橙	色	砂粒を多く含む。
2	人物	頭頂部。	輪積成形。 内外面一ナデ。	良好	橙	色	
3	人物	右顔面部。耳環を表現。 目孔、耳孔あり。	頭部本体に粘土板を貼付して顔 面の輪郭を成形。内外面一ナデ。	良好	橙	色	
4	人物	男子の下げ美頭良。蝶形の緒を 表現。	ナデ。	良好	橙	色	
5	人物	腕の一部。	中実成形。 ナデ。	良好	橙	色	砂粒を多く含む。
6	人物	腕の一部。	中実成形。 ナデ。	良好	橙	色	砂粒を多く含む。

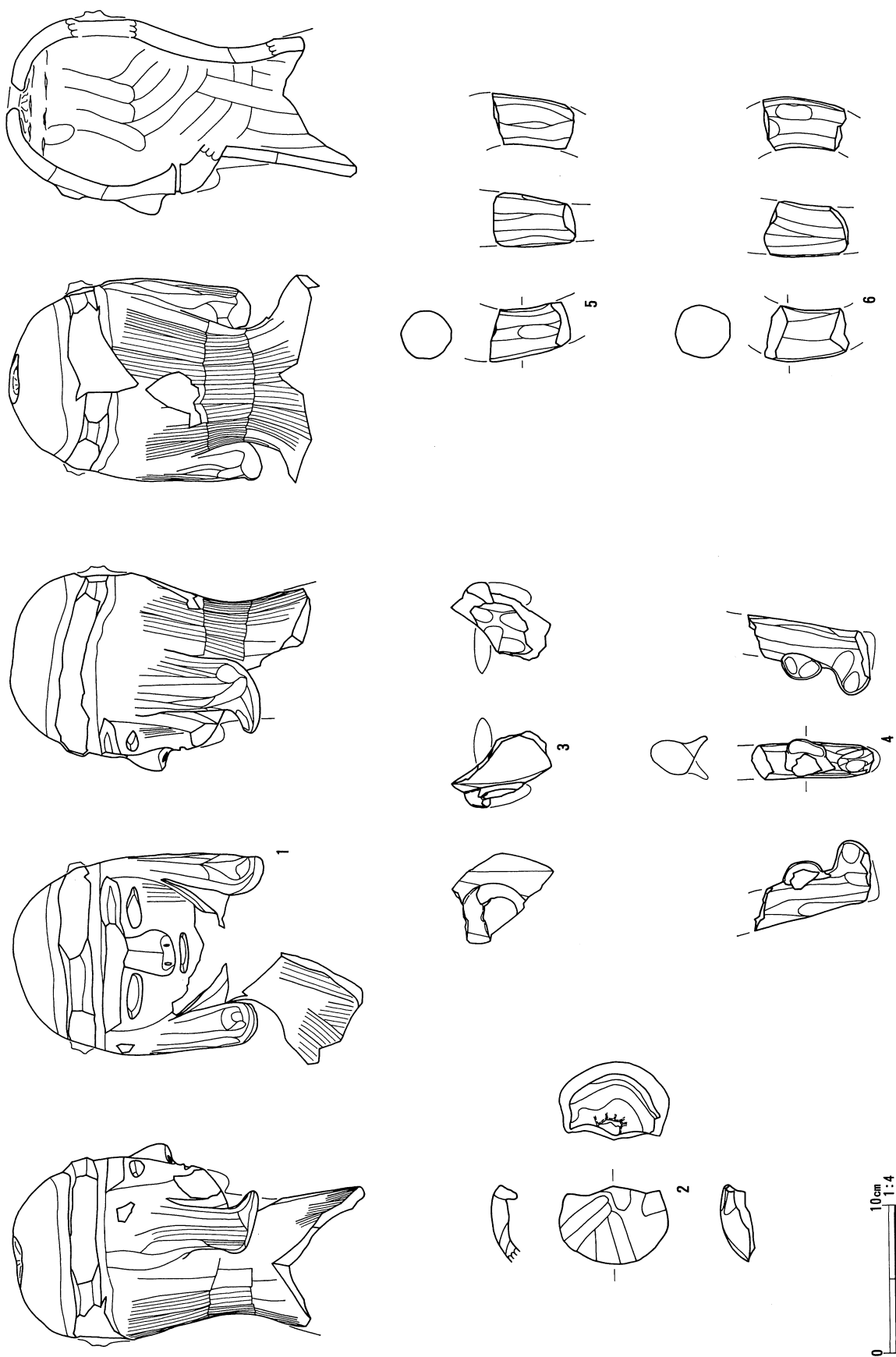


图227 ST-18 形象植輪表測图 (1)

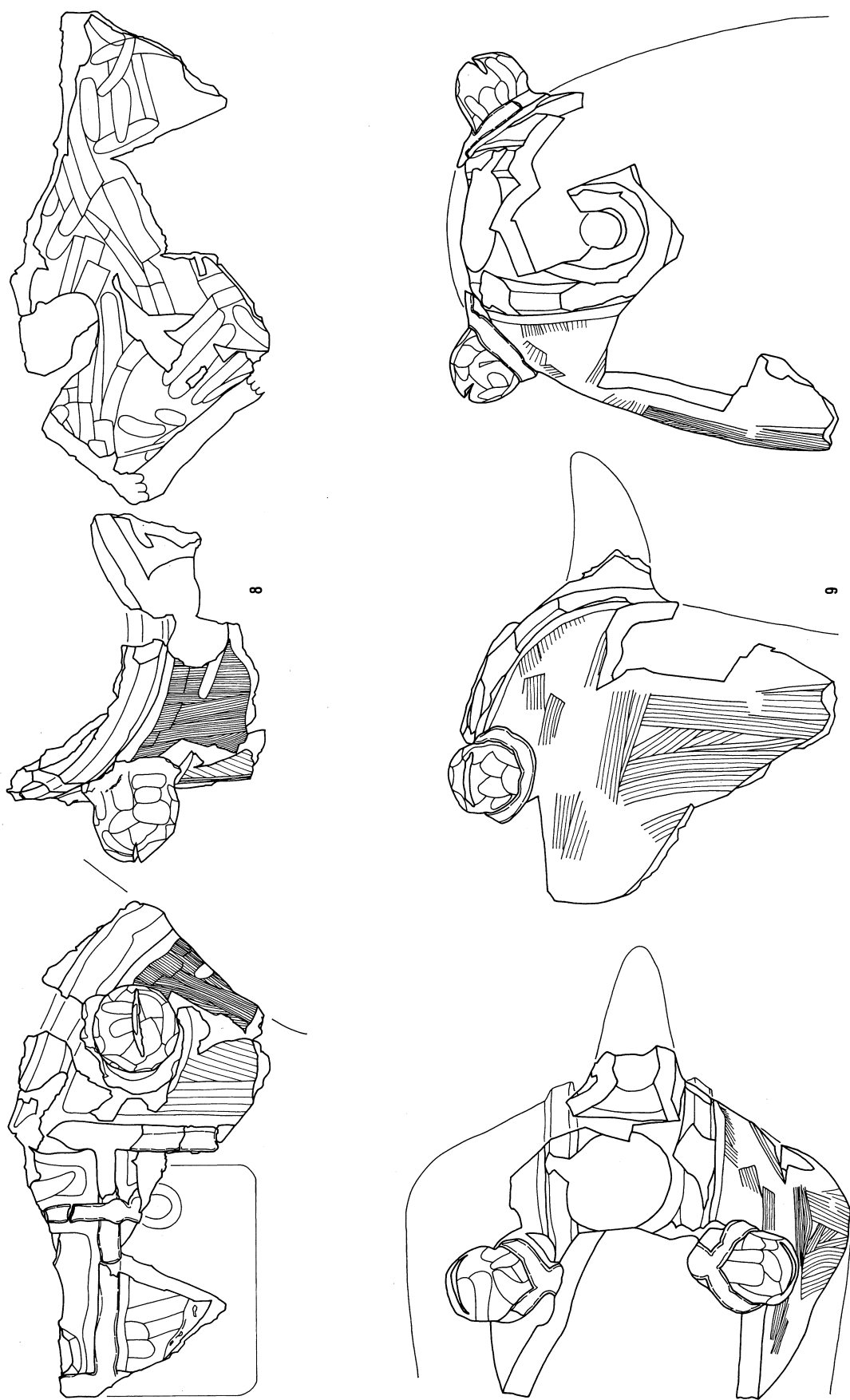


图228 ST-18 形象埴輪実測図 (2)

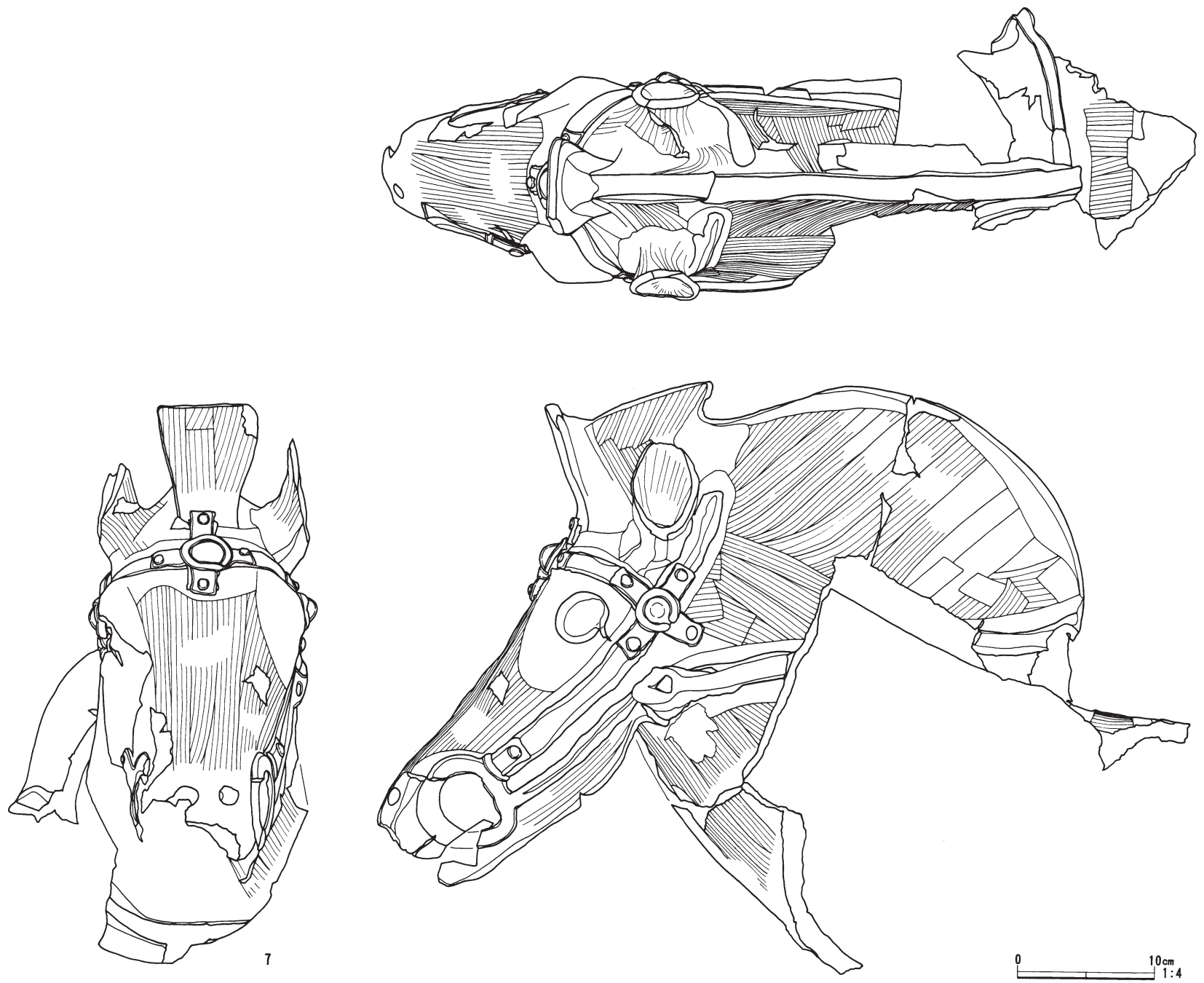


图229 ST-18 形象埴輪実測図 (3)

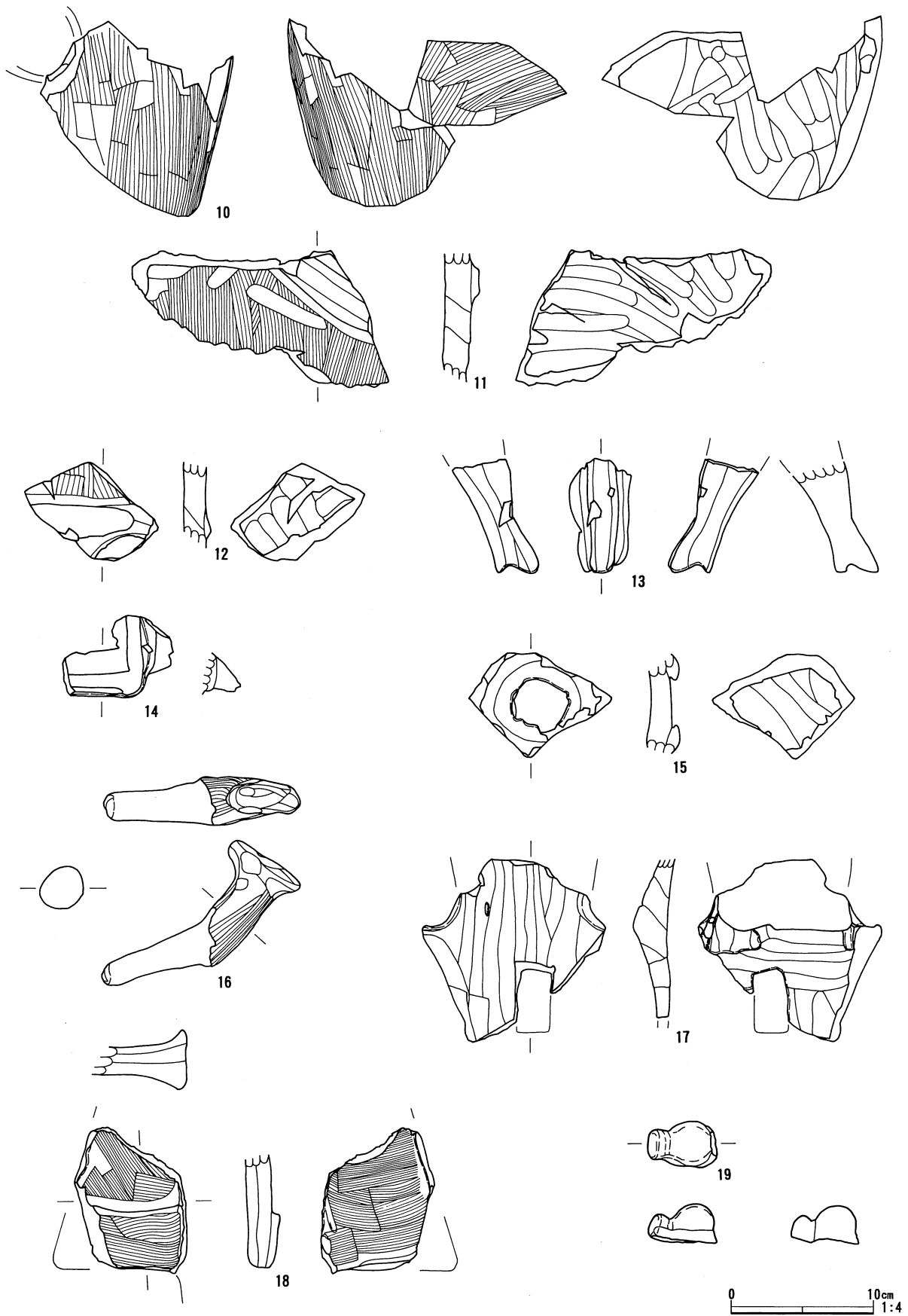


图230 ST-18 形象埴輪実測图 (4)

7	馬	頭部。頭絡、環状鏡板、引手、手綱を表現。前立は板状。	鬘は差込式。外面一ハケ及びナデ。内面一ナデ。	良 好	橙 色	
8	馬	前胸～右側障泥。胸繫に大型の鈴を貼付。障泥上に輪鏝を表現。	鈴は中空成形。外面一ハケ及びナデ。内面一ナデ。	良 好	橙 色	
9	馬	尻部。尻繫の左右に大型の鈴を貼付。尾の付根の鈴剝離。	外面一ハケ及びナデ。内面一ナデ。	良 好	橙 色	
10	馬	前胸～左脚の付根。前胸に円形透孔。	外面一ハケ。内面一ナデ。	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。
11	馬	胴部。尻繫ないし胸繫の一部が残る。	外面一ハケ及びナデ。内面一ナデ。	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。
12	馬	胸ないし胴の一部。繫と鈴、剝離。	外面一ハケ及びナデ。内面一ナデ。	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。
13	馬	鞍橋の下端部。胴部から剝離。繫の表現なし。	ナデ。	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。
14	馬	障泥下側の角部。覆輪剝離。	表面一ナデ。裏面一剝離痕。	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。
15	馬	背部。環状雲珠の表現か。	外面一ナデ。内面一ナデ。	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。
16	馬	尾部。先端槌状。長い臍。ソケット式に挿入された臍が離脱。	ナデ。	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。
17	鞞	鞞本体の上部後側。中央に方形透孔。	外面一ハケ及びナデ。内面一ナデ。上部に板の剝離痕。	良 好	橙 色	
18	鞞	左下段背負板。下端に帯状の縁取り。	表面一ハケ及びナデ。裏面一ハケ。	良 好	明 赤 褐 色	
19	大 刀	三輪玉。勾草から剝離。	表面一ナデ。裏面一剝離痕。	良 好	に ぶ い 橙 色	

ST-19 (図231)

位置：G-10～13、H-10～14、I-10～14グリッドに位置する。

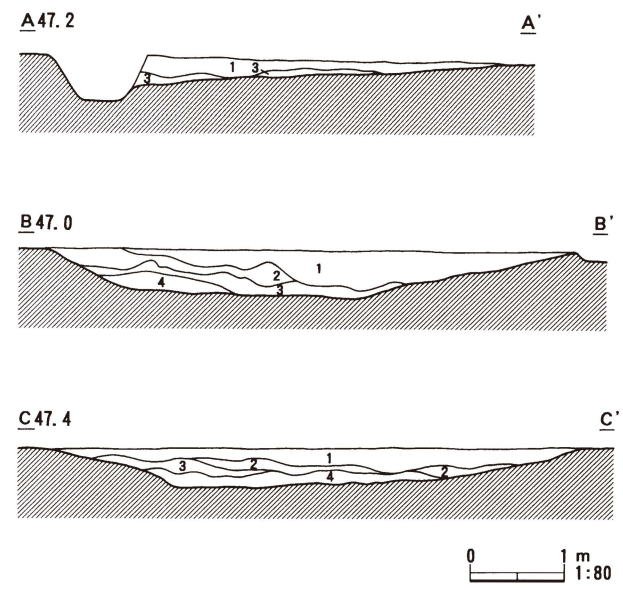
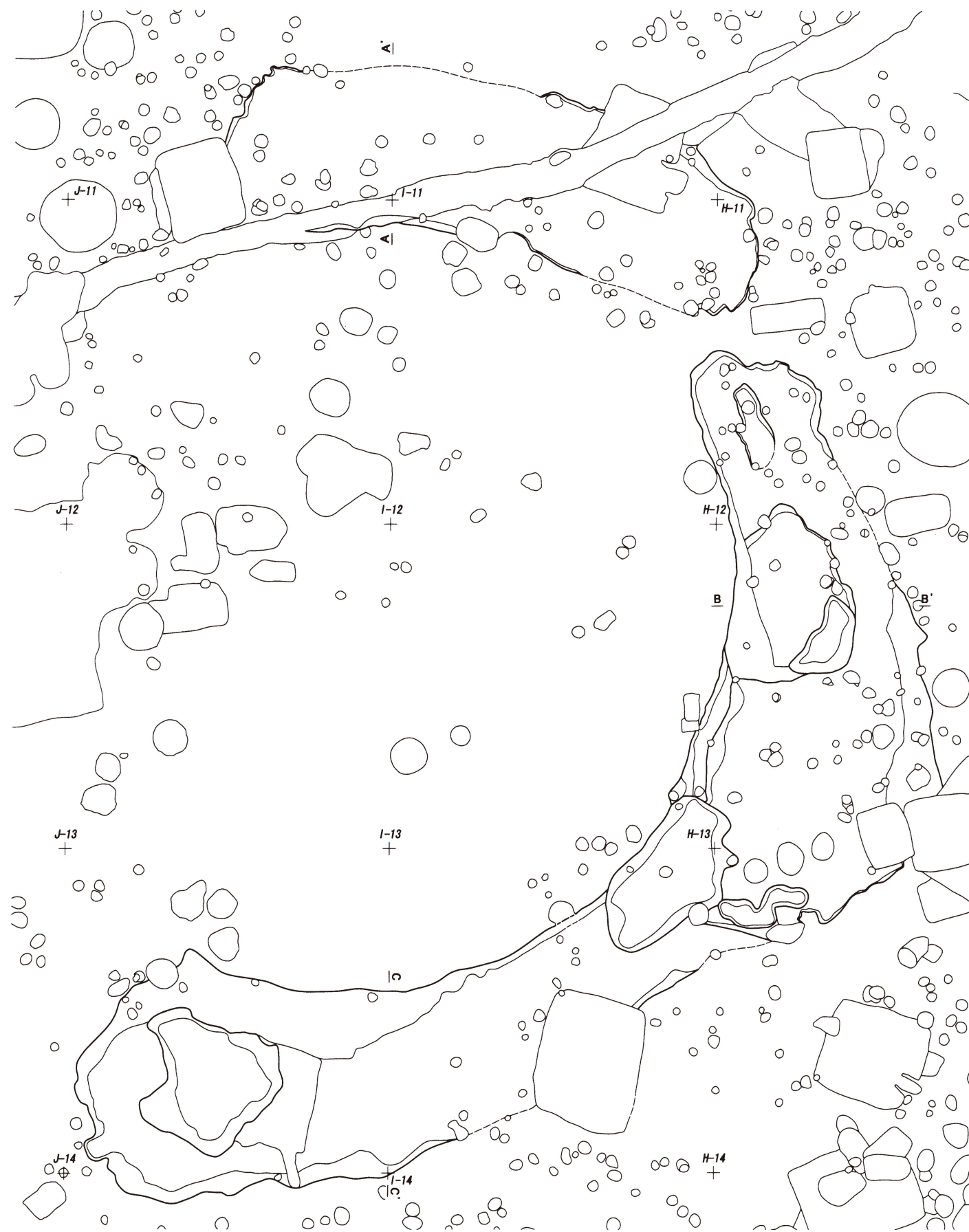
形状：墳形は、周堀が全周しないため確実ではないが、西側に隣接する ST-20との位置的な関係から、円形を呈するものと推定できる。古代、中世の遺構により、墳丘、周堀とも各所で攪乱を被っている。周堀は完存せず、東側 2/3 程度を確認するとどまった。表土層がきわめて薄い地点であることから、周堀西側は耕作により失われている可能性が高い。残存する周堀も状態の不良な箇所が多く、立ち上がりを失っている部位も存在する。埋没谷に面することで地形的条件に規制される北側の周堀は若干の歪みを生じているが、その他の周堀内側の立ち上がりは、ほぼ整円のラインを描いている。

北東側で 1 箇所、ブリッジ状に途切れる箇所が存在する。周堀外側立ち上がりは不整形に蛇行し、南側と東側は幅が広がっている。周堀断面形は緩やかな船底形を呈する。周堀内は各所に不整形の落ち込みを認め、とくに南側の幅広部分の中央には確認面から 1.5m ほど不整形に掘り込まれる箇所が存在する。

周堀覆土は 2 層に大別され、上層にロームブロック、白色パミス少量含む黒色土、下層にロームブロック、白色粘質土ブロックを含む黒褐色土の堆積を認める。

規模：周堀全周が遺存しないため正確な規模は明らかではないが、残存の範囲で周堀内径約 24.0m、周堀外径 34.0m、幅 3.7～7.0m、深さ 10～150cm を測る。

遺物：周堀確認面上層で円筒埴輪、形象埴輪を検出したほか、周堀覆土から円筒埴輪の細片を若干量出土した。



ST-19 土層説明

- 1 黒色土 ロームブロック(径1~2mm)、白色パミス(径1~2mm)を少量含む。
- 2 黒色土 ロームブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック(径1~5mm)、白色粘質土ブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 4 黒褐色土 白色粘質土ブロック(径1~5mm)を多量に含む。

図231 ST-19

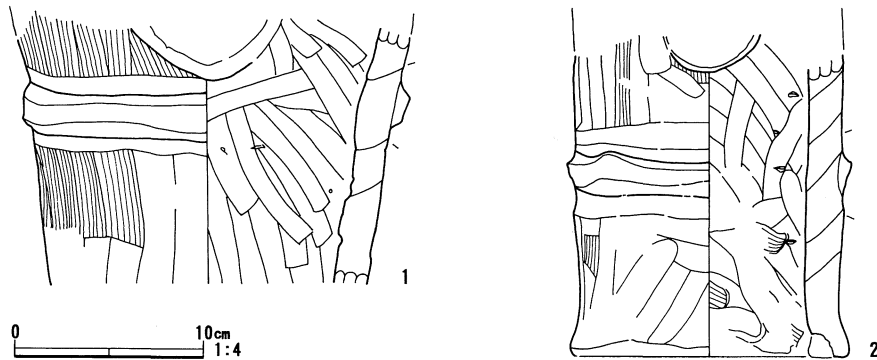


図232 ST-19 円筒埴輪実測図

円筒埴輪は、微細な破片が多く、図化できる個体が少ない。朝顔形埴輪を確認できないが、2は寸胴の器形からしてその可能性も考えられる。

形象埴輪は家、人物、馬、器財を確認できる。

1～7は家である。1～6は屋根の一部で、1には波状の線刻が、2・4～6には三角文の線刻が観察される。3にも直線的な線刻が認められ、同様に三角文をなすものと考えられる。7は壁体基部と考えられる。横方向に緩やかに彎曲し、下端に幅広の突帯を巡らせて、突帯上に円形付文を貼付する。8～18は人物である。8～11は、いずれも大型人物の顔面から側頭の一部で、9・10は耳環を表現する。12は大型人物の首から前胸にかけての部位で、左衽盤領依の襟と合目を表現する。13・14は胴部で、13には手の平の剥離痕がある。14には上衣裾部の剥離痕を認める。16は大型双脚人物の右踵部と台部である。15は大刀柄部、17は籠手、18は首飾の円形付文でいずれも人物本体から剥離した部品である。19～38は馬である。19は耳20・21は鬣で21には手綱が表現される。22～25は鞍橋の一部で、24・25には下端部に繫を表現する。26～29は障泥の一部で、26～28には鐙の剥離痕を認める。29は斜め方向に1条の線刻があり、縁辺部にはヘラ先刺突による列点で覆輪を表現する。30～32は胸の一部で飾金具のつく胸繫の表現がある。33は繫から剥離した飾金具で、方形の地板の四隅に円形付文で鉾を表す。34は尻の一部で、尻繫が剥離している。35は尾である。上方へ緩やかに屈曲し、中位に刺状の突起を表す。中空成形による。36は脚下端部である。37・38は鈴で中実成形による。39～43は大刀である。39～41は護拳部で、39・40には三輪玉を表現する。42・43は梯形柄頭の一部である。44～50は鞆である。いずれも背負板の一部で、45には線刻がある。

ST-19 形象埴輪観察表

No.	器種	部位・形態の特徴	成形・調整手法の特徴	焼成	色調	備考
1	家	屋根部。ほぼ平板。波状の線刻。	外面—ハケ 内面—剥離	良好	橙色	砂礫を多く含む。 角閃石を含む。
2	家	屋根部。三角文の線刻。	外面—ハケ 内面—ヘラナデ	良好	橙色	砂礫を多く含む。 角閃石を含む。
3	家	屋根部。線刻あり。	外面—ハケ 内面—ヘラナデ	良好	橙色	砂礫を多く含む。 角閃石を含む。
4	家	屋根部。三角文の線刻。	外面—ハケ 内面—ハケ	良好	にぶい褐色	砂礫を多く含む。 角閃石を含む。
5	家	屋根部。三角文の線刻。	外面—ハケ 内面—ハケ	良好	橙色	砂礫を多く含む。 角閃石を含む。

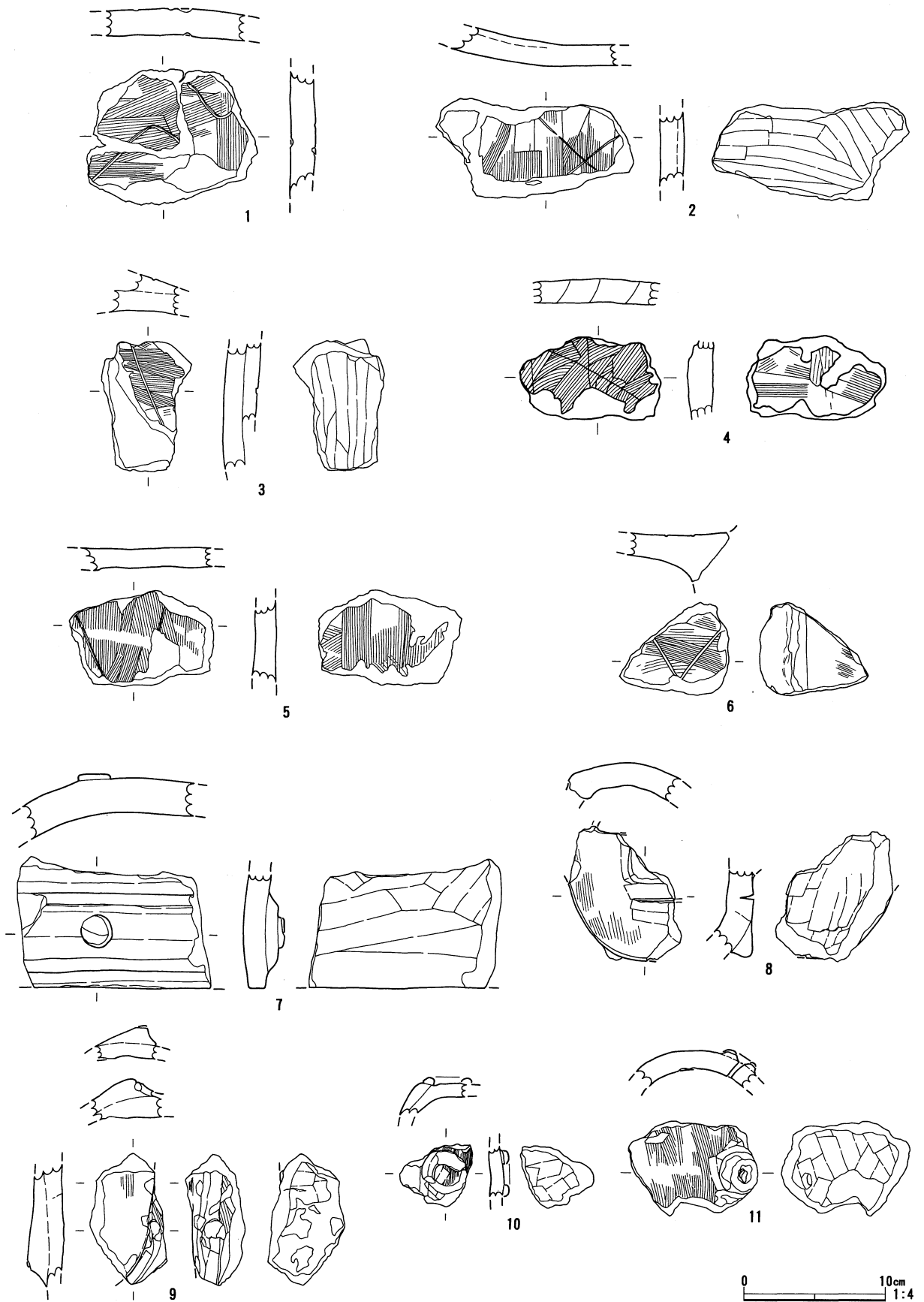


图233 ST-19 形象埴輪実測図 (1)

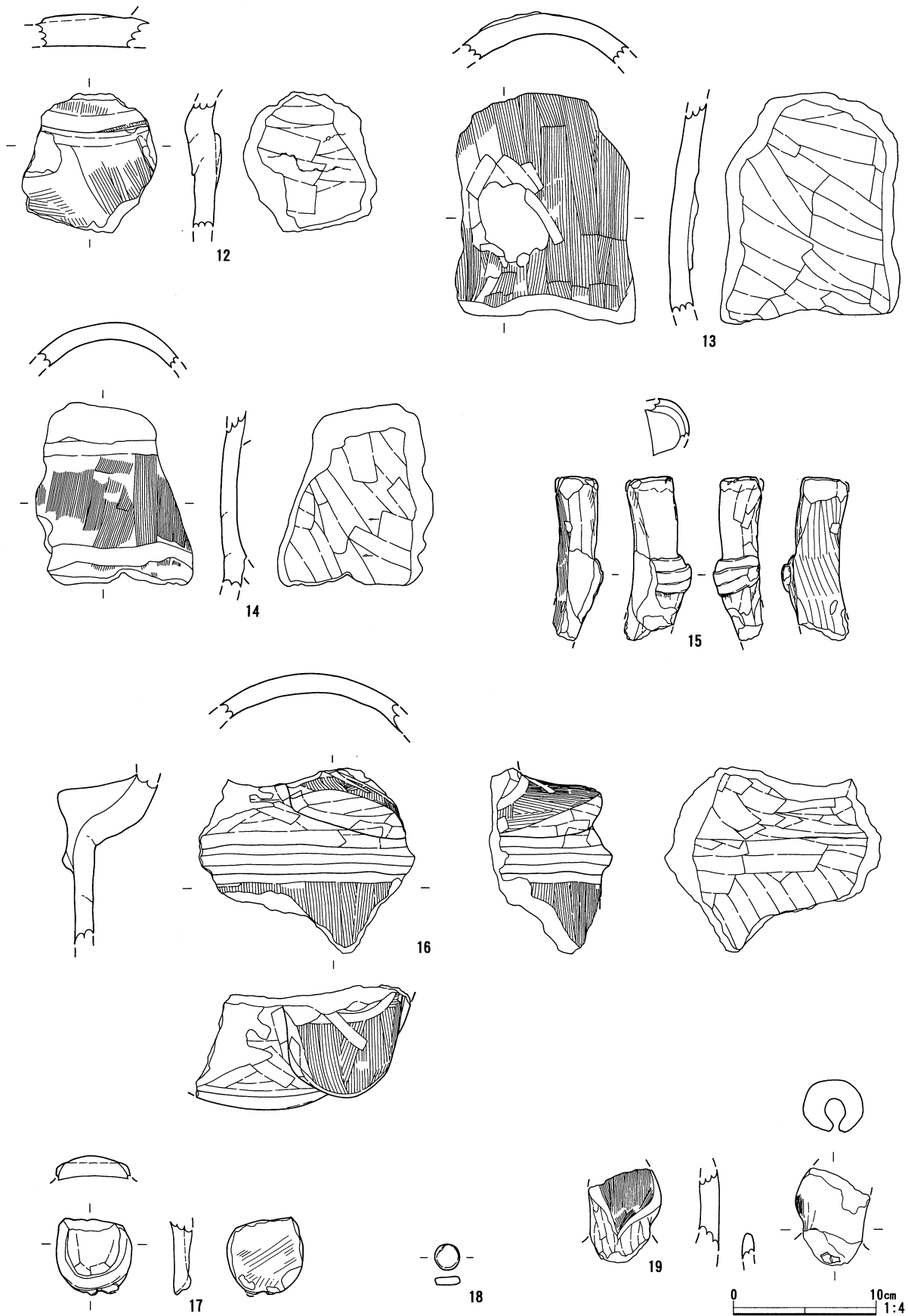


图234 ST-19 形象埴輪実測図 (2)

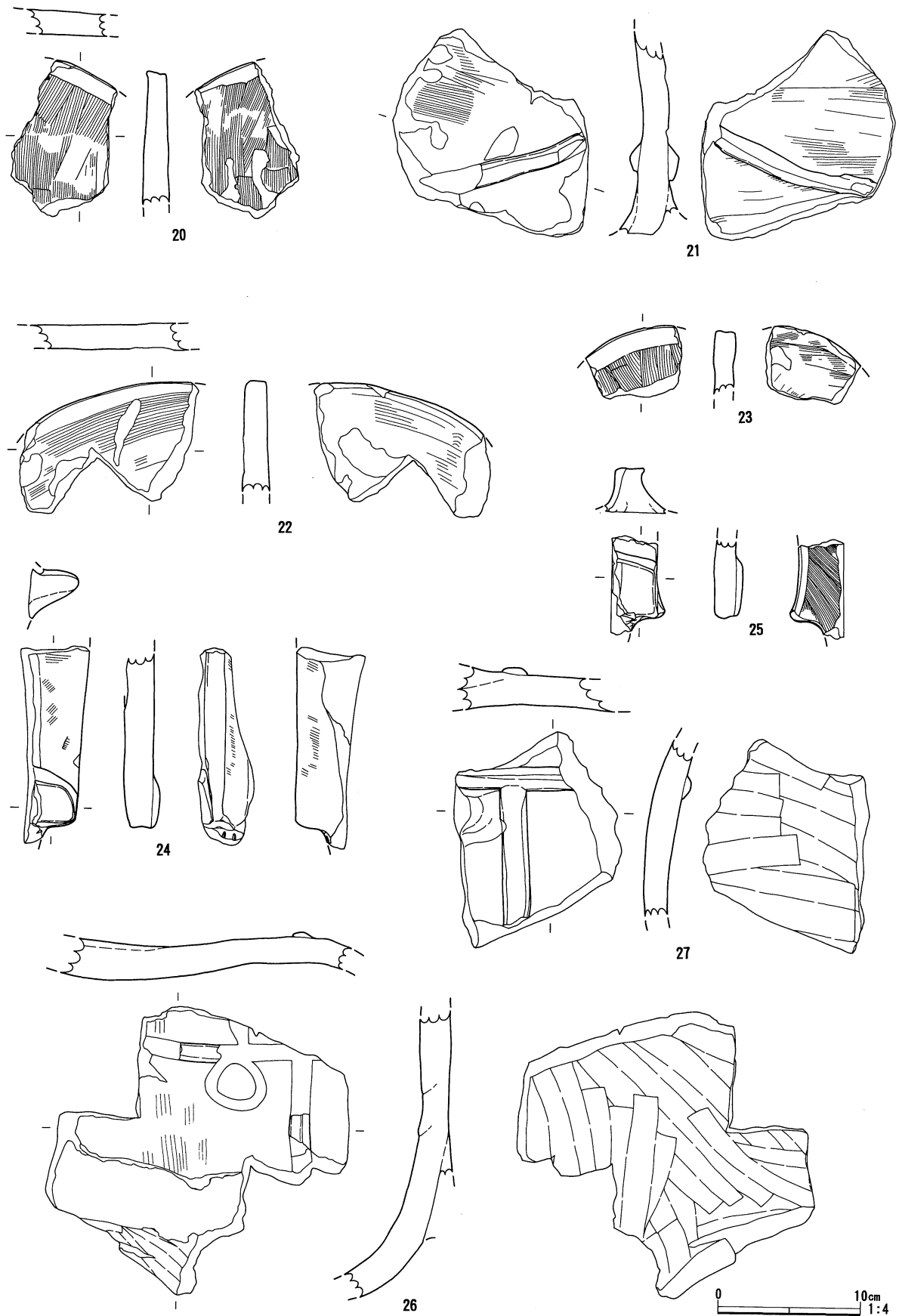


图235 ST-19 形象埴輪実測図 (3)

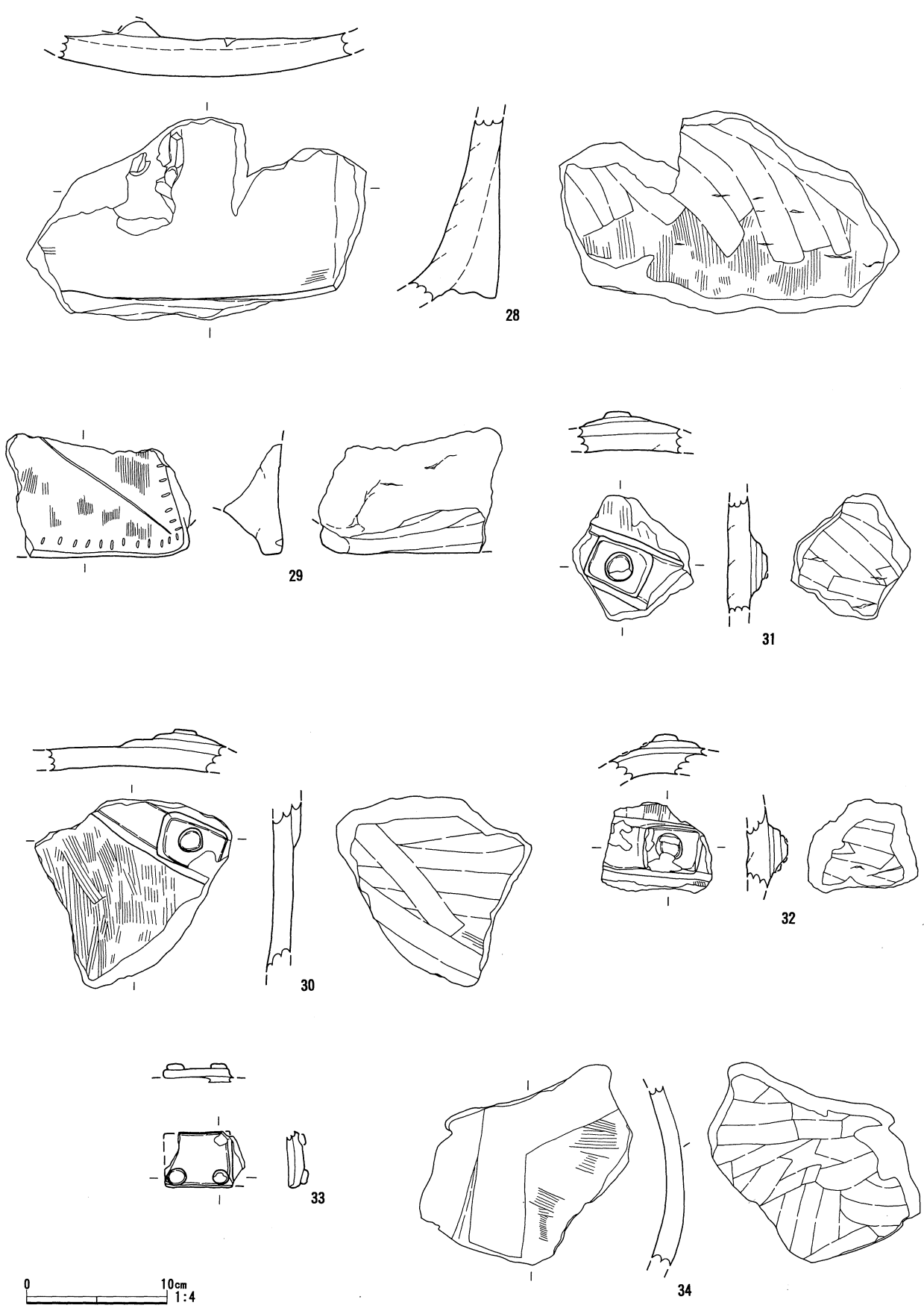


图236 ST-19 形象埴輪実測图 (4)

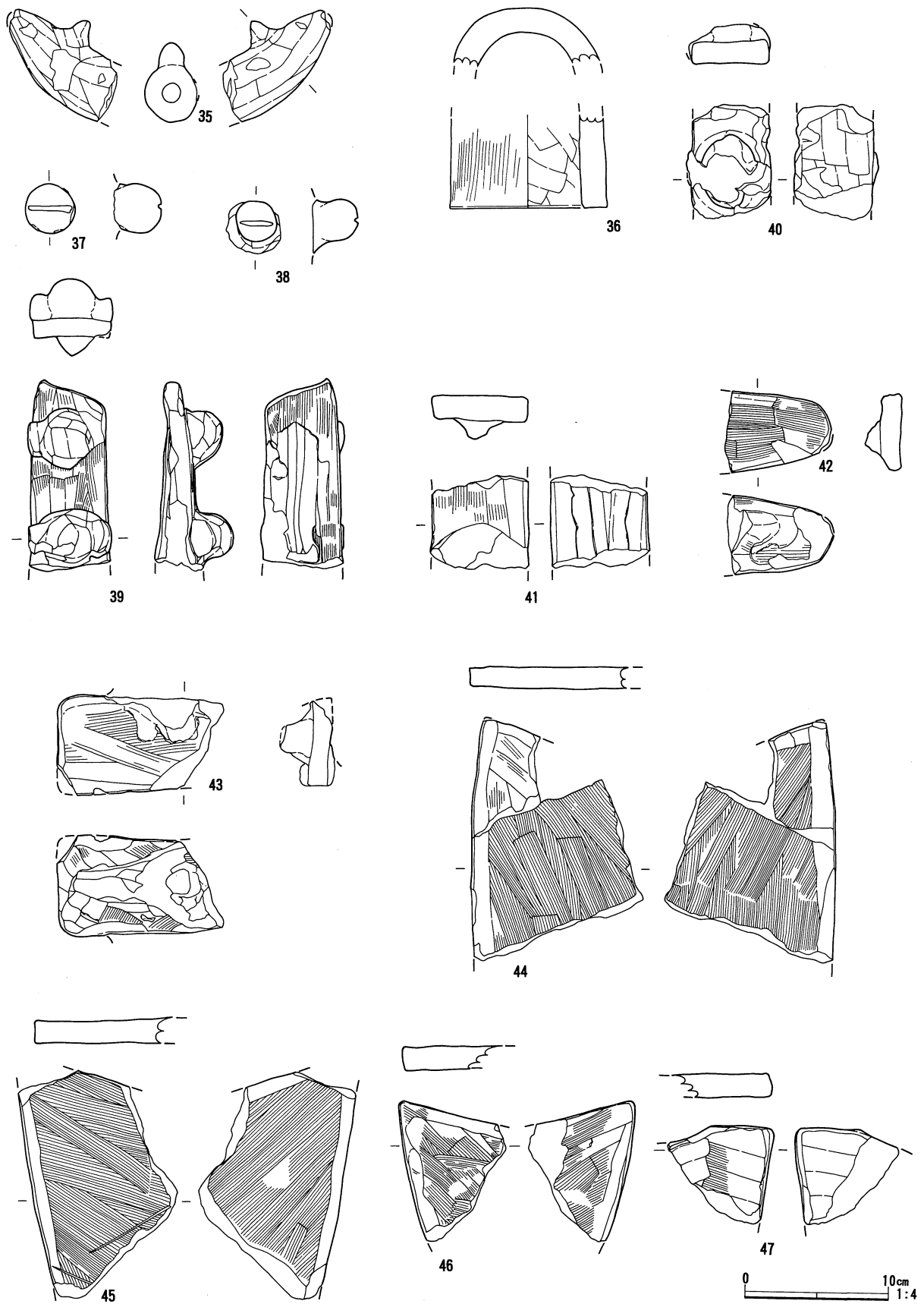


图237 ST-19 形象埴輪実測图 (5)

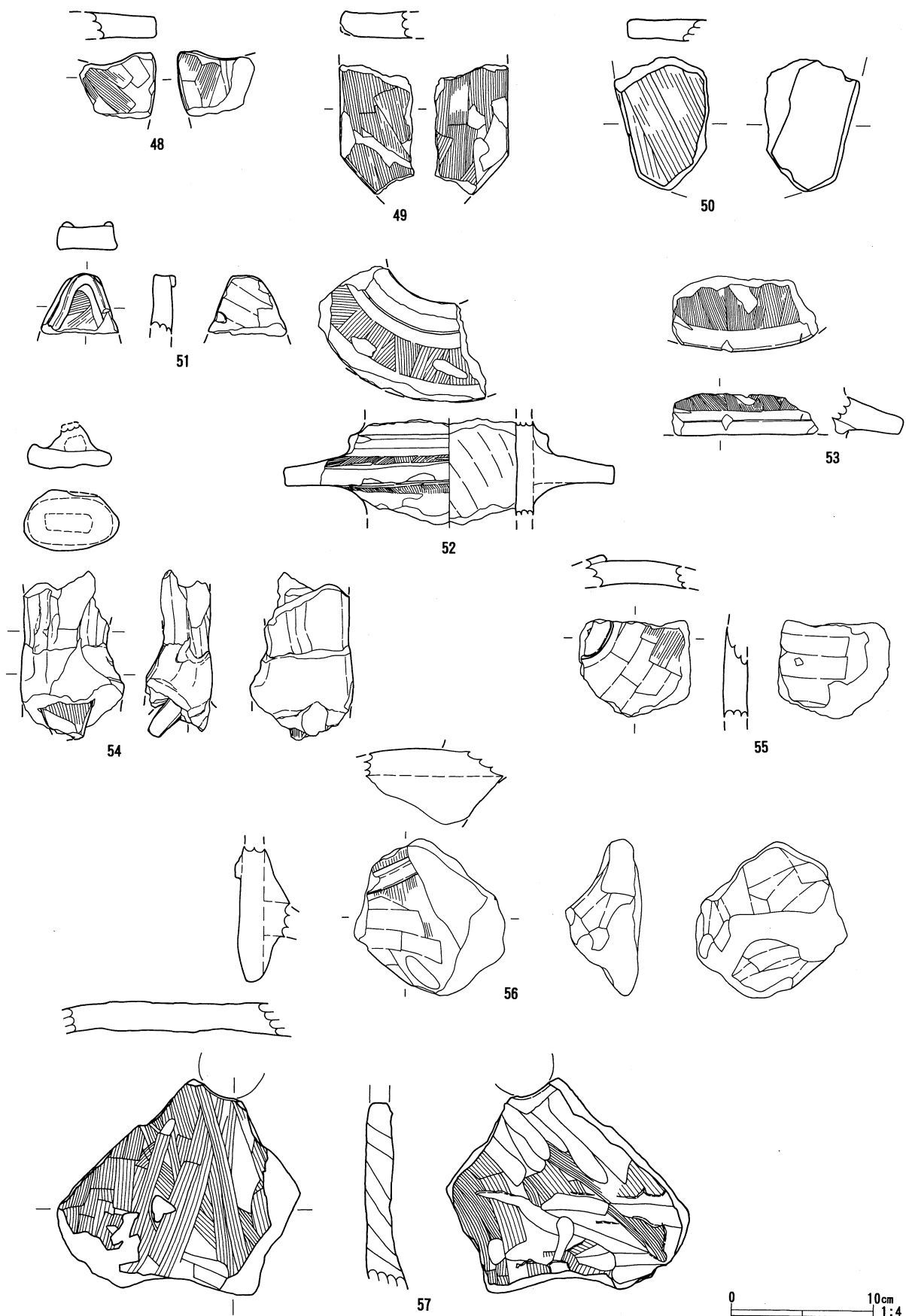


图238 ST-19 形象埴輪実測図 (6)

6	家	屋根部。三角文の線刻。	外面一ハケ 内面一ハケ	良 好	橙 色	砂礫を多く含む。
7	家	壁の基部か。幅広の突帯。 円形付文あり。	外面一ナデ 内面一ナデ	良 好	橙 色	砂礫を多く含む。
8	人 物	大型人物の右側顔面部。 幅狭の口。	外面一ハケ及びナデ。 内面一ナデ。	良 好	明 赤 褐 色	礫・角閃石を含む。
9	人 物	大型人物の左側顔面部。耳環を 表現。	外面一ハケ及びナデ。 内面一ナデ。	良 好	橙 色	礫・角閃石を含む。
10	人 物	左側顔面～側頭部。耳環を表現。	外面一ハケ及びナデ。 内面一ナデ。	良 好	橙 色	礫・角閃石を含む。
11	人 物	右側頭～後頭部。耳、耳孔を立 体的に表現。	外面一ハケ。 内面一ヘラナデ。	良 好	橙 色	礫・角閃石を含む。
12	人 物	頸～胸部。左衽盤領衣の襟と合 目を表現。	外面一ハケ。 内面一ヘラナデ。	良 好	橙 色	礫・角閃石を含む。
13	人 物	胴部。手の平の剝離痕あり。	外面一ハケ。 内面一ヘラナデ。	良 好	橙 色	礫を含む。
14	人 物	胴部。裾部の剝離痕あり。	外面一ハケ。 内面一ヘラナデ。	良 好	にぶい赤褐色	礫を含む。
15	人 物	人物に付属する大刀の柄部。 本体から剝離。	表面一ハケ。 裏面一剝離	良 好	橙 色	礫・角閃石を含む。
16	人 物	大型双脚人物の右踵部。 台部は横長楕円形。	外面一ハケ。 内面一ヘラナデ。	良 好	橙 色	礫・角閃石を含む。
17	人 物	籠手部。本体から剝離。	表面一ナデ。 裏面一剝離。	良 好	橙 色	
18	人 物	頸飾の一部。円形付文。本体か ら剝離。	外面一ナデ。	良 好	橙 色	
19	馬	耳部分。	外面一ハケ及びナデ。 内面一ハケ。	良 好	橙 色	
20	馬	鬣の一部。 手綱の表現なし。	ハケ及びナデ。	良 好	橙 色	礫・角閃石を含む。
21	馬	鬣の前輪寄り部分。左右の手綱 を表現。	ハケ。	良 好	明 赤 褐 色	礫・角閃石を含む。
22	馬	鞍橋の一部。 繫の表現なし。	ハケ。	良 好	橙 色	礫・角閃石を含む。
23	馬	鞍橋の一部。 繫の表現なし。	外面一ハケ。 内面一ハケ。	良 好	橙 色	礫・角閃石を含む。
24	馬	鞍橋の右下端部。ヘラ先刺突で 障泥覆輪を粘土紐で尻繫を表現。	外面一ハケ。 内面一ハケ。	良 好	明 褐 色	砂粒を多く含む。 角閃石を含む。
25	馬	鞍橋の右下端部。幅広の粘土紐 で尻繫を表現。本体から剝離。	外面一ナデ。 内面一ハケ。	良 好	明 褐 色	砂粒を多く含む。 角閃石を含む。
26	馬	右側障泥から腹部。輪鐙の剝離 痕あり。	外面一ハケ。 内面一ナデ	良 好	明 褐 色	砂粒を多く含む。 角閃石を含む。表面摩滅。
27	馬	障泥の一部。T字状の突帯あり。	外面一ナデ。 内面一ナデ。	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。 角閃石を含む。
28	馬	障泥の一部。鐙の剝離痕あり。	外面一ハケ後ナデ。 内面一ナデ。	良 好	明 褐 色	砂粒を多く含む。 角閃石を含む。
29	馬	障泥の一部。ヘラ先刺突で覆輪 を表現。斜め方向の線刻あり。	外面一ハケ。 裏面一剝離。	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。 角閃石を含む。
30	馬	右側胸部。飾金具の付く胸繫の 表現あり。	外面一ハケ。 内面一ナデ。	良 好	明 褐 色	砂粒を多く含む。 角閃石を含む。
31	馬	胸の一部。飾金具の付く胸繫の 表現あり。	外面一ハケ。 内面一ナデ。	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。 角閃石を含む。
32	馬	胸の一部。飾金具の付く胸繫の 表現あり。	外面一ハケ。 内面一ナデ。	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。 角閃石を含む。

33	馬	飾金具部分。	外面一ナデ。 裏面一剝離。	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。
34	馬	背ないし尻部。尻繫の剝離痕あり。	外面一ハケ。 内面一ナデ。	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。 角閃石を含む。
35	馬	尾部。上方に刺状の小突起あり。	中空成形。 外面一ナデ。内面一ナデ。	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。
36	馬	脚下端部。	外面一ハケ。 内面一ナデ。	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。
37	馬	鈴。	中実成形。 ナデ。	良 好	にぶい赤褐色	
38	馬	鈴。	中実成形。 ナデ。	良 好	橙 色	
39	大 刀	護拳部の上端。三輪玉を表現。	外面一ハケ。 内面一ハケ。	良 好	橙 色	礫・角閃石を含む。
40	大 刀	護拳部。三輪玉を表現。	外面一ナデ。 内面一ナデ。	良 好	橙 色	礫・角閃石を含む。
41	大 刀	護拳部。	外面一ハケ。 内面一ナデ。	良 好	橙 色	礫・角閃石を含む。
42	大 刀	梯形把頭の一部。	上ハケ。 下ハケ。	良 好	橙 色	礫・角閃石を含む。
43	大 刀	梯形把頭の一部。	上ハケ。 下ハケ。	良 好	橙 色	礫・角閃石を含む。
44	鞞	背負板上部。	表面一ハケ。縁部ナデ。 裏面一ハケ。縁部ナデ。	良 好	橙 色	礫・角閃石を含む。
45	鞞	背負板上部。線刻あり。	表面一ハケ。縁部ナデ。 裏面一ハケ。縁部ナデ。	良 好	橙 色	礫・角閃石を含む。
46	鞞	背負板上部。	表面一ハケ。縁部ナデ。 裏面一ハケ。縁部ナデ。	良 好	橙 色	礫・角閃石を含む。
47	鞞	背負板上部。	表面一ハケ及びナデ。 裏面一ナデ。	良 好	橙 色	礫・角閃石を含む。
48	鞞	背負板上部。	表面一ハケ。 裏面一ナデ。	良 好	橙 色	礫・角閃石を含む。
49	鞞	背負板の一部。	表面一ハケ。 裏面一ハケ及びナデ。	良 好	橙 色	礫・角閃石を含む。
50	鞞	背負板の一部。	表面一ハケ。 裏面一摩耗により不明。	良 好	橙 色	礫・角閃石を含む。 摩耗顕著。
51	鬘	星形鬘の端部。縁辺部に粘土紐を貼付。	外面一ハケ後ナデ。 内面一ナデ。	良 好	明 赤 褐 色	
52	帽子	鏝部。帽子本体との境界部に突帯が巡る。	外面一ハケ。 内面一ナデ。	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。
53	帽子	鏝部分か。	外面一ハケ。 内面一ハケ。	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。
54	不 明		ナデ。	良 好	にぶい橙褐色	砂粒を多く含む。 磨耗顕著。
55	不 明	円形付文あり。	外面一ハケ。 内面一ナデ。	良 好	橙 色	
56	不 明		外面一ハケ。 内面一ナデ。	良 好	にぶい 橙 色	
57	不 明		外面一ハケ及びナデ。 内面一ハケ及びナデ。輪積痕あり。	良 好	にぶい赤褐色	

ST-20 (図240)

位置：J-9～11、K-9～11、L-9～11、M-9～11グリッドに位置する。

形状：埋没谷に面する北側の周堀が地形的条件に規制され歪みを生じており、墳形は不整な円形を呈する。古代、中世の遺構により、墳丘、周堀とも各所で攪乱を被っている。とくに周堀南東の外側立ち上がりは大きく破壊を受けている。ST-19・20などと同様、表土層がきわめて薄く、周堀上位の相当部分が耕作により失われている可能性が高い。残存する周堀も状態の不良な箇所が多く、立ち上りを失っている部位も存在する。周堀は全周せず、南側と東側の2箇所、ブリッジ状に途切れる箇所が存在する。周堀外側立ち上がりは不整形に蛇行し、部位により周堀幅の変異が著しい。周堀断面は緩やかな船底形を呈する。周堀内は各所に不整形の落ち込みを認め、とくに南西側の幅広部分に深く掘り込まれる箇所が存在する。周堀覆土は2層に大別され、上層にロームブロック、白色パミスを少量含む黒色土、下層にロームブロック、白色粘質土ブロックなどを多量に含む黒色土及び黒褐色土の堆積を認める。

規模：周堀内径20～21m、周堀外径30m前後、幅1.5～3.5m、深さ10～45cmを測る。

遺物：遺物はすべての周堀確認面上層からの出土で、周堀覆土からは検出できていない。円筒埴輪、形象埴輪がある。

円筒埴輪は、全形の判明する個体がないが、残存部位の形状、法量から二条突帯三段構成品と考えられる。実測資料1及び2のように第3段階幅の狭い個体が存在する。外面調整はすべて1次タテハケによる。ハケメはきわめて細かいものが多い。突帯は断面が台形を呈するものと崩れたM字形を呈するものがある。透孔は円形のみを認める。胎土に砂粒を多く含む個体が目立つ。

形象埴輪は家、人物、馬、器財を確認できる。1は家の屋根である。線刻を認める。2～6は人物である。2・4は顔面から側頭部にかけての部位で、2はヘラ先刺突により鼻孔を、4は上美頭良を表現する。3・5はともに本体から剝離した鼻と下美頭良である。3はヘラ先刺突により鼻孔を表す。5は先端部がL字状に屈曲する。6は腕部でC字状に彎曲し、手首には円形付文を貼付して手玉を表す。7～10は馬である。7・9は鞍橋の一部、8は鞍橋から胴にかけての部位で、鞍橋から伸びる面繫ないし尻繫を表す。10は胴の一部と考えられる。11～18は器財である。11は盾で、中央の円筒部と脇の鱗上部の接合部位である。12・13は軛である。12は本体から台部上半にかけてが残る。本緒の表面に丸緒の結び目を表現する。13は丸緒の付根部分で中間に段を有する。14は弓の本体と台部の境界部分の可能性が考えられる破片で、2条の突帯が巡る。15～18は鞆である。15は鍔部の破片で、鍔は立体表現である。16～18は背負板の破片である。19～22は器種不明の破片で、いずれも板状を呈する。

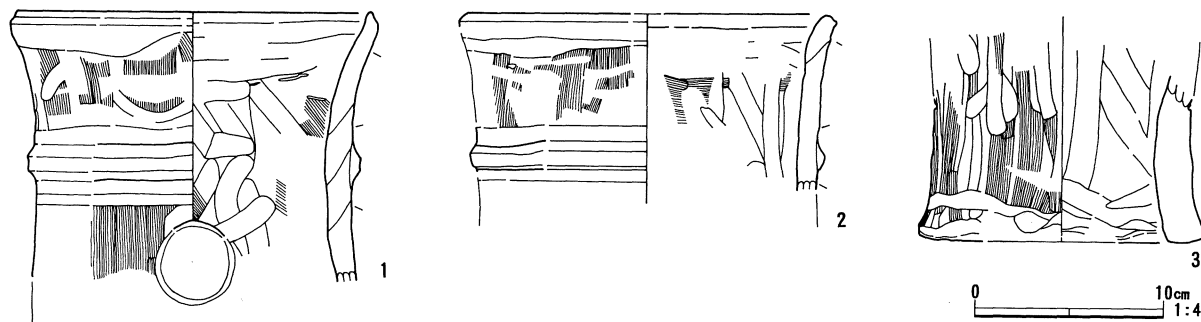
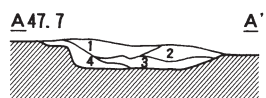
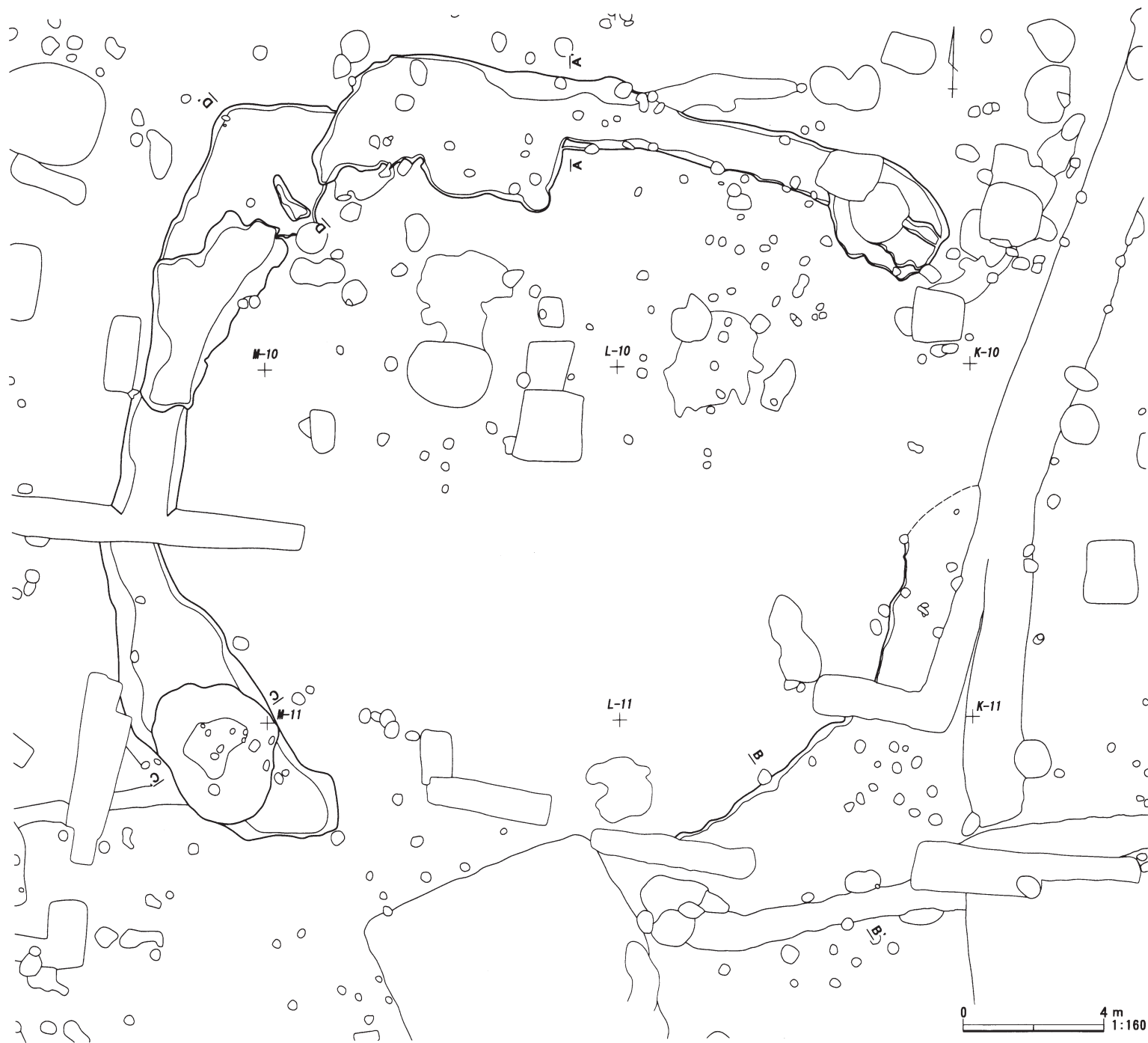
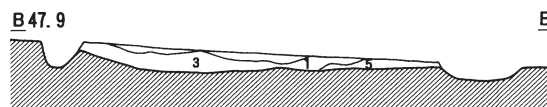


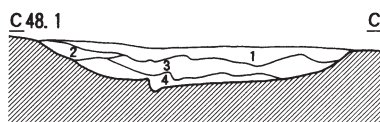
図239 ST-20 円筒埴輪実測図



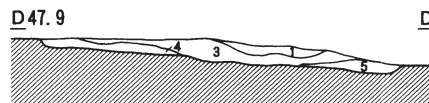
A'



B'



C'



D'

0 1 m
1:80

ST-20 土層説明

- 1 黒色土 ロームブロック(径1~2mm)を少量、白色パミス(径1~2mm)を多量に含む。
- 2 黒色土 ロームブロック(径1~2mm)を少量含む。
- 3 黒色土 ロームブロック(径1~5mm)、白色粘質土ブロック(径1~5mm)を少量含む。
- 4 黒色土 白色粘質土ブロック(径1~5mm)を多量に含む。
- 5 暗褐色土

図240 ST-20

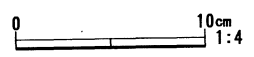
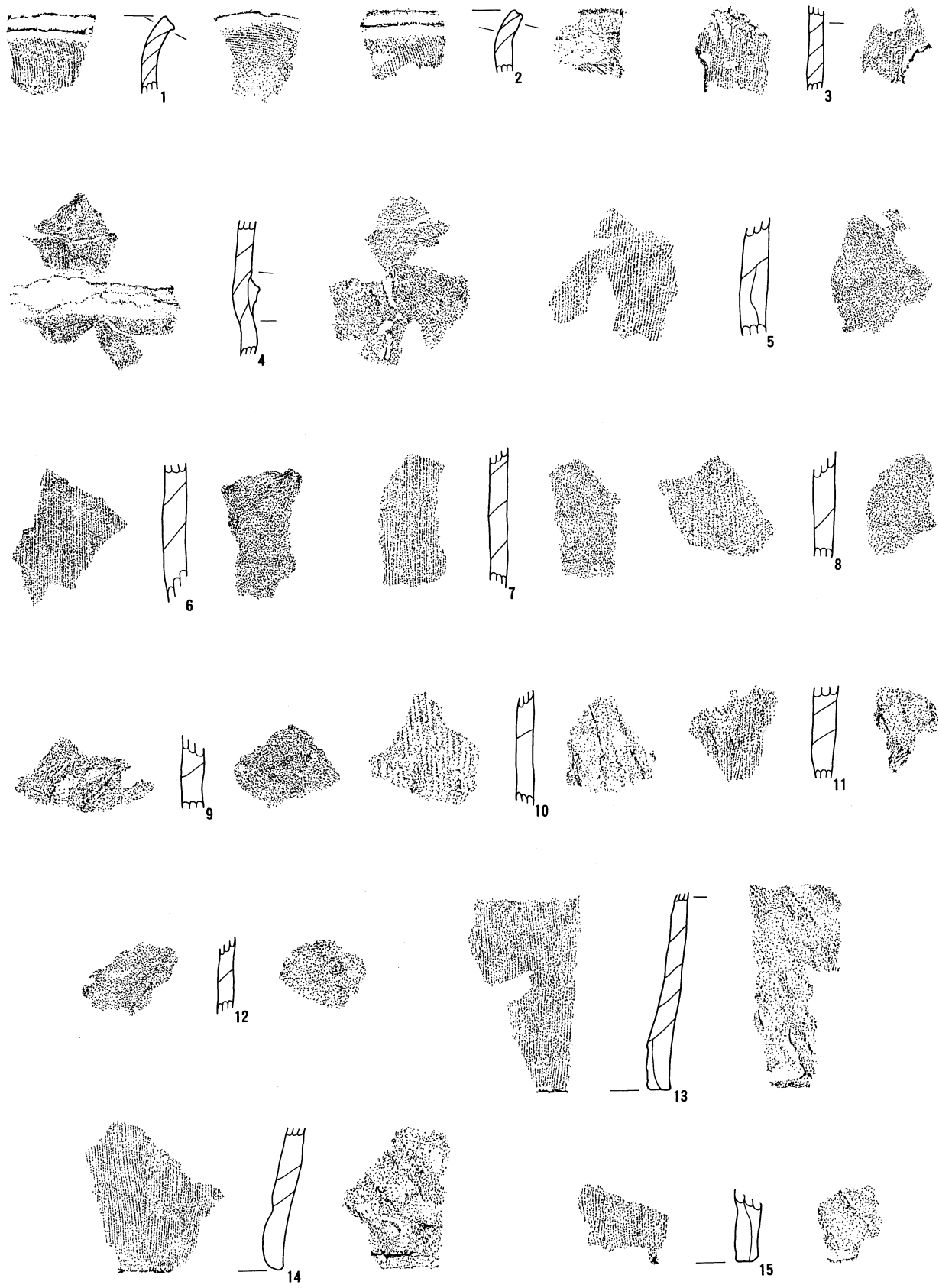


图241 ST-20 円筒埴輪拓影図

ST-20 円筒埴輪拓影資料観察表

番号	器種	部位	外面調整・ハケ本数	内面調整・ハケ本数	焼成	色調	備考
1	円筒	第3段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm 及びナメナデ	良好	橙色	砂粒を多く含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
2	円筒	第3段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm	良好	明赤褐色	砂粒を多く含む。角閃石を含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
3	円筒	第2段	1次タテハケ・12本/2cm	タテハケ・10本/2cm	良好	橙色	砂粒を多く含む。 円形透孔。
4	円筒	第2・3段	1次タテハケ・16本/2cm	ナナメハケ・16本/2cm 及びヨコナデ	良好	橙色	砂粒を多く含む。内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
5	円筒	第1段	1次タテハケ・10本/2cm	タテナデ	良好	橙色	礫を含む。
6	円筒	第1段	1次タテハケ・12本/2cm	タテナデ	良好	にぶい橙色	砂粒を多く含む。
7	円筒	第1段	1次タテハケ・12本/2cm	タテナデ	良好	にぶい橙色	砂粒を多く含む。
8	円筒	第1段	1次タテハケ・8本/2cm	ナメナデ	良好	橙色	
9	円筒	第1段	1次タテハケ・20本/2cm	ヨコハケ・14~18本/2cm	良好	橙色	砂粒を多く含む。
10	円筒	第1段	1次タテハケ・5本/2cm	ナメナデ	良好	明黄褐色	角閃石を含む。 内面輪積痕。
11	円筒	第1段	1次タテハケ・11本/2cm	ナメナデ	良好	橙色	
12	円筒	第1段	1次タテハケ・表面摩滅	ナメナデ	良好	橙色	
13	円筒	第1段	1次タテハケ・11本/2cm	タテハケ・8本/2cm ナ メハケ及びナメナデ	良好	明赤褐色	
14	円筒	第1段	1次タテハケ・12本/2cm	ナメナデ	良好	明赤褐色	内面輪積痕。
15	円筒	第1段	1次タテハケ・12本/2cm	ナメナデ	良好	橙色	

ST-20 形象埴輪観察表

No.	器種	部位・形態の特徴	成形・調整手法の特徴	焼成	色調	備考
1	家	屋根部。線刻あり。	外面一ハケ。 内面一ナデ。	良好	橙色	砂礫を多く含む。 角閃石を含む。
2	人物	顔面部。ヘラ先刺突で鼻孔を表現。	外面一ナデ。 内面一ナデ。	良好	橙色	礫・角閃石を含む。
3	人物	鼻部。顔面から剥離。ヘラ先刺突で鼻孔を表現。	ナデ。	良好	橙色	礫を含む。
4	人物	左側頭部。上げ美頭良を表現。 目孔、耳孔あり。	外面一ハケ及びナデ。 内面一ナデ。輪積痕あり。	良好	にぶい橙色	礫を含む。
5	人物	男子の下げ美頭良下端部。 先端部はT字状を呈する。	ナデ。	良好	にぶい橙色	
6	人物	右腕部。粘土粒で手首に手玉を表現。	外面一ハケ及びナデ。	良好	にぶい橙色	
7	馬	鞍橋部。	外面一ハケ。 内面一ナデ。	良好	橙色	砂礫を多く含む。 角閃石を含む。
8	馬	鞍橋部。尻繫ないし胸繫の革紐を表現。	外面一ナデ。 内面一ハケ及びナデ。	良好	橙色	砂礫を多く含む。 角閃石を含む。
9	馬	鞍橋部。	外面一ハケ及びナデ。	良好	橙色	砂礫を多く含む。 角閃石を含む。

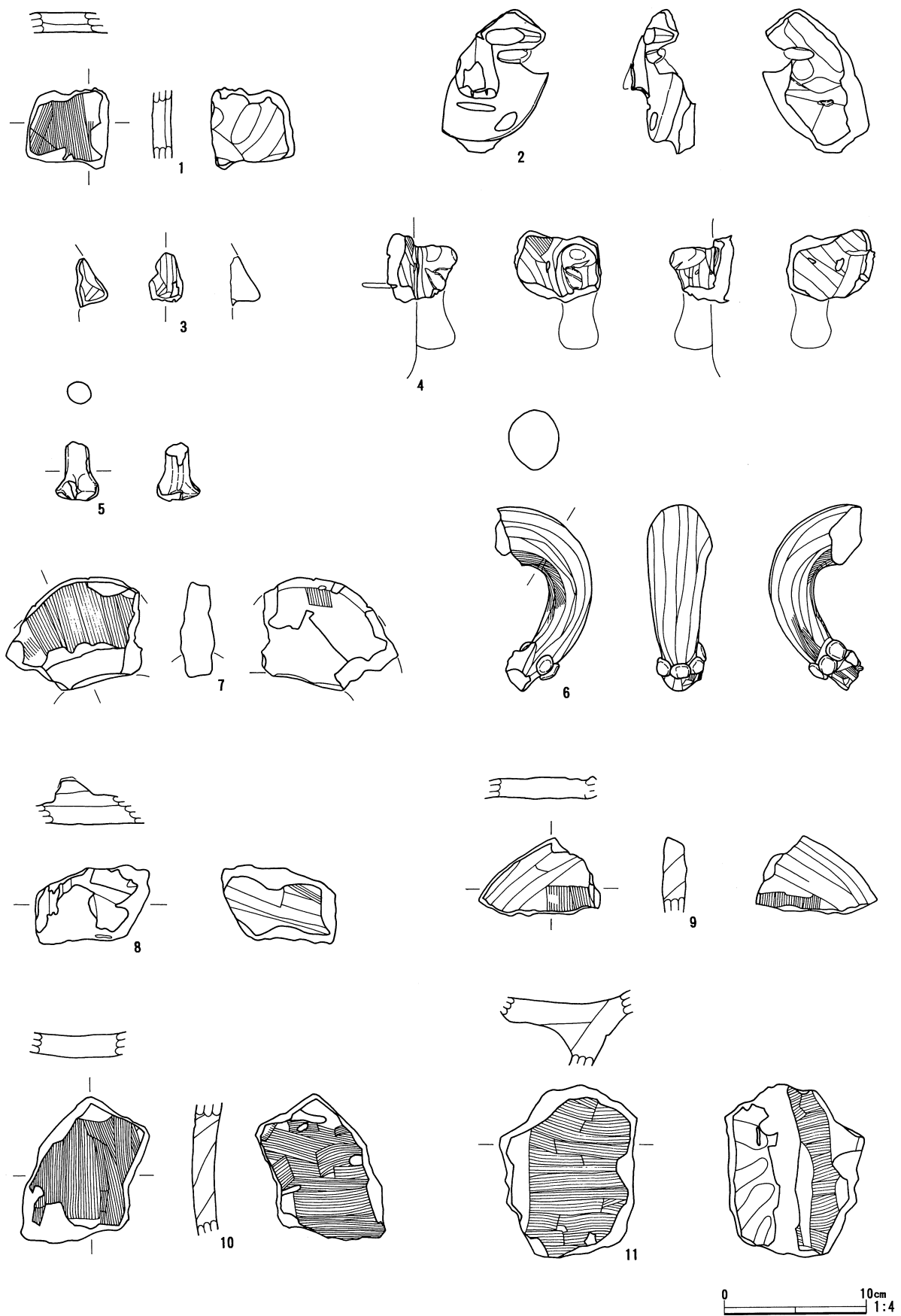
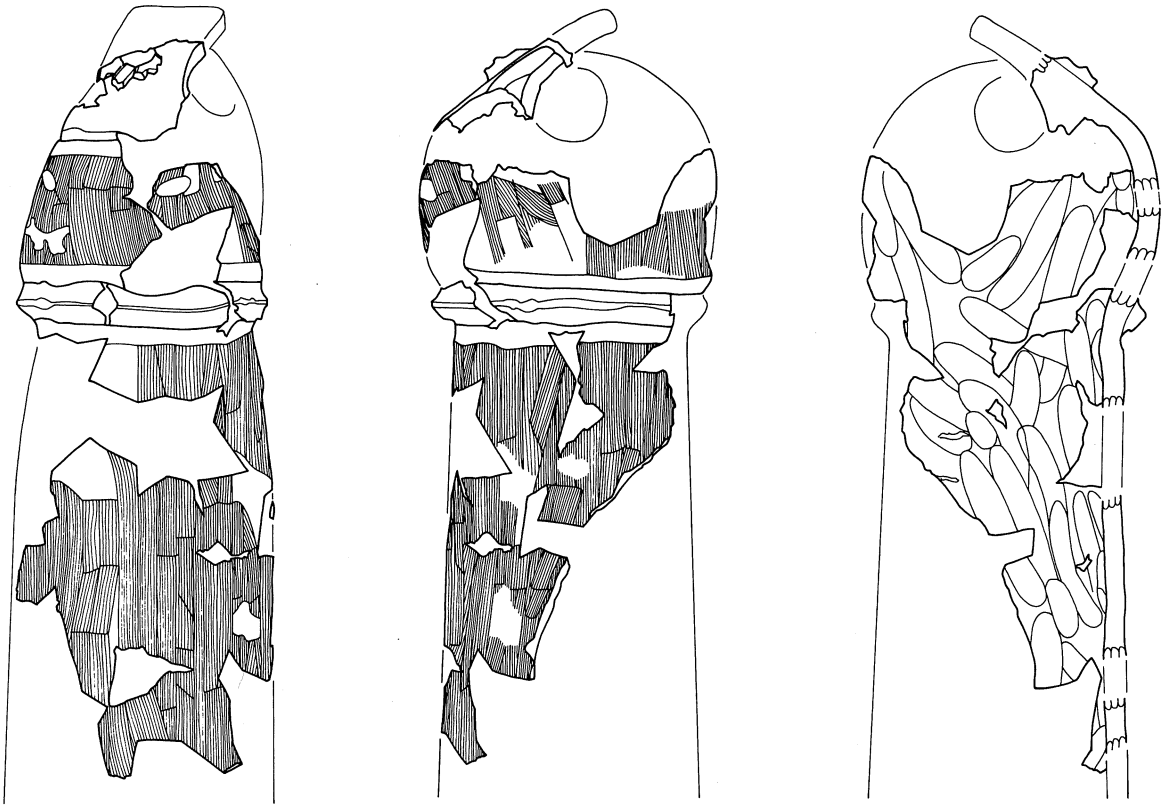
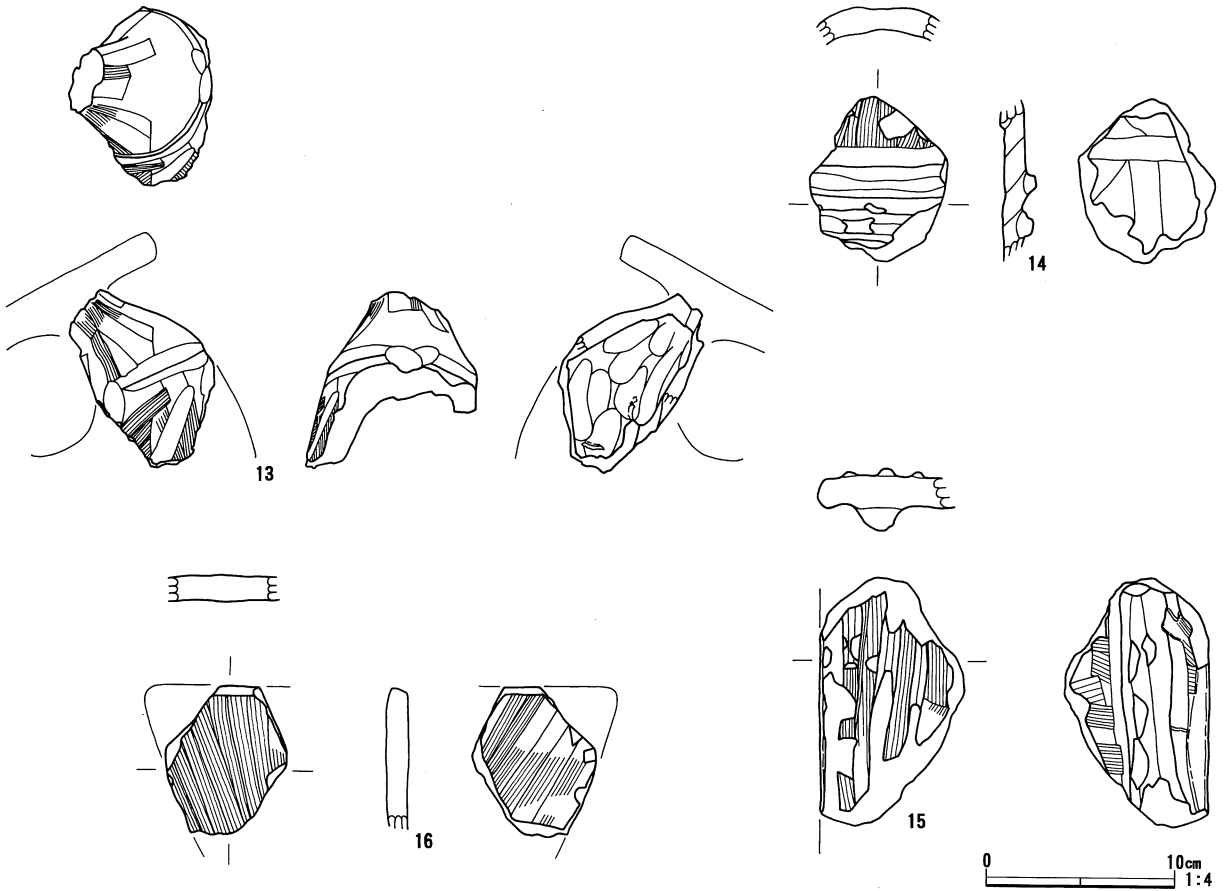


图242 ST-20 形象埴輪実測図 (1)



12



13

14

16

15

0 10cm 1:4

图243 ST-20 形象埴輪実測图 (2)

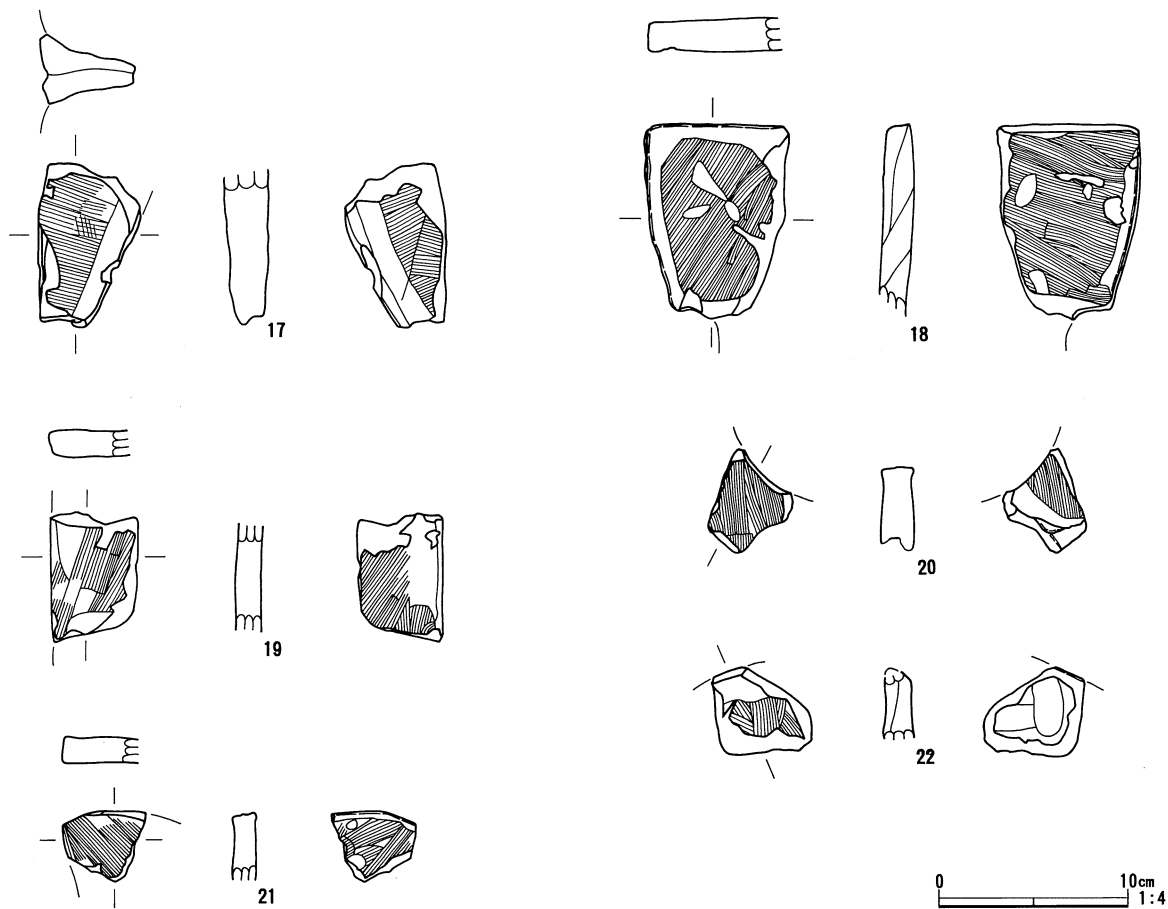


図244 ST-20 形象埴輪実測図 (3)

10	馬	胴の一部。	外面—ハケ。 内面—ハケ。	良 好	橙 色	砂礫を多く含む。 角閃石を含む。
11	盾	線刻表現なし。	外面—ハケ及びナデ。 内面—ハケ及びナデ。	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。
12	鞆	本体から台部上半。本緒の表面に丸緒の結び目を表現。	外面—ハケ及びナデ。 内面—ナデ、輪積痕あり。	良 好	橙 色	礫を含む。
13	鞆	丸尾側先端部。中間に段を有する。	外面—ハケ及びナデ。 内面—ナデ。	良 好	橙 色	礫を含む。
14	弓	本体と台部の境界部分。2条の突帯が巡る。	外面—ハケ及びナデ。 内面—ナデ。	良 好	橙 色	礫を含む。
15	鞆	鍔身部。裏面に縦方向の突帯を貼付。	外面—ハケ及びナデ。 内面—ハケ及びナデ。	良 好	橙 色	砂礫を多く含む。 角閃石を含む。
16	鞆	背負板の上端部。	ハケ。	良 好	橙 色	砂礫を多く含む。 角閃石を含む。
17	鞆	背負板の一部。	ハケ及びナデ。	良 好	橙 色	砂礫を多く含む 角閃石を含む。
18	鞆	背負板の上端部。	ハケ及びナデ。	良 好	橙 色	砂礫を多く含む 角閃石を含む。
19	不 明	板状を呈する。	ハケ及びナデ。	良 好	橙 色	砂礫を含む。
20	不 明	板状を呈する。	ハケ。	良 好	橙 色	砂礫を含む。
21	不 明	板状を呈する。	ハケ。	良 好	橙 色	砂礫を含む。
22	不 明	板状を呈する。	ハケ及びナデ。	良 好	橙 色	砂礫を含む。

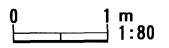
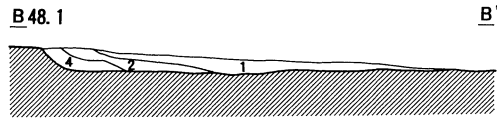
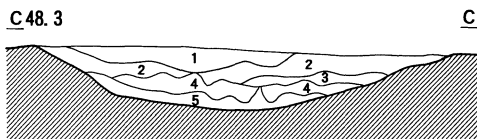
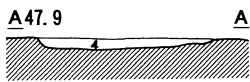


图245 ST-21

ST-21 土層説明

- 1 黒色土 白色パミス (径1mm±) を少量含む。
- 2 黒色土 ロームブロック (径1mm±)、白色パミス (径1mm±) を少量含む。
- 3 黒色土 ロームブロック (径1~10mm) を少量含む。
- 4 黒色土 白色粘質土ブロック (径1~5mm) を多量に含む。
- 5 黒褐色土 白色粘質土ブロック (径1~10mm) を多量に含む。

ST-21 (図245)

位置：M-9~11、N-9~12、O-9~12グリッドに位置する。

形状：墳形は、周堀が全周しないため確実ではないが、他の古墳同様、円形を呈するものと推測される。古代、中世の遺構により、墳丘、周堀とも各所で攪乱を被っている。周堀は全周せず、東側1/2程度を確認するにとどまった。表土層がきわめて薄い地点であることから、周堀西側部分は耕作により失われている可能性が高い。

残存する周堀も状態の不良な箇所が多く、立ち上がりを失っている部分も存在する。とくに埋没谷に面する北外側の立ち上がりは完全に失われており、覆土の残存する範囲から推測しうるにすぎない。周堀東側で1箇所、ブリッジ状に途切れる箇所が存在する。周堀立ち上がりは内外とも不整形に蛇行し、部位により周堀幅の変異が著しい。周堀断面は緩やかな船底形を呈するが、堀底は平坦ではなく凹凸が顕著であるが、とくに深く掘り込まれる箇所は存在しない。

周堀覆土の堆積状況は、場所により異なる。もっとも遺存状態の良好なC-C'の観察では、2層に大別され、ロームブロック、白色パミスを少量含む黒色土、下層に白色粘質土ブロックなどを多量に含む黒色土及び黒褐色土の堆積を認める。

規模：周堀内径22m前後、周堀外径28m前後、幅4.0~5.0m、深さ10~65cmを測る。

遺物：遺物は周堀確認面上層で土師器坏2点を検出した。周堀の遺存がきわめて不良な状態であったため確実ではないが、隣接するST-20・22など、同様の遺存状態を示す古墳に埴輪の伴う事実を見ると、ST-21には埴輪は伴わない可能性が高いと考えられる。

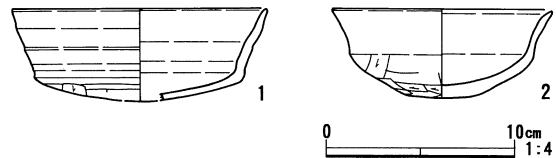


図246 ST-21 土器実測図

土師器坏2点のうち1は有段口縁坏で、ヘラケズリによる浅い体部と外反して立ち上がる幅広の口縁部を有する。口縁部のほぼ中位に段を有する。2は口径11.6cmを測る小型坏で、ヘラケズリによる体部と外彎する口縁部を備える。

ST-21

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	土師器坏	口径 13.3 底径 — 器高 —	浅い体部、中位に段差をもつ口縁部。底部は緩やかな丸底。	外面一口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ。内面一口縁部ヨコナデ、体部ナデ。	白色粒・雲母・角閃石 内外一橙~にぶい黄橙色	3/4。
2	土師器坏	口径 (11.6) 底径 — 器高 4.6	深い体部、彎曲気味に外反する口縁部。底部は平底気味。	外面一口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ。内面一口縁部ヨコナデ、体部ナデ。	白色粒・角閃石・石英 内外一橙~明黄褐色	2/5。

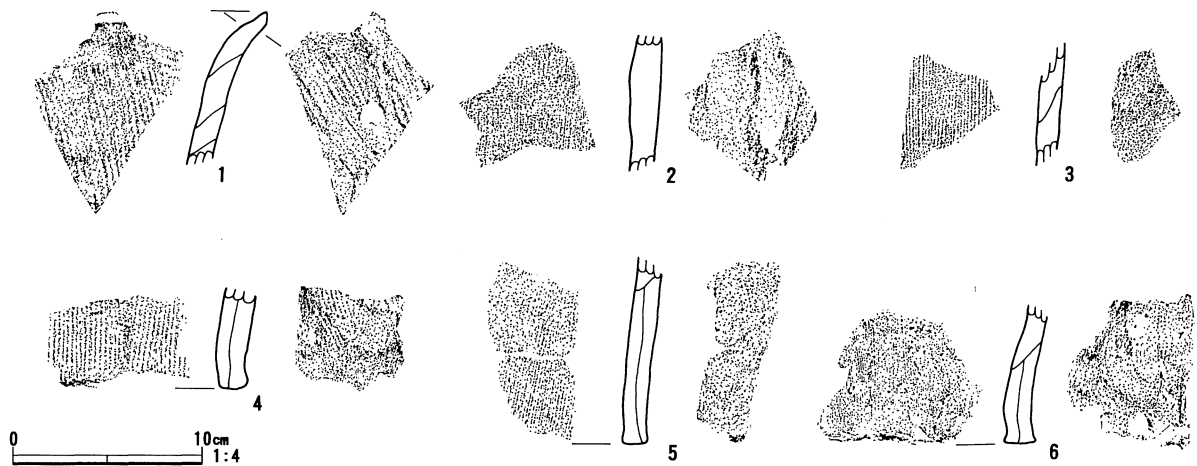


図247 ST-21 円筒埴輪拓影図

ST-21 円筒埴輪拓影資料観察表

番号	器種	部 位	外面調整・ハケ本数	内面調整・ハケ本数	焼 成	色 調	備 考
1	円筒	第 3 段	1次タテハケ・6本/2cm	ナナメハケ・表面摩滅	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。内面輪積痕。口唇部端面・内外面ヨコナデ。
2	円筒	第 1 段	1次タテハケ・16本/2cm	ナナメハケ・16本/2cm 及びナナメナデ	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。
3	円筒	第 2 段	1次タテハケ・11本/2cm	ナナメハケ・11本/2cm 及びタテナデ	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。
4	円筒	第 1 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm	良 好	明 赤 褐 色	
5	円筒	第 1 段	1次タテハケ・13本/2cm	ナナメナデ	良 好	にぶい黄褐色	砂粒を多く含む。
6	円筒	第 1 段	1次タテハケ・22本/2cm	タテナデ及びナナメナデ	良 好	明 赤 褐 色	砂粒を多く含む。

ST-22 (図248・249)

位置：M-12～15、N-12～15、O-12～15グリッドに位置する。

形状：埴形は、周堀が全周しないため確実ではないが、西側に隣接するST-31との位置的な関係から、円形を呈するものと推定できる。周堀は完存せず、東側から南側にかけての1/4程度を確認するにとどまった。表土層がきわめて薄い地点であることから、大半の周堀は耕作により失われている可能性が高い。

残存する周堀も状態の不良な箇所が多く、とくに外側立ち上がりはほとんど遺存せず、覆土の残存する範囲から推測しうるにすぎない。周堀内側立ち上がりは不整形に蛇行し、周堀幅は一定していなかったと考えられる。周堀断面は緩やかな船底形を呈するが、堀底は平坦ではなく凹凸が顕著であるが、とくに深く掘り込まれる箇所は存在しない。

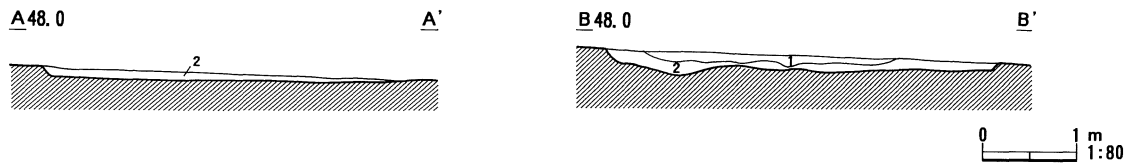
確認面から堀底までがきわめて浅いため、周堀覆土は有意な状態で観察できない。ロームブロック、白灰色土を少量含む黒色土の堆積を認める。

規模：周堀全周が遺存しないため正確な規模は明らかではない。周堀内径25.0m前後、周堀外径35.0m前後の規模と推測され、確認の範囲で周堀幅4.0～5.0m、深さ10～20cmを測る。

遺物：遺物はすべての周堀確認面上層からの出土で、周堀覆土からは検出できていない。円筒埴輪、形象埴



图248 ST-22



ST-22 土層説明

- 1 黒色土 白灰色土ブロック (径1~5mm) を少量含む。
- 2 黒色土 ロームブロック (径1~5mm) を少量含む。

図249 ST-22 土層断面図

輪がある。

円筒埴輪は、微細な破片が少量出土したのみであった。

形象埴輪も小片が多く全形の知れる資料は存在しない。器種には家、人物、馬を確認できる。1・2は家である。ともに壁体の基部周辺で表面に突帯を貼付する。3~22は人物である。3・4はともに大型人物の顔面から側頭の一部で、4は耳環を表現する。5は大型人物の首から前胸にかけての部位で、左衽盤領依の襟と合目、緒の結び目を表現する。6~9は腕で、6~8は手首に釦状の粘土紐を貼付する。10は帯と考えられる部位で、表面に鋸歯状の線刻を認める。11~18は大型人物の上衣裾部と考えられる部位である。19は大刀柄部、20~22は首飾の円形付文で、いずれも人物本体から剝離した部品である。23~42は馬である。23~24は左側頭部で、23は手綱、面繫、付属の辻金具を、24は面繫を表現する。25は面繫と付属の辻金具で本体から剝離している。26~27は鬘の付根から首の一部で、ともに手綱を表す。28~36は鞍橋及び胴の一部で、胸繫、尻繫、障泥の一部が残る。37~42は鈴で、すべて中実成形による。43~63は器財である。43・44は大刀である。43は護拳部から梯形柄頭にかけての部位で、護拳部に三輪玉を伴う。44は護拳部で、粘土紐と円形付文で護拳部表面の装飾を表現する。45は戟で、筒状の柄部に身部を挿入して成形している。身部付根に横方に派生していた援が欠損した痕跡を認める。刺には両面に鎬を表す隆帯がつく。46は矛の鋒部分で45と同様に両面に鎬を表す隆帯がつく。47~52は盾である。47~49は上端部で、線刻により三角文を表現する。47の裏面には補強用の突帯を認める。51も上端部で、角に突起をもつ。50は側辺部、52は下端部である。53~61は鞆である。53・54は矢筒上部から鏃にかけての部位で、鏃は立体表現である。55は矢筒部で背負紐の結び目を表す。56~61はいずれも背負板の一部で、60は下端部に鋸歯状線刻の入る突帯を貼付する。62は星形翳の一部で縁辺部に粘土紐を貼付する。63は帽子の鏝である。64~69は器種不明である。

ST-22 円筒・朝顔形埴輪拓影資料観察表

番号	器種	部位	外面調整・ハケ本数	内面調整・ハケ本数	焼成	色調	備考
1	円筒	第2・3段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm 及びナナメナデ	良好	にぶい褐色	砂粒を多く含む。口唇部端面・内外面・突帯ヨコナデ。円形透孔。
2	円筒	第2・3段	1次タテハケ・11本/2cm	ヨコハケ・11本/2cm 及びナナメナデ	良好	にぶい褐色	砂粒を多く含む。口唇部端面・内外面・突帯ヨコナデ。
3	円筒	第3段	1次タテハケ・11本/2cm	ナナメハケ・表面摩滅 及びナナメナデ	良好	にぶい褐色	砂粒を多く含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
4	円筒	第3段	1次タテハケ・12本/2cm	ヨコハケ・13本/2cm	良好	にぶい褐色	砂粒を多く含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
5	円筒	第3段	1次タテハケ・12本/2cm	ヨコハケ・13本/2cm 及びナナメハケ	良好	にぶい褐色	砂粒を多く含む。口唇部端面・内外面・突帯ヨコナデ。

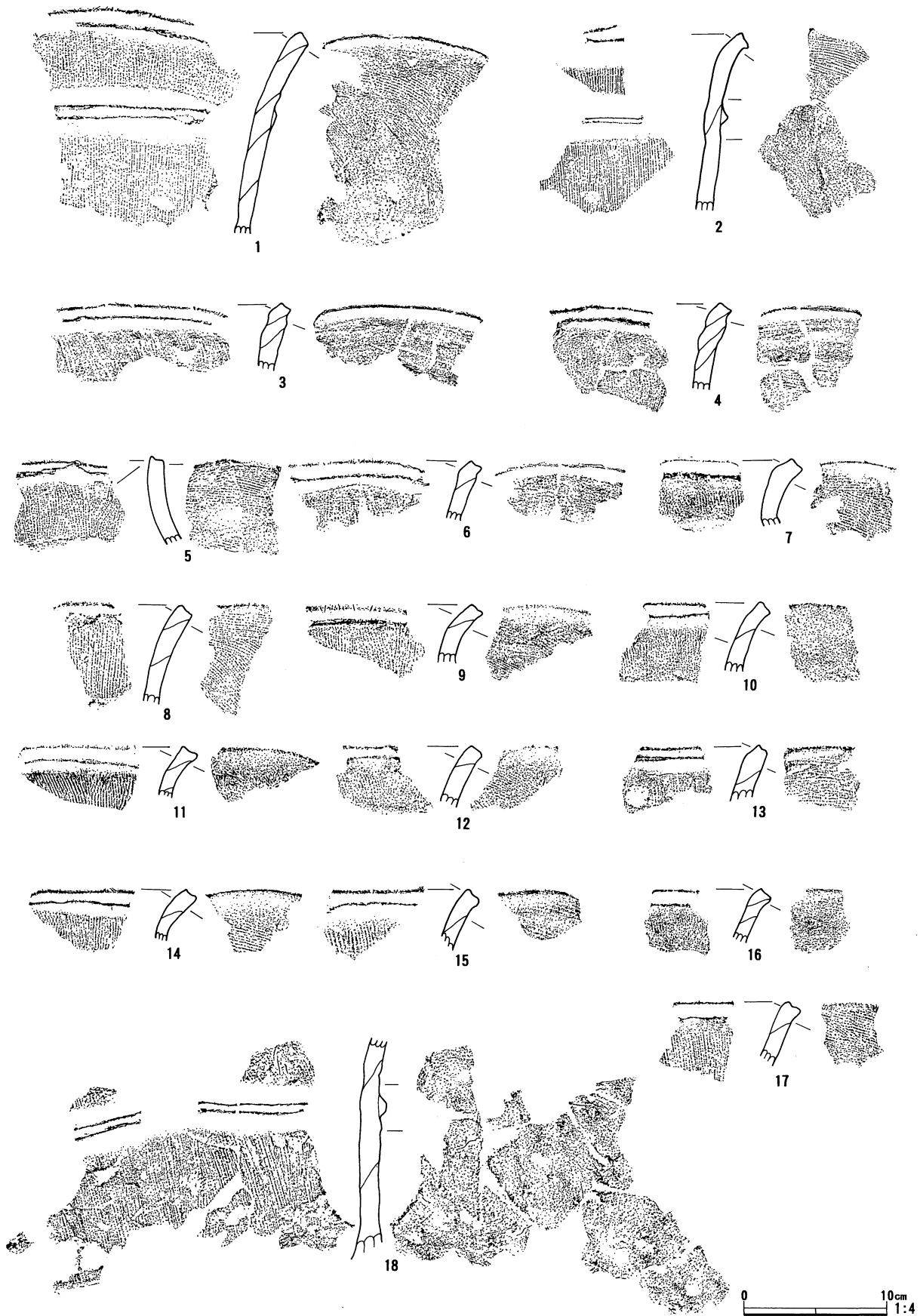


图250 ST-22 円筒・朝顔形埴輪拓影图 (1)

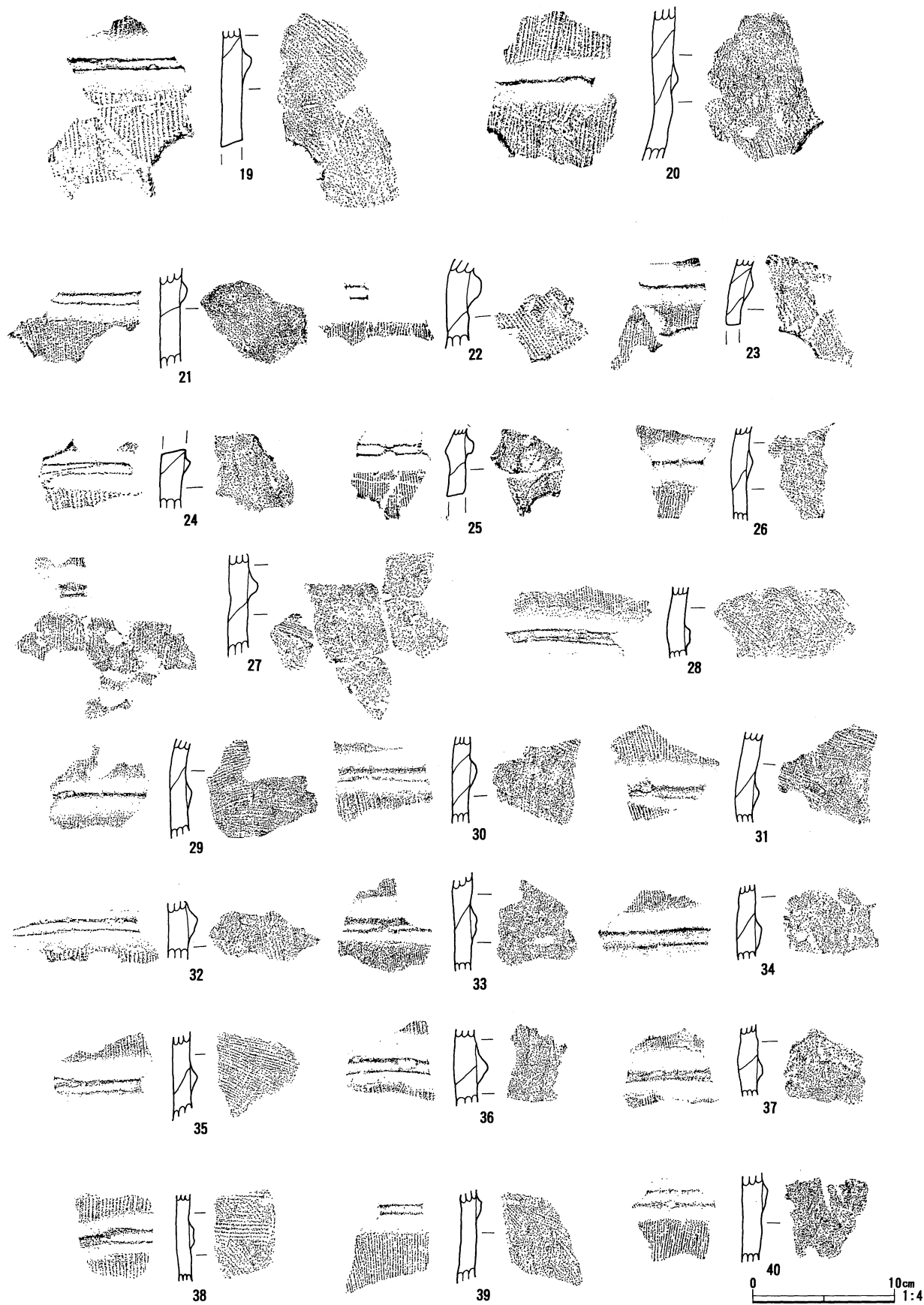


图251 ST-22 円筒・朝顔形埴輪拓影图 (2)

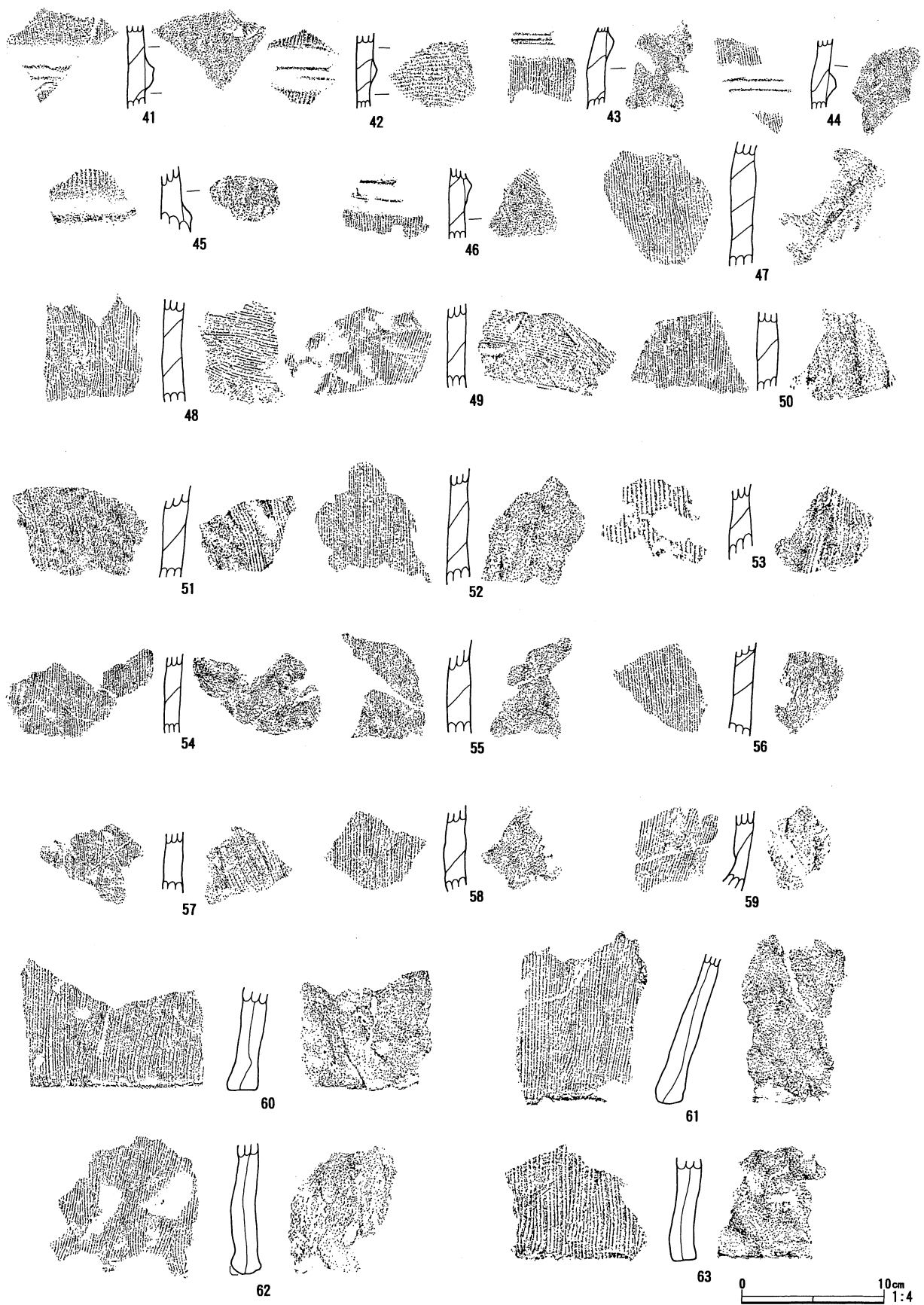


图252 ST-22 円筒・朝顔形埴輪拓影图 (3)

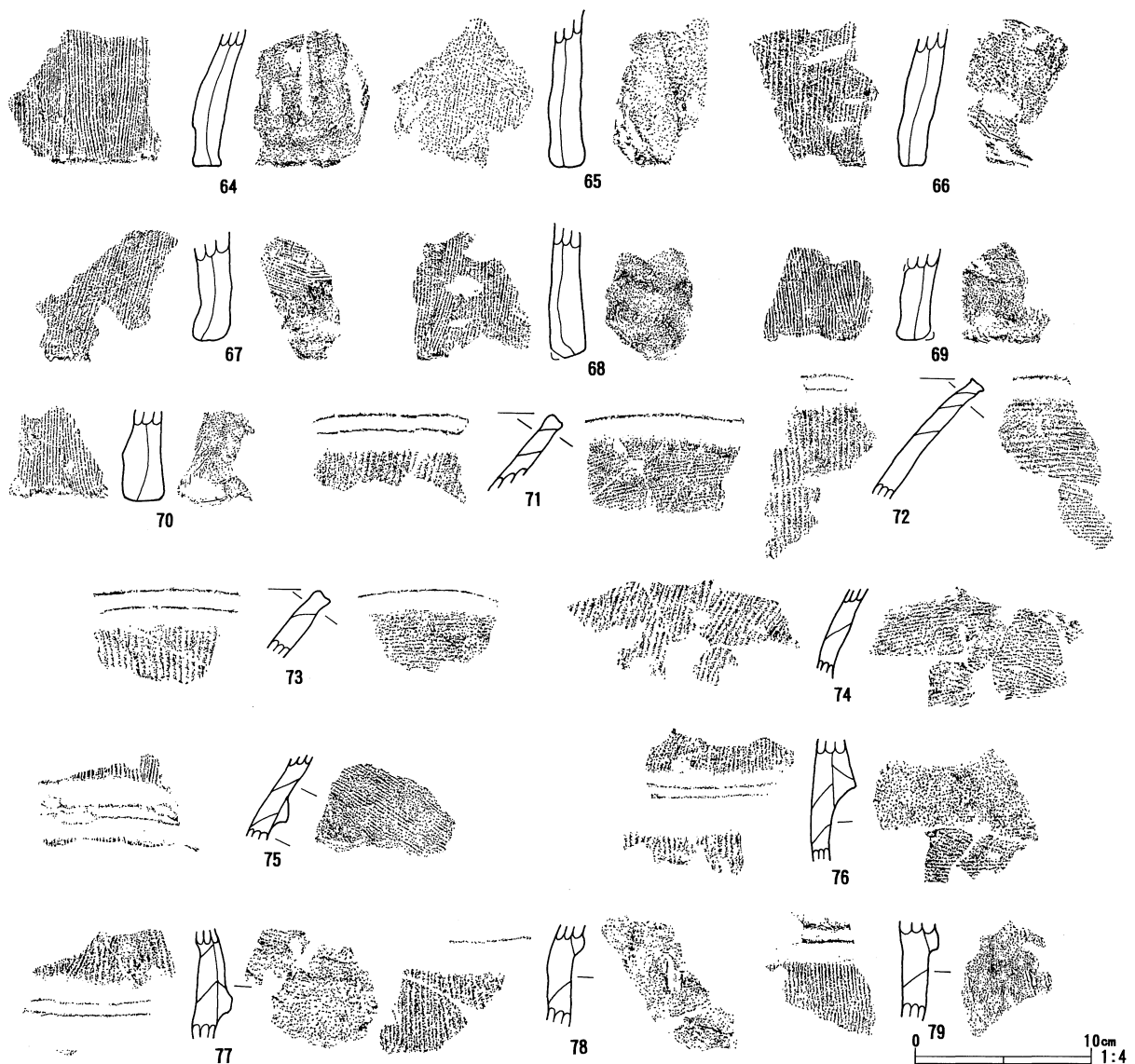


図253 ST-22 円筒・朝顔形埴輪拓影図 (4)

6	円筒 第 3 段	1次タテハケ・11本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm 後ナナメナデ	良 好	にぶい褐色	砂粒を多く含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
7	円筒 第 3 段	1次タテハケ・11本/2cm	ヨコハケ・11本/2cm 及びナナメハケ	良 好	にぶい褐色	砂粒を多く含む。口唇部端面・内 外面・突帯ヨコナデ。
8	円筒 第 3 段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・13本/2cm	良 好	にぶい赤褐色	口唇部端面・内外面・突帯ヨコナ デ。
9	円筒 第 3 段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm 及びナナメナデ	良 好	にぶい褐色	砂粒を多く含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
10	円筒 第 3 段	1次タテハケ・11本/2cm	ナナメハケ・7本/2cm	良 好	にぶい赤褐色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
11	円筒 第 3 段	1次タテハケ・11本/2cm	ナナメハケ・11本/2cm	良 好	にぶい赤褐色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
12	円筒 第 3 段	1次タテハケ・11本/2cm	ナナメハケ・11本/2cm	良 好	にぶい赤褐色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。

13	円筒	第 3 段	1次タテハケ・12本/2cm	ヨコハケ・12本/2cm 及びナナメハケ	良 好	赤 褐 色	砂粒を多く含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
14	円筒	第 3 段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・11本/2cm	良 好	にぶい赤褐色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
15	円筒	第 3 段	1次タテハケ・9本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm	良 好	にぶい赤褐色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
16	円筒	第 3 段	1次タテハケ・11本/2cm	ナナメハケ・7本/2cm	良 好	にぶい褐色	砂粒を多く含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
17	円筒	第 3 段	1次タテハケ・13本/2cm	ナナメハケ・16本/2cm	良 好	にぶい褐色	砂粒を多く含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
18	円筒	第 2・3 段	1次タテハケ・12本/2cm	タテナデ及びヨコナデ	良 好	にぶい赤褐色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。内面輪積痕。
19	円筒	第 2・3 段	1次タテハケ・6本/2cm	ナナメハケ・7本/2cm 及びタテナデ	良 好	にぶい赤褐色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
20	円筒	第 2・3 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメナデ	良 好	にぶい赤褐色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
21	円筒	第 2 段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメナデ	良 好	にぶい赤褐色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
22	円筒	第 2 段	1次タテハケ・14本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm	良 好	にぶい赤褐色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
23	円筒	第 2 段	1次タテハケ・11本/2cm	ナナメハケ・9本/2cm	良 好	にぶい 橙 色	砂粒を多く含む。突帯ヨコナデ。 円形透孔。
24	円筒	第 1・2 段	1次タテハケ・6本/2cm	タテナデ	良 好	にぶい赤褐色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
25	円筒	第 2 段	1次タテハケ・11本/2cm	ナナメナデ	良 好	にぶい 褐色	砂粒を多く含む。突帯ヨコナデ。 円形透孔。
26	円筒	第 2・3 段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm	良 好	にぶい 褐色	砂粒を多く含む。突帯ヨコナデ。 円形透孔。
27	円筒	第 2・3 段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm 及びナナメナデ	良 好	にぶい赤褐色	突帯ヨコナデ。
28	円筒	第 3 段	1次タテハケ・11本/2cm	ナナメハケ・14本/2cm 及びタテナデ	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。 突帯ヨコナデ。
29	円筒	第 1・2 段	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメハケ・11本/2cm	良 好	明 赤 褐 色	砂粒を多く含む。 突帯ヨコナデ。
30	円筒	第 1・2 段	1次タテハケ・8本/2cm	タテハケ・10本/2cm ナナメハケ及びタテナデ	良 好	にぶい赤褐色	突帯ヨコナデ。
31	円筒	第 2・3 段	1次タテハケ・10本/2cm	ヨコハケ・12本/2cm 及びナナメハケ	良 好	にぶい赤褐色	突帯ヨコナデ。
32	円筒	第 1 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm 及びナナメナデ	良 好	にぶい赤褐色	突帯ヨコナデ。
33	円筒	第 1・2 段	1次タテハケ・14本/2cm	ナナメナデ	良 好	にぶい 褐色	砂粒を多く含む。 突帯ヨコナデ。
34	円筒	第 2 段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm 及びナナメナデ	良 好	にぶい 褐色	砂粒を多く含む。 突帯ヨコナデ。
35	円筒	第 3 段	1次タテハケ・11本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm	良 好	にぶい 褐色	砂粒を多く含む。 突帯ヨコナデ。
36	円筒	第 1・2 段	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメハケ・14本/2cm 及びタテナデ	良 好	にぶい 褐色	砂粒を多く含む。 突帯ヨコナデ。
37	円筒	第 2・3 段	1次タテハケ・14本/2cm	タテナデ	良 好	にぶい 褐色	砂粒を多く含む。 突帯ヨコナデ。
38	円筒	第 2・3 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm	良 好	にぶい赤褐色	突帯ヨコナデ。
39	円筒	第 2 段	1次タテハケ・11本/2cm	ナナメハケ・14本/2cm 及びタテナデ	良 好	明 赤 褐 色	砂粒を多く含む。 突帯ヨコナデ。

40	円筒	第 1 段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm 及びタテナデ	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。 突帯ヨコナデ。
41	円筒	第 1 段	1次タテハケ・14本/2cm	タテナデ	良 好	にぶい赤褐色	突帯ヨコナデ。
42	円筒	第 2・3 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm	良 好	にぶい赤褐色	突帯ヨコナデ。
43	円筒	第 1 段	1次タテハケ・11本/2cm	タテナデ	良 好	にぶい赤褐色	突帯ヨコナデ。
44	円筒	第 1・2 段	1次タテハケ・12本/2cm	タテナデ	良 好	にぶい橙色	砂粒を多く含む。 突帯ヨコナデ。
45	円筒	第 2 段	1次タテハケ・7本/2cm	ナナメハケ・7本/2cm 後ナナメナデ	良 好	にぶい褐色	砂粒を多く含む。 突帯ヨコナデ。
46	円筒	第 2 段	1次タテハケ・11本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm 及びナナメナデ	良 好	にぶい赤褐色	突帯ヨコナデ
47	円筒	第 1 段	1次タテハケ・11本/2cm	タテナデ	良 好	橙 色	砂粒を多く含む
48	円筒	第 2 段	1次タテハケ・11本/2cm	ナナメハケ・11本/2cm	良 好	橙 色	砂粒を多く含む
49	円筒	第 2 段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm 及びナナメナデ	良 好	橙 色	砂粒を多く含む
50	円筒	第 2 段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメナデ	良 好	橙 色	砂粒を多く含む
51	円筒	第 1 段	1次タテハケ・11本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm 及びナナメナデ	良 好	橙 色	砂粒を多く含む
52	円筒	第 1 段	1次タテハケ・14本/2cm	タテナデ	良 好	橙 色	砂粒を多く含む
53	円筒	第 1 段	1次タテハケ・7本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm 及びナナメナデ	良 好	にぶい橙色	砂粒を多く含む
54	円筒	第 2 段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm 及びナナメナデ	良 好	にぶい橙色	砂粒を多く含む
55	円筒	第 1 段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメナデ	良 好	橙 色	砂粒を多く含む
56	円筒	第 1 段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメナデ	良 好	橙 色	砂粒を多く含む
57	円筒	第 2 段	1次タテハケ・15本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。 外面線刻あり。
58	円筒	第 1 段	1次タテハケ・11本/2cm	ナナメナデ	良 好	にぶい橙色	砂粒を多く含む。 内面輪積痕。
59	円筒	第 1 段	1次タテハケ・11本/2cm	ナナメナデ	良 好	にぶい赤褐色	砂粒を多く含む。
60	円筒	第 1 段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・14本/2cm 及びナナメナデ	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。
61	円筒	第 1 段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメナデ	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。
62	円筒	第 1 段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメナデ	良 好	にぶい橙色	砂粒を多く含む。
63	円筒	第 1 段	1次タテハケ・7本/2cm	ナナメナデ	良 好	にぶい橙色	
64	円筒	第 1 段	1次タテハケ・11本/2cm	タテナデ・16本/2cm	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。 内面輪積痕。
65	円筒	第 1 段	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメナデ	良 好	橙 色	砂粒を多く含む
66	円筒	第 1 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメナデ	良 好	橙 色	

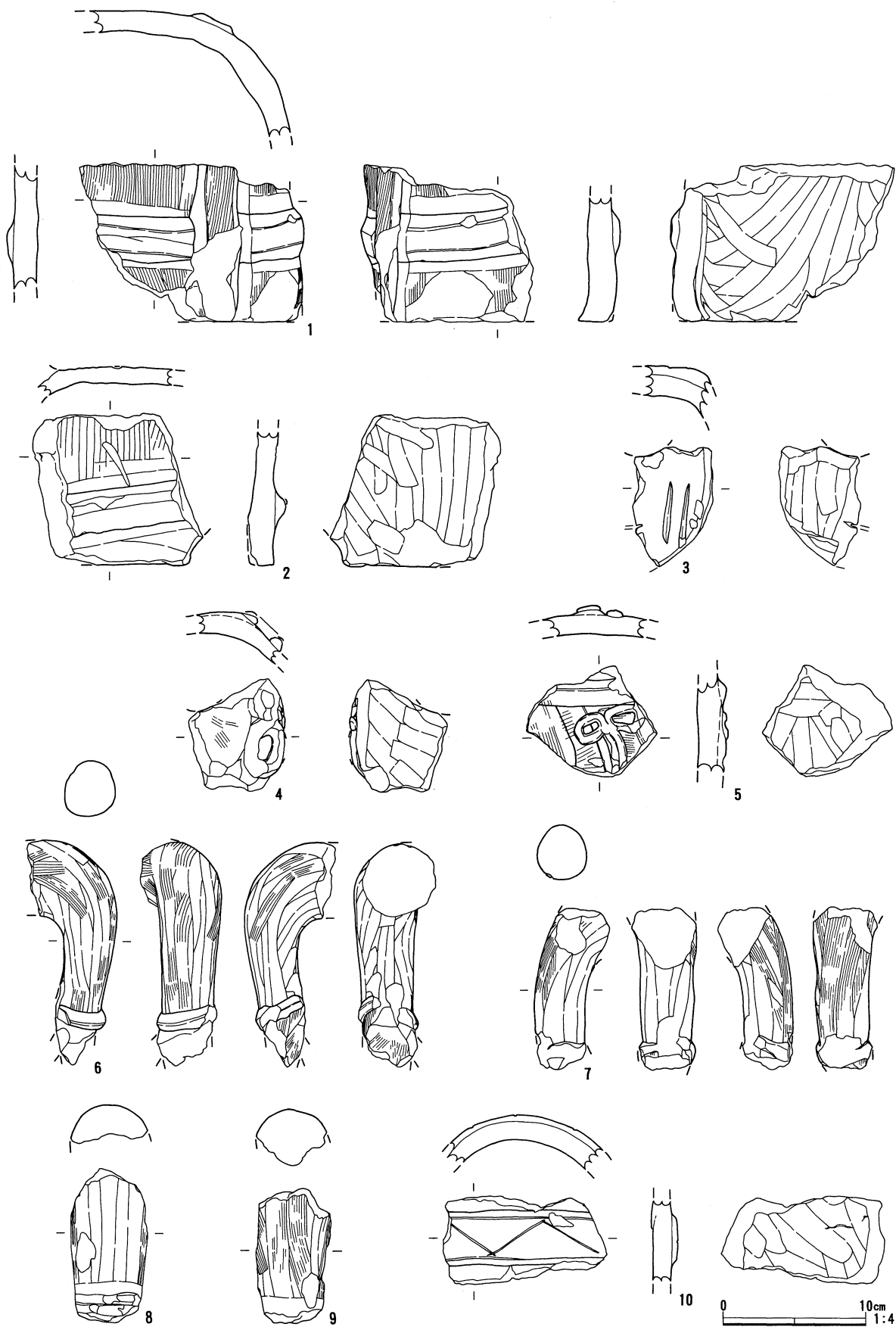


图254 ST-22 形象埴輪実測図 (1)

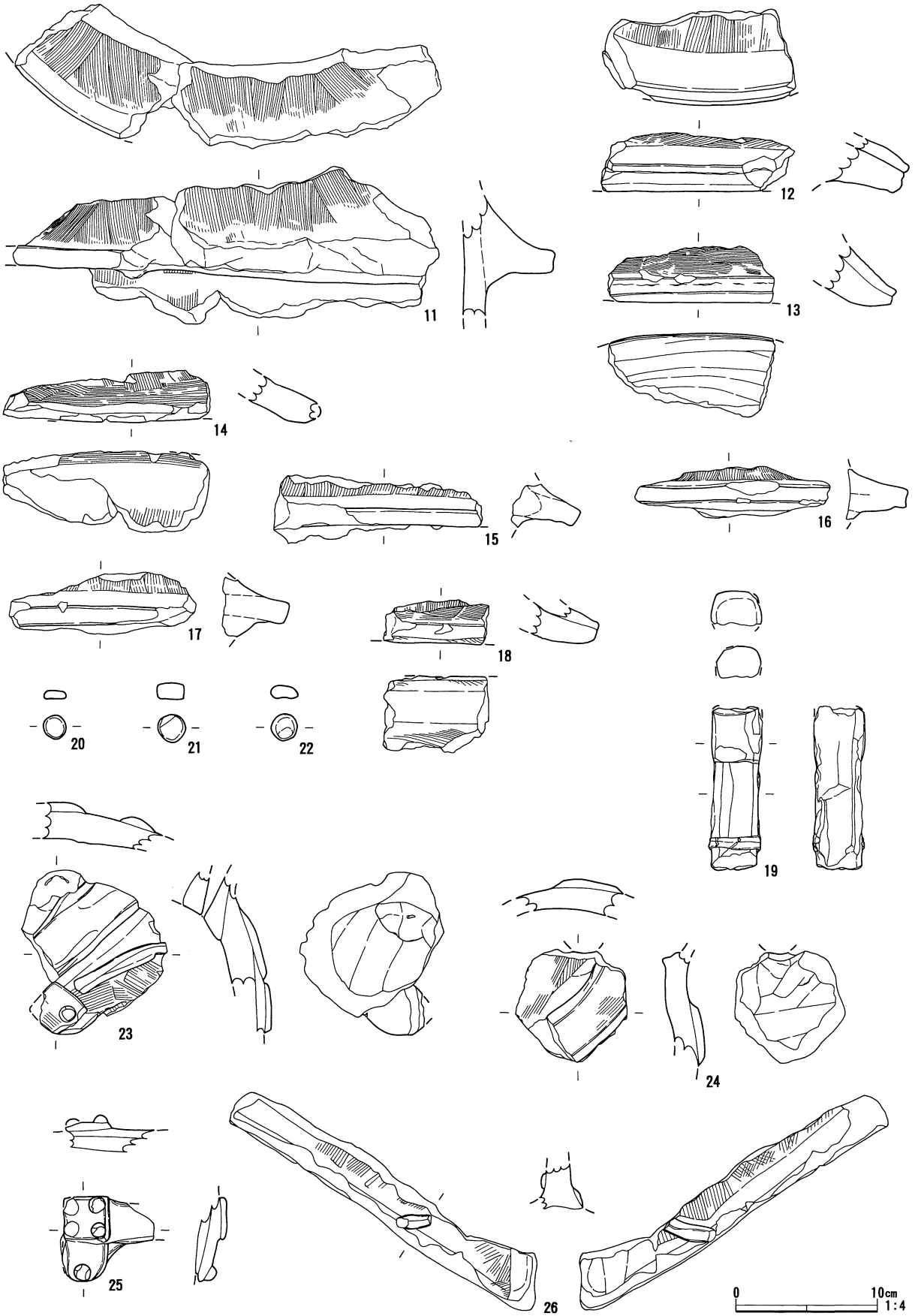


图255 ST-22 形象埴輪実測图 (2)

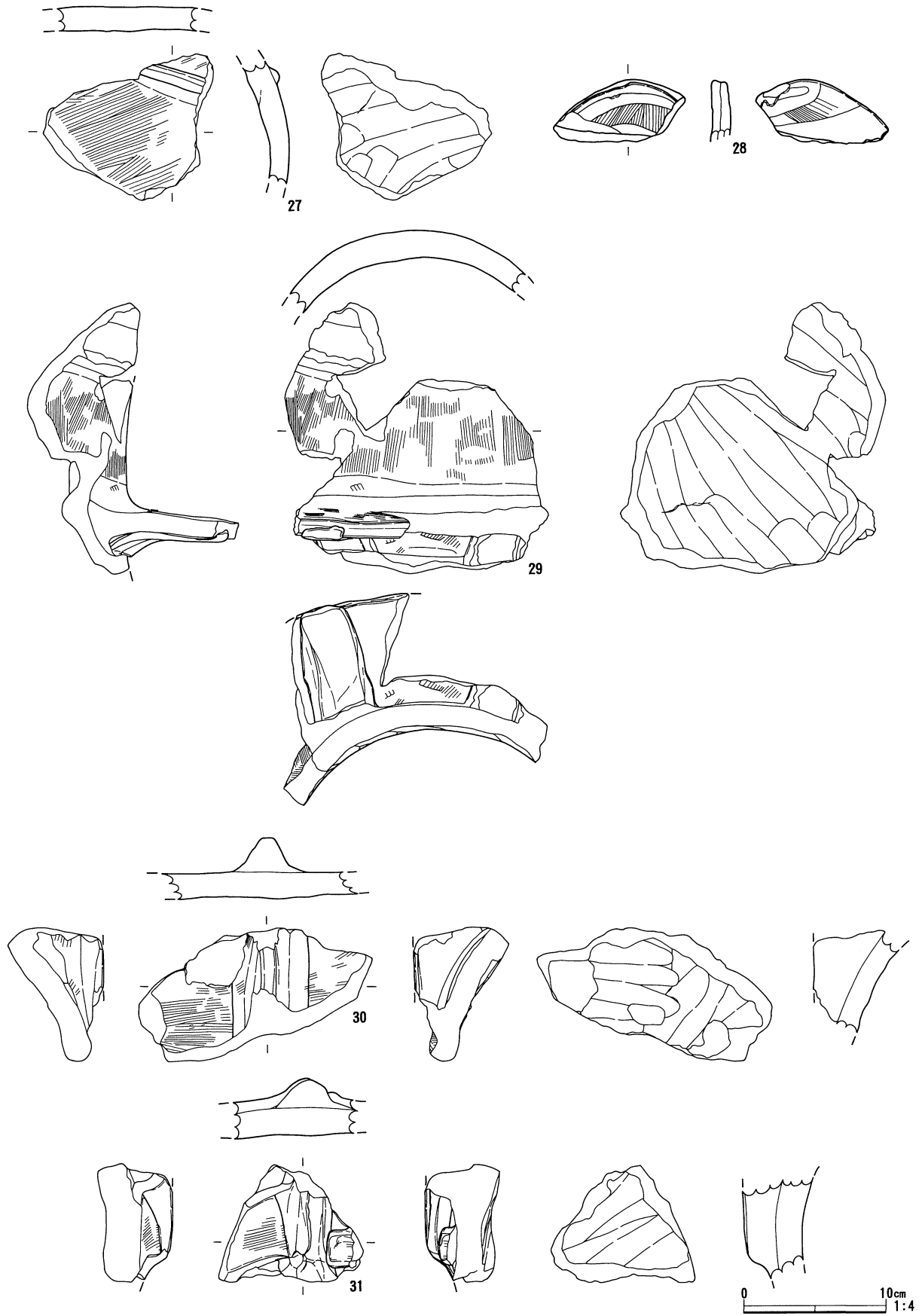


图256 ST-22 形象埴輪実測図 (3)

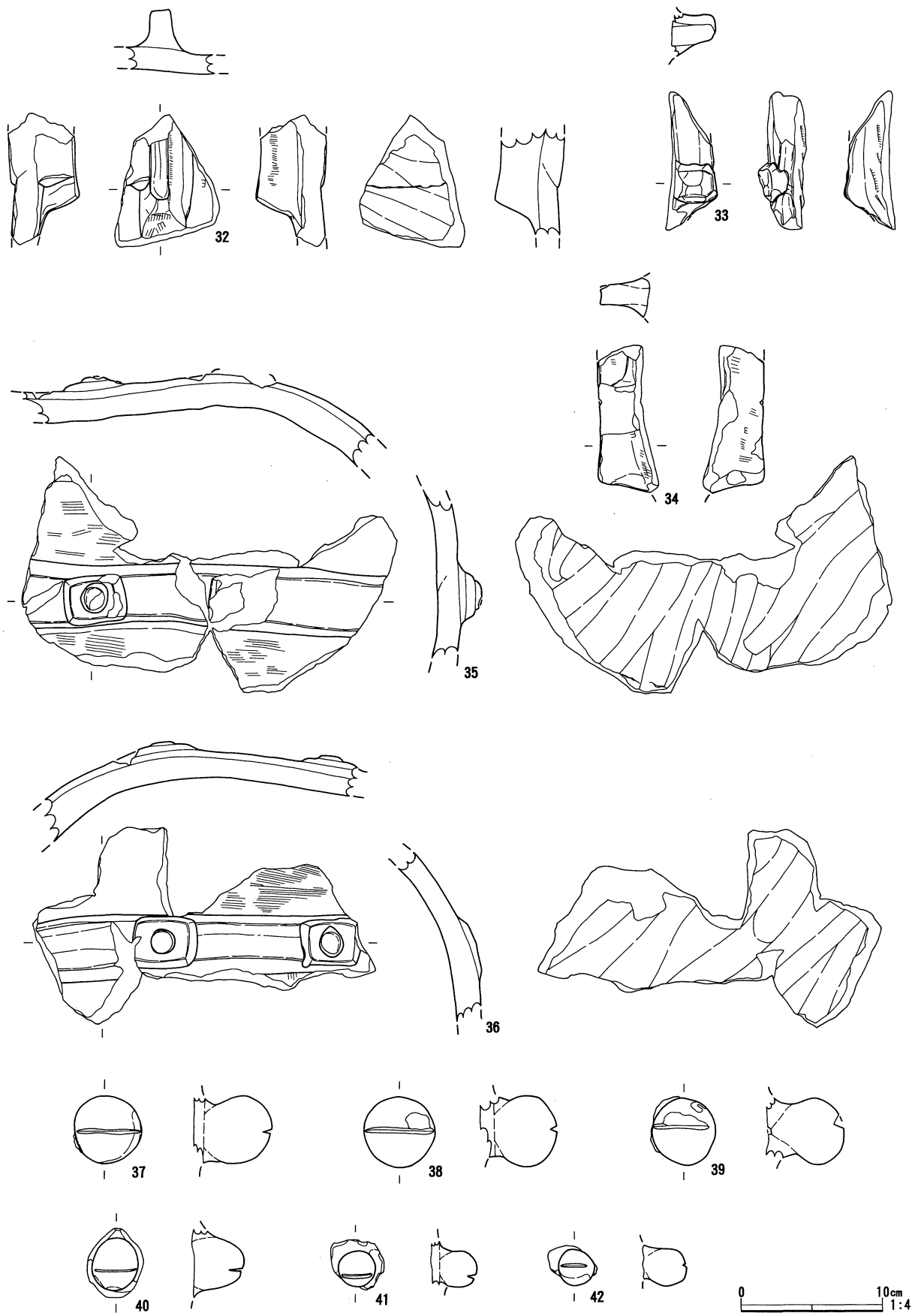


图257 ST-22 形象埴輪実測图 (4)

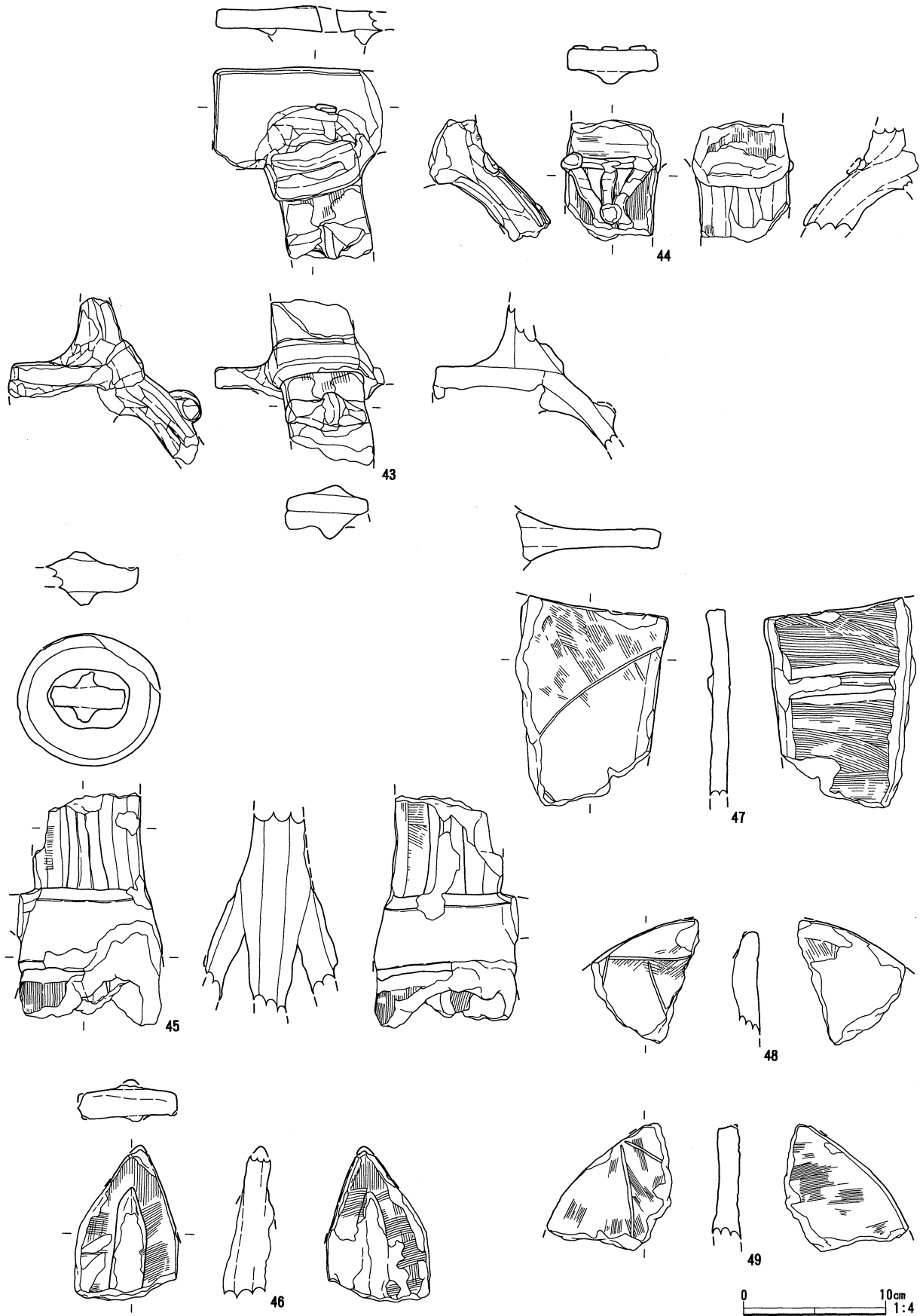


图258 ST-22 形象埴輪実測图 (5)

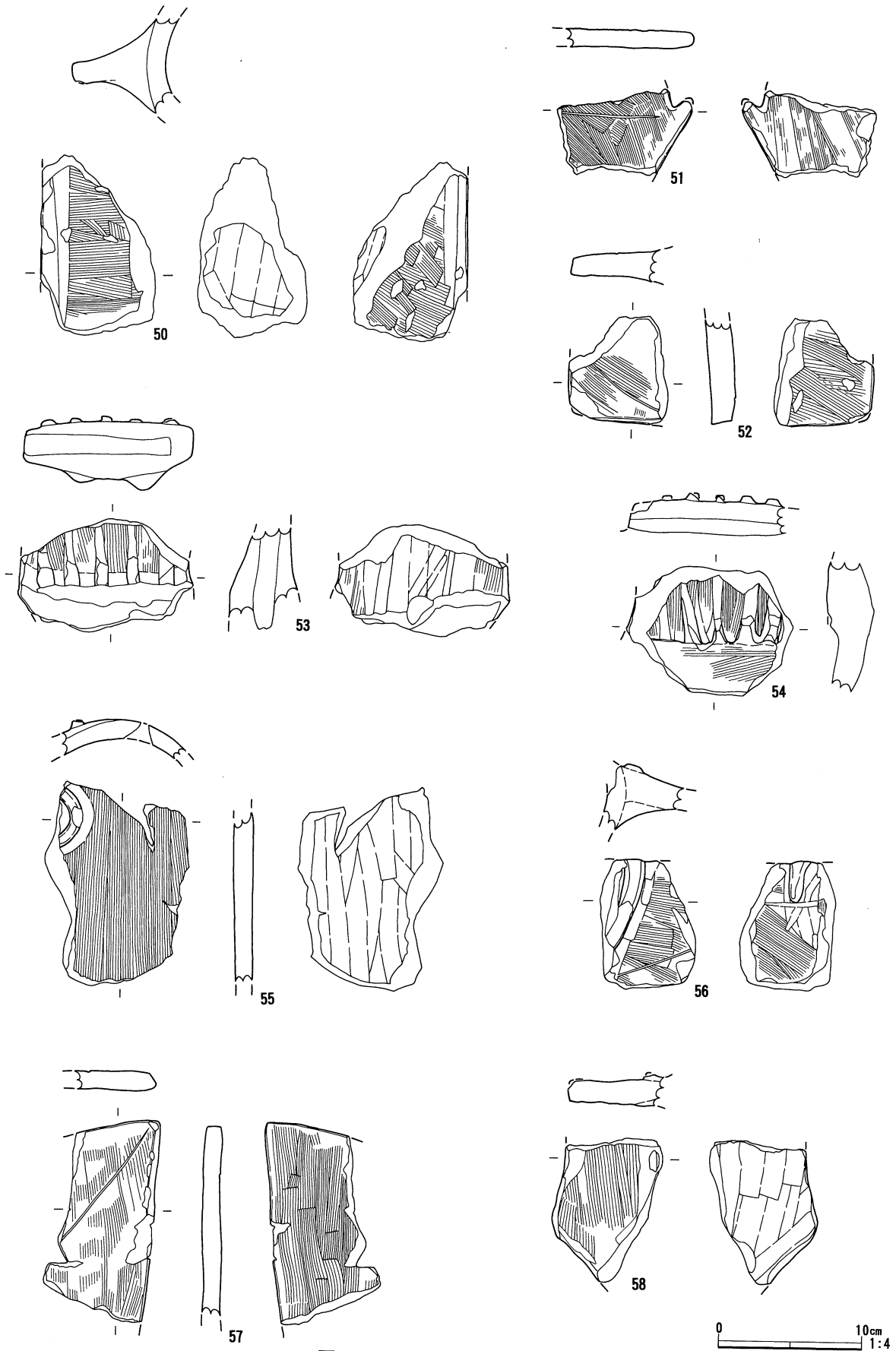


图259 ST-22 形象埴輪実測図 (6)

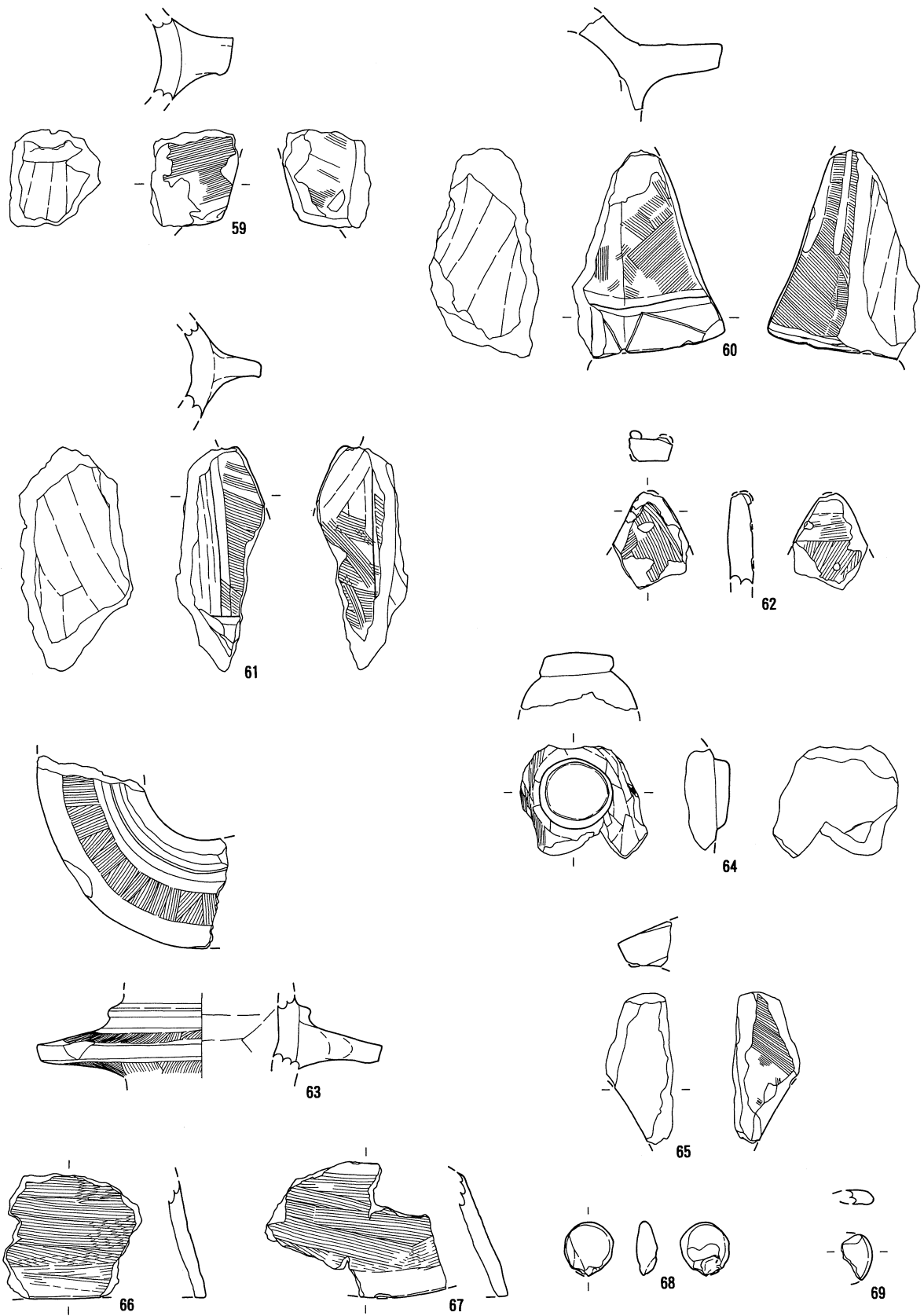


图260 ST-22 形象埴輪実測图 (7)

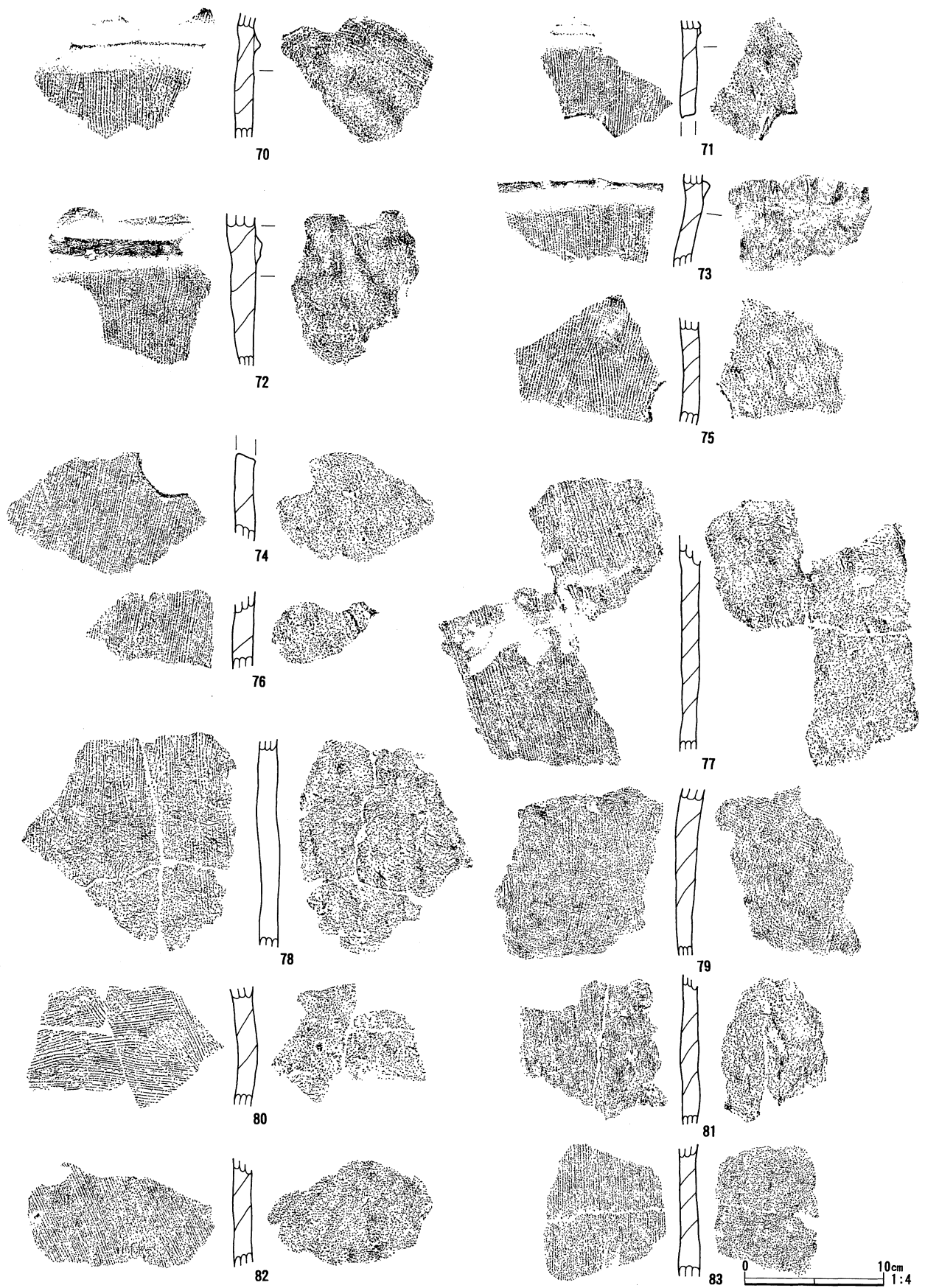


图261 ST-22 形象埴輪拓影图 (1)

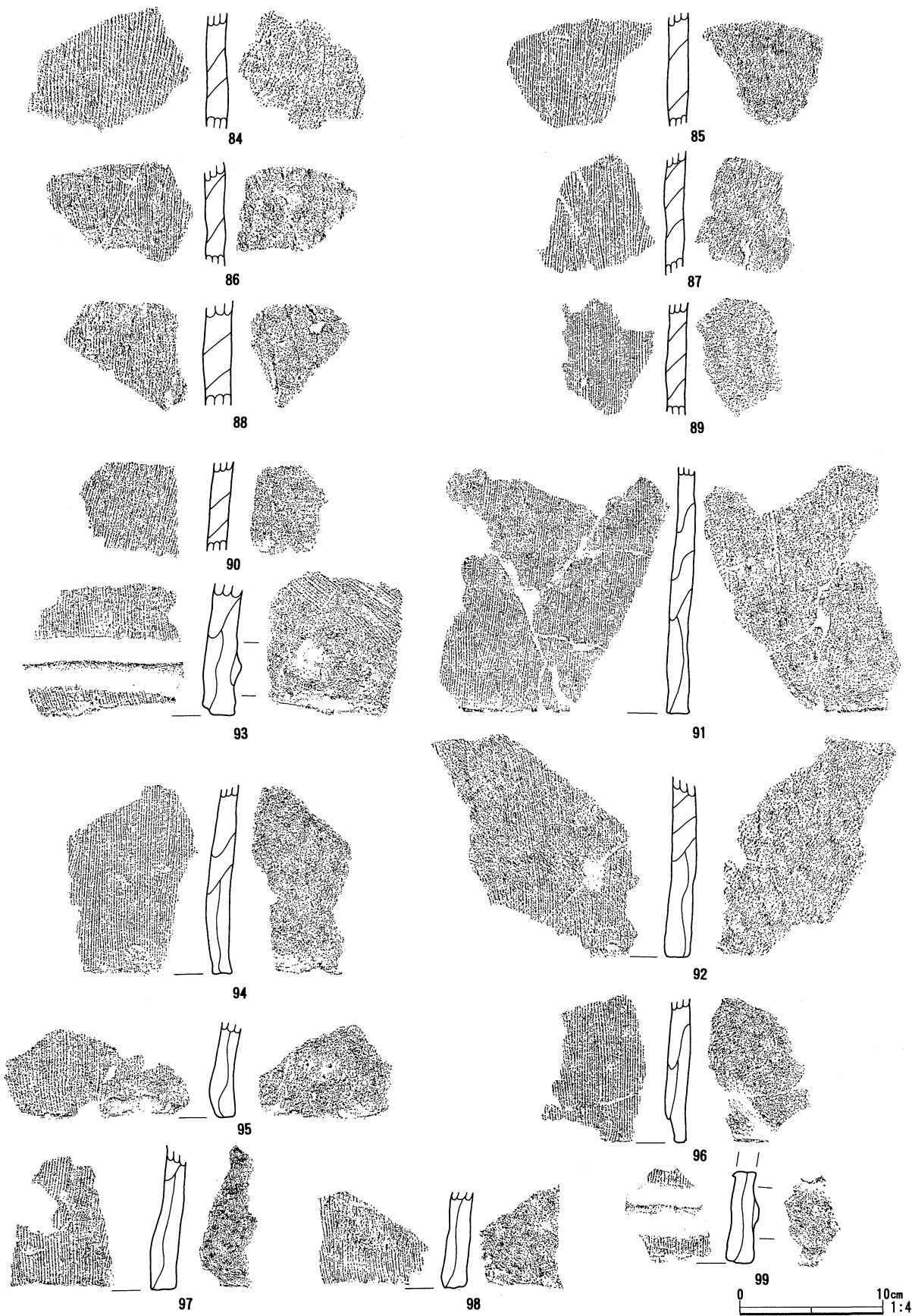


图262 ST-22 形象埴輪拓影图 (2)

67	円筒	第 1 段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm 及びナナメナデ	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。
68	円筒	第 1 段	1次タテハケ・11本/2cm	ナナメナデ	良 好	にぶい 橙色	砂粒を多く含む。
69	円筒	第 1 段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメナデ	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。
70	円筒	第 1 段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメナデ	良 好	にぶい 橙色	砂粒を多く含む。
71	朝顔	口 縁 部	1次タテハケ・6本/2cm	ヨコハケ・12本/2cm 及びナナメハケ	良 好	橙 色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
72	朝顔	口 縁 部	1次タテハケ・6本/2cm	ヨコハケ・6～8本/2cm 及びナナメハケ	良 好	橙 色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
73	朝顔	口 縁 部	1次タテハケ・6本/2cm	ヨコハケ・10本/2cm 及びナナメハケ	良 好	橙 色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
74	朝顔	口 縁 部	1次タテハケ・6本/2cm	ヨコハケ・10本/2cm 及びナナメハケ	良 好	橙 色	
75	朝顔	口 縁 部	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメハケ・11本/2cm	良 好	にぶい赤褐色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
76	朝顔	肩、胴 部	1次タテハケ・7～ 10本/2cm	ヨコハケ・10本/2cm ナ ナメハケ及びヨコナデ	良 好	橙 色	突帯ヨコナデ。
77	朝顔	肩、胴 部	1次タテハケ・7本/2cm	ヨコナデ	良 好	橙 色	突帯ヨコナデ。
78	朝顔	頸、肩 部	1次タテハケ・7本/2cm	タテナデ	良 好	橙 色	突帯ヨコナデ。
79	朝顔	頸、肩 部	1次タテハケ・10本/2cm	タテハケ・12本/2cm ナ ナメハケ及びナナメナデ	良 好	にぶい 橙色	突帯ヨコナデ。

ST-22 形象埴輪観察表

No.	器 種	部位・形態の特徴	成形・調整手法の特徴	焼 成	色 調	備 考
1	家	壁体～基部。	外面一ハケ。 内面一ナデ。	良 好	にぶい 橙色	砂礫を多く含む。
2	家	壁体～基部。	外面一ハケ。 内面一ナデ。	良 好	にぶい 橙色	砂礫を多く含む。
3	人 物	左顔面部。頬に縦方向2条の線 刻あり。	外面一ナデ。 内面一ナデ。	良 好	橙 色	礫・角閃石を含む。
4	人 物	左顔面から側頭部。耳環及び耳 玉を表現。目孔あり。	外面一ハケ。 内面一ナデ。	良 好	にぶい赤褐色	礫・角閃石を含む。
5	人 物	頸から胸部。左衽盤領衣の襟と 合目、緒を表現。	外面一ハケ及びナデ。 内面一ナデ。	良 好	橙 色	礫・角閃石を含む。
6	人 物	左腕部。手首に1条の緒ないし 釧を表現。	中実成形。 ハケ。	良 好	にぶい 褐色	礫・角閃石を含む。
7	人 物	右腕部。手首に1条の緒ないし 釧を表現。	中実成形。 ハケ。	良 好	にぶい 橙色	礫・角閃石を含む。
8	人 物	腕部。手首に2条の緒ないし釧 を表現。	中実成形。 ハケ及びナデ。	良 好	にぶい赤褐色	礫・角閃石を含む。
9	人 物	腕部。	中実成形。 ハケ及びナデ。	良 好	にぶい赤褐色	礫・角閃石を含む。
10	人 物	胴部。腰に鋸歯状線刻の入る帯 を表現。	外面一ナデ。 内面一ナデ。	良 好	明 褐 色	礫・角閃石を含む。
11	人 物	大型双脚像の上衣の裾部。	外面一ハケ。 裏面剝離。	良 好	橙 色	角閃石を含む。
12	人 物	大型双脚像の上衣の裾部。	2枚の粘土板を接合して成形。 内・外面一ハケ及びヘラナデ。	良 好	橙 色	角閃石を含む。

13	人物	大型双脚像の上衣の裾部。	2枚の粘土板を接合して成形。 外面一ハケ。内面一ヘラナデ。	良好	橙色	角閃石を含む。
14	人物	大型双脚像の上衣の裾部。	外面一ハケ。 内面一ハケ及びナデ。	良好	橙～にぶい褐色	角閃石を含む。
15	人物	大型双脚像の上衣の裾部。	外面一ハケ。 内面一ヘラナデ。	良好	橙色	
16	人物	上衣の裾部。	外面一ハケ。 内面一ヘラナデ。	良好	橙色	角閃石を含む。
17	人物	上衣の裾部。	外面一ハケ。 内面一ヘラナデ。	良好	橙色	礫・角閃石を含む。
18	人物	大型双脚像の上衣の裾部。	2枚の粘土板を接合して成形。 内・外面一ナデ及びハケ。	良好	橙色	礫・角閃石を含む。
19	人物	大型人物の大刀の柄部。 本体から剝離。	ナデ。	良好	橙色	礫・角閃石を含む。
20	人物	頸飾の円形付文。 本体から剝離。	ナデ。	良好	にぶい橙色	
21	人物	頸飾の円形付文。 本体から剝離。	ナデ。	良好	にぶい橙色	
22	人物	頸飾の円形付文。 本体から剝離。	ナデ。	良好	橙色	
23	馬	左後側頭部。手綱、面繫、付属 の飾金具を表現。耳欠損。	外面一ハケ。 内面一ヘラナデ。	良好	明赤褐色	角閃石を含む。
24	馬	左後側頭部。面繫を表現。	外面一ハケ。 内面一ヘラナデ。	良好	にぶい褐色	角閃石を含む。
25	馬	面繫と付属の辻金具。 本体から剝離。	ナデ。	良好	明褐色	砂礫を多く含む。 角閃石を含む。
26	馬	鬣の付け根部分。 手綱を表現。	ハケ。	良好	明赤褐色	砂礫を多く含む。
27	馬	首の一部。手綱を表現。	外面一ハケ。 内面一ナデ。	良好	明赤褐色	砂礫を多く含む。 角閃石を含む。
28	馬	鞍橋の一部。 繫の表現なし。	ハケ及びナデ。	良好	にぶい褐色	砂礫を多く含む。 角閃石を含む。
29	馬	鞍の中央部。前輪欠損。後輪一 部残存。尻繫を表現。	外面一ハケ。 内面一ナデ。	良好	明赤褐色	砂礫を多く含む。 角閃石を含む。
30	馬	鞍橋の一部。 繫の表現なし。	外面一ハケ。 内面一ハケ。	良好	明褐色	砂礫を多く含む。 角閃石を含む。
31	馬	前輪の一部。胸繫、障泥を表現。	外面一ハケ。 内面一ナデ。	良好	明赤褐色	砂礫を多く含む。 角閃石を含む。
32	馬	後輪の下端部。胴側方を巡る尻 繫を表現。	外面一ハケ。 内面一ハケ。	良好	明赤褐色	礫・角閃石を含む。
33	馬	後輪の下端部。胴側方を巡る尻 繫を表現。	外面一ハケ。 内面一ハケ。	良好	明赤褐色	礫・角閃石を含む。
34	馬	後輪の下端部。胴側方を巡る尻 繫の剝離痕あり。	外面一ハケ。 内面一ハケ。	良好	明赤褐色	礫・角閃石を含む。
35	馬	後胴から尻部。胴側方を巡る尻 繫を表現。	外面一ハケ。 内面一ナデ。	良好	明褐色	砂礫を多く含む。 角閃石を含む。
36	馬	後胴から尻部。胴側方を巡る尻 繫を表現。	外面一ハケ。 内面一ナデ。	良好	明赤褐色	砂礫を多く含む。 角閃石を含む。
37	馬	鈴。	中実成形。 ナデ。	良好	にぶい褐色	礫・角閃石を含む。
38	馬	鈴。	中実成形。 ナデ。	良好	にぶい褐色	礫・角閃石を含む。
39	馬	鈴。	中実成形。 ナデ。	良好	赤褐色	砂礫を多く含む。 角閃石を含む。

40	馬	鈴。	中実成形。 ナデ。	良 好	橙 色	砂礫を多く含む。 角閃石を含む。
41	馬	鈴。	中実成形。 ナデ。	良 好	明 褐 色	砂礫を多く含む。 角閃石を含む。
42	馬	鈴。	中実成形。 ナデ。	良 好	明 赤 褐 色	砂礫を多く含む。 角閃石を含む。
43	大 刀	把頭及び護拳部。三輪玉を表現	外面一ハケ。 内面一ハケ。	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。
44	大 刀	護拳部。粘土紐と粘土粒で表面 の装飾を表現。	外面一ハケ。 内面一ハケ。	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。 角閃石を含む。
45	戟	基部の側方に援の欠損した痕跡 あり。	外面一ハケ。 内面一ハケ。	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。 角閃石を含む。
46	矛		ハケ。	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。 角閃石を含む。
47	盾	表面に線刻あり。裏面に補強用 の突帯を貼付。	外面一ハケ。 内面一ハケ。	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。 角閃石を含む。
48	盾	盾面上端部分。線刻により三 角文を表現。	外面一ハケ。 内面一ハケ。	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。 角閃石を含む。
49	盾	盾面上端部の破片、線刻によ り三角文を表現。	外面一ハケ。 内面一ハケ。	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。 角閃石を含む。
50	盾	盾面側辺部。	外面一ハケ。 内面一ハケ。	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。 角閃石を含む。
51	盾	盾面上端部。線刻あり。	外面一ハケ。 内面一ハケ。	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。 角閃石を含む。
52	盾	盾面下端部。線刻あり。	外面一ハケ。 内面一ハケ。	良 好	にぶい 橙 色	砂粒を多く含む。 角閃石を含む。
53	鞞	矢筒上部から鏃部。粘土紐で鏃 を表現。	外面一ハケ及びナデ。	良 好	橙 色	角閃石を含む。
54	鞞	矢筒上部から鏃部。粘土紐で鏃 を表現。	外面一ハケ後ナデ。	良 好	橙 色	角閃石を含む。
55	鞞	矢筒部。背負紐の結目を表現。	外面一ハケ。 内面一ヘラナデ。	良 好	橙 色	砂礫を多く含む。 角閃石を含む。
56	鞞	上側背負板の上部。矢筒部との 境界部。背負紐を表現。	外面一ハケ。 内面一ハケ。	良 好	橙 色	砂礫を多く含む。 角閃石を含む。
57	鞞	上側背負板の上部。線刻あり。	外面一ハケ。 内面一ハケ。	良 好	橙 色	砂礫を多く含む。
58	鞞	上側背負板の下部。	外面一ハケ。 内面一ヘラナデ。	良 好	橙 色	砂礫を多く含む。 角閃石を含む。
59	鞞	下側背負板の下端部。	外面一ハケ。 内面一ハケ。	良 好	橙 色	砂礫を多く含む。
60	鞞	下側背負板。下端に鋸歯状線刻 の入る帯状の縁取り。	外面一ハケ。 内面一ハケ。	良 好	橙 色	砂礫を多く含む。
61	鞞	下側背負板。下端に帯状の縁取 り。	外面一ハケ。 内面一ナデ。	良 好	明 赤 褐 色	砂礫を多く含む。
62	翳	星形翳の一部。縁辺部に粘土紐 を貼付。	外面一ハケ。 内面一ハケ。	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。 角閃石を含む。
63	帽 子	鏝部。帽子本体との境界部に突 帯が巡る。	外面一ハケ後ヨコナデ。 内面一ナデ。	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。
64	不 明	大型の円形付文を貼付。	外面一ハケ後ナデ。	良 好	明 赤 褐 色	砂粒を多く含む。 角閃石を含む。
65	不 明	側面に剝離面。	外面一摩耗により不明。 内面一ハケ。	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。 角閃石を含む。
66	不 明	裏面は剝離面。	外面一ハケ及びナデ。	良 好	にぶい赤褐色	砂粒を多く含む。

67	不	明	裏面は剝離面。	外面一ハケ。	良 好	にぶい橙褐色	砂粒を多く含む。
68	不	明	剝離した円形付文。	外面一ナデ。	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。
69	不	明	剝離した円形付文。	外面一ナデ。	良 好	橙 色	砂粒を多く含む。
70	不	明	台部。円形透孔あり。	外面一タテハケ及びナナメハケ。 内面一ナナメハケ後ナナメナデ。	良 好	橙 色	
71	不	明	台部。円形透孔あり。	外面一タテハケ。 内面一ナナメハケ後ナデ。	良 好	橙 色	
72	不	明	台部。	外面一タテハケ。 内面一ナナメハケ後ナナメナデ。	良 好	橙 色	
73	不	明	台部。	外面一タテハケ。 内面一ナナメナデ。	良 好	橙 色	
74	不	明	台部。円形透孔あり。	外面一タテハケ。 内面一タテハケ後タテナデ。	良 好	橙 色	
75	不	明	台部。円形透孔あり。	外面一タテハケ。 内面一ナナメハケ。輪積痕あり。	良 好	橙 色	
76	不	明	台部。円形透孔あり。	外面一タテハケ。 内面一タテナデ及びナナメナデ。	良 好	橙 色	
77	不	明	台部。	外面一タテハケ。 内面一タテナデ及びナナメナデ。 輪積痕あり。	良 好	橙 色	
78	不	明	台部。	外面一タテハケ。 内面一タテハケ後タテナデ。	良 好	橙 色	
79	不	明	台部。	外面一タテハケ及びナナメハケ。 内面一ナナメハケ及びナデ。	良 好	橙 色	
80	不	明	台部。	外面一不定方向のハケ。 内面一ナナメナデ。輪積痕あり。	良 好	橙 色	
81	不	明	台部。	外面一タテハケ。 内面一タテナデ。輪積痕あり。	良 好	橙 色	
82	不	明	台部。	外面一タテハケ。 内面一ナナメナデ。輪積痕あり。	良 好	橙 色	
83	不	明	台部。	外面一タテハケ。 内面一タテナデ。輪積痕あり。	良 好	橙 色	
84	不	明	台部。	外面一タテハケ。内面一ハケ及びナデ。輪積痕あり。	良 好	橙 色	
85	不	明	台部。	外面一タテハケ。内面一不定方向のハケ及びナデ。輪積痕あり。	良 好	橙 色	
86	不	明	台部。	外面一タテハケ。 内面一不定方向のハケ及びナデ。	良 好	橙 色	
87	不	明	台部。	外面一タテハケ及びナナメハケ。 内面一ナナメハケ後ナナメナデ。	良 好	橙 色	
88	不	明	台部。	外面一タテハケ。内面一タテナデ及びナナメナデ。輪積痕あり。	良 好	橙 色	
89	不	明	台部。	外面一タテハケ。 内面一ナナメナデ。	良 好	橙 色	
90	不	明	台部。	外面一タテハケ。 内面一タテナデ。	良 好	橙 色	
91	不	明	台部。	外面一タテハケ・表面摩滅。 内面一タテナデ及びナナメナデ。	良 好	橙 色	
92	不	明	台部。	外面一タテハケ。 内面一ナナメナデ。	良 好	明 赤 褐 色	

93	不	明	台部。円形透孔あり。	外面—タテハケ。 内面—不定方向のハケ及びナデ。	良	好	に	ぶ	い	橙	色	
94	不	明	台部。	外面—タテハケ。 内面—タテナデ及びナメナデ。	良	好	橙	色				
95	不	明	台部。	外面—タテハケ。 内面—ナメナデ。	良	好	に	ぶ	い	赤	褐	色
96	不	明	台部。	外面—タテハケ。	良	好	橙	色				
97	不	明	台部。	外面—タテハケ。 内面—ナメナデ及びヨコナデ。	良	好	明	赤	褐	色		
98	不	明	台部。	外面—タテハケ。 内面—ナメナデ。	良	好	橙	色				
99	不	明	台部。円形透孔あり。	外面—タテハケ。 内面—ナメナデ及びヨコナデ。	良	好	に	ぶ	い	橙	色	

ST-23 (図263)

位置：O-1・2、P-1・2、Q-1・2グリッドに位置する。調査区の北端にあつて、北側1/2程度が調査区外にある。南側周堀の一部が、中世の井戸により、西側周堀の一部が中近世の溝により破壊を被っているほか、南側周堀の半ばから周堀外にかけて大規模な攪乱が入り、周堀外側の立ち上がりが大きく損なわれている。

形状：ST-23の周堀は幅、深さとも群内の他の古墳に比較して格段に規模が大きく、後述の埴輪組成とも考え合わせ、群中の同時期の古墳のうちでは盟主的な存在である。

墳丘は、確認の範囲で、整円形を呈する。周堀の規模、埴輪組成からして、墳形は帆立貝式ないし造出付円墳の可能性も考えられるが、調査の範囲内には墳丘突出部を認めない。墳丘南側から西側では、周堀上端の内側に階段状の段差が存在する。この段差は人為的なローム削り出しによる工作面と考えられ、墳丘裾部を巡るテラス状遺構の一部としての可能性も考えられる。

周堀断面は箱形を呈し、周堀底はローム層を掘り抜いて白灰色粘質土層に達している。周堀底面は東側が浅く、南側にかけて深度を増し、南側から西側にかけてはほぼ平坦である。

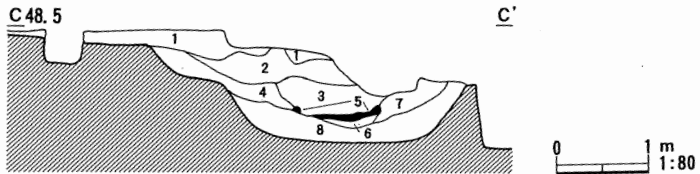
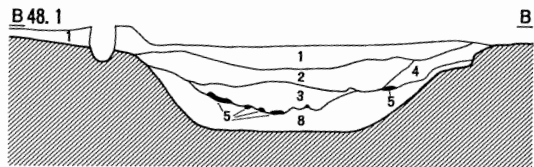
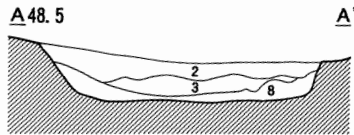
確認面から周堀底面までは深淺があり、周堀覆土の堆積状況は場所により異なる。最深箇所B-B'・C-C'の観察によれば、周堀覆土は3層に大別され、上層にロームブロック、白色パミスを少量含む黒色系土、第5とした灰白色火山灰層ないし火山灰ブロックを挟んで、中層に混合物を含まない暗褐色土及び暗灰色土、下層に白灰色粘質土ブロックを多量に含む暗褐色土の堆積を認める。なお、第5層の火山灰は、自然科学分析の結果、Hr-FAであることが判明した。

規模：周堀内径17.5m、周堀外径約25.0m、幅2.9～3.7m、深さ40～120cmを測る。

遺物：遺物は須恵器、円筒埴輪、朝顔形埴輪、形象埴輪、鉄鏃を検出した。遺物のほとんどは、墳丘南側の周堀内側覆土上層とこれを破壊している攪乱層で検出している。原位置を保つ個体は皆無で、とくに形象埴輪は攪乱層中に多く、細かく破断している資料が目立つ。

須恵器は周堀覆土上層で甕1点を検出した。底部と口縁部を欠失する。口縁部に波状文、胴部に刺突文を施す。TK47段階に相当する。

円筒埴輪は、全形の知れる個体は1点のみで、三条突帯四段構成をとる。その他の資料も、彎曲の度合いから、大口径の個体が多く、ST-23に樹立した円筒埴輪は、三条突帯四段構成品によって占められていたと考えられる。三条突帯四段構成の円筒埴輪を樹立する古墳は、確認の範囲内であるが群内ではST-23が唯一である。



ST-23 土層説明

- 1 黒色土 白色パミス (径1mm±) を少量含む。
- 2 黒色土 ロームブロック (径1~5mm)、白色パミス (径1mm±) を少量含む。
- 3 黒灰褐色土 ロームブロック (径1~5mm) を少量含む。
- 4 黒褐色土 ロームブロック (径1~15mm) を少量含む。
- 5 FA層・FAブロック
- 6 暗褐色土
- 7 暗灰色土
- 8 暗褐色土 白色粘質土ブロック (径1~15mm)、ロームブロック (径1~25mm) を多量に含む。

図263 ST-23

器壁は薄手の個体が多い。外面調整はすべて1次タテハケによる。突帯は断面が台形ないしM字形を呈する。透孔はすべて円形である。胎土には礫を含む個体が多い。

形象埴輪は人物、馬を確認できる。1～8は人物である。1は弾琴の男子で、胸から上の胸部と頭部、両腕、琴の部分が残る。下半身及び台部を完全に失っているため、座形式、琴の位置など不明の点が多い。1aは人物本体である。頭は鉢巻状の縁取りのある被りものを表現し、下げ美頭良を表す。美頭良の先端はT字状

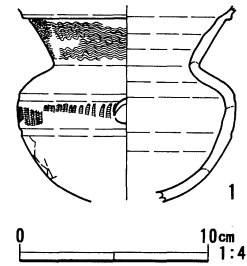


図264 ST-23 土器実測図

ST-23

No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	須恵器 甗	口径 — 底径 — 器高 —	膨らんだ体部、太く短い頸部。	ロクロ整形。頸部2条の波状文、体部沈線間に縦位刺突文。外面に自然釉。	白色粒 内外一灰色	頸部～体部 1/8。

を呈する。美頭良の左右付根に小孔が存在する。美頭良の付根の後方に小円形の耳孔を表現する。後頭中央には後髪を垂下する。両腕は前下方に差し出され、左手は手の平が下方を向き、弾琴の所作を示す。右手首から先は欠損しており、撥の使用は明らかではない。腕の成形は木芯中空技法によるもので、手首部分まで中空部が存在する。着衣の表現は認められない。1bは六弦槽作りの琴である。表板は中央で緩やかに括れ、一端に弦を張る突起を表現する。弦は粘土紐により立体的に表され、弦の元の孔は、裏側から穿孔され、表面まで達するが、弦の収束部と重複するため表面からは観察できない。槽は側面、端面とも逆台形を呈し、端面側は左右とも開放している。槽の裏面には弧状の剝離痕を認める。

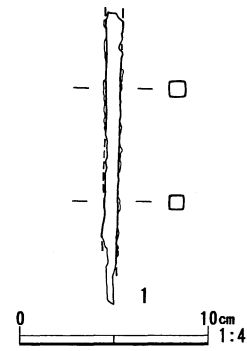


図265 ST-23 鉄器実測図

ST-23 金属遺物観察表

No.	種類	器種	法量 (cm・g)	備考
1	鉄製品	不明	残存長15.4 幅0.9 厚さ0.8 重さ22.8。	

1cは他の破片と接合せず、明確な部位は不明であるが、胎土、焼成、色調、成形技法に共通点を確認することから同一個体の一部と認定した。通常的人物の腰部のように括れた部分に、木芯中空成形による円筒状の部品が接合する。

2は頭上に壺を乗せる女子で、上半身と上衣正面裾部、台部が残る。2aは上半身で、右腕が脱落しているほか全体的に細かく破断し、欠損部分が多い。頭上の壺は胴中位の最大径を有し、緩やかに外彎して口縁部に至る。鼻にはタテ方向のヘラ先刺突により鼻孔を表し、耳は立体的に表現する。後頭部に板状の髻を貼付する。左腕は肩から急激に屈曲し、前胸に添えられる。中実成形による。胴部には突帯により襷状の表現がある。右肩から右側胴部を通り、再び右肩に至る紐と、右前胸から派生し、斜め下方に伸びて左側胴部を通り、右背面で再び結合する紐とにより構成される。腰には帯を表す。2bは右腕で、中実成形による。緩やかに彎曲し、手を広く作っている。2aの右肩部分が破損しているため直接には接合しないが、上方へ伸びて、手の平を頭上の

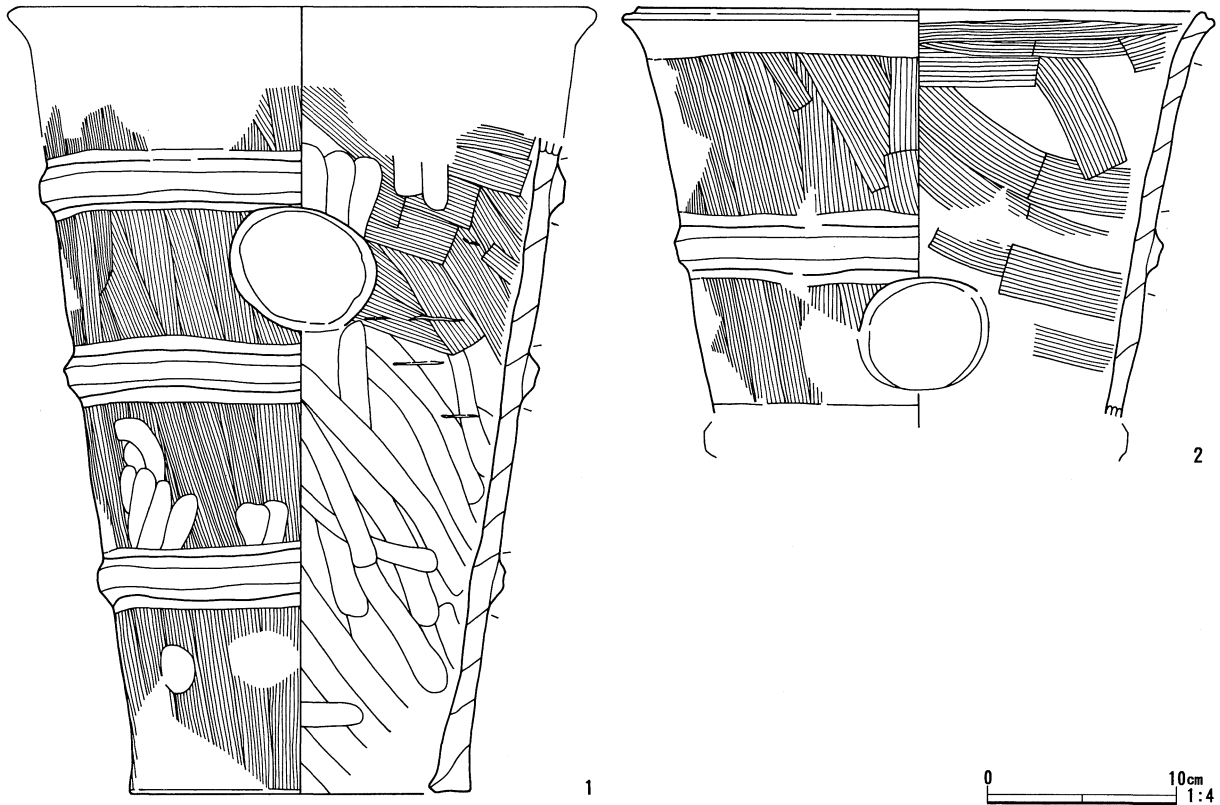


図266 ST-23 円筒埴輪実測図

壺に添える所作を示したものと想定される。2cは上衣正面の裾部で、直接には接合しないが、2aと連続すると考えられる帯の表現がある。2dは台部で、中間部に1対の円形透孔が存在する。

3は顔面部で、額部が上方へ広く立ち上がる。4は女子の右前胸から頸部にかけての部位で、胸の膨らみを表現する。5は右肩から脇部で、腕は先方へ差し出される。中実成形による。6は左腕、7は右腕でともに指先を欠失する。7は木芯中空成形による。8は上衣の一部と考えられ、緒を垂下する表現がある。

9～22は馬である。9は左側頭部で、耳を欠失し、面繫の表現が残る。10は耳の先端部である。11は胸の一部で、胸繫の革紐を表す。12・13は鞍橋の一部である。14は背部で尻繫の革紐を表す。尻繫、杏葉の表現は認めない。15は左側障泥禪端部で、輪鐙の表現が残る。16は障泥の下端部で、胴部から剝離している。

17は尾で、馬本体から脱落している。臍を成形し尻部と接合する。18～22は鈴で、いずれも中実成形による。23は器種不明である。棒状の部品で、先端部は丸く成形されている。

鉄鏃は周掘覆土上層で検出した。長頸鏃の篋被から茎にかけての部位で、鏃身部を欠失しているため形式の詳細は不明である。

ST-23 円筒・朝顔形埴輪拓影資料観察表

番号	器種	部位	外面調整・ハケ本数	内面調整・ハケ本数	焼成	色調	備考
1	円筒	第4・3段	1次タテハケ・12本/2cm	ヨコハケ・10本/2cm 及びナメハケ	良好	にぶい褐色	礫を含む。内面輪積痕。口唇部端面・内外面・突帯ヨコナデ。
2	円筒	第4・3段	1次タテハケ・12本/2cm	ヨコハケ・10本/2cm 及びナメハケ	良好	にぶい褐色	礫を含む。内面輪積痕。口唇部端面・内外面・突帯ヨコナデ。
3	円筒	第4段	1次タテハケ・11本/2cm	ヨコハケ・10本/2cm 及びナメハケ	良好	にぶい褐色	礫を含む。内面輪積痕。口唇部端面・内外面ヨコナデ。

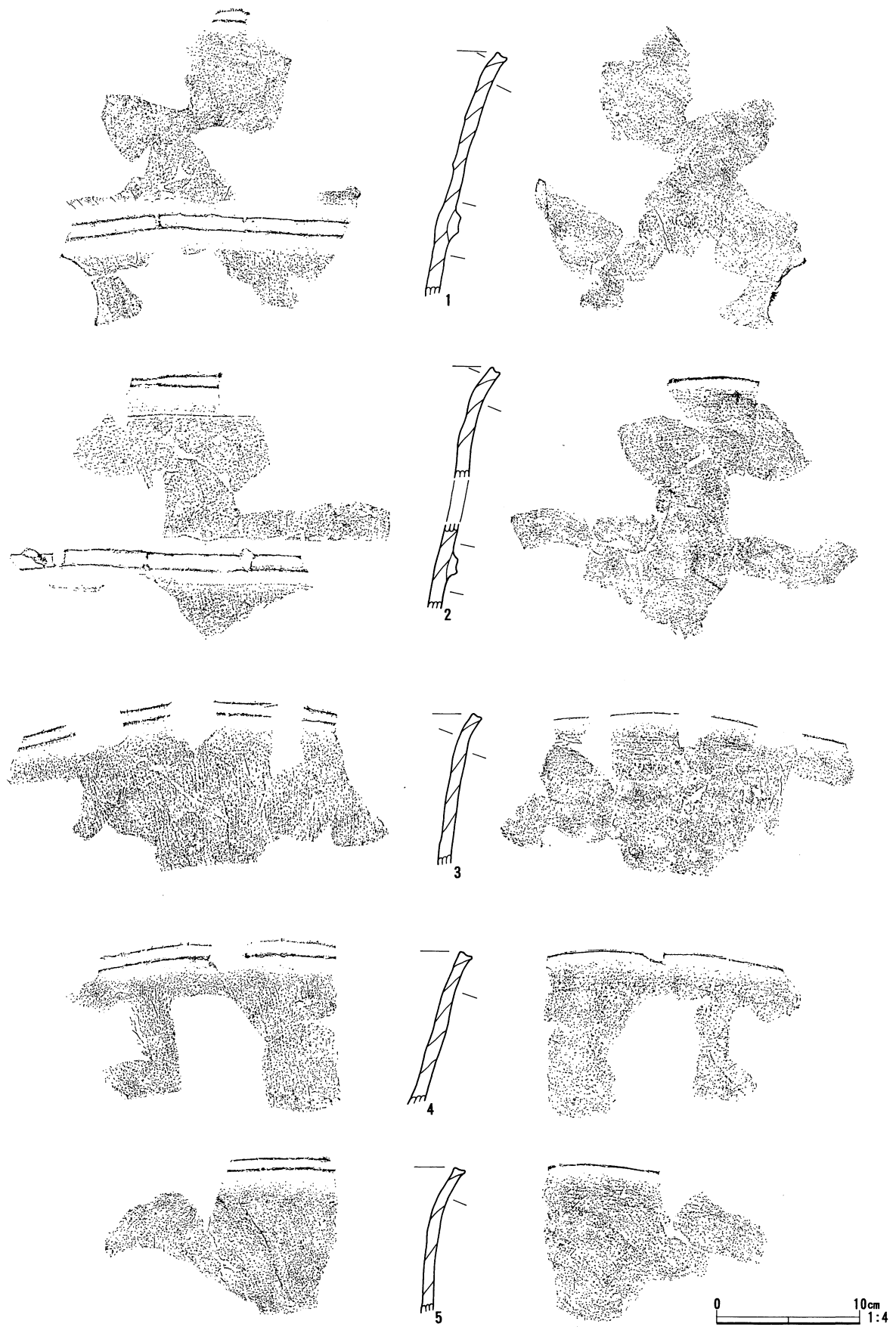


图267 ST-23 円筒・朝顔形埴輪拓影图 (1)

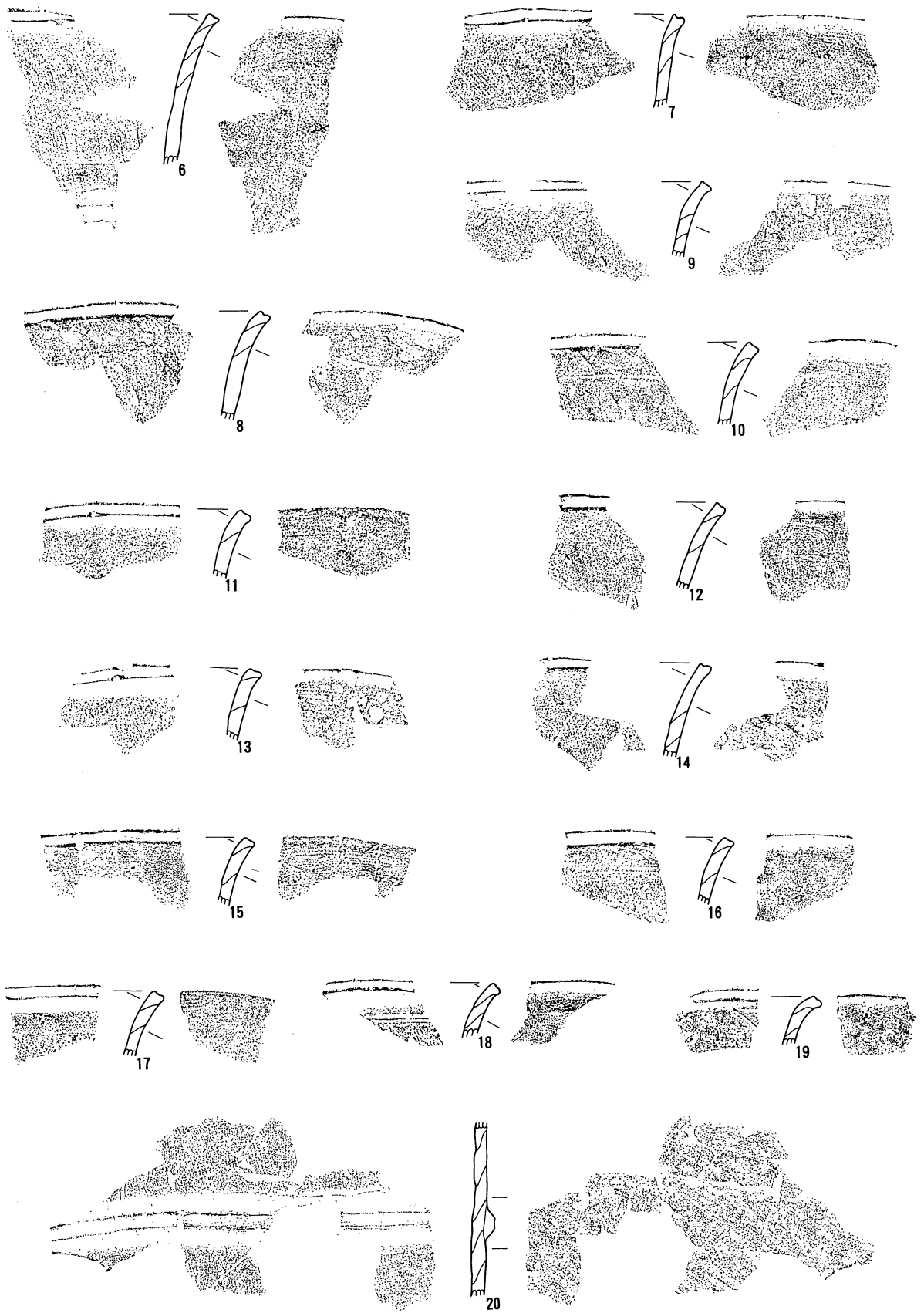


图268 ST-23 円筒・朝顔形埴輪拓影图 (2)

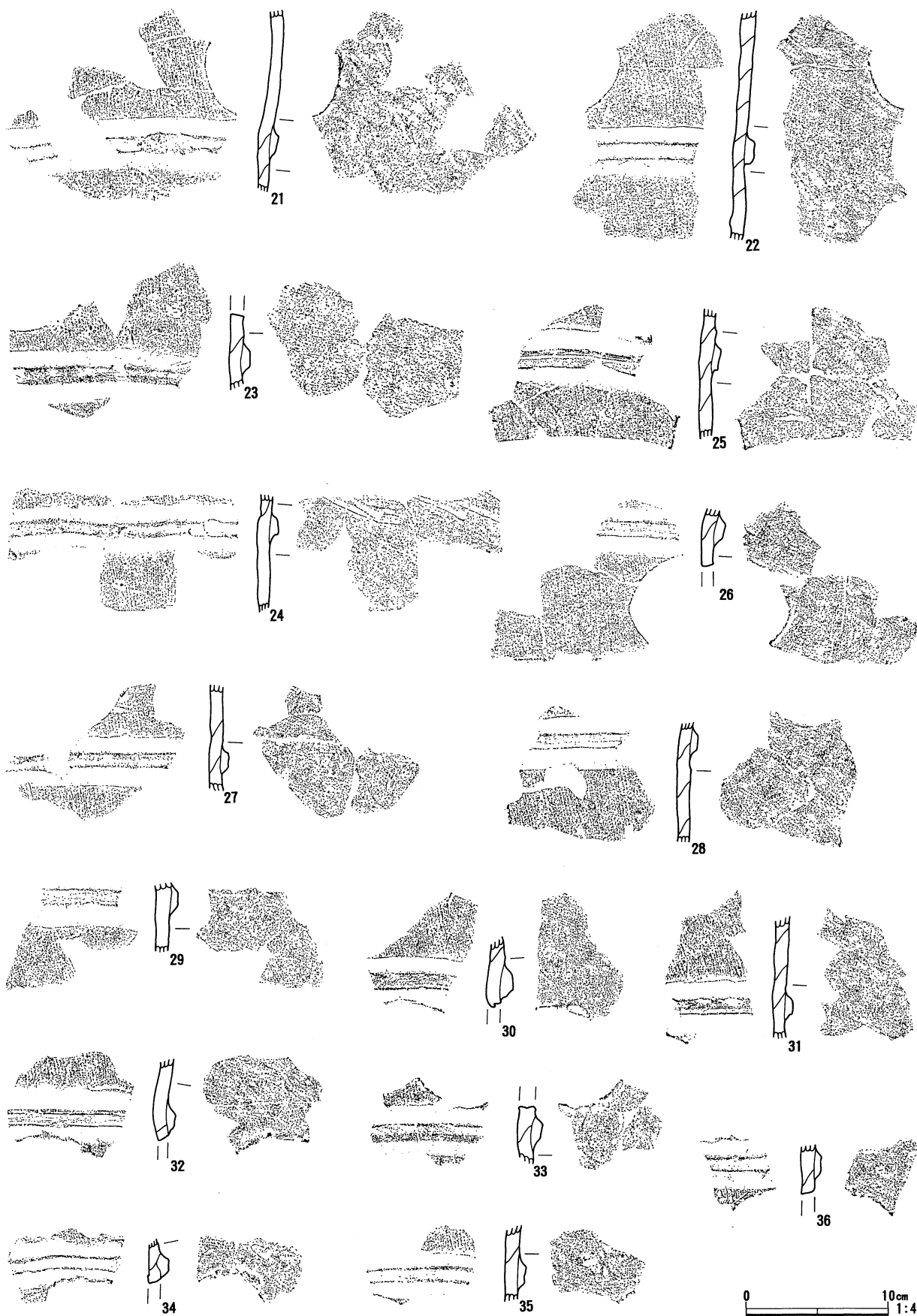


图269 ST-23 円筒・朝顔形埴輪拓影图 (3)

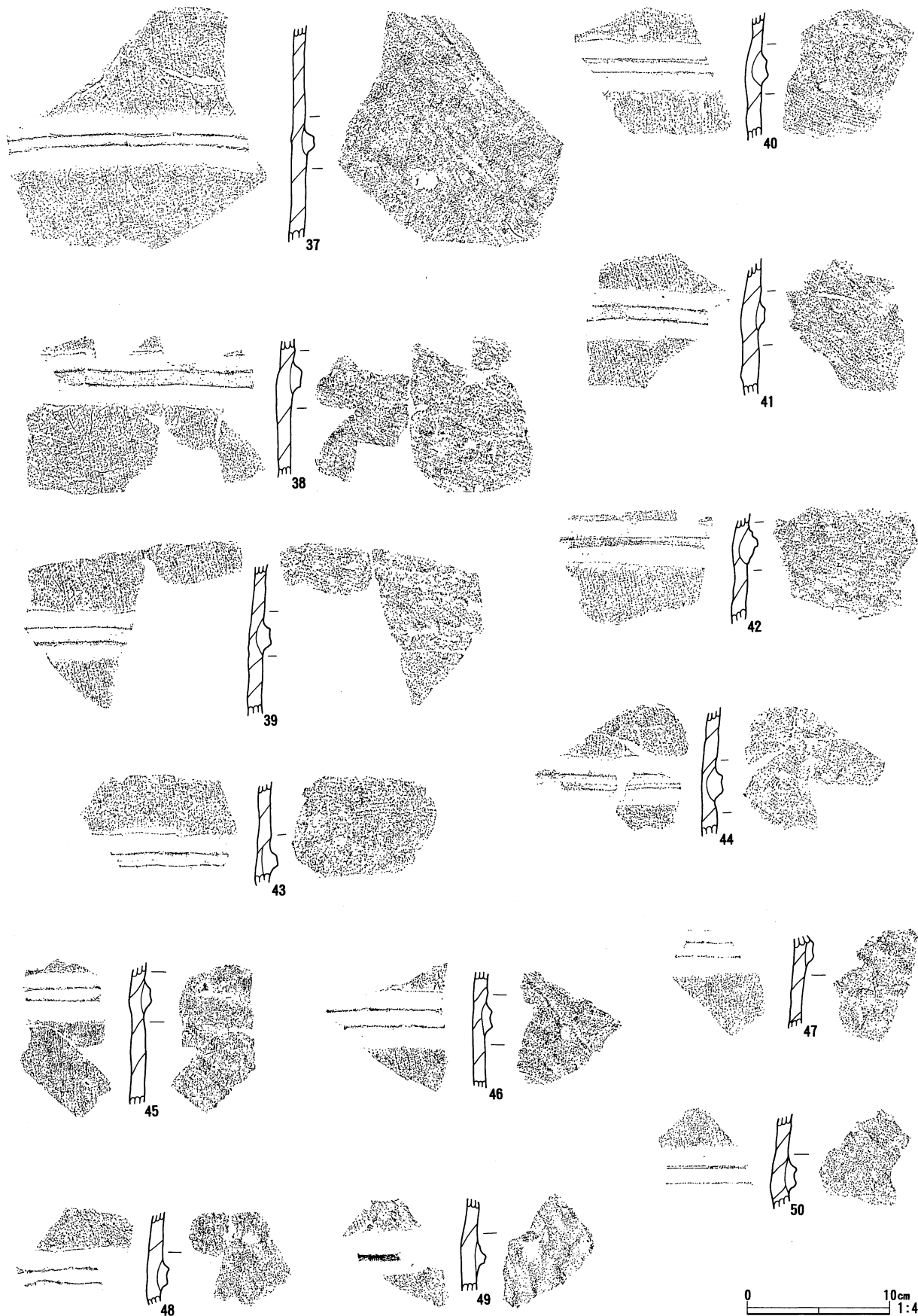


图270 ST-23 円筒・朝顔形埴輪拓影图 (4)

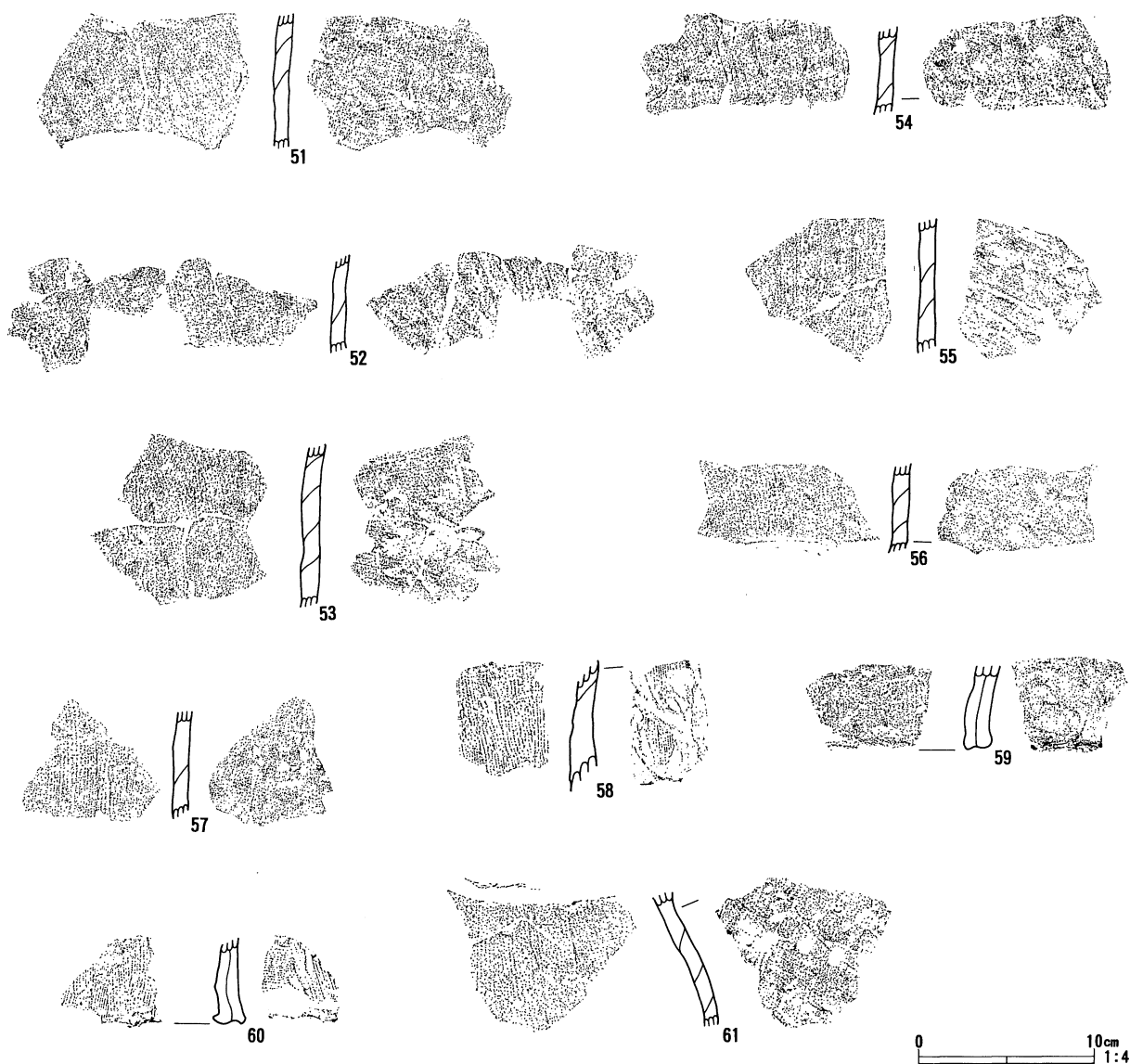


図271 ST-23 円筒・朝顔形埴輪拓影図 (5)

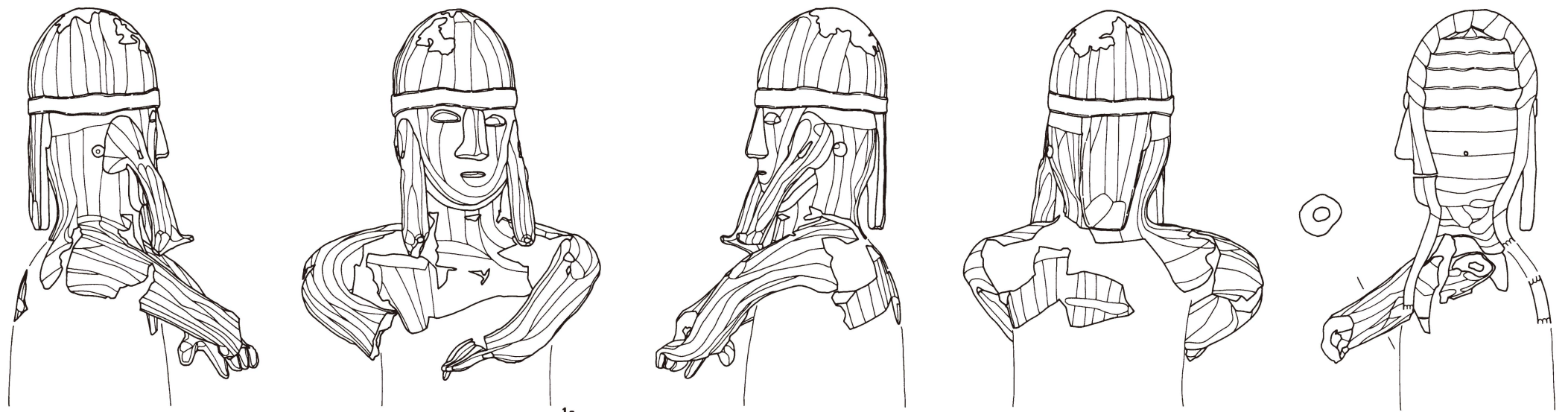
4	円筒	第 4 段	1次タテハケ・12本/2cm	ヨコハケ・8本/2cm 及びナナメハケ	良好	にぶい褐色	礫を含む。内面輪積痕。口唇部 端面・内外面ヨコナデ。
5	円筒	第 4 段	1次タテハケ・12本/2cm	ヨコハケ・8本/2cm 及びナナメハケ	良好	橙 色	礫を含む。内面輪積痕。口唇部 端面・内外面ヨコナデ。
6	円筒	第 4 段	1次タテハケ・11本/2cm	ヨコハケ・11本/2cm 及びナナメハケ	良好	にぶい褐色	礫を含む。内面輪積痕。口唇部 端面・内外面・突帯ヨコナデ。
7	円筒	第 4 段	1次タテハケ・10本/2cm	ヨコハケ・10本/2cm 及びナナメハケ	良好	橙 色	礫を含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
8	円筒	第 4 段	1次タテハケ・11本/2cm	ヨコハケ・11本/2cm 及びナナメハケ	良好	明赤褐色	礫を含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
9	円筒	第 4 段	1次タテハケ・12本/2cm	ヨコハケ・10本/2cm 及びナナメハケ	良好	明赤褐色	礫を含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
10	円筒	第 4 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm	良好	橙 色	礫を含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
11	円筒	第 4 段	1次タテハケ・12本/2cm	ヨコハケ・14本/2cm 及びナナメハケ	良好	明赤褐色	礫を含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。

12	円筒	第 4 段	1次タテハケ・12本/2cm	ヨコハケ・12本/2cm	良好	橙 色	礫を含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
13	円筒	第 4 段	1次タテハケ・10本/2cm	ヨコハケ・12本/2cm 及びナナメハケ	良好	橙 色	礫を含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
14	円筒	第 4 段	1次タテハケ・10本/2cm	ヨコハケ・10本/2cm 及びナナメハケ	良好	橙 色	礫を含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
15	円筒	第 4 段	1次タテハケ・16本/2cm	ヨコハケ・11本/2cm 及びナナメハケ	良好	明赤褐色	礫を含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
16	円筒	第 4 段	1次タテハケ・10本/2cm	ヨコハケ・10本/2cm 及びナナメハケ	良好	橙 色	礫を含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
17	円筒	第 4 段	1次タテハケ・11本/2cm	ヨコハケ・10本/2cm 及びナナメハケ	良好	橙 色	礫を含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
18	円筒	第 4 段	1次タテハケ・14本/2cm	ナナメハケ・14本/2cm	良好	にぶい黄褐色	礫を含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
19	円筒	第 4 段	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm	良好	橙 色	礫を含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
20	円筒	中 位	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm	良好	にぶい黄褐色	礫を含む。内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。円形透孔。
21	円筒	中 位	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm	良好	にぶい 橙 色	礫を含む。突帯ヨコナデ。 円形透孔。
22	円筒	中 位	1次タテハケ・9本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm	良好	にぶい黄橙色	礫を含む。内面輪積痕。
23	円筒	中 位	1次タテハケ・9本/2cm	ナナメハケ・14本/2cm	良好	にぶい黄橙色	礫を含む。突帯ヨコナデ。 円形透孔。
24	円筒	中 位	1次タテハケ・14本/2cm	ナナメハケ・14本/2cm	良好	明赤褐色	礫を含む。突帯ヨコナデ。 円形透孔。
25	円筒	中 位	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm 及びナナメナデ	良好	橙 色	礫を含む。突帯ヨコナデ。 円形透孔。
26	円筒	中 位	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm	良好	にぶい黄褐色	礫を含む。突帯ヨコナデ。 円形透孔。
27	円筒	中 位	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm	良好	橙 色	礫を含む。内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。円形透孔。
28	円筒	中 位	1次タテハケ・11本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm	良好	橙 色	礫を含む。内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。円形透孔。
29	円筒	中 位	1次タテハケ・11本/2cm	ナナメハケ・11本/2cm	良好	にぶい褐色	砂礫を含む。内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。円形透孔。
30	円筒	中 位	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm	良好	明赤褐色	砂礫を含む。内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。円形透孔。
31	円筒	中 位	1次タテハケ・11本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm	良好	にぶい黄褐色	礫を含む。突帯ヨコナデ。 円形透孔。
32	円筒	中 位	1次タテハケ・9本/2cm	ナナメハケ・9本/2cm	良好	橙 色	礫を含む。突帯ヨコナデ。 円形透孔。
33	円筒	中 位	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm	良好	橙 色	礫を含む。突帯ヨコナデ。 円形透孔。
34	円筒	中 位	1次タテハケ・11本/2cm	ナナメハケ・11本/2cm	良好	橙 色	礫を含む。突帯ヨコナデ。 円形透孔。
35	円筒	中 位	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm	良好	橙 色	礫を含む。突帯ヨコナデ。 円形透孔。
36	円筒	中 位	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm	良好	橙 色	礫を含む。突帯ヨコナデ。 円形透孔。
37	円筒	中 位	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm 及びナナメナデ	良好	橙 色	礫を含む。内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
38	円筒	中 位	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm	良好	にぶい黄褐色	礫を含む。内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。

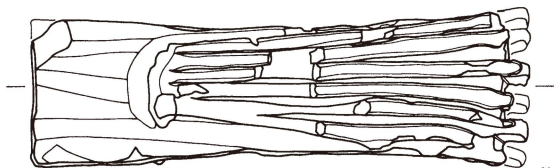
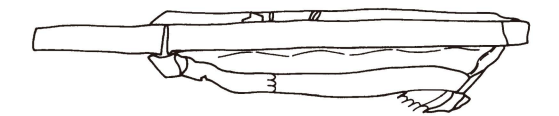
39	円筒	中	位	1次タテハケ・10本/2cm	ヨコハケ・10本/2cm 及びナナメハケ	良 好	橙	色	礫を含む。内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
40	円筒	中	位	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・11本/2cm	良 好	橙	色	礫を含む。内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
41	円筒	中	位	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm	良 好	橙	色	礫を含む。内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
42	円筒	中	位	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm	良 好	にぶい黄褐色		礫を含む。内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
43	円筒	中	位	1次タテハケ・10本/2cm	ヨコハケ・10本/2cm	良 好	にぶい黄褐色		礫を含む。内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
44	円筒	中	位	1次タテハケ・11本/2cm	ヨコハケ・9本/2cm 及びナナメハケ	良 好	橙	色	礫を含む。内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
45	円筒	中	位	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・16本/2cm	良 好	橙	色	礫を含む。内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
46	円筒	中	位	1次タテハケ・14本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm	良 好	灰黄褐色		礫を含む。内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
47	円筒	中	位	1次タテハケ・11本/2cm	ナナメハケ・14本/2cm	良 好	にぶい黄褐色		礫を含む。内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
48	円筒	中	位	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm 及びナナメナデ	良 好	灰黄褐色		礫を含む。内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
49	円筒	中	位	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm 及びナナメナデ	良 好	浅黄褐色		礫を含む。内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
50	円筒	中	位	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm 及びナナメナデ	良 好	橙	色	礫を含む。突帯ヨコナデ。
51	円筒	中	位	1次タテハケ・11本/2cm	ヨコハケ・13本/2cm 及びナナメハケ	良 好	橙	色	礫を含む。内面輪積痕。
52	円筒	中	位	1次タテハケ・14本/2cm	ナナメハケ・表面摩滅 及びナナメナデ	良 好	橙	色	礫を含む。突帯ヨコナデ。
53	円筒	中	位	1次タテハケ・12本/2cm	ヨコハケ・12本/2cm 及びナナメハケ	良 好	橙	色	礫を含む。内面輪積痕。
54	円筒	中	位	1次タテハケ・18本/2cm	ナナメハケ・20本/2cm	良 好	にぶい橙色		礫を含む。内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
55	円筒	中	位	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm 及びナナメナデ	良 好	橙	色	礫を含む。内面輪積痕。
56	円筒	中	位	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm	良 好	橙	色	礫を含む。突帯ヨコナデ。
57	円筒	中	位	1次タテハケ・12本/2cm	タテハケ・12本/2cm	良 好	橙	色	礫を含む。内面輪積痕。
58	円筒	中	位	1次タテハケ・12本/2cm	タテハケ・14本/2cm	須恵質	灰黄褐色		礫を含む。内面輪積痕。
59	円筒	第1段		1次タテハケ・9本/2cm	ナナメハケ・9本/2cm タテナデ及びナナメナデ	良 好	橙	色	礫を含む。内面輪積痕。
60	円筒	第1段		1次タテハケ・14本/2cm	ヨコハケ・14本/2cm 及びナナメハケ	良 好	橙	色	礫を含む。
61	朝顔	肩	部	1次タテハケ・10本/2cm	ヨコハケ・14本/2cm 及びナナメハケ	良 好	橙	色	礫を含む。内面指頭圧痕。 突帯ヨコナデ。

ST-23 形象埴輪観察表

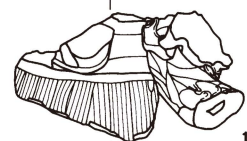
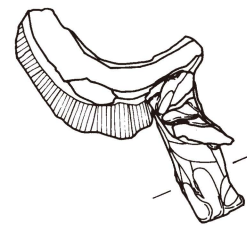
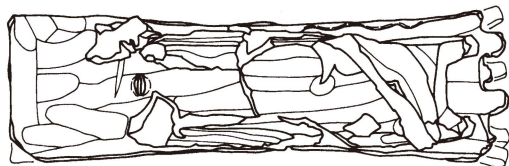
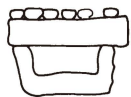
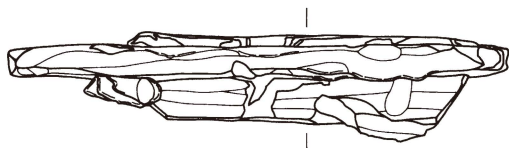
No.	器 種	部位・形態の特徴	成形・調整手法の特徴	焼 成	色 調	備 考
1	人 物	弾琴男子。縁のある丸帽着用。 下美頭良。付根に小孔あり。上 衣の表現なし。琴は六弦。	腕部木芯中空成形。 外面一ハケ及びナデ。 内面一ナデ。輪積痕あり。	良 好	赤 橙 色	礫を含む。



1a



1b

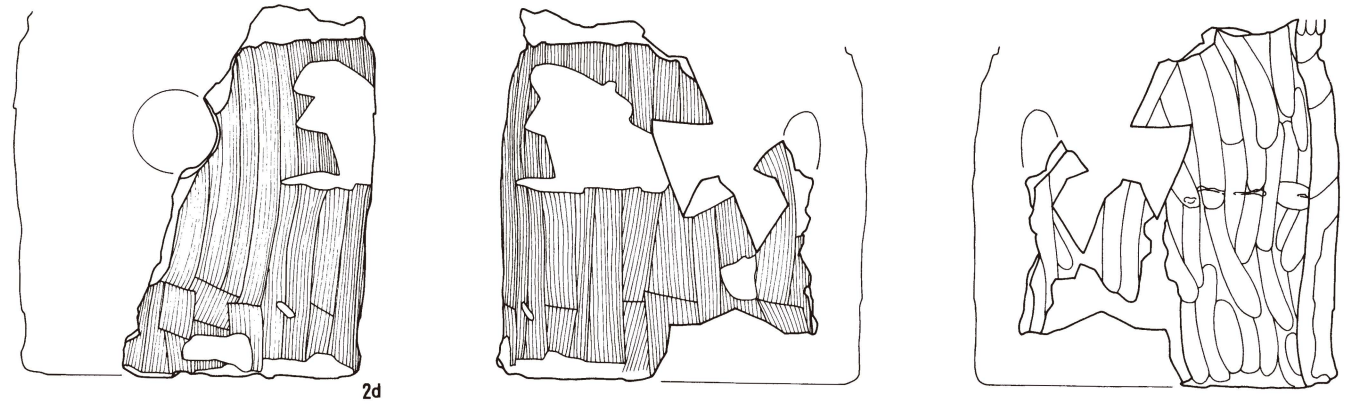
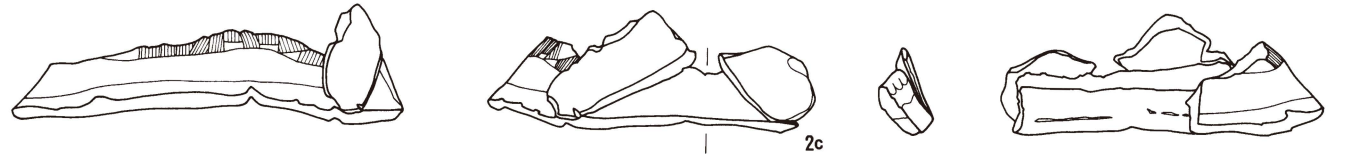
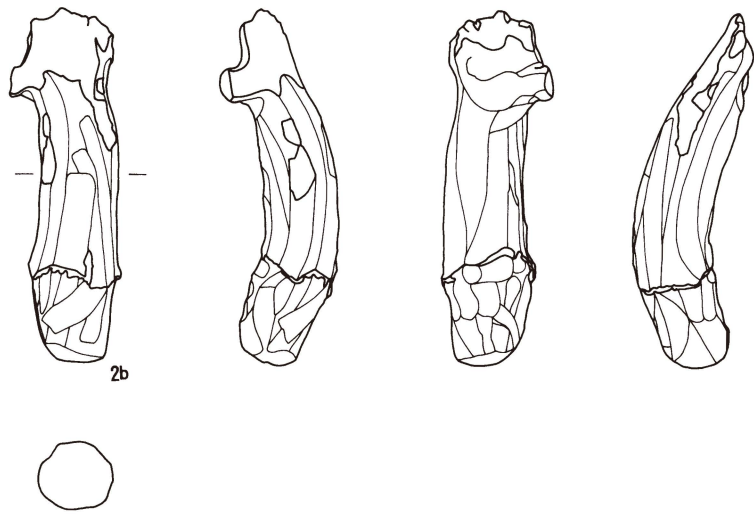
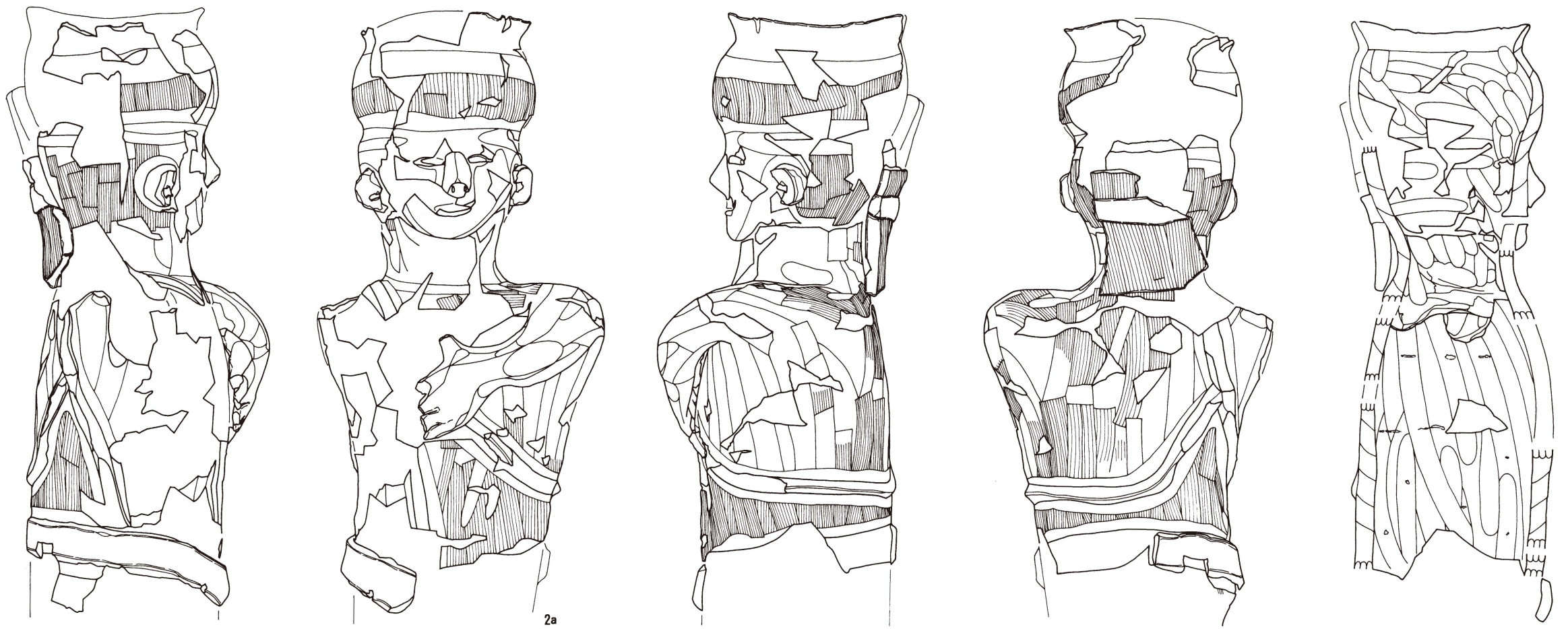


1c



0 10cm 1:4

图272 ST-23 形象埴輪実測图 (1)



0 10cm
1:4

图273 ST-23 形象埴輪実測图 (2)

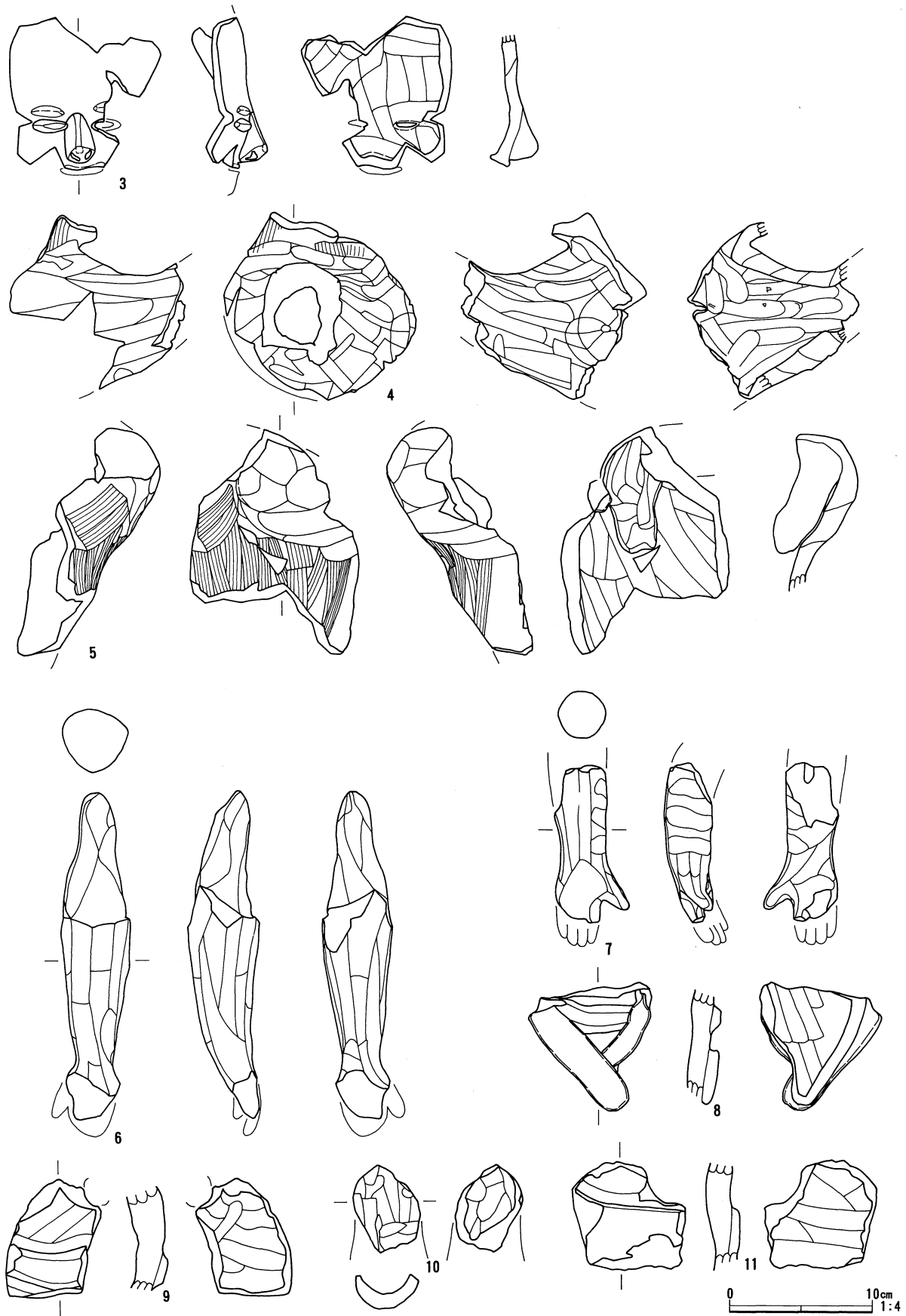


图274 ST-23 形象埴輪実測图 (3)

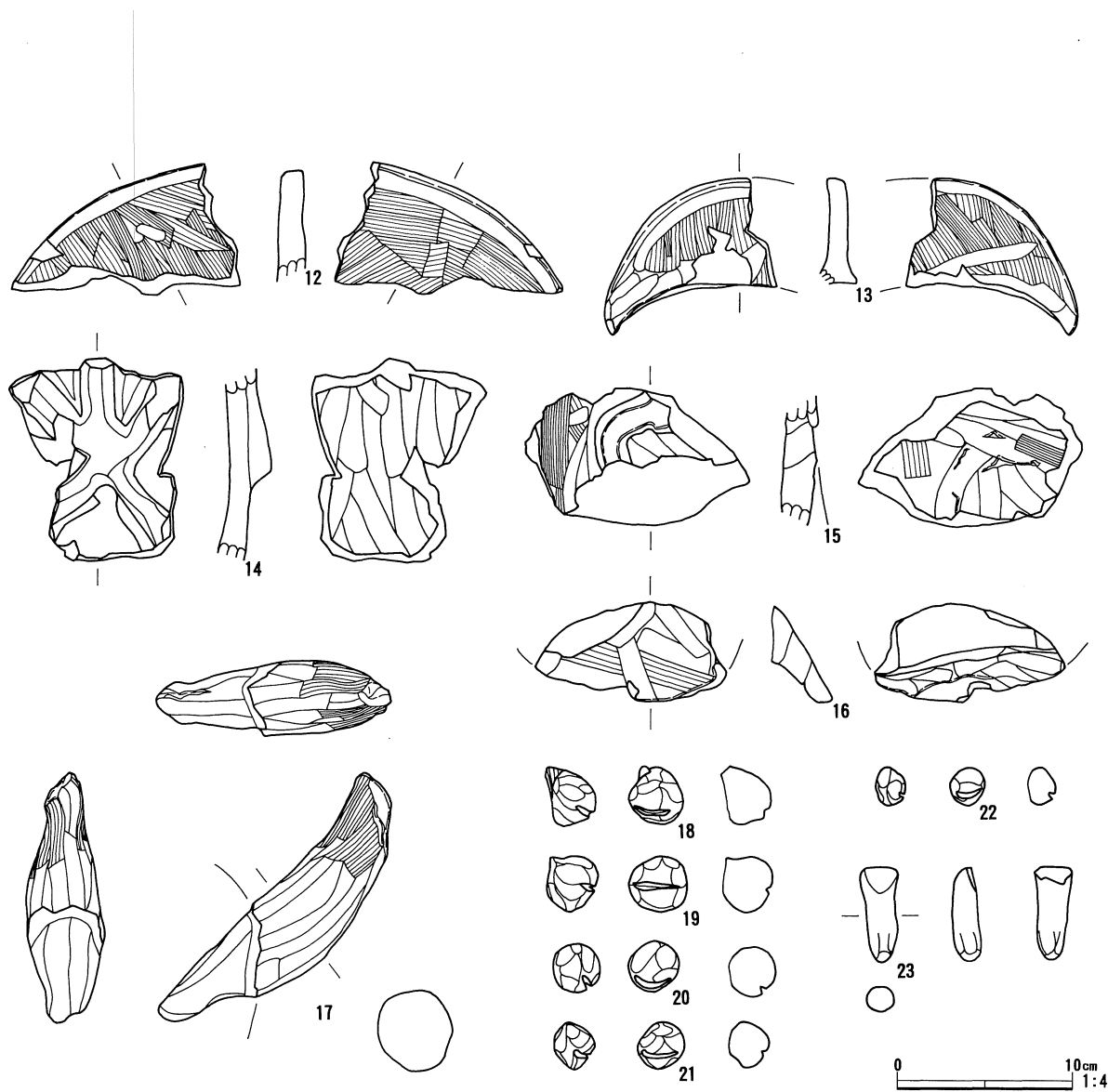


図275 ST-23 形象埴輪実測図 (4)

2	人物	壺を乗せる女子。後頭部に鬘を貼付。耳を立体的に表現。体部に襷、腰部に帯を表現。	腕部中実成形。外面一ハケ及びナデ。内面一ナデ。	良好	黄 橙 色	砂粒を多く含む。
3	人物	顔面部。額部は上方へ高く立ち上がる。被物着用の表現か。	外面一ナデ。内面一ナデ。	良好	黄 橙 色	砂粒を多く含む。
4	人物	女子右肩～上腕部。胸の膨らみ表現。頸部は外反して立ち上がる。	外面一ハケ及びナデ。内面一ナデ。	良好	黄 橙 色	砂粒を多く含む。
5	人物	右肩～脇部。腕は前方へ差し出される。	腕部中実成形。外面一ハケ及びナデ。内面一ナデ。	良好	黄 橙 色	砂粒を多く含む。
6	人物	左腕部。手先部剥離。	腕部中実成形。ナデ。	良好	黄 橙 色	砂粒を多く含む。
7	人物	右腕部。指部欠損。	腕部木芯中空成形。ナデ。	良好	にぶい 橙 色	砂粒を多く含む。
8	人物	胴部。上衣の上面を巡る帯を表現。	外面一ナデ。内面一ナデ。	良好	黄 橙 色	砂粒を多く含む。
9	馬	左側頭部。耳部欠損。面繫の革紐を表現。	外面一ハケ及びナデ。内面一ナデ。	良好	橙 色	礫を含む。

10	馬	耳先端部。	外面－ハケ及びナデ。 内面－ナデ。	良 好	にぶい 橙色	礫を含む。
11	馬	胸部。幅広の胸繫の革紐を表現。	外面－ナデ。 内面－ナデ。	良 好	橙 色	礫を含む。
12	馬	鞍橋の一部。 繫の表現なし。	ハケ及びナデ。	良 好	にぶい 橙色	
13	馬	鞍橋の一部。 繫の表現なし。	ハケ及びナデ。	良 好	橙 色	
14	馬	背部。尻繫の革紐を表現。雲珠、 杏葉の表現なし。	外面－ナデ。 内面－ナデ。	良 好	橙 色	礫を含む。
15	馬	左側障泥前端中央部。輪鐙を表現。 障泥下端部剝離。	外面－ハケ及びナデ。 内面－ハケ及びナデ。	良 好	橙 色	
16	馬	障泥下端部。胴部から剝離。	外面－ハケ及びナデ。 内面－ナデ。	良 好	橙 色	
17	馬	尾部。先端部は上方に反る。	中実成形。 ハケ及びナデ。	良 好	橙 色	礫を含む。
18	馬	鈴。	中実成形。 ナデ。	良 好	橙 色	
19	馬	鈴。	中実成形。 ナデ。	良 好	にぶい 橙色	
20	馬	鈴。	中実成形。 ナデ。	良 好	にぶい 橙色	
21	馬	鈴。	中実成形。 ナデ。	良 好	にぶい 橙色	
22	馬	鈴。	中実成形。 ナデ。	良 好	橙 色	
23	不 明	棒状の部品。先端は丸く調整。	ナデ。	良 好	橙 色	

ST-24 (図277)

位置：O-3・4、P-3・4グリッドに位置する。中近世の遺構と攪乱により墳丘、周堀とも各所で破壊を被っている。

形状：墳丘は南東側と南西側に若干の歪みを認めるもののほぼ整円形を呈する。

周堀幅は南北でやや狭く、東西で広がっている。周堀断面は場所により異なり、箱形を呈する箇所と船底形を呈する箇所とがある。周堀底面までの深さは堀幅の狭い箇所の方が深く、広い箇所の方が浅い傾向にある。堀底は白灰色粘質土層に達せず、ローム層中にとどまっている。周堀覆土は2層に大別され、上層にロームブロック、白色パミスを少量含む黒色土、下層にロームブロックを含む黒褐色

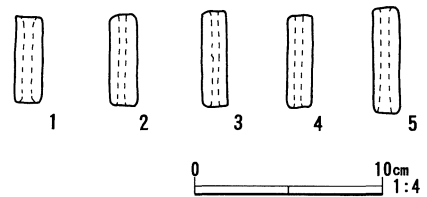
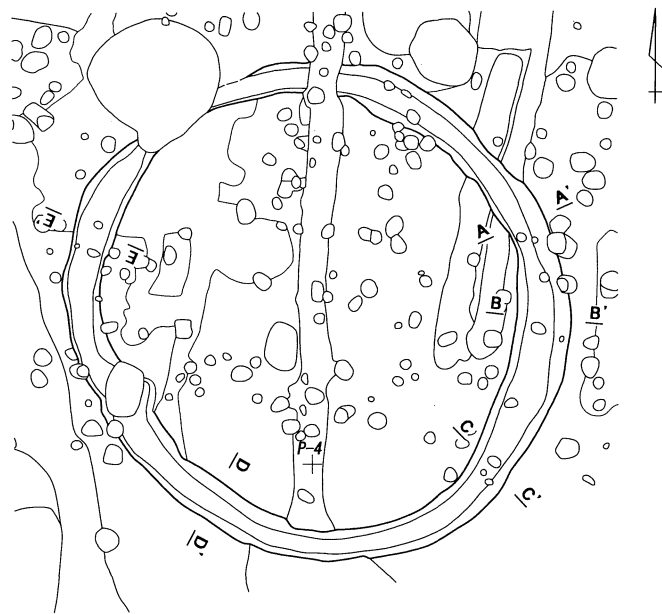


図276 ST-24 管玉実測図

ST-24 管玉観察表

No.	種類	器種	法 量 (cm)	備 考
1	石製品	管 玉	長さ2.3 径0.75 孔径0.25。	
2	石製品	管 玉	長さ2.4 径0.75 孔径0.25。	
3	石製品	管 玉	長さ2.5 径0.70 孔径0.15。	
4	石製品	管 玉	長さ2.4 径0.70 孔径0.20。	
5	石製品	管 玉	長さ2.3 径0.70 孔径0.25。	



ST-24 土層説明

- 1 黒色土 白色パミス (径1mm±) を少量含む。
- 2 FA ブロック
- 3 黒色土 ロームブロック (径1~2mm)、白色パミス (径1mm±) を少量含む。
- 4 黒褐色土 ロームブロック (径1~5mm) を少量含む。
- 5 黒褐色土 ロームブロック (径1~15mm) を多量に含む。

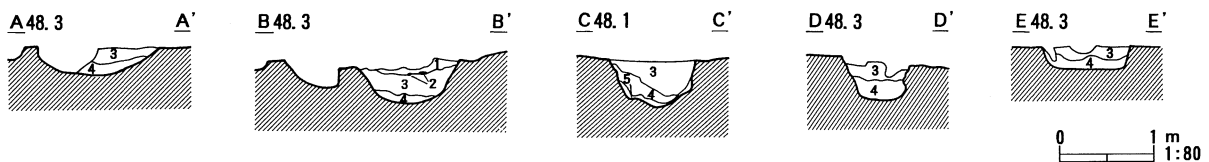


図277 ST-24

土の堆積を認める。B-B'の上層中に、第2層とした灰白色火山灰ブロックの堆積が観察されるが、自然科学分析の結果、この第2層の火山灰は、Hr-FAであることが判明した。

規模：周堀内径8.9~9.2m、周堀外径10.0~11.0m、幅0.7~1.2m、深さ25~50cmを測る。

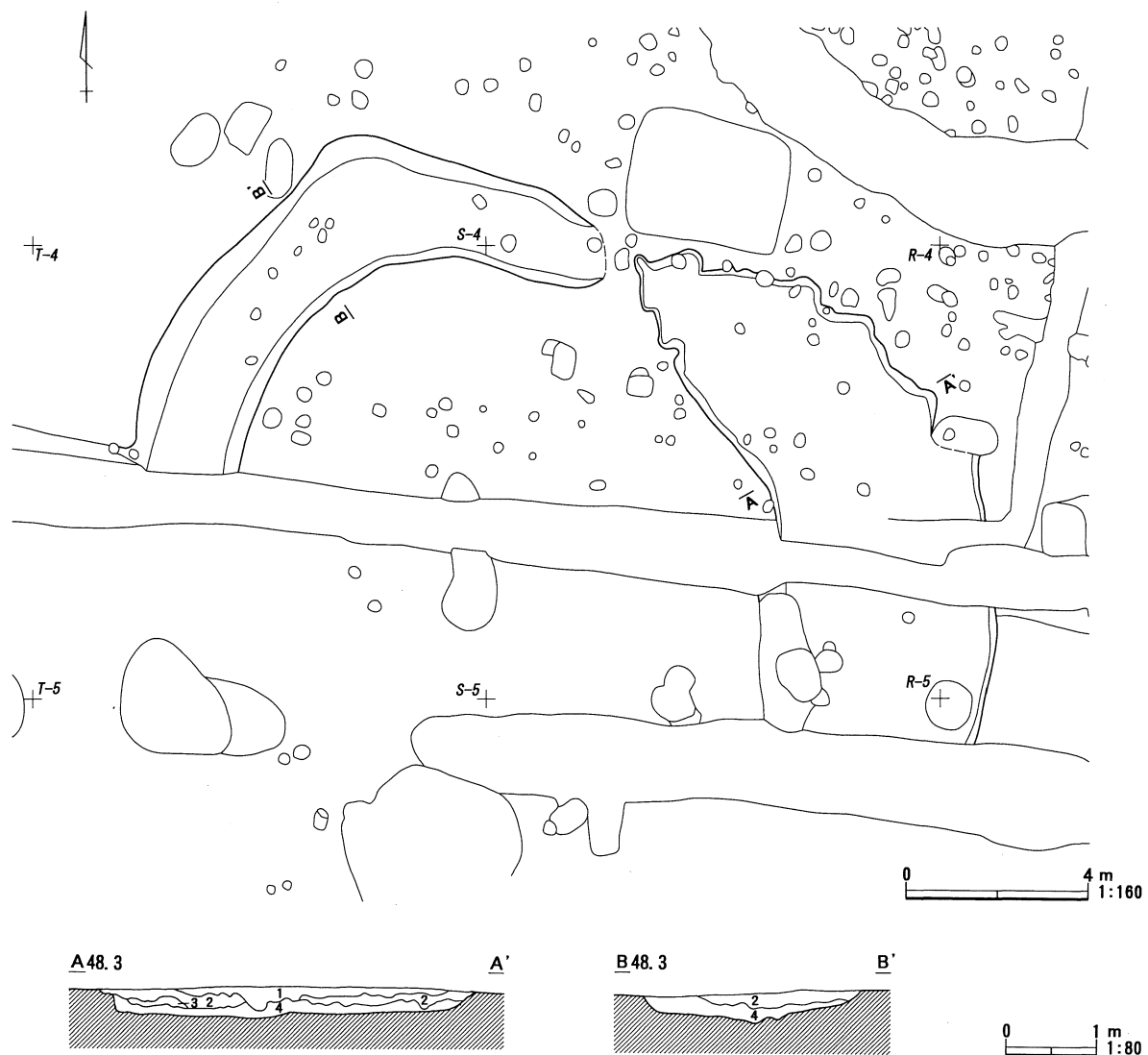
遺物：周堀北側の覆土で管玉5点を検出した。出土状況は平面的にもレベル的にも分散した状態であった。長さ2.2~2.8cm、径0.7cm、孔径2.0~2.5mmを測る。穿孔はすべて片面穿孔による。石材は緑色凝灰岩である。なお、管玉出土地点周辺には Hr-FA の堆積を認めず、両者の層位的関係は明らかではない。

ST-25 (図278)

位置：Q-4・5、R-3~5、S-3・4グリッドに位置する。

形状：墳形は周堀が全周しないため確実ではないが、他の古墳同様円形を呈するものと推測されるが、北東側が大きく歪んでいる。南向の緩斜面に立地し、南半は埋没谷上にかかっている。東西に横切る中世の溝によって攪乱を被っているほか、埋没谷上にかかる南半部分は耕作等により失っている。

周堀は北側で1箇所ブリッジ状の途切れる部分が存在する。周堀立ち上がりは内外とも不整形に蛇行し、部位により周堀幅の変異が著しい。周堀断面は緩やかな船底形を呈するが、周堀底面は平坦ではなく、南側に向かって傾斜しているほか、凹凸も顕著に認められる。周堀覆土は2層に大別され、上層にロームブロックを少量含む黒褐色土、下層にロームブロックを多量に含む暗褐色土の堆積を認める。なお、A-A'の第1層は中世以降の掘り込みに伴う可能性が高い。同じく第3層大量の木灰を含有している。



ST-25 土層説明

- 1 暗褐灰色土 白色パミス（径1mm±）を少量含む。
- 2 黒褐灰色土 ロームブロック（径1～10mm）を少量含む。
- 3 灰黒色土 木灰を多量に含む。
- 4 暗褐灰色土 ロームブロック（径1～10mm）を多量に含む。

図278 ST-25

規模：周堀の南半を失っているため規模の詳細は明らかではない。周堀内径13.0m前後、周堀外径20.0m前後を測るものと推定される。確認の範囲で、周堀幅2.5～4.6m、深さ30cm前後を測る。

遺物：遺物は皆無であった。

ST-26 (図280)

位置：P-2・3、Q-2・3、R-2・3グリッドに位置する。ST-23の南西側に隣接し、ST-25との間に挟まれる位置にある。

形状：墳丘は整円形を呈する。東半は中世の以降により一部攪乱を被っている。

周堀幅はほぼ一定に全周する。周堀断面は箱形を呈する箇所と船底形を呈する箇所とがある。確認面から周堀底面までの深さは北側から東側にかけてが浅く、南側から北西側にかけて深くなっている。周堀覆土は2層に大別され、上層に第1層とした混合物を含まない黒褐色土及びロームブロックを少量含む黒褐色土、第3層とした灰白色火山灰ブロックを挟んで、下層にロームブロックを多量に含む暗褐色土の堆積を認める。なお、第3層の火山灰は、自然科学分析の結果、Hr-FAであることが判明した。

規模：周堀内径15.2m、周堀外径18.8m、幅1.8～2.6m、深さ30～70cmを測る。

遺物：周堀覆土及び確認面上層で土師器、円筒埴輪を検出した。

土師器は周堀覆土上層で坏1点を検出した。典型的な坏蓋模倣坏で、体をヘラケズリし、口縁部は直立する。口唇部には内傾する端面を有する。

円筒埴輪は、二条突帯三段構成品で、全形の判明する個体には器高45.0cmを超える個体があり、他の古墳の三段構成品と比較して大型である。器壁は薄手の個体が目立つ。外面調整はすべて1次タテハケによる。突帯は断面が台形ないしM字形を呈する。透孔はすべて円形である。焼成が軟質で赤褐色ないし明赤褐色を呈する個体を多く含む。

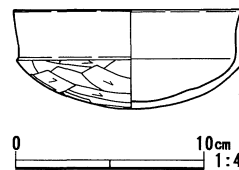


図279 ST-26 土器実測図

ST-26

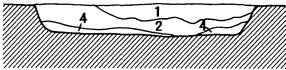
No.	器種	法量(cm)	形態・成形手法の特徴	調整手法の特徴	胎土・色調	備考
1	土師器 坏	口径 12.2 底径 — 器高 5.3	体部と口縁部の境に段差、直立する口縁部。底部は丸底。	外面一口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ。内面一口縁部～体部ヨコナデ、底部ナデ。	褐色粒・黒色粒 内外一明赤褐色	2/5。

ST-26 円筒埴輪拓影資料観察表

番号	器種	部位	外面調整・ハケ本数	内面調整・ハケ本数	焼成	色調	備考
1	円筒	第2・3段	1次タテハケ・24本/2cm	ヨコハケ・12本/2cm 及びナメナデ	軟質	明褐色	内面輪積痕・指頭圧痕。口唇部・突帯ヨコナデ。円形透孔。
2	円筒	第2・3段	1次タテハケ・12～13本/2cm	ナメハケ・10～12本/2cm	軟質	赤褐色	円形透孔。口唇部端面・内外面・突帯ヨコナデ。
3	円筒	第2・3段	1次タテハケ・24本/2cm	ナメハケ・12本/2cm 及びナメナデ	軟質	赤褐色	内面輪積痕。突帯ヨコナデ。円形透孔。
4	円筒	第1・2段	1次タテハケ・24本/2cm	ナメハケ・24本/2cm	軟質	明赤褐色	外面線刻あり。内面輪積痕。突帯ヨコナデ。円形透孔。
5	円筒	第2・3段	1次タテハケ・24本/2cm	ナメハケ・24本/2cm	軟質	明赤褐色	内面輪積痕。突帯ヨコナデ。円形透孔。
6	円筒	第2・3段	1次タテハケ・24本/2cm	ナメハケ・24本/2cm	良好	橙	色 内面輪積痕。突帯ヨコナデ。円形透孔。
7	円筒	第2・3段	1次タテハケ・20本/2cm	ナメハケ・20本/2cm	良好	橙	色 内面輪積痕。突帯ヨコナデ。円形透孔。
8	円筒	第1・2・3段	1次タテハケ・20本/2cm	ナメハケ・24本/2cm 及びナメナデ	良好	橙	色 内面輪積痕。突帯ヨコナデ。
9	円筒	第1・2段	1次タテハケ・22本/2cm	ナメナデ	良好	橙	色 内面輪積痕。突帯ヨコナデ。
10	円筒	第1・2段	1次タテハケ・22本/2cm	タテナデ及びナメナデ	良好	橙	色 突帯ヨコナデ。
11	円筒	第2・3段	1次タテハケ・22本/2cm	ナメハケ・20本/2cm 及びナメナデ	良好	橙	色 内面輪積痕、突帯ヨコナデ。
12	円筒	第2・3段	1次タテハケ・18本/2cm	ナメハケ・18本/2cm 及びナメナデ	軟質	にぶい赤褐色	内面輪積痕、突帯ヨコナデ。
13	円筒	第2・3段	1次タテハケ・20本/2cm	ナメハケ・20本/2cm	良好	橙	色 内面輪積痕、突帯ヨコナデ。

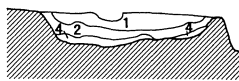


A48.5



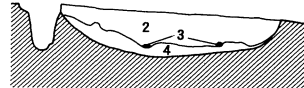
A'

B48.5



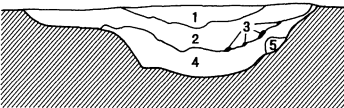
B'

C48.5



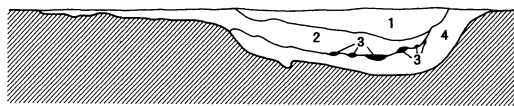
C' 0 4 m 1:160

D48.5



D'

E48.5



E'

0 1 m 1:80

ST-26 土層説明

- 1 黒褐色土
- 2 黒褐色土 ロームブロック (径1~25mm) を少量含む。
- 3 FAブロック
- 4 暗褐色土 ロームブロック (径1~5mm) を多量に含む。
- 5 褐色土

図280 ST-26

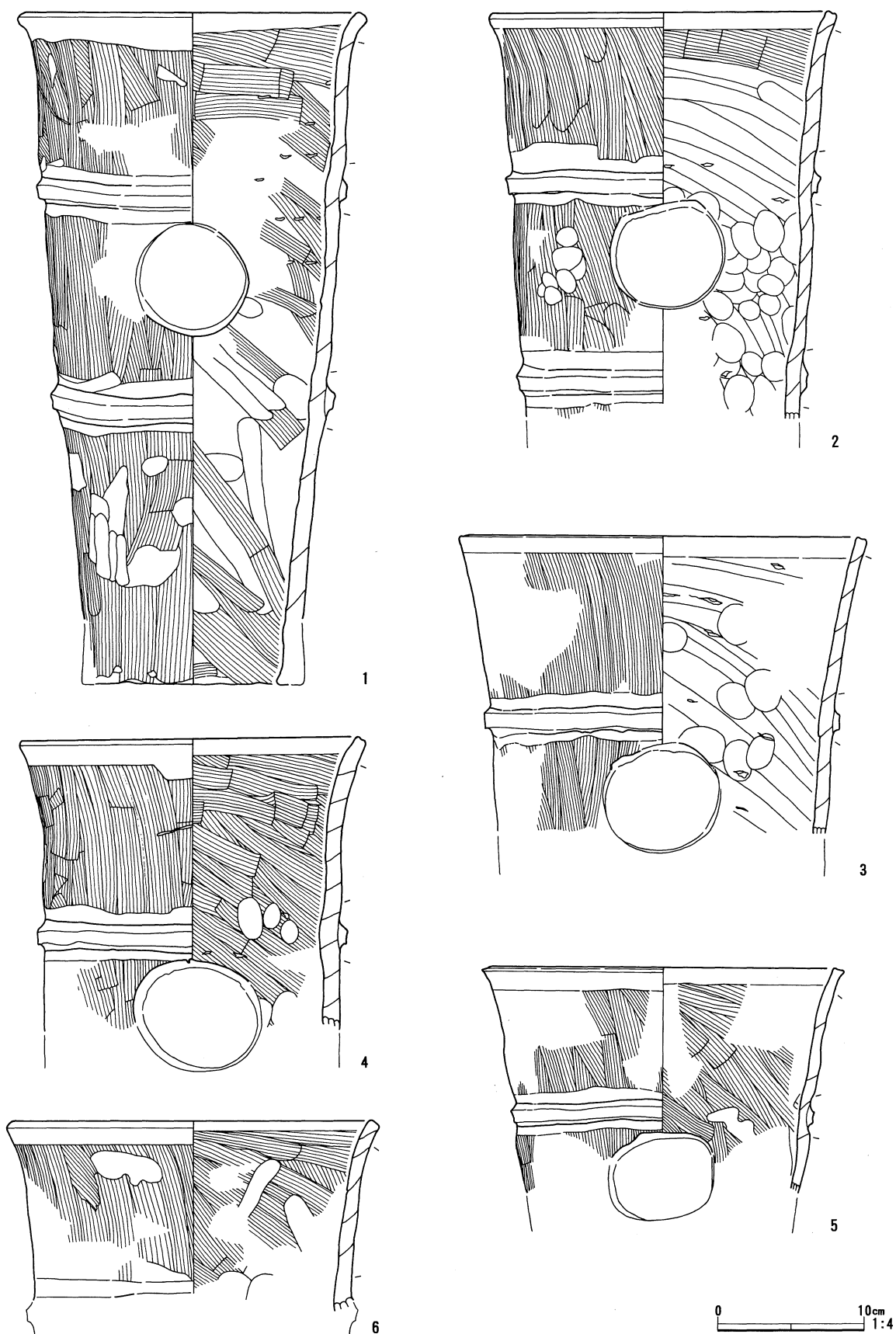


图281 ST-26 円筒埴輪実測図 (1)

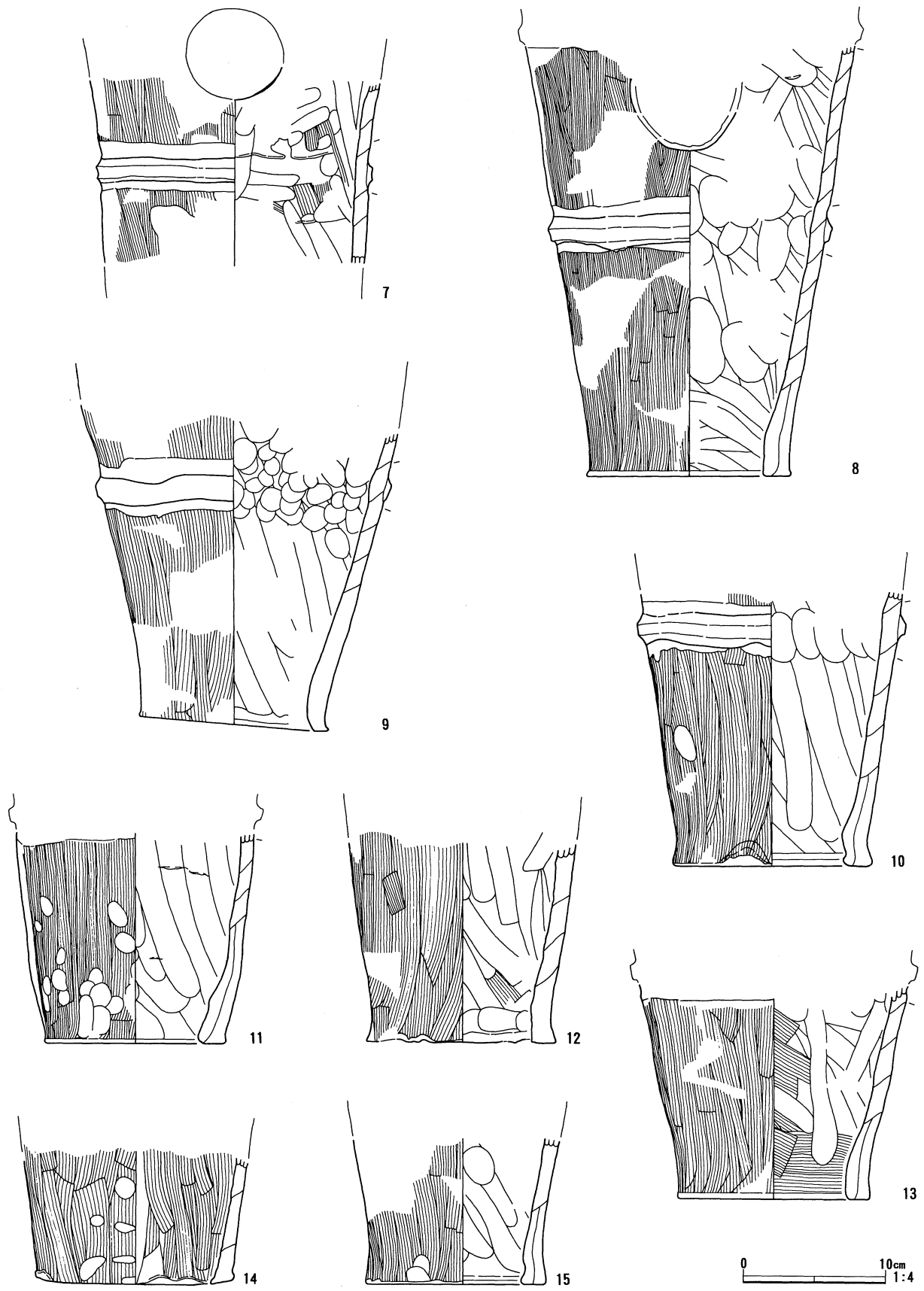


图282 ST-26 円筒埴輪実測図 (2)

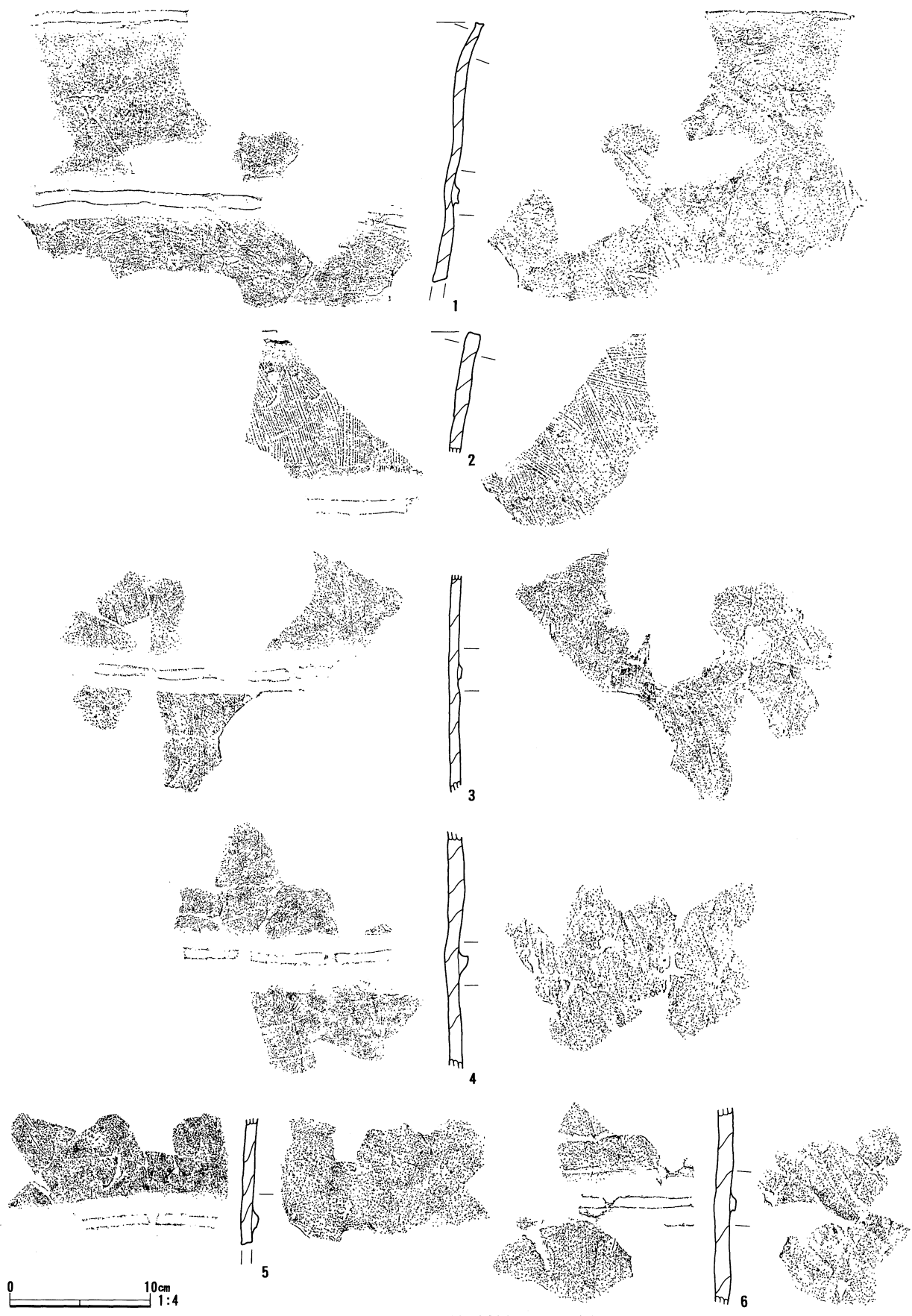


图283 ST-26 円筒埴輪拓影图 (1)

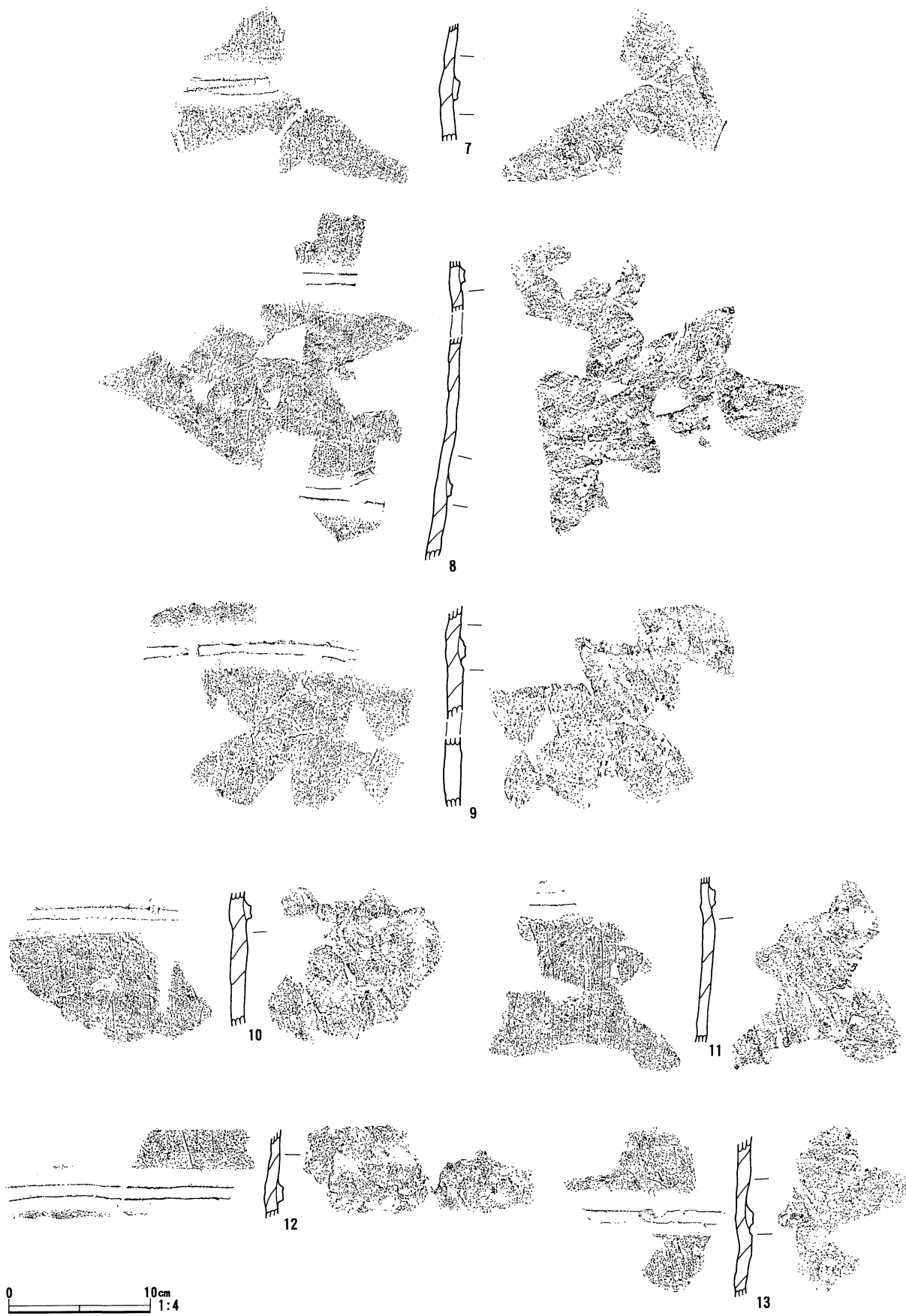


图284 ST-26 円筒埴輪拓影图 (2)

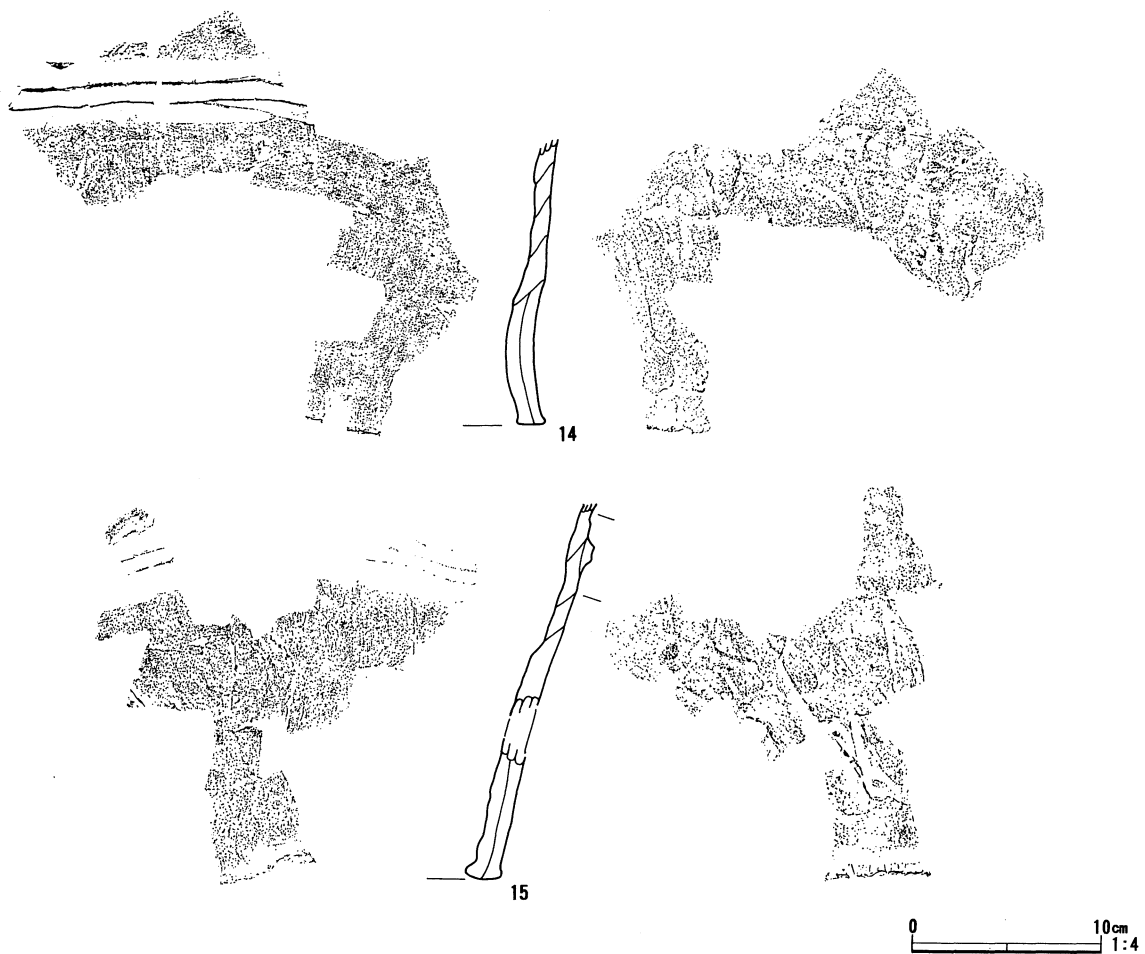


図285 ST-26 円筒埴輪拓影図 (3)

14	円筒	第1・2段	1次タテハケ・22本/2cm	ナナメハケ・22本/2cm	良好	明赤褐色	内面輪積痕、 突帯ヨコナデ。
15	円筒	第1・2段	1次タテハケ・20本/2cm	ナナメハケ・20本/2cm	良好	灰黄褐色	内面輪積痕、 突帯ヨコナデ。

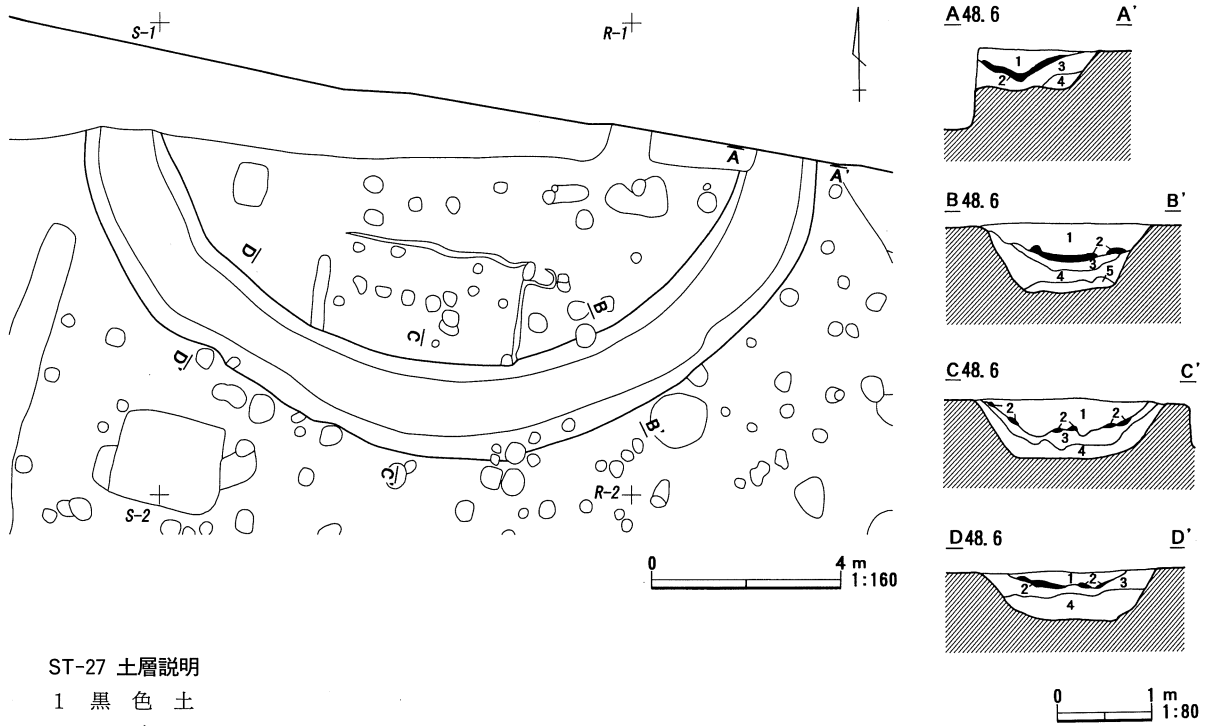
ST-27 (図286)

位置：Q-1、R-1、S-1グリッドに位置する。調査区の北端にあつて、北側1/2程度が調査区外にある。

形状：墳丘は、確認の範囲で、整円形を呈する。墳丘及び周堀の一部が、中世の遺構により破壊を被っている。周堀幅はほぼ一定に巡っている。周堀断面は箱形を呈し、周堀底面はおおむね平坦であるが、南側が若干高く、東西へ緩やかに傾斜している。周堀覆土は2層に大別され、上層に第1層とした混合物を含まない黒色土及びロームブロックを少量含む黒色土、下層にロームブロックを少量含む黒褐色土の堆積を認める。上層中には、第1・3層の中間に、第2層とした灰白色火山灰層ないし火山灰ブロックの堆積が観察されるが、自然科学分析の結果、第2層の火山灰は、Hr-FAであることが判明した。

規模：北半が調査区外にあるため規模の詳細は明らかではない。周堀内径13.0m前後、周堀外径16.0m前後を測るものと推定される。確認の範囲で、周堀幅1.7~2.0m、深さ25~75cmを測る。

遺物：遺物は確認面上層で少量の円筒埴輪を検出した。



ST-27 土層説明

- 1 黒色土
- 2 FAブロック
- 3 黒色土 ロームブロック (径1~5mm) を少量含む。
- 4 黒褐色土 ロームブロック (径1~5mm) を少量含む。
- 5 灰黄色土

図286 ST-27

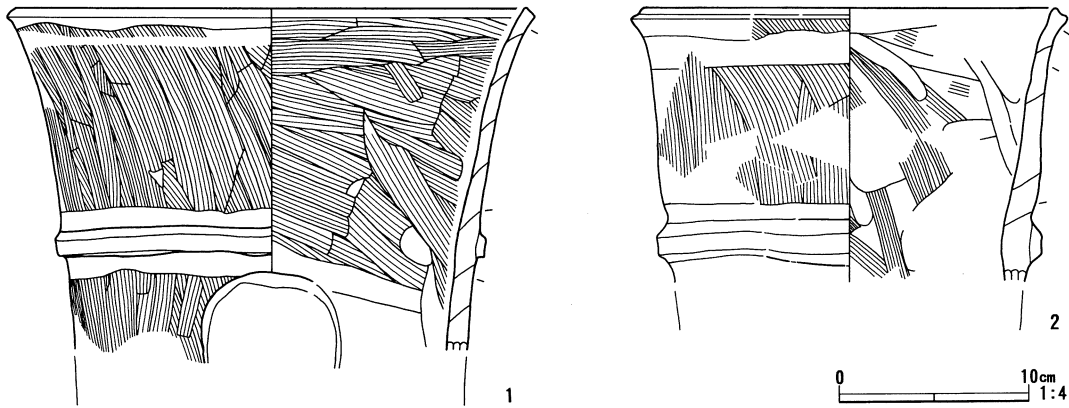


図287 ST-27 円筒埴輪実測図

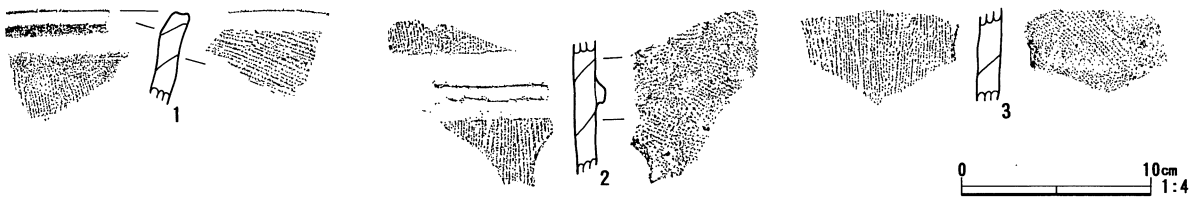


図288 ST-27 円筒埴輪拓影図

円筒埴輪は、全形の判明する個体がないが、残存部位の形状、法量から二条突帯三段構成品と考えられる。外面調整はすべて1次タテハケによる。突帯は断面が台形を呈する。透孔は円形のみを確認できる。

ST-27 円筒埴輪拓影資料観察表

番号	器種	部 位	外面調整・ハケ本数	内面調整・ハケ本数	焼 成	色 調	備 考
1	円筒	第 3 段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm	良 好	にぶい赤褐色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
2	円筒	第 2・3 段	1次タテハケ・11本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm	良 好	にぶい赤褐色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
3	円筒	第 2 段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm	良 好	橙 色	円形透孔。

ST-28 (図290)

位置：S-0・1、T-0・1、U-0・1グリッドに位置する。調査区北西端に位置し、北側2/3程度が調査区外にある。

形状：埴丘は、確認の範囲で、整円形を呈する。東西の端部が南北方向に走る中世の溝で大きく攪乱を被っているほか、中・近世の遺構との重複により一部を失っている。

周堀幅はほぼ一定に巡っている。周堀断面は箱形を呈し、堀底はローム層を掘り抜いて白灰色粘質土層に達している。周堀底面は東側から南側にかけてはおおむね平坦であるが、南側から西側へは急激に深さを増している。周堀覆土は2層に大別され、上層に第1層とした混合物を含まない黒色土及びロームブロックを少量含む黒色土、下層にしまりの強いロームブロック及び白灰色粘質土ブロックの混合層の堆積を認める。下層の第3層は周堀掘削時の残土層と考えられ、埴丘の崩落層や風化堆積層とは明らかに異なる。第3層上面が埴丘完成時の堀底である可能性が高い。

規模：北側の半分以上が調査区外にあるため規模の詳細は明らかではない。周堀内径15.0m前後、周堀外径20.0m前後を測るものと推定される。確認の範囲で、周堀幅2.1~2.5m、深さ70~90cmを測る。

遺物：周堀覆土及び確認面上層で土師器、円筒埴輪、鉄鏃を検出した。

円筒埴輪は、全形の判明する個体がないが、残存部位の形状、法量から二条突帯三段構成品と考えられる。外面調整はすべて1次タテハケによる。突帯は断面が崩れた台形ないしM字形を呈する。透孔はすべて円形である。

形象埴輪は人物、人物付円筒、馬を確認できる。1~7は人物である。1は女子の前頭から顔面部で、鬢と鼻は剥落している。耳を立体的に表現し、縦方向のへう先刺突により鼻孔を表す。2~5は腕で、いずれも中実技法による。2は右腕で、2条の粘土紐を握る。3~5はC字状に屈曲し、手の部位を欠失する。6は胴部と考えられる部位で、帯状の表現が残る。7は上衣の裾部である。

8は人面付円筒である。寸胴の円筒本体に鼻を貼付して、U字状の粘土板で顔の輪郭を成形し、さらに眼孔、口、耳孔を開けている。

9~17は馬である。9は頭から前胴にかけての部位で、面繫、手綱、胸繫、馬鐸、障泥、輪鐙を表現する。鬣は差し込み式である。馬鐸は下縁には波状の袂りが入り、表面に円形付文を貼付する。10は右側障泥の後半部で、覆輪の表現を欠く。11・12は鞍橋の一部で、うち12は後輪の右半部に

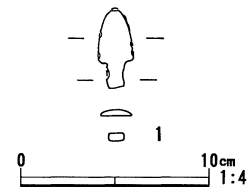
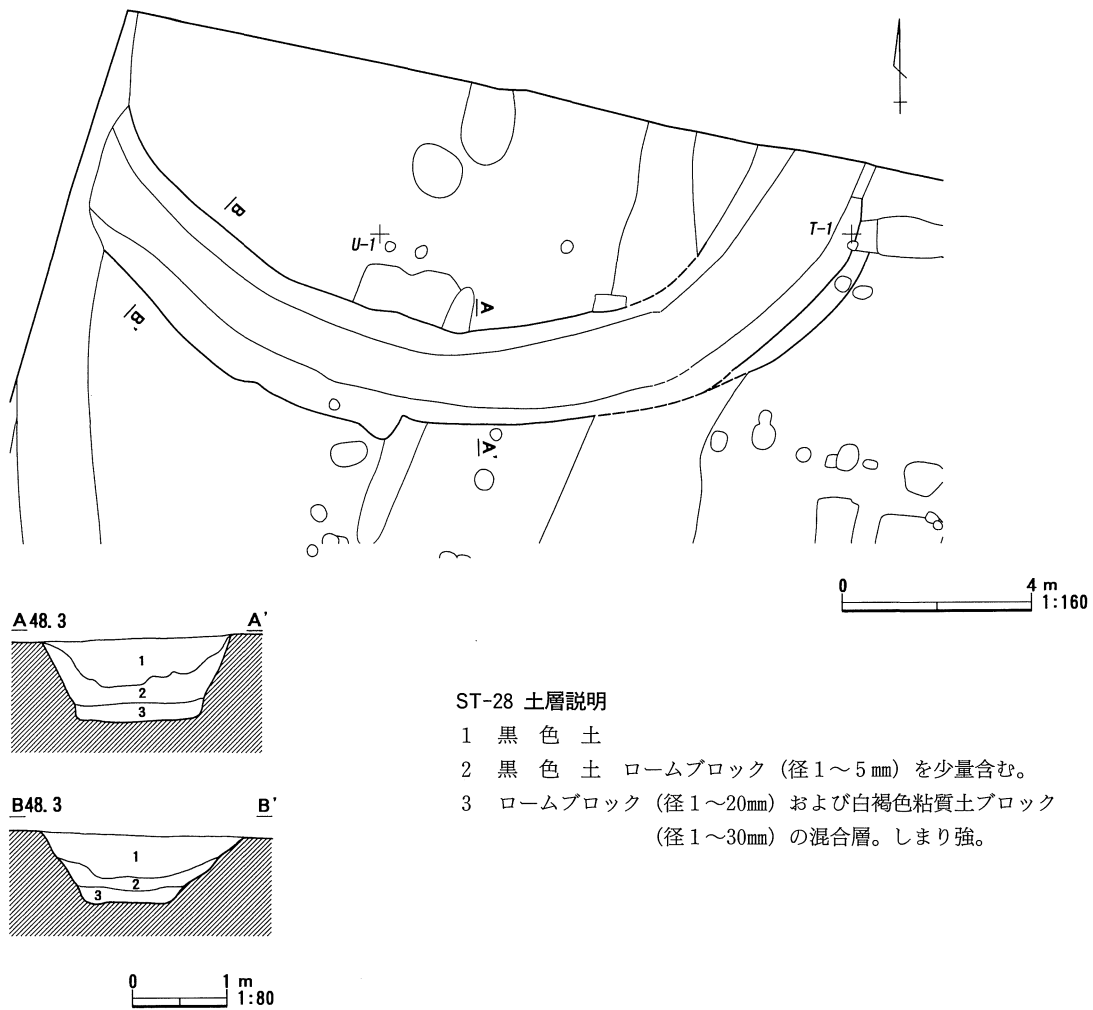


図289 ST-28 鉄器実測図

ST-28 金属遺物観察表

No.	種 類	器 種	法 量 (cm・g)	備 考
1	鉄 製 品	鉄 鏃	鏃身残存長2.8 幅1.7 厚さ0.35 鏃被残存長1.3 幅0.8 厚さ0.35 重さ6.8。	



ST-28 土層説明

- 1 黒色土
- 2 黒色土 ロームブロック（径1～5mm）を少量含む。
- 3 ロームブロック（径1～20mm）および白褐色粘質土ブロック（径1～30mm）の混合層。しまり強。

図290 ST-28

あたり、尻繫の表現が残る。13は剥離した馬鐸で、9に付属するものと同形である。14は鈴で、中空成形による。15～17は脚下端部で、いずれも蹄の表現を認める。18は器種不明である。

鉄鏃は周堀確認面上層で検出した。篋被中位以下を欠失している。錆化のため詳細は明確ではないが、鏃身は長三角形式で、鏃は明瞭ではなく、片平丸造と観察される。

ST-28 円筒埴輪拓影資料観察表

番号	器種	部位	外面調整・ハケ本数	内面調整・ハケ本数	焼成	色調	備考
1	円筒	第2・3段	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm 及びタテナデ	良好	橙色	口唇部端面・内外面・突帯ヨコナデ。円形透孔。
2	円筒	第2・3段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm 及びタテナデ	良好	にぶい橙色	外面線刻あり。口唇部端面・内外面・突帯ヨコナデ。
3	円筒	第2・3段	1次タテハケ・6本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm 及びタテナデ	良好	にぶい橙色	内面輪積痕。突帯ヨコナデ。円形透孔。
4	円筒	第2・3段	1次タテハケ・16本/2cm	ナナメハケ・20本/2cm 及びタテナデ	良好	にぶい橙色	突帯ヨコナデ。円形透孔。
5	円筒	第2・3段	1次タテハケ・7～8本/2cm	ナナメハケ・7本/2cm 及びタテナデ	良好	にぶい橙色	突帯ヨコナデ。円形透孔。
6	円筒	第2・3段	1次タテハケ・18本/2cm	ナナメハケ・18本/2cm 及びナナメナデ	良好	にぶい橙色	突帯ヨコナデ。

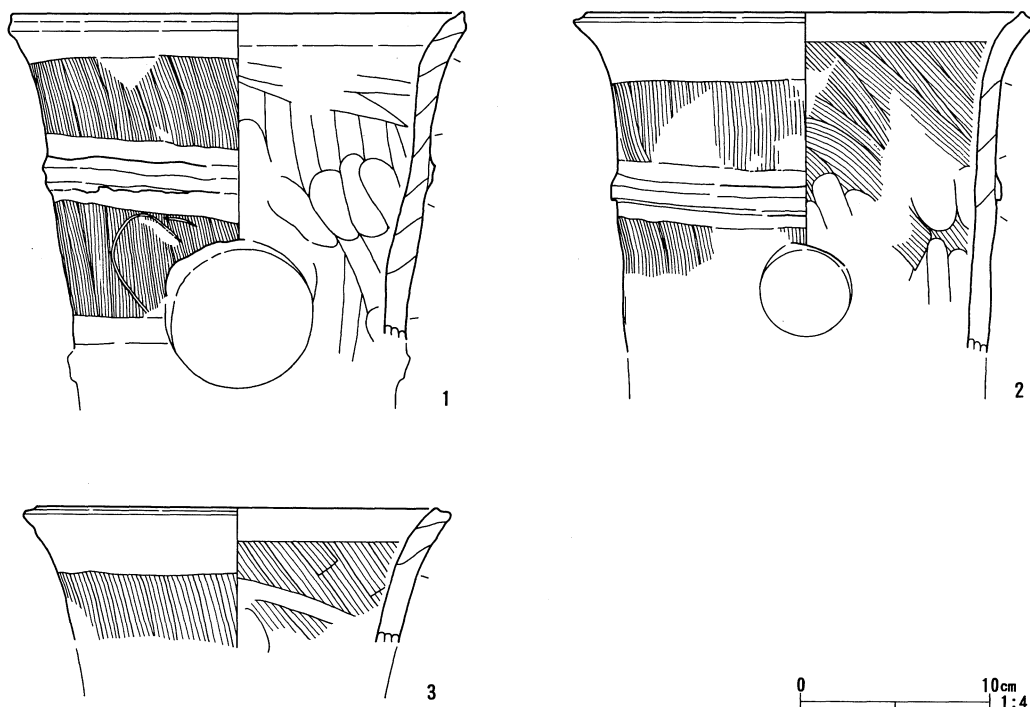


図291 ST-28 円筒埴輪実測図

7	円筒	第 2 段	1次タテハケ・20本/2 cm	タテナデ及びナナメナデ	良 好	に ぶ い 橙 色	外面線刻あり。
8	円筒	第 1 段	1次タテハケ・9本/2 cm	ナナメナデ	良 好	橙 色	
9	円筒	第 3 段	1次タテハケ・16本/2 cm	ナナメハケ・16本/2 cm	良 好	橙 色	
10	円筒	第 1・2 段	1次タテハケ・16本/2 cm	タテナデ及びナナメナデ	良 好	橙 色	内面木目圧痕あり。 突帯ヨコナデ。
11	円筒	第 1 段	1次タテハケ・18本/2 cm	ナナメハケ・18本/2 cm 及びタテナデ	良 好	橙 色	
12	円筒	第 1 段	1次タテハケ・13本/2 cm	タテナデ及びナナメナデ	良 好	灰 黄 色	

ST-28 形象埴輪観察表

No.	器 種	部位・形態の特徴	成形・調整手法の特徴	焼 成	色 調	備 考
1	人 物	女子頭部。髻、鼻剝離。耳を立体表現。刺突により鼻孔を表現。	中実成形。外面一ハケ及びナデ。内面一ナデ。輪積痕あり。	良 好	橙 色	
2	人 物	右腕部。2条の粘土紐を握る。ハケ及びナデ。	中実成形。	良 好	に ぶ い 橙 色	礫を含む。
3	人 物	腕部。C字状に彎曲。	中実成形。 ナデ。	良 好	に ぶ い 橙 色	礫を含む。
4	人 物	腕部。C字状に彎曲。	中実成形。 ハケ及びナデ。	良 好	に ぶ い 橙 色	礫を含む。
5	人 物	腕部。	中実成形。 ハケ及びナデ。	良 好	に ぶ い 橙 色	礫を含む。
6	人 物	胴部。腰部に結び目のある帯を表現。	外面一ハケ及びナデ。 内面一ナデ。	良 好	橙 色	礫を含む。
7	人 物	上衣の裾部。	外面一ハケ及びナデ。 内面一ナデ。	良 好	に ぶ い 橙 色	礫を含む。

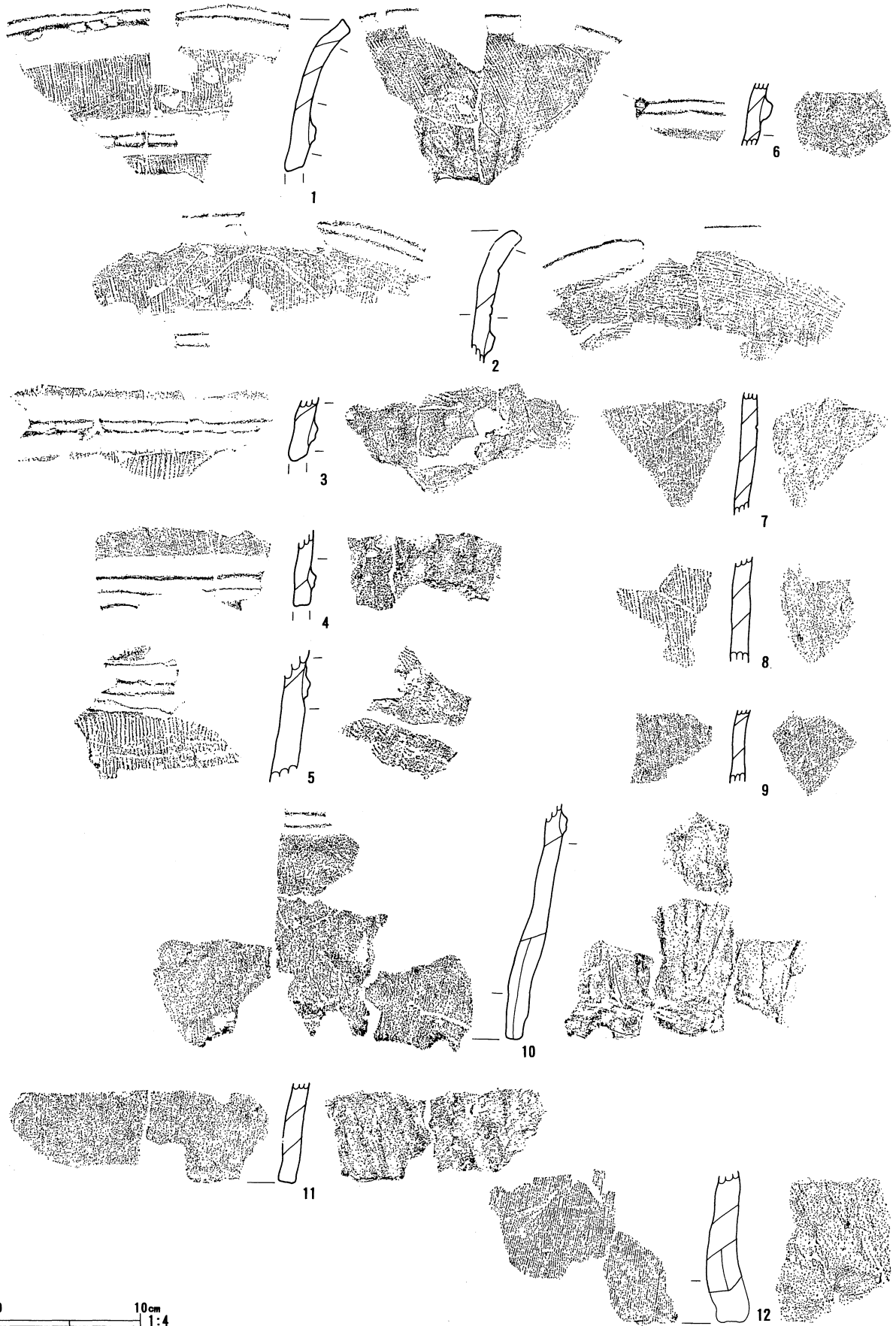


图292 ST-28 円筒埴輪拓影図

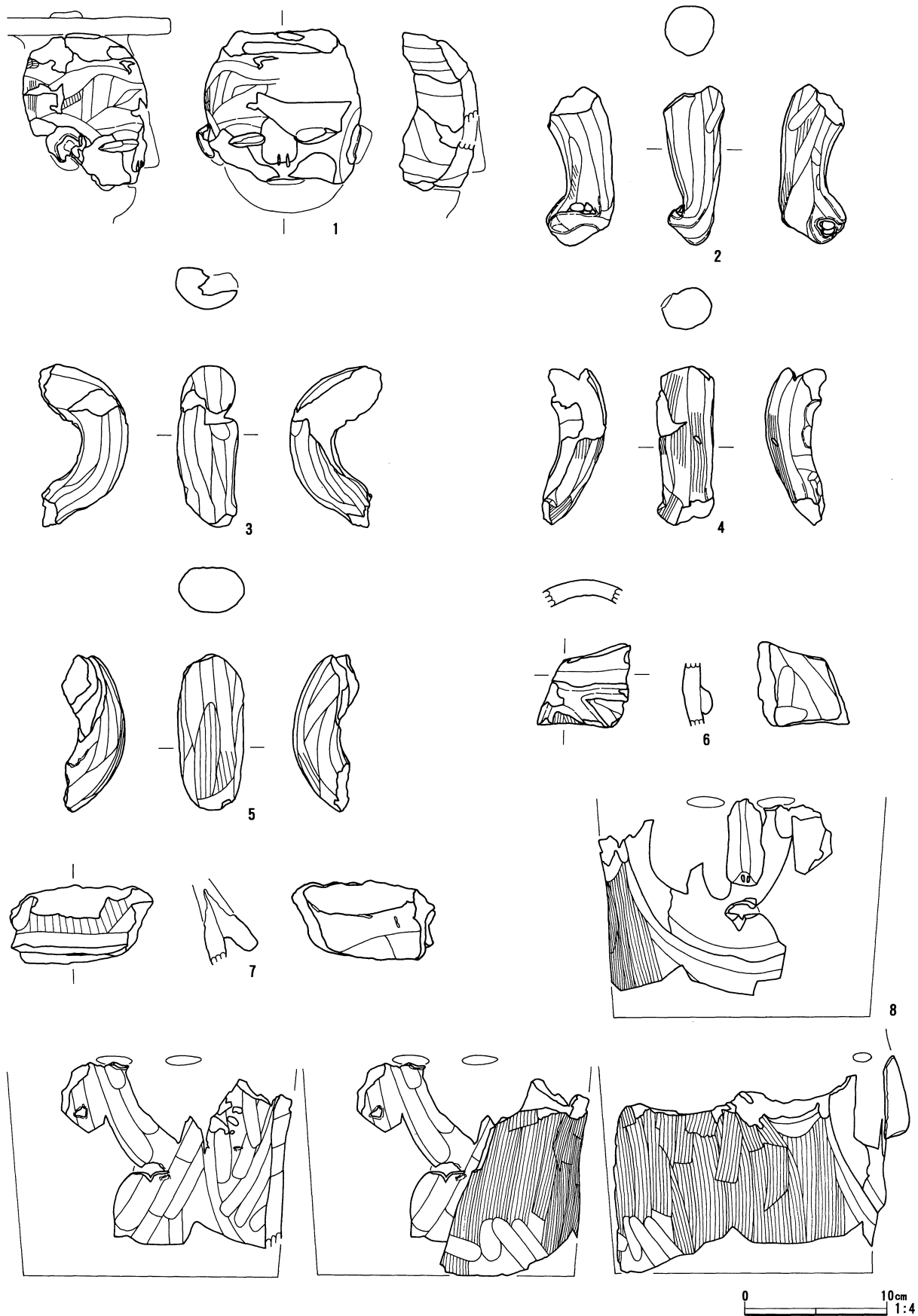


图293 ST-28 形象埴輪実測图 (1)

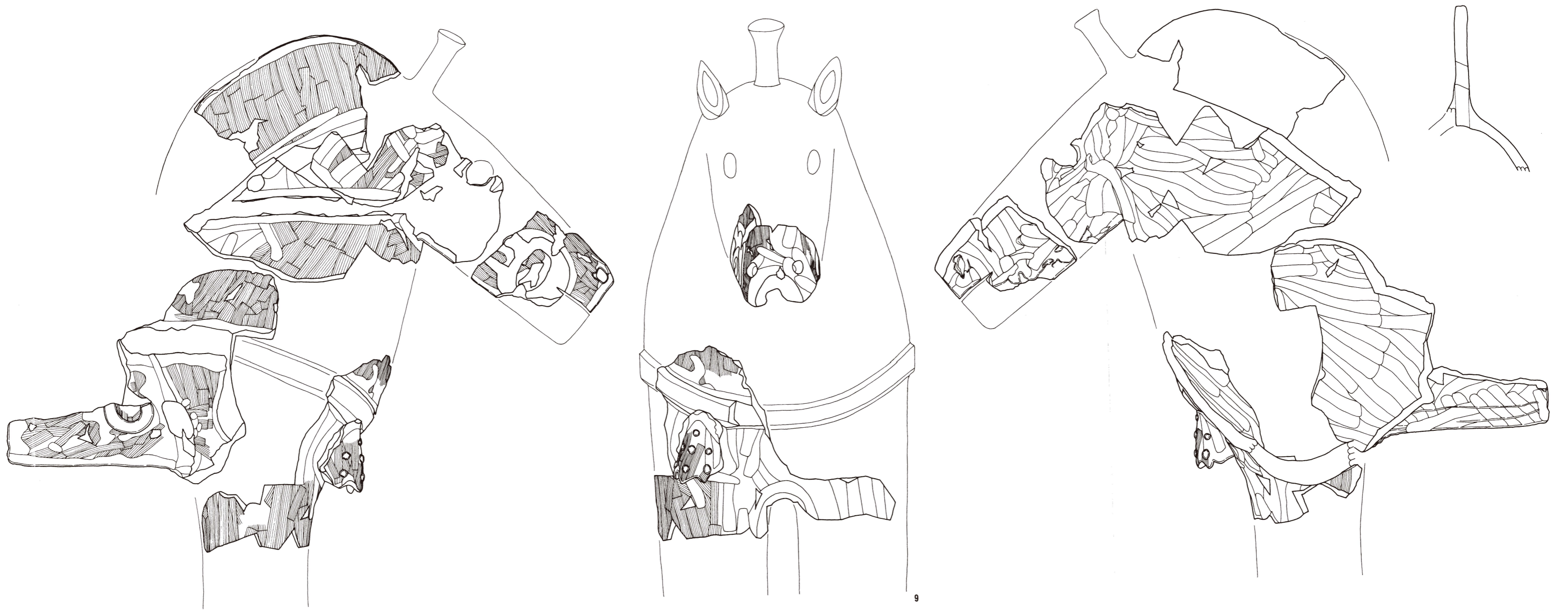


图294 ST-28 形象填輪実測图 (2)

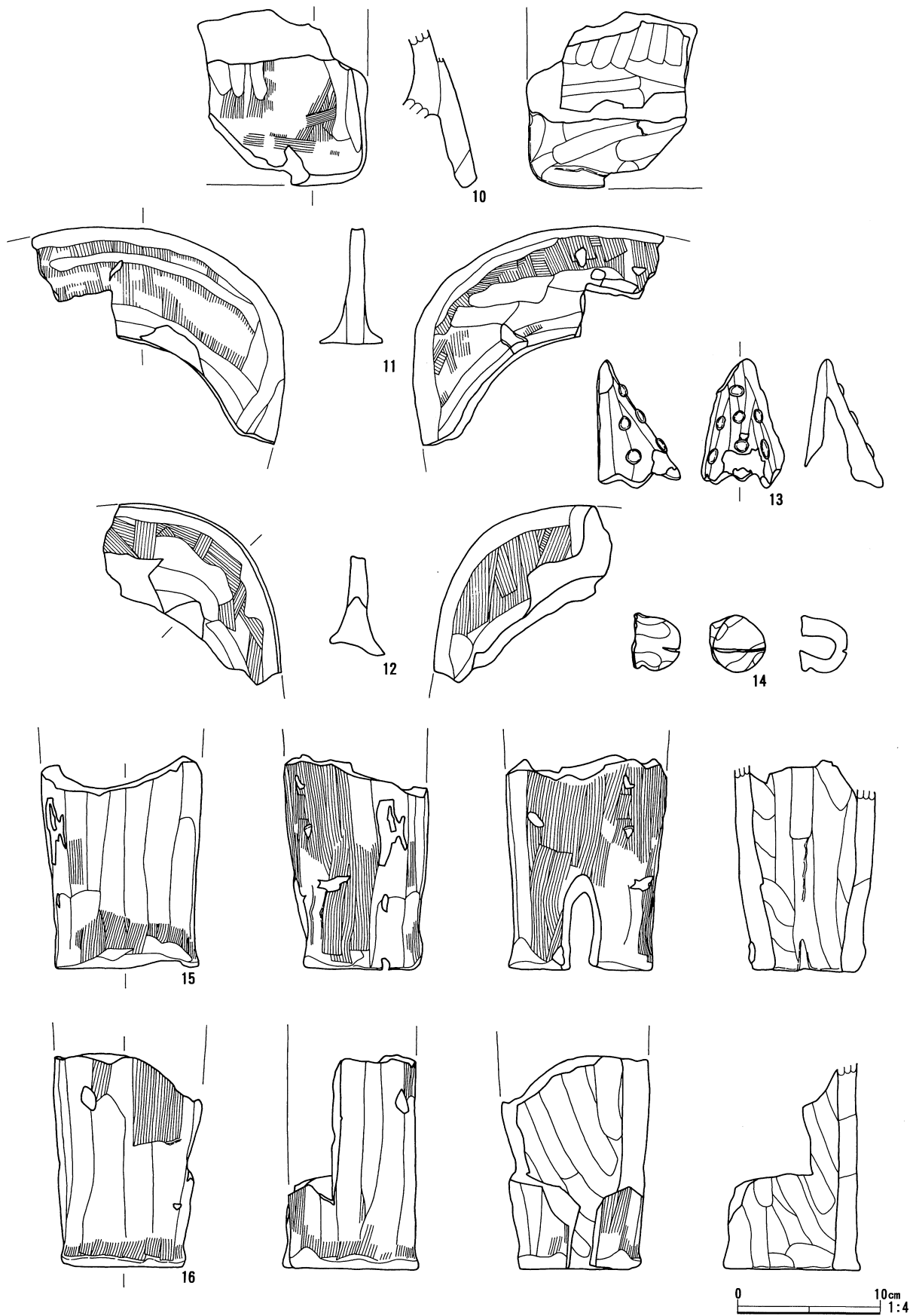


图295 ST-28 形象埴輪実測图 (3)

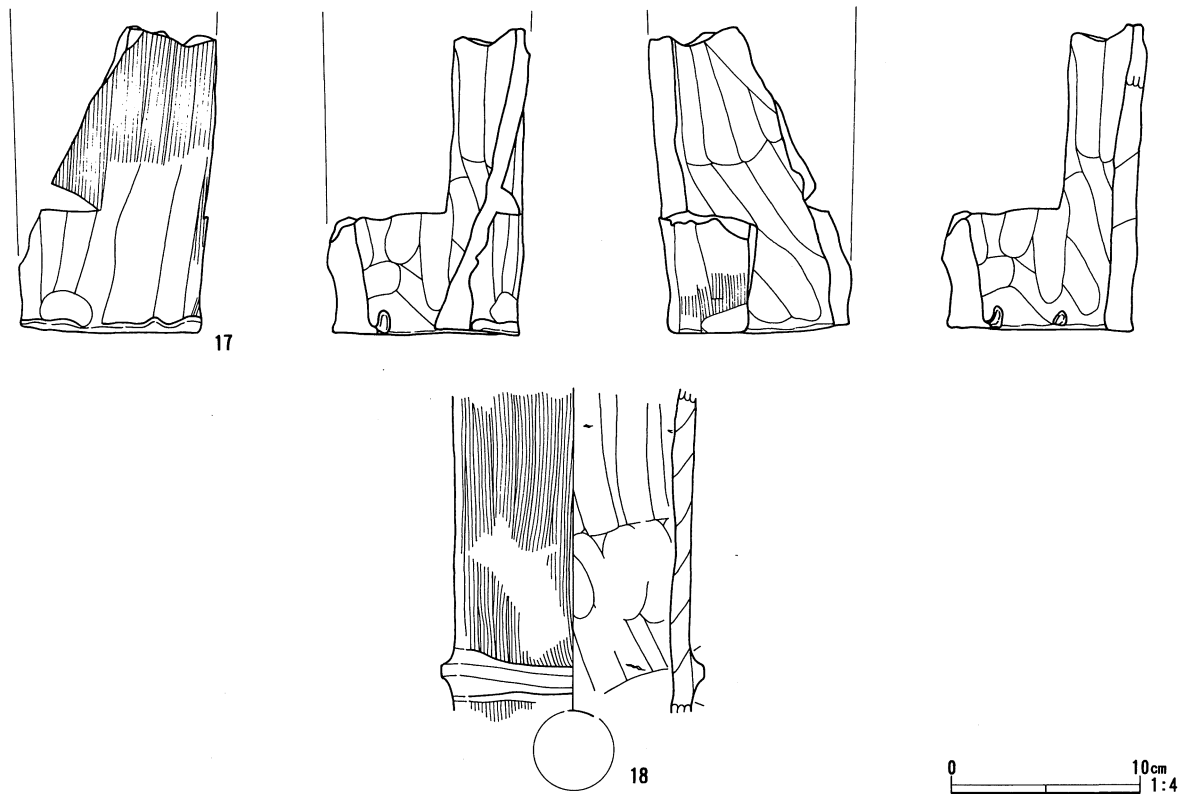


図296 ST-28 形象埴輪実測図 (4)

8	人面付円筒	ヘラ先刺突により鼻孔を表現。耳孔あり。	円筒に粘土板で顔面成形。外面一ハケ及びナデ。内面一ナデ。	良好	橙色	砂粒を多く含む。
9	馬	頭部から前胴部。面繫、手綱、胸繫、障泥、輪鐙を表現。	外面一ハケ及びナデ。内面一ナデ。	良好	橙色	礫を含む。
10	馬	右障泥後半部。覆輪表現なし。	外面一ハケ及びナデ。内面一ナデ。	良好	橙色	礫を含む。
11	馬	後輪右半部。尻繫を表現。	ハケ及びナデ。	良好	橙色	礫を含む。
12	馬	鞍橋の一部。繫の表現なし。	ハケ及びナデ。	良好	橙色	礫を含む。
13	馬	馬鐙。三角錐形。下縁は波状。表面に円形付文を貼付。	外面一ナデ。内面一ナデ。	良好	橙色	礫を含む。
14	馬	鈴。	中空成形。内・外面一ナデ。	良好	にぶい橙色	
15	馬	脚下端部。蹄の表現あり。	外面一ハケ。内面一ナデ。	良好	橙色	礫を含む。
16	馬	脚下端部。蹄の表現あり。	外面一ハケ及びナデ。内面一ナデ。	良好	にぶい黄橙色	礫を含む。
17	馬	脚下端部。蹄の表現あり。	外面一ハケ及びナデ。内面一ナデ。	良好	にぶい黄橙色	礫を含む。
18	不明	円筒形の本体部。突帯1条。突帯下に円形透孔。	外面一ハケ及びナデ。内面一ナデ。輪積痕あり。	良好	にぶい橙色	

ST-29 (図298)

位置：T-6、U-5～7、V-5～7グリッドに位置する。ローム台地から外れた埋没谷上に立地する。

形状：墳丘は整円形を呈する。周堀は、中・近世の遺構との重複により相当部分を失っている。南側にブリッジをもつ。

周堀は南、東、北側ではほぼ一定に巡るが、西側では外側立ち上がり蛇行しつつ大きく広がっている。周堀断面は平面形の歪む西側では船底形を呈し、それ以外の箇所では箱形を呈する。周堀底面は埋没谷に堆積する黒色土を掘り抜き、黒色土下のシルト層まで掘り込んでいる。確認面から堀底まで深淺があつて、周堀覆土の堆積状況は場所により異なる。掘り込みの深いA-A'、B-B'では3層に大別され、上層に第1層とした混合物を含まない黒色土及び第2層灰黒色土ブロックを含む黒色土、中層に第3層とした灰黒色土ブロックと灰白色土ブロックの混合層、下層に第4層とした黒色土ブロックを多量に含む暗黄灰色土の堆積を認める。A-A'では、さらに左右立ち上りの斜面に沿って第5層とした灰黄色土の堆積が観察される。これに対し、掘り込みの浅いC-C'では、第2・4層の堆積を認めない。

規模：周堀内径17.4m、周堀外径20.0m、幅1.6～3.3m、深さ20～80cmを測る。

遺物：周堀覆土及び確認面上層で土師器、円筒埴輪、鉄鏃を検出した。また、SD-42・43・44の覆土に混入した埴輪片のなかに接合関係から本来ST-29に所属することが明らかとなった資料も多い。

円筒埴輪は、全形の判明する個体がないが、残存部位の形状、法量から二条突帯三段構成品と考えられる。外面調整はすべて1次タテハケによる。一部の個体に板押圧による底部調整の存在を認める。突帯は断面が台形ないし崩れたM字形を呈するものと三角形を呈するものがある。透孔はすべて円形である。

形象埴輪は家、人物、馬、器財を確認できる。1～19は家である。1は壁体上半から切妻式の屋根下半にかけての部位で、屋根下端に円形付文、屋根全面に線刻による三角文を表現する。2は屋根棟部で棟覆を表す粘土帯は剝落している。3～19はいずれも切妻式の屋根の一部と考えられ、線刻による三角文を表現する。

20～29は人物である。20・21は顔面部で、とくに20は通常の人物と比較して平板なつくりであり、盾持人物あるいは人面付円筒の人面部の可能性も考えられる。22は下頭頂部で上端に小穿孔が存在する。23・24は腕部で、いずれも中実成形により、C字状に彎曲する。25・26は上衣裾部である。27・28は武装人物の胄で、27は胄鉢部、28は頬当部である。29は人物に付属する大刀の柄部で、2個の円形付文を貼付する。

30～44は馬である。30は右頸部から側胴部にかけての部位である。鞍、障泥、輪鐙、胸繫を表現する。障泥下半部は大きく剝落している。31・32は鬘である。31は二連である点が異形であるが、鬘の前立部と考えられる。32は鬘後端部で、ヘラ先刺突で施文した手綱を表す。33は側頭部で、ヘラ先刺突で施文した面繫の革紐を表現する。34は鞍橋の一部である。35は胸部で、表面に鈴ないし馬鐸の剝離痕のある胸繫を表す。36は左側の尻部で、尻繫の剝離痕があり、尾も脱落している。37～44は鈴で、いずれも中実成形である。

45～58は器財である。45～47は大刀で、うち45・46は柄頭から護拳部にかけての部位にあたり、護拳部表面には蛇行する紐と円形付文で装飾を表現する。47は鞘上部で、柄部との境界に2条の突帯を有し、鞘には下緒の結びを表現する。48～54は鞍である。48は台部を欠損している。矢筒部表面に背負紐、三角文、円形付文を表現する。49・50は鏃部上端で、鏃を立体表現とし、49は線刻で逆刺を表す。51・52は矢筒部上端で、51には背面に円形透孔が、52には背負紐と線刻の表現を認める。53・54は背負板の一部で、53には「×」

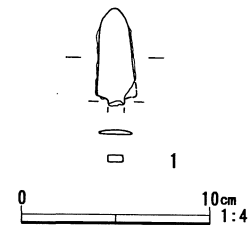
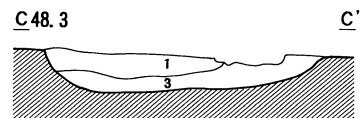
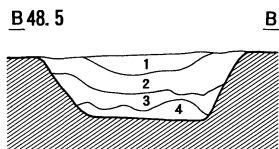
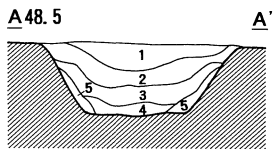
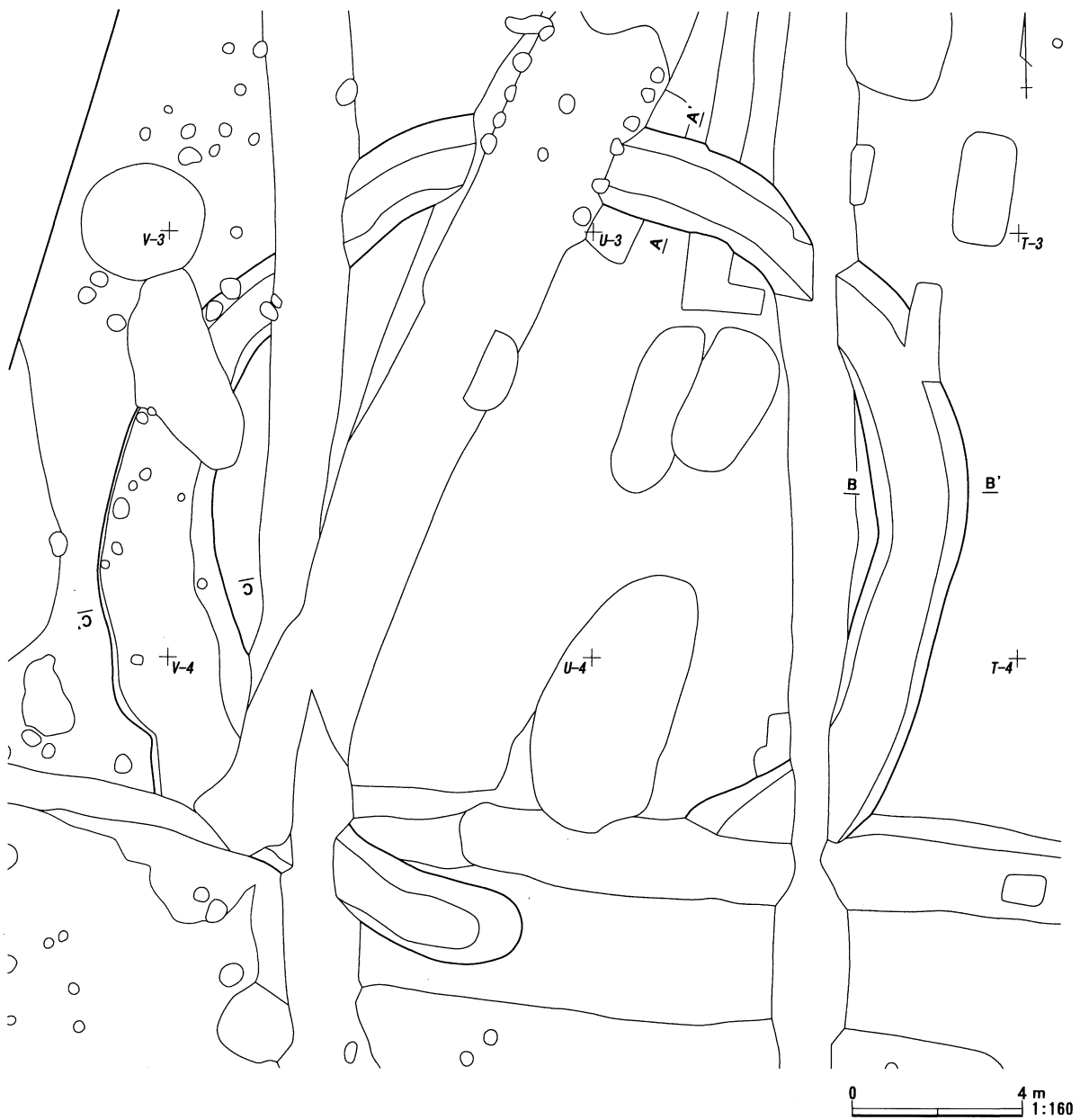


図297 ST-29 鉄器実測図

ST-29 金属遺物観察表

No.	種類	器種	法量 (cm・g)	備考
1	鉄製品	鉄鏃	鏃身残存長4.8 幅1.8 厚さ0.3 筈被残存長0.4 幅0.9 厚さ0.3 重さ9.4。	



ST-29 土層説明

- 1 黒色土
- 2 黒色土 灰黒色土ブロック (径1~20mm) を少量含む。
- 3 黒色土ブロックと灰白色土ブロックとの混合層。
- 4 暗黄灰色土 黒色土ブロック (径1~15mm) を多量に含む。
- 5 暗黄灰色土

図298 ST-29

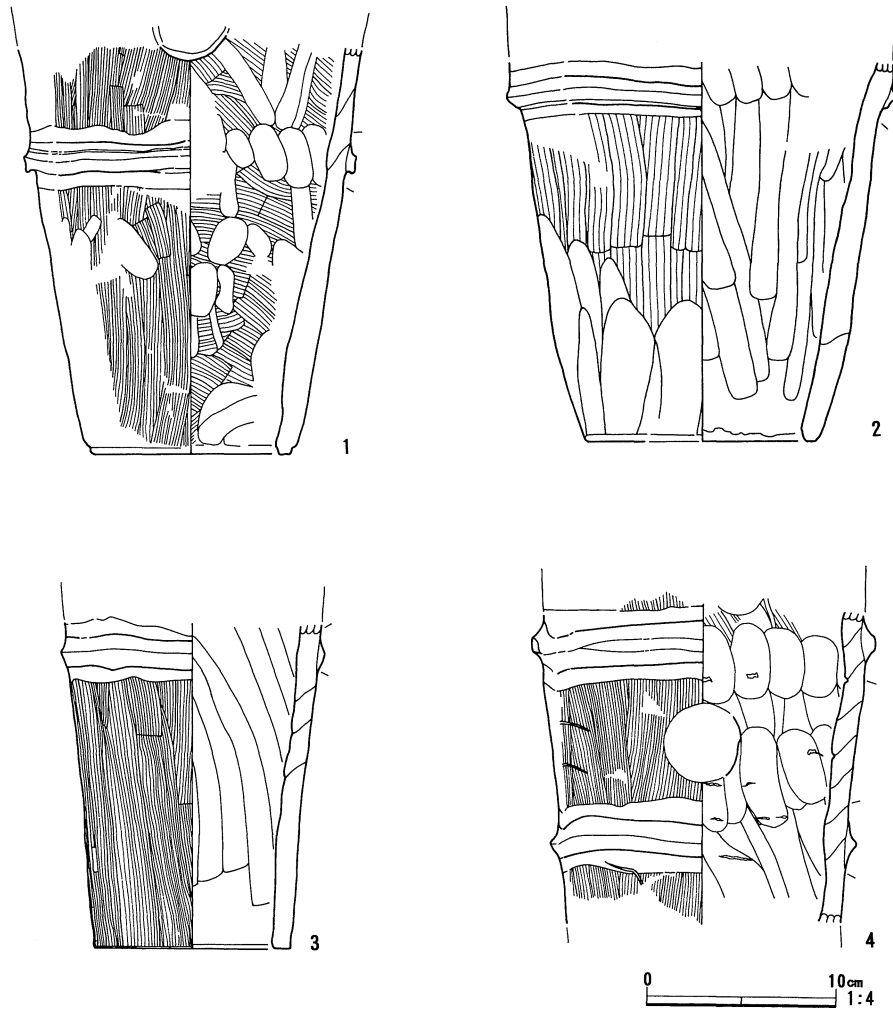


図299 ST-29 円筒埴輪実測図

状の線刻がある。55・56は弓である。55は円筒状の弓本体の上端に弓弭を表し、突帯で弦を表現する。片面に円形小孔を認める。56は小片ながら、55と同形と判断される。57・58は器財の台部で、59は器種不明である。

鉄鏃は周堀覆土上層で検出した。篋被中位以下を欠失している。錆化のため詳細は明確ではないが、鏃身は長三角形式で、鏃は明瞭ではなく、片平丸造と観察される。

ST-29 円筒埴輪拓影資料観察表

番号	器種	部 位	外面調整・ハケ本数	内面調整・ハケ本数	焼 成	色 調	備 考
1	円筒	第 3 段	1次タテハケ・6本/2cm	ナナメナデ	良 好	にぶい 橙 色	口唇部端面・内外面・突帯ヨコナデ。半円形透孔。
2	円筒	第 3 段	1次タテハケ・6本/2cm	ナナメナデ	良 好	にぶい 橙 色	口唇部端面・内外面・突帯ヨコナデ。半円形透孔。
3	円筒	第 3 段	1次タテハケ・14本/2cm	ナナメハケ・18本/2cm 及びナナメナデ	良 好	明 赤 褐 色	突帯ヨコナデ。 半円形透孔。
4	円筒	第 3 段	1次タテハケ・12本/2cm	ヨコハケ・12本/2cm 及びナナメハケ	良 好	明 赤 褐 色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
5	円筒	第 3 段	1次タテハケ・11本/2cm	ナナメハケ・11本/2cm 及びナナメナデ	良 好	明 赤 褐 色	口唇部端面・内外面・突帯ヨコナデ。
6	円筒	第 3 段	1次タテハケ・11本/2cm	ナナメハケ・11本/2cm	良 好	橙 色	口唇部端面・内外面・突帯ヨコナデ。

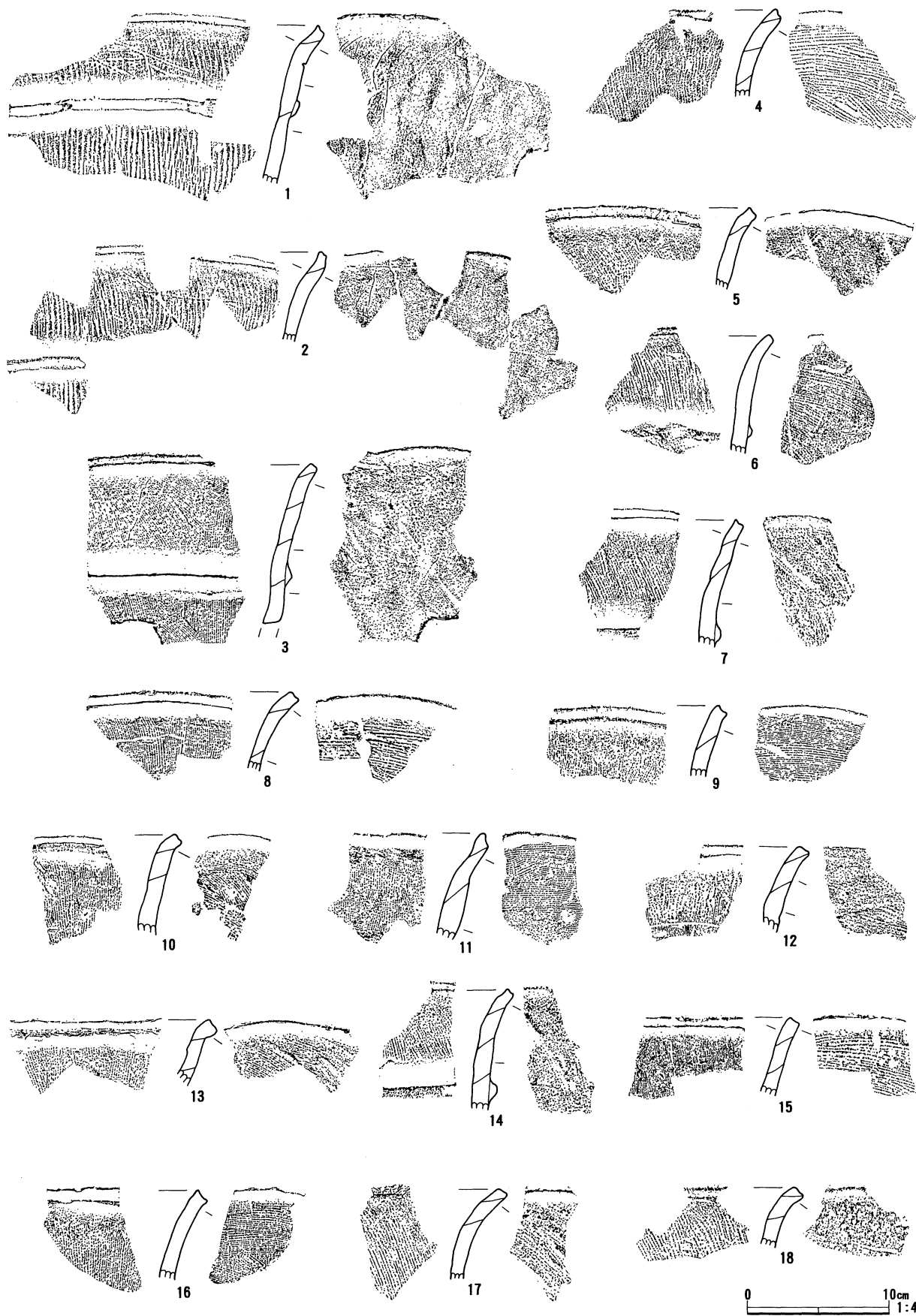


图300 ST-29 円筒・朝顔形埴輪拓影图 (1)

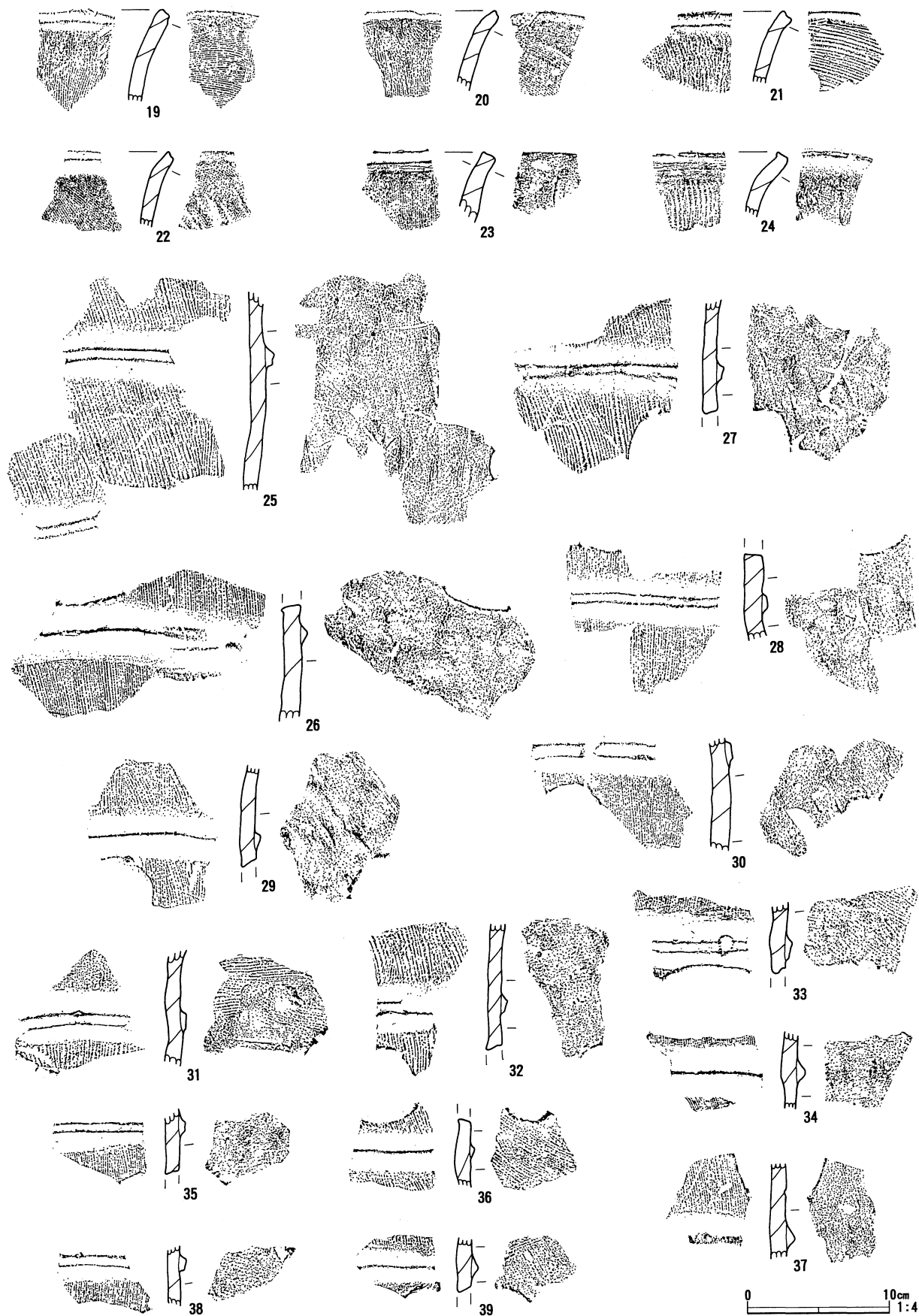


图301 ST-29 円筒・朝顔形埴輪拓影图 (2)

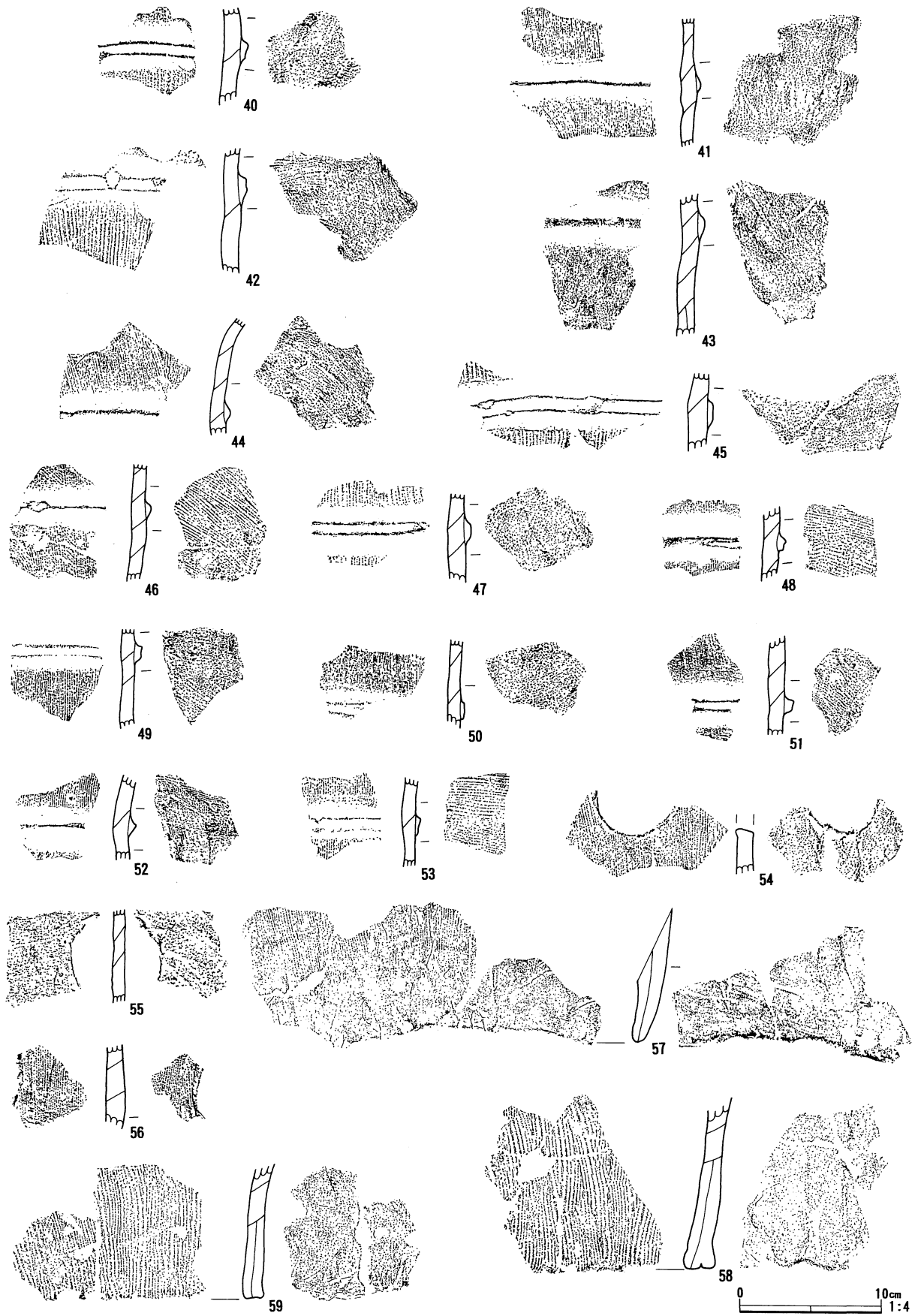


图302 ST-29 円筒・朝顔形埴輪拓影图 (3)

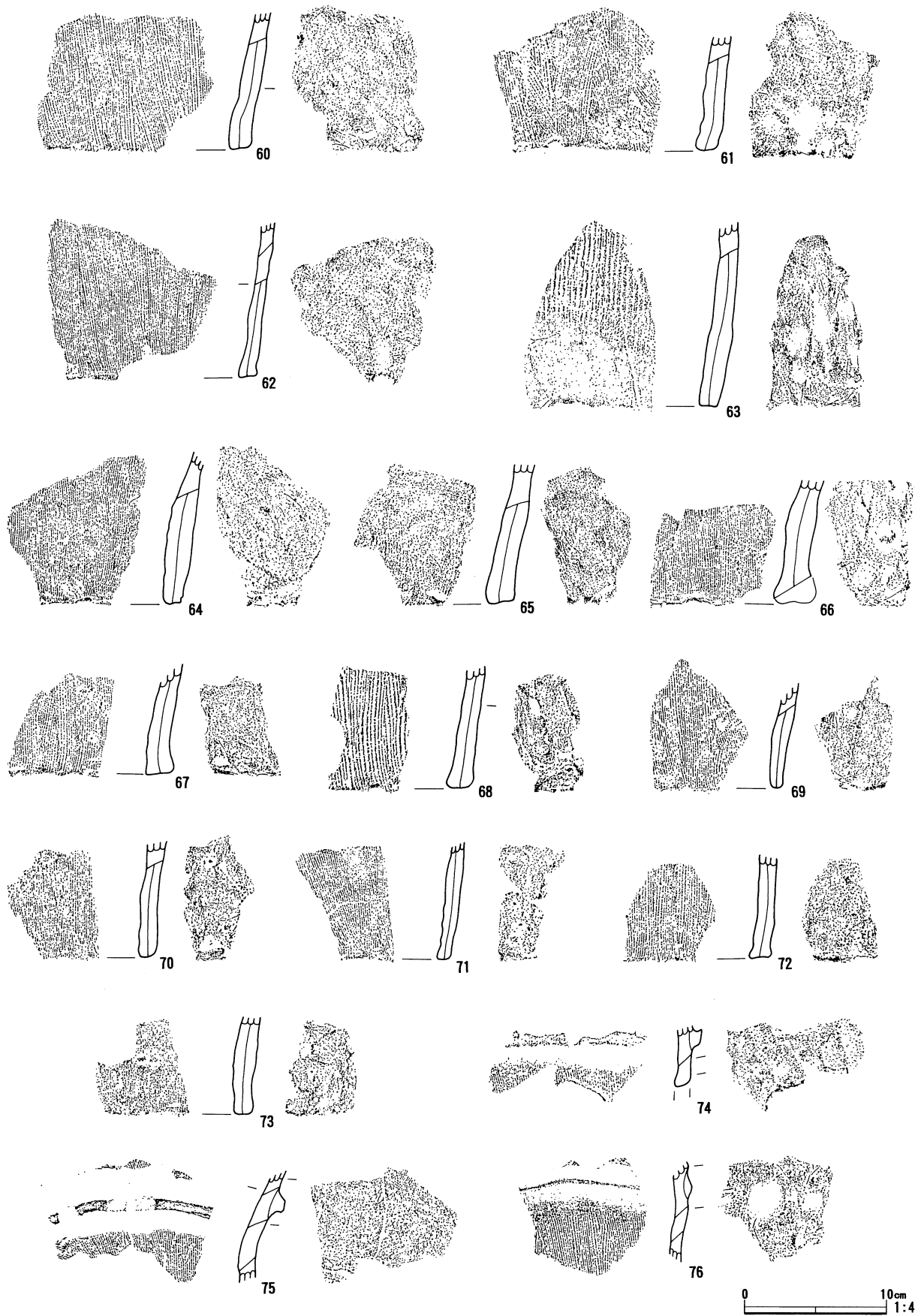


图303 ST-29 円筒・朝顔形埴輪拓影图 (4)



図304 ST-29 円筒・朝顔形埴輪拓影図 (5)

7	円筒	第 3 段	1次タテハケ・12本/2 cm	ナナメハケ・12本/2 cm	良 好	にぶい赤褐色	口唇部端面・内外面・突帯ヨコナデ。
8	円筒	第 3 段	1次タテハケ・15本/2 cm	ヨコハケ・12本/2 cm	良 好	明 赤 褐 色	口唇部端面・内外面・突帯ヨコナデ。
9	円筒	第 3 段	1次タテハケ・16本/2 cm	ヨコハケ・14本/2 cm 及びナナメハケ	良 好	橙 色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
10	円筒	第 3 段	1次タテハケ・14本/2 cm	ナナメハケ・14本/2 cm	良 好	にぶい赤褐色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
11	円筒	第 3 段	1次タテハケ・15本/2 cm	ヨコハケ・15本/2 cm 及びナナメハケ	良 好	明 赤 褐 色	口唇部端面・内外面・突帯ヨコナデ。
12	円筒	第 3 段	1次タテハケ・12本/2 cm	ナナメハケ・10本/2 cm 及びナナメナデ	良 好	にぶい黄褐色	外面線刻あり。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
13	円筒	第 3 段	1次タテハケ・12本/2 cm	ナナメハケ・12本/2 cm	良 好	にぶい赤褐色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
14	円筒	第 3 段	1次タテハケ・12本/2 cm	ナナメハケ・12本/2 cm 及びナナメナデ	良 好	にぶい赤褐色	口唇部端面・内外面・突帯ヨコナデ。
15	円筒	第 3 段	1次タテハケ・18本/2 cm	ヨコハケ・10本/2 cm 及びナナメハケ	良 好	明 赤 褐 色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
16	円筒	第 3 段	1次タテハケ・14本/2 cm	ヨコハケ・14本/2 cm 及びナナメハケ	良 好	にぶい赤褐色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
17	円筒	第 3 段	1次タテハケ・10本/2 cm	ナナメハケ・10本/2 cm	良 好	にぶい赤褐色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
18	円筒	第 3 段	1次タテハケ・9本/2 cm	ナナメナデ	良 好	明 赤 褐 色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
19	円筒	第 3 段	1次タテハケ・13本/2 cm	ヨコハケ・13本/2 cm 及びナナメハケ	良 好	にぶい赤褐色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
20	円筒	第 3 段	1次タテハケ・13本/2 cm	ヨコハケ・13本/2 cm 及びナナメハケ	良 好	明 赤 褐 色	口唇部端面・内外面・突帯ヨコナデ。
21	円筒	第 3 段	1次タテハケ・9本/2 cm	ナナメハケ・9本/2 cm	良 好	明 赤 褐 色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
22	円筒	第 3 段	1次タテハケ・14本/2 cm	ナナメハケ・14本/2 cm	良 好	にぶい赤褐色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
23	円筒	第 3 段	1次タテハケ・16本/2 cm	ナナメナデ	良 好	にぶい赤褐色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
24	円筒	第 3 段	1次タテハケ・6本/2 cm	ナナメナデ	良 好	橙 色	口唇部端面・内外面ヨコナデ。
25	円筒	第 2・3 段	1次タテハケ・8本/2 cm	ナナメハケ・12本/2 cm 及びナナメナデ	良 好	明 赤 褐 色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
26	円筒	第 1・2 段	1次タテハケ・13本/2 cm	ナナメナデ	良 好	赤 褐 色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。

27	円筒	第2・3段	1次タテハケ・9本/2cm	ナナメハケ・14本/2cm 及びナナメナデ	良好	明赤褐色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
28	円筒	第1・2段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメナデ・12本/2cm	良好	橙色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
29	円筒	第2・3段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm 及びナナメナデ	良好	赤褐色	突帯ヨコナデ。円形透孔。 第3段に小穿孔あり。
30	円筒	第2・3段	1次タテハケ・14本/2cm	ナナメハケ・14本/2cm 及びナナメナデ	良好	明赤褐色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
31	円筒	第2・3段	1次タテハケ・9本/2cm	ナナメハケ・9本/2cm	良好	赤褐色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
32	円筒	第2・3段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメナデ	良好	赤褐色	内面輪積痕。突帯ヨコナデ。 円形透孔。
33	円筒	第2・3段	1次タテハケ・14本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm	良好	明赤褐色	内面輪積痕。突帯ヨコナデ。 半円形透孔。
34	円筒	第1・2段	1次タテハケ・14本/2cm	ナナメハケ・14本/2cm 及びナナメナデ	良好	明赤褐色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
35	円筒	第2・3段	1次タテハケ・13本/2cm	ナナメナデ	良好	明赤褐色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
36	円筒	第1・2段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm	良好	明赤褐色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
37	円筒	第1・2段	1次タテハケ・13本/2cm	ナナメナデ	良好	橙色	内面輪積痕。外面線刻あり。 突帯ヨコナデ。円形透孔。
38	円筒	第2・3段	1次タテハケ・16本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm 及びナナメナデ	良好	明赤褐色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
39	円筒	第2・3段	1次タテハケ・16本/2cm	ナナメハケ・11本/2cm	良好	明赤褐色	内面輪積痕。突帯ヨコナデ。 円形透孔。
40	円筒	第1・2段	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm 及びナナメナデ	良好	明赤褐色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
41	円筒	第1・2段	1次タテハケ・14本/2cm	タテハケ・14本/2cm ナ ナメハケ及びナナメナデ	良好	明赤褐色	内面輪積痕。突帯ヨコナデ。 円形透孔。
42	円筒	第2・3段	1次タテハケ・7本/2cm	ナナメハケ・14本/2cm タテナデ及びナナメナデ	良好	明赤褐色	突帯ヨコナデ。
43	円筒	第1・2段	表面摩滅	ナナメハケ・表面摩滅 及びナナメナデ	良好	橙色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
44	円筒	第3段	1次タテハケ・16本/2cm	ナナメハケ・16本/2cm 及びヨコナデ	良好	橙色	突帯ヨコナデ。
45	円筒	第1・2段	1次タテハケ・9本/2cm	ナナメナデ	良好	明赤褐色	突帯ヨコナデ。
46	円筒	第2・3段	1次タテハケ・13本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm 及びタテナデ	良好	明赤褐色	突帯ヨコナデ。
47	円筒	第1・2段	1次タテハケ・11本/2cm	ナナメハケ・16本/2cm 及びナナメナデ	良好	明赤褐色	突帯ヨコナデ。
48	円筒	第2・3段	1次タテハケ・14本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm 及びナナメナデ	良好	にぶい橙色	突帯ヨコナデ。
49	円筒	第2段	1次タテハケ・14本/2cm	ナナメハケ・8本/2cm 及びナナメナデ	良好	明赤褐色	外面線刻あり。 突帯ヨコナデ。
50	円筒	第2段	1次タテハケ・20本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm 及びタテナデ	良好	赤褐色	突帯ヨコナデ。
51	円筒	第2・3段	1次タテハケ・20本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm 及びナナメナデ	良好	明赤褐色	突帯ヨコナデ。
52	円筒	第2・3段	1次タテハケ・14本/2cm	タテハケ・14本/2cm 及びナナメハケ	良好	明赤褐色	突帯ヨコナデ。
53	円筒	第2・3段	1次タテハケ・14本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm	良好	明赤褐色	突帯ヨコナデ。

54	円筒	第 2 段	1次タテハケ・13本/2cm	ナナメハケ・13本/2cm 及びナナメナデ	良 好	にぶい 橙 色	円形透孔。
55	円筒	第 2 段	1次タテハケ・24本/2cm	ナナメハケ・24本/2cm 及びナナメナデ	良 好	明 赤 褐 色	内面輪積痕。 円形透孔。
56	円筒	第 2 段	1次タテハケ・14本/2cm	ナナメハケ・14本/2cm	良 好	にぶい赤褐色	突帯ヨコナデ。 円形透孔。
57	円筒	第 2 段	1次タテハケ・11本/2cm	タテハケ・10~16本/2cm 及びナナメハケ	良 好	橙 色	底部調整あり。
58	円筒	第 1 段	1次タテハケ・8本/2cm	タテナデ	良 好	橙 色	
59	円筒	第 1 段	1次タテハケ・10本/2cm	タテナデ	良 好	橙 色	
60	円筒	第 1 段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメナデ	良 好	にぶい 橙 色	
61	円筒	第 1 段	1次タテハケ・13本/2cm	タテナデ及びナナメナデ	良 好	橙 色	内面輪積痕。
62	円筒	第 1 段	1次タテハケ・14本/2cm	タテナデ及びナナメナデ	良 好	橙 色	内面輪積痕。
63	円筒	第 1 段	1次タテハケ・5本/2cm	タテナデ及びナナメナデ	良 好	橙 色	底部調整。
64	円筒	第 1 段	1次タテハケ・14本/2cm	ナナメナデ	良 好	橙 色	
65	円筒	第 1 段	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメハケ・14本/2cm	良 好	明 黄 褐 色	
66	円筒	第 1 段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメハケ・6本/2cm	良 好	浅 黄 色	
67	円筒	第 1 段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメナデ	良 好	にぶい 橙 色	
68	円筒	第 1 段	1次タテハケ・8本/2cm	ナナメナデ	良 好	にぶい 橙 色	
69	円筒	第 1 段	1次タテハケ・12本/2cm	タテナデ	良 好	橙 色	
70	円筒	第 1 段	1次タテハケ・14本/2cm	ナナメナデ	良 好	橙 色	
71	円筒	第 1 段	1次タテハケ・12本/2cm	タテナデ	良 好	にぶい赤褐色	
72	円筒	第 1 段	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメナデ	良 好	にぶい 橙 色	
73	円筒	第 1 段	1次タテハケ・14本/2cm	ナナメナデ	良 好	橙 色	
74	朝顔	胴 部	1次タテハケ・12本/2cm	ナナメナデ	良 好	明 赤 褐 色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
75	朝顔	口 縁 部	1次タテハケ・13本/2cm	ナナメハケ・12本/2cm 及びナナメナデ	良 好	明 赤 褐 色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
76	朝顔	口 縁 部	1次タテハケ・12本/2cm	タテハケ・16本/2cm ナナメハケ及びタテナデ	良 好	明 赤 褐 色	内面輪積痕。 突帯ヨコナデ。
77	朝顔	口 縁 部	1次タテハケ・13本/2cm	ナナメハケ・13本/2cm 及びナナメナデ	良 好	明 赤 褐 色	突帯ヨコナデ。
78	朝顔	口 縁 部	1次タテハケ・14本/2cm	ナナメナデ	良 好	明 赤 褐 色	
79	朝顔	肩 部	ナナメハケ・12本/2cm	ナナメナデ	良 好	明 赤 褐 色	内面輪積痕。
80	朝顔	肩 部	タテハケ・16本/2cm 及びナナメハケ	ナナメナデ	良 好	にぶい赤褐色	突帯ヨコナデ。

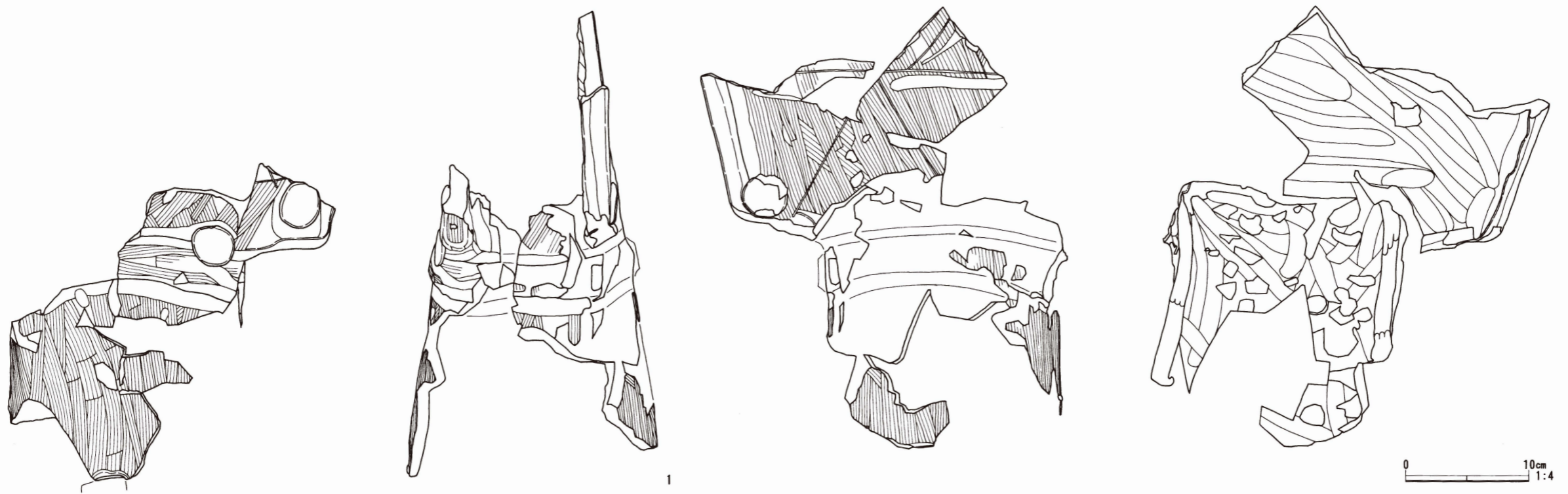


图305 ST-29 形象埴輪実測図 (1)

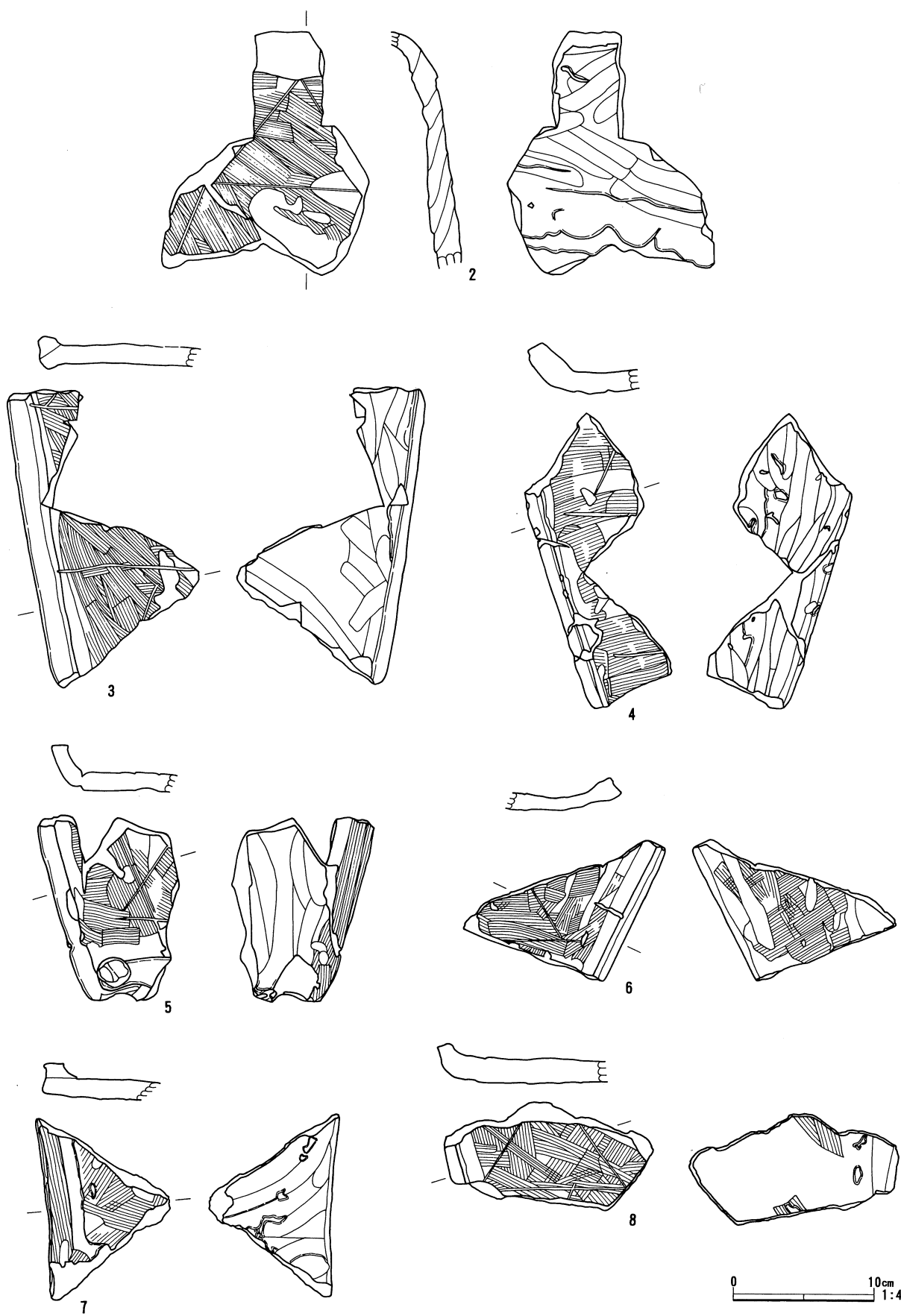


图306 ST-29 形象埴輪実測图 (2)

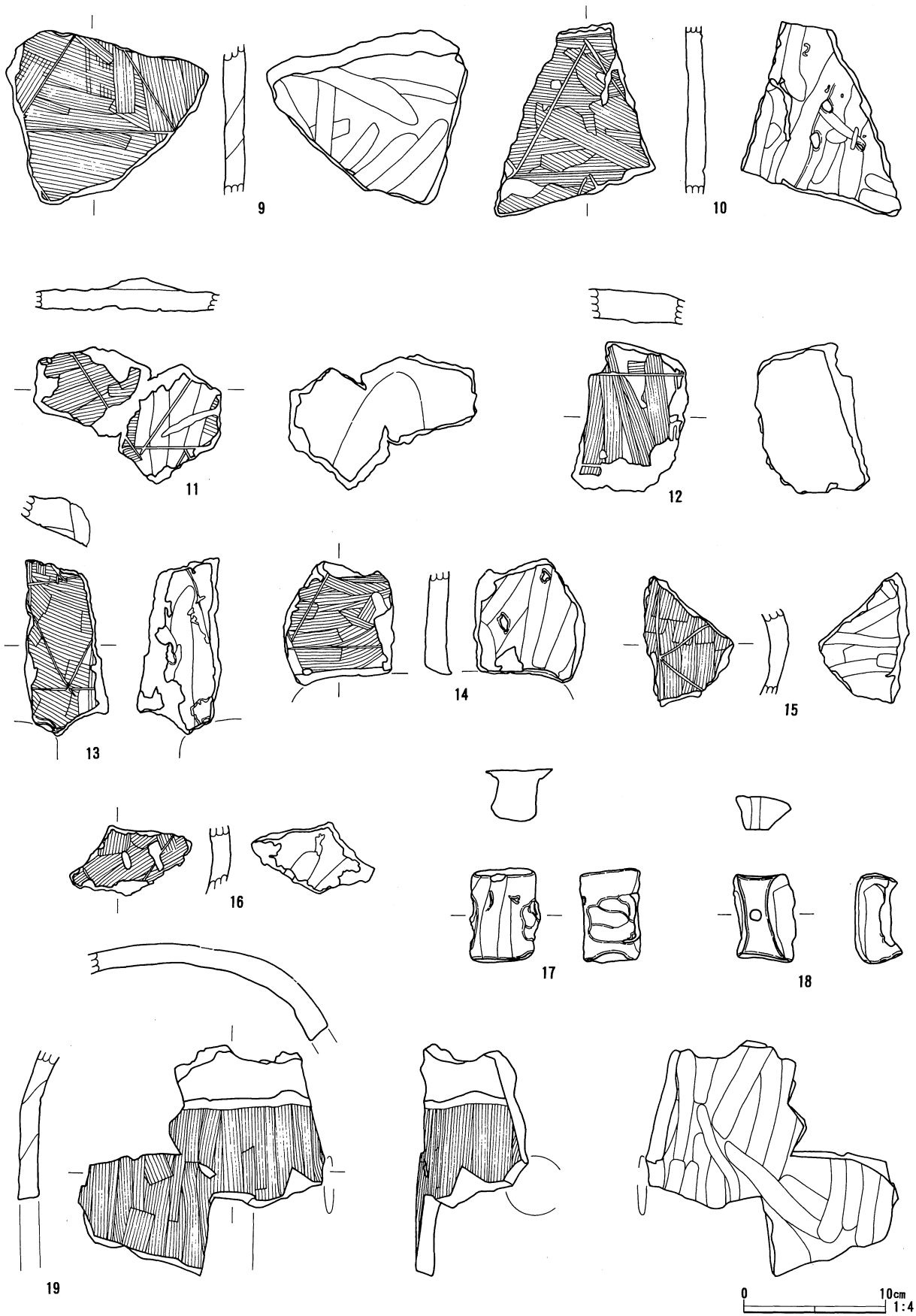


图307 ST-29 形象埴輪実測图 (3)

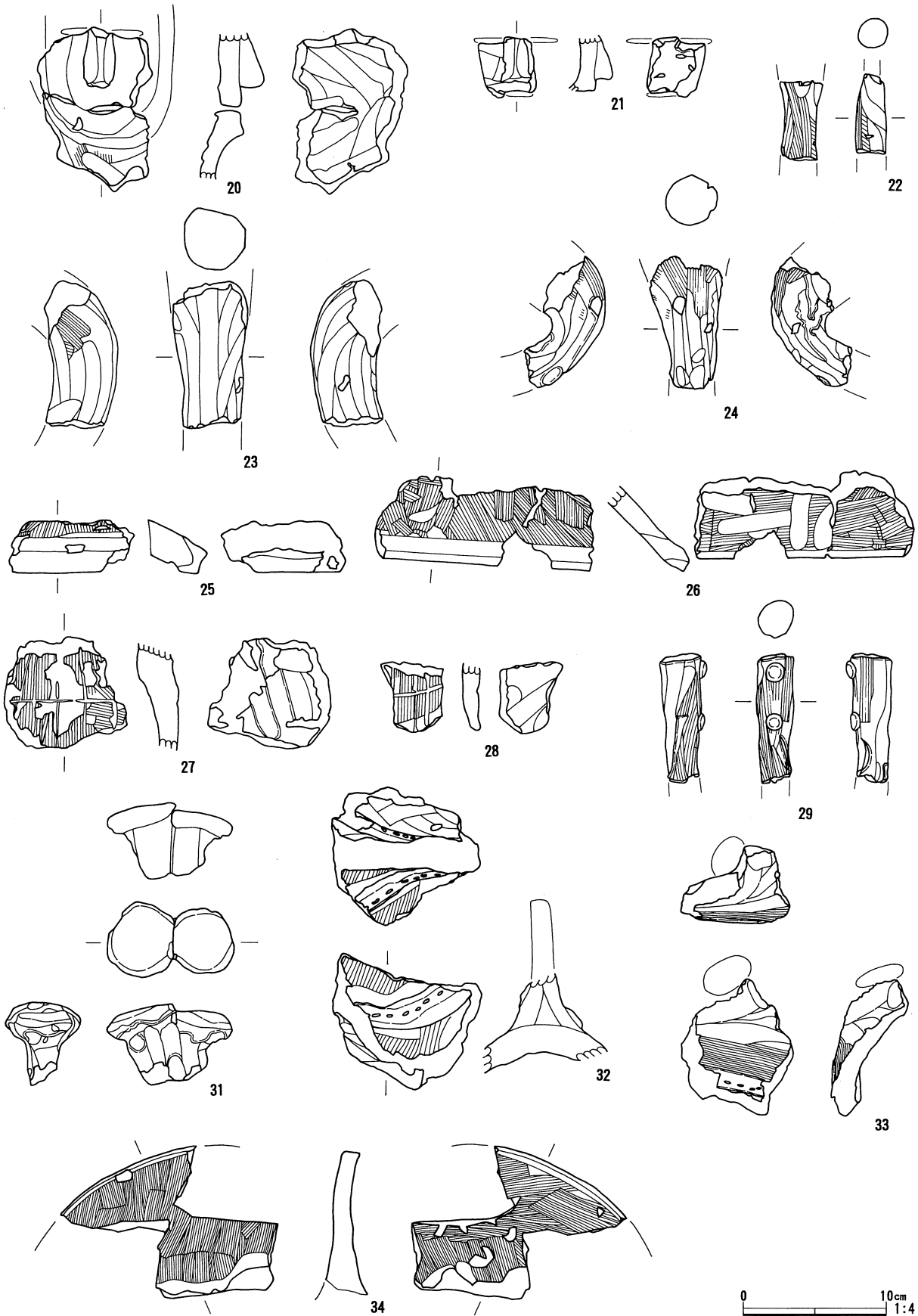


图308 ST-29 形象埴輪実測図 (4)

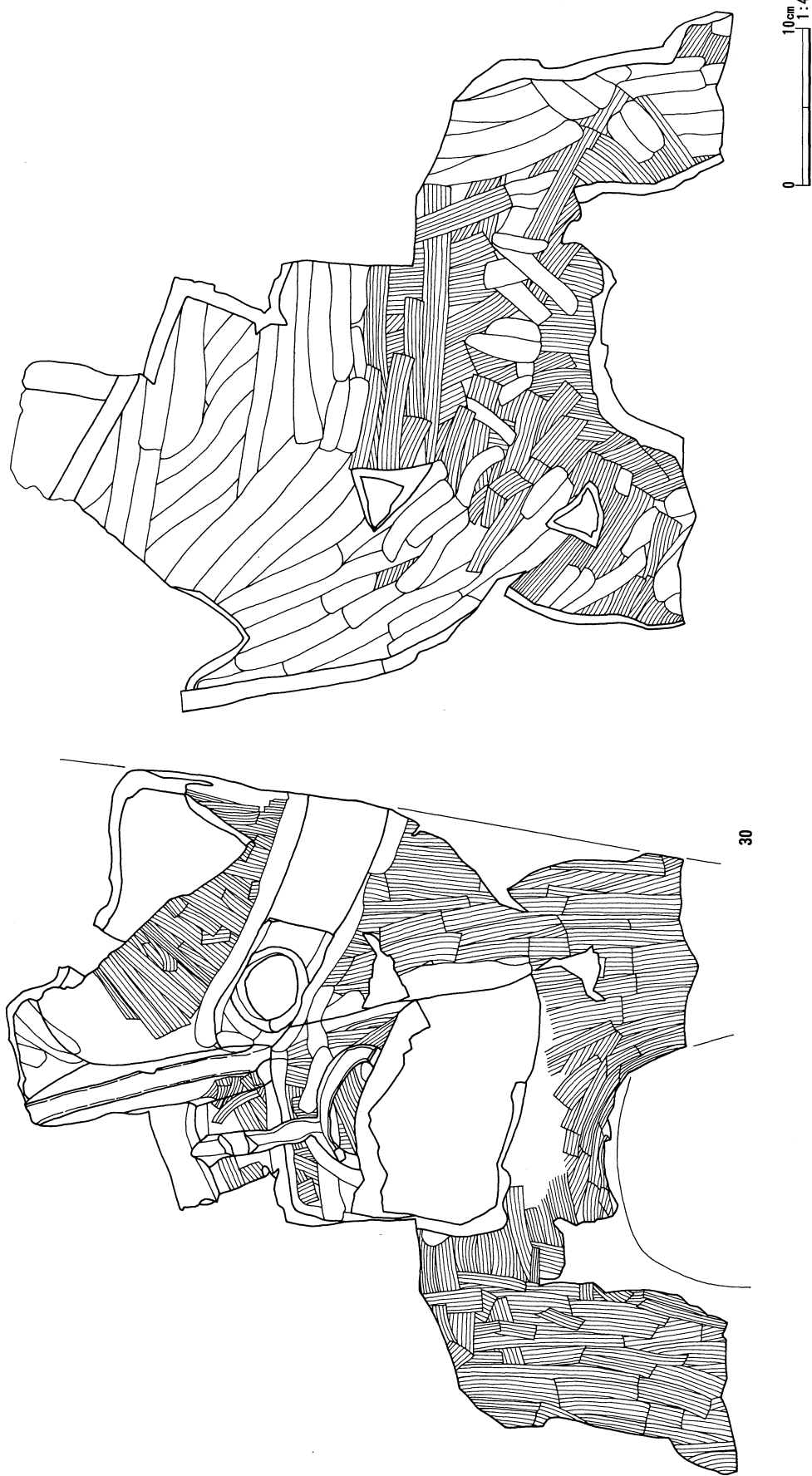


图309 ST-29 形象埴輪実測図 (5)

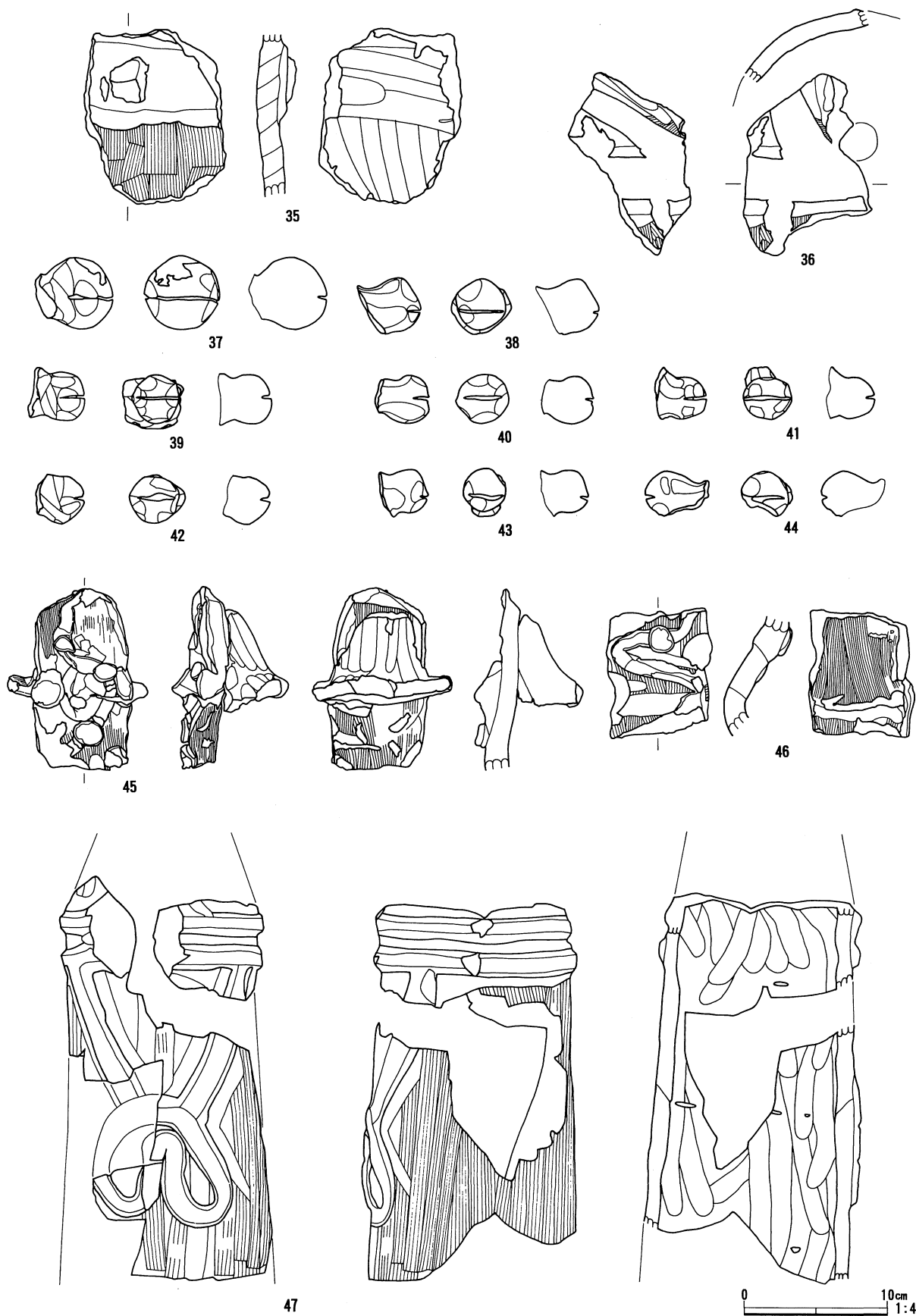


图310 ST-29 形象埴輪実測図 (6)

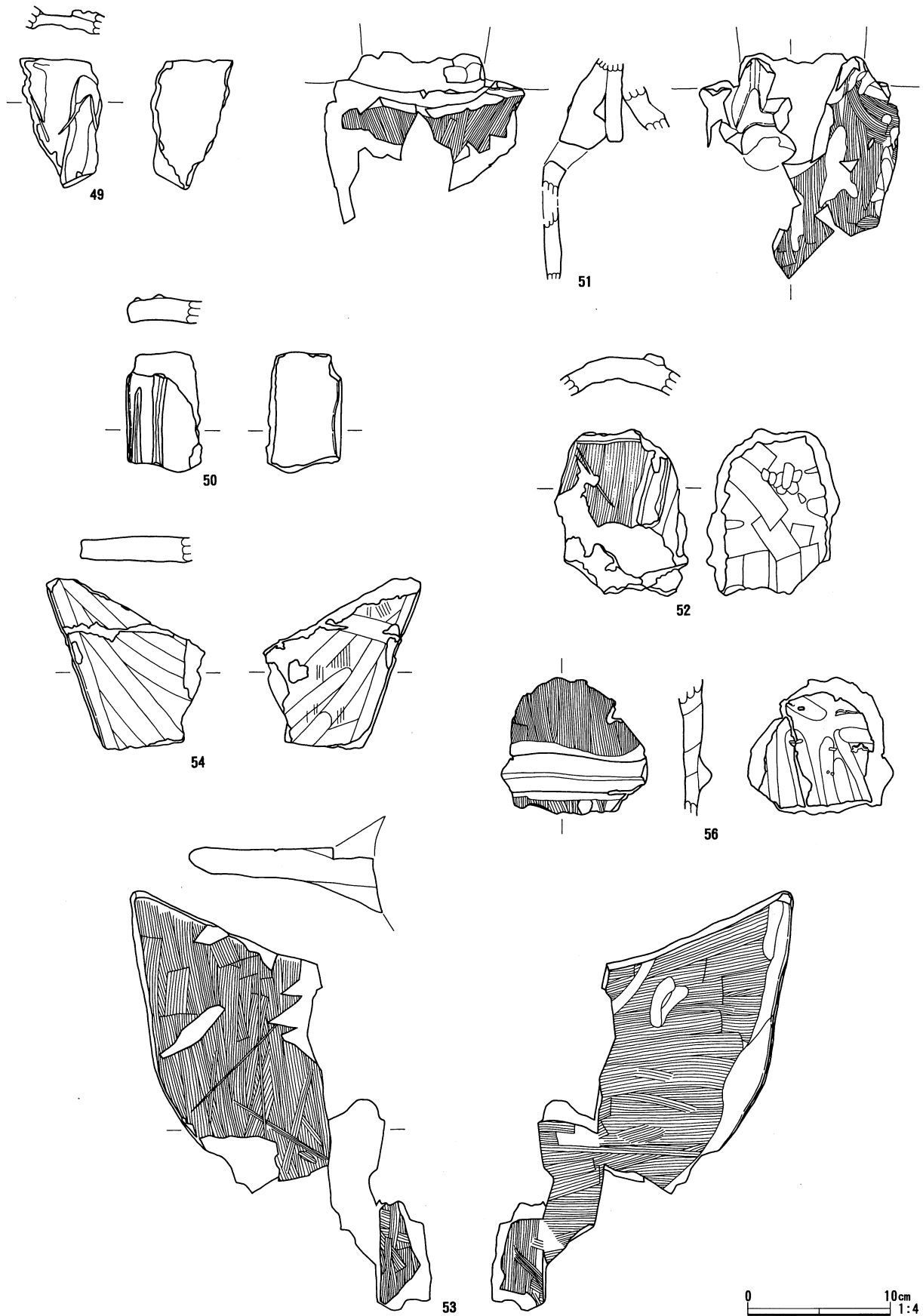


图311 ST-29 形象埴輪実測図 (7)

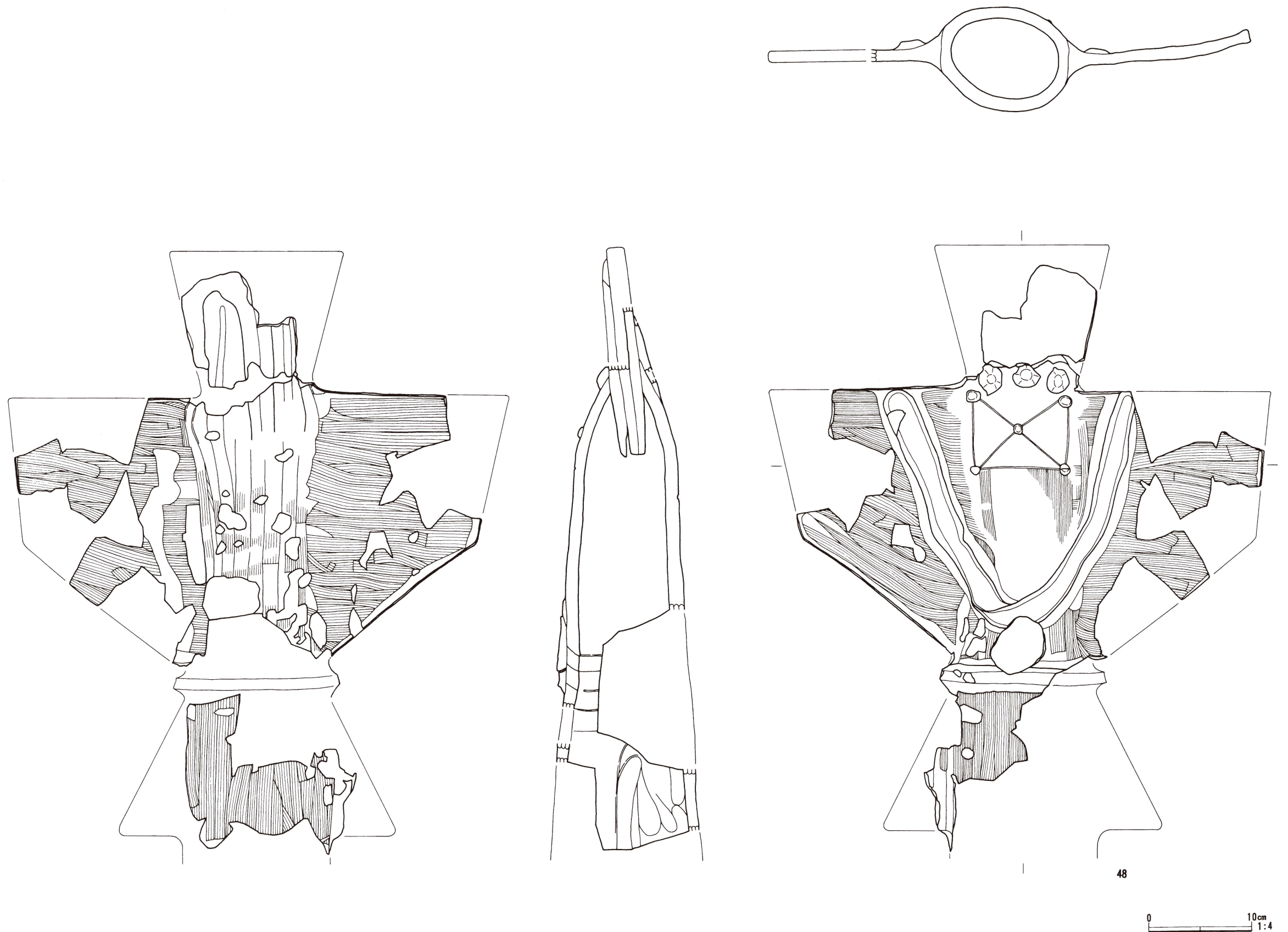
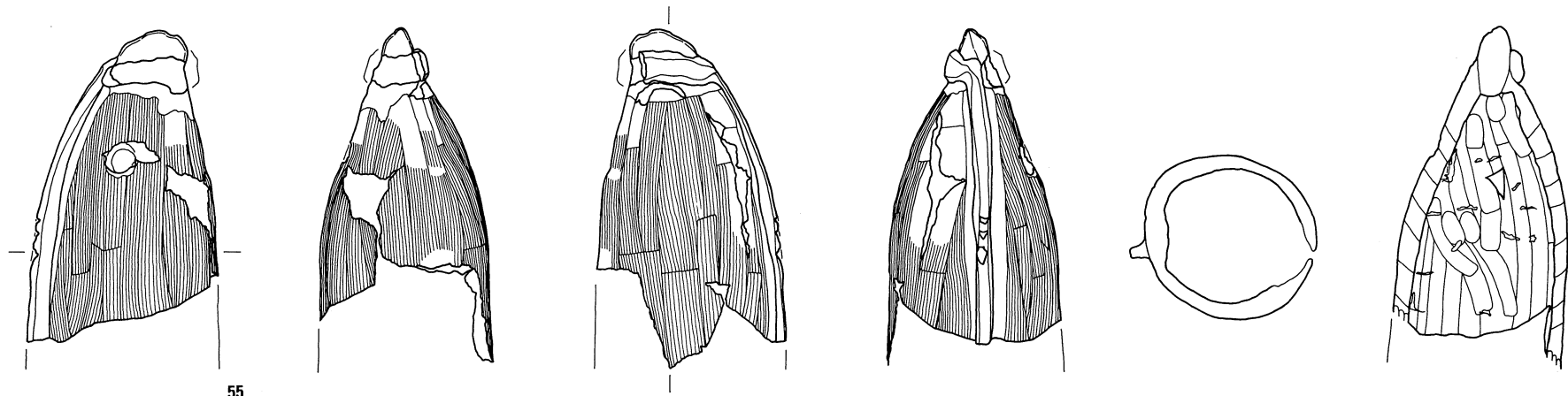
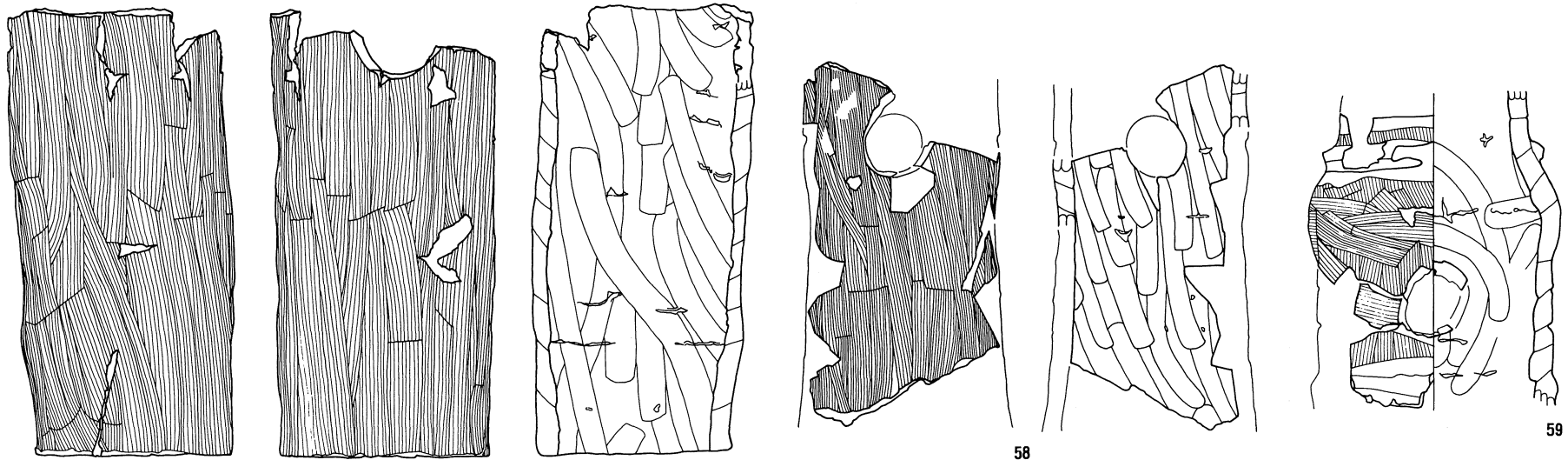


图312 ST-29 形象埴輪実測図 (8)



55



57

58

59

0 10cm
1:4

图313 ST-29 形象埴輪実測图 (9)

ST-29 形象埴輪観察表

No.	器種	部位・形態の特徴	成形・調整手法の特徴	焼成	色調	備考
1	家	壁体上部～屋根下部。屋根下端に円形付文。三角文の線刻あり。	外面―タテハケ及びナナメハケ。内面―ナナメナデ。	良好	赤褐色	砂礫を多く含む。軽石を含む。
2	家	屋根棟部。表面に三角文の線刻あり。棟部粘土帯剥離。	外面―ナナメハケ。内面―ナナメナデ。	良好	赤褐色	砂礫を多く含む。軽石を含む。
3	家	屋根妻部。表面に三角文の線刻あり。	外面―ナナメハケ。内面―ナナメナデ。	良好	赤褐色	砂礫を多く含む。軽石を含む。
4	家	屋根妻部。表面に三角文の線刻あり。	外面―ナナメハケ。内面―ナナメナデ。	良好	赤褐色	砂礫を多く含む。軽石を含む。
5	家	屋根妻～下端部。下端に円形付文、表面に三角文の線刻あり。	外面―ナナメハケ。内面―ナナメナデ。	良好	赤褐色	砂礫を多く含む。軽石を含む。
6	家	屋根妻部。表面に三角文の線刻あり。	外面―ハケ及びナナメナデ。内面―ナナメハケ及びナデ。	良好	赤褐色	砂礫を多く含む。軽石を含む。
7	家	屋根妻部。	外面―ナナメハケ。内面―ナナメナデ。	良好	赤褐色	砂礫を多く含む。軽石を含む。
8	家	屋根妻部。表面に三角文の線刻あり。	外面―ナナメハケ及びナデ。内面―ナナメハケ及びナデ。	良好	赤褐色	砂礫を多く含む。軽石を含む。
9	家	屋根中央部。表面に三角文の線刻あり。	外面―ナナメハケ。内面―ナナメナデ。	良好	赤褐色	砂礫を多く含む。軽石を含む。
10	家	屋根中央部。表面に三角文の線刻あり。	外面―ナナメハケ。内面―ナナメナデ。	良好	赤褐色	砂礫を多く含む。軽石を含む。
11	家	屋根中央部。表面に三角文の線刻あり。内面に補強突帯。	外面―ナナメハケ及びナデ。内面―ナナメナデ。	良好	赤褐色	砂礫を多く含む。軽石を含む。
12	家	屋根中央部。表面に2条の線刻あり。	外面―ナナメハケ。内面―ナナメナデ。	良好	赤褐色	砂礫を多く含む。軽石を含む。
13	家	屋根下端部。表面に三角文の線刻あり。	外面―ナナメハケ。内面―ナナメナデ。	良好	赤褐色	砂礫を多く含む。軽石を含む。
14	家	屋根下端部。表面に三角文の線刻あり。	外面―ナナメハケ。内面―ナナメナデ。	良好	赤褐色	砂礫を多く含む。軽石を含む。
15	家	屋根中央部。表面に三角文の線刻あり。	外面―ナナメハケ。内面―ナナメナデ。	良好	赤褐色	砂礫を多く含む。軽石を含む。
16	家	屋根中央部。表面に三角文の線刻あり。	外面―ナナメハケ。内面―ナナメナデ。	良好	赤褐色	砂礫を多く含む。軽石を含む。
17	家	堅魚木。棟部から剥離。穿孔なし。	ナデ。	良好	赤褐色	
18	家	堅魚木。棟部から剥離。中央部に円形小孔あり。	ナデ。	良好	赤褐色	
19	家	壁体上部。長辺に縦長方形の、側面に円形の透孔。	外面―タテハケ。内面―ナナメナデ。	良好	にぶい橙褐色	
20	人物	顔面～頸部。顔面は平板に成形される。	外面―顔面部ナデ、頸部ナデ及びハケ。内面―ナデ。	良好	赤褐色	盾持人物か。
21	人物	顔面部。	外面―ナデ。内面―ナデ。	良好	赤褐色	
22	人物	美頭良上部。上端に小穿孔あり。頭部本体から剥離。	ハケ及びナデ。	良好	橙褐色	
23	人物	腕部。	中実成形技法。ハケ及びナデ。	良好	赤褐色	
24	人物	腕部。	中実成形技法。ハケ及びナデ。	良好	赤褐色	
25	人物	上衣裾部。	外面―ナナメハケ。内面―ナナメハケ。端部内外面―ヨコナデ。	良好	赤褐色	
26	人物	上衣裾部。	外面―ナナメハケ。内面―ナナメハケ。端部内外面―ヨコナデ。	良好	赤褐色	

27	人物	武装人物胄鉢部。縦横の線刻で小札を表現。	外面―不定方向のハケ。 内面―ナナメナデ。	軟質	暗赤褐色	
28	人物	武装人物胄頬当部。縦横の線刻で小札を表現。	外面―タテハケ。 内面―ナナメナデ。	軟質	暗赤褐色	
29	人物	大刀柄部。2個の円形付文を貼付。	ハケ及びナデ。	良好	にぶい橙褐色	
30	馬	右側頸部～側胴部。鞍、障泥、輪鑑、胸繫を表現。	外面―ハケ及びナデ。 内面―ハケ及びナデ。	良好	橙褐色	砂礫を多く含む。
31	馬	鬣前立部。2連の前立を表現。頭頂部から剝離。	ナデ。	良好	橙褐色	砂礫を多く含む。
32	馬	鬣後端部。ヘラ先刺突で施文した手綱を表現。	外面―ハケ及びナデ。 内面―ナデ。	良好	橙褐色	砂礫を多く含む。
33	馬	左側頭部。ヘラ先刺突で施文した面繫の革紐を表現。	外面―ハケ及びナデ 内面―ナデ。	良好	橙褐色	砂粒を多く含む。
34	馬	鞍橋の一部。下端部に面繫、尻繫ないし鞍褥の剝離痕あり。	不定方向のハケ。	良好	橙褐色	砂粒を多く含む。
35	馬	胸部。胸繫の革紐を表現。胸繫表面に鈴ないし鐸の剝離痕あり。	外面―ハケ。 内面―ナデ。	良好	にぶい橙褐色	砂粒を多く含む。
36	馬	左側尻部。尻繫の剝離痕あり。尾部脱落。	外面―ハケ及びナデ。 内面―ナデ。	良好	橙褐色	砂粒を多く含む。
37	馬	鈴。	中実成形。 ナデ。	良好	橙褐色	
38	馬	鈴。	中実成形。 ナデ。	良好	橙褐色	
39	馬	鈴。	中実成形。 ナデ。	良好	橙褐色	
40	馬	鈴。	中実成形。 ナデ。	良好	橙褐色	
41	馬	鈴。	中実成形。 ナデ。	良好	橙褐色	
42	馬	鈴。	中実成形。 ナデ。	良好	橙褐色	
43	馬	鈴。	中実成形。 ナデ。	良好	橙褐色	
44	馬	鈴。	中実成形。 ナデ。	良好	橙褐色	
45	大刀	柄頭～護拳部。護拳部佩表に蛇行する紐と円形付文で装飾表現。	柄頭部、護拳部ともナデ及びハケ。	良好	橙褐色	礫を含む。
46	大刀	護拳部。護拳部佩表に蛇行する紐と円形付文で装飾を表現。	ナデ及びハケ。	良好	橙褐色	礫を含む。
47	大刀	鞘上部。柄部との境界に2条の帯。鞘に下緒の結びを表現。	外面―ナデ及びハケ。 内面―ナデ。	良好	橙褐色	礫を含む。
48	鞞	矢筒部及び背負板部。三角文、円形付文、背負紐を表現。	鍔部表現の板は挿入式。 外面―ハケ。内面―ナデ。	良好	赤褐色	砂礫を多く含む。 軽石を含む。
49	鞞	鍔部上端。鍔は立体表現。線刻で逆刺を表現。裏面剝離。	ナデ。	良好	橙褐色	
50	鞞	鍔部左端。鍔は立体表現。	ナデ。	良好	橙褐色	砂粒を多く含む。 軽石を含む。
51	鞞	矢筒部上端。背面に円形透孔あり。	鍔部表現の板は挿入式。外面―ナデ及びハケ。内面―ナデ。	良好	赤褐色	砂礫を多く含む。 軽石を含む。
52	鞞	矢筒部上端。背負紐を表現。線刻あり。	鍔部表現の板は挿入式。外面―ナデ及びハケ。内面―ナデ。	良好	赤褐色	砂礫を多く含む。 軽石を含む。
53	鞞	左背負板部。「×」字状の線刻あり。	外面―ハケ。 矢筒部内面―ナデ。	良好	赤褐色	砂礫を多く含む。 軽石を含む。

54	靱	右背負板部。	ナデ及びハケ。 表面摩滅。	良好	赤褐色	砂礫を多く含む。 軽石を含む。
55	弓	上半部。弭、弦を表現。片面に円形小孔あり。	外面一弓本体ハケ。弭、弦ナデ。 内面一タテナデ。	軟質	暗赤褐色	
56	弓	下端部。台部との境界に1条の突帯。	外面一弓本体ナデ。台部ハケ。 内面一タテナデ。	軟質	暗赤褐色	
57	器財	台部下半。上部に1対の円形透孔あり。	外面一タテハケ。 内面一タテナデ。	軟質	暗赤褐色	
58	器財	台部下半。上部に円形透孔あり。	外面一タテハケ。 内面一タテナデ。	軟質	暗赤褐色	
59	不明	朝顔形肩部に類似。突帯、円形透孔あり。	外面一タテ及びナナメハケ。 内面一ナナメナデ。	軟質	暗赤褐色	軽石を含む。

ST-30 (図314)

位置：K-5、L-5グリッドに位置する。調査区西端にあって、埋没谷上に立地する。

形状：墳形は、周堀が全周しないため確実ではないが、円形を呈するものと推測される。周堀は北東側1/4と南側中央の一部のみが残る。北東側周堀の内側立ち上がりは整円形を描くが、周堀外側の立ち上がりは不整形に蛇行し、部位により周溝幅の変異が著しい。周堀断面形はおおむね箱形を呈する。周堀内は各所に不整形の落ち込みを認め、とくに南北東に1箇所ずつ土壌状に掘り込まれる部分が存在するが、とくに南北の掘り込みは深くローム下の粘土層を掘削して礫層に達している。その他の堀底も平坦ではなく凹凸が顕著である。

規模：周堀内径14.0m前後、周堀外径20m前後、幅2.0～5.0m、深さ20～85cmを測る。

遺物：遺物は皆無であった。

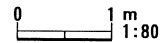
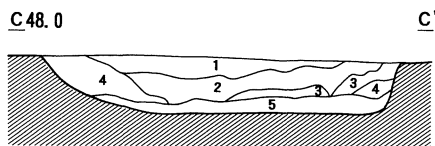
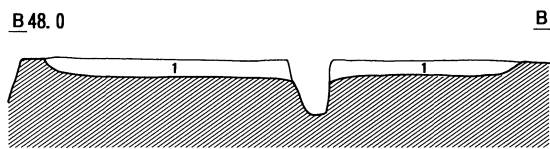
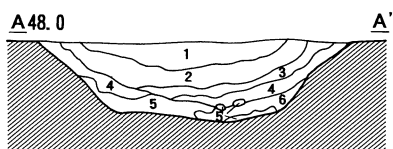
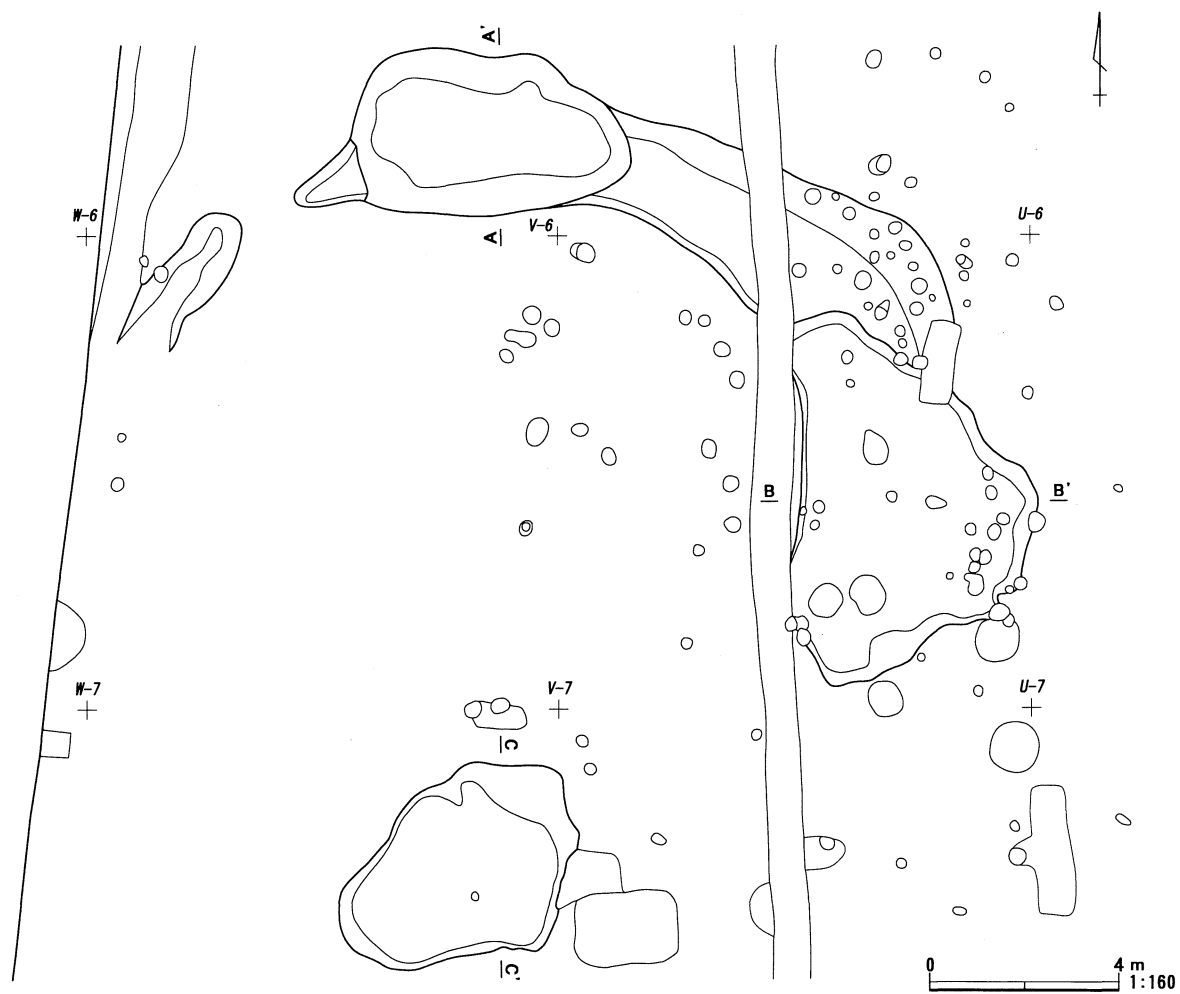
ST-31 (図315)

位置：Q-12・13、R-12グリッドに位置する。調査区南西側の段丘沿いに位置し、周堀北東側の1/4程度が残るにすぎない。大半が調査区外にあって河川の浸食により流失している。

形状：墳形は不明であるが、残存する周堀の形状から、円形を呈するものと推測される。周堀内外の立ち上がりは不整形に蛇行し、部位により周溝幅の変異が著しい。周堀にはブリッジ状に途切れる部分があるらしい。周堀断面形はおおむね箱形を呈する。周堀底面には、とくに深く掘り込まれる箇所は存在しない。

ST-31 円筒埴輪拓影資料観察表

番号	器種	部位	外面調整・ハケ本数	内面調整・ハケ本数	焼成	色調	備考
1	円筒	第3段	1次タテハケ・16本/2cm	ナナメハケ・16本/2cm	良好	橙色	砂粒を多く含む。 口唇部端面・内外面ヨコナデ。
2	円筒	第2・3段	1次タテハケ・10本/2cm	ナナメハケ・10本/2cm	良好	橙色	砂粒を多く含む。突帯ヨコナデ。 円形透孔。
3	円筒	第1・2段	1次タテハケ・14本/2cm	ナナメナデ	良好	橙色	砂粒を多く含む。 突帯ヨコナデ。
4	円筒	第2段	1次タテハケ・8本/2cm	タテハケ・12本/2cm 及びナナメナデ	良好	橙色	砂粒を多く含む。 突帯ヨコナデ。
5	円筒	第2段	1次タテハケ・14本/2cm	ナナメハケ・14本/2cm	良好	橙色	砂粒を多く含む。
6	円筒	第2段	1次タテハケ・12本/2cm	タテナデ	良好	橙色	砂粒を多く含む。
7	円筒	第2段	1次タテハケ・8本/2cm	タテハケ・8本/2cm 及びタテナデ	良好	橙色	砂粒を多く含む。



ST-30 土層説明

- 1 黒色土 ロームブロック (径1~5mm) を少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック (径1~10mm) を少量含む。
- 3 黒褐色土 ロームブロック (径1~25mm) を少量含む。
- 4 黒褐色土 ロームブロック (径1~25mm)、暗黄灰色土ブロック (径1~25mm) を少量含む。
- 5 黒褐色土 灰白色土ブロック (径1~30mm) を多量に含む。
- 6 ロームブロック (径1~20mm) および白褐色粘質土ブロック (径1~30mm) の混合層。

図314 ST-30

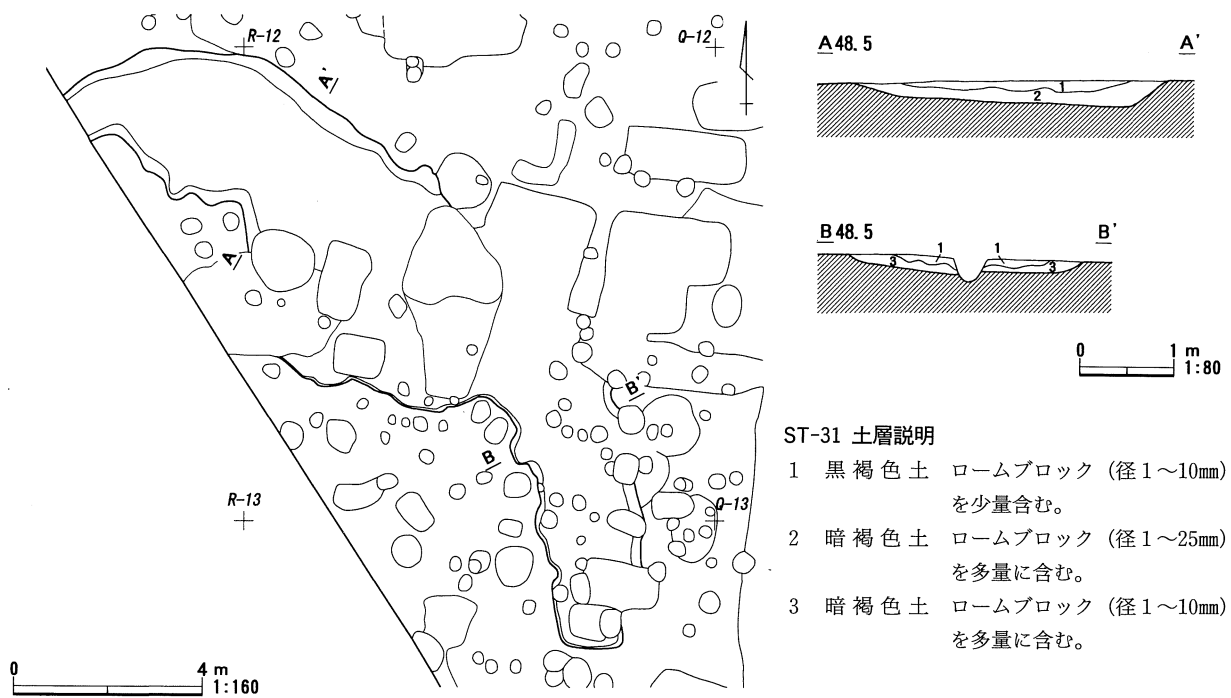


図315 ST-31

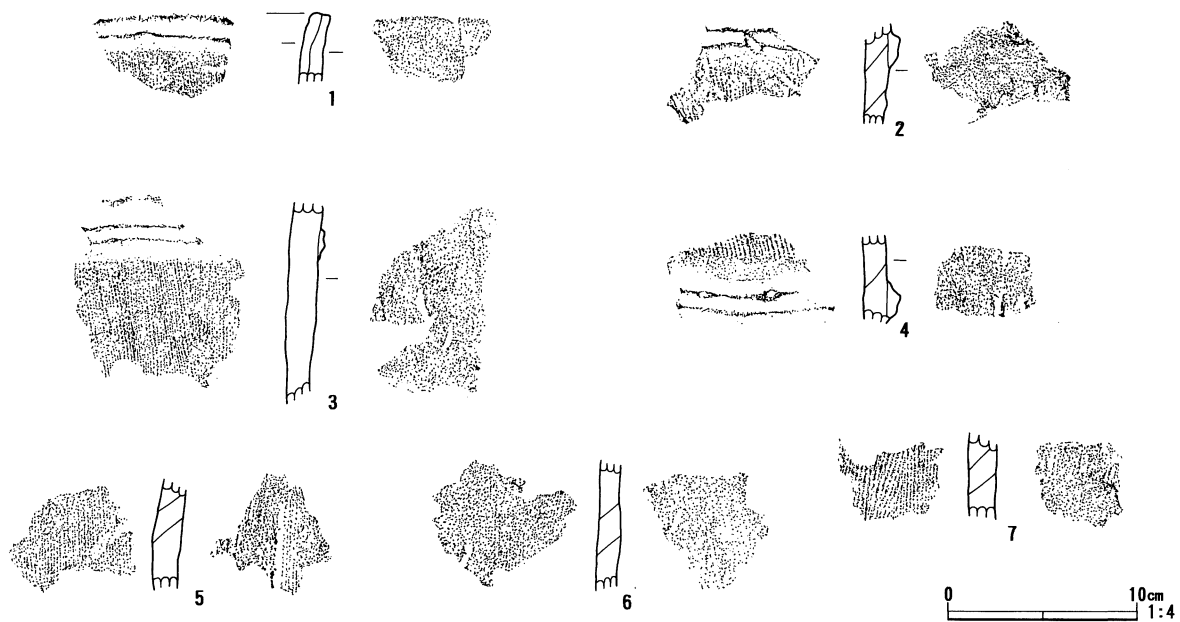


図316 ST-31 円筒埴輪拓影図

規模：規模の詳細は明らかではない。周堀内径10m前後を測るものと推定される。確認の範囲で、周堀幅1.5~3.5m、深さ10~30cmを測る。

遺物：周堀覆土から円筒埴輪を検出した。

円筒埴輪は、全形の判明する個体はないが、残存部位の形状、法量から二条突帯三段構成品と考えられる。すべての資料の胎土に砂粒を多く含む。外面調整はすべて1次タテハケによる。突帯は断面が崩れた台形ないしM字形を呈する。透孔はすべて円形である。

(2) グリッドその他の出土遺物

H-9グリッド埴輪集中 (図317)

調査区中央の埋没谷に面した傾斜面にあって、この部分に堆積する黒色土中に検出した。検出状況から円筒埴輪棺の可能性も考えられたが、精査の結果、周囲には土壙状の遺構を認めず、埴輪集中として認識したものである。ほぼ完全に残る1個体を横位に据え、その口縁部側に大型の破片が集積している。

全形の判明する2個体とも二条突帯三段構成品で、破片を含め他の個体も残存部位の形状、法量から同形と考えられる。外面調整はすべて1次タテハケによる。突帯は断面が台形ないしM字形を呈する。透孔はすべて円形で、段幅に比べ大径である点に特徴を認める。

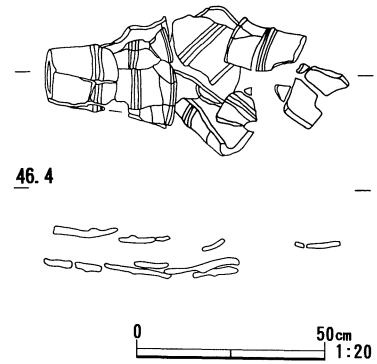


図317 H-9グリッド埴輪集中

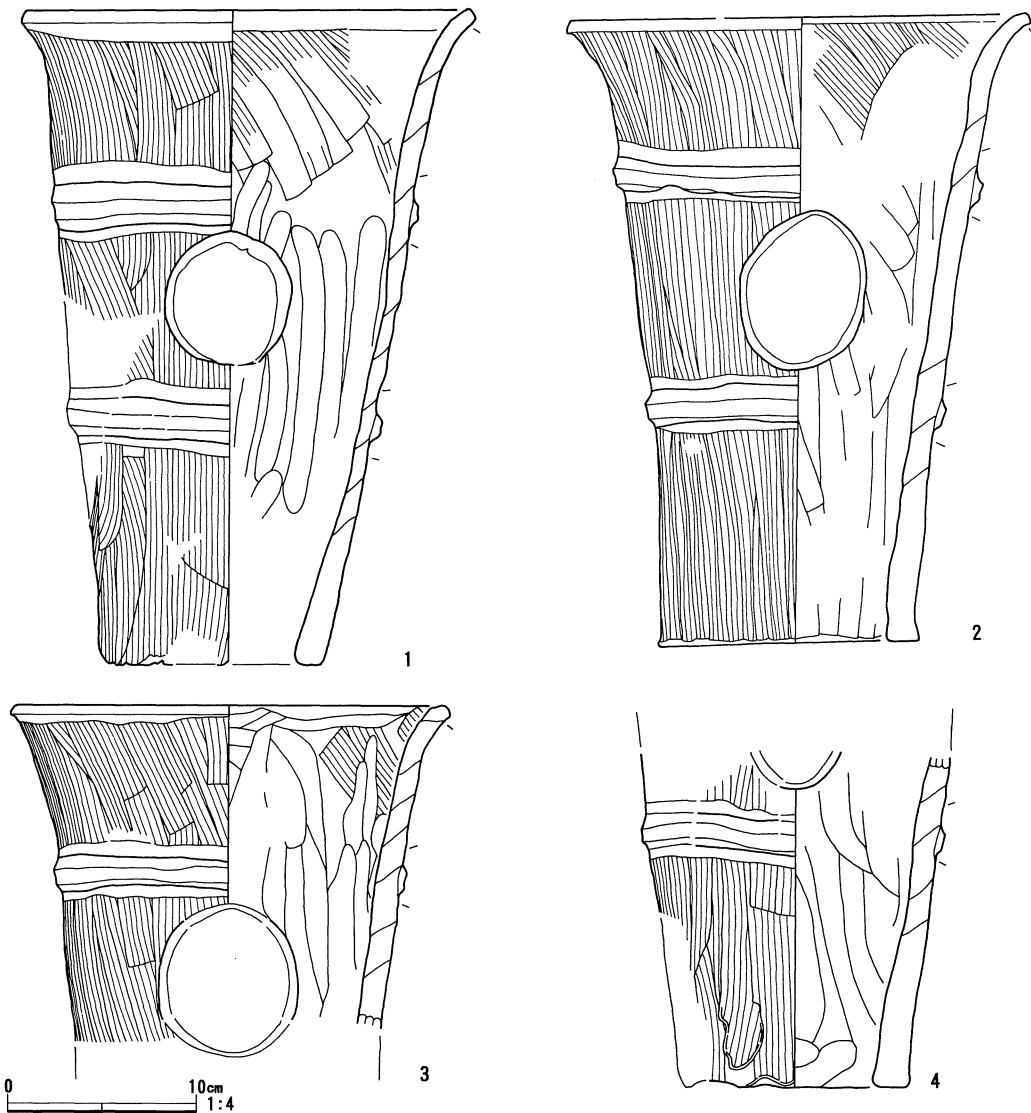


図318 H-9グリッド円筒埴輪実測図

SD-11 (図319)

SD-11のI-2、J-2グリッドで、円筒埴輪の細片とともに、形象埴輪片を少数検出した。SD-11は中世の溝で、ST-10・11・12などを切って掘削されている。ST-10以下、SD-11の掘削により切られている古墳の年代は、検出した土師器の形式や円筒埴輪の形態、周堀覆土中のHr-FAの堆積などから、いずれも5世紀末葉から6世紀初頭に置かれるが、ここに示した遺物は、足先が台部から突出する大型双脚全身像の破片を含むことから、一部は6世紀後半代に降下すると考えられる遺物であり、すべてが隣接する古墳からの混入と考えることはできない。今次の調査範囲内で、埴輪を有し、6世紀後半代まで年代の降下する古墳は、ST-20、ST-22、ST-29などがあるが距離的にはI-2、J-2グリッドからは離れており、調査区外北方に隣接する範囲に6世紀後

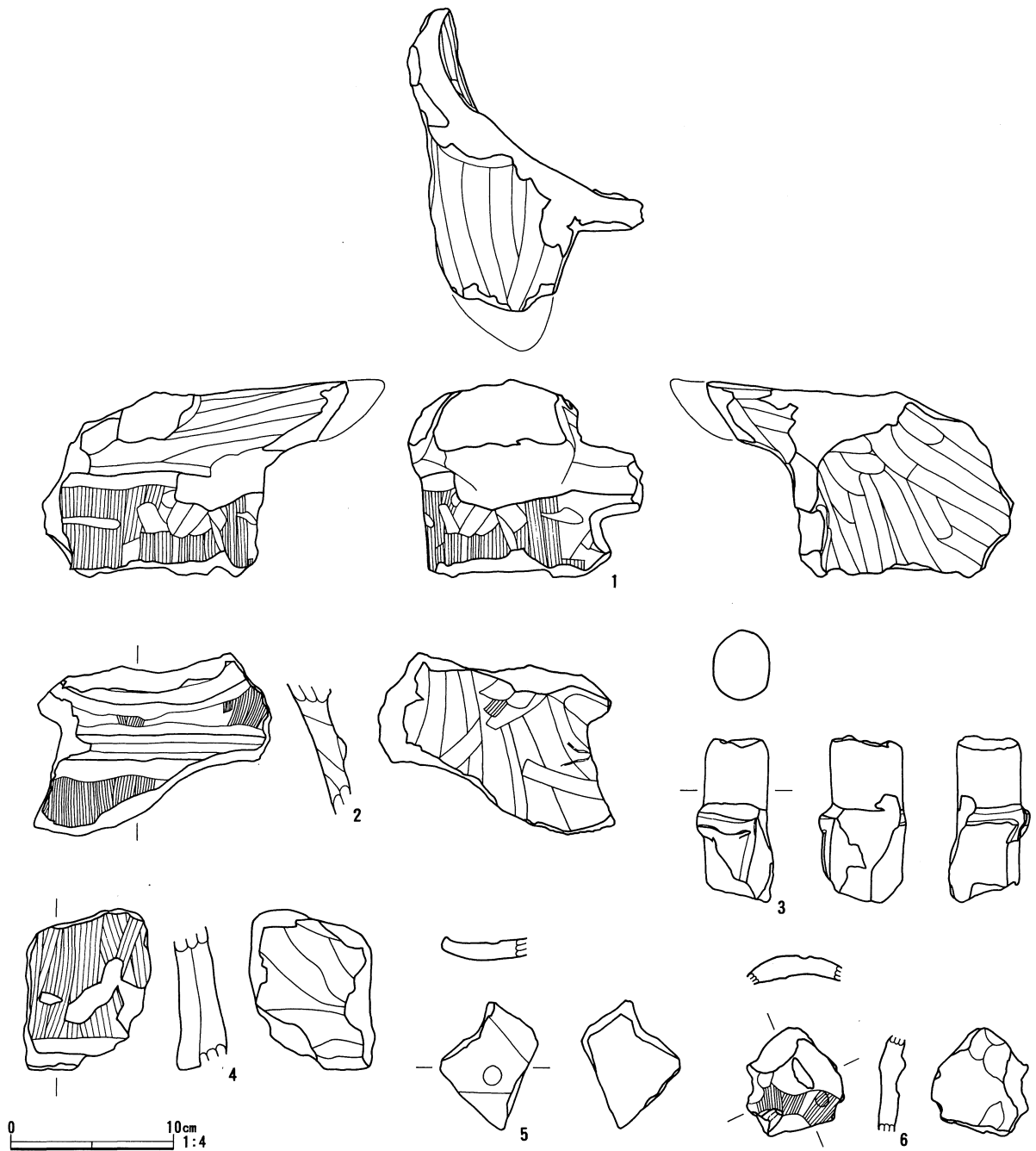


図319 SD-11 形象埴輪実測図

半代の古墳が存在する可能性も考える。

1～3は人物である。1・2は大型全身像の台部で、1は右足部が残る。3は大型全身像の腕の一部で、籠手を装着した状態を表現する。4～6は器種不明で、5は線刻による三角文があり、円形付文の剝離痕を認める。

SD-11 形象埴輪観察表

No.	器種	部位・形態の特徴	成形・調整手法の特徴	焼成	色調	備考
1	人物	大型双脚像の右足部、台部。台部正面に透孔。	右足部一ナデ。外面一ハケ。内面一ナデ。	良好	橙色	砂粒を多く含む。
2	人物	大型双脚像の台部。脚部台部正面に透孔。	外面一ハケ。内面一ナデ。	良好	橙色	砂粒を多く含む。
3	人物	大型人物の腕の一部。籠手の着用を表現。	ナデ。	良好	橙色	
4	不明	粘土板を表裏2枚合せて成形。	外面一ハケ。内面一ナデ。	良好	にぶい橙色	
5	不明	薄手の造り。線刻で三角文を表現。円形付文の剝離痕あり。	外面一ナデ。内面一ナデ。	良好	橙色	
6	不明	幅狭の粘土紐を貼付。緩やかに彎曲する。	外面一ハケおよびナデ。内面一ナデ。	良好	淡橙色	

SF-40 (図320)

SF-40の覆土から金銅製耳環2点を検出した。SF-40方形竪穴状遺構で、羽口、石鉢が出土しているほか、かわらけの細片若干が共伴しており、遺構の所属年代は中世に降下することは明らかである。このことから、耳環2点は、周辺の古墳副葬品で、SF-40の覆土形成過程で混入したものと判断される。

耳環は、1・2とも直径2.9cm、太さ0.7cm、重さ25.5gを測る。表面の金はほとんど剝落し、表面全体に緑青を生じている。年代の詳細については不明とせざるをえないが、重複するST-20、隣接のST-21などからの混入を想定すれば、6世紀末葉から7世紀前半のうちに求めることになろう。

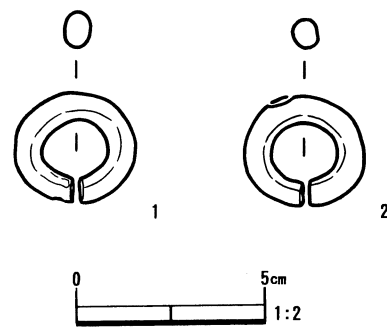


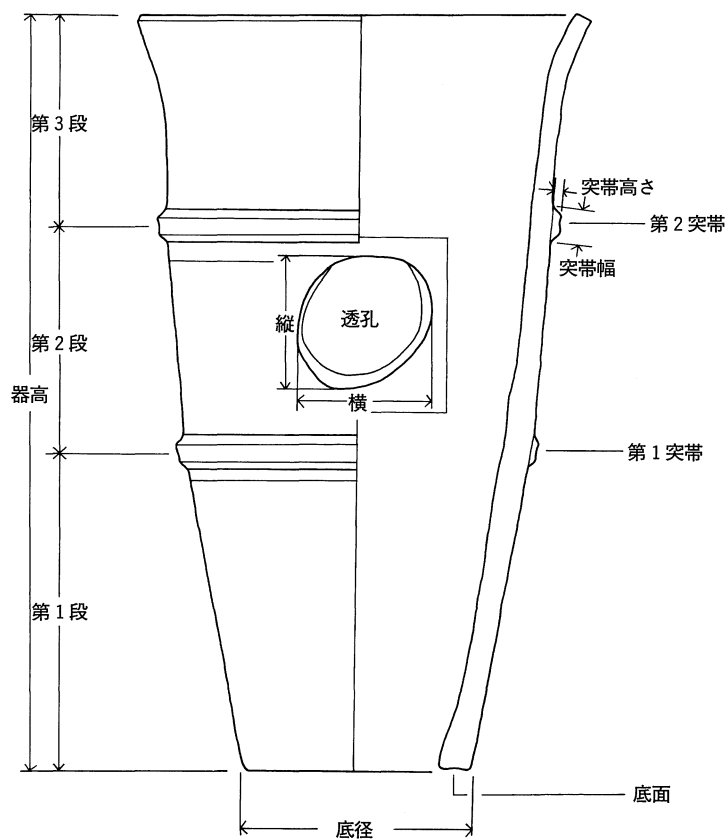
図320 SF-40 耳環実測図

SF-40 金属遺物観察表

No.	種類	器種	法	量 (cm・g)	備考
1	金銅製品	耳環	直径2.9cm 太さ0.7cm	重さ25.5g。	
2	金銅製品	耳環	直径2.9cm 太さ0.7cm	重さ22.5g。	

円筒埴輪観察表・凡例

1. 観察表の「番号」は「円筒埴輪実測図」の番号に対応する。
2. 各部名称、計測部位は下図に示したとおりである。
3. 長さの表示はすべてセンチメートル単位である。カッコ内は推定値を示す。
4. 「第1～3段高」各欄の下段カッコ内に掲げた数値は、器高に占める各段高の割合（％）を示す。
5. 「透孔」の「形態」は明確に半円形を呈するものを「半円」とし、不整円形のものはいずれも「円」に含めた。
6. 「外面調整・基部」には、底部調整の種類を示した。
7. 「底面・巻き」の「左・右」は、基部を形成する粘土板の巻き合わせ方向を示す。上からみて、左端を上重ねたものを「右」、逆を「左」とした。
8. 「底面」の「圧痕」は、底面に認められた圧痕の形状を示した。



円筒埴輪凡例図

円筒埴輪実測資料観察表

番 号	法 量				突 帯		透 孔		口縁部 調 整	外 面 調 整		
	器高	第一段高	第二段高	第三段高	幅	高さ	形態	径		調 整	ハケ本数 (/2cm)	基部
ST-00-1	35.1	13.8 (39.3)	10.8 (30.8)	10.5 (29.9)	2.0	0.4	円	6.4×7.3	ヨコナデ	1次タテハケ	8本	—
ST-00-2	(20.1)	16.2	—	—	2.5	0.6	—	—	—	1次タテハケ	8本	—
ST-00-3	(16.6)	—	—	—	—	—	—	—	—	1次タテハケ	7本	—
ST-01-1	37.1	16.3 (43.9)	11.2 (30.2)	9.6 (25.9)	2.4	0.8	円	6.8×8.3	ヨコナデ	1次タテハケ	10本	—
ST-01-2	(17.2)	—	—	—	2.2	0.7	—	—	ヨコナデ	1次タテハケ	8本	—
ST-01-3	(17.9)	—	—	9.8	2.1	0.7	円	6.4×7.0	ヨコナデ	1次タテハケ	9本	—
ST-01-4	(22.0)	15.7	—	—	2.5	0.7	円	6.5	—	1次タテハケ	10本	—
ST-01-5	(13.6)	—	—	—	—	—	—	—	—	1次タテハケ	8本	—
ST-01-6	(12.6)	—	—	—	—	—	—	—	—	1次タテナデ	—	—
ST-01-7	(35.7)	14.5	14.3	—	2.5	0.6	—	—	—	1次タテハケ	7本	—
ST-02-1	(34.0)	—	9.5	9.2	1.1	0.6	円	6.5×6.0	ヨコナデ	1次タテハケ	7本	—
ST-02-2	35.5	12.3 (34.7)	12.4 (34.9)	10.8 (30.4)	2.2	0.7	円	6.4×6.1	ヨコナデ	1次タテハケ	10本	—
ST-02-3	(20.8)	—	9.6	10.0	1.7	0.6	円	—	ヨコナデ	1次タテハケ	10本	—
ST-02-4	(18.4)	—	—	11.8	2.3	0.5	半円	—	—	1次タテハケ	12本	—
ST-02-5	(12.0)	—	—	10.6	1.4	0.5	—	—	ヨコナデ	1次タテハケ	8本	—
ST-03-1	(18.1)	—	—	11.1	2.5	0.5	円	—	ヨコナデ	1次タテハケ	8本	—
ST-03-2	(18.3)	—	—	11.3	1.2	0.9	—	—	ヨコナデ	1次タテハケ	7本	—
ST-06-1	36.5	9.8 (26.9)	14.3 (39.0)	12.4 (34.1)	3.0	0.5	円	—	ヨコナデ	1次タテハケ	15本	—
ST-06-2	32.5	8.9 (27.4)	10.9 (33.5)	12.7 (39.1)	1.7	0.4	円	6.6×7.3	ヨコナデ	1次タテハケ	8本	—
ST-06-3	(19.5)	—	—	12.0	1.2	0.7	円	6.9	—	1次タテハケ	12本	—
ST-06-4	(25.7)	—	13.4	—	1.1	0.4	円	—	—	1次タテハケ	10本	—
ST-06-5	(18.0)	11.8	—	—	2.2	0.4	—	—	—	1次タテハケ	12本	—
ST-06-6	(15.5)	10.7	—	—	1.7	0.3	—	—	—	1次タテハケ	12本	—
ST-07-1	32.3	14.5 (44.9)	10.2 (31.6)	7.6 (23.5)	1.6	0.4	円	5.6×4.8	ヨコナデ	1次タテハケ	20本	—
ST-07-2	31.0	12.4 (40.0)	11.1 (35.8)	7.5 (24.2)	1.7	0.5	円	6.5×5.7	ヨコナデ	1次タテハケ	14本	—
ST-07-3	(17.0)	10.2	—	—	2.9	0.8	円	—	ヨコナデ	1次タテハケ	17本	—

内面調整		底部		焼成	色調	残存率	備考
胴部	基部	巻き	圧痕				
ナナメハケ・タテナデ	—	右	—	良好	明黄褐色	65%	砂礫を多く含む
ナナメハケ・ナナメナデ	—	—	棒状	良好	橙色	10%	砂礫を多く含む
ナナメハケ	—	右	棒状	良好	にぶい橙色	10%	砂礫を多く含む
ナナメハケ・ナナメナデ	—	右	—	良好	橙色	50%	砂礫を多く含む
タテナデ・ヨコナデ	—	—	—	良好	浅黄橙色	5%	砂礫を多く含む
ヨコナデ・ナナメナデ	—	—	—	良好	橙色	50%	砂礫を多く含む
ナナメハケ・ナナメナデ	—	右	棒状	良好	橙色	10%	砂礫を多く含む
ナナメハケ・タテナデ	—	—	棒状	良好	橙色	15%	砂礫を多く含む
ナナメハケ・ナナメナデ	—	右	棒状	良好	にぶい赤褐色	10%	砂礫を多く含む
ナナメハケ・ナナメナデ	—	右	棒状	良好	橙色	70%	砂礫を多く含む
ナナメハケ・タテナデ	—	—	—	良好	にぶい橙色	35%	
タテナデ	—	—	—	良好	にぶい橙色	20%	
ナナメハケ・ナナメナデ	—	—	—	良好	浅黄橙色	10%	
ナナメハケ・ナナメナデ	—	—	—	良好	浅黄橙色	10%	
ナナメハケ・ヨコナデ ナナメナデ	—	—	—	良好	にぶい橙色	15%	
ナナメハケ	—	右	—	良好	橙色	25%	
ナナメハケ・ナナメナデ	—	—	—	良好	にぶい赤褐色	15%	
ナナメハケ	—	右	棒状	良好	橙色	65%	
タテハケ	—	右	棒状	良好	橙色	70%	
ナナメハケ・指頭圧痕	—	—	—	良好	橙色	15%	
ナナメハケ	—	右	—	良好	橙色	25%	
ナナメハケ・指頭圧痕	—	右	棒状	良好	橙色	40%	
ナナメハケ	—	—	棒状	良好	にぶい黄橙色	10%	
タテハケ・タテナデ	—	右	—	良好	にぶい橙色	70%	砂礫を多く含む
タテハケ・タテナデ	—	右	—	良好	橙色	75%	砂礫を多く含む、第2段外面に「×」の線刻あり
ナナメハケ	—	右	—	良好	橙色	30%	砂礫を多く含む

番 号	法 量				突 帯		透 孔		口縁部 調 整	外 面 調 整		
	器高	第一段高	第二段高	第三段高	幅	高さ	形態	径		調 整	ハケ本数 (/2cm)	基部
ST-07-4	(15.5)	—	—	10.5	1.5	0.5	円	—	ヨコナデ	1次タテハケ	8本	—
ST-07-5	(15.0)	—	—	8.3	1.5	0.3	円	—	ヨコナデ	1次タテハケ	8本	—
ST-07-6	(14.8)	—	—	9.5	1.7	0.6	円	5.8	ヨコナデ	1次タテハケ	8本	—
ST-07-7	(11.7)	—	—	8.7	1.2	0.4	円	—	ヨコナデ	1次タテハケ	13本	—
ST-07-8	(10.3)	—	—	8.3	1.8	0.4	円	—	ヨコナデ	1次タテハケ	28本	—
ST-07-9	(20.9)	—	10.3	—	1.7	0.4	円	6.5×5.6	—	1次タテハケ	14本	—
ST-07-10	(23.8)	12.1	10.4	—	1.5	0.5	円	—	—	1次タテハケ	12本	—
ST-07-11	(18.5)	16.0	—	—	1.6	0.5	—	—	—	1次タテハケ	6～8本	—
ST-07-12	(14.8)	11.8	—	—	2.1	0.5	—	—	—	1次タテハケ	10本	—
ST-07-13	(10.5)	—	—	—	1.9	0.7	—	—	—	1次タテハケ	14～16本	—
ST-08-1	(21.7)	17.5	—	—	2.0	0.3	—	—	—	1次タテハケ	10本	—
ST-08-2	(17.4)	15.1	—	—	1.9	0.5	—	—	—	1次タテハケ	5本	—
ST-10-1	(17.3)	—	—	12.6	2.7	0.7	円	—	ヨコナデ	1次タテハケ	11本	—
ST-11-1	34.7	13.6 (39.2)	12.1 (34.9)	9.0 (25.9)	0.8	0.3	円	7.2×6.2	ヨコナデ	1次タテハケ	12本	—
ST-11-2	(12.5)	—	—	10.0	2.5	0.4	—	—	ヨコナデ	1次タテハケ	8本	—
ST-11-3	(13.2)	—	—	9.0	2.0	0.5	—	—	ヨコナデ	1次タテハケ	8本	—
ST-11-4	(25.1)	—	12.7	—	2.3	0.8	円	5.5	—	1次タテハケ	7本	—
ST-11-5	(15.2)	—	—	—	2.0	8.5	円	—	—	1次タテハケ	7本	—
ST-11-6	(20.9)	—	11.0	—	0.9	0.7	円	—	—	1次タテハケ	10本	—
ST-11-7	(17.0)	—	—	—	1.7	0.6	円	—	—	1次タテハケ	9本	—
ST-11-8	(13.6)	—	—	—	2.1	1.1	—	—	—	1次タテハケ	8本	—
ST-11-9	(10.4)	—	—	—	2.8	1.0	—	—	—	1次タテハケ	12本	—
ST-12-1	37.9	14.4 (38.0)	11.0 (29.0)	12.5 (33.0)	1.8	0.6	円	6.5×6.0	ヨコナデ	1次タテハケ	12本	—
ST-12-2	36.4	13.0 (35.7)	12.4 (34.1)	11.0 (30.2)	1.9	0.6	円	7.7×7.3	ヨコナデ	1次タテハケ	12本	—
ST-12-3	(19.1)	—	—	10.7	2.0	0.4	半円	—	ヨコナデ	1次タテハケ	14本	—
ST-12-4	(16.0)	—	—	11.3	2.0	0.5	円	—	ヨコナデ	1次タテハケ	10本	—
ST-12-5	(14.6)	—	—	11.0	2.4	0.7	—	—	ヨコナデ	1次タテハケ	14本	—

内面調整		底部		焼成	色調	残存率	備考
胴部	基部	巻き	圧痕				
ナナメハケ・タテナデ	—	—	—	良好	にぶい橙色	30%	砂礫を多く含む
ナナメハケ・タテナデ	—	—	—	良好	橙色	45%	砂礫を多く含む
ナナメハケ・ナデ	—	—	—	良好	にぶい赤褐色	10%	砂礫を多く含む
ナナメハケ・タテナデ	—	—	—	良好	橙色	10%	砂礫を多く含む
ヨコナデ・ナデ	—	—	—	良好	橙色	25%	砂礫を多く含む
タテハケ・ナナメナデ	—	—	—	良好	橙色	30%	砂礫を多く含む、第2段外面に「×」の線刻あり
タテハケ・ナナメナデ	—	—	—	良好	橙色	20%	砂礫を多く含む
タテハケ・ナナメナデ	—	—	—	良好	にぶい橙色	25%	砂礫を多く含む
タテナデ	—	—	—	良好	橙色	15%	砂礫を多く含む
タテナデ・ナナメナデ	—	—	—	良好	橙色	10%	砂礫を多く含む
ナナメハケ・ナナメナデ	—	—	—	良好	にぶい褐色	25%	砂礫を多く含む
ナナメハケ	—	右	—	良好	にぶい橙色	15%	
ナナメハケ	—	右	—	良好	橙色	40%	
ナナメハケ・タテナデ ナナメナデ	—		棒状	良好	明赤褐色	90%	
ヨコハケ・タテナデ	—	—	—	良好	橙色	30%	
ナナメハケ・ナナメナデ	—	—	—	良好	明赤褐色	15%	
ナナメハケ・タテナデ ナナメナデ	—	右	—	良好	明赤褐色	20%	
ナナメハケ・タテナデ ナナメナデ	—	—	—	良好	にぶい橙色	20%	
ナナメハケ・ナナメナデ	—	右	—	良好	にぶい橙色	20%	
ナナメハケ・タテナデ	—	右	—	良好	にぶい橙色	20%	
ヨコナデ・ナナメナデ	—	—	—	良好	にぶい橙色	20%	
ナナメハケ・タテナデ	—	—	—	良好	にぶい橙色	5%	
ナナメハケ・タテナデ	—	—	—	良好	にぶい褐色	60%	
タテハケ・タテナデ	—	右	—	良好	橙色	70%	
ナナメハケ・タテナデ	—	—	—	良好	灰黄色	20%	
ナナメハケ・ナナメナデ	—	—	—	良好	にぶい橙色	15%	
タテハケ・タテナデ	—	—	—	良好	にぶい橙色	25%	外面に「=」の線刻あり

番 号	法 量				突 帯		透 孔		口縁部 調 整	外 面 調 整		
	器高	第一段高	第二段高	第三段高	幅	高さ	形態	径		調 整	ハケ本数 (/2cm)	基部
ST-12-6	(18.6)	—	—	—	1.8	0.4	円	—	—	1次タテハケ	12本	—
ST-12-7	(20.1)	12.8	—	—	1.5	0.5	円	—	—	1次タテハケ	12本	—
ST-12-8	(14.5)	—	—	—	—	—	—	—	—	1次タテハケ	12本	—
ST-12-9	(12.0)	—	—	—	—	—	—	—	—	1次タテハケ	12本	—
ST-12-10	(11.5)	—	—	—	—	—	—	—	—	1次タテハケ	12本	—
ST-12-11	(12.1)	—	—	—	2.1	0.6	—	—	—	1次タテハケ ナナメハケ	11本	—
ST-12-12	(6.1)	—	—	—	1.6	0.5	—	—	—	1次タテハケ	12本	—
ST-17-1	37.6	14.7 (39.1)	11.0 (29.3)	11.9 (31.6)	1.8	0.4	円	6.4×6.6	ヨコナデ	1次タテハケ	7本	—
ST-17-2	36.8	14.5 (39.4)	11.7 (31.8)	10.6 (28.8)	1.6	0.7	円	5.8×6.1	ヨコナデ	1次タテハケ	6本	—
ST-17-3	36.8	14.2 (38.6)	11.6 (31.5)	11.0 (29.9)	2.0	0.3	円	—	ヨコナデ	1次タテハケ	7本	—
ST-17-4	36.7	16.7 (45.5)	9.5 (25.9)	10.5 (28.6)	1.7	0.5	円	5.9×5.8	ヨコナデ	1次タテハケ	6本	—
ST-17-5	36.6	15.2 (41.5)	10.6 (29.0)	10.8 (29.5)	1.6	0.4	円	6.4×6.5	ヨコナデ	1次タテハケ	6本	—
ST-17-6	44.3	14.7 (33.2)	20.0 (45.1)	9.6 (21.7)	2.1	0.5	円	—	ヨコナデ	1次タテハケ	6本	—
ST-17-7	(28.5)	—	10.1	10.2	0.9	0.5	円	6.5×5.9	ヨコナデ	1次タテハケ	11本	—
ST-17-8	(24.9)	3.9	10.3	10.7	2.2	1.0	—	—	ヨコナデ	1次タテハケ	6本	—
ST-17-9	(21.7)	—	—	11.6	1.8	0.4	円	—	ヨコナデ	1次タテハケ	6本	—
ST-17-10	(22.4)	—	11.1	11.0	1.5	0.4	円	—	ヨコナデ	1次タテハケ	6本・14本	—
ST-17-11	(20.7)	—	—	10.8	2.0	0.4	円	—	ヨコナデ	1次タテハケ	6本	—
ST-17-12	(21.7)	14.8	—	—	2.0	0.4	円	—	—	1次タテハケ	5本	—
ST-17-13	(20.5)	13.8	—	—	2.8	0.7	円	—	—	1次タテハケ	7本	—
ST-17-14	(12.8)	—	—	—	—	—	—	—	—	1次タテハケ	6本	—
ST-17-15	(10.3)	—	—	—	—	—	—	—	—	1次タテハケ	7本	—
ST-17-16	(6.5)	—	—	—	—	—	—	—	—	1次タテハケ	5本	—
ST-18-1	35.3	15.0 (42.5)	9.8 (27.8)	10.5 (29.7)	1.9	0.5	円	5.3×4.5	ヨコナデ	1次タテハケ	4本	板押圧
ST-18-2	(15.2)	—	—	11.7	1.9	0.5	円	—	ヨコナデ	1次タテハケ	6本	—
ST-18-3	(23.4)	—	12.0	11.0	2.2	0.4	円	—	ヨコナデ	1次タテハケ	6本	—
ST-18-4	(19.6)	—	—	11.5	2.5	0.3	円	—	ヨコナデ	1次タテハケ	7本	—

内面調整		底部		焼成	色調	残存率	備考
胴部	基部	巻き	圧痕				
タテナデ・ナナメナデ	—	—	—	良好	浅黄橙色	15%	
タテナデ	—	右	棒状	良好	淡黄色	30%	
ナナメナデ	—	—	—	良好	にぶい橙色	5%	
タテナデ	—	—	—	良好	にぶい黄橙色	10%	
ナナメナデ		右	棒状	良好	にぶい橙色	20%	
ヨコハケ・ナナメハケ	—	—	—	良好	にぶい橙色	10%	
ヨコハケ・ヨコナデ	—	—	—	良好	にぶい橙色	5%	
ナナメハケ・タテナデ	—	右	—	良好	にぶい橙色	80%	
ナナメハケ・タテナデ	—	右	—	良好	にぶい橙色	80%	
ナナメハケ・タテナデ	—	右	—	良好	にぶい橙色	25%	
タテナデ・ナナメナデ	—	右	—	良好	橙色	90%	
ナナメハケ・タテナデ ナナメナデ	—	右	—	良好	浅黄橙色	65%	
ナナメハケ・タテナデ ナナメナデ	一部ヨコ ケズリ	—	—	良好	橙色	70%	
タテナデ・ナナメナデ	—	—	—	良好	にぶい橙色	50%	
タテナデ・ナナメナデ	—	—	—	良好	橙色	15%	
ナナメハケ・タテナデ	—	—	—	良好	にぶい橙色	15%	
ナナメハケ・タテナデ ナナメナデ	—	—	—	良好	にぶい橙色	20%	
ナナメハケ・タテナデ	—	—	—	良好	にぶい橙色	10%	
タテナデ・ナナメナデ	—	右	—	良好	にぶい橙色	20%	
タテナデ・ナナメナデ	—	—	—	良好	にぶい橙色	20%	
ナナメナデ	—	—	—	良好	浅黄橙色	10%	
タテナデ・ナナメナデ	—	右	—	良好	にぶい橙色	15%	
タテナデ	—	右	—	良好	浅黄橙色	10%	
ナナメハケ・タテナデ ヨコナデ	—	右	棒状	良好	橙色	70%	
ナナメハケ・ナナメナデ	—	—	—	良好	橙色	15%	
タテナデ・ナナメハケ タテナデ・ナナメナデ	—	—	—	良好	にぶい赤褐色	30%	
ナナメハケ・タテナデ 指頭圧痕	—	—	—	良好	橙色	15%	

番 号	法 量				突 帯		透 孔		口縁部 調 整	外 面 調 整		
	器高	第一段高	第二段高	第三段高	幅	高さ	形態	径		調 整	ハケ本数 (/2cm)	基部
ST-18-5	(20.5)	14.7	—	—	1.7	0.6	円	—	—	1次タテハケ	7本	板押圧
ST-18-6	(20.0)	14.9	—	—	2.8	0.4	—	—	—	1次タテハケ	7本	板押圧
ST-18-7	(19.8)	15.5	—	—	1.6	0.2	—	—	—	1次タテハケ タテナデ	14本	板押圧
ST-19-1	(15.1)	—	—	—	2.5	0.6	円	—	—	1次タテハケ	8本	板押圧
ST-19-2	(17.0)	9.8	—	—	2.3	0.5	—	—	—	1次タテハケ	8本	—
ST-20-1	(14.0)	—	—	8.0	2.2	0.6	—	—	ヨコナデ	1次タテハケ	20本	—
ST-20-2	(9.5)	—	—	7.6	1.3	0.4	—	—	ヨコナデ	1次タテハケ	24本	—
ST-20-3	(11.0)	—	—	—	—	—	—	—	—	1次タテハケ	20本	—
ST-23-1	(37.5)	—	10.8	10.0	2.2	0.5	円	6.5×7.8		1次タテハケ タテナデ	13本	—
ST-23-2	(21.4)	—	—	12.8	2.4	0.4	円	—	ヨコナデ	1次タテハケ	4本	—
ST-26-1	45.7	19.3 (42.2)	14.2 (31.1)	12.2 (26.7)	2.2	0.5	円	7.7×7.6	ヨコナデ	1次タテハケ	26本	—
ST-26-2	(27.6)	—	13.4	11.8	2.3	0.6	円	—	ヨコナデ	1次タテハケ 指頭圧痕	24本	—
ST-26-3	(20.2)	—	—	12.7	1.6	0.5	円	—	ヨコナデ	1次タテハケ	24本	—
ST-26-4	(19.7)	—	—	13.4	2.8	0.7	円	—	ヨコナデ	1次タテハケ	13本	—
ST-26-5	(15.3)	—	—	10.3	1.5	0.4	楕円	—	ヨコナデ	1次タテハケ	24本	—
ST-26-6	(12.1)	—	—	—	—	—	—	—	ヨコナデ	1次タテハケ	24本	—
ST-26-7	(13.1)	—	—	—	1.6	0.3	円	—		1次タテハケ	22本	—
ST-26-8	(30.5)	17.6	—	—	2.2	0.6	円	—	—	1次タテハケ	28本	—
ST-26-9	(23.6)	17.0	—	—	1.9	0.5-	—	—	1次タテ ハケ	24本	—	
ST-26-10	(19.2)	16.6	—	—	2.2	0.6-	—	—	1次タテ ハケ	24本	—	
ST-26-11	(14.8)	—	—	—	—	—	—	—	—	1次タテハケ	24本	—
ST-26-12	(14.8)	—	—	—	—	—	—	—	—	1次タテハケ	26本	—
ST-26-13	(15.0)	—	—	—	—	—	—	—	—	1次タテハケ	28本	—
ST-26-14	(9.8)	—	—	—	—	—	—	—	—	1次タテハケ	19本	—
ST-26-15	(10.1)	—	—	—	—	—	—	—	—	1次タテハケ	24本	—
ST-27-1	(18.0)	—	—	12.6	1.3	0.3	円	—	ヨコナデ	1次タテハケ	12本	—
ST-27-2	(14.4)	—	—	12.5	2.1	0.5	—	—	ヨコナデ	1次タテハケ	14本	—

内面調整		底部		焼成	色調	残存率	備考
胴部	基部	巻き	圧痕				
タテハケ・タテナデ ナナメナデ	木目圧痕	右	—	良好	明赤褐色	40%	砂礫を多く含む
ナナメナデ	—	—	—	良好	橙色	35%	砂礫を多く含む
ナナメハケ・タテナデ	—	右	—	良好	にぶい赤褐色	20%	砂礫を多く含む
タテナデ・ナナメナデ	—	—	—	良好	明赤褐色	30%	砂礫を多く含む
タテナデ・ナナメナデ	—	右	棒状	良好	橙色	10%	砂礫を多く含む
ナナメハケ・タテナデ	—	—	—	良好	橙色	5%	砂礫を多く含む
タテナデ	—	—	—	良好	明赤褐色	5%	砂礫を多く含む
タテナデ・ナナメナデ	—	—	—	良好	橙色	5%	砂礫を多く含む
ナナメハケ・タテナデ ナナメナデ	—	—	棒状	良好	橙色	40%	
ヨコハケ・ナナメハケ	—	—	—	良好	にぶい橙色	15%	
ナナメハケ・ナナメナデ	—	—	—	良好	橙色	80%	外面線刻あり
ナナメハケ・ナナメナデ 指頭圧痕	—	—	—	良好	明赤褐色	20%	
ナナメナデ・指頭圧痕	—	—	—	良好	明赤褐色	15%	
ナナメハケ・指頭圧痕	—	—	—	良好	褐色	15%	
ナナメハケ	—	—	—	良好	明赤褐色	10%	
ナナメハケ・ナナメナデ	—	—	—	良好	にぶい黄橙色	10%	
ナナメハケ・ナナメナデ	—	—	—	良好	明赤褐色	10%	
ナナメナデ	—	右	棒状	良好	赤褐色	40%	
ナナメナデ・指頭圧痕	—	右	—	良好	明赤褐色	30%	
ナナメナデ	—	右	棒状	良好	橙色	15%	
ナナメナデ	—		棒状	良好	にぶい黄褐色	15%	
ナナメナデ	—	—	—	良好	橙色	15%	
ナナメハケ・ナナメナデ	—	右	—	良好	にぶい黄橙色	10%	
タテハケ	—	—	—	良好	橙色	10%	
ナナメナデ	—	右	—	良好	赤褐色	5%	
ヨコハケ・ナナメハケ	—	—	—	良好	明赤褐色	10%	
ナナメハケ・ナナメナデ	—	—	—	良好	にぶい赤褐色	10%	

番 号	法 量				突 帯		透 孔		口縁部 調 整	外 面 調 整		
	器高	第一段高	第二段高	第三段高	幅	高さ	形態	径		調 整	ハケ本数 (/2cm)	基部
ST-28-1	(18.9)	—	8.3	8.5	1.9	0.3	円	—	ヨコナデ	1次タテハケ	24本	—
ST-28-2	(18.0)	—	—	9.5	1.5	0.4	円	—	ヨコナデ	1次タテハケ	9本	—
ST-28-3	(7.4)	—	—	—	—	—	—	—	ヨコナデ	1次タテハケ	8本	—
ST-29-1	(21.5)	15.4	—	—	1.5	0.6	円	—	—	1次タテハケ	26本	—
ST-29-2	(20.0)	18.2	—	—	1.3	0.5	—	—	—	1次タテハケ	6本	板押圧
ST-29-3	(16.4)	15.6	—	—	1.6	0.5	—	—	—	1次タテハケ	17本	—
ST-29-4	(16.7)	—	11.4	—	2.3	0.7	円	—	—	1次タテハケ	13本	—
H-9 G-1	34.8	12.5 (35.9)	11.5 (33.1)	10.8 (31.0)	2.0	0.4	円	7.1×6.6	ヨコナデ	1次タテハケ	6本	—
H-9 G-2	34.1	12.4 (36.3)	12.5 (36.6)	8.2 (27.1)	1.7	0.4	円	8.2×6.6	ヨコナデ	1次タテハケ	7本	—
H-9 G-3	(18.7)	—	—	9.3	0.8	0.3	円	—	ヨコナデ	1次タテハケ	4本	—
H-9 G-4	(17.6)	12.5	—	—	1.5	0.4	円	—	—	1次タテハケ	6本	—

内 面 調 整		底 部		焼 成	色 調	残 存 率	備 考
胴 部	基 部	巻 き	圧 痕				
タテナデ・ナナメナデ	—	—	—	良 好	にぶい黄褐色	20%	外面線刻あり
ナナメハケ・タテナデ ナナメナデ	—	—	—	良 好	橙 色	20%	
ナナメハケ・ナナメナデ	—	—	—	良 好	にぶい 橙色	10%	
ナナメハケ・タテナデ ナナメナデ	—	—	—	良 好	赤 褐 色	15%	
タテナデ・ナナメナデ	—	—	—	良 好	橙 色	35%	
ナナメナデ	—	—	—	良 好	赤 褐 色	20%	
ナナメハケ・タテナデ ナナメナデ	—	—	—	良 好	赤 褐 色	35%	
ナナメハケ・タテナデ	—	—	棒状	良 好	橙 色	80%	
ナナメハケ・タテナデ	—	右	—	良 好	橙 色	90%	
ナナメハケ・タテナデ ナナメナデ	—	—	—	良 好	橙 色	20%	
タテナデ・ナナメナデ	—	右	—	良 好	橙 色	10%	